静岡県内中央新幹線建設工事に係る
事後調査報告書
（本体工事着手前）
【別冊】

希少種保護の観点から、希少種の生息・生育箇所に関わる情報等は非公開としております。

２０２６年５月

東海旅客鉄道株式会社

目　　次

第 1 章　本編 2-2 水環境に係る事後調査及びモニタリングの結果 ····· 1-1

1.【2-2-1 水質】に係る事後調査及びモニタリングの結果 ····· 1-1

1.1 河川・沢の水質（時間１回計測）【事後調査及びモニタリング計画通し番号6、30】
1.2 河川・沢の水質（月１回計測）【事後調査及びモニタリング計画通し番号7、31、32】
1.3 河川の水質（工事排水）（月１回計測）
【事後調査及びモニタリング計画通し番号8、11、20、26、73】
1.4 河川の水質（生活排水）【事後調査及びモニタリング計画通し番号12】
1.5 河川・沢の水質（年２回計測等）【事後調査及びモニタリング計画通し番号32、33、34】
1.6 大井川中下流域の河川【事後調査及びモニタリング計画通し番号13～18】
1.7 高標高部の湧き水の水温【事後調査及びモニタリング計画通し番号88】
1.8 化学的な成分分析【事後調査及びモニタリング計画通し番号27～29、55、56】

2.【2-2-2 地下水の水質及び水位】に係る事後調査及びモニタリングの結果 ····· 1-276

2.1 大井川上流域の地下水位（時間１回計測）
【事後調査及びモニタリング計画通し番号42、43、109，118】
2.2 大井川上流域の地下水位・水質（月１回・年１回等）
【事後調査及びモニタリング計画通し番号41、44、45、46、91～94】
2.3 大井川中下流域の地下水位・水質【事後調査及びモニタリング計画通し番号48～54】
2.4 化学的な成分分析【事後調査及びモニタリング計画通し番号55、56】

3.【2-2-3 水資源】に係る事後調査及びモニタリングの結果 ····· 1-382

3.1 大井川上流域の河川・沢流量（時間１回計測）
【事後調査及びモニタリング計画通し番号57、58、63、64、66、106、111，114、120】
3.2 大井川上流域の河川・沢流量（月１回計測）
【事後調査及びモニタリング計画通し番号59、67、68、110、119】
3.3 大井川上流域の河川・沢流量（年２回計測等）
【事後調査及びモニタリング計画通し番号68、69、70】
3.4 常時監視カメラによる流況【事後調査及びモニタリング計画通し番号80】
3.5 中下流域の河川【事後調査及びモニタリング計画通し番号71】
3.6 高標高部の湧き水【事後調査及びモニタリング計画通し番号85～88、107、108、115、116】
3.7 高標高部の土壌水分量【事後調査及びモニタリング計画通し番号89、117】
3.8 高標高部の間隙水圧、間隙空気圧【事後調査及びモニタリング計画通し番号90】
3.9 気象【事後調査及びモニタリング計画通し番号95、96、98、99、100、102】
3.10 沢の伏流状況【事後調査及びモニタリング計画通し番号81】
3.11 静岡・山梨県境付近における先進坑掘削
【事後調査及びモニタリング計画通し番号104、105】
3.12 静岡・山梨県境付近における高速長尺先進ボーリング調査
【事後調査及びモニタリング計画通し番号113】

第 2 章　本編 2-4 動物に係る事後調査及びモニタリングの結果 ····· 2-1

1. イヌワシ、クマタカの生息状況及び繁殖状況 ····· 2-1

【事後調査及びモニタリング計画通し番号133、199】

2. 沢の動物調査 ····· 2-6

【事後調査及びモニタリング計画通し番号136～156、161～165、167～172、174～179】

2.1 重要種の確定

2.2 指標種の選定

2.3 これまでの沢の水生生物等の捕獲等調査で確認された種のまとめ

3. 河川本流等の動物調査 ····· 2-110

3.1 魚類の生息状況調査【事後調査及びモニタリング計画通し番号160、161】

3.2 底生動物の生息状況調査【事後調査及びモニタリング計画通し番号166、167、173、174】

3.3 [redacted]の生息状況調査【事後調査及びモニタリング計画通し番号135】

3.4 生息環境（水質等、流況）【事後調査及びモニタリング計画通し番号194、195】

4. イワナの餌資源等調査 ····· 2-383

【事後調査及びモニタリング計画通し番号158、159、194、195】

4.1 調査期間

4.2 調査結果（2019年度）

4.3 調査結果（2020年度）

4.4 調査結果（2021年度）

4.5 調査結果（2022年度）

4.6 調査結果（2023年度）

4.7 調査結果（2024年度）

4.8 調査結果（2025年度）

5. 発生土置き場からの放流先河川における調査 ····· 2-654

【事後調査及びモニタリング計画通し番号180】

5.1 調査期間

5.2 調査結果（2020年度）

5.3 調査結果（2021年度）

6. 工事施工ヤード、発生土置き場候補地における希少野生生物調査の結果 ····· 2-704

6.1 調査方法、調査実施日

6.2 確認した静岡県レッドデータブック掲載種及び個体数、確認位置

第 3 章　本編 2-4 植物に係る事後調査及びモニタリングの結果 ····· 3-1

1. 移植・播種した植物の生育状況 ····· 3-1

【事後調査及びモニタリング計画通し番号181】

1.1 調査地点

1.2 調査時期及び頻度

1.3 調査手法

1.4 調査結果

2. 工事施工ヤード、発生土置き場候補地における希少野生生物調査の結果 ····· 3-244

2.1 調査方法、調査実施日

2.2 確認した静岡県レッドデータブック掲載種及び個体数、確認位置

3. 沢の植物調査 ····· 3-270

【事後調査及びモニタリング計画通し番号183～187、190～192】

3.1 重要種の確定

3.2 指標種の選定

3.3 これまでの沢の水生生物等の捕獲等調査で確認された種のまとめ

4. 河川本流の植物調査 ····· 3-308

【事後調査及びモニタリング計画通し番号182、189】

4.1 調査期間

4.2 調査結果

5. 高標高部における植物調査 ····· 3-326

【事後調査及びモニタリング計画通し番号188】

5.1 調査方法

5.2 調査結果（2024年度）

5.3 調査結果（2025年度）

第 1 章 本編 2-2 水環境に係る事後調査及びモニタリングの結果

1.【2-2-1 水質】に係る事後調査及びモニタリングの結果

1.1 河川・沢の水質（時間１回計測）【事後調査及びモニタリング計画通し番号 6、30】

1.1.5 調査期間

河川・沢の水質（時間１回計測）の調査期間を表 1 に示します。

表 1　調査期間（河川・沢の水質（時間１回計測））

調査地点	調査期間
河 02　西俣（放流箇所下流）	2025 年４月～2026 年２月
河 08-2 千石（放流箇所下流）	
河 10-3 椹島（放流箇所下流②）	
沢 07 蛇抜沢	
沢 09 悪沢	
沢 17 スリバチ沢	

・有識者会議での議論を踏まえて月１回計測に加えて、常時計測を実施しています。

1.1.6 河 02　西俣（放流箇所下流）

1.1.6.1　調査結果（2025 年度）

河 02 西俣（放流箇所下流）の調査結果を表 2 及び図 1～図 5 に示します。

表 2　水質計測結果（河 02　西俣（放流箇所下流））

調査年度	河 02 西俣（放流箇所下流）														
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）（mS/m）			溶存酸素量（DO）（mg/ L）			SS（mg/ L）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2025 年度	7.6	14.5	0.7	7.4	8.2	4.6	13.3	18.2	4.9	11.8	15.8	5.2	3.1	88.0	0.0

水温

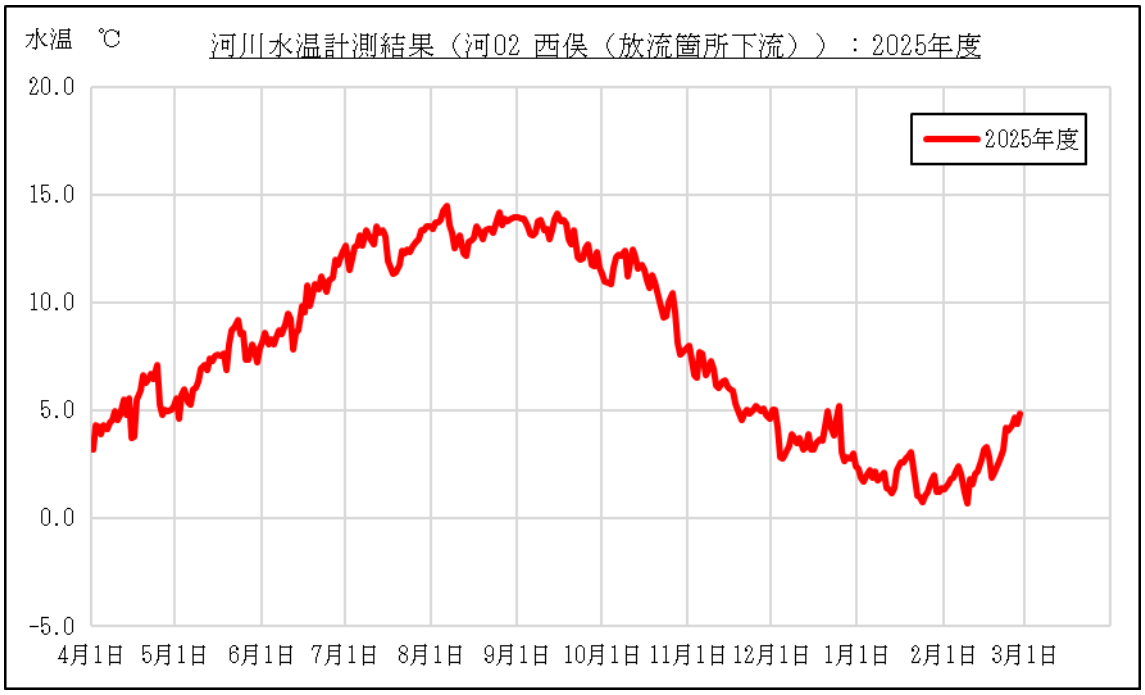


図 1　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流）（水温））

pH

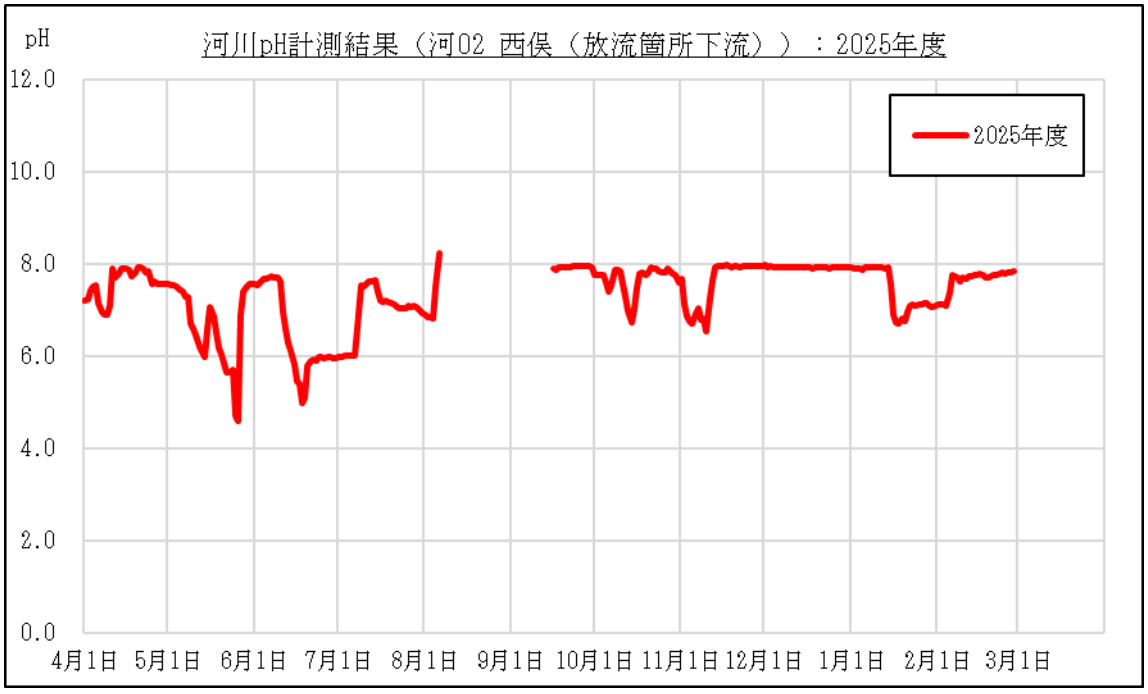


図 2　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流）（pH））

・2025 年 8 月から 9 月は機器不具合ため、欠測しています。

電気伝導率（EC）

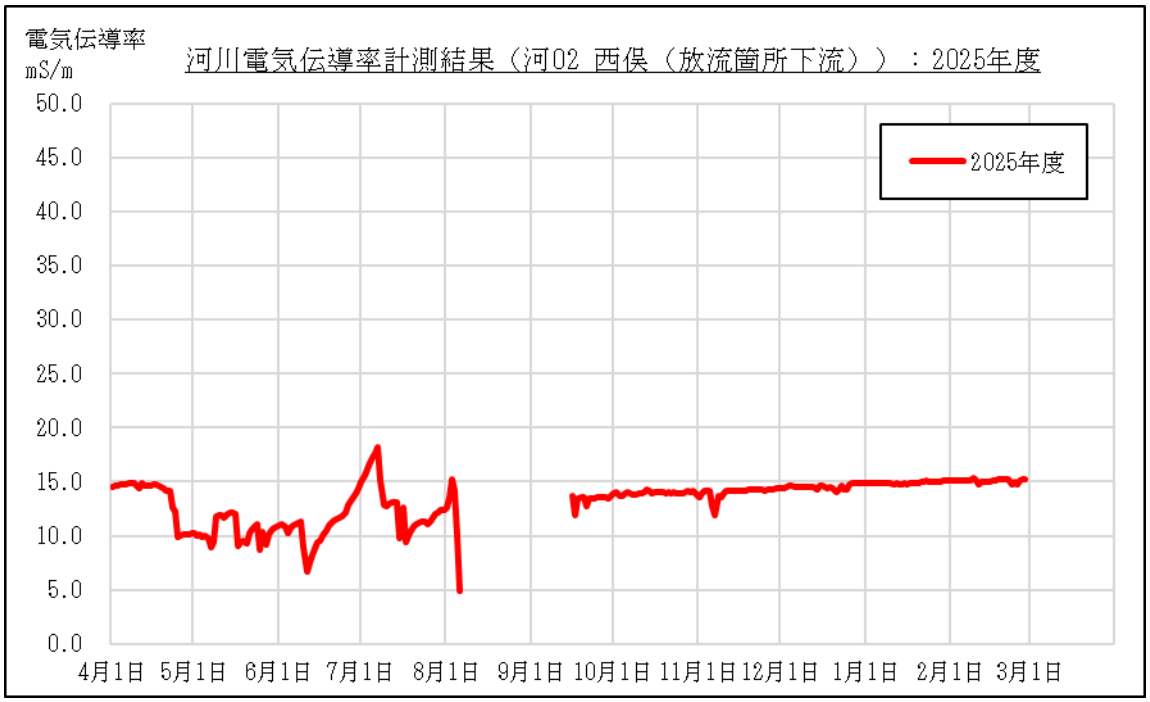


図 3 水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流）（電気伝導率（EC））

・2025 年 8 月から 9 月は機器不具合ため、欠測しています。

溶存酸素量（DO）

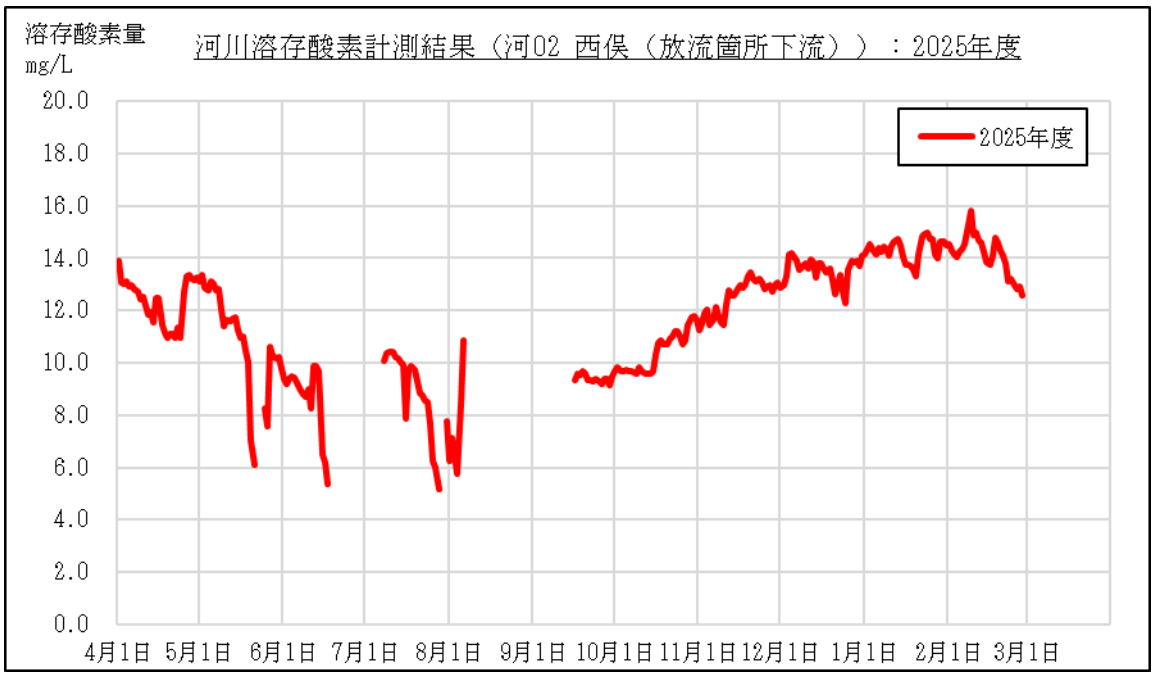


図 4 水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流）（溶存酸素量（DO））

・降雨等により河川内に流れ込んだ土砂で計測機器のセンサ部が埋没したため 欠測している期間があります。
・2025 年 8 月から 9 月は機器不具合ため、欠測しています。

SS

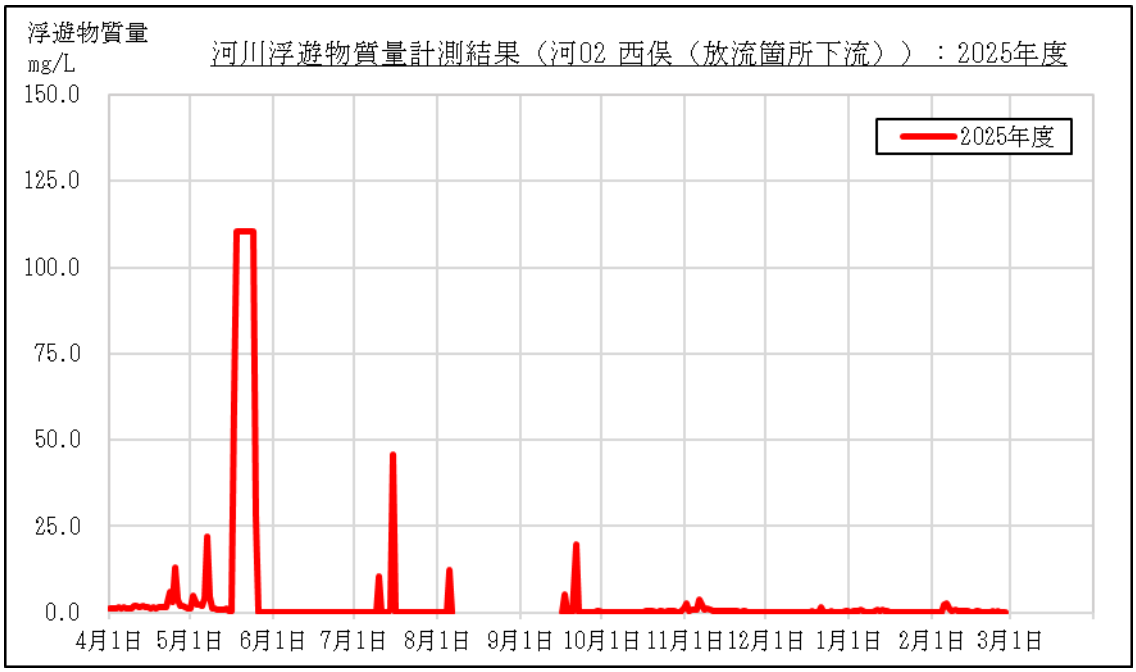


図 5 水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流）（浮遊物質））

・2025 年 8 月から 9 月は機器不具合ため、欠測しています。

1.1.7 河 08-2 千石（放流箇所下流）

1.1.7.1　調査結果（2025 年度）

河 08-2 千石（放流箇所下流）の調査結果を表 3 及び 図 6～図 10 に示します。

表 3　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流））

調査年度	河 08-2 千石（放流箇所下流														
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）（mS/m）			溶存酸素量（DO）（mg/ L）			SS（mg/ L）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2025 年度	7.2	13.6	0.0	7.4	8.1	5.9	13.4	38.6	7.8	10.8	16.8	4.7	179.3	1464.4	0.0

水温

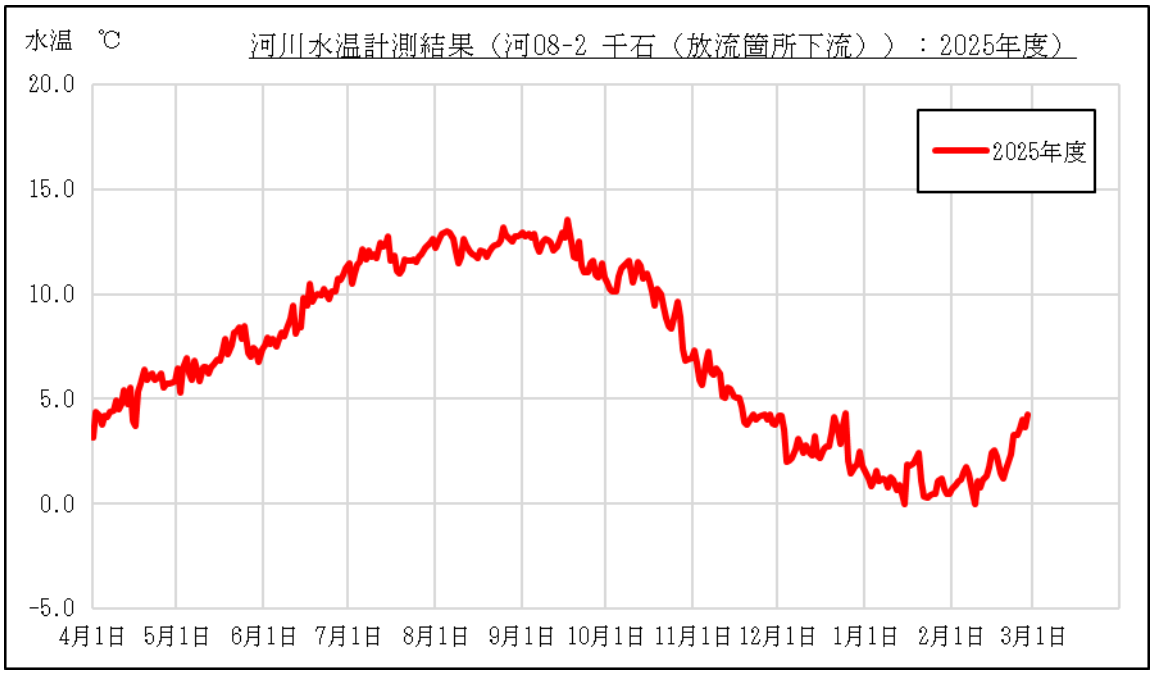


図 6　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流）（水温））

pH

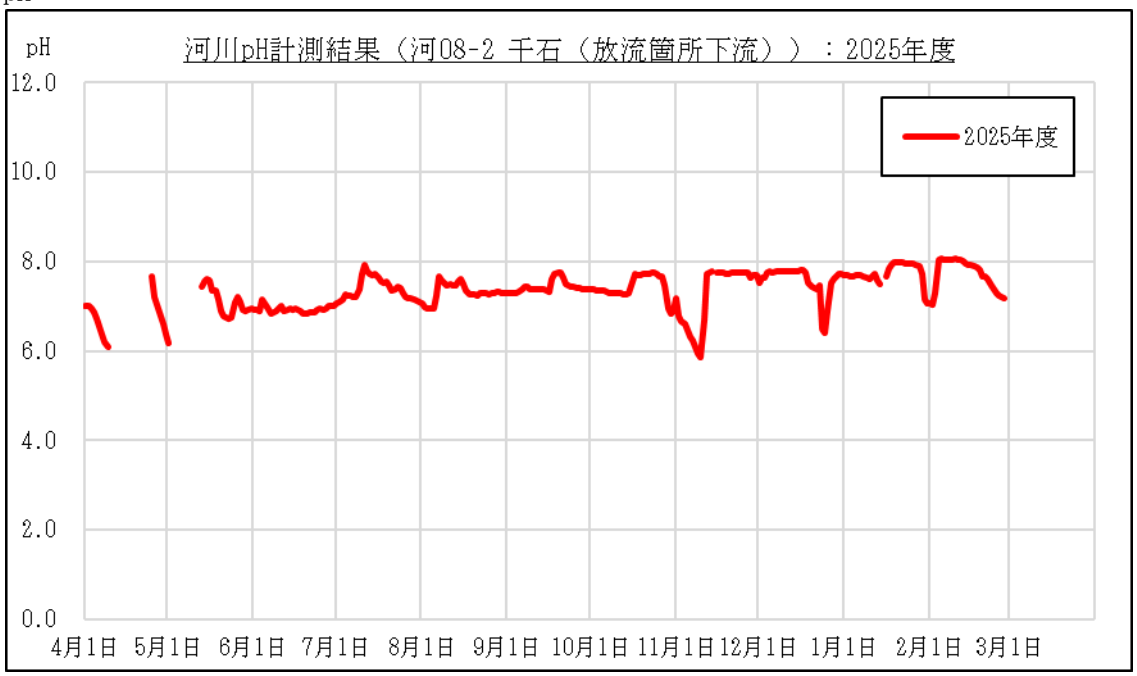


図 7　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流）（pH））

・降雨等により河川内に流れ込んだ土砂で計測機器のセンサ部が埋没したため 欠測している期間があります。

電気伝導率（EC）

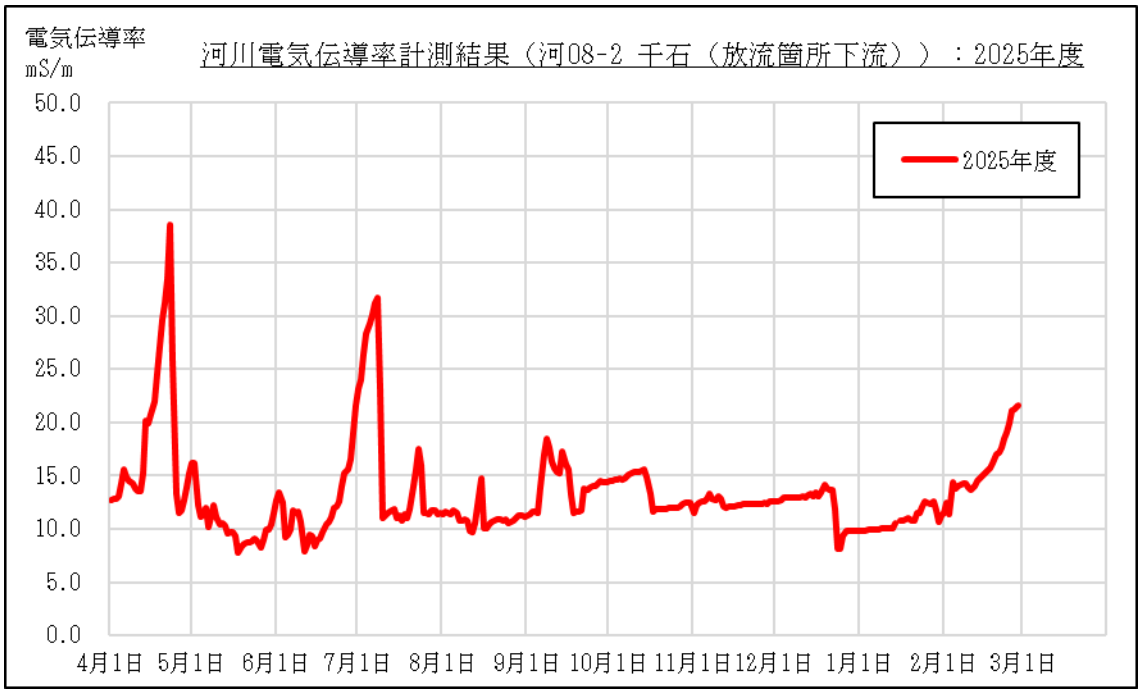


図 8　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流）（電気伝導率（EC）））

溶存酸素量（DO）

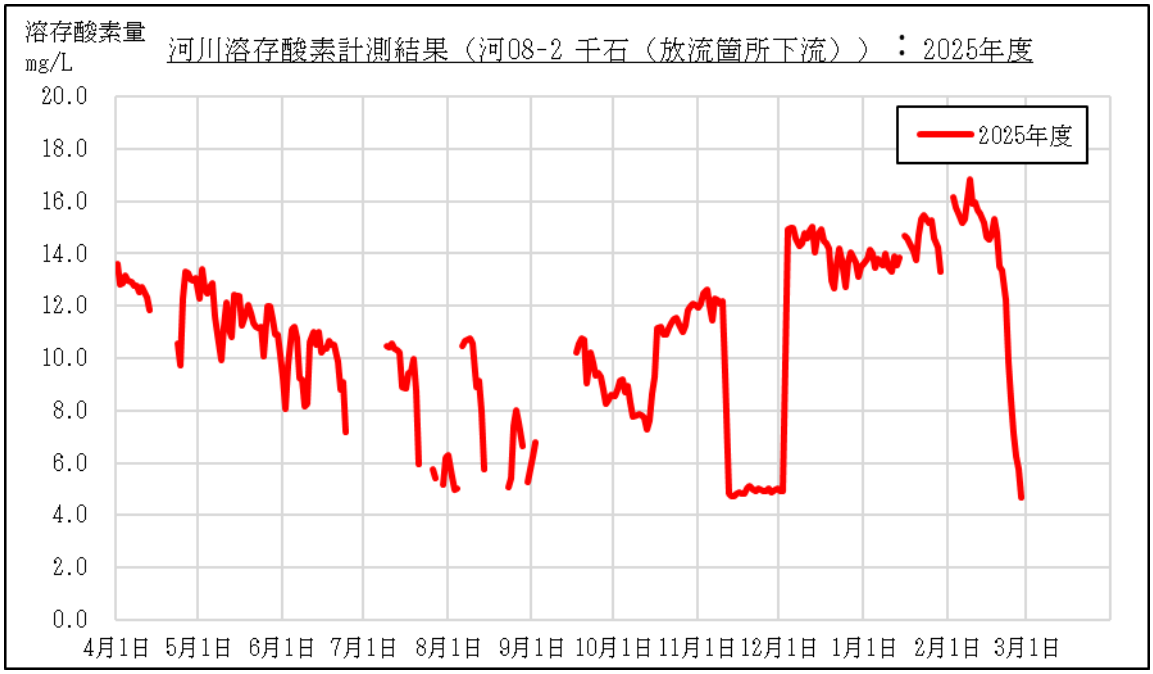


図 9　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流）（溶存酸素量（DO）））

・降雨等により河川内に流れ込んだ土砂で計測機器のセンサ部が埋没したため 欠測している期間があります。

SS

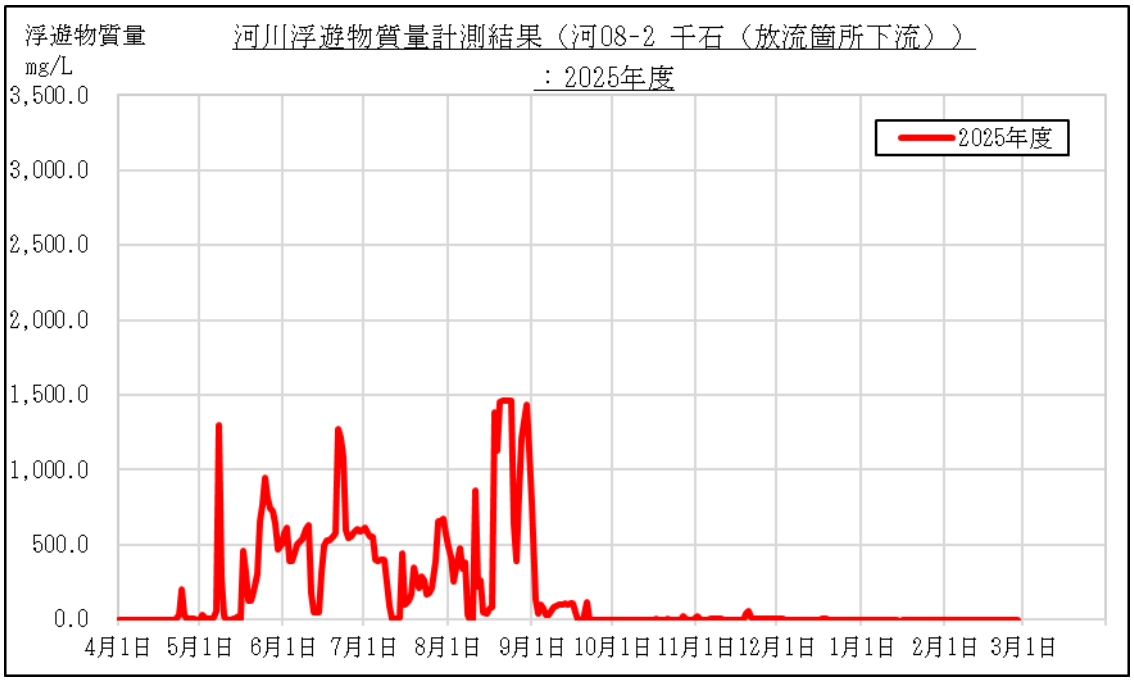


図 10　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流）（浮遊物質））

1.1.4 河 10-3 椹島（放流箇所下流②）

1.1.4.1　調査結果（2025 年度）

河 10-3 椹島（放流箇所下流②）の調査結果を表 4 及び図 11～図 15 に示します。

表 4　水質計測結果（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））

調査年度	河 10-3 椹島(放流箇所下流②)														
	水温 (℃)			pH			電気伝導率（EC） (mS/m)			溶存酸素量(DO) (mg/ L)			SS (mg/ L)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2025 年度	7.7	15.4	-1.6	7.9	8.1	7.60	11.4	16.3	4.5	11.5	13.7	6.7	119.5	2371.5	9.2

水温

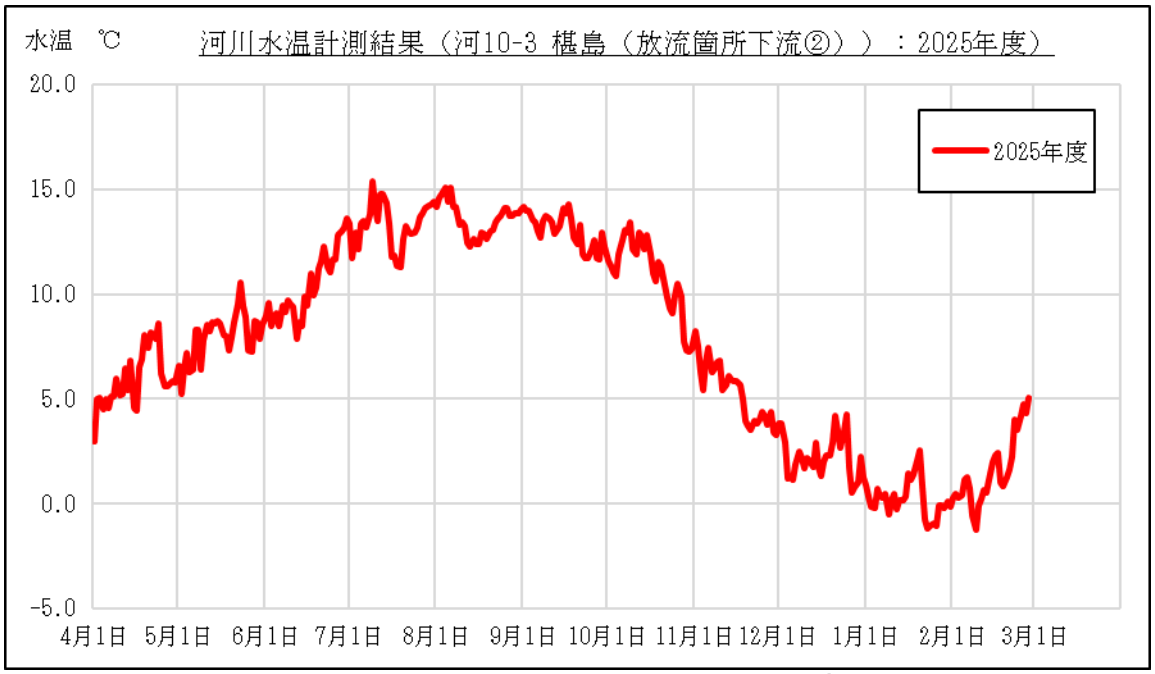


図 11　水質計測結果（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））（水温）

pH

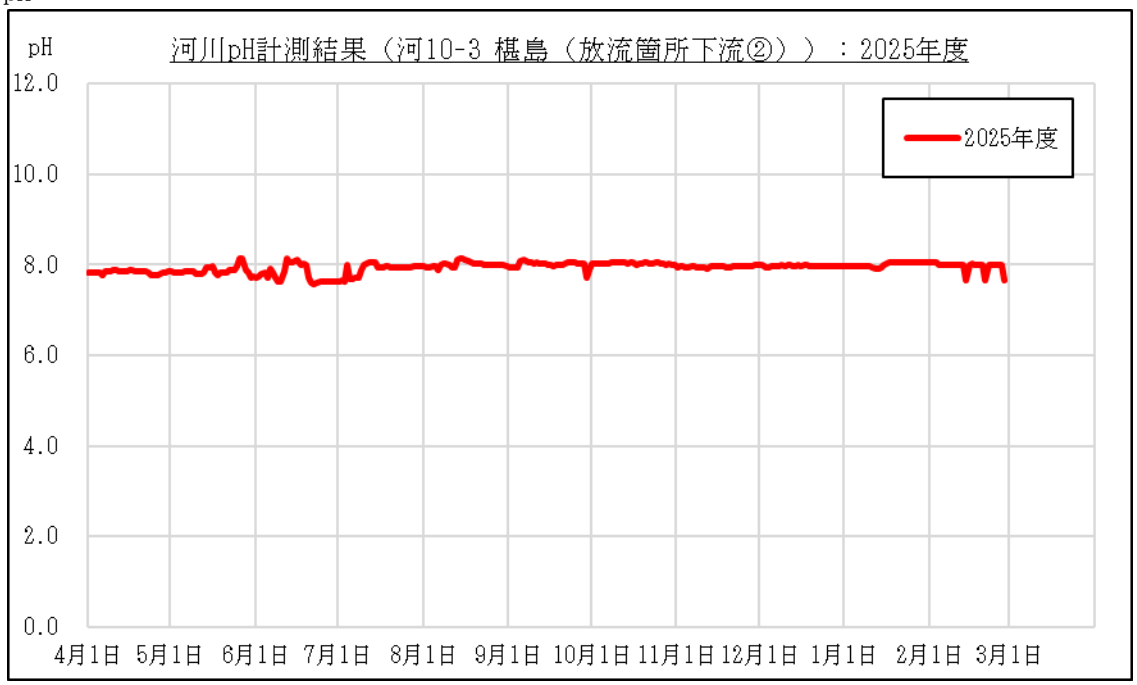


図 12　水質計測結果（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））（pH）

電気伝導率（EC）

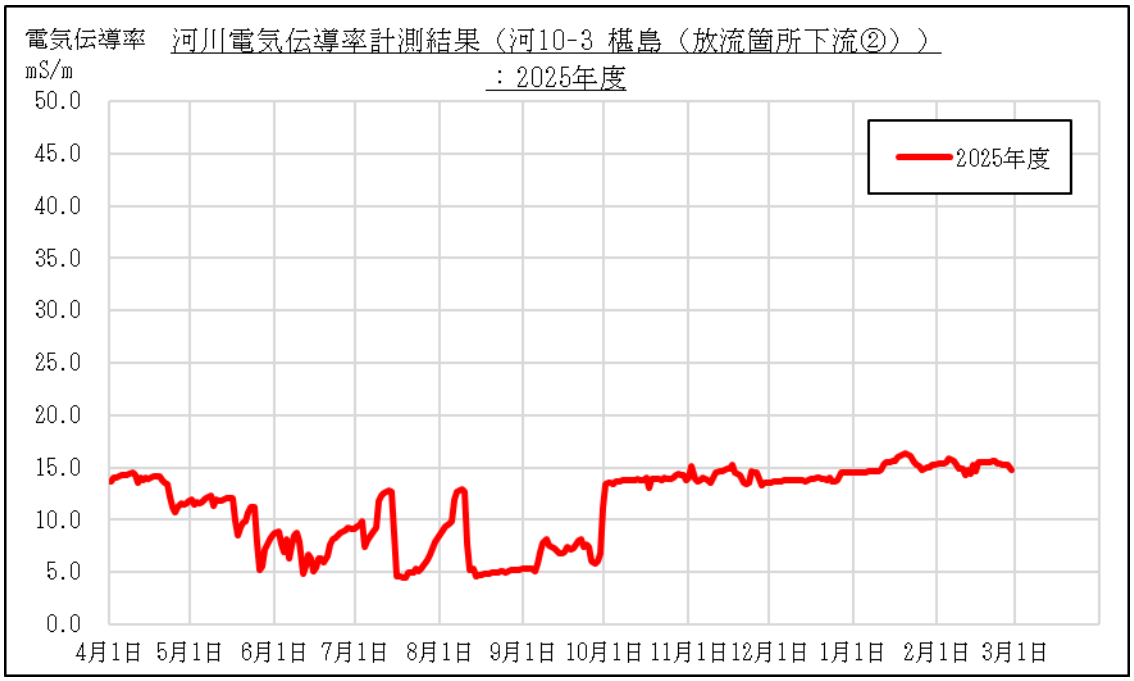


図 13　水質計測結果（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））（電気伝導率（EC））

溶存酸素量（DO）

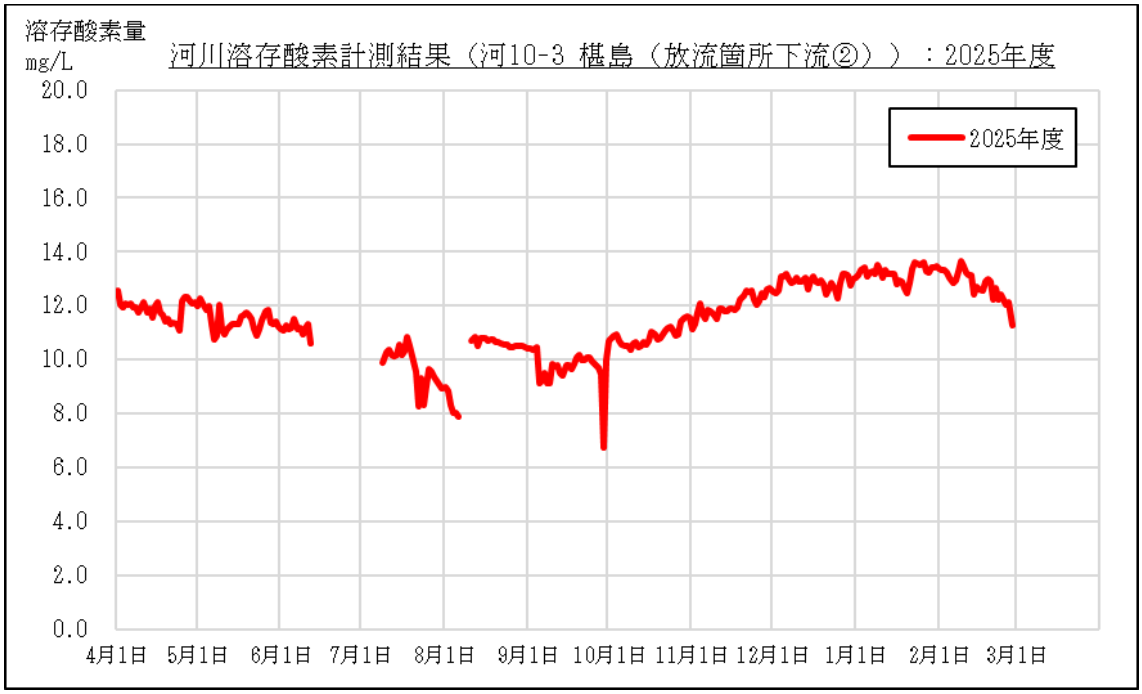


図 14　水質計測結果（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））（溶存酸素量（DO））

・降雨等により河川内に流れ込んだ土砂で計測機器のセンサ部が埋没したため 欠測している期間があります。

SS

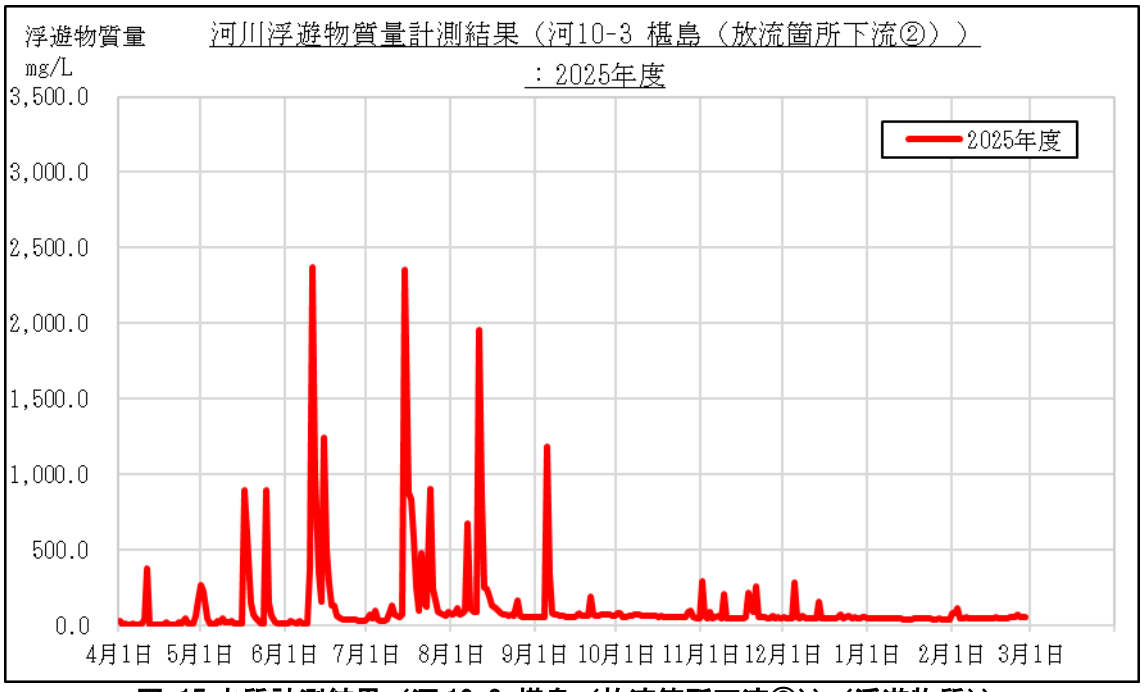


図 15 水質計測結果（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））（浮遊物質））

1.1.5 沢 07 蛇抜沢

1.1.5.1　調査結果（2025 年度）

沢 07 蛇抜沢の調査結果を表 5 及び図 16～図 18 に示します。

表 5　水質計測結果（沢 07 蛇抜沢）

調査年度	沢 07 蛇抜沢								
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）（mS/m）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2025 年度	6.3	13.6	0.0	7.8	8.4	6.9	8.9	13.2	0.3

水温

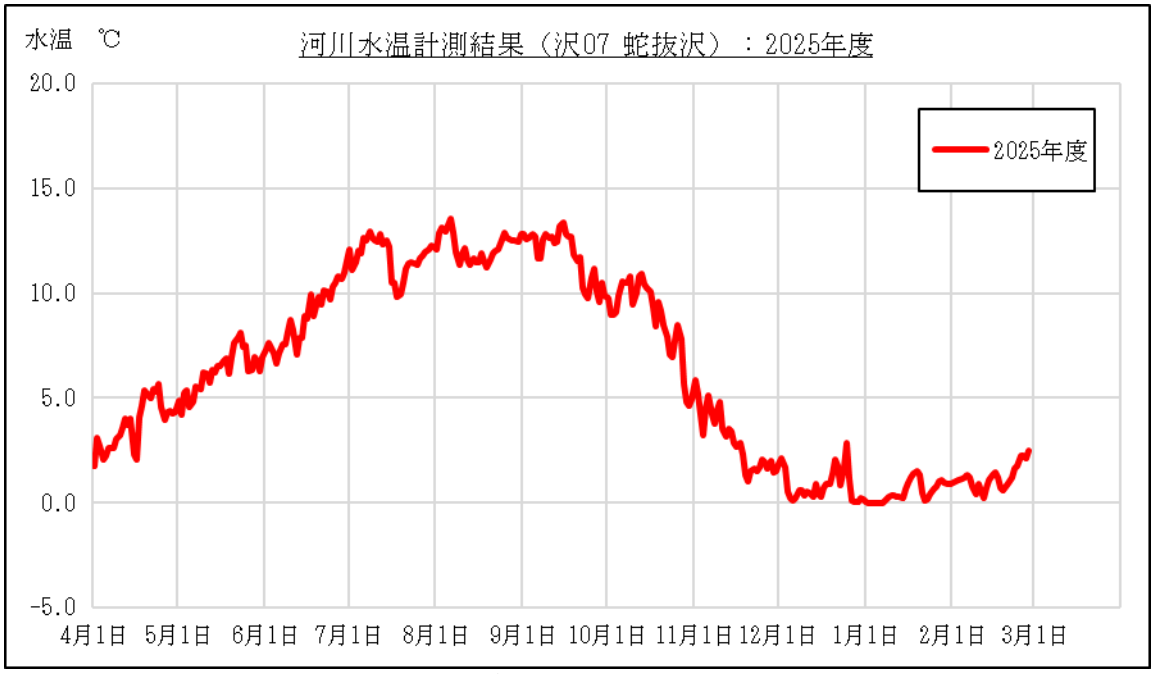


図 16　水質計測結果（沢 07 蛇抜沢（水温））

pH

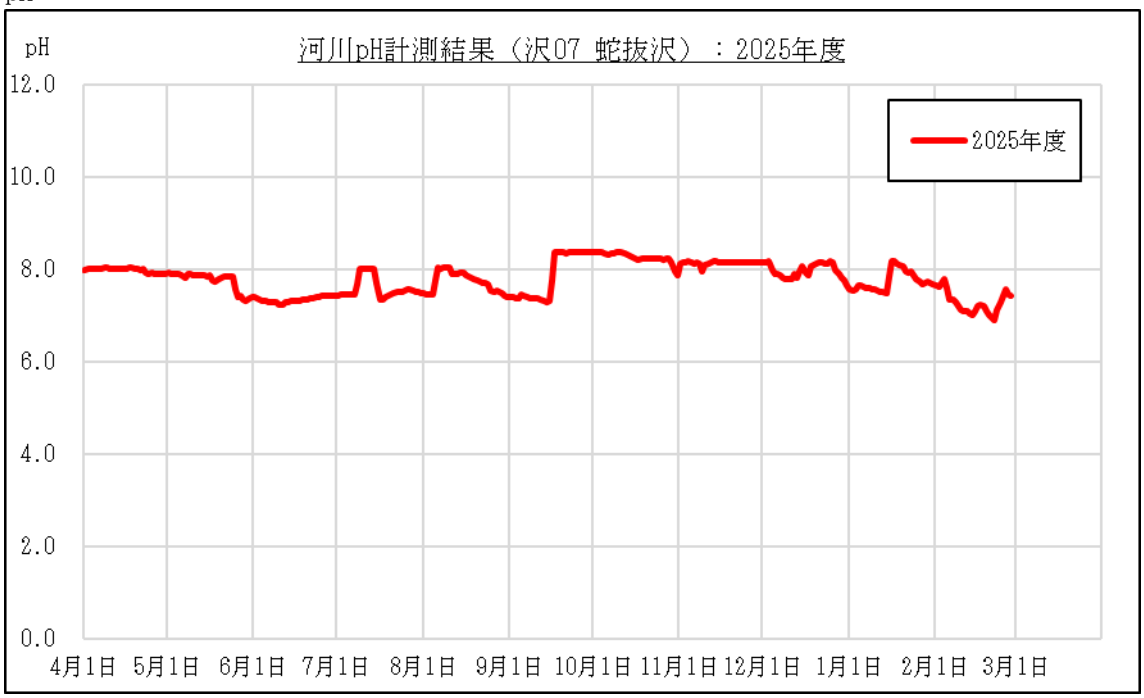


図 17　水質計測結果（沢 07 蛇抜沢（pH））

電気伝導率（EC）

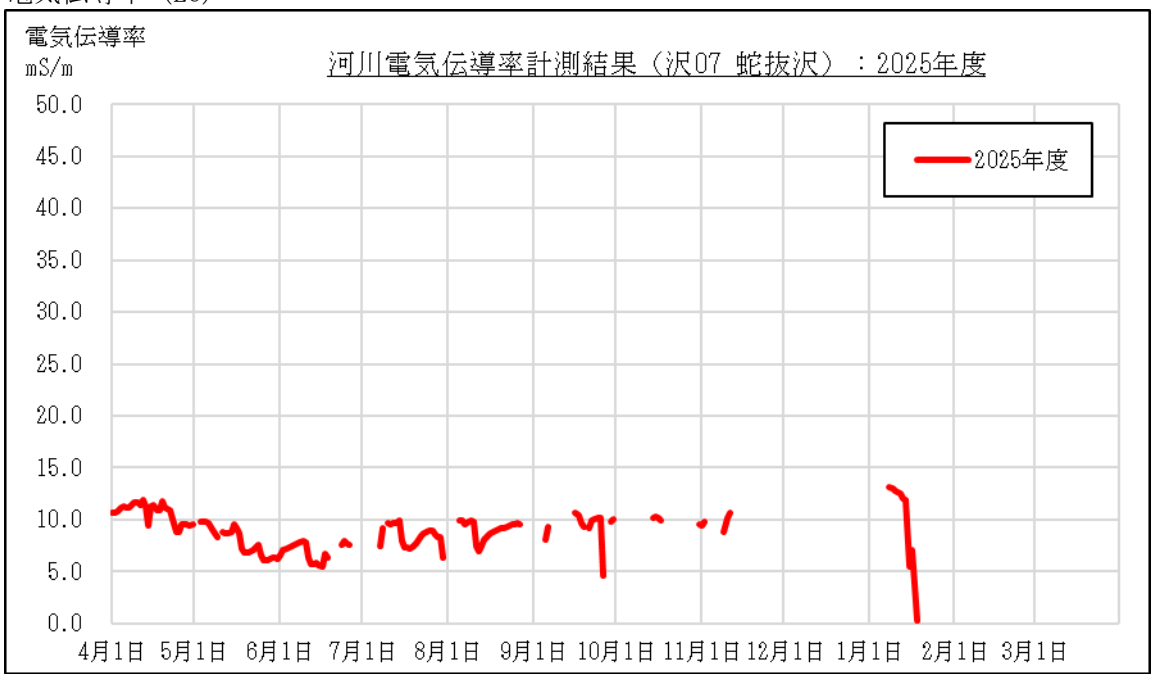


図 18　水質計測結果（沢 07 蛇抜沢（電気伝導率（EC））

・降雨等により河川内に流れ込んだ土砂で計測機器のセンサ部が埋没したため 欠測している期間があります。

1.1.6 沢 09 悪沢

1.1.6.1　調査結果（2025 年度）

沢 09 悪沢の調査結果を表 6 及び図 19～図 21 に示します。

表 6　水質計測結果（沢 09 悪沢）

調査年度	沢 09 悪沢								
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）（mS/m）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2025 年度	6.8	15.0	0.0	8.0	8.7	7.3	11.4	15.4	7.4

水温

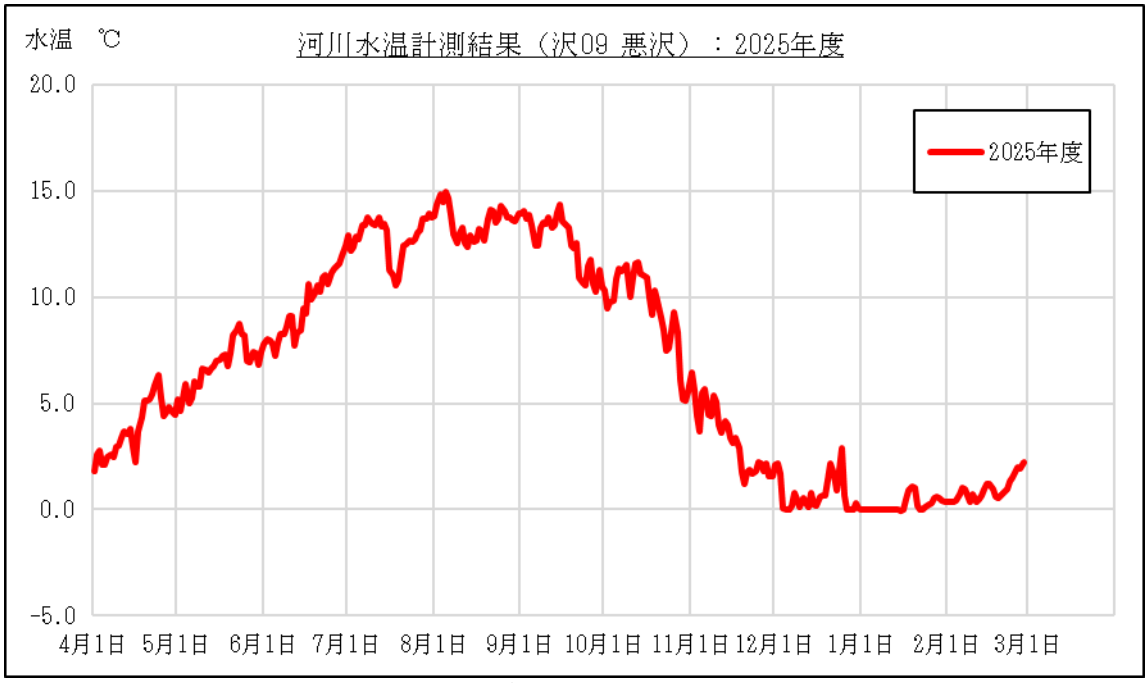


図 19　水質計測結果（沢 09 悪沢（水温））

pH

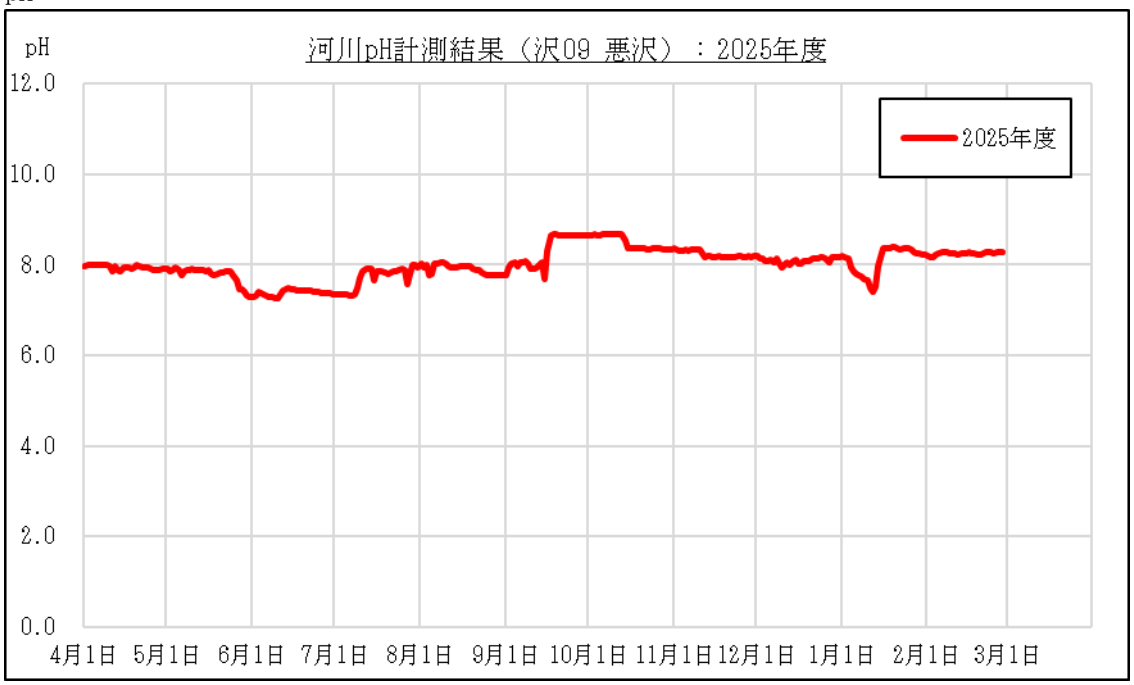


図 20　水質計測結果（沢 09 悪沢（pH））

電気伝導率（EC）

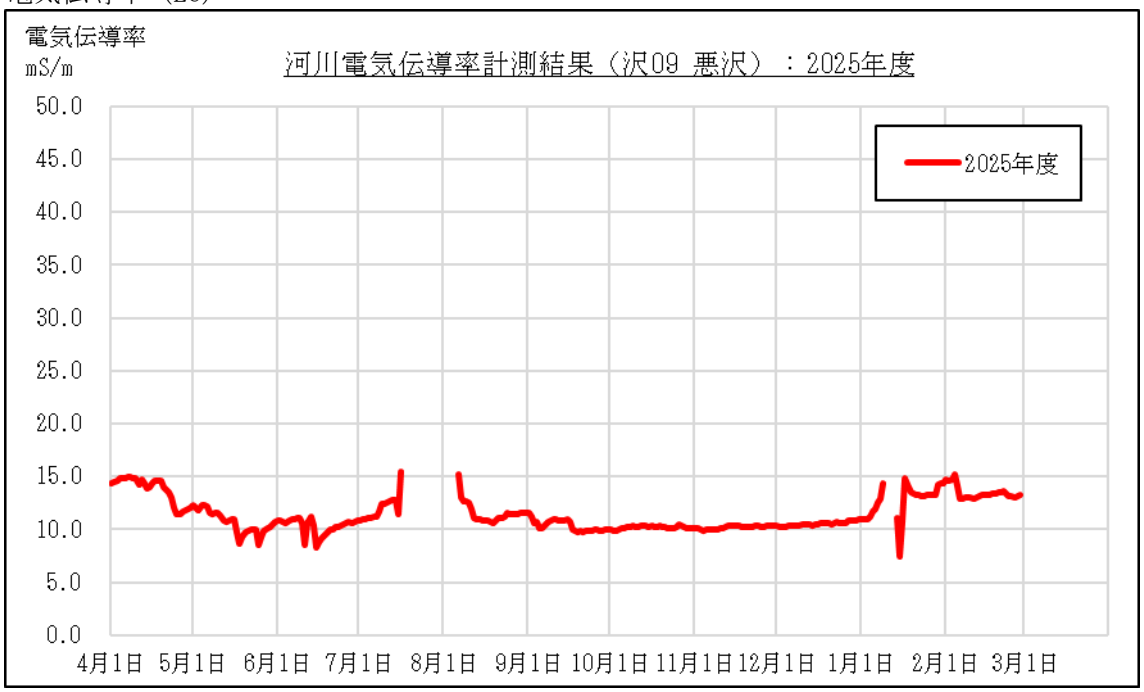


図 21　水質計測結果（沢 09 悪沢（電気伝導率（EC））

・降雨等により河川内に流れ込んだ土砂で計測機器のセンサ部が埋没したため 欠測している期間があります。

1.1.7 沢 17 スリバチ沢

1.1.7.1　調査結果（2025 年度）

沢 17 スリバチ沢の調査結果を表 7 及び図　22～図 24 に示します。

表 7　水質計測結果（沢 17 スリバチ沢）

調査年度	沢 17 スリバチ沢								
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）（mS/m）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2025 年度	9.1	15.1	3.6	7.6	8.1	6.6	13.6	15.2	11.4

水温

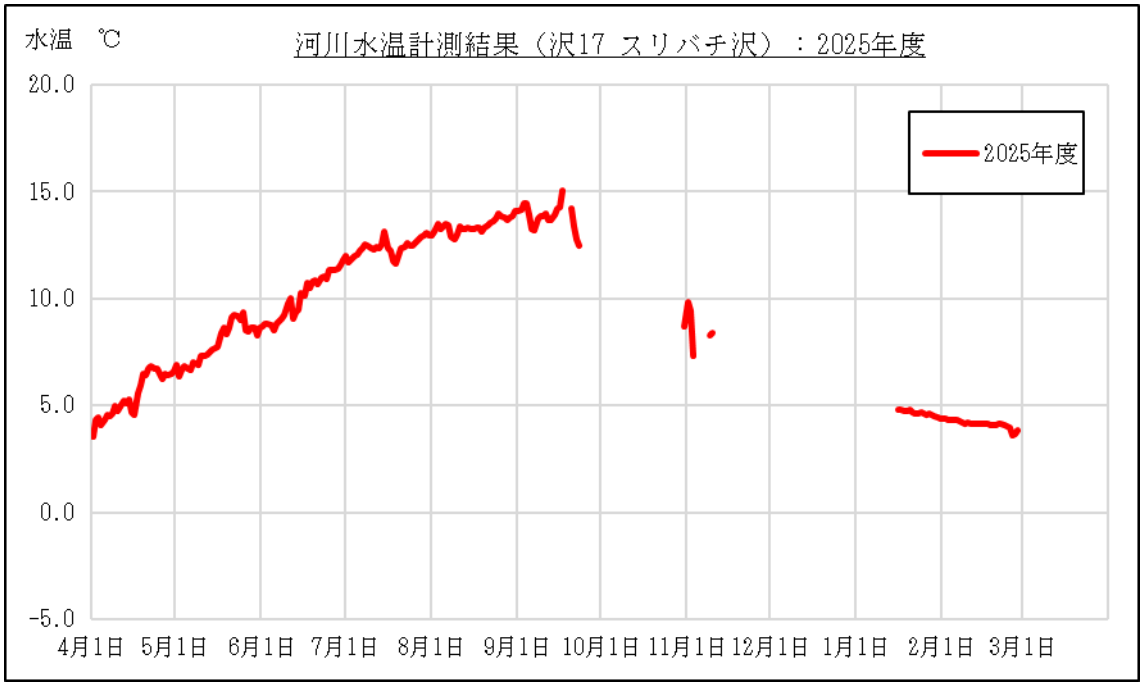


図　22 水質計測結果（沢 17 スリバチ沢（水温））

・2025年9月中旬から1月中旬までの一部期間において、沢の流量が極めて少なく、水面が水位計のセンサ部まで届かなかったため、欠測しています。

・1月中旬からは代替箇所での計測を再開しています。

pH

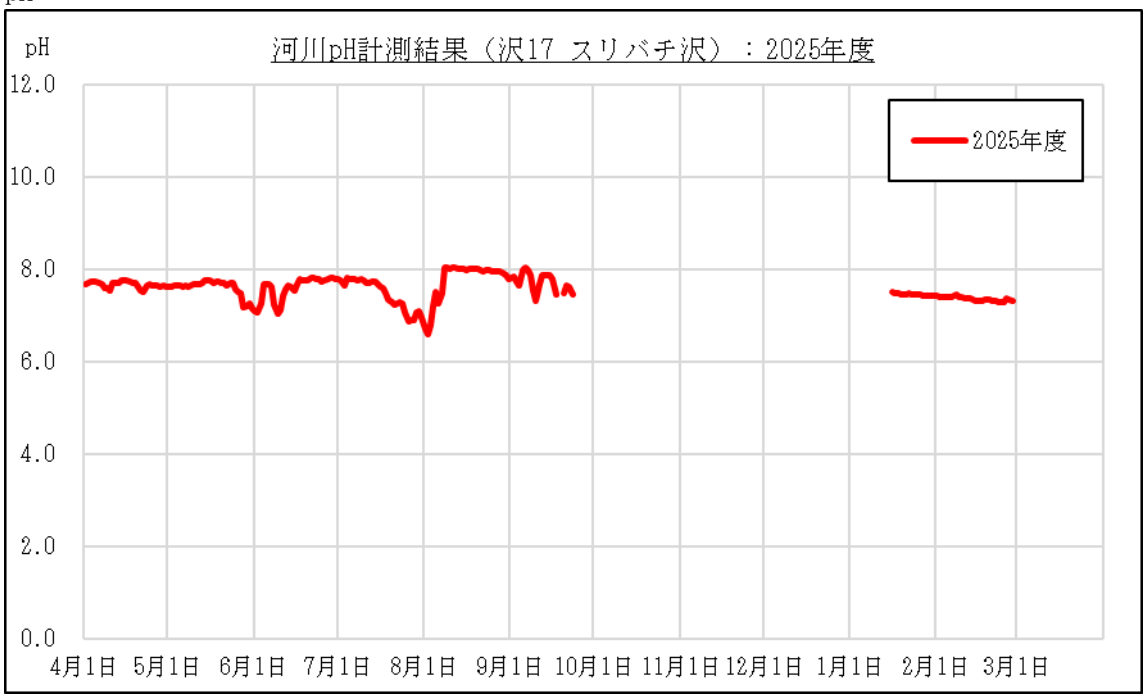


図 23　水質計測結果（沢 17 スリバチ沢（pH））

・2025年9月中旬から1月中旬までの一部期間において、沢の流量が極めて少なく、水面が水位計のセンサ部まで届かなかったため、欠測しています。
・1月中旬からは代替箇所での計測を再開しています。

電気伝導率（EC）

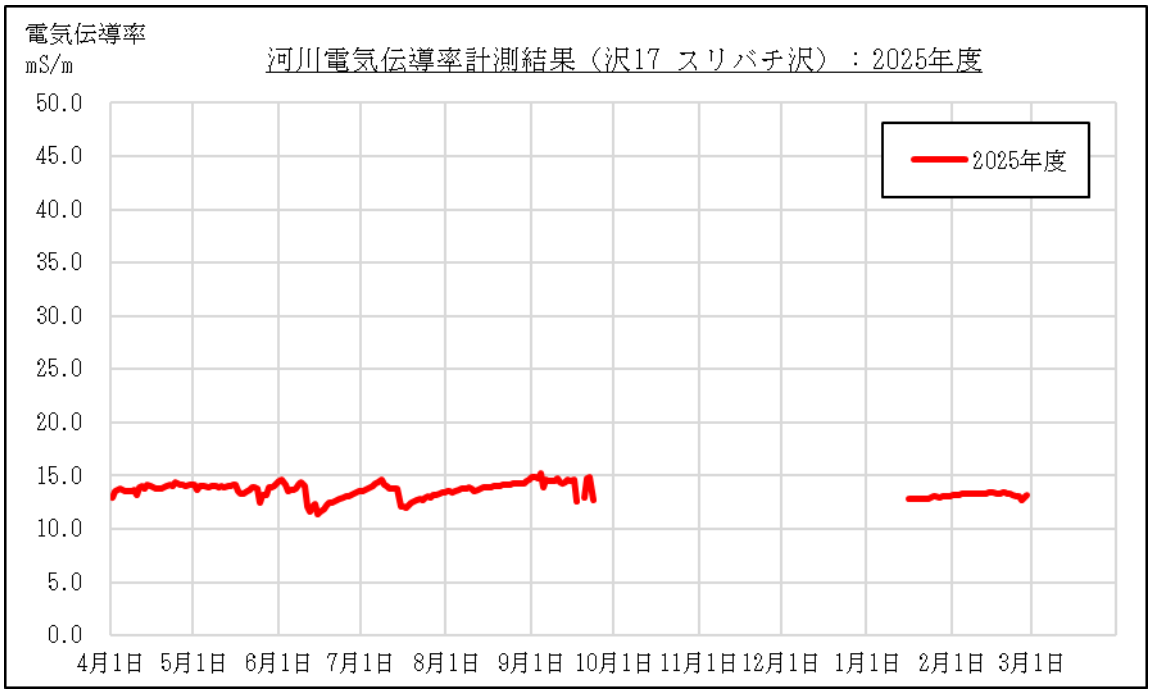


図 24　水質計測結果（沢 17 スリバチ沢（電気伝導率（EC））

・2025年9月中旬から1月中旬までの一部期間において、沢の流量が極めて少なく、水面が水位計のセンサ部まで届かなかったため、欠測しています。
・1月中旬からは代替箇所での計測を再開しています。

1.2 河川・沢の水質（月１回計測）【事後調査及びモニタリング計画通し番号 7、31、32】

1.2.5 調査期間

河川・沢の水質（月１回計測）の調査期間を表 8～表 10 に示します。

表 8　調査期間（河川・沢の水質（月１回計測））（2014 年度～2017 年度）

調査地点	調査年度	調査期間
河 01 西俣堰堤上流 河 02 西俣（放流箇所下流） 河 03 東俣第一測水所 河 04 東俣堰堤上流 河 06 田代ダム上流 河 07 田代ダム下流 河 09 木賊測水所 沢 07 蛇抜沢	2014 年度	2014 年５月 27 日～５月 31 日 2014 年６月 17 日～６月 19 日 2014 年７月８日～７月 10 日 2014 年８月 26 日～８月 27 日、８月 29 日 2014 年９月 23 日～９月 25 日 2014 年 10 月 25 日～10 月 27 日 2014 年 11 月４日～11 月６日 2014 年 12 月２日～12 月５日、12 月 11 日
河 01 西俣堰堤上流 河 02 西俣（放流箇所下流） 河 03 東俣第一測水所 河 04 東俣堰堤上流 河 06 田代ダム上流 河 07 田代ダム下流 河 09 木賊測水所 河 10-2 椹島（放流箇所下流①）（2015 年 12 月開始）※２ 沢 07 蛇抜沢 沢 33 北俣・中俣合流部付近（2015 年６月開始）※１	2015 年度	2015 年４月 28 日～５月１日 2015 年５月 22 日～５月 24 日 2015 年６月 28 日～６月 30 日 2015 年８月３日～８月５日 2015 年８月 25 日～８月 27 日 2015 年９月 23 日～９月 25 日 2015 年 10 月６日～10 月８日 2015 年 11 月４日～11 月６日 2015 年 12 月１日～12 月３日
	2016 年度	2016 年４月 28 日～５月１日 2016 年５月 18 日～５月 20 日、 ５月 29 日～５月 30 日 2016 年６月７日～６月９日 2016 年７月４日～７月７日 2016 年８月１日～８月３日 2016 年９月６日～９月８日 2016 年 10 月４日～10 月７日 2016 年 11 月３日～11 月５日 2016 年 12 月２日～12 月４日
	2017 年度	2017 年４月 28 日～４月 30 日 2017 年５月 16 日～５月 19 日 2017 年６月６日～６月７日、６月９日 2017 年７月４日、７月６日 ～ ７月７日 2017 年８月２日～８月４日 2017 年９月５日～９月７日 2017 年 10 月３日～10 月５日 2017 年 11 月３日～11 月４日、 11 月 17 日、11 月 19 日 2017 年 12 月４日～12 月６日

注１：「※１」は大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015年６月以降に事後調査（月１回計測）地点として追加しています。

注２：「※２」は大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015年12月以降にモニタリング（年２回計測）から事後調査（月１回計測）に変更しています。

表 9　調査期間（河川・沢の水質（月１回計測））（2018 年度～2021 年度）

調査地点	調査年度	調査期間
河 01 西俣堰堤上流 河 02 西俣（放流箇所下流） 河 03 東俣第一測水所 河 04 東俣堰堤上流 河 06 田代ダム上流 河 07 田代ダム下流 河 09 木賊測水所 河 10-2 椹島（放流箇所下流①） （2015 年 12 月開始）※２ 沢 07 蛇抜沢 沢 33 北俣・中俣合流部付近 （2015 年 6 月開始）※１	2018 年度	2018 年５月 10 日～５月 13 日 2018 年５月 24 日～５月 26 日 2018 年６月５日～６月７日 2018 年７月３日、７月４日、 ７月 18 日、７月 19 日 2018 年８月１日～８月４日 2018 年９月 19 日～９月 21 日 2018 年 10 月 16 日～10 月 19 日 2018 年 11 月２日～11 月５日 2018 年 12 月２日～12 月４日 2019 年１月 16 日、１月 17 日 2019 年２月 13 日、２月 14 日 2019 年３月 12 日、３月 13 日
	2019 年度	2019 年４月 30 日～2019 年５月２日 2019 年５月 14 日、５月 15 日 2019 年６月４日、６月５日 2019 年７月 12 日、７月 13 日、７月 31 日 2019 年８月１日～８月４日 2019 年９月４日、９月５日 2019 年 10 月２日、10 月３日 2019 年 11 月 20 日 ～ 11 月 22 日 2019 年 12 月５日、12 月６日 2020 年１月 21 日、１月 22 日 2020 年２月 11 日、２月 12 日 2020 年３月 10 日、３月 12 日、３月 13 日
河 01 西俣堰堤上流 河 02 西俣（放流箇所下流） 河 03 東俣第一測水所 河 04 東俣堰堤上流 河 06 田代ダム上流 河 07 田代ダム下流 河 09 木賊測水所 河 10-2 椹島（放流箇所下流①） （2015 年 12 月開始）※２ 沢 07 蛇抜沢 沢 32 赤石沢 （2021 年 1 月以降）※３ 沢 33 北俣・中俣合流部付近 （2015 年 6 月開始）※１	2020 年度	2020 年５月 28 日～５月 30 日 2020 年６月９日、６月 10 日 2020 年８月 25 日～８月 27 日、８月 29 日 2020 年９月 15 日、９月 16 日 2020 年 10 月６日、10 月７日 2020 年 11 月１日～11 月４日 2020 年 12 月 15 日～12 月 17 日 2021 年１月 19 日、１月 20 日 2021 年２月２日、２月３日 2021 年３月２日～３月４日
	2021 年度	2021 年４月 13 日～４月 15 日 2021 年５月 11 日～５月 13 日 2021 年６月８日、６月９日 2021 年７月 13 日、７月 14 日、７月 31 日 2021 年８月１日～８月３日 2021 年９月 14 日、９月 15 日 2021 年 10 月 12 日～10 月 14 日 2021 年 11 月 12 日～11 月 15 日 2021 年 12 月 14 日、12 月 15 日 2022 年１月 12 日～１月 14 日 2022 年３月 12 日、３月 13 日

注１：「※１」は大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015年６月以降に事後調査（月１回計測）地点として追加しています。

注２：「※２」は大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015年12月以降にモニタリング（年２回計測）から事後調査（月１回計測）に変更しています。

注３：「※３」は有識者会議での議論を踏まえて、2021年１月から月１回計測地点に追加しています。

表 10　調査期間（河川・沢の水質（月１回計測））（2022 年度～2025 年度）

調査地点	調査年度	調査期間
河 01 西俣堰堤上流 河 02 西俣（放流箇所下流） 河 03 東俣第一測水所 河 04 東俣堰堤上流 河 06 田代ダム上流 河 07 田代ダム下流 河 09 木賊測水所 河 10-2 椹島（放流箇所下流①） （2015 年 12 月開始）※２ 沢 07 蛇抜沢 沢 32 赤石沢 （2021 年 1 月以降）※３ 沢 33 北俣・中俣合流部付近 （2015 年 6 月開始）※１	2022 年度	2022 年４月 14 日～４月 16 日 2022 年５月 10 日、５月 11 日 2022 年６月１日、６月２日 2022 年７月１日～７月３日 2022 年８月 10 日～８月 12 日 2022 年９月１日～９月３日 2022 年 10 月 27 日、10 月 28 日 2022 年 11 月 10 日～11 月 12 日、11 月 30 日 2022 年 12 月１日～12 月３日、12 月 15 日 2023 年１月 11 日、１月 12 日 2023 年２月２日、２月３日 2023 年３月２日、３月３日
	2023 年度	2023 年４月 13 日、４月 14 日、４月 27 日、４月 28 日 2023 年５月 25 日～５月 27 日 2023 年６月 16 日～６月 18 日、６月 30 日 2023 年７月 28 日、７月 29 日 2023 年８月 10 日～８月 12 日 2023 年９月１日、９月２日 2023 年 10 月 13 日～10 月 15 日 2023 年 11 月２日～11 月４日 2023 年 12 月１日～12 月３日 2023 年１月 12 日、１月 13 日※２ 2023 年２月１日、２月２日※２ 2023 年３月１日、３月２日、３月 15 日
河 01 西俣堰堤上流 河 02 西俣（放流箇所下流） 河 03 東俣第一測水所 河 04 東俣堰堤上流 河 06 田代ダム上流 河 07 田代ダム下流 河 09 木賊測水所 河 10-2 椹島（放流箇所下流①） （2015 年 12 月開始）※２ 沢 07 蛇抜沢 沢 15 二軒小屋南西の沢 （2024 年 6 月開始）※４ 沢 16 上スリバチ沢 （2024 年 6 月開始）※４ 沢 26 虎杖沢 （2024 年 6 月開始）※４ 沢 31 奥西河内川 （2024 年 6 月開始）※４ 沢 32 赤石沢 （2021 年 1 月以降）※３ 沢 33 北俣・中俣合流部付近 （2015 年 6 月開始）※１	2024 年度	2024 年４月 25 日、４月 26 日 2024 年５月 11 日、５月 12 日、５月 30 日 2024 年６月 14 日 ～ ６月 16 日、６月 27 日 2024 年７月 11 日、７月 26 日、７月 27 日 2024 年８月１日 ～ ８月３日、８月 25 日 2024 年９月６日、９月７日、９月 18 日 2024 年 10 月１日 ～ 10 月３日、10 月 17 日 2024 年 11 月６日、11 月 14 日 ～ 11 月 17 日 2024 年 12 月３日 ～ 12 月５日、12 月 18 日 2025 年１月８日、１月 21 日 2025 年２月４日、２月５日 2025 年３月５日、３月６日
	2025 年度	2025 年４月 26 日～４月 28 日 2025 年５月８日～５月 10 日 2024 年６月３日～６月５日 2024 年７月８日～７月 11 日 2024 年８月４日～８月６日、８月 25 日 2024 年９月１日～９月４日 2024 年 10 月６日～10 月９日 2024 年 11 月４日～11 月７日 2024 年 12 月１日～12 月４日 2025 年１月 14 日～１月 16 日 2025 年２月３日～２月５日 2025 年３月３日～３月５日

注１：「※１」は大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015年６月以降に事後調査（月１回計測）地点として追加しています。
注２：「※２」は大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015年12月以降にモニタリング（年２回計測）から事後調査（月１回計測）に変更しています。
注３：「※３」は有識者会議での議論を踏まえて、2021年１月から月１回計測地点に追加しています。
注４：「※４」は有識者会議での議論を踏まえ、トンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2024年6月から月１回計測地点に追加しています。

1.2.6 河 01 西俣堰堤上流

1.2.6.1 調査結果（2025 年度）

2025 年度の河 01 西俣堰堤上流の調査結果を表 11 に示します。

表 11　水質計測結果（河 01 西俣堰堤上流）（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
河 01	西俣堰堤上流	流量（m^3/min）	145.2	223.8	238.2	102.6	289.8	90.0	71.4	75.0	46.2	–※1	20.4	26.4
		水温（℃）	5.4	6.4	6.7	11.3	13.6	11.5	11.6	7.2	3.1	–※1	1.6	4.0
		pH	8.0	8.0	7.9	8.0	7.9	7.8	8.1	8.1	8.0	–※1	7.9	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	9.3	8.7	7.7	9.1	9.9	9.5	10.3	10.0	10.4	–※1	11.5	12.4

注：「※1」は積雪のため、作業上の安全確保の観点から欠測しています。

1.2.6.2 調査結果（過年度）

過年度の河 01 西俣堰堤上流の調査結果を表 12 及び図 25～図 27 に示します。

表 12　水質計測結果（河 01 西俣堰堤上流）（過年度）

調査年度	河 01 西俣堰堤上流								
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2014年度	6.9	12.0	1.3	7.6	8.0	7.0	8.1	9.1	6.5
2015年度	8.0	12.7	3.5	7.1	7.9	6.5	8.9	10.3	6.8
2016 年度	8.5	12.0	4.0	7.8	8.5	7.1	8.7	10.0	7.0
2017 年度	7.5	12.2	2.6	7.8	8.2	7.4	8.7	9.8	7.2
2018 年度	8.6	12.4	3.6	7.9	8.1	7.8	8.9	10.1	8.2
2019 年度	7.3	11.7	2.4	7.9	8.1	7.7	9.1	11.0	7.6
2020 年度	6.7	13.9	0.3	7.9	8.1	7.5	9.6	11.8	7.3
2021 年度	8.0	11.7	2.2	8.0	8.2	7.6	9.1	10.5	7.9
2022 年度	7.7	13.0	3.4	8.0	8.2	7.8	9.5	10.8	8.0
2023 年度	9.2	14.0	3.0	8.0	8.3	7.4	9.6	11.4	8.1
2024 年度	9.8	13.8	6.3	8.0	8.3	7.7	9.1	10.4	7.3
2025 年度	7.5	13.6	1.6	8.0	8.1	7.8	9.9	12.4	7.7
過年度	8.0	14.0	0.3	7.8	8.5	6.5	9.1	12.4	6.5

水温

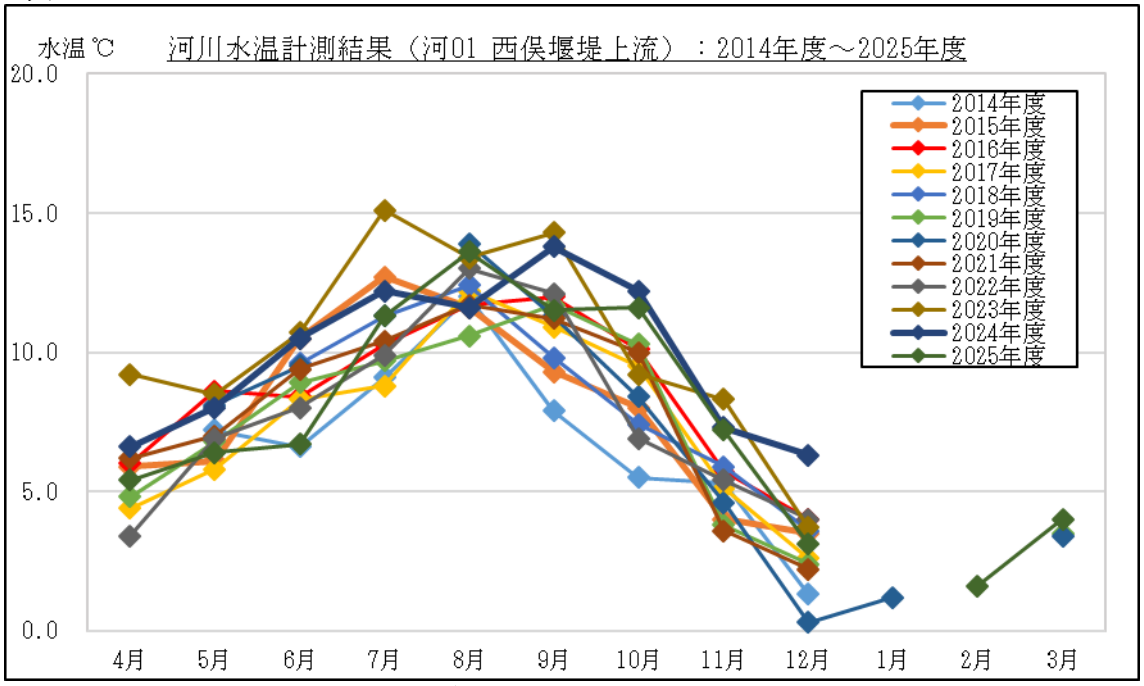


図 25　水質計測結果（河 01 西俣堰堤上流）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

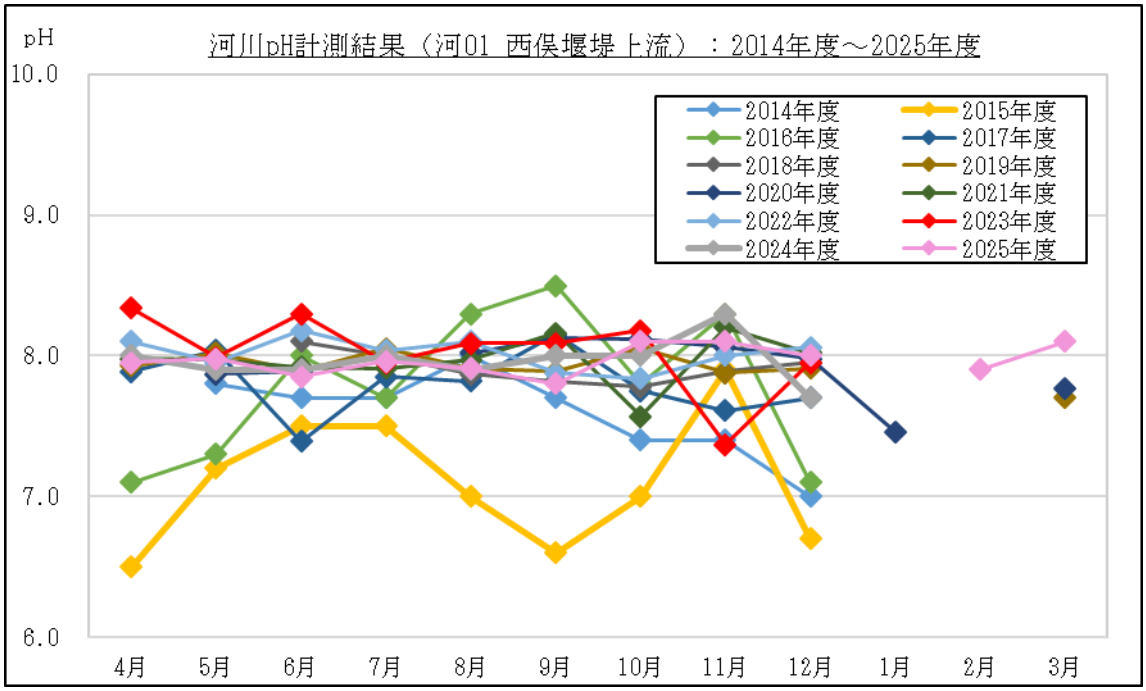


図 26　水質計測結果（河 01 西俣堰堤上流）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

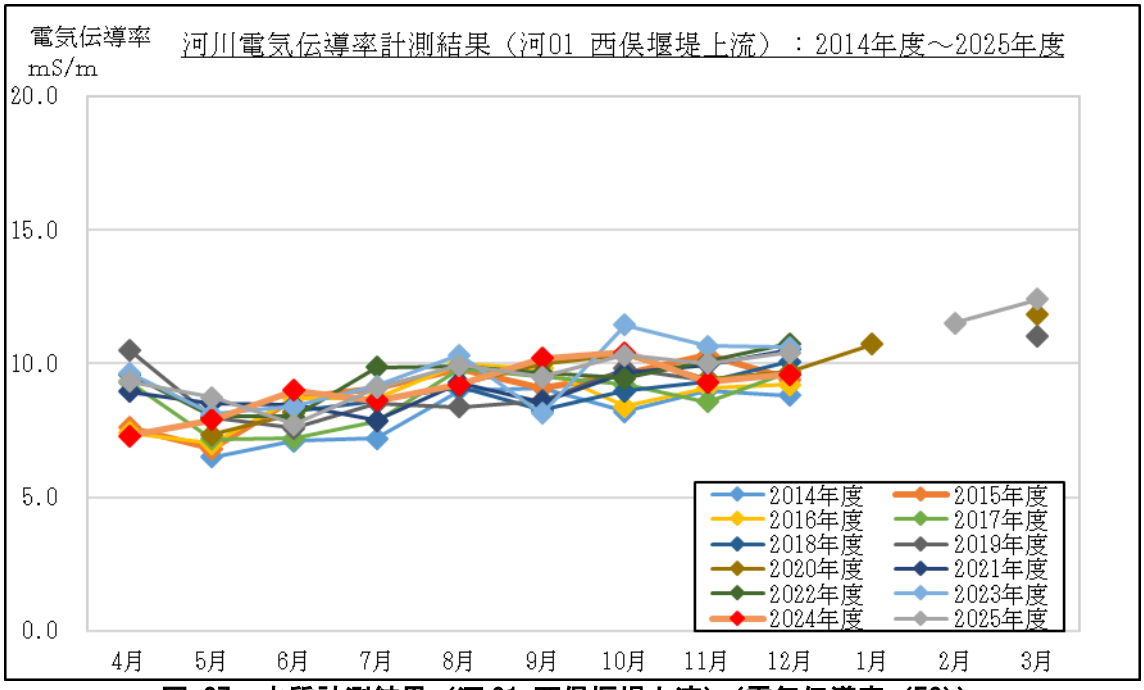


図 27　水質計測結果（河 01 西俣堰堤上流）（電気伝導率（EC））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.2.7 河 02 西俣（放流箇所下流）

1.2.7.1 調査結果（2025 年度）

2025 年度の河 02 西俣（放流箇所下流）の調査結果を表 13 に示します。

表 13　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度										
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
河 02	西俣（放流箇所下流）	流量（m^3/min）	※1											
		水温（℃）	5.7	5.7	7.9	11.6	17.1	12.0	11.2	5.8	4.0	2.7	1.6	4.2
		pH	7.9	8.1	8.0	7.9	8.2	7.9	8.2	8.1	7.8	8.3	8.2	8.3
		電気伝導率（EC）（mS/m）	9.8	12.0	10.7	10.7	13.1	13.1	13.7	11.7	14.5	14.7	15.2	15.2

注：「※1」は常時計測を実施しています。調査結果については「2-2-3 水資源」にて記載しています。

1.2.7.2 調査結果（過年度）

過年度の河 02 西俣（放流箇所下流）の調査結果を表 14 及び図 28～図 30 に示します。

表 14　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流）（過年度）

調査年度	河 02 西俣（放流箇所下流）								
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2014年度	8.6	13.3	1.7	7.9	8.3	7.6	10.2	12.4	8.2
2015年度	9.0	13.0	3.8	7.5	8.1	7.2	10.9	12.4	7.7
2016 年度	9.5	13.9	4.5	7.8	8.5	7.1	11.1	13.2	8.7
2017 年度	8.6	14.2	3.3	7.8	8.1	7.5	10.5	12.0	9.3
2018 年度	7.1	15.6	1.5	8.1	8.6	7.7	11.5	14.8	7.6
2019 年度	6.9	14.4	2.5	8.0	8.3	7.9	12.4	14.1	10.2
2020 年度	6.7	13.6	1.0	8.1	8.2	7.6	11.7	13.7	9.0
2021 年度	8.1	13.7	-0.1	8.0	8.3	7.8	12.0	13.8	9.1
2022 年度	8.4	14.0	3.1	8.3	8.8	7.9	12.0	12.8	10.4
2023 年度	10.3	15.1	3.7	8.2	8.5	7.0	12.7	13.8	11.0
2024 年度	9.6	14.0	4.5	8.0	8.3	7.8	11.3	14.2	9.2
2025 年度	7.5	17.1	1.6	8.1	8.3	7.8	12.9	15.2	9.8
過年度	8.4	17.1	-0.1	8.0	8.8	7.0	11.6	15.2	7.6

水温

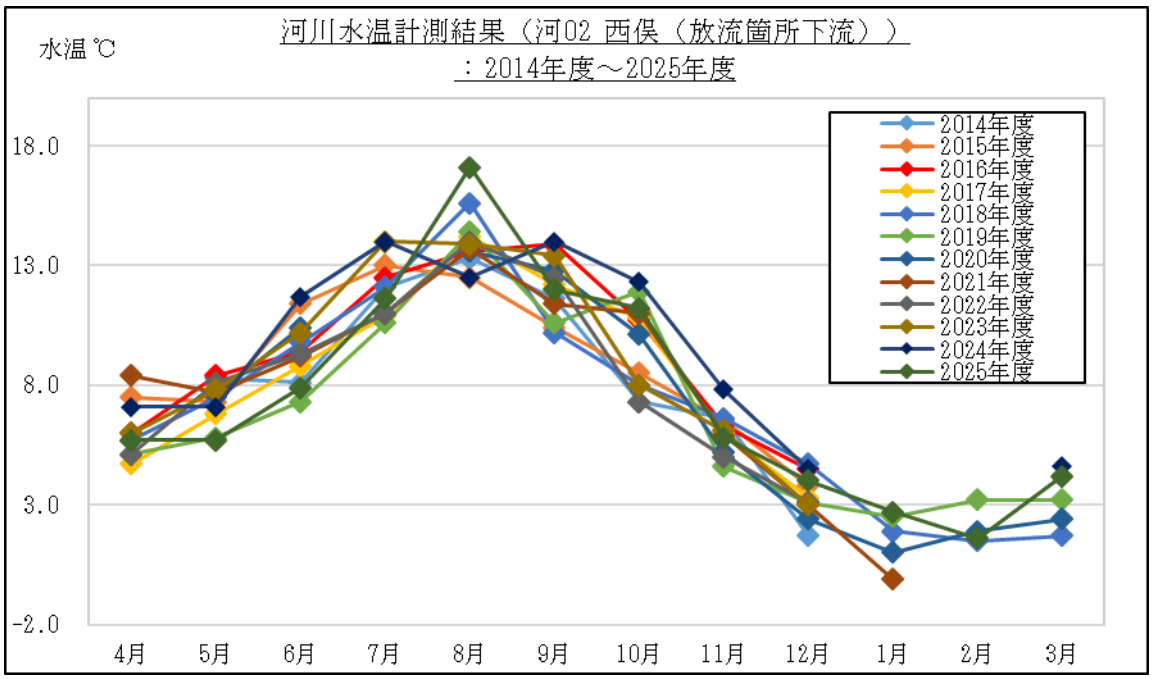


図 28　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流））（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

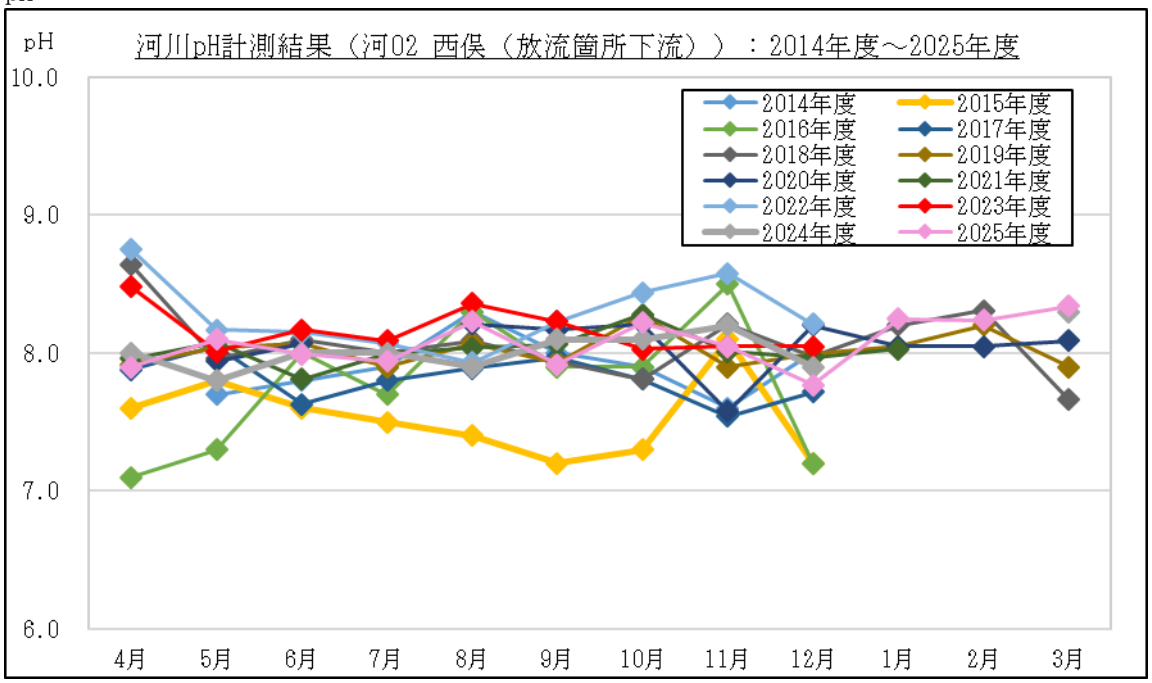


図 29　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流））（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

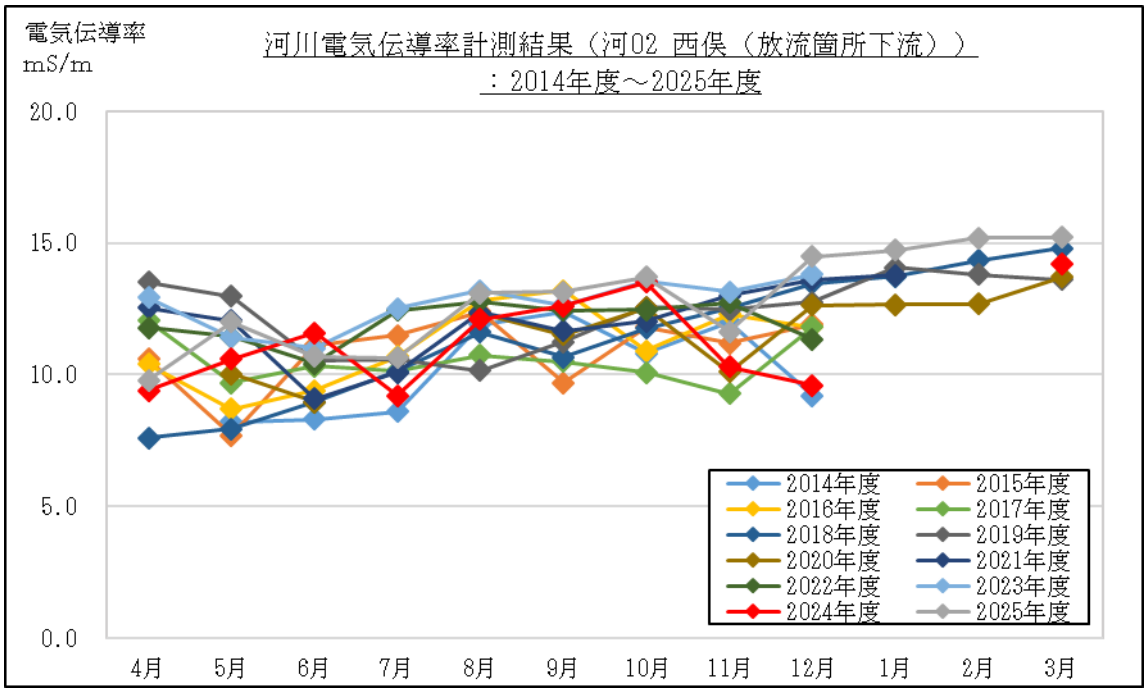


図 30　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流））（電気伝導率（EC））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.2.8 河 03 東俣第一測水所

1.2.8.1 調査結果（2025 年度）

河 03 東俣第一測水所の 2025 年度の調査結果を表 15 に示します。

表 15　水質計測結果（河 03 東俣第一測水所）（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
河 03	東俣第一測水所	流量（m^3/min）	※1											
		水温（℃）	3.7	9.0	9.4	12.8	17.2	13.4	12.1	8.5	3.6	1.1	0.6	2.2
		pH	8.0	8.0	7.4	8.0	8.0	7.9	8.1	8.1	8.1	8.1	7.7	7.8
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.2	9.6	11.9	12.9	11.9	12.9	13.9	11.4	14.0	14.0	14.3	13.7

注：「※1」は電力会社による常時計測結果を使用しています。調査結果については「2-2-3 水資源」にて記載しています。

1.2.8.2 調査結果（過年度）

河 03 東俣第一測水所の過年度の調査結果を表 16 及び図 31～図 33 に示します。

表 16 水質計測結果（河 03 東俣第一測水所）（過年度）

調査年度	河 03 東俣第一測水所								
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2014年度	8.4	11.9	2.3	7.8	8.0	7.5	10.2	12.2	8.0
2015年度	10.4	16.9	4.8	7.6	8.2	7.0	11.5	12.9	8.3
2016 年度	10.8	15.3	5.0	7.5	8.1	6.8	12.0	13.7	7.7
2017 年度	8.9	13.0	1.5	7.7	7.9	7.3	11.1	13.5	9.3
2018 年度	8.1	17.5	1.8	7.8	8.2	7.0	12.2	14.0	8.6
2019 年度	8.0	14.5	1.7	7.9	8.2	7.6	12.4	14.4	9.8
2020 年度	6.7	13.2	0.2	8.0	8.2	7.9	11.1	13.4	8.7
2021 年度	8.6	17.0	-0.3	8.0	8.2	7.8	12.8	13.7	10.1
2022 年度	8.1	16.8	0.6	8.2	8.5	7.9	12.9	14.3	11.0
2023 年度	8.8	17.5	1.6	8.1	8.3	7.5	13.0	14.0	10.2
2024 年度	9.3	18.4	0.2	8.1	8.3	7.9	12.6	14.2	9.7
2025 年度	7.8	17.2	0.6	7.9	8.1	7.4	12.6	14.3	9.6
過年度	8.7	18.4	-0.3	7.9	8.5	6.8	12.0	14.4	7.7

水温

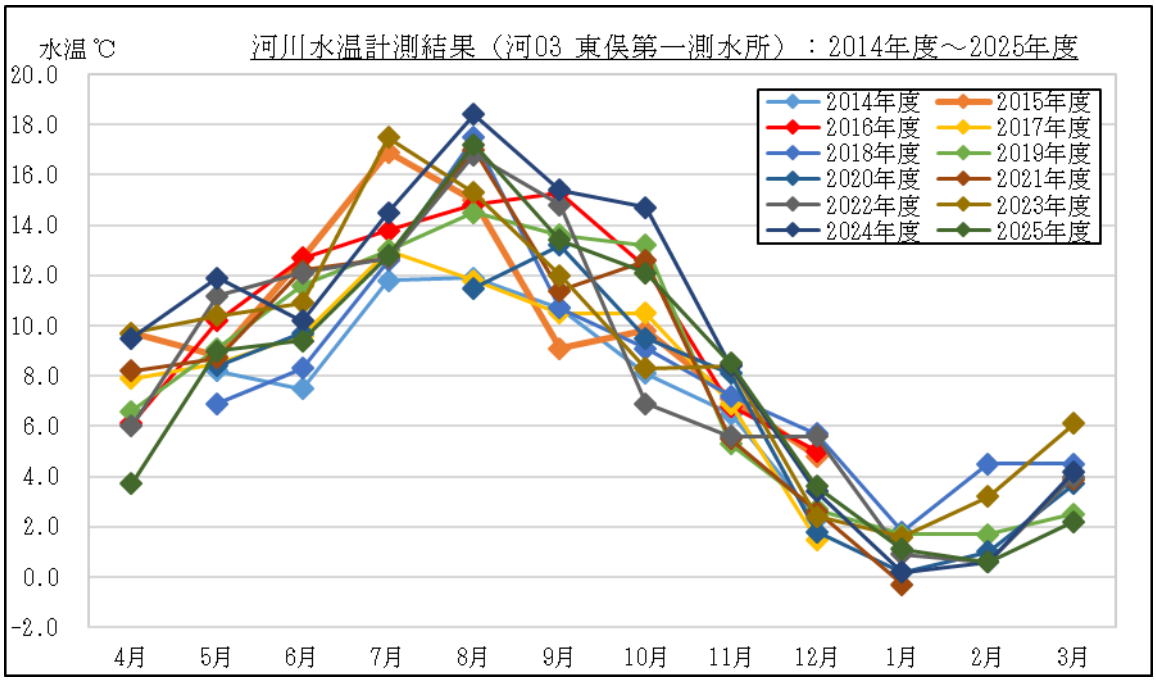


図 31　水質計測結果（河 03 東俣第一測水所）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

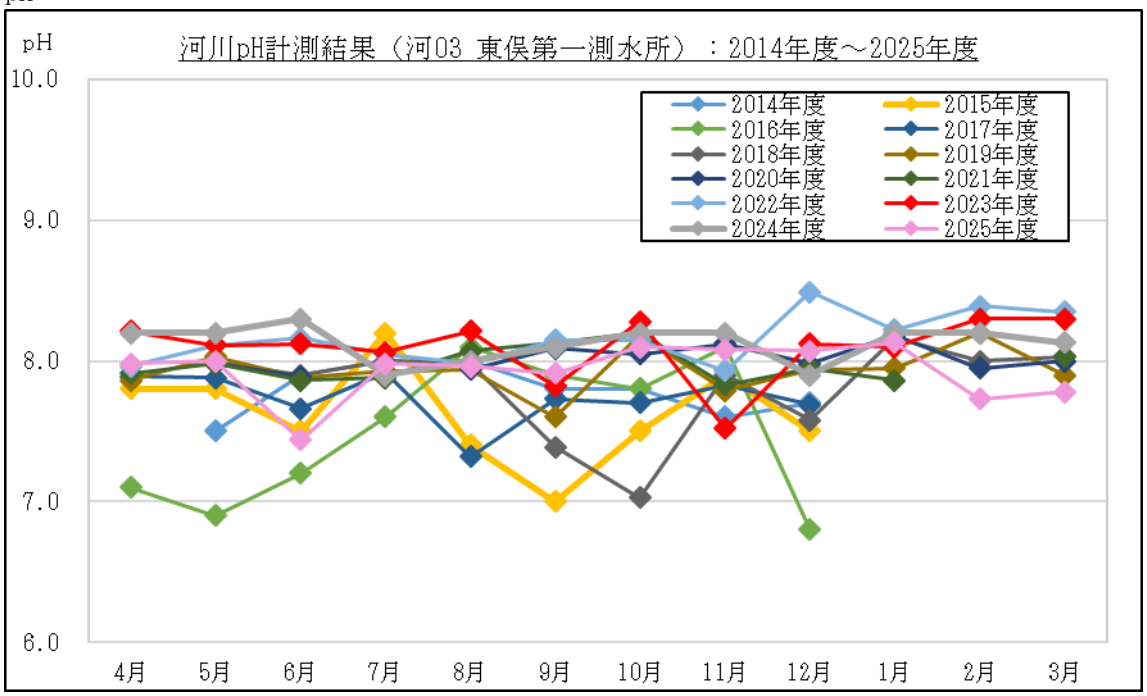


図 32　水質計測結果（河 03 東俣第一測水所）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

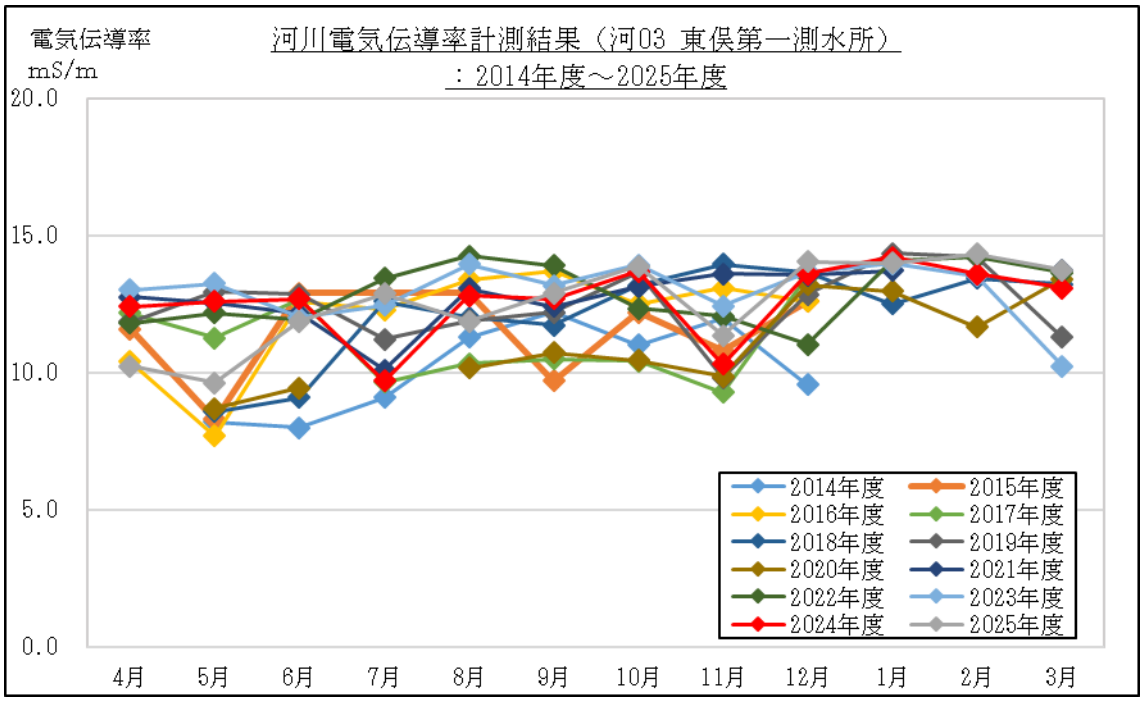


図 33　水質計測結果（河 03 東俣第一測水所）（電気伝導率（EC））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.2.9 河 04 東俣堰堤上流

1.2.9.1 調査結果（2025 年度）

河 04 東俣堰堤上流の 2025 年度の調査結果を表 17 に示します。

表 17 水質計測結果（河 04 東俣堰堤上流）（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度										
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
河 04	東俣堰堤上流	流量（m^3/min）	157.2	196.2	307.2	118.2	118.2	90.0	77.4	90.0	55.2	－※1	－※1	33.0
		水温（℃）	7.6	5.7	8.9	13.3	14.4	13.5	11.7	7.2	6.1	－※1	－※1	5.4
		pH	8.0	7.9	7.8	8.0	8.0	7.9	8.1	8.1	8.2	－※1	－※1	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	9.5	8.7	7.9	8.1	9.5	9.2	9.9	9.9	10.1	－※1	－※1	10.9

注１：「※１」は積雪のため、作業上の安全確保の観点から欠測しています。

1.2.9.2 調査結果（過年度）

河 04 東俣堰堤上流の過年度の調査結果を表 18 及び図 34～図 36 に示します。

表 18 水質計測結果（河 04 東俣堰堤上流）（過年度）

調査年度	河 04 東俣堰堤上流								
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2014年度	7.2	11.5	2.3	7.8	7.9	7.6	8.1	9.3	6.7
2015年度	7.9	12.1	4.1	7.5	8.0	7.2	8.6	9.3	7.5
2016 年度	8.7	11.4	5.4	7.8	8.2	7.1	8.4	9.3	6.8
2017 年度	7.5	10.5	3.5	7.8	8.1	7.4	8.7	9.5	7.4
2018 年度	8.9	12.2	6.0	8.0	9.0	7.3	8.2	9.3	7.3
2019 年度	9.1	11.9	6.0	7.8	8.0	7.7	9.0	10.3	7.9
2020 年度	8.1	9.8	6.4	8.0	8.1	7.8	9.2	9.3	9.1
2021 年度	8.3	11.9	4.8	7.9	8.1	7.8	9.2	9.9	7.8
2022 年度	8.4	13.0	5.6	8.0	8.3	7.8	9.5	10.0	8.6
2023 年度	9.7	16.3	4.2	8.1	8.4	7.5	9.3	10.1	8.0
2024 年度	10.5	13.3	6.7	8.0	8.3	7.7	8.9	10.0	7.8
2025 年度	9.4	14.4	5.4	8.0	8.2	7.8	9.4	10.9	7.9
過年度	8.6	16.3	2.3	7.9	9.0	7.1	8.9	10.9	6.7

水温

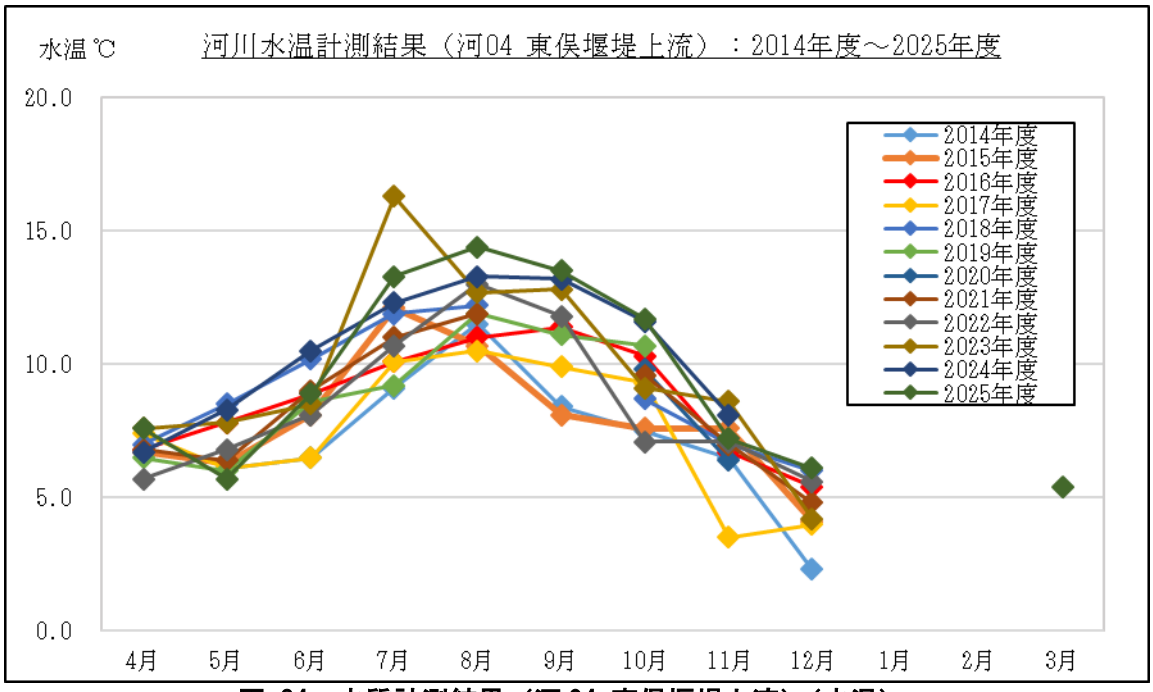


図 34　水質計測結果（河 04 東俣堰堤上流）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

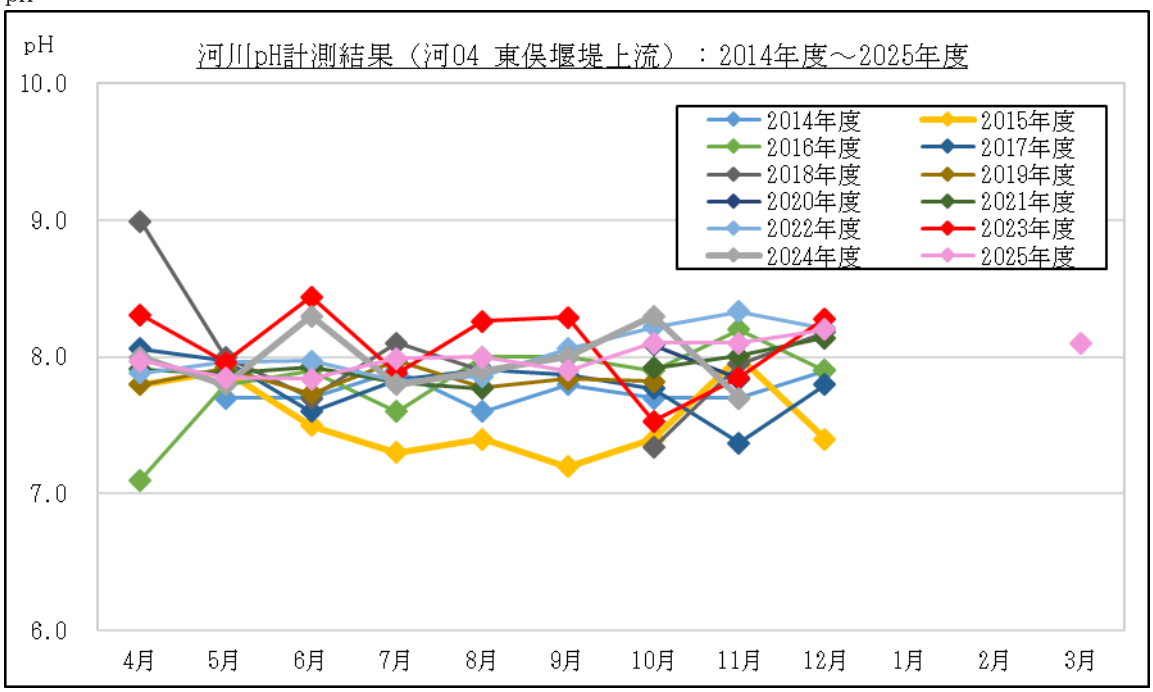


図 35　水質計測結果（河 04 東俣堰堤上流）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

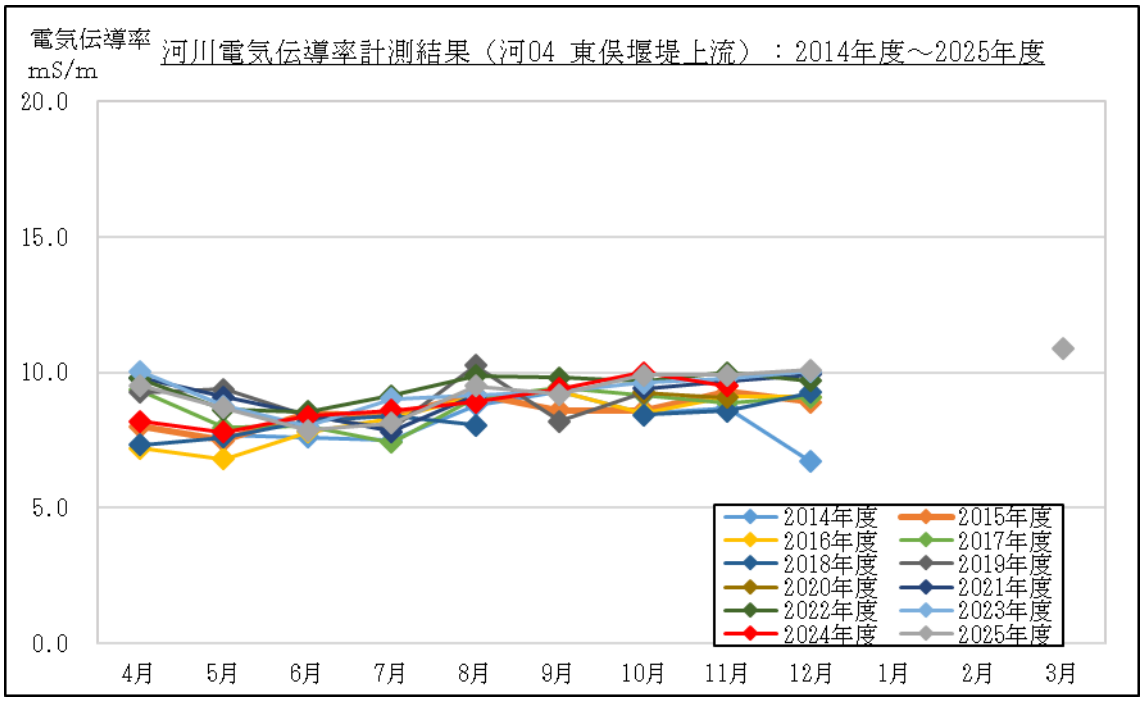


図 36　水質計測結果（河 04 東俣堰堤上流）（電気伝導率（EC））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.2.10 河 06 田代ダム上流

1.2.10.1 調査結果（2025 年度）

河 06 田代ダム上流の 2025 年度の調査結果を表 19 に示します。

表 19 水質計測結果（河 06 田代ダム上流）（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
河 06	田代ダム上流	流量（m^3/min）	435.6	－※1	－※1	443.4	337.8	239.4	247.8	208.8	184.2	116.4	108.0	126.0
		水温（℃）	8.4	6.2	8.0	12.3	15.1	11.7	10.9	8.1	3.9	1.5	2.3	1.3
		pH	8.0	7.4	7.9	7.7	7.9	7.8	8.1	8.0	8.0	8.1	8.0	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.3	10.1	9.2	10.2	9.9	11.2	11.7	12.0	12.5	13.2	13.5	13.9

注：「※1」は河川増水のため、作業上の安全確保の観点から欠測しています。

1.2.10.2 調査結果（過年度）

河 06 田代ダム上流の過年度の調査結果を表 20 及び図 37～図 39 に示します。

表 20 水質計測結果（河 06 田代ダム上流）（過年度）

調査年度	河 06 田代ダム上流								
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2014年度	8.0	12.8	1.4	7.9	8.1	7.5	9.3	10.9	6.3
2015年度	8.2	13.0	4.1	7.6	8.1	6.4	10.0	12.1	8.7
2016 年度	7.9	11.3	4.7	7.6	8.3	6.8	9.6	10.4	8.1
2017 年度	6.8	12.8	2.0	7.7	8.0	7.2	10.3	11.8	8.3
2018 年度	7.2	12.7	1.9	8.0	8.9	7.6	10.3	12.7	7.9
2019 年度	6.2	10.6	1.9	7.9	8.1	7.6	10.7	12.7	9.3
2020 年度	6.1	12.5	1.0	8.0	8.2	7.9	11.2	13.1	9.0
2021 年度	7.1	12.9	0.4	7.9	8.1	7.8	11.2	13.6	9.7
2022 年度	6.8	14.0	1.8	8.0	8.4	7.6	11.5	13.8	9.4
2023 年度	7.3	13.4	1.9	8.0	8.4	7.3	11.1	12.8	8.7
2024 年度	8.2	15.5	1.0	8.1	8.4	8.0	11.3	13.2	9.2
2025 年度	7.5	15.1	1.3	7.9	8.1	7.4	11.5	13.9	9.2
過年度	7.3	15.5	0.4	7.9	8.9	6.4	10.7	13.9	6.3

水温

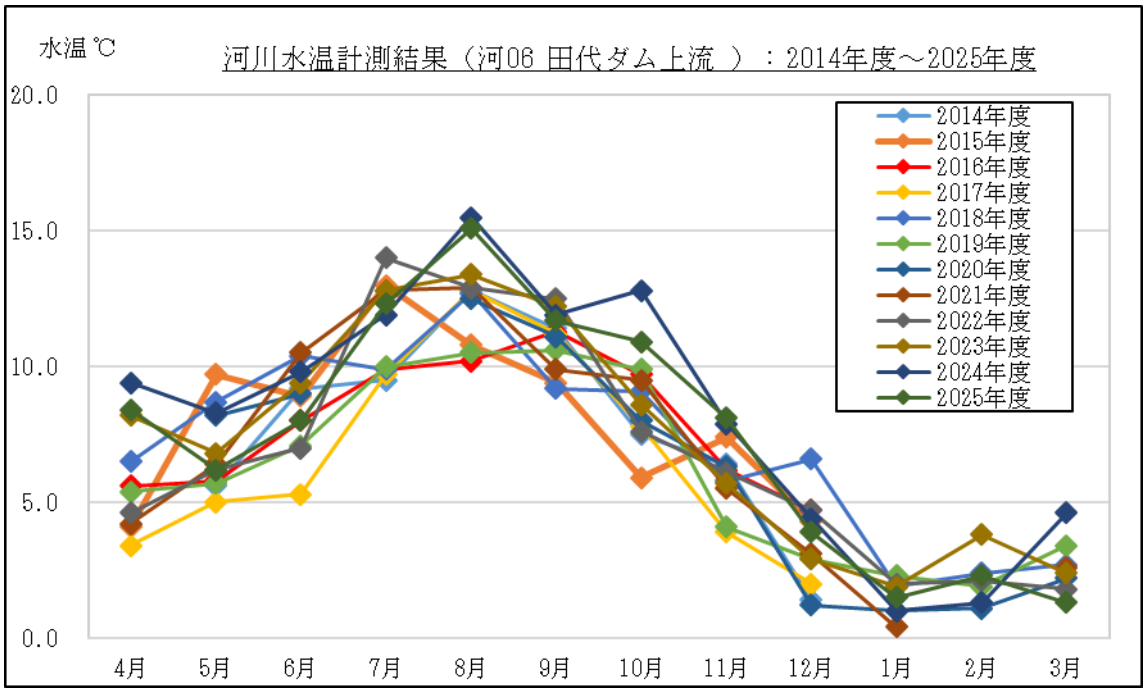


図 37　水質計測結果（河 06 田代ダム上流）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

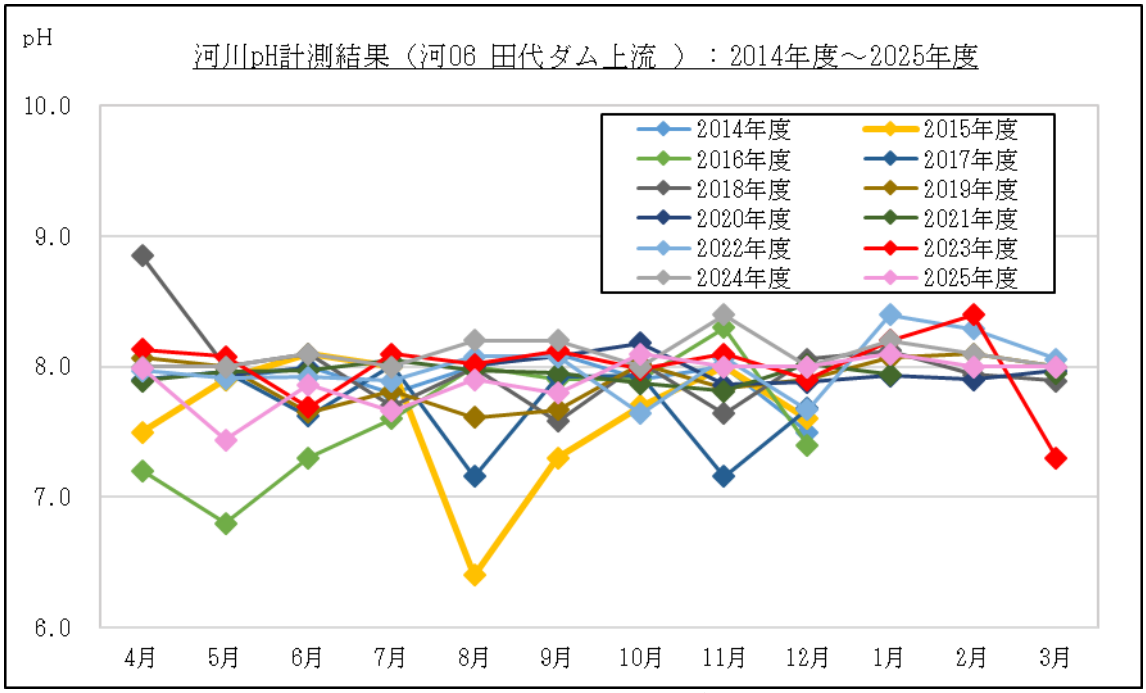


図 38　水質計測結果（河 06 田代ダム上流）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

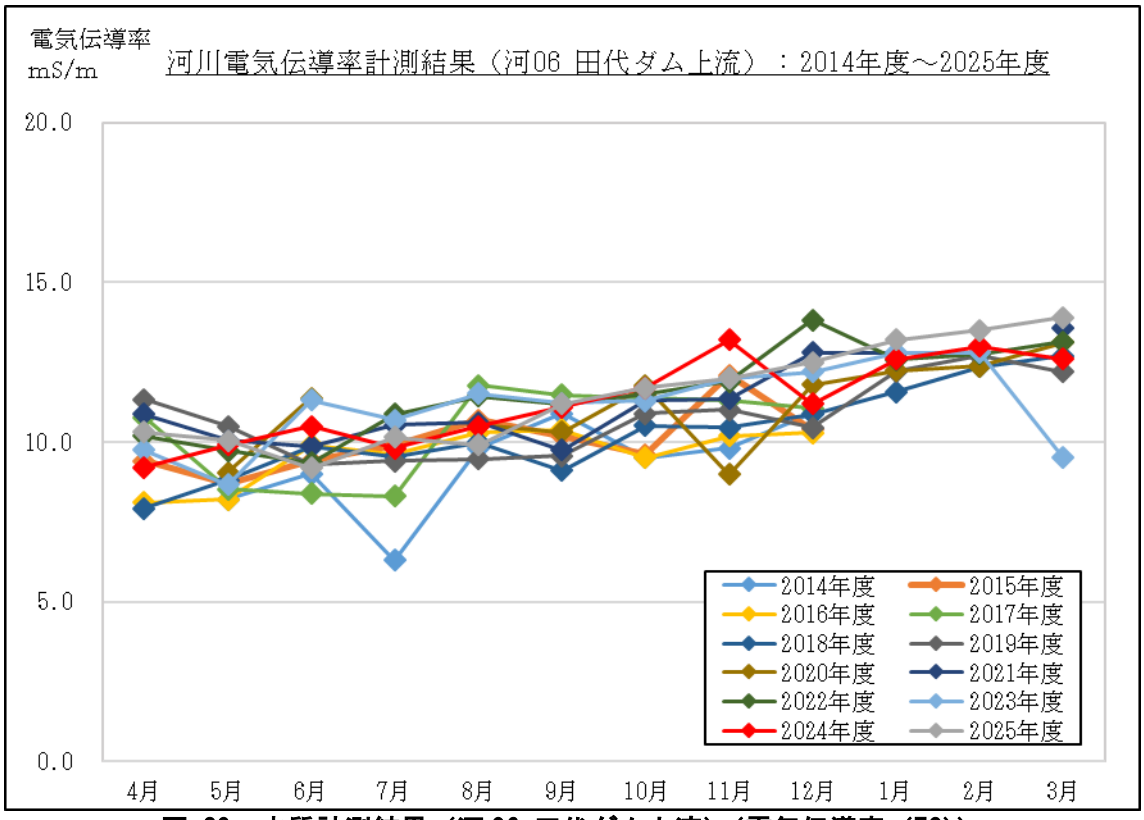


図 39　水質計測結果（河 06 田代ダム上流）（電気伝導率（EC））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.2.11 河 07 田代ダム下流

1.2.11.1 調査結果（2025 年度）

河 07 田代ダム下流の 2025 年度の調査結果を表 21 に示します。

表 21　水質計測結果（河 07 田代ダム下流）（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度															
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月※2		2 月※2				3 月※2	
河 07	田代ダム下流	流量 (m^3/min)	516.6	604.2	−※1	447.0	310.8	358.8	268.8	242.4	174.6	100.0	139.1	87.7	83.3	132.1	112.1	112.0	83.0
		水温（℃）	5.7	7.0	8.1	13.4	18.0	12.9	11.5	6.7	4.7	2.6	2.9	2.7	2.0	5.2	1.8	3.1	4.6
		pH	7.8	7.9	8.0	7.6	8.0	7.6	8.0	8.0	8.3	8.1	7.9	7.7	7.7	8.0	8.1	8.2	7.5
		電気伝導率 (EC) (mS/m)	11.7	14.8	7.0	10.2	11.4	12.5	11.5	12.1	13.0	15.3	14.0	13.5	14.2	13.6	14.3	14.2	13.7

注１：「※１」は河川増水のため、作業上の安全確保の観点から欠測しています。

注２：「※２」は山梨県境付近の山梨県内の先進坑掘削に伴うリスク管理として頻度を上げて調査を実施しています。

1.2.11.2 調査結果（過年度）

河 07 田代ダム下流の 2025 年度の調査結果を表 22 及び図 40～図 42 に示します。

表 22 水質計測結果（河 07 田代ダム下流）（過年度）

調査年度	河 07 田代ダム下流								
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2014年度	7.7	12.0	2.0	7.8	7.9	7.5	10.4	15.4	8.3
2015年度	8.6	12.3	4.6	7.6	8.0	6.7	10.1	11.7	8.7
2016 年度	8.5	11.9	4.6	7.7	8.3	7.2	9.6	10.7	7.9
2017 年度	7.3	13.2	2.2	7.6	8.0	7.1	10.3	11.6	8.6
2018 年度	7.3	14.3	1.3	8.0	8.9	7.6	10.6	13.6	8.0
2019 年度	6.4	11.3	1.8	7.9	8.2	7.7	10.9	13.1	9.1
2020 年度	6.2	11.8	0.3	8.0	8.1	7.7	11.2	13.0	9.1
2021 年度	6.8	11.9	0.9	8.0	8.4	7.8	11.2	13.6	9.8
2022 年度	6.6	13.6	1.7	8.1	8.4	7.7	11.2	13.1	9.3
2023 年度	8.0	14.0	2.4	8.1	8.4	7.6	11.2	12.5	9.6
2024 年度	9.0	15.5	1.5	8.1	8.5	7.6	10.7	13.1	8.5
2025 年度	6.5	18.0	1.8	7.9	8.3	7.5	12.8	15.3	7.0
過年度	7.4	18.0	0.3	7.9	8.9	6.7	10.9	15.4	7.0

水温

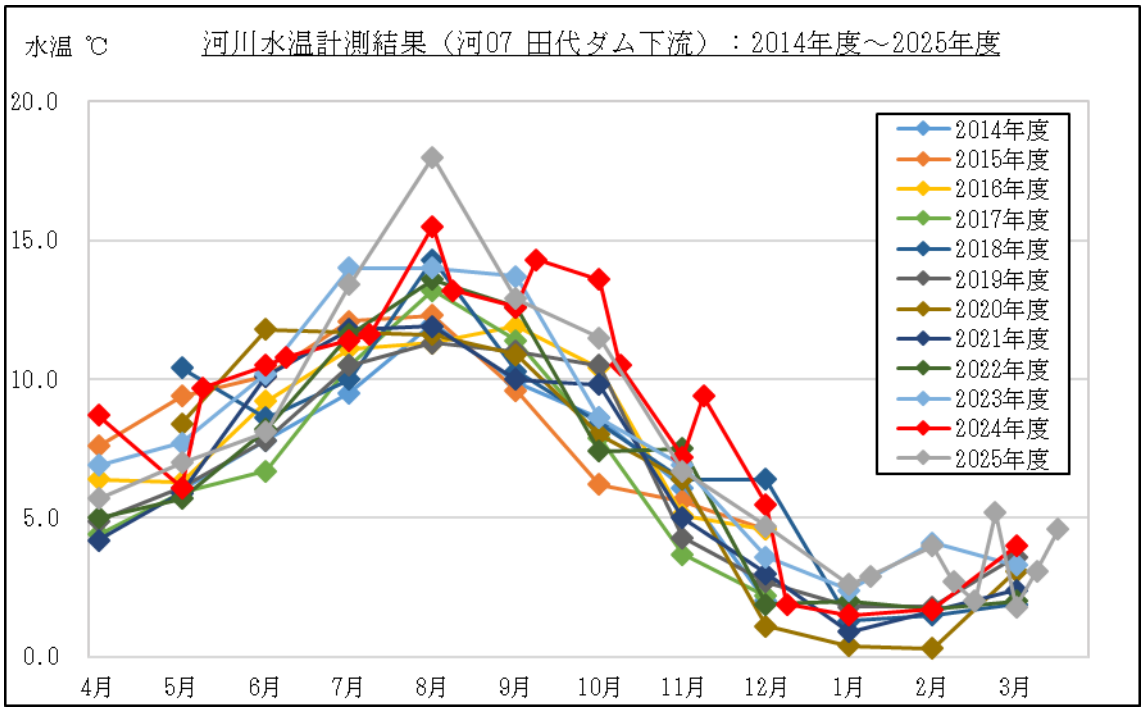


図 40　水質計測結果（河 07 田代ダム下流）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

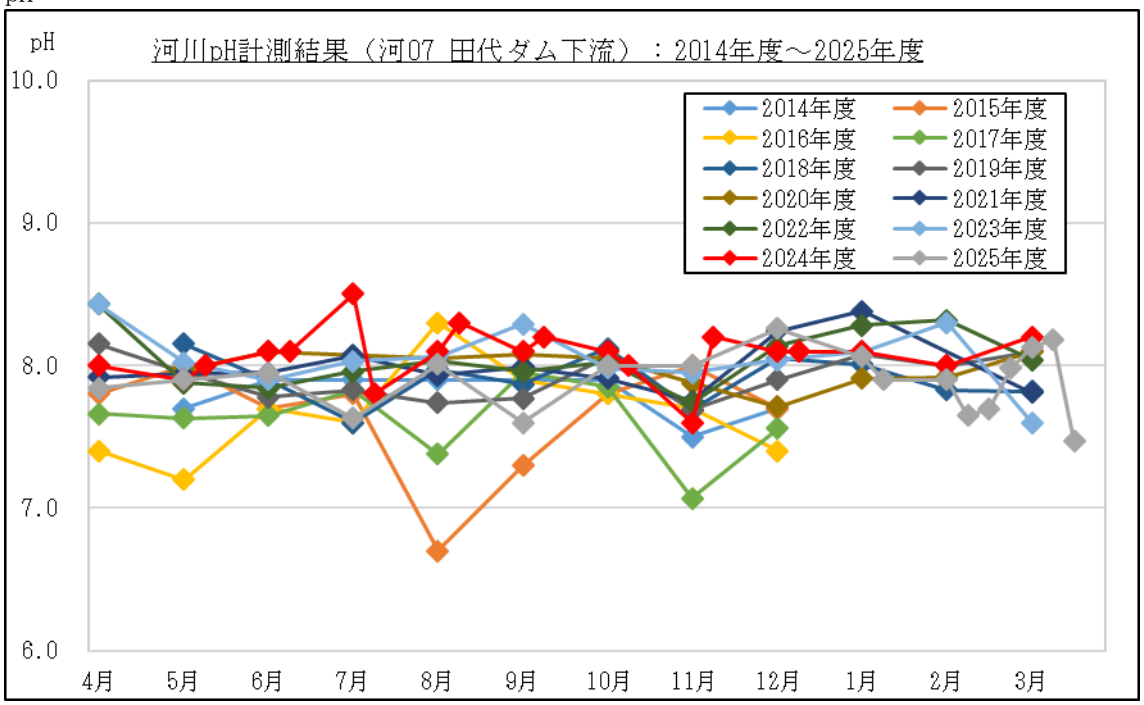


図 41　水質計測結果（河 07 田代ダム下流）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

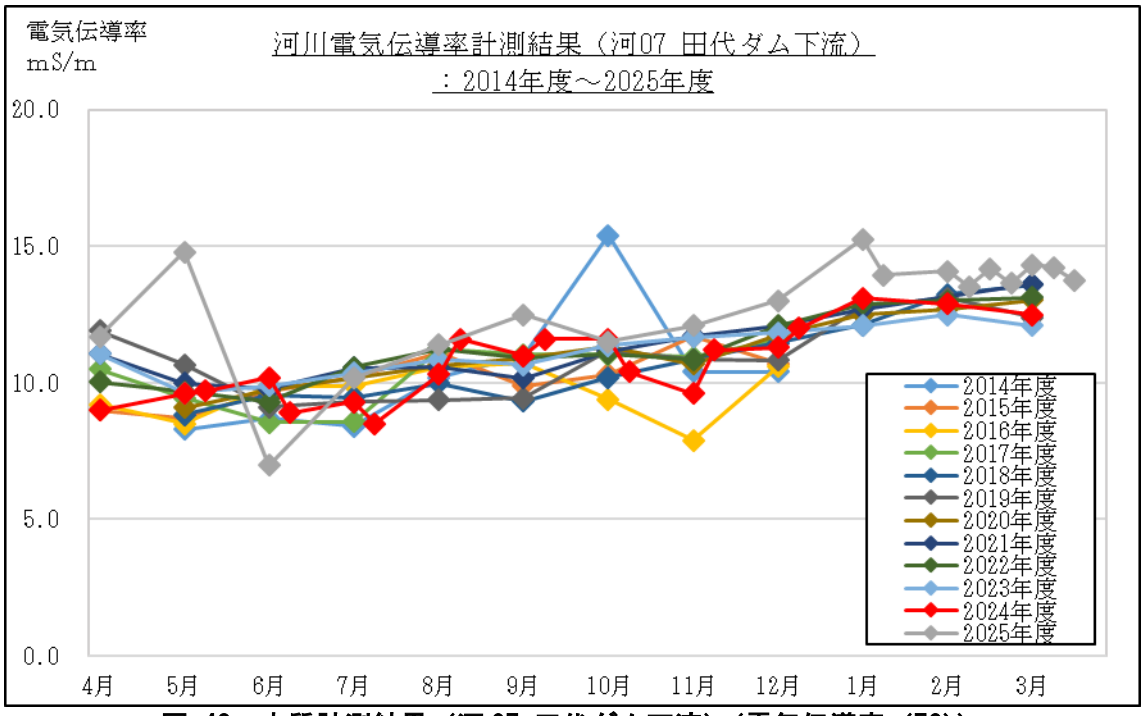


図 42　水質計測結果（河 07 田代ダム下流）（電気伝導率（EC））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.2.12 河 09 木賊測水所

1.2.12.1 調査結果（2025 年度）

河 09 木賊測水所 の 2025 年度の調査結果を表 23 に示します。

表 23 水質計測結果（河 09 木賊測水所）（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
河 09	木賊測水所	流量（m^3/min）	※1											
		水温（℃）	9.3	9.0	9.6	16.1	15.0	16.4	14.1	8.6	1.9	2.6	3.6	3.3
		pH	8.0	7.9	8.0	7.9	8.1	7.9	8.0	8.1	8.0	8.0	8.2	7.8
		電気伝導率（EC）（mS/m）	11.6	11.1	10.1	11.6	12.1	12.1	12.9	12.1	13.9	14.6	14.9	14.4

注：「※1」は電力会社による常時計測結果を使用しています。調査結果については「2-2-3 水資源」にて記載しています。

1.2.12.2 調査結果（過年度）

河 09 木賊測水所 の過年度の調査結果を表 24 及び図 43～図 45 に示します。

表 24 水質計測結果（河 09 木賊測水所）（過年度）

調査年度	河 09 木賊測水所								
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2014年度	8.8	13.1	2.9	7.9	7.9	7.6	11.2	13.8	9.6
2015年度	9.4	13.8	5.4	7.7	8.0	7.0	12.0	14.6	10.1
2016 年度	9.5	15.4	4.5	7.6	8.1	7.0	11.8	13.6	8.9
2017 年度	9.5	16.8	3.8	7.7	8.0	7.3	12.1	14.3	10.0
2018 年度	8.6	15.1	2.7	8.0	8.7	7.6	12.9	16.8	9.5
2019 年度	8.3	15.4	2.0	7.9	8.2	7.7	13.8	18.1	10.2
2020 年度	8.4	17.4	1.8	8.0	8.3	7.9	14.6	17.5	10.8
2021 年度	9.3	16.6	1.2	8.0	8.2	7.7	14.4	17.4	11.7
2022 年度	8.6	17.7	1.6	8.0	8.4	7.9	14.4	17.1	11.5
2023 年度	10.1	17.1	4.8	8.2	8.5	8.0	14.5	17.4	11.4
2024 年度	9.7	16.7	0.4	8.1	8.2	8.0	12.5	14.6	10.6
2025 年度	9.1	16.4	1.9	8.0	8.2	7.8	12.6	14.9	10.1
過年度	9.1	17.7	0.4	7.9	8.7	7.0	13.1	18.1	8.9

水温

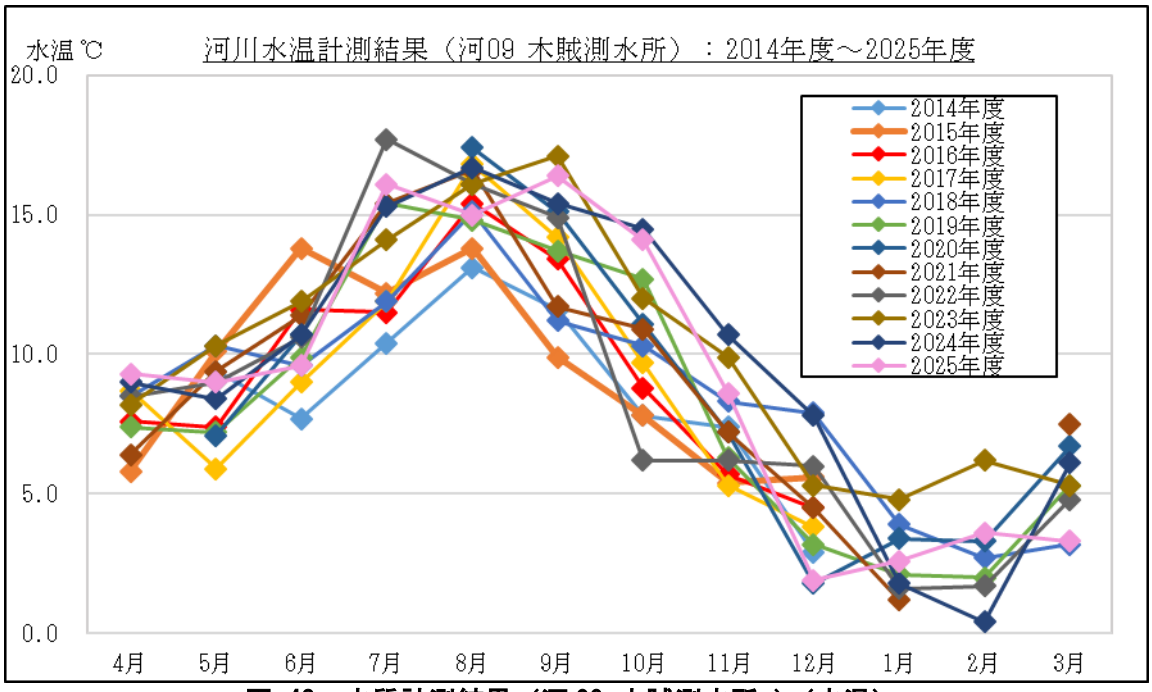


図 43　水質計測結果（河 09 木賊測水所 ）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

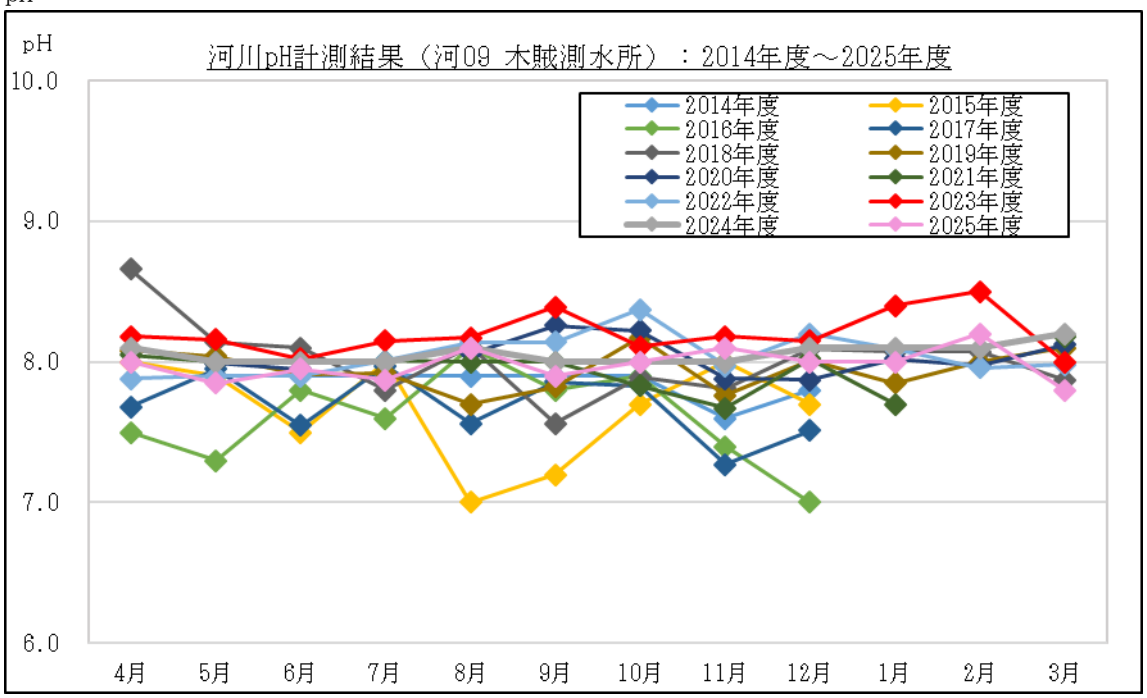


図 44　水質計測結果（河 09 木賊測水所 ）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

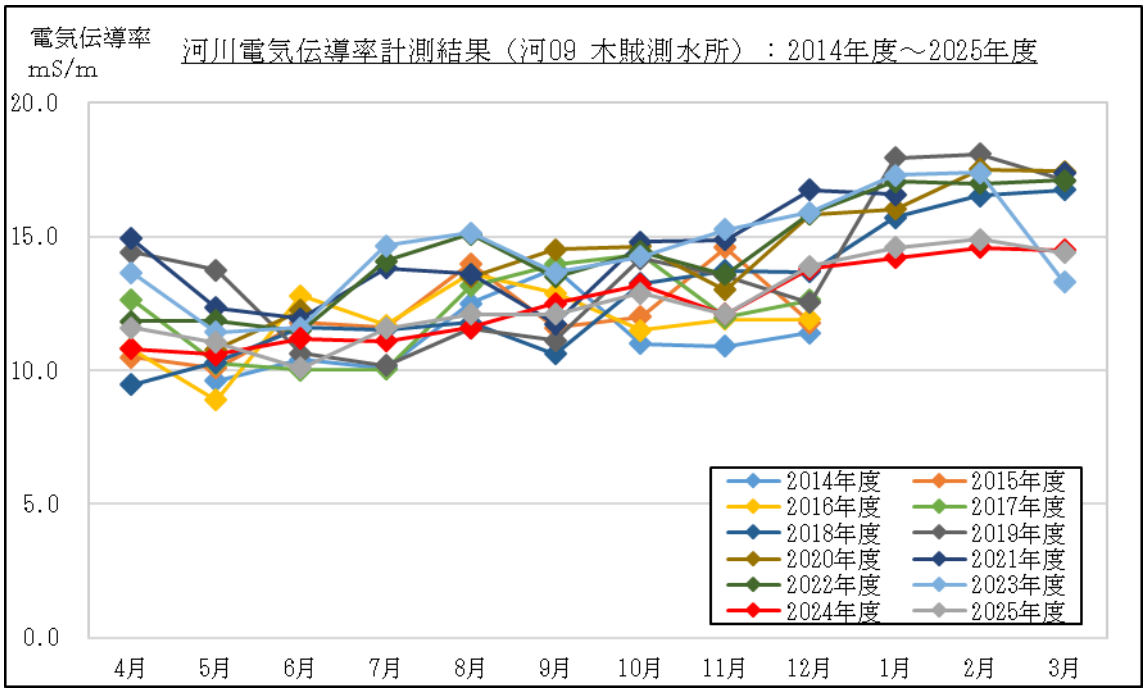


図 45　水質計測結果（河 09 木賊測水所 ）（電気伝導率（EC））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.2.13 河 10-2 椹島（放流箇所下流①）

1.2.13.1 調査結果（2025 年度）

河 10-2 椹島（放流箇所下流①）の 2025 年度の調査結果を表 25 に示します。

表 25 水質計測結果（河 10-2 椹島（放流箇所下流①））（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
河 10-2	椹島（放流箇所下流①）	流量（m^3/min）	610.8	71.4	88.8	84.6	76.8	376.2	66.0	61.8	237.0	27.0	30.0	83.4
		水温（℃）	10.6	11.1	12.2	13.7	19.8	17.2	14.1	7.9	6.5	0.2	2.6	5.6
		pH	8.1	8.1	8.1	7.7	7.3	8.0	8.1	7.5	8.0	8.1	8.2	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	11.5	11.6	10.8	12.0	12.5	12.3	12.2	13.3	13.6	15.9	15.3	15.7

1.2.13.2 調査結果（過年度）

河 10-2 椹島（放流箇所下流①）の過年度の調査結果を表 26 及び図 46～図 48 に示します。

表 26 水質計測結果（河 10-2 椹島（放流箇所下流①））（過年度）

調査年度	河 10-2 椹島（放流箇所下流①）								
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2014年度	10.3	15.3	4.1	7.9	8.1	7.6	10.9	13.4	8.9
2015年度	9.9	14.8	5.4	7.7	8.0	7.1	12.1	14.6	9.9
2016 年度	11.5	15.7	4.4	7.6	8.2	7.2	11.8	13.6	10.0
2017 年度	11.4	18	3.6	7.7	8.1	7.4	12.8	14.5	11.1
2018 年度	8.7	14.1	2.0	7.9	8.1	7.6	13.3	16.1	11.0
2019 年度	8.6	14.7	1.8	8.0	8.6	7.8	14.2	17.6	11.5
2020 年度	8.4	16.6	2.5	8.0	8.4	7.9	14.1	16.4	11.4
2021 年度	9.9	17.3	0.7	8.0	8.2	7.7	14.0	17.4	10.0
2022 年度	9.2	19.3	1.8	8.0	8.2	7.6	14.7	16.9	12.1
2023 年度	9.4	20.2	2.0	8.2	8.3	8.1	14.1	17.5	11.4
2024 年度	10.4	17.6	0.2	8.1	8.4	7.8	12.6	15.0	9.6
2025 年度	10.1	19.8	0.2	7.9	8.2	7.3	13.1	15.9	10.8
過年度	9.8	20.2	0.2	7.9	8.6	7.1	13.1	17.6	8.9

水温

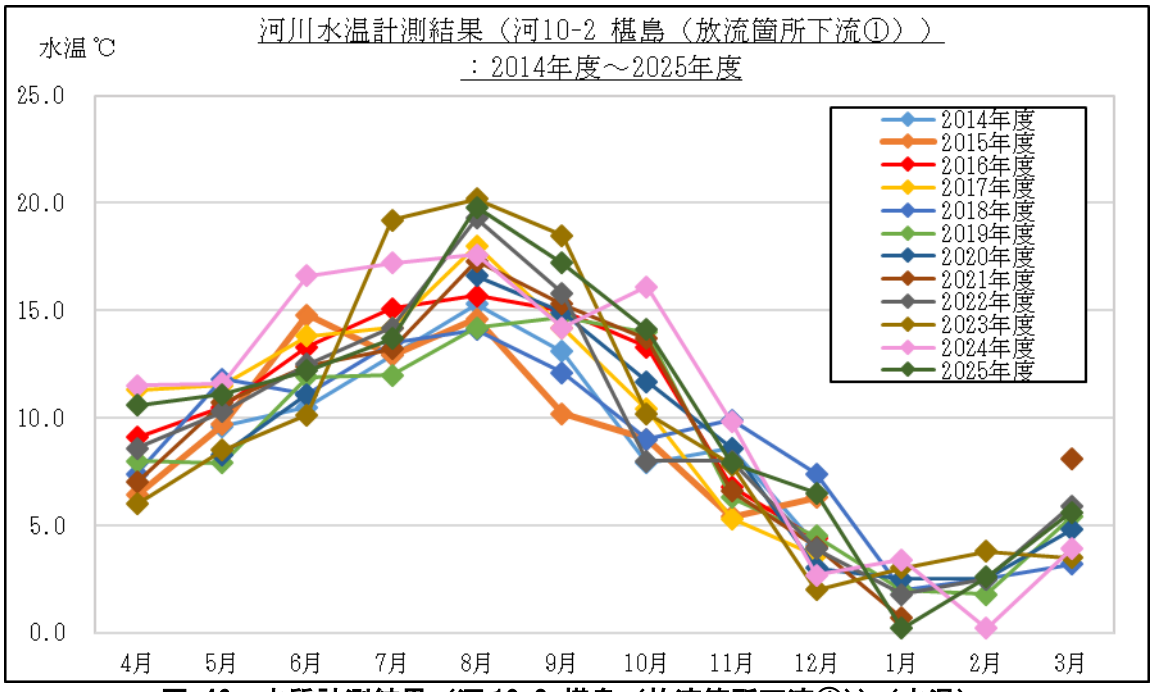


図 46　水質計測結果（河 10-2 椹島（放流箇所下流①））（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

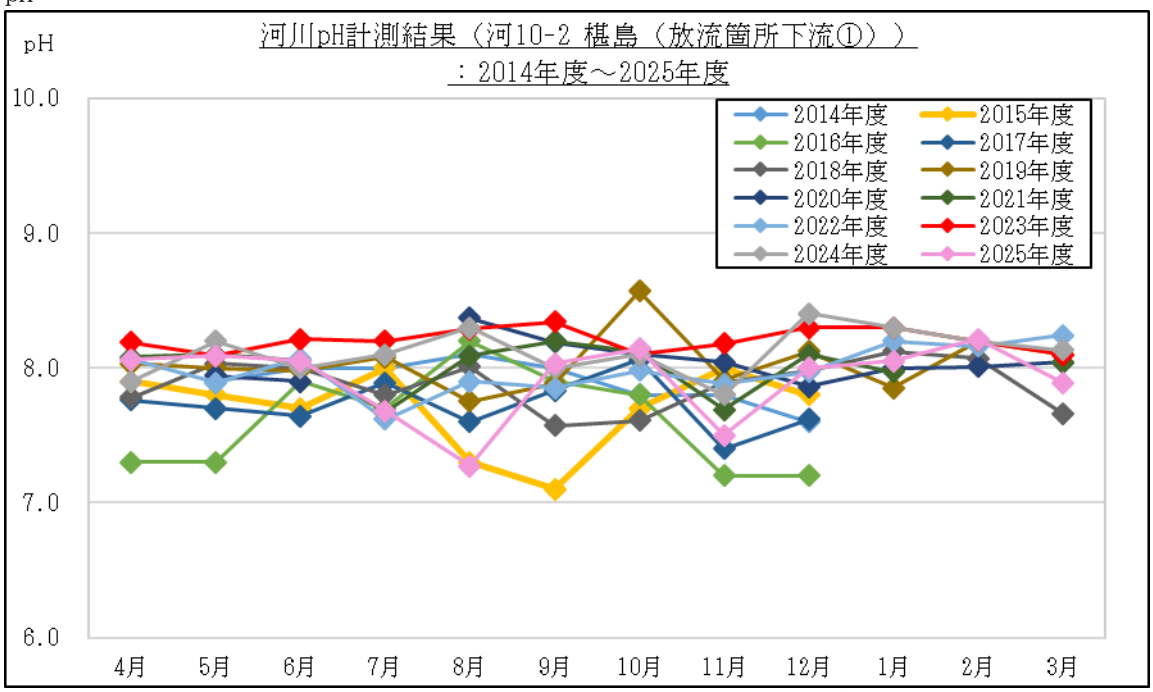


図 47　水質計測結果（河 10-2 椹島（放流箇所下流①））（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

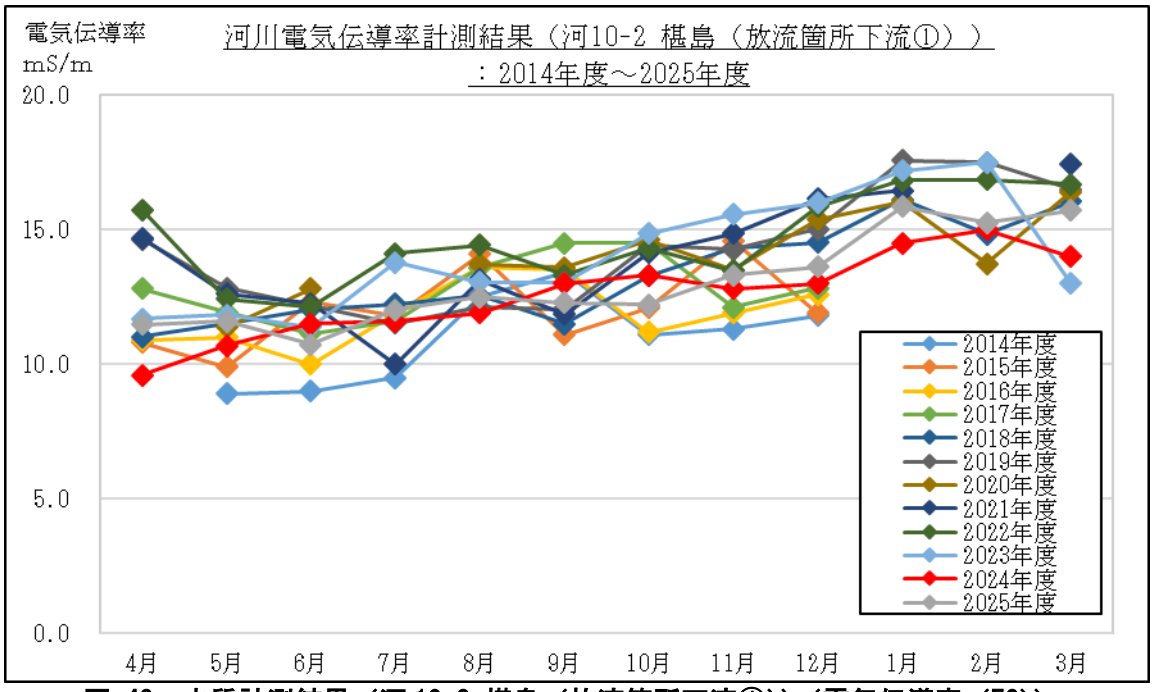


図 48　水質計測結果（河 10-2 椹島（放流箇所下流①））（電気伝導率（EC））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.2.14 沢 07 蛇抜沢

1.2.14.1 調査結果（2025 年度）

沢 07 蛇抜沢の 2025 年度の調査結果を表 27 に示します。

表 27 水質計測結果（沢 07 蛇抜沢）（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
沢 07	蛇抜沢	流量（m^3/min）	12.0	21.0	34.2	27.6	27.6	12.0	12.0	16.8	7.8	5.4	4.3	4.2
		水温（℃）	4.8	5.7	7.1	12.0	14.1	12.8	10.1	4.9	1.6	1.2	1.3	1.4
		pH	8.0	8.0	7.4	7.9	8.2	8.0	8.1	8.4	8.0	8.1	8.1	8.3
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.6	9.9	8.9	9.7	10.0	10.4	10.4	10.9	11.9	13.0	13.4	13.8

1.2.14.2 調査結果（過年度）

沢 07 蛇抜沢の過年度の調査結果を表 28 及び図 49～図 51 に示します。

表 28 水質計測結果（沢 07 蛇抜沢）（過年度）

調査年度	沢 07 蛇抜沢								
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2014年度	5.9	13.1	0.3	7.7	8.1	7.5	9.7	10.5	8.9
2015年度	7.6	12.9	1.6	7.4	8.1	6.9	9.5	11.2	7.9
2016 年度	8.5	13.7	2.4	7.8	8.6	7.0	9.4	10.6	7.6
2017 年度	7.7	14.1	1.3	7.8	8.1	7.3	9.7	11.4	8.2
2018 年度	7.3	15.5	0.3	8.0	8.2	7.8	10.2	13.4	8.5
2019 年度	5.6	13.8	0.0	8.0	8.2	7.8	10.3	13.2	7.7
2020 年度	5.7	13.2	0.2	8.1	8.2	7.9	10.9	13.6	8.0
2021 年度	6.9	13.5	0.2	7.9	8.1	7.8	10.6	12.9	8.8
2022 年度	7.5	12.9	3.0	8.0	8.3	7.2	10.4	11.6	8.6
2023 年度	8.3	15	0.6	8.1	8.5	7.9	10.4	11.9	8.9
2024 年度	8.7	14.1	1.8	8.0	8.2	7.7	9.9	11.7	8.0
2025 年度	6.4	14.1	1.2	8.0	8.4	7.4	11.1	13.8	8.9
過年度	7.2	15.5	0.0	7.9	8.6	6.9	10.2	13.8	7.6

水温

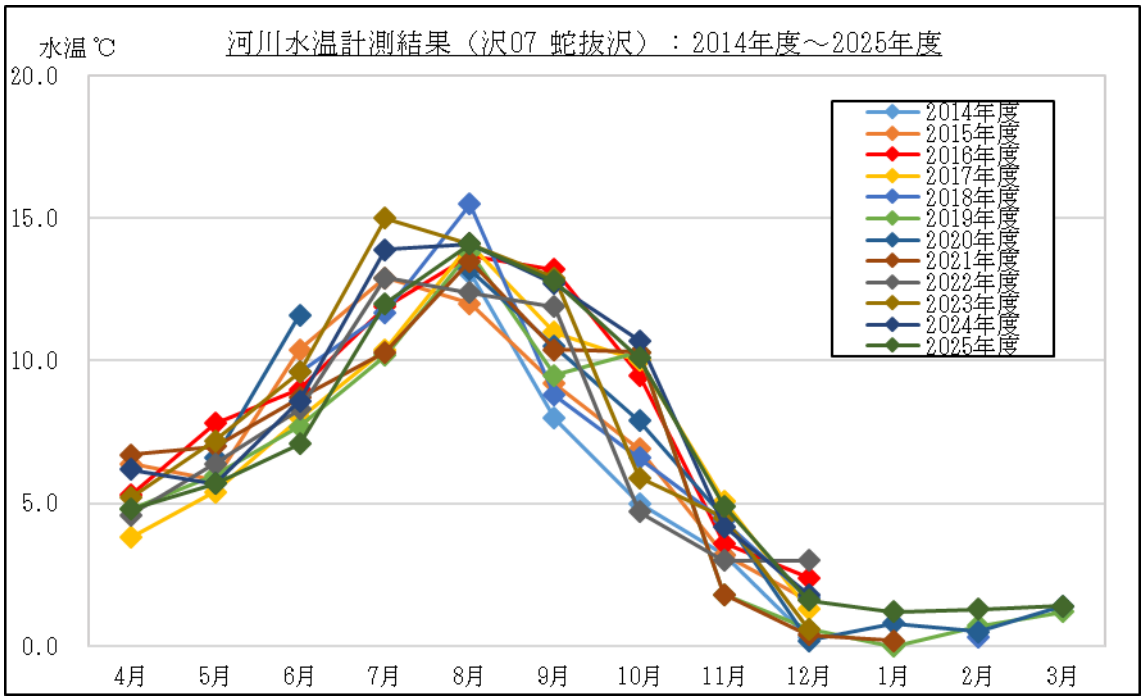


図 49　水質計測結果（沢 07 蛇抜沢）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

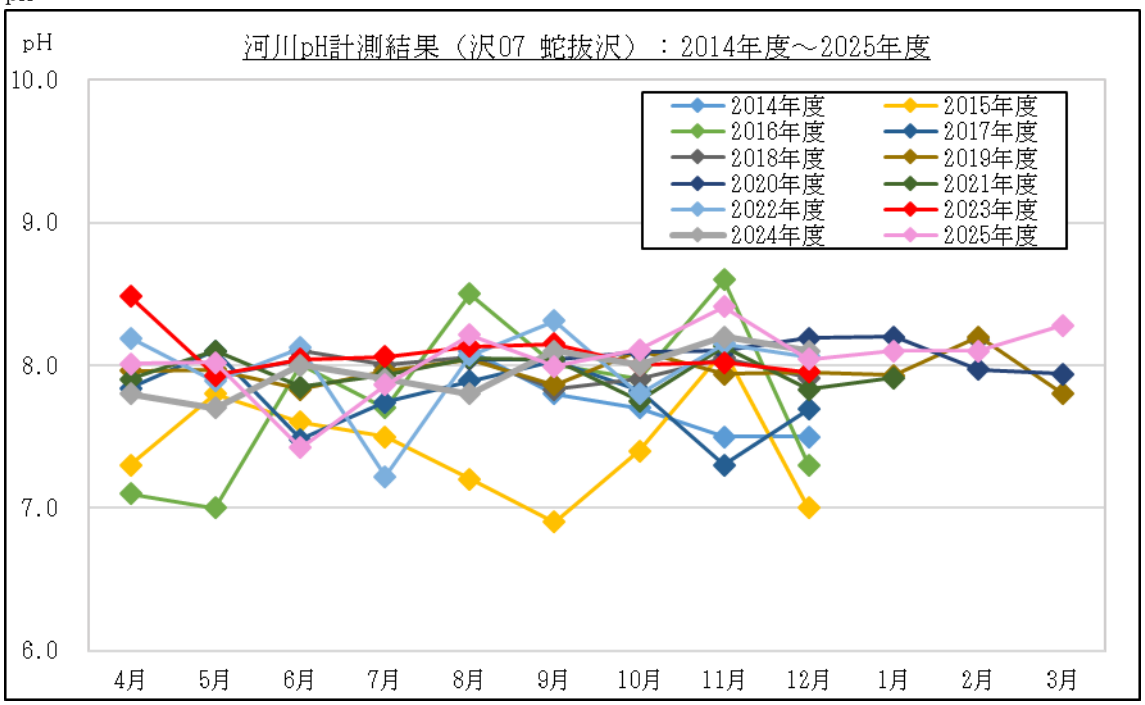


図 50　水質計測結果（沢 07 蛇抜沢）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

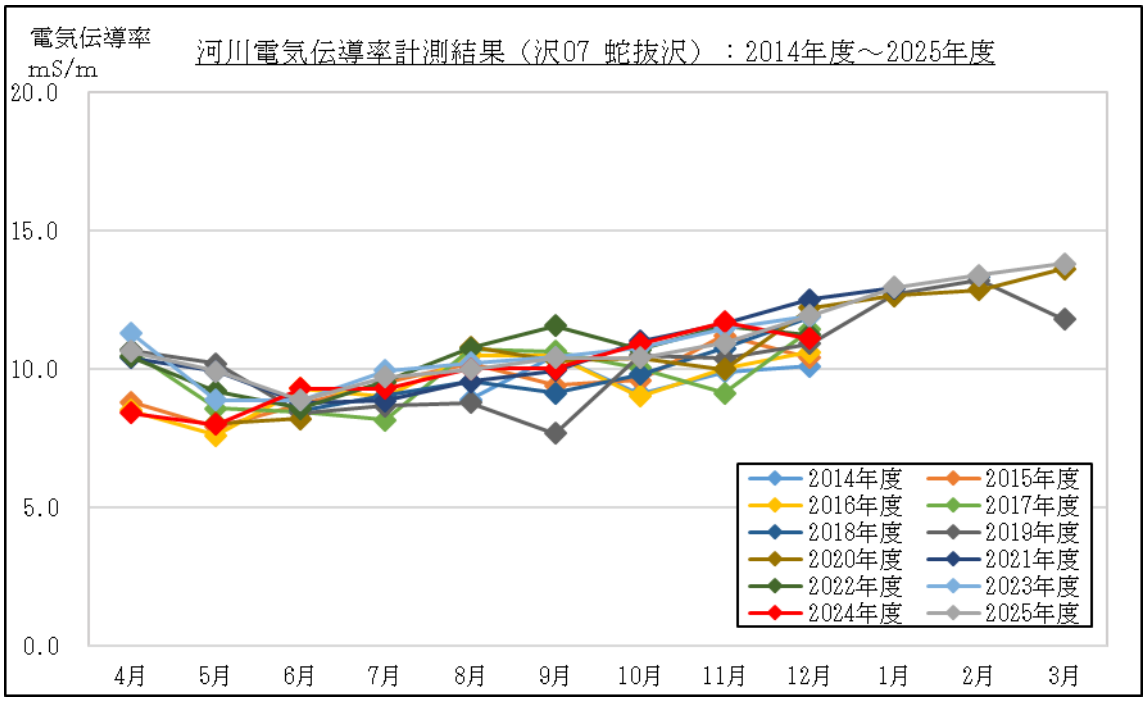


図 51　水質計測結果（沢 07 蛇抜沢）（電気伝導率（EC））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.2.15 沢 15 二軒小屋南西の沢

1.2.15.1 調査結果（2025 年度）

沢 15 二軒小屋南西の沢の 2025 年度の調査結果を表 29 に示します。

表 29 水質計測結果（沢 15 二軒小屋南西の沢）（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度										
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
沢 15	二軒小屋南西の沢	流量（m^3/min）	–※1	–※1	0.6	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1
		水温（℃）	–※1	–※1	10.5	17.7	18.1	17.6	14.7	7.3	3.3	0.7	0.4	3.4
		pH	–※1	–※1	8.2	8.4	8.4	8.4	8.5	8.2	8.2	7.7	8.3	8.3
		電気伝導率（EC）（mS/m）	–※1	–※1	30.0	32.6	30.7	32.6	35.2	35.0	35.0	36.8	36.9	33.8

注１：「※１」は河川増水のため、作業上の安全確保の観点から欠測しています。

1.2.15.2 調査結果（過年度）

沢 15 二軒小屋南西の沢の過年度の調査結果を表 30 及び図 52～図 54 に示します。

表 30 水質計測結果（沢 15 二軒小屋南西の沢）（過年度）

調査年度	沢 15 二軒小屋南西の沢								
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2024 年度	9.0	18.1	1.0	8.4	8.8	8.0	31.9	34.8	28.4
2025 年度	9.4	18.1	0.4	8.2	8.5	7.7	33.9	36.9	30.0
過年度	9.2	18.1	0.4	8.3	8.8	7.7	32.9	36.9	28.4

水温

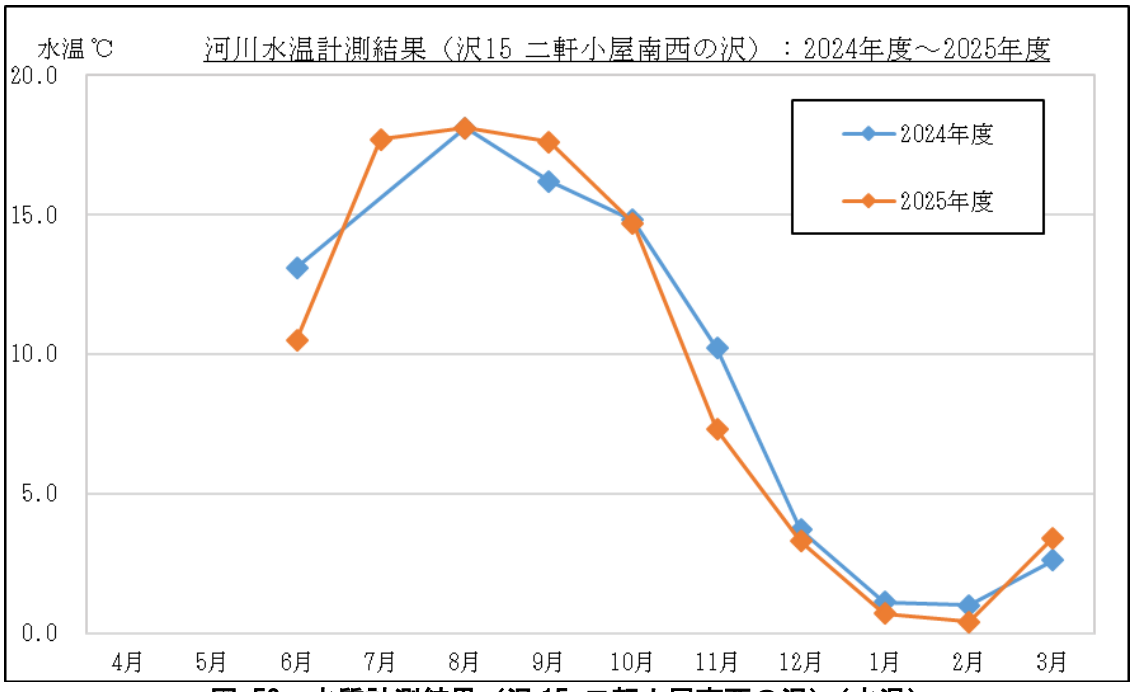


図 52　水質計測結果（沢 15 二軒小屋南西の沢）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

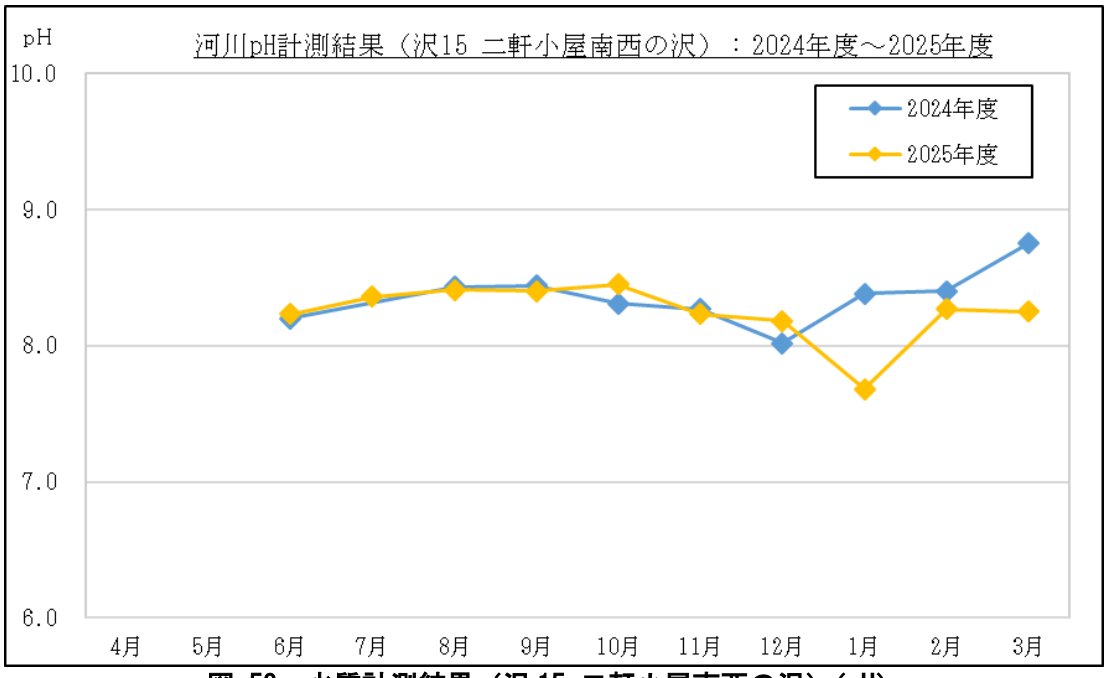


図 53　水質計測結果（沢 15 二軒小屋南西の沢）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

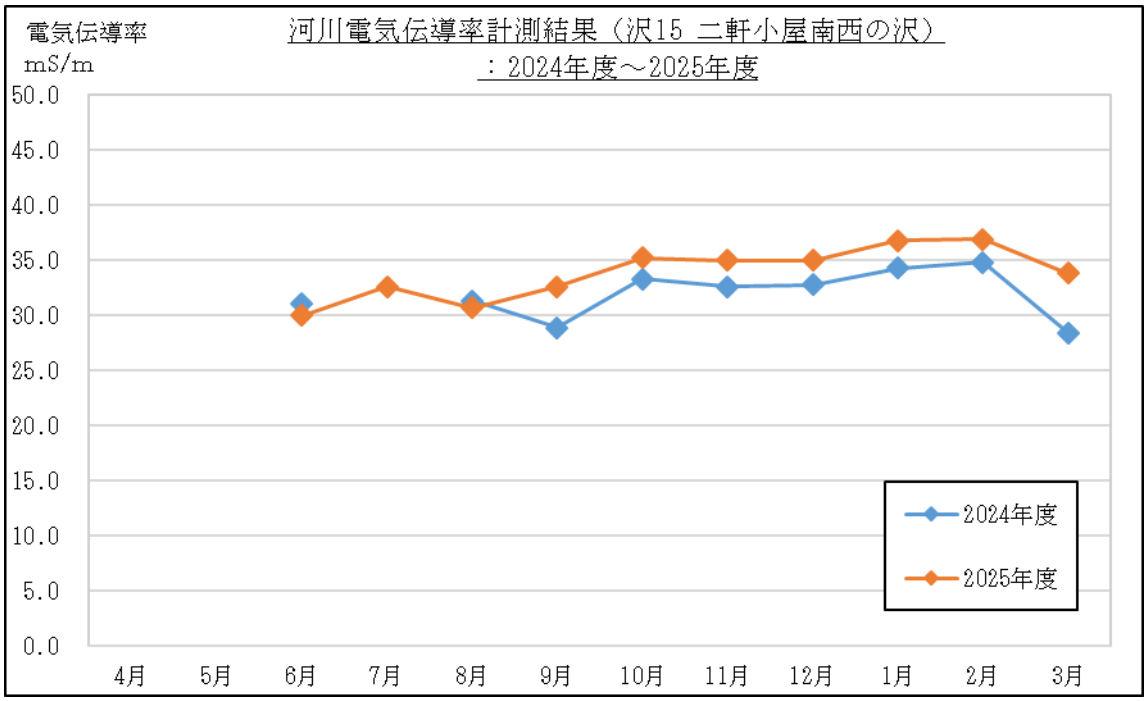


図 54　水質計測結果（沢 15 二軒小屋南西の沢）（電気伝導率（EC））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.2.16 沢 16 上スリバチ沢

1.2.16.1 調査結果（2025 年度）

沢 16 上スリバチの 2025 年度の調査結果を表 31 に示します。

表 31 水質計測結果（沢 16 上スリバチ沢）（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
沢 16	上スリバチ沢	流量（m^3/min）	0.02	0.08	0.36	0.05	0.03	0.03	0.05	0.04	0.01	<0.01	0.01	0.01
		水温（℃）	6.7	8.4	9.9	16.5	16.8	16.4	13.8	6.9	4.4	0.3	1.5	3.0
		pH	8.0	8.1	8.1	7.9	8.1	8.0	8.1	7.3	8.0	8.0	8.2	8.3
		電気伝導率（EC）（mS/m）	24.5	25.8	25.4	28.8	23.7	27.2	31.3	29.2	28.7	29.7	28.3	30.7

注：「<」は未満を示しています。

1.2.16.2 調査結果（過年度）

沢 16 上スリバチ沢の過年度の調査結果を表 32 及び図 55～図 57 に示します。

表 32 水質計測結果（沢 16 上スリバチ沢）（過年度）

調査年度	沢 16 上スリバチ沢								
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2024 年度	9.5	18.4	0.8	8.2	8.3	8.0	25.5	27.0	22.8
2025 年度	8.7	16.8	0.3	8.0	8.3	7.3	27.8	31.3	23.7
過年度	9.1	18.4	0.3	8.1	8.3	7.3	26.6	31.3	22.8

水温

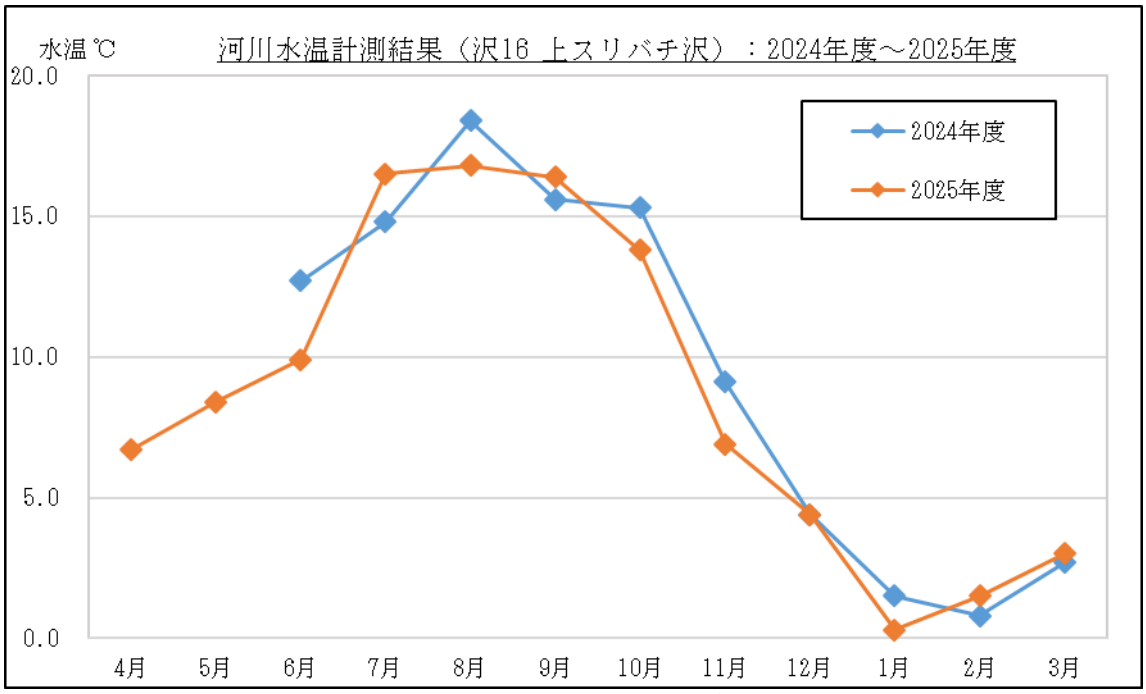


図 55　水質計測結果（沢 16 上スリバチ沢）（水温）

pH

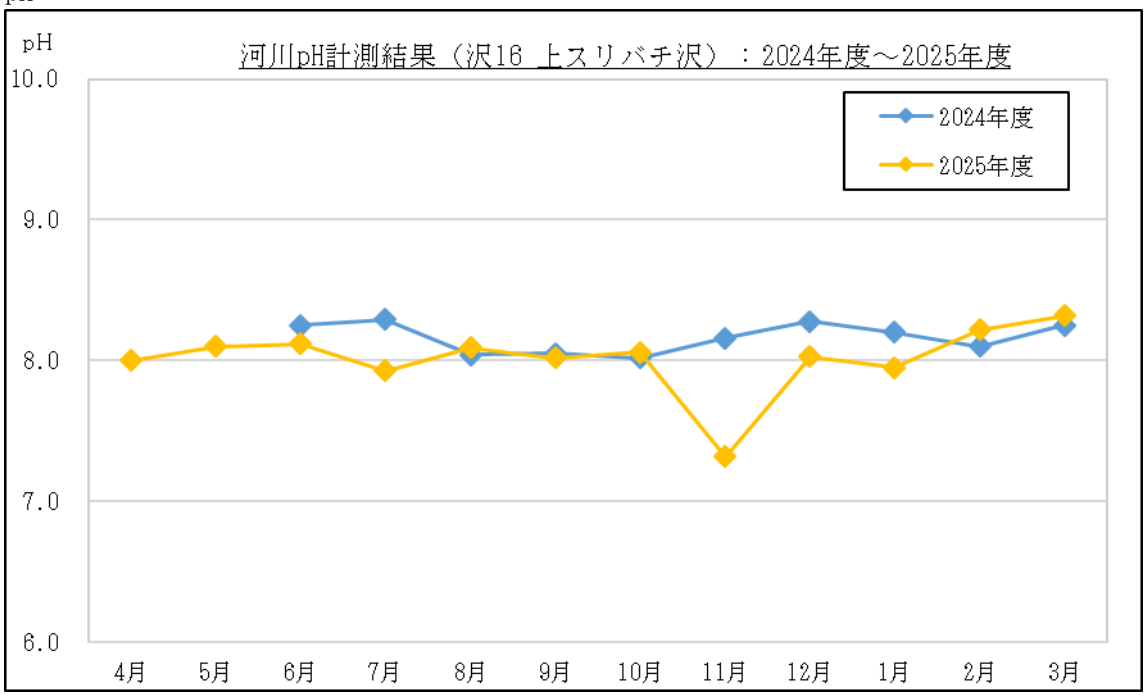


図 56　水質計測結果（沢 16 上スリバチ沢）（pH）

電気伝導率（EC）

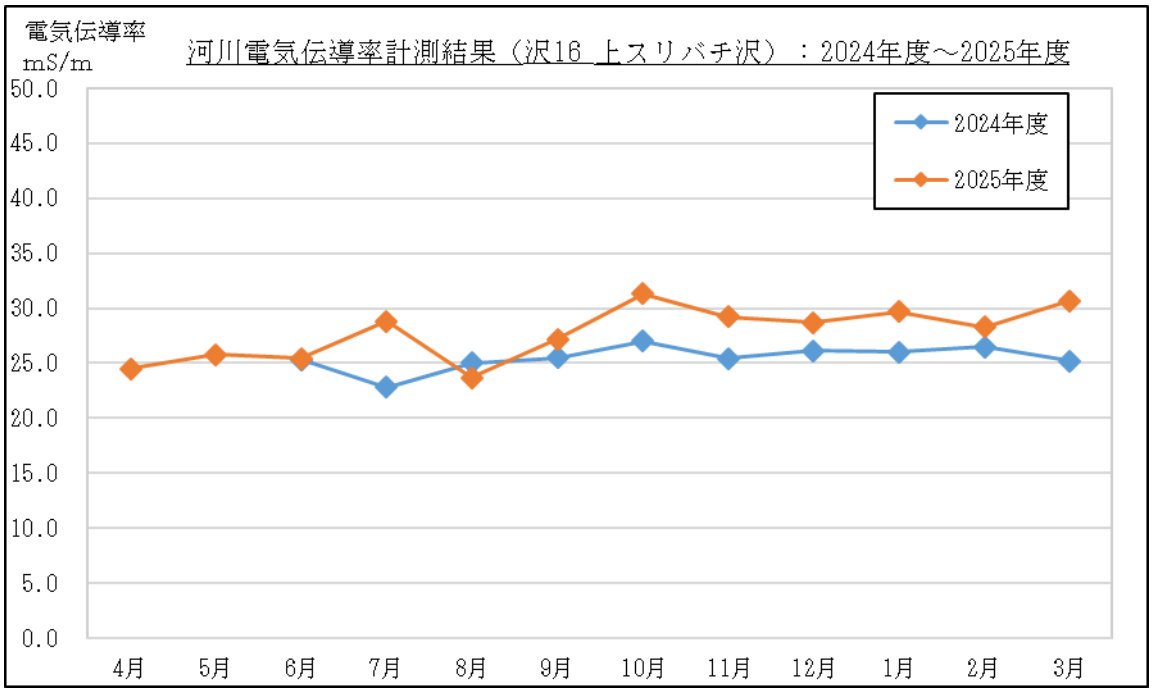


図 57　水質計測結果（沢 16 上スリバチ沢）（電気伝導率（EC））

1.2.17 沢 26 虎杖沢

1.2.17.1 調査結果（2025 年度）

沢 26 虎杖沢の 2025 年度の調査結果を表 33 に示します。

表 33 水質計測結果（沢 26 虎杖沢）（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
沢 26	虎杖沢	流量（m^3/min）	0.07	0.18	1.19	6.60	0.46	0.01	0.11	0.04	0.03	0.02	0.02	0.02
		水温（℃）	6.9	7.3	7.3	10.6	10.6	13.3	11.1	8.9	7.4	3.8	5.4	5.5
		pH	7.7	7.7	7.7	7.3	7.3	7.8	7.7	7.5	7.8	7.8	7.9	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.8	10.6	10.6	10.7	10.7	11.4	11.5	12.0	11.5	12.5	11.6	12.7

1.2.17.2 調査結果（過年度）

沢 26 虎杖沢の過年度の調査結果を表 34 及び図 58～図 60 に示します。

表 34 水質計測結果（沢 26 虎杖沢）（過年度）

調査年度	沢 26 虎杖沢								
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2024 年度	7.9	11.9	1.2	7.9	8.5	7.6	10.7	11.0	10.0
2025 年度	8.2	13.3	3.8	7.7	7.9	7.3	11.4	12.7	10.6
過年度	8.0	13.3	1.2	7.8	8.5	7.3	11.0	12.7	10.0

水温

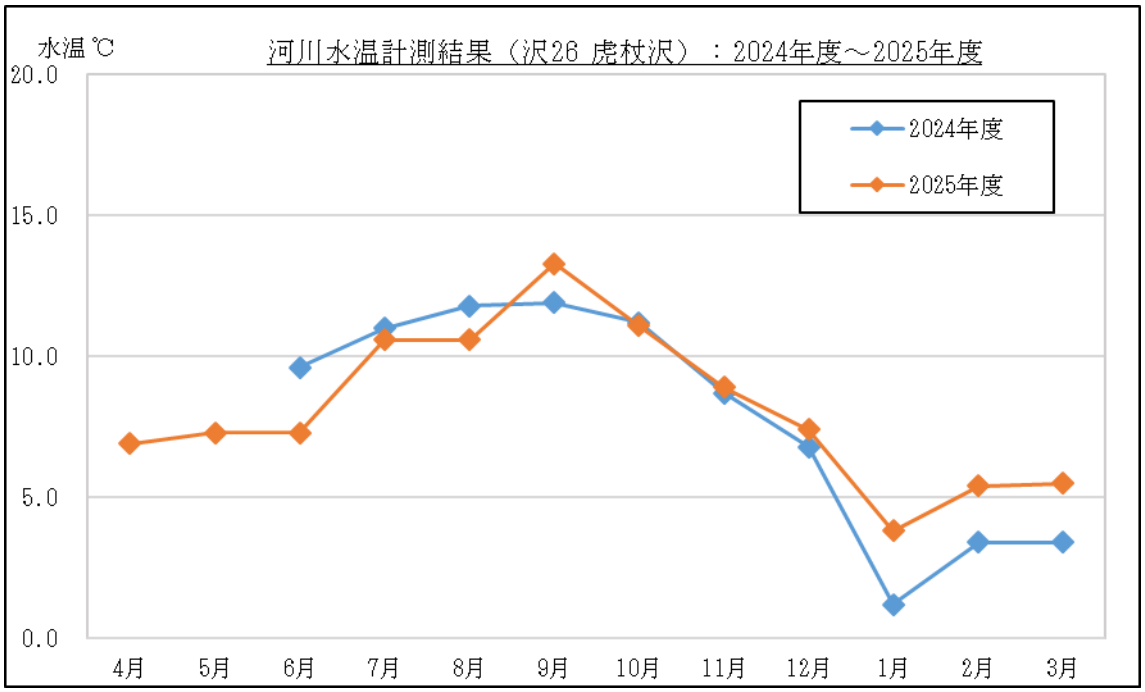


図 58　水質計測結果（沢 26 虎杖沢）（水温）

pH

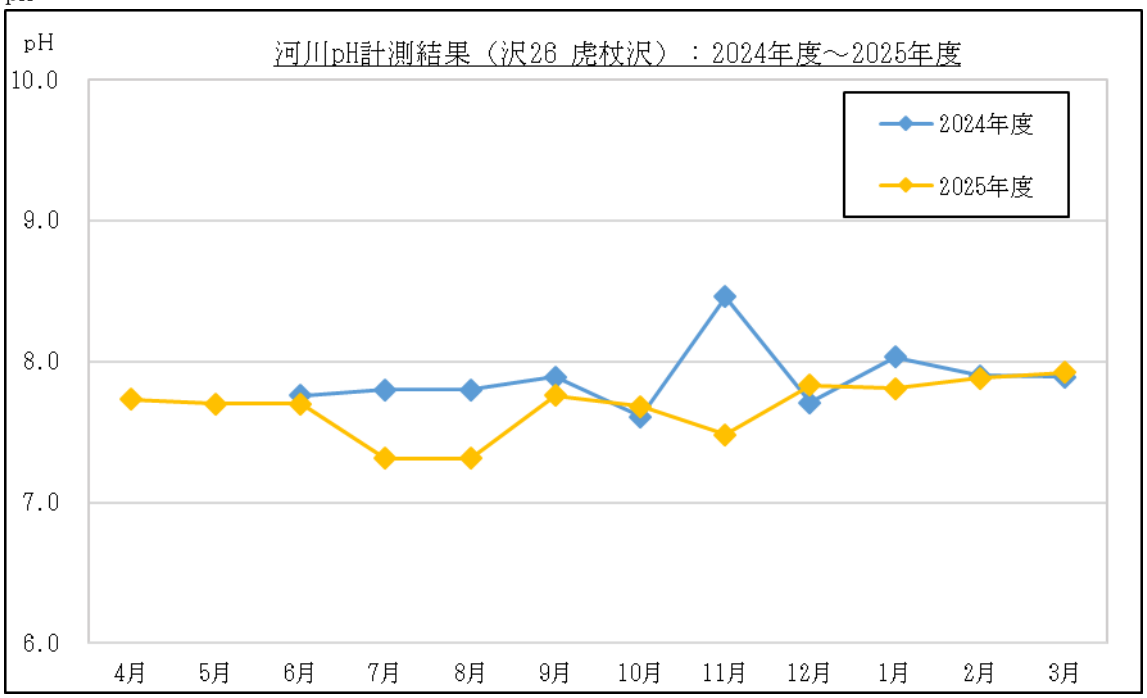


図 59　水質計測結果（沢 26 虎杖沢）（pH）

電気伝導率（EC）

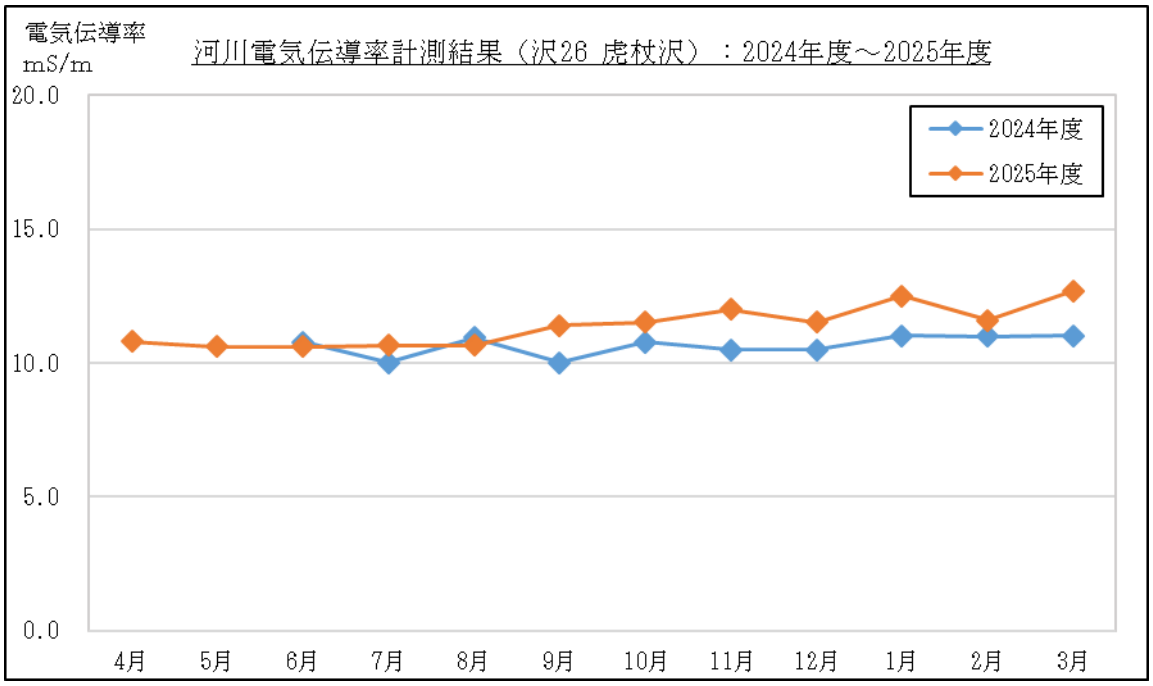


図 60　水質計測結果（沢 26 虎杖沢）（電気伝導率（EC））

1.2.18 沢 31 奥西河内川

1.2.18.1 調査結果（2025 年度）

沢 31 奥西河内川の 2025 年度の調査結果を表 35 に示します。

表 35　水質計測結果（沢 31 奥西河内川）（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
沢 31	奥西河内川	流量（m^3/min）	97.2	20.4	34.8	25.8	16.8	14.4	16.2	20.4	13.2	4.8	24.0	31.2
		水温（℃）	6.9	10.4	11.2	14.2	14.6	17.0	13.8	7.6	5.7	1.0	1.9	3.6
		pH	8.0	8.0	7.6	8.1	7.8	7.7	7.8	7.8	7.9	8.0	7.8	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.1	10.8	12.1	14.2	15.0	14.9	14.7	14.8	14.8	17.7	14.0	13.7

1.2.18.2 調査結果（過年度）

沢 31 奥西河内川の過年度の調査結果を表 36 及び図 61～図 63 に示します。

表 36　水質計測結果（沢 31 奥西河内川）（過年度）

調査年度	沢 31 奥西河内川								
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2024 年度	9.2	16.9	0.1	8.0	8.3	7.8	14	16.2	10.3
2025 年度	9.0	17.0	1.0	7.9	8.1	7.6	13.9	17.7	10.1
過年度	9.1	17.0	0.1	7.9	8.3	7.6	14.0	17.7	10.1

水温

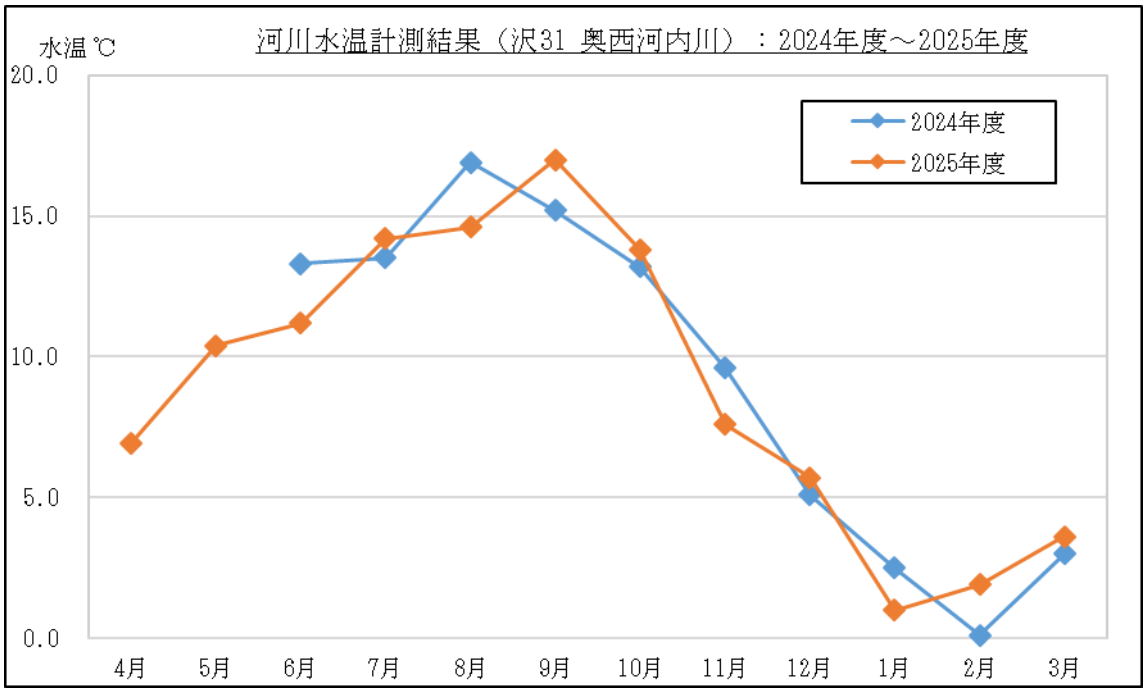


図 61　水質計測結果（沢 31 奥西河内川）（水温）

pH

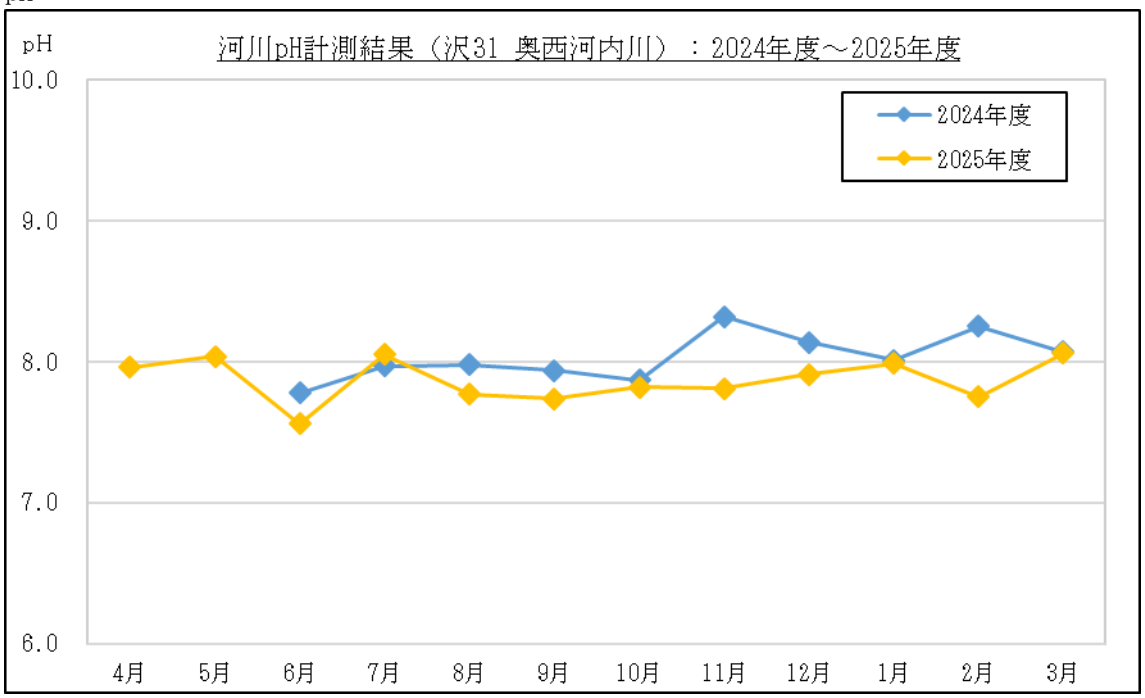


図 62　水質計測結果（沢 31 奥西河内川）（pH）

電気伝導率（EC）

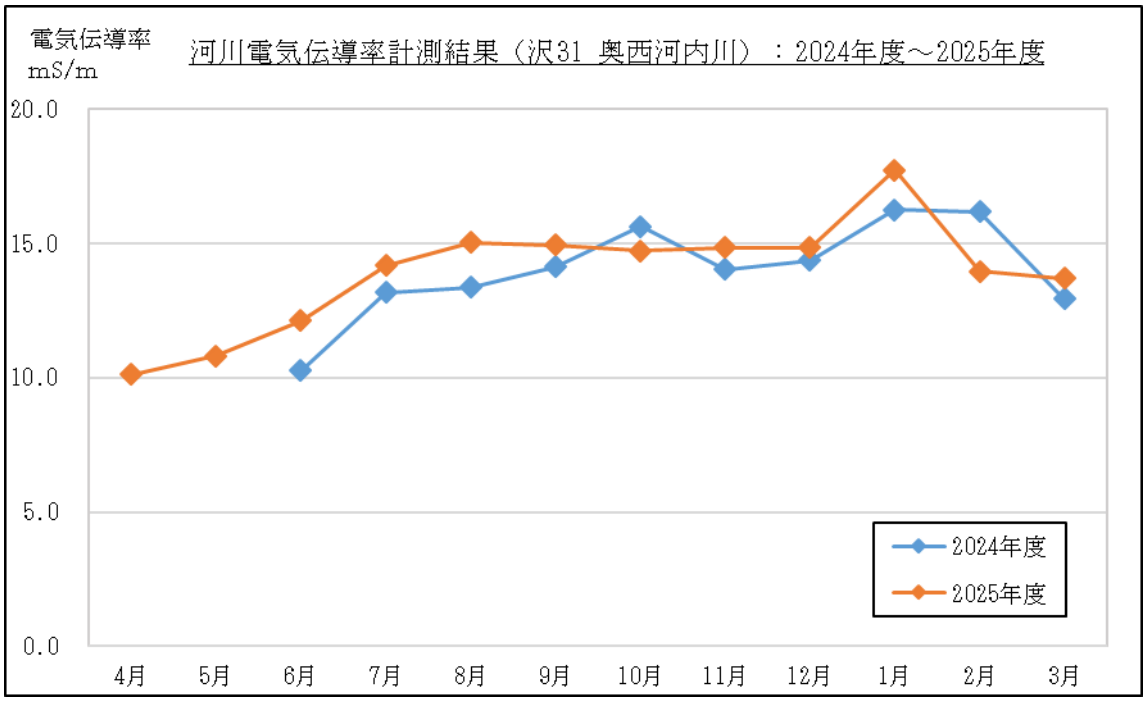


図 63　水質計測結果（沢 31 奥西河内川）電気伝導率（EC））

1.2.19 沢 32 赤石沢

1.2.19.1 調査結果（2025 年度）

沢 32 赤石沢の 2025 年度の調査結果を表 37 に示します。

表 37　水質計測結果（沢 32 赤石沢）（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
沢 32	赤石沢	流量（m^3/min）	165.6	29.4	30.6	31.2	23.4	13.2	13.8	18.6	12.6	15.0	19.2	29.4
		水温（℃）	3.5	8.5	9.9	15.3	17.8	17.1	13.7	6.6	4.1	0.1	0.5	4.0
		pH	7.9	7.9	7.9	7.7	7.8	7.9	8.0	7.6	7.5	8.0	8.1	8.2
		電気伝導率（EC）（mS/m）	5.7	7.9	8.2	9.2	8.5	10.3	9.9	9.2	9.6	10.1	10.0	9.5

1.2.19.2 調査結果（過年度）

沢 32 赤石沢の過年度の調査結果を表 38 及び図 64～図 66 に示します。

表 38　水質計測結果（沢 32 赤石沢）（過年度）

調査年度	沢 32 赤石沢								
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2020 年度	1.2	2.4	0.0	7.7	8.0	7.6	9.4	10.4	7.6
2021 年度	8.0	15.2	0.0	7.9	8.1	7.6	8.5	10.3	5.0
2022 年度	7.7	18.0	0.3	8.1	8.6	7.3	9.6	11.1	7.9
2023 年度	8.7	17.5	1.1	8.1	8.4	7.7	10.1	11.1	8.6
2024 年度	9.1	18.0	0.3	8.1	8.5	7.8	9.2	10.9	5.2
2025 年度	8.4	17.8	0.1	7.9	8.2	7.5	9.0	10.3	5.7
過年度	7.2	18.0	0.0	8.0	8.6	7.3	9.3	11.1	5.0

水温

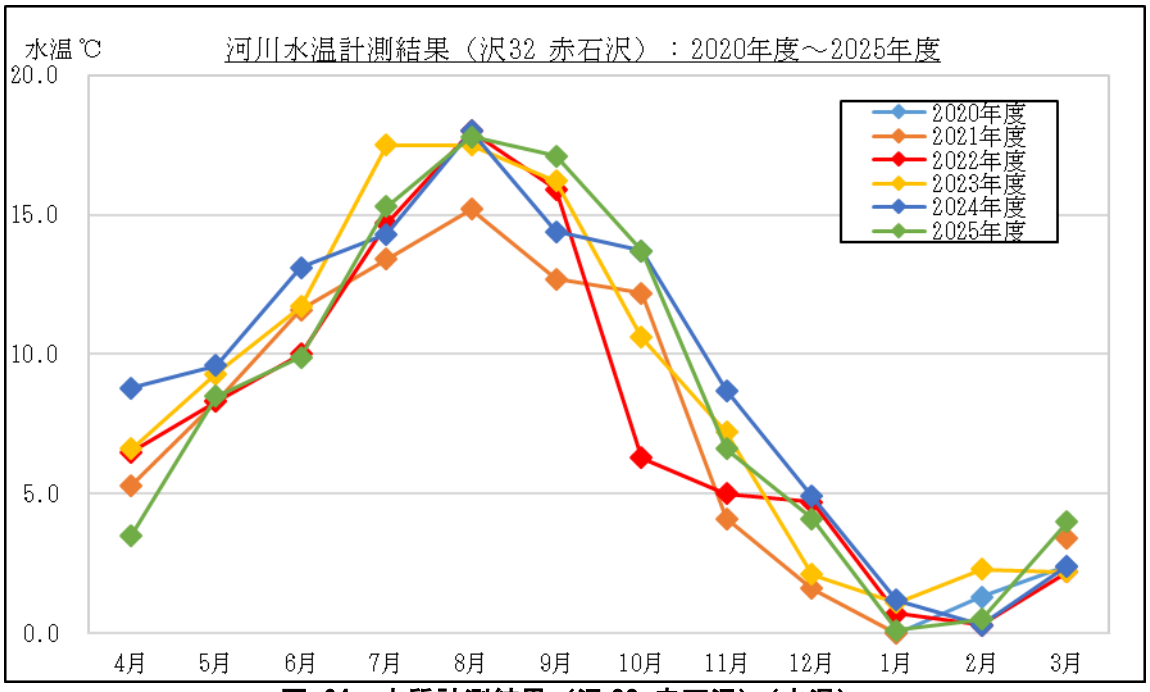


図 64　水質計測結果（沢 32 赤石沢）（水温）

pH

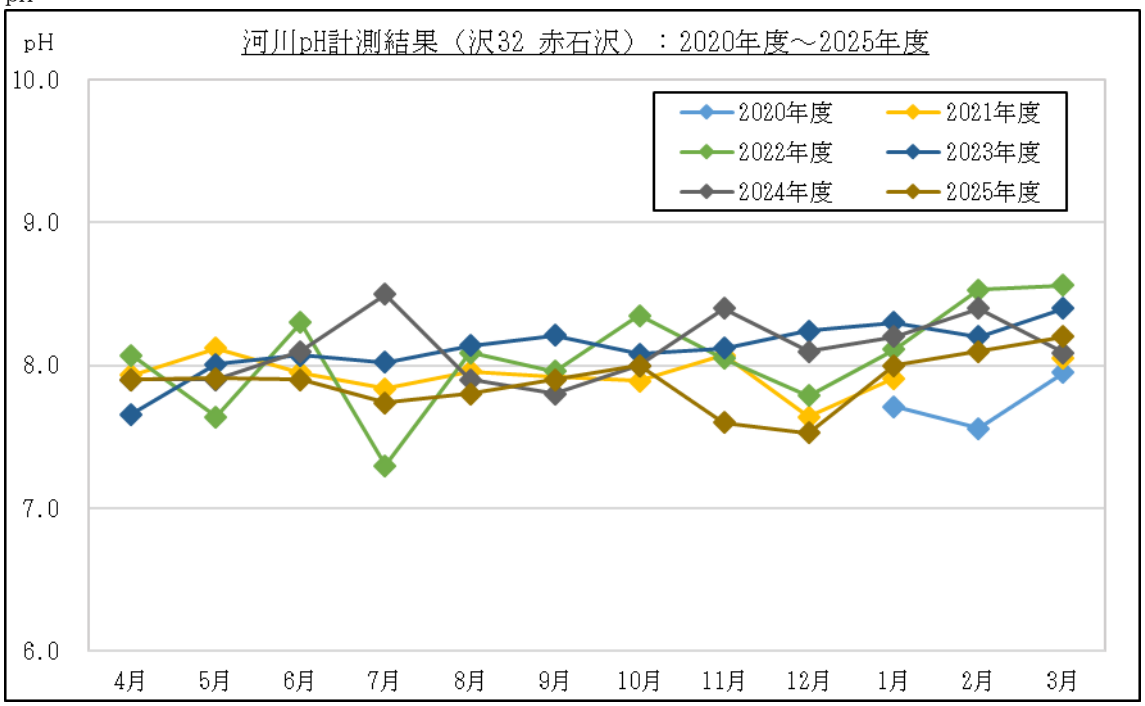


図 65　水質計測結果（沢 32 赤石沢）（pH）

電気伝導率（EC）

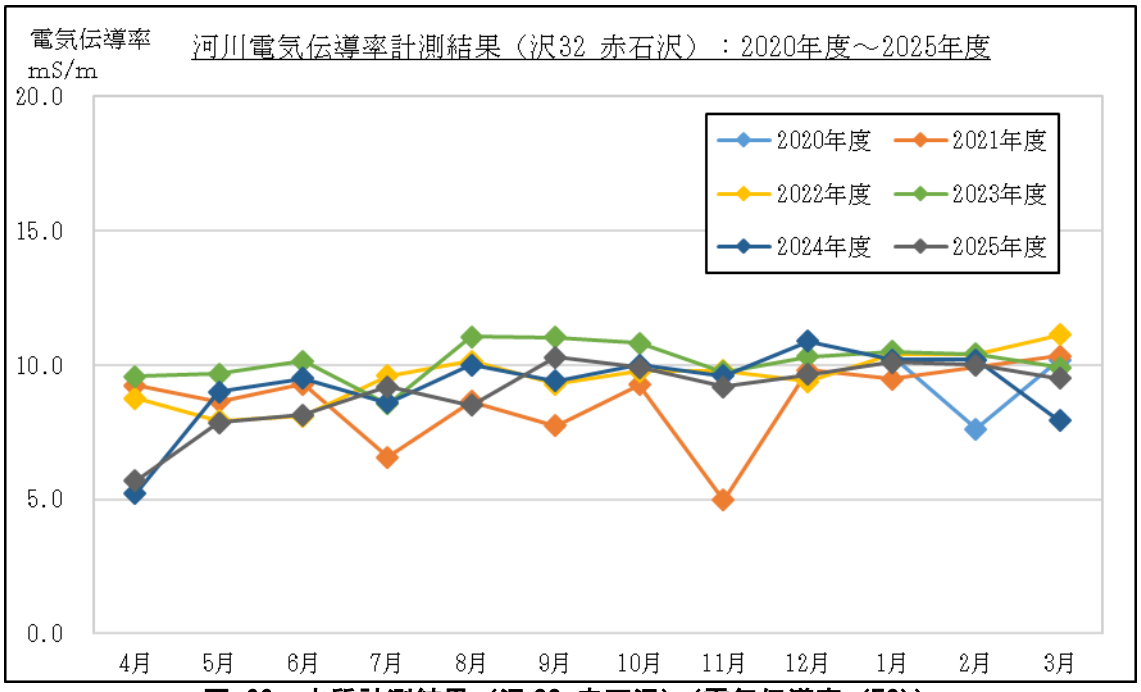


図 66　水質計測結果（沢 32 赤石沢）（電気伝導率（EC））

1.2.20 沢 33 北俣・中俣合流部付近

1.2.20.1 調査結果（2025 年度）

沢 33 北俣・中俣合流部付近の 2025 年度の調査結果を表 39 に示します。

表 39　水質計測結果（沢 33 北俣・中俣合流部付近）（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
沢 33	北俣・中俣合流部付近	流量（m^3/min）	24.6	38.4	27.6	15.6	13.2	12.0	11.4	12.6	7.2	－※1	－※1	3.6
		水温（℃）	4.6	6.4	6.4	11.4	12.8	11.0	11.7	6.0	2.4	－※1	－※1	3.5
		pH	8.0	8.0	7.8	8.0	7.9	8.0	8.0	8.0	8.0	－※1	－※1	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	8.1	7.7	8.1	8.6	9.5	9.5	9.1	9.5	10.2	－※1	－※1	10.9

注１：「※１」は積雪のため、作業上の安全確保の観点から欠測しています。

1.2.20.2 調査結果（過年度）

沢 33 北俣・中俣合流部付近の過年度の調査結果を表 40 に及び図 67～図 69 に示します。

表 40 水質計測結果（沢 33 北俣・中俣合流部付近）（過年度）

調査年度	沢 33 北俣・中俣合流部付近								
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2014年度									
2015年度	7.5	11.2	2.1	7.2	8.4	6.2	8.9	9.6	8.4
2016 年度	7.6	11.2	2.9	8.0	8.5	7.2	8.4	9.4	7.3
2017 年度	6.6	10.5	1.9	7.9	8.8	7.5	8.7	9.7	7.2
2018 年度	7.5	12.1	2.1	7.9	8.2	7.7	8.7	9.8	8.1
2019 年度	7.1	12.1	1.1	8.0	8.2	7.8	8.5	9.4	7.8
2020 年度	7.2	13.6	-0.1	7.9	8.0	7.8	8.9	9.8	7.7
2021 年度	7.0	11.0	1.0	7.9	8.2	7.4	8.9	10.3	8.0
2022 年度	7.7	12.0	3.3	7.8	8.2	7.3	9.2	10.0	8.0
2023 年度	8.1	13.7	2.1	8.0	8.4	7.4	9.3	10.2	8.2
2024 年度	8.4	11.6	3.0	8.0	8.5	7.9	8.8	9.6	7.6
2025 年度	7.6	12.8	2.4	8.0	8.1	7.8	9.1	10.9	7.7
過年度	7.5	13.7	-0.1	7.9	8.8	6.2	8.9	10.9	7.2

水温

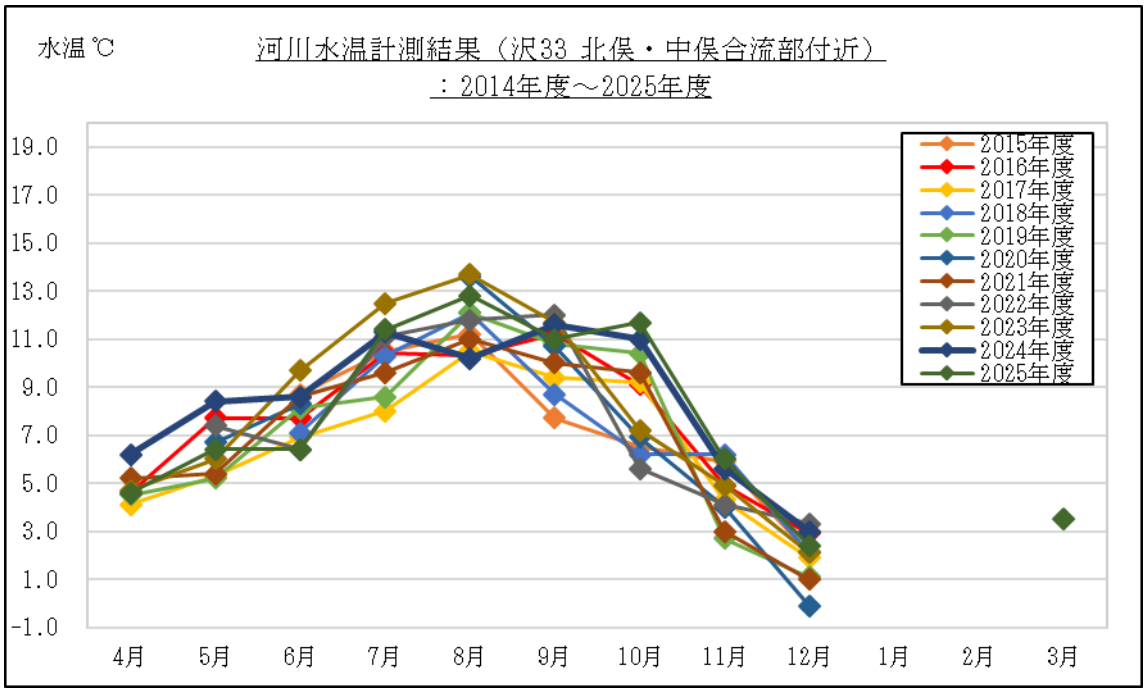


図 67　水質計測結果（沢 33 北俣・中俣合流部付近）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

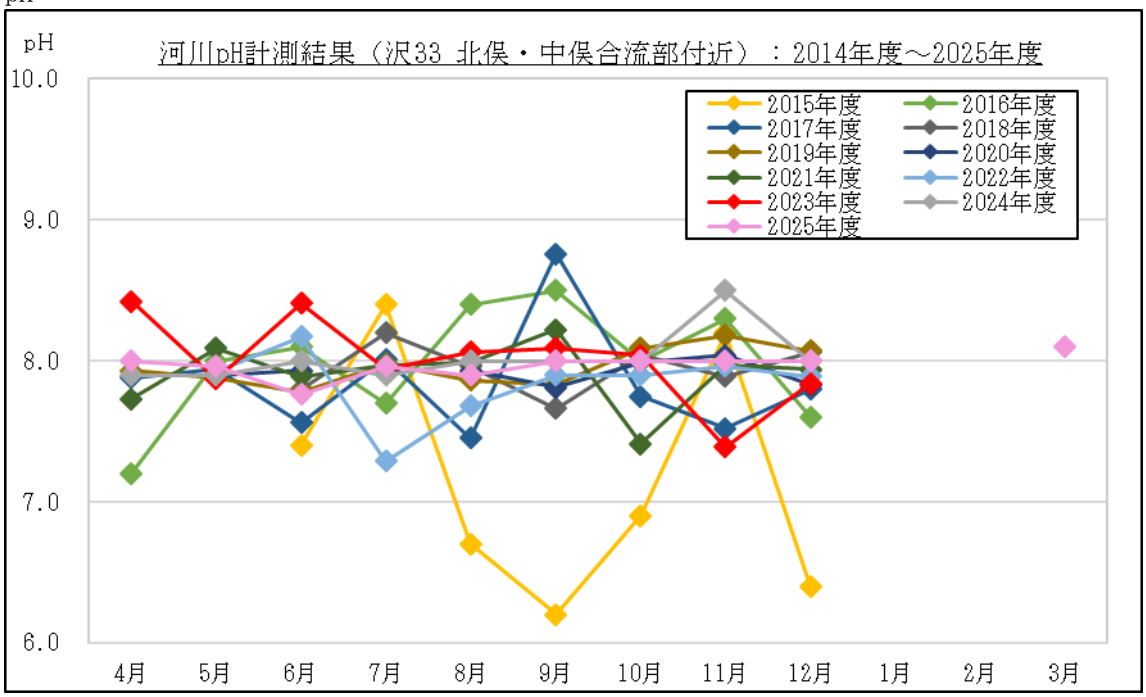


図 68　水質計測結果（沢 33 北俣・中俣合流部付近）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

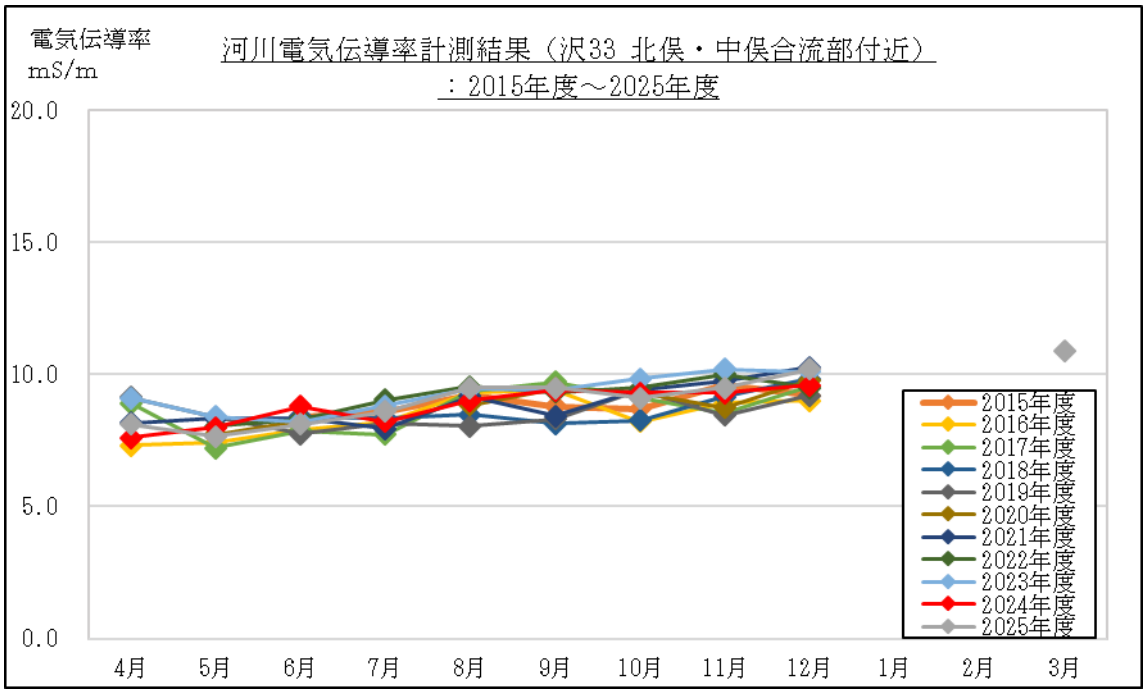


図 69　水質計測結果（沢 33 北俣・中俣合流部付近）（電気伝導率（EC））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.3 河川の水質（工事排水）（月１回計測）

【事後調査及びモニタリング計画通し番号8、11、20、26、73】

1.3.5 調査期間

河川の水質（工事排水）の調査期間を表 41 及び表 42 に示します。

表 41　調査期間（河川の水質（工事排水）（月１回計測））（2014 年度～2023 年度）

調査地点	調査年度	調査期間
河 02 西俣（放流箇所下流） 河 08-2 千石（放流箇所下流） 河 10-3 椹島（放流箇所下流②） 土 01 ツバクロ発生土置き場 土 02 イタドリ発生土置き場 土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場	2014 年度	2014 年 12 月２日、12 月４日（12 月期） 2015 年 12 月３日（12 月期） 2014 年 12 月 11 日、12 月 12 日（12 月期）
土 05 剃石発生土置き場	2015 年度	2015 年８月４日（８月期） 2015 年 12 月３日（12 月期）
河 08-3 千石（千石沢ヤード下流）	2020 年度	2020 年５月 29 日 2020 年 12 月 16 日
河 02 西俣（放流箇所下流） 河 08-2 千石（放流箇所下流） 河 10-3 椹島（放流箇所下流②） 土 01 ツバクロ発生土置き場 土 02 イタドリ発生土置き場 土 03 藤島発生土置き場 土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場 土 05 剃石発生土置き場	2021 年度	2021 年４月 13 日、14 日、16 日 2021 年５月 12 日～14 日 2021 年６月 10 日、11 日 2021 年７月 14 日、15 日、31 日 2021 年８月 1 日 2021 年９月 14 日、15 日 2021 年 10 月 13 日、14 日 2021 年 11 月 14 日 2021 年 12 月 14 日、15 日 2022 年１月 12 日～14 日 2022 年３月 10 日、12 日
	2022 年度	2022 年４月 14 日～16 日 2022 年５月 11 日、12 日 2022 年６月１日 2022 年７月１日、３日 2022 年８月 10 日、12 日、24 日 2022 年９月１日 2022 年 10 月 27 日～29 日 2022 年 11 月 11 日、12 日 2022 年 12 月２日、３日、15 日 2023 年１月 11 日、12 日 2023 年２月２日、３日 2023 年３月２日、３日
	2023 年度	2023 年４月 13 日、28 日 2023 年５月 25 日～27 日 2023 年６月 17 日、18 日、30 日 2023 年７月 28 日、30 日 2023 年８月 10 日、12 日 2023 年９月１日、３日 2023 年 10 月 13 日、15 日 2023 年 11 月２日～５日 2023 年 12 月２日、３日 2024 年１月 12 日、13 日 2024 年２月１日、２日 2024 年３月１日、２日、15 日

表 42　調査期間（河川の水質（工事排水）（月１回計測））（2024 年度～2025 年度）

調査地点	調査年度	調査期間
河 02 西俣（放流箇所下流） 河 08-2 千石（放流箇所下流） 河 10-3 椹島（放流箇所下流②） 土 01 ツバクロ発生土置き場 土 02 イタドリ発生土置き場 土 03 藤島発生土置き場 土 04 中ノ宿２・3 発生土置き場 土 05 剃石発生土置き場	2024 年度	2024 年４月 25 日、27 日 2024 年５月 11 日、12 日 2024 年６月 14 日、16 日 2024 年７月 11 日、25 日、27 日 2024 年８月１日、２日、４日 2024 年９月５日～７日 2024 年 10 月１日～３日 2024 年 11 月 14 日、17 日、18 日 2024 年 12 月４日、５日 2025 年１月９日、21 日、22 日 2025 年２月４日～６日 2025 年３月５日～７日
河 02 西俣（放流箇所下流） 河 08-2 千石（放流箇所下流） 河 08-3 千石（千石沢ヤード下流）（２月のみ） 河 10-3 椹島（放流箇所下流②） 土 01 ツバクロ発生土置き場 土 02 イタドリ発生土置き場 土 03 藤島発生土置き場 土 04 中ノ宿２・3 発生土置き場 土 05 剃石発生土置き場	2025 年度	2025 年４月 26 日、27 日、28 日 2025 年５月８日～10 日 2025 年６月４日、５日 2025 年７月８日～11 日 2025 年８月４日、６日、28 日、30 日 2025 年９月１日～３日、30 日 2025 年 10 月６日～９日 2025 年 11 月４日～８日 2025 年 12 月１日～５日、22 日 2026 年１月 13 日～16 日 2026 年２月３日～６日 2026 年３月２日、４日～６日

1.3.6 河 02 西俣（放流箇所下流）（工事排水）

1.3.6.1 調査結果（2025 年度）

河 02 西俣（放流箇所下流）（工事排水）の 2025 年度の調査結果を表 43 に示します。

表 43　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流）（工事排水））（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
河 02	西俣（放流箇所下流）（工事排水）	流量（m^3/min）	195.0	63.0	110.4	56.4	46.8	30.6	29.4	114.0	25.2	19.8	19.8	19.8
		水温（℃）	5.7	5.7	7.9	11.6	17.1	12.0	12.0	5.8	4.0	2.7	1.6	4.2
		pH	7.7	7.8	7.8	7.9	8.0	8.0	7.9	7.7	7.8	7.9	7.8	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	9.4	11.0	9.8	11.0	11.0	12.0	13.0	11.0	13.0	13.0	14.0	14.0
		溶存酸素量（DO）（mg/L）	11.1	11.8	10.0	9.5	9.1	12.4	10.4	10.8	11.8	11.6	12.0	12.0
		浮遊物質（mg/L）	1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
		カドミウム（mg/L）	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
		六価クロム（mg/L）	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		総水銀（mg/L）	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		セレン（mg/L）	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		鉛（mg/L）	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		ヒ素（mg/L）	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		ふっ素（mg/L）	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
		ほう素（mg/L）	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		亜鉛（mg/L）	0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.003	<0.001	<0.001	<0.001

注：「<」は未満を示しています。

1.3.6.2 調査結果（過年度）

河 02 西俣（放流箇所下流）（工事排水）の過年度の調査結果を表 44～表 46 及び図 71～図 74 に示します。なお、表 45、表 46 の結果においては過去の結果が検出限界値等、変動の少ない値のため、図での結果を省略しております。

表 44　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流）（工事排水））（過年度）

調査年度	河 02 西俣（放流箇所下流）（工事排水）														
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)			溶存酸素量（DO）(mg/L)			浮遊物質（mg/L）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均 ※1	最大	最小
2014年度	1.8	1.8	1.8	7.8	7.8	7.8							3.0	3.0	3.0
2021 年度	7.2	11.7	0.4	8.0	8.0	7.8	11.3	13.0	8.4	10.8	13.6	9.3	1.5	6.0	＜1.0
2022 年度	8.4	14.1	3.3	8.0	8.1	7.9	11.4	13.0	9.0	10.3	11.4	9.1	1.0	＜1.0	＜1.0
2023 年度	9.6	14.0	3.1	8.0	8.1	7.8	11.7	13.0	11.0	10.7	12.2	9.0	1.0	＜1.0	＜1.0
2024 年度	9.4	16.5	3.7	8.0	8.1	7.8	11.1	13.0	8.7	10.0	11.5	9.0	1.0	＜1.0	＜1.0
2025 年度	7.5	17.1	1.6	7.9	8.0	7.7	11.9	14.0	9.4	11.0	12.4	9.1	1.0	1.0	＜1.0
過年度	7.3	17.1	0.4	7.9	8.1	7.7	11.5	14.0	8.4	10.6	13.6	9.0	1.4	6.0	＜1.0

注 1：「※1」について、1.0 未満の計測結果については、1.0 として取扱い算出しています。
注 2：「＜」は未満を示しています。

表 45　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流）（工事排水））（過年度）

調査年度	河 02 西俣（放流箇所下流）（工事排水）											
	カドミウム（mg/L）			六価クロム（mg/L）			総水銀（mg/L）			セレン（mg/L）		
	平均※1	最大	最小	平均※2	最大	最小	平均※3	最大	最小	平均※4	最大	最小
2014年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.025	＜0.025	＜0.025	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2021 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2022 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2023 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2024 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2025 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
過年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.025	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002

注 1：「※1」について、0.0003 未満の計測結果については、0.0003 として取扱い算出しています。
注 2：「※2」について、0.025 および 0.01 未満の計測結果については、それぞれ 0.025 および 0.01 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.0005 未満の計測結果については、0.0005 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.002 未満の計測結果については、0.002 として取扱い算出しています。
注 5：「＜」は未満を示しています。

表 46　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流）（工事排水））（過年度）

調査年度	河 02 西俣（放流箇所下流）（工事排水）														
	鉛（mg/L）			ヒ素（mg/L）			ふっ素（mg/L）			ほう素（mg/L）			亜鉛（mg/L）		
	平均※1	最大	最小	平均※2	最大	最小	平均※3	最大	最小	平均※4	最大	最小	平均※5	最大	最小
2014年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.001	＜0.001	＜0.001	0.08	＜0.08	＜0.08	0.1	＜0.1	＜0.1			
2021 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.1	＜0.1	＜0.1	0.02	＜0.02	＜0.02			
2022 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.1	＜0.1	＜0.1	0.02	＜0.02	＜0.02			
2023 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02	0.001	＜0.001	＜0.001
2024 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02	0.002	0.004	＜0.001
2025 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02	0.001	0.003	＜0.001
過年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.004	＜0.005	＜0.001	0.09	＜0.1	＜0.08	0.03	＜0.1	＜0.02	0.001	0.004	＜0.001

注 1：「※1」について、0.005 未満の計測結果については、0.005 として取扱い算出しています。
注 2：「※2」について、0.001 および 0.005 未満の計測結果については、それぞれ 0.001 および 0.005 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.08 および 0.1 未満の計測結果については、それぞれ 0.08 および 0.1 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.1 および 0.02 未満の計測結果については、それぞれ 0.1 および 0.02 として取扱い算出しています。
注 5：「※5」について、0.001 未満の計測結果については、0.001 として取扱い算出しています。
注 6：「＜」は未満を示しています。

水温

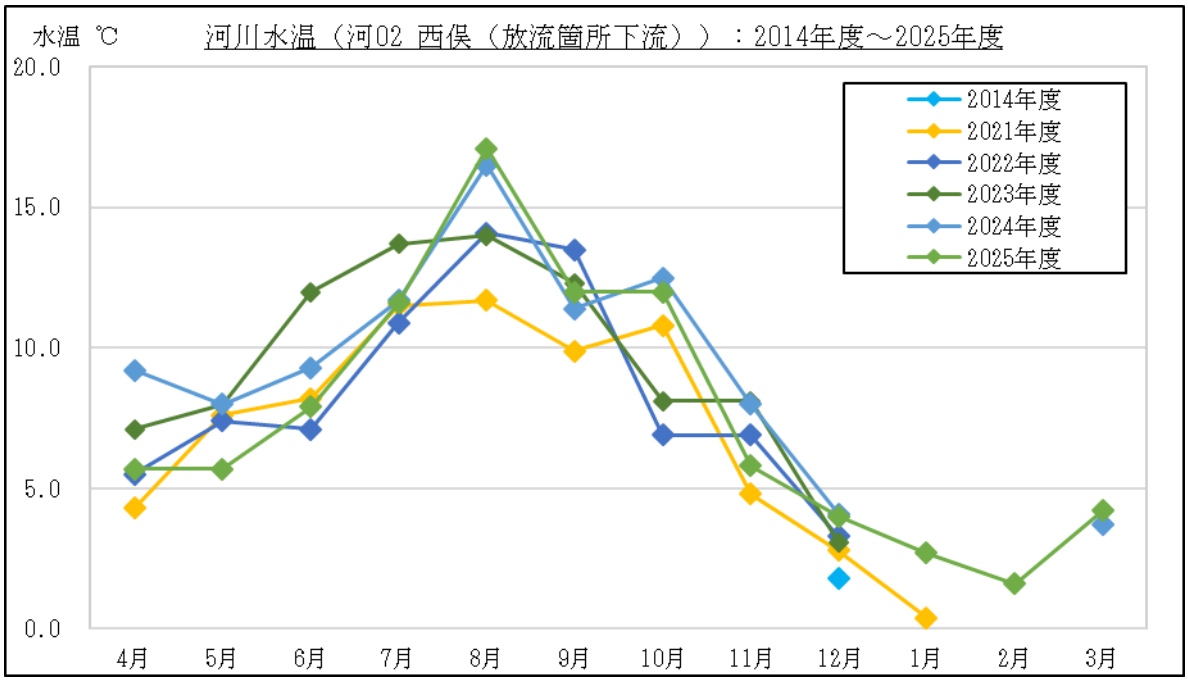


図 70　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流））（工事排水）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

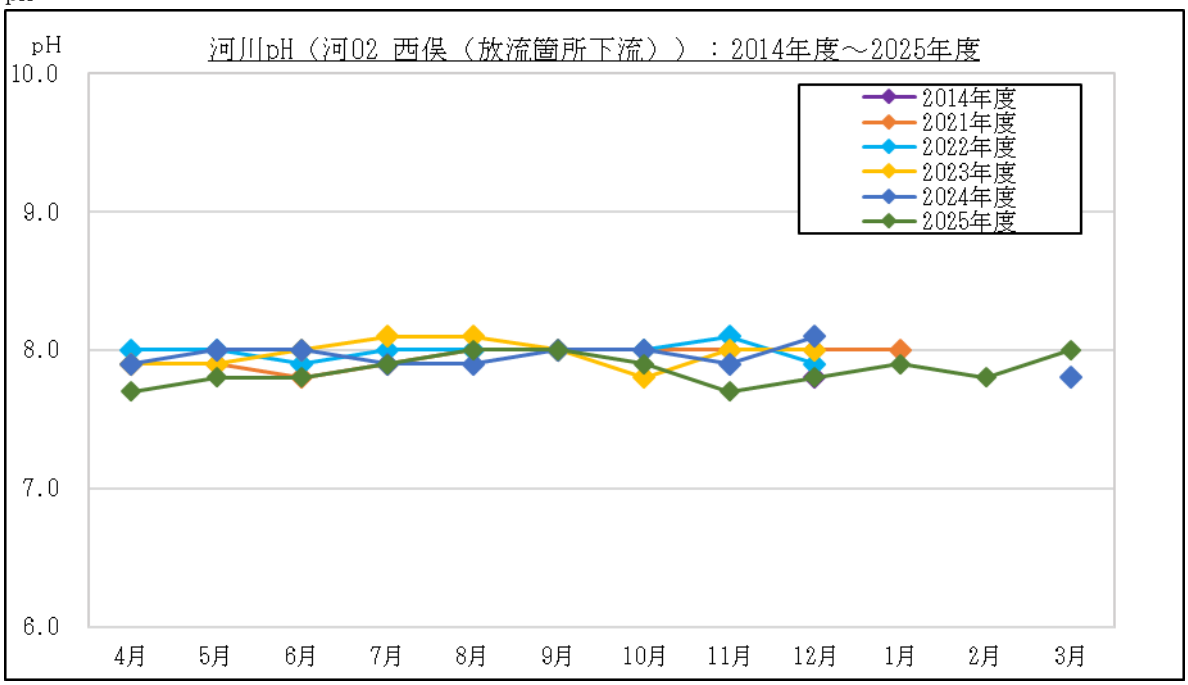


図 71　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流））（工事排水）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

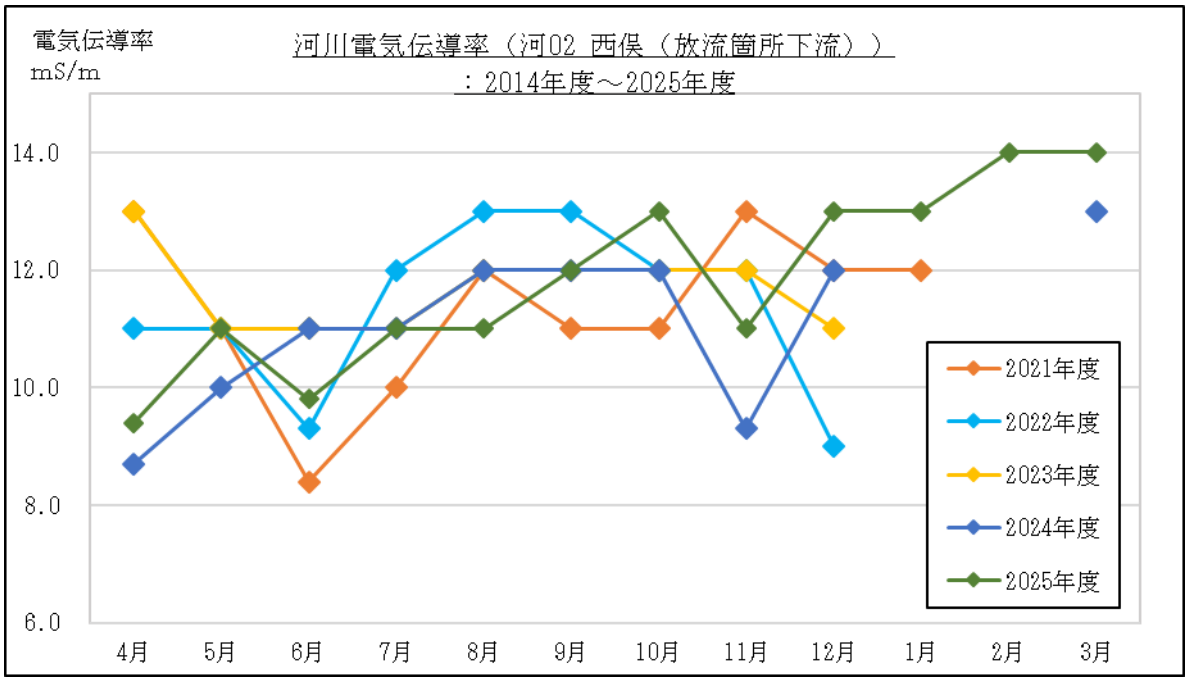


図 72　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流））（工事排水）（電気伝導率（EC））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

溶存酸素量（DO）

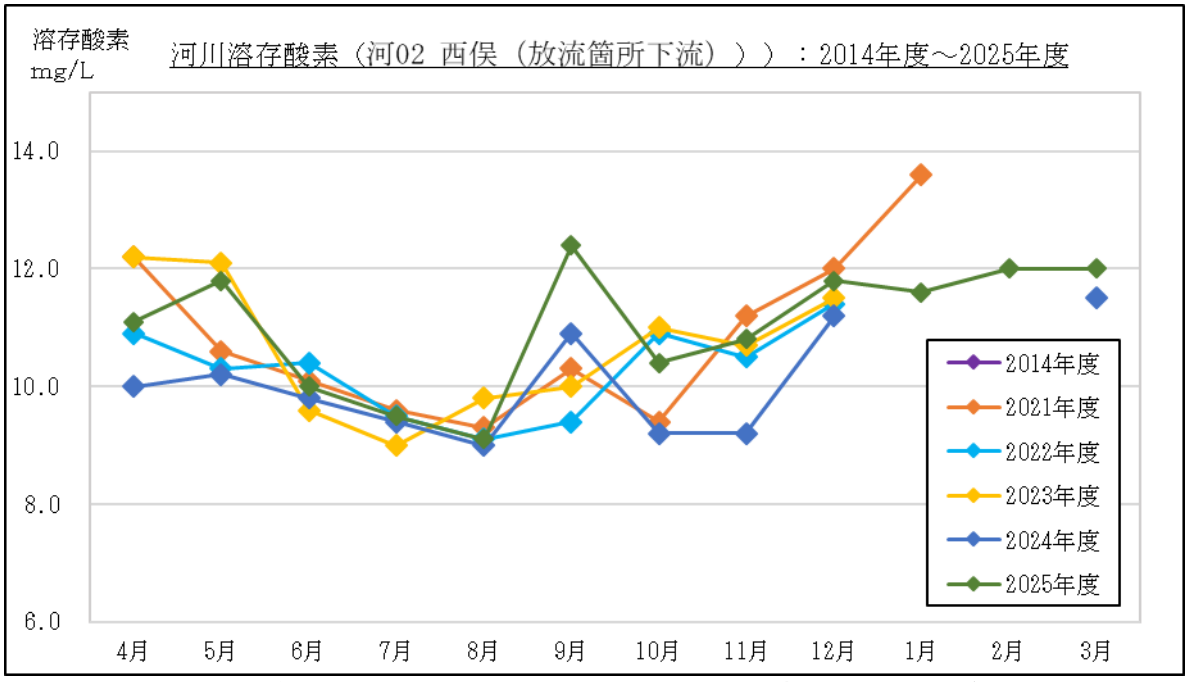


図 73　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流））（工事排水）（溶存酸素量（DO））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

SS

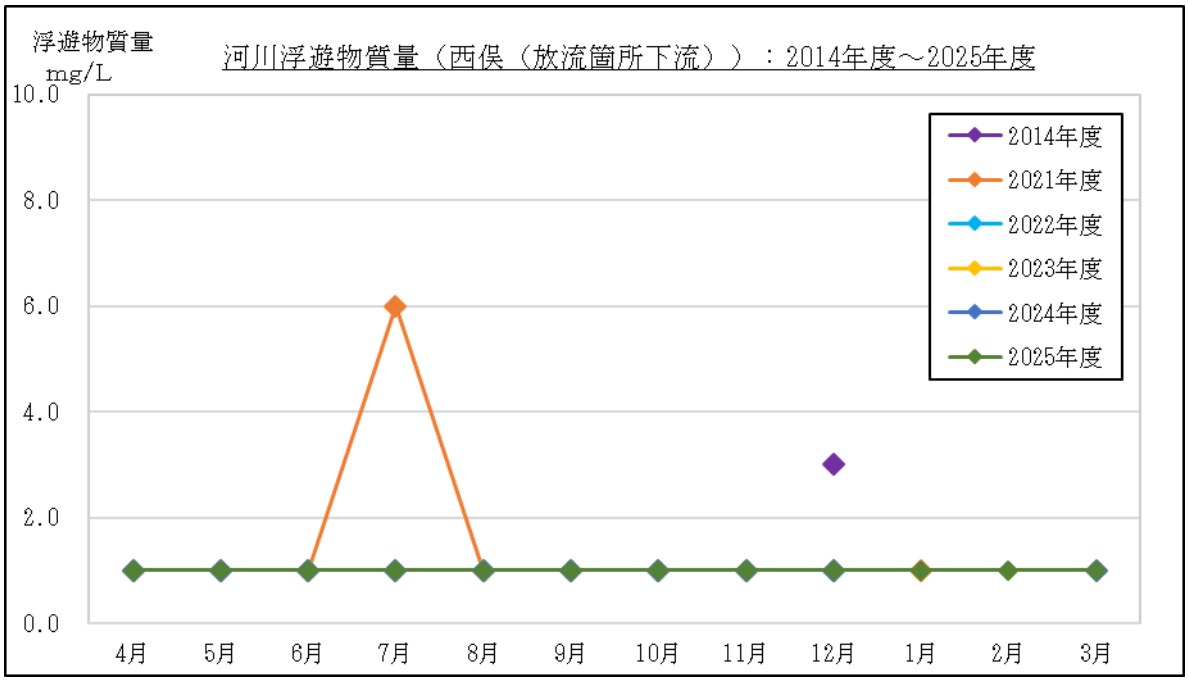


図 74　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流））（工事排水）（SS）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.3.7 河 08-2 千石（放流箇所下流）（工事排水）

1.3.7.1 調査結果（2025 年度）

河 08-2 千石（放流箇所下流）（工事排水）の 2025 年度の調査結果を表 47 に示します。

表 47　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流）（工事排水））（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
河 08-2	千石（放流箇所下流）（工事排水）	流量（m^3/min）	502.2	591.6	-※1	415.2	364.8	285.6	236.4	218.4	114.0	140.4	99.6	136.2
		水温（℃）	7.9	7.1	8.3	13.7	11.3	14.2	14.2	8.3	1.9	2.1	1.5	5.8
		pH	7.8	7.8	7.8	7.9	7.8	7.9	8.0	7.8	7.8	7.9	8.0	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	9.8	9.6	8.3	9.4	10.0	10.0	11.0	12.0	12.0	12.0	13.0	13.0
		溶存酸素量（DO）（mg/L）	10.4	11.0	11.1	10.6	9.6	10.3	10.1	10.8	12.2	12.5	12.5	11.2
		浮遊物質（mg/L）	3.0	2.0	2.0	1.0	<1.0	1.0	<1.0	2.0	1.0	<1.0	<1.0	<1.0
		カドミウム（mg/L）	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
		六価クロム（mg/L）	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		総水銀（mg/L）	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		セレン（mg/L）	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		鉛（mg/L）	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		ヒ素（mg/L）	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		ふっ素（mg/L）	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
		ほう素（mg/L）	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		亜鉛（mg/L）	0.002	<0.001	<0.001	0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.003	<0.001	<0.001	<0.001

注１：「※１」は河川増水のため、作業上の安全確保の観点から欠測。

注２：「<」は未満を示しています。：「<」は未満を示しています。

1.3.7.2 調査結果（過年度）

河 08-2 千石（放流箇所下流）（工事排水）の過年度の調査結果を表 48～表 50 及び図 75～図 79 に示します。なお、表 49、表 50 の結果においては過去の結果が検出限界値等、変動の少ない値のため、図での結果を省略しております。

表 48　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流）（工事排水））（過年度）

調査年度	河 08-2 千石（放流箇所下流）（工事排水）														
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)			溶存酸素量（DO）(mg/L)			浮遊物質（mg/L）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均※1	最大	最小
2014年度	2.1	2.1	2.1	7.8	7.8	7.8							1.0	1.0	1.0
2021 年度	7.9	12.7	1.4	7.9	8.0	7.8	10.5	13.0	8.9	10.8	12.2	9.2	1.3	3.0	＜1.0
2022 年度	7.7	16.9	2.1	7.9	8.1	7.8	10.4	12.0	8.9	10.9	12.5	9.3	2.8	23.0	＜1.0
2023 年度	9.1	15.8	4.1	8.0	8.2	7.9	10.9	14.0	9.7	10.6	11.7	9.1	1.0	＜1.0	＜1.0
2024 年度	8.7	14.1	1.3	7.9	8.0	7.8	10.0	12.0	8.5	10.6	12.7	9.1	1.8	8.0	＜1.0
2025 年度	8.0	14.2	1.5	7.9	8.1	7.8	10.8	13.0	8.3	11.0	12.5	9.6	1.4	3.0	＜1.0
過年度	7.2	16.9	1.3	7.9	8.2	7.8	10.5	14.0	8.3	10.8	12.7	9.1	1.5	23.0	＜1.0

注 1：「※1」について、1.0 未満の計測結果については、1.0 として取扱い算出しています。
注 2：「＜」は未満を示しています。

表 49　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流）（工事排水））（過年度）

調査年度	河 08-2 千石（放流箇所下流）（工事排水）											
	カドミウム（mg/L）			六価クロム（mg/L）			総水銀（mg/L）			セレン（mg/L）		
	平均※1	最大	最小	平均※2	最大	最小	平均※3	最大	最小	平均※4	最大	最小
2014年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.025	＜0.025	＜0.025	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2021 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2022 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2023 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2024 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2025 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
過年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.025	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002

注 1：「※1」について、0.0003 未満の計測結果については、0.0003 として取扱い算出しています。
注 2：「※2」について、0.025 および 0.01 未満の計測結果については、それぞれ 0.025 および 0.01 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.0005 未満の計測結果については、0.0005 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.002 未満の計測結果については、0.002 として取扱い算出しています。
注 5：「＜」は未満を示しています。

表 50　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流）（工事排水））（過年度）

調査年度	河 08-2 千石（放流箇所下流）（工事排水）														
	鉛（mg/L）			ヒ素（mg/L）			ふっ素（mg/L）			ほう素（mg/L）			亜鉛（mg/L）		
	平均※1	最大	最小	平均※2	最大	最小	平均※3	最大	最小	平均※4	最大	最小	平均※4	最大	最小
2014年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.001	＜0.001	＜0.001	0.08	＜0.08	＜0.08	0.1	＜0.1	＜0.1			
2021 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.1	＜0.1	＜0.1	0.02	＜0.02	＜0.02			
2022 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.1	＜0.1	＜0.1	0.02	＜0.02	＜0.02			
2023 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02	0.001	＜0.001	＜0.001
2024 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02	0.001	0.002	＜0.001
2025 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02	0.001	0.003	＜0.001
過年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.004	＜0.005	＜0.001	0.09	＜0.1	＜0.08	0.03	＜0.1	＜0.02	0.001	0.003	＜0.001

注 1：「※1」について、0.005 未満の計測結果については、0.005 として取扱い算出しています。
注 2：「※2」について、0.001 および 0.005 未満の計測結果については、それぞれ 0.001 および 0.005 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.08 および 0.1 未満の計測結果については、それぞれ 0.08 および 0.1 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.1 および 0.02 未満の計測結果については、それぞれ 0.1 および 0.02 として取扱い算出しています。
注 5：「※5」について、0.001 未満の計測結果については、0.001 として取扱い算出しています。
注 6：「＜」は未満を示しています。

水温

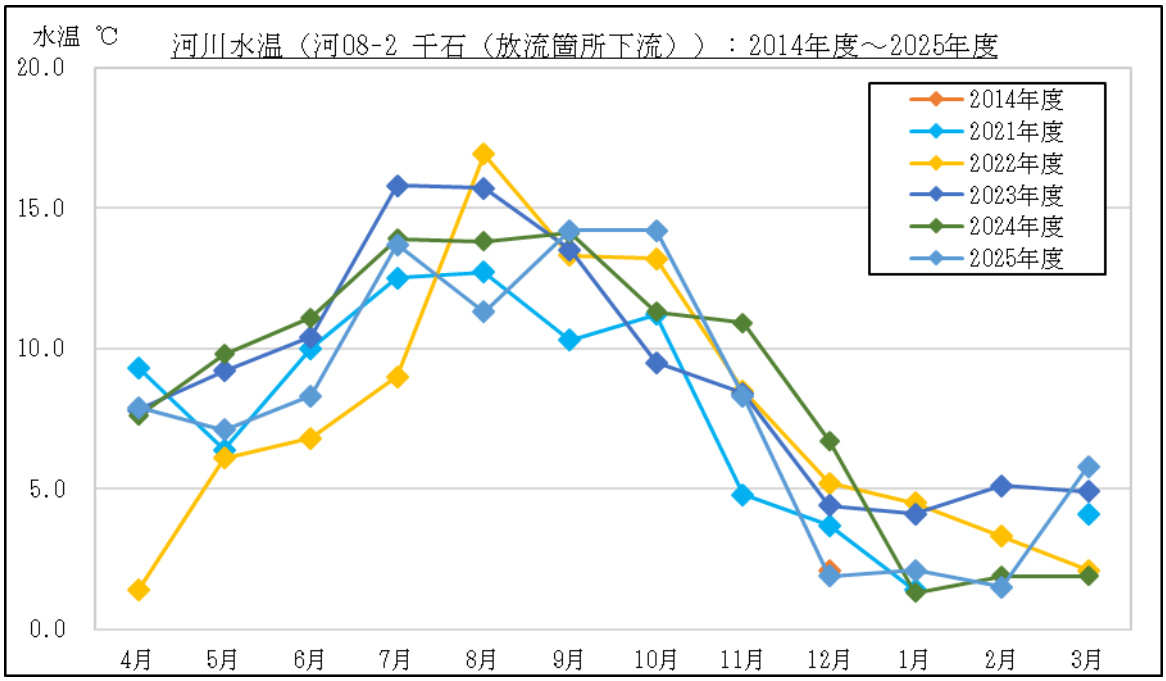


図 75　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流））（工事排水）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

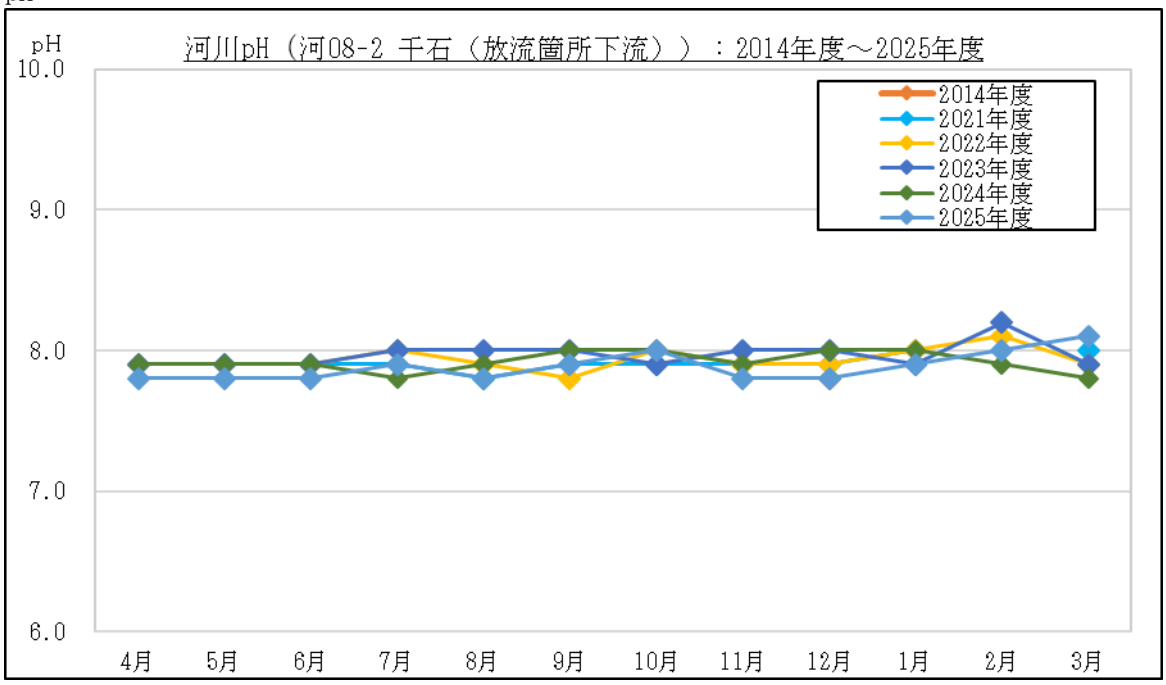


図 76　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流））（工事排水）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

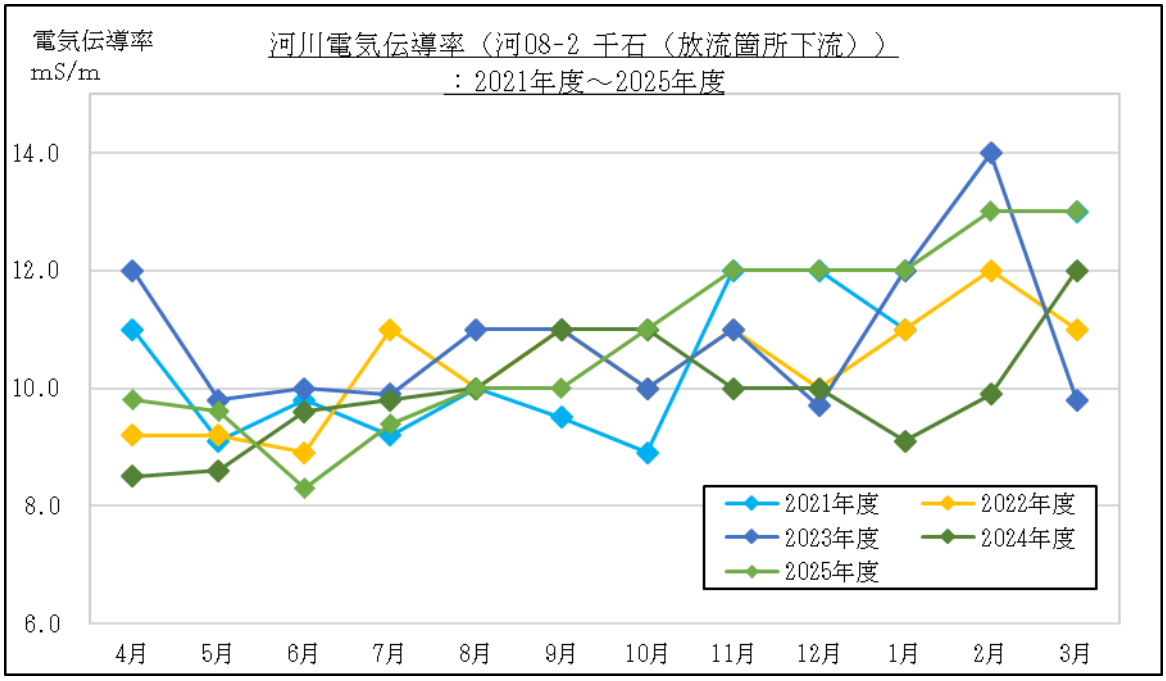


図 77　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流））（工事排水）（電気伝導率（EC））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

溶存酸素量（DO）

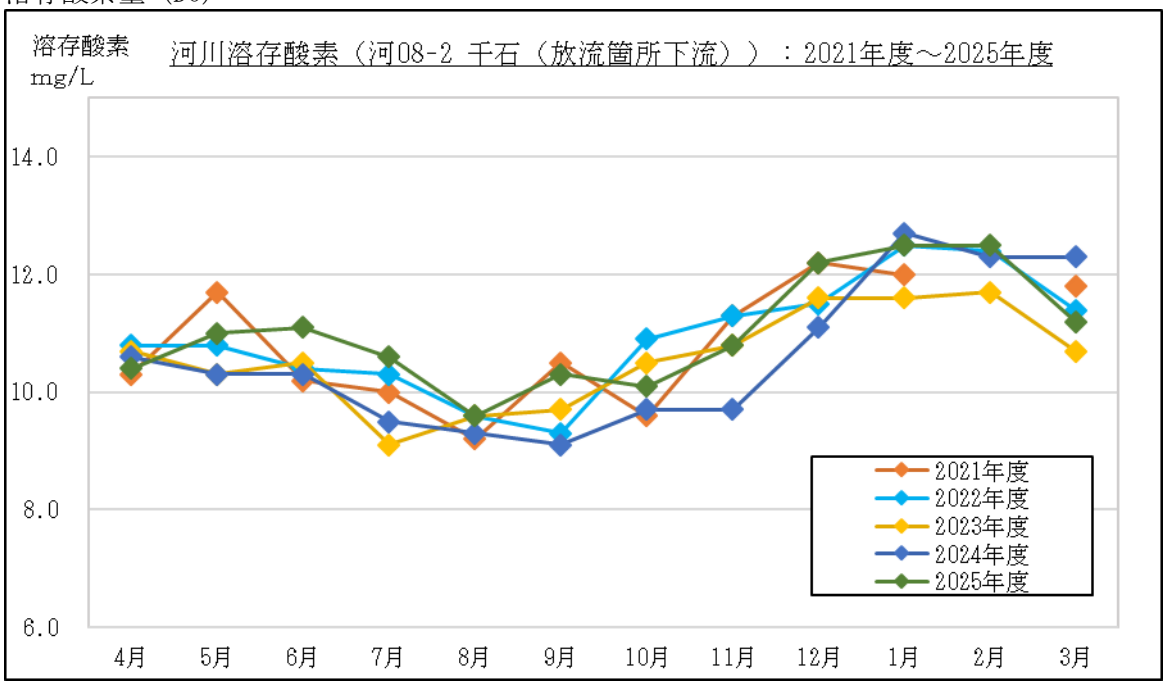


図 78　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流））（工事排水）（溶存酸素量（DO））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

SS

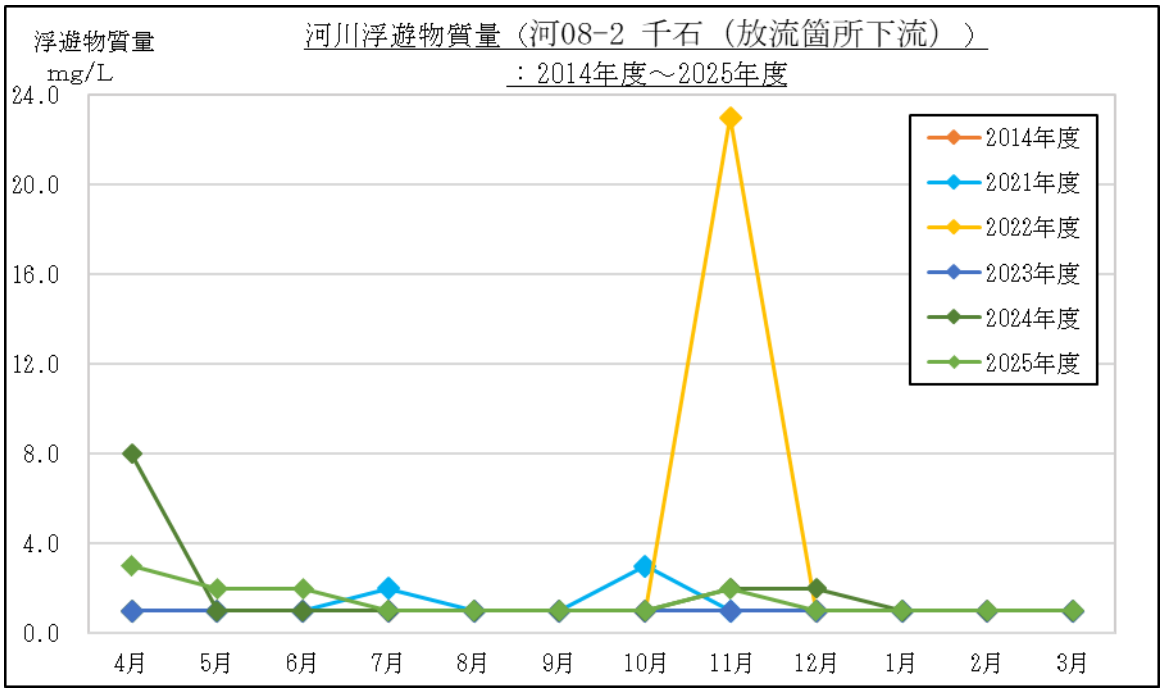


図 79　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流））（工事排水）（SS）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.3.8 河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（工事排水）

1.3.8.1 調査結果（2025 年度）

河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（工事排水）の 2025 年度の調査結果を表 51 に示します。

表 51　水質計測結果（河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（工事排水））（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度										
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）（工事排水）	流量（m^3/min）	–※1	78.6	112.8	84.6	70.2	366.6	63.6	78.6	190.2	25.2	18.6	79.2
		水温（℃）	–※1	11.9	12.6	14.2	20.2	18.0	18.0	7.9	6.6	2.3	3.6	6.9
		pH	–※1	7.9	7.9	7.9	8.0	8.0	8.0	7.8	7.9	7.9	7.9	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	–※1	12.0	10.0	11.0	12.0	11.0	11.0	13.0	13.0	15.0	15.0	15.0
		溶存酸素量（DO）（mg/L）	–※1	9.8	9.8	9.3	9.4	9.3	10.1	10.7	10.9	12.7	13.0	11.2
		浮遊物質（mg/L）	–※1	＜1.0	＜1.0	＜1.0	＜1.0	1.0	＜1.0	＜1.0	＜1.0	＜1.0	＜1.0	＜1.0
		カドミウム（mg/L）	–※1	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
		六価クロム（mg/L）	–※1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		総水銀（mg/L）	–※1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		セレン（mg/L）	–※1	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		鉛（mg/L）	–※1	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		ヒ素（mg/L）	–※1	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		ふっ素（mg/L）	–※1	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
		ほう素（mg/L）	–※1	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
		亜鉛（mg/L）	–※1	<0.001	<0.001	0.003	0.004	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001

注 1：「※1」は河川増水のため、作業上の安全確保の観点から欠測。

注 2：「<」は未満を示しています。

1.3.8.2 調査結果（過年度）

河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（工事排水）の過年度の調査結果を表 52～表 54 及び図 80～図 84 に示します。なお、表 53、表 54 の結果においては過去の結果が検出限界値等、変動の少ない値のため、図での結果を省略しております。

表 52　水質計測結果（河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（工事排水））（過年度）

調査年度	河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（工事排水）														
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)			溶存酸素量（DO）(mg/L)			浮遊物質（mg/L）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均※1	最大	最小
2015年度	6.9	6.9	6.9	7.9	7.9	7.9							1.0	1.0	1.0
2021 年度	10.5	17.3	0.2	8.0	8.1	7.9	13.5	16.0	12.0	10.6	12.2	9.2	1.9	11.0	＜1.0
2022 年度	9.4	19.2	2.4	8.0	8.1	8.0	13.4	15.0	12.0	10.7	12.7	8.5	1.9	10.0	＜1.0
2023 年度	9.1	18.5	2.7	8.0	8.1	7.8	12.8	16.0	10.0	10.7	12.5	8.7	1.8	10.0	＜1.0
2024 年度	10.7	18.8	0.4	8.0	8.1	7.8	11.7	13.0	9.3	10.4	12.7	8.8	1.5	7.0	＜1.0
2025 年度	11.1	20.2	2.3	7.9	8.1	7.8	12.5	15.0	10.0	10.6	13.0	9.3	1.0	1.0	＜1.0
過年度	9.6	20.2	0.2	8.0	8.1	7.8	12.8	16.0	9.3	10.6	13.0	8.5	1.5	11.0	＜1.0

注 1：「※1」について、1.0 未満の計測結果については、1.0 として取扱い算出しています。
注 2：「＜」は未満を示しています。

表 53　水質計測結果（河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（工事排水））（過年度）

調査年度	河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（工事排水）											
	カドミウム（mg/L）			六価クロム（mg/L）			総水銀（mg/L）			セレン（mg/L）		
	平均※1	最大	最小	平均※2	最大	最小	平均※3	最大	最小	平均※4	最大	最小
2015年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.025	＜0.025	＜0.025	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2021 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2022 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2023 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2024 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2025 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
過年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.025	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002

注 1：「※1」について、0.0003 未満の計測結果については、0.0003 として取扱い算出しています。
注 2：「※2」について、0.025 および 0.01 未満の計測結果については、それぞれ 0.025 および 0.01 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.0005 未満の計測結果については、0.0005 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.002 未満の計測結果については、0.002 として取扱い算出しています。
注 5：「＜」は未満を示しています。

表 54　水質計測結果（河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（工事排水））（過年度）

調査年度	河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（工事排水）														
	鉛（mg/L）			ヒ素（mg/L）			ふっ素（mg/L）			ほう素（mg/L）			亜鉛（mg/L）		
	平均※1	最大	最小	平均※2	最大	最小	平均※3	最大	最小	平均※4	最大	最小	平均※5	最大	最小
2015年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.001	＜0.001	＜0.001	0.08	＜0.08	＜0.08	0.1	＜0.1	＜0.1			
2021 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.1	＜0.1	＜0.1	0.02	＜0.02	＜0.02			
2022 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.1	＜0.1	＜0.1	0.02	＜0.02	＜0.02			
2023 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02	0.001	0.001	0.001
2024 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02	0.001	0.002	＜0.001
2025 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02	0.001	0.004	＜0.001
過年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.004	＜0.005	＜0.001	0.09	＜0.1	＜0.08	0.03	＜0.1	＜0.02	0.001	0.004	＜0.001

注 1：「※1」について、0.005 未満の計測結果については、0.005 として取扱い算出しています。
注 2：「※2」について、0.001 および 0.005 未満の計測結果については、それぞれ 0.001 および 0.005 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.08 および 0.1 未満の計測結果については、それぞれ 0.08 および 0.1 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.1 および 0.02 未満の計測結果については、それぞれ 0.1 および 0.02 として取扱い算出しています。
注 5：「※5」について、0.001 未満の計測結果については、0.001 として取扱い算出しています。
注 5：「＜」は未満を示しています。

水温

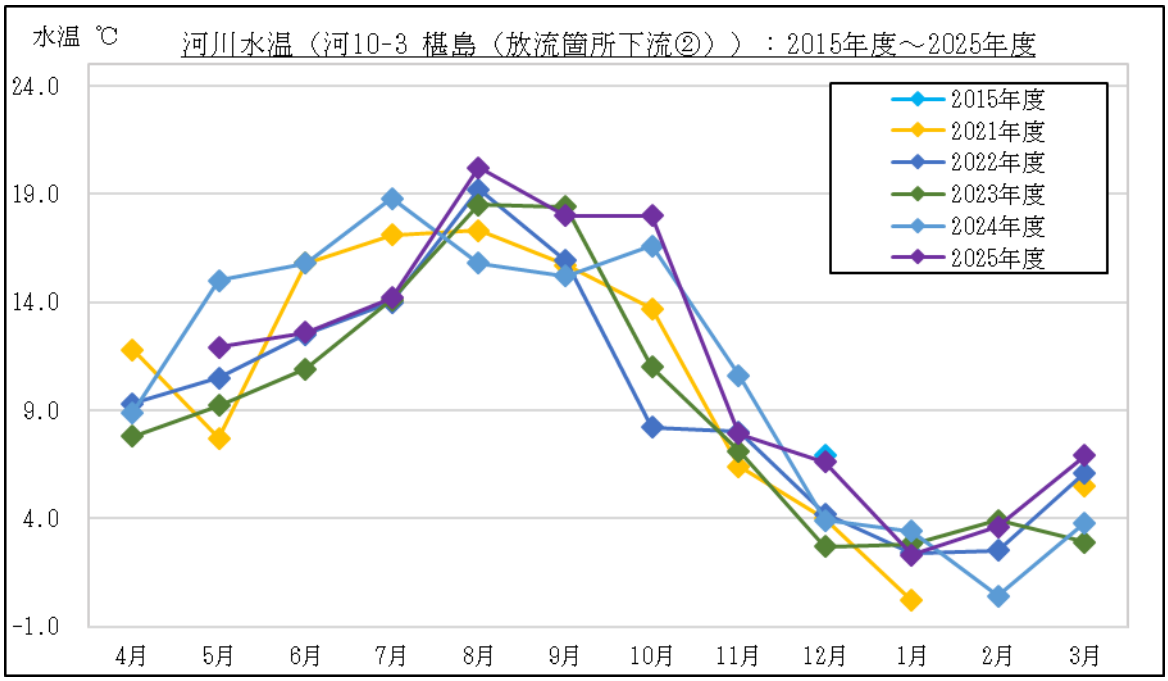


図 80　水質計測結果（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））（工事排水）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

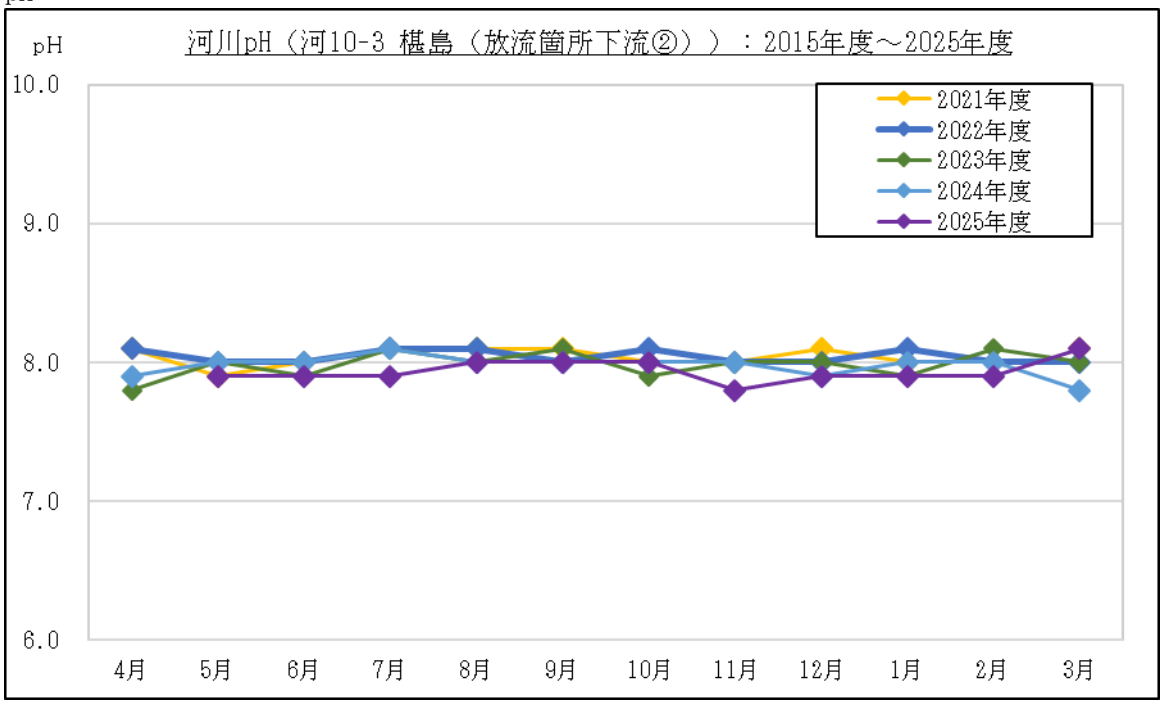


図 81　水質計測結果（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））（工事排水）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

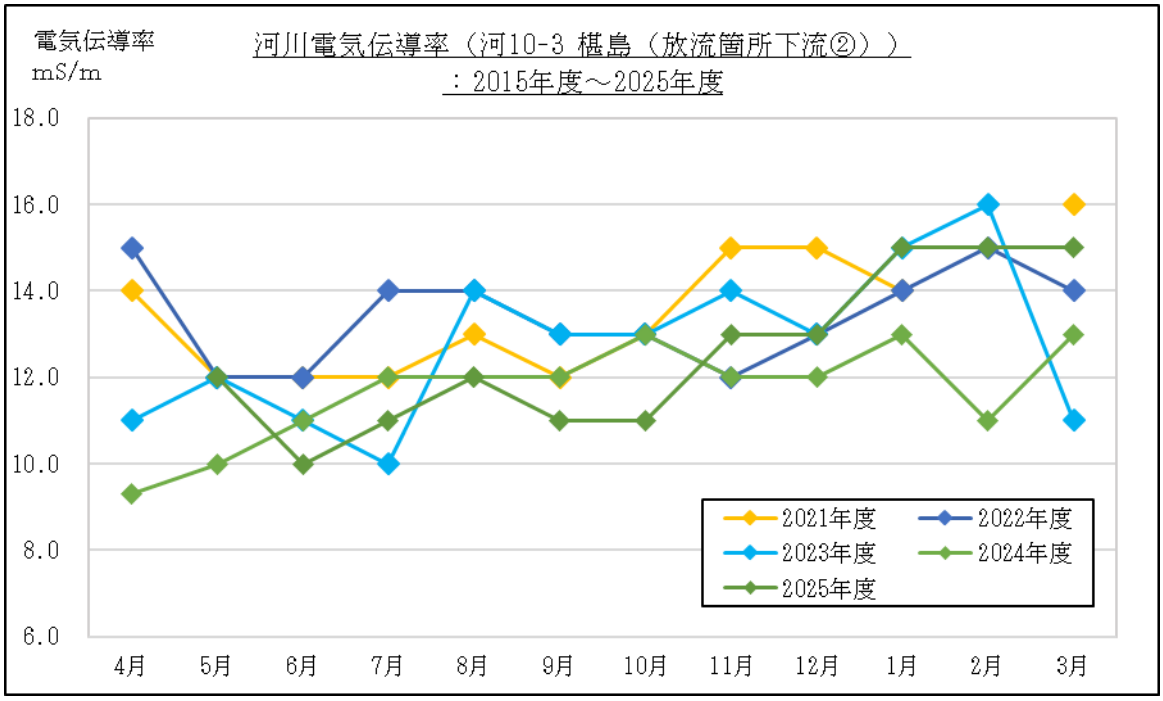


図 82　水質計測結果（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））（工事排水）（電気伝導率（EC））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

溶存酸素量（DO）

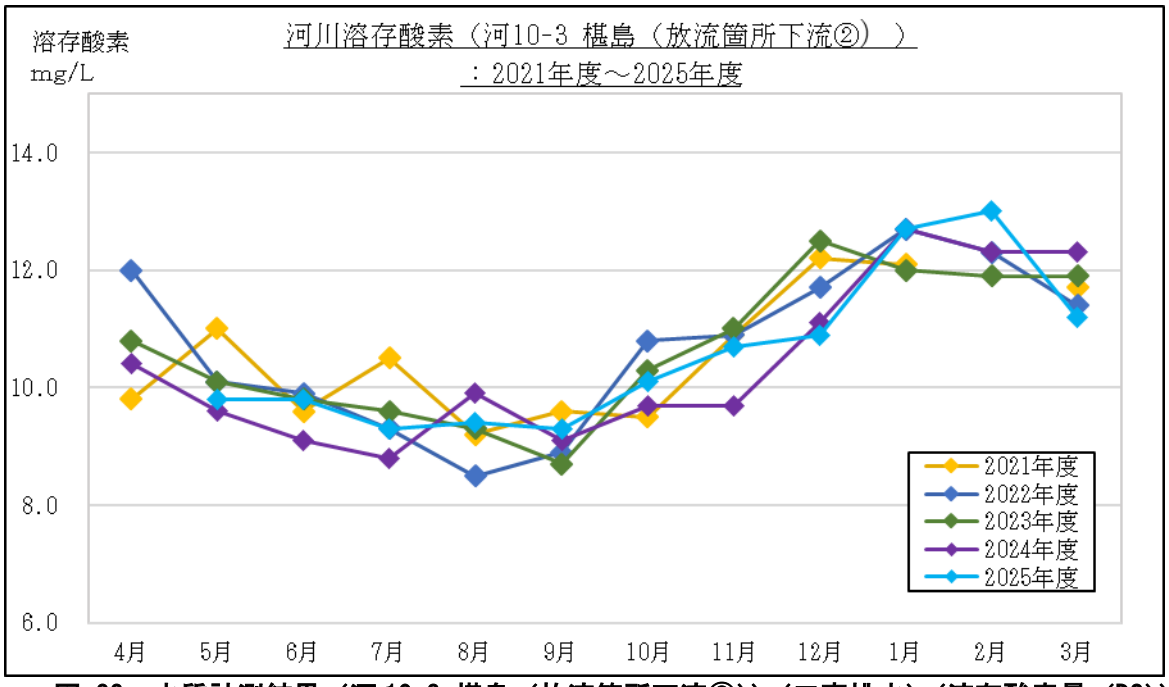


図 83　水質計測結果（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））（工事排水）（溶存酸素量（DO））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

SS

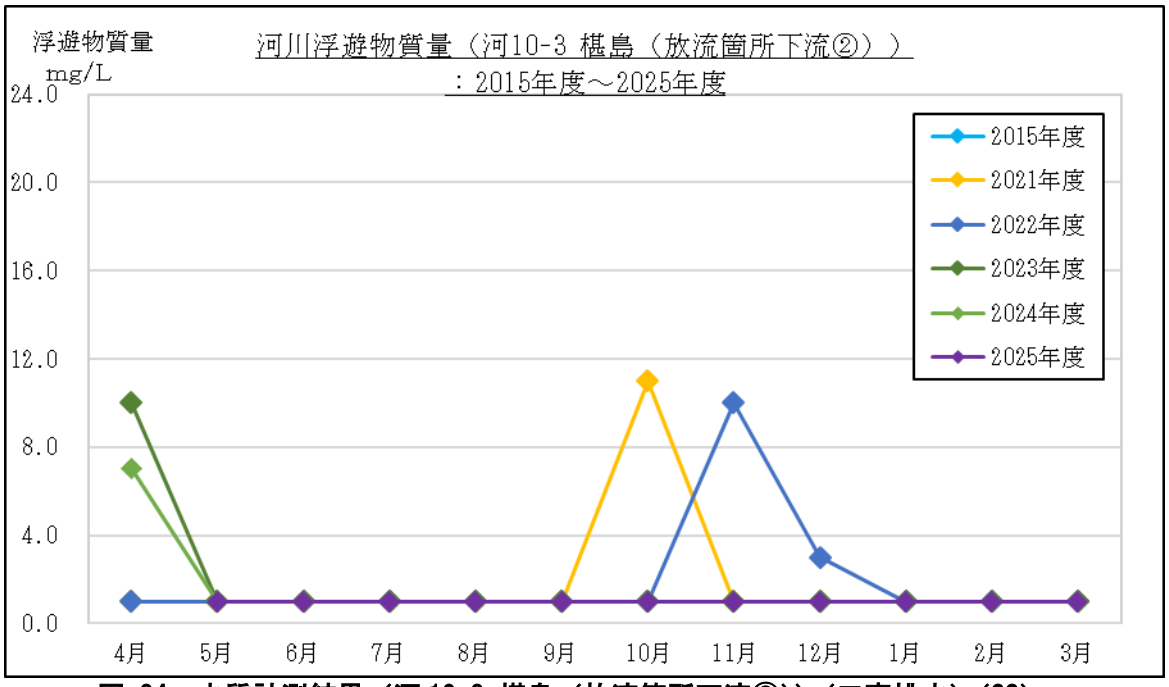


図 84　水質計測結果（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））（工事排水）（SS）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.3.9 土01 ツバクロ発生土置き場

1.3.9.1 調査結果（2025年度）

土01 ツバクロ発生土置き場の2025年度の調査結果を表 55に示します。

表 55 水質計測結果（土01 ツバクロ発生土置き場）（2025年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025年度											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
土01	ツバクロ発生土置き場	流量（m^3/min）	540.0	-※1	-※1	397.8	524.4	355.2	346.8	291.6	209.4	161.4	155.4	151.8
		水温（℃）	8.8	7.9	9.1	15.0	14.6	15.3	15.3	7.6	6.4	2.9	3.4	7.1
		pH	7.9	7.9	7.9	7.9	8.0	7.9	8.0	7.8	7.9	7.9	7.9	8.2
		電気伝導率（EC）（mS/m）	11.0	11.0	9.3	10.0	11.0	11.0	12.0	12.0	13.0	13.0	14.0	14.0
		浮遊物質（mg/L）	2.0	1.0	3.0	1.0	2.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
		カドミウム（mg/L）	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
		六価クロム（mg/L）	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		総水銀（mg/L）	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		セレン（mg/L）	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		鉛（mg/L）	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		ヒ素（mg/L）	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		ふっ素（mg/L）	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
		ほう素（mg/L）	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02

注１：「<」は未満を示しています。

注２：「※１」は河川増水のため、作業上の安全確保の観点から欠測している。

1.3.9.2 調査結果（過年度）

土 01 ツバクロ発生土置き場の過年度の調査結果を表 56～表 58 及び図 85～図 88 に示します。なお、表 57、表 58 の結果においては過去の結果が検出限界値等、変動の少ない値のため、図での結果を省略しております。

表 56 水質計測結果（土 01 ツバクロ発生土置き場）（過年度）

調査年度	土 01 ツバクロ発生土置き場											
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)			浮遊物質（mg/L）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均※1	最大	最小
2014年度	3.5	3.5	3.5	8.1	8.1	8.1				1.0	＜1.0	＜1.0
2021 年度	8.6	16.1	0.9	8.0	8.1	7.9	13.5	16.0	11.0	1.1	2.0	＜1.0
2022 年度	9.1	16.3	2.6	8.0	8.1	7.9	13.6	16.0	11.0	3.1	26.0	＜1.0
2023 年度	10.4	17.6	5.2	8.0	8.1	7.9	13.7	17.0	11.0	1.1	2.0	＜1.0
2024 年度	8.9	15.6	2.1	7.9	8.0	7.8	11.0	13.0	9.0	1.3	3.0	＜1.0
2025 年度	9.5	15.3	2.9	7.9	8.2	7.8	11.8	14.0	9.3	1.3	3.0	＜1.0
過年度	8.3	17.6	0.9	8.0	8.2	7.8	12.7	17.0	9.0	1.5	26.0	＜1.0

注 1：「※1」について、1.0 未満の計測結果については、1.0 として取扱い算出しています。
注 2：「く」は未満を示しています。

表 57 水質計測結果（土 01 ツバクロ発生土置き場）（過年度）

調査年度	土 01 ツバクロ発生土置き場											
	カドミウム（mg/L）			六価クロム（mg/L）			総水銀（mg/L）			セレン（mg/L）		
	平均※1	最大	最小	平均※2	最大	最小	平均※3	最大	最小	平均※4	最大	最小
2014年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.025	＜0.025	＜0.025	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2021 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2022 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2023 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2024 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2025 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
過年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.025	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002

注 1：「※1」について、0.0003 未満の計測結果については、0.0003 として取扱い算出しています。
注 2：「※2」について、0.025 および 0.01 未満の計測結果については、それぞれ 0.025 および 0.01 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.0005 未満の計測結果については、0.0005 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.002 未満の計測結果については、0.002 として取扱い算出しています。
注 5：「＜」は未満を示しています。

表 58 水質計測結果（土 01 ツバクロ発生土置き場）（過年度）

調査年度	土 01 ツバクロ発生土置き場											
	鉛（mg/L）			ヒ素（mg/L）			ふっ素（mg/L）			ほう素（mg/L）		
	平均※1	最大	最小	平均※2	最大	最小	平均※3	最大	最小	平均※4	最大	最小
2014年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.001	＜0.001	＜0.001	0.08	＜0.08	＜0.08	0.1	＜0.1	＜0.1
2021 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.1	＜0.1	＜0.1	0.02	＜0.02	＜0.02
2022 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.1	＜0.1	＜0.1	0.02	＜0.02	＜0.02
2023 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02
2024 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02
2025 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02
過年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.004	＜0.005	＜0.001	0.09	＜0.1	＜0.08	0.03	＜0.1	＜0.02

注 1：「※1」について、0.005 未満の計測結果については、0.005 として取扱い算出しています。
注 2：「※2」について、0.001 および 0.005 未満の計測結果については、それぞれ 0.001 および 0.005 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.08 および 0.1 未満の計測結果については、それぞれ 0.08 および 0.1 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.1 および 0.02 未満の計測結果については、それぞれ 0.1 および 0.02 として取扱い算出しています。
注 5：「＜」は未満を示しています。

水温

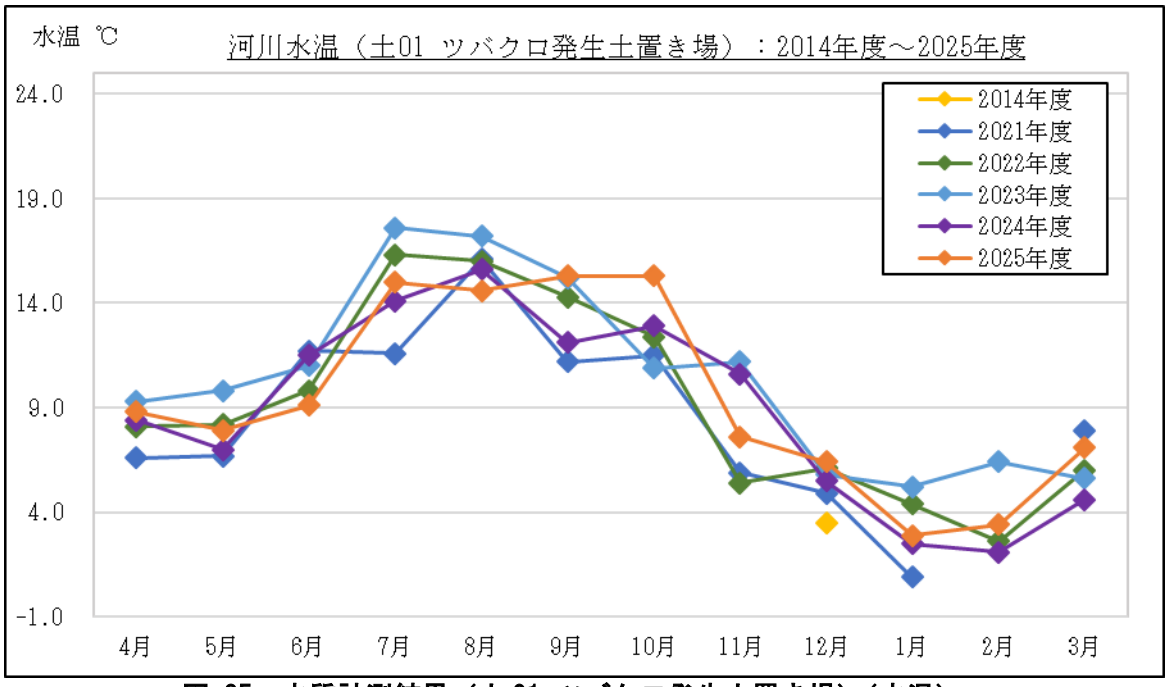


図 85　水質計測結果（土 01 ツバクロ発生土置き場）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

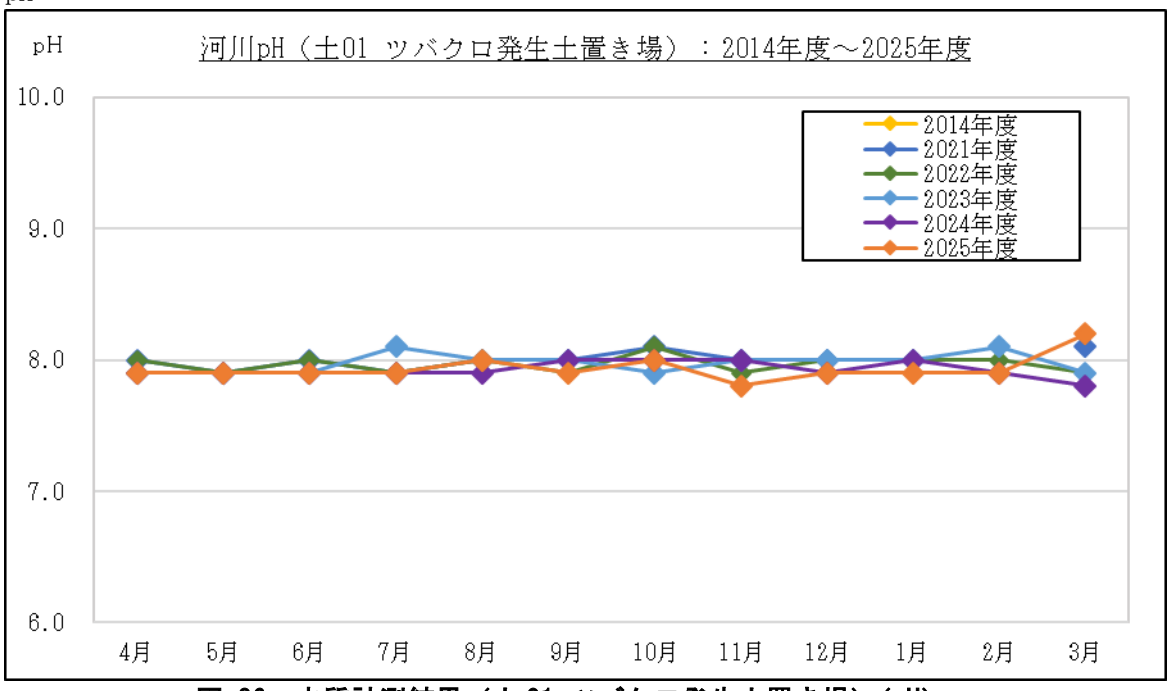


図 86　水質計測結果（土 01 ツバクロ発生土置き場）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

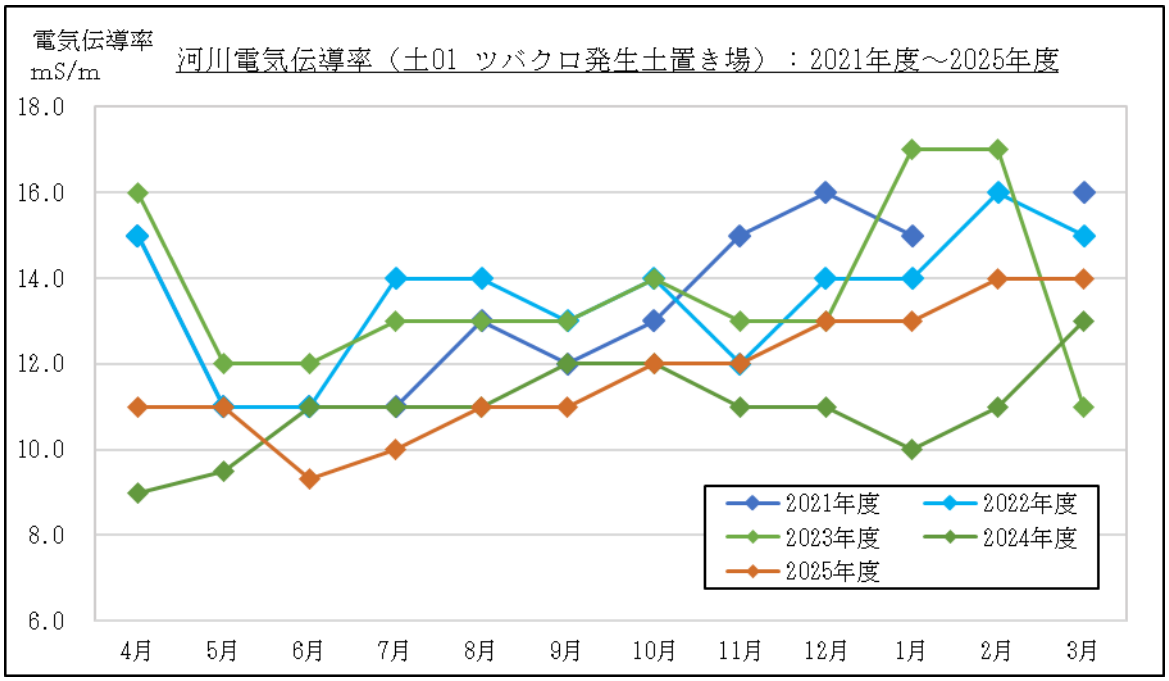


図 87　水質計測結果（土 01 ツバクロ発生土置き場）（電気伝導率（EC））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

SS

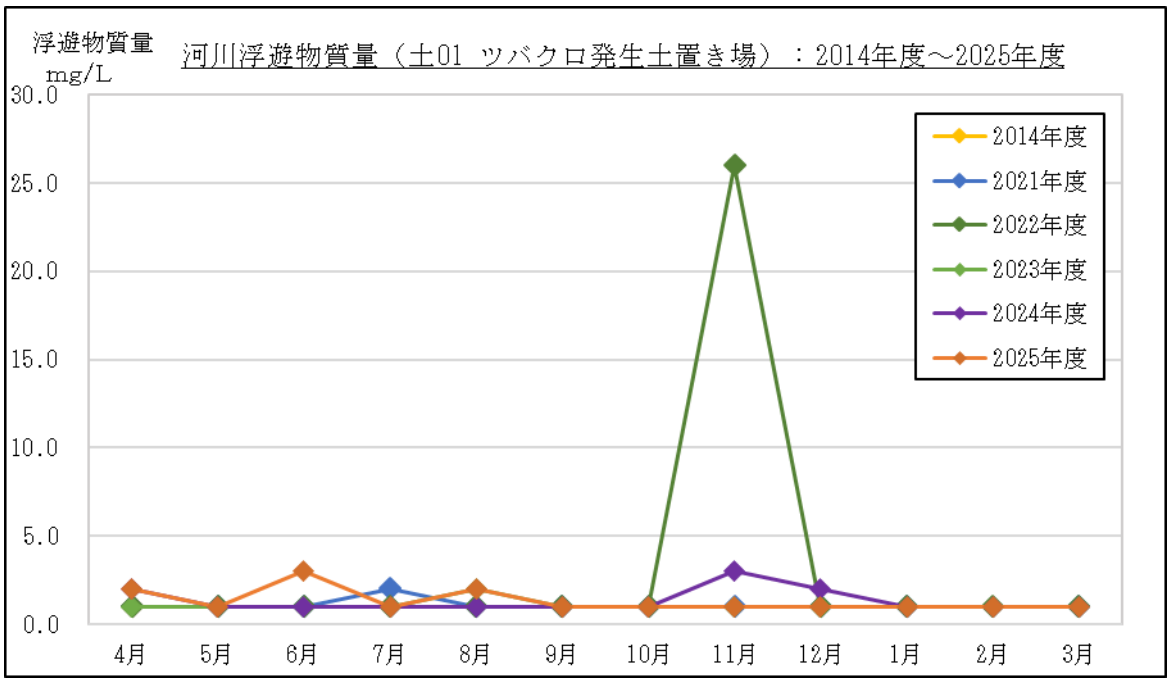


図 88　水質計測結果（土 01 ツバクロ発生土置き場）（SS）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.3.10 土 02 イタドリ発生土置き場

1.3.10.1 調査結果（2025 年度）

土 02 イタドリ発生土置き場の 2025 年度の調査結果を表 59 に示します。

表 59　水質計測結果（土 02 イタドリ発生土置き場）（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
土 02	イタドリ発生土置き場	流量（m^3/min）	－※1	0.0	53.4	73.2	58.2	52.8	54.6	64.8	378.0	17.4	17.4	69.6
		水温（℃）	5.8	9.5	11.5	13.0	16.4	13.2	12.8	7.0	6.3	2.5	3.1	7.1
		pH	7.8	8.0	7.9	7.9	8.0	8.0	7.9	7.8	7.9	8.0	8.0	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	11.0	11.0	9.6	10.0	11.0	11.0	12.0	12.0	13.0	13.0	14.0	14.0
		浮遊物質（mg/L）	3.0	2.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	1.0	<1.0	<1.0	<1.0
		カドミウム（mg/L）	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
		六価クロム（mg/L）	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		総水銀（mg/L）	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		セレン（mg/L）	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		鉛（mg/L）	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		ヒ素（mg/L）	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		ふっ素（mg/L）	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
		ほう素（mg/L）	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02

注 1：「※1」は河川増水のため、作業上の安全確保の観点から欠測しています。

注 2：「<」は未満を示しています。

1.3.10.2 調査結果（過年度）

土 02 イタドリ発生土置き場の過年度の調査結果を表 60～表 62 及び図 89～図 92 に示します。なお、表 61、表 62 の結果においては過去の結果が検出限界値等、変動の少ない値のため、図での結果を省略しております。

表 60　水質計測結果（土 02 イタドリ発生土置き場）（過年度）

調査年度	土 02 イタドリ発生土置き場											
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)			浮遊物質（mg/L）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均※1	最大	最小
2014年度	4.5	4.5	4.5	8.0	8.0	8.0				1.0	1.0	1.0
2021 年度	9.2	17.4	0.9	8.1	9.1	7.9	13.5	17.0	11.0	3.3	23.0	＜1.0
2022 年度	8.6	17.7	0.7	8.0	8.1	8.0	13.4	15.0	11.0	3.8	32.0	＜1.0
2023 年度	10.0	17.2	4.7	8.0	8.2	7.8	12.8	16.0	10.0	1.5	4.0	＜1.0
2024 年度	9.7	17.0	0.4	7.9	8.1	7.7	11.2	13.0	9.3	1.3	4.0	＜1.0
2025 年度	9.0	16.4	2.5	7.9	8.0	7.8	11.8	14.0	9.6	1.3	3.0	＜1.0
過年度	8.5	17.7	0.4	8.0	9.1	7.7	12.5	17.0	9.3	2.0	32.0	＜1.0

注 1：「※1」について、1.0 未満の計測結果については、1.0 として取扱い算出しています。
注 2：「く」は未満を示しています。

表 61　水質計測結果（土 02 イタドリ発生土置き場）（過年度）

調査年度	土 02 イタドリ発生土置き場											
	カドミウム（mg/L）			六価クロム（mg/L）			総水銀（mg/L）			セレン（mg/L）		
	平均※1	最大	最小	平均※2	最大	最小	平均※3	最大	最小	平均※4	最大	最小
2014年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.025	＜0.025	＜0.025	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2021 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2022 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2023 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2024 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2025 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
過年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.025	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002

注 1：「※1」について、0.0003 未満の計測結果については、0.0003 として取扱い算出しています。
注 2：「※2」について、0.025 および 0.01 未満の計測結果については、それぞれ 0.025 および 0.01 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.0005 未満の計測結果については、0.0005 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.002 未満の計測結果については、0.002 として取扱い算出しています。
注 5：「＜」は未満を示しています。

表 62　水質計測結果（土 02 イタドリ発生土置き場）（過年度）

調査年度	土 02 イタドリ発生土置き場											
	鉛（mg/L）			ヒ素（mg/L）			ふっ素（mg/L）			ほう素（mg/L）		
	平均※1	最大	最小	平均※2	最大	最小	平均※3	最大	最小	平均※4	最大	最小
2014年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.001	＜0.001	＜0.001	0.08	＜0.08	＜0.08	0.1	＜0.1	＜0.1
2021 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.1	＜0.1	＜0.1	0.02	＜0.02	＜0.02
2022 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.1	＜0.1	＜0.1	0.02	＜0.02	＜0.02
2023 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02
2024 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02
2025 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02
過年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.004	＜0.005	＜0.001	0.09	＜0.1	＜0.08	0.03	＜0.1	＜0.02

注 1：「※1」について、0.005 未満の計測結果については、0.005 として取扱い算出しています。
注 2：「※2」について、0.001 および 0.005 未満の計測結果については、それぞれ 0.001 および 0.005 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.08 および 0.1 未満の計測結果については、それぞれ 0.08 および 0.1 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.1 および 0.02 未満の計測結果については、それぞれ 0.1 および 0.02 として取扱い算出しています。
注 5：「＜」は未満を示しています。

水温

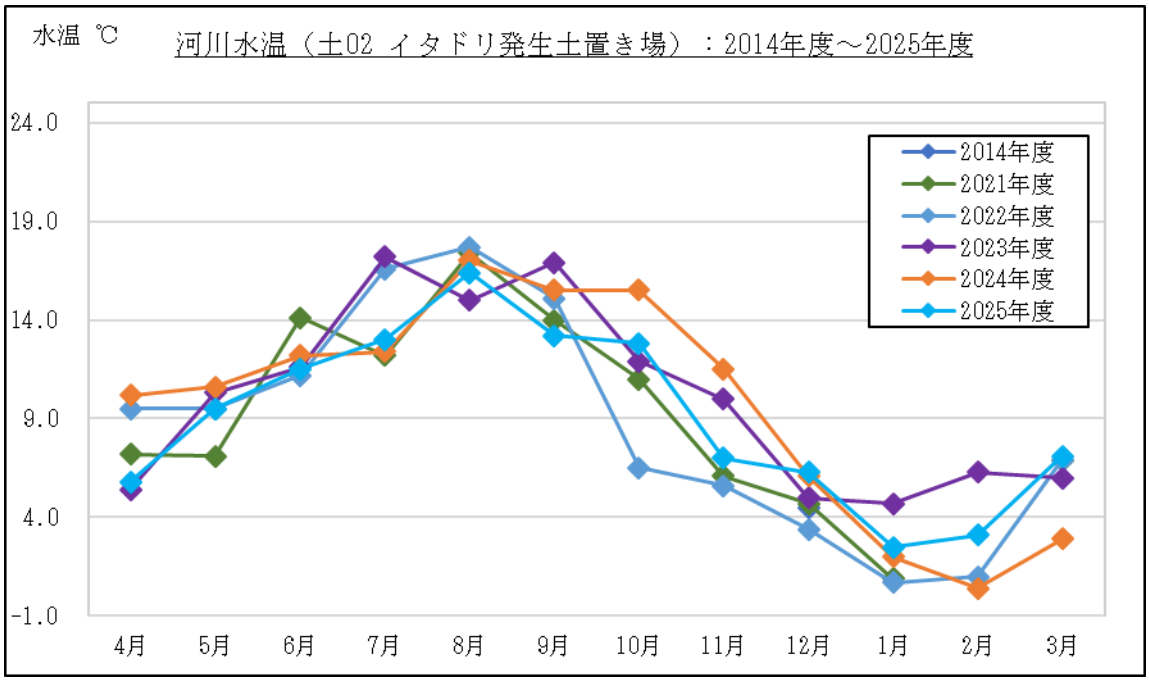


図 89　水質計測結果（土 02 イタドリ発生土置き場）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

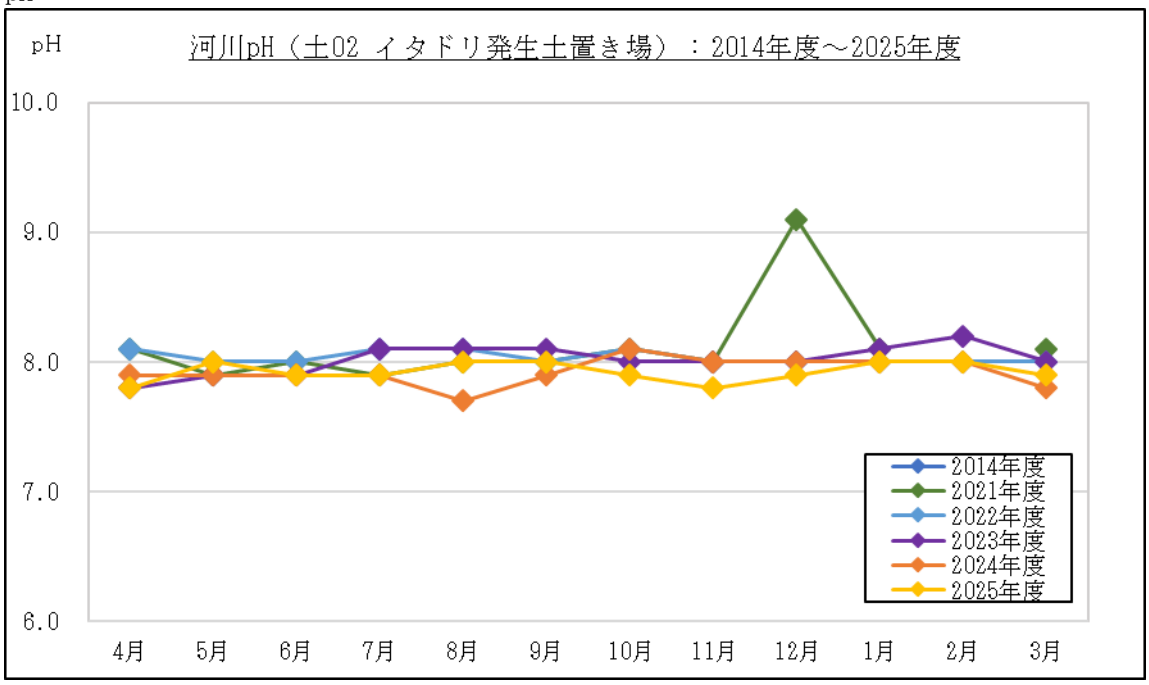


図 90　水質計測結果（土 02 イタドリ発生土置き場）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

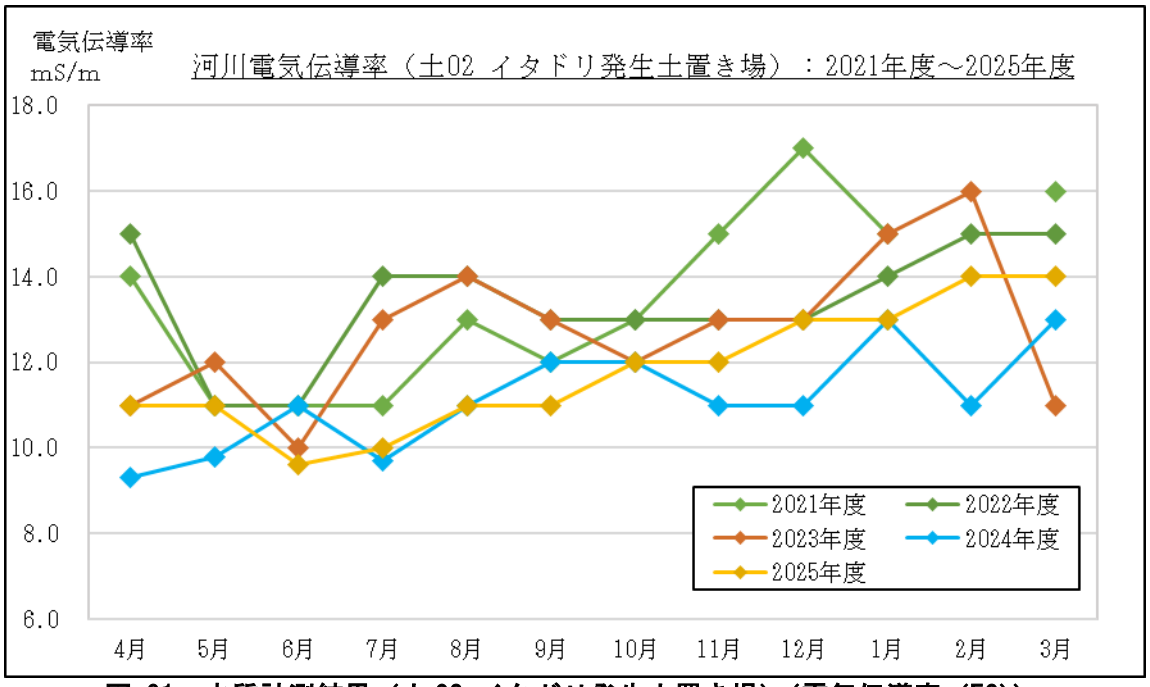


図 91　水質計測結果（土 02 イタドリ発生土置き場）（電気伝導率（EC））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

SS

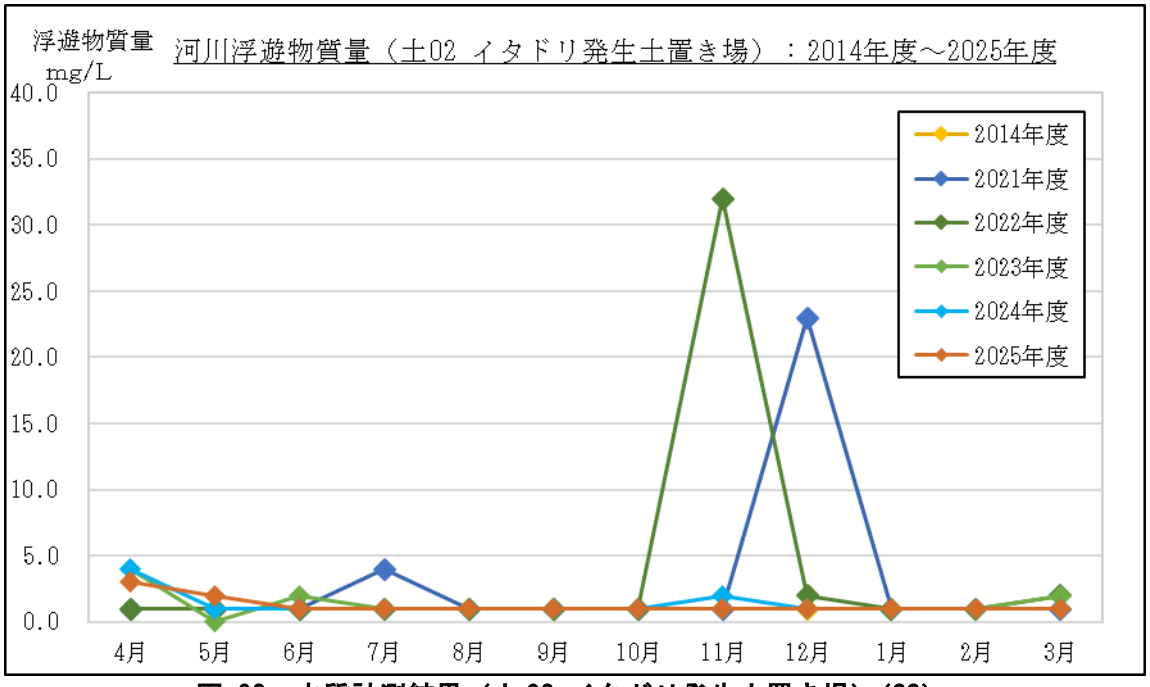


図 92　水質計測結果（土 02 イタドリ発生土置き場）（SS）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.3.11 土 03 藤島発生土置き場

1.3.11.1 調査結果（2025 年度）

土 03 藤島発生土置き場の 2025 年度の調査結果を表 63 に示します。

表 63　水質計測結果（土 03 藤島発生土置き場）（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
土 03	藤島発生土置き場	流量（m^3/min）	793.8	169.8	193.2	148.8	606.6	490.8	88.8	163.8	270.0	270.0	38.4	100.2
		水温（℃）	7.6	12.1	10.8	20.8	17.3	14.4	16.4	9.2	2.9	1.7	4.2	7.8
		pH	7.9	7.9	7.9	8.1	8.0	8.0	8.2	7.9	7.9	7.9	8.0	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.0	11.0	10.0	11.0	11.0	11.0	13.0	13.0	13.0	13.0	14.0	15.0
		浮遊物質（mg/L）	2.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	2.0	11.0	<1.0	<1.0	<1.0
		カドミウム（mg/L）	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
		六価クロム（mg/L）	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		総水銀（mg/L）	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		セレン（mg/L）	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		鉛（mg/L）	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		ヒ素（mg/L）	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		ふっ素（mg/L）	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
		ほう素（mg/L）	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02

注：「<」は未満を示しています。

1.3.11.2 調査結果（過年度）

土 03 藤島発生土置き場の過年度の調査結果を表 64～表 66 及び図 93～図 96 に示します。なお、表 65、表 66 の結果においては過去の結果が検出限界値等、変動の少ない値のため、図での結果を省略しております。

表 64　水質計測結果（土 03 藤島発生土置き場）（過年度）

調査年度	土 03 藤島発生土置き場											
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)			浮遊物質（mg/L）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均※1	最大	最小
2021 年度	9.4	18.3	0.4	8.0	8.1	7.7	12.7	15.0	11.0	2.0	10.0	＜1.0
2022 年度	9.3	19.8	0.2	8.0	8.2	7.9	13.1	15.0	11.0	1.8	8.0	＜1.0
2023 年度	10.3	18.9	2.9	8.0	8.4	7.9	12.6	15.0	11.0	1.2	3.0	＜1.0
2024 年度	9.9	17.3	0.5	8.0	8.1	7.8	11.6	13.0	9.5	2.3	14.0	＜1.0
2025 年度	10.4	20.8	1.7	8.0	8.2	7.9	12.1	15.0	10.0	2.0	11.0	＜1.0
過年度	9.9	20.8	0.2	8.0	8.4	7.7	12.4	15.0	9.5	1.8	14.0	＜1.0

注 1：「※1」について、1.0 未満の計測結果については、1.0 として取扱い算出しています。
注 2：「く」は未満を示しています。

表 65　水質計測結果（土 03 藤島発生土置き場）（過年度）

調査年度	土 03 藤島発生土置き場											
	カドミウム（mg/L）			六価クロム（mg/L）			総水銀（mg/L）			セレン（mg/L）		
	平均※1	最大	最小	平均※2	最大	最小	平均※3	最大	最小	平均※4	最大	最小
2021 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2022 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2023 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2024 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2025 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
過年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002

注 1：「※1」について、0.0003 未満の計測結果については、0.0003 として取扱い算出しています。
注 2：「※2」について、0.025 および 0.01 未満の計測結果については、それぞれ 0.025 および 0.01 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.0005 未満の計測結果については、0.0005 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.002 未満の計測結果については、0.002 として取扱い算出しています。
注 5：「＜」は未満を示しています。

表 66　水質計測結果（土 03 藤島発生土置き場）（過年度）

調査年度	土 03 藤島発生土置き場											
	鉛（mg/L）			ヒ素（mg/L）			ふっ素（mg/L）			ほう素（mg/L）		
	平均※1	最大	最小	平均※2	最大	最小	平均※3	最大	最小	平均※4	最大	最小
2021 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.1	＜0.1	＜0.1	0.02	＜0.02	＜0.02
2022 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.1	＜0.1	＜0.1	0.02	＜0.02	＜0.02
2023 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02
2024 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02
2025 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02
過年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.09	＜0.1	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02

注 1：「※1」について、0.005 未満の計測結果については、0.005 として取扱い算出しています。
注 2：「※2」について、0.001 および 0.005 未満の計測結果については、それぞれ 0.001 および 0.005 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.08 および 0.1 未満の計測結果については、それぞれ 0.08 および 0.1 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.1 および 0.02 未満の計測結果については、それぞれ 0.1 および 0.02 として取扱い算出しています。
注 5：「＜」は未満を示しています。

水温

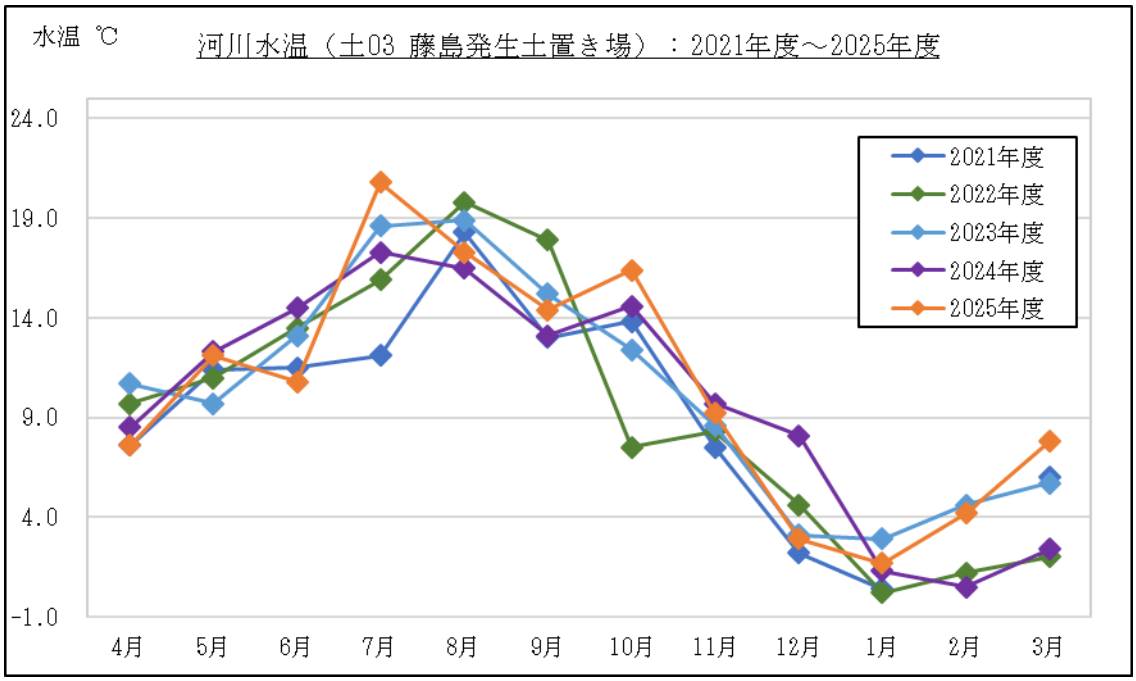


図 93　水質計測結果（土 03 藤島発生土置き場）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

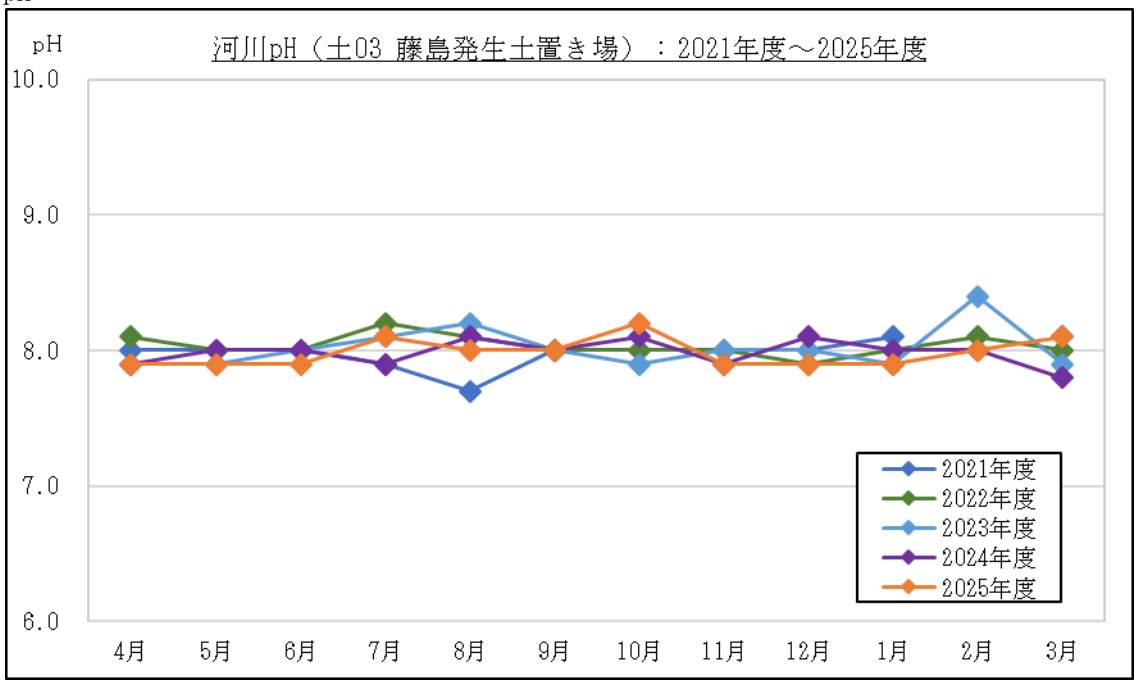


図 94　水質計測結果（土 03 藤島発生土置き場）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

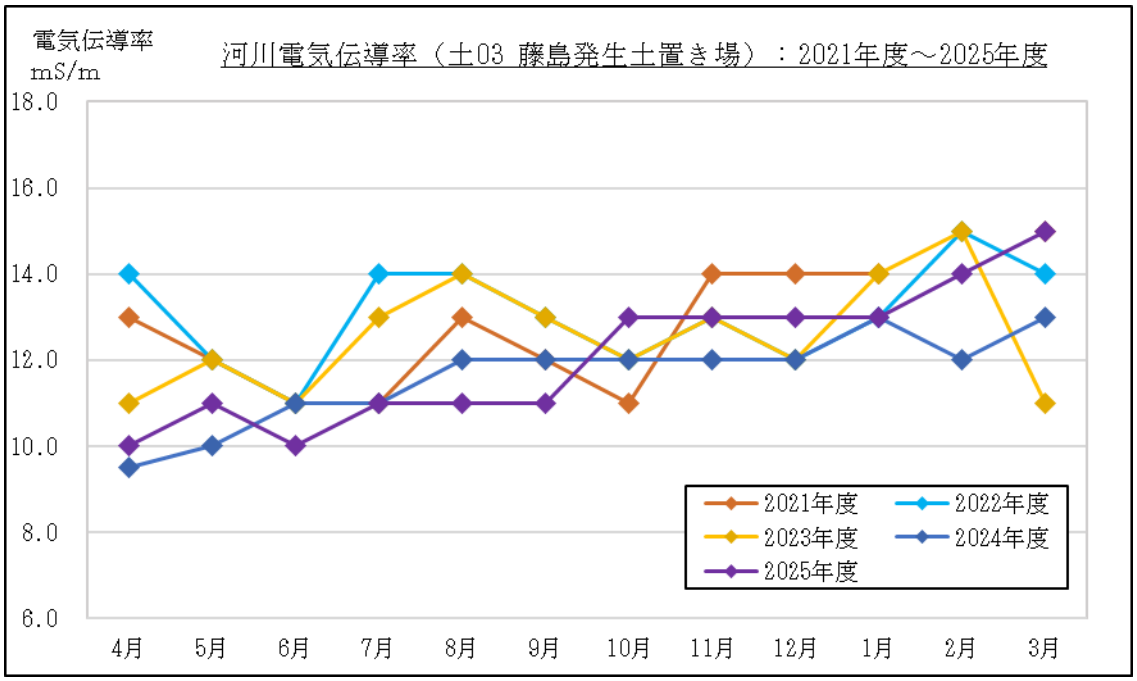


図 95　水質計測結果（土 03 藤島発生土置き場）（電気伝導率（EC））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

SS

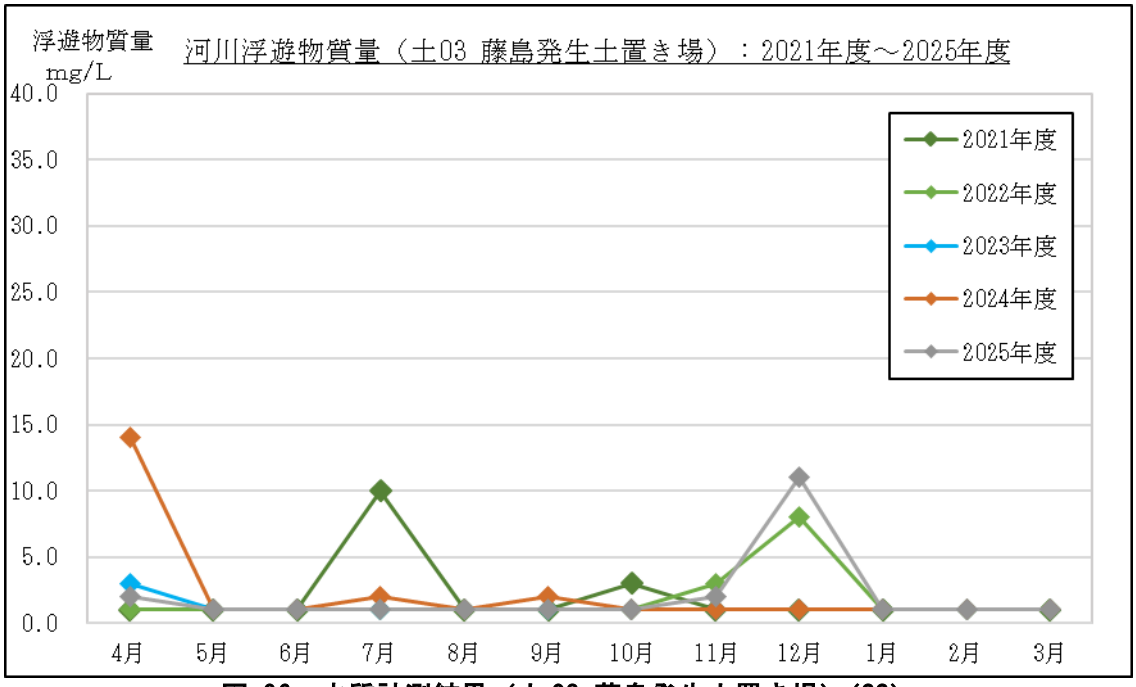


図 96　水質計測結果（土 03 藤島発生土置き場）（SS）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.3.12 土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場

1.3.12.1 調査結果（2025 年度）

土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場の 2025 年度の調査結果を表 67 に示します。

表 67　水質計測結果（土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場）（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
土 04	中ノ宿２・３発生土置き場	流量（m^3/min）	－※1	211.2	248.4	168.6	－※1	104.4	160.8	204.6	350.4	82.2	60.6	129.0
		水温（℃）	7.3	9.9	10.8	16.8	14.1	13.4	17.1	10.9	5.4	2.7	4.5	7.9
		pH	7.8	7.9	7.9	8.0	8.0	8.0	8.2	7.9	7.7	7.8	8.0	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.0	11.0	10.0	11.0	12.0	12.0	13.0	13.0	10.0	14.0	14.0	15.0
		浮遊物質（mg/L）	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	<1.0	<1.0
		カドミウム（mg/L）	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
		六価クロム（mg/L）	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		総水銀（mg/L）	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		セレン（mg/L）	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		鉛（mg/L）	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		ヒ素（mg/L）	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		ふっ素（mg/L）	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
		ほう素（mg/L）	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02

注１：「※１」は河川増水のため、作業上の安全確保の観点から欠測しています。

注２：「<」は未満を示しています。

1.3.12.2 調査結果（過年度）

土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場の過年度の調査結果を表 68～表 70 及び図 97～図 100 に示します。なお、表 69、表 70 の結果においては過去の結果が検出限界値等、変動の少ない値のため、図での結果を省略しております。

表 68　水質計測結果（土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場）（過年度）

調査年度	土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場											
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）（mS/m）			浮遊物質（mg/L）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均※1	最大	最小
2014年度	3.2	3.2	3.2	7.9	7.9	7.9				1.0	＜1.0	＜1.0
2021 年度	9.6	15.9	2.5	8.0	8.1	7.9	12.8	15.0	11.0	1.5	4.0	＜1.0
2022 年度	9.6	18.2	2.1	8.0	8.2	7.9	13.3	15.0	12.0	1.9	9.0	＜1.0
2023 年度	11.2	19.6	5.0	8.0	8.4	7.9	12.7	15.0	11.0	1.3	5.0	＜1.0
2024 年度	10.7	18.5	1.0	8.0	8.1	7.9	11.8	13.0	9.5	2.2	12.0	＜1.0
2025 年度	10.1	17.1	2.7	7.9	8.2	7.7	12.1	15.0	10.0	1.1	2.0	＜1.0
過年度	9.1	19.6	1.0	8.0	8.4	7.7	12.5	15.0	9.5	1.5	12.0	＜1.0

注 1：「※1」について、1.0 未満の計測結果については、1.0 として取扱い算出しています。
注 2：「＜」は未満を示しています。

表 69　水質計測結果（土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場）（過年度）

調査年度	土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場											
	カドミウム（mg/L）			六価クロム（mg/L）			総水銀（mg/L）			セレン（mg/L）		
	平均※1	最大	最小	平均※2	最大	最小	平均※3	最大	最小	平均※4	最大	最小
2014年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.025	＜0.025	＜0.025	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2021 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2022 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2023 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2024 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2025 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
過年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.025	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002

注 1：「※1」について、0.0003 未満の計測結果については、0.0003 として取扱い算出しています。
注 2：「※2」について、0.025 および 0.01 未満の計測結果については、それぞれ 0.025 および 0.01 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.0005 未満の計測結果については、0.0005 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.002 未満の計測結果については、0.002 として取扱い算出しています。
注 5：「＜」は未満を示しています。

表 70　水質計測結果（土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場）（過年度）

調査年度	土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場											
	鉛（mg/L）			ヒ素（mg/L）			ふっ素（mg/L）			ほう素（mg/L）		
	平均※1	最大	最小	平均※2	最大	最小	平均※3	最大	最小	平均※4	最大	最小
2014年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.001	＜0.001	＜0.001	0.08	＜0.08	＜0.08	0.1	＜0.1	＜0.1
2021 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.1	＜0.1	＜0.1	0.02	＜0.02	＜0.02
2022 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.1	＜0.1	＜0.1	0.02	＜0.02	＜0.02
2023 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02
2024 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02
2025 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02
過年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.004	＜0.005	＜0.001	0.09	＜0.1	＜0.08	0.03	＜0.1	＜0.02

注 1：「※1」について、0.005 未満の計測結果については、0.005 として取扱い算出しています。
注 2：「※2」について、0.001 および 0.005 未満の計測結果については、それぞれ 0.001 および 0.005 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.08 および 0.1 未満の計測結果については、それぞれ 0.08 および 0.1 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.1 および 0.02 未満の計測結果については、それぞれ 0.1 および 0.02 として取扱い算出しています。
注 5：「＜」は未満を示しています。

水温

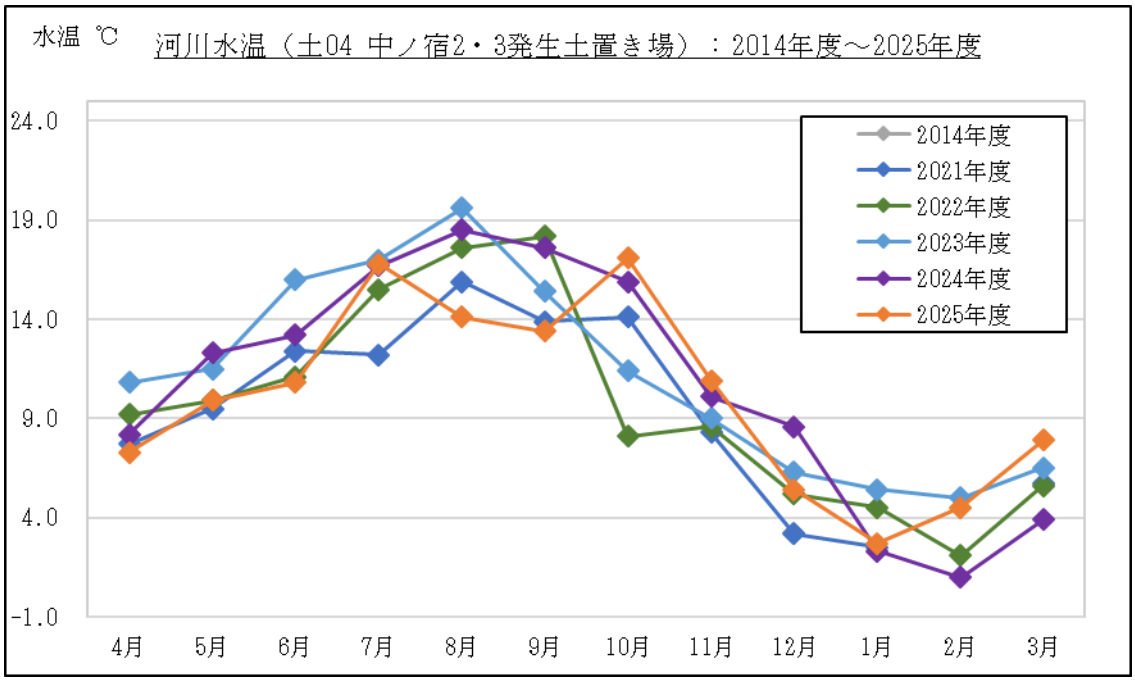


図 97　水質計測結果（土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

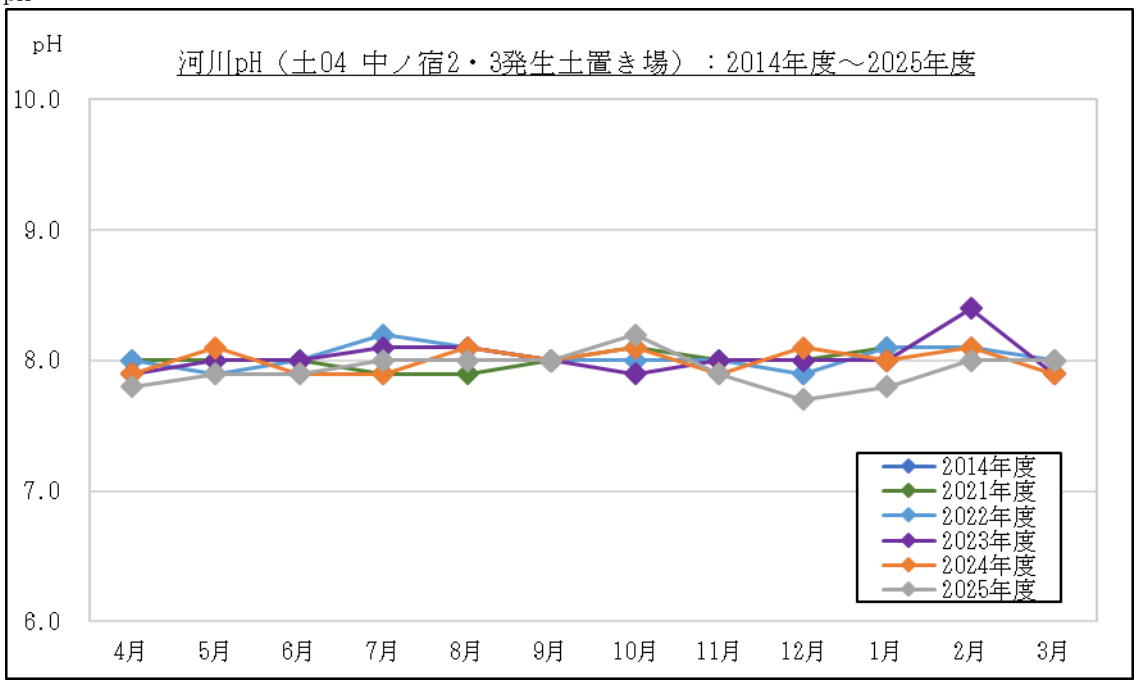


図 98　水質計測結果（土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

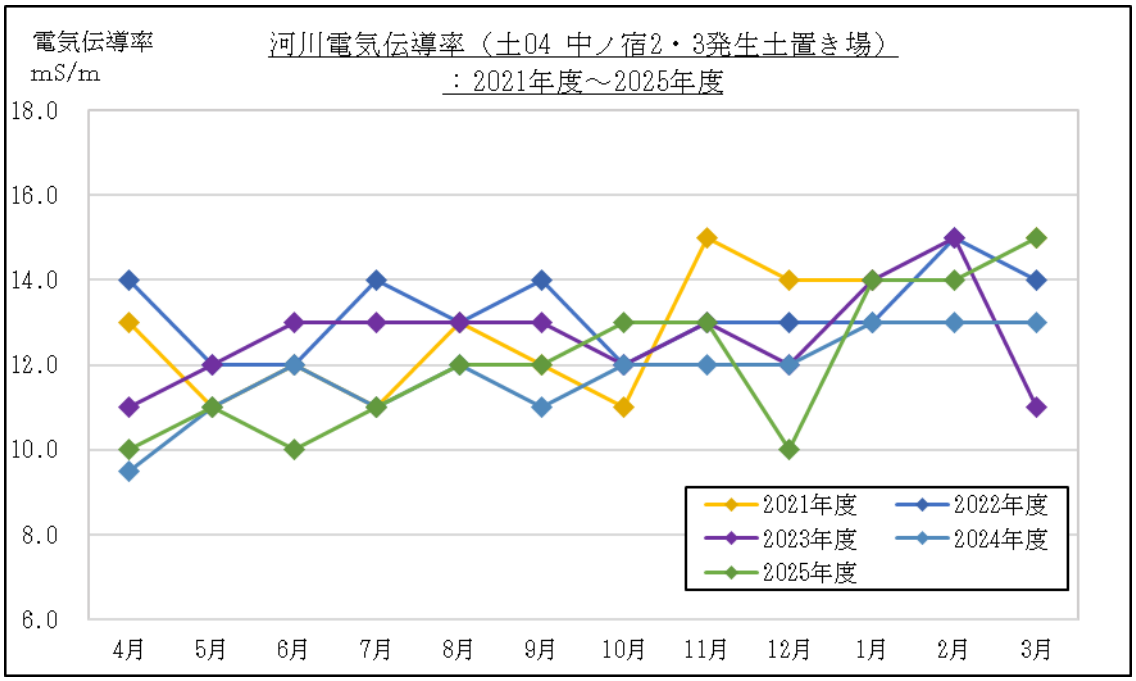


図 99　水質計測結果（土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場）（電気伝導率（EC））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

SS

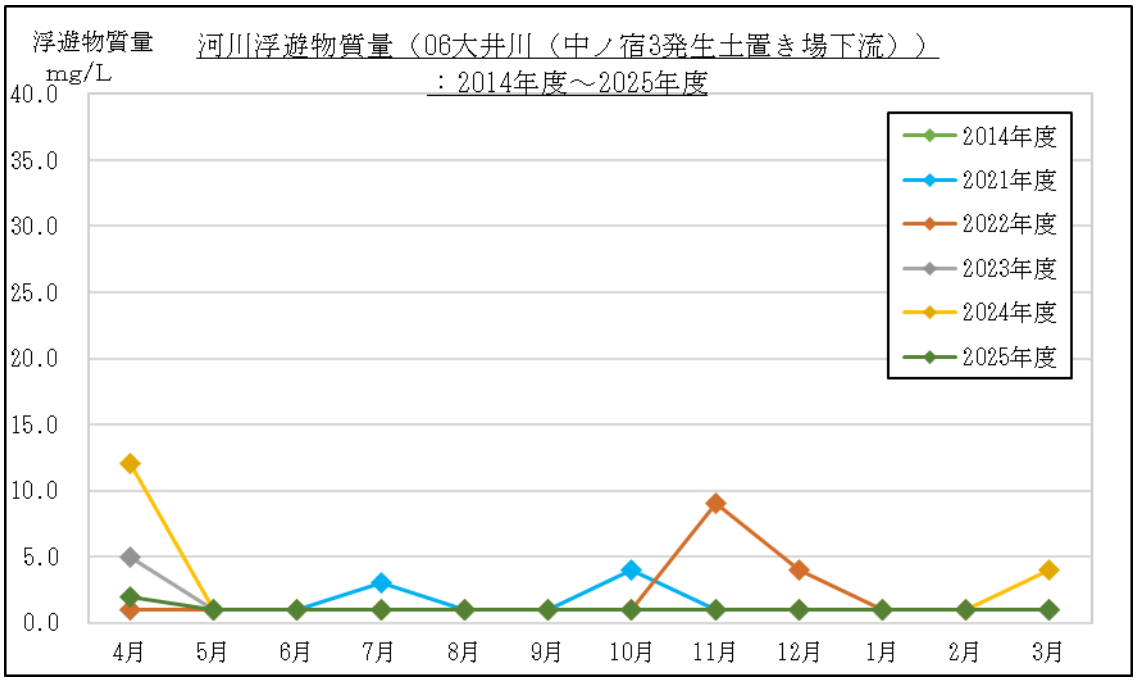


図 100　水質計測結果（土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場）（SS）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.3.13 土 05 剏石発生土置き場

1.3.13.1 調査結果（2025 年度）

土 05 剏石発生土置き場の 2025 年度の調査結果を表 71～表 73 に示します。

表 71　水質計測結果（土 05 剏石発生土置き場）（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
土 05	剏石 発生土置き場	流量（m^3/min）	849.6	135.0	205.2	129.6	672.0	544.8	69.0	81.6	340.8	40.8	24.0	56.4
		水温（℃）	7.1	9.0	10.1	18.5	14.8	15.9	15.9	7.0	3.2	3.0	2.6	3.5
		pH	7.8	8.0	7.9	8.2	8.0	8.0	8.3	7.9	7.9	7.9	8.1	7.9
		電気伝導率（EC） （mS/m）	10.0	12.0	10.0	11.0	12.0	11.0	13.0	13.0	13.0	13.0	15.0	15.0
		浮遊物質（mg/L）	2.0	<1.0	5.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	7.0	<1.0	<1.0	<1.0
		カドミウム （mg/L）	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
		六価クロム （mg/L）	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		総水銀（mg/L）	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
		セレン（mg/L）	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		鉛（mg/L）	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		ヒ素（mg/L）	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		ふっ素（mg/L）	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
		ほう素（mg/L）	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02

注：「<」は未満を示しています。

表 72　水質計測結果（土 05 剝石発生土置き場）（2025 年度）

調査項目	工事前											
	2025 年度											
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
一般細菌	1	0	980	34	14	65	130	10	9	0	0	0
大腸菌	陽性	検出されない	陽性	陽性	陽性	陽性	陽性	検出されない	陽性	検出されない	検出されない	検出されない
カドミウム及びその化合物	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
水銀及びその化合物	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
セレン及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
鉛及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ヒ素及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
六価クロム化合物	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
亜硝酸態窒素	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
シアン化物イオン及び塩化シアン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	<0.1	0.1	<0.1	0.1	<0.1	0.1
フッ素及びその化合物	<0.05	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.05	<0.05	0.06	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ホウ素及びその化合物	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ジクロロメタン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001

注：「<」は未満を示しています。

表 73　水質計測結果（土 05 剝石発生土置き場）(2025 年度)

調査項目	工事前											
	2025 年度											
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
亜鉛及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
アルミニウム及びその化合物	<0.01	0.01	0.08	0.03	0.03	0.02	0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01
鉄及びその化合物	<0.01	<0.01	0.04	<0.01	0.08	0.08	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01
銅およびその化合物	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ナトリウム及びその化合物	1.9	2.2	1.8	2.3	2	2.1	2.6	2.6	2.3	3	3.1	3.1
マンガンおよびその化合物	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.022	0.021	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
塩化物イオン	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	1.1	<1.0	1.4
カルシウム、マグネシウム等（硬度）	46	51	49	57	54	54	60	62	61	64	65	67
蒸発残留物	68	72	74	73	74	75	74	77	80	78	78	88
陰イオン界面活性剤	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ジェオスミン	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
2-メチルイソボルネオール	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
非イオン界面活性剤	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
フェノール類	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機物（全有機炭素（TOC）の量）	<0.3	<0.3	<0.3	0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	0.3	<0.3	<0.3
ｐＨ値	7	7.2	6.9	7.1	7.2	6.9	7	7.4	7.2	7.3	7.3	6.5
臭気	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	2	<1	2	1	2	2	<1	<1	<1	1	<1	<1
濁度	0.9	0.1	1.2	0.4	0.4	0.2	<0.1	<0.1	0.3	0.1	<0.1	<0.1

注：「<」は未満を示しています。

1.3.13.2 調査結果（過年度）

土 05 剏石発生土置き場の過年度の調査結果を表 74～表 78 及び図 101～図 104 に示します。なお、表 75、表 76 の結果においては過去の結果が検出限界値等、変動の少ない値のため、図での結果を省略しております。

表 74　水質計測結果（土 05 剏石発生土置き場）（過年度）

調査年度	土 05 剏石発生土置き場											
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)			浮遊物質（mg/L）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均※1	最大	最小
2015年度	7.3	7.3	7.3	7.9	7.9	7.9				1.0	1.0	1.0
2021 年度	10.1	16.7	1.9	8.0	8.1	7.9	13.2	16.0	11.0	2.3	10.0	＜1.0
2022 年度	10.2	22.0	1.6	8.1	8.2	7.9	13.4	15.0	12.0	1.1	2.0	＜1.0
2023 年度	11.6	20.9	2.3	8.0	8.3	7.9	12.7	15.0	11.0	1.2	2.0	＜1.0
2024 年度	11.0	18.9	0.9	8.0	8.2	7.8	11.8	13.0	9.6	2.4	17.0	＜1.0
2025 年度	9.2	18.5	2.6	8.0	8.3	7.8	12.3	15.0	10.0	1.9	7.0	＜1.0
過年度	9.9	22.0	0.9	8.0	8.3	7.8	12.7	16.0	9.6	1.6	17.0	＜1.0

注 1：「※1」について、1.0 未満の計測結果については、1.0 として取扱い算出しています。
注 2：「く」は未満を示しています。

表 75　水質計測結果（土 05 剏石発生土置き場）（過年度）

調査年度	土 05 剏石発生土置き場											
	カドミウム（mg/L）			六価クロム（mg/L）			総水銀（mg/L）			セレン（mg/L）		
	平均※1	最大	最小	平均※2	最大	最小	平均※3	最大	最小	平均※4	最大	最小
2015年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.025	＜0.025	＜0.025	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2021 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2022 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2023 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2024 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2025 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
過年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.025	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002

注 1：「※1」について、0.0003 未満の計測結果については、0.0003 として取扱い算出しています。
注 2：「※2」について、0.025 および 0.01 未満の計測結果については、それぞれ 0.025 および 0.01 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.0005 未満の計測結果については、0.0005 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.002 未満の計測結果については、0.002 として取扱い算出しています。
注 5：「く」は未満を示しています。

表 76　計測結果（土 05 剝石発生土置き場）（過年度）

調査年度	土 05 剝石発生土置き場											
	鉛（mg/L）			ヒ素（mg/L）			ふっ素（mg/L）			ほう素（mg/L）		
	平均※1	最大	最小	平均※2	最大	最小	平均※3	最大	最小	平均※4	最大	最小
2015年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.001	＜0.001	＜0.001	0.08	＜0.08	＜0.08	0.1	＜0.1	＜0.1
2021 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.1	＜0.1	＜0.1	0.02	＜0.02	＜0.02
2022 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.1	＜0.1	＜0.1	0.02	＜0.02	＜0.02
2023 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02
2024 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02
2025 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02
過年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.004	＜0.005	＜0.001	0.09	＜0.1	＜0.08	0.03	＜0.1	＜0.02

注 1：「※1」について、0.005 未満の計測結果については、0.005 として取扱い算出しています。
注 2 ：「※2」について、0.001 および 0.005 未満の計測結果については、それぞれ 0.001 および 0.005 として取扱い算出しています。
注 3 ：「※3」について、0.08 および 0.1 未満の計測結果については、それぞれ 0.08 および 0.1 として取扱い算出しています。
注 4 ：「※4」について、0.1 および 0.02 未満の計測結果については、それぞれ 0.1 および 0.02 として取扱い算出しています。
注 5：「＜」は未満を示しています。

表 77　水質計測結果（土 05 剝石発生土置き場）（2024 年度）

調査項目	工事前			
	2024 年度			
	１２月	１月	２月	３月
一般細菌	3	0	2	0
大腸菌	検出されない	検出されない	検出されない	検出されない
カドミウム及びその化合物	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
水銀及びその化合物	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
セレン及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
鉛及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ヒ素及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
六価クロム化合物	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
亜硝酸態窒素	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
シアン化物イオン及び塩化シアン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	<0.1	<0.1	0.1	0.2
フッ素及びその化合物	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ホウ素及びその化合物	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ジクロロメタン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001

表 78　水質計測結果（土 05 剝石発生土置き場）（2024 年度）

調査項目	工事前			
	2024 年度			
	１２月	１月	２月	３月
亜鉛及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
アルミニウム及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
鉄及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
銅およびその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ナトリウム及びその化合物	2.4	2.9	2.9	2.6
マンガンおよびその化合物	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
塩化物イオン	<1.0	<1.0	1.1	1.1
カルシウム、マグネシウム等（硬度）	58	60	64	60
蒸発残留物	82	86	85	86
陰イオン界面活性剤	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ジェオスミン	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
2-メチルイソボルネオール	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
非イオン界面活性剤	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
フェノール類	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機物（全有機炭素（TOC）の量）	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3
ｐＨ値	7.8(20.0℃)	7.2(20.0℃)	7.2(19.0℃)	7.5(21.0℃)
臭気	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	<1	<1	<1	<1
濁度	0.1	0.1	<0.1	<0.1

水温

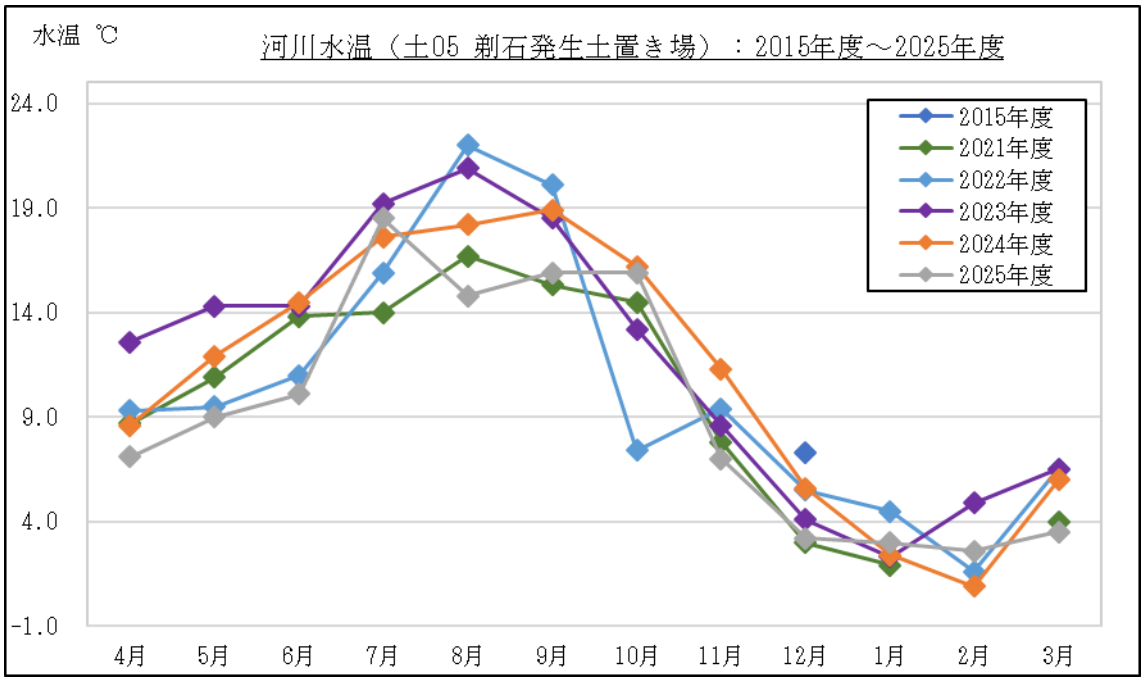


図 101　水質計測結果（土 05 剃石発生土置き場）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

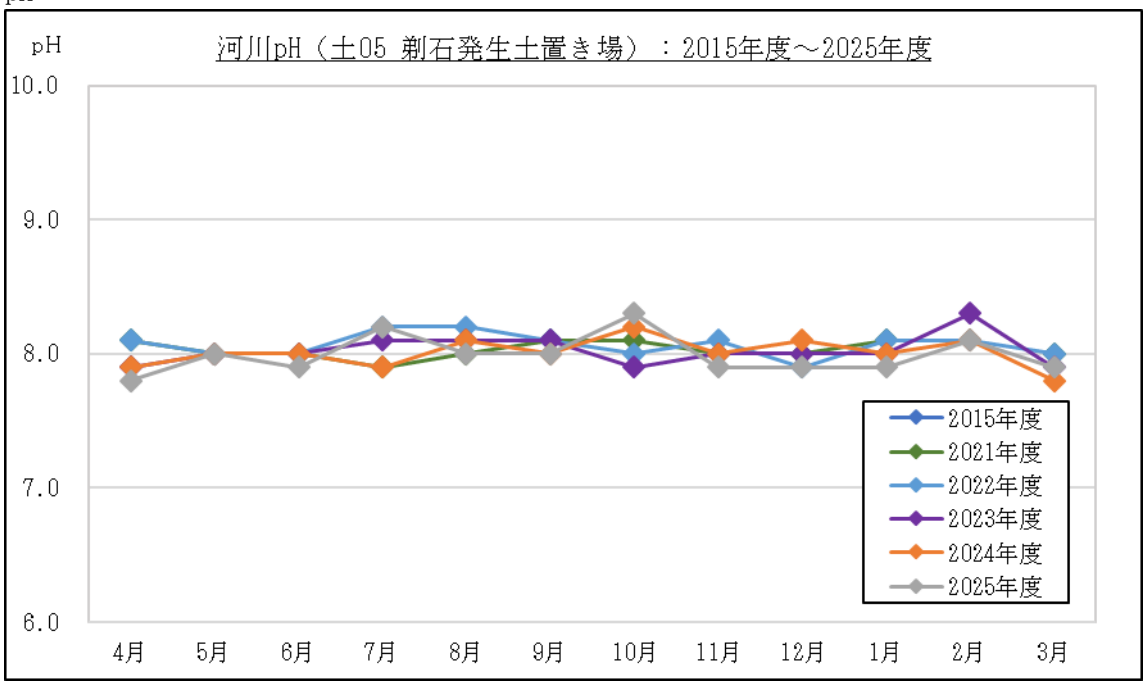


図 102　水質計測結果（土 05 剃石発生土置き場）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

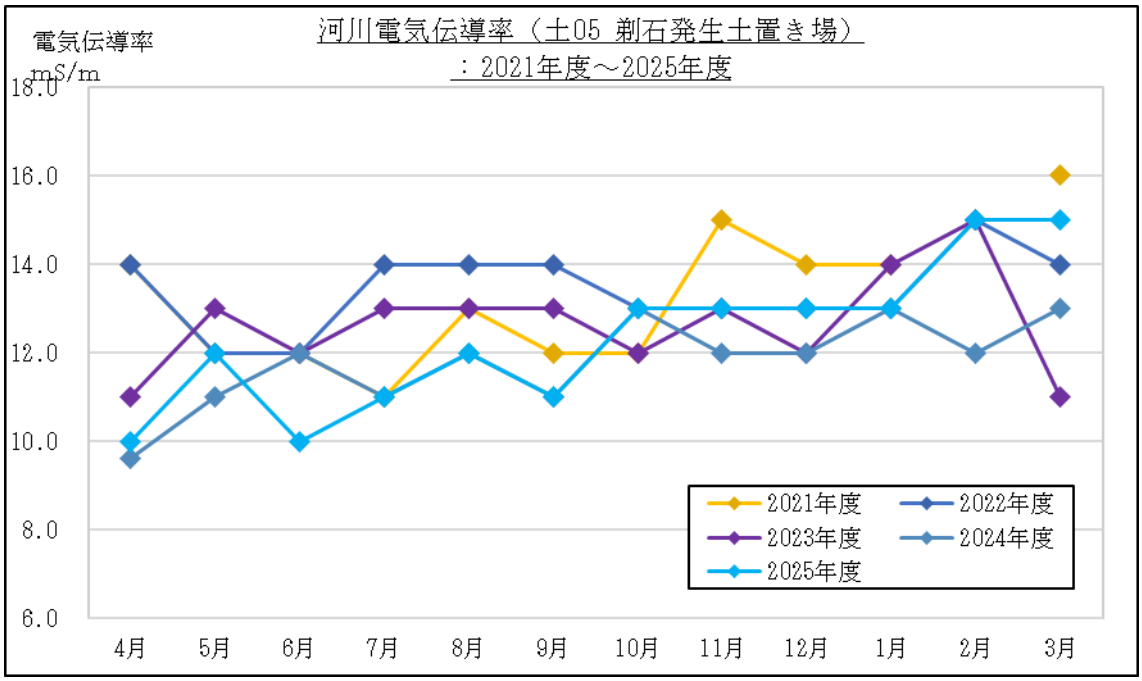


図 103　水質計測結果（土 05 剃石発生土置き場）（電気伝導率（EC））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

SS

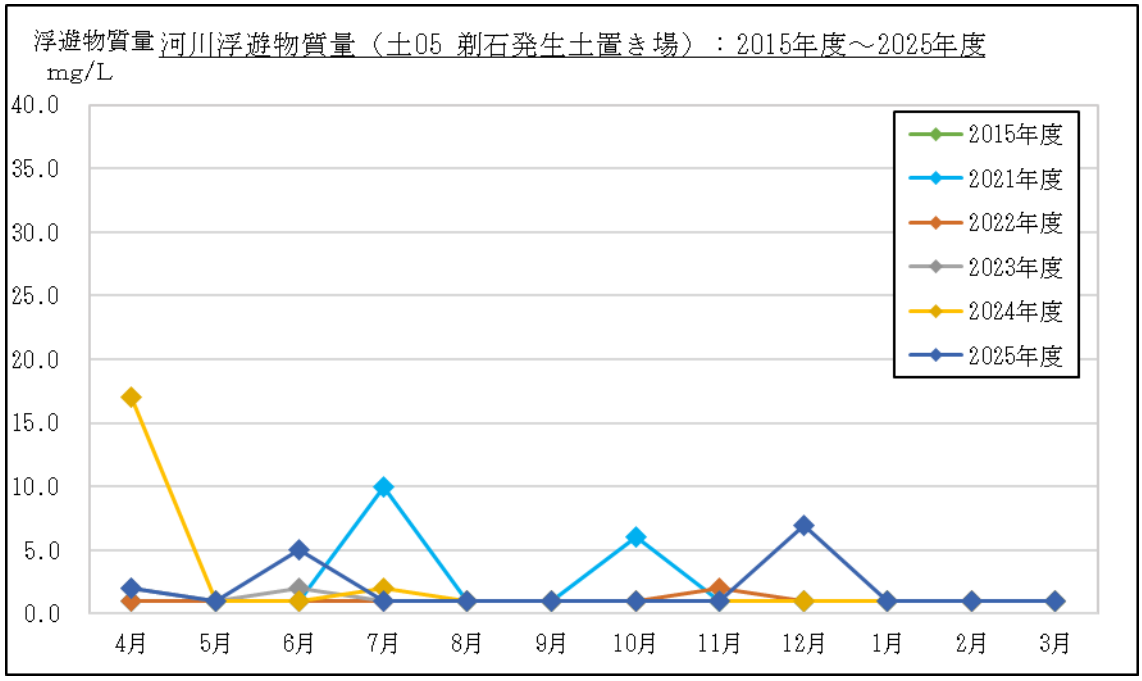


図 104　水質計測結果（土 05 剃石発生土置き場）（SS）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.3.14 河 08-3 千石（千石沢ヤード下流）

1.3.14.1 調査結果（2025 年度）

河 08-3 千石（千石沢ヤード下流）の 2025 年度の調査結果を表 79 に示します。

なお、事後調査報告書（準備工事着手前）の公表に伴い、当該地点にて 2026 年２月に工事前の調査を実施しました。

表 79　水質計測結果（河 08-3 千石（千石沢ヤード下流））（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
河 08-3	千石（千石沢ヤード下流）	流量（m^3/min）											32.8	
		水温（℃）											3.1	
		pH											8.0	
		浮遊物質量（mg/L）											1.0	
		カドミウム（mg/L）											<0.0003	
		六価クロム（mg/L）											<0.01	
		総水銀（mg/L）											<0.0005	
		セレン（mg/L）											<0.002	
		鉛（mg/L）											<0.005	
		ヒ素（mg/L）											<0.005	
		ふっ素（mg/L）											<0.08	
		ほう素（mg/L）											<0.02	

注：「<」は未満を示しています。

1.3.14.2 調査結果（過年度）

河 08-3 千石（千石沢ヤード下流）の過年度の調査結果を表 80～表 82 及び図 105～図 107 に示します。なお、表 81、表 82 の結果においては過去の結果が検出限界値等、変動の少ない値のため、図での結果を省略しております。

表 80　水質計測結果（河 08-3 千石（千石沢ヤード下流））（過年度）

調査年度	大井川（河 08-3 千石（千石沢ヤード下流））								
	水温（℃）			pH			浮遊物質（mg/L）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均※1	最大	最小
2020 年度	4.7	7.2	2.2	7.9	8.0	7.8	5.5	10.0	＜1.0
2025 年度	3.1	3.1	3.1	8.0	8.0	8.0	1.0	1.0	1.0
過年度	3.9	7.2	2.2	8.0	8.0	7.8	3.3	10.0	＜1.0

注 1：「※1」について、1.0 未満の計測結果については、1.0 として取扱い算出しています。
注 2：「＜」は未満を示しています。

表 81　水質計測結果（河 08-3 千石（千石沢ヤード下流））（過年度）

調査年度	河 08-3 千石（千石沢ヤード下流）											
	カドミウム（mg/L）			六価クロム（mg/L）			総水銀（mg/L）			セレン（mg/L）		
	平均※1	最大	最小	平均※2	最大	最小	平均※3	最大	最小	平均※4	最大	最小
2020 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
2025 年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002
過年度	0.0003	＜0.0003	＜0.0003	0.01	＜0.01	＜0.01	0.0005	＜0.0005	＜0.0005	0.002	＜0.002	＜0.002

注 1：「※1」について、0.0003 未満の計測結果については、0.0003 として取扱い算出しています。
注 2：「※2」について、0.025 および 0.01 未満の計測結果については、それぞれ 0.025 および 0.01 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.0005 未満の計測結果については、0.0005 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.002 未満の計測結果については、0.002 として取扱い算出しています。
注 5：「＜」は未満を示しています。

表 82 水質計測結果（河 08-3 千石（千石沢ヤード下流））（過年度）

調査年度	河 08-3 千石（千石沢ヤード下流）											
	鉛（mg/L）			ヒ素（mg/L）			ふっ素（mg/L）			ほう素（mg/L）		
	平均※1	最大	最小	平均※2	最大	最小	平均※3	最大	最小	平均※4	最大	最小
2020 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.1	＜0.1	＜0.1
2025 年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.02	＜0.02	＜0.02
過年度	0.005	＜0.005	＜0.005	0.005	＜0.005	＜0.005	0.08	＜0.08	＜0.08	0.06	＜0.1	＜0.02

注 1：「※1」について、0.005 未満の計測結果については、0.005 として取扱い算出しています。
注 2：「※2」について、0.001 および 0.005 未満の計測結果については、それぞれ 0.001 および 0.005 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.08 および 0.1 未満の計測結果については、それぞれ 0.08 および 0.1 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.1 および 0.02 未満の計測結果については、それぞれ 0.1 および 0.02 として取扱い算出しています。
注 5：「＜」は未満を示しています。

水温

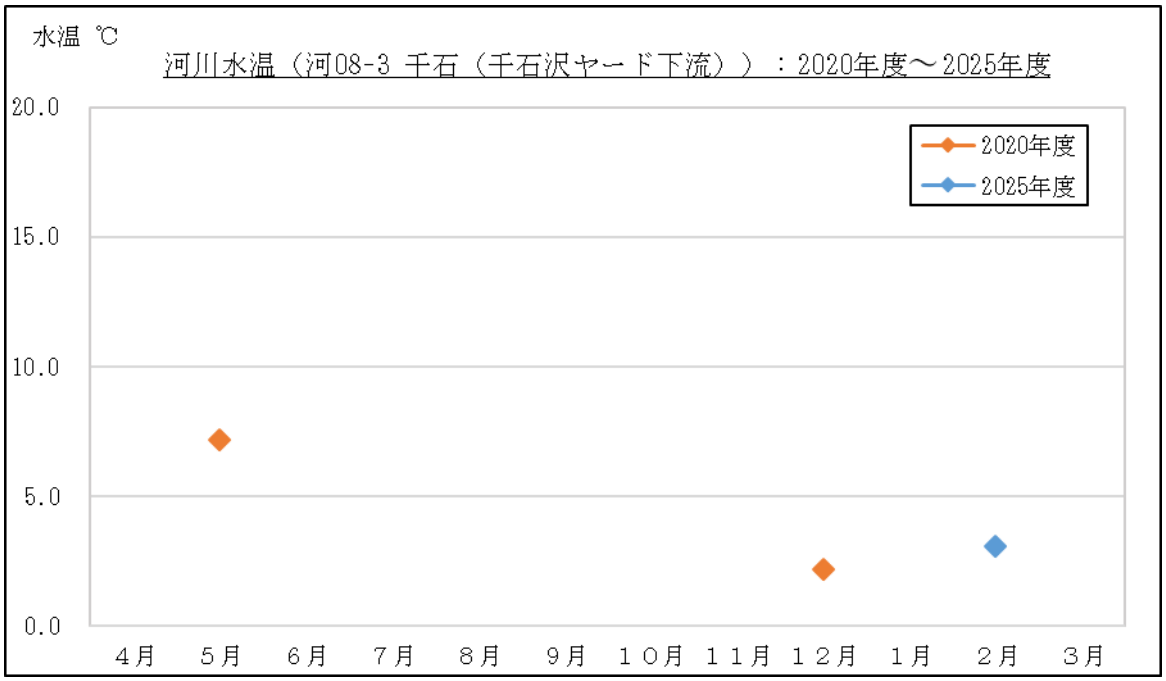


図 105　水質計測結果（河 08-3 千石（千石沢ヤード下流））（水温）

pH

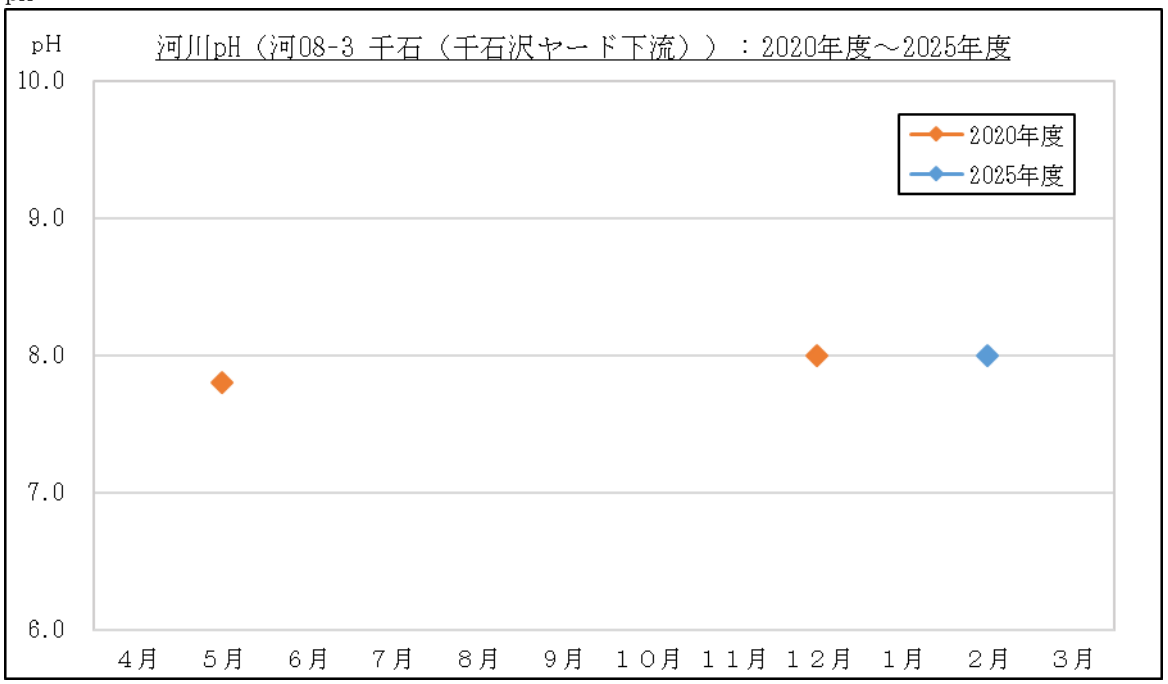


図 106　水質計測結果（河 08-3 千石（千石沢ヤード下流））（pH）

SS

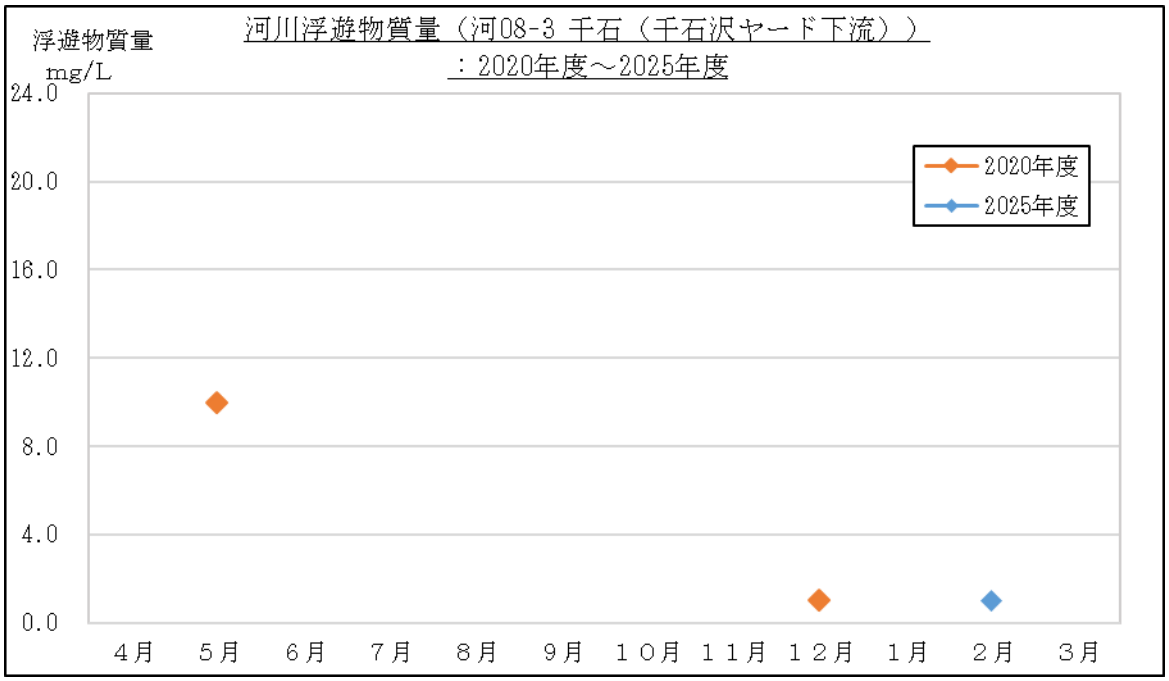


図 107　水質計測結果（河 08-3 千石（千石沢ヤード下流））（SS）

1.4 河川の水質（生活排水）【事後調査及びモニタリング計画通し番号 12】

1.4.5 調査期間

河川の水質（生活排水）の調査期間を表 83 及び表 84 に示します。

表 83　調査期間（河川の水質（生活排水））（工事前）

調査地点	調査期間 工事前 2014、15 年度調査
河 02 西俣（放流箇所下流）	2014年12月２日、12月４日（12月期）
河 08-2 千石（放流箇所下流）	
河 10-2 椹島（放流箇所下流①）	2015年12月３日（12月期）

表 84　調査期間（河川の水質（生活排水））（工事中）

調査地点	調査期間 工事中（放流開始後１年間）
河 08-1 千石（放流箇所上流） 河 08-2 千石（放流箇所下流）	2020年２月26日 2020 年３月４日 2020 年５月 27 日（上流地点）、 ５月 29 日（下流地点） 2020 年６月９日 2020 年８月 27 日 2020 年９月 16 日 2020 年 10 月７日 2020 年 11 月４日 2020 年 12 月 16 日 2021 年１月 20 日
河 10-1 椹島（放流箇所上流） 河 10-2 椹島（放流箇所下流①）	2020年１月22日 2020 年２月 26 日 2020 年３月４日 2020 年５月 29 日 2020 年６月９日 2020 年８月 27 日 2020 年９月 16 日 2020 年 10 月７日 2020 年 11 月４日 2020 年 12 月 16 日

1.4.6 河 02 西俣（放流箇所下流）（生活排水）

1.4.6.1 調査結果（過年度）

河 02 西俣（放流箇所下流）（生活排水）の過年度の調査結果を表 85 及び図 108～図 111 に示します。

表 85　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流）（生活排水））（過年度）

調査年度	河 02 西俣（放流箇所下流）（生活排水）																	
	水温（℃）			pH			溶存酸素量（DO）（mg/L）			浮遊物質（mg/L）			BOD（mg/L）			大腸菌（MPN/100mL）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2014年度	1.8	1.8	1.8	7.8	7.8	7.8				3.0	3.0	3.0	0.5	0.5	0.5			
過年度	1.8	1.8	1.8	7.8	7.8	7.8				3.0	3.0	3.0	0.5	0.5	0.5			

水温

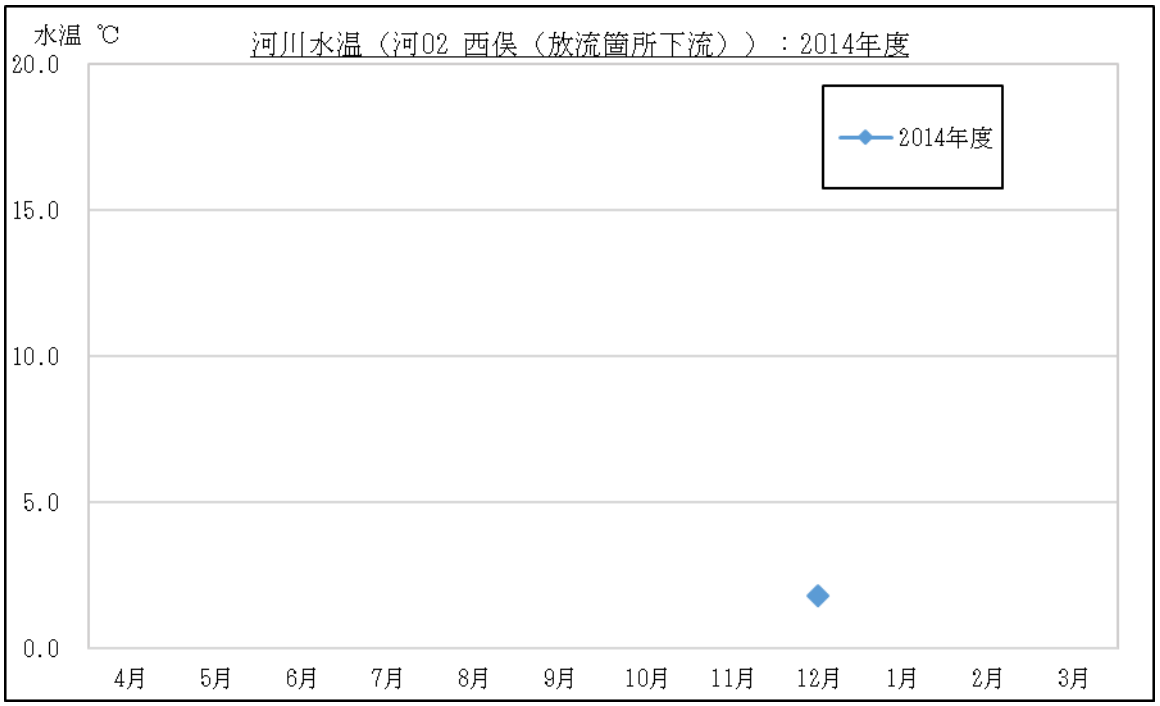


図 108　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流））（生活排水）（水温）

pH

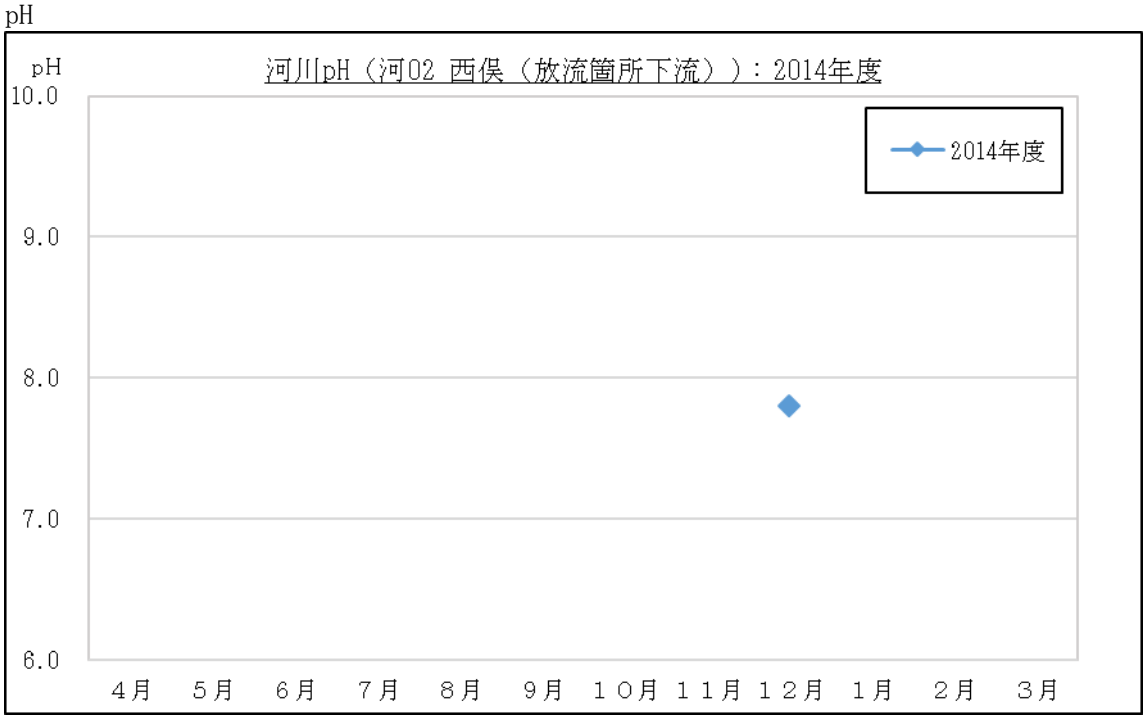


図 109　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流））（生活排水）（pH）

SS

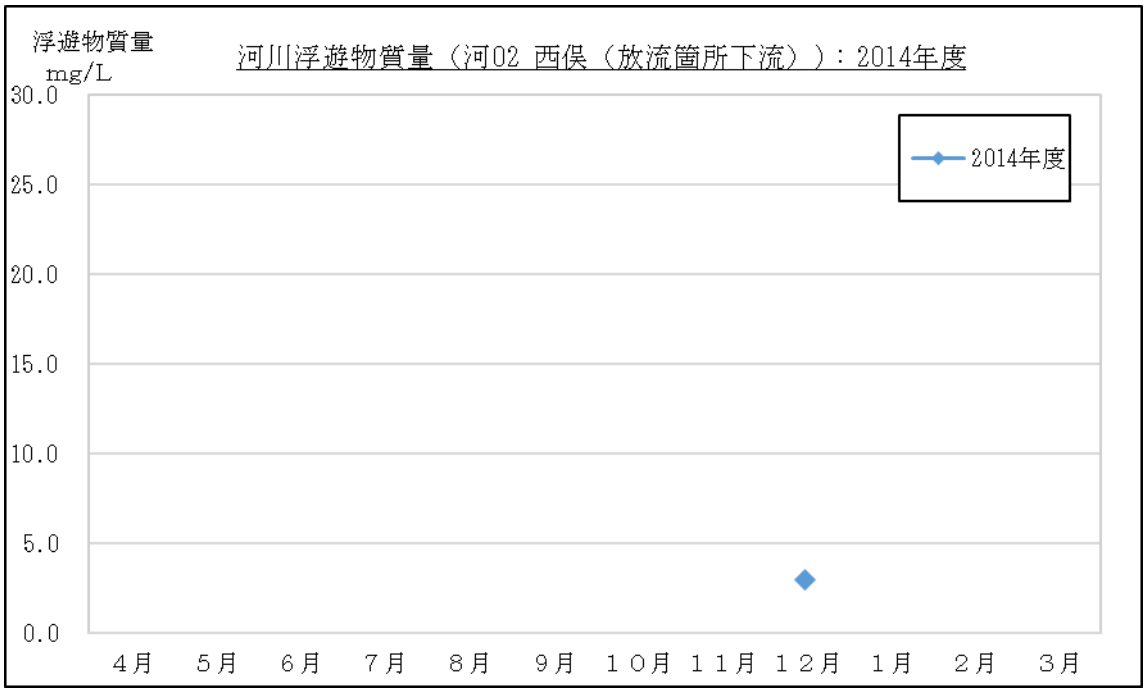


図 110　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流））（生活排水）（SS）

BOD

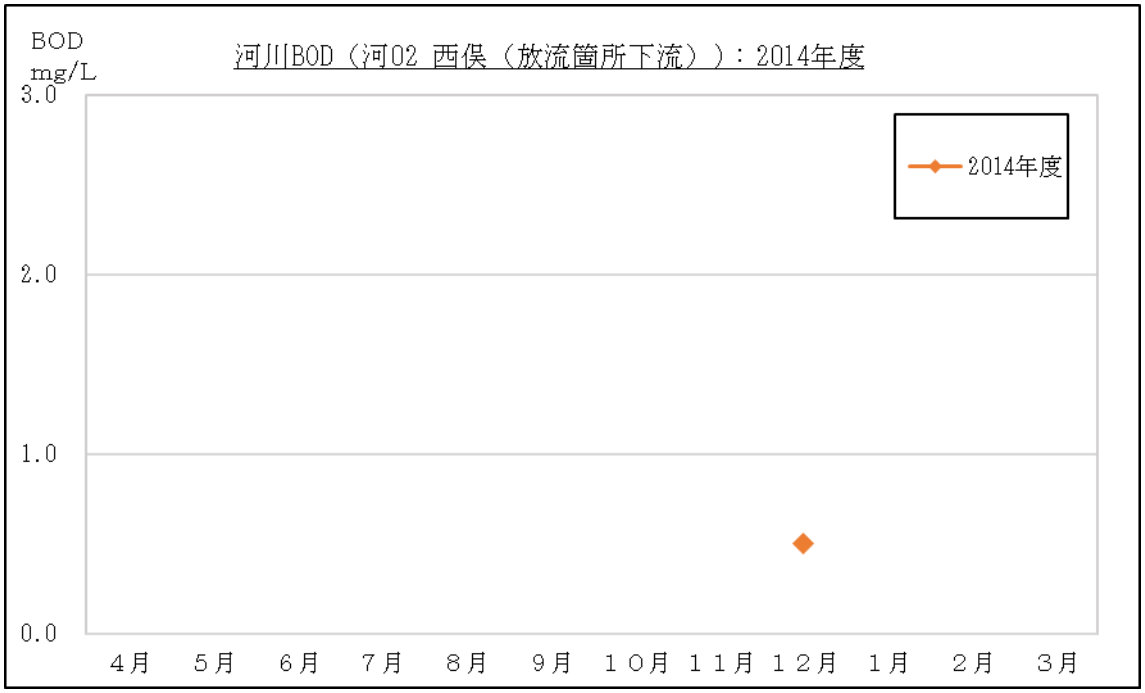


図 111　水質計測結果（河 02 西俣（放流箇所下流））（生活排水）（BOD）

1.4.7 河 08-1 千石（放流箇所上流）（生活排水）

1.4.7.1 調査結果（過年度）

河 08-1 千石（放流箇所上流）（生活排水）の過年度の調査結果を表 86 及び図 112～図 117 に示します。

表 86　水質計測結果（河 08-1 千石（放流箇所上流）（生活排水））（過年度）

調査年度	河 08-1 千石（放流箇所上流）（生活排水）																	
	水温（℃）			pH			溶存酸素量（DO）（mg/L）			浮遊物質（mg/L）			BOD（mg/L）			大腸菌群数（MPN/100mL）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2019 年度	5.3	6.1	4.5	8.0	8.0	7.9	10.9	10.9	10.8	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	9.0	13.0	5.0
2020 年度	7.6	12.9	1.2	8.0	8.1	7.8	11.3	13.0	10.0	5.0	27.0	1.0	0.5	0.8	0.5	14.0	49.0	2.0
過年度	6.5	12.9	1.2	8.0	8.1	7.8	11.1	13.0	10.0	2.8	27.0	1.0	0.5	0.8	0.5	11.3	49.0	2.0

水温

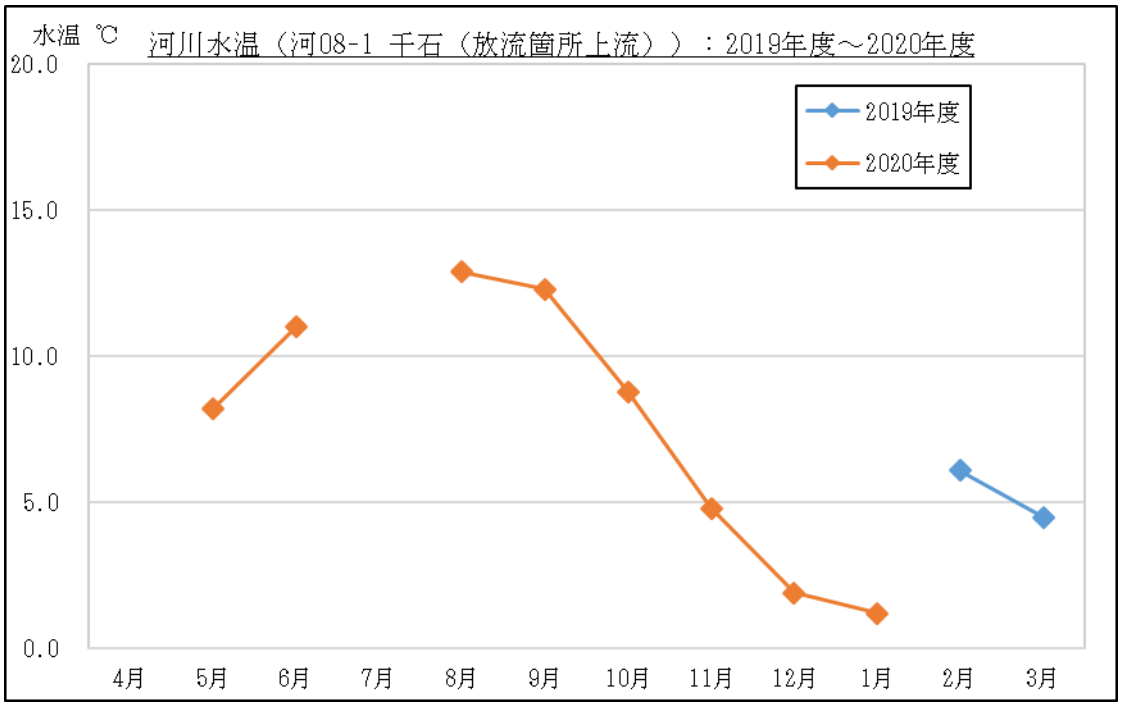


図 112　水質計測結果（河 08-1 千石（放流箇所上流））（生活排水）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

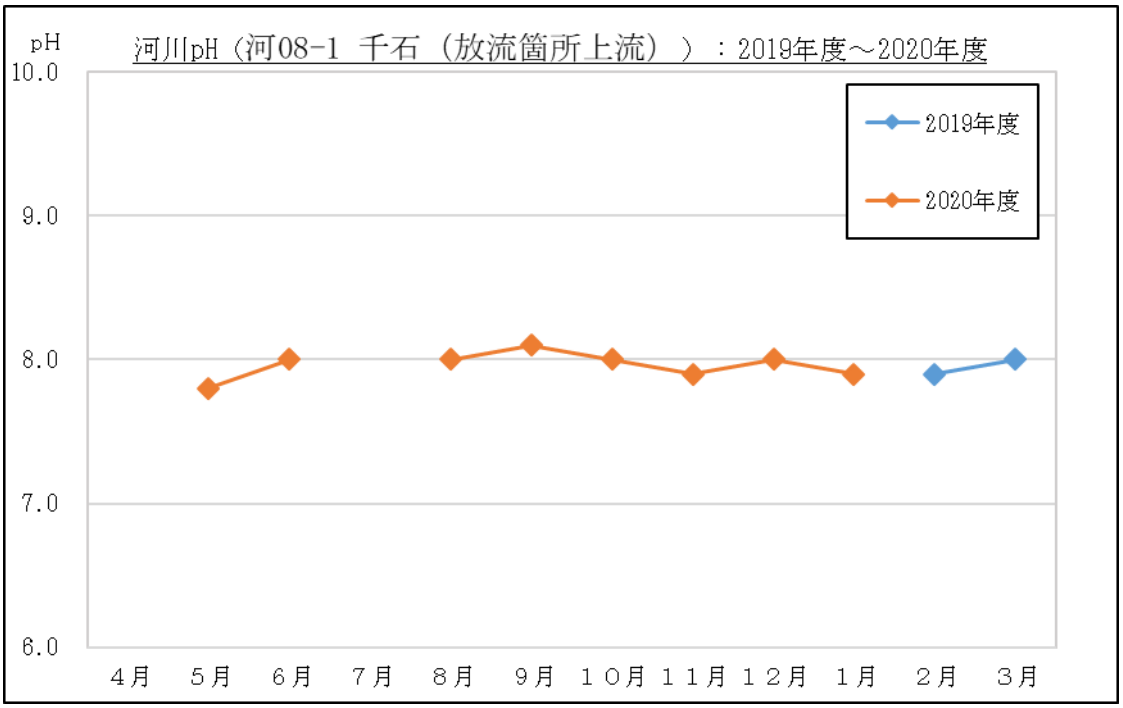


図 113　水質計測結果（河 08-1 千石（放流箇所上流））（生活排水）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

溶存酸素量（DO）

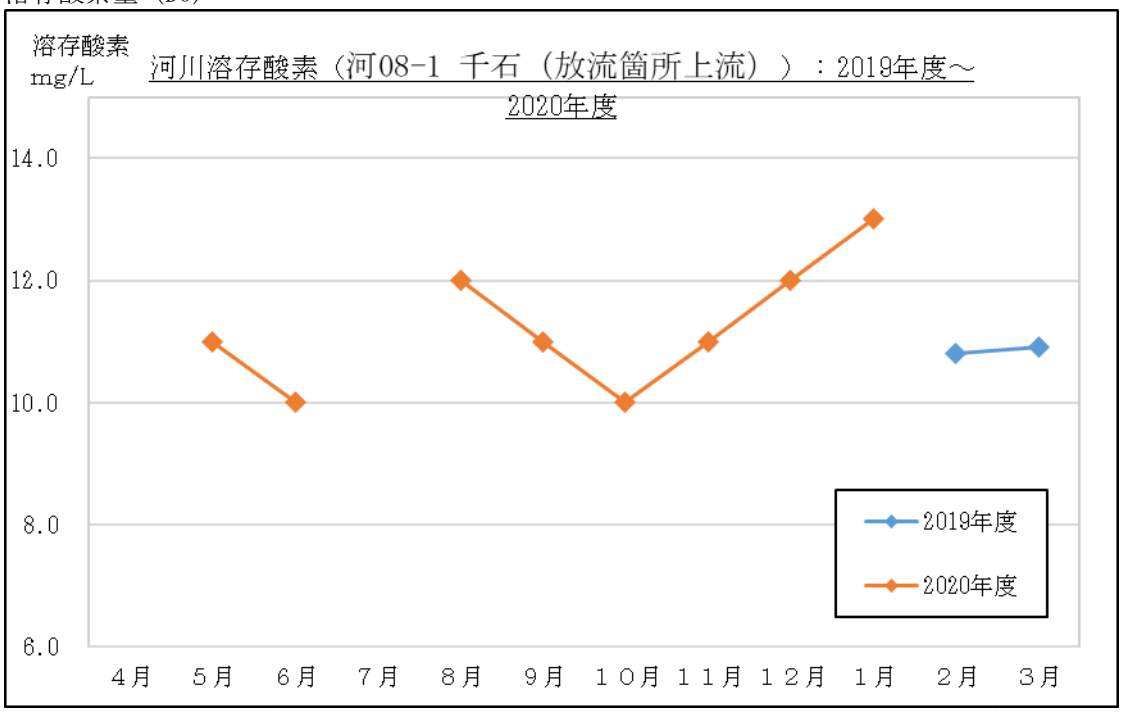


図 114　水質計測結果（河 08-1 千石（放流箇所上流））（生活排水）（溶存酸素量（DO））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

SS

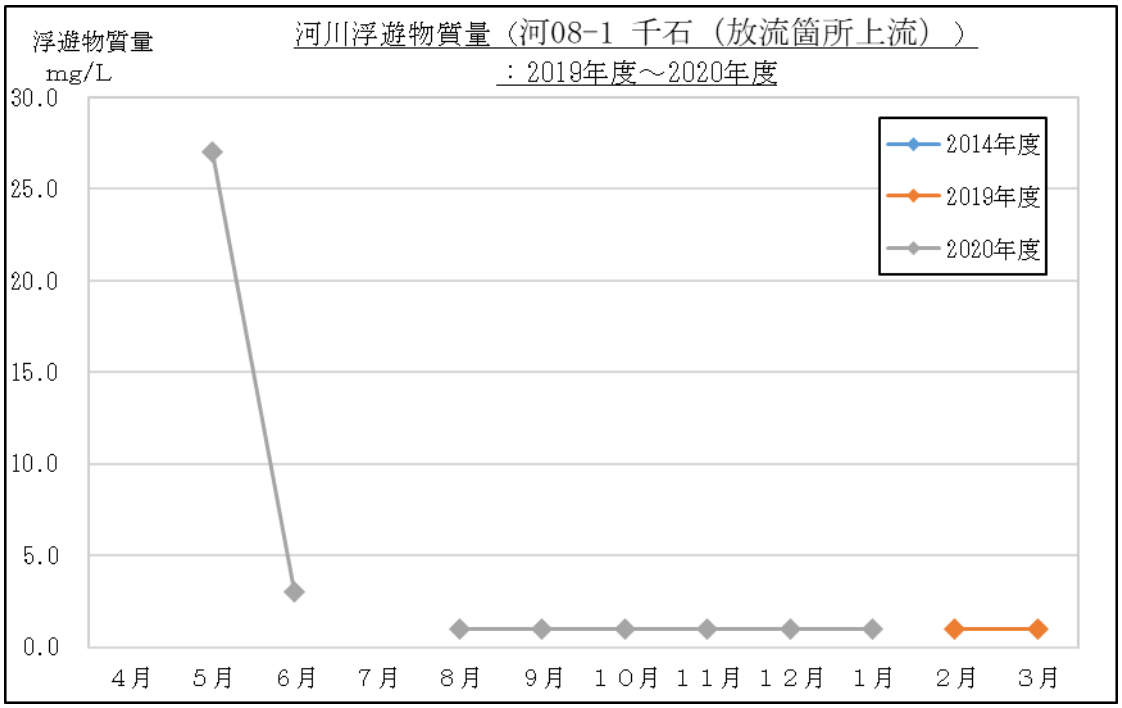


図 115　水質計測結果（河 08-1 千石（放流箇所上流））（生活排水）（SS）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

BOD

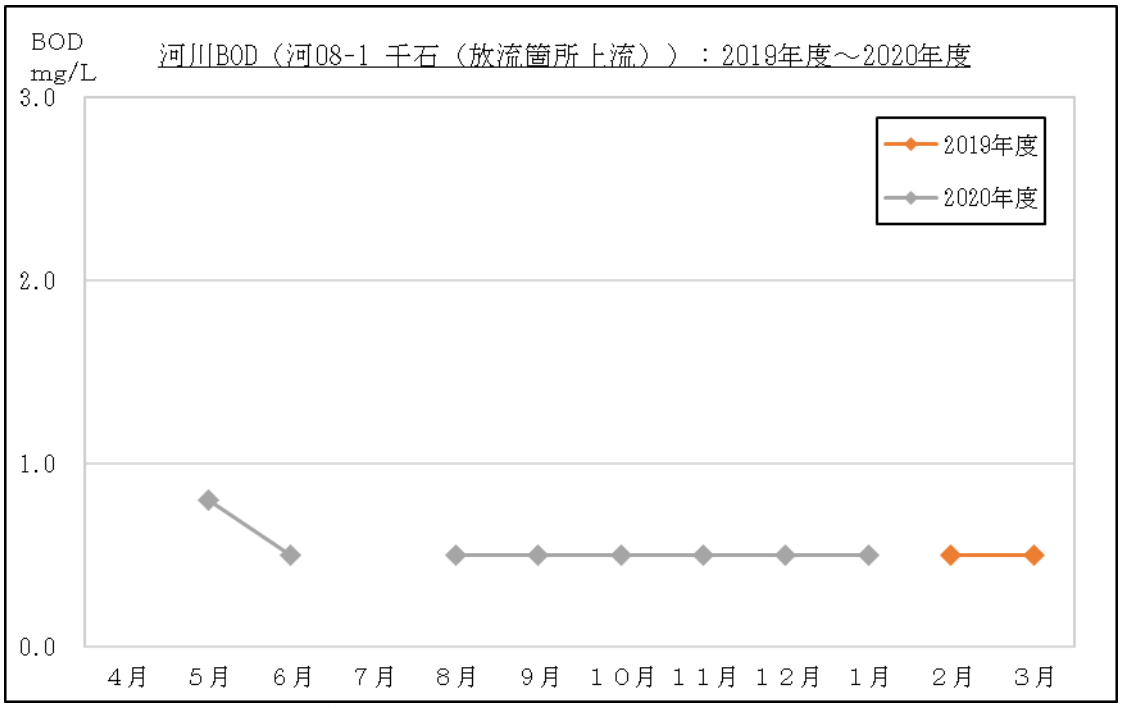


図 116　水質計測結果（河 08-1 千石（放流箇所上流））（生活排水）（BOD）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

大腸菌群数

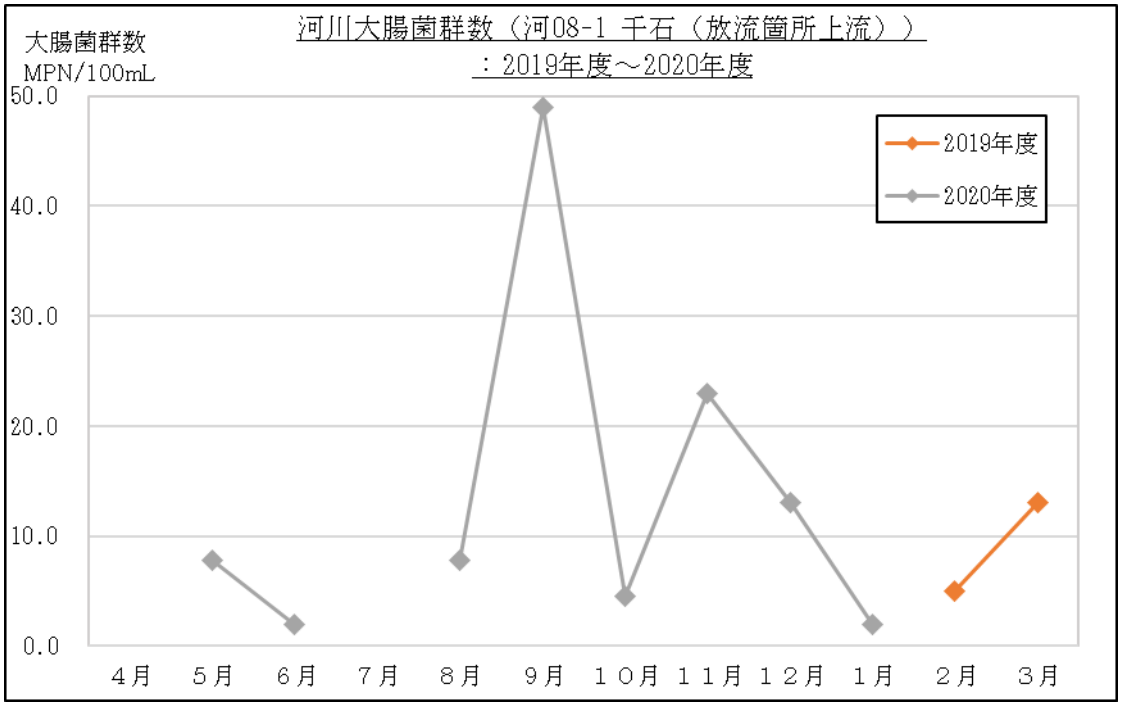


図 117　水質計測結果（河 08-1 千石（放流箇所上流））（生活排水）（大腸菌群数）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.4.8 河 08-2 千石（放流箇所下流）（生活排水）

1.4.8.1 調査結果（過年度）

河 08-2 千石（放流箇所下流）（生活排水）の過年度の調査結果を表 87 及び図 118～図 123 に示します。

表 87　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流）（生活排水））（過年度）

調査年度	河 08-2 千石（放流箇所下流）（生活排水）																	
	水温（℃）			pH			溶存酸素量（DO）（mg/L）			浮遊物質（mg/L）			BOD（mg/L）			大腸菌群数（MPN/100mL）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2014年度	2.1	2.1	2.1	7.8	7.8	7.8				1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5			
2019 年度	5.3	5.7	4.9	8.0	8.0	7.9	11.0	11.0	10.9	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	8.0	8.0	8.0
2020 年度	7.9	13.6	1.1	7.9	8.1	7.8	11.1	12.0	10.0	2.0	11.0	1.0	0.6	1.2	0.5	13.0	23.0	2.0
過年度	5.1	13.6	1.1	7.9	8.1	7.8	11.0	12.0	10.0	1.5	11.0	1.0	0.5	1.2	0.5	10.3	23.0	1.8

水温

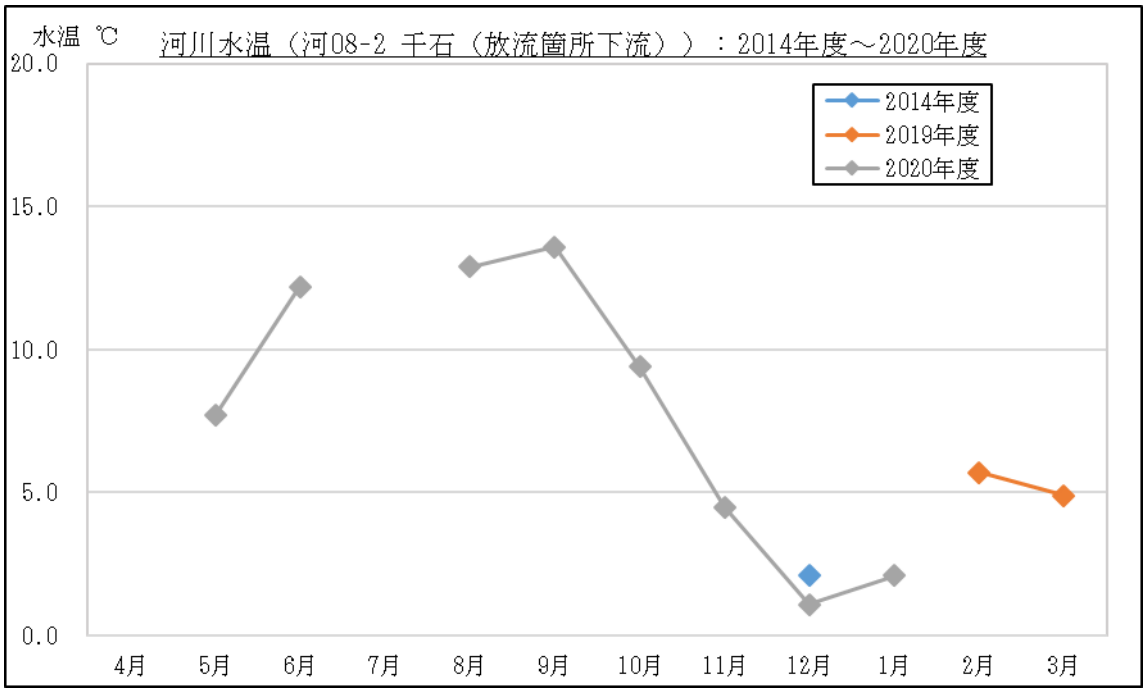


図 118　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流））（生活排水）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

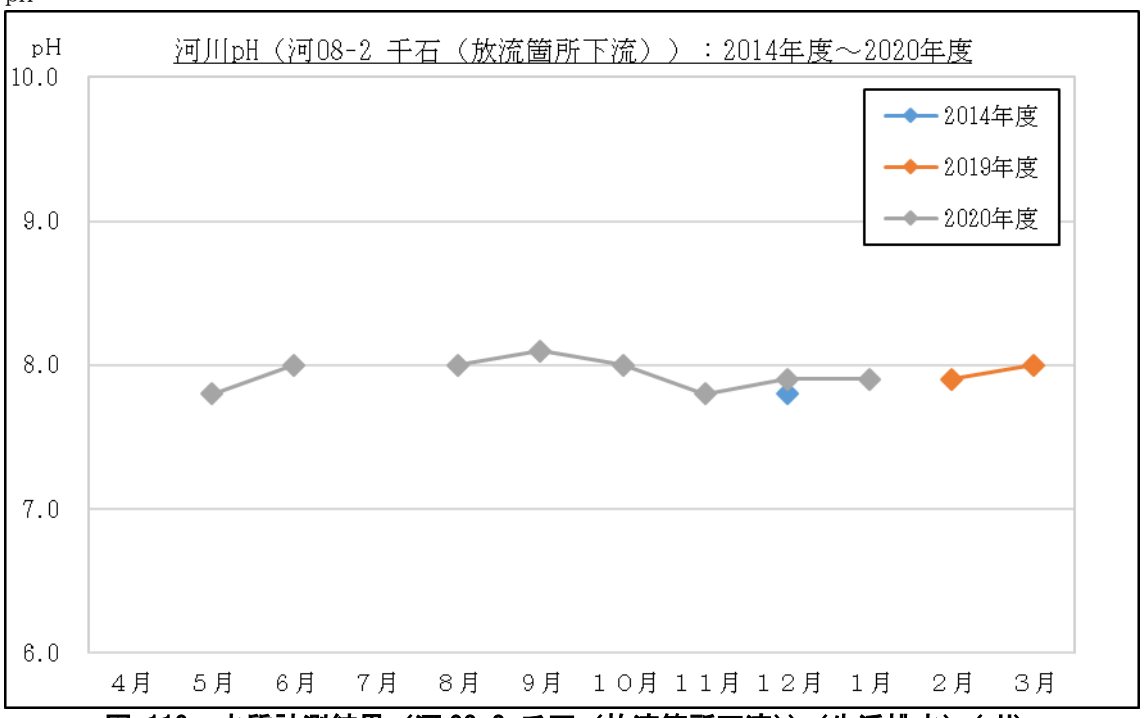


図 119　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流））（生活排水）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

溶存酸素量（DO）

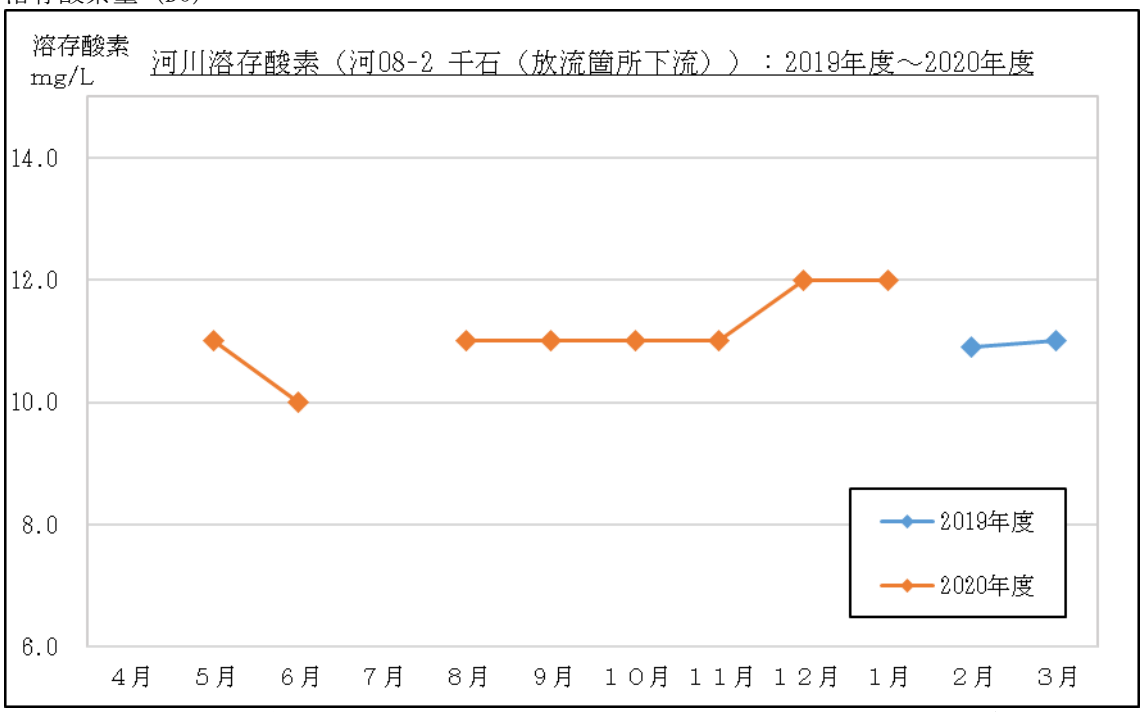


図 120　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流））（生活排水）（溶存酸素量（DO））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

SS

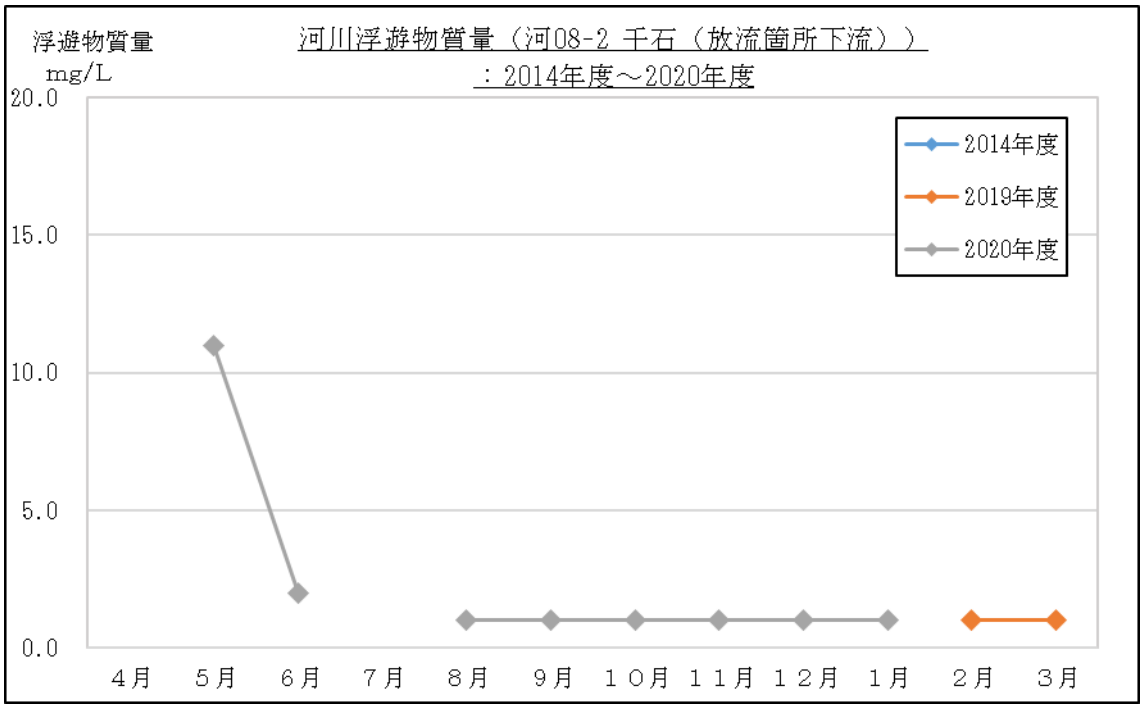


図 121　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流））（生活排水）（SS）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

BOD

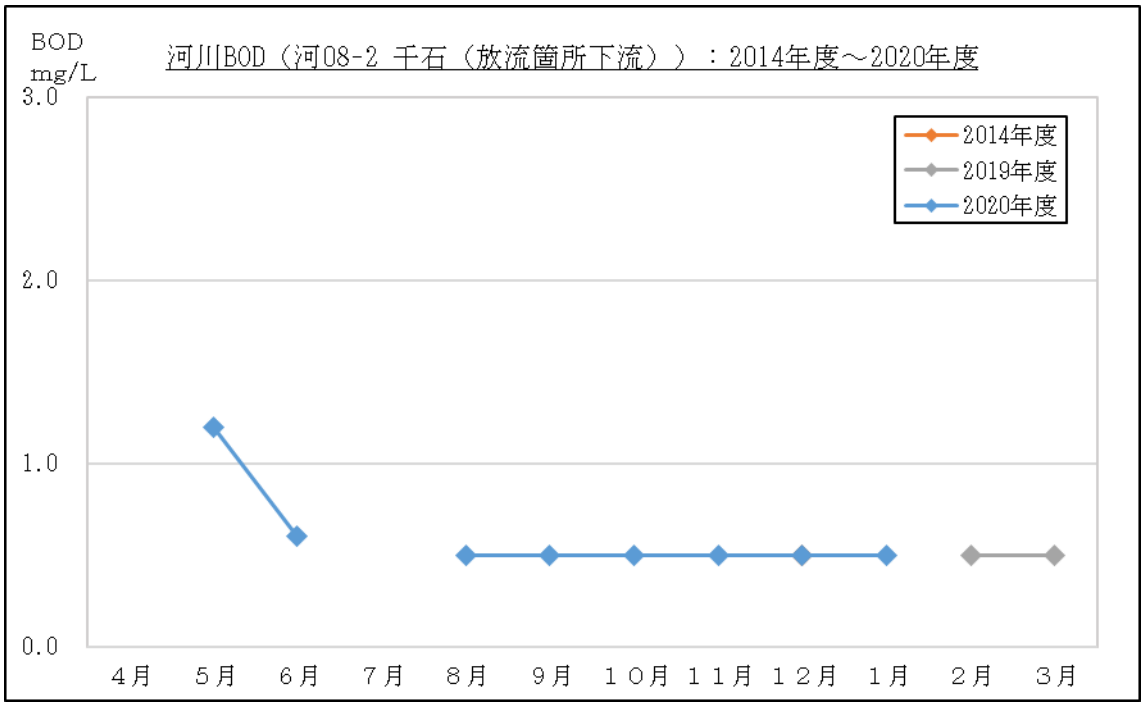


図 122 水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流））（生活排水）（BOD）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

大腸菌群数

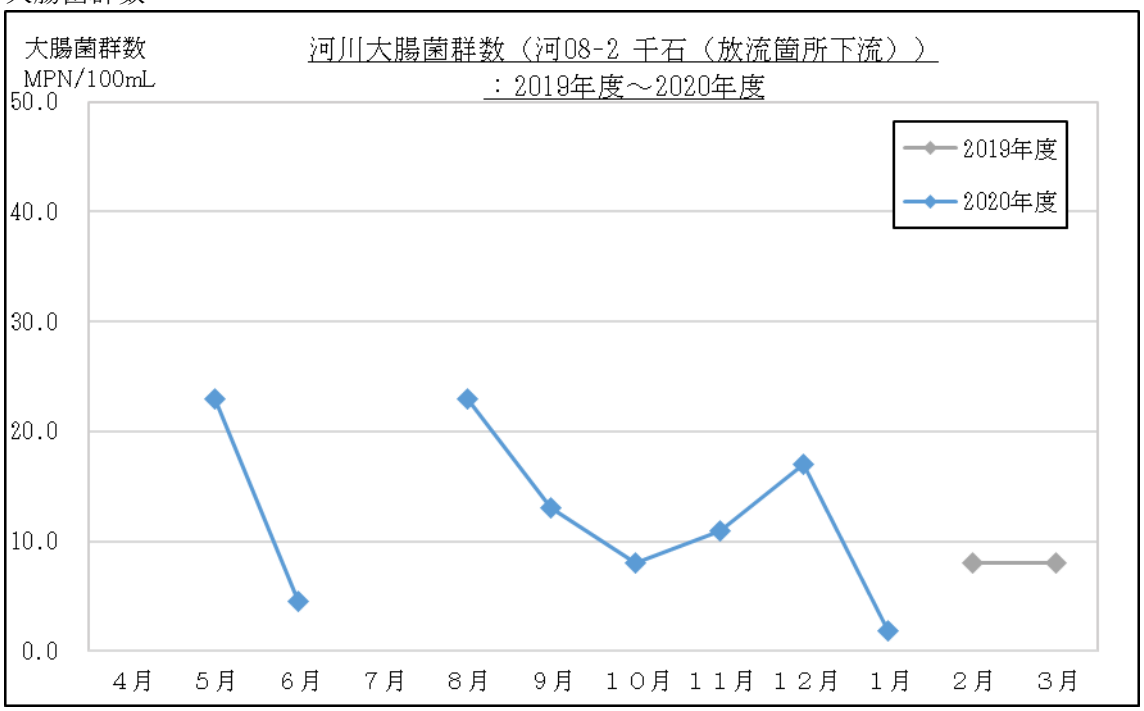


図 123　水質計測結果（河 08-2 千石（放流箇所下流））（生活排水）（大腸菌群数）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.4.9 河 10-1 椹島（放流箇所上流）（生活排水）

1.4.9.1 調査結果（過年度）

河 10-1 椹島（放流箇所上流）（生活排水）の過年度の調査結果を表 88 及び図 124～図 129 に示します。

表 88　水質計測結果（河 10-1 椹島（放流箇所上流）（生活排水））（過年度）

調査年度	河 10-1 椹島（放流箇所上流）（生活排水）																	
	水温（℃）			pH			溶存酸素量（DO）（mg/L）			浮遊物質（mg/L）			BOD（mg/L）			大腸菌群数（MPN/100mL）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2019 年度	3.4	4.6	2.2	8.0	8.0	7.9	11.5	12.3	11.1	2.0	4.0	1.0	0.5	0.5	0.5	117.0	330.0	8.0
2020 年度	12.2	19.8	2.2	8.1	8.3	7.9	9.3	11.0	3.0	2.0	3.0	1.0	0.5	0.7	0.5	24.0	49.0	7.0
過年度	7.8	19.8	2.2	8.0	8.3	7.9	10.4	12.3	3.0	1.8	3.8	1.0	0.5	0.7	0.5	70.4	330.0	6.8

水温

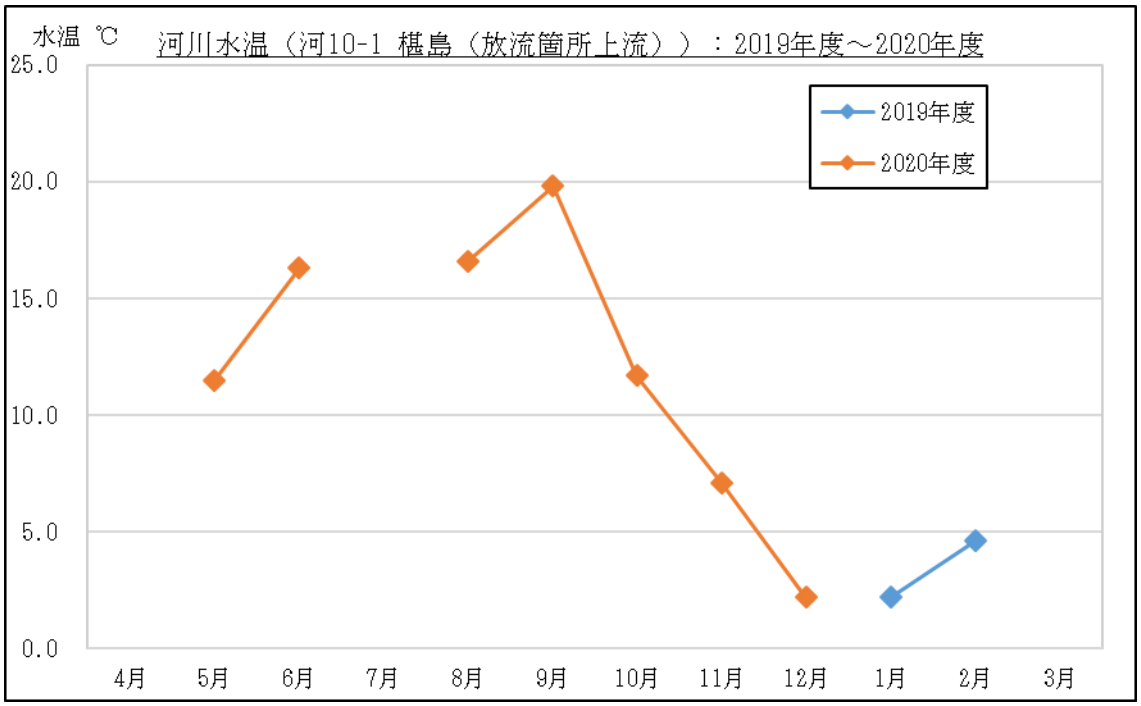


図 124　水質計測結果（河 10-1 椹島（放流箇所上流））（生活排水）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

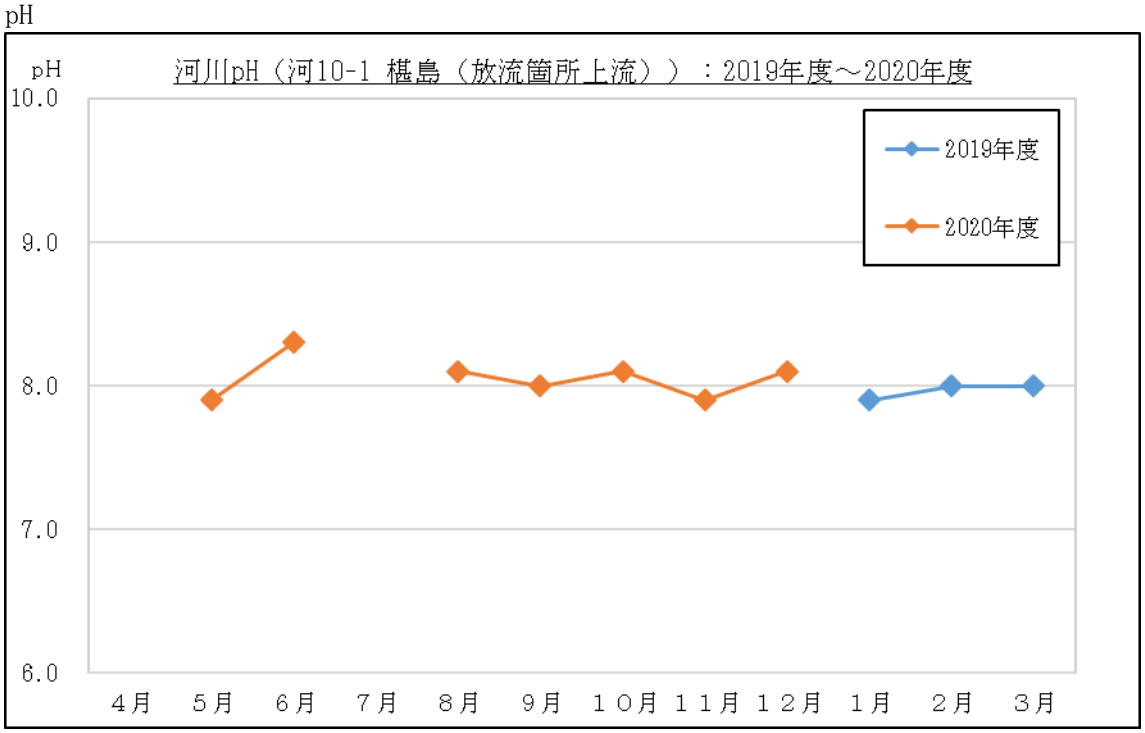


図 125　水質計測結果（河 10-1 椹島（放流箇所上流））（生活排水）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

溶存酸素量（DO）

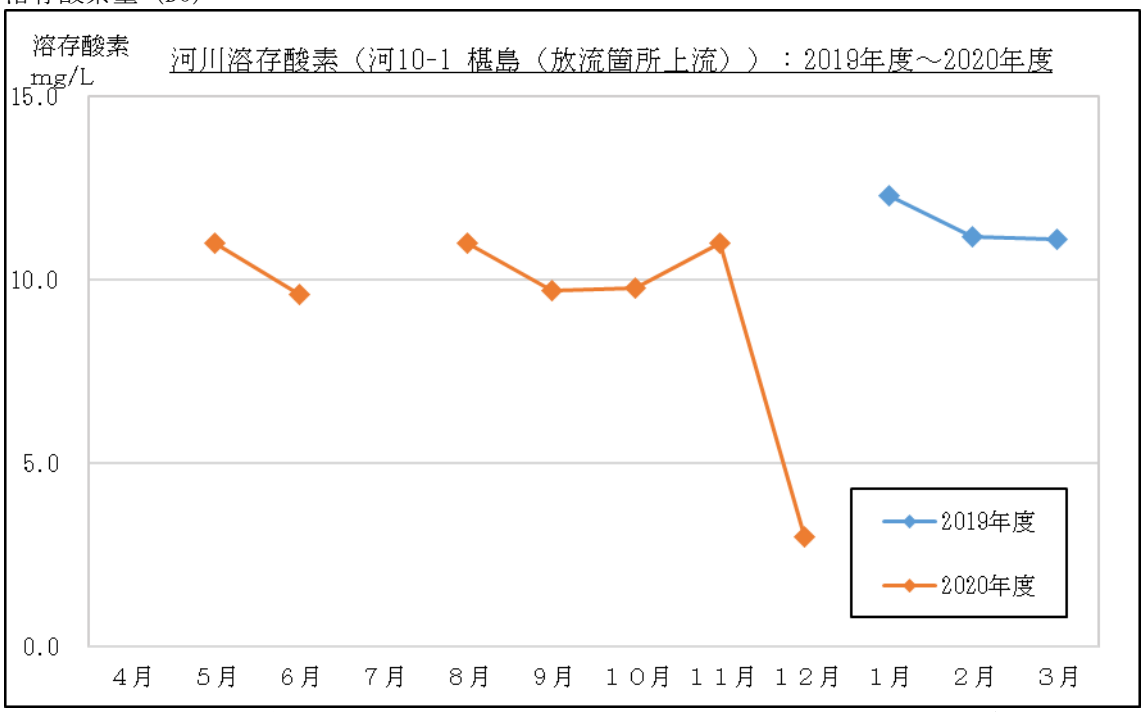


図 126　水質計測結果（河 10-1 椹島（放流箇所上流））（生活排水）（溶存酸素量（DO））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

SS

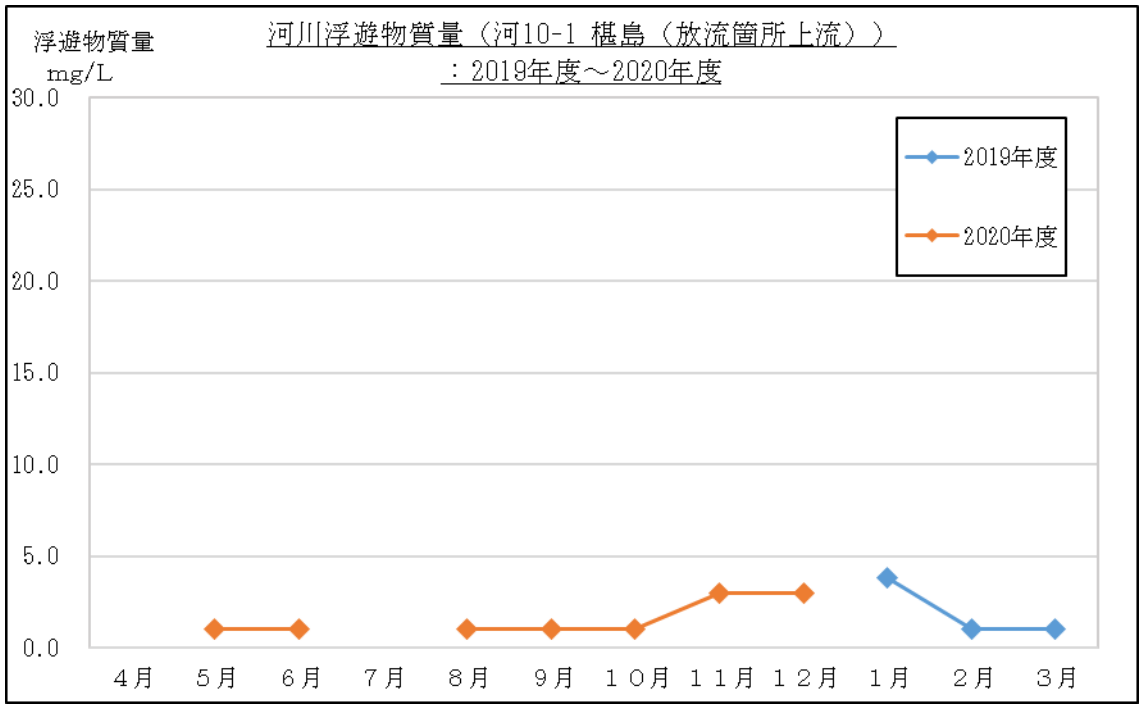


図 127　水質計測結果（河 10-1 椹島（放流箇所上流））（生活排水）（SS）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

BOD

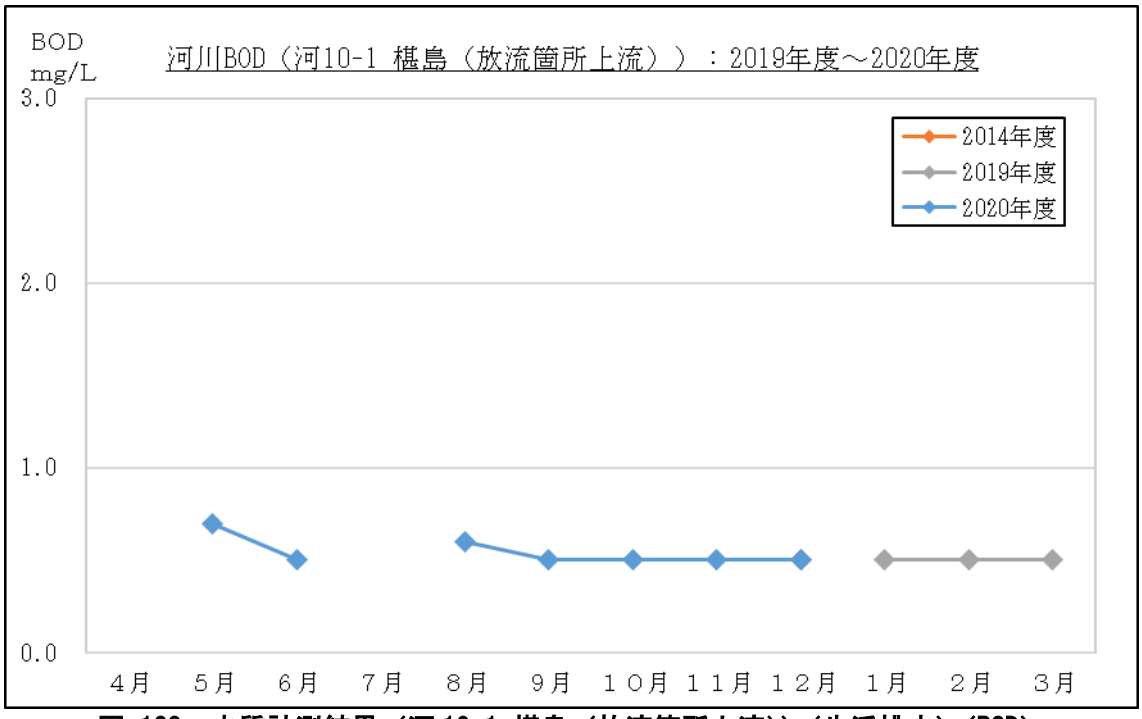


図 128　水質計測結果（河 10-1 椹島（放流箇所上流））（生活排水）（BOD）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

大腸菌群数

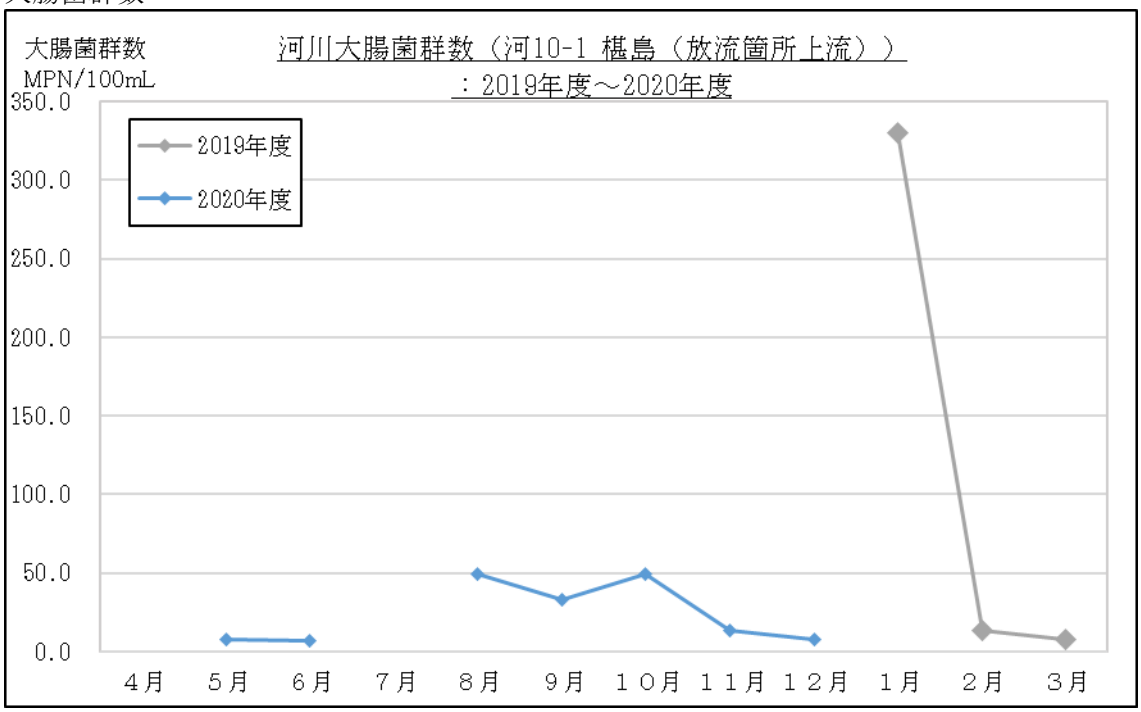


図 129　水質計測結果（河 10-1 椹島（放流箇所上流））（生活排水）（大腸菌群数）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.4.10 河 10-2 椹島（放流箇所下流①）（生活排水）

1.4.10.1 調査結果（過年度）

河 10-2 椹島（放流箇所下流①）（生活排水）の過年度の調査結果を表 89 及び図 130～図 135 に示します。

表 89　水質計測結果（河 10-2 椹島（放流箇所下流①）（生活排水））（過年度）

調査年度	河 10-2 椹島（放流箇所下流①）（生活排水）																	
	水温（℃）			pH			溶存酸素量（DO）（mg/L）			浮遊物質（mg/L）			BOD（mg/L）			大腸菌群数（MPN/100mL）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2015年度	6.9	6.9	6.9	7.9	7.9	7.9				1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5			
2019 年度	4.0	5.0	2.4	8.0	8.0	7.9	11.7	12.9	11.1	1.2	2.0	1.0	0.5	0.5	0.5	38.0	79.0	13.0
2020 年度	11.8	16.8	2.4	8.1	8.3	7.9	10.3	13.0	8.6	1.3	2.0	1.0	0.6	0.8	0.5	30.0	70.0	13.0
過年度	7.6	16.8	2.4	8.0	8.3	7.9	11.0	13.0	8.6	1.2	2.0	1.0	0.5	0.8	0.5	34.3	79.0	13.0

水温

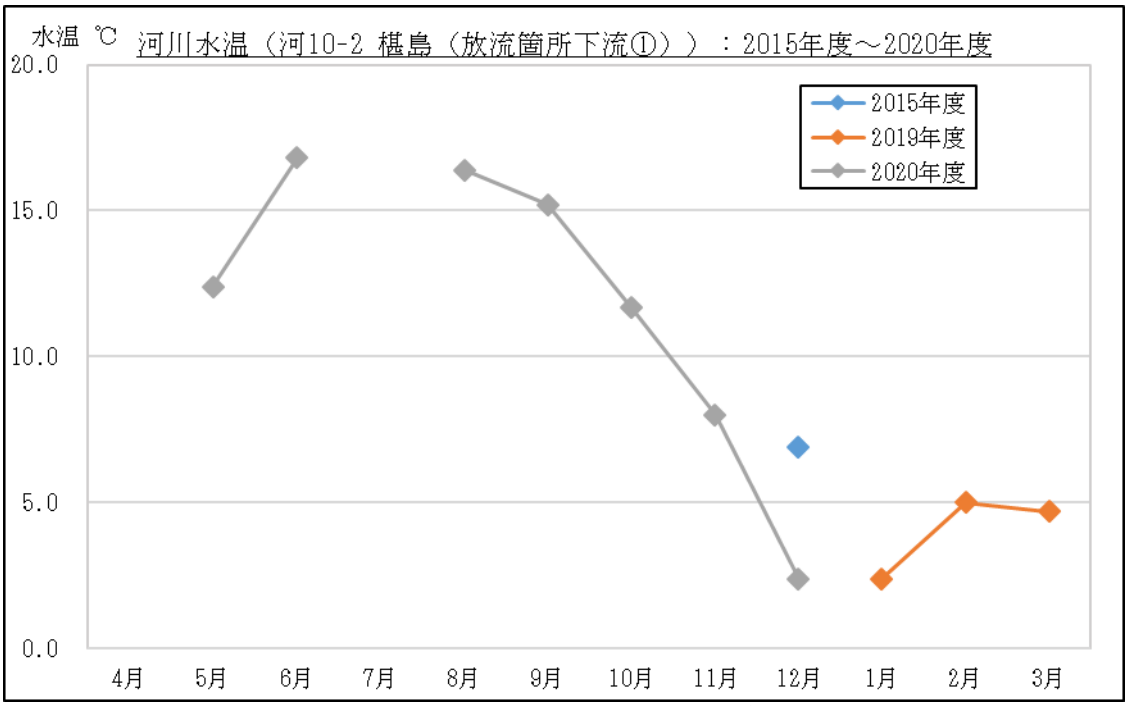


図 130　水質計測結果（河 10-2 椹島（放流箇所下流①））（生活排水）（水温）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

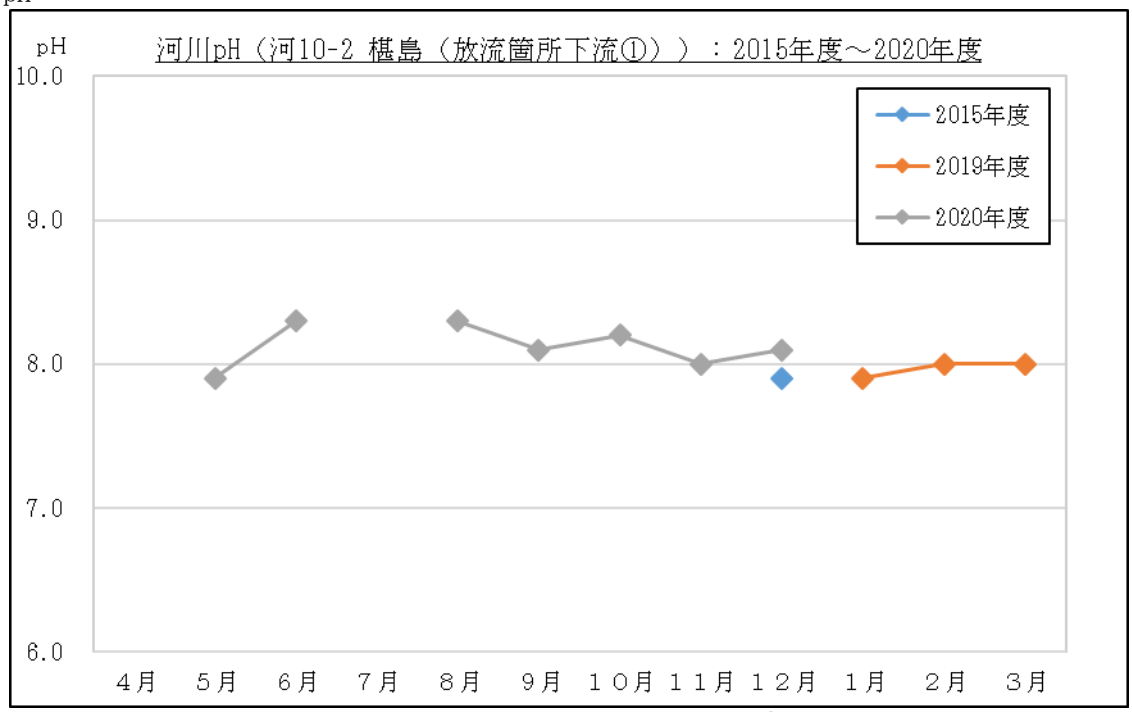


図 131　水質計測結果（河 10-2 椹島（放流箇所下流①））（生活排水）（pH）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

溶存酸素量（DO）

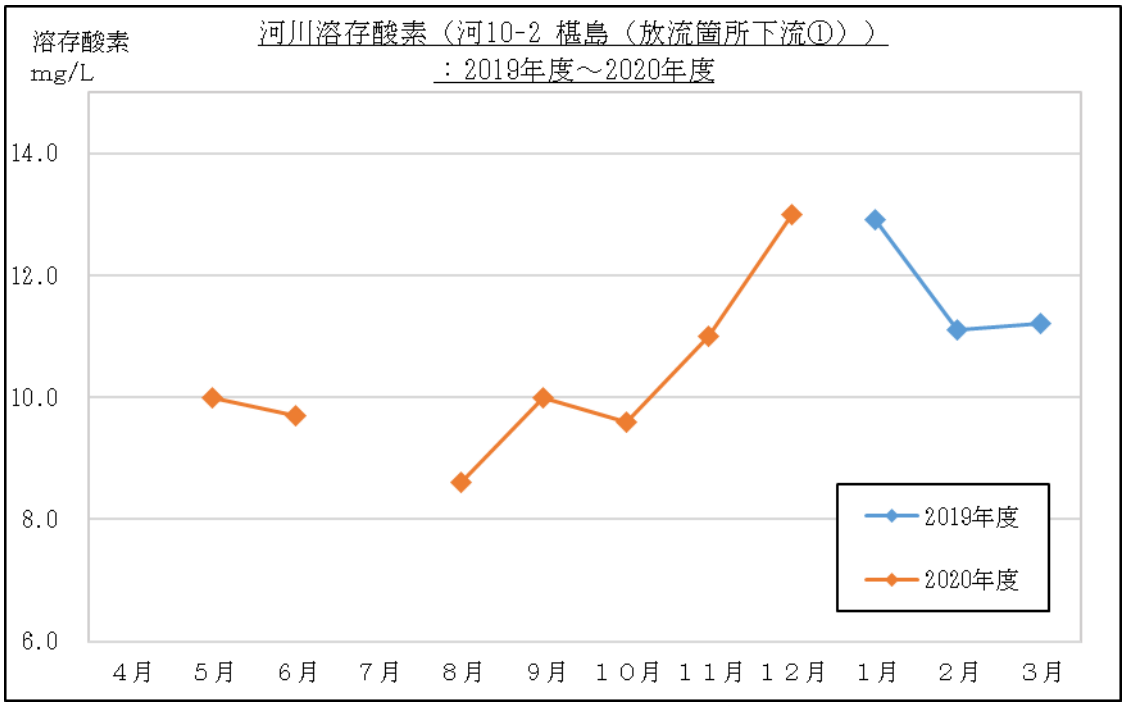


図 132　水質計測結果（河 10-2 椹島（放流箇所下流①））（生活排水）（溶存酸素量（DO））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

SS

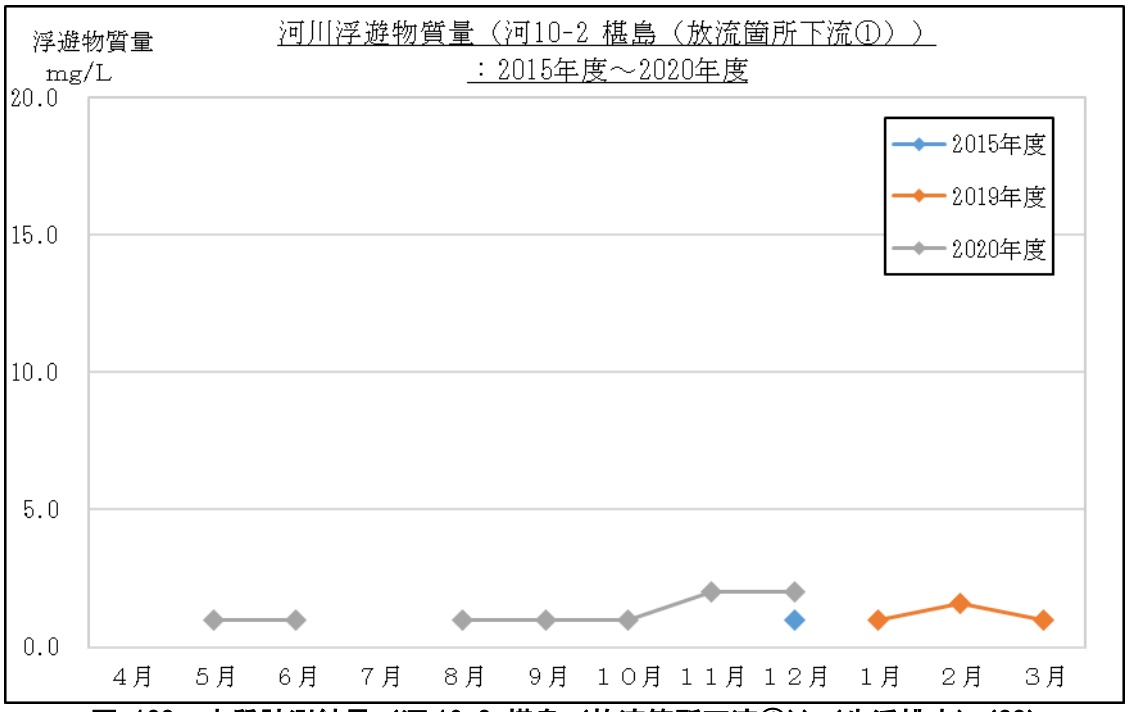


図 133　水質計測結果（河 10-2 椹島（放流箇所下流①））（生活排水）（SS）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

BOD

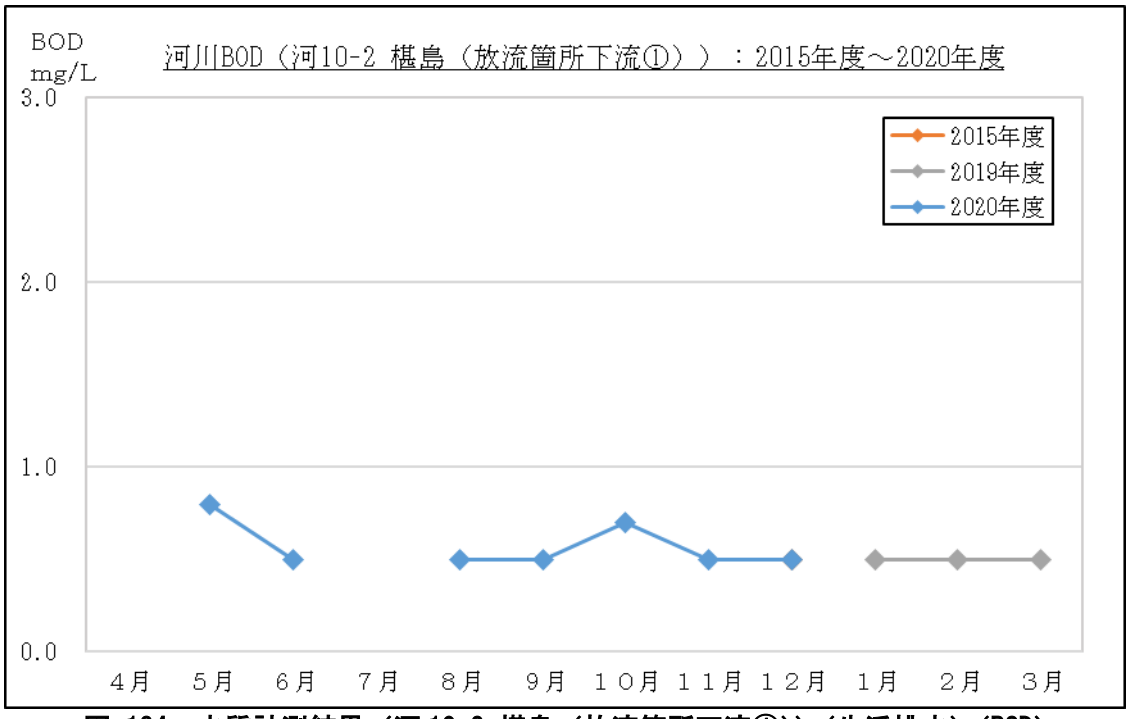


図 134　水質計測結果（河 10-2 椹島（放流箇所下流①））（生活排水）（BOD）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

大腸菌群数

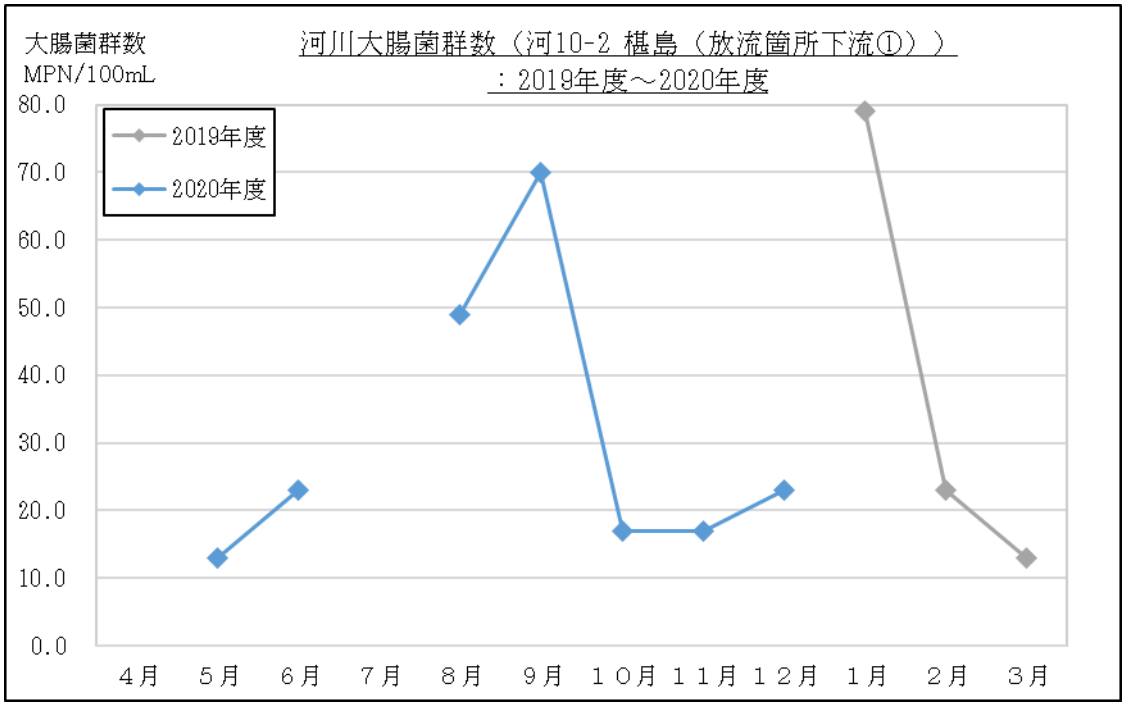


図 135　水質計測結果（河 10-2 椹島（放流箇所下流①））（生活排水）（大腸菌群数）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

1.5 河川・沢の水質（年２回計測等）【事後調査及びモニタリング計画通し番号 32、33、34】

1.5.5 調査期間

河川・沢の水質（年２回計測）の調査期間を表 90 に、沢流量（年１回計測）調査期間を表 91 に、それぞれ示します。なお、有識者会議の議論を踏まえて、常時計測、月１回計測と頻度を増やして計測している地点においても、「「中央新幹線（東京・名古屋市間）環境影響評価【静岡県】平成 26 年８月」に基づく事後調査計画書」に基づく年２回計測地点は年２回計測の調査結果を再掲しています。

表 90　調査期間（河川・沢の水質（年２回計測））

調査地点	調査年度	調査期間
河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-2 椹島（放流箇所下流①）（2016 年度より月１回へ頻度増）、河 13 西俣堰堤下流、河 14 西俣（柾小屋沢北）、河 15 二軒小屋発電所放流口上流、河 16 東俣堰堤下流、河 17 東俣（徳右衛門沢北）、河 18 東俣（曲輪沢北）、河 19 東俣（東俣第一測水所上流）、沢 01 内無沢、沢 02 魚無沢、沢 03 瀬戸沢、沢 04 上岳沢、沢 05 西小石沢、沢 06 柾小屋沢、沢 08 柳沢、沢 09 悪沢、沢 10 大崩、沢 11 徳右衛門沢、沢 12 曲輪沢、沢 13 ジャガ沢、沢 14 流沢、沢 15 二軒小屋南西の沢、沢 16 上スリバチ沢（2024 年度より月１回へ頻度増）、沢 17 スリバチ沢、沢 18 車屋沢、沢 19 燕沢、沢 20 大尻沢北の沢、沢 21 大尻沢、沢 22 蛇沢南東の沢、沢 23 破風石沢、沢 24 下木賊沢北の沢、沢 25 下木賊沢、沢 26 虎杖沢（2024 年度より月１回へ頻度増）、沢 27 上千枚沢、沢 28 下千枚沢、沢 29 蛇沢、沢 30 蛇沢南の沢（2015 年度より開始）、沢 31 奥西河内川、沢 34 小西俣、沢 35 上四郎作沢、沢 36 新蛇抜沢、沢 37 扇沢、沢 38 奥西河内堰堤上流、沢 39 滝見橋付近の沢（2015 年度より開始）、沢 40 倉沢	2014 年度	2014 年８月 27 日、８月 29 日 ～ ８月 31 日、９月３日 ～ ９月４日（８月期） 2014 年 10 月 31 日 ～ 11 月１日、11 月３日～11 月５日（11 月期）
	2015 年度	2015 年８月３日 ～ ８月７日（８月期） 2015 年 11 月３日 ～ 11 月６日（11 月期）
	2016 年度	2016 年８月１日 ～ ８月４日（８月期） 2016 年 11 月２日 ～ 11 月５日（11 月期）
	2017 年度	2017 年８月１日 ～ ８月４日（８月期） 2017 年 11 月３日 ～ 11 月６日、11 月 18 日～11 月 19 日、12 月６日、12 月 24 日（11 月期）
	2018 年度	2018 年８月１日 ～ ８月４日（８月期） 2018 年 11 月２日 ～ 11 月５日（11 月期）
	2019 年度	2019 年７月 31 日 ～ ８月４日（８月期） 2019 年 11 月 20 日 ～ 11 月 24 日（11 月期）
	2020 年度	2020 年８月 24 日 ～ ８月 26 日、８月 28 日 ～ ８月 30 日（８月期） 2020 年 11 月１日 ～ 11 月５日、12 月 15 日（11 月期）
	2021 年度	2021 年８月１日 ～ ８月４日（８月期） 2021 年 11 月 12 日 ～ 11 月 15 日（11 月期）
	2022 年度	2022 年８月 10 日 ～ ８月 12 日、８月 24 日（８月期） 2022 年 10 月 27 日 ～ 10 月 28 日、11 月 10 日 ～ 11 月 12 日、11 月 30 日、12 月２日（11 月期）
	2023 年度	2023 年８月 10 日～８月 12 日（８月期） 2023 年 11 月２日～11 月５日（11 月期）
	2024 年度	2024 年８月１日～８月４日（８月期） 2024 年 11 月 13 日～11 月 16 日（11 月期）
	2025 年度	2025 年８月４日～８月７日、８月 27 日～８月 29 日（８月期） 2025 年 11 月４日～11 月８日（11 月期）

表 91　調査期間（沢の水質（年１回計測））

調査地点	調査年度	調査期間
沢 07 蛇抜沢（上流部）、沢 09 悪沢（上流部）、沢 17 スリバチ沢（上流部）	2025 年度	2025 年９月 10 日～９月 11 日、９月 30 日

1.5.6 調査結果（過年度）

調査結果を表 92～表 99、図 136～図 138 に示します。

表 92　水温、pH、電気伝導率（EC）計測結果（年２回計測箇所）

地点番号	調査地点	調査項目	2014 年度		2015 年度		2016 年度		2017 年度		2018 年度		2019 年度		2020 年度		2021 年度		2022 年度	
			8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期
河 02	西俣（放流箇所下流）	水温（℃）	11.8	7.2	13.3	6.0	15.4	6.9	14.5	5.7	15.5	6.4	13.2	6.1	15.3	2.0	11.7	4.7	14.5	6.9
		pH	8.0	7.8	8.2	8.1	8.5	8.5	8.0	7.3	8.1	8.2	8.1	8.0	8.3	7.8	8.1	7.7	7.9	8.3
		電気伝導率（EC）（mS/m）	11.2	11.7	11.4	11.1	13.2	12.6	10.7	9.3	11.9	13.0	10.4	12.8	12.7	12.9	12.8	13.7	13.2	13.1
河 10-2	椹島（放流箇所下流①）※1	水温（℃）	15.3	8.6	12.9	5.4														
		pH	8.1	7.8	8.0	7.9														
		電気伝導率（EC）（mS/m）	12.5	11.3	11.8	14.4														
河 13	西俣堰堤下流	水温（℃）	12.5	5.8	13.6	4.9	12.9	5.8	13.4	4.9	11.6	5.2	11.9	－※2	13.8	3.8	11.9	3.9	14.7	4.8
		pH	7.4	7.6	8.3	8.0	8.5	8.0	7.3	7.6	7.9	7.8	7.9	－※2	8.1	8.0	8.1	8.1	8.1	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	9.0	8.7	8.7	10.0	9.5	8.8	9.3	8.3	8.4	9.2	8.1	－※2	9.3	9.0	9.1	9.8	9.7	9.9
河 14	西俣（柾小屋沢北）	水温（℃）	8.2	7.4	14.0	6.2	11.3	7.3	12.3	3.2	14.2	7.8	13.9	5.7	14.0	6.2	12.9	6.9	12.7	7.7
		pH	7.7	7.8	8.2	8.1	8.5	8.4	7.5	7.5	8.2	8.2	8.0	7.9	8.2	8.1	8.0	8.2	8.1	8.2
		電気伝導率（EC）（mS/m）	7.7	12.7	12.2	11.0	14.0	13.3	10.2	9.8	12.9	13.5	11.2	13.6	12.9	9.6	13.4	13.0	13.3	13.5
河 15	二軒小屋発電所放流口上流	水温（℃）	11.9	6.5	14.5	4.7	13.6	6.2	12.6	6.2	13.6	6.0	15.6	9.7	16.1	3.9	12.3	5.8	15.0	5.9
		pH	8.0	7.6	7.8	8.0	8.6	8.2	7.8	7.6	8.1	7.8	8.0	8.1	8.2	8.0	8.0	8.0	7.9	8.2
		電気伝導率（EC）（mS/m）	11.3	11.7	12.3	12.0	13.5	12.9	11.3	9.6	12.1	13.7	11.7	13.0	13.0	10.7	12.4	13.9	13.5	13.6
河 16	東俣堰堤下流	水温（℃）	11.5	5.2	12.0	5.5	11.2	5.3	10.4	3.5	13.0	5.6	13.0	－※2	－※2	6.5	11.8	5.9	12.7	6.1
		pH	8.0	7.7	7.3	8.0	8.1	8.2	7.9	7.3	7.9	7.9	7.9	－※2	－※2	7.9	7.9	8.0	7.9	8.2
		電気伝導率（EC）（mS/m）	13.0	9.5	8.6	9.3	9.2	9.9	9.1	9.0	8.3	8.9	8.7	－※2	－※2	9.2	9.3	9.9	10.0	10.2
河 17	東俣（徳右衛門沢北）	水温（℃）	13.5	6.2	14.0	6.8	13.2	5.1	10.5	3.6	12.6	3.9	21.2	－※2	－※2	6.5	14.5	3.9	16.0	5.8
		pH	8.4	7.8	7.5	8.0	8.1	8.4	7.6	7.3	7.8	7.4	7.8	－※2	－※2	7.8	7.9	8.2	8.1	8.2
		電気伝導率（EC）（mS/m）	31.3	11.7	10.7	9.5	10.8	11.6	9.4	9.3	10.4	12.5	10.5	－※2	－※2	9.5	10.9	11.2	12.0	11.0
河 18	東俣（曲輪沢北）	水温（℃）	12.8	6.5	14.5	5.0	14.3	7.2	11.3	4.2	15.4	6.6	13.3	－※2	－※2	6.7	16.0	5.3	17.2	5.7
		pH	8.2	7.6	7.9	8.0	8.0	8.1	7.9	7.3	8.1	7.8	8.0	－※2	－※2	8.2	8.1	7.9	8.1	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	13.4	12.1	11.6	10.2	12.2	12.2	9.8	9.0	11.3	13.0	11.0	－※2	－※2	9.7	12.0	12.5	13.0	11.6
河 19	東俣（東俣第一測水所上流）	水温（℃）	13.5	7.3	16.0	7.1	15.0	7.0	11.5	6.6	16.9	7.1	14.5	5.0	15.5	6.8	17.5	5.5	17.0	5.7
		pH	8.0	7.6	8.2	7.8	7.9	8.1	7.8	7.9	8.0	7.8	7.9	7.9	8.1	8.2	8.1	7.9	8.0	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	13.2	13.1	12.8	10.8	13.4	13.1	10.5	9.3	12.0	14.0	11.9	10.0	10.3	9.9	13.1	13.6	14.1	12.0
沢 01	内無沢	水温（℃）	9.4	5.1	10.3	4.8	9.7	4.3	10.2	4.9	11.0	5.3	10.5	3.8	11.7	4.8	10.8	－※2	11.5	5.5
		pH	7.4	6.5	8.3	8.3	8.2	8.0	7.9	7.3	8.0	7.8	7.7	8.1	7.9	8.4	8.1	－※2	8.0	7.2
		電気伝導率（EC）（mS/m）	7.8	6.4	6.4	35.1	7.1	6.6	7.1	6.1	6.3	6.8	5.8	6.5	6.7	6.6	6.9	－※2	7.1	6.9
沢 02	魚無沢	水温（℃）	9.0	5.2	8.0	4.9	7.9	4.3	8.7	5.0	8.2	5.1	8.1	5.2	9.4	5.2	9.3	－※2	9.5	5.1
		pH	7.7	6.7	7.6	8.1	8.2	8.3	7.7	7.3	8.0	7.8	7.9	7.8	7.5	8.2	8.0	－※2	7.7	7.8
		電気伝導率（EC）（mS/m）	8.6	8.4	8.4	8.8	8.1	8.7	9.0	8.1	8.1	8.6	7.9	8.6	8.1	8.5	8.6	－※2	8.9	8.9
沢 03	瀬戸沢	水温（℃）	12.1	4.9	11.6	2.9	11.2	2.9	11.8	4.3	12.4	3.3	11.2	4.1	12.4	3.9	11.8	－※2	12.4	3.0
		pH	7.9	7.0	7.6	7.8	8.3	8.0	7.8	7.3	7.8	7.9	7.6	7.8	7.6	7.9	8.1	－※2	8.1	7.6
		電気伝導率（EC）（mS/m）	8.7	6.4	7.1	8.2	7.4	7.0	7.5	6.5	7.0	7.6	5.9	6.9	7.8	6.7	7.6	－※2	7.4	7.6

注：「※１」は大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015 年 12 月以降にモニタリング（年２回計測）から事後調査（月１回計測）に変更しました。
注：「※２」について、調査地点への移動経路において崩落が生じていることや積雪のため作業上の安全確保の観点から欠測しています。

表 93　水温、pH、電気伝導率（EC）計測結果（年２回計測箇所）

地点番号	調査地点	調査項目	2023 年度		2024 年度		2025 年度		平均	
			8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期
河 02	西俣（放流箇所下流）	水温（℃）	14.0	8.1	16.5	8.0	17.1	5.8	14.4	6.2
		pH	8.1	8.2	8.4	8.1	8.2	8.1	8.2	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	13.6	13.3	12.5	10.4	13.1	11.7	12.2	12.1
河 10-2	椹島（放流箇所下流①）※1	水温（℃）							14.1	7.0
		pH							8.1	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）							12.2	12.9
河 13	西俣堰堤下流	水温（℃）	14.7	6.3	15.0	6.6	13.1	6.4	13.3	5.3
		pH	8.2	8.1	8.0	8.3	8.0	8.1	8.0	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	8.8	10.3	9.0	9.2	9.2	9.5	9.0	9.3
河 14	西俣（柾小屋沢北）	水温（℃）	14.8	9.4	14.5	8.1	13.4	8.5	13.0	7.0
		pH	8.2	8.2	8.3	8.3	7.9	8.1	8.1	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	14.5	13.4	13.2	18.5	14.3	11.4	12.5	12.8
河 15	二軒小屋発電所放流口上流	水温（℃）	17.8	8.3	18.0	7.7	14.4	8.7	14.6	6.6
		pH	8.3	8.2	8.1	7.7	7.9	8.0	8.1	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	14.0	13.0	12.6	10.7	12.5	12.6	12.5	12.3
河 16	東俣堰堤下流	水温（℃）	13.0	8.2	13.6	7.9	13.2	6.9	12.3	6.1
		pH	7.7	8.2	8.0	8.0	7.9	8.1	7.9	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	9.4	10.0	9.0	9.8	9.3	9.9	9.4	9.6
河 17	東俣（徳右衛門沢北）	水温（℃）	16.0	7.4	16.3	8.3	13.4	5.3	14.7	5.7
		pH	8.5	7.9	8.0	7.9	8.0	8.0	8.0	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	11.2	10.7	10.9	9.7	10.1	10.1	12.6	10.6
河 18	東俣（曲輪沢北）	水温（℃）	16.7	8.5	13.2	9.4	14.3	5.4	14.5	6.4
		pH	7.8	7.9	7.8	8.3	7.7	8.0	8.0	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	12.4	12.1	12.0	9.8	11.2	11.2	11.8	11.2
河 19	東俣（東俣第一測水所上流）	水温（℃）	14.4	8.5	18.1	9.7	16.6	8.7	15.5	7.1
		pH	8.2	8.0	7.9	8.1	7.9	8.1	8.0	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	13.4	13.3	12.8	10.3	13.4	11.2	12.6	11.7
沢 01	内無沢	水温（℃）	11.3	5.8	11.9	5.0	10.9	6.2	10.8	5.0
		pH	7.8	8.2	7.8	8.5	7.8	7.3	7.9	7.8
		電気伝導率（EC）（mS/m）	7.1	7.6	6.6	8.6	6.6	7.9	6.8	9.6
沢 02	魚無沢	水温（℃）	9.6	5.4	10.0	5.1	8.5	5.8	8.9	5.1
		pH	7.9	8.1	7.9	8.2	7.8	7.9	7.8	7.8
		電気伝導率（EC）（mS/m）	9.1	9.3	8.5	8.9	8.3	9.3	8.5	8.7
沢 03	瀬戸沢	水温（℃）	12.6	3.6	12.8	4.2	12.2	4.0	12.0	3.7
		pH	8.0	8.2	7.9	8.2	7.7	7.9	7.9	7.8
		電気伝導率（EC）（mS/m）	7.7	8.5	7.4	7.5	7.1	7.5	7.4	7.3

注：「※１」は大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015 年 12 月以降にモニタリング（年２回計測）から事後調査（月１回計測）に変更しました。

表 94　水温、pH、電気伝導率（EC）計測結果（年２回計測箇所）

地点番号	調査地点	調査項目	2014 年度		2015 年度		2016 年度		2017 年度		2018 年度		2019 年度		2020 年度		2021 年度		2022 年度	
			8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期
沢 04	上岳沢	水温（℃）	10.4	5.5	11.0	3.1	11.8	4.3	12.0	5.2	12.9	4.2	11.7	5.2	13.3	4.6	12.7	2.5	12.9	3.8
		pH	8.0	7.1	7.8	8.4	8.1	6.9	7.6	7.3	8.0	7.9	7.8	8.1	8.0	8.3	8.1	7.9	7.9	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	7.3	7.8	8.0	8.7	8.0	8.1	8.5	7.5	7.9	8.3	7.0	8.1	8.4	7.8	8.3	8.6	8.2	8.3
沢 05	西小石沢	水温（℃）	10.3	5.0	12.0	3.1	12.0	4.0	11.7	4.1	12.5	3.6	12.7	4.0	12.1	2.5	12.0	3.1	12.9	4.2
		pH	7.7	7.5	7.7	8.1	8.2	8.4	7.7	7.2	7.9	7.8	7.8	7.9	8.1	8.1	8.0	7.9	7.8	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	8.9	9.4	9.7	10.5	10.6	9.4	11.2	8.8	9.4	10.1	8.6	9.6	9.8	9.5	10.3	10.8	10.8	10.4
沢 06	柾小屋沢	水温（℃）	13.0	6.8	14.5	6.5	13.5	4.6	14.7	2.1	15.3	6.8	14.7	3.6	17.2	6.4	16.8	2.3	14.6	5.3
		pH	8.1	7.6	7.9	8.1	8.4	8.2	7.3	7.4	8.1	8.0	8.0	7.9	8.1	8.1	8.0	8.2	8.1	8.2
		電気伝導率（EC）（mS/m）	15.7	10.0	11.6	11.2	10.7	10.3	11.2	10.5	9.4	10.5	9.4	10.7	10.4	10.2	10.6	12.0	11.3	12.3
沢 08	柳沢	水温（℃）	12.3	7.8	11.9	7.9	11.8	6.8	11.6	6.9	13.5	7.4	12.6	4.6	13.5	2.9	12.4	7.3	12.8	6.9
		pH	8.2	7.6	8.2	8.1	8.7	8.2	8.1	7.5	8.1	8.2	8.1	8.1	8.3	8.2	8.1	8.1	8.0	8.2
		電気伝導率（EC）（mS/m）	12.3	11.4	11.2	12.3	12.8	11.7	13.3	9.2	10.6	11.8	11.0	11.8	11.8	12.7	12.1	13.0	12.7	13.3
沢 09	悪沢※2	水温（℃）	13.5	6.0	13.0	3.2	13.8	4.1	13.7	5.1	14.2	4.0	13.0	5.1	15.3	0.2	12.9	2.4	14.2	3.0
		pH	8.4	7.7	7.9	8.0	8.7	8.5	8.0	7.8	8.1	8.0	8.1	8.0	8.1	8.0	8.0	8.0	8.1	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	31.3	12.1	12.0	13.5	13.0	12.5	13.2	11.2	11.7	13.0	11.0	12.4	12.6	11.9	12.6	13.9	12.3	14.1
沢 10	大崩	水温（℃）	15.0	7.8	14.2	4.6	16.1	4.1	15.0	5.3	17.5	5.2	14.7	6.5	19.8	6.4	13.9	8.3	16.9	7.4
		pH	8.4	7.7	8.0	7.9	8.7	8.5	8.0	7.3	8.2	7.8	8.1	8.1	8.2	8.0	8.1	8.2	8.3	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	17.4	15.1	14.2	16.4	19.1	12.5	19.6	11.6	14.9	15.8	14.8	16.3	16.9	16.2	17.0	19.6	19.6	18.8
沢 11	徳右衛門沢	水温（℃）	12.1	4.3	14.4	4.6	14.5	4.6	14.1	0.9	15.7	3.5	14.1	－※1	－※1	3.7	14.3	2.7	15.4	3.1
		pH	7.9	7.5	7.9	7.9	8.0	8.2	7.9	7.3	8.0	7.6	7.8	－※1	－※1	8.2	8.0	8.0	8.0	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	5.8	10.2	10.5	11.8	11.5	10.4	11.7	11.4	10.0	11.6	9.9	－※1	－※1	10.5	11.1	12.1	11.7	11.8
沢 12	曲輪沢	水温（℃）	9.7	6.3	15.0	5.4	14.0	5.6	14.2	7.0	16.0	5.5	15.0	－※1	－※1	5.9	14.7	4.5	15.4	5.0
		pH	7.7	7.7	7.9	8.0	8.1	8.1	7.9	7.7	8.1	7.6	7.9	－※1	－※1	8.2	8.0	7.9	8.1	8.2
		電気伝導率（EC）（mS/m）	8.8	11.2	11.3	12.0	13.0	11.2	13.7	10.1	10.7	12.5	10.4	－※1	－※1	11.6	12.6	14.2	13.5	13.8
沢 13	ジャガ沢	水温（℃）	12.1	6.3	14.0	5.7	14.3	6.3	13.5	7.6	16.4	5.9	14.7	－※1	－※1	6.5	15.7	5.1	16.2	4.8
		pH	7.7	7.5	7.9	7.9	8.3	7.9	7.7	7.6	7.9	7.7	7.9	－※1	－※1	8.2	7.9	7.9	8.0	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	8.3	16.4	16.5	18.4	18.8	17.0	19.5	14.5	16.2	18.0	15.6	－※1	－※1	16.0	17.4	19.6	19.7	19.2
沢 14	流沢	水温（℃）	9.8	7.9	10.0	7.9	9.5	8.1	8.9	7.6	10.1	7.9	9.6	7.8	10.4	8.0	9.6	8.2	10.1	7.7
		pH	8.0	7.6	7.9	7.8	8.2	8.3	7.6	7.7	7.8	7.9	7.8	7.8	7.9	8.1	7.9	7.7	7.9	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	11.5	11.5	11.3	12.0	12.9	12.2	13.8	10.3	11.5	11.5	11.4	11.6	11.6	12.1	12.2	13.1	13.5	12.5
沢 15	二軒小屋南西の沢	水温（℃）	14.7	7.0	17.4	7.2	16.7	7.5	16.7	7.8	18.6	6.2	16.8	9.8	17.4	7.4	19.0	4.4	17.9	8.9
		pH	8.6	8.2	8.0	8.1	8.4	8.4	8.2	8.0	8.5	8.3	8.1	8.1	8.3	8.3	8.5	8.2	8.5	8.3
		電気伝導率（EC）（mS/m）	33.0	30.3	32.0	32.8	33.7	30.0	35.8	28.1	30.8	29.2	30.1	30.0	30.6	29.6	32.2	33.5	33.5	28.8
沢 16	上スリバチ沢※3	水温（℃）			17.7	7.1	16.6	7.3	17.1	5.7	17.1	4.9	15.5	9.3	16.9	6.9	17.7	4.1	17.0	4.8
		pH			8.3	7.9	8.7	8.3	7.8	7.3	8.2	8.3	8.2	8.0	8.1	8.0	7.9	8.1	7.9	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）			13.3	25.8	28.2	24.9	30.7	25.3	27.1	23.7	28.9	25.3	24.0	23.8	26.3	26.5	29.6	26.5

注１：「※１」について、調査地点への移動経路において崩落が生じていることや積雪のため作業上の安全確保の観点から欠測しています。
注２：「※２」について、有識者会議の議論を踏まえてトンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2025 年４月から常時計測を実施していますが、「「中央新幹線（東京・名古屋市間）環境影響評価【静岡県】平成 26 年８月」に基づく事後調査計画書」に基づく年２回の計測地点のため、調査結果を記載しています。
注３：「※３」について、有識者会議での議論を踏まえ、トンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2024 年６月から月１回計測地点に変更しました。

表 95　水温、pH、電気伝導率（EC）計測結果（年２回計測箇所）

地点番号	調査地点	調査項目	2023 年度		2024 年度		2025 年度		平均	
			8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期
沢 04	上岳沢	水温（℃）	13.5	5.6	13.5	5.6	12.7	5.2	12.4	4.6
		pH	8.0	8.2	8.0	8.1	7.8	7.9	7.9	7.8
		電気伝導率（EC）（mS/m）	7.9	8.8	8.1	8.2	8.0	8.4	8.0	8.2
沢 05	西小石沢	水温（℃）	13.2	4.6	13.5	4.8	12.7	5.9	12.3	4.1
		pH	8.1	8.0	7.9	8.1	7.9	8.1	7.9	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	9.4	11.2	9.9	10.0	9.8	10.4	9.9	10.0
沢 06	柾小屋沢	水温（℃）	16.9	7.4	16.7	6.9	15.5	6.9	15.3	5.5
		pH	8.1	8.1	8.3	8.3	8.0	8.1	8.0	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.9	12.4	10.3	11.3	11.2	11.6	11.1	11.1
沢 08	柳沢	水温（℃）	12.3	9.2	12.5	8.2	12.8	8.4	12.5	7.0
		pH	8.2	8.1	8.2	7.9	8.2	8.3	8.2	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	12.5	13.7	11.7	11.9	12.4	13.7	12.0	12.2
沢 09	悪沢※1	水温（℃）	15.1	4.7	15.8	7.5	15.9	4.2	14.2	4.1
		pH	8.4	7.9	7.9	8.1	8.2	8.1	8.2	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	14.2	14.1	12.1	12.5	12.8	13.7	14.1	12.9
沢 10	大崩	水温（℃）	19.6	11.1	21.1	8.1	20.2	9.0	17.0	7.0
		pH	8.3	8.2	8.4	7.9	7.8	8.0	8.2	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	17.6	20.0	16.1	16.9	11.3	20.7	16.5	16.7
沢 11	徳右衛門沢	水温（℃）	15.8	6.0	15.7	7.5	14.4	5.1	14.6	4.2
		pH	7.7	8.2	8.1	7.9	8.1	8.0	7.9	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	11.4	12.3	10.9	10.8	10.8	11.9	10.5	11.3
沢 12	曲輪沢	水温（℃）	15.1	7.8	15.4	9.7	14.7	6.6	14.5	6.3
		pH	7.7	8.1	8.0	8.4	7.8	8.0	7.9	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	13.2	14.3	12.2	12.3	11.4	14.3	11.9	12.5
沢 13	ジャガ沢	水温（℃）	13.4	8.1	15.5	9.2	14.4	5.7	14.6	6.5
		pH	8.1	7.9	8.0	8.1	7.7	7.9	7.9	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	18.8	19.5	16.6	16.5	16.8	20.9	16.8	17.8
沢 14	流沢	水温（℃）	10.6	8.5	10.5	8.6	10.1	8.7	9.9	8.1
		pH	7.9	7.9	7.9	7.5	8.0	7.8	7.9	7.8
		電気伝導率（EC）（mS/m）	12.8	13.8	12.0	12.4	12.6	15.4	12.3	12.4
沢 15	二軒小屋南西の沢※2	水温（℃）	18.0	8.8	18.1	10.2	18.1	7.3	17.5	7.7
		pH	8.5	8.3	8.4	8.3	8.4	8.2	8.4	8.2
		電気伝導率（EC）（mS/m）	32.9	35.2	31.3	32.6	30.7	35.0	32.2	31.3
沢 16	上スリバチ沢※3	水温（℃）	17.8	7.6					17.0	6.4
		pH	8.4	7.7					8.2	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	28.5	27.7					26.3	25.5

注１：「※１」について、有識者会議の議論を踏まえてトンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2025 年 4 月から常時計測を実施していますが、「「中央新幹線（東京・名古屋市間）環境影響評価【静岡県】平成 26 年 8 月」に基づく事後調査計画書」に基づく年２回の計測地点のため、調査結果を記載しています。

注２：「※２」について、有識者会議の議論を踏まえてトンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2024 年 6 月から月１回計測を実施していますが、「「中央新幹線（東京・名古屋市間）環境影響評価【静岡県】平成 26 年 8 月」に基づく事後調査計画書」に基づく年２回の計測地点のため、調査結果を記載しています。

注３：「※３」について、有識者会議での議論を踏まえ、トンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2024 年 6 月から月１回計測地点に変更しました。

表 96　水温、pH、電気伝導率（EC）計測結果（年２回計測箇所）

地点番号	調査地点	調査項目	2014 年度		2015 年度		2016 年度		2017 年度		2018 年度		2019 年度		2020 年度		2021 年度		2022 年度	
			8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期
沢 17	スリバチ沢※1	水温（℃）	8.2	7.1	13.9	8.2	13.0	7.7	14.5	5.8	14.3	7.4	12.5	8.1	13.5	7.6	13.0	7.3	13.5	7.1
		pH	7.7	7.8	7.2	7.9	8.2	8.3	7.9	7.7	8.1	8.2	8.0	8.0	8.2	8.1	8.2	7.9	7.7	8.2
		電気伝導率（EC）（mS/m）	7.7	13.0	12.6	13.7	14.4	13.5	15.2	11.7	12.8	12.4	12.7	12.7	12.7	12.7	13.2	14.3	14.8	13.6
沢 18	車屋沢	水温（℃）	12.6	5.6	14.9	5.2	16.5	6.2	15.6	5.7	14.3	6.0	16.4	6.3	16.5	6.1	16.0	3.4	15.5	3.8
		pH	8.0	7.7	7.9	8.1	8.5	8.2	7.7	7.8	7.9	8.0	7.7	7.7	8.0	8.2	8.0	8.0	7.9	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	11.3	8.4	7.4	8.7	10.1	8.4	9.6	6.9	7.4	7.8	9.8	8.4	8.2	7.5	8.1	9.4	10.0	8.4
沢 19	燕沢	水温（℃）			14.4	5.9	13.3	7.2	13.3	6.5	13.4	5.2	13.1	4.9	13.1	6.9	12.7	6.4	13.0	6.0
		pH			7.7	7.8	8.4	8.2	7.2	7.7	8.0	7.9	8.0	7.9	7.8	7.9	7.8	8.0	7.9	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）			11.4	12.1	12.5	12.4	13.0	11.3	11.6	11.9	11.9	11.9	11.8	11.8	12.1	13.3	13.3	12.6
沢 20	大尻沢北の沢	水温（℃）			13.1	6.1	12.7	6.9	13.6	6.3	12.1	5.4	13.4	5.0	13.1	7.0	13.2	5.5	13.4	4.8
		pH			7.9	7.9	8.4	8.3	7.3	7.7	7.7	7.5	7.9	7.7	7.7	8.0	7.7	8.0	7.4	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）			7.6	8.0	8.0	7.8	8.4	6.8	7.3	7.6	7.3	7.1	7.7	7.6	8.1	8.2	8.3	8.0
沢 21	大尻沢	水温（℃）	10.4	6.3	8.9	6.3	9.2	6.5	10.1	6.5	8.1	6.2	8.9	6.2	9.5	6.8	9.5	6.0	9.6	5.7
		pH	7.9	7.6	7.9	7.9	8.3	8.3	7.4	7.8	7.8	7.5	8.1	7.7	7.7	8.0	7.7	7.9	7.6	7.6
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.0	7.2	7.5	7.5	7.8	7.2	8.0	6.8	7.1	7.2	7.1	7.0	7.4	7.2	7.4	7.7	8.1	7.5
沢 22	蛇沢南東の沢	水温（℃）			15.1	11.2	11.1	10.5	12.2	7.4	12.6	10.7	11.4	9.1	14.6	10.6	13.6	–※2	–※2	–※2
		pH			7.9	7.9	8.2	8.1	7.2	7.8	7.8	7.6	7.6	7.4	7.7	7.9	7.6	–※2	–※2	–※2
		電気伝導率（EC）（mS/m）			10.1	10.7	11.0	10.4	11.8	8.9	9.2	9.6	9.5	9.1	9.2	9.4	9.9	–※2	–※2	–※2
沢 23	破風石沢	水温（℃）			11.2	8.5	13.3	9.2	–※2	8.3	11.3	10.5	11.7	11.4	14.8	8.7	22.2	–※2	–※2	4.2
		pH			7.8	8.0	8.6	8.1	–※2	7.9	7.3	8.0	7.8	8.0	8.0	8.0	7.6	–※2	–※2	7.5
		電気伝導率（EC）（mS/m）			8.3	9.0	9.3	8.8	–※2	8.1	7.6	8.6	8.3	9.1	8.2	8.8	6.9	–※2	–※2	7.7
沢 24	下木賊沢北の沢	水温（℃）			9.3	8.9	9.3	9.4	9.4	8.7	9.8	9.2	9.7	10.0	10.3	9.1	11.2	8.2	11.4	8.2
		pH			7.9	7.9	8.3	8.1	7.3	7.8	7.3	8.0	7.8	8.0	8.0	8.0	8.2	8.4	7.9	7.7
		電気伝導率（EC）（mS/m）			9.8	10.0	10.6	10.4	11.5	9.7	9.4	9.4	9.9	10.1	9.8	10.3	10.5	7.4	11.6	10.6
沢 25	下木賊沢	水温（℃）	12.3	6.9	11.5	7.4	11.5	8.2	15.0	4.8	12.8	6.7	14.5	8.9	14.1	7.3	13.9	5.4	14.9	5.3
		pH	7.8	7.6	7.7	7.7	7.7	8.3	7.4	7.8	7.2	8.0	7.9	7.8	7.8	8.1	7.8	7.9	7.7	7.8
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.9	8.9	10.4	10.6	10.4	10.3	10.3	8.3	8.2	9.0	8.4	9.1	9.0	8.9	9.3	6.3	10.4	10.0
沢 26	虎杖沢※3	水温（℃）			11.5	7.4	11.5	8.2	11.6	5.8	11.5	7.3	11.3	7.6	11.6	7.6	11.0	8.4	10.8	7.4
		pH			7.7	7.7	7.7	8.3	7.2	7.8	7.2	7.8	7.7	7.7	8.1	8.1	7.6	7.6	7.6	7.7
		電気伝導率（EC）（mS/m）			10.4	10.6	10.4	10.3	11.5	10.1	10.1	9.9	10.1	10.1	10.2	10.0	10.9	7.4	11.5	10.7
沢 27	上千枚沢	水温（℃）	12.0	7.5	16.4	7.4	15.8	6.8	14.5	6.9	15.3	6.2	17.9	8.6	15.2	5.2	15.4	5.2	15.9	7.7
		pH	7.9	8.0	8.6	8.2	8.0	8.4	8.0	8.0	8.4	8.1	8.3	8.2	8.4	8.4	8.3	8.4	8.3	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	8.8	29.7	30.3	33.4	31.6	28.8	31.6	29.2	29.5	29.6	28.9	31.1	31.9	32.1	31.9	34.4	32.9	34.4
沢 28	下千枚沢	水温（℃）	13.6	5.4	13.9	8.3	13.2	6.2	12.2	5.0	16.1	4.4	15.6	5.4	14.6	6.0	19.3	6.4	15.0	8.0
		pH	8.2	7.8	8.2	7.9	8.4	8.2	8.0	7.4	7.9	7.5	7.7	7.9	8.1	8.0	7.9	8.0	8.3	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	15.0	11.5	8.3	14.2	14.9	15.2	15.5	9.6	10.6	13.4	12.4	12.2	12.6	12.2	28.2	15.9	15.1	12.5

注１：「※１」について、有識者会議の議論を踏まえてトンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2025 年４月から常時計測を実施していますが、「「中央新幹線（東京・名古屋市間）環境影響評価【静岡県】平成 26 年８月」に基づく事後調査計画書」に基づく年２回の計測地点のため、調査結果を記載しています。

注２：「※２」は水が無く採水できなかったため、欠測としています。

注３：「※３」について、有識者会議での議論を踏まえ、トンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2024 年６月から月１回計測地点に変更しました。

表 97　水温、pH、電気伝導率（EC）計測結果（年２回計測箇所）

地点番号	調査地点	調査項目	2023 年度		2024 年度		2025 年度		平均	
			8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期
沢 17	スリバチ沢※1	水温（℃）	14.0	8.6	14.4	9.1	12.9	8.9	13.1	7.7
		pH	8.1	8.0	7.8	8.2	8.0	7.7	7.9	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	14.3	15.2	13.2	13.6	13.5	16.1	13.1	13.5
沢 18	車屋沢	水温（℃）	15.3	7.4	15.6	8.5	15.0	7.3	15.4	6.0
		pH	8.0	7.8	8.0	8.0	7.9	8.0	8.0	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	8.5	9.0	8.2	8.5	8.6	9.7	8.9	8.4
沢 19	燕沢	水温（℃）	12.9	7.7	13.5	8.6	14.7	7.8	13.4	6.6
		pH	7.7	7.7	7.9	8.0	8.0	7.9	7.8	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	12.8	13.5	12.1	12.3	11.4	13.1	12.2	12.4
沢 20	大尻沢北の沢	水温（℃）	14.6	8.2	15.4	9.3	14.0	6.6	13.5	6.5
		pH	7.8	8.2	7.8	7.9	7.7	7.9	7.8	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	8.2	8.9	7.8	8.0	7.4	6.9	7.8	7.7
沢 21	大尻沢	水温（℃）	9.8	7.2	9.8	7.7	9.3	6.7	9.4	6.5
		pH	7.0	7.8	7.8	7.8	8.0	7.9	7.8	7.8
		電気伝導率（EC）（mS/m）	7.8	7.9	7.5	7.5	6.8	7.8	7.7	7.4
沢 22	蛇沢南東の沢	水温（℃）	11.5	－※2	14.0	11.1	13.3	9.7	12.9	10.0
		pH	7.1	－※2	7.8	7.7	7.5	7.9	7.6	7.8
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.9	－※2	10.2	10.8	9.6	13.0	10.1	10.2
沢 23	破風石沢	水温（℃）	－※2	－※2	14.1	－※2	12.5	9.5	13.9	8.8
		pH	－※2	－※2	7.9	－※2	7.9	7.8	7.8	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	－※2	－※2	9.0	－※2	6.1	12.5	8.0	9.1
沢 24	下木賊沢北の沢	水温（℃）	10.8	9.3	11.0	10.1	10.2	8.9	10.2	9.1
		pH	7.3	7.8	7.9	7.9	7.9	7.9	7.8	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.7	11.7	10.0	10.8	9.8	11.7	10.3	10.2
沢 25	下木賊沢	水温（℃）	14.2	4.6	15.3	9.0	15.3	7.5	13.8	6.8
		pH	7.3	7.9	8.0	7.8	7.9	7.9	7.7	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	9.9	10.1	9.2	9.5	9.1	10.6	9.6	9.3
沢 26	虎杖沢※3	水温（℃）	10.9	9.2					11.3	7.7
		pH	6.8	8.0					7.5	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	11.2	11.5					10.7	10.1
沢 27	上千枚沢	水温（℃）	15.5	10.2	16.4	8.1	16.5	7.1	15.6	7.2
		pH	8.3	8.2	8.2	8.8	8.3	8.1	8.2	8.2
		電気伝導率（EC）（mS/m）	30.1	35.4	30.7	30.5	31.5	34.4	29.1	31.9
沢 28	下千枚沢	水温（℃）	15.6	9.1	15.4	9.0	16.2	7.0	15.1	6.7
		pH	8.2	8.1	8.0	8.6	8.1	8.1	8.1	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	14.0	15.9	12.2	11.8	11.2	13.9	14.2	13.2

注１：「※１」について、有識者会議の議論を踏まえてトンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2025 年４月から常時計測を実施していますが、「「中央新幹線（東京・名古屋市間）環境影響評価【静岡県】平成 26 年８月」に基づく事後調査計画書」に基づく年２回の計測地点のため、調査結果を記載しています。

注２：「※２」は水が無く採水できなかったため、欠測としています。

注３：「※３」について、有識者会議での議論を踏まえ、トンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2024 年６月から月１回計測地点に変更しました。

表 98　水温、pH、電気伝導率（EC）計測結果（年２回計測箇所）

地点番号	調査地点	調査項目	2014 年度		2015 年度		2016 年度		2017 年度		2018 年度		2019 年度		2020 年度		2021 年度		2022 年度	
			8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期
沢 29	蛇沢	水温（℃）	15.0	9.1	14.8	5.9	13.4	7.1	14.5	0.7	14.7	4.6	13.9	3.4	15.8	4.8	15.5	4.7	15.7	8.5
		pH	8.0	7.7	8.0	6.4	8.3	7.7	7.7	7.5	7.5	7.5	8.2	7.9	8.0	7.9	7.9	8.0	7.9	8.4
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.9	17.6	10.2	11.7	11.6	10.7	12.3	12.3	10.8	11.5	10.0	10.6	11.2	10.6	11.1	12.6	12.5	11.6
沢 30	蛇沢南の沢※1	水温（℃）			13.4	8.1	12.0	8.2	13.5	4.0	12.8	6.1	15.0	5.2	15.0	6.9	14.2	7.3	13.2	8.5
		pH			8.0	7.6	8.3	8.0	7.3	7.7	7.8	8.0	8.1	7.9	8.1	7.9	7.9	8.0	7.8	8.4
		電気伝導率（EC）（mS/m）			11.7	13.4	13.8	13.0	15.5	13.4	12.4	12.4	12.0	12.1	12.3	12.8	12.7	17.3	16.0	15.0
沢 31	奥西河内川※2	水温（℃）	11.9	7.0	13.7	6.3	14.6	6.5	15.6	7.4	15.2	7.0	14.1	5.9	15.7	7.5	15.9	4.2	18.2	6.2
		pH	8.1	7.7	8.1	8.0	8.0	8.2	7.9	7.7	8.0	7.8	7.7	8.0	8.1	8.1	8.0	8.0	7.9	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	12.4	9.6	14.8	11.9	11.2	10.5	16.6	14.0	14.7	11.9	14.9	14.4	14.5	14.2	11.3	12.3	15.4	15.6
沢 34	小西俣	水温（℃）	10.8	5.3	11.0	3.7	11.8	5.7	12.6	4.9	11.9	4.5	10.6	3.3	13.7	3.6	12.4	3.6	13.1	3.4
		pH	7.9	7.5	8.0	8.0	8.4	7.7	7.5	7.2	7.9	7.9	7.8	7.8	8.0	7.8	8.0	8.1	8.0	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	11.3	7.9	8.3	9.2	8.7	8.4	8.8	8.1	8.1	8.9	7.5	8.1	8.6	8.4	8.8	9.3	9.0	9.4
沢 35	上四郎作沢	水温（℃）	13.5	6.4	15.6	6.4	14.9	5.5	16.1	4.9	14.7	5.2	15.1	3.1	14.5	3.9	15.4	3.8	16.1	5.8
		pH	8.1	8.1	8.3	8.0	8.3	8.4	7.6	7.7	8.2	8.0	8.2	7.9	8.1	8.1	8.2	8.2	8.3	8.3
		電気伝導率（EC）（mS/m）	13.1	18.1	18.0	21.2	20.5	16.8	21.2	15.6	16.2	20.6	15.7	15.7	19.8	17.5	19.7	23.4	21.4	24.0
沢 36	新蛇抜沢	水温（℃）	12.5	6.0	18.8	4.4	14.9	2.4	15.9	4.9	16.9	4.4	17.3	1.2	16.3	1.7	17.4	2.3	16.7	3.2
		pH	7.8	8.1	8.5	8.1	8.4	8.5	7.5	7.4	8.4	8.1	8.3	8.1	8.4	8.2	8.4	8.4	8.4	8.3
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.7	17.5	18.1	20.2	20.0	19.2	20.4	16.7	10.7	19.7	16.5	19.1	19.5	18.9	20.0	22.3	21.0	21.6
沢 37	扇沢	水温（℃）	9.0	7.1	11.8	3.2	11.9	3.5	12.0	5.8	13.6	4.1	12.6	－※3	－※3	4.3	12.4	3.5	11.9	4.1
		pH	8.0	7.8	8.0	7.8	8.5	8.2	7.9	7.6	8.0	7.5	8.0	－※3	－※3	8.1	7.9	8.1	8.0	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	12.6	13.0	12.7	13.6	13.1	12.3	14.4	10.7	11.7	13.3	11.0	－※3	－※3	12.2	12.8	13.6	14.0	14.5
沢 38	奥西河内堰堤上流	水温（℃）	9.0	5.4	11.4	4.6	12.4	5.3	13.0	4.3	14.7	7.2	14.3	2.8	14.4	3.6	11.9	3.0	13.3	3.9
		pH	8.0	7.9	7.7	8.0	7.6	8.2	8.2	7.7	8.0	7.9	7.8	7.9	7.9	8.2	8.0	7.8	7.9	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	5.7	9.2	9.5	10.8	9.6	8.5	9.9	9.4	9.8	10.3	9.0	10.1	10.7	9.8	10.2	11.0	10.6	10.9
沢 39	滝見橋付近の沢※1	水温（℃）			13.9	8.4	14.6	8.5	14.8	8.3	14.5	7.2	11.4	7.3	14.0	8.4	14.9	5.7	15.1	8.3
		pH			8.0	8.1	8.0	8.2	7.8	7.7	7.9	8.0	7.6	7.9	8.3	8.1	8.1	7.9	7.9	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）			14.5	16.0	11.2	14.5	16.7	14.8	14.7	14.9	15.2	15.1	15.0	14.6	15.3	16.3	17.0	16.5
沢 40	倉沢	水温（℃）	8.5	2.8	16.2	5.6	15.5	－※4	16.2	0.6	14.5	7.7	13.5	4.3	15.8	6.1	14.3	4.1	17.4	3.5
		pH	7.9	7.4	8.0	7.8	8.0	－※4	7.9	7.6	7.9	7.9	7.9	8.1	8.0	7.8	7.6	7.8	7.9	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	8.0	11.0	11.0	11.9	11.8	－※4	12.7	13.3	10.4	16.9	9.6	11.4	11.2	10.9	11.4	7.2	12.4	12.2

注１：「※１」について、大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015 年度調査以降にモニタリング（年２回計測）地点として追加しました。
注２：「※２」について、有識者会議の議論を踏まえてトンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2024 年６月から月１回計測を実施していますが、「「中央新幹線（東京・名古屋市間）環境影響評価【静岡県】平成 26 年８月」に基づく事後調査計画書」に基づく年２回の計測地点のため、調査結果を記載しています。
注３：「※３」について、調査地点への移動経路において崩落が生じていることや積雪のため作業上の安全確保の観点から欠測しています。
注４：「※４」について、調査地点より上流部の田代川第二発電所田代取水堰及び赤石発電所木賊取水堰において取水しておらず、移動経路である大井川本川が継続的に増水しており、安全に移動することができなかったため欠測となっています。

表 99　水温、pH、電気伝導率（EC）計測結果（年２回計測箇所）

地点番号	調査地点	調査項目	2023 年度		2024 年度		2025 年度		平均	
			8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期
沢 29	蛇沢	水温（℃）	15.0	8.1	15.4	8.8	14.5	7.2	14.9	6.1
		pH	7.6	8.0	8.1	8.4	7.9	8.1	7.9	7.8
		電気伝導率（EC）（mS/m）	12.1	13.1	11.3	15.1	10.6	12.5	11.2	12.5
沢 30	蛇沢南の沢※1	水温（℃）	13.0	9.3	14.3	9.4	12.8	8.0	13.6	7.4
		pH	7.2	7.9	7.9	8.4	7.6	8.0	7.8	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	14.1	15.9	12.7	13.4	12.9	14.8	13.3	13.9
沢 31	奥西河内川※2	水温（℃）	14.4	7.3	16.9	9.6	14.6	7.6	15.1	6.9
		pH	7.6	8.1	8.0	8.3	7.8	7.8	7.9	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	15.3	12.5	13.4	14.0	15.0	14.8	14.1	13.0
沢 34	小西俣	水温（℃）	14.6	5.1	12.5	5.6	12.8	6.2	12.3	4.6
		pH	8.0	7.5	7.9	7.8	7.9	8.1	7.9	7.8
		電気伝導率（EC）（mS/m）	8.8	9.5	8.5	8.4	8.5	8.9	8.7	8.7
沢 35	上四郎作沢	水温（℃）	16.4	7.5	17.1	7.3	15.8	6.5	15.4	5.5
		pH	8.4	8.3	8.2	8.4	8.0	8.0	8.1	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	19.5	24.4	19.3	19.7	20.6	21.5	18.7	19.9
沢 36	新蛇抜沢	水温（℃）	18.0	4.5	18.6	5.2	16.2	5.4	16.6	3.8
		pH	8.4	8.2	8.4	8.3	8.3	8.0	8.3	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	19.2	22.4	18.5	20.1	19.0	21.3	17.8	19.9
沢 37	扇沢	水温（℃）	13.4	5.7	13.0	7.8	10.9	5.2	12.0	4.9
		pH	7.7	8.0	8.1	8.2	7.9	8.0	8.0	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	12.3	13.9	13.4	12.7	14.3	14.4	12.9	13.1
沢 38	奥西河内堰堤上流	水温（℃）	12.6	7.3	13.2	7.1	13.7	6.1	12.8	5.1
		pH	7.9	7.7	8.2	8.2	7.9	8.0	7.9	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.5	11.4	10.0	10.5	10.3	10.4	9.7	10.2
沢 39	滝見橋付近の沢※1	水温（℃）	12.6	9.3	15.7	10.1	15.0	7.7	14.2	8.1
		pH	7.6	8.3	8.3	8.2	8.0	8.1	7.9	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	16.2	17.7	15.3	15.8	15.1	16.5	15.1	15.7
沢 40	倉沢	水温（℃）	16.3	5.9	15.2	8.2	16.9	5.5	15.0	4.9
		pH	8.1	7.9	7.9	8.7	7.9	7.5	7.9	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.6	13.0	11.1	11.1	11.0	12.1	10.9	11.9

注１：「※１」について、大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015 年度調査以降にモニタリング（年２回計測）地点として追加しました。

注２：「※２」について、有識者会議の議論を踏まえてトンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2024 年６月から月１回計測を実施していますが、「「中央新幹線（東京・名古屋市間）環境影響評価【静岡県】平成 26 年８月」に基づく事後調査計画書」に基づく年２回の計測地点のため、調査結果を記載しています。

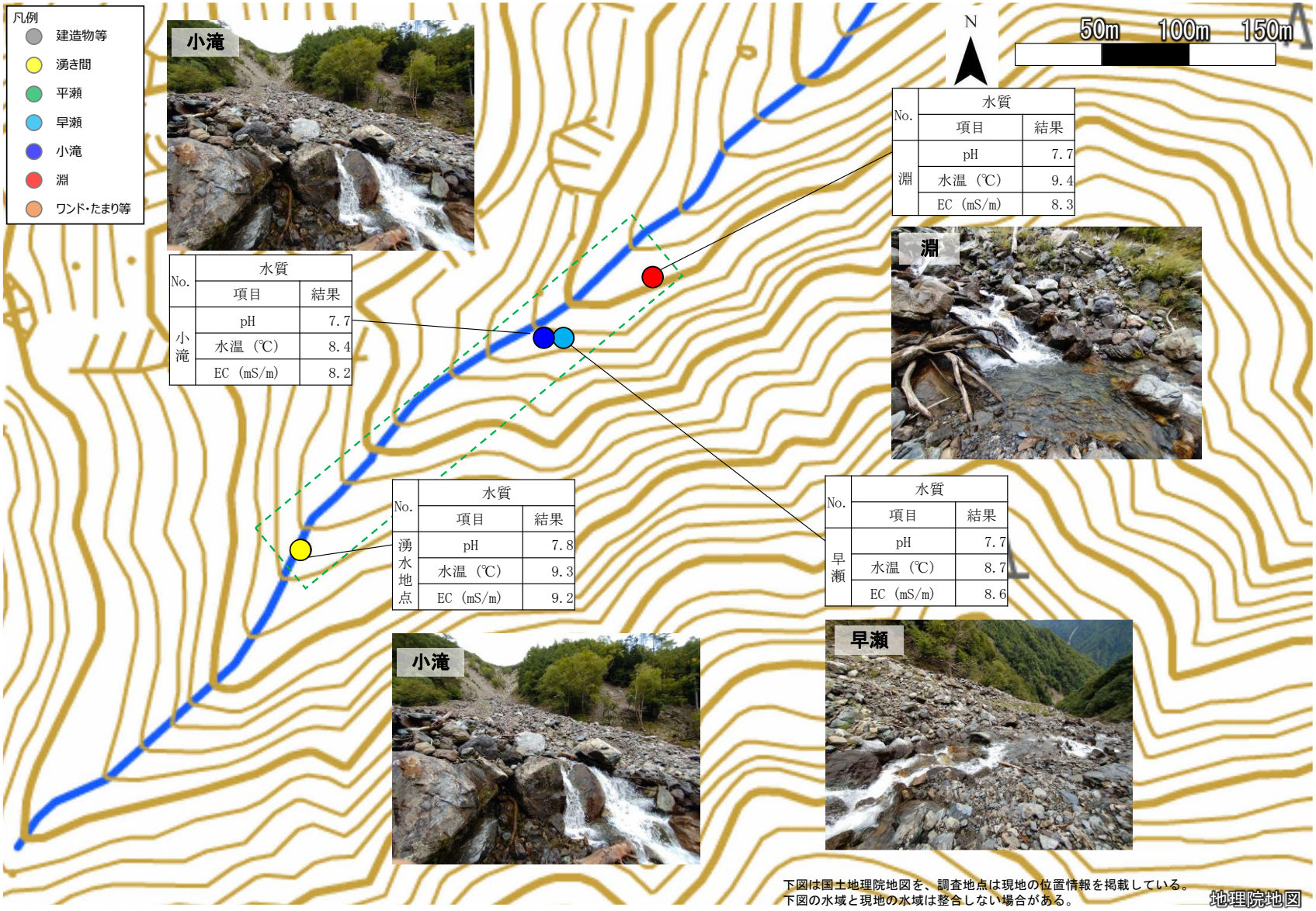


図 136　水温、pH、電気伝導率（EC）計測結果（沢の上流域調査）：沢 07 蛇抜沢（上流部）

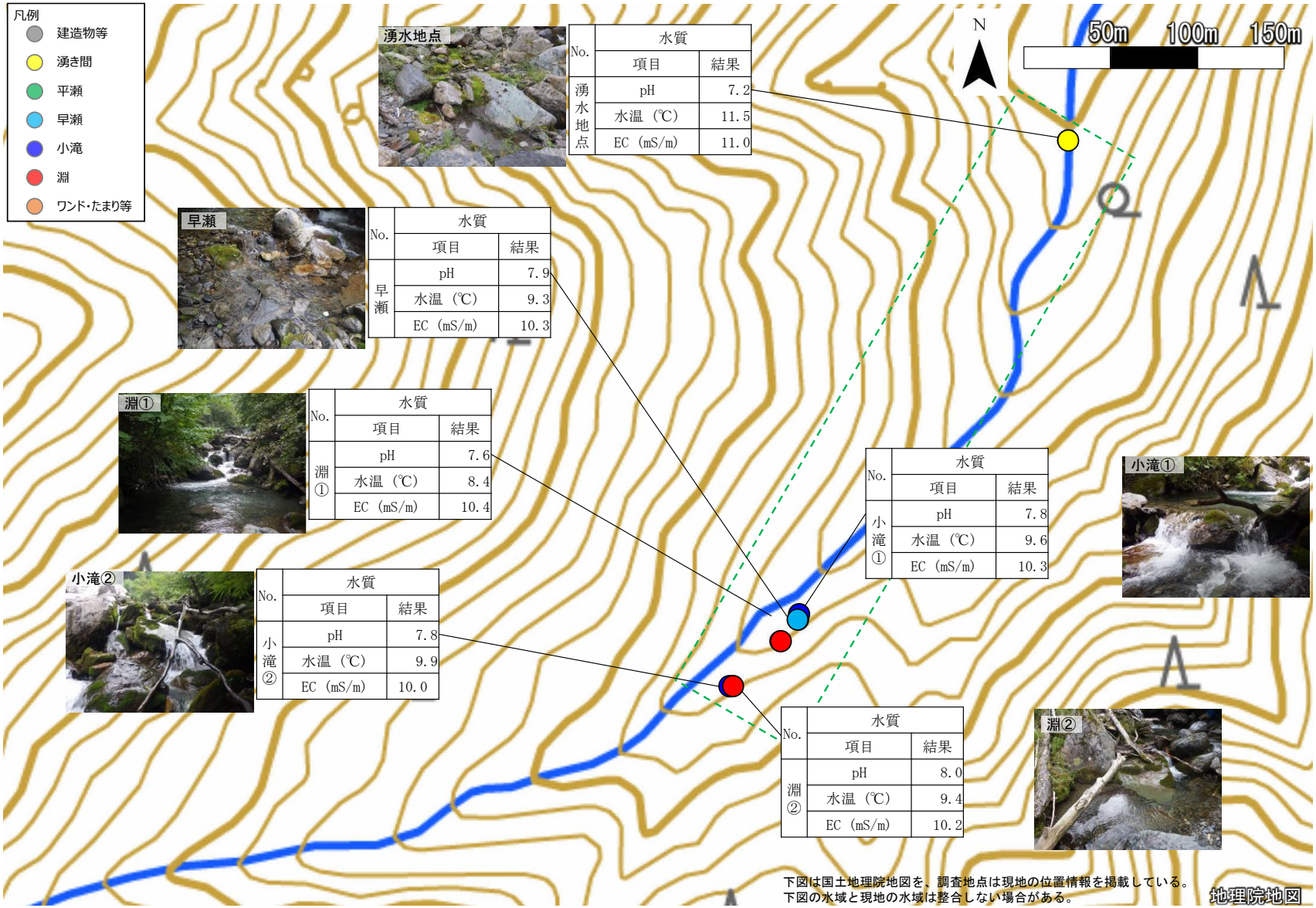


図 137　水温、pH、電気伝導率（EC）計測結果（沢の上流域調査）：沢 09 悪沢（上流部）

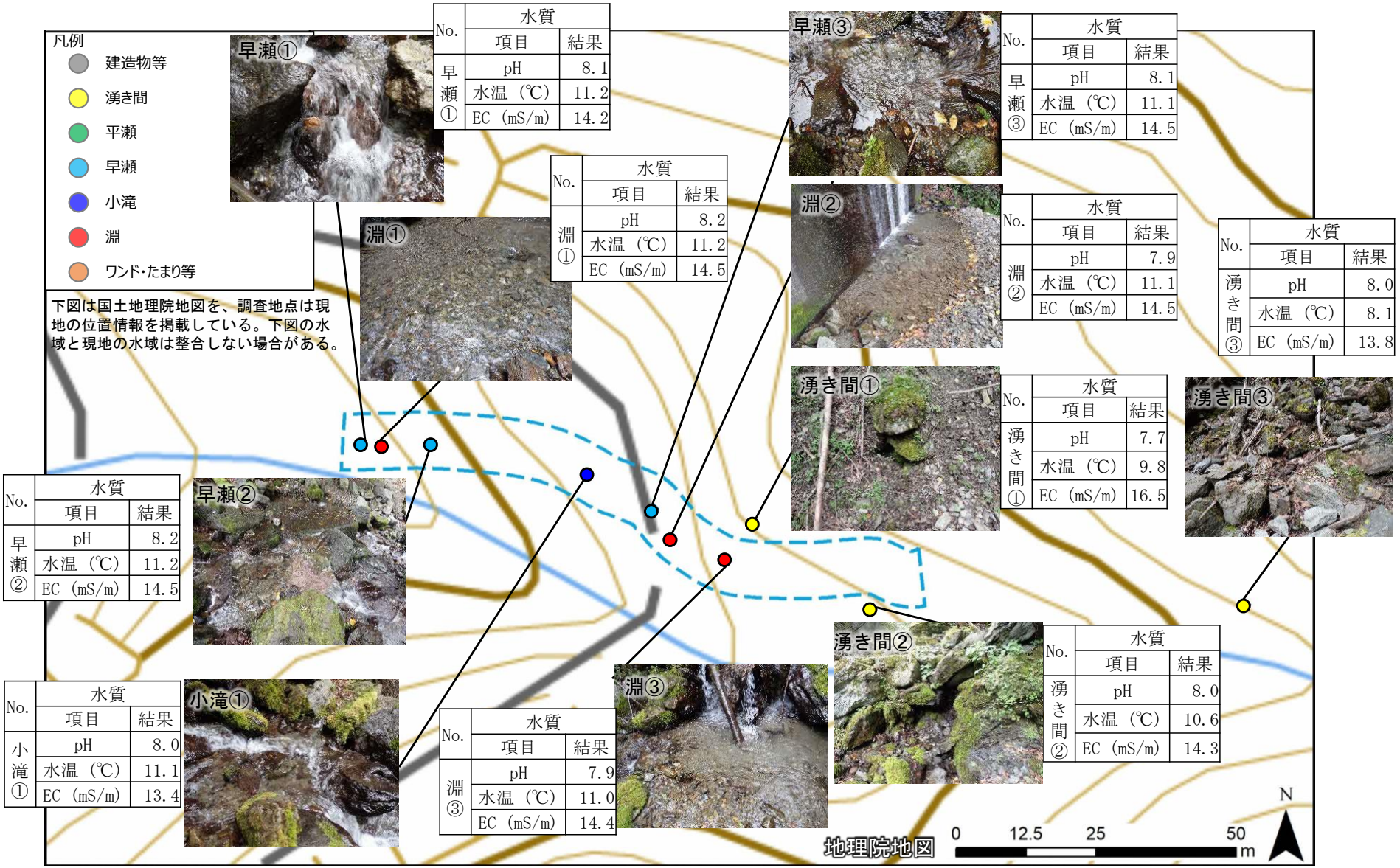


図 138　水温、pH、電気伝導率（EC）計測結果（沢の上流域調査）：沢 17 スリバチ沢（上流部）

1.6 大井川中下流域の河川【事後調査及びモニタリング計画通し番号 13～18】

1.6.5 調査期間

大井川中下流域の河川調査期間を表 100～表 102 に示します。

表 100　大井川（河 20 下泉橋）の調査期間

調査年度	調査期間
2009年度	2009年４月16日、５月14日、６月２日、７月16日、８月25日、９月３日、 10月15日、11月30日、12月10日、2010年１月19日、２月４日、３月４日
2010 年度	2010年４月26日、５月14日、６月11日、７月27日、８月23日、９月６日、 10月５日、11月６日、12月６日、2011年１月４日、２月22日、３月14日
2011 年度	2011年４月12日、５月７日、６月24日、７月12日、８月19日、９月28日、 10月12日、11月１日、12月12日、2012年１月10日、２月28日、３月13日
2012 年度	2012年４月18日、５月18日、６月５日、７月25日、８月２日、９月４日、 10月４日、11月15日、12月14日、2013年１月11日、２月16日、３月12日
2013 年度	2013年４月27日、５月14日、６月10日、７月９日、８月９日、９月30日、 10月15日、11月18日、12月16日、2014年１月15日、２月14日、３月12日
2014 年度	2014年４月23日、５月12日、６月９日、７月28日、８月20日、９月16日、 10月30日、11月１日、12月８日、2015年１月５日、２月９日、３月９日
2015 年度	2015年４月28日、５月15日、６月１日、７月28日、８月６日、９月30日、 10月１日、11月25日、12月７日、2016年１月25日、２月12日、３月14日
2016 年度	2016年４月21日、５月９日、６月７日、７月８日、８月19日、９月７日、 10月24日、11月22日、12月12日、2017年１月23日、２月８日、３月３日
2017 年度	2017年４月14日、５月12日、６月５日、７月４日、８月25日、９月29日、 10月12日、11月22日、12月４日、2018年１月４日、２月15日、３月22日
2018 年度	2018年４月27日、５月25日、６月12日、７月４日、８月20日、９月21日、 10月30日、11月20日、12月18日、2019年１月22日、２月18日、３月６日
2019 年度	2019年４月12日、５月20日、６月７日、７月４日、８月20日、９月21日、 10月30日、11月20日、12月18日、2020年１月22日、２月18日、３月６日
2020 年度	2020年４月24日、５月29日、６月９日、７月22日、８月21日、９月４日、 10月７日、11月４日、12月２日、2021年１月６日、２月８日、３月１日
2021 年度	2021年４月27日、５月20日、６月９日、７月28日、８月７日、９月１日、 10 月 16 日、11 月 26 日、12 月 15 日、2022 年１月４日、２月７日、３月４日
2022 年度	2022年４月13日、５月18日、６月１日、７月７日、８月１日、９月27日、 10月14日、11月16日、12月７日、2023年１月４日、２月１日、３月１日
2023 年度	2023年４月18日、５月29日、６月16日、７月５日、８月２日、９月６日、 10 月 13 日、11 月８日、12 月６日、2024 年１月９日、２月 14 日、３月５日
2024 年度	2024年４月22日、５月８日、６月17日、７月19日、８月８日、９月14日、 10月２日、11月25日、12月４日、１月15日、２月５日、３月５日

表 101　大井川（河 21 神座）の調査期間

調査年度	調査期間
2009年度	2009年４月28日、５月27日、６月８日、７月15日、８月19日、９月２日、 10月19日、11月４日、12月２日、2010年１月６日、２月３日、３月19日
2010 年度	2010年４月26日、５月12日、６月２日、７月28日、８月18日、９月１日、 10月６日、11月10日、12月１日、2011年１月５日、２月２日、３月９日
2011 年度	2011年４月18日、５月10日、６月16日、７月６日、８月３日、９月14日、 10月５日、11月９日、12月７日、2012年１月11日、２月15日、３月13日
2012 年度	2012年４月18日、５月14日、６月６日、７月11日、８月１日、９月５日、 10月10日、11月７日、12月５日、2013年１月９日、２月７日、３月６日
2013 年度	2013年４月24日、５月８日、６月５日、７月３日、８月７日、９月４日、 10月２日、11月６日、12月４日、2014年１月８日、２月５日、３月12日
2014 年度	2014年４月16日、５月７日、６月４日、７月２日、８月５日、９月３日、 10月１日、11月５日、12月３日、2015年１月14日、２月４日、３月11日
2015 年度	2015年４月28日、５月20日、６月４日、７月15日、８月６日、９月17日、 10月８日、11月５日、12月９日、2016年１月７日、２月４日、３月３日
2016 年度	2016年４月20日、５月25日、６月１日、７月６日、８月３日、９月28日、 10月５日、11月２日、12月７日、2017年１月11日、２月１日、３月１日
2017 年度	2017年４月26日、５月10日、６月７日、７月12日、８月２日、９月６日、 10月４日、11月８日、12月６日、2018年１月10日、２月７日、３月７日
2018 年度	2018年４月27日、５月17日、６月13日、７月19日、８月９日、９月26日、 10月17日、11月７日、12月５日、2019年１月９日、２月13日、３月６日
2019 年度	2019年４月17日、５月８日、６月５日、７月10日、８月７日、９月４日、 10月２日、11月６日、12月４日、2020年１月15日、２月５日、３月４日
2020 年度	2020年４月15日、５月13日、６月３日、７月21日、８月５日、９月２日、 10月７日、11月４日、12月２日、2021年１月６日、２月３日、３月３日
2021 年度	2021年４月21日、５月12日、６月２日、７月14日、８月４日、９月１日、 10 月６日、11 月 10 日、12 月１日、2022 年１月５日、２月２日、３月２日
2022 年度	2022年４月20日、５月11日、６月１日、７月13日、８月３日、９月７日、 10月５日、11月２日、12月７日、2023年１月11日、２月１日、３月１日
2023 年度	2023年４月19日、５月17日、６月７日、７月５日、８月２日、９月６日、 10 月 11 日、11 月１日、12 月６日、2024 年１月 10 日、２月 14 日、３月６日
2024 年度	2024年４月14日、５月15日、６月５日、７月10日、８月７日、９月11日、 10月２日、11月６日、12月４日、１月８日、２月５日、３月５日

表 102　大井川（河 22 富士見橋）の調査期間

調査年度	調査期間
2009年度	2009年４月28日、５月27日、６月８日、７月15日、８月19日、９月２日、 10月19日、11月４日、12月２日、2010年１月６日、２月３日、３月19日
2010 年度	2010年４月26日、５月12日、６月２日、７月28日、８月18日、９月１日、 10月６日、11月10日、12月１日、2011年１月５日、２月２日、３月９日
2011 年度	2011年４月18日、５月10日、６月16日、７月６日、８月３日、９月14日、 10月５日、11月９日、12月７日、2012年１月11日、２月15日、３月13日
2012 年度	2012年４月18日、５月14日、６月６日、７月11日、８月１日、９月５日、 10月10日、11月７日、12月５日、2013年１月９日、２月７日、３月６日
2013 年度	2013年４月24日、５月８日、６月５日、７月３日、８月７日、９月４日、 10月２日、11月６日、12月４日、2014年１月８日、２月５日、３月12日
2014 年度	2014年４月16日、５月７日、６月４日、７月２日、８月５日、９月３日、 10月１日、11月５日、12月３日、2015年１月14日、２月４日、３月11日
2015 年度	2015年４月28日、５月20日、６月４日、７月15日、８月６日、９月17日、 10月８日、11月５日、12月９日、2016年１月７日、２月４日、３月３日
2016 年度	2016年４月20日、５月25日、６月１日、７月６日、８月３日、９月28日、 10月５日、11月２日、12月７日、2017年１月11日、２月１日、３月１日
2017 年度	2017年４月26日、５月10日、６月７日、７月12日、８月２日、９月６日、 10月４日、11月８日、12月６日、2018年１月10日、２月７日、３月７日
2018 年度	2018年４月27日、５月17日、６月13日、７月19日、８月９日、９月26日、 10月17日、11月７日、12月５日、2019年１月９日、２月13日、３月６日
2019 年度	2019年４月17日、５月８日、６月５日、７月10日、８月７日、９月４日、 10月２日、11月６日、12月４日、2020年１月15日、２月５日、３月４日
2020 年度	2020年４月15日、５月13日、６月３日、７月21日、８月５日、９月２日、 10月７日、11月４日、12月２日、2021年１月６日、２月３日、３月３日
2021 年度	2021年４月21日、５月12日、６月２日、７月14日、８月４日、９月１日、 10月６日、11月10日、12月１日、2022年１月５日、２月２日、３月２日
2022 年度	2022年４月20日、５月11日、６月１日、７月13日、８月３日、９月７日、 10月５日、11月２日、12月７日、2023年１月11日、２月１日、３月１日
2023 年度	2023年４月19日、５月17日、６月７日、７月５日、８月２日、９月６日、 10 月 11 日、11 月１日、12 月６日、2024 年１月 10 日、２月 14 日、３月６日
2024 年度	2024年４月18日、５月15日、６月５日、７月10日、８月７日、９月11日、 10月２日、11月６日、12月４日、１月８日、２月５日、３月５日

1.6.6 調査結果

1.6.6.1 水温、pH、SS、BOD、溶存酸素量（DO）、大腸菌群数

水温、pH、SS、BOD、溶存酸素量（DO）、大腸菌群数の現地調査の結果は、表 103～表 109 及び図 139～図 158 に示します。

表 103　水温計測結果：まとめ

調査年度	河 20 下泉橋			河 21 神座			河 22 富士見橋		
	水温（℃）			水温（℃）			水温（℃）		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低
2009年度	16.7	23.4	8.3	15.4	23.5	8.1	17.0	26.8	5.9
2010年度	16.1	26.0	8.8	16.5	25.1	8.4	15.5	25.8	6.0
2011年度	16.8	25.0	8.0	14.4	21.3	6.5	15.8	25.7	6.2
2012年度	15.7	25.0	8.0	14.8	24.9	8.2	14.1	23.7	6.0
2013年度	16.1	26.0	7.0	15.7	25.0	6.5	17.1	27.3	7.0
2014年度	15.0	22.4	6.5	13.9	28.5	4.8	13.7	28.0	4.5
2015年度	15.6	24.3	8.2	13.5	20.5	5.8	14.8	22.0	7.2
2016 年度	15.2	25.3	5.4	15.8	24.0	7.9	17.0	26.3	8.9
2017 年度	15.6	22.7	8.8	15.1	25.3	7.9	15.2	26.4	5.3
2018 年度	15.9	22.8	9.9	17.1	24.1	11.0	18.2	27.5	10.5
2019 年度	15.4	22.2	9.1	16.1	23.6	9.9	16.4	23.3	7.7
2020 年度	17.1	25.5	9.6	16.0	24.1	10.0	16.5	25.3	8.2
2021 年度	15.6	24.1	6.2	15.9	21.9	9.3	16.6	24.7	8.2
2022 年度	16.1	25.8	8.9	15.8	26.8	9.1	16.8	27.9	7.2
2023 年度	17.7	27.8	7.8	15.9	24.8	8.0	17.4	30.9	8.2
2024 年度	16.3	25.6	6.5	16.2	22.7	9.3	16.6	26.2	6.0
過年度	16.1	27.8	5.4	15.5	28.5	4.8	16.1	30.9	4.5

表 104　pH 計測結果：まとめ

調査年度	河 20 下泉橋			河 21 神座			河 22 富士見橋		
	pH			pH			pH		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2009年度	7.9	8.5	7.5	7.8	8.3	7.7	7.9	8.6	7.7
2010年度	7.7	8.5	7.1	7.8	8.1	7.6	7.7	8.1	7.5
2011年度	7.6	8.0	7.4	7.7	7.9	7.5	7.9	8.9	7.5
2012年度	7.7	7.9	7.4	7.6	8.3	7.1	7.7	8.3	7.2
2013年度	7.8	8.4	7.6	7.7	8.1	7.2	7.8	8.9	7.4
2014年度	7.6	8.0	7.3	7.7	8.1	7.4	7.5	8.1	7.3
2015年度	7.6	8.8	7.2	7.5	7.7	7.4	7.5	7.7	7.3
2016 年度	7.7	8.0	7.5	7.7	7.8	7.4	7.6	7.8	7.4
2017 年度	7.8	8.4	7.4	7.8	8.2	7.4	7.8	8.4	7.4
2018 年度	7.9	8.4	7.5	7.8	8.0	7.6	7.8	8.3	7.6
2019 年度	7.8	7.9	7.7	7.9	8.1	7.6	7.8	8.2	7.6
2020 年度	7.9	7.9	7.7	7.9	8.4	7.8	7.9	8.2	7.7
2021 年度	7.8	8.0	7.5	7.9	8.2	7.7	7.7	8.0	7.4
2022 年度	7.8	8.2	7.4	7.8	8.0	7.7	7.7	7.9	7.5
2023 年度	7.9	8.0	7.7	7.9	8.5	7.6	8.0	8.9	7.6
2024 年度	7.8	8.0	7.7	7.8	8.0	7.7	7.7	8.1	7.5
過年度	7.8	8.8	7.1	7.8	8.5	7.1	7.7	8.9	7.2

表 105　SS 計測結果：まとめ

調査年度	河 20　下泉橋			河 21　神座			河 22　富士見橋		
	SS(mg/L)			SS(mg/L)			SS(mg/L)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2009年度	2	5	1	4	8	1	8	35	2
2010年度	5	20	1	6	22	1	7	22	1
2011年度	12	100	1	25	110	1	27	87	3
2012年度	6	23	1	7	26	1	12	26	2
2013年度	2	11	1	6	40	1	10	29	2
2014年度	7	77	1	9	39	1	11	35	2
2015年度	6	41	1	14	51	1	14	54	1
2016 年度	3	14	1	10	34	1	14	26	2
2017 年度	4	23	1	7	51	1	14	49	1
2018 年度	11	43	1	18	49	1	20	63	5
2019 年度	17	110	1	11	60	1	22	61	4
2020 年度	12	130	1	16	89	1	20	94	2
2021 年度	3	10	1	21	96	1	25	140	1
2022 年度	19	180	1	6	45	1	6	23	1
2023 年度	14	85	1	33	230	1	24	140	1
2024 年度	11	38	1	19	59	1	25	83	2
過年度	8.3	180	1	13.3	230	1	16.1	140	1

注１：1 未満の計測結果については、1 として取り扱っています。

表 106　BOD 計測結果：まとめ

調査年度	河 20 下泉橋			河 21 神座			河 22 富士見橋		
	BOD(mg/L)			BOD(mg/L)			BOD(mg/L)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2009年度	0.5	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.9	0.5
2010年度	0.5	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	1.1	0.5
2011年度	0.6	1.3	0.5	0.6	0.8	0.5	0.8	1.3	0.5
2012年度	0.6	1.0	0.5	0.6	1.1	0.5	0.6	1.0	0.5
2013年度	0.7	1.5	0.5	0.5	0.6	0.5	0.9	1.9	0.5
2014年度	0.5	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	1.6	0.5
2015年度	0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	1.4	0.5
2016 年度	0.6	1.1	0.5	0.5	0.7	0.5	1.1	2.7	0.5
2017 年度	0.6	0.9	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	1.6	0.5
2018 年度	0.5	0.7	0.5	0.5	0.6	0.5	1.2	3.1	0.5
2019 年度	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.9	2.8	0.5
2020 年度	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	1.7	0.5
2021 年度	0.5	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	2.1	11.0	0.5
2022 年度	0.5	0.9	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	2.6	0.5
2023 年度	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	1.0	0.5
2024 年度	0.5	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	4.5	0.5
過年度	0.6	1.5	0.5	0.5	1.1	0.5	0.9	11.0	0.5

注１：0.5 未満の計測結果については、0.5 として取り扱っています。

表 107　溶存酸素量（DO）計測結果：まとめ

調査年度	河 20 下泉橋			河 21 神座			河 22 富士見橋		
	溶存酸素量（DO）(mg/L)			溶存酸素量（DO）(mg/L)			溶存酸素量（DO）(mg/L)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2009年度	9.6	11.0	7.9	10.2	12.0	8.8	10.0	12.0	8.6
2010年度	9.6	11.0	7.8	10.2	12.0	9.2	10.0	12.0	8.7
2011年度	10.1	12.0	8.2	10.4	12.0	9.3	10.7	13.0	8.7
2012年度	10.2	12.0	8.3	9.8	12.0	8.4	10.1	12.0	8.7
2013年度	10.0	12.0	8.0	9.5	11.0	8.1	9.7	11.0	8.3
2014年度	9.6	11.0	7.7	10.2	13.0	8.5	9.8	12.0	7.2
2015年度	9.3	10.0	7.8	9.6	11.0	8.7	9.1	11.0	7.4
2016 年度	10.0	13.0	8.2	10.3	13.0	8.7	9.8	12.0	8.1
2017 年度	10.1	12.0	8.7	10.0	12.0	8.5	10.1	12.0	7.8
2018 年度	9.9	11.0	8.4	10.0	12.0	9.2	9.6	11.0	8.1
2019 年度	9.9	11.0	8.8	9.9	11.0	8.4	9.8	11.0	8.4
2020 年度	9.9	11.0	8.7	10.0	11.0	8.1	9.7	12.0	8.0
2021 年度	10.0	12.0	8.3	10.0	12.0	8.9	9.5	12.0	8.0
2022 年度	10.2	13.0	8.5	9.8	11.0	8.0	9.5	11.0	7.5
2023 年度	9.7	11.0	8.7	9.9	11.0	8,4	10.0	12.0	8.0
2024 年度	9.6	11	8.1	9.9	11.0	8.6	9.8	13	7.9
過年度	9.9	13.0	7.7	10.0	13.0	8.0	9.8	13.0	7.2

表 108　大腸菌群数計測結果：まとめ

調査年度	河 21 神座			河 22 富士見橋		
	大腸菌群数(MPN/100mL)			大腸菌群数(MPN/100mL)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2009年度	1,202	13,000	33	4,093	17,000	94
2010年度	265	1,300	23	2,264	11,000	130
2011年度	1,454	7,900	79	5,093	17,000	230
2012年度	1,423	11,000	23	8,891	54,000	490
2013年度	675	3,500	17	2,839	7,900	490
2014年度	884	3,400	23	5,074	13,000	790
2015年度	490	2,400	33	8,353	35,000	230
2016 年度	489	1,700	46	9,112	35,000	240
2017 年度	661	4,600	13	7,742	33,000	1,100
2018 年度	576	2,400	23	7,633	24,000	1,100
2019 年度	186	460	11	1,474	4,900	240
2020 年度	521	1,400	13	5,159	33,000	330
2021 年度	3,772	33,000	79	3,030	9,400	460
過年度	969	33,000	11	5,443	54,000	94

表 109　大腸菌数計測結果：まとめ

調査年度	河 20 下泉橋			河 21 神座			河 22 富士見橋		
	大腸菌数(CFU/100mL)			大腸菌数(CFU/100mL)			大腸菌数(CFU/100mL)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2022年度				13	58	1	26	84	1
2023年度				15	56	1	27	81	4
2024年度	5	7	1	26	150	1	72	270	11
過年度	5	7	1	18	150	1	42	270	1

注 1：2022 年度より計測項目変更に伴い、別整理しています。

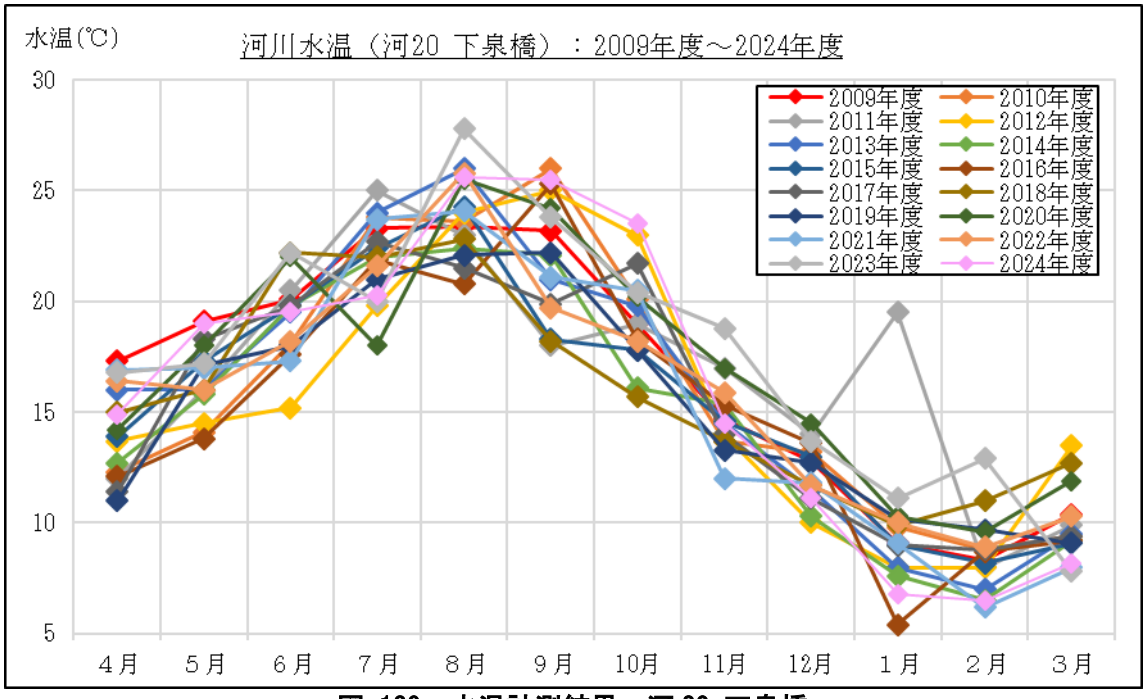


図 139　水温計測結果：河 20 下泉橋

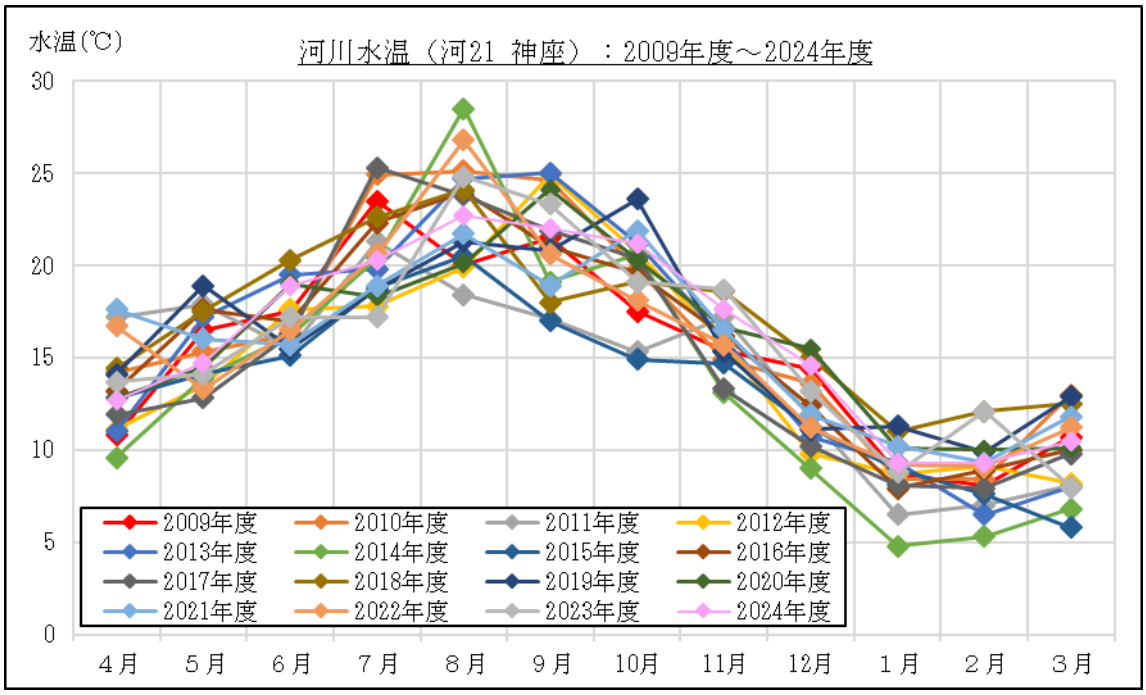


図 140　水温計測結果：河 21 神座

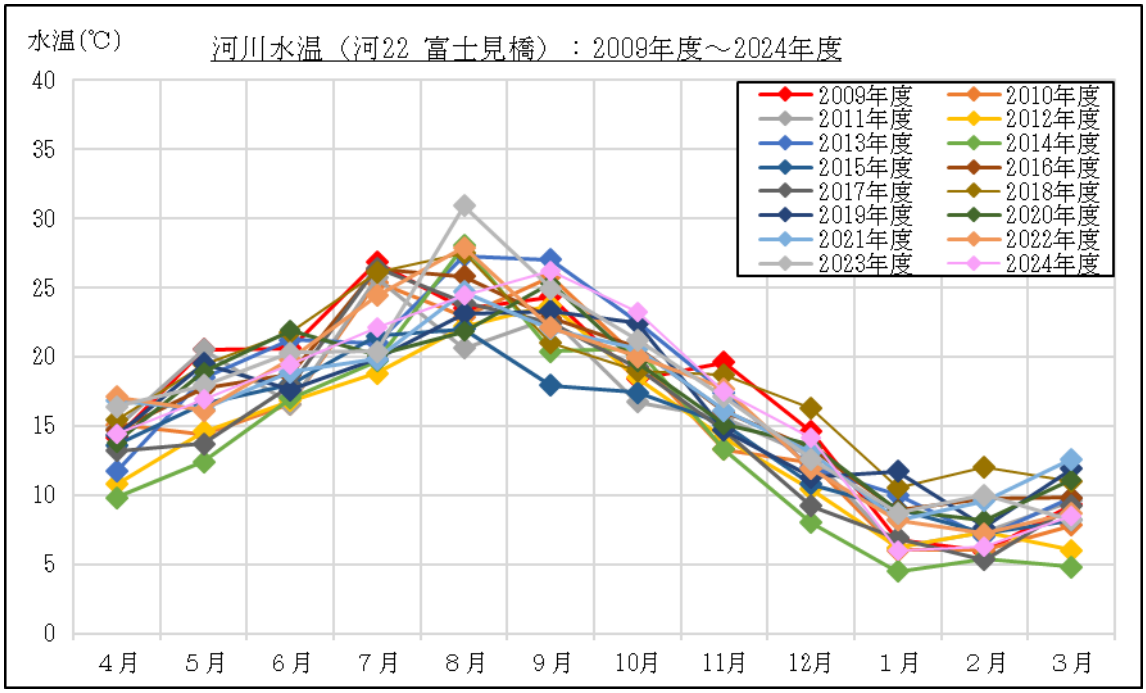


図 141　水温計測結果：河 22 富士見橋

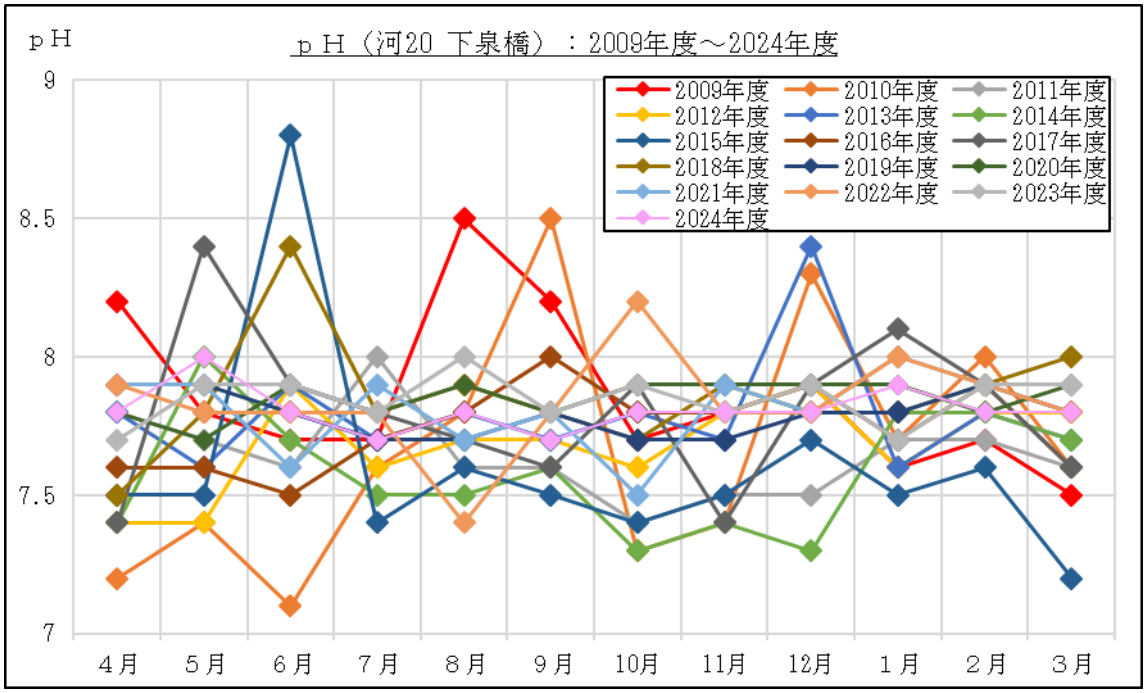


図 142　pH 計測結果：河 20 下泉橋

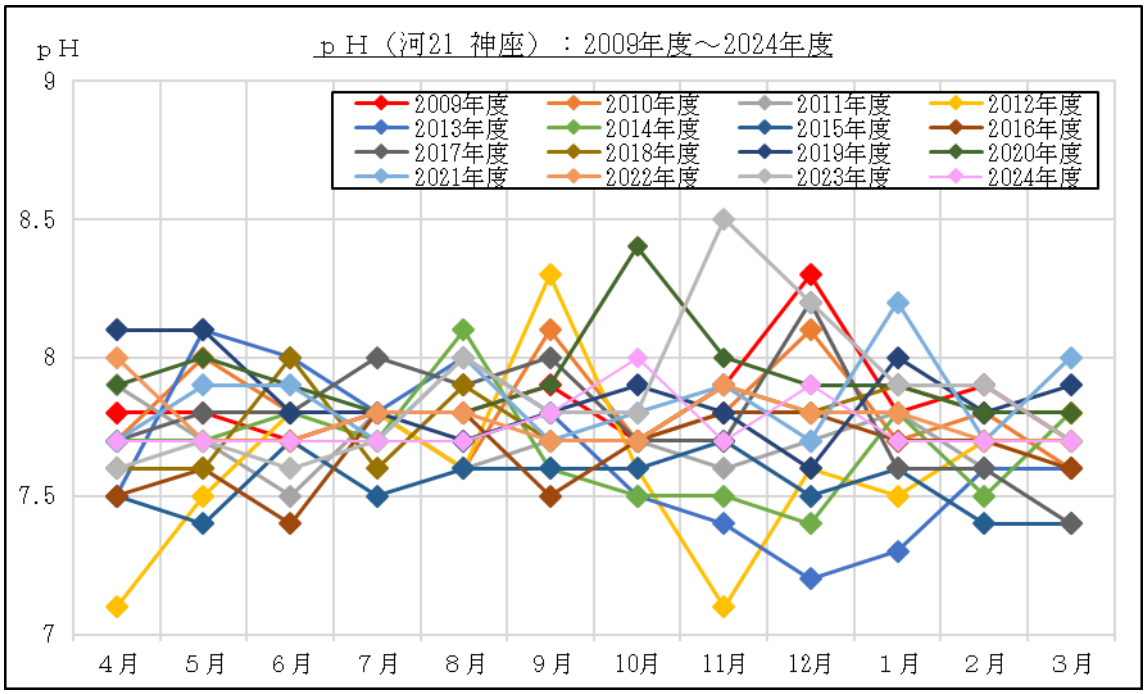


図 143　pH 計測結果：河 21 神座

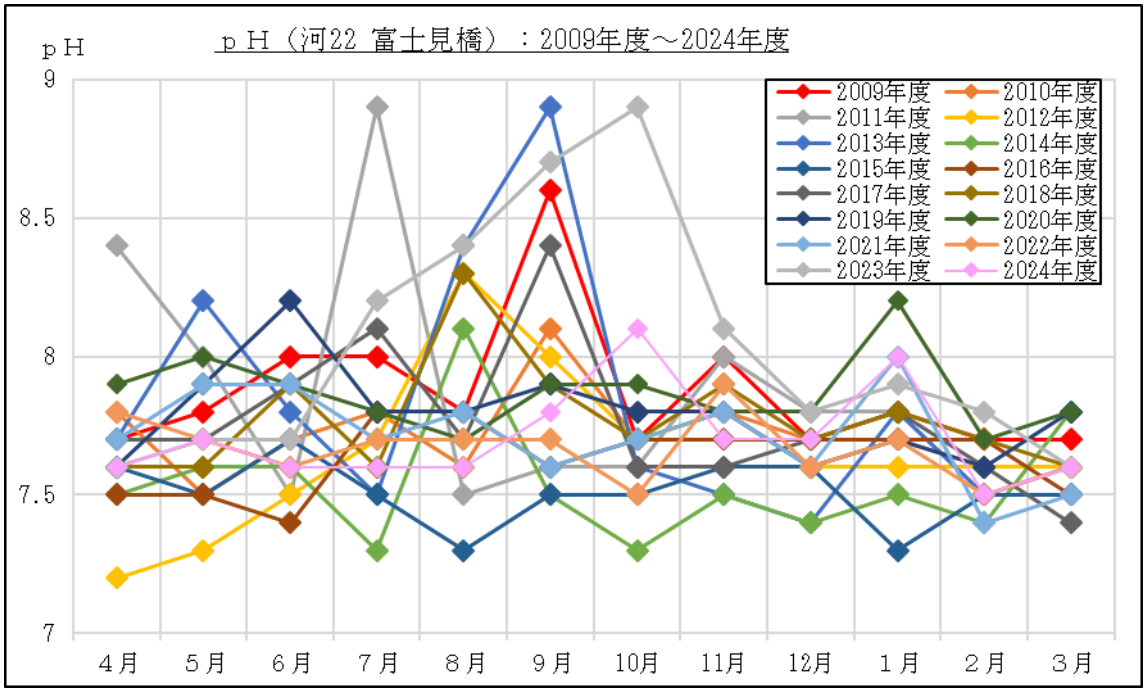


図 144　pH 計測結果：河 22 富士見橋

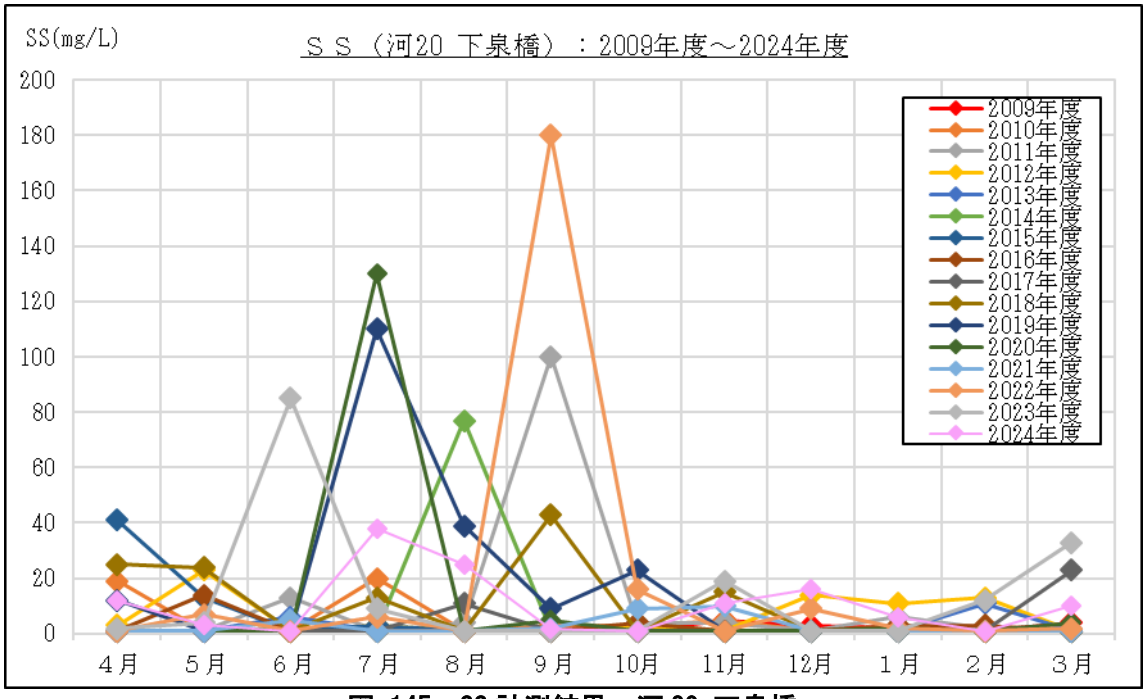


図 145　SS 計測結果：河 20 下泉橋

注：1 未満の計測結果については、1 として取り扱っています。

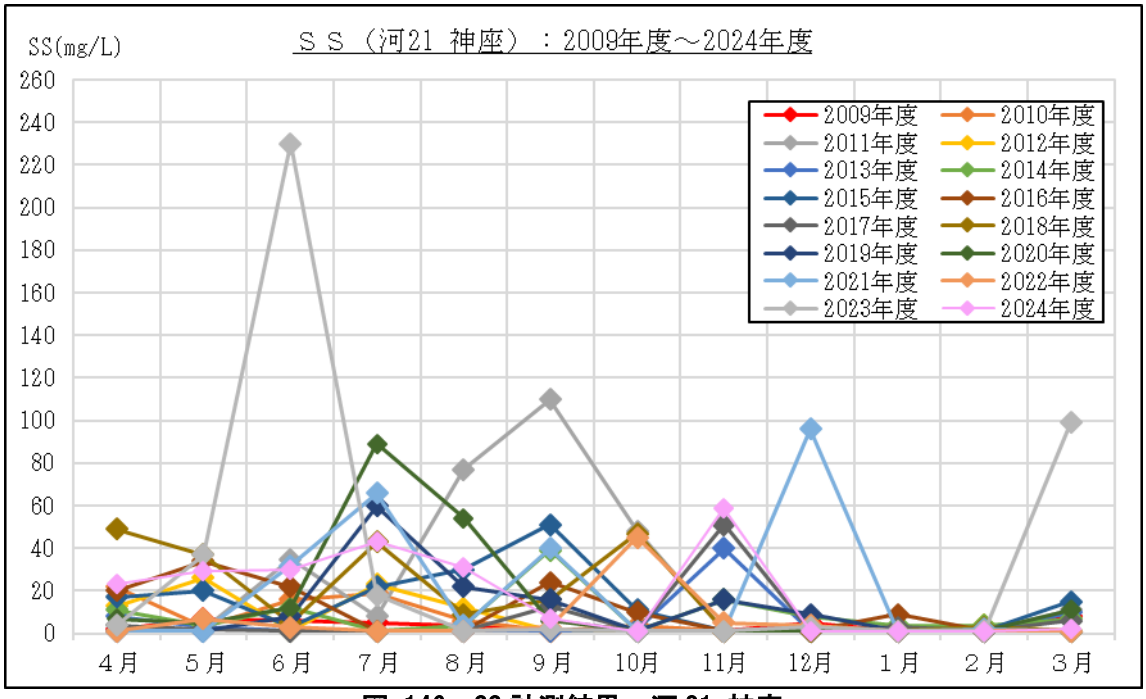


図 146　SS 計測結果：河 21 神座

注：1 未満の計測結果については、1 として取り扱っています。

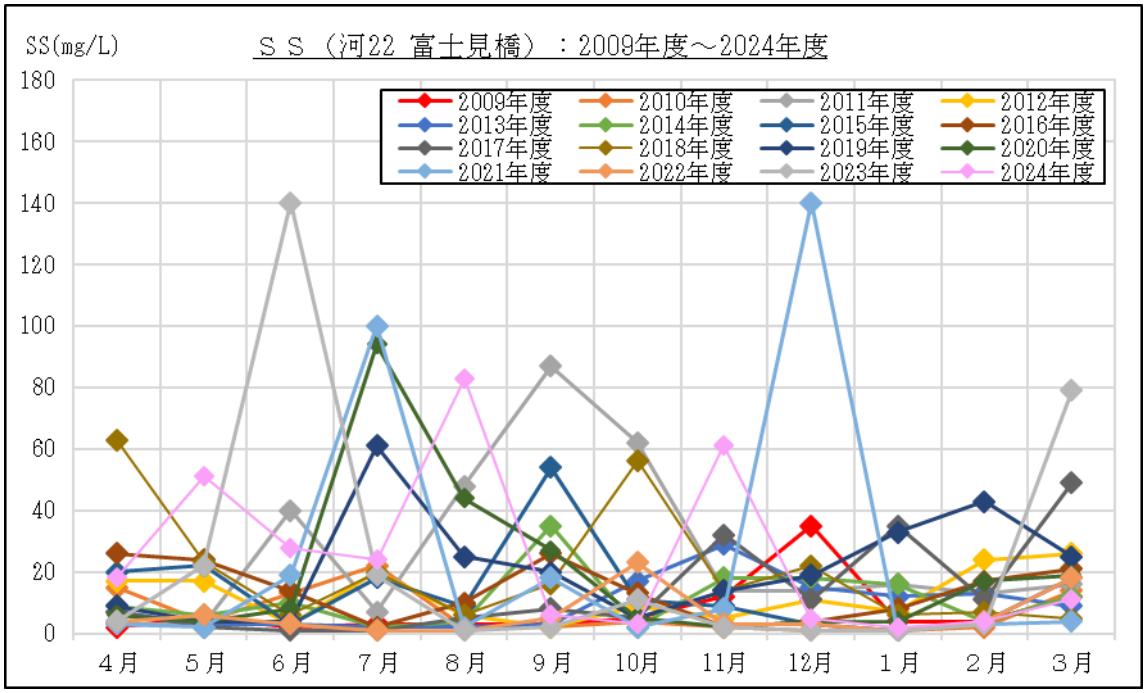


図 147　SS 計測結果：河 22 富士見橋

注：1 未満の計測結果については、1 として取り扱っています。

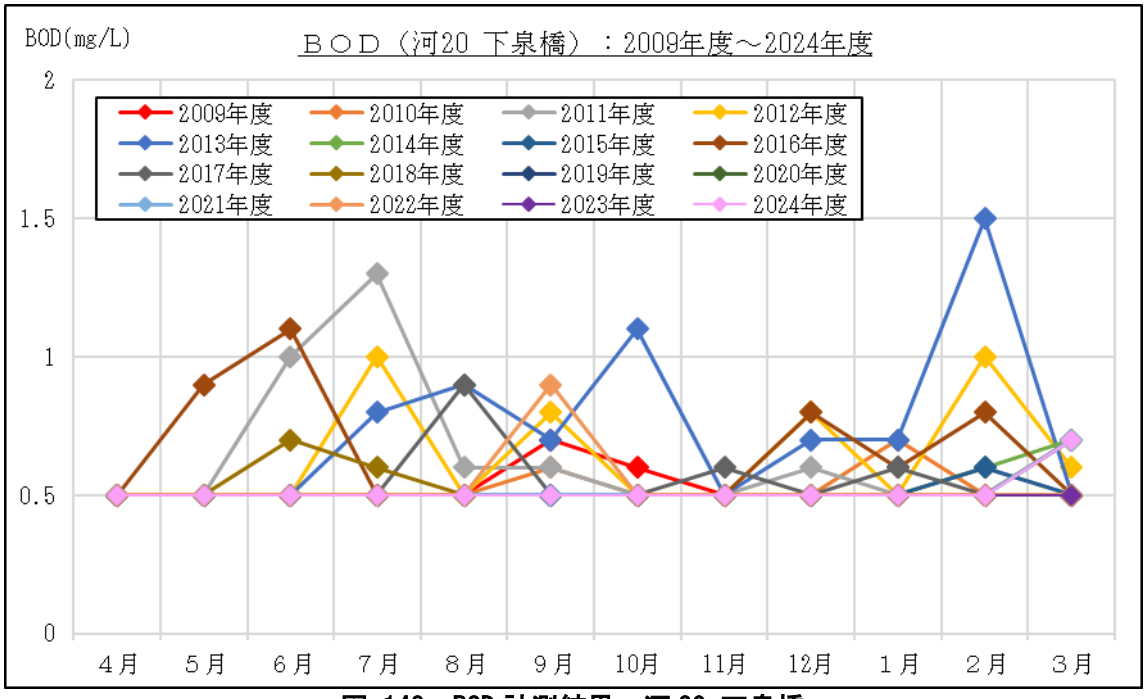


図 148　BOD 計測結果：河 20 下泉橋

注：0.5 未満の計測結果については、0.5 として取り扱っています。

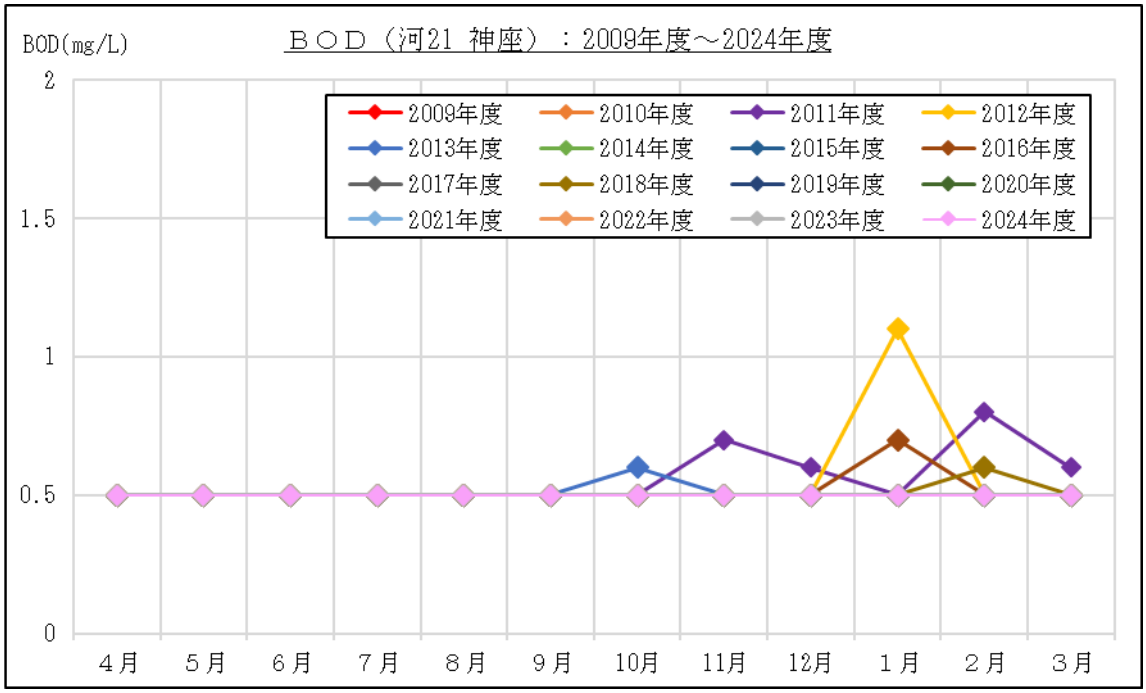


図 149　BOD 計測結果：河 21 神座

注：0.5 未満の計測結果については、0.5 として取り扱っています。

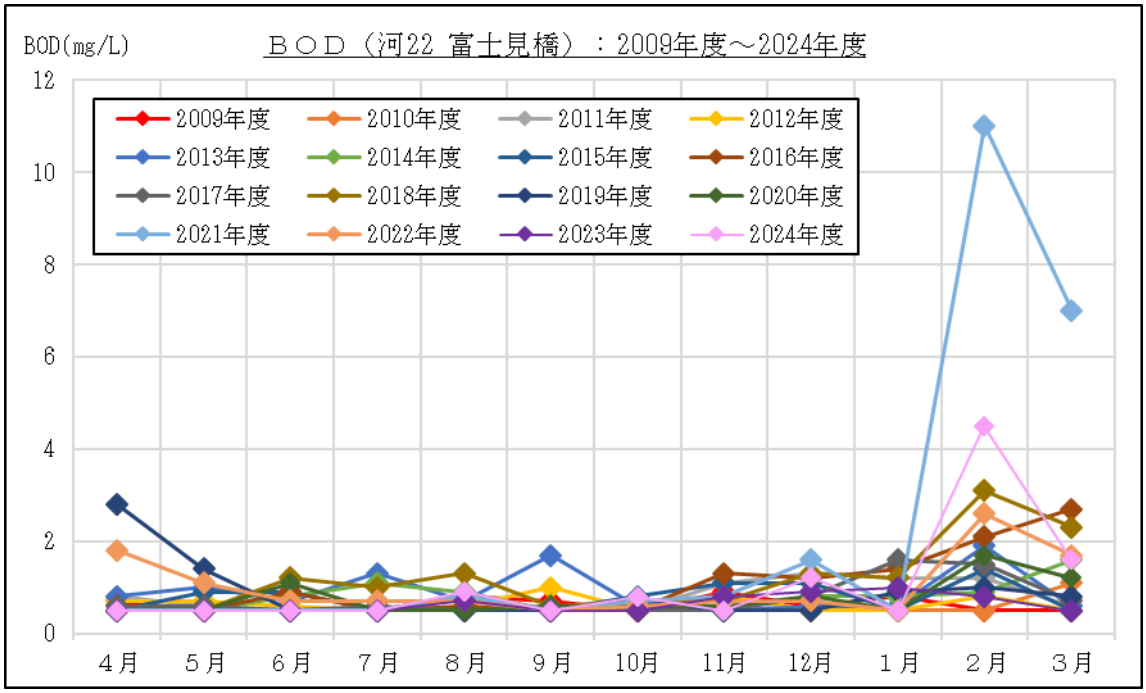


図 150　BOD 計測結果：河 22 富士見橋

注：0.5 未満の計測結果については、0.5 として取り扱っています。

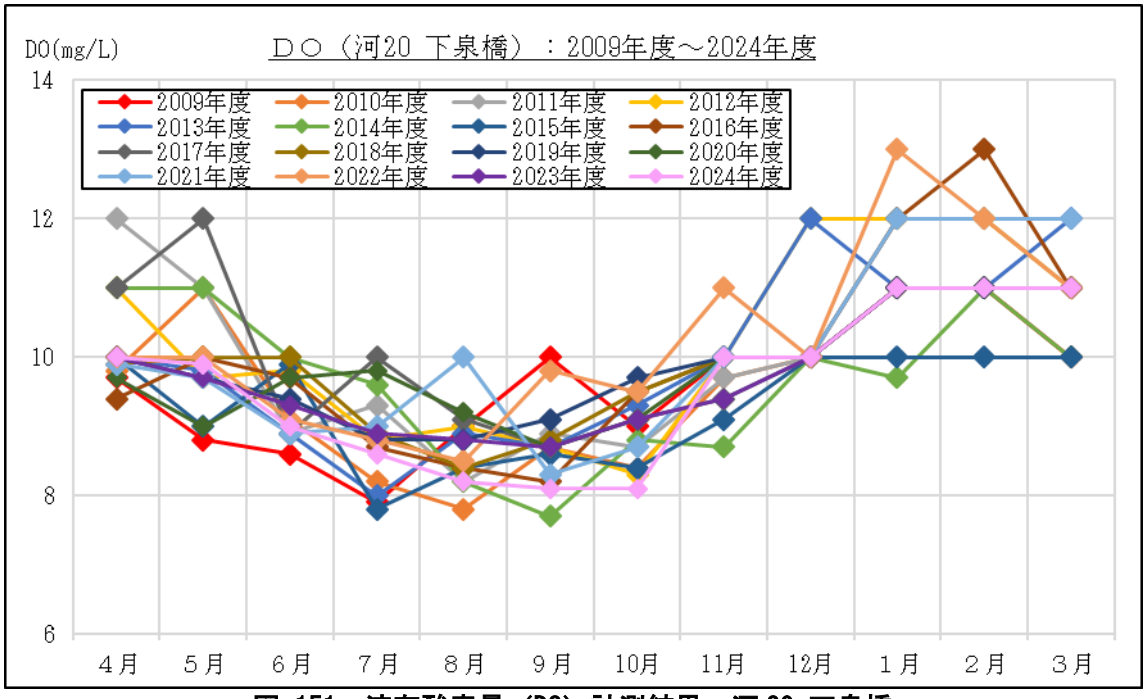


図 151　溶存酸素量（DO）計測結果：河 20 下泉橋

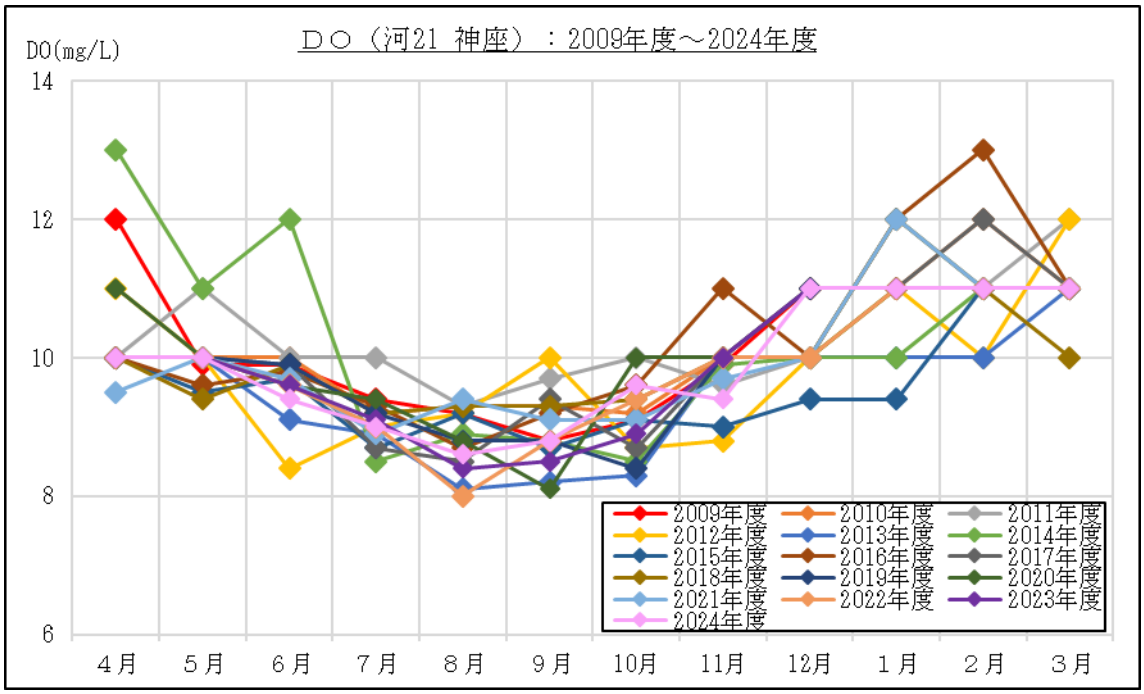


図 152　溶存酸素量（DO）計測結果：河 21 神座

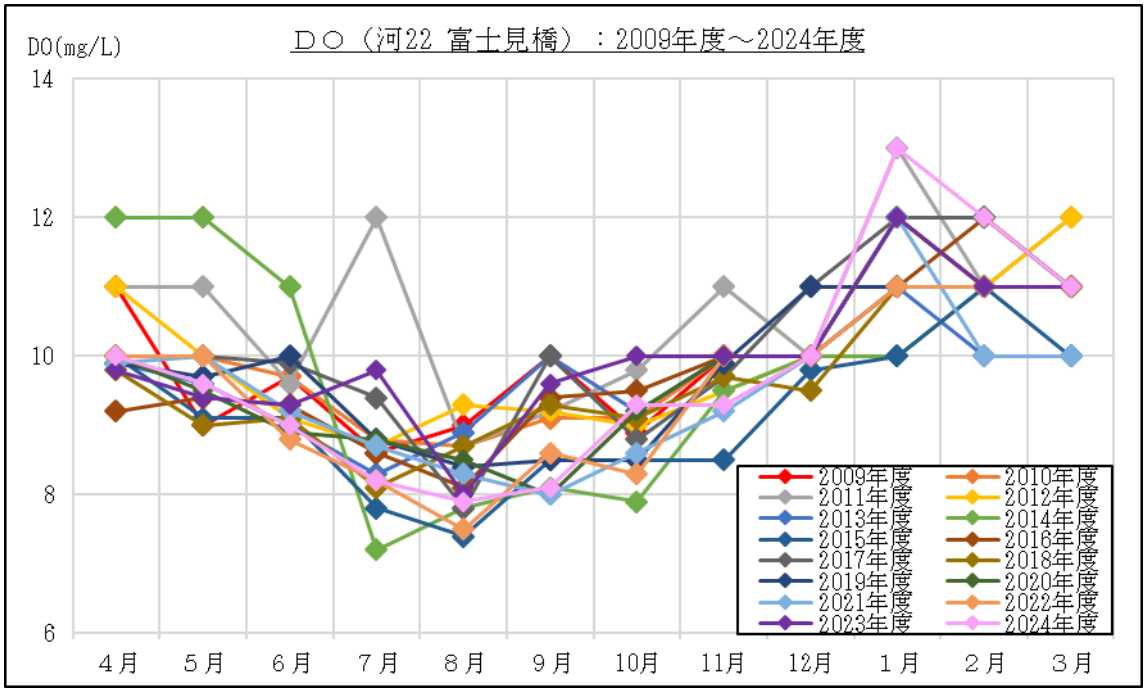


図 153　溶存酸素量（DO）計測結果：河 22 富士見橋

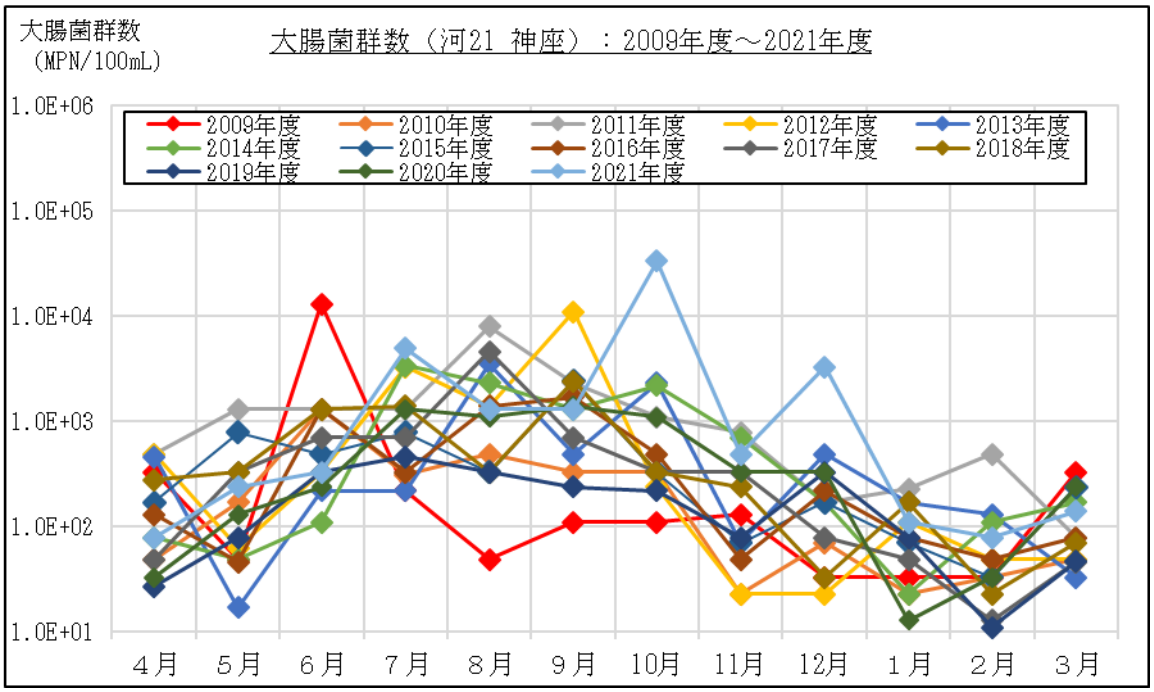


図 154　大腸菌群数計測結果：河 21 神座

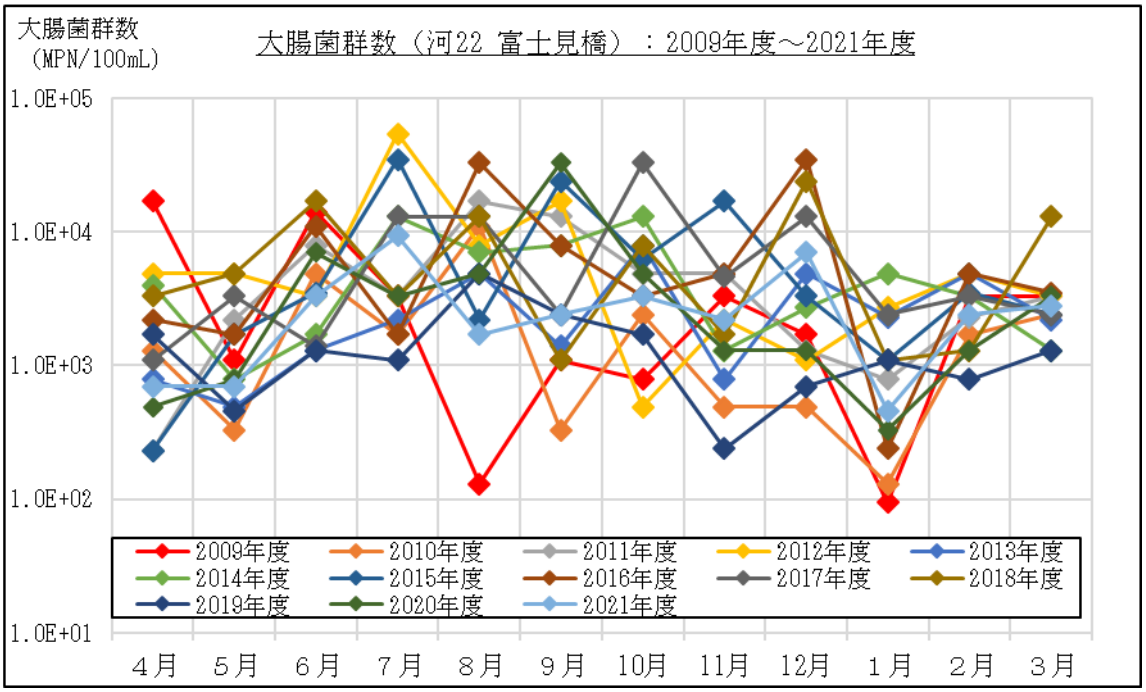


図 155　大腸菌群数計測結果：河 22 富士見橋

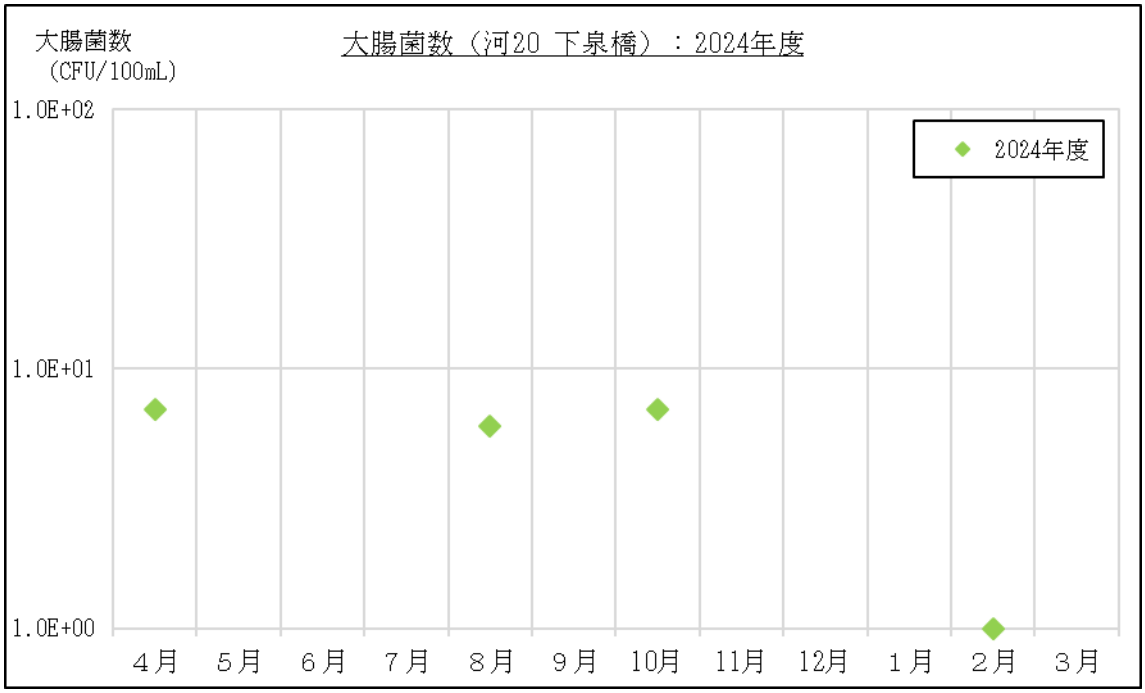


図 156　大腸菌数計測結果：河 20 下泉橋

注１：1.0E+00 未満の計測結果については、1.0E+00 として取り扱っています。

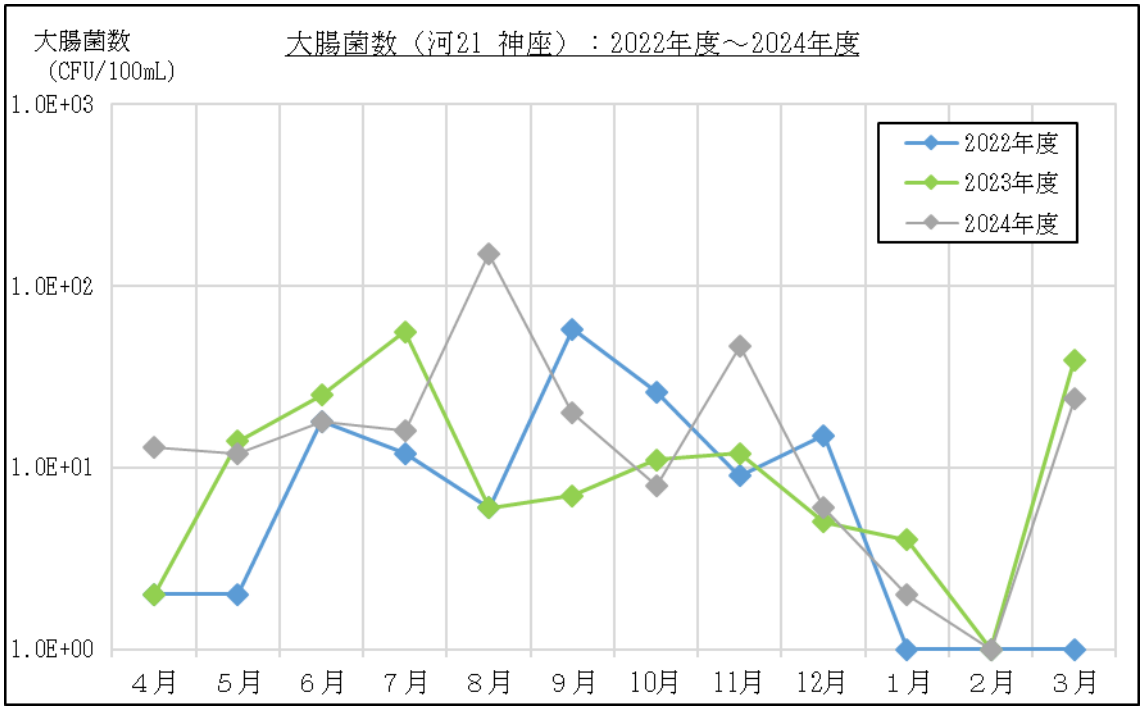


図 157　大腸菌数計測結果：河 21 神座

注１：2022 年度より「大腸菌数」として計測。
注２：1.0E+00 未満の計測結果については、1.0E+00 として取り扱っています。

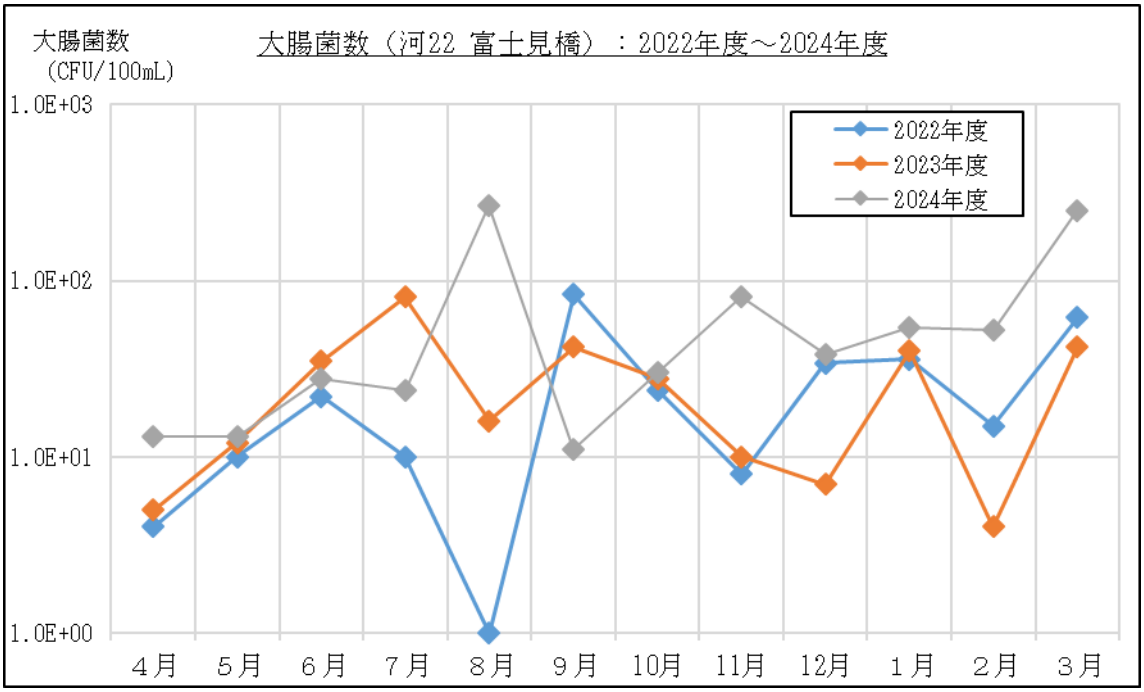


図 158　大腸菌数計測結果：河 22 富士見橋

注１：2022 年度より「大腸菌数」として計測。
注２：1.0E+00 未満の計測結果については、1.0E+00 として取り扱っています。

1.6.6.2 自然由来の重金属

自然由来の重金属等の現地調査の結果は表 110～表 113 に示します。

表 110　自然由来の重金属等の計測結果（河 21 神座）

調査時期		調査項目							
		カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)	総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)
2009 年度	5 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	7 月	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	11 月					<0.005	<0.005		
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	3 月					<0.005	<0.005		
2010 年度	5 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	7 月	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	11 月					<0.005	<0.005		
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	3 月					<0.005	<0.005		
2011 年度	5 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	7 月	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月					<0.005	<0.005	0.13	<0.1
	11 月					<0.005	<0.005		
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	3 月					<0.005	<0.005		
2012 年度	5 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	11 月					<0.005	<0.005		
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	3 月					<0.005	<0.005		
2013 年度	5 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	11 月					<0.005	<0.005		
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	3 月					<0.005	<0.005		
2014 年度	5 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	11 月					<0.005	<0.005		
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	3 月					<0.005	<0.005		
2015 年度	5 月					<0.005			
	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月					<0.005			
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1

注１：「<」は未満を示しています。

表 111　自然由来の重金属等の計測結果（河 21 神座）

調査時期		調査項目							
		カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)	総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)
2016 年度	5 月					<0.005			
	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月					<0.005			
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
2017 年度	5 月					<0.005			
	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月					<0.005			
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
2018 年度	5 月					<0.005			
	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月					<0.005			
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
2019 年度	5 月					<0.005			
	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月					<0.005			
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
2020 年度	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	1 月					<0.005		<0.08	<0.1
2021 年度	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	1 月					<0.005		<0.08	<0.1
2022 年度	7 月	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	1 月					<0.005		<0.08	<0.1
2023 年度	7 月	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	1 月					<0.005		<0.08	<0.1
2024 年度	7 月	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	1 月					<0.005		<0.08	<0.1

注１：「<」は未満を示しています。

表 112　自然由来の重金属等計測結果（河 22 富士見橋））

調査時期		調査項目							
		カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)	総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)
2009 年度	5 月						<0.005	<0.08	<0.1
	7 月	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月						<0.005	<0.08	<0.1
	11 月						<0.005		
	1 月	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	3 月						<0.005		
2010 年度	5 月						<0.005	<0.08	<0.1
	7 月	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	0.09	<0.1
	9 月						<0.005	<0.08	<0.1
	11 月						<0.005		
	1 月	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	3 月						<0.005		
2011 年度	5 月						<0.005	<0.08	<0.1
	7 月	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月						<0.005	0.09	<0.1
	11 月						<0.005		
	1 月	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	3 月						<0.005		
2012 年度	5 月						<0.005	<0.08	<0.1
	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月						<0.005	<0.08	<0.1
	11 月						<0.005		
	1 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	3 月						<0.005		
2013 年度	5 月						<0.005	<0.08	<0.1
	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月						<0.005	<0.08	<0.1
	11 月						<0.005		
	1 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	3 月						<0.005		
2014 年度	5 月						<0.005	<0.08	<0.1
	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月						<0.005	<0.08	<0.1
	11 月						<0.005		
	1 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	3 月						<0.005		
2015 年度	5 月					<0.005	<0.005		
	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月					<0.005	<0.005		
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1

注１：「<」は未満を示しています。

表 113　自然由来の重金属等計測結果（河 22 富士見橋））

調査時期		調査項目							
		カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)	総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)
2016 年度	5 月					<0.005	<0.005		
	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月					<0.005	<0.005		
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
2017 年度	5 月					<0.005	<0.005		
	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月					<0.005	<0.005		
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
2018 年度	5 月					<0.005	<0.005		
	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月					<0.005	<0.005		
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
2019 年度	5 月					<0.005	<0.005		
	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	9 月					<0.005	<0.005		
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
2020 年度	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
2021 年度	7 月	<0.0003	<0.02	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
2022 年度	7 月	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
2023 年度	7 月	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
2024 年度	7 月	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.1
	1 月					<0.005	<0.005	<0.08	<0.1

注１：「<」は未満を示しています。

1.7 高標高部の湧き水の水温【事後調査及びモニタリング計画通し番号 88】

1.7.5 調査期間

調査期間は表 114 に示します。

表 114　調査期間（時間１回計測）

調査項目	調査地点	調査期間
水温	湧 01 千枚小屋北	2025 年４月～2026 年 2 月
	湧 02 千枚小屋南	
	湧 03 荒川小屋	※
	湧 04 高山裏避難小屋	2025 年４月～2025 年 9 月
	湧 05 伝付峠付近	2025 年４月～2026 年 3 月

注：「※」は 2025 年 10 月より計測を開始していますが、データ回収が出来ていないため、調査結果は掲載しておりません。

1.7.6　湧 01 千枚小屋北

1.7.6.1　調査結果（時間 1 回計測）

千枚小屋北の時間 1 回計測の調査結果を表 115 及び図 159 に示します。

表 115　調査結果（時間 1 回計測）（千枚小屋北）

調査年度	湧 01 千枚小屋北 水温（℃）		
	平均	最大	最小
2025 年度	3.2	11.7	0.1

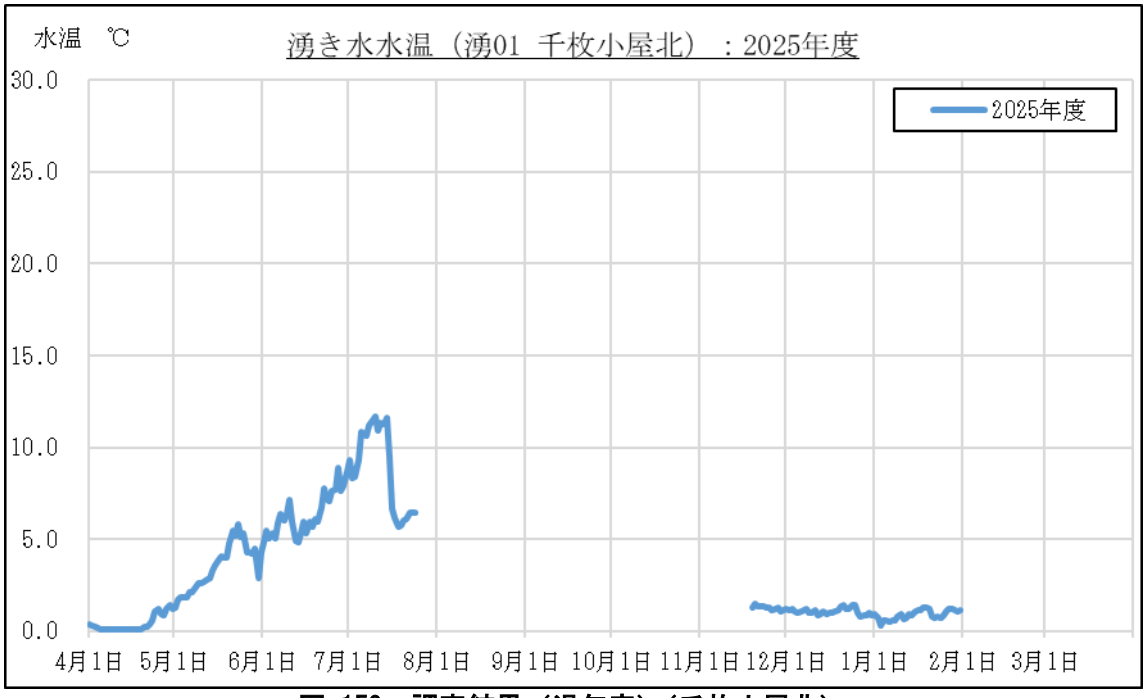


図 159　調査結果（過年度）（千枚小屋北）

注：7 月下旬の落雷による計測値に異常が発生したため 11 月中旬まで欠測しています。

1.7.7　湧 02 千枚小屋南

1.7.7.1　調査結果（時間１回計測）

千枚小屋南の時間１回計測の調査結果を表 116 及び図 160 に示します。

表 116　調査結果（時間１回計測）（千枚小屋南）

調査年度	湧 02 千枚小屋南 水温（℃）		
	平均	最大	最小
2025 年度	3.8	5.9	2.1

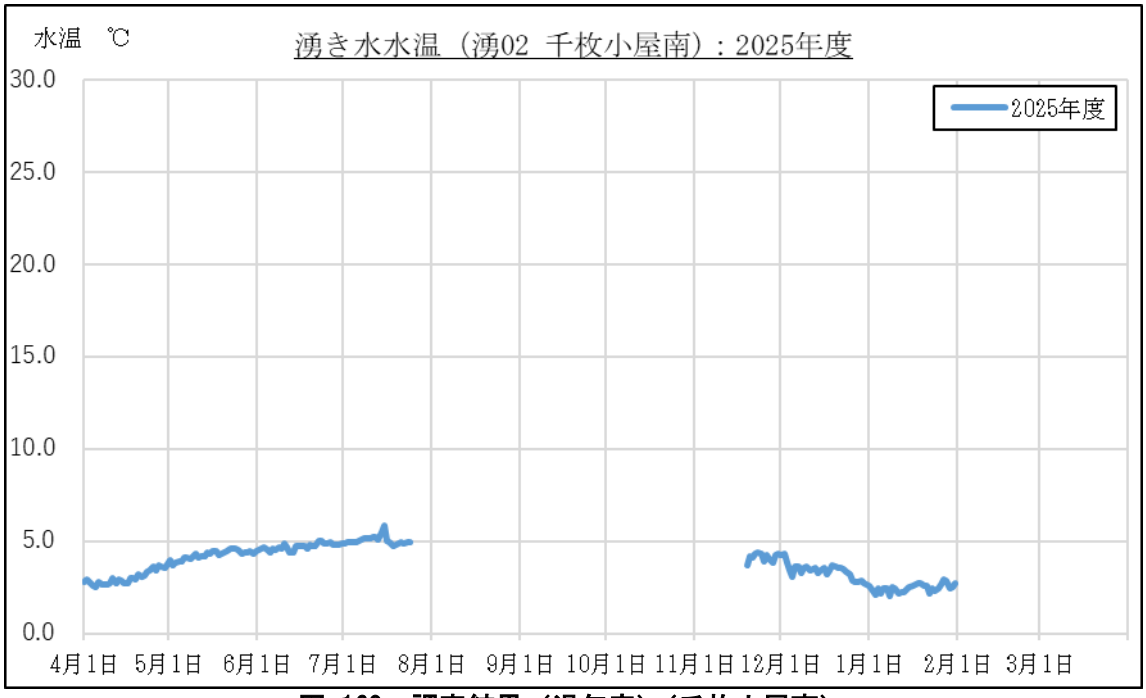


図 160　調査結果（過年度）（千枚小屋南）

注：７月下旬の落雷による計測値に異常が発生したため 11 月中旬まで欠測しています。

1.7.8　湧 04 高山裏避難小屋

1.7.8.1　調査結果（時間１回計測）

高山裏避難小屋の時間１回計測の調査結果を表 117 及び図 161 に示します。

表 117　調査結果（時間１回計測）（高山裏避難小屋）

調査年度	湧 04 高山裏避難小屋		
	水温（℃）		
	平均	最大	最小
2025 年度	4.7	6.2	2.5

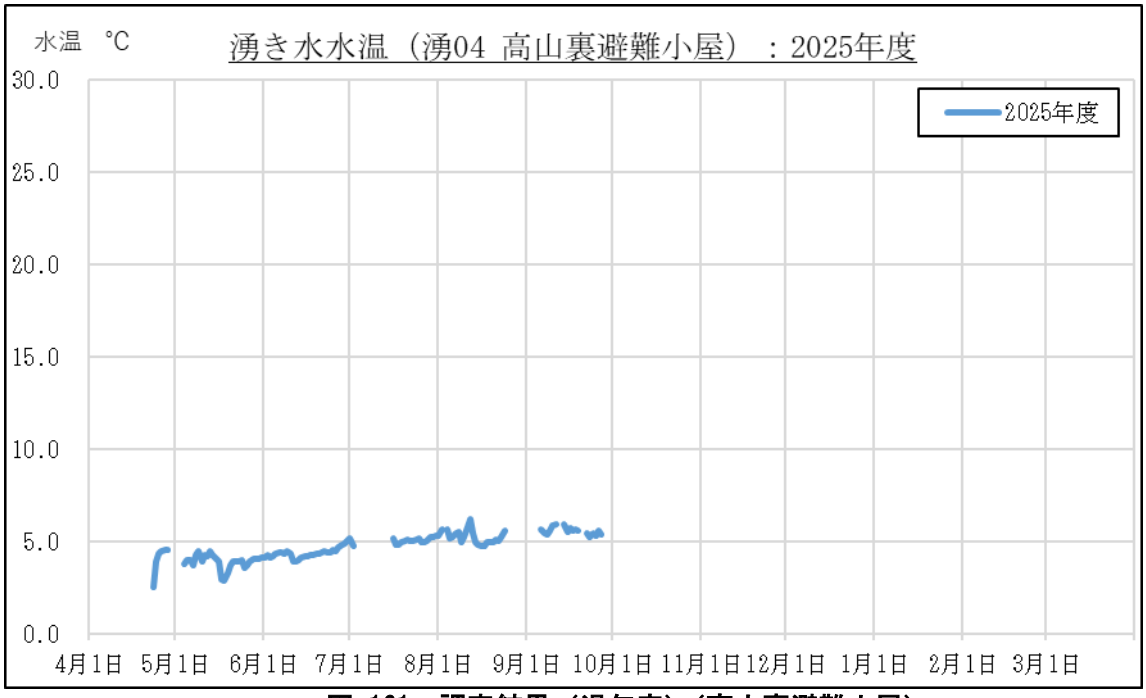


図 161　調査結果（過年度）（高山裏避難小屋）

注：一部期間において、表流水がないため水温が欠測しています。

1.7.9　湧 05 伝付峠付近

1.7.9.1　調査結果（時間 1 回計測）

伝付峠付近の時間 1 回計測の調査結果を表 118 及び図 162 に示します。

表 118　調査結果（時間 1 回計測）（伝付峠付近）

調査年度	湧 05 伝付峠付近		
	水温（℃）		
	平均	最大	最小
2025 年度	8.9	17.8	-1.2

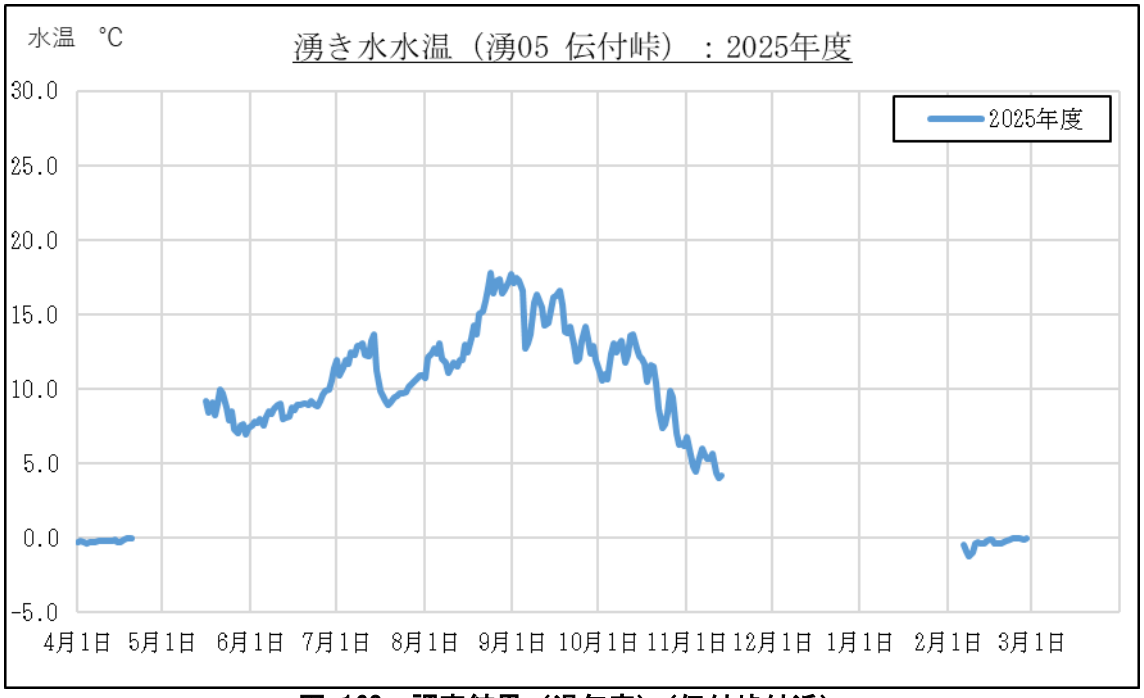


図 162　調査結果（過年度）（伝付峠付近）

注：一部期間において、表流水がないため水温が欠測しています。

1.8 化学的な成分分析【事後調査及びモニタリング計画通し番号 27～29、55、56】

1.8.5 調査期間

化学的な成分分析の調査期間を表 119～表 122 に示します。

表 119　調査期間（井戸・河川・湧水（豊水期））

調査箇所	調査期間
井戸	2020 年７月 27 日～８月１日、８月９日、８月 10 日
河川	2020 年７月 31 日、８月９日
湧水	2020 年７月 29 日、７月 30 日、８月９日

表 120　調査期間（井戸・河川・湧水（渇水期））

調査箇所	調査期間
井戸	2021 年２月４日、２月５日、２月８日～２月 13 日
河川	2021 年２月５日～２月 10 日
湧水	2021 年２月２日、２月５日～２月８日

表 121　調査期間（沢（5 月期））

調査箇所	調査期間
沢	2025 年５月 13 日～５月 16 日

表 122　調査期間（沢（11 月期））

調査箇所	調査期間
沢	2025 年 11 月 11 日～11 月 14 日

1.8.6 大井川上流域（河川・湧水・地下水）豊水期

別紙調査地点図に対し以下調査結果の調査地点番号、地点名については表 123 の通り、対応しております。

表 123　調査地点対応表（豊水期）

調査地点図		別冊（1.7.2）	
番号	調査地点名	番号	調査地点名
河 06	田代ダム上流	河川 4	大井川（田代ダム上流）
河 20	下泉橋	河川 3	大井川（下泉橋）
河 21	神座	河川 2	大井川（神座）
河 22	富士見橋	河川 1	大井川（富士見橋）
地下水 2	東俣	井戸 16	東俣付近
地下水 3-1	田代（深井戸）	井戸 17	田代ダム付近
地下水 12	島田市島	井戸 01	島－１
地下水 13	島田市大柳	井戸 02	大柳南
地下水 14	吉田町大幡	井戸 03	大幡
地下水 15	吉田町川尻 B	井戸 04	川尻 B
地下水 16	吉田町川尻 A	井戸 05	川尻 A
地下水 17	吉田町住吉	井戸 06	住吉
地下水 18	牧之原市細江	井戸 07	細江小
地下水 19	島田市横井	井戸 08	横井
地下水 20	藤枝市大西町	井戸 09	五平
地下水 21	藤枝市弥左エ門	井戸 10	大洲中
地下水 22	焼津市治長請所	井戸 11	治長請所
地下水 24	焼津市一色	井戸 13	一色
地下水 25	焼津市藤守	井戸 14	藤守
地下水 26	焼津市下江留	井戸 15	新大井川中
湧 06	吉永コミュニティパーク	湧水 1	吉永コミュニティパーク
湧 07	清水屋の湧き水	湧水 2	清水屋の湧き水
湧 08	智満寺の霊水	湧水 4	智満寺の霊水
湧 12	木賊の湧き水	湧水 6	木賊の湧き水
湧 13	小長井の湧き水	湧水 3	小長井の湧き水
湧 14	奥大井の湧き水	湧水 5	奥大井の湧き水
大気環境 02	椹島ロッヂ	大気 3	椹島付近（大井川上流域）
大気環境 04	河 22 富士見橋	大気 1	河 22 富士見橋（大井川下流域）
大気環境 05	千頭付近	大気 2	千頭付近（大井川中流域）

1.8.6.1 溶存イオン

地下水、河川水の溶存イオン、ｐＨ、電気伝導率（EC）、水温の測定結果を表 124～表 126 に示します。また、溶存イオンについて、電解質の濃度を表す単位である当量値（＝物質量×イオン価数）に換算したものを表 127 に示します。

また、シュティフダイヤグラム、トリリニアダイヤグラムをそれぞれ図 163～図 165 及び図 166 に示します。

表 124　溶存イオン、ｐＨ、電気伝導率（EC）の測定結果（地下水）：豊水期調査

区分	番号	地点名	所在地	孔口標高	井戸深度	スクリーン深度	採水箇所		溶存イオン(mg/L)								pH	電気伝導率(EC)(mS/m)	水温(℃)
							深度※	標高	Na^+	K^+	Ca^{2+}	Mg^{2+}	Cl^-	HCO_3^-	SO_4^{2-}	NO_3^-			
大井川上流域（椹島より上流側）	16	東俣付近	静岡市	1,417m	GL-44m	GL-16～-40m	-28.0m	1389.4m	7.8	0.5	39.0	1.5	0.5	110.0	33.0	<0.4	8.1	23.3	12.8
	17	田代ダム付近		1,402m	GL-256m	GL-130～-250m	-130.0m	1272.1m	380.0	5.2	1.2	0.1	130.0	760.0	0.3	<0.4	9.1	182.0	10.8
大井川上流域（椹島より下流側）～大井川中下流域	01	島-1	島田市	77.74m	GL-59m	GL-11～42m	-26.5m	51.2m	7.1	1.8	31.0	3.5	4.7	51.0	47.0	11.0	6.6	22.7	17.4
	02	大柳南		31.5m	GL-82m	GL-42～50m	-46.0m	-14.5m	5.7	1.0	20.0	1.8	2.9	45.0	23.0	1.9	7.1	14.5	17.8
	03	大幡	吉田町	19.06m	GL-20m	GL-5～20m	-12.5m	6.6m	7.2	1.2	22.0	1.9	3.2	50.0	26.0	2.7	6.9	15.7	18.1
	04	川尻 B		8.06m	GL-20m	GL-5～20m	-12.5m	-4.4m	5.9	1.1	19.0	2.5	2.6	54.0	22.0	1.5	7.3	16.0	18.1
	05	川尻 A		7.87m	GL-150m	GL-127～145m	-136.0m	-128.1m	34.0	0.3	1.7	0.3	5.4	68.0	10.0	<0.4	7.4	15.5	17.4
	06	住吉		5.43m	GL-51m	GL-37～51m	-44.0m	-38.6m	35.0	0.8	11.0	4.5	20.0	75.0	25.0	<0.4	7.1	23.8	19.4
	07	細江小	牧之原市	4.44m	GL-15m	GL-4～12m	-9.0m	-4.6m	10.0	5.6	19.0	6.3	11.0	23.0	55.0	13.0	5.7	22.1	19.0
	08	横井	島田市	56.4m	GL-80m	GL-32～50m	-40.9m	15.5m	4.2	0.9	20.0	1.6	2.0	47.0	18.0	1.3	7.4	12.7	16.4
	09	五平（ごへい）	藤枝市	31.52m	GL-90m	GL-42～60m	-50.8m	-19.2m	10.0	1.4	22.0	1.9	4.9	53.0	31.0	3.0	6.8	18.7	17.9
	10	大洲中（おおすちゅう）		22.11m	GL-80m	GL-50～70m	-60.0m	-37.9m	9.2	1.3	26.0	2.5	3.9	56.0	36.0	4.0	6.5	19.5	18.3
	11	治長請所（じちょううけしょ）	焼津市	16.55m	GL-100m	GL-84～100m	-92.0m	-75.5m	14.0	1.2	22.0	2.1	6.9	53.0	27.0	3.9	6.7	17.9	18.2
	13	一色（いっしき）		7.89m	GL-150m	GL-109～127m	-117.9m	-110.0m	11.0	1.2	27.0	3.4	4.1	71.0	31.0	3.2	7.0	20.7	19.9
	14	藤守（ふじもり）(新)		8.2m	GL-4m	-	-3.6m	4.6m	9.0	2.7	24.0	3.1	5.1	81.0	21.0	5.6	6.4	22.0	23.0
	15	新大井川中		10.3m	GL-120m	GL-68～112m	-90.0m	-79.7m	9.1	1.1	20.0	2.2	3.5	49.0	31.0	1.9	7.2	16.7	17.4

※採水深度は、井戸孔口からの深度を示しています。また、スクリーン設置区間の中間地点付近を基本としています。
※地点 12（大富小）は井戸孔内に既設のケーブル等が設置されており、採水不可になります。

表 125　溶存イオン、pH、電気伝導率（EC）の測定結果（河川水）：豊水期調査

区分	番号	地点名	所在地	採水標高	溶存イオン(mg/L)								pH	電気伝導率(EC)(mS/m)	水温(℃)
					Na^+	K^+	Ca^{2+}	Mg^{2+}	Cl^-	HCO_3^-	SO_4^{2-}	NO_3^-			
大井川上流域（椹島より上流側）	河川 4	大井川（田代ダム上流）	静岡市	1397.0m	1.3	0.3	15.0	0.7	0.3	45.0	6.9	<0.4	8.2	9.0	13.7
大井川上流域（椹島より下流側）～大井川中下流域	河川 1	大井川（富士見（ふじみ）橋）	吉田町	13.9m	3.7	1.4	13.0	1.3	1.7	36.0	14.0	1.8	7.8	8.5	21.7
	河川 2	大井川（神座（かんざ））	島田市	98.6m	3.0	1.0	13.0	1.1	1.2	34.0	12.0	1.4	7.8	8.4	18.0
	河川 3	大井川（下泉（しもいずみ）橋）	川根本町	210.0m	2.4	1.0	13.0	1.0	0.6	34.0	11.0	1.1	7.7	8.6	18.2

表 126　溶存イオンの当量値（地下水）：豊水期調査

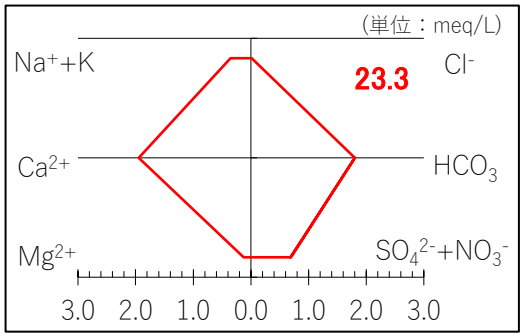
区分	番号	地点名	所在地	孔口標高	井戸深度	スクリーン深度	採水箇所		溶存イオン当量値(meq/L) ＝ 物質量(mol/L)×イオン価数							
							深度	標高	Na^+	K^+	Ca^{2+}	Mg^{2+}	Cl^-	HCO_3^-	SO_4^{2-}	NO_3^-
大井川上流域（椹島より上流側）	16	東俣付近	静岡市	1,417m	GL-44m	GL-16～-40m	-28.0m	1390.0m	0.339	0.013	1.946	0.123	0.014	1.803	0.687	0.006
	17	田代ダム付近		1,402m	GL-256m	GL-130～-250m	-130.0m	1272.1m	16.529	0.133	0.060	0.008	3.667	12.456	0.006	0.006
大井川上流域（椹島より下流側）～大井川中下流域	01	島-1	島田市	77.74m	GL-59m	GL-11～42m	-26.5m	51.2m	0.309	0.046	1.547	0.288	0.133	0.836	0.979	0.177
	02	大柳南		31.5m	GL-82m	GL-42～50m	-46.0m	-14.5m	0.248	0.026	0.998	0.148	0.082	0.738	0.479	0.031
	03	大幡	吉田町	19.06m	GL-20m	GL-5～20m	-12.5m	6.6m	0.313	0.031	1.098	0.156	0.090	0.819	0.541	0.044
	04	川尻 B		8.06m	GL-20m	GL-5～20m	-12.5m	-4.4m	0.257	0.028	0.948	0.206	0.073	0.885	0.458	0.024
	05	川尻 A		7.87m	GL-150m	GL-127～145m	-136.0m	-128.1m	1.479	0.008	0.085	0.025	0.152	1.114	0.208	0.006
	06	住吉		5.43m	GL-51m	GL-37～51m	-44.0m	-38.6m	1.522	0.020	0.549	0.370	0.564	1.229	0.521	0.006
	07	細江小	牧之原市	4.44m	GL-15m	GL-4～12m	-9.0m	-4.6m	0.435	0.143	0.948	0.518	0.310	0.377	1.145	0.210
	08	横井	島田市	56.4m	GL-80m	GL-32～50m	-40.9m	15.5m	0.183	0.023	0.998	0.132	0.056	0.770	0.375	0.021
	09	五平（ごへい）	藤枝市	31.52m	GL-90m	GL-42～60m	-50.8m	-19.2m	0.435	0.036	1.098	0.156	0.138	0.869	0.645	0.048
	10	大洲中（おおすちゅう）		22.11m	GL-80m	GL-50～70m	-60.0m	-37.9m	0.400	0.033	1.297	0.206	0.110	0.918	0.750	0.065
	11	治長請所（じちょううけしょ）	焼津市	16.55m	GL-100m	GL-84～100m	-92.0m	-75.5m	0.609	0.031	1.098	0.173	0.195	0.869	0.562	0.063
	13	一色（いっしき）		7.89m	GL-150m	GL-109～127m	-117.9m	-110.0m	0.478	0.031	1.347	0.280	0.116	1.164	0.645	0.052
	14	藤守(新)（ふじもり）		8.2m	GL-4m	-	-3.6m	4.6m	0.391	0.069	1.198	0.255	0.144	1.328	0.437	0.090
	15	新大井川中		10.3m	GL-120m	GL-68～112m	-90.0m	-79.7m	0.396	0.028	0.998	0.181	0.099	0.803	0.645	0.031

※採水深度は、井戸孔口からの深度を示しています。また、スクリーン設置区間の中間地点付近を基本としました。

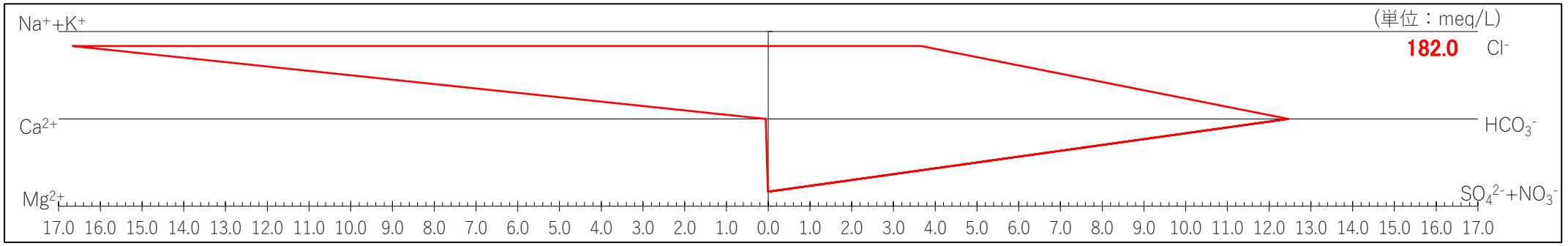
※地点 12（大富小）は井戸孔内に既設のケーブル等が設置されており、採水不可になります。

表 127　溶存イオンの当量値（河川水）：豊水期調査

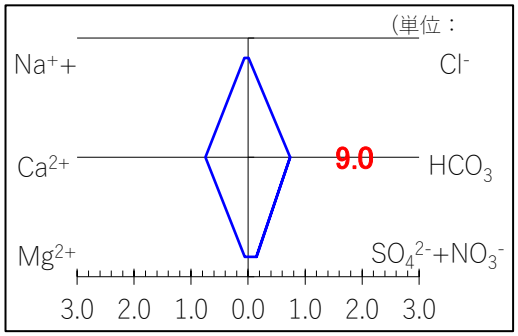
区分	番号	地点名	所在地	採水標高	溶存イオン当量値(meq/L) ＝ 物質量(mol/L)×イオン価数							
					Na^+	K^+	Ca^{2+}	Mg^{2+}	Cl^-	HCO_3^-	SO_4^{2-}	NO_3^-
大井川上流域（椹島より上流側）	河川 4	大井川（田代ダム上流）	静岡市	1397.0m	0.057	0.008	0.749	0.058	0.008	0.738	0.144	0.006
大井川上流域(椹島より下流側)～大井川中下流域	河川 1	大井川(富士見（ふじみ）橋)	吉田町	13.9m	0.161	0.036	0.649	0.107	0.048	0.590	0.291	0.029
	河川 2	大井川(神座（かんざ）)	島田市	98.6m	0.130	0.026	0.649	0.091	0.034	0.557	0.250	0.023
	河川 3	大井川(下泉（しもいずみ）橋)	川根本町	210.0m	0.104	0.026	0.649	0.082	0.017	0.557	0.229	0.018



地下水（16 東俣付近）　井戸深度：GL-44m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-16～-40m）



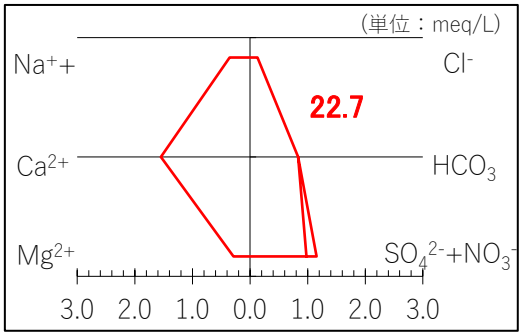
地下水（17 田代ダム付近）　井戸深度：GL-256m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-130～-250m）



河川水（04 大井川（田代ダム上流））　採水標高：1,397m

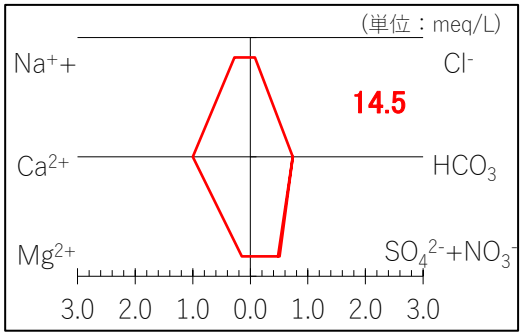
図 163　シュティフダイヤグラム（上流域（椹島より上流側））：豊水期調査

※図中の赤字で記載している数値は、電気伝導率（EC）（単位：mS/m）の計測結果を示しています。



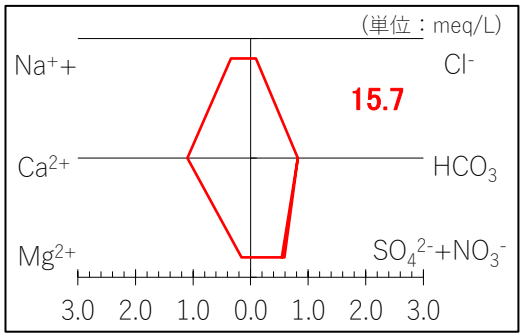
地下水（01 島-1（島田市））

井戸深度：GL-59m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-11～-42m）



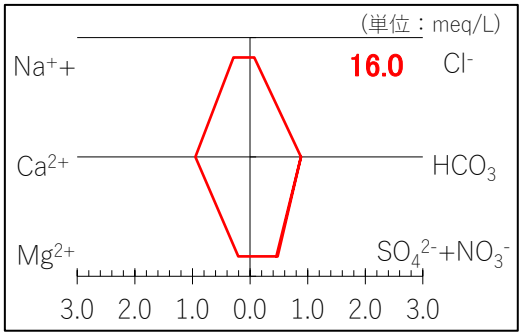
地下水（02 大柳南（島田市））

井戸深度：GL-82m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-42～-50m）



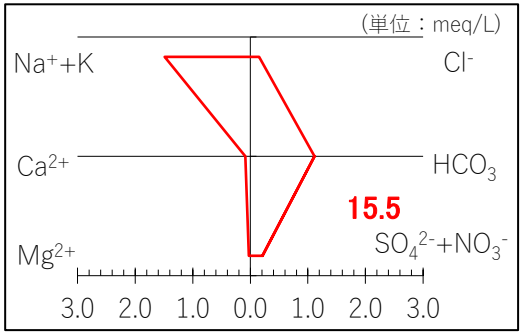
地下水（03 大幡（吉田町））

井戸深度：GL-20m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-5～-20m）



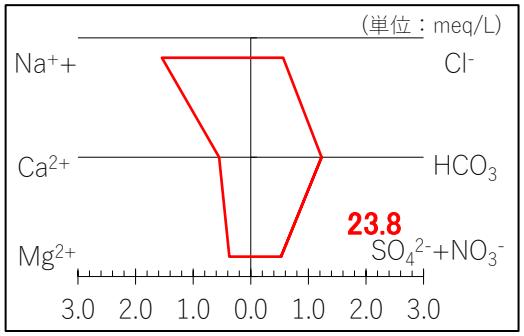
地下水（04 川尻Ｂ（吉田町））

井戸深度：GL-20m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-5～-20m）



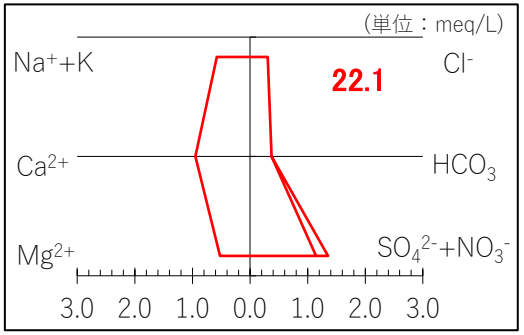
地下水（05 川尻Ａ（吉田町））

井戸深度：GL-150m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-127～-145m）



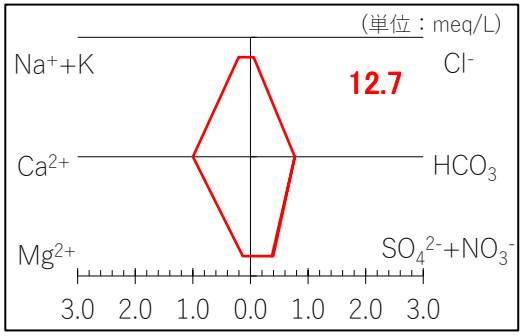
地下水（06 住吉（吉田町））

井戸深度：GL-51m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-37～-51m）



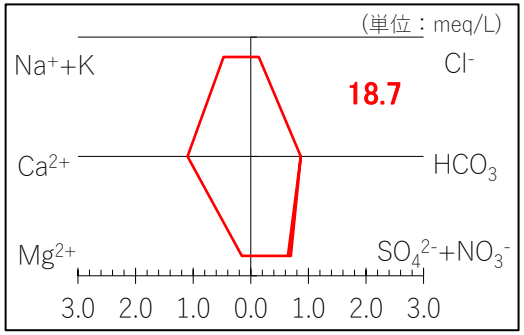
地下水（07 細江小（牧之原市））

井戸深度：GL-15m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-4～-12m）



地下水（08 横井（島田市））

井戸深度：GL-80m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-32～-50m）

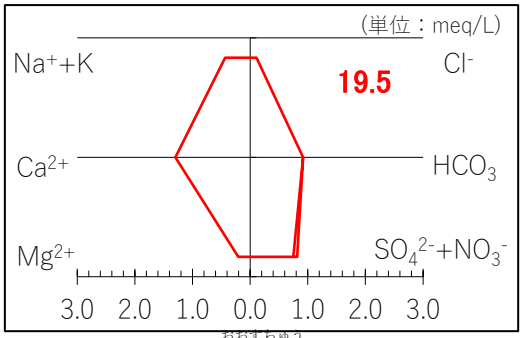


地下水（09 五平（藤枝市））

井戸深度：GL-90m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-42～-60m）

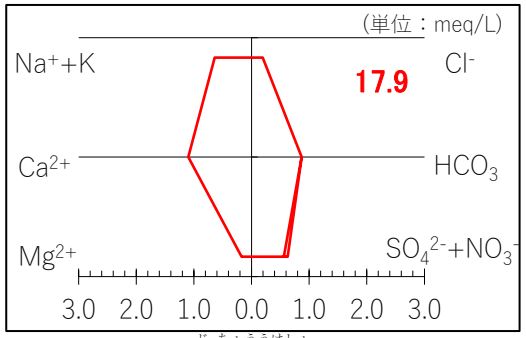
図 164　シュティフダイヤグラム（上流域（榛島より下流側）～中下流域）：豊水期調査

※図中の赤字で記載している数値は、電気伝導率（EC）（単位：mS/m）の計測結果を示しています。



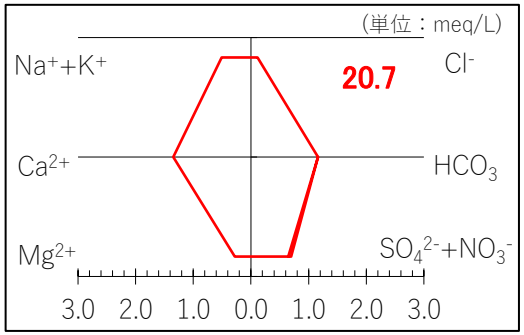
地下水（10 大洲中（藤枝市））

井戸深度：GL-80m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-50～-70m）



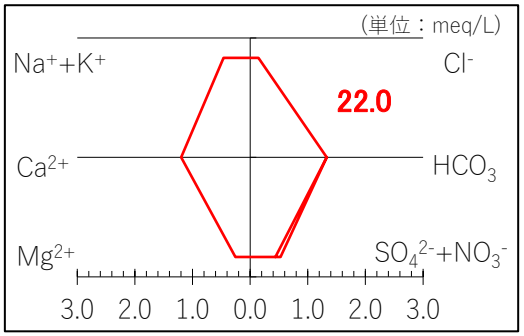
地下水（11 治長請所（焼津市））

井戸深度：GL-100m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-84～-100m）



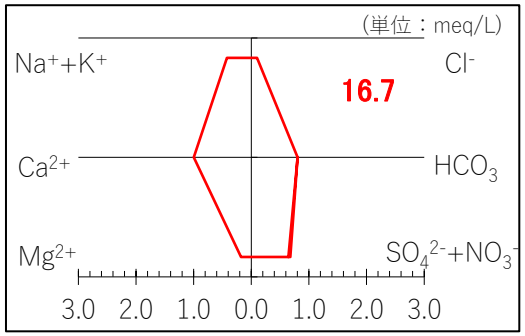
地下水（13 一色（焼津市））

井戸深度：GL-150m
（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-109～-127m）



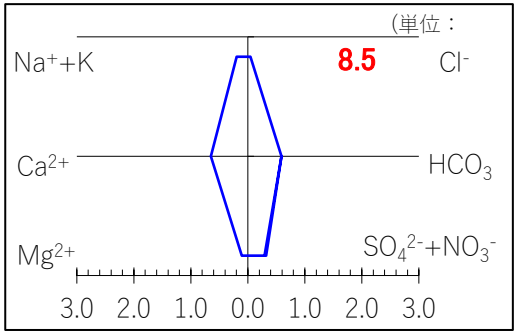
地下水（14 藤守（新）（焼津市））

井戸深度：GL-4m（ｽｸﾘｰﾝなし）



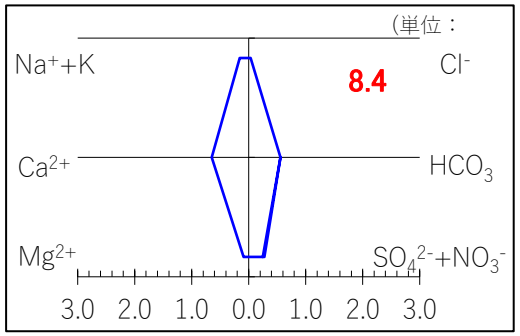
地下水（15 新大井川中（焼津市））

井戸深度：GL-120m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-68～-112m）



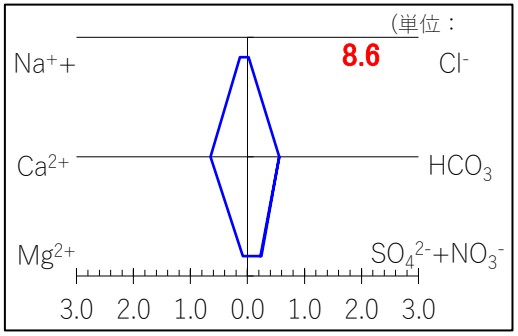
河川水（01 大井川（富士見橋）：吉田町）

採水標高：13.9m



河川水（02 大井川（神座）：島田市）

採水標高：98.6m



河川水（03 大井川（下泉橋）：川根本町）

採水標高：210.0m

図 165　シュティフダイヤグラム（上流域（椹島より下流側）～中下流域）：豊水期調査

※地点 12（大富小）は井戸孔内に既設のケーブル等が設置されており、採水不可になります。

※図中の赤字で記載している数値は、電気伝導率（EC）（単位：mS/m）の計測結果を示しています。

区分	分類	概要
Ⅰ	アルカリ土類非炭酸塩	熱水や化石水が含まれている水に多くみられる組成
Ⅱ	アルカリ土類炭酸塩	浅層地下水に多くみられる水質組成で日本では最も一般的な水質組成
Ⅲ	アルカリ炭酸塩	滞留時間の長い深層地下水でよくみられる水質組成
Ⅳ	アルカリ非炭酸	海水や温泉などで多くみられる水質組成

区分	番号	地点名	所在地	井戸深度	ｽｸﾘｰﾝ深度
上流域（椹島より上流側）	井戸16	東俣付近	静岡市	GL−44m	GL−16〜−40m
	井戸17	田代ダム付近		GL−256m	GL−130〜−250m
上流域（椹島より下流側）〜中下流域	井戸01	島−1	島田市	GL−59m	GL−11〜42m
	井戸02	大柳南		GL−82m	GL−42〜50m
	井戸03	大幡	吉田町	GL−20m	GL−5〜20m
	井戸04	川尻B		GL−20m	GL−5〜20m
	井戸05	川尻A		GL−150m	GL−127〜145m
	井戸06	住吉		GL−51m	GL−37〜51m
	井戸07	細江小	牧之原市	GL−15m	GL−4〜12m
	井戸08	横井	島田市	GL−80m	GL−32〜50m
	井戸09	五平（ごへい）	藤枝市	GL−90m	GL−42〜60m
	井戸10	大洲中（おおすちゅう）		GL−80m	GL−50〜70m
	井戸11	治長請所（じちょううけしょ）	焼津市	GL−100m	GL−84〜100m
	井戸13	一色（いっしき）		GL−150m	GL−109〜127m
	井戸14	藤守（ふじもり）（新）		GL−4m	−
	井戸15	新大井川中		GL−120m	GL−68〜112m

区分	番号	地点名	所在地	採水標高
上流域（椹島より上流側）	河川4	大井川（田代ダム上流）	静岡市	1397.0m
上流域（椹島より下流側）〜中下流域	河川1	大井川（富士見橋（ふじみ））	吉田町	13.9m
	河川2	大井川（神座（かんざ））	島田市	98.6m
	河川3	大井川（下泉橋（しもいずみ））	川根本町	210.0m

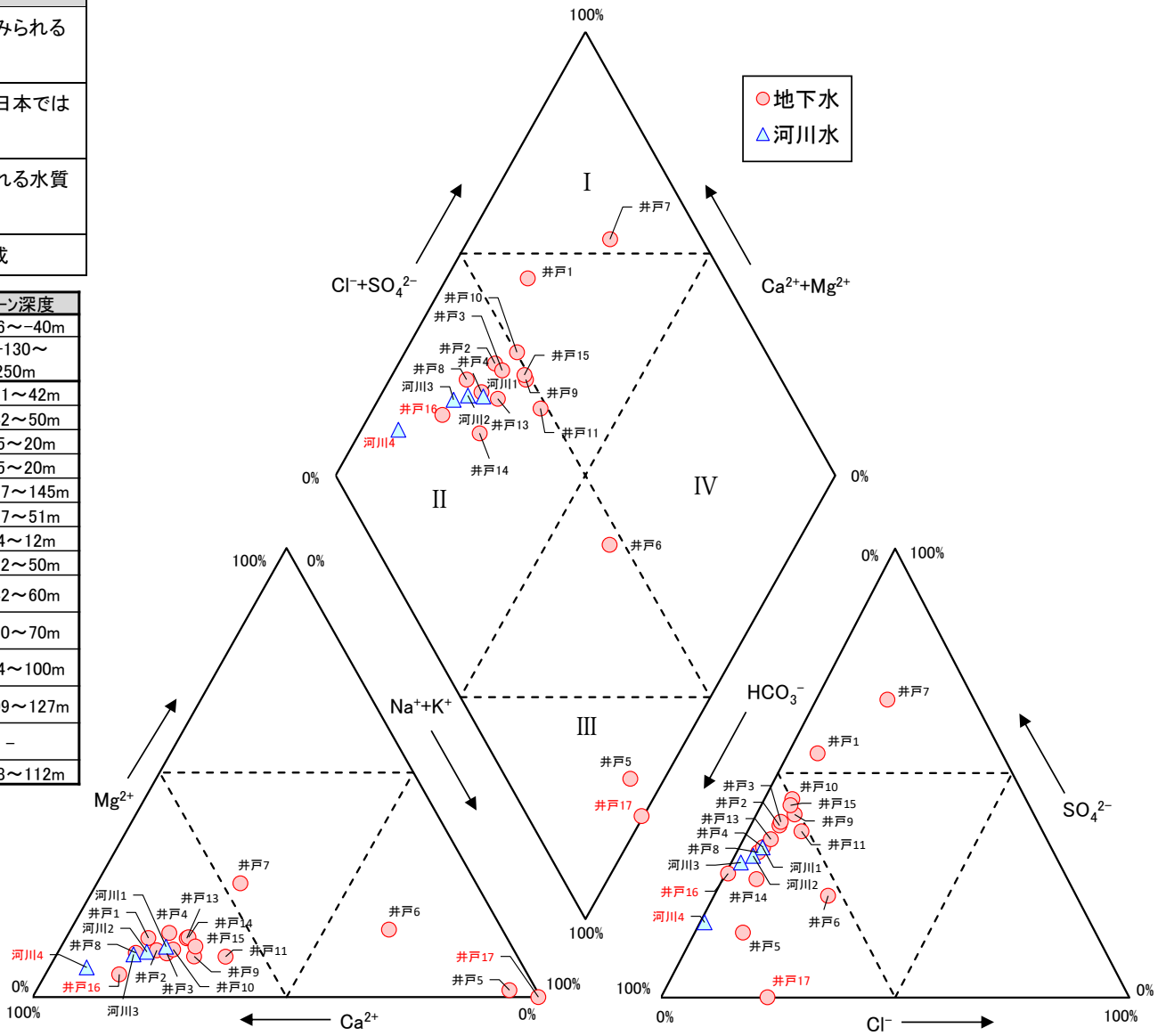


図 166　トリリニアダイヤグラム：豊水期調査

※図中の赤字は上流域（椹島より上流側）の地点、その他は上流域（椹島より下流側）〜中下流域の地点になります。

1.8.6.2 酸素・水素安定同位体比

a. 湧水の集水域の平均標高-安定同位体比関係式の算出結果

地形的に集水域が限定され、涵養標高を特定することが可能な湧水において、同位体比を分析し、それらの同位体比－涵養標高関係における回帰直線から、地下水涵養線を作成しました。

各湧水地点における安定同位体比の値を表 128 に、また地下水涵養線の算出結果を図 167 に示します。標高に伴う酸素安定同位体比の低減率は－０．４４‰／１００m、水素安定同位体比のそれは－３．６‰/１００mと算出されました。

表 128　安定同位体比の測定結果（湧水）：豊水期調査

No.	名称	所在地	採水標高	涵養標高※	δD (‰)	$\delta^{18}O$ (‰)
湧水 1	吉永ｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾟｰｸ	焼津市	4.1m	4.3m	-60.09	-9.14
湧水 2	清水屋の湧き水	藤枝市	91.2m	155.3m	-42.20	-6.77
湧水 3	小長井（こながい）の湧き水	川根本町	300.7m	428.0m	-49.78	-7.66
湧水 4	智満寺（ちまんじ）の霊水	島田市	332.0m	402.2m	-40.13	-6.72
湧水 5	奥大井の湧き水	静岡市	810.4m	882.1m	-57.12	-8.68
湧水 6	木賊（とくさ）付近の湧き水	静岡市	1211.8m	1299.2m	-78.85	-11.33

※涵養標高は、各湧水地点の集水域を地形図から求め、その平均標高としました。ただし、湧水 1（吉永ｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾟｰｸ）については、集水域を地形図から明確に求めることができなかったため、参考値として取り扱いました。

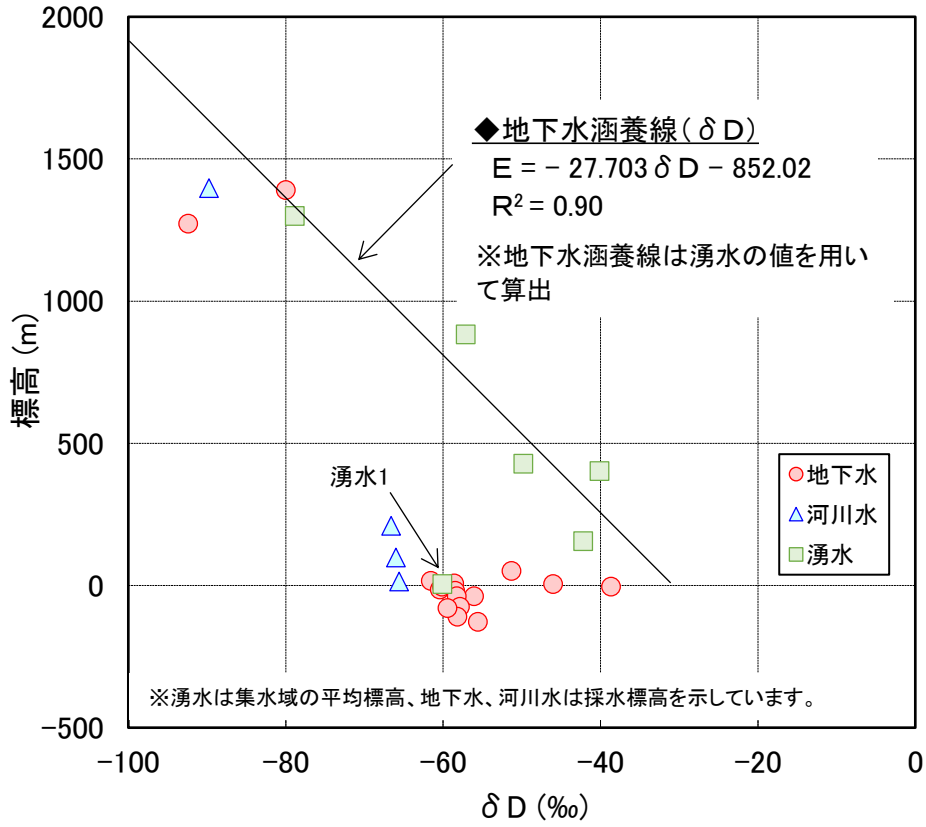


図 167　地下水涵養線（δD）の算出結果：豊水期調査

※湧水 1（吉永ｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾟｰｸ）については、集水域を地形図から明確に求めることができず、計測結果からも地形的に集水域が限定される湧水ではないと考えられることから、地下水涵養線の作成にあたっては除外しました。

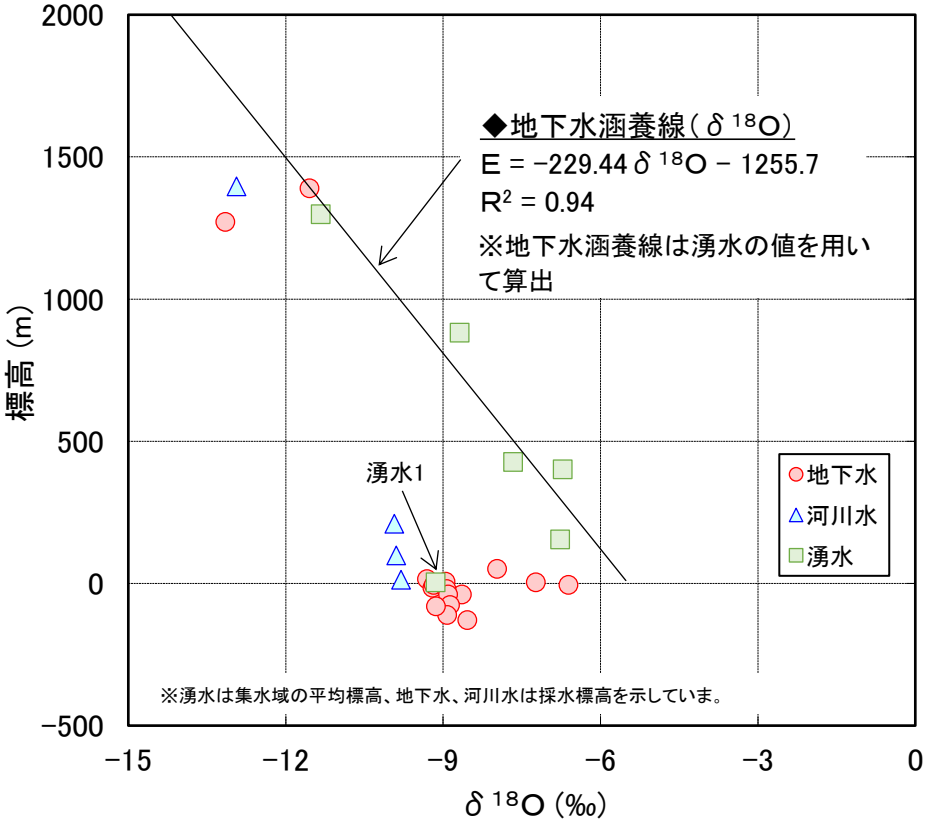


図 168　地下水涵養線（δ^{18}O）の算出結果：豊水期調査

※湧水 1（吉永ｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾟｰｸ）については、集水域を地形図から明確に求めることができず、計測結果からも地形的に集水域が限定される湧水ではないと考えられることから、地下水涵養線の作成にあたっては除外しました。

b. 涵養標高の算出結果：豊水期調査

・地下水、河川水の安定同位体比の測定結果及びこの測定結果と前述の地下水涵養線から推定した平均的な涵養標高の値を表 129 に示します。

表 129　安定同位体比の測定結果等（地下水）：豊水期調査

区分	番号	地点名	所在地	孔口標高	井戸深度	スクリーン深度	採水箇所		δD(‰)	$\delta^{18}O$(‰)	測定結果と地下水涵養線から推定した平均涵養標高(m)		
							深度※	標高			δD	$\delta^{18}O$	平均
大井川上流域（椹島より上流側）	16	東俣付近	静岡市	1,417m	GL-44m	GL-16～-40m	-28.0m	1389.4m	-79.97	-11.55	約 1,400	約 1,400	約 1,400
	17	田代ダム付近		1,402m	GL-256m	GL-130～-250m	-130.0m	1272.1m	-92.38	-13.15	約 1,700	約 1,800	約 1,700
大井川上流域（椹島より下流側）～大井川中下流域	01	島-1	島田市	77.74m	GL-59m	GL-11～42m	-26.5m	51.2m	-51.33	-7.97	約 600	約 600	約 600
	02	大柳南		31.5m	GL-82m	GL-42～50m	-46.0m	-14.5m	-60.43	-9.20	約 800	約 900	約 800
	03	大幡	吉田町	19.06m	GL-20m	GL-5～20m	-12.5m	6.6m	-58.60	-8.95	約 800	約 800	約 800
	04	川尻 B		8.06m	GL-20m	GL-5～20m	-12.5m	-4.4m	-60.14	-9.18	約 800	約 900	約 800
	05	川尻 A		7.87m	GL-150m	GL-127～145m	-136.0m	-128.1m	-55.59	-8.54	約 700	約 700	約 700
	06	住吉		5.43m	GL-51m	GL-37～51m	-44.0m	-38.6m	-56.07	-8.64	約 700	約 700	約 700
	07	細江小	牧之原市	4.44m	GL-15m	GL-4～12m	-9.0m	-4.6m	-38.64	-6.61	約 200	約 300	約 200
	08	横井	島田市	56.4m	GL-80m	GL-32～50m	-40.9m	15.5m	-61.58	-9.31	約 900	約 900	約 900
	09	五平（ごへい）	藤枝市	31.52m	GL-90m	GL-42～60m	-50.8m	-19.2m	-58.48	-8.93	約 800	約 800	約 800
	10	大洲中（おおすちゅう）		22.11m	GL-80m	GL-50～70m	-60.0m	-37.9m	-58.27	-8.90	約 800	約 800	約 800
	11	治長請所（じちょううけしょ）	焼津市	16.55m	GL-100m	GL-84～100m	-92.0m	-75.5m	-57.87	-8.86	約 800	約 800	約 800
	13	一色（いっしき）		7.89m	GL-150m	GL-109～127m	-117.9m	-110.0m	-58.19	-8.93	約 800	約 800	約 800
	14	藤守（ふじもり）(新)		8.2m	GL-4m	-	-3.6m	4.6m	-46.00	-7.23	約 400	約 400	約 400
	15	新大井川中		10.3m	GL-120m	GL-68～112m	-90.0m	-79.7m	-59.43	-9.14	約 800	約 800	約 800

※採水深度は、井戸孔口からの深度を示しています。また、スクリーン設置区間の中間地点付近を基本としました。

※地点 12（大富小）は井戸孔内に既設のケーブル等が設置されており、採水不可となっています。

表 130 安定同位体比の測定結果等（河川水）：豊水期調査

区分	番号	地点名	所在地	採水標高	δD(‰)	$\delta^{18}O$(‰)	測定結果と地下水涵養線から推定した平均涵養標高(m)		
							δD	$\delta^{18}O$	平均
大井川上流域（椹島より上流側）	河川 4	大井川（田代ダム上流）	静岡市	1397.0m	-89.74	-12.94	約 1,600	約 1,700	約 1,700
大井川上流域（椹島より下流側）～大井川中下流域	河川 1	大井川(富士見（ふじみ）橋)	吉田町	13.9m	-65.60	-9.80	約 1,000	約 1,000	約 1,000
	河川 2	大井川(神座（かんざ）)	島田市	98.6m	-65.99	-9.89	約 1,000	約 1,000	約 1,000
	河川 3	大井川(下泉（しもいずみ）橋)	川根本町	210.0m	-66.61	-9.93	約 1,000	約 1,000	約 1,000

1.8.6.3 不活性ガス等

a. 大気中のＳＦ$_6$濃度の補正結果

大気中のＳＦ$_6$濃度の経年変化曲線を補正するために実施した、現地調査結果を表 131 及び表 132 に示します。

各計測結果について、公開されている北半球の平均値（１０．２１pptv：２０２０年９月時点）よりも大きい値となっており、また、大井川下流域の地点（大気１（富士見橋付近））が最も大きい値となっています。

公開されている大気中のＳＦ$_6$濃度の経年変化曲線（北半球平均値）の補正については、大気１（富士見橋付近）の各調査結果の平均値を用いて、図 169 のとおり、超過率１５％を乗じて実施しました。

表 131　大気中のＳＦ$_6$濃度の計測結果（春季）

No.	調査地点	調査日	時刻	天気	気温 (℃)	SF_6濃度 (pptv)
大気１	富士見橋付近 (大井川下流域)	2020/5/30	0:00	晴れ	18.1	11.9
			8:00	晴れ	24.8	11.7
			16:00	曇り	26.1	11.3
大気２	千頭付近 (大井川中流域)	2020/5/29	0:00	晴れ	18.0	11.5
			8:00	晴れ	22.3	10.8
			16:00	雨	18.4	11.2
大気３	椹島付近 (大井川上流域)	2020/5/2	0:00	曇り	12.1	11.3
			8:00	晴れ	17.2	11.3
			16:00	晴れ	23.3	11.2

表 132　大気中のＳＦ$_6$濃度の計測結果（夏季）

No.	調査地点	調査日	時刻	天気	気温 (℃)	SF_6濃度 (pptv)
大気１	富士見橋付近 (大井川下流域)	2020/8/1	0:00	曇り	28.4	11.4
			8:00	晴れ	29.6	12.1
			16:00	晴れ	33.7	11.8
大気２	千頭付近 (大井川中流域)	2020/8/1	0:00	晴れ	24.3	11.2
			8:00	晴れ	25.9	11.2
			16:00	晴れ	27.9	11.6
大気３	椹島付近 (大井川上流域)	2020/8/9	21:00	晴れ	24.7	10.3
		2020/8/10	5:00	晴れ	21.5	11.0
			13:00	晴れ	25.1	10.3

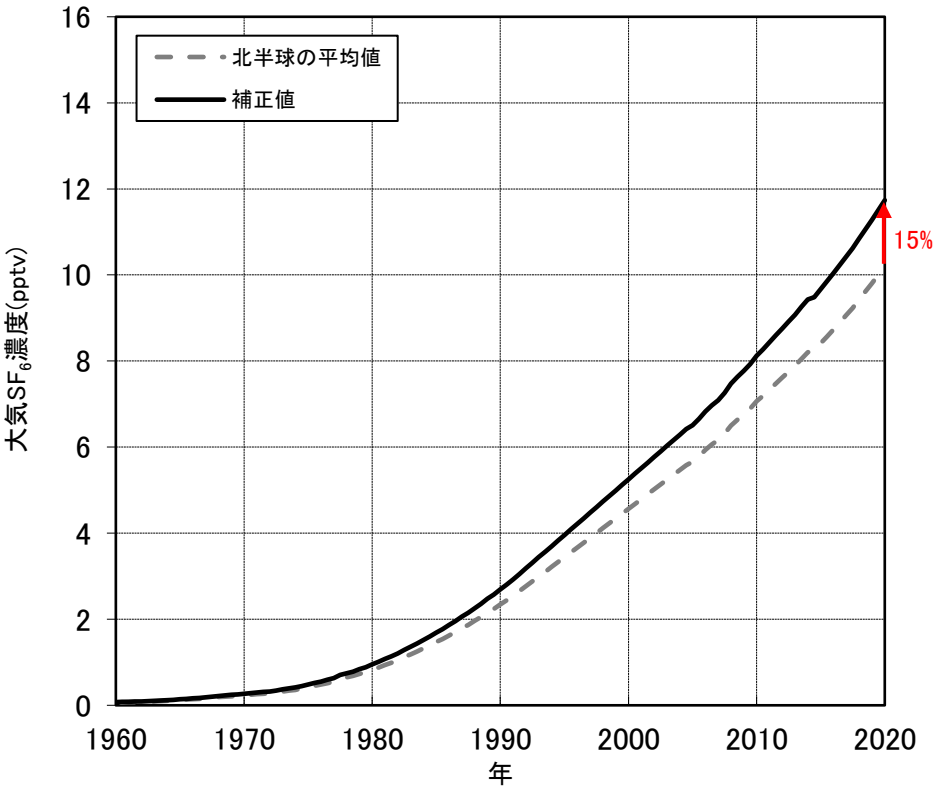


図 169　大気中のＳＦ６濃度の経年変化曲線（北半球平均値）の補正結果：豊水期調査

b. 滞留時間の算出結果：豊水期調査

・地下水のＳＦ$_6$の測定結果と、大気中のＳＦ$_6$濃度の経年変化曲線（図 169）をもとに算出した地下水の滞留時間の推定結果を表 133 及び表 134 に示します。また、参考として、河川水のＳＦ$_6$の測定結果と滞留時間の推定結果も合わせてお示しします。

・また、大井川上流域（椹島より上流側）の地下水は滞留時間が長いことが想定され、また断層等の近傍であることから自然由来のＳＦ$_6$が付加されている可能性も考えられたことから、トリチウムによる年代推定も、追加して実施しました。トリチウムの測定結果と、公表されている降水中のトリチウム濃度をもとに算出した地下水の滞留時間の推定結果を表 135 及び図 170 に示します。

表 133　ＳＦ$_6$濃度の測定結果及び滞留時間の推定結果（地下水）：豊水期調査

区分	番号	地点名	所在地	孔口標高	井戸深度	スクリーン深度	採水箇所		SF_6濃度（大気換算）(pptv)	滞留時間
							深度※	標高		
大井川上流域 （椹島より上流側）	16	東俣付近	静岡市	1,417m	GL-44m	GL-16～-40m	-28.0m	1389.4m	0.3	約 49 年
	17	田代ダム付近		1,402m	GL-256m	GL-130～-250m	-130.0m	1272.1m	0.4	約 47 年
大井川上流域 （椹島より下流側） ～大井川中下流域	01	島-1	島田市	77.74m	GL-59m	GL-11～42m	-26.5m	51.2m	5.9	約 18 年
	02	大柳南		31.5m	GL-82m	GL-42～50m	-46.0m	-14.5m	5.7	約 19 年
	03	大幡	吉田町	19.06m	GL-20m	GL-5～20m	-12.5m	6.6m	6.8	約 15 年
	04	川尻 B		8.06m	GL-20m	GL-5～20m	-12.5m	-4.4m	4.9	約 22 年
	05	川尻 A		7.87m	GL-150m	GL-127～145m	-136.0m	-128.1m	0.5	約 44 年
	06	住吉		5.43m	GL-51m	GL-37～51m	-44.0m	-38.6m	0.5	約 45 年
	07	細江小	牧之原市	4.44m	GL-15m	GL-4～12m	-9.0m	-4.6m	3.0	約 29 年
	08	横井	島田市	56.4m	GL-80m	GL-32～50m	-40.9m	15.5m	7.4	約 13 年
	09	五平（ごへい）	藤枝市	31.52m	GL-90m	GL-42～60m	-50.8m	-19.2m	7.0	約 14 年
	10	大洲中（おおすちゅう）		22.11m	GL-80m	GL-50～70m	-60.0m	-37.9m	7.8	約 11 年
	11	治長請所（じちょううけしょ）	焼津市	16.55m	GL-100m	GL-84～100m	-92.0m	-75.5m	9.4	約 7 年
	13	一色（いっしき）		7.89m	GL-150m	GL-109～127m	-117.9m	-110.0m	9.4	約 7 年
	14	藤守（ふじもり）(新)		8.2m	GL-4m	-	-3.6m	4.6m	5.2	約 21 年
	15	新大井川中		10.3m	GL-120m	GL-68～112m	-90.0m	-79.7m	6.5	約 16 年

※採水深度は、井戸孔口からの深度を示しています。また、スクリーン設置区間の中間地点付近を基本としました。

※地点 12（大富小）は井戸孔内に既設のケーブル等が設置されており、採水不可となっております。

※SF_6濃度（大気換算）は、水中の SF_6濃度をヘンリーの溶解平衡式を用いて地下水涵養時の大気濃度に変換しました。

表 134　ＳＦ$_6$濃度の測定結果及び滞留時間の推定結果（河川水）：豊水期調査

区分	番号	地点名	所在地	採水標高	SF_6濃度（大気換算）(pptv)	滞留時間
大井川上流域 （椹島より上流側）	河川 4	大井川 （田代ダム上流）	静岡市	1397.0m	6.4	約 16 年
大井川上流域 （椹島より下流側） ～大井川中下流域	河川 1	大井川（富士見（ふじみ）橋）	吉田町	13.9m	5.9	約 18 年
	河川 2	大井川（神座（かんざ））	島田市	98.6m	6.2	約 17 年
	河川 3	大井川（下泉（しもいずみ）橋）	川根本町	210.0m	7.6	約 12 年

※SF_6濃度（大気換算）は、水中の SF_6濃度をヘンリーの溶解平衡式を用いて地下水涵養時の大気濃度に変換しました。

表 135　トリチウム濃度の測定結果及び滞留時間の推定結果（地下水）：豊水期調査

区分	番号	名称	採水箇所		トリチウム濃度 (TU)	滞留時間
			深度	標高		
大井川上流域（椹島より上流側）	16	東俣付近	-60.4m	1357.6m	1.8	約 50 年以下
	17	田代ダム付近	-130.0m	1272.1m	0.3 未満	約 60 年以上

※採水深度は、井戸孔口からの深度を示しています。また、スクリーン設置区間の中間地点付近を基本としました。

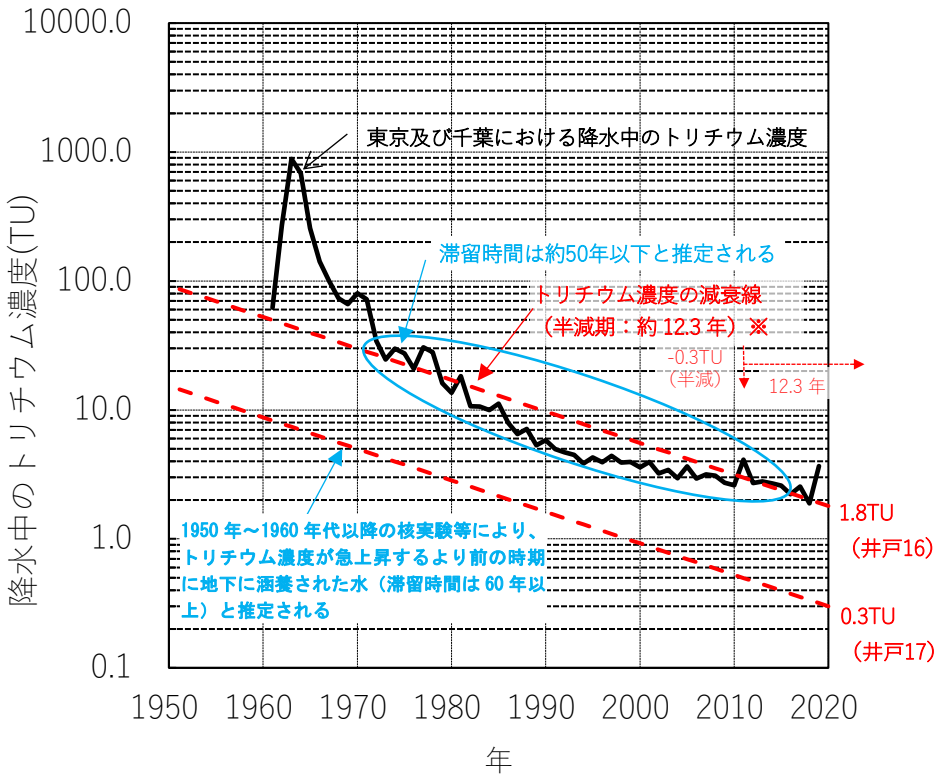


図 170　降水中のトリチウム濃度の経年変化曲線及び滞留時間の推定結果：豊水期調査

出典：原子力規制庁.”環境放射線データベース”.(https://search.kankyo-hoshano.go.jp/servlet/search.top)（参照 2020-9-14）をもとに作成

※トリチウムは（^{3}H）は水素の放射性同位体であり、放射性同位体は放射壊変によって一定率で濃度が低下するとされており、トリチウムの場合は半減期が約 12.3 年とされています。現時点におけるトリチウム濃度の計測結果から減衰線を作成し、公表されている降水中のトリチウム濃度との交点を求めることにより、涵養年を推定することができます。

1.8.7 大井川上流域（河川・湧水・地下水）渇水期

別紙調査地点図に対し以下調査結果の調査地点番号、地点名については表 136 の通り、対応しております。

表 136　調査地点対応表（渇水期）

調査地点位置図		別冊（1.7 化学的な成分分析）	
番号	調査地点名	番号	調査地点名
河 06	田代ダム上流	河川 4	大井川（田代ダム上流）
河 20	下泉橋	河川 3	大井川（下泉橋）
河 21	神座	河川 2	大井川（神座）
河 22	富士見橋	河川 1	大井川（富士見橋）
河 23	栃山川（上小田橋）	河川 5	栃山川（上小田橋）
河 24	栃山川（土瑞橋）	河川 6	栃山川（土瑞橋）
河 25	栃山川（弘法橋）	河川 7	栃山川（弘法橋）
地下水 2	東俣	井戸 16	東俣付近
地下水 3-1	田代（深井戸）	井戸 17	田代ダム付近
地下水 12	島田市島	井戸 01	島－１
地下水 13	島田市大柳	井戸 02	大柳南
地下水 14	吉田町大幡	井戸 03	大幡
地下水 15	吉田町川尻 B	井戸 04	川尻 B
地下水 16	吉田町川尻 A	井戸 05	川尻 A
地下水 17	吉田町住吉	井戸 06	住吉
地下水 18	牧之原市細江	井戸 07	細江小
地下水 19	島田市横井	井戸 08	横井
地下水 20	藤枝市大西町	井戸 09	五平
地下水 21	藤枝市弥左エ門	井戸 10	大洲中
地下水 22	焼津市治長請所	井戸 11	治長請所
地下水 24	焼津市一色	井戸 13	一色
地下水 25	焼津市藤守	井戸 14	藤守
地下水 26	焼津市下江留	井戸 15	新大井川中
湧 06	吉永コミュニティパーク	湧水 1	吉永コミュニティパーク
湧 07	清水屋の湧き水	湧水 2	清水屋の湧き水
湧 08	智満寺の霊水	湧水 4	智満寺の霊水
湧 09	湯日川源流部	湧水 7	湯日川源流部
湧 10	坂口谷川源流部	湧水 8	坂口谷川源流部
湧 11	勝間田川源流部	湧水 9	勝間田川源流部
湧 12	木賊の湧き水	湧水 6	木賊の湧き水
湧 13	小長井の湧き水	湧水 3	小長井の湧き水
湧 14	奥大井の湧き水	湧水 5	奥大井の湧き水
大気環境 02	椹島ロッヂ	大気 3	椹島付近（大井川上流域）
大気環境 04	河 22 富士見橋	大気 2	河 22 富士見橋（大井川下流域）
大気環境 05	千頭付近	大気 2	千頭付近（大井川中流域）

1.8.7.1 溶存イオン

地下水、河川水の溶存イオン、ｐＨ、電気伝導率（EC)、水温の測定結果を表 137～表 139 に示します。また、溶存イオンについて、電解質の濃度を表す単位である当量値（＝物質量×イオン価数）に換算したものを表 140～表 142 に示します。

また、シュティフダイヤグラム、トリリニアダイヤグラムをそれぞれ図 171～図 175 及び図 176 に示します。

表 137　溶存イオン、ｐＨ、電気伝導率（EC）の測定結果（地下水）：渇水期調査

区分	番号	地点名	所在地	孔口標高	井戸深度	スクリーン深度	採水箇所		溶存イオン(mg/L)								pH	電気伝導率(EC)(mS/m)	水温(℃)
							深度※	標高	Na^+	K^+	Ca^{2+}	Mg^{2+}	Cl^-	HCO_3^-	SO_4^{2-}	NO_3^-			
大井川上流域（椹島より上流側）	16	東俣付近	静岡市	1,417m	GL-44m	GL-16～-40m	-28.0m	1389.4m	6.3	0.4	36.0	1.3	0.5	87.0	29.0	<0.4	8.2	20.8	9.2
	17	田代ダム付近		1,402m	GL-256m	GL-130～-250m	-190.0m	1212.1m	470.0	5.5	0.9	0.1	170.0	750.0	0.2	<0.4	9.2	187.2	9.3
大井川上流域（椹島より下流側）～大井川中下流域	01	島-1	島田市	77.74m	GL-59m	GL-11～42m	-26.5m	51.2m	6.2	1.6	21.0	2.5	4.8	59.0	20.0	1.9	7.8	16.3	17.5
	02	大柳南		31.5m	GL-82m	GL-42～50m	-46.0m	-14.5m	6.0	1.0	19.0	1.8	3.2	48.0	22.0	1.7	7.2	14.8	15.9
	03	大幡	吉田町	19.06m	GL-20m	GL-5～20m	-12.5m	6.6m	6.7	1.2	20.0	1.8	2.4	49.0	26.0	2.7	6.8	15.1	16.8
	04	川尻 B		8.06m	GL-20m	GL-5～20m	-12.5m	-4.4m	5.9	1.2	20.0	2.3	2.6	46.0	31.0	1.3	6.9	16.3	16.1
	05	川尻 A		7.87m	GL-150m	GL-127～145m	-136.0m	-128.1m	34.0	0.3	1.7	0.3	5.2	67.0	11.0	<0.4	7.0	15.6	15.8
	06	住吉		5.43m	GL-51m	GL-37～51m	-44.0m	-38.6m	32.0	0.8	9.1	4.4	17.0	74.0	23.0	<0.4	7.0	23.2	17.8
	07	細江小	牧之原市	4.44m	GL-15m	GL-4～12m	-9.0m	-4.6m	12.0	5.5	17.0	6.2	12.0	12.0	64.0	12.0	5.6	23.4	19.1
	08	横井	島田市	56.4m	GL-80m	GL-32～50m	-40.9m	15.5m	4.6	1.0	19.0	1.7	3.2	47.0	19.0	1.3	7.3	13.7	14.9
	09	五平（ごへい）	藤枝市	31.52m	GL-90m	GL-42～60m	-50.8m	-19.2m	14.0	1.7	31.0	2.3	6.5	53.0	54.0	2.1	6.8	23.7	17.4
	10	大洲中（おおすちゅう）		22.11m	GL-80m	GL-50～70m	-60.0m	-37.9m	9.5	1.3	24.0	2.4	3.7	55.0	32.0	4.7	6.6	19.0	17.3
	11	治長請所（じちょううけしょ）	焼津市	16.55m	GL-100m	GL-84～100m	-92.0m	-75.5m	12.0	1.2	19.0	2.1	6.6	54.0	24.0	3.9	6.7	17.8	17.4
	13	一色（いっしき）		7.89m	GL-150m	GL-109～127m	-117.9m	-110.0m	11.0	1.2	23.0	2.9	4.3	65.0	30.0	3.8	6.8	20.0	16.9
	14	藤守（ふじもり）(新)		8.2m	GL-4m	-	-3.6m	4.6m	9.4	2.6	24.0	3.0	5.1	69.0	27.0	2.8	6.5	20.2	14.0
	15	新大井川中		10.3m	GL-120m	GL-68～112m	-90.0m	-79.7m	8.7	1.1	21.0	2.1	3.1	50.0	33.0	1.8	7.2	17.6	16.3

※採水深度は、井戸孔口からの深度を示しています。また、スクリーン設置区間の中間地点付近を基本としました。
※地点 12（大富小）は井戸孔内に既設のケーブル等が設置されており、採水不可となっております。

表 138　溶存イオン、ｐＨ、電気伝導率（EC）の測定結果（河川水）：渇水期調査

区分	番号	地点名	所在地	採水標高	溶存イオン(mg/L)								pH	電気伝導率(EC)	水温
					Na^+	K^+	Ca^{2+}	Mg^{2+}	Cl^-	HCO_3^-	SO_4^{2-}	NO_3^-		(mS/m)	(℃)
大井川上流域（椹島より上流側）	河川 4	大井川（田代ダム上流）	静岡市	1397.0m	1.8	0.3	21.0	1.1	0.5	56.0	13.0	<0.4	8.4	12.9	0.9
大井川上流域（椹島より下流側）～大井川中下流域	河川 1	大井川（富士見橋）	吉田町	13.9m	13.0	1.5	39.0	2.1	6.9	51.0	80.0	1.6	7.5	34.6	12.7
	河川 2	大井川（神座）	島田市	98.6m	8.6	1.1	19.0	2.0	8.5	42.0	27.0	2.0	7.8	16.8	11.4
	河川 3	大井川（下泉橋）	川根本町	210.0m	3.8	0.9	19.0	1.8	1.0	45.0	24.0	1.1	8.3	13.6	10.3
	河川 5	栃山川（上小田橋）	焼津市	8.0m	5.0	1.0	19.0	1.7	2.1	49.0	20.0	2.0	7.1	14.8	11.8
	河川 6	栃山川（土瑞橋）	藤枝市	15.3m	4.4	0.8	19.0	1.4	1.6	46.0	20.0	1.4	8.2	13.8	7.3
	河川 7	栃山川（弘法橋）	島田市	38.3m	3.8	0.7	18.0	1.4	1.4	48.0	19.0	0.9	7.8	13.0	8.1

表 139　溶存イオン、ｐＨ、電気伝導率（EC）の測定結果（湧水）：渇水期調査

区分	番号	地点名	所在地	採水標高	溶存イオン(mg/L)								pH	電気伝導率(EC)	水温
					Na^+	K^+	Ca^{2+}	Mg^{2+}	Cl^-	HCO_3^-	SO_4^{2-}	NO_3^-		(mS/m)	(℃)
大井川上流域（椹島より下流側）～大井川中下流域	湧水 7	湯日川源流部	島田市	189.7m	15.0	5.0	30.0	18.0	9.1	1.2	100.0	87.0	4.8	43.4	16.0
	湧水 8	坂口谷川源流部	牧之原市	106.4m	18.0	1.0	24.0	4.2	5.4	64.0	52.0	2.6	7.1	25.5	5.4
	湧水 9	勝間田川源流部	島田市	165.7m	14.0	4.1	19.0	11.0	7.7	1.0	86.0	67.0	4.5	34.5	12.3

表 140　溶存イオンの当量値（地下水）：渇水期調査

区分	番号	地点名	所在地	孔口標高	井戸深度	スクリーン深度	採水箇所		溶存イオン当量値(meq/L) ＝ 物質量(mol/L)×イオン価数							
							深度	標高	Na^+	K^+	Ca^{2+}	Mg^{2+}	Cl^-	HCO_3^-	SO_4^{2-}	NO_3^-
大井川上流域（椹島より上流側）	16	東俣付近	静岡市	1,417m	GL-44m	GL-16～-40m	-28.0m	1390.0m	0.274	0.010	1.796	0.107	0.014	1.426	0.604	0.006
	17	田代ダム付近		1,402m	GL-256m	GL-130～-250m	-190.0m	1212.1m	20.444	0.141	0.045	0.008	4.795	12.292	0.004	0.006
大井川上流域（椹島より下流側）～大井川中下流域	01	島-1	島田市	77.74m	GL-59m	GL-11～42m	-26.5m	51.2m	0.270	0.041	1.048	0.206	0.135	0.967	0.416	0.031
	02	大柳南		31.5m	GL-82m	GL-42～50m	-46.0m	-14.5m	0.261	0.026	0.948	0.148	0.090	0.787	0.458	0.027
	03	大幡	吉田町	19.06m	GL-20m	GL-5～20m	-12.5m	6.6m	0.291	0.031	0.998	0.148	0.068	0.803	0.541	0.044
	04	川尻 B		8.06m	GL-20m	GL-5～20m	-12.5m	-4.4m	0.257	0.031	0.98	0.189	0.073	0.754	0.645	0.021
	05	川尻 A		7.87m	GL-150m	GL-127～145m	-136.0m	-128.1m	1.479	0.008	0.085	0.025	0.147	1.098	0.229	0.006
	06	住吉		5.43m	GL-51m	GL-37～51m	-44.0m	-38.6m	1.392	0.020	0.454	0.362	0.480	1.213	0.479	0.006
	07	細江小	牧之原市	4.44m	GL-15m	GL-4～12m	-9.0m	-4.6m	0.522	0.141	0.848	0.510	0.338	0.197	1.332	0.194
	08	横井	島田市	56.4m	GL-80m	GL-32～50m	-40.9m	15.5m	0.200	0.026	0.948	0.140	0.090	0.770	0.396	0.021
	09	五平（ごへい）	藤枝市	31.52m	GL-90m	GL-42～60m	-50.8m	-19.2m	0.609	0.043	1.547	0.189	0.183	0.869	1.124	0.034
	10	大洲中（おおすちゅう）		22.11m	GL-80m	GL-50～70m	-60.0m	-37.9m	0.413	0.033	1.198	0.197	0.104	0.901	0.666	0.076
	11	治長請所（じちょううけしょ）	焼津市	16.55m	GL-100m	GL-84～100m	-92.0m	-75.5m	0.522	0.031	0.948	0.173	0.186	0.885	0.5000	0.063
	13	一色（いっしき）		7.89m	GL-150m	GL-109～127m	-117.9m	-110.0m	0.478	0.031	1.148	0.239	0.121	1.065	0.625	0.061
	14	藤守(新)（ふじもり）		8.2m	GL-4m	-	-3.6m	4.6m	0.409	0.066	1.198	0.247	0.144	1.131	0.562	0.045
	15	新大井川中		10.3m	GL-120m	GL-68～112m	-90.0m	-79.7m	0.378	0.028	1.048	0.173	0.087	0.819	0.687	0.029

※採水深度は、井戸孔口からの深度を示しています。また、スクリーン設置区間の中間地点付近を基本としました。

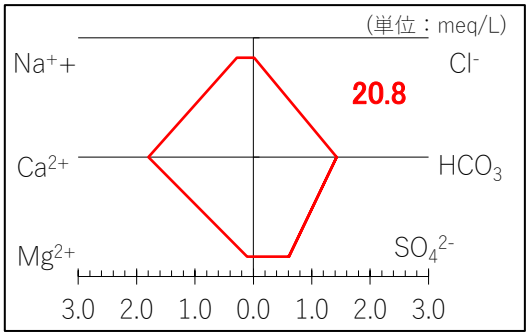
※地点 12（大富小）は井戸孔内に既設のケーブル等が設置されており、採水不可となっております。

表 141　溶存イオンの当量値（河川水）：渇水期調査

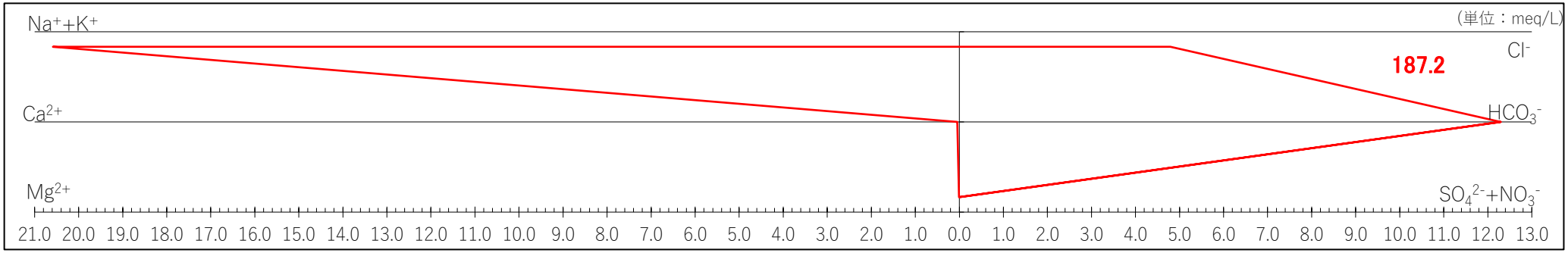
区分	番号	地点名	所在地	採水標高	溶存イオン当量値(meq/L) ＝ 物質量(mol/L)×イオン価数							
					Na^+	K^+	Ca^{2+}	Mg^{2+}	Cl^-	HCO_3^-	SO_4^{2-}	NO_3^-
大井川上流域（椹島より上流側）	河川 4	大井川（田代ダム上流）	静岡市	1397.0m	0.078	0.008	1.048	0.091	0.014	0.918	0.271	0.006
大井川上流域（椹島より下流側）～大井川中下流域	河川 1	大井川(富士見橋)	吉田町	13.9m	0.565	0.038	1.946	0.173	0.195	0.836	1.666	0.026
	河川 2	大井川(神座)	島田市	98.6m	0.374	0.028	0.948	0.165	0.240	0.688	0.562	0.032
	河川 3	大井川(下泉橋)	川根本町	210.0m	0.165	0.023	0.948	0.148	0.028	0.738	0.500	0.018
	河川 5	栃山川(上小田橋)	焼津市	8.0m	0.217	0.026	0.948	0.140	0.059	0.803	0.416	0.032
	河川 6	栃山川(土瑞橋)	藤枝市	15.3m	0.191	0.020	0.948	0.115	0.045	0.754	0.416	0.023
	河川 7	栃山川(弘法橋)	島田市	38.3m	0.165	0.018	0.898	0.115	0.039	0.787	0.396	0.015

表 142　溶存イオンの当量値（湧水）：渇水期調査

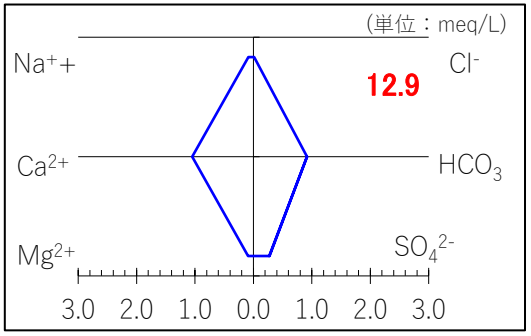
区分	番号	地点名	所在地	採水標高	溶存イオン当量値(meq/L) ＝ 物質量(mol/L)×イオン価数							
					Na^+	K^+	Ca^{2+}	Mg^{2+}	Cl^-	HCO_3^-	SO_4^{2-}	NO_3^-
大井川上流域（椹島より下流側）～大井川中下流域	湧水 7	湯日川源流部	島田市	189.7m	0.652	0.128	1.497	1.481	0.257	0.020	2.082	1.403
	湧水 8	坂口谷川源流部	牧之原市	106.4m	0.783	0.026	1.198	0.346	0.152	1.049	1.083	0.042
	湧水 9	勝間田川源流部	島田市	165.7m	0.609	0.105	0.948	0.905	0.217	0.016	1.791	1.081



地下水（16 東俣付近）　井戸深度：GL-44m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-16～-40m）



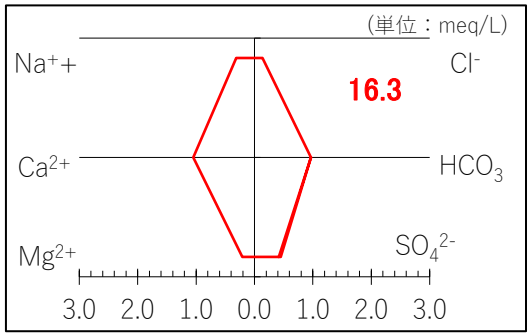
地下水（17 田代ダム付近）　井戸深度：GL-256m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-130～-250m）



河川水（04 大井川（田代ダム上流）　採水標高：1,397m

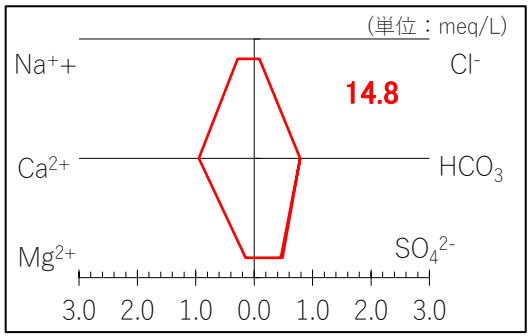
図 171　シュティフダイヤグラム（上流域（椹島より上流側））：渇水期調査

※図中の赤字で記載している数値は、電気伝導率（EC）（単位：mS/m）の計測結果を示しています。



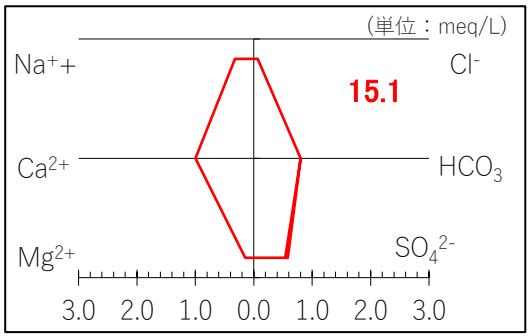
地下水（01 島-1（島田市））

井戸深度：GL-59m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-11～-42m）



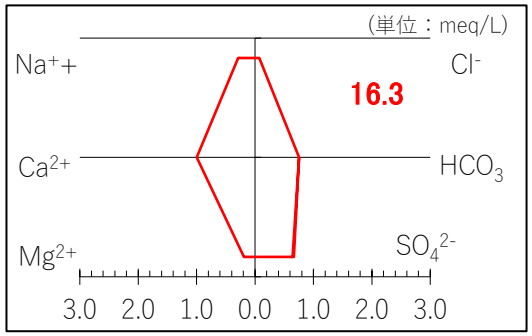
地下水（02 大柳南（島田市））

井戸深度：GL-82m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-42～-50m）



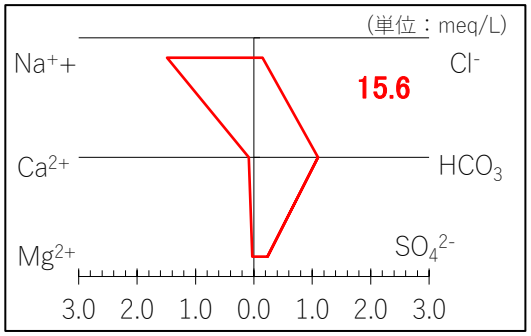
地下水（03 大幡（吉田町））

井戸深度：GL-20m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-5～-20m）



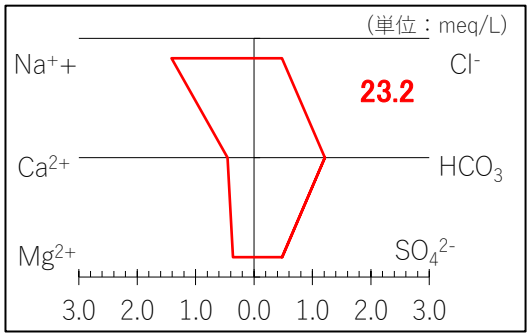
地下水（04 川尻Ｂ（吉田町））

井戸深度：GL-20m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-5～-20m）



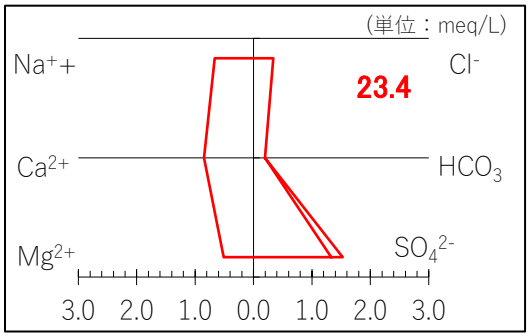
地下水（05 川尻Ａ（吉田町））

井戸深度：GL-150m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-127～-145m）



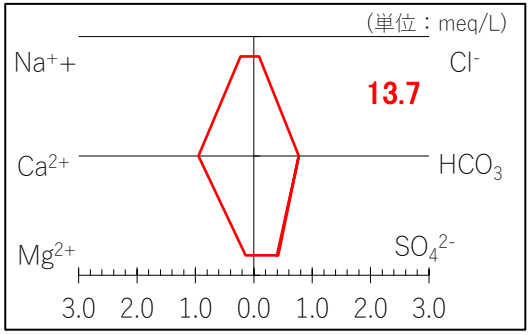
地下水（06 住吉（吉田町））

井戸深度：GL-51m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-37～-51m）



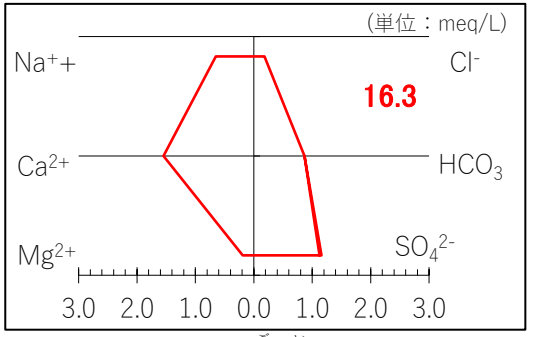
地下水（07 細江小（牧之原市））

井戸深度：GL-15m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-4～-12m）



地下水（08 横井（島田市））

井戸深度：GL-80m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-32～-50m）

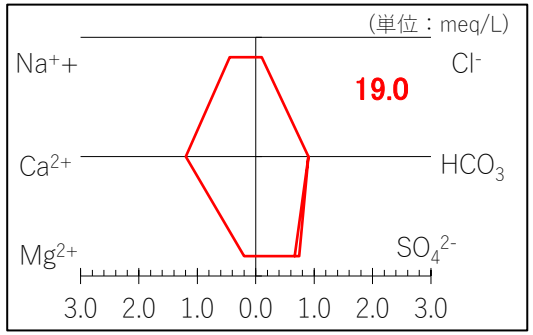


地下水（09 五平（藤枝市））

井戸深度：GL-90m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-42～-60m）

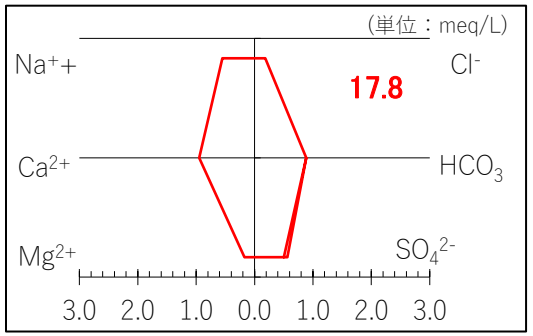
図 172　シュティフダイヤグラム（上流域（椹島より下流側）～中下流域）：渇水期調査

※図中の赤字で記載している数値は、電気伝導率（EC）（単位：mS/m）の計測結果を示しています。



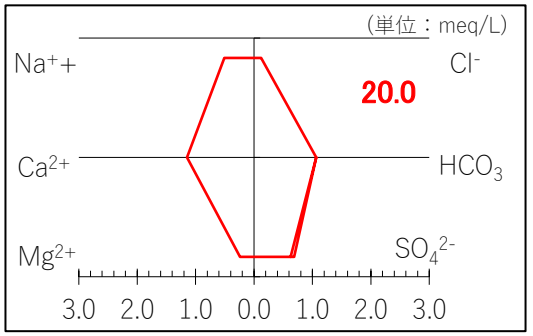
地下水（10 大洲中（藤枝市））

井戸深度：GL-80m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-50～-70m）



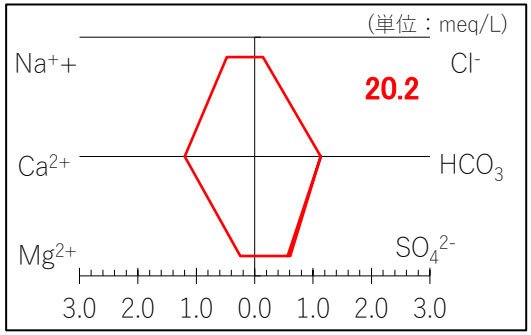
地下水（11 治長請所（焼津市））

井戸深度：GL-100m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-84～-100m）



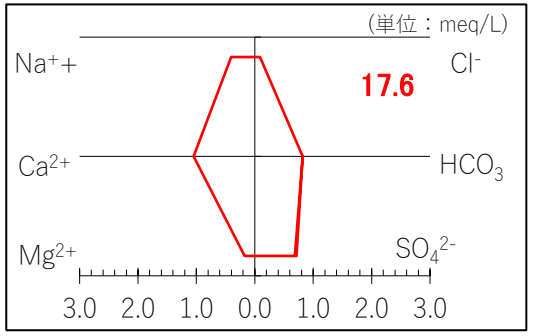
地下水（13 一色（焼津市））

井戸深度：GL-150m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-109～-127m）



地下水（14 藤守（新）（焼津市））

井戸深度：GL-4m（ｽｸﾘｰﾝなし）



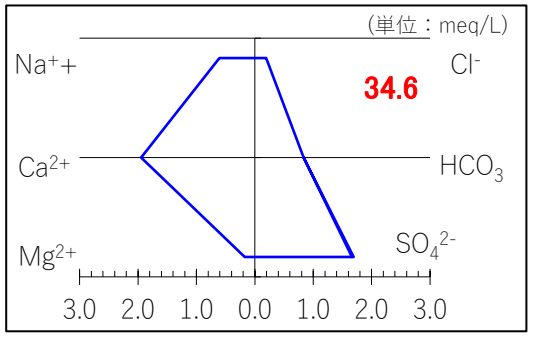
地下水（15 新大井川中（焼津市））

井戸深度：GL-120m（ｽｸﾘｰﾝ深度：GL-68～-112m）

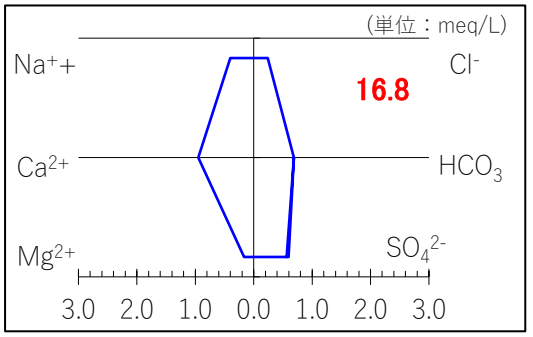
図 173　シュティフダイヤグラム（上流域（椹島より下流側）～中下流域）：渇水期調査

※地点 12（大富小）は井戸孔内に既設のケーブル等が設置されており、採水不可となっております。

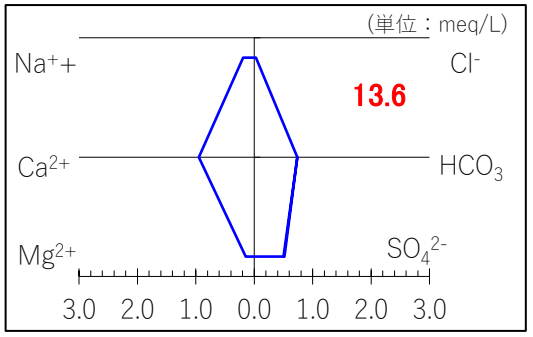
※図中の赤字で記載している数値は、電気伝導率（EC）（単位：mS/m）の計測結果を示しています。



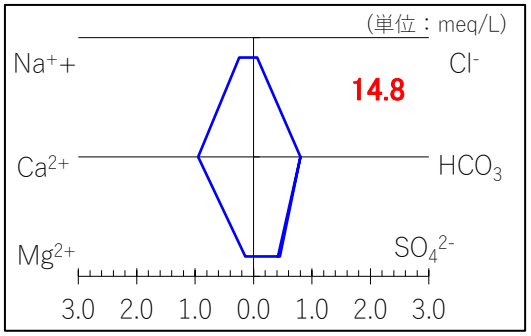
河川水（01 大井川（富士見橋）：吉田町）
採水標高：13.9m



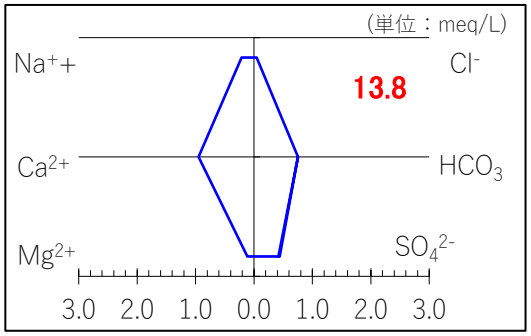
河川水（02 大井川（神座）：島田市）
採水標高：98.6m



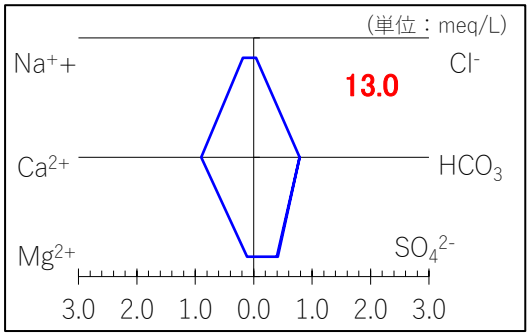
河川水（03 大井川（下泉橋）：川根本町）
採水標高：210.0m



河川水（05 栃山川（上小田橋）：焼津市）
採水標高：8.0m



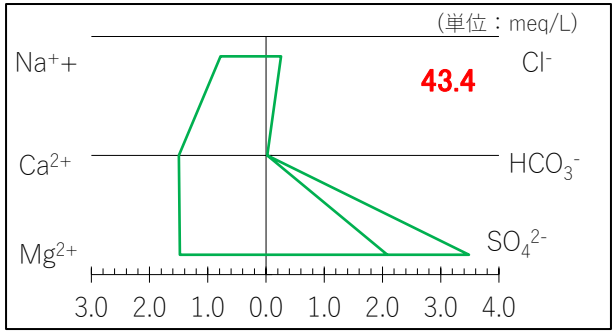
河川水（06 栃山川（土瑞橋）：藤枝市）
採水標高：15.3m



河川水（07 栃山川（弘法橋）：島田市）
採水標高：38.3m

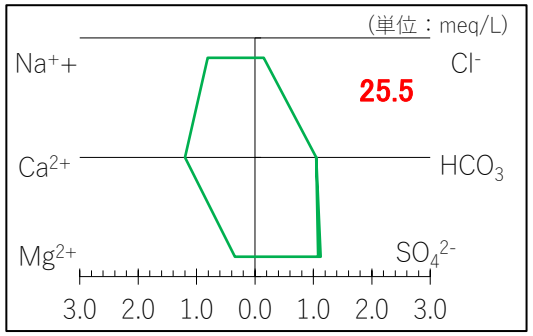
図 174　シュティフダイヤグラム（上流域（椹島より下流側）～中下流域）：渇水期調査

※図中の赤字で記載している数値は、電気伝導率（EC）（単位：mS/m）の計測結果を示しています。



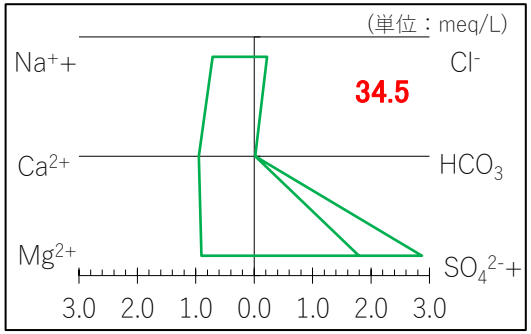
湧水（07 湯日川源流部（島田市））

採水標高：189.7m



湧水（08 坂口谷川源流部（牧之原市））

採水標高：106.4m



湧水（09 勝間田川源流部（島田市））

採水標高：165.7m

図 175　シュティフダイヤグラム（上流域（椹島より下流側）～中下流域）：渇水期調査

※図中の赤字で記載している数値は、電気伝導率（EC）（単位：mS/m）の計測結果を示しています。

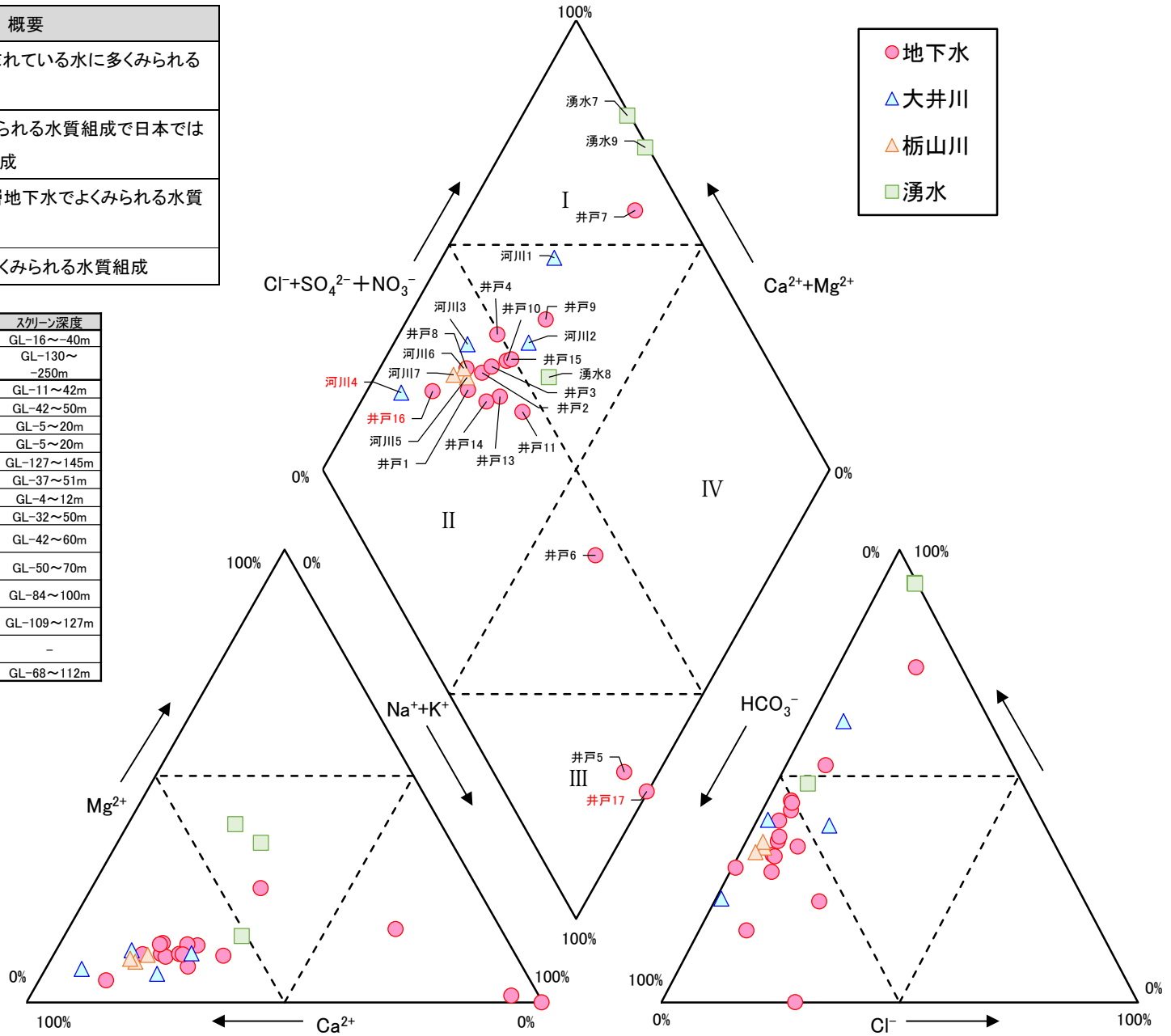
区分	分類	概要
Ⅰ	アルカリ土類非炭酸塩	熱水や化石水が含まれている水に多くみられる組成
Ⅱ	アルカリ土類炭酸塩	浅層地下水に多くみられる水質組成で日本では最も一般的な水質組成
Ⅲ	アルカリ炭酸塩	滞留時間の長い深層地下水でよくみられる水質組成
Ⅳ	アルカリ非炭酸	海水や温泉などで多くみられる水質組成

区分	番号	地点名	所在地	井戸深度	スクリーン深度
上流域（椹島より上流側）	井戸16	東俣付近	静岡市	GL-44m	GL-16～-40m
	井戸17	田代ダム付近		GL-256m	GL-130～-250m
上流域（椹島より下流側）～中下流域	井戸01	島-1	島田市	GL-59m	GL-11～42m
	井戸02	大柳南		GL-82m	GL-42～50m
	井戸03	大幡	吉田町	GL-20m	GL-5～20m
	井戸04	川尻B		GL-20m	GL-5～20m
	井戸05	川尻A		GL-150m	GL-127～145m
	井戸06	住吉		GL-51m	GL-37～51m
	井戸07	細江小	牧之原市	GL-15m	GL-4～12m
	井戸08	横井	島田市	GL-80m	GL-32～50m
	井戸09	五平（ごへい）	藤枝市	GL-90m	GL-42～60m
	井戸10	大洲中（おおすちゅう）		GL-80m	GL-50～70m
	井戸11	治長請所（じちょううけしょ）	焼津市	GL-100m	GL-84～100m
	井戸13	一色（いっしき）		GL-150m	GL-109～127m
	井戸14	藤守（ふじもり）（新）		GL-4m	-
	井戸15	新大井川中		GL-120m	GL-68～112m

区分	番号	地点名	所在地	採水標高
上流域（椹島より上流側）	河川4	大井川（田代ダム上流）	静岡市	1397.0m
上流域（椹島より下流側）～中下流域	河川1	大井川（富士見（ふじみ）橋）	吉田町	13.9m
	河川2	大井川（神座（かんざ））	島田市	98.6m
	河川3	大井川（下泉（しもいずみ）橋）	川根本町	210.0m
	河川5	栃山川（上小田橋（とちやまがわ かみおだ））	焼津市	8.0m
	河川6	栃山川（土瑞（とずい）橋）	藤枝市	15.3m
	河川7	栃山川（弘法（こうぼう）橋）	島田市	38.3m

区分	番号	名称	所在地	採水標高
上流域（椹島より上流側）	湧水6	木賊（とくさ）付近の湧き水	静岡市	1211.8m
上流域（椹島より下流側）～中下流域	湧水1	吉永コミュニティパーク	焼津市	4.1m
	湧水2	清水屋の湧き水	藤枝市	91.2m
	湧水3	小長井（こながい）の湧き水	川根本町	300.7m
	湧水4	智満寺（ちまんじ）の霊水	島田市	332.0m
	湧水5	奥大井の湧き水	静岡市	810.4m
	湧水7	湯日川（ゆいがわ）源流部	島田市	189.7m
	湧水8	坂口谷川（さくちやがわ）源流部	牧之原市	106.4m
	湧水9	勝間田川（かつまたがわ）源流部	島田市	165.7m

※赤字は渇水期調査において追加した地点



※図中の赤字は上流域（椹島より上流側）の地点、その他は上流域（椹島より下流側）～中下流域の地点です。

図 176　トリリニアダイヤグラム：渇水期調査

1.8.7.2 酸素・水素安定同位体比

a. 湧水の集水域の平均標高-安定同位体比関係式の算出結果

地形的に集水域が限定され、涵養標高を特定することが可能な湧水において、同位体比を分析し、それらの同位体比－涵養標高関係における回帰直線から、地下水涵養線を作成しました。なお、地下水涵養線は、豊水期、渇水期の同位体比の平均値をもとに作成を行いました。

各湧水地点における安定同位体比の値を表 143 に、また地下水涵養線の算出結果を図 177 及び図 178 に示します。標高に伴う酸素安定同位体比の低減率は－０．４４‰／１００m、水素安定同位体比のそれは－３．６‰／１００mと算出されました。

表 143　安定同位体比の測定結果（湧水）：渇水期調査

No.	名称	所在地	採水標高	涵養標高※	δD（‰）	$\delta^{18}O$（‰）
湧水 1	吉永ｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾟｰｸ	焼津市	4.1m	4.3m	-59.70	-9.15
湧水 2	清水屋の湧き水	藤枝市	91.2m	155.3m	-41.40	-6.81
湧水 3	小長井（こながい）の湧き水	川根本町	300.7m	428.0m	-49.10	-7.70
湧水 4	智満寺（ちまんじ）の霊水	島田市	332.0m	402.2m	-39.20	-6.72
湧水 5	奥大井の湧き水	静岡市	810.4m	882.1m	-54.90	-8.57
湧水 6	木賊（とくさ）付近の湧き水	静岡市	1211.8m	1299.2m	-77.60	-11.40

※涵養標高は、各湧水地点の集水域を地形図から求め、その平均標高とした。ただし、湧水１（吉永ｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾟｰｸ）については、集水域を地形図から明確に求めることができなかったため、参考値として取り扱った。
※安定同位体比は、渇水期調査における計測値を示しています。

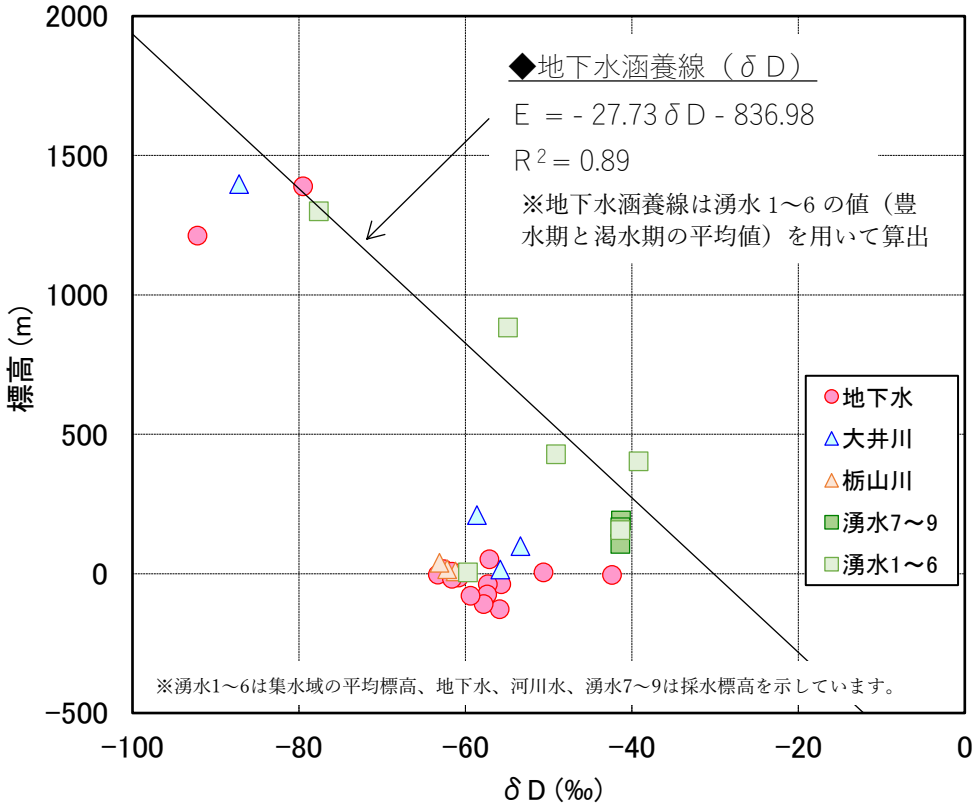


図 177　地下水涵養線（δD）の算出結果：渇水期調査

※湧水 1（吉永ｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾟｰｸ）については、集水域を地形図から明確に求めることができず、計測結果からも地形的に集水域が限定される湧水ではないと考えられることから、地下水涵養線の作成にあたっては除外しました。

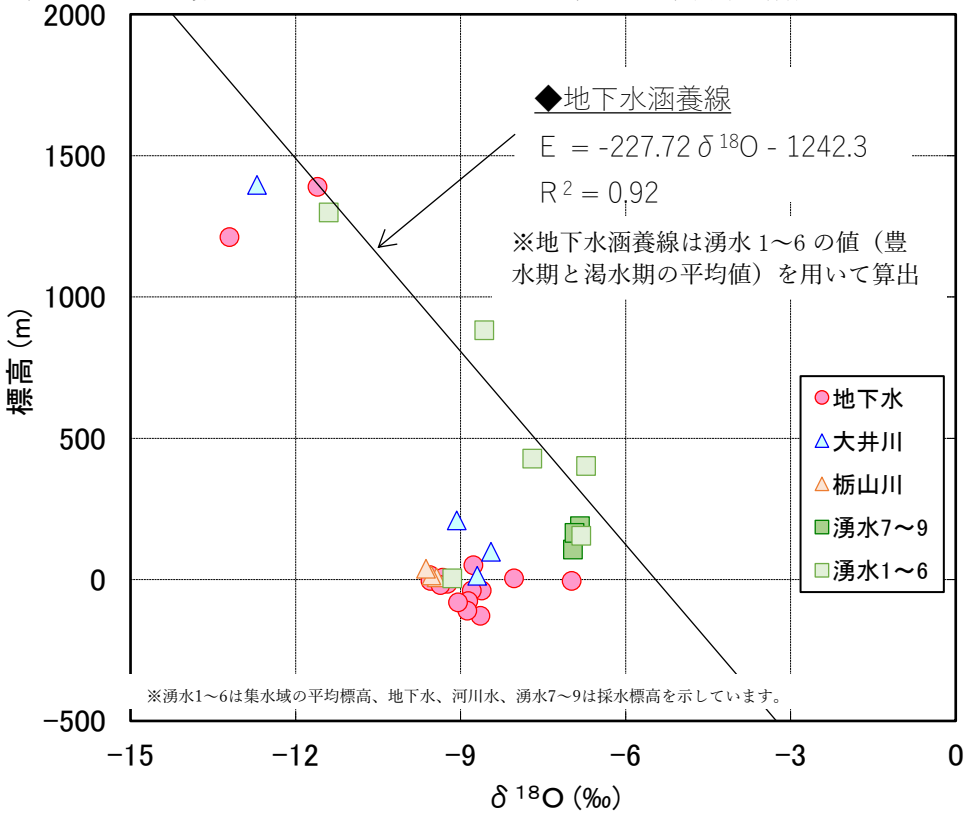


図 178　地下水涵養線（δ^{18}O）の算出結果：渇水期調査

※湧水 1（吉永ｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾟｰｸ）については、集水域を地形図から明確に求めることができず、計測結果からも地形的に集水域が限定される湧水ではないと考えられることから、地下水涵養線の作成にあたっては除外しました。

b. 涵養標高の算出結果：渇水期調査

・地下水、河川水の安定同位体比の測定結果及びこの測定結果と前述の地下水涵養線から推定した平均的な涵養標高の値を表 144～表 146 に示します。

表 144　安定同位体比の測定結果等（地下水）：渇水期調査

区分	番号	地点名	所在地	孔口標高	井戸深度	スクリーン深度	採水箇所		δD(‰)	$\delta^{18}O$(‰)	測定結果と地下水涵養線から推定した平均涵養標高(m)		
							深度※	標高			δD	$\delta^{18}O$	平均
大井川上流域（椹島より上流側）	16	東俣付近	静岡市	1,417m	GL-44m	GL-16～-40m	-28.0m	1389.4m	-79.50	-11.60	約 1,400	約 1,400	約 1,400
	17	田代ダム付近		1,402m	GL-256m	GL-130～-250m	-190.0m	1212.1m	-92.20	-13.20	約 1,700	約 1,800	約 1,700
大井川上流域（椹島より下流側）～大井川中下流域	01	島-1	島田市	77.74m	GL-59m	GL-11～42m	-26.5m	51.2m	-57.10	-8.77	約 700	約 800	約 800
	02	大柳南		31.5m	GL-82m	GL-42～50m	-46.0m	-14.5m	-60.80	-9.24	約 800	約 900	約 900
	03	大幡	吉田町	19.06m	GL-20m	GL-5～20m	-12.5m	6.6m	-61.60	-9.33	約 900	約 900	約 900
	04	川尻 B		8.06m	GL-20m	GL-5～20m	-12.5m	-4.4m	-63.30	-9.55	約 900	約 900	約 900
	05	川尻 A		7.87m	GL-150m	GL-127～145m	-136.0m	-128.1m	-55.90	-8.64	約 700	約 700	約 700
	06	住吉		5.43m	GL-51m	GL-37～51m	-44.0m	-38.6m	-55.70	-8.62	約 700	約 700	約 700
	07	細江小	牧之原市	4.44m	GL-15m	GL-4～12m	-9.0m	-4.6m	-42.40	-6.98	約 300	約 300	約 300
	08	横井	島田市	56.4m	GL-80m	GL-32～50m	-40.9m	15.5m	-62.60	-9.56	約 900	約 900	約 900
	09	五平（ごへい）	藤枝市	31.52m	GL-90m	GL-42～60m	-50.8m	-19.2m	-61.60	-9.37	約 900	約 900	約 900
	10	大洲中（おおすちゅう）		22.11m	GL-80m	GL-50～70m	-60.0m	-37.9m	-57.30	-8.80	約 800	約 800	約 800
	11	治長請所（じちょううけしょ）	焼津市	16.55m	GL-100m	GL-84～100m	-92.0m	-75.5m	-57.40	-8.86	約 800	約 800	約 800
	13	一色（いっしき）		7.89m	GL-150m	GL-109～127m	-117.9m	-110.0m	-57.80	-8.88	約 800	約 800	約 800
	14	藤守（ふじもり）(新)		8.2m	GL-4m	-	-3.6m	4.6m	-50.60	-8.03	約 600	約 600	約 600
	15	新大井川中		10.3m	GL-120m	GL-68～112m	-90.0m	-79.7m	-59.40	-9.05	約 800	約 800	約 800

※採水深度は、井戸孔口からの深度を示しています。また、スクリーン設置区間の中間地点付近を基本としました。
※地点 12（大富小）は井戸孔内に既設のケーブル等が設置されており、採水不可となっています。

表 145　安定同位体比の測定結果等（河川水）：渇水期調査

区分	番号	地点名	所在地	採水標高	δD(‰)	$\delta^{18}O$(‰)	測定結果と地下水涵養線から推定した平均涵養標高(m)		
							δD	$\delta^{18}O$	平均
大井川上流域（椹島より上流側）	河川 4	大井川（田代ダム上流）	静岡市	1397.0m	−87.20	−12.70	約 1,600	約 1,700	約 1,600
大井川上流域（椹島より下流側）～大井川中下流域	河川 1	大井川(富士見橋)	吉田町	13.9m	−55.80	−8.70	約 700	約 700	約 700
	河川 2	大井川(神座)	島田市	98.6m	−53.40	−8.45	約 600	約 700	約 700
	河川 3	大井川(下泉橋)	川根本町	210.0m	−58.60	−9.07	約 800	約 800	約 800
	河川 5	栃山川(上小田橋)	焼津市	8.0m	−61.20	−9.44	約 900	約 900	約 900
	河川 6	栃山川(土瑞橋)	藤枝市	15.3m	−62.20	−9.53	約 900	約 900	約 900
	河川 7	栃山川(弘法橋)	島田市	38.3m	−63.10	−9.63	約 900	約 1,000	約 900

表 146　安定同位体比の測定結果等（湧水）：渇水期調査

区分	番号	地点名	所在地	採水標高	δD(‰)	$\delta^{18}O$(‰)	測定結果と地下水涵養線から推定した平均涵養標高(m)		
							δD	$\delta^{18}O$	平均
大井川上流域（椹島より下流側）～大井川中下流域	湧水 7	湯日川源流部	島田市	189.7m	−41.30	−6.83	約 300	約 300	約 300
	湧水 8	坂口谷川源流部	牧之原市	106.4m	−41.40	−6.96	約 300	約 300	約 300
	湧水 9	勝間田川源流部	島田市	165.7m	−41.40	−6.93	約 300	約 300	約 300

1.8.7.3 不活性ガス等

a. 気中のＳＦ$_6$濃度の補正結果

大気中のＳＦ$_6$濃度の経年変化曲線を補正するために実施した、現地調査結果を表 147 ～ 表 148 に示します。

各計測結果について、公開されている北半球の平均値（１０．２９pptv：２０２１年３月時点）よりも大きい値となっており、また、大井川下流域の地点（大気１（富士見橋付近））が最も大きい値となっています。

公開されている大気中のＳＦ$_6$濃度の経年変化曲線（北半球平均値）の補正については、大気１（富士見橋付近）の春季～冬季調査結果（春季、夏季の結果は表 131～表 132 参照）の平均値を用いて、図 179 のとおり、超過率１３％を乗じて実施しました。

表 147　大気中のＳＦ$_6$濃度の計測結果（秋季）

No.	調査地点	調査日	時刻	天気	気温 (℃)	SF_6濃度 (pptv)
大気１	富士見橋付近 (大井川下流域)	2020/11/3	0：00	晴れ	16.3	11.0
			8：00	晴れ	16.5	11.4
			16：00	晴れ	20.8	11.3
大気２	千頭付近 (大井川中流域)	2020/11/2	0：00	晴れ	11.4	10.9
			8：00	曇り	12.7	11.1
			16：00	雨	15.3	10.6
大気３	椹島付近 (大井川上流域)	2020/11/1	0：00	晴れ	10.0	11.2
			8：00	晴れ	6.8	11.1
			16：00	晴れ	13.3	11.3

表 148　大気中のＳＦ$_6$濃度の計測結果（冬季）

No.	調査地点	調査日	時刻	天気	気温 (℃)	SF_6濃度 (pptv)
大気１	富士見橋付近 (大井川下流域)	2021/2/7	0：00	晴れ	10.8	11.4
			8：00	晴れ	11.0	11.6
			16：00	晴れ	15.5	12.4
大気２	千頭付近 (大井川中流域)	2021/2/6	0：00	晴れ	2.9	11.2
			8：00	晴れ	2.3	11.6
			16：00	晴れ	15.3	11.4
大気３	椹島付近 (大井川上流域)	2021/2/5	0：00	晴れ	-2.5	11.3
			8：00	晴れ	-6.0	11.2
			16：00	晴れ	5.2	11.3

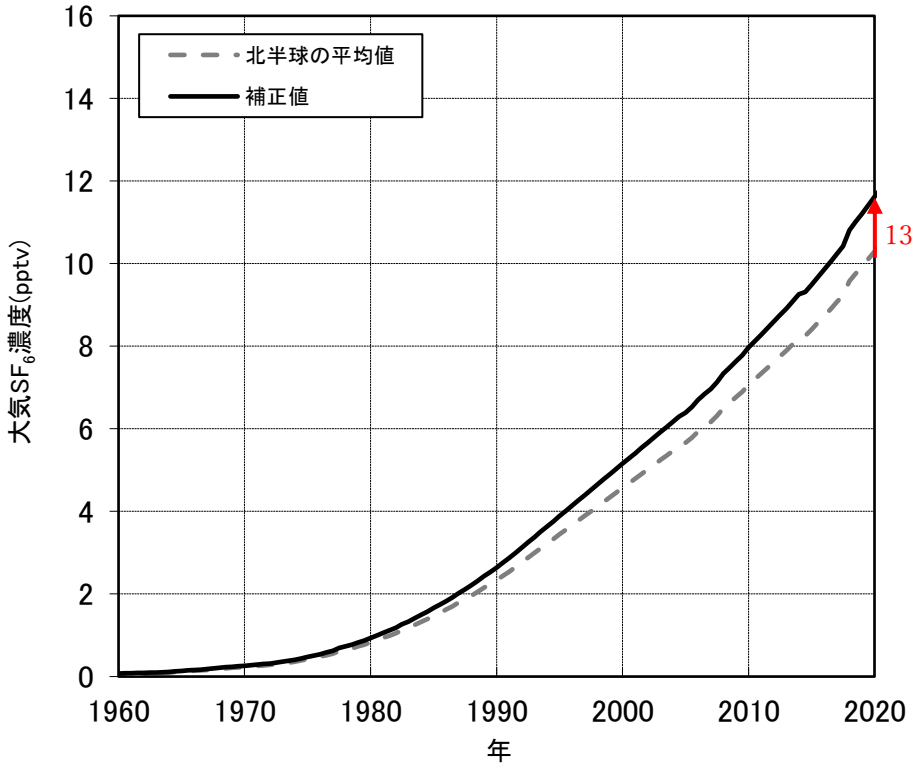


図 179　大気中のＳＦ６濃度の経年変化曲線（北半球平均値）の補正結果：渇水期調査

b. 滞留時間の算出結果：渇水期調査

・地下水のSF_6の測定結果と、大気中のSF_6濃度の経年変化曲線（図 179）をもとに算出した地下水の滞留時間の推定結果を表 149 に示します。また、参考として、河川水と湧水（湧水７～湧水９）のSF_6の測定結果と滞留時間の推定結果も合わせてお示しします。

・また、大井川上流域（椹島より上流側）の地下水は豊水期調査と同様に、トリチウムによる年代推定も実施しました。トリチウムの測定結果と、公表されている降水中のトリチウム濃度をもとに算出した地下水の滞留時間の推定結果を表 152 及び図 180 に示します。

・さらに、大井川上流域(椹島より上流側)の深井戸（井戸１７）については、豊水期調査の結果を踏まえ、より古い年代まで分析可能なトレーサーである^{14}C（炭素放射性同位体）を追加し、分析を行いました。^{14}Cの測定結果を表 153 に示します。

・以上のことを踏まえ、推定した滞留時間の平面的な分布を図 180 に示します。

表 149　ＳＦ$_6$濃度の測定結果及び滞留時間の推定結果（地下水）：渇水期調査

区分	番号	地点名	所在地	孔口標高	井戸深度	スクリーン深度	採水箇所		SF_6濃度（大気換算）(pptv)	滞留時間
							深度※	標高		
大井川上流域（椹島より上流側）	16	東俣付近	静岡市	1,417m	GL-44m	GL-16～-40m	-28.0m	1389.4m	0.8	約 43 年
	17	田代ダム付近		1,402m	GL-256m	GL-130～-250m	-190.0m	1212.1m	0.3	約 50 年
大井川上流域（椹島より下流側）～大井川中下流域	01	島-1	島田市	77.74m	GL-59m	GL-11～42m	-26.5m	51.2m	4.7	約 23 年
	02	大柳南		31.5m	GL-82m	GL-42～50m	-46.0m	-14.5m	5.7	約 19 年
	03	大幡	吉田町	19.06m	GL-20m	GL-5～20m	-12.5m	6.6m	7.2	約 14 年
	04	川尻 B		8.06m	GL-20m	GL-5～20m	-12.5m	-4.4m	6.0	約 18 年
	05	川尻 A		7.87m	GL-150m	GL-127～145m	-136.0m	-128.1m	0.6	約 44 年
	06	住吉		5.43m	GL-51m	GL-37～51m	-44.0m	-38.6m	0.4	約 47 年
	07	細江小	牧之原市	4.44m	GL-15m	GL-4～12m	-9.0m	-4.6m	2.7	約 31 年
	08	横井	島田市	56.4m	GL-80m	GL-32～50m	-40.9m	15.5m	6.9	約 15 年
	09	五平（ごへい）	藤枝市	31.52m	GL-90m	GL-42～60m	-50.8m	-19.2m	7.1	約 14 年
	10	大洲中（おおすちゅう）		22.11m	GL-80m	GL-50～70m	-60.0m	-37.9m	7.4	約 13 年
	11	治長請所（じちょううけしょ）	焼津市	16.55m	GL-100m	GL-84～100m	-92.0m	-75.5m	8.7	約 9 年
	13	一色（いっしき）		7.89m	GL-150m	GL-109～127m	-117.9m	-110.0m	10.5	約 4 年
	14	藤守（ふじもり）(新)		8.2m	GL-4m	-	-3.6m	4.6m	5.4	約 21 年
	15	新大井川中		10.3m	GL-120m	GL-68～112m	-90.0m	-79.7m	6.3	約 17 年

※採水深度は、井戸孔口からの深度を示しています。また、スクリーン設置区間の中間地点付近を基本としました。

※地点 12（大富小）は井戸孔内に既設のケーブル等が設置されており、採水不可となっています。

※SF_6濃度（大気換算）は、水中のSF_6濃度をヘンリーの溶解平衡式を用いて地下水涵養時の大気濃度に変換しました。

表 150　ＳＦ$_6$濃度の測定結果及び滞留時間の推定結果（河川水）：渇水期調査

区分	番号	地点名	所在地	採水標高	SF_6濃度(大気換算)(pptv)	滞留時間
大井川上流域（椹島より上流側）	河川 4	大井川（田代ダム上流）	静岡市	1397.0m	8.0	約 12 年
大井川上流域（椹島より下流側）～大井川中下流域	河川 1	大井川(富士見橋)	吉田町	13.9m	7.4	約 13 年
	河川 2	大井川(神座)	島田市	98.6m	5.7	約 19 年
	河川 3	大井川(下泉橋)	川根本町	210.0m	7.3	約 13 年
	河川 5	栃山川(上小田橋)	焼津市	8.0m	6.8	約 15 年
	河川 6	栃山川(土瑞橋)	藤枝市	15.3m	7.1	約 14 年
	河川 7	栃山川(弘法橋)	島田市	38.3m	7.7	約 12 年

※SF_6濃度（大気換算）は、水中のSF_6濃度をヘンリーの溶解平衡式を用いて地下水涵養時の大気濃度に変換しました。

※赤字は渇水期調査において追加した地点を示しています。

表 151　ＳＦ$_6$濃度の測定結果及び滞留時間の推定結果（湧水）：渇水期調査

区分	番号	地点名	所在地	採水標高	SF_6濃度(大気換算)(pptv)	滞留時間
大井川上流域（椹島より下流側）～大井川中下流域	湧水 7	湯日川源流部	島田市	189.7m	3.0	約 30 年
	湧水 8	坂口谷川源流部	牧之原市	106.4m	6.6	約 16 年
	湧水 9	勝間田川源流部	島田市	165.7m	6.2	約 17 年

※SF_6濃度（大気換算）は、水中のSF_6濃度をヘンリーの溶解平衡式を用いて地下水涵養時の大気濃度に変換しました。

※赤字は渇水期調査において追加した地点を示しています。

表 152　トリチウム濃度の測定結果及び滞留時間の推定結果（地下水）：渇水期調査

区分	番号	名称	採水箇所		トリチウム濃度（TU）	滞留時間
			深度	標高		
大井川上流域（椹島より上流側）	16	東俣付近	-60.4m	1357.6m	1.8	約 50 年以下
	17	田代ダム付近	-190.0m	1212.1m	0.3 未満	約 60 年以上

※採水深度は、井戸孔口からの深度を示しています。また、スクリーン設置区間の中間地点付近を基本としました。

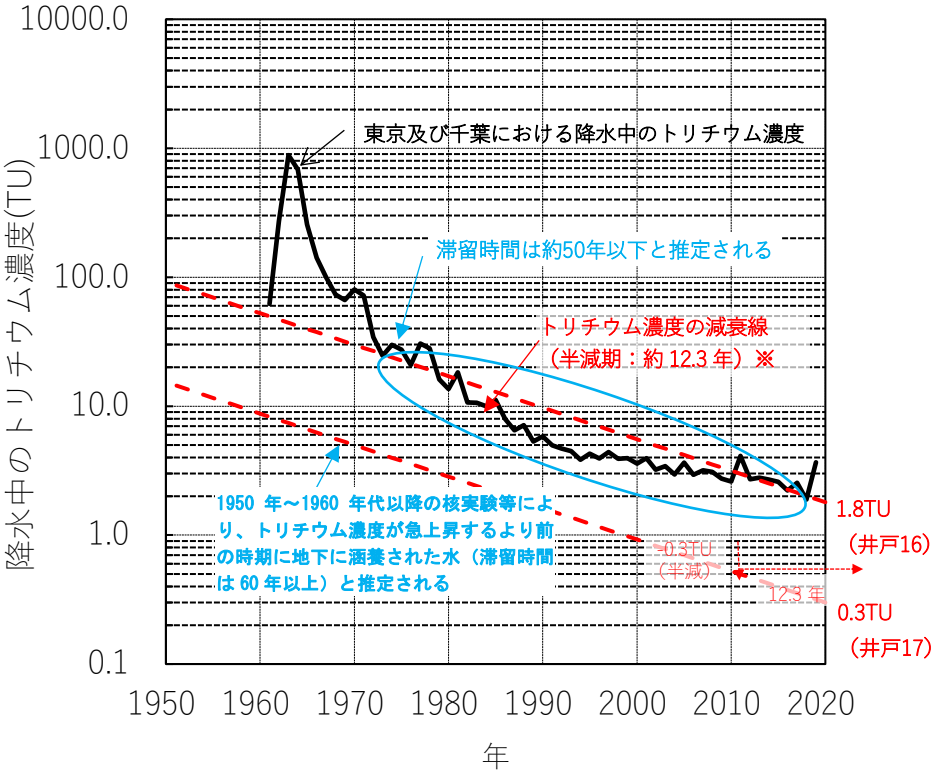


図 180　降水中のトリチウム濃度の経年変化曲線及び滞留時間の推定結果：渇水期調査

出典：原子力規制庁.”環境放射線データベース”.(https://search.kankyo-hoshano.go.jp/servlet/search.top)（参照 2020-9-14）をもとに作成

※トリチウムは（^{3}H）は水素の放射性同位体であり、放射性同位体は放射壊変によって一定率で濃度が低下するとされており、トリチウムの場合は半減期が約 12.3 年とされています。現時点におけるトリチウム濃度の計測結果から減衰線を作成し、公表されている降水中のトリチウム濃度との交点を求めることにより、涵養年を推定することができます。

表 153　^{14}Ｃ濃度の測定結果及び滞留時間の推定結果（地下水）：渇水期調査

区分	番号	名称	採水箇所		^{14}C 濃度 (pMC ％)
			深度	標高	
大井川上流域 (椹島より上流側)	17	田代ダム付近	-190.0m	1212.1m	検出限界(0.44)未満

※採水深度は、井戸孔口からの深度を示しています。また、スクリーン設置区間の中間地点付近を基本とします。

※^{14}Ｃは半減期が約５，７３０年の放射性同位体であり、^{14}Ｃ濃度が低ければ相当古い地下水となるが、正確な滞留時間を算定するには、地下水流動中における起源や年代が異なる炭素の付加等を考慮した検討が必要とされています。

1.8.8 大井川上流域（沢）5月期

トンネル掘削前に実施する高速長尺先進ボーリングやトンネル掘削中の切羽からの湧水と、沢の水との関係性を確認するために、調査を実施しました。

1.8.8.1 溶存イオン

沢の水の各調査地点における、溶存イオン、ｐＨ、電気伝導率（EC）、水温等の測定結果を表 154 に示します。また、溶存イオンについては、電解質の濃度を表す単位である当量値（＝物質量×イオン価数）に換算したものを表 155 に示します。

また、シュティフダイヤグラム、トリリニアダイヤグラムをそれぞれ図 181～図 182 及び図 183 に示します。

表 154　溶存イオン、ｐＨ、電気伝導率（EC）の測定結果（沢水）：5 月期調査

区分	No.	地点	地域	調査日	溶存イオン(mg/L)								水温	pH	電気伝導度
					Na^+	K^+	Ca^{2+}	Mg^{2+}	Cl^-	HCO_3^-	SO_4^{2-}	NO_3^-	(℃)		(mS/m)
沢	1	内無沢	西俣	R7.5.14	0.8	0.2	10.0	0.4	0.4	30.0	3.4	0.8	4.5	7.87	6.13
	2	魚無沢		R7.5.14	0.9	0.2	14.0	0.7	0.3	44.0	3.6	0.9	5.4	7.87	8.32
	3	瀬戸沢		R7.5.14	0.9	0.2	9.2	0.2	0.4	29.0	3.3	0.0	6.0	7.92	5.87
	4	上岳沢		R7.5.13	0.9	0.2	11.0	0.2	0.4	34.0	3.3	1.3	8.5	7.90	6.82
	5	西小石沢		R7.5.13	1.0	0.3	13.0	1.3	0.4	43.0	5.3	0.7	6.2	7.87	8.78
	6	柾小屋沢		R7.5.14	1.4	0.2	15.0	1.0	0.4	44.0	8.0	0.0	6.4	8.23	9.68
	7	蛇抜沢		R7.5.14	1.1	0.2	14.0	1.0	0.3	46.0	6.0	0.9	5.9	8.15	9.60
	8	柳沢		R7.5.14	1.5	0.3	21.0	1.0	0.4	54.0	10.0	0.4	7.0	8.16	11.61
	9	悪沢		R7.5.14	1.1	0.3	18.0	1.3	0.3	52.0	10.0	1.1	6.9	8.16	11.41
	10	大崩		R7.5.14	1.7	0.5	34.0	1.7	0.4	81.0	31.0	0.0	10.9	8.37	20.90
	11	徳右衛門沢	東俣	R7.5.13	1.1	0.3	15.0	0.6	0.4	44.0	7.2	0.7	9.0	7.83	9.29
	12	曲輪沢		R7.5.13	1.5	0.3	16.0	0.9	0.4	48.0	10.0	0.5	9.8	7.92	10.80
	13	ジャガ沢		R7.5.13	2.0	0.4	24.0	2.3	0.5	43.0	39.0	0.5	10.5	7.95	16.59
	14	流沢	林道東俣線沿いの支川	R7.5.13	2.2	0.3	19.0	1.3	0.5	49.0	16.0	1.6	7.0	7.88	12.69
	15	二軒小屋南西の沢		R7.5.14	2.2	1.0	55.0	3.3	0.5	140.0	44.0	0.6	10.3	8.39	31.70
	16	上スリバチ沢		R7.5.13	2.4	0.9	39.0	7.0	0.4	100.0	51.0	0.0	10.4	7.97	26.90
	17	スリバチ沢		R7.5.15	2.2	0.4	20.0	1.4	0.4	58.0	16.0	1.2	7.0	8.08	14.00
	18	車屋沢		R7.5.15	1.9	0.3	12.0	0.5	0.4	33.0	9.4	0.6	7.0	8.08	7.39
	19	燕沢		R7.5.15	2.0	0.3	22.0	0.4	0.4	62.0	9.7	1.4	8.9	8.15	13.16
	20	大尻沢北の沢		R7.5.15	1.6	0.2	11.0	0.2	0.4	30.0	5.4	0.0	8.7	8.23	7.50
	21	大尻沢		R7.5.15	1.6	0.2	10.0	0.3	0.4	31.0	5.4	0.5	7.5	8.05	6.77
	22	蛇沢南東の沢		R7.5.15	1.5	0.2	17.0	0.3	0.7	46.0	9.7	1.5	9.8	7.50	11.57
	23	破風石沢		R7.5.16	4.2	0.3	12.0	0.6	1.5	42.0	6.7	0.0	9.0	7.85	9.54
	24	下木賊沢北の沢		R7.5.15	3.8	0.4	16.0	0.8	1.2	51.0	8.8	0.0	9.5	7.91	11.07
	25	下木賊沢		R7.5.15	2.3	0.3	15.0	0.6	0.4	42.0	10.0	0.0	9.5	7.85	9.73
	26	虎杖沢		R7.5.16	2.2	0.2	16.0	0.3	0.4	45.0	11.0	0.0	7.5	7.75	10.72
	27	上千枚沢		R7.5.15	1.1	0.4	50.0	2.4	0.4	130.0	41.0	0.8	8.7	8.40	30.20
	28	下千枚沢		R7.5.16	1.8	0.3	17.0	1.4	0.4	60.0	8.3	0.0	8.6	8.05	11.92
	29	蛇沢		R7.5.16	1.8	0.3	16.0	0.6	0.4	52.0	7.4	0.0	8.9	8.03	10.89
	30	蛇沢南の沢		R7.5.16	2.4	0.3	23.0	0.6	0.5	73.0	9.1	0.5	9.4	7.91	14.64
	31	奥西河内川		R7.5.15	1.6	0.3	22.0	0.8	0.4	68.0	11.0	0.5	10.6	8.25	14.18
	32	赤石沢		R7.5.15	1.3	0.3	14.0	0.4	0.4	42.0	6.5	0.4	9.9	8.06	8.75
	33	北俣・中俣合流部付近	西俣	R7.5.16	0.9	0.2	12.0	0.5	0.4	38.0	4.6	0.8	6.6	8.08	7.65

表 155　溶存イオンの当量値（沢水）：5 月期調査

区分	No.	地点	地域	調査日	溶存イオン当量値(meq/L) ＝ 物質量(mol/L)×イオン価数								水温 (℃)	pH	電気伝導度 (mS/m)
					Na^+	K^+	Ca^{2+}	Mg^{2+}	Cl^-	HCO_3^-	SO_4^{2-}	NO_3^-			
沢	1	内無沢	西俣	R7.5.14	0.0348	0.0051	0.4990	0.0329	0.0113	0.4917	0.0708	0.0129	4.5	7.87	6.13
	2	魚無沢		R7.5.14	0.0391	0.0051	0.6986	0.0576	0.0085	0.7211	0.0750	0.0145	5.4	7.87	8.32
	3	瀬戸沢		R7.5.14	0.0391	0.0051	0.4591	0.0165	0.0113	0.4753	0.0687	0.0000	6.0	7.92	5.87
	4	上岳沢		R7.5.13	0.0391	0.0051	0.5489	0.0165	0.0113	0.5572	0.0687	0.0210	8.5	7.90	6.82
	5	西小石沢		R7.5.13	0.0435	0.0077	0.6487	0.1070	0.0113	0.7047	0.1104	0.0113	6.2	7.87	8.78
	6	柾小屋沢		R7.5.14	0.0609	0.0051	0.7485	0.0823	0.0113	0.7211	0.1666	0.0000	6.4	8.23	9.68
	7	蛇抜沢		R7.5.14	0.0478	0.0051	0.6986	0.0823	0.0085	0.7539	0.1249	0.0145	5.9	8.15	9.60
	8	柳沢		R7.5.14	0.0652	0.0077	1.0479	0.0823	0.0113	0.8850	0.2082	0.0065	7.0	8.16	11.61
	9	悪沢		R7.5.14	0.0478	0.0077	0.8982	0.1070	0.0085	0.8522	0.2082	0.0177	6.9	8.16	11.41
	10	大崩		R7.5.14	0.0739	0.0128	1.6966	0.1399	0.0113	1.3275	0.6454	0.0000	10.9	8.37	20.90
	11	徳右衛門沢	東俣	R7.5.13	0.0478	0.0077	0.7485	0.0494	0.0113	0.7211	0.1499	0.0113	9.0	7.83	9.29
	12	曲輪沢		R7.5.13	0.0652	0.0077	0.7984	0.0741	0.0113	0.7867	0.2082	0.0081	9.8	7.92	10.80
	13	ジャガ沢		R7.5.13	0.0870	0.0102	1.1976	0.1893	0.0141	0.7047	0.8120	0.0081	10.5	7.95	16.59
	14	流沢	林道東俣線沿いの支川	R7.5.13	0.0957	0.0077	0.9481	0.1070	0.0141	0.8031	0.3331	0.0258	7.0	7.88	12.69
	15	二軒小屋南西の沢		R7.5.14	0.0957	0.0256	2.7445	0.2715	0.0141	2.2944	0.9161	0.0097	10.3	8.39	31.70
	16	上スリバチ沢		R7.5.13	0.1044	0.0230	1.9461	0.5760	0.0113	1.6389	1.0619	0.0000	10.4	7.97	26.90
	17	スリバチ沢		R7.5.15	0.0957	0.0102	0.9980	0.1152	0.0113	0.9506	0.3331	0.0194	7.0	8.08	14.00
	18	車屋沢		R7.5.15	0.0826	0.0077	0.5988	0.0411	0.0113	0.5408	0.1957	0.0097	7.0	8.08	7.39
	19	燕沢		R7.5.15	0.0870	0.0077	1.0978	0.0329	0.0113	1.0161	0.2020	0.0226	8.9	8.15	13.16
	20	大尻沢北の沢		R7.5.15	0.0696	0.0051	0.5489	0.0165	0.0113	0.4917	0.1124	0.0000	8.7	8.23	7.50
	21	大尻沢		R7.5.15	0.0696	0.0051	0.4990	0.0247	0.0113	0.5081	0.1124	0.0081	7.5	8.05	6.77
	22	蛇沢南東の沢		R7.5.15	0.0652	0.0051	0.8483	0.0247	0.0197	0.7539	0.2020	0.0242	9.8	7.50	11.57
	23	破風石沢		R7.5.16	0.1827	0.0077	0.5988	0.0494	0.0423	0.6883	0.1395	0.0000	9.0	7.85	9.54
	24	下木賊沢北の沢		R7.5.15	0.1653	0.0102	0.7984	0.0658	0.0338	0.8358	0.1832	0.0000	9.5	7.91	11.07
	25	下木賊沢		R7.5.15	0.1000	0.0077	0.7485	0.0494	0.0113	0.6883	0.2082	0.0000	9.5	7.85	9.73
	26	虎杖沢		R7.5.16	0.0957	0.0051	0.7984	0.0247	0.0113	0.7375	0.2290	0.0000	7.5	7.75	10.72
	27	上千枚沢		R7.5.15	0.0478	0.0102	2.4950	0.1975	0.0113	2.1306	0.8537	0.0129	8.7	8.40	30.20
	28	下千枚沢		R7.5.16	0.0783	0.0077	0.8483	0.1152	0.0113	0.9833	0.1728	0.0000	8.6	8.05	11.92
	29	蛇沢		R7.5.16	0.0783	0.0077	0.7984	0.0494	0.0113	0.8522	0.1541	0.0000	8.9	8.03	10.89
	30	蛇沢南の沢		R7.5.16	0.1044	0.0077	1.1477	0.0494	0.0141	1.1964	0.1895	0.0081	9.4	7.91	14.64
	31	奥西河内川		R7.5.15	0.0696	0.0077	1.0978	0.0658	0.0113	1.1144	0.2290	0.0081	10.6	8.25	14.18
	32	赤石沢		R7.5.15	0.0565	0.0077	0.6986	0.0329	0.0113	0.6883	0.1353	0.0065	9.9	8.06	8.75
	33	北俣・中俣合流部付近	西俣	R7.5.16	0.0391	0.0051	0.5988	0.0411	0.0113	0.6228	0.0958	0.0129	6.6	8.08	7.65

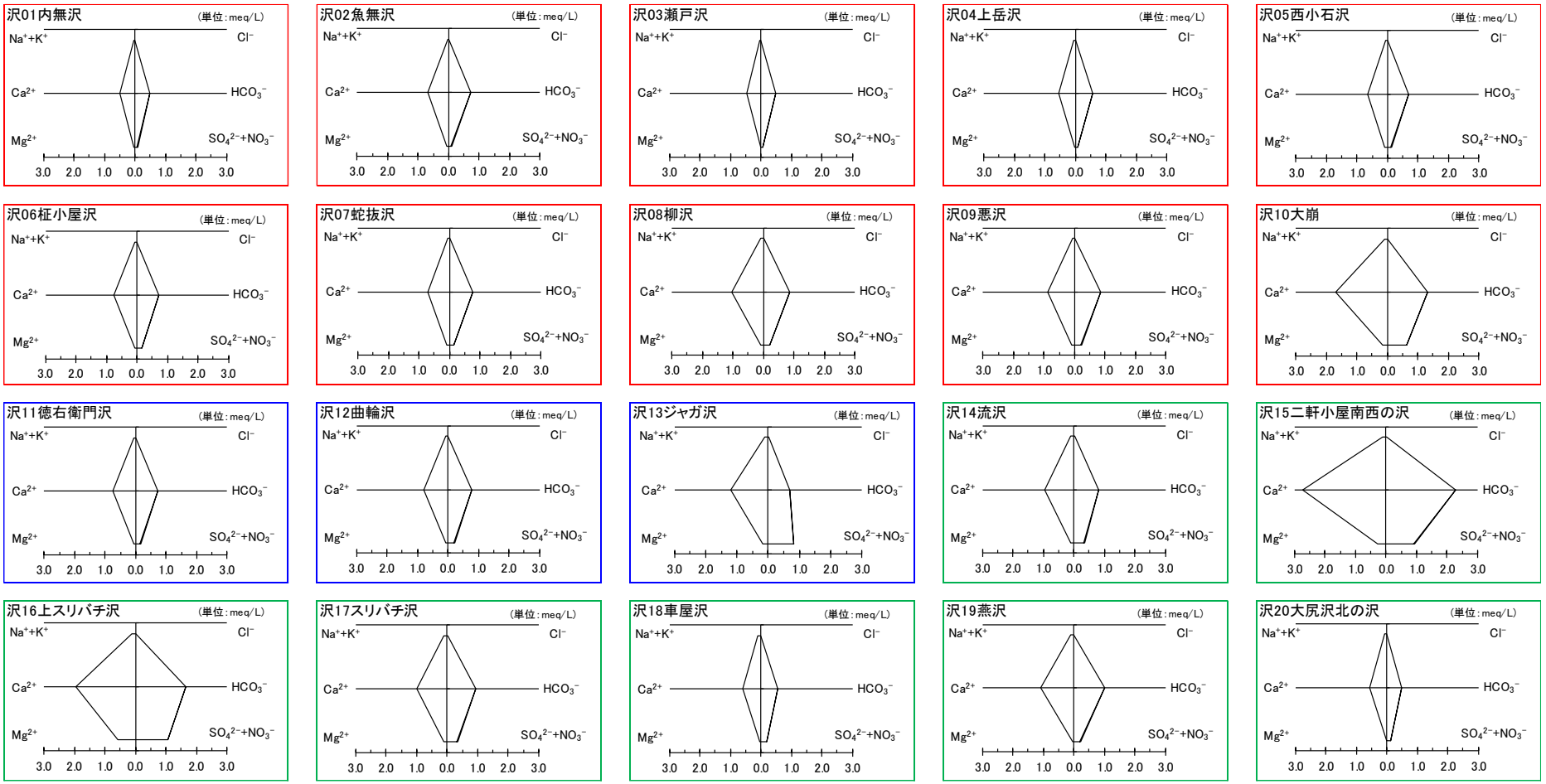
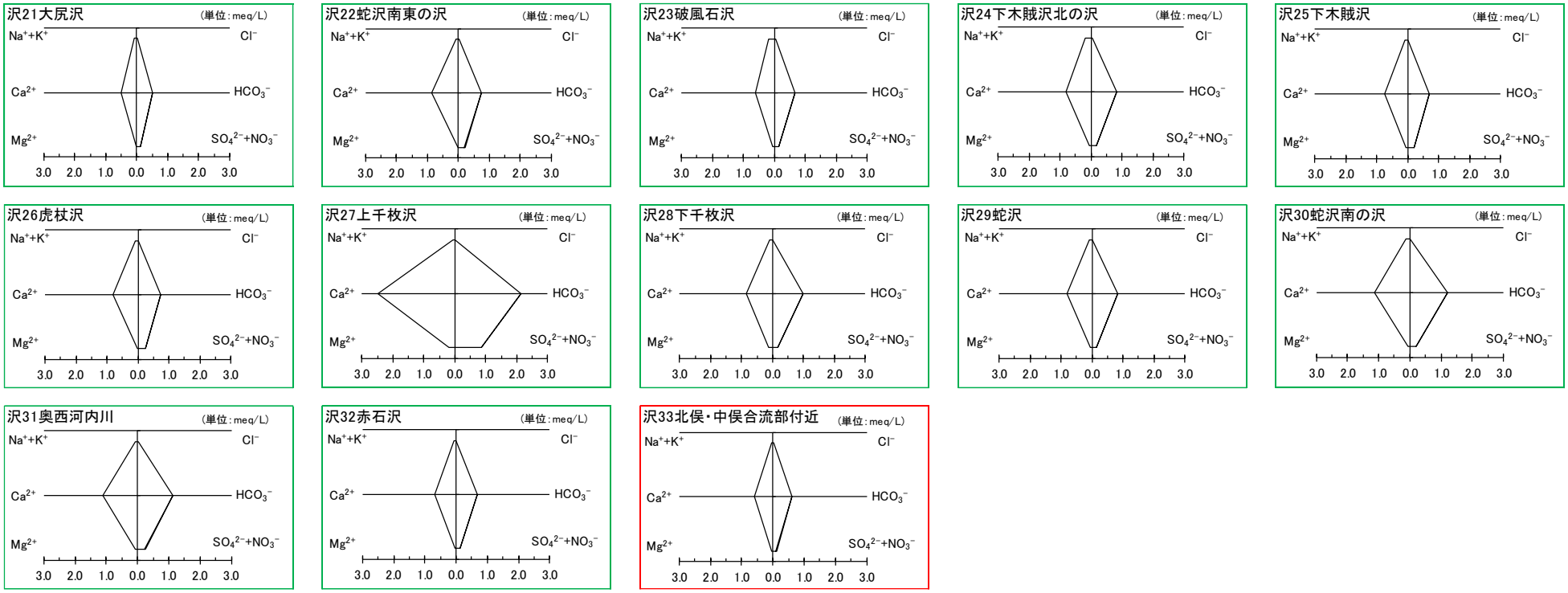


図 181　シュティフダイヤグラム：5 月期調査 1/2



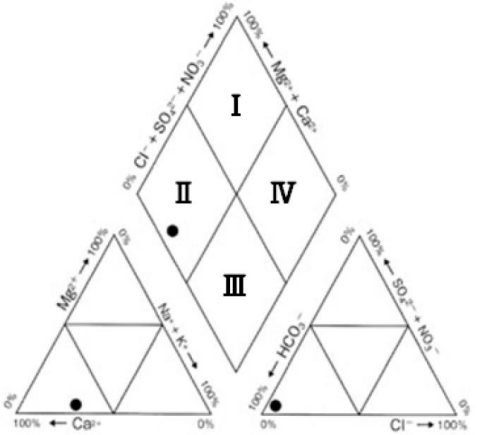
西俣

東俣

東俣林道線沿いの支川

図 182　シュティフダイヤグラム：5 月期調査 2/2

区分	分類	概要
Ⅰ	アルカリ土類非炭酸塩型	熱水や化石水が含まれている水に多くみられる水質組成
Ⅱ	アルカリ土類炭酸塩型	浅層地下水に多くみられる水質組成で日本では最も一般的な水質組成
Ⅲ	アルカリ炭酸塩型	滞留時間の長い深層地下水でよくみられる水質組成
Ⅳ	アルカリ非炭酸塩型	海水や温泉などで多くみられる水質組成



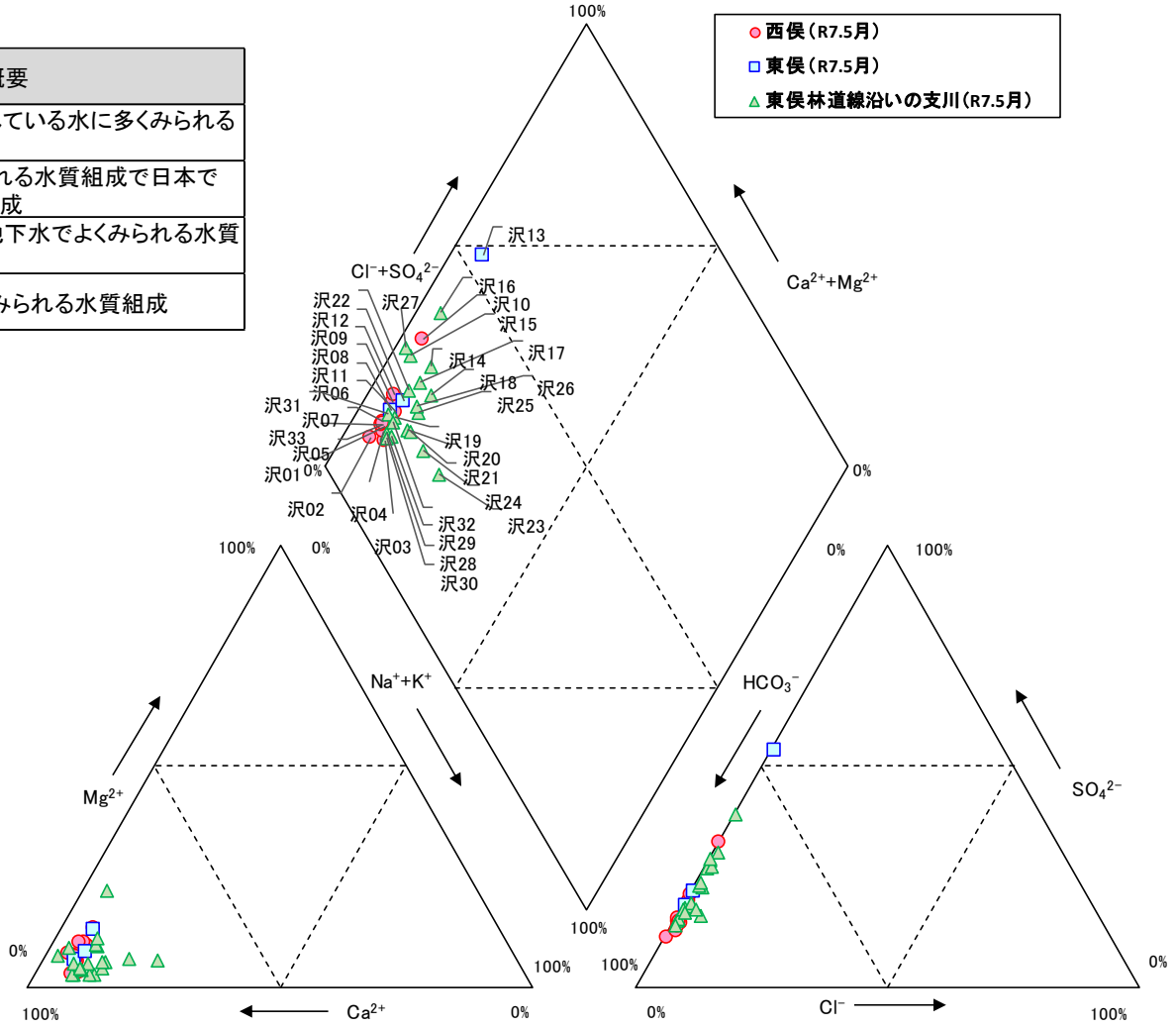


図 183　トリリニアダイヤグラム：5 月期調査

1.8.8.2 酸素・水素安定同位体比

各沢の水の安定同位体比の測定結果を表 156 に示します。また、地形的に集水域が限定され涵養標高を特定することが可能な、大井川流域の湧水、池水、河川水において、安定同位体比を分析し、それらの安定同位体比－涵養標高関係における回帰直線から得られた地下水涵養線（名水を訪ねて（146）大井川流域の名水、地下水学会誌 66(3)工藤ほか（2024））を用いて、各沢の水の安定同位体比の測定結果と対比することで推定した各沢の水の平均的な涵養標高の値を、同表（表 156）に示します。

また、酸素・水素安定同位体比の関係性を示します。δダイヤグラムを図 184 に示します。大井川上流域と高標高部（椹島ロッヂ付近、千枚小屋付近、静岡駅付近、中岳避難小屋付近）において令和５年５月から令和６年３月までの１年間に観測した降水中の安定同位体比から算出したローカル天水線（δＤ＝８×δ^{18}Ｏ＋１４．９）及び世界各地の降水の安定同位体比から算出された天水線（δＤ＝８×δ^{18}Ｏ＋１０）の付近にプロットされる分布となっています。

表 156　安定同位体比の測定結果（沢水）：5 月期調査

区分	No.	地点	地域	調査日	採水標高 (m)	δD (‰)	δ^{18}O (‰)	測定結果と地下水涵養線から推定した平均涵養標高(m)		
								δD	δ^{18}O	平均
沢	1	内無沢	西俣	R7.5.14	1,915	-87.40	-12.74	約2,300	約2,300	約2,300
	2	魚無沢		R7.5.14	1,920	-89.50	-13.01	約2,400	約2,400	約2,400
	3	瀬戸沢		R7.5.14	1,919	-87.60	-12.80	約2,300	約2,400	約2,300
	4	上岳沢		R7.5.13	1,831	-88.30	-12.96	約2,400	約2,400	約2,400
	5	西小石沢		R7.5.13	1,781	-87.80	-12.86	約2,300	約2,400	約2,400
	6	柾小屋沢		R7.5.14	1,611	-87.40	-12.65	約2,300	約2,300	約2,300
	7	蛇抜沢		R7.5.14	1,573	-89.40	-13.05	約2,400	約2,400	約2,400
	8	柳沢		R7.5.14	1,564	-85.30	-12.22	約2,200	約2,200	約2,200
	9	悪沢		R7.5.14	1,536	-88.70	-12.84	約2,400	約2,400	約2,400
	10	大崩		R7.5.14	1,528	-84.80	-12.07	約2,200	約2,100	約2,100
	11	徳右衛門沢	東俣	R7.5.13	1,603	-86.50	-12.54	約2,300	約2,300	約2,300
	12	曲輪沢		R7.5.13	1,500	-84.80	-12.17	約2,200	約2,100	約2,200
	13	ジャガ沢		R7.5.13	1,475	-80.50	-11.66	約2,000	約1,900	約2,000
	14	流沢	林道東俣線沿いの支川	R7.5.13	1,392	-78.90	-11.50	約1,900	約1,900	約1,900
	15	二軒小屋南西の沢		R7.5.14	1,384	-77.80	-11.33	約1,900	約1,800	約1,800
	16	上スリバチ沢		R7.5.13	1,364	-78.10	-11.24	約1,900	約1,800	約1,800
	17	スリバチ沢		R7.5.15	1,360	-79.40	-11.51	約1,900	約1,900	約1,900
	18	車屋沢		R7.5.15	1,372	-81.20	-11.77	約2,000	約2,000	約2,000
	19	燕沢		R7.5.15	1,299	-79.30	-11.50	約1,900	約1,900	約1,900
	20	大尻沢北の沢		R7.5.15	1,283	-78.70	-11.43	約1,900	約1,900	約1,900
	21	大尻沢		R7.5.15	1,300	-78.70	-11.46	約1,900	約1,900	約1,900
	22	蛇沢南東の沢		R7.5.15	1,235	-75.80	-10.94	約1,800	約1,700	約1,700
	23	破風石沢		R7.5.16	1,219	-76.40	-11.02	約1,800	約1,700	約1,800
	24	下木賊沢北の沢		R7.5.15	1,210	-76.00	-10.91	約1,800	約1,700	約1,700
	25	下木賊沢		R7.5.15	1,204	-77.90	-11.38	約1,900	約1,800	約1,900
	26	虎杖沢		R7.5.16	1,210	-76.70	-11.25	約1,800	約1,800	約1,800
	27	上千枚沢		R7.5.15	1,533	-84.50	-12.43	約2,200	約2,200	約2,200
	28	下千枚沢		R7.5.16	1,502	-82.40	-11.93	約2,100	約2,000	約2,100
	29	蛇沢		R7.5.16	1,268	-81.10	-11.73	約2,000	約2,000	約2,000
	30	蛇沢南の沢		R7.5.16	1,262	-77.20	-11.20	約1,800	約1,800	約1,800
	31	奥西河内川		R7.5.15	1,180	-79.40	-11.59	約1,900	約1,900	約1,900
	32	赤石沢		R7.5.15	1,168	-79.70	-11.78	約2,000	約2,000	約2,000
	33	北俣・中俣合流部付近	西俣	R7.5.16	1,800	-89.80	-13.11	約2,400	約2,500	約2,400

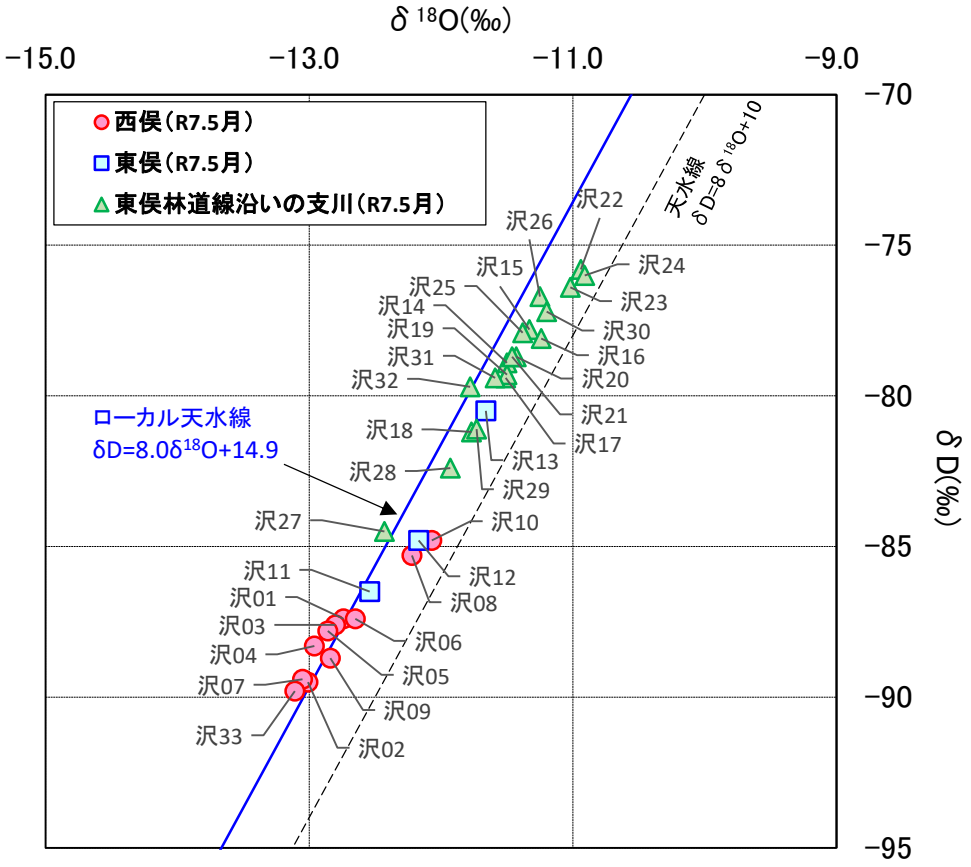


図 184　δダイヤグラムと天水線：5 月期調査

1.8.8.3 不活性ガス等

大井川上流域と高標高部（椹島ロッヂ付近、千枚小屋付近、中岳避難小屋付近）において令和５年４月から令和６年３月までの１年間に観測した大気中のＳＦ$_6$濃度の時系列変動図を図 185 に示します。また、米国地質調査所において公開されている 1940 年から 2020 年までの北半球における大気中の平均値から推定される 2023 年のその値を点線で示します。これによると、大井川上流域における大気中のＳＦ$_6$濃度は 10.5～13.0pptv の範囲にあり、いずれの地点においても明確な季節変動は認められず、2023 年における北半球の平均値（11.6pptv）と同程度の値を示していました。そのため、今回の沢の水に対するＳＦ$_6$年代の推定では、公開されている大気中のＳＦ$_6$濃度の経年変化曲線（北半球平均値）（図 186）を補正せずに使用することとしました。

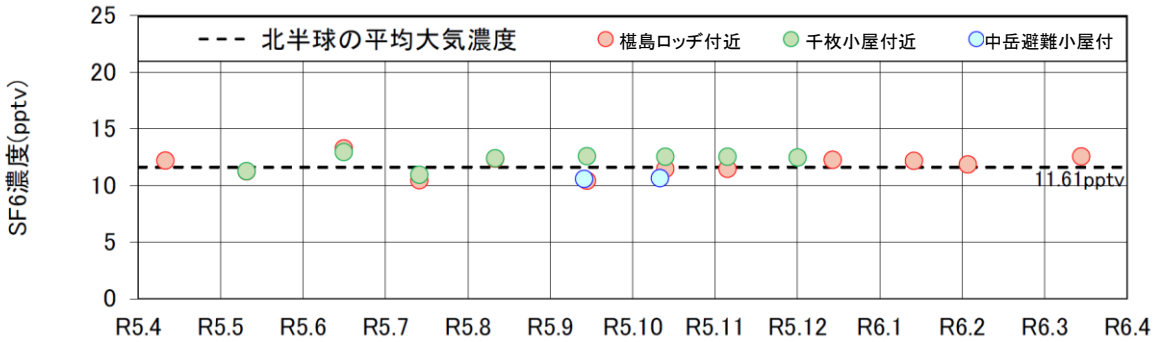


図 185　大井川大井川上流域と高標高部における大気中の SF$_6$濃度の時系列変動図

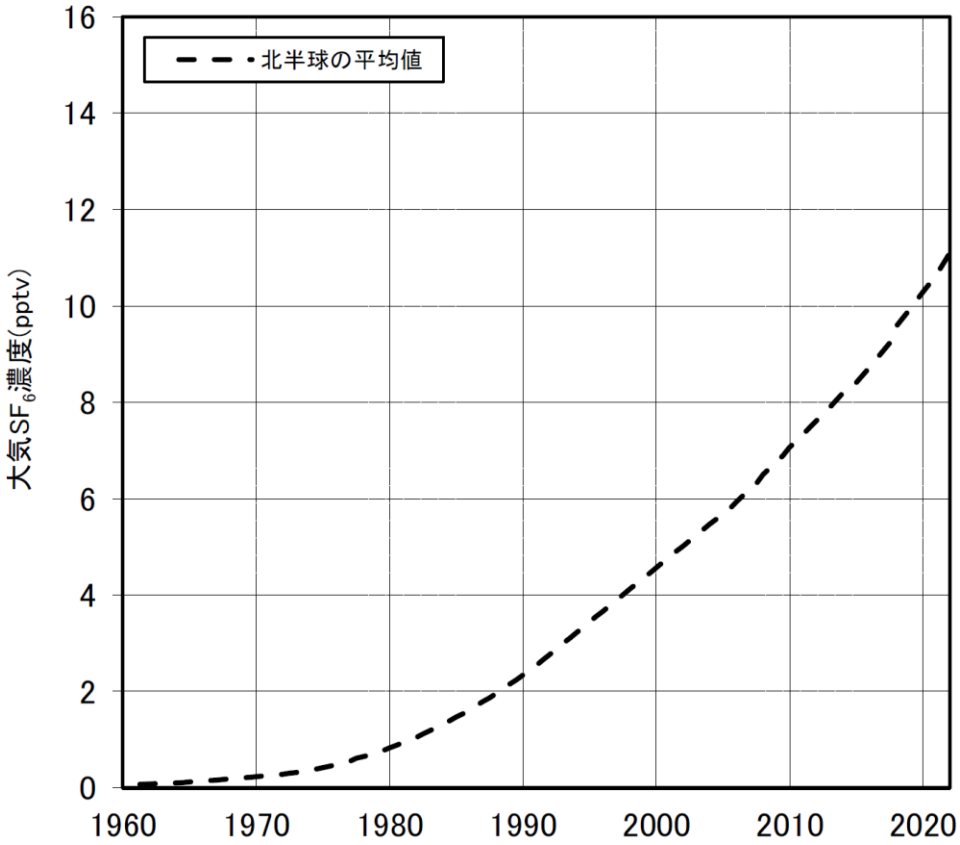


図 186　北半球における大気中の SF$_6$濃度の経年変化曲線（北半球平均値）

・沢の水のＳＦ$_6$濃度の測定結果と、大気中のＳＦ$_6$濃度の経年変化曲線をもとに算出した沢の水の滞留時間の推定結果を表 157 及び図 187 に示します。
・また、大井川上流域に位置する沢の水は、断層等の近傍であることから自然由来のＳＦ$_6$が付加されている可能性も考えられたことから、トリチウムによる年代分析も、5 月期において追加して実施しました。トリチウムの測定結果と、公表されている降水中のトリチウム濃度をもとに算出した沢の水の滞留時間の推定結果を**表 158** 及び図 188 に示します。

表 157　ＳＦ$_6$濃度の測定結果及び滞留時間の推定結果（沢水）：5 月期調査

区分	No.	地点	地域	調査日	採水標高(m)	SF_6濃度(大気換算)(pptv)	滞留時間
沢	1	内無沢	西俣	R7.5.14	1,915	7.5	約14年
	2	魚無沢		R7.5.14	1,920	8.3	約11年
	3	瀬戸沢		R7.5.14	1,919	8.6	約11年
	4	上岳沢		R7.5.13	1,831	7.7	約13年
	5	西小石沢		R7.5.13	1,781	7.9	約13年
	6	柾小屋沢		R7.5.14	1,611	7.1	約15年
	7	蛇抜沢		R7.5.14	1,573	7.6	約14年
	8	柳沢		R7.5.14	1,564	7.8	約13年
	9	悪沢		R7.5.14	1,536	7.5	約14年
	10	大崩		R7.5.14	1,528	7.2	約15年
	11	徳右衛門沢	東俣	R7.5.13	1,603	7.5	約14年
	12	曲輪沢		R7.5.13	1,500	7.1	約16年
	13	ジャガ沢		R7.5.13	1,475	7.4	約14年
	14	流沢	林道東俣線沿いの支川	R7.5.13	1,392	7.0	約16年
	15	二軒小屋南西の沢		R7.5.14	1,384	8.7	約10年
	16	上スリバチ沢		R7.5.13	1,364	8.2	約12年
	17	スリバチ沢		R7.5.15	1,360	7.3	約15年
	18	車屋沢		R7.5.15	1,372	7.2	約15年
	19	燕沢		R7.5.15	1,299	7.5	約14年
	20	大尻沢北の沢		R7.5.15	1,283	7.9	約13年
	21	大尻沢		R7.5.15	1,300	7.5	約14年
	22	蛇沢南東の沢		R7.5.15	1,235	8.5	約11年
	23	破風石沢		R7.5.16	1,219	7.1	約15年
	24	下木賊沢北の沢		R7.5.15	1,210	8.0	約12年
	25	下木賊沢		R7.5.15	1,204	8.9	約10年
	26	虎杖沢		R7.5.16	1,210	7.4	約14年
	27	上千枚沢		R7.5.15	1,533	7.3	約15年
	28	下千枚沢		R7.5.16	1,502	7.8	約13年
	29	蛇沢		R7.5.16	1,268	8.6	約11年
	30	蛇沢南の沢		R7.5.16	1,262	8.5	約11年
	31	奥西河内川		R7.5.15	1,180	8.8	約10年
	32	赤石沢		R7.5.15	1,168	8.3	約11年
	33	北俣・中俣合流部付近	西俣	R7.5.16	1,800	8.6	約11年

※SF_6濃度（大気換算）は、水中のSF_6濃度をヘンリーの溶解平衡式を用いて地下水涵養時の大気濃度に変換。

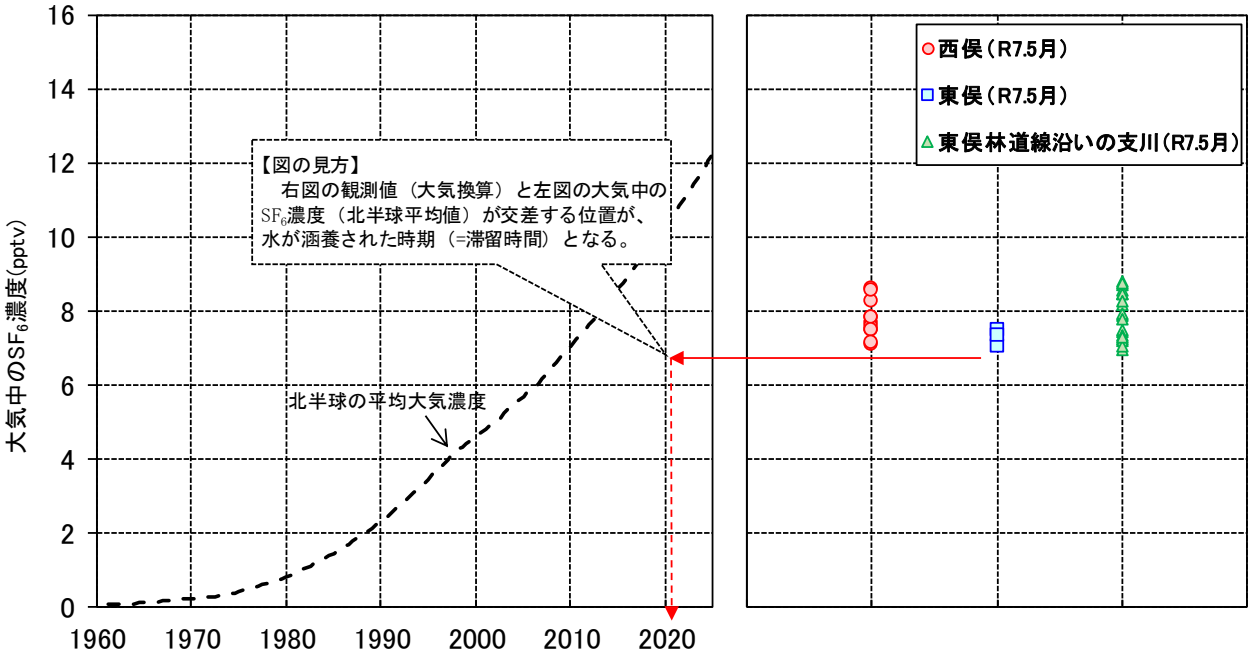


図 187　ＳＦ６濃度の測定結果及び滞留時間の推定結果（沢水）：５月期調査

表 158　トリチウム濃度の測定結果及び滞留時間の推定結果（沢水）：5 月期調査

区分	No.	地点	地域	調査日	採水標高(m)	トリチウム濃度(TU)	滞留時間
沢	1	内無沢	西俣	R7.5.14	1,915	3.10	約50年以下
	2	魚無沢		R7.5.14	1,920	3.00	約50年以下
	3	瀬戸沢		R7.5.14	1,919	3.00	約50年以下
	4	上岳沢		R7.5.13	1,831	2.90	約50年以下
	5	西小石沢		R7.5.13	1,781	3.00	約50年以下
	6	柾小屋沢		R7.5.14	1,611	2.80	約50年以下
	7	蛇抜沢		R7.5.14	1,573	2.90	約50年以下
	8	柳沢		R7.5.14	1,564	3.10	約50年以下
	9	悪沢		R7.5.14	1,536	3.00	約50年以下
	10	大崩		R7.5.14	1,528	2.90	約50年以下
	11	徳右衛門沢	東俣	R7.5.13	1,603	3.00	約50年以下
	12	曲輪沢		R7.5.13	1,500	2.90	約50年以下
	13	ジャガ沢		R7.5.13	1,475	2.70	約50年以下
	14	流沢	林道東俣線沿いの支川	R7.5.13	1,392	2.60	約50年以下
	15	二軒小屋南西の沢		R7.5.14	1,384	2.60	約50年以下
	16	上スリバチ沢		R7.5.13	1,364	2.80	約50年以下
	17	スリバチ沢		R7.5.15	1,360	2.50	約50年以下
	18	車屋沢		R7.5.15	1,372	2.70	約50年以下
	19	燕沢		R7.5.15	1,299	2.70	約50年以下
	20	大尻沢北の沢		R7.5.15	1,283	2.40	約50年以下
	21	大尻沢		R7.5.15	1,300	2.60	約50年以下
	22	蛇沢南東の沢		R7.5.15	1,235	2.50	約50年以下
	23	破風石沢		R7.5.16	1,219	2.30	約50年以下
	24	下木賊沢北の沢		R7.5.15	1,210	2.50	約50年以下
	25	下木賊沢		R7.5.15	1,204	2.50	約50年以下
	26	虎杖沢		R7.5.16	1,210	2.40	約50年以下
	27	上千枚沢		R7.5.15	1,533	3.20	約50年以下
	28	下千枚沢		R7.5.16	1,502	2.40	約50年以下
	29	蛇沢		R7.5.16	1,268	2.40	約50年以下
	30	蛇沢南の沢		R7.5.16	1,262	2.50	約50年以下
	31	奥西河内川		R7.5.15	1,180	2.90	約50年以下
	32	赤石沢		R7.5.15	1,168	3.20	約50年以下
	33	北俣・中俣合流部付近	西俣	R7.5.16	1,800	3.30	約50年以下

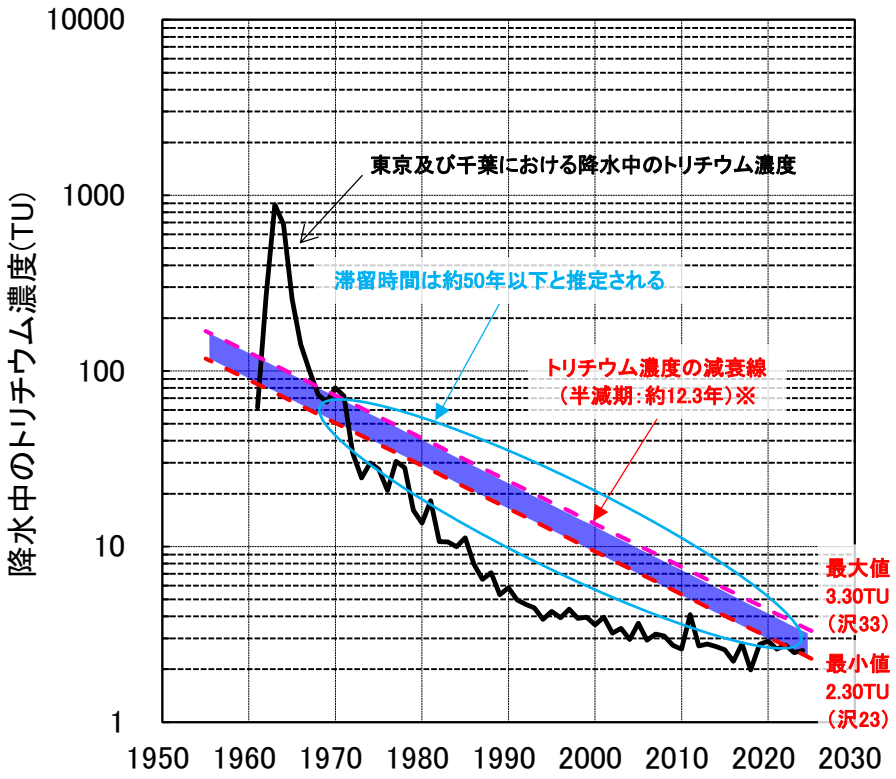


図 188　トリチウム濃度の測定結果及び滞留時間の推定結果（沢水）：5 月期調査

出典：原子力規制庁”環境放射線データベース”（https://search.kankyo-hoshano.go.jp/servlet/search.top）（参照 2020-9-14）をもとに作成

※トリチウムは（^{3}H）は水素の放射性同位体であり、放射性同位体は放射壊変によって一定率で濃度が低下するとされており、トリチウムの場合は半減期が約 12.3 年とされている。現時点におけるトリチウム濃度の計測結果から減衰線を作成し、公表されている降水中のトリチウム濃度との交点を求めることにより、涵養年を推定することができる。

1.8.9 大井川上流域（沢）11 月期

トンネル掘削前に実施する高速長尺先進ボーリングやトンネル掘削中の切羽からの湧水と、沢の水との関係性を確認するために、調査を実施しました。

1.8.9.1 溶存イオン

沢の水の各調査地点における、溶存イオン、ｐＨ、電気伝導率（EC）、水温等の測定結果を表 159 に示します。また、溶存イオンについては、電解質の濃度を表す単位である当量値（＝物質量×イオン価数）に換算したものを表 160 に示します。

また、シュティフダイヤグラム、トリリニアダイヤグラムをそれぞれ図 189、図 190 及び図 191 に示します。

表 159　溶存イオン、ｐＨ、電気伝導率（EC）の測定結果（沢水）：11 月期調査

区分	No.	地点	地域	調査日	溶存イオン(mg/L)								水温	pH	電気伝導度
					Na^+	K^+	Ca^{2+}	Mg^{2+}	Cl^-	HCO_3^-	SO_4^{2-}	NO_3^-	(℃)		(mS/m)
沢	1	内無沢	西俣	R7.11.12	0.9	0.2	11.0	0.4	0.3	36.0	3.9	0.6	4.7	7.86	7.11
	2	魚無沢		R7.11.12	1.1	0.2	14.0	0.8	0.3	48.0	4.5	0.8	4.8	7.94	9.12
	3	瀬戸沢		R7.11.12	1.1	0.2	12.0	0.3	0.3	37.0	4.5	0.0	2.6	7.74	7.32
	4	上岳沢		R7.11.12	1.1	0.2	13.0	0.3	0.3	42.0	4.5	0.7	3.3	7.85	8.34
	5	西小石沢		R7.11.11	1.2	0.3	16.0	1.7	0.4	51.0	7.4	1.0	5.0	7.85	10.25
	6	柾小屋沢		R7.11.11	1.5	0.3	18.0	1.2	0.4	55.0	10.0	0.0	4.5	8.17	11.43
	7	蛇抜沢		R7.11.11	1.2	0.2	17.0	1.1	0.3	53.0	7.7	0.7	3.4	8.38	10.75
	8	柳沢		R7.11.11	1.8	0.3	20.0	1.2	0.4	60.0	12.0	0.8	7.6	8.02	12.77
	9	悪沢		R7.11.11	1.3	0.3	21.0	1.6	0.3	62.0	12.0	0.8	4.5	8.09	13.50
	10	大崩		R7.11.11	1.3	0.3	29.0	0.8	0.4	84.0	11.0	0.0	4.6	8.13	20.80
	11	徳右衛門沢	東俣	R7.11.12	1.8	0.4	22.0	1.3	0.4	54.0	15.0	0.4	3.9	8.08	10.76
	12	曲輪沢		R7.11.12	1.8	0.4	21.0	1.3	0.4	60.0	16.0	0.4	5.6	8.08	14.06
	13	ジャガ沢		R7.11.12	2.3	0.5	27.0	3.0	0.4	50.0	49.0	0.4	6.6	8.03	20.10
	14	流沢	林道東俣線沿いの支川	R7.11.11	2.6	0.4	21.0	1.5	0.4	60.0	17.0	1.1	9.2	7.90	14.13
	15	二軒小屋南西の沢		R7.11.13	2.7	1.1	61.0	3.9	0.5	150.0	53.0	0.7	6.2	8.14	33.50
	16	上スリバチ沢		R7.11.12	3.0	0.8	43.0	7.2	0.4	110.0	55.0	0.0	6.2	8.05	29.50
	17	スリバチ沢		R7.11.12	2.4	0.4	23.0	1.6	0.3	65.0	17.0	1.5	9.9	7.75	15.29
	18	車屋沢		R7.11.13	2.3	0.3	14.0	0.7	0.3	40.0	11.0	0.6	5.1	7.99	9.75
	19	燕沢		R7.11.13	2.2	0.4	21.0	0.5	0.3	62.0	10.0	1.2	6.4	7.92	13.23
	20	大尻沢北の沢		R7.11.13	2.3	0.3	12.0	0.4	0.4	39.0	6.6	0.0	6.3	7.96	8.27
	21	大尻沢		R7.11.13	1.9	0.2	12.0	0.3	0.3	36.0	6.0	0.4	6.5	8.00	7.70
	22	蛇沢南東の沢		R7.11.13	3.7	0.7	17.0	1.0	0.8	56.0	10.0	1.5	11.2	8.13	11.92
	23	破風石沢		R7.11.13	4.5	0.4	14.0	0.7	2.0	48.0	6.7	0.0	9.1	7.89	10.33
	24	下木賊沢北の沢		R7.11.13	3.8	0.4	17.0	0.9	1.4	57.0	9.0	0.0	9.4	7.84	12.12
	25	下木賊沢		R7.11.13	2.2	0.3	16.0	0.6	0.3	46.0	11.0	0.0	7.2	7.94	10.65
	26	虎杖沢		R7.11.13	2.3	0.3	17.0	0.8	0.3	51.0	11.0	0.0	9.6	8.13	11.23
	27	上千枚沢		R7.11.13	1.9	0.7	58.0	4.3	0.2	150.0	51.0	0.7	6.6	8.31	34.10
	28	下千枚沢		R7.11.13	2.1	0.3	22.0	2.0	0.3	75.0	10.0	0.0	7.3	7.99	13.97
	29	蛇沢		R7.11.14	2.1	0.3	19.0	0.7	0.3	62.0	8.6	0.0	5.8	7.99	13.97
	30	蛇沢南の沢		R7.11.14	2.6	0.3	26.0	0.7	0.3	80.0	9.9	0.5	7.4	7.89	15.56
	31	奥西河内川		R7.11.14	2.1	0.4	27.0	1.0	0.3	81.0	13.0	0.7	6.3	8.08	16.49
	32	赤石沢		R7.11.13	1.5	0.3	15.0	0.5	0.3	47.0	7.2	0.5	7.2	8.01	9.54
	33	北俣・中俣合流部付近	西俣	R7.11.11	1.1	0.2	15.0	0.7	0.2	48.0	6.3	0.8	4.2	7.83	9.38

表 160　溶存イオンの当量値（沢水）：11 月期調査

区分	No.	地点	地域	調査日	溶存イオン当量値(meq/L) ＝ 物質量(mol/L)×イオン価数								水温	pH	電気伝導度
					Na^+	K^+	Ca^{2+}	Mg^{2+}	Cl^-	HCO_3^-	SO_4^{2-}	NO_3^-	(℃)		(mS/m)
沢	1	内無沢	西俣	R7.11.12	0.0391	0.0051	0.5500	0.0333	0.0085	0.5902	0.0813	0.0097	4.7	7.86	7.11
	2	魚無沢		R7.11.12	0.0478	0.0051	0.7000	0.0667	0.0085	0.7869	0.0938	0.0129	4.8	7.94	9.12
	3	瀬戸沢		R7.11.12	0.0478	0.0051	0.6000	0.0250	0.0085	0.6066	0.0938	0.0000	2.6	7.74	7.32
	4	上岳沢		R7.11.12	0.0478	0.0051	0.6500	0.0250	0.0085	0.6885	0.0938	0.0113	3.3	7.85	8.34
	5	西小石沢		R7.11.11	0.0522	0.0077	0.8000	0.1417	0.0113	0.8361	0.1542	0.0161	5.0	7.85	10.25
	6	柾小屋沢		R7.11.11	0.0652	0.0077	0.9000	0.1000	0.0113	0.9016	0.2083	0.0000	4.5	8.17	11.43
	7	蛇抜沢		R7.11.11	0.0522	0.0051	0.8500	0.0917	0.0085	0.8689	0.1604	0.0113	3.4	8.38	10.75
	8	柳沢		R7.11.11	0.0783	0.0077	1.0000	0.1000	0.0113	0.9836	0.2500	0.0129	7.6	8.02	12.77
	9	悪沢		R7.11.11	0.0565	0.0077	1.0500	0.1333	0.0085	1.0164	0.2500	0.0129	4.5	8.09	13.50
	10	大崩		R7.11.11	0.0565	0.0077	1.4500	0.0667	0.0113	1.3770	0.2292	0.0177	4.6	8.13	20.80
	11	徳右衛門沢	東俣	R7.11.12	0.0783	0.0103	1.1000	0.1083	0.0113	0.8852	0.3125	0.0065	3.9	8.08	10.76
	12	曲輪沢		R7.11.12	0.0783	0.0103	1.0500	0.1083	0.0113	0.9836	0.3333	0.0065	5.6	8.08	14.06
	13	ジャガ沢		R7.11.12	0.1000	0.0128	1.3500	0.2500	0.0113	0.8197	1.0208	0.0000	6.6	8.03	20.10
	14	流沢	林道東俣線沿いの支川	R7.11.11	0.1130	0.0103	1.0500	0.1250	0.0113	0.9836	0.3542	0.0177	9.2	7.90	14.13
	15	二軒小屋南西の沢		R7.11.13	0.1174	0.0282	3.0500	0.3250	0.0141	2.4590	1.1042	0.0113	6.2	8.14	33.50
	16	上スリバチ沢		R7.11.12	0.1304	0.0205	2.1500	0.6000	0.0113	1.8033	1.1458	0.0065	6.2	8.05	29.50
	17	スリバチ沢		R7.11.12	0.1043	0.0103	1.1500	0.1333	0.0085	1.0656	0.3542	0.0242	9.9	7.75	15.29
	18	車屋沢		R7.11.13	0.1000	0.0077	0.7000	0.0583	0.0085	0.6557	0.2292	0.0097	5.1	7.99	9.75
	19	燕沢		R7.11.13	0.0957	0.0103	1.0500	0.0417	0.0085	1.0164	0.2083	0.0194	6.4	7.92	13.23
	20	大尻沢北の沢		R7.11.13	0.1000	0.0077	0.6000	0.0333	0.0113	0.6393	0.1375	0.0000	6.3	7.96	8.27
	21	大尻沢		R7.11.13	0.0826	0.0051	0.6000	0.0250	0.0085	0.5902	0.1250	0.0000	6.5	8.00	7.70
	22	蛇沢南東の沢		R7.11.13	0.1609	0.0179	0.8500	0.0833	0.0225	0.9180	0.2083	0.0242	11.2	8.13	11.92
	23	破風石沢		R7.11.13	0.1957	0.0103	0.7000	0.0583	0.0563	0.7869	0.1396	0.0000	9.1	7.89	10.33
	24	下木賊沢北の沢		R7.11.13	0.1652	0.0103	0.8500	0.0750	0.0394	0.9344	0.1875	0.0000	9.4	7.84	12.12
	25	下木賊沢		R7.11.13	0.0957	0.0077	0.8000	0.0500	0.0085	0.7541	0.2292	0.0000	7.2	7.94	10.65
	26	虎杖沢		R7.11.13	0.1000	0.0077	0.8500	0.0667	0.0085	0.8361	0.2292	0.0081	9.6	8.13	11.23
	27	上千枚沢		R7.11.13	0.0826	0.0179	2.9000	0.3583	0.0056	2.4590	1.0625	0.0113	6.6	8.31	34.10
	28	下千枚沢		R7.11.13	0.0913	0.0077	1.1000	0.1667	0.0085	1.2295	0.2083	0.0000	7.3	7.99	13.97
	29	蛇沢		R7.11.14	0.0913	0.0077	0.9500	0.0583	0.0085	1.0164	0.1792	0.0000	5.8	7.99	13.97
	30	蛇沢南の沢		R7.11.14	0.1130	0.0077	1.3000	0.0583	0.0085	1.3115	0.2063	0.0081	7.4	7.89	15.56
	31	奥西河内川		R7.11.14	0.0913	0.0103	1.3500	0.0833	0.0085	1.3279	0.2708	0.0113	6.3	8.08	16.49
	32	赤石沢		R7.11.13	0.0652	0.0077	0.7500	0.0417	0.0085	0.7705	0.1500	0.0081	7.2	8.01	9.54
	33	北俣・中俣合流部付近	西俣	R7.11.11	0.0478	0.0051	0.7500	0.0583	0.0056	0.7869	0.1313	0.0129	4.2	7.83	9.38

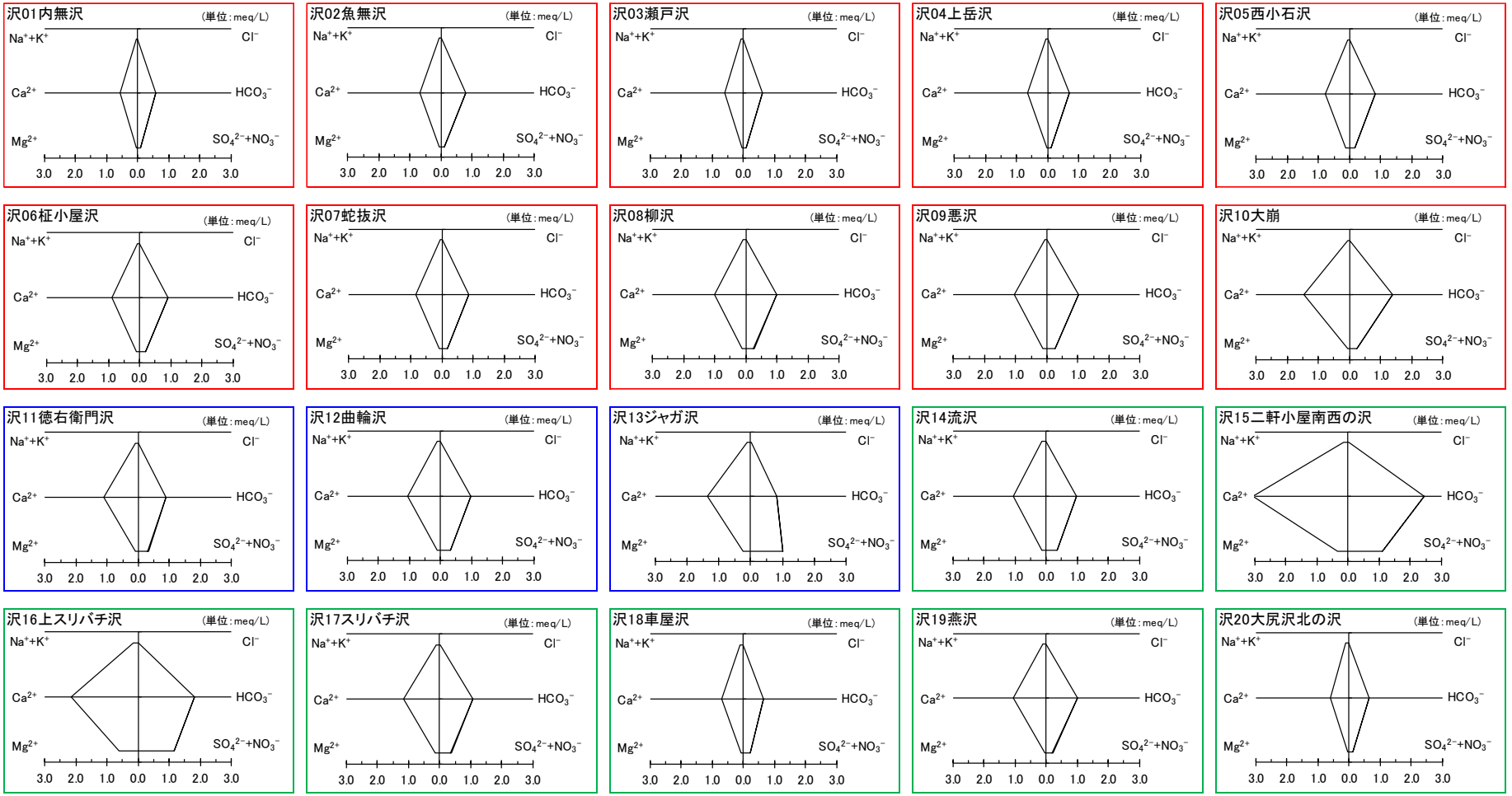


図 189　シュティフダイヤグラム：11 月期調査 1/2

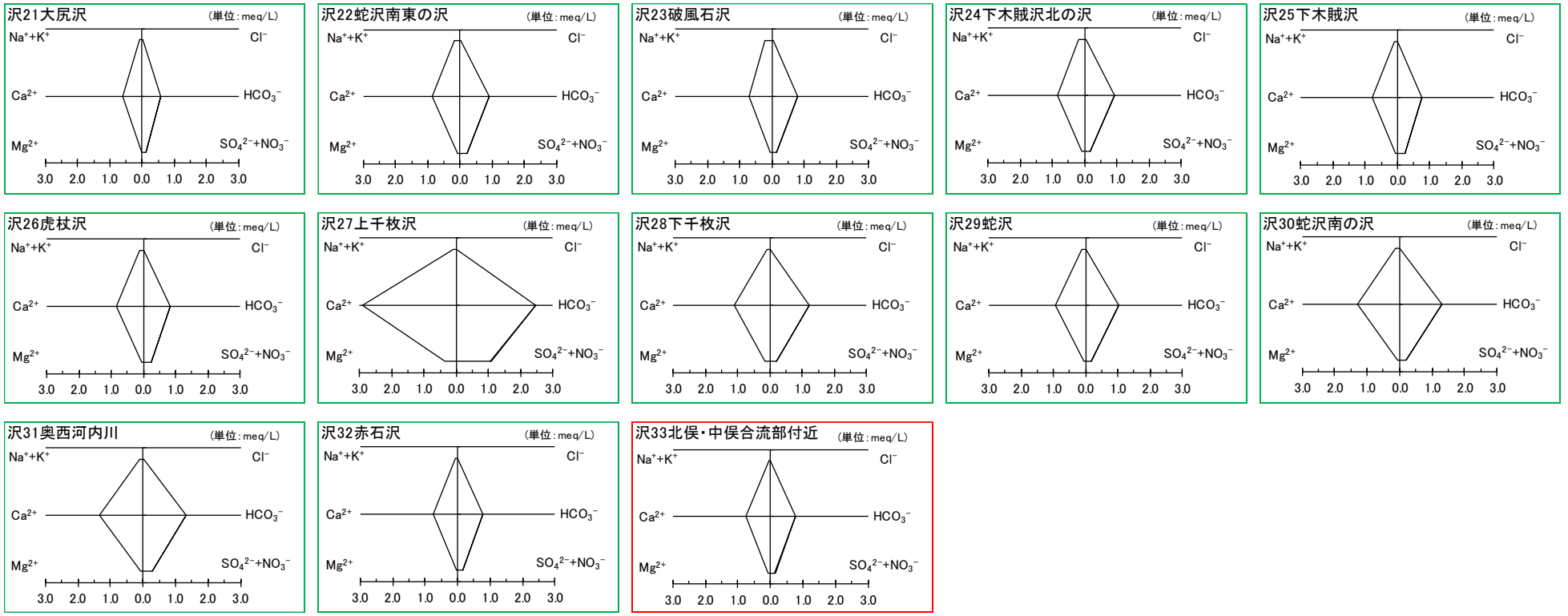
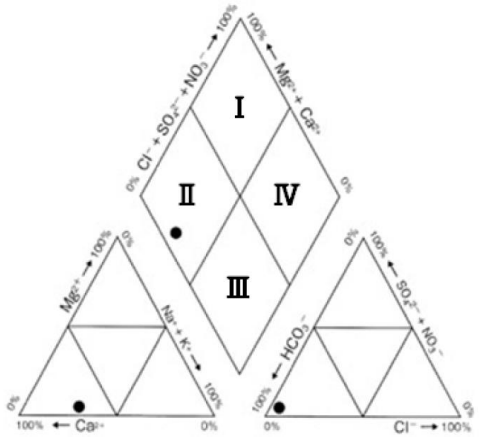


図 190　シュティフダイヤグラム：11 月期調査 2/2

区分	分類	概要
Ⅰ	アルカリ土類非炭酸塩型	熱水や化石水が含まれている水に多くみられる水質組成
Ⅱ	アルカリ土類炭酸塩型	浅層地下水に多くみられる水質組成で日本では最も一般的な水質組成
Ⅲ	アルカリ炭酸塩型	滞留時間の長い深層地下水でよくみられる水質組成
Ⅳ	アルカリ非炭酸塩型	海水や温泉などで多くみられる水質組成



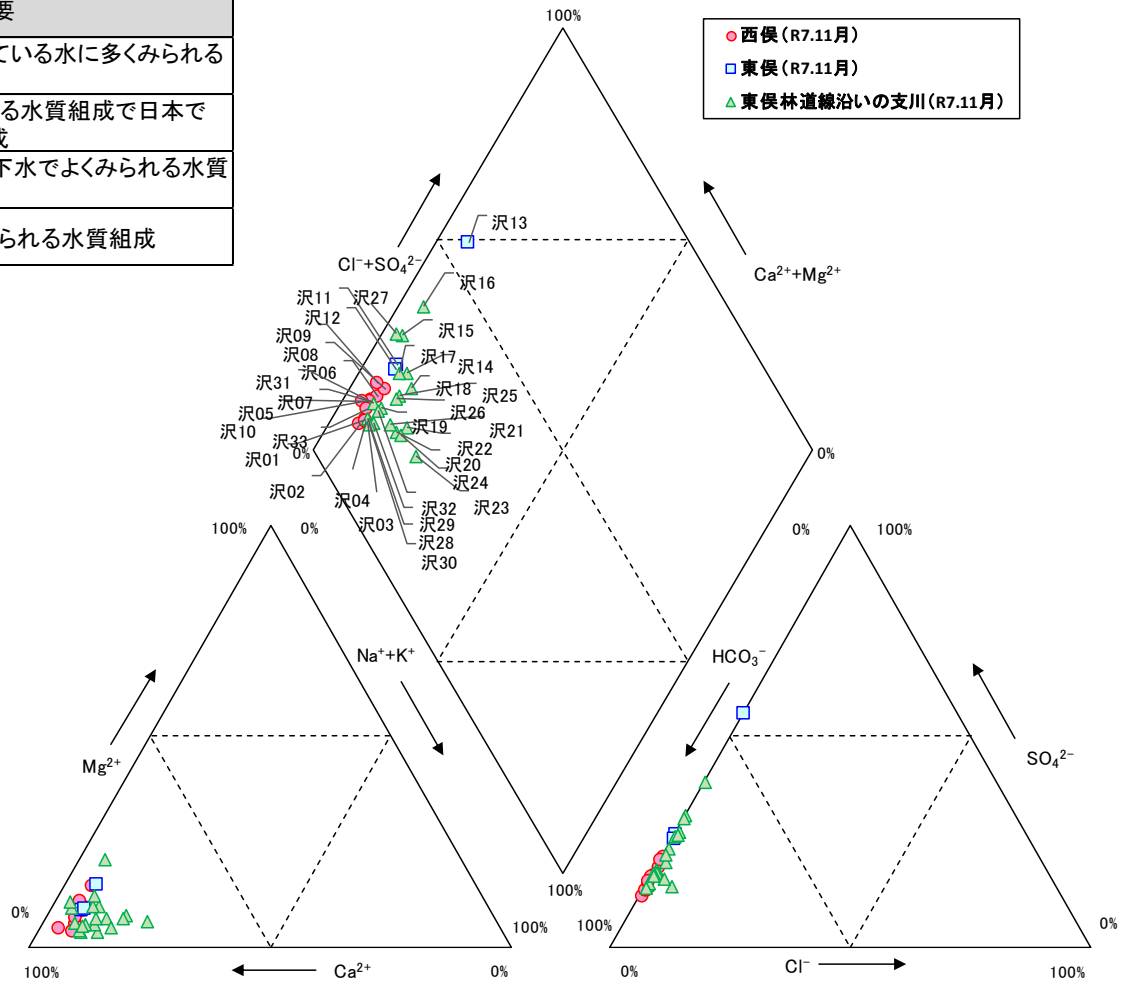


図 191　トリリニアダイヤグラム：11 月期調査

1.8.9.2 酸素・水素安定同位体比

各沢の水の安定同位体比の測定結果を表 161 に示します。また、地形的に集水域が限定され涵養標高を特定することが可能な、大井川流域の湧水、池水、河川水において、安定同位体比を分析し、それらの安定同位体比－涵養標高関係における回帰直線から得られた地下水涵養線（名水を訪ねて（146）大井川流域の名水、地下水学会誌 66(3)工藤ほか（2024））を用いて、各沢の水の安定同位体比の測定結果と対比することで推定した各沢の水の平均的な涵養標高の値を、同表（表 161）に示します。

また、酸素・水素安定同位体比の関係性を示します。δダイヤグラムを図 192 に示します。大井川上流域と高標高部（椹島ロッヂ付近、千枚小屋付近、静岡駅付近、中岳避難小屋付近）において令和５年５月から令和６年３月までの１年間に観測した降水中の安定同位体比から算出したローカル天水線（$\delta D = 8 \times \delta^{18}O + 14.9$）及び世界各地の降水の安定同位体比から算出された天水線（$\delta D = 8 \times \delta^{18}O + 10$）の付近にプロットされる分布となっています。

表 161　安定同位体比の測定結果（沢水）：11 月期調査

区分	No.	地点	地域	調査日	採水標高 (m)	δD (‰)	$\delta^{18}O$ (‰)	測定結果と地下水涵養線から推定した平均涵養標高(m)		
								δD	$\delta^{18}O$	平均
沢	1	内無沢	西俣	R7.11.12	1,915	-85.30	-12.42	約2,200	約2,200	約2,200
	2	魚無沢		R7.11.12	1,920	-89.50	-12.90	約2,400	約2,400	約2,400
	3	瀬戸沢		R7.11.12	1,919	-85.80	-12.42	約2,200	約2,200	約2,200
	4	上岳沢		R7.11.12	1,831	-88.50	-12.73	約2,400	約2,300	約2,300
	5	西小石沢		R7.11.11	1,781	-86.50	-12.41	約2,300	約2,200	約2,200
	6	柾小屋沢		R7.11.11	1,611	-86.60	-12.32	約2,300	約2,200	約2,200
	7	蛇抜沢		R7.11.11	1,573	-89.80	-12.92	約2,400	約2,400	約2,400
	8	柳沢		R7.11.11	1,564	-84.50	-12.01	約2,200	約2,100	約2,100
	9	悪沢		R7.11.11	1,536	-88.10	-12.74	約2,300	約2,300	約2,300
	10	大崩		R7.11.11	1,528	-82.70	-11.65	約2,100	約1,900	約2,000
	11	徳右衛門沢	東俣	R7.11.12	1,603	-85.60	-12.33	約2,200	約2,200	約2,200
	12	曲輪沢		R7.11.12	1,500	-83.10	-11.87	約2,100	約2,000	約2,100
	13	ジャガ沢		R7.11.12	1,475	-81.00	-11.68	約2,000	約2,000	約2,000
	14	流沢	林道東俣線沿いの支川	R7.11.11	1,392	-79.50	-11.43	約1,900	約1,900	約1,900
	15	二軒小屋南西の沢		R7.11.13	1,384	-77.20	-11.13	約1,800	約1,800	約1,800
	16	上スリバチ沢		R7.11.12	1,364	-75.80	-10.87	約1,800	約1,700	約1,700
	17	スリバチ沢		R7.11.12	1,360	-79.60	-11.56	約1,900	約1,900	約1,900
	18	車屋沢		R7.11.13	1,372	-81.60	-11.71	約2,000	約2,000	約2,000
	19	燕沢		R7.11.13	1,299	-80.40	-11.47	約2,000	約1,900	約1,900
	20	大尻沢北の沢		R7.11.13	1,283	-79.90	-11.49	約2,000	約1,900	約1,900
	21	大尻沢		R7.11.13	1,300	-80.00	-11.43	約2,000	約1,900	約1,900
	22	蛇沢南東の沢		R7.11.13	1,235	-76.30	-10.96	約1,800	約1,700	約1,700
	23	破風石沢		R7.11.13	1,219	-77.50	-11.04	約1,800	約1,700	約1,800
	24	下木賊沢北の沢		R7.11.13	1,210	-77.00	-11.08	約1,800	約1,700	約1,800
	25	下木賊沢		R7.11.13	1,204	-78.90	-11.36	約1,900	約1,800	約1,900
	26	虎杖沢		R7.11.13	1,210	-77.70	-11.30	約1,900	約1,800	約1,800
	27	上千枚沢		R7.11.13	1,533	-84.90	-12.25	約2,200	約2,200	約2,200
	28	下千枚沢		R7.11.13	1,502	-82.20	-11.78	約2,100	約2,000	約2,000
	29	蛇沢		R7.11.14	1,268	-80.90	-11.59	約2,000	約1,900	約2,000
	30	蛇沢南の沢		R7.11.14	1,262	-79.10	-11.21	約1,900	約1,800	約1,900
	31	奥西河内川		R7.11.14	1,180	-80.10	-11.35	約2,000	約1,800	約1,900
	32	赤石沢		R7.11.13	1,168	-79.50	-11.47	約1,900	約1,900	約1,900
	33	北俣・中俣合流部付近	西俣	R7.11.11	1,800	-89.90	-12.75	約2,400	約2,300	約2,400

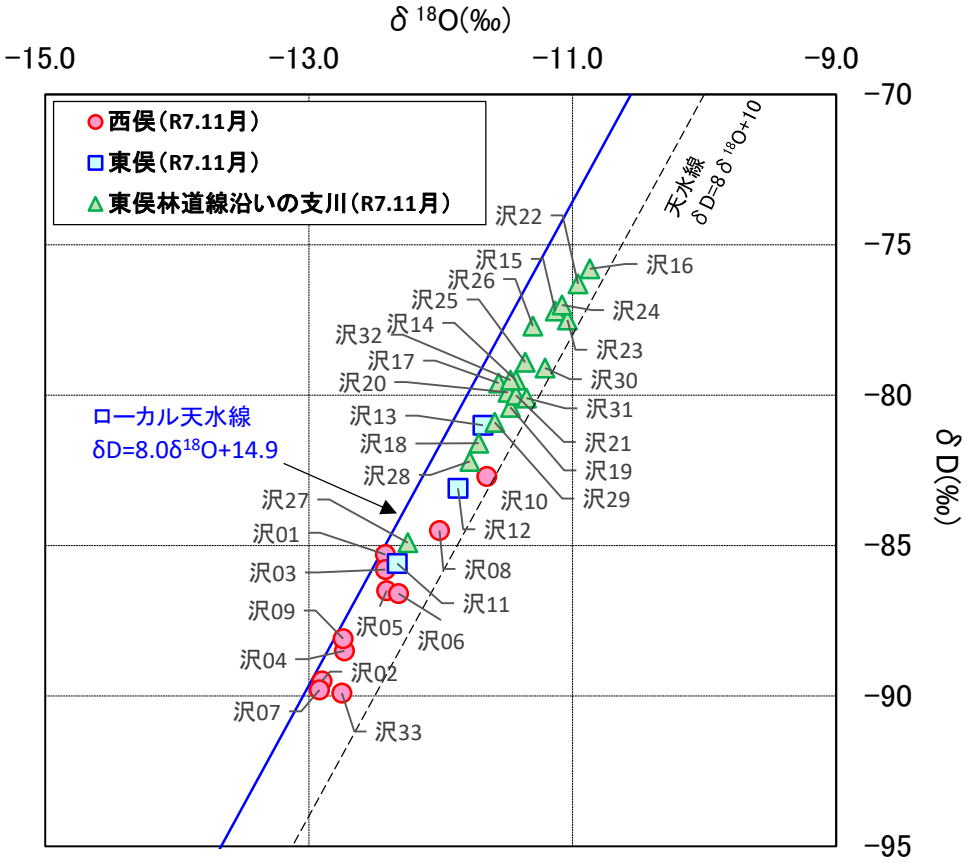


図 192　δダイヤグラムと天水線：11 月期調査

1.8.9.3 不活性ガス等

大井川上流域と高標高部（椹島ロッヂ付近、千枚小屋付近、中岳避難小屋付近）において令和５年４月から令和６年３月までの１年間に観測した大気中のＳＦ$_6$濃度の時系列変動図を図 193 に示します。また、米国地質調査所において公開されている 1940 年から 2020 年までの北半球における大気中の平均値から推定される 2023 年のその値を点線で示します。これによると、大井川上流域における大気中のＳＦ$_6$濃度は 10.5～13.0pptv の範囲にあり、いずれの地点においても明確な季節変動は認められず、2023 年における北半球の平均値（11.6pptv）と同程度の値を示していました。そのため、今回の沢の水に対するＳＦ$_6$年代の推定では、公開されている大気中のＳＦ$_6$濃度の経年変化曲線（北半球平均値）（図 194）を補正せずに使用することとしました。

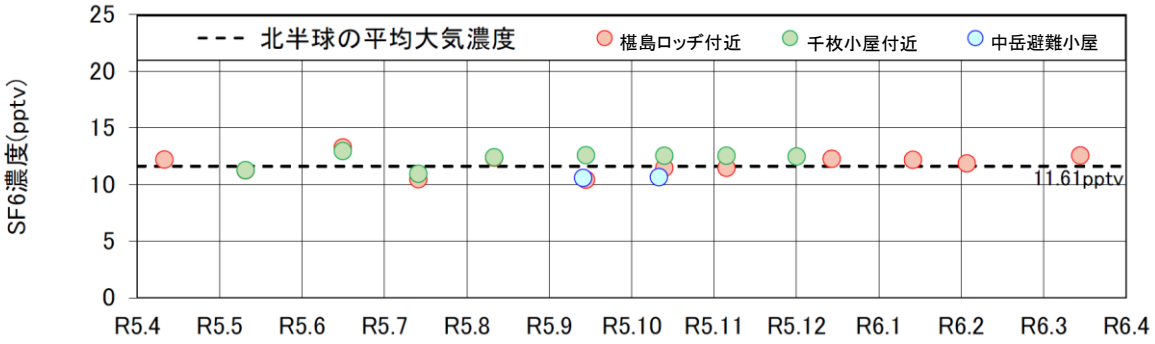


図 193　大井川大井川上流域と高標高部における大気中の SF$_6$濃度の時系列変動図

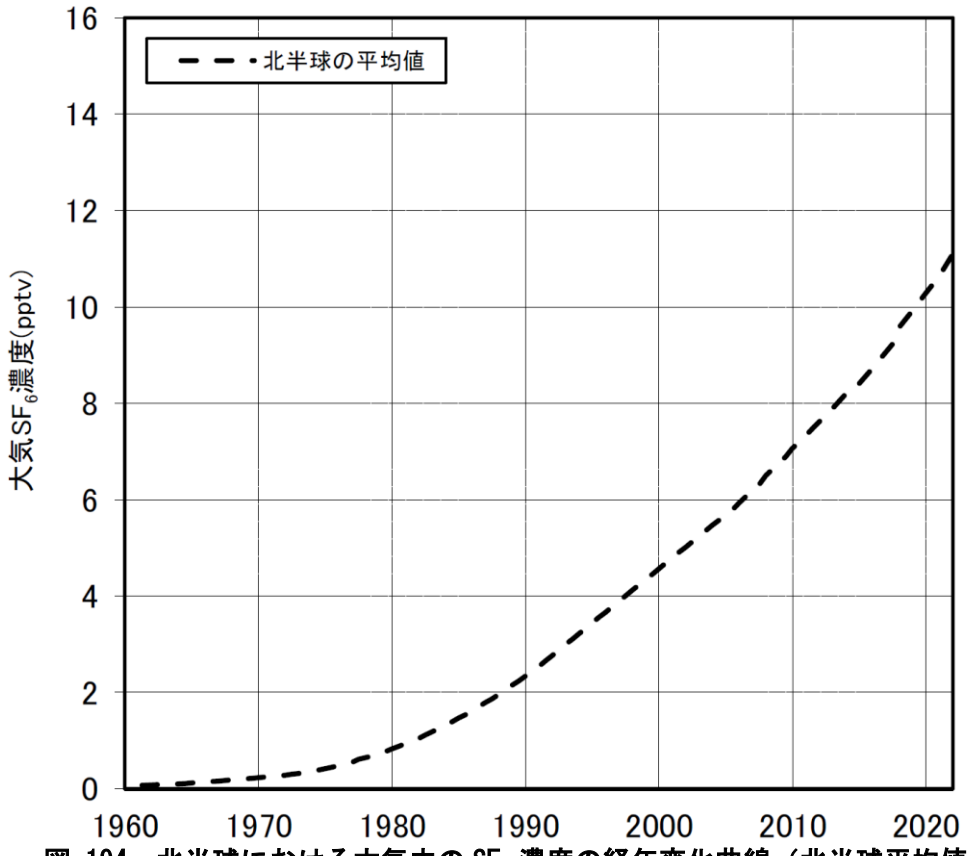


図 194　北半球における大気中の SF$_6$濃度の経年変化曲線（北半球平均値）

・沢の水のＳＦ$_6$濃度の測定結果と、大気中のＳＦ$_6$濃度の経年変化曲線をもとに算出した沢の水の滞留時間の推定結果を表 162 及び図 195 に示します。

表 162　ＳＦ$_6$濃度の測定結果及び滞留時間の推定結果（沢水）：11 月期調査

区分	No.	地点	地域	調査日	採水標高(m)	SF_6濃度(大気換算)(pptv)	滞留時間
沢	1	内無沢	西俣	R7.11.12	1,915	6.5	約17年
	2	魚無沢		R7.11.12	1,920	7.4	約14年
	3	瀬戸沢		R7.11.12	1,919	6.9	約16年
	4	上岳沢		R7.11.12	1,831	7.5	約14年
	5	西小石沢		R7.11.11	1,781	7.3	約15年
	6	柾小屋沢		R7.11.11	1,611	6.7	約17年
	7	蛇抜沢		R7.11.11	1,573	6.6	約17年
	8	柳沢		R7.11.11	1,564	6.1	約19年
	9	悪沢		R7.11.11	1,536	7.8	約13年
	10	大崩		R7.11.11	1,528	5.9	約20年
	11	徳右衛門沢	東俣	R7.11.12	1,603	6.7	約17年
	12	曲輪沢		R7.11.12	1,500	6.3	約18年
	13	ジャガ沢		R7.11.12	1,475	6.5	約18年
	14	流沢	林道東俣線沿いの支川	R7.11.11	1,392	6.0	約19年
	15	二軒小屋南西の沢		R7.11.13	1,384	7.5	約14年
	16	上スリバチ沢		R7.11.12	1,364	7.5	約14年
	17	スリバチ沢		R7.11.12	1,360	6.8	約16年
	18	車屋沢		R7.11.13	1,372	7.4	約14年
	19	燕沢		R7.11.13	1,299	7.2	約15年
	20	大尻沢北の沢		R7.11.13	1,283	7.0	約16年
	21	大尻沢		R7.11.13	1,300	6.3	約18年
	22	蛇沢南東の沢		R7.11.13	1,235	6.1	約19年
	23	破風石沢		R7.11.13	1,219	6.3	約18年
	24	下木賊沢北の沢		R7.11.13	1,210	6.1	約19年
	25	下木賊沢		R7.11.13	1,204	7.4	約14年
	26	虎杖沢		R7.11.13	1,210	7.0	約16年
	27	上千枚沢		R7.11.13	1,533	6.6	約17年
	28	下千枚沢		R7.11.13	1,502	6.4	約18年
	29	蛇沢		R7.11.14	1,268	8.6	約11年
	30	蛇沢南の沢		R7.11.14	1,262	7.6	約14年
	31	奥西河内川		R7.11.14	1,180	7.6	約14年
	32	赤石沢		R7.11.13	1,168	7.9	約13年
	33	北俣・中俣合流部付近	西俣	R7.11.11	1,800	8.3	約11年

※SF_6濃度（大気換算）は、水中のSF_6濃度をヘンリーの溶解平衡式を用いて地下水涵養時の大気濃度に変換。

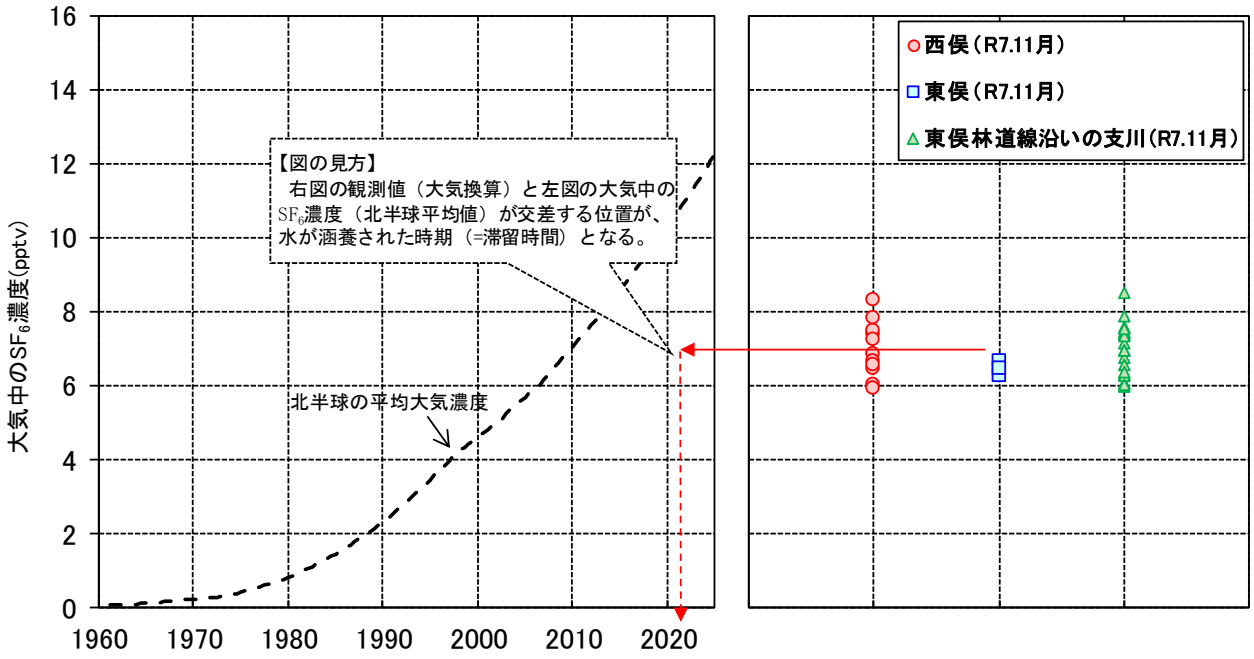


図 195　ＳＦ６濃度の測定結果及び滞留時間の推定結果（沢水）：11 月期調査

2.【2-2-2 地下水の水質及び水位】に係る事後調査及びモニタリングの結果

2.1 大井川上流域の地下水位（時間１回計測）

【事後調査及びモニタリング計画通し番号 42、43、109, 118】

2.1.1 調査期間

調査期間は表 163 に示します。

表 163　調査期間（大井川上流域の地下水位（時間１回計測））

調査地点	井戸の深度	調査期間
地下水 1-1 西俣（深井戸）	GL -400m	2021 年 7 月～2026 年２月
地下水 1-2 西俣（浅井戸）	GL -50m	2022 年 7 月～2026 年２月
地下水 2 東俣	GL -44m	2017 年 12 月～2026 年２月
地下水 3-1 田代（深井戸）	GL -256m	
地下水 3-2 田代（浅井戸）	GL -44m	
地下水 4 二軒小屋南	GL -66m	
地下水 5 椹島	GL -150m	2022 年 7 月～2026 年２月
地下水 6　西山平	GL -200m	2021 年１月～2026 年２月
地下水 7-1 駒鳥池（表層）	GL -0.55m	2023 年 9 月～2025 年 11 月
地下水 7-2 駒鳥池（浅層）	GL -19.6m	
地下水 8 千枚小屋（浅層）	GL -30.5m	

注１：有識者会議での議論を踏まえて、「地下水 1-1 西俣（深井戸）」は 2021 年７月から計測を行っています。

注２：有識者会議での議論を踏まえて、「地下水 1-2 西俣（浅井戸）」及び「地下水 5 椹島」は 2022 年７月から計測を行っています。

注３：有識者会議での議論を踏まえて、「地下水 6　西山平」は 2021 年１月から計測を行っています。

注４：有識者会議での議論を踏まえて、「地下水 7-1 駒鳥池（表層）」、「地下水 7-2 駒鳥池（浅層）」及び「地下水 8 千枚小屋（浅層）」は 2023 年９月から計測を行っています。

2.1.2 地下水 1-1 西俣（深井戸）

2.1.2.1 調査結果（過年度）

地下水 1-1 西俣（深井戸）の調査結果を表 164 及び図 196 に示します。

表 164 調査結果（深井戸）（西俣付近）

調査年度	地下水 1-1 西俣（深井戸） 標高：約 1,541m		
	水位 m（標高 EL）		
	平均	最大	最小
2021 年度	1559.87	1562.88	1556.60
2022 年度	1546.80	1552.39	1543.07
2023 年度	1542.33	1544.11	1541.09
2024 年度	1540.91	1542.43	1538.81
2025 年度	1540.14	1541.12	1538.55
2021 年度～2025 年度	1546.01	1562.88	1538.55

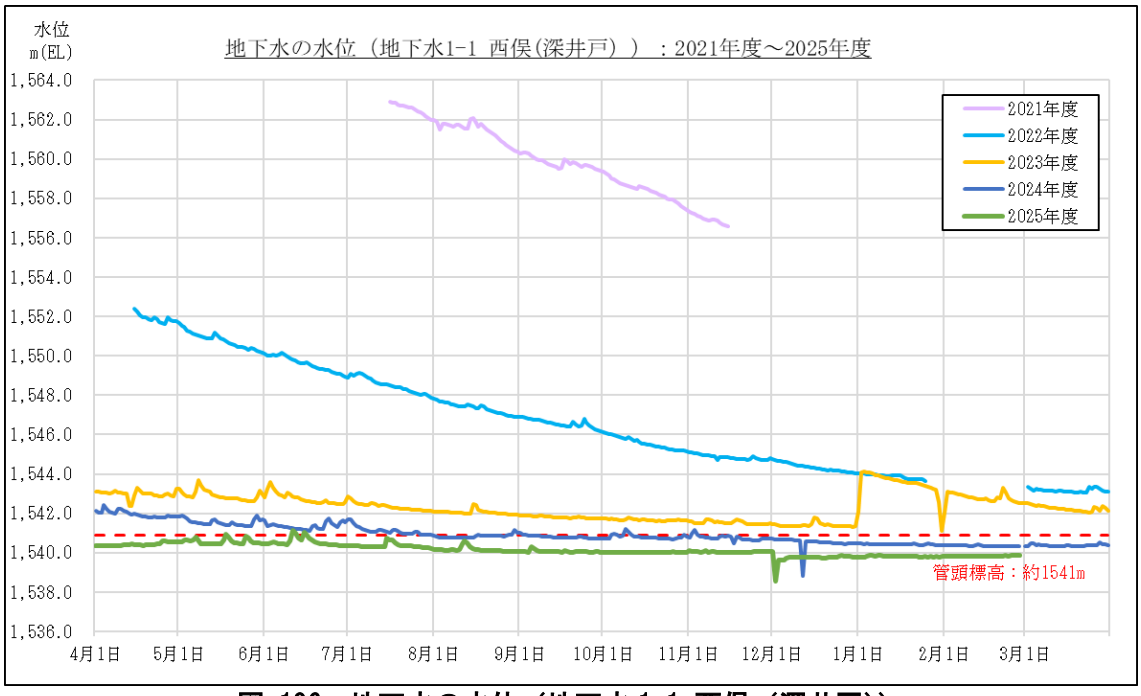


図 196 地下水の水位（地下水 1-1 西俣（深井戸））

・当該観測井戸は自噴しており、地下水位は地盤面より高い位置で推移していたが、2024年８月より自噴が確認されなくなりました。

・2024 年８月までは自噴していたため、水位は孔内水圧から換算しています。

・2021年11月中旬から2022年１月上旬から４月上旬は、凍結及び水位計故障のため孔内水圧の計測が出来なかったため欠測しています。

・2023年１月下旬から２月下旬は、凍結のため孔内水圧の計測が出来なかったため欠測しています。

・一時的な水位の低下は水質調査に伴う、排水作業（パージ）を実施したためになります。

2.1.3 地下水 1-2 西俣（浅井戸）

2.1.3.1 調査結果（過年度）

地下水 1-2 西俣（浅井戸）の調査結果を表 165 及び図 197 に示します。

表 165　調査結果（地下水 1-2 西俣（浅井戸））

調査年度	地下水 1-2 西俣（浅井戸） 標高：約 1,532m		
	水位　m（標高 EL）		
	平均	最大	最小
2022 年度	1539.37	1540.17	1538.77
2023 年度	1539.09	1541.08	1536.04
2024 年度	1539.44	1540.71	1535.54
2025 年度	1538.91	1540.23	1534.79
2022 年度～2025 年度	1539.20	1541.08	1534.79

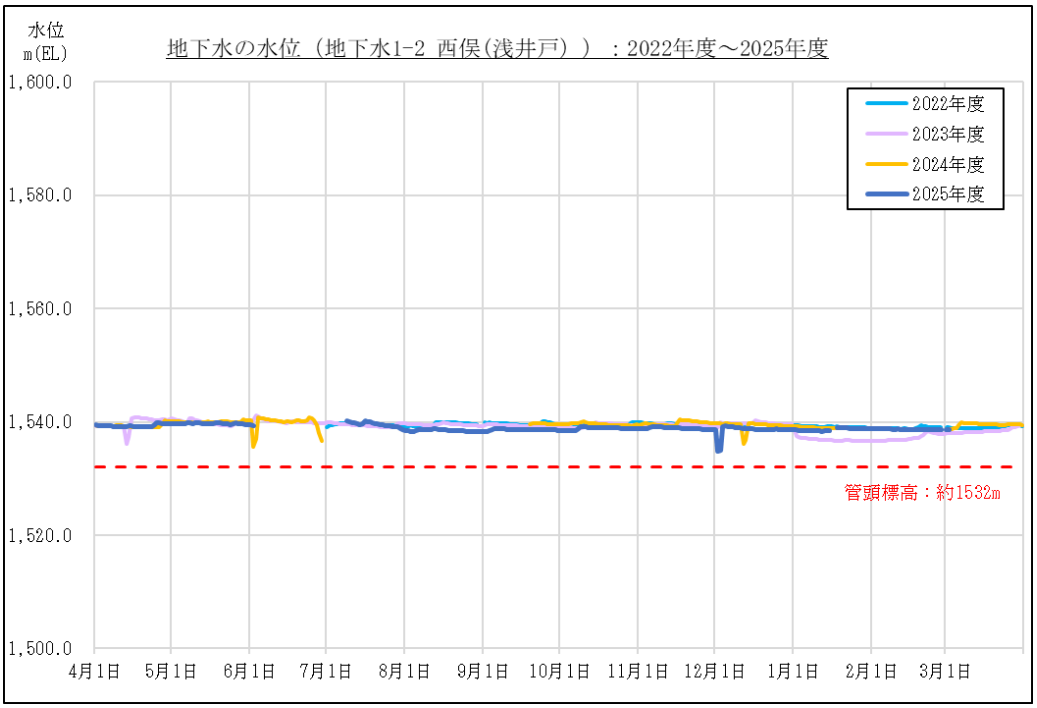


図 197　地下水の水位（地下水 1-2 西俣（浅井戸））

・当該観測井戸は自噴しているため、地下水位は地盤面より高い位置で推移しています。なお、水位は孔内水圧から換算しています。

・一時的な水位の低下は水質調査に伴う、排水作業（パージ）を実施したためになります。

・2024 年 6 月 28 日から 9 月 19 日は、機器故障のため欠測しています。

・2025 年 6 月 3 日から 7 月 8 日は機器の不具合のため欠測しています。

2.1.4 地下水 2 東俣

2.1.4.1 調査結果（過年度）

地下水 2 東俣の調査結果を表 166 及び図 198 に示します。

表 166　調査結果（地下水 2 東俣）

調査年度	地下水 2 東俣 標高：約 1,418m		
	水位　m（標高 EL）		
	平均	最大	最小
2017 年度	1413.06	1415.33	1412.55
2018 年度	1413.56	1416.31	1412.68
2019 年度	1413.58	1415.67	1412.71
2020 年度	1413.26	1416.32	1412.02
2021 年度	1412.81	1415.14	1412.22
2022 年度	1412.89	1414.69	1412.41
2023 年度	1413.05	1415.23	1411.93
2024 年度	1413.00	1414.94	1411.91
2025 年度	1412.65	1414.52	1412.06
2017 年度～2025 年度	1413.10	1416.32	1411.91

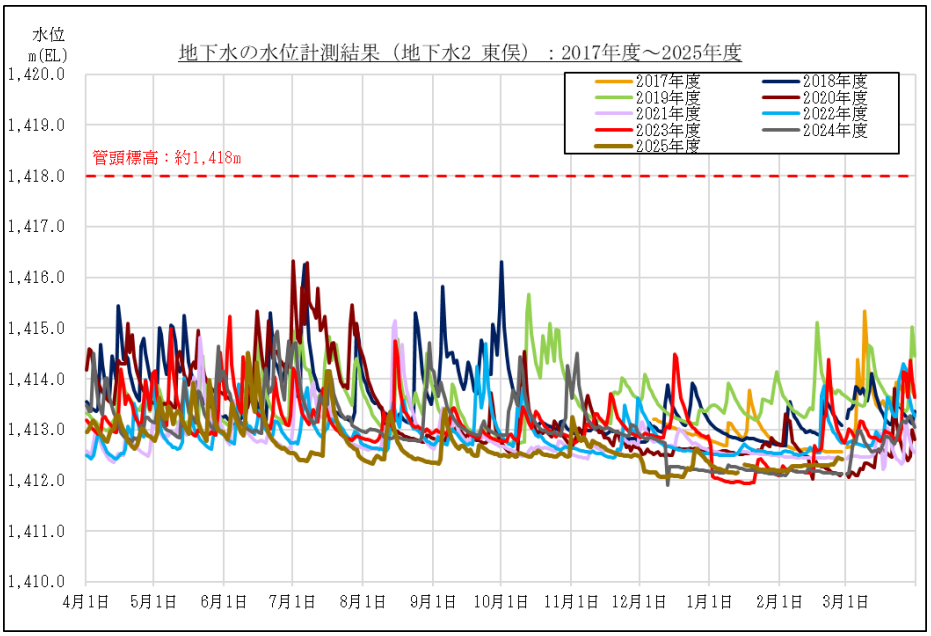


図 198　地下水の水位（地下水 2 東俣）

・一時的な水位の低下は水質調査に伴う、排水作業（パージ）を実施したためになります。

2.1.5 地下水 3-1 田代（深井戸）

2.1.5.1 調査結果（過年度）

地下水 3-1 田代（深井戸）の調査結果を表 167 及び図 199 に示します。

表 167 調査結果（地下水 3-1 田代（深井戸））

調査年度	地下水 3-1 田代（深井戸） 標高：約 1,395m		
	水位 m（標高 EL）		
	平均	最大	最小
2017 年度	1392.99	1393.56	1392.37
2018 年度	1393.03	1394.27	1392.39
2019 年度	1392.96	1393.91	1392.55
2020 年度	1392.81	1394.40	1390.42
2021 年度	1392.88	1394.00	1392.56
2022 年度	1393.20	1394.02	1392.88
2023 年度	1393.37	1394.40	1391.05
2024 年度	1392.88	1393.93	1389.52
2025 年度	1392.81	1393.93	1389.49
2017 年度～2025 年度	1392.99	1394.40	1389.49

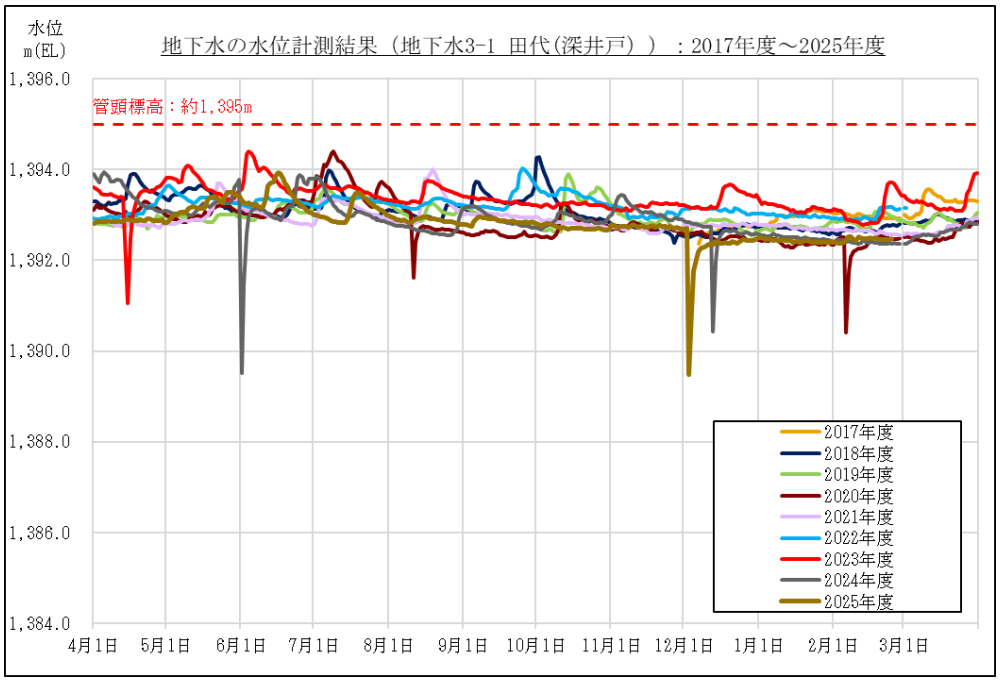


図 199 地下水の水位（地下水 3-1 田代（深井戸））

・一時的な水位の低下は水質調査に伴う、排水作業（パージ）を実施したためになります。

2.1.6 地下水 3-2 田代（浅井戸）

2.1.6.1 調査結果（過年度）

地下水 3-2 田代（浅井戸）の調査結果を表 168 及び図 200 に示します。

表 168 調査結果（地下水 3-2 田代（浅井戸））

調査年度	地下水 3-2 田代（浅井戸） 標高：約 1,395m		
	水位 m（標高 EL）		
	平均	最大	最小
2017 年度	1386.49	1386.74	1386.05
2018 年度	1386.54	1387.23	1386.09
2019 年度	1386.54	1386.93	1386.07
2020 年度	1386.60	1387.23	1386.21
2021 年度	1386.57	1386.98	1386.16
2022 年度	1386.44	1386.80	1386.06
2023 年度	1386.42	1386.85	1385.81
2024 年度	1386.00	1386.80	1384.57
2025 年度	1385.83	1386.35	1385.61
2017 年度～2025 年度	1386.38	1387.23	1384.57

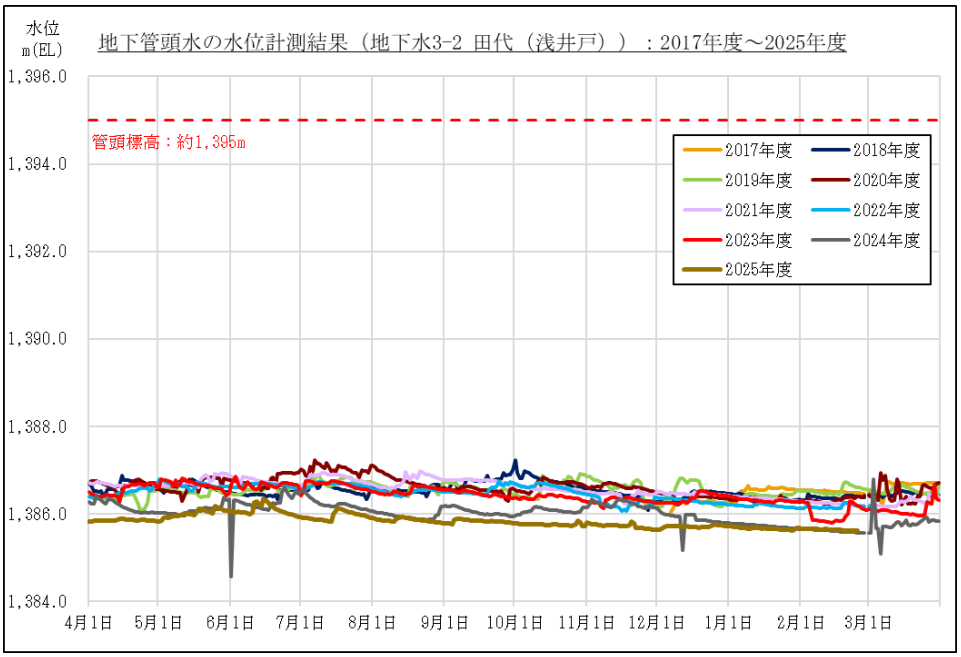


図 200 地下水の水位（地下水 3-2 田代（浅井戸））

注１：一時的な水位の低下は水質調査に伴う、排水作業（パージ）を実施したためになります。なお、2024 年１月下旬の一時的な水位の低下は人為的な作業に伴うものではありません。

注２：2025 年３月３日は、雨水流入の影響とみられる一時的な水位の上昇が確認されました。

2.1.7 地下水 4 二軒小屋南

2.1.7.1 調査結果（過年度）

地下水 4 二軒小屋南の調査結果を表 169 及び図 201 に示します。

表 169　調査結果（地下水 4 二軒小屋南）

調査年度	地下水 4 二軒小屋南 標高：約 1,385m 水位　m（標高 EL）		
	平均	最大	最小
2017 年度	1361.60	1364.39	1361.27
2018 年度	1362.21	1367.28	1361.12
2019 年度	1362.10	1367.21	1361.28
2020 年度	1361.19	1366.00	1359.95
2021 年度	1360.66	1365.13	1359.84
2022 年度	1360.57	1363.44	1359.99
2023 年度	1361.05	1366.45	1360.25
2024 年度	1361.05	1364.72	1360.01
2025 年度	1360.77	1363.38	1359.98
2017 年度～2025 年度	1361.25	1367.28	1359.84

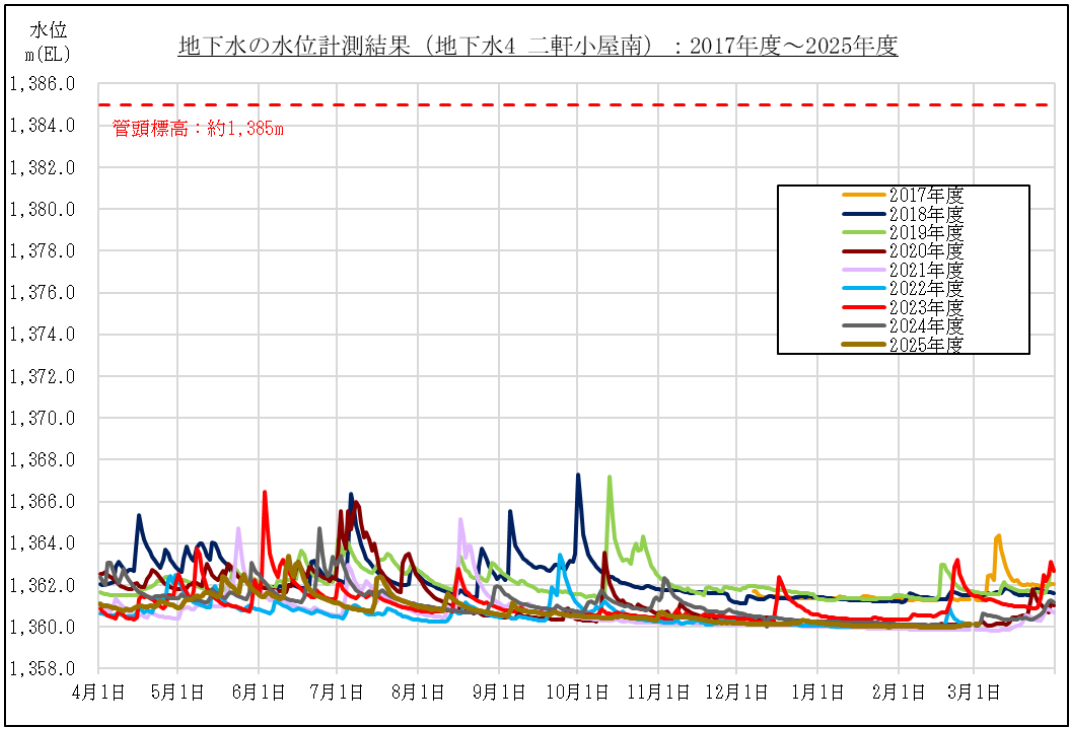


図 201　地下水の水位（地下水 4 二軒小屋南）

2.1.8 地下水 5 椹島

2.1.8.1 調査結果（過年度）

地下水 5 椹島の調査結果を表 170 及び図 202 に示します。

表 170　調査結果（地下水 5 椹島）

調査年度	地下水 5 椹島 標高：約 1,126m		
	水位　m（標高 EL）		
	平均	最大	最小
2022 年度	1134.31	1135.30	1131.84
2023 年度	1134.99	1135.71	1133.33
2024 年度	1135.77	1136.44	1133.57
2025 年度	1135.50	1136.34	1134.11
2022 年度～2025 年度	1135.14	1136.44	1131.84

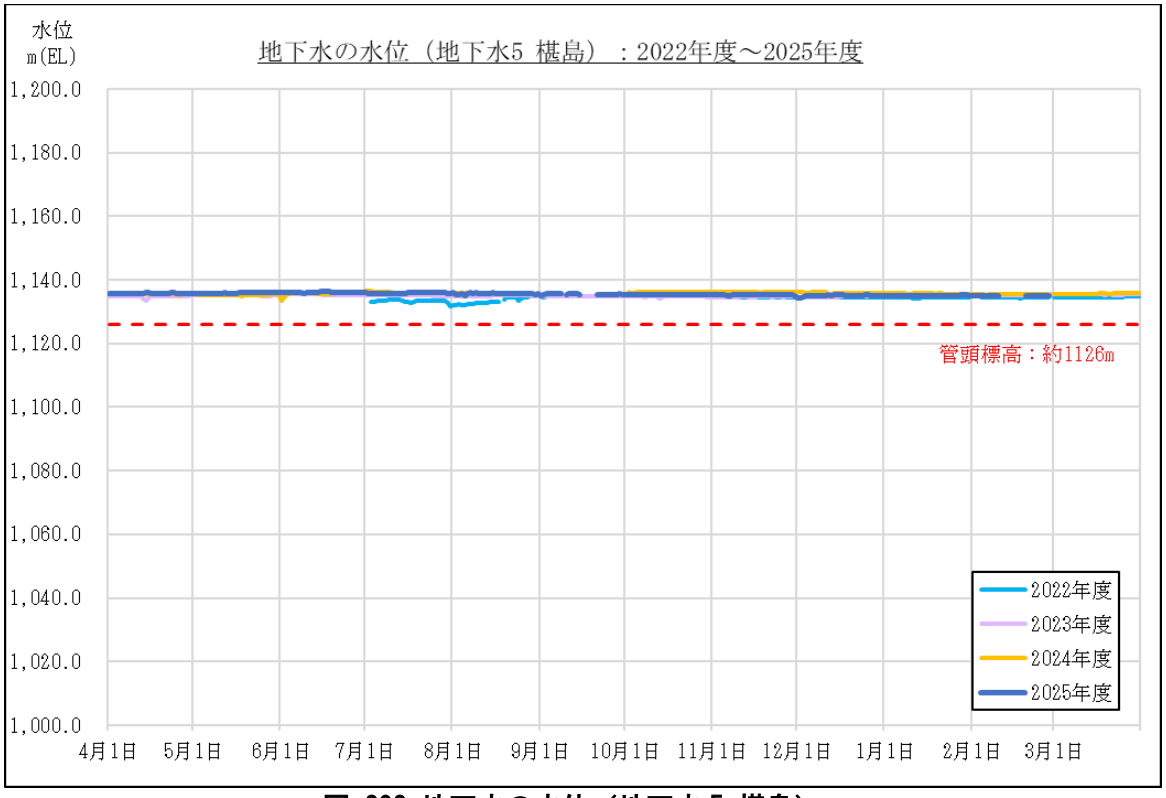


図 202 地下水の水位（地下水 5 椹島）

・当該観測井戸は自噴しているため、地下水位は地盤面より高い位置で推移している。なお、水位は孔内水圧から換算しています。

2.1.9 地下水 6　西山平

2.1.9.1 調査結果（過年度）

地下水 6　西山平の調査結果を表 171 及びに図 203 示します。

表 171　調査結果（地下水 6　西山平）

調査年度	地下水 6　西山平 標高：約 730m		
	水位　m（標高 EL）		
	平均	最大	最小
2020 年度	711.91	712.82	704.50
2021 年度	712.89	713.96	711.93
2022 年度	712.73	713.67	710.77
2023 年度	712.75	713.54	711.83
2024 年度	712.79	713.44	705.43
2025 年度	712.66	713.58	704.56
2020 年度～2025 年度	712.62	713.96	704.50

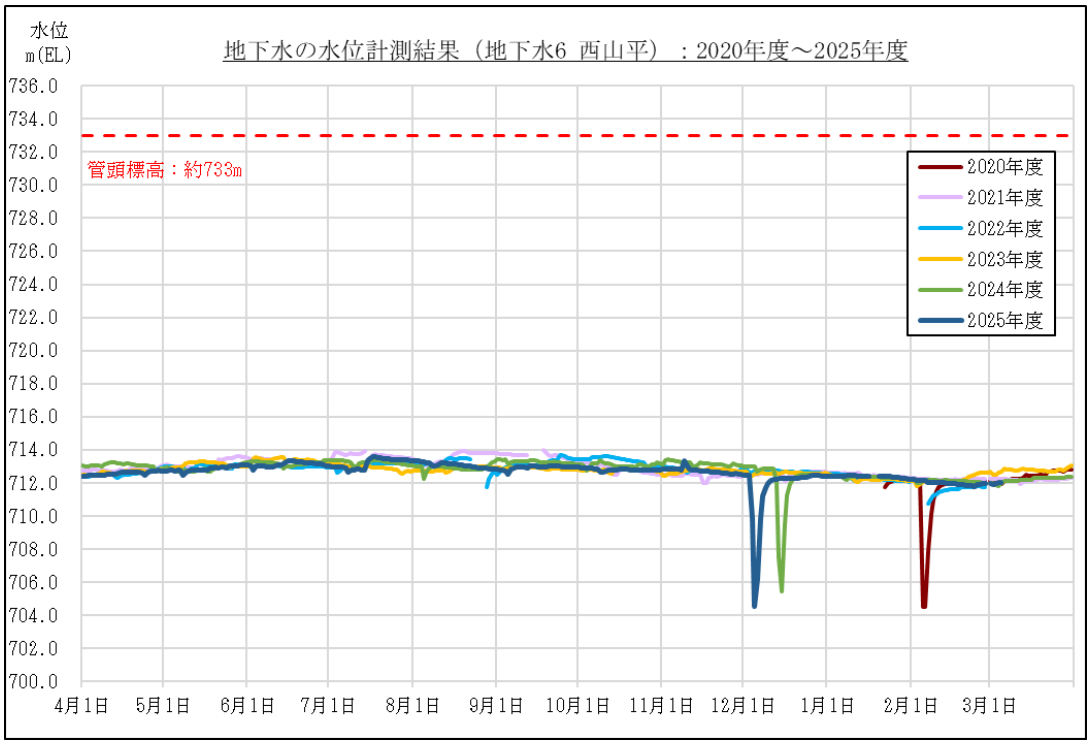


図 203　地下水の水位（地下水 6　西山平）

・一時的な水位の低下は水質調査に伴う、排水作業（パージ）を実施したためになります。

2.1.10 地下水 7-1 駒鳥池（表層）

2.1.10.1 調査結果（過年度）

地下水 7-1 駒鳥池（表層）の調査結果を表 172 及び図 204 に示します。

表 172　調査結果（地下水 7-1 駒鳥池（表層））

調査年度	地下水 7-1 駒鳥池（表層） 標高：約 2,240m		
	水位　m（標高 EL）		
	平均	最大	最小
2023 年度	2239.94	2240.57	2239.82
2024 年度	2239.89	2240.58	2239.35
2025 年度	2239.87	2240.11	2239.69
2023 年度～2025 年度	2239.90	2240.58	2239.35

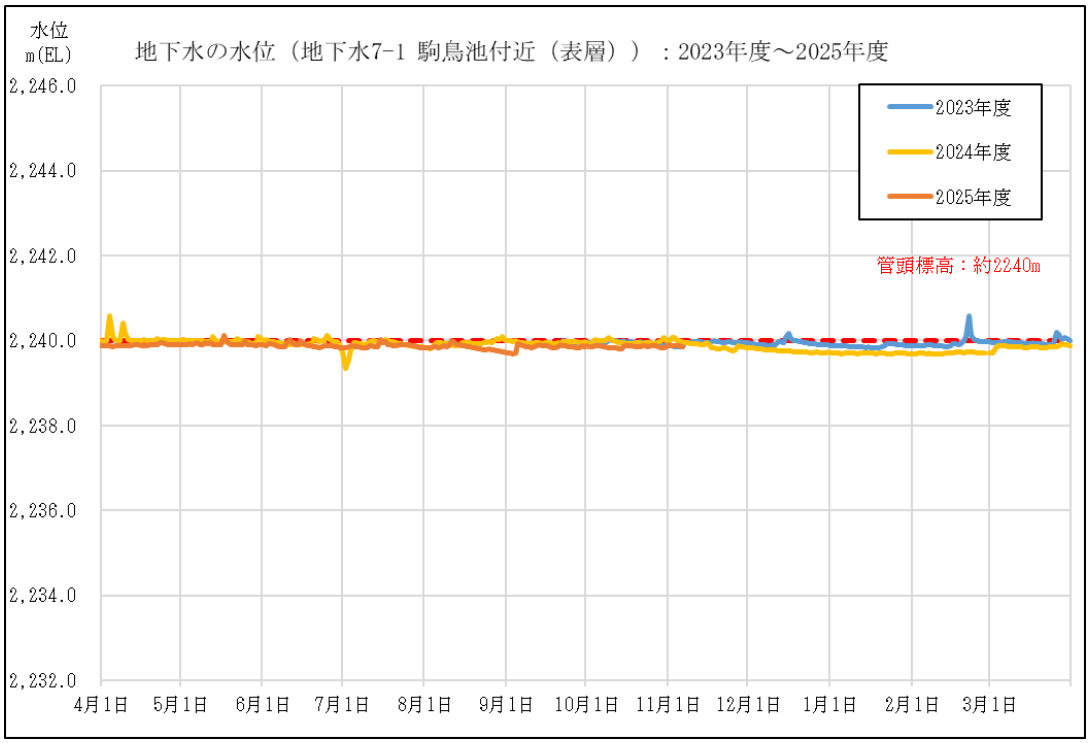


図 204　地下水の水位（地下水 7-1 駒鳥池（表層））

2.1.11 地下水 7-2 駒鳥池（浅層）

2.1.11.1 調査結果（過年度）

地下水 7-2 駒鳥池（浅層）の調査結果を表 173 及び図 205 に示します。

表 173　調査結果（地下水 7-2 駒鳥池（浅層））

調査年度	地下水 7-2 駒鳥池（浅層） 標高：約 2,240m		
	水位　m（標高 EL）		
	平均	最大	最小
2023 年度	2226.48	2228.07	2224.17
2024 年度	2228.29	2233.71	2221.84
2025 年度	2227.85	2233.19	2221.85
2023 年度～2025 年度	2227.54	2233.71	2221.84

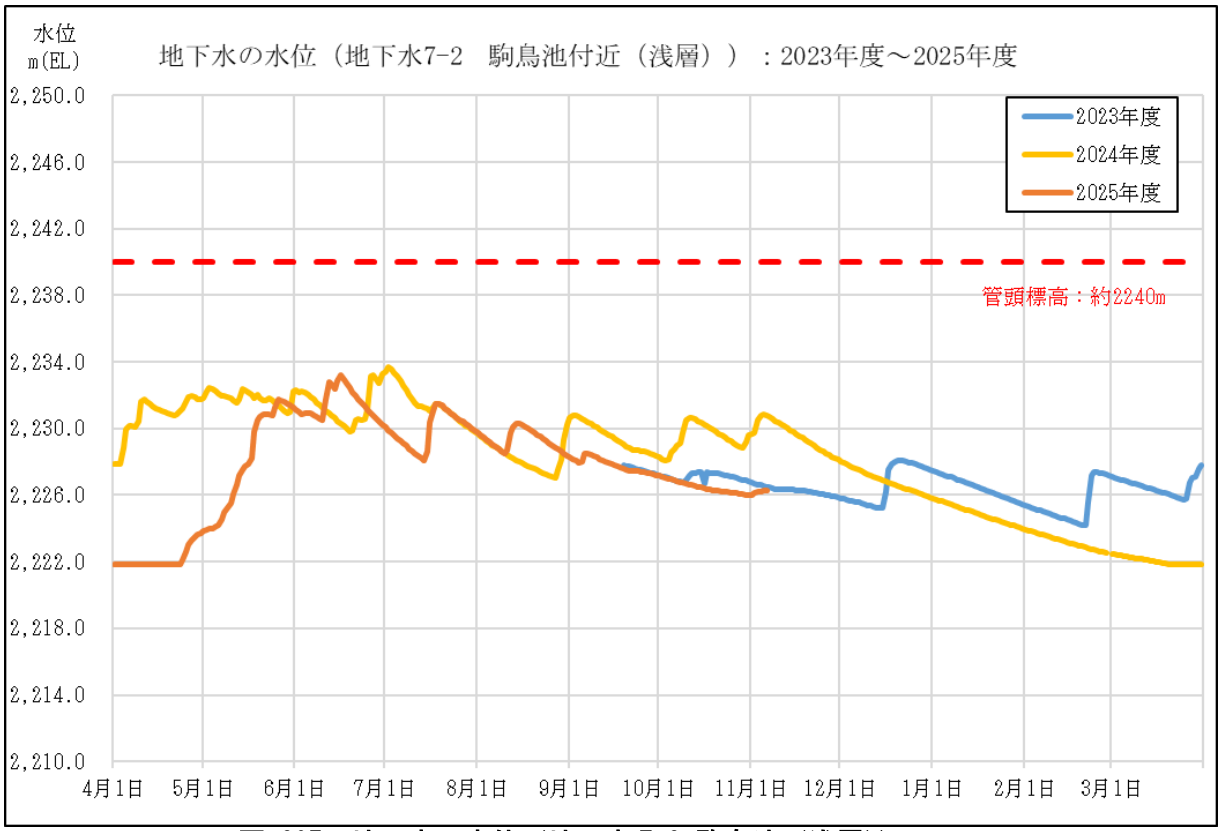


図 205　地下水の水位（地下水 7-2 駒鳥池（浅層））

2.1.12 地下水 8 千枚小屋（浅層）

2.1.12.1 調査結果（過年度）

地下水 8 千枚小屋（浅層）の調査結果を表 174 に示します。

表 174　調査結果（地下水 8 千枚小屋（浅層））

調査年度	地下水 8 千枚小屋（浅層） 標高：約 2,610m		
	水位　m（標高 EL）		
	平均	最大	最小
2023 年度	－	－	－
2024 年度	－	－	－
2025 年度	－	－	－
2023 年度～2025 年度	－	－	－

注：地下水 8 千枚小屋（浅層）では調査開始以降、地下水が確認されておりません。

2.2大井川上流域の地下水位・水質（月１回・年１回等）

【事後調査及びモニタリング計画通し番号 41、44、45、46、91～94】

2.2.1 調査期間

調査期間を表 175～表 178 に示します。

表 175　調査期間（大井川上流域の地下水位・水質（月１回））

調査地点	調査年度	調査期間
地下水 10 二軒小屋ロッヂ 地下水 11 椹島ロッヂ	2014 年度	2014 年５月 27 日 2014 年６月 17 日、６月 25 日 2014 年７月８日、７月 10 日 2014 年８月 26 日 2014 年９月 23 日 2014 年 10 月 25 日 2014 年 11 月６日 2014 年 12 月４日、12 月５日
	2015 年度	2015 年４月 30 日 2015 年５月 24 日、５月 25 日 2015 年６月 28 日 2015 年７月 21 日 2015 年８月３日 2015 年９月８日 2015 年 10 月８日 2015 年 11 月６日 2015 年 12 月３日
	2016 年度	2016 年４月 28 日 2016 年５月 17 日 2016 年６月９日 2016 年７月６日 2016 年８月３日 2016 年９月８日 2016 年 10 月６日 2016 年 11 月１日 2016 年 12 月４日
地下水 2 東俣（2017 年 12 月開始） 地下水 3-2 田代（浅井戸）（2017 年 12 月開始） 地下水 3-1 田代（深井戸）（2017 年 12 月開始） 地下水 4 二軒小屋南（2017 年 12 月開始） 地下水 10 二軒小屋ロッヂ 地下水 11 椹島ロッヂ（2018 年９月以降欠測）	2017 年度	2017 年４月 28 日 2017 年５月 18 日 2017 年６月８日 2017 年７月４日 2017 年８月１日 2017 年９月６日 2017 年 10 月５日 2017 年 11 月５日 2017 年 12 月６日、12 月７日
	2018 年度	2018 年４月 26 日、４月 27 日 2018 年５月 24 日、５月 26 日 2018 年６月６日、６月８日 2018 年７月 19 日 2018 年８月１日、８月４日 2018 年９月 20 日、９月 21 日 2018 年 10 月 14 日、10 月 18 日 2018 年 11 月４日、11 月５日 2018 年 12 月４日 2019 年１月 16 日、１月 17 日 2019 年２月 13 日 2019 年３月 12 日

注：2018 年９月の台風に伴い井戸が流出したため、2019 年７月以降は当社が椹島宿舎における生活用水を確保するために設置した「地下水 11’椹島ロッヂ」において計測を行っています。

表 176　調査期間（大井川上流域の地下水位・水質（月１回））

調査地点	調査年度	調査期間
地下水 2 東俣 地下水 3-2 田代（浅井戸） 地下水 3-1 田代（深井戸） 地下水 4 二間小屋南 地下水 10 二軒小屋ロッヂ 地下水 11’ 椹島ロッヂ（2019 年 7 月開始）	2019 年度	2019 年４月 30 日 2019 年５月 14 日 2019 年６月５日 2019 年７月 12 日、７月 13 日 2019 年８月１日 2019 年９月５日 2019 年 10 月３日 2019 年 11 月 22 日 2019 年 12 月５日 2020 年１月 22 日 2020 年２月 12 日 2020 年３月 10 日、３月 11 日
地下水 2 東俣 地下水 3-2 田代（浅井戸） 地下水 3-1 田代（深井戸） 地下水 4 二間小屋南 地下水 6　西山平（2021 年 1 月開始） 地下水 10 二軒小屋ロッヂ 地下水 11’ 椹島ロッヂ	2020 年度	2020 年５月 27 日、５月 28 日 2020 年６月 10 日 2020 年８月 27 日、８月 28 日 2020 年９月 15 日～９月 17 日 2020 年 10 月８日 2020 年 11 月１日、11 月２日 2020 年 12 月 15 日、12 月 17 日 2021 年１月 19 日、１月 21 日 2021 年２月２日、２月４日 2021 年３月２日、３月４日
地下水 1-2 西俣（浅井戸）　(2021 年 7 月開始) 地下水 2 東俣 地下水 3-2 田代（浅井戸） 地下水 3-1 田代（深井戸） 地下水 4 二間小屋南 地下水 6　西山平 地下水 10 二軒小屋ロッヂ 地下水 11’ 椹島ロッヂ（2021 年 7 月以降欠測）	2021 年度	2021 年４月 14 日、４月 16 日 2021 年５月 11 日～５月 13 日 2021 年６月８日 、６月 11 日 2021 年７月 13 日～７月 15 日 2021 年８月３日～８月５日 2021 年９月 13 日、９月 16 日 2021 年 10 月 12 日、10 月 14 日 2021 年 11 月 15 日、11 月 16 日 2021 年 12 月 14 日、12 月 16 日 2022 年１月 13 日、１月 14 日 2022 年３月 11 日～３月 13 日
地下水 1-2 西俣（浅井戸） 地下水 1-1 西俣（深井戸）　(2022 年 7 月開始) 地下水 2 東俣 地下水 3-2 田代（浅井戸） 地下水 3-1 田代（深井戸） 地下水 4 二軒小屋南 地下水 5 椹島（2022 年 7 月開始） 地下水 6　西山平 地下水 10 二軒小屋ロッヂ	2022 年度	2022 年４月 13 日～４月 15 日 2022 年５月９日、５月 12 日 2022 年６月３日 2022 年７月１日、７月４日 2022 年８月９日、８月 12 日、 ８月 24 日、８月 31 日 2022 年９月２日、９月 13 日、 ９月 16 日 2022 年 10 月 26 日、10 月 28 日、 10 月 29 日 2022 年 11 月９日～11 月 12 日 2022 年 12 月２日、12 月３日 2023 年１月 10 日～１月 12 日 2023 年２月１日、２月２日 2023 年３月１日～３月３日

注１：2018 年９月の台風に伴い井戸が流出したため、2019 年７月以降は当社が椹島宿舎における生活用水を確保するために設置した「地下水 11’椹島ロッヂ」において計測を行っています。

注２：有識者会議での議論を踏まえて、「地下水 1-1 西俣（深井戸）」は 2021 年７月から計測を行っています。

注３：有識者会議での議論を踏まえて、「地下水 6　西山平」は 2021 年１月から計測を行っています。

注４：「地下水 11’　椹島ロッヂ」について 2021 年７月以降は椹島宿舎を使用しておらず、この井戸も利用していないことから欠測しています。今後、井戸の利用がされ次第、調査を再開することを考えています。

注５：有識者会議での議論を踏まえて、「地下水 1-2 西俣（浅井戸）」及び「地下水 5 椹島」は 2022 年７月から計測を行っています。

表 177　調査期間（大井川上流域の地下水位・水質（月１回））

調査地点	調査年度	調査期間
地下水 1-1 西俣（深井戸） 地下水 1-2 西俣（浅井戸） 地下水 2 東俣 地下水 3-1 田代（深井戸） 地下水 3-2 田代（浅井戸） 地下水 4 二軒小屋南 地下水 5 椹島 地下水 6　西山平 地下水 7-1 駒鳥池（表層）　(2023 年 9 月開始) 地下水 7-2 駒鳥池（浅層）　(2023 年 9 月開始) 地下水 8 千枚小屋（浅層）　(2023 年 9 月開始) 地下水 10 二軒小屋ロッヂ	2023 年度	2023 年４月 12 日～４月 14 日 2023 年５月 24 日～５月 26 日 2023 年６月 15 日、６月 16 日 2023 年７月 27 日、７月 28 日 2023 年８月 12 日、８月 13 日 2023 年９月１日、９月３日 2023 年 10 月 12 日～10 月 15 日 2023 年 11 月１日、11 月３日 2023 年 12 月２日、12 月３日 2024 年１月 11 日～１月 13 日 2024 年２月１日、２月３日 2024 年３月１日、３月２日
	2024 年度	2024 年４月 25 日～４月 28 日 2024 年５月 17 日、５月 18 日 2024 年６月 13 日、６月 14 日 2024 年７月 10 日、７月 11 日 2024 年８月２日～８月５日 2024 年９月４日、９月５日 2024 年 10 月１日～10 月３日 2024 年 11 月 12 日～11 月 20 日 2024 年 12 月４日～12 月６日 2025 年１月７日～１月９日 2025 年２月３日～２月５日 2025 年３月３日～３月６日
	2025 年度	2025 年４月 24 日 2025 年５月７日、５月８日、５月 10 日 2025 年６月２日、６月３日 2025 年７月７日～７月９日 2025 年８月４日～８月８日 2025 年９月１日、９月３日、９月４日 2025 年 10 月６日、10 月８日、10 月９日 2025 年 11 月５日～11 月８日 2025 年 12 月１日～12 月５日 2026 年１月 14 日～１月 16 日 2026 年２月４日～２月６日 2026 年３月３日、３月４日、３月６日

注１：有識者会議での議論を踏まえて、「地下水 7-1 駒鳥池（表層）」、「地下水 7-2 駒鳥池（浅層）」及び「地下水 8 千枚小屋（浅層）」は 2023 年９月から計測を行っています。

注２：「地下水 11’　椹島ロッヂ」について 2021 年７月以降は椹島宿舎を使用しておらず、この井戸も利用していないことから欠測しています。今後、井戸の利用がされ次第、調査を再開することを考えています。

表 178　調査期間（大井川上流域の地下水位・水質（年１回等））

調査地点	調査期間
地下水 2 東俣 地下水 3-1 田代（深井戸） 地下水 10 二軒小屋ロッヂ 地下水 11 椹島ロッヂ	2020 年８月９日、10 日（8 月期） 2021 年２月５日（2 期）
地下水 9-1 藤島発生土置き場（上流） 地下水 9-2 藤島発生土置き場（下流）	2022 年 10 月 29 日、2023 年１月 12 日 2024 年４月 27 日、28 日、2024 年７月 30 日 2024 年 10 月 15 日、2025 年１月 13 日 2025 年４月 25 日、2025 年７月 11 日 2025 年 10 月９日、2026 年１月 16 日
地下水 1-1 西俣（深井戸） 地下水 1-2 西俣（浅井戸） 地下水 2 東俣 地下水 3-1 田代（深井戸） 地下水 3-2 田代（浅井戸） 地下水 5 椹島 地下水 6　西山平	2024 年 12 月 12 日～14 日 2025 年 12 月２日～５日

2.2.2 地下水 1-1 西俣（深井戸）

2.2.2.1 調査結果（2025 年度）

地下水 1-1 西俣（深井戸）の 2025 年度の調査結果を表 179 及び表 180 に示します。

表 179　調査結果（地下水 1-1 西俣（深井戸））（2025 年度）

地点番号	調査地点	観測井	調査項目	2025 年度											
				4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
地下水 1-1	西俣	深層 (GL-400m)	水温（℃）	5.1	7.9	10.6	16.4	16.8	17.8	15.8	13.0	15.0	6.5	2.5	3.5
			pH	7.99	8.01	7.99	8.05	8.0	8.1	8.0	8.1	7.9	8.1	8.0	8.1
			電気伝導率 (EC)　(mS/m)	235.0	240.0	237.0	246.0	244.0	241.0	257.0	254.0	252.0	266.0	273.0	274.0
			透視度（cm）	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50

注：透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示します。

表 180　調査結果（地下水 1-1 西俣（深井戸））（2025 年度：自然由来の重金属等）

調査項目	地下水 1-1 西俣（深井戸）
	工事前
	2 月期
カドミウム（mg/L）	<0.0003
六価クロム（mg/L）	<0.01
総水銀（mg/L）	<0.0005
セレン（mg/L）	<0.002
鉛（mg/L）	<0.005
ヒ素（mg/L）	<0.005
ふっ素（mg/L）	4.7
ほう素（mg/L）	2.6

注：「<」は、未満を示します。

2.2.2.2 調査結果（過年度）

地下水 1-1 西俣（深井戸）の過年度の調査結果を表 181、表 182 及び図 206～図 209 に示します。

表 181　調査結果（地下水 1-1 西俣（深井戸））

調査年度	地下水 1-1 西俣（深井戸）											
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）			透視度（cm）		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均※1	最高	最低
2021 年度	19.9	20.9	18.2	7.9	8.0	7.8	270.4	290.0	258.0	50.0	>50.0	>50.0
2022 年度	16.4	20.7	13.7	8.1	8.2	7.9	206.4	233.0	191.9	50.0	>50.0	>50.0
2023 年度	14.7	20.3	6.1	8.3	8.5	8.2	190.6	199.8	179.4	50.0	>50.0	>50.0
2024 年度	11.9	19.7	2.6	7.9	8.1	7.8	306.3	319.0	239.0	50.0	>50.0	>50.0
2025 年度	10.9	17.8	2.5	8.0	8.1	7.9	251.6	274.0	235.0	50.0	>50.0	>50.0
2021 年度～2025 年度	14.8	20.9	2.5	8.0	8.5	7.8	245.0	319.0	179.4	50.0	>50.0	>50.0

注１：「※1」について、50 以上の計測結果については、50 として取扱い算出しています。
注２：透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示します。

表 182　調査結果（地下水 1-1 西俣（深井戸））（自然由来の重金属等）

調査年度	地下水 1-1 西俣（深井戸）							
	カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)	総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)
2024 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	4.8	2.2
2025 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	4.7	2.6
2024 年度～2025 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	4.8	2.4

注：「<」は、未満を示します。

水温

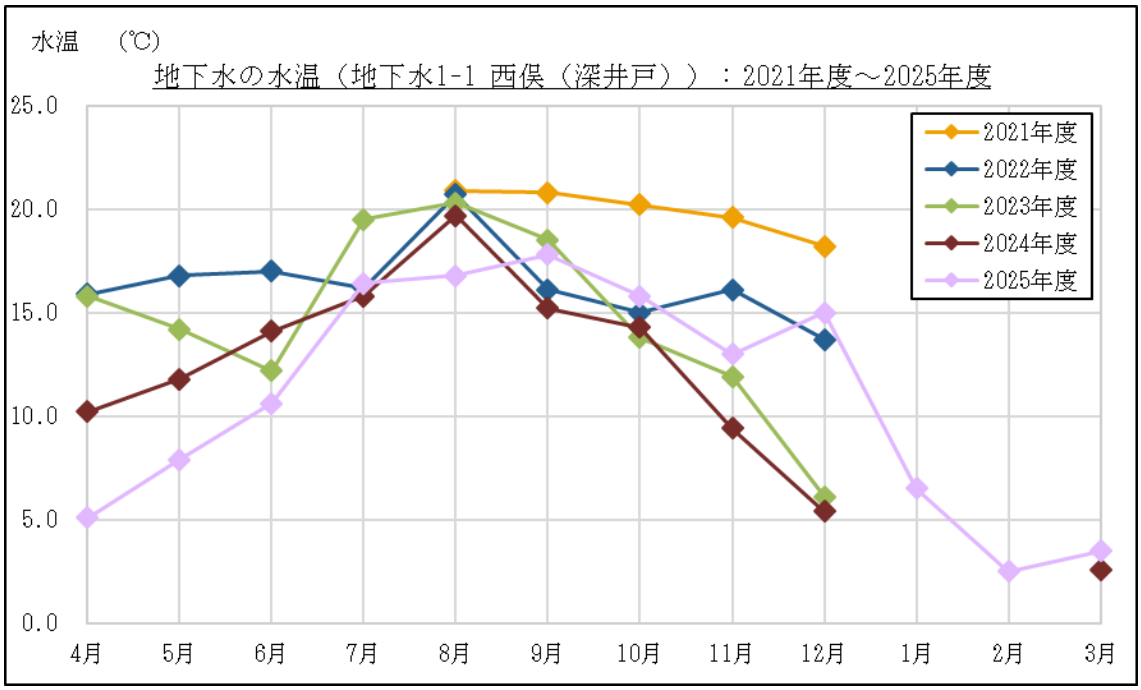


図 206　地下水の水温（地下水 1-1 西俣（深井戸））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

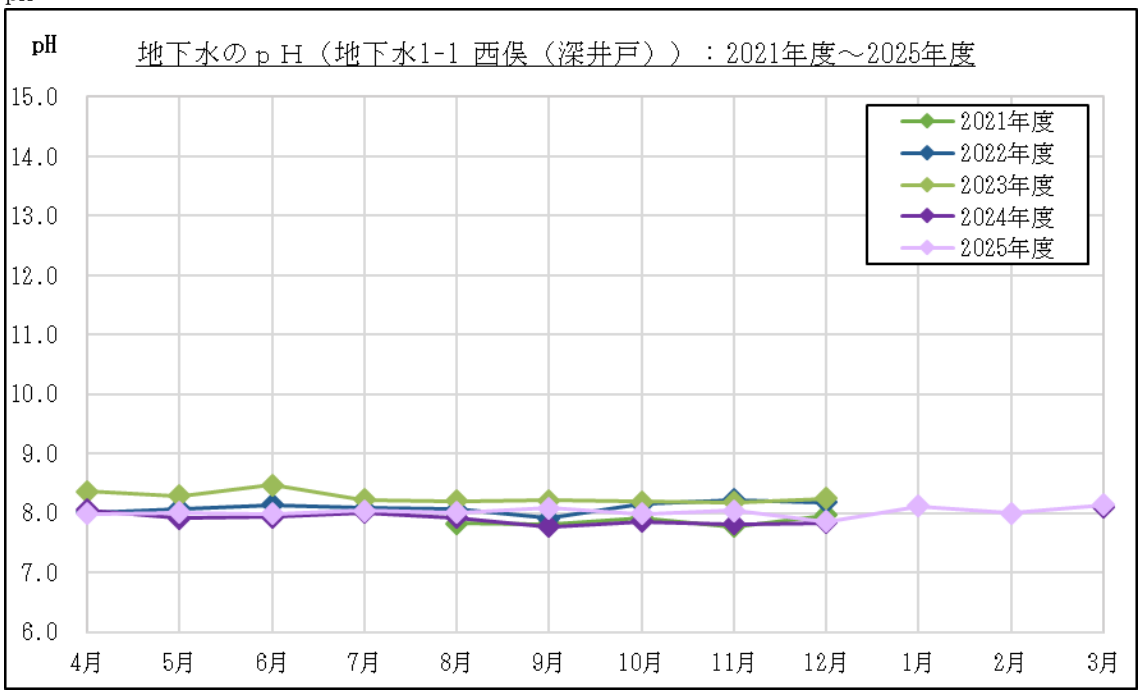


図 207　地下水の pH 計測結果（地下水 1-1 西俣（深井戸））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

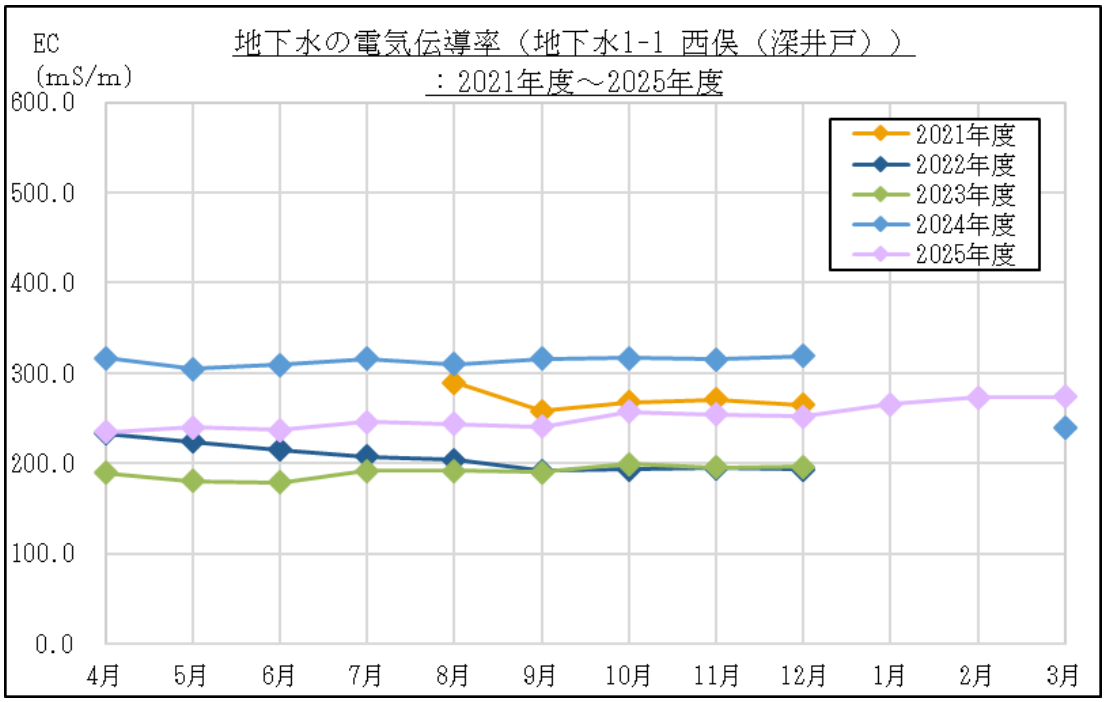


図 208　地下水の電気伝導率（EC）（地下水 1-1 西俣（深井戸））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

透視度

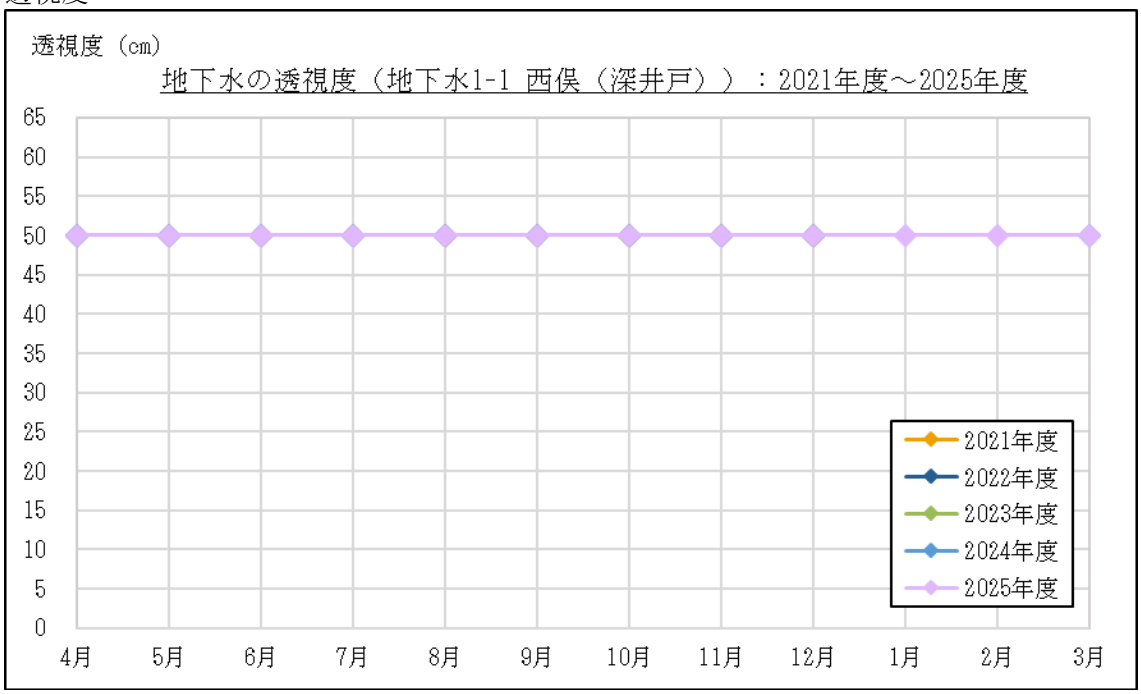


図 209　地下水の透視度計測結果（地下水 1-1 西俣（深井戸））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

2.2.3 地下水 1-2 西俣（浅井戸）

2.2.3.1 調査結果（2025 年度）

地下水 1-2 西俣（浅井戸）の 2025 年度の調査結果を表 183 及び表 184 に示します。

表 183　調査結果（地下水 1-2 西俣（浅井戸））

地点番号	調査地点	観測井	調査項目	2025 年度											
				4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
地下水 1-2	西俣	浅層（GL-50m）	水温（℃）	11.1	10.5	11.7	12.6	15.7	19.5	12.7	8.2	7.1	4.6	－※2	4.2
			pH	7.88	7.86	7.79	7.81	7.91	8.0	7.8	7.8	7.8	8.0	－※2	7.9
			電気伝導率（EC）（mS/m）	300	305	310	312	313	311.0	314.0	316.0	320.0	336.0	－※2	323.0
			透視度（cm）	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	－※2	>50

注１：当該井戸は自噴しているため、現地での手計り計測を実施していません。
注２：「※２」について、凍結のため欠測。
注３：透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示します。

表 184　調査結果（地下水 1-2 西俣（浅井戸））（2025 年度：自然由来の重金属等）

調査項目	地下水 1-2 西俣（浅井戸）
	工事前
	2 月期
カドミウム（mg/L）	<0.0003
六価クロム（mg/L）	<0.01
総水銀（mg/L）	<0.0005
セレン（mg/L）	<0.002
鉛（mg/L）	<0.005
ヒ素（mg/L）	<0.005
ふっ素（mg/L）	6.2
ほう素（mg/L）	3.4

注：「<」は、未満を示します。

2.2.3.2 調査結果（過年度）

地下水 1-2 西俣（浅井戸）の過年度の調査結果を表 185、表 186 及び図 210～図 213 に示します。

表 185　調査結果（地下水 1-2 西俣（浅井戸））

調査年度	地下水 1-2 西俣（浅井戸）											
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）			透視度（cm）		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均※1	最高	最低
2022 年度	9.4	12.1	6.4	7.8	7.9	7.7	310.8	324.0	298.0	50.0	>50.0	>50.0
2023 年度	12.6	19.8	3.0	8.3	8.6	8.0	319.1	334.0	309.0	50.0	>50.0	>50.0
2024 年度	11.7	17.9	5.7	8.0	8.3	7.7	236.5	337.0	219.0	50.0	>50.0	>50.0
2025 年度	10.7	19.5	4.2	7.9	8.0	7.8	314.5	336.0	300.0	50.0	>50.0	>50.0
2022 年度～2025 年度	11.1	19.8	3.0	8.0	8.6	7.7	295.2	337.0	219.0	50.0	>50.0	>50.0

注１：「※1」について、50 以上の計測結果については、50 として取扱い算出しています。

注２：透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示します。

表 186　調査結果（地下水 1-2 西俣（浅井戸））（自然由来の重金属等）

調査年度	地下水 1-2 西俣（浅井戸）							
	カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)	総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)
2024 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	6.0	3.3
2025 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	6.2	3.4
2024 年度～2025 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	6.1	3.4

注：「<」は、未満を示します。

水温

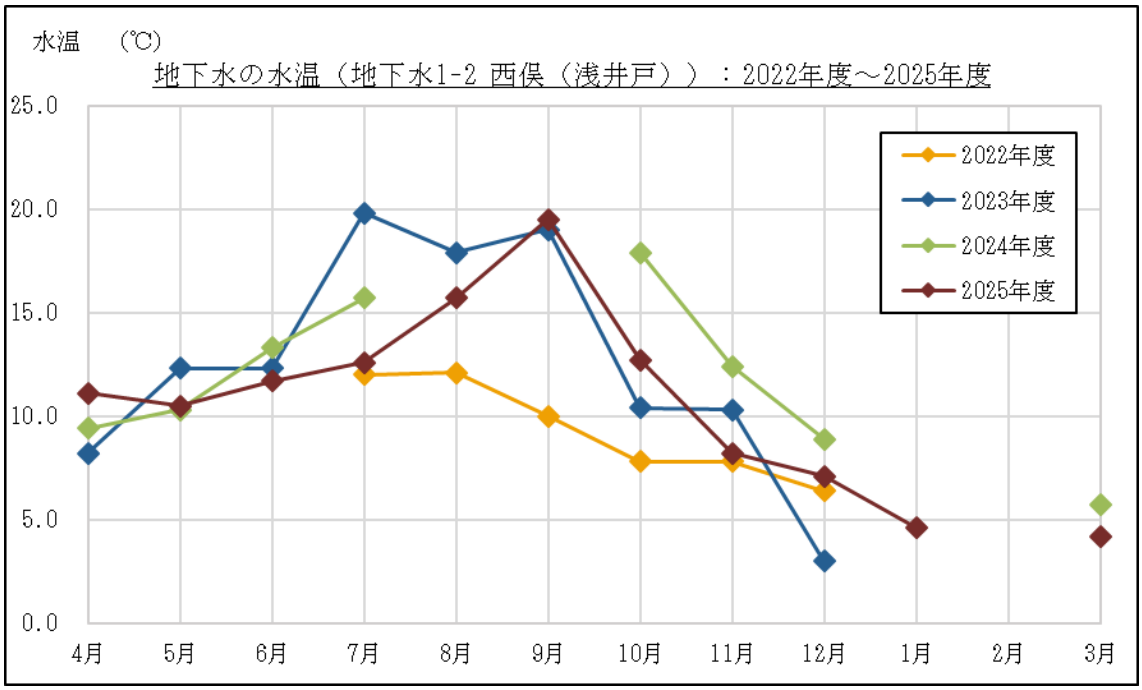


図 210　地下水の水温（地下水 1-2 西俣（浅井戸））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

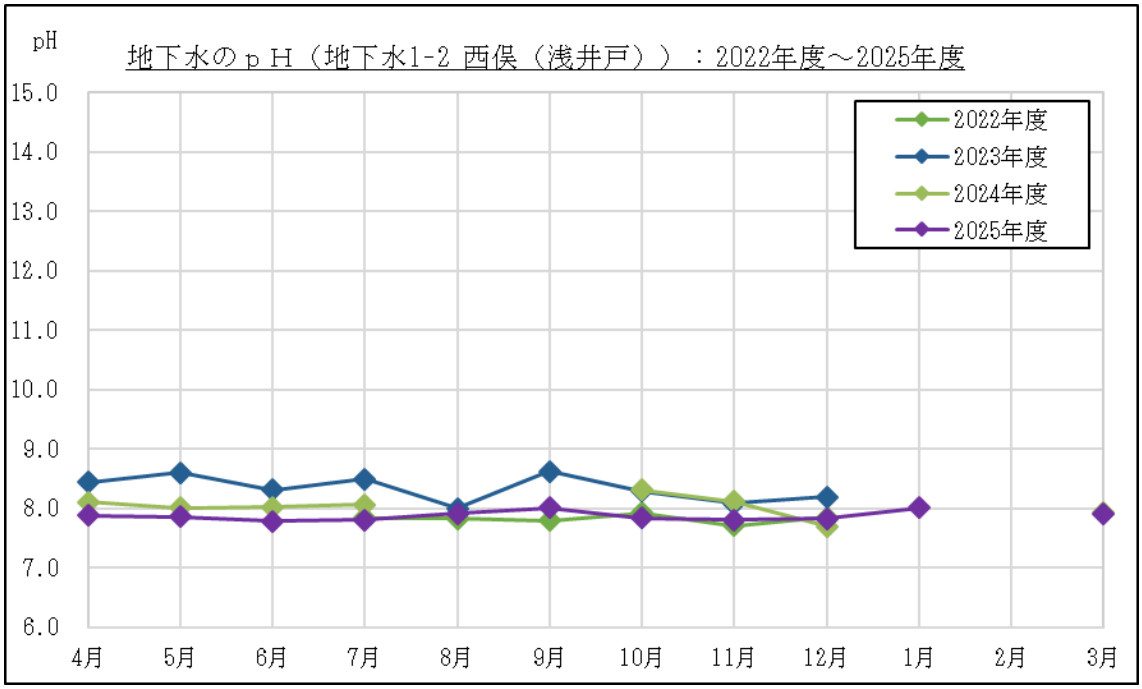


図 211　地下水の pH 計測結果（地下水 1-2 西俣（浅井戸））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

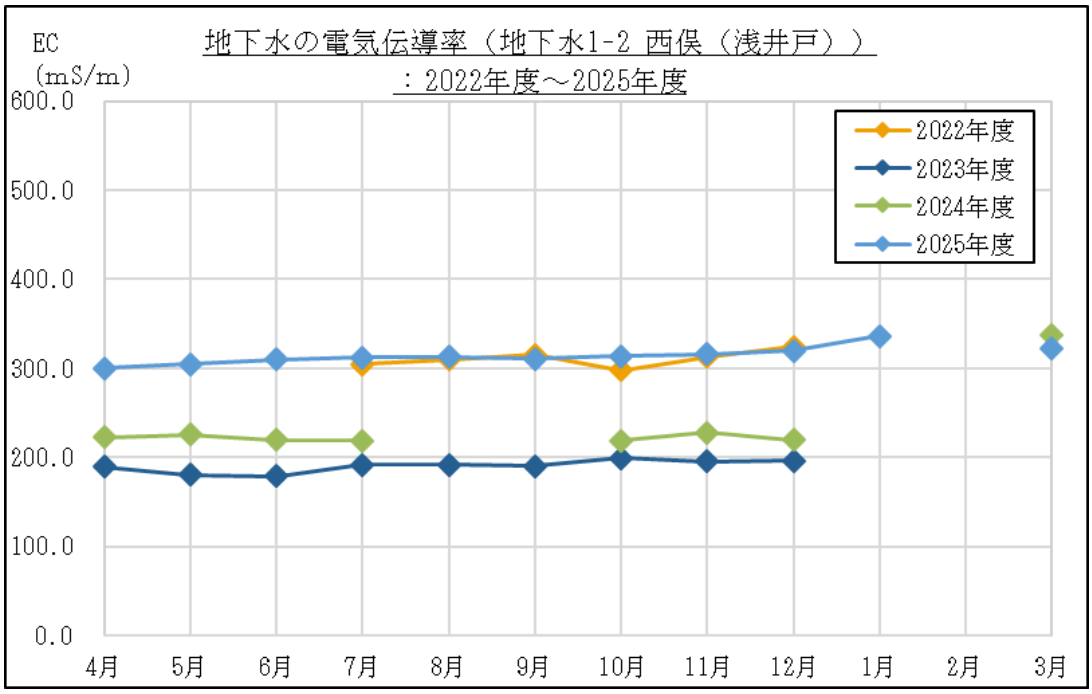


図 212　地下水の電気伝導率（EC）（地下水 1-2 西俣（浅井戸））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

透視度

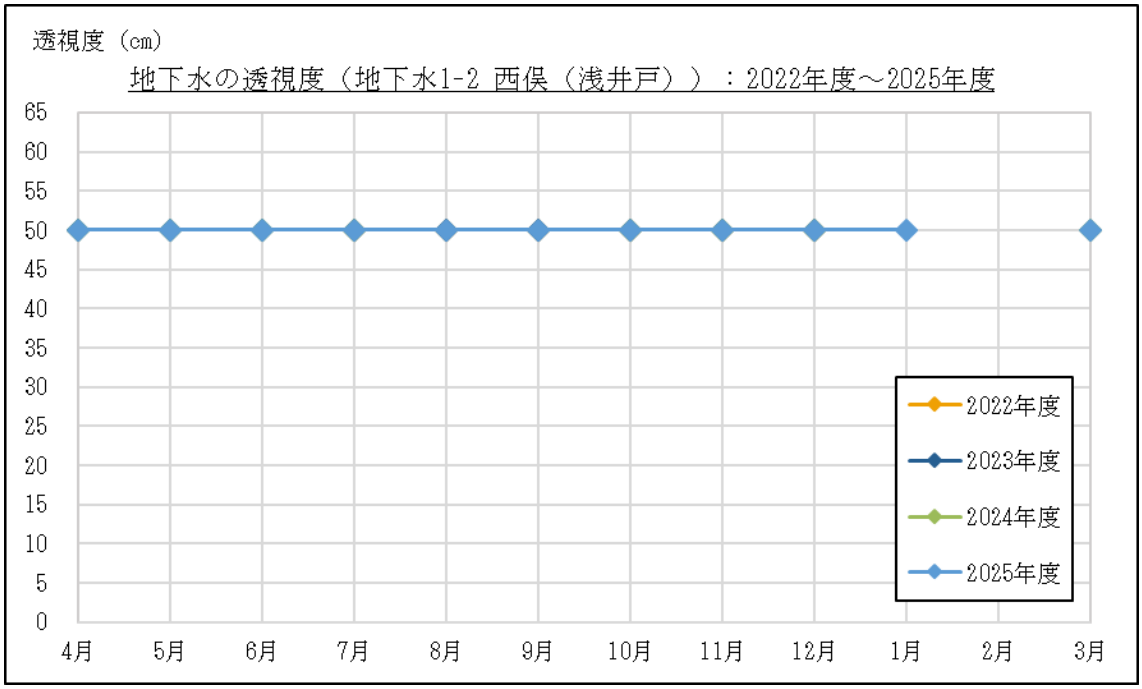


図 213　地下水の透視度計測結果（地下水 1-2 西俣（浅井戸））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

2.2.4 地下水 2 東俣

2.2.4.1 調査結果（2025 年度）

地下水 2 東俣の 2025 年度の調査結果を表 187 及び表 188 に示します。

表 187　調査結果（地下水 2 東俣）（2025 年度）

地点番号	調査地点	観測井	調査項目	2025 年度											
				4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
地下水 2	東俣	浅井戸 (GL- 44m)	水温（℃）	10.4	10.4	9.7	10.7	9.6	10.6	10.4	9.8	10.7	7.6	9.5	8.6
			pH	8.3	8.3	8.1	8.2	8.1	8.1	8.2	8.3	8.1	8.1	8.0	8.0
			電気伝導率 (EC)　(mS/m)	25.9	23.4	22.3	24.0	21.3	22.7	22.9	21.5	19.5	21.8	22.9	23.5
			透視度（cm）	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50

注：透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示します。

表 188　調査結果（地下水 2 東俣）（2025 年度：自然由来の重金属等）

調査項目	地下水 2 東俣
	工事前
	2 月期
カドミウム（mg/L）	<0.0003
六価クロム（mg/L）	<0.01
総水銀（mg/L）	<0.0005
セレン（mg/L）	<0.002
鉛（mg/L）	<0.005
ヒ素（mg/L）	<0.005
ふっ素（mg/L）	0.08
ほう素（mg/L）	<0.02

注：「<」は、未満を示します。

2.2.4.2 調査結果（過年度）

地下水 2 東俣の過年度の調査結果を表 189、表 190 及び図 214～図 217 に示します。

表 189　調査結果（地下水 2 東俣）

調査年度	地下水 2 東俣											
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）			透視度（cm）		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均※1	最高	最低
2017 年度	7.5	7.5	7.5	8.3	8.3	8.3	24.2	24.2	24.2	50	>50	>50
2018 年度	10.3	11.7	8.7	8.0	8.3	7.8	22.8	25.6	21.4	50	>50	>50
2019 年度	10.3	11.3	8.7	7.9	8.2	7.5	22.7	23.4	21.8	50	>50	>50
2020 年度	9.7	11.8	7.7	8.1	8.3	7.8	23.1	24.2	22.0	50	>50	>50
2021 年度	10.4	14.1	8.2	8.1	8.3	7.6	22.8	24.4	21.1	50	>50	>50
2022 年度	9.6	11.4	8.3	8.2	8.5	7.9	24.0	26.6	22.5	50	>50	>50
2023 年度	10.0	10.9	8.9	8.2	8.6	7.7	24.1	26.1	21.6	50	>50	>50
2024 年度	9.9	10.9	8.5	8.2	8.5	7.8	25.1	29.5	22.1	50	>50	>50
2025 年度	9.8	10.7	7.6	8.2	8.3	8.0	22.6	25.9	19.5	50	>50	>50
2017 年度～2025 年度	9.7	14.1	7.5	8.1	8.6	7.5	23.5	29.5	19.5	50	>50	>50

注１：「※1」について、50 以上の計測結果については、50 として取扱い算出しています。
注２：透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示します。

表 190　調査結果（地下水 2 東俣）（自然由来の重金属等）

調査年度	地下水 2 東俣							
	カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)	総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)
2020 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.1	<0.02
2024 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	0.08	<0.02
2025 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	0.08	<0.02
2020 年度～2025 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	0.09	<0.02

注：「<」は、未満を示します。

水温

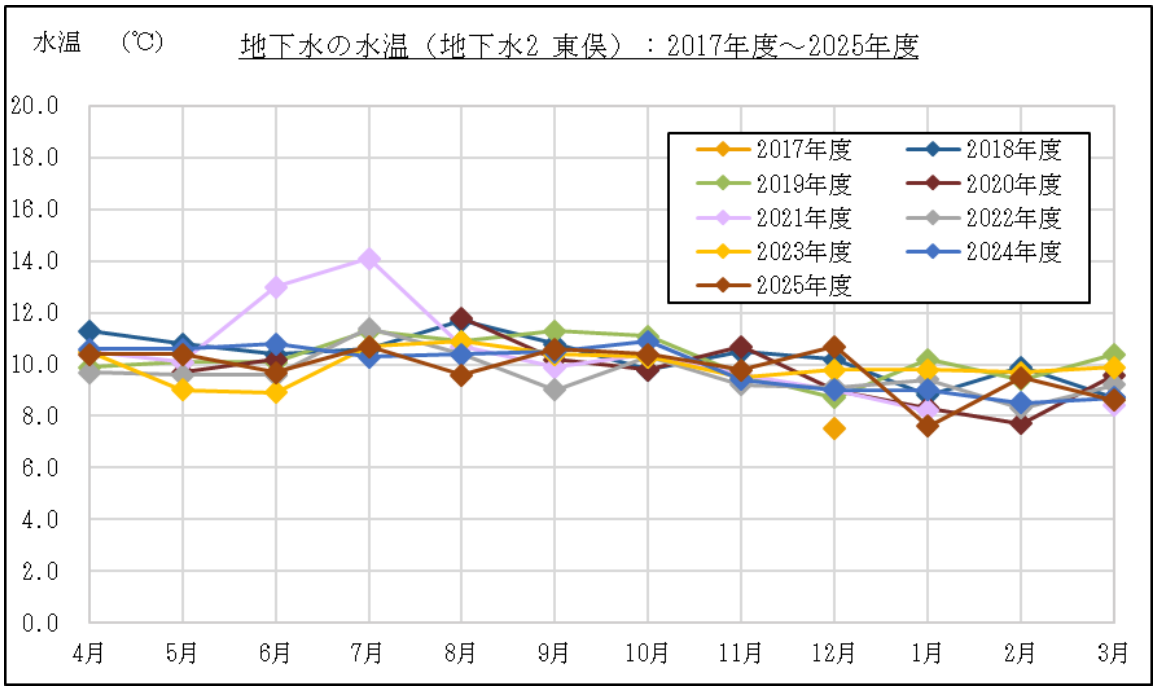


図 214　地下水の水温（地下水 2 東俣）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

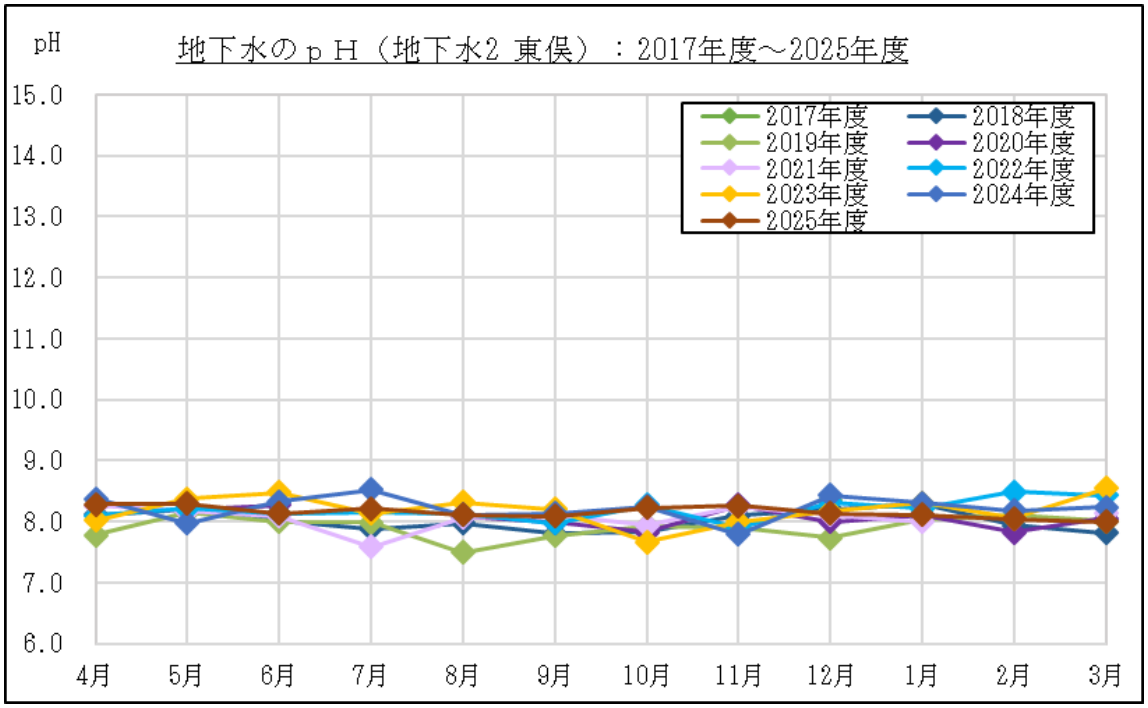


図 215　地下水の pH 計測結果（地下水 2 東俣）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

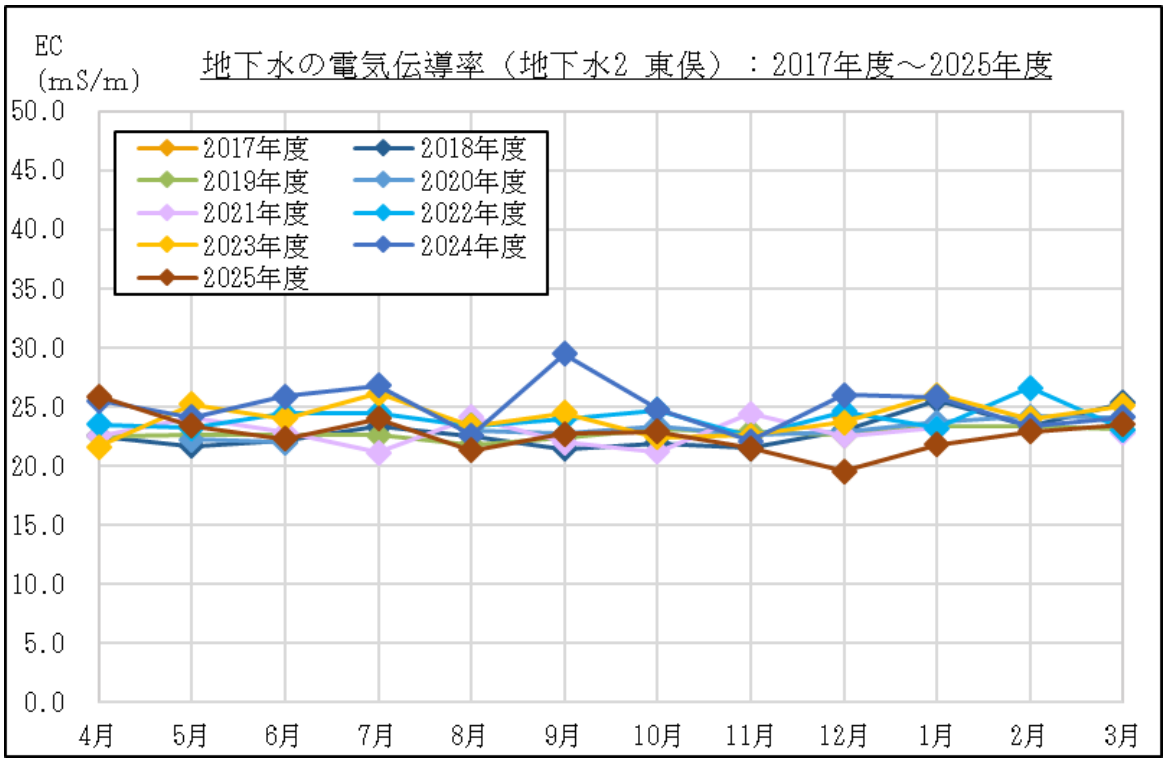


図 216　地下水の電気伝導率（EC）（地下水 2 東俣）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

透視度

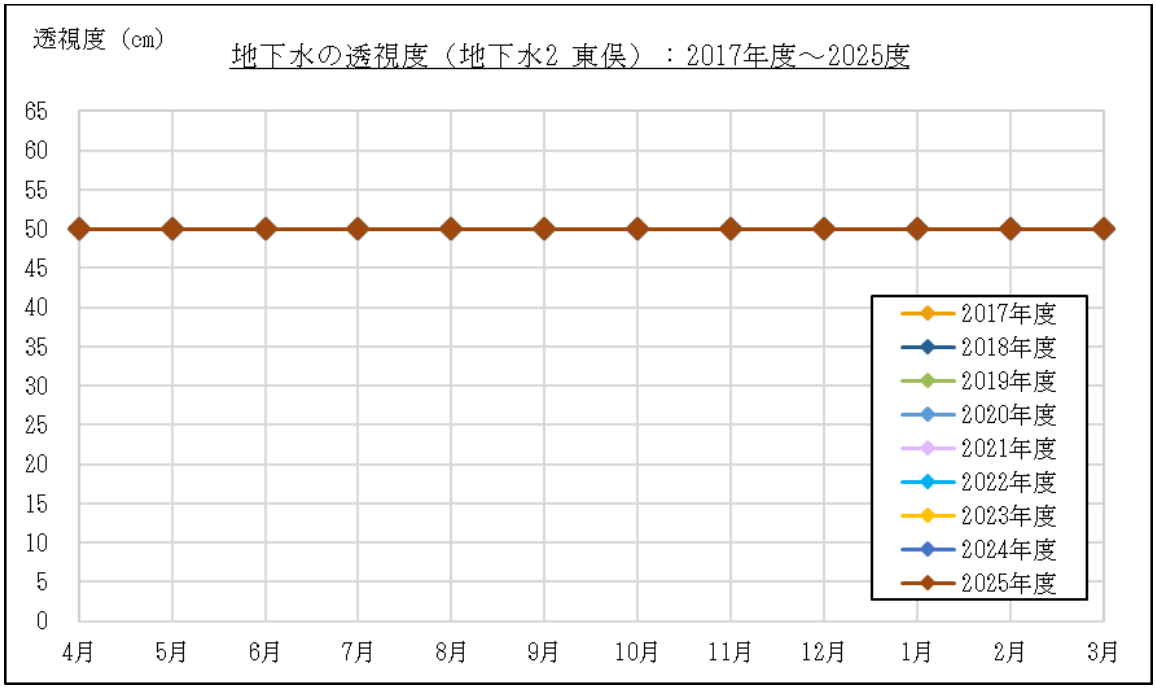


図 217　地下水の透視度計測結果（地下水 2 東俣）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

2.2.5 地下水 3-1 田代（深井戸）

2.2.5.1 調査結果（2025 年度）

地下水 3-1 田代（深井戸）の 2025 年度の調査結果を表 191 及び表 192 に示します。

表 191　調査結果（地下水 3-1 田代（深井戸））（2025 年度）

地点番号	調査地点	観測井	調査項目	2025 年度											
				4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
地下水 3-1	田代	深層 (GL-256m)	水温（℃）	9.0	8.5	8.0	10.2	9.0	12.7	10.2	10.2	9.9	8.1	8.8	8.3
			pH	9.2	9.0	9.1	9.1	9.2	9.0	9.0	9.1	9.2	8.8	9.3	9.2
			電気伝導率 (EC)（mS/m）	160.8	155.2	104.8	156.3	167.5	169.7	160.7	105.5	180.6	168.1	180.7	179.9
			透視度（cm）	>50	>50	37	>50	>50	33	>50	27	>50	22.0	42.0	>50

注：透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示します。

表 192　調査結果（地下水 3-1 田代（深井戸））（2025 年度：自然由来の重金属等）

調査項目	地下水 3-1 田代（深井戸）
	工事前
	2 月期
カドミウム（mg/L）	<0.0003
六価クロム（mg/L）	<0.01
総水銀（mg/L）	<0.0005
セレン（mg/L）	<0.002
鉛（mg/L）	<0.005
ヒ素（mg/L）	<0.005
ふっ素（mg/L）	7.7
ほう素（mg/L）	4.0

注：「<」は、未満を示します。

2.2.5.2 調査結果（過年度）

地下水 3-1 田代（深井戸）の過年度の調査結果を表 193、表 194 及び図 218～図 221 に示します。

表 193　調査結果（地下水 3-1 田代（深井戸））

調査年度	地下水 3-1 田代（深井戸）											
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）			透視度（cm）		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均※1	最高	最低
2017 年度	6.2	6.2	6.2	9.4	9.4	9.4	178.4	178.4	178.4	17.0	17.0	17.0
2018 年度	10.1	13.8	8.4	9.1	9.2	8.9	171.6	182.1	148.3	35.3	48.0	20.0
2019 年度	10.8	12.5	9.3	9.1	9.2	9.0	163.7	182.9	126.9	49.3	>50.0	46.0
2020 年度	9.9	13.3	8.0	9.1	9.3	9.0	174.4	188.6	132.8	45.6	>50.0	35.0
2021 年度	9.6	11.6	7.1	9.2	9.3	9.1	183.8	192.9	180.4	46.8	>50.0	15.0
2022 年度	8.8	10.9	6.5	9.2	9.3	9.1	184.0	187.5	178.9	50.0	>50.0	>50.0
2023 年度	9.2	11.6	7.7	9.2	9.4	8.9	181.6	187.3	173.2	47.8	>50.0	23.0
2024 年度	9.5	12.9	7.7	9.2	9.4	9.0	182.3	187.9	172.4	50.0	>50.0	>50.0
2025 年度	9.4	12.7	8.0	9.1	9.3	8.8	157.5	180.7	104.8	42.6	>50.0	22.0
2017 年度～2025 年度	9.3	13.8	6.2	9.2	9.4	8.8	175.2	192.9	104.8	42.7	>50.0	15.0

注１：「※1」について、50 以上の計測結果については、50 として取扱い算出しています。
注２：透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示します。

表 194　調査結果（地下水 3-1 田代（深井戸））（自然由来の重金属等）

調査年度	地下水 3-1 田代（深井戸）							
	カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)	総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)
2020 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	8.4	3.8
2024 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	7.4	3.9
2025 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	7.7	4.0
2020 年度～2025 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	7.8	3.9

注：「<」は、未満を示します。

水温

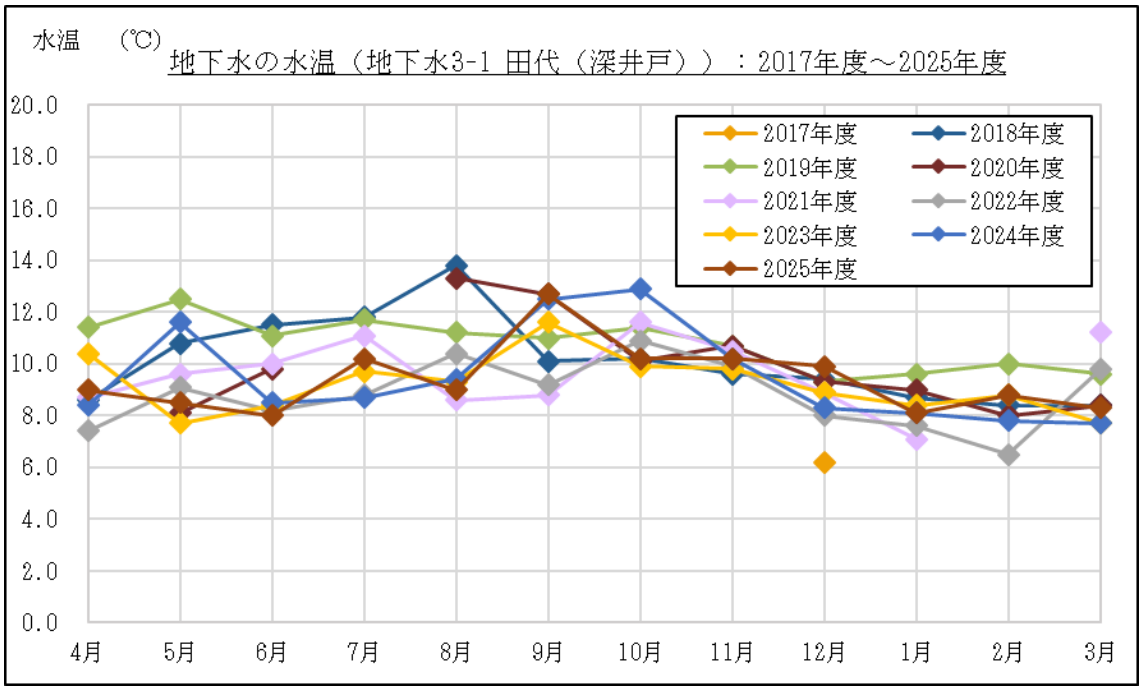


図 218　地下水の水温（地下水 3-1 田代（深井戸））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

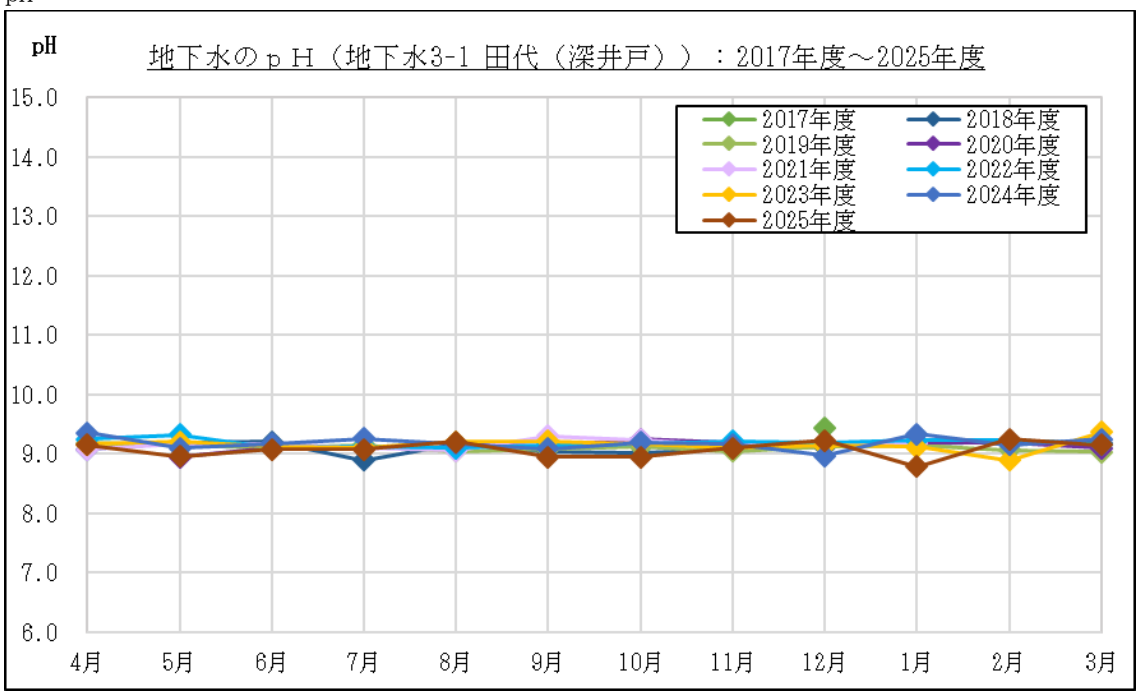


図 219　地下水の pH 計測結果（地下水 3-1 田代（深井戸））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

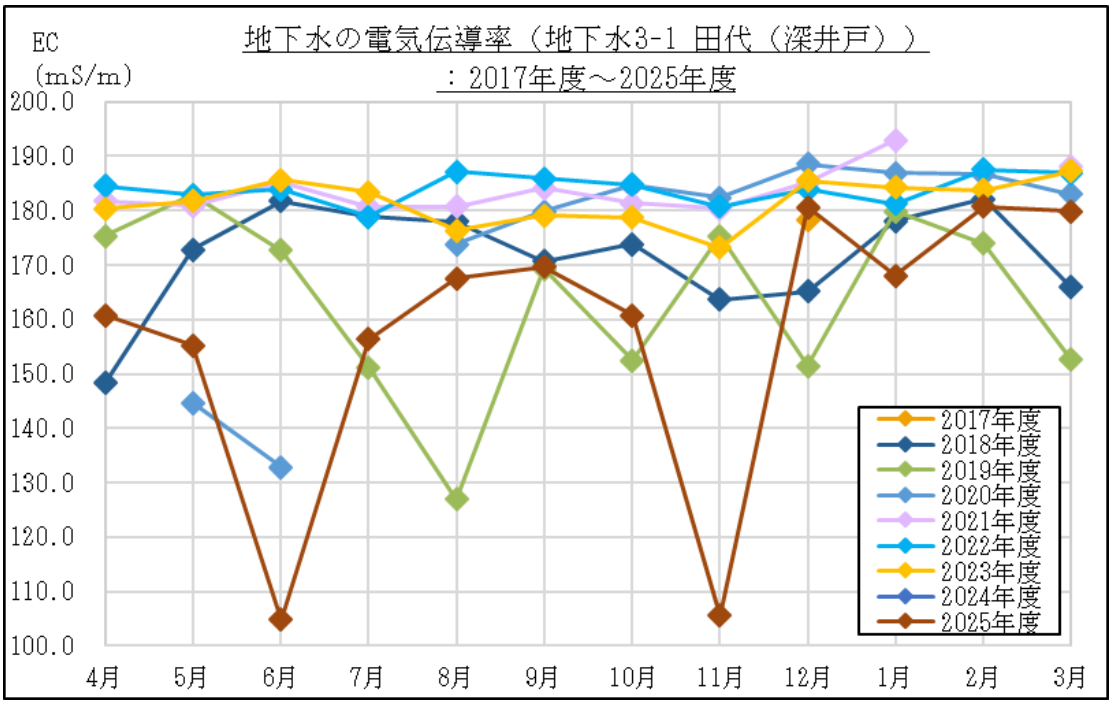


図 220　地下水の電気伝導率（EC）（地下水 3-1 田代（深井戸））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

透視度

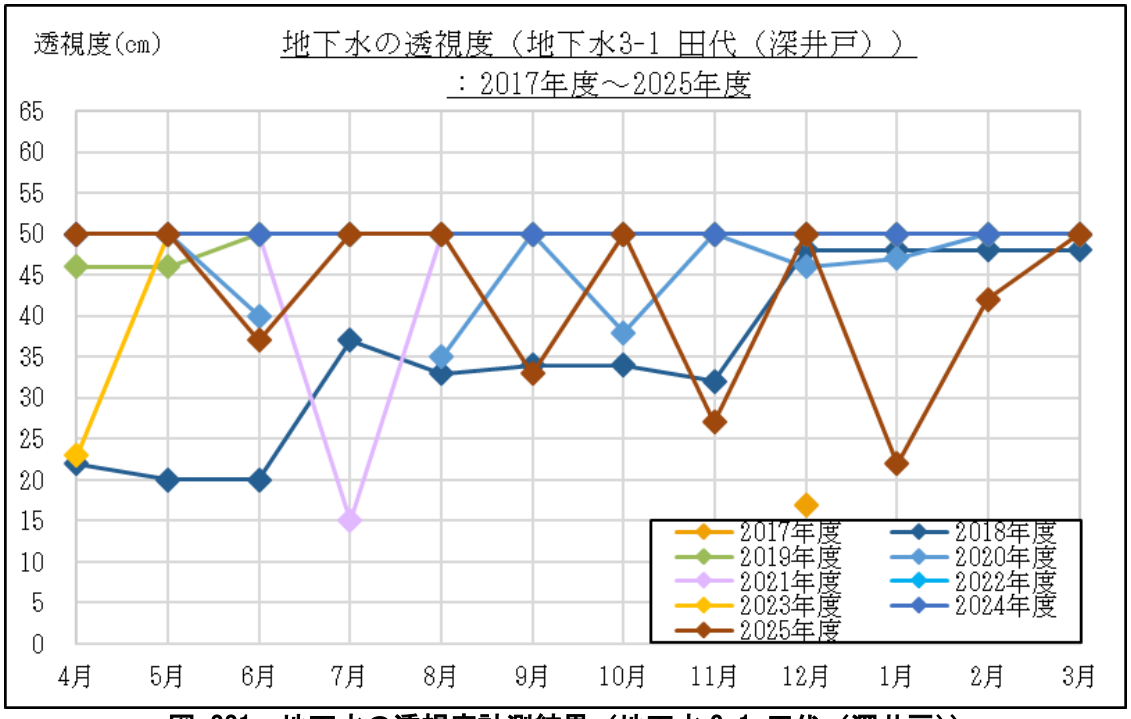


図 221　地下水の透視度計測結果（地下水 3-1 田代（深井戸））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

2.2.6 地下水 3-2 田代（浅井戸）

2.2.6.1 調査結果（2025 年度）

地下水 3-2 田代（浅井戸）の 2025 年度の調査結果を表 195 及び表 196 に示します。

表 195　調査結果(地下水 3-2 田代（浅井戸)）(2025 年度)

地点番号	調査地点	観測井	調査項目	2025 年度											
				4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
地下水 3-2	田代	浅井戸 (GL-44m)	水温（℃）	8.6	8.2	7.6	9.1	8.6	10.6	8.8	8.1	8.1	7.8	8.0	6.7
			pH	8.1	7.1	7.7	7.9	7.6	7.5	7.8	8.1	7.7	8.3	8.2	11.8
			電気伝導率 (EC) (mS/m)	22.4	14.5	8.8	20.4	21.2	15.0	16.9	20.7	22.0	22.3	23.0	43.9
			透視度（cm）	>50	>50	28	>50	>50	30	10	>50	>50	>50	>50	32

注：透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示します。

表 196　調査結果(地下水 3-2 田代（浅井戸)）(2025 年度：自然由来の重金属等)

調査項目	地下水 3-2 田代（浅井戸）
	工事前
	2 月期
カドミウム（mg/L）	<0.0003
六価クロム（mg/L）	<0.01
総水銀（mg/L）	<0.0005
セレン（mg/L）	<0.002
鉛（mg/L）	<0.005
ヒ素（mg/L）	<0.005
ふっ素（mg/L）	<0.08
ほう素（mg/L）	0.02

注：「<」は、未満を示します。

2.2.6.2 調査結果（過年度）

地下水 3-2 田代（浅井戸）の過年度の調査結果を表 197、表 198 及び図 222～図 225 に示します。

表 197　調査結果（地下水 3-2 田代（浅井戸））

調査年度	地下水 3-2 田代（浅井戸）											
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）			透視度（cm）		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均※1	最高	最低
2017 年度	7.8	7.8	7.8	8.3	8.3	8.3	24.4	24.4	24.4	18.0	18.0	18.0
2018 年度	8.7	10.9	6.7	7.9	8.2	7.5	23.7	27.3	21.2	50.0	>50.0	>50.0
2019 年度	8.5	10.5	6.5	8.0	8.2	7.6	22.3	25.7	20.1	50.0	>50.0	>50.0
2020 年度	8.0	9.6	6.3	7.9	8.3	7.6	22.2	24.4	20.1	50.0	>50.0	>50.0
2021 年度	8.7	11.8	7.1	7.9	8.2	7.3	20.9	22.6	19.3	47.2	>50.0	27.0
2022 年度	8.1	9.5	6.6	7.9	8.3	7.4	21.9	24.3	18.4	50.0	>50.0	>50.0
2023 年度	8.8	10.9	7.3	8.0	8.3	7.4	23.7	29.4	21.9	50.0	>50.0	>50.0
2024 年度	8.7	9.6	7.5	8.0	8.3	7.6	20.9	23.5	3.1	50.0	>50.0	>50.0
2025 年度	8.4	10.6	6.7	8.1	11.8	7.1	20.9	43.9	8.8	41.7	>50.0	10.0
2017 年度～2025 年度	8.4	11.8	6.3	8.0	11.8	7.1	22.3	43.9	3.1	45.2	>50.0	10.0

注１：「※1」について、50 以上の計測結果については、50 として取扱い算出しています。
注２：透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示します。

表 198　調査結果（地下水 3-2 田代（浅井戸））（自然由来の重金属等）

調査年度	地下水 3-2 田代（浅井戸）							
	カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)	総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)
2024 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	0.11	0.02
2025 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	0.02
2024 年度～2025 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	0.10	0.02

注：「<」は、未満を示します。

水温

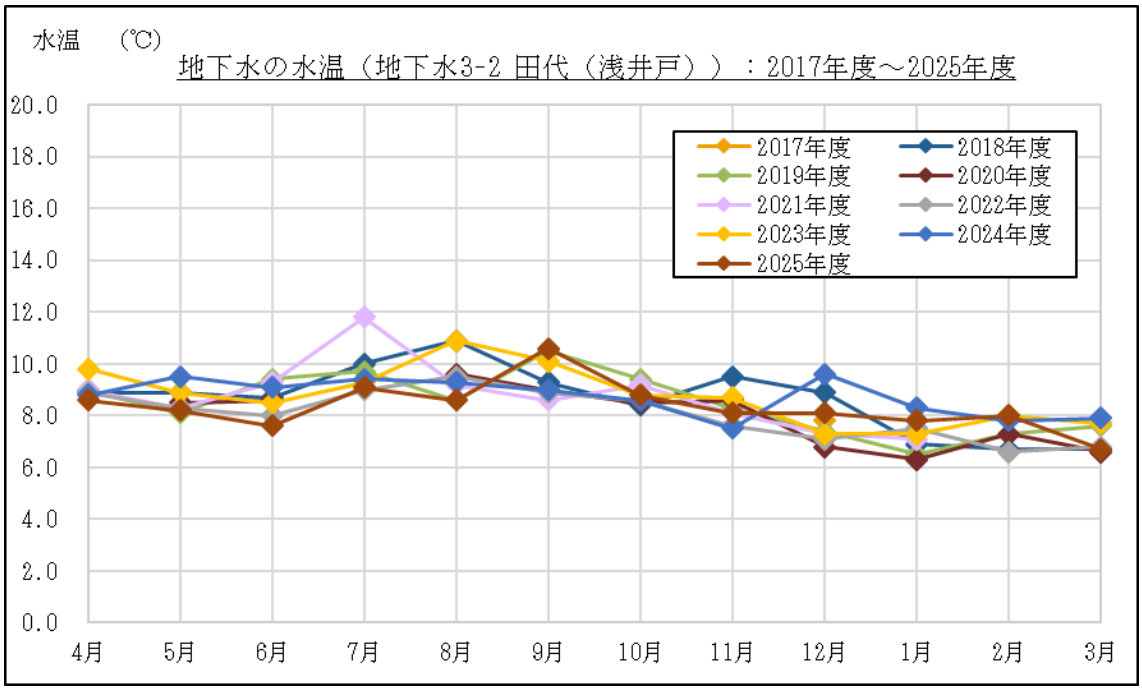


図 222　地下水の水温（地下水 3-2 田代（浅井戸））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

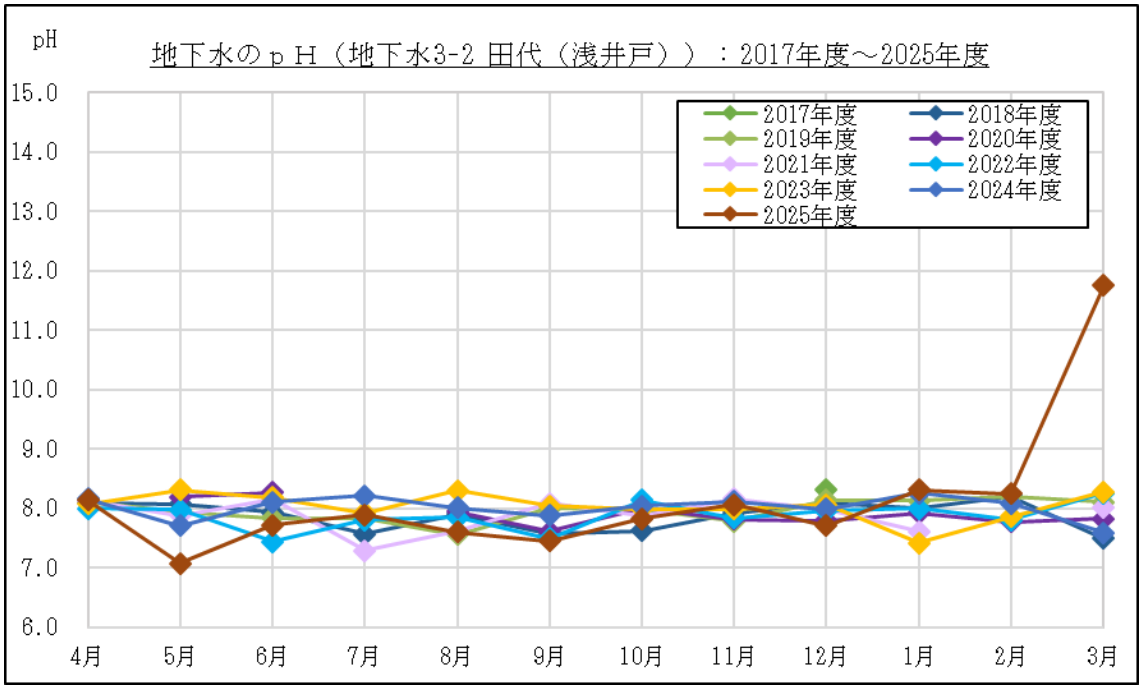


図 223　地下水の pH 計測結果（地下水 3-2 田代（浅井戸））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。
・2026 年 3 月の結果については、過去データと比較し高い値が観測されたため、今後の計測データを注視していきます。

電気伝導率（EC）

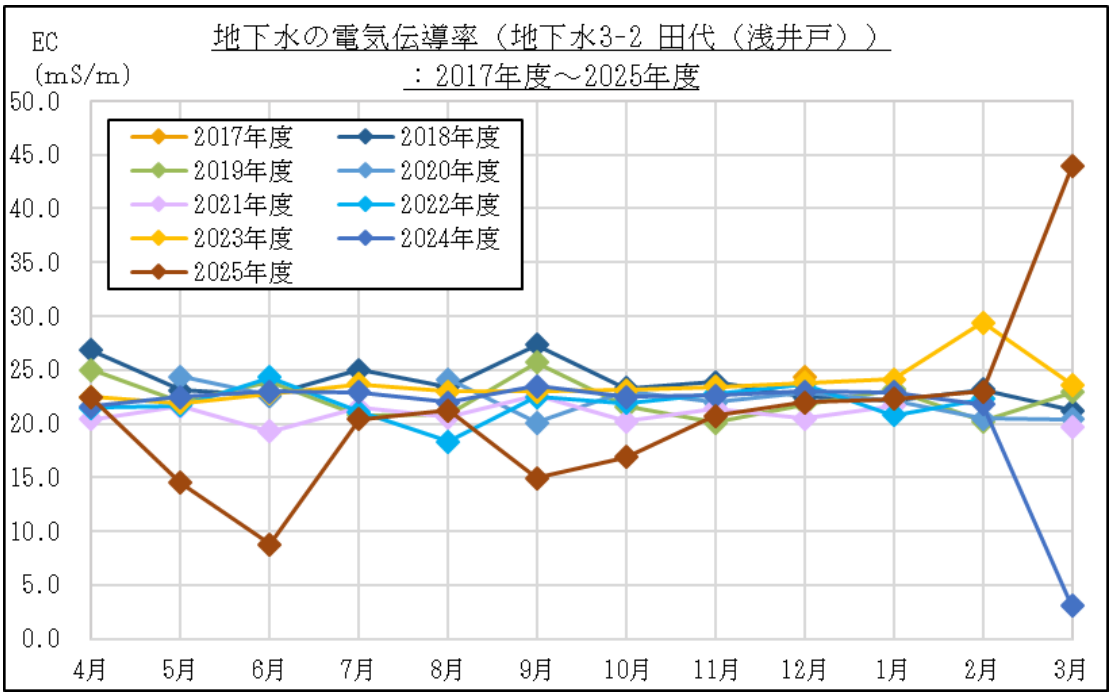


図 224　地下水の電気伝導率（EC）（地下水 3-2 田代（浅井戸））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。
・2026 年 3 月の結果については、過去データと比較し高い値が観測されたため、今後の計測データを注視していきます。

透視度

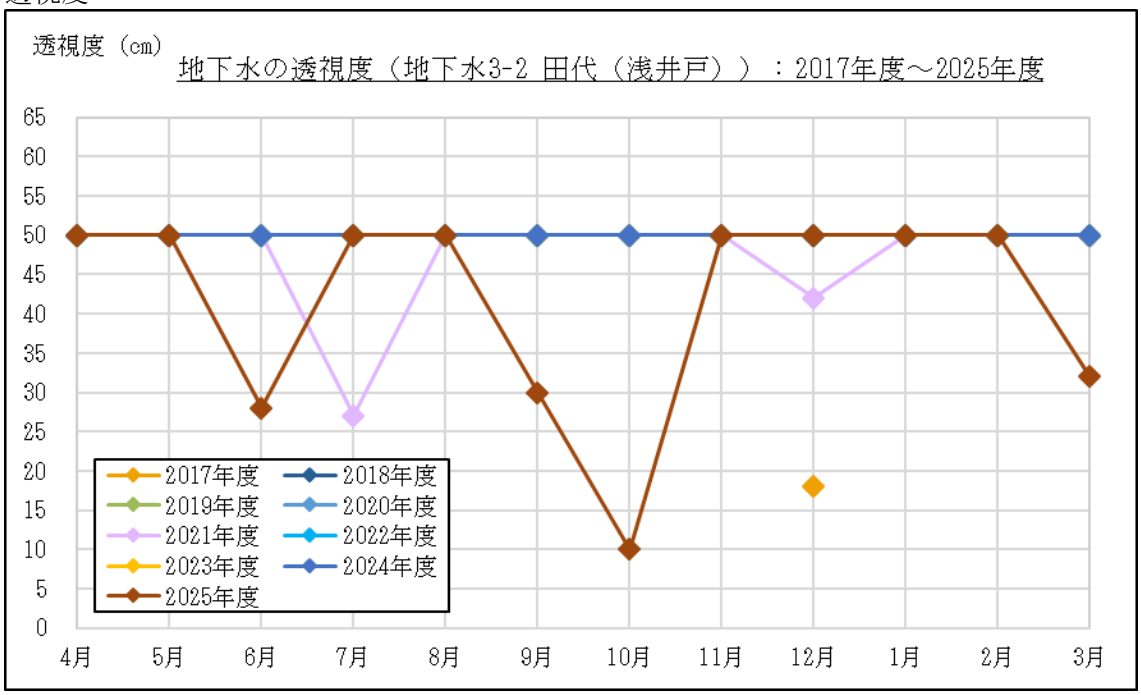


図 225　地下水の透視度計測結果（地下水 3-2 田代（浅井戸））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

2.2.7 地下水 4 二軒小屋南

2.2.7.1 調査結果（2025 年度）

地下水 4 二軒小屋南の 2025 年度の調査結果を表 199 及び表 200 に示します。

表 199　調査結果（地下水 4 二軒小屋南）（2025 年度）

地点番号	調査地点	観測井	調査項目	2025 年度											
				4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
地下水 4	二軒小屋南	浅層 (GL-66m)	水温（℃）	8.4	8.1	8.7	9.6	11.1	10.4	9.8	9.1	8.2	4.4	7.7	7.7
			pH	8.4	8.2	7.6	8.2	8.0	7.8	7.8	8.2	8.4	8.2	8.1	8.2
			電気伝導率 (EC)　(mS/m)	21.7	19.4	19.2	19.8	20.2	19.5	19.0	20.8	18.8	19.9	19.5	22.7
			透視度（cm）	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50

注：透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示します。

表 200　調査結果（地下水 4 二軒小屋南）（2025 年度：自然由来の重金属等）

調査項目	地下水 4 二軒小屋南
	工事前
	2 月期
カドミウム（mg/L）	<0.0003
六価クロム（mg/L）	<0.01
総水銀（mg/L）	<0.0005
セレン（mg/L）	<0.002
鉛（mg/L）	<0.005
ヒ素（mg/L）	<0.005
ふっ素（mg/L）	0.1
ほう素（mg/L）	0.05

注：「<」は、未満を示します。

2.2.7.2 調査結果（過年度）

地下水 4 二軒小屋南の過年度の調査結果を表 201、表 202 及び図 226～図 229 に示します。

表 201　調査結果（地下水 4 二軒小屋南）

調査年度	地下水 4 二軒小屋南											
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）			透視度（cm）		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均※1	最高	最低
2017 年度	6.6	6.6	6.6	9.1	9.1	9.1	20.7	20.7	20.7	>50.0	>50.0	>50.0
2018 年度	9.6	12.5	6.9	8.5	9.4	8.0	18.4	19.5	17.1	49.3	>50.0	42.0
2019 年度	8.7	10.9	7.3	8.1	8.4	7.6	19.0	19.6	18.5	>50.0	>50.0	>50.0
2020 年度	8.5	10.2	6.8	8.1	8.4	7.9	19.7	20.8	19.1	>50.0	>50.0	>50.0
2021 年度	8.8	10.0	6.9	8.1	8.3	7.8	19.7	20.6	18.6	49.5	>50.0	45.0
2022 年度	8.6	9.9	7.1	8.2	8.4	7.9	19.9	20.8	19.3	>50.0	>50.0	>50.0
2023 年度	9.0	9.9	8.1	8.3	8.8	7.8	20.6	23.2	19.0	>50.0	>50.0	>50.0
2024 年度	8.5	9.5	5.4	8.2	8.5	7.3	20.3	22.0	18.3	>50.0	>50.0	>50.0
2025 年度	8.6	11.1	4.4	8.1	8.4	7.6	20.0	22.7	18.8	>50.0	>50.0	>50.0
2017 年度～2025 年度	8.5	12.5	4.4	8.3	9.4	7.3	19.8	23.2	17.1	49.9	>50.0	42.0

注１：「※1」について、50 以上の計測結果については、50 として取扱い算出しています。
注２：透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示します。

表 202　調査結果（地下水 4 二軒小屋南）（自然由来の重金属等）

調査年度	地下水 4 二軒小屋南							
	カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)	総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)
2024 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	0.09	0.05
2025 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	0.1	0.05
2024 年度～2025 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	0.095	0.05

注：「<」は、未満を示します。

水温

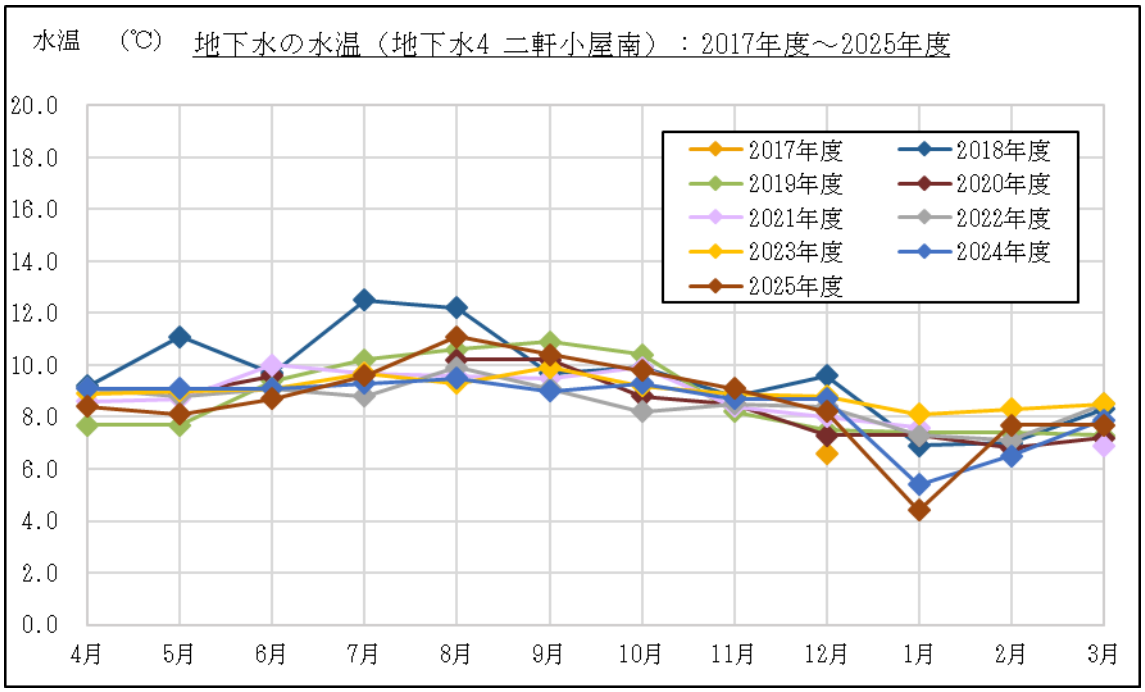


図 226　地下水の水温（地下水 4 二軒小屋南）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

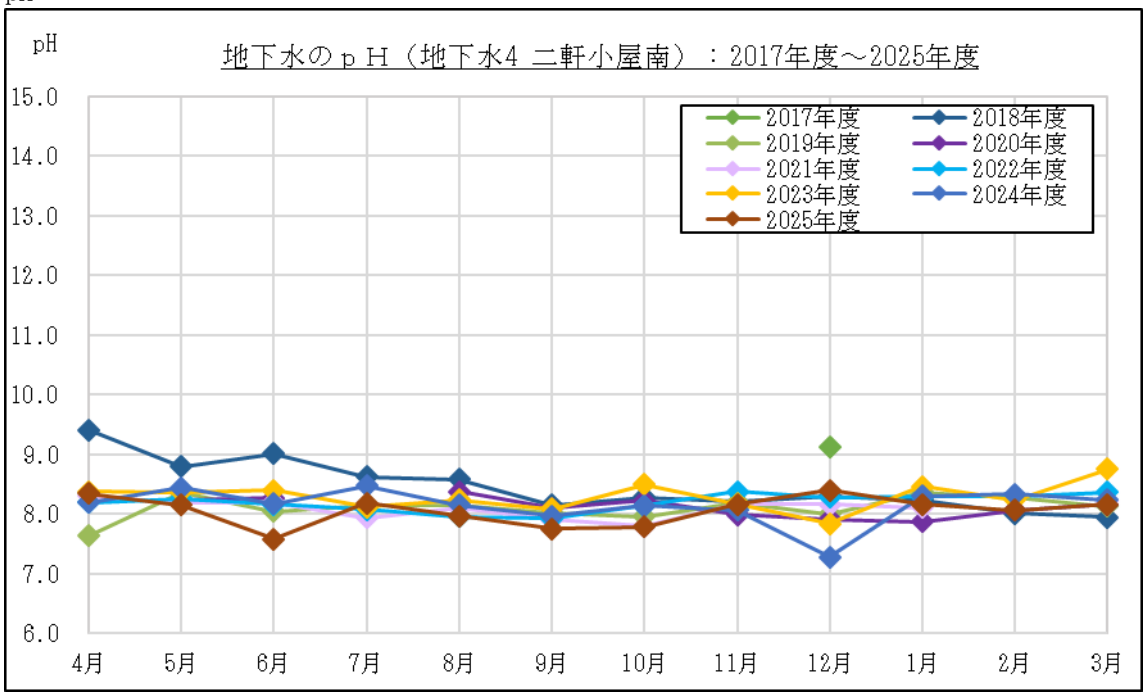


図 227　地下水の pH 計測結果（地下水 4 二軒小屋南）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

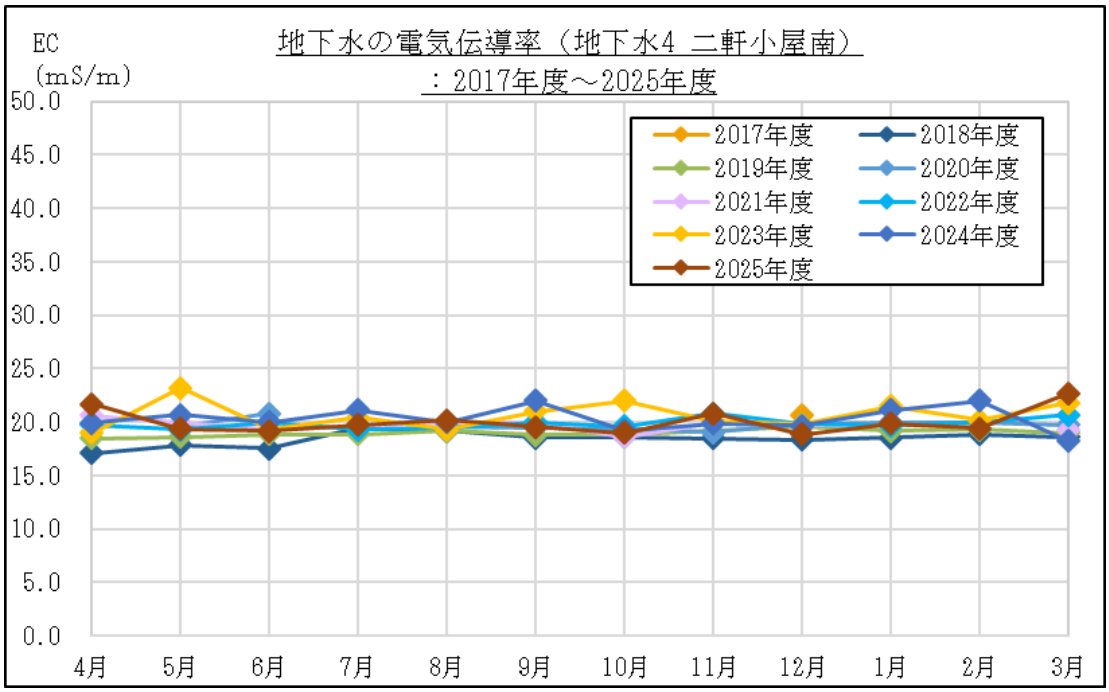


図 228　地下水の電気伝導率（EC）（地下水 4 二軒小屋南）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

透視度

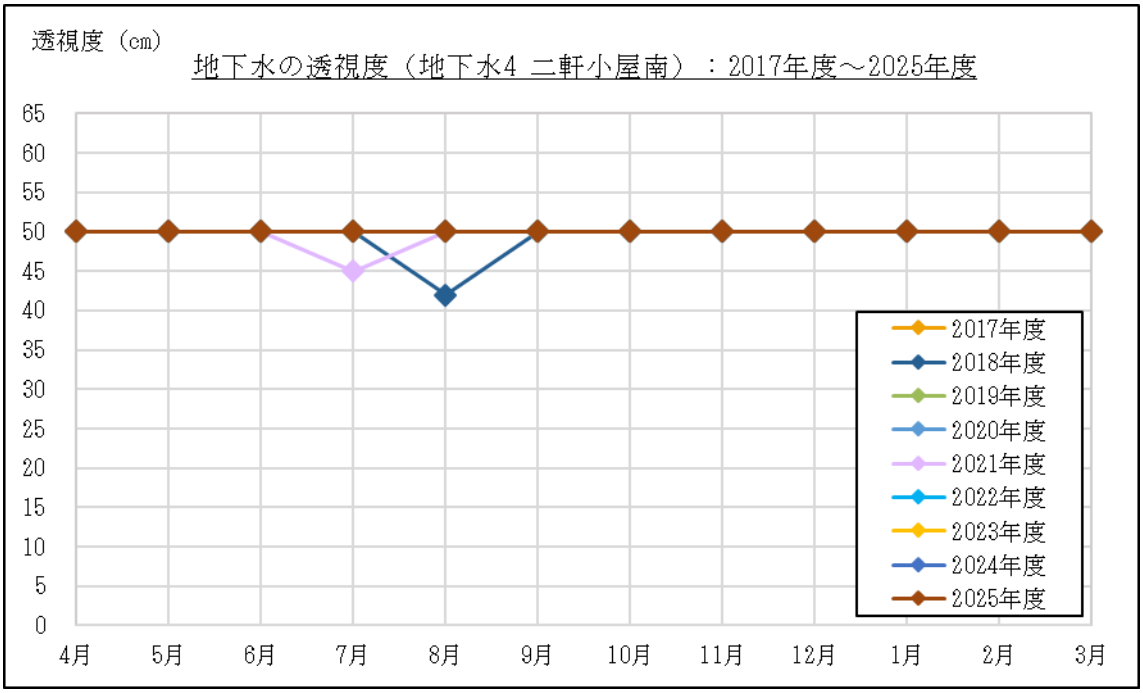


図 229　地下水の透視度計測結果（地下水 4 二軒小屋南）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

2.2.8 地下水 5 椹島

2.2.8.1 調査結果（2025 年度）

地下水 5 椹島の 2025 年度の調査結果を表 203 及び表 204 に示します。

表 203　調査結果（地下水 5 椹島）（2025 年度）

地点番号	調査地点	観測井	調査項目	2025 年度											
				4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
地下水 5	椹島	深層 (GL-150m)	水温（℃）	11.9	12.1	11.4	12.0	11.5	11.3	11.2	11.5	11.3	10.8	10.7	10.9
			pH	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.2	8.3	8.3	8.0	8.4	8.5
			電気伝導率 (EC)　(mS/m)	216.0	216.0	208.0	215.0	217.0	203.0	220.0	225.0	222.0	222.0	222.0	221.0
			透視度（cm）	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50

注１：当該井戸は自噴しているため、現地での手計り計測を実施していない。

注２：透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示します。

表 204　調査結果（地下水 5 椹島）（2025 年度：自然由来の重金属等）

調査項目	地下水 5 椹島
	工事前
	2 月期
カドミウム（mg/L）	<0.0003
六価クロム（mg/L）	<0.01
総水銀（mg/L）	<0.0005
セレン（mg/L）	<0.002
鉛（mg/L）	<0.005
ヒ素（mg/L）	<0.005
ふっ素（mg/L）	10
ほう素（mg/L）	4.9

注：「<」は、未満を示します。

2.2.8.2 調査結果（過年度）

地下水 5 椹島の過年度の調査結果を表 205、表 206 及び図 230～図 233 に示します。

表 205　調査結果（地下水 5 椹島）

調査年度	地下水 5 椹島											
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）			透視度（cm）		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均※1	最高	最低
2022 年度	11.6	13.2	10.5	8.4	8.5	8.2	220.8	226.0	213.0	48.3	>50.0	40.0
2023 年度	11.8	12.6	10.5	8.4	8.5	8.1	219.2	229.0	204.0	47.3	>50.0	17.0
2024 年度	11.6	12.3	10.3	8.3	8.5	8.1	219.5	228.0	207.0	50.0	>50.0	>50.0
2025 年度	11.4	12.1	10.7	8.3	8.5	8.1	217.3	225.0	203.0	50.0	>50.0	>50.0
2022 年度～2025 年度	11.6	13.2	10.3	8.3	8.5	8.1	219.2	229.0	203.0	48.9	>50.0	17.0

注１：「※1」について、50 以上の計測結果については、50 として取扱い算出しています。

注２：透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示します。

表 206　調査結果（地下水 5 椹島）（自然由来の重金属等）

調査年度	地下水 5 椹島							
	カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)	総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)
2024 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	9.4	5.1
2025 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	10.0	4.9
2024 年度～2025 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	9.7	5.0

注：「<」は、未満を示します。

水温

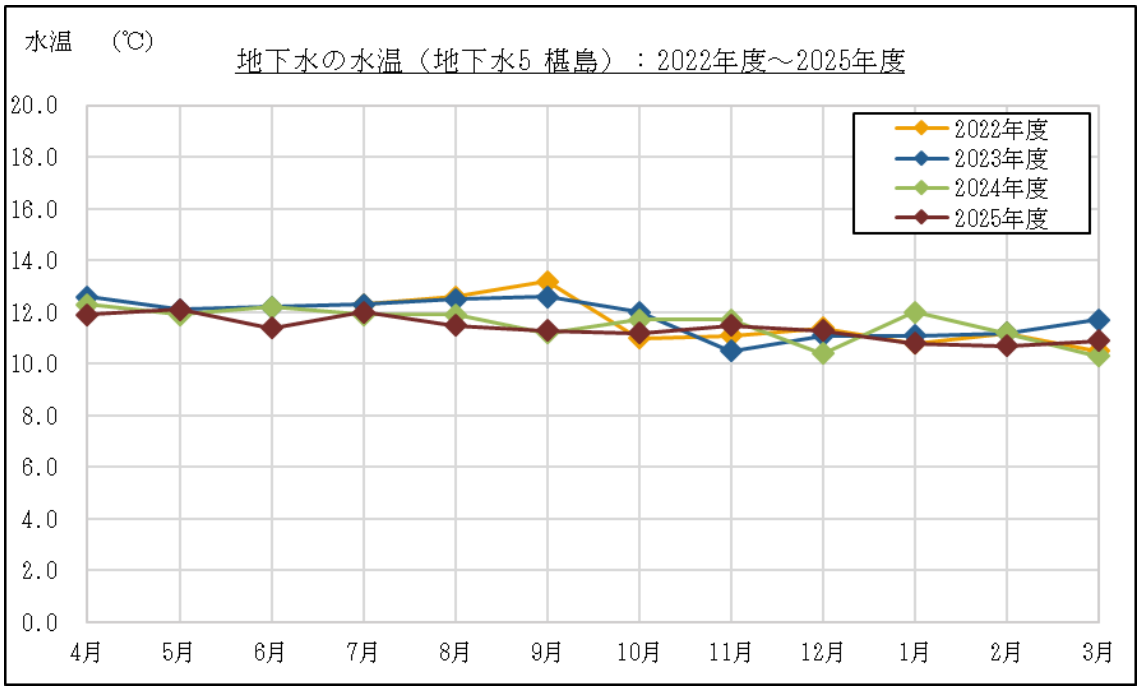


図 230　地下水の水温（地下水 5 椹島）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

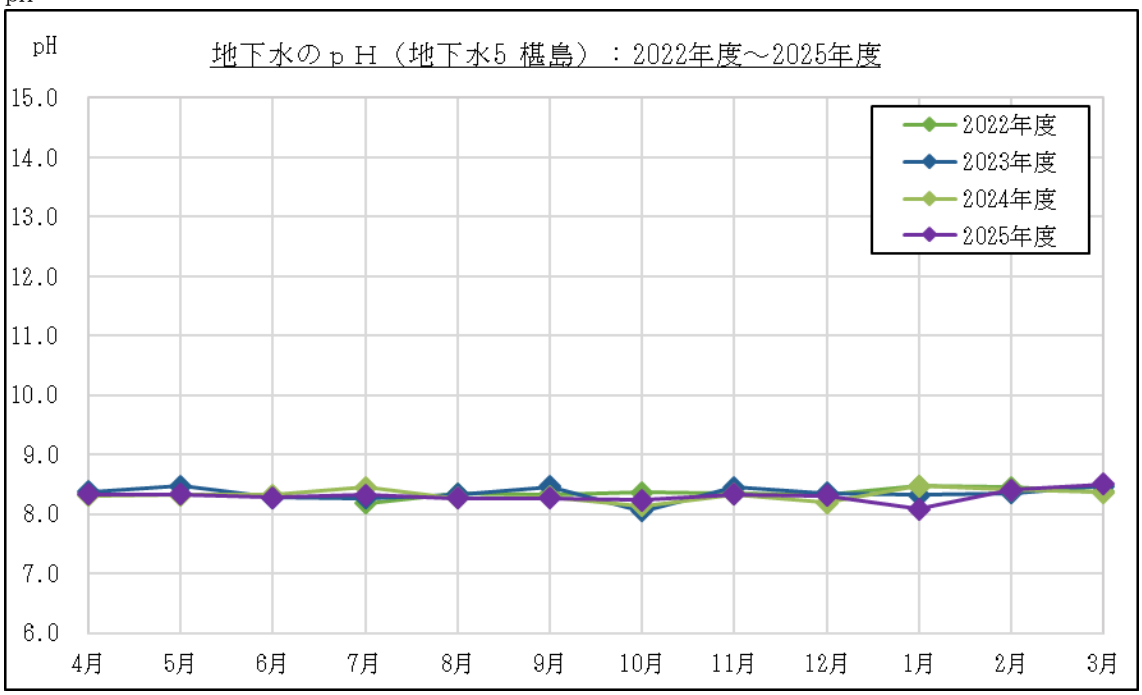


図 231　地下水の pH 計測結果（地下水 5 椹島）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

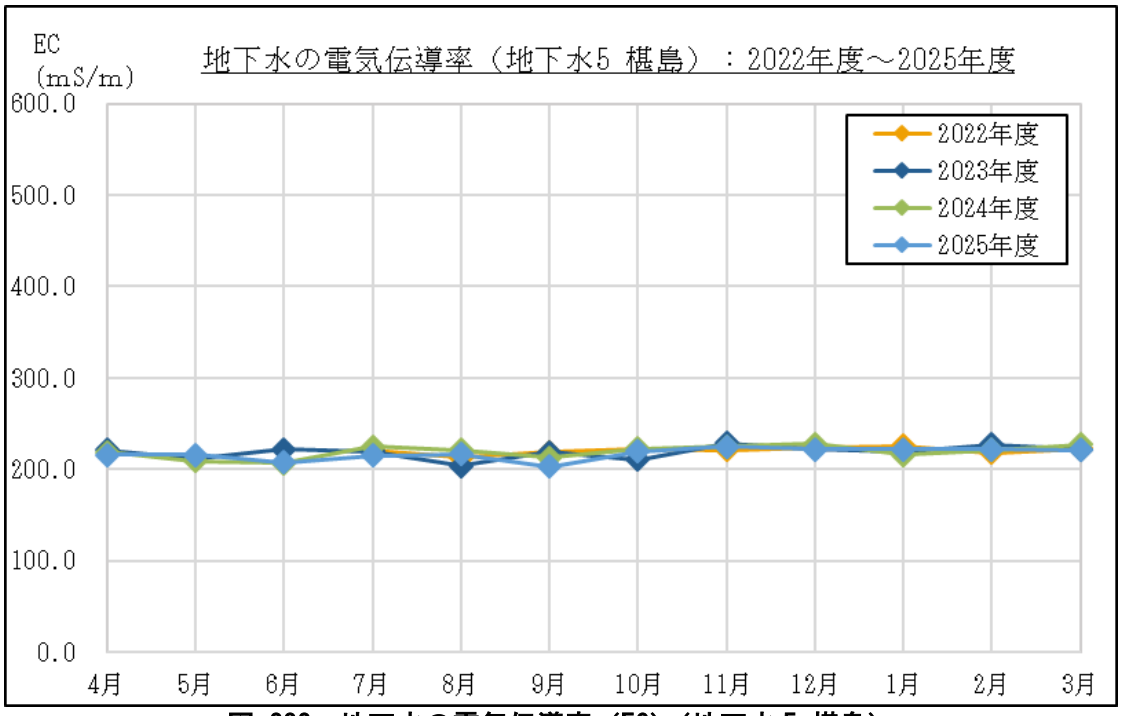


図 232　地下水の電気伝導率（EC）（地下水 5 椹島）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

透視度

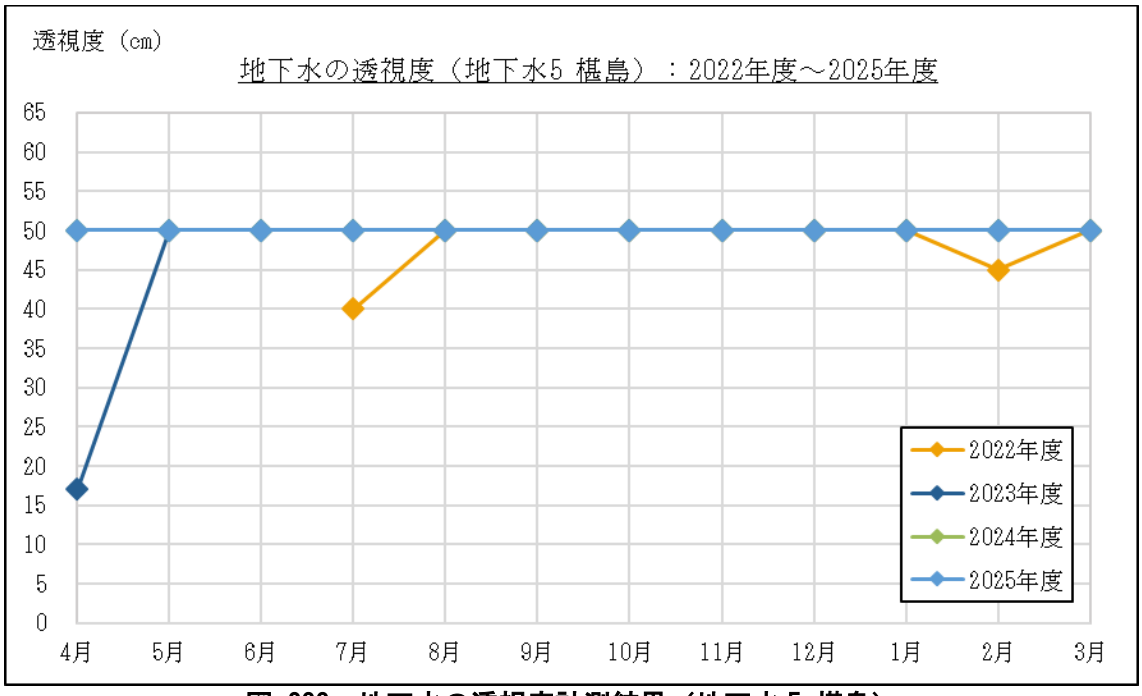


図 233　地下水の透視度計測結果（地下水 5 椹島）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

2.2.9 地下水 6　西山平

2.2.9.1 調査結果（2025 年度）

地下水 6 西山平の 2025 年度の調査結果を表 207 及び表 208 に示します。

表 207　調査結果（地下水 6 西山平）（2025 年度）

地点番号	調査地点	観測井	調査項目	2025 年度											
				4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
地下水 6	西山平	深層 (GL-200m)	水温（℃）	14.8	14.3	16.7	18.7	15.4	15.8	15.0	14.8	13.6	14.7	13.8	14.1
			pH	8.8	8.9	8.9	8.8	8.8	8.8	9.0	9.0	8.8	8.7	8.9	8.8
			電気伝導率 (EC)　(mS/m)	325.0	311.0	315.0	234.0	261.0	247.0	326.0	323.0	382.0	322.0	343.0	295.0
			透視度（cm）	>50	>50	>50	>50	37	27	>50	>50	>50	>50	>50	>50

注：透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示します。

表 208　調査結果（地下水 6 西山平）（2025 年度：自然由来の重金属等）

調査項目	地下水 6 西山平
	工事前
	2 月期
カドミウム（mg/L）	<0.0003
六価クロム（mg/L）	<0.01
総水銀（mg/L）	<0.0005
セレン（mg/L）	<0.002
鉛（mg/L）	<0.005
ヒ素（mg/L）	<0.005
ふっ素（mg/L）	6.1
ほう素（mg/L）	8.5

注：「<」は、未満を示します。

2.2.9.2 調査結果（過年度）

地下水 6 西山平の過年度の調査結果を表 209、表 210 及び図 234～図 237 に示します。

表 209　調査結果（地下水 6 西山平）

調査年度	地下水 6 西山平											
	水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）			透視度（cm）		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均※1	最高	最低
2020 年度	13.1	14.1	12.3	9.9	10.5	9.4	44.0	57.5	34.6	9.0	12.0	5.0
2021 年度	14.8	16.4	12.4	9.7	10.2	9.2	64.2	163.6	35.6	40.6	>50.0	24.0
2022 年度	14.8	16.3	13.4	9.3	9.8	8.8	188.3	382.0	56.1	48.8	>50.0	45.0
2023 年度	15.2	17.1	13.1	9.0	9.1	8.9	350.1	376.0	307.0	50.0	>50.0	>50.0
2024 年度	14.8	17.8	11.7	8.8	9.2	8.4	334.4	375.0	231.0	50.0	>50.0	>50.0
2025 年度	15.1	18.7	13.6	8.8	9.0	8.7	307.0	382.0	234.0	47.0	>50.0	27.0
2020 年度～2025 年度	14.6	18.7	11.7	9.3	10.5	8.4	214.7	382.0	34.6	40.9	>50.0	5.0

注１：「※1」について、50 以上の計測結果については、50 として取扱い算出しています。

注２：透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示します。

表 210　調査結果（地下水 6 西山平）（自然由来の重金属等）

調査年度	地下水 6 西山平							
	カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)	総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)
2024 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	3.9	6.6
2025 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	6.1	8.5
2024 年度～2025 年度	<0.0003	<0.01	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	5.0	7.6

注：「<」は、未満を示します。

水温

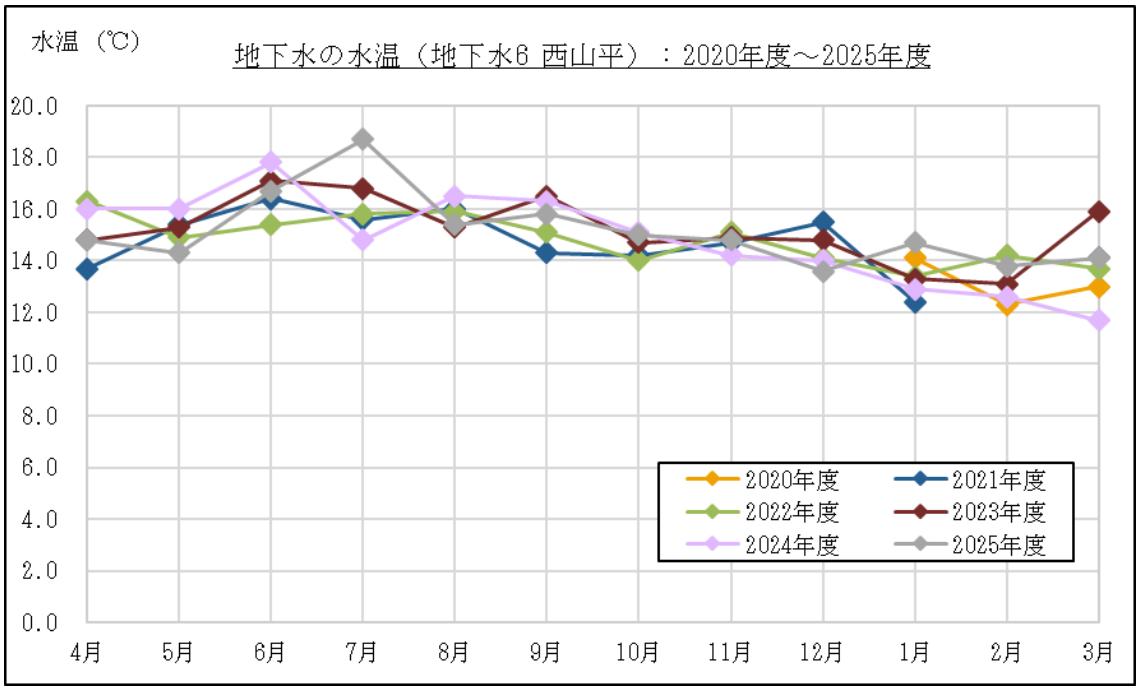


図 234　地下水の水温（地下水 6 西山平）

pH

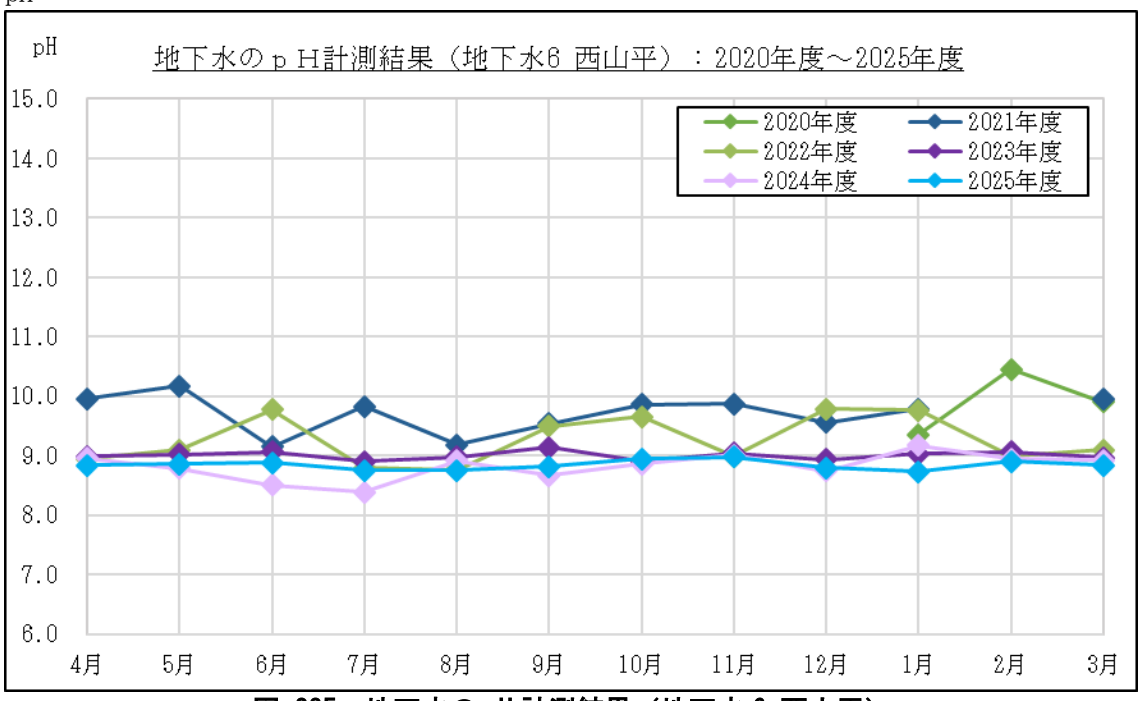


図 235　地下水の pH 計測結果（地下水 6 西山平）

電気伝導率（EC）

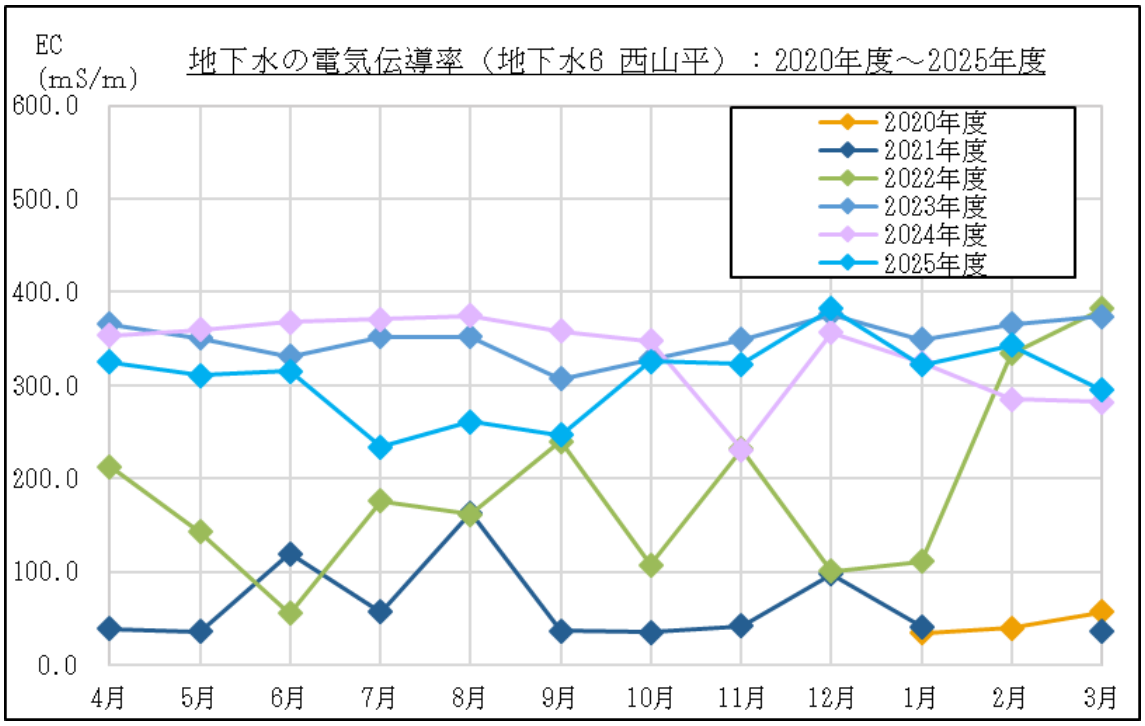


図 236　地下水の電気伝導率（EC）（地下水 6 西山平）

透視度

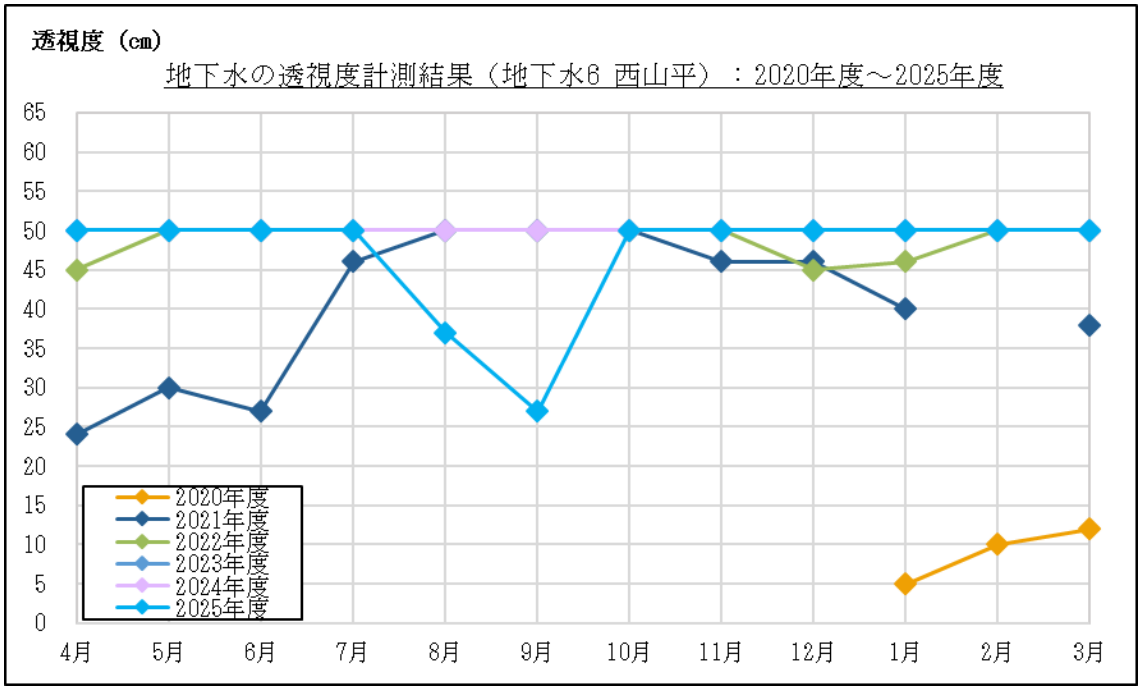


図 237　地下水の透視度計測結果（地下水 6 西山平）

2.2.10 地下水 9-1 藤島発生土置き場（上流）

2.2.10.1 調査結果（2025 年度）

地下水 9-1 藤島発生土置き場（上流）の 2025 年度の調査結果を表 211 に示します。

表 211　調査結果（地下水 9-1 藤島発生土置き場（上流））

地点番号	調査地点	観測井	調査項目	2025 年度			
				4 月	7 月	10 月	1 月
地下水 9-1	藤島発生土置き場	上流 (GL-25m)	水位（m（標高 EL)）	1026.8	1026.6	1026.5	1026.3
			水温（℃）	11.3	12.1	11.8	10.1
			pH	8.0	8.2	8.3	8.1
			電気伝導率（EC）（mS/m）	40.0	36.0	36.7	41.2
			カドミウム（mg/L）	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
			六価クロム（mg/L）	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			総水銀（mg/L）	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
			セレン（mg/L）	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
			鉛（mg/L）	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			ヒ素（mg/L）	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			ふっ素（mg/L）	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
			ほう素（mg/L）	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02

注：「<」は、未満を示します。

2.2.10.2 調査結果（過年度）

地下水 9-1 藤島発生土置き場（上流）の過年度の調査結果を表 212～表 214 及び図 238～図 241 に示します。

表 212　調査結果（地下水 9-1 藤島発生土置き場（上流））

調査年度	地下水 9-1 藤島発生土置き場（上流）											
	水位（m（標高 EL））			水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）(mS/m)		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低
2022 年度	1026.1	1026.1	1026.0	11.4	12.0	10.7	8.1	8.1	8.0	53.4	66.3	40.4
2023 年度	1026.6	1026.7	1026.3	12.2	14.0	9.9	8.0	8.4	7.5	38.9	43.0	36.1
2024 年度	1026.8	1027.1	1026.4	11.8	13.0	11.0	7.9	8.0	7.7	36.0	39.9	32.9
2025 年度	1026.5	1026.8	1026.3	11.3	12.1	10.1	8.1	8.3	8.0	38.5	41.2	36.0
2022 年度～2025 年度	1026.5	1026.7	1026.2	11.7	14.0	9.9	8.0	8.4	7.5	41.7	66.3	32.9

表 213　調査結果（地下水 9-1 藤島発生土置き場（上流））（自然由来の重金属等）

調査年度	地下水 9-1 藤島発生土置き場（上流）											
	カドミウム（mg/L）			六価クロム（mg/L）			総水銀（mg/L）			セレン（mg/L）		
	平均※1	最高	最低	平均※2	最高	最低	平均※3	最高	最低	平均※4	最高	最低
2022 年度	0.0003	<0.0003	<0.0003	0.01	<0.01	<0.01	0.0005	<0.0005	<0.0005	0.002	<0.002	<0.002
2023 年度	0.0003	<0.0003	<0.0003	0.01	<0.01	<0.01	0.0005	<0.0005	<0.0005	0.002	<0.002	<0.002
2024 年度	0.0003	<0.0003	<0.0003	0.01	<0.01	<0.01	0.0005	<0.0005	<0.0005	0.002	<0.002	<0.002
2025 年度	0.0003	<0.0003	<0.0003	0.01	<0.01	<0.01	0.0005	<0.0005	<0.0005	0.002	<0.002	<0.002
2022 年度～2025 年度	0.0003	<0.0003	<0.0003	0.01	<0.01	<0.01	0.0005	<0.0005	<0.0005	0.002	<0.002	<0.002

注 1：「※1」について、0.0003 未満の計測結果については、0.0003 として取扱い算出しています。
注 2：「※2」について、0.025 および 0.01 未満の計測結果については、それぞれ 0.025 および 0.01 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.0005 未満の計測結果については、0.0005 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.002 未満の計測結果については、0.002 として取扱い算出しています。
注 5：「<」は、未満を示します。

表 214　調査結果（地下水 9-1 藤島発生土置き場（上流））（自然由来の重金属等）

調査年度	地下水 9-1 藤島発生土置き場（上流）											
	鉛（mg/L）			ヒ素（mg/L）			ふっ素（mg/L）			ほう素（mg/L）		
	平均※1	最高	最低	平均※2	最高	最低	平均※3	最高	最低	平均※4	最高	最低
2022 年度	0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.1	<0.1	<0.1	0.025	0.03	0.02
2023 年度	0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.1	<0.1	<0.1	0.03	0.05	0.02
2024 年度	0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.1	<0.1	<0.1	0.03	0.05	0.02
2025 年度	0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.08	<0.08	<0.08	0.02	<0.02	<0.02
2022 年度～2025 年度	0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.095	<0.1	<0.08	0.026	0.05	<0.02

注 1：「※1」について、0.005 未満の計測結果については、0.005 として取り扱っています。
注 2：「※2」について、0.001 および 0.005 未満の計測結果については、それぞれ 0.001 および 0.005 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.08 および 0.1 未満の計測結果については、それぞれ 0.08 および 0.1 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.1 および 0.02 未満の計測結果については、それぞれ 0.1 および 0.02 として取扱い算出しています。

水位

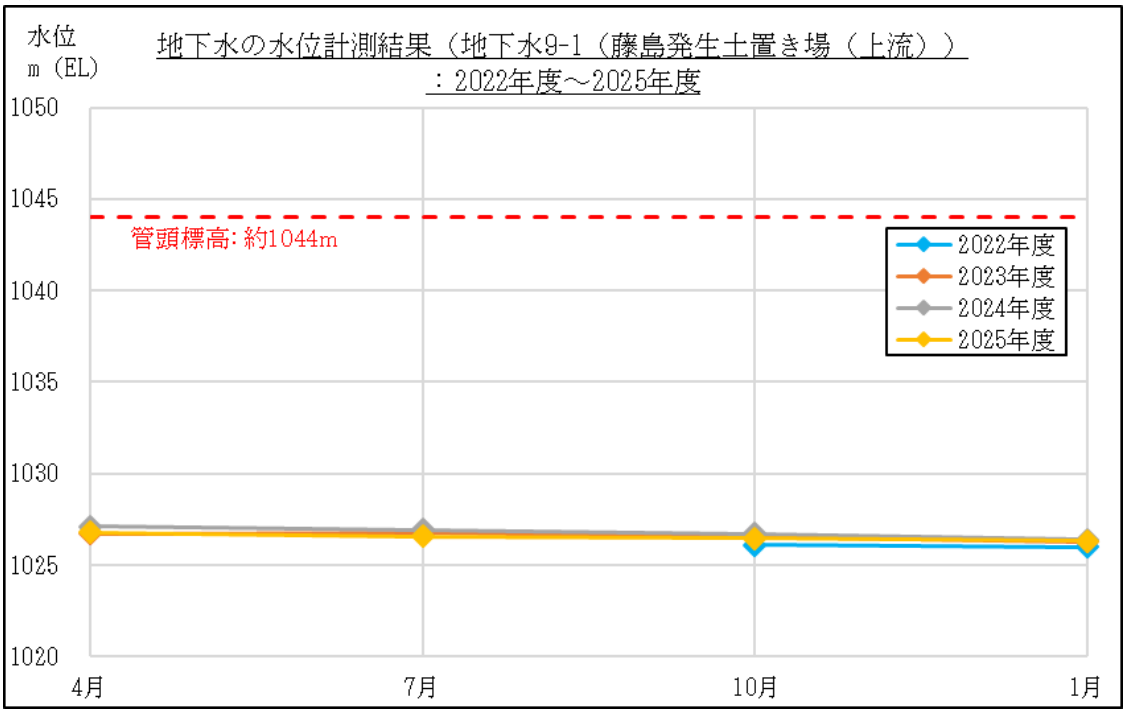


図 238　地下水位（地下水 9-1 藤島発生土置き場（上流））

水温

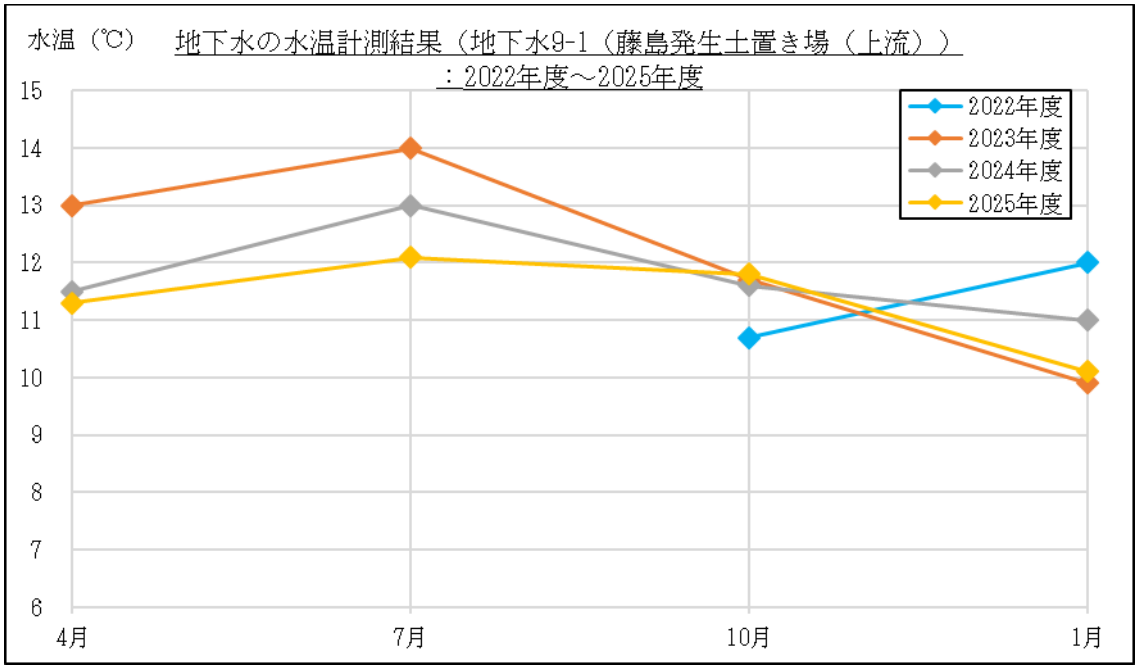


図 239　地下水の水温（地下水 9-1 藤島発生土置き場（上流））

pH

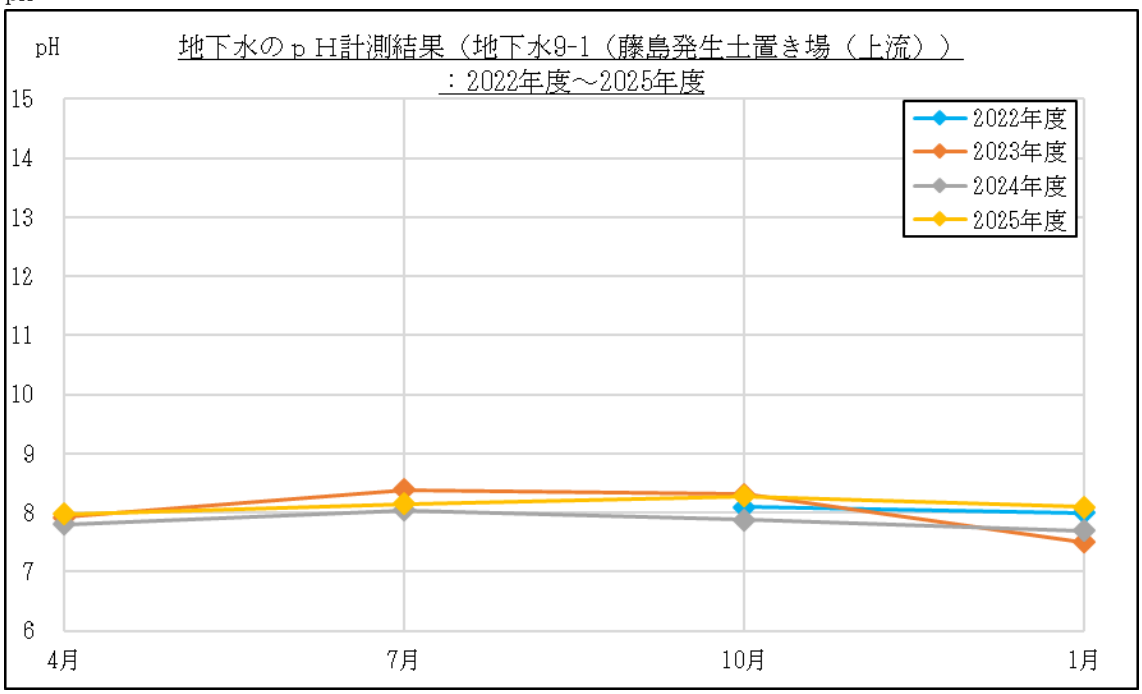


図 240　地下水の pH 計測結果（地下水 9-1 藤島発生土置き場（上流））

電気伝導率（EC）

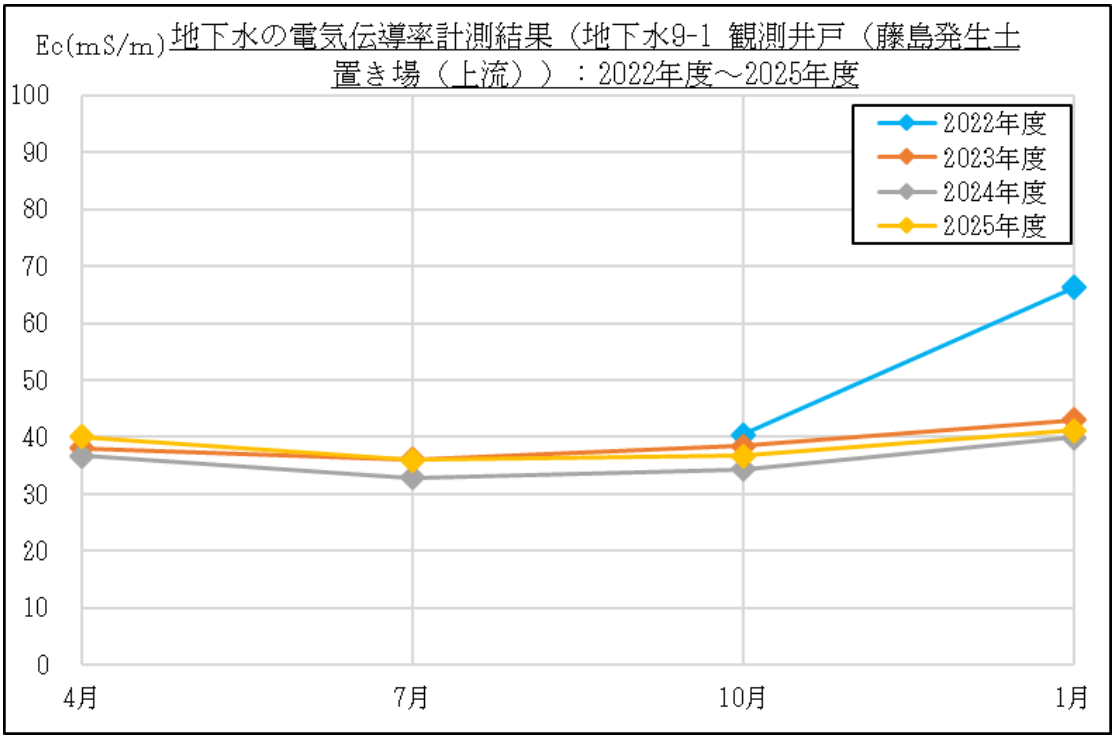


図 241　地下水の電気伝導率（EC）（地下水 9-1 藤島発生土置き場（上流））

2.2.11 地下水 9-2 藤島発生土置き場（下流）

2.2.11.1 調査結果（2025 年度）

地下水 9-2 藤島発生土置き場（下流）の 2025 年度の調査結果を表 215 に示します。

表 215　調査結果（地下水 9-2 藤島発生土置き場（下流））（2025 年度）

地点番号	調査地点	観測井	調査項目	2025 年度			
				4 月	7 月	10 月	1 月
地下水 9-2	藤島発生土置き場	下流 (GL-26m)	水位（m（標高 EL)）	1024.1	1023.8	1023.6	1023.4
			水温（℃）	7.8	12.8	14.2	4.7
			pH	8.0	7.6	7.8	7.9
			電気伝導率（EC）(mS/m)	13.9	12.6	13.5	15.0
			カドミウム（mg/L）	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
			六価クロム（mg/L）	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			総水銀（mg/L）	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
			セレン（mg/L）	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
			鉛（mg/L）	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			ヒ素（mg/L）	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			ふっ素（mg/L）	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
			ほう素（mg/L）	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02

注：「<」は、未満を示します。

2.2.11.2 調査結果（過年度）

地下水 9-2 藤島発生土置き場（下流）の過年度の調査結果を表 216～表 218 及び図 242～図 245 に示します。

表 216　調査結果（地下水 9-2 藤島発生土置き場（下流））

調査年度	地下水 9-2 藤島発生土置き場（下流）											
	水位（m（標高 EL)）			水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）（mS/m）		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低
2022 年度	1023.3	1023.4	1023.2	8.4	9.9	6.9	8.0	8.0	7.9	17.0	17.9	16.0
2023 年度	1023.9	1024.3	1023.6	11.2	15.4	5.9	7.8	7.9	7.7	15.8	17.5	14.4
2024 年度	1023.9	1024.4	1023.5	11.1	15.5	7.4	7.7	7.9	7.4	13.8	14.5	12.6
2025 年度	1023.7	1024.1	1023.4	9.9	14.2	4.7	7.8	8.0	7.6	13.8	15.0	12.6
2022 年度～2025 年度	1023.8	1024.0	1023.4	10.1	15.5	4.7	7.8	8.0	7.4	15.1	17.9	12.6

表 217　調査結果（地下水 9-2 藤島発生土置き場（下流））（自然由来の重金属等）

調査年度	地下水 9-2 藤島発生土置き場（下流）											
	カドミウム（mg/L）			六価クロム（mg/L）			総水銀（mg/L）			セレン（mg/L）		
	平均※1	最高	最低	平均※2	最高	最低	平均※3	最高	最低	平均※4	最高	最低
2022 年度	0.0003	<0.0003	<0.0003	0.01	<0.01	<0.01	0.0005	<0.0005	<0.0005	0.002	<0.002	<0.002
2023 年度	0.0003	<0.0003	<0.0003	0.01	<0.01	<0.01	0.0005	<0.0005	<0.0005	0.002	<0.002	<0.002
2024 年度	0.0003	<0.0003	<0.0003	0.01	<0.01	<0.01	0.0005	<0.0005	<0.0005	0.002	<0.002	<0.002
2025 年度	0.0003	<0.0003	<0.0003	0.01	<0.01	<0.01	0.0005	<0.0005	<0.0005	0.002	<0.002	<0.002
2022 年度～2025 年度	0.0003	<0.0003	<0.0003	0.01	<0.01	<0.01	0.0005	<0.0005	<0.0005	0.002	<0.002	<0.002

注 1：「※1」について、0.0003 未満の計測結果については、0.0003 として取扱い算出しています。
注 2：「※2」について、0.01 未満の計測結果については、0.01 として取扱い算出しています。
注 3：「※3」について、0.0005 未満の計測結果については、0.0005 として取扱い算出しています。
注 4：「※4」について、0.002 未満の計測結果については、0.002 として取扱い算出しています。
注 5：「<」は、未満を示します。

表 218　調査結果（地下水 9-2 藤島発生土置き場（下流））（自然由来の重金属等）

調査年度	地下水 9-2 藤島発生土置き場（下流）											
	鉛（mg/L）			ヒ素（mg/L）			ふっ素（mg/L）			ほう素（mg/L）		
	平均※1	最高	最低	平均※2	最高	最低	平均※3	最高	最低	平均※4	最高	最低
2022 年度	0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.1	<0.1	<0.1	0.035	0.05	<0.02
2023 年度	0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.1	<0.1	<0.1	0.03	0.05	<0.02
2024 年度	0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.1	<0.1	<0.1	0.03	0.05	<0.02
2025 年度	0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.08	<0.08	<0.08	0.02	<0.02	<0.02
2022 年度～2025 年度	0.005	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	0.095	<0.1	<0.08	0.029	0.05	<0.02

注 1：「※1」について、0.005 未満の計測結果については、0.005 として取り扱っています。
注 2：「※2」について、0.005 未満の計測結果については、0.005 として取り扱っています。
注 3：「※3」について、0.08 および 0.1 未満の計測結果については、それぞれ 0.08 および 0.1 として取り扱っています。
注 4：「※4」について、0.02 未満の計測結果については、0.02 として取り扱っています。
注 5：「<」は、未満を示します。

水位

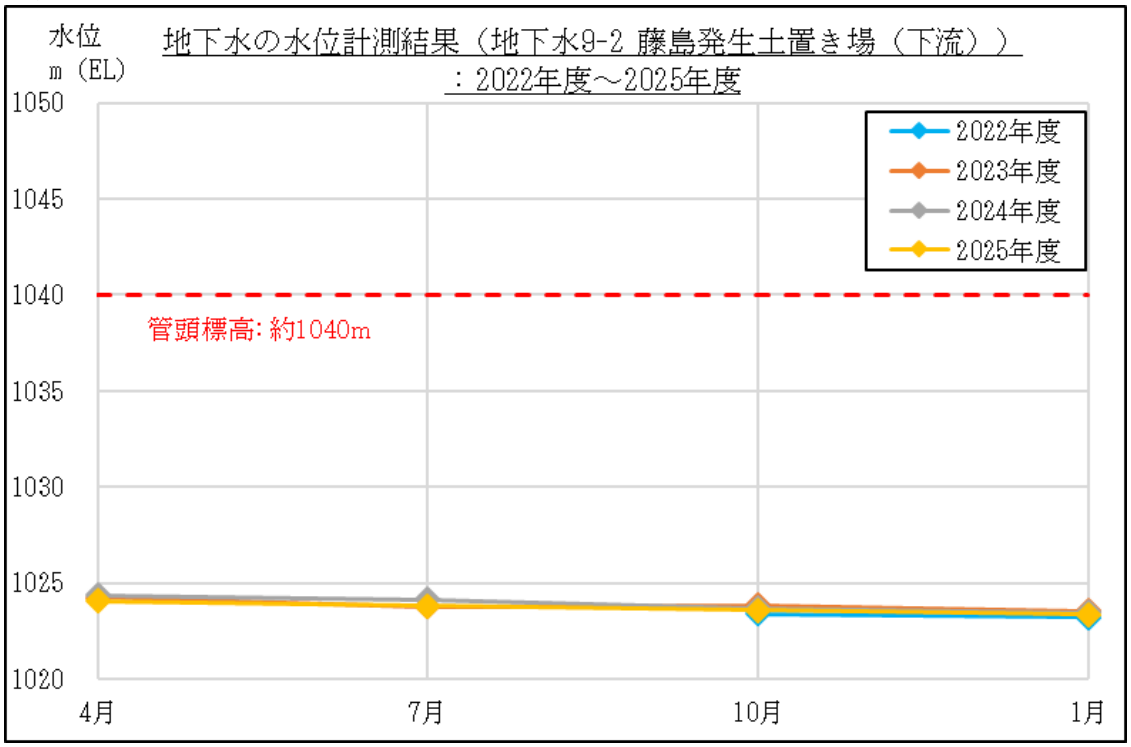


図 242　地下水位（地下水 9-2 藤島発生土置き場（下流））

水温

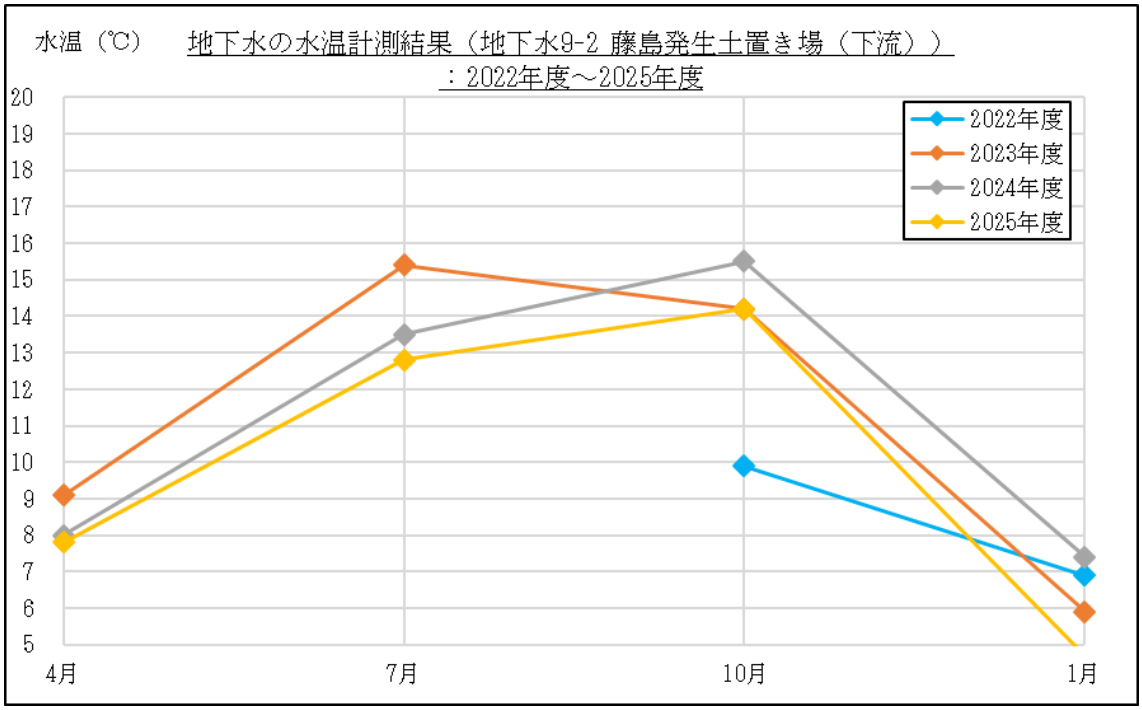


図 243　地下水の水温（地下水 9-2 藤島発生土置き場（下流））

pH

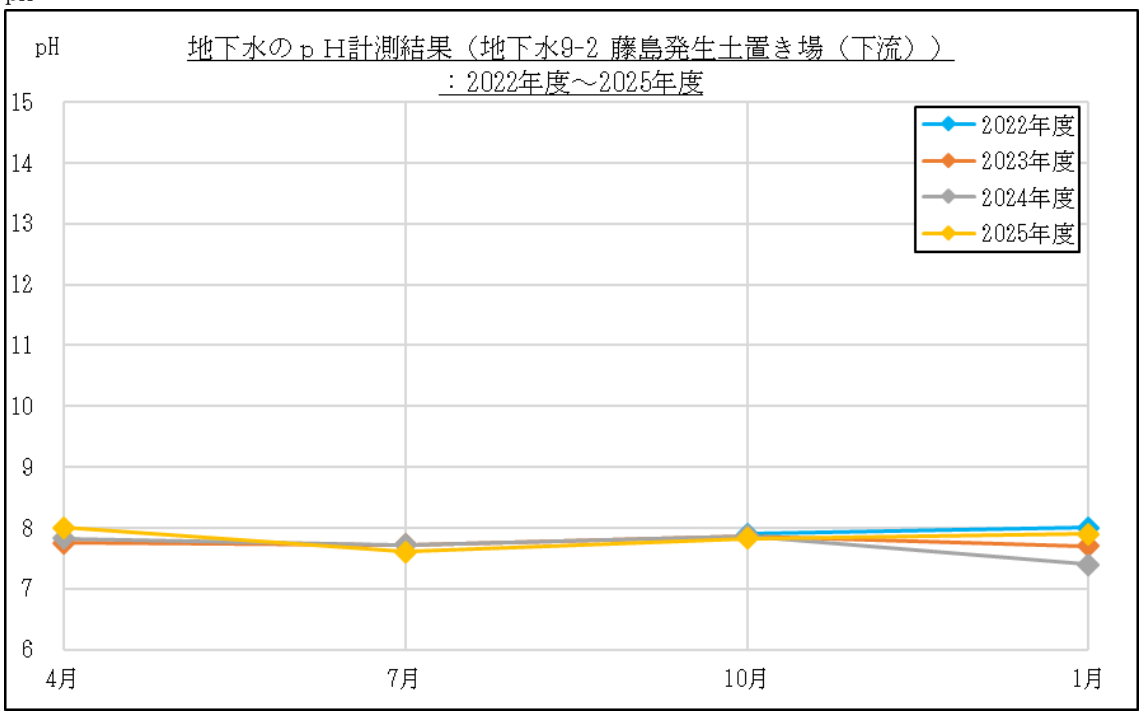


図 244　地下水の pH 計測結果（地下水 9-2 藤島発生土置き場（下流））

電気伝導率（EC）

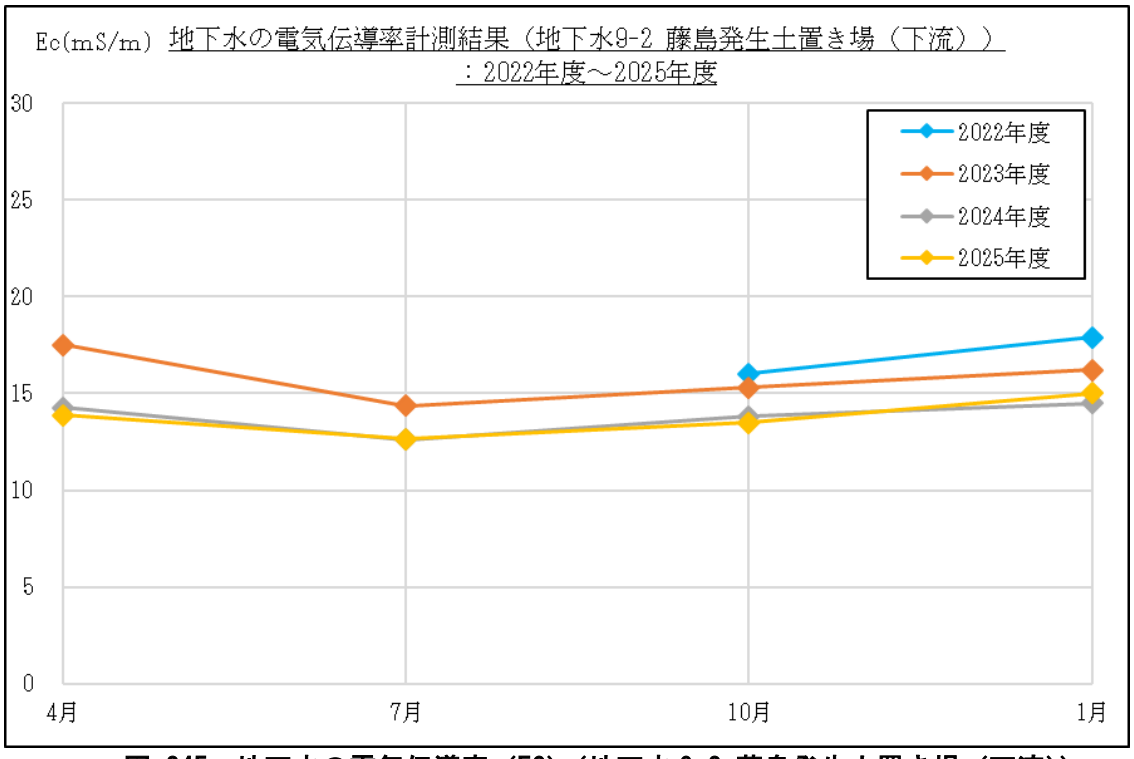


図 245　地下水の電気伝導率（EC）（地下水 9-2 藤島発生土置き場（下流））

2.2.12 地下水 10 二軒小屋ロッヂ

2.2.12.1 調査結果（2025 年度）

地下水 10 二軒小屋ロッヂの 2025 年度の調査結果を表 219 及び表 220 に示します。

表 219　調査結果（地下水 10 二軒小屋ロッヂ）（2025 年度）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
地下水 10	二軒小屋ロッヂ (GL-約 25.5m)	水位（m（EL））	1358.8	1359.02	1359.13	1359.74	1358.37	1358.71	1358.73	1358.7	1358.74	1358.7	1358.63	1358.67
		水温（℃）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		pH	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		電気伝導率（EC）（mS/m）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		透視度（cm）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

注：2021 年度以降、井戸の所有者により水を汲み上げる装置が取り外されているため水質の項目の調査は実施していません。今後、水を汲み上げることが可能になり井戸の利用がされ次第、調査を再開することを考えています。

表 220　調査結果（地下水 10 二軒小屋ロッヂ）（2025 年度：自然由来の重金属等）

調査項目	地下水 10 二軒小屋ロッヂ
	工事前
	2 月期
カドミウム（mg/L）	－
六価クロム（mg/L）	－
総水銀（mg/L）	－
セレン（mg/L）	－
鉛（mg/L）	－
ヒ素（mg/L）	－
ふっ素（mg/L）	－
ほう素（mg/L）	－

注：2021 年度以降、井戸の所有者により水を汲み上げる装置が取り外されているため水質の項目の調査は実施していません。今後、水を汲み上げることが可能になり井戸の利用がされ次第、調査を再開することを考えています。

2.2.12.2 調査結果（過年度）

地下水 10 二軒小屋ロッヂの過年度の調査結果を表 221～表 222 及び図 246～図 250 に示します。

表 221　調査結果（地下水 10 二軒小屋ロッヂ）

調査年度	地下水 10 二軒小屋ロッヂ														
	水位(m（EL）)			水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）（mS/m）			透視度（cm）		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均※1	最高	最低
2014 年度	1359.9	1360.4	1359.3	12.1	17.6	8.8	7.7	7.9	7.3	12.2	14.0	11.2	50.0	>50.0	>50.0
2015 年度	1359.9	1361.0	1358.9	10.2	13.0	7.6	7.3	7.6	6.5	11.9	13.0	9.7	49.0	>50.0	42.0
2016 年度	1359.8	1361.1	1359.0	10.1	12.0	7.4	7.3	7.9	6.5	13.6	15.2	11.5	50.0	>50.0	>50.0
2017 年度	1359.5	1360.5	1358.9	8.5	11.5	5.5	7.7	8.0	7.3	12.7	14.3	10.4	50.0	>50.0	>50.0
2018 年度	1359.7	1361.4	1358.8	9.9	11.1	7.6	7.9	8.1	7.6	12.7	14.6	11.7	38.6	>50.0	3.5
2019 年度	1359.5	1360.3	1358.9	9.4	11.6	6.6	7.7	8.0	7.5	13.3	14.2	11.3	38.3	>50.0	19.0
2020 年度	1358.4	1359.9	1357.9	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※
2021 年度	1358.4	1359.2	1357.8	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※
2022 年度	1358.4	1359.1	1357.8	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※
2023 年度	1358.6	1359.4	1358.1	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※
2024 年度	1358.7	1359.8	1357.9	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※
2025 年度	1358.8	1359.7	1358.4	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※	-※
2014 年度～2025 年度	1359.1	1361.4	1357.8	10.0	17.6	5.5	7.6	8.1	6.5	12.7	15.2	9.7	46.0	>50.0	3.5

注１：「※1」について、50 以上の計測結果については、50 として取扱い算出しています。

注２：透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示します。

注３：2021 年度以降、井戸の所有者により水を汲み上げる装置が取り外されているため水質の項目の調査は実施していません。今後、水を汲み上げることが可能になり井戸の利用がされ次第、調査を再開することを考えています。

表 222　調査結果（地下水 10 二軒小屋ロッヂ）（自然由来の重金属等・酸性化可能性）

調査年度	地下水 10 二軒小屋ロッヂ								
	自然由来の重金属等								酸性化可能性
	カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)	総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)	pH
2015 年度	<0.0003	<0.005	<0.0005	<0.001	<0.005	<0.001	0.09	<0.01	7.4

注：「<」は、未満を示します。

水位

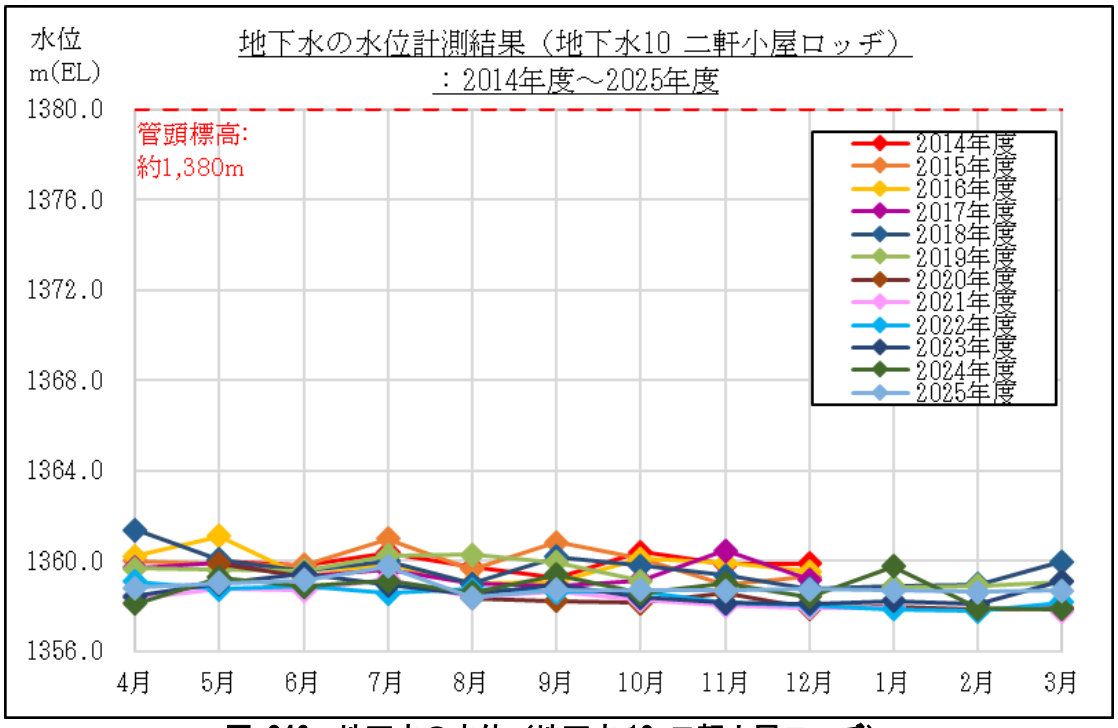


図 246　地下水の水位（地下水 10 二軒小屋ロッヂ）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

水温

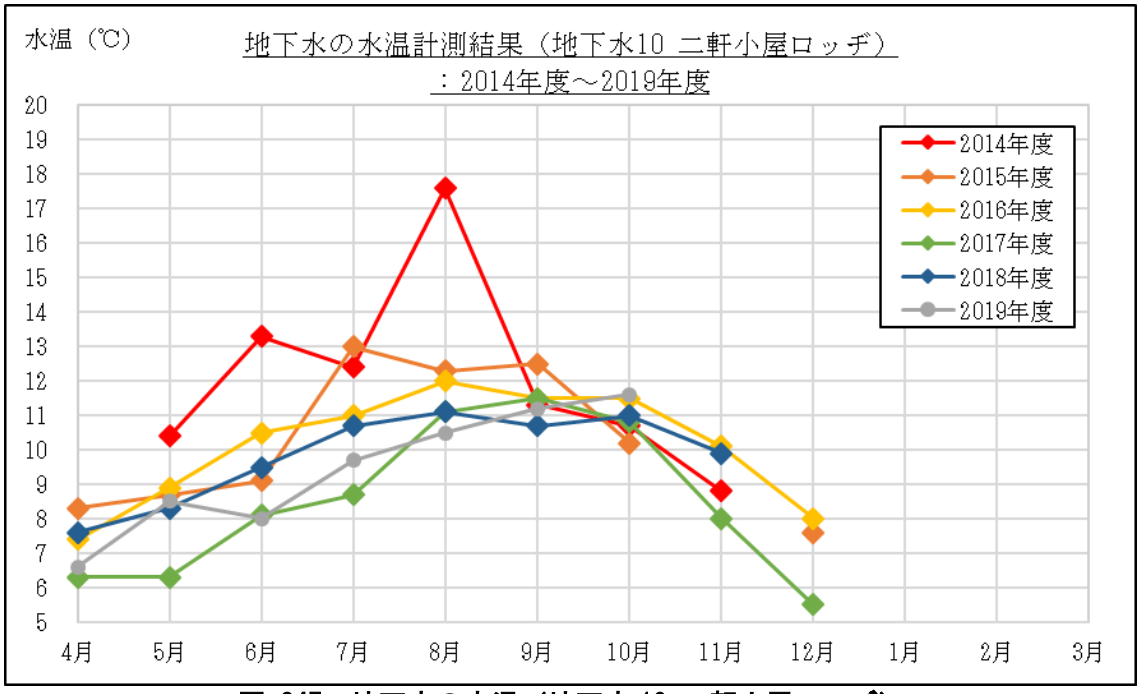


図 247　地下水の水温（地下水 10 二軒小屋ロッヂ）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

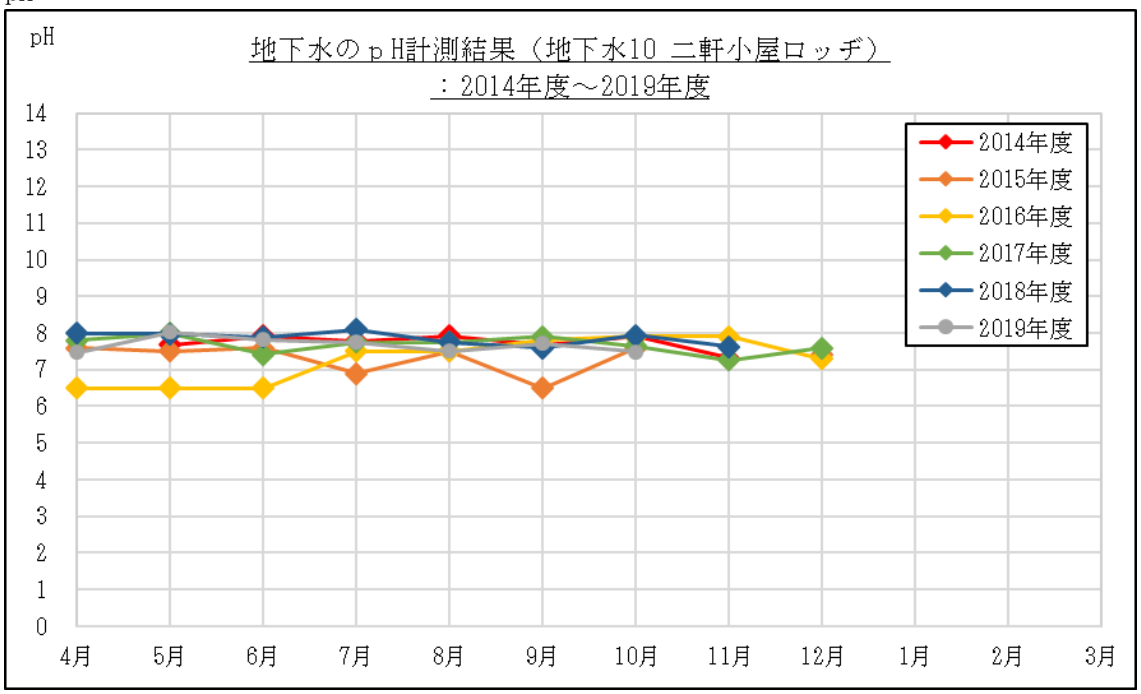


図 248　地下水の pH 計測結果（地下水 10 二軒小屋ロッヂ）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

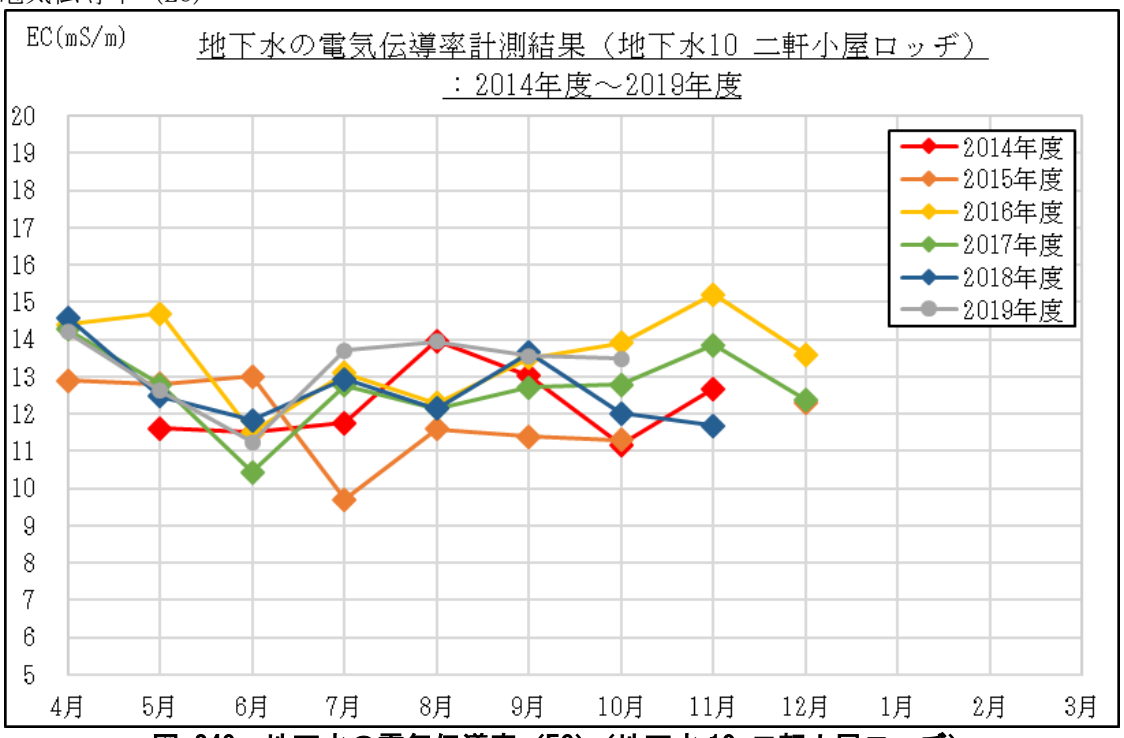


図 249　地下水の電気伝導率（EC）（地下水 10 二軒小屋ロッヂ）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

透視度

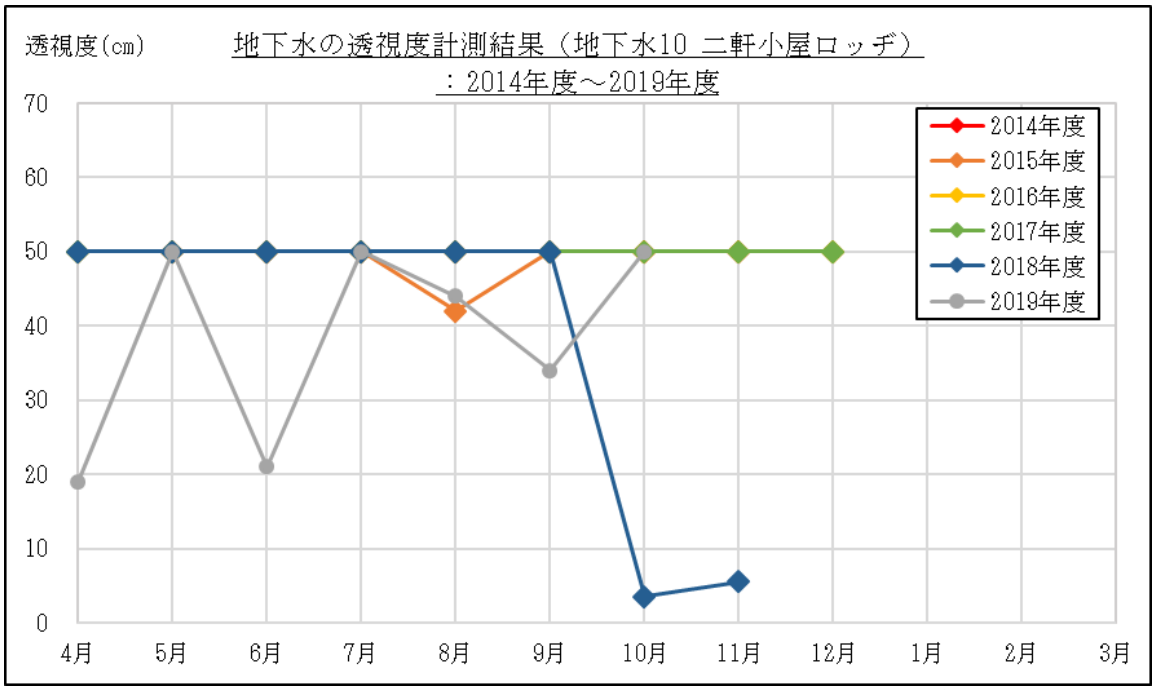


図 250　地下水の透視度計測結果（地下水 10 二軒小屋ロッヂ）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

2.2.13 地下水 11 椹島ロッヂ

2.2.13.1 調査結果（過年度）

地下水 11 椹島ロッヂの過年度の調査結果を表 223、表 224 及び図 251～図 255 に示します。2018 年 9 月の台風に伴い井戸が流出したため、2019 年 7 月以降は当社が椹島宿舎における生活用水を確保するために設置した地下水 11’椹島ロッヂにおいて計測を行っています。

表 223　調査結果（地下水 11 椹島ロッヂ）

調査年度	地下水 11 椹島ロッヂ（GL-約 5～8m）														
	水位(m（EL）)			水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）（mS/m）			透視度（cm）		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均※1	最高	最低
2014 年度	1111.8	1112.1	1111.5	10.2	13.0	5.9	7.6	7.8	7.1	13.1	15.2	9.7	50.0	>50.0	>50.0
2015 年度	1111.6	1112.0	1111.3	10.3	12.8	7.5	7.5	7.9	6.8	12.2	14.8	9.8	50.0	>50.0	>50.0
2016 年度	1111.7	1112.6	1111.3	11.6	14.5	8.4	7.5	7.9	6.7	12.9	15.9	9.8	50.0	>50.0	>50.0
2017 年度	1111.6	1112.5	1111.2	10.4	13.7	6.2	7.6	8.0	7.4	13.5	15.2	11.5	46.0	>50.0	28.5
2018 年度	1112.1	1112.5	1111.4	12.2	15.0	10.8	7.9	8.1	7.7	12.7	15.0	10.8	50.0	>50.0	>50.0
2014 年度～2018 年度	1111.7	1112.6	1111.2	10.9	15.0	5.9	7.6	8.1	6.7	12.9	15.9	9.7	49.2	>50.0	28.5

注１：「※1」について、50 以上の計測結果については、50 として取扱い算出しています。
注２：透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示します。

表 224　調査結果（地下水 11 椹島ロッヂ）（自然由来の重金属等・酸性化可能性）

調査年度	地下水 11 椹島ロッヂ								
	自然由来の重金属等								酸性化可能性
	カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)	総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)	pH
2014 年度	<0.0003	<0.025	<0.0005	<0.002	<0.005	<0.001	<0.08	<0.1	7.9

注：「<」は、未満を示します。

水位

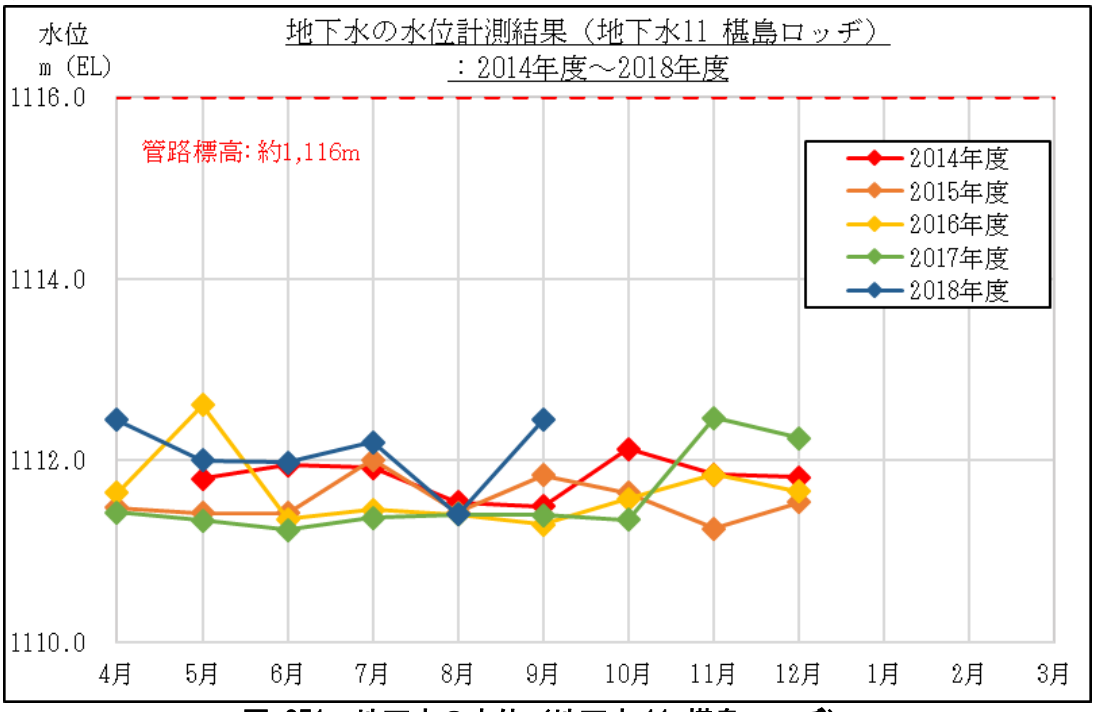


図 251　地下水の水位（地下水 11 椹島ロッヂ）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

水温

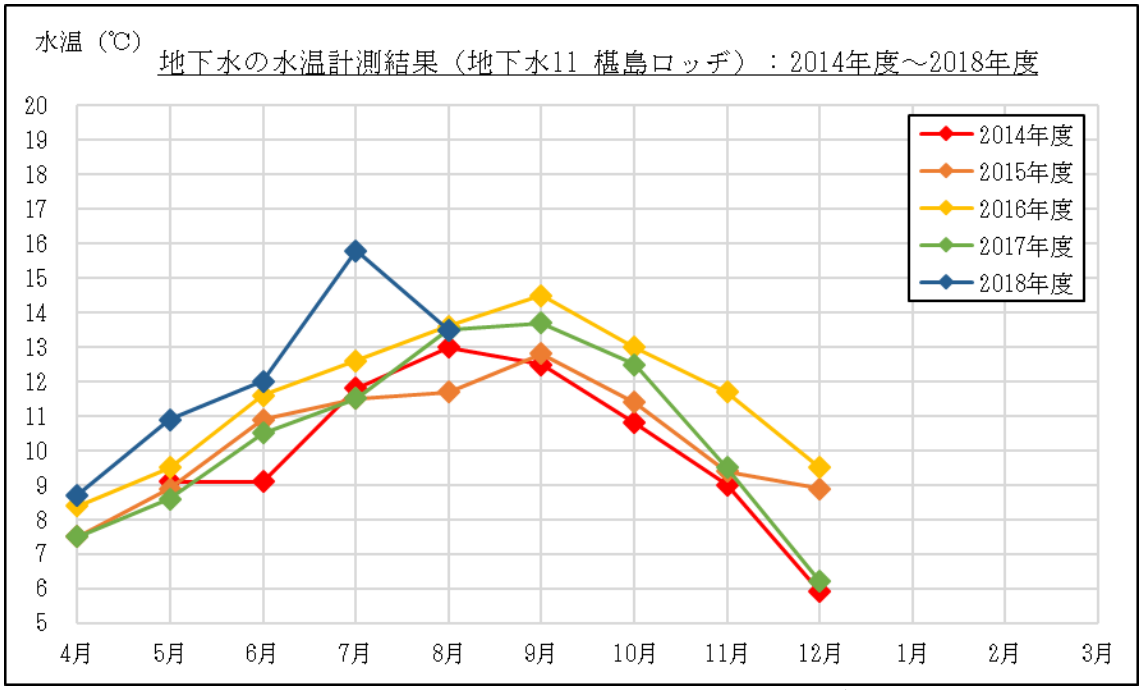


図 252　地下水の水温（地下水 11 椹島ロッヂ）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

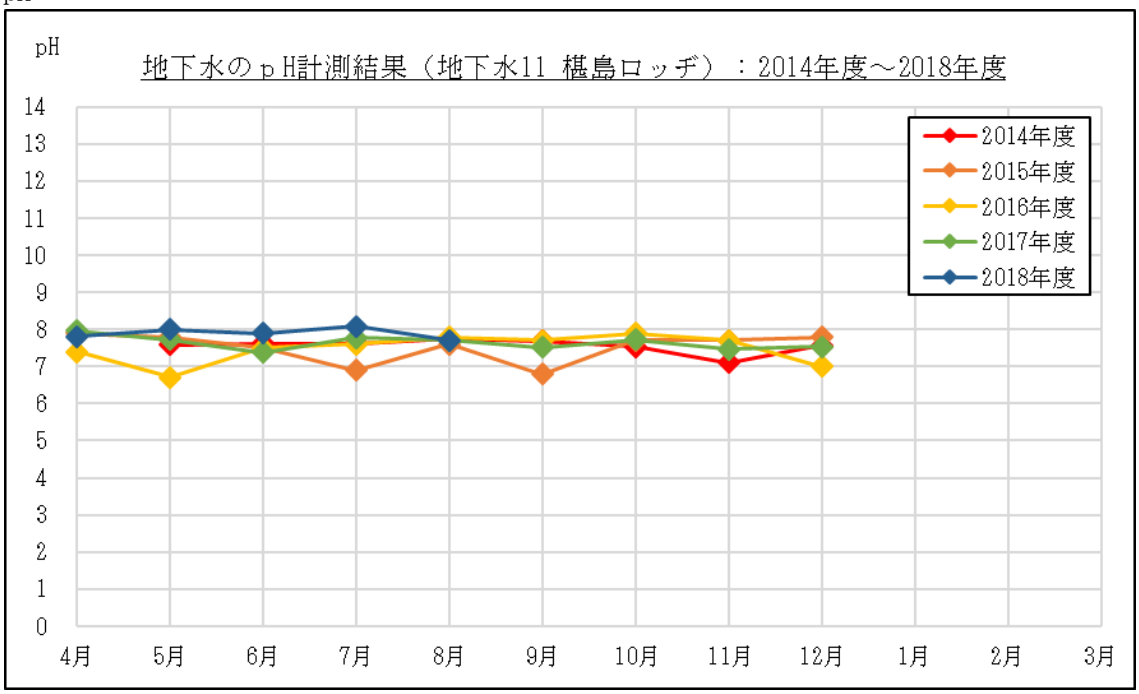


図 253　地下水の pH 計測結果（地下水 11 椹島ロッヂ）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

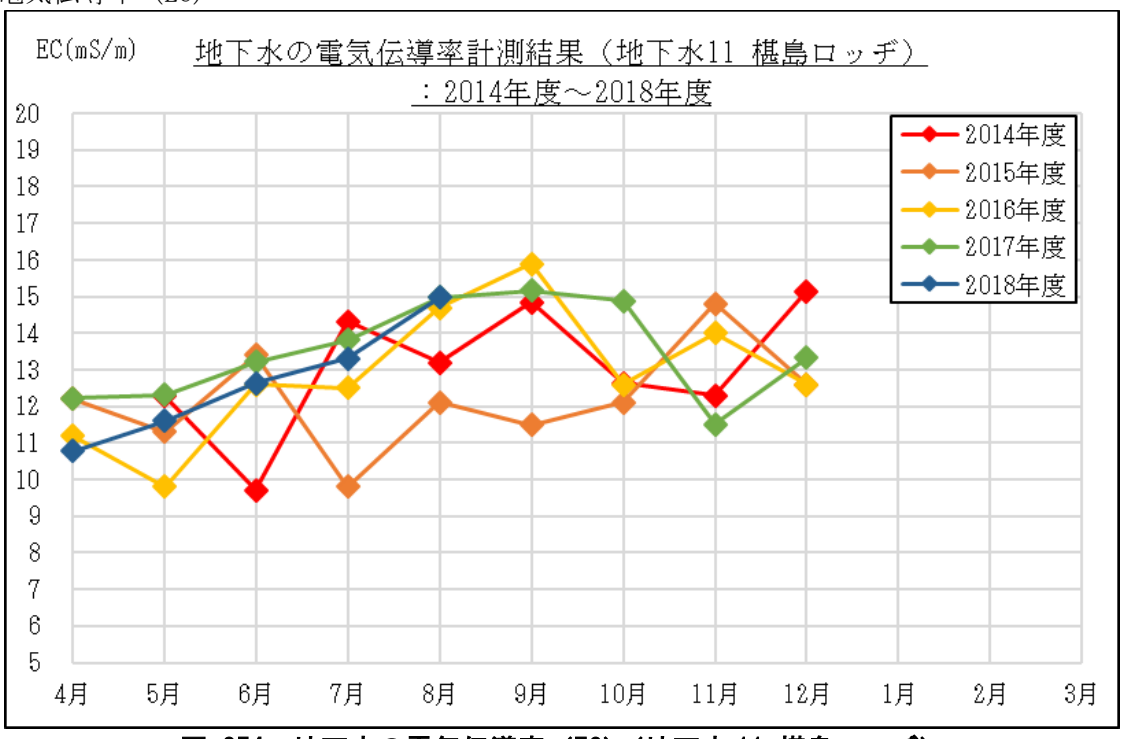


図 254　地下水の電気伝導率（EC）（地下水 11 椹島ロッヂ）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

透視度

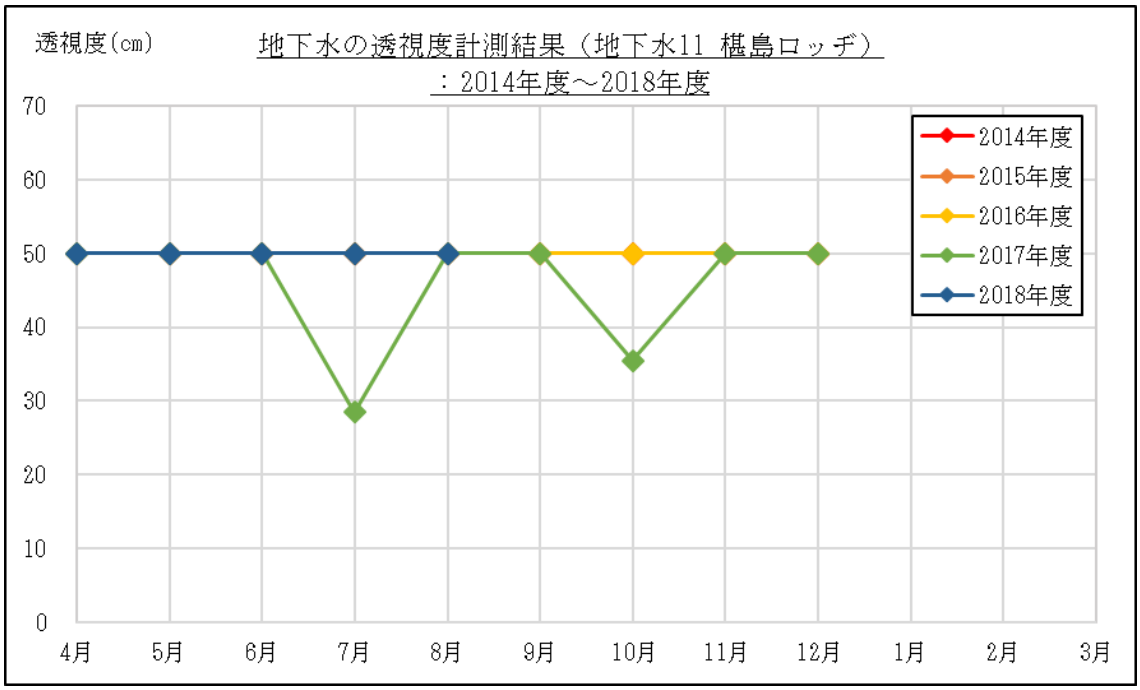


図 255　地下水の透視度計測結果（地下水 11 椹島ロッヂ）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

2.2.14 地下水 11’ 椹島ロッヂ

2.2.14.1 調査結果（過年度）

地下水 11’ 椹島ロッヂの過年度の調査結果を表 225 及び図 256～図 260 に示します。2021 年 7 月以降は椹島宿舎を使用しておらず、この井戸も利用していないことから欠測しています。今後、井戸の利用がされ次第、調査を再開することを考えています。

表 225 調査結果（地下水 11’ 椹島ロッヂ）

調査年度	地下水 11 ‘椹島ロッヂ（GL-約 20m）														
	水位(m（EL）)			水温（℃）			pH			電気伝導率（EC）（mS/m）			透視度（cm）		
	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均※1	最高	最低
2019 年度	1112.6	1113.2	1111.7	10.8	14.3	7.9	7.8	8.5	7.4	26.4	66.3	9.7	48.6	>50.0	44.0
2020 年度	1112.9	1113.1	1112.7	10.5	13.1	8.0	7.7	8.5	7.2	25.0	64.0	12.9	50.0	>50.0	>50.0
2021 年度	1112.8	1112.8	1112.7	10.4	10.8	10.0	7.6	7.7	7.5	19.3	22.1	16.4	50.0	>50.0	>50.0
2019 年度～2021 年度	1112.7	1113.2	1111.7	10.6	14.3	7.9	7.7	8.5	7.2	23.6	66.3	9.7	49.5	>50.0	44.0

注１：「※1」について、50 以上の計測結果については、50 として取扱い算出しています。

注２：透視度の「>50」は、測定機器の計測限界値である 50cm を超過したことを示します。

水位

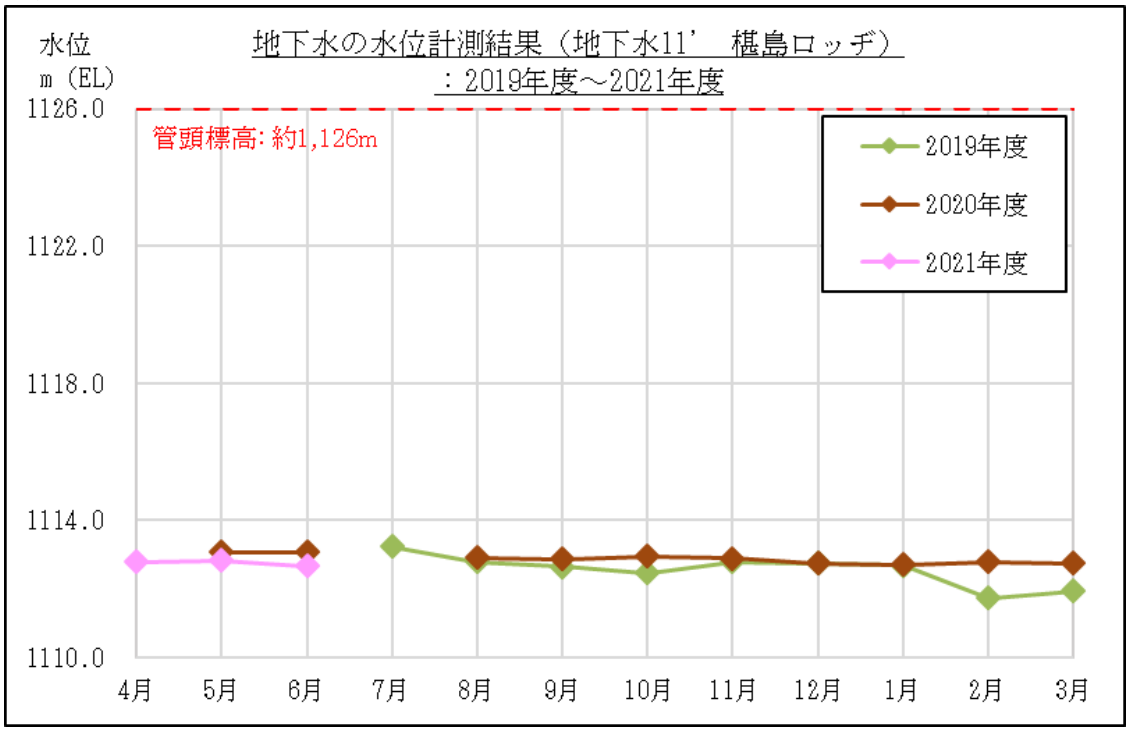


図 256　地下水の水位（地下水 11’　椹島ロッヂ）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

水温

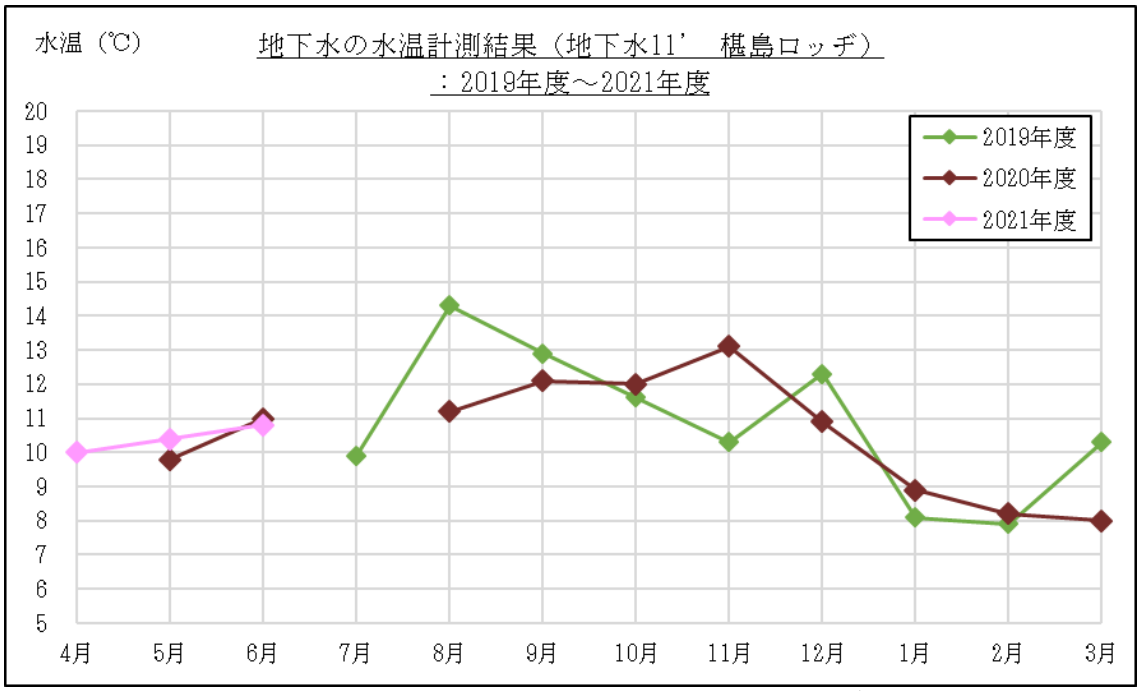


図 257　地下水の水温（地下水 11’　椹島ロッヂ）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

pH

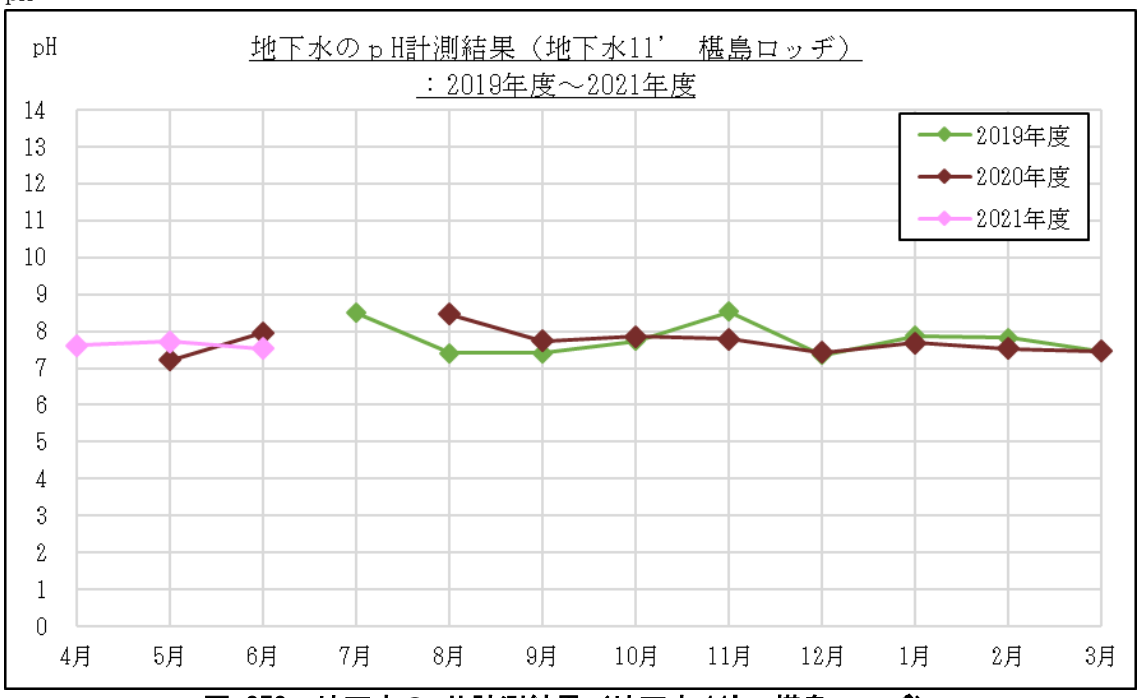


図 258　地下水の pH 計測結果（地下水 11’　椹島ロッヂ）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

電気伝導率（EC）

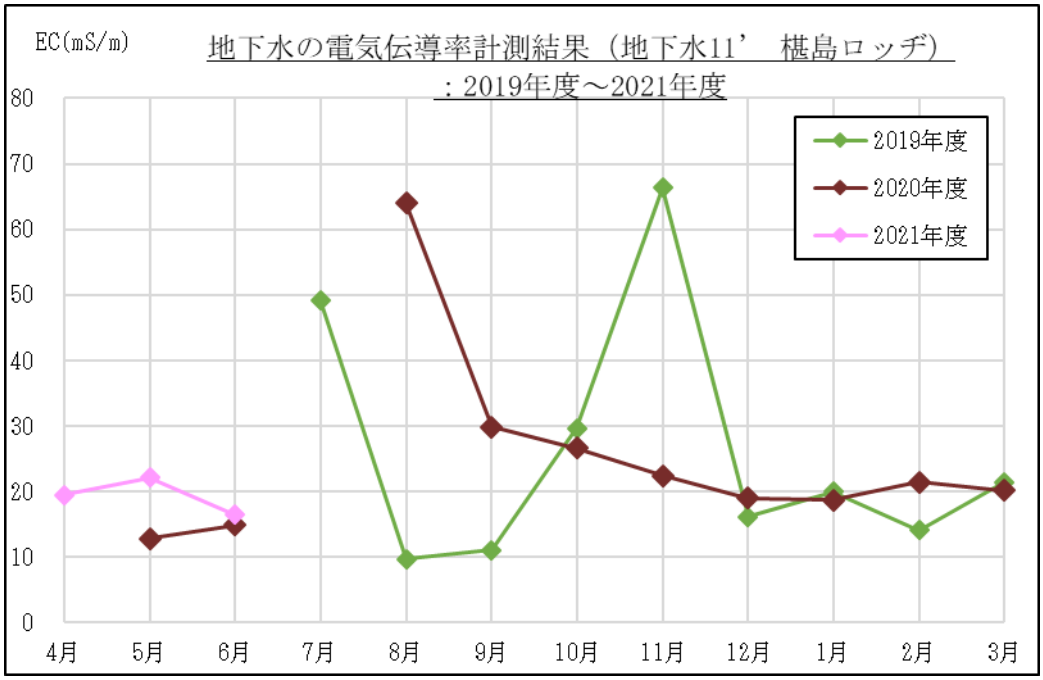


図 259　地下水の電気伝導率（EC）（地下水 11’　椹島ロッヂ）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

透視度

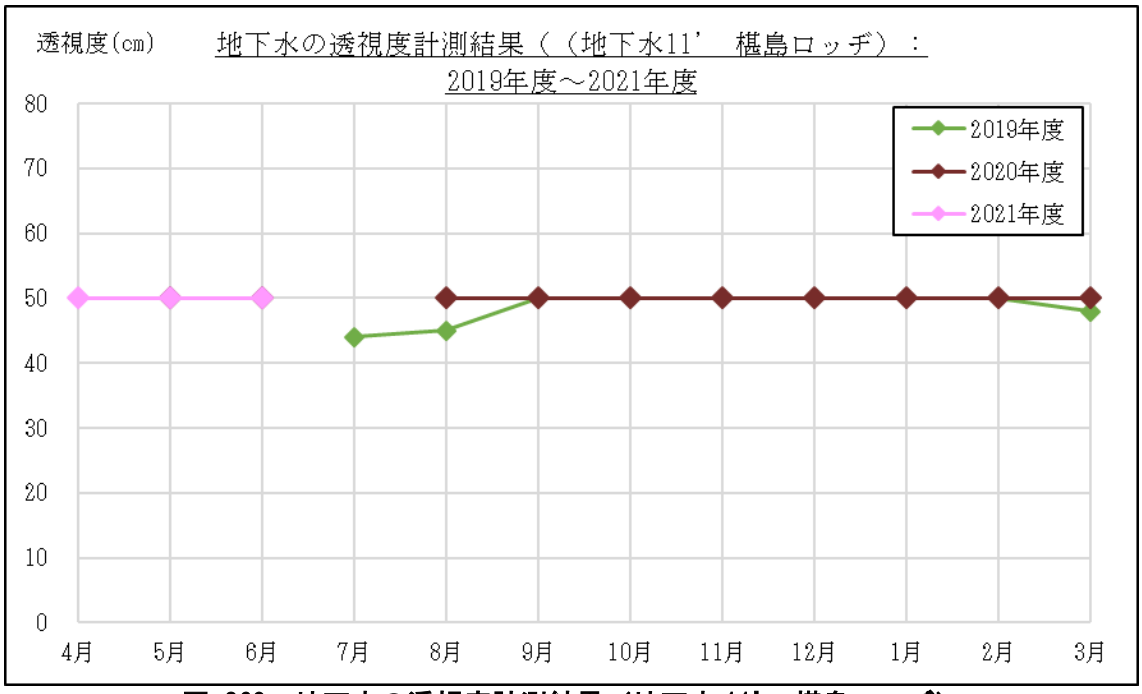


図 260　地下水の透視度計測結果（地下水 11’　椹島ロッヂ）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

2.3大井川中下流域の地下水位・水質【事後調査及びモニタリング計画通し番号 48～54】

2.3.1 調査期間

現地調査の期間は、表 226 及び表 227 に示します。なお、地下水位のデータは直近 17 年間（2008 年～2024 年）分をとりまとめました。追加地点については、1 年間（2025 年）分を取りまとめました。

表 226　現地調査期間（地下水の水位：大井川中下流域）

地点番号	水系区分	井戸名称	調査開始時期
地下水 12	大井川右岸	島田市島	1968 年３月～
地下水 13		島田市大柳	1992 年３月～
地下水 14		吉田町大幡	1969 年２月～
地下水 15		吉田町川尻 B	1969 年２月～
地下水 16		吉田町川尻 A	1969 年２月～
地下水 17		吉田町住吉	1993 年３月～
地下水 18		牧之原市細江	1996 年１月～
地下水 19	大井川左岸	島田市横井	1969 年２月～
地下水 20		藤枝市大西町	1969 年２月～
地下水 21		藤枝市弥左エ門	1966 年５月～
地下水 22		焼津市治長請所	1973 年８月～
地下水 23		焼津市中根新田	1967 年１月～
地下水 24		焼津市一色	1969 年２月～
地下水 25		焼津市藤守	1973 年８月～
地下水 26		焼津市下江留	1997 年５月～
地下水 27		島田市家山	2025 年５月～
地下水 28		島田市旭	2025 年５月～
地下水 29		藤枝市村良	2025 年５月～
地下水 30		藤枝市茶町	2025 年５月～
地下水 31		藤枝市青南町	2025 年５月～
地下水 32		焼津市祢宜島	2025 年４月～
地下水 33		焼津市上泉	2025 年４月～
地下水 34		焼津市藤守西	2025 年５月～
地下水 35	大井川右岸	牧之原市静波	2025 年５月～

表 227　現地調査期間（地下水の水質：大井川中下流域）

地点番号	水系区分	井戸名称	調査項目	調査時期
地下水 12	大井川右岸	島田市島	水温、pH、電気伝導率（EC）、透視度、自然由来の自然由来の重金属等	＜工事前＞ ・2020 年７月 27 日～８月１日（7 月期） ・2021 年２月８日～２月 13 日（2 月期） ・2025 年２月 10 日～２月 14 日（2 月期） ・2026 年２月３日～２月６日（2 月期）
地下水 13		島田市大柳		
地下水 14		吉田町大幡		
地下水 15		吉田町川尻 B		
地下水 16		吉田町川尻 A		
地下水 17		吉田町住吉		
地下水 18		牧之原市細江		
地下水 19	大井川左岸	島田市横井		
地下水 20		藤枝市大西町		
地下水 21		藤枝市弥左エ門		
地下水 22		焼津市治長請所		
地下水 24		焼津市一色		
地下水 25		焼津市藤守		
地下水 26		焼津市下江留		
地下水 27		島田市家山	水温、pH、自然由来の自然由来の重金属等	＜工事前＞ ・2025 年９月３日
地下水 28		島田市旭		＜工事前＞ ・2025 年６月５日
地下水 29		藤枝市村良		＜工事前＞ ・2025 年７月 23 日
地下水 30		藤枝市茶町		
地下水 31		藤枝市青南町		
地下水 32		焼津市祢宜島		＜工事前＞ ・2025 年８月７日
地下水 33		焼津市上泉		
地下水 34		焼津市藤守西	水温、pH、電気伝導率（EC）、透視度、自然由来の自然由来の重金属等	＜工事前＞ ・2026 年２月４日（2 月期）
地下水 35	大井川右岸	牧之原市静波		

注：地下水 23 焼津市中根新田については、井戸孔内に既設のケーブル等が設置されており、採水不可のため、水質の計測は実施しておりません。

2.3.2 調査結果（過年度）

2.3.2.1 地下水の水位

地下水の水位の現地調査の結果は、表 228～表 235 及び図 261～図 300 に示します。

表 228　地下水の水位の計測結果：まとめ

調査年	地下水 12 島田市島（管頭標高：77.74m）			地下水 13 島田市大柳（管頭標高：31.5m）			地下水 14 吉田町大幡（管頭標高：19.06m）		
	水位　m（EL）			水位　m（EL）			水位　m（EL）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2008年	71.82	74.22	69.91	21.96	24.29	18.13	16.63	17.85	14.13
2009年	71.93	74.43	70.13	22.41	24.47	18.50	16.92	17.83	14.43
2010年	72.03	74.01	70.11	22.68	24.30	20.75	17.02	17.66	16.19
2011年	71.65	74.75	69.68	22.37	24.65	20.76	16.95	17.63	16.45
2012年	71.89	74.07	70.37	22.38	23.95	20.65	16.93	17.55	16.14
2013年	72.08	73.31	70.81	22.29	23.66	20.94	16.94	17.49	16.51
2024年	71.93	73.75	64.98	22.20	23.89	19.42	16.79	17.85	14.94
2015年	72.22	74.37	71.15	22.44	24.83	20.76	17.00	17.77	16.39
2016 年	72.07	73.90	70.51	22.51	23.77	21.64	16.94	17.56	16.68
2017 年	71.93	73.85	70.33	22.18	23.97	20.38	16.97	17.81	16.21
2018 年	72.03	73.94	63.67	22.18	23.58	20.05	16.96	17.74	15.85
2019 年	72.15	74.02	70.63	21.66	24.07	18.46	16.60	18.09	14.73
2020 年	72.29	75.30	70.82	22.47	24.83	20.42	17.00	18.10	16.13
2021 年	72.59	75.10	65.55	22.03	24.50	18.72	16.76	17.80	14.85
2022 年	72.46	74.48	70.74	21.64	24.43	16.17	16.41	18.11	12.65
2023 年	72.45	74.63	70.92	22.47	24.69	21.10	17.00	17.81	16.54
2024 年	72.68	76.31	70.88	22.75	25.92	20.80	17.01	17.93	16.38
2008 年～2024 年	72.13	76.31	63.67	22.27	25.92	16.17	16.87	18.11	12.65

表 229　地下水の水位の計測結果：まとめ

調査年	地下水 15 吉田町川尻 B（管頭標高：8.06m）			地下水 16 吉田町川尻 A（管頭標高：7.87m）			地下水 17 吉田町住吉（管頭標高：5.43m）		
	水位　m（EL）			水位　m（EL）			水位　m（EL）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2008年	4.74	6.15	4.29	6.12	6.64	5.44	3.71	4.16	3.18
2009年	4.87	6.06	4.37	6.38	6.80	5.57	3.88	4.40	3.24
2010年	4.88	6.12	4.57	6.32	6.83	5.74	4.02	4.47	3.58
2011年	4.82	6.07	4.48	6.19	6.73	5.39	3.82	4.48	2.85
2012年	4.77	5.86	4.48	6.32	6.77	5.68	3.99	4.44	3.22
2013年	4.72	6.14	4.40	6.32	6.85	5.63	4.03	4.64	3.37
2024年	4.71	6.5	2.81	6.26	6.75	5.72	3.84	4.41	3.32
2015年	4.73	5.85	1.69	6.49	7.02	5.52	3.80	4.26	3.23
2016 年	4.74	5.84	4.41	6.55	7.13	5.78	3.70	4.31	3.05
2017 年	4.71	6.11	4.00	6.55	7.23	5.13	4.39	5.39	3.66
2018 年	4.68	5.77	4.44	6.53	7.19	4.88	4.05	4.63	2.57
2019 年	4.61	6.42	4.40	6.53	7.16	5.75	3.71	4.31	2.24
2020 年	4.60	5.52	3.76	6.56	7.03	5.59	4.66	5.49	1.32
2021 年	4.56	5.52	4.38	6.49	7.02	5.86	2.79	8.33	0.01
2022 年	4.54	5.98	4.20	6.45	7.04	5.67	4.03	4.49	3.45
2023 年	4.37	5.20	4.25	6.67	7.06	6.19	3.97	4.36	3.53
2024 年	4.46	6.01	2.80	6.66	7.07	6.15	4.12	4.52	3.65
2008 年～2024 年	4.68	6.50	1.69	6.43	7.23	4.88	3.91	8.33	0.01

表 230　地下水の水位の計測結果：まとめ

調査年	地下水 18 牧之原市細江（管頭標高：4.44m）			地下水 19 島田市横井（管頭標高：56.4m）			地下水 20 藤枝市大西町（管頭標高：31.52m）		
	水位　m（EL）			水位　m（EL）			水位　m（EL）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2008年	2.67	3.73	2.20	50.70	-	-	20.84	23.49	16.75
2009年	2.81	3.39	2.30	50.69	52.46	48.65	19.82	21.24	17.27
2010年	2.94	3.89	2.46	51.16	52.47	49.64	20.91	24.03	18.60
2011年	2.82	3.68	2.37	51.02	53.5	49.96	21.43	23.76	19.55
2012年	2.79	3.70	2.34	50.64	52.18	48.96	21.18	23.21	19.23
2013年	2.71	3.64	2.48	50.46	52.20	48.80	20.74	22.55	18.53
2024年	2.75	3.87	2.36	50.92	53.09	45.31	20.86	22.61	18.85
2015年	2.81	3.81	2.48	50.71	58.74	22.79	20.52	22.24	18.50
2016 年	2.71	3.60	2.30	51.48	52.32	50.89	-	-	-
2017 年	2.71	3.81	1.73	51.58	53.25	50.64	21.28	26.15	15.48
2018 年	2.77	3.91	2.43	51.54	52.96	50.47	20.01	24.20	6.98
2019 年	2.81	4.02	2.46	51.16	53.36	50.26	22.84	29.85	19.46
2020 年	2.81	3.81	2.43	51.39	53.62	50.48	21.64	24.00	17.34
2021 年	2.83	3.92	2.41	51.38	53.47	50.19	21.3	23.89	18.42
2022 年	2.82	3.99	2.41	51.30	53.35	50.10	21.05	24.10	16.19
2023 年	2.78	3.92	2.43	51.02	53.42	49.84	21.56	23.97	19.79
2024 年	2.87	3.99	2.48	51.47	54.13	49.75	22.03	25.56	19.78
2008 年～2024 年	2.79	4.02	1.73	51.10	58.74	22.79	21.13	29.85	6.98

表 231　地下水の水位の計測結果：まとめ

調査年	地下水 21 藤枝市弥左エ門（管頭標高：22.11m）			地下水 22 焼津市治長請所（管頭標高：16.55m）			地下水 23 焼津市中根新田（管頭標高：10.09m）		
	水位　m（EL）			水位　m（EL）			水位　m（EL）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2008年	16.09	18.25	12.95	10.12	11.71	7.99	7.35	8.61	5.93
2009年	16.34	18.16	13.52	10.33	11.78	8.67	7.42	8.51	6.21
2010年	16.67	18.19	14.47	10.43	11.71	8.85	7.48	8.48	6.14
2011年	16.33	18.12	14.98	10.31	11.6	9.1	7.41	8.37	6.48
2012年	16.28	17.94	14.61	10.37	11.69	9.1	7.46	8.45	6.44
2013年	15.98	17.65	14.16	10.23	11.61	8.89	7.45	8.49	6.49
2024年	16.15	17.61	14.1	10.25	11.4	8.9	7.49	8.35	6.62
2015年	16.31	18.85	14.32	10.38	11.96	9.27	8.9	10.67	6.78
2016 年	16.47	17.82	15.26	10.46	11.56	9.58	8.25	9.81	7.11
2017 年	16.33	17.85	14.38	10.41	11.45	9.15	7.53	8.33	6.6
2018 年	16.32	18.07	14.43	10.29	11.6	9.19	7.57	8.44	6.61
2019 年	15.88	18.0	13.35	10.98	11.72	10.09	7.48	8.57	6.25
2020 年	16.71	18.901	15.29	10.60	12.01	9.52	7.69	8.63	6.88
2021 年	16.43	18.61	14.04	10.59	12.04	9.07	7.71	8.61	6.55
2022 年	16.23	18.8	12.37	10.59	12.38	8.26	7.84	8.91	6.28
2023 年	16.59	18.56	15.03	10.69	12.08	9.56	7.9	8.67	7.13
2024 年	16.95	19.97	14.97	10.93	12.85	9.64	8.06	9.11	7.18
2008 年～2024 年	16.36	19.97	12.37	10.47	12.85	7.99	7.70	10.67	5.93

表 232　地下水の水位の計測結果：まとめ

調査年	地下水 24 焼津市一色（管頭標高：7.89m）			地下水 25 焼津市藤守（管頭標高：8.2m）			地下水 26 焼津市下江留（管頭標高：10.3m）		
	水位　m（EL）			水位　m（EL）			水位　m（EL）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2008年	6.19	7.16	5.13	6.06	6.98	5.48	9.05	10.0	7.62
2009年	6.3	7.1	5.41	6.19	6.96	5.75	9.17	10.02	7.87
2010年	6.39	7.08	5.46	6.24	7.13	5.92	9.26	9.93	8.36
2011年	6.37	7.12	5.63	6.09	6.98	5.68	9.19	9.93	8.51
2012年	6.65	7.72	5.6	5.92	6.72	5.52	9.14	9.81	8.49
2013年	6.4	7.2	5.63	5.92	6.73	5.58	9.02	9.7	8.26
2024年	6.42	7.12	2.9	5.9	6.96	5.61	9.12	9.86	8.16
2015年	6.46	7.29	3.48	6.08	6.97	5.65	9.17	10.0	8.39
2016 年	6.57	8.14	5.75	6.04	6.66	5.66	8.96	9.34	-
2017 年	6.42	7.12	5.65	6.16	7.12	5.66	9.19	9.85	8.37
2018 年	6.42	7.09	5.60	6.18	7.19	5.82	9.19	9.9	8.28
2019 年	6.38	7.25	5.40	6.16	7.35	5.78	9.11	10.25	7.83
2020 年	6.54	7.29	5.82	6.2	7.02	5.89	9.43	10.2	8.76
2021 年	6.52	7.25	5.65	6.24	7.28	5.33	9.42	10.25	8.33
2022 年	6.47	7.38	5.34	6.29	7.39	5.88	9.3	10.42	7.53
2023 年	6.62	7.35	5.94	6.23	7.19	5.89	9.36	10.12	8.56
2024 年	6.69	7.55	5.93	6.25	7.32	5.8	9.63	10.56	8.74
2008 年～2024 年	6.46	8.14	2.90	6.13	7.39	5.33	9.22	10.56	7.53

表 233　地下水の水位の計測結果：まとめ

調査年	地下水 27 島田市家山			地下水 28 島田市旭			地下水 29　藤枝市村良		
	水位　m(GL)			水位　m(GL)			水位　m(管頭)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2025 年	-6.29	-5.67	-7.00	-4.74	-4.14	-5.68	-3.87	-3.8	-4.00

表 234　地下水の水位の計測結果：まとめ

調査年	地下水 30 藤枝市茶町			地下水 31 藤枝市青南町			地下水 32 焼津市祢宜島		
	水位　m(管頭)			水位　m(管頭)			水位　m(井戸蓋天端)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2025 年	-1.78	-1.23	-2.50	-4.98	-3.91	-6.69	-0.21	0.22	-0.7

表 235　地下水の水位の計測結果：まとめ

調査年	地下水 33 焼津市上泉			地下水 34 焼津市藤守西 (管頭標高：7.85m)			地下水 35 牧之原市静波 (管頭標高：2.00m)		
	水位　m(井戸蓋天端)			水位　m (EL)			水位　m (EL)		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2025 年	-5.49	-3.98	-7.45	6.69	6.81	6.43	0.59	0.82	0.46

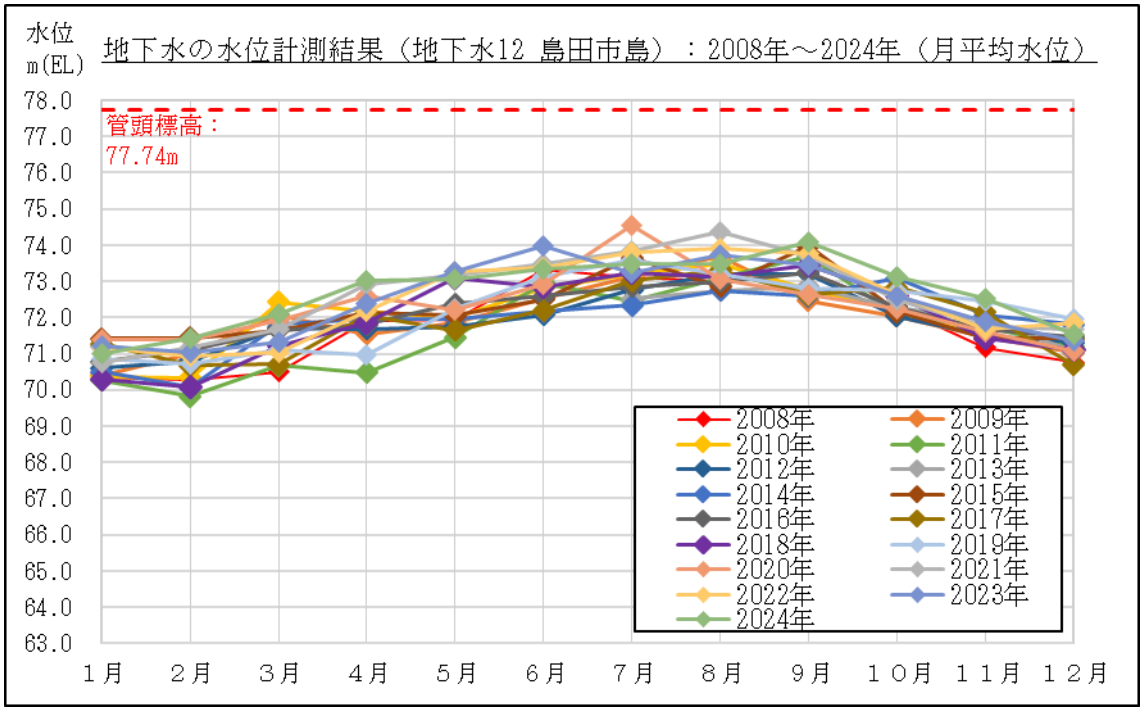


図 261　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 12 島田市島

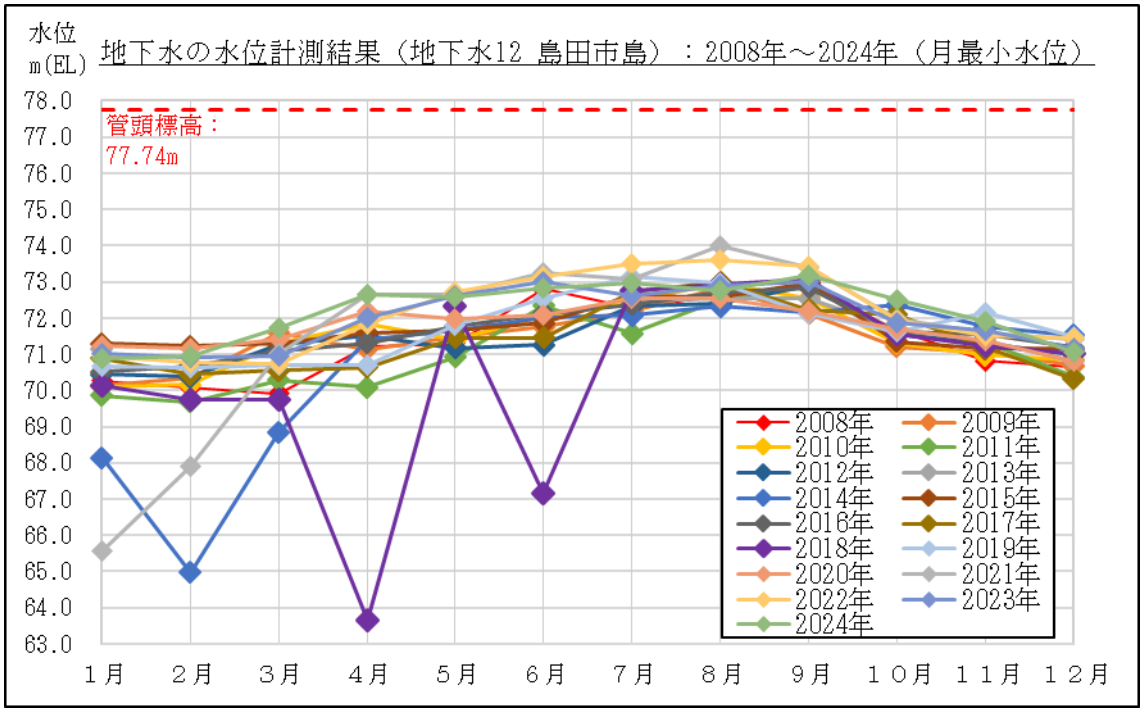


図 262　地下水の水位計測結果（月最小水位）：地下水 12 島田市島

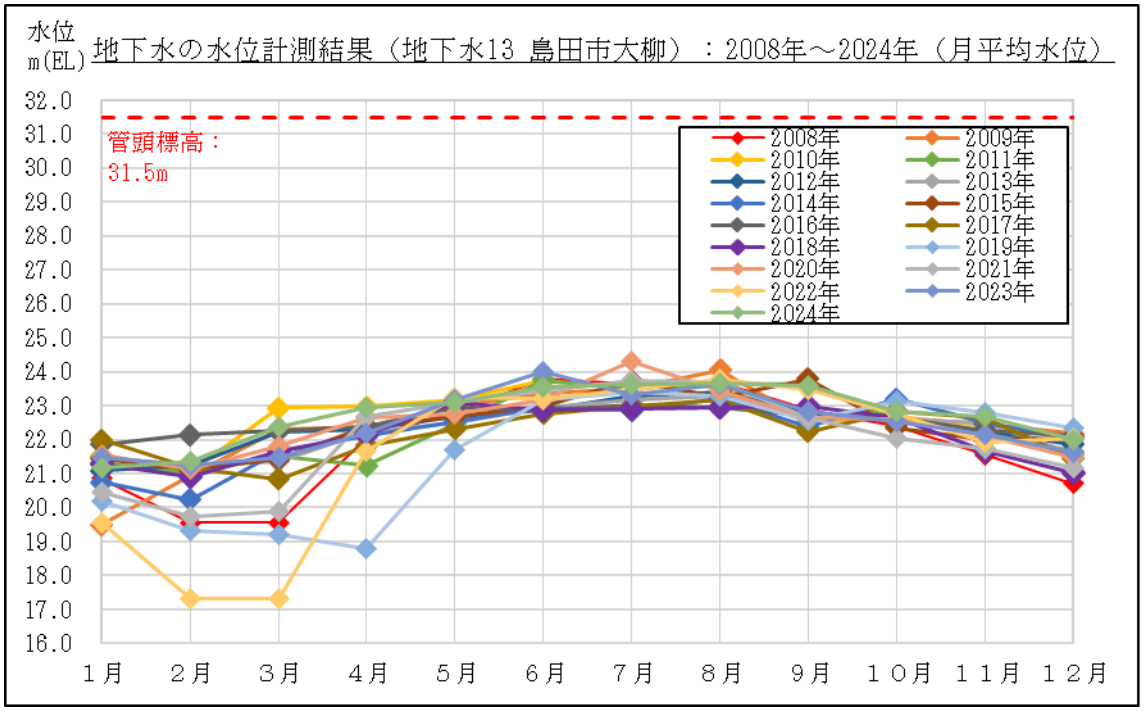


図 263　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 13 島田市大柳

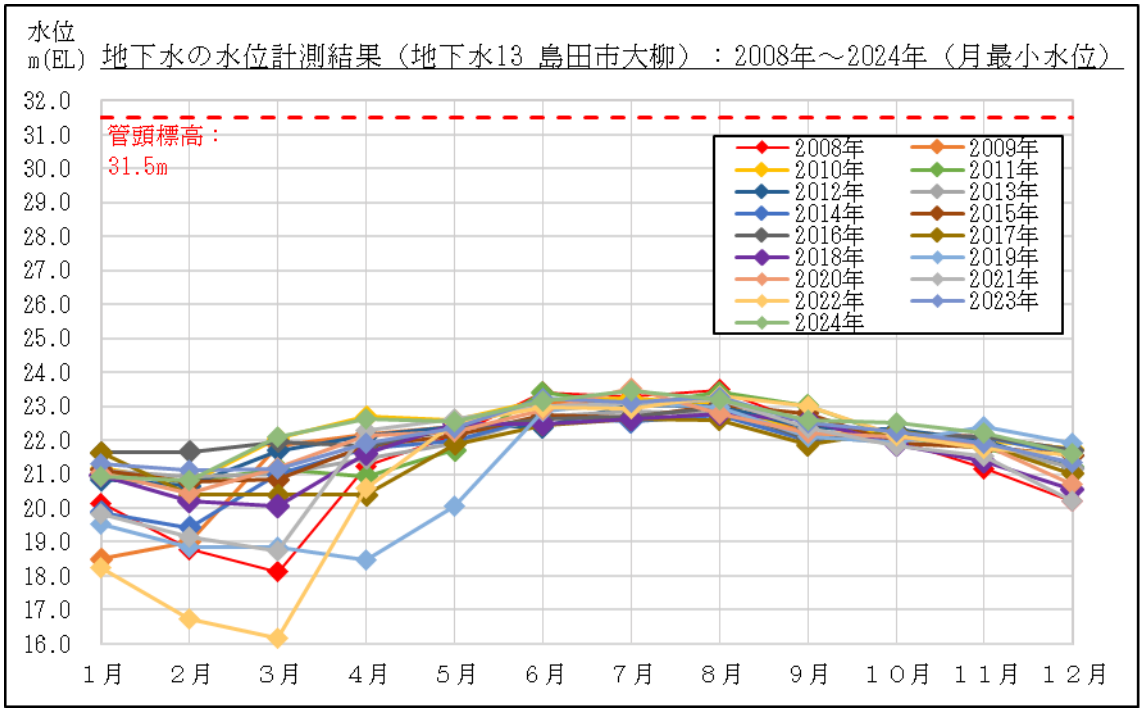


図 264　地下水の水位計測結果（月最小水位）：地下水 13 島田市大柳

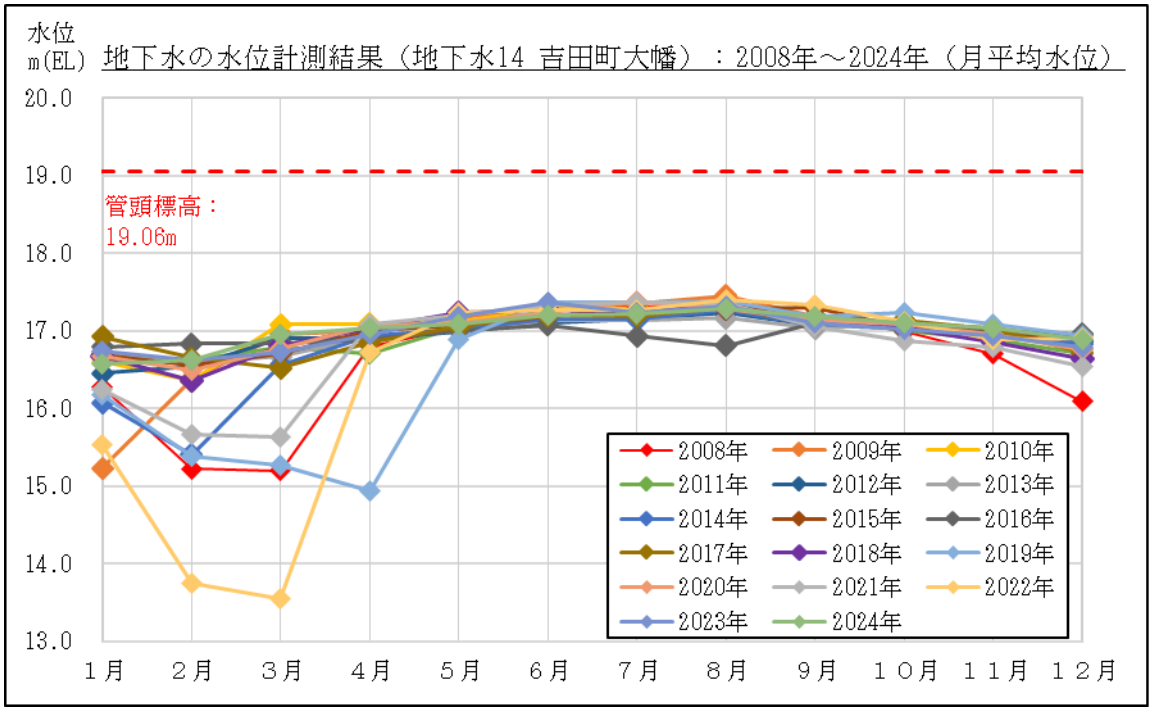


図 265　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 14 吉田町大幡

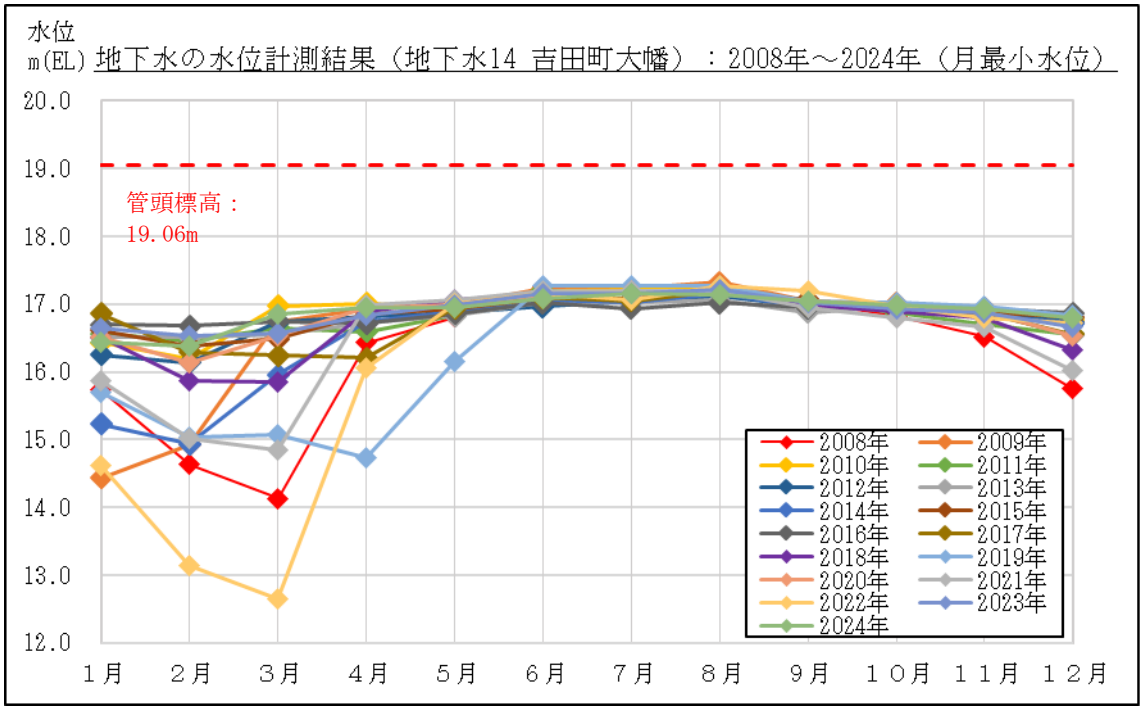


図 266　地下水の水位計測結果（月最小水位）：地下水 14 吉田町大幡

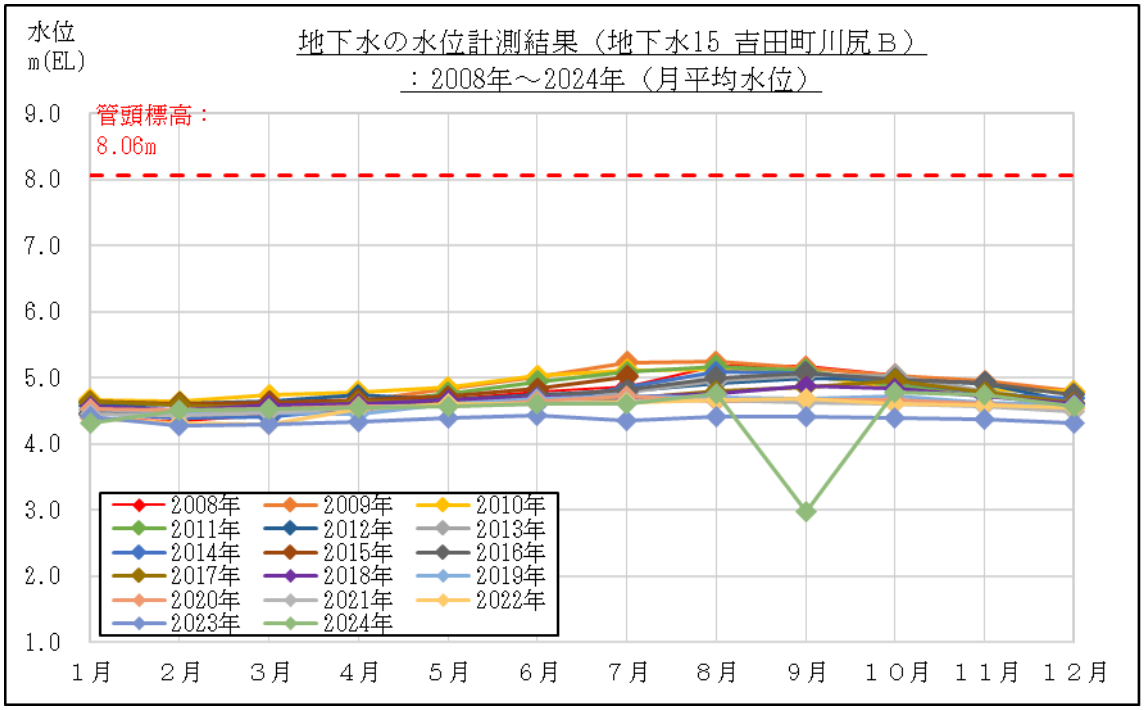


図 267　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 15 吉田町川尻 B

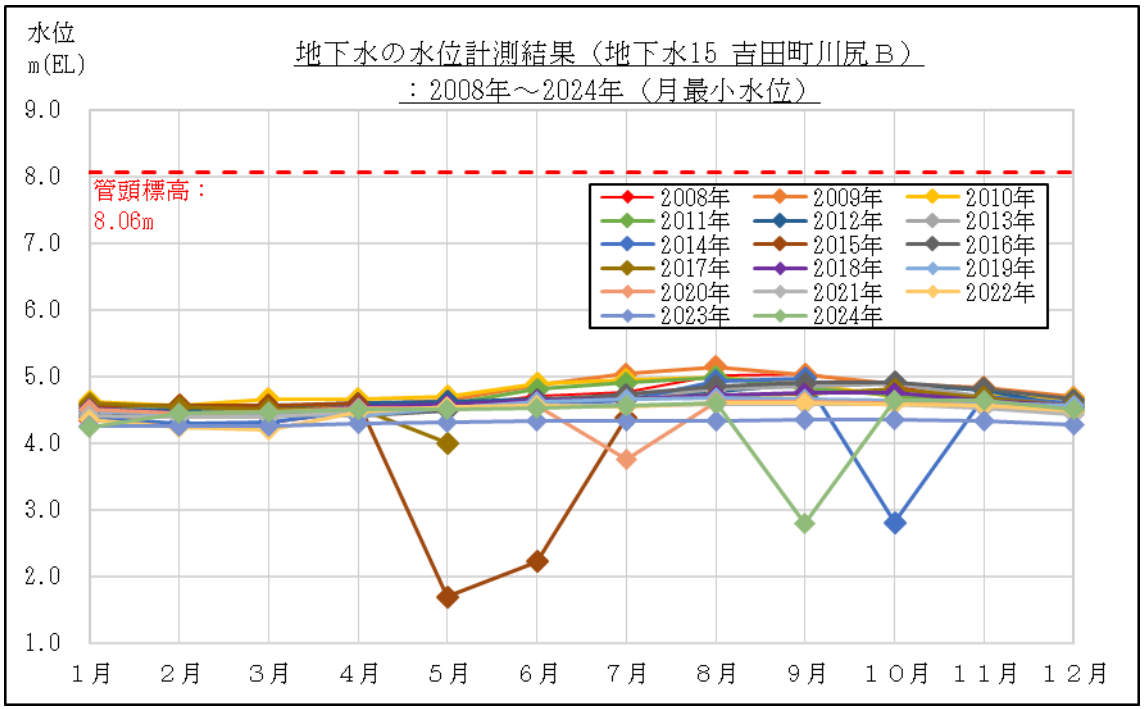


図 268　地下水の水位計測結果（月最小水位）：地下水 15 吉田町川尻 B

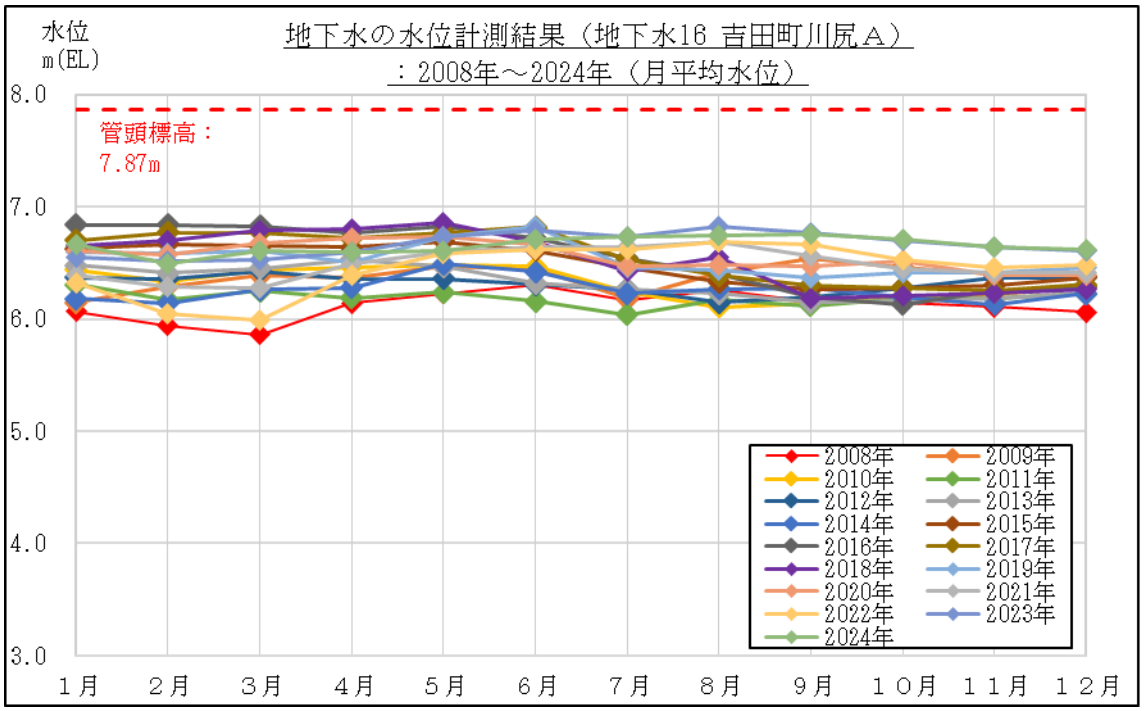


図 269　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 16 吉田町川尻 A

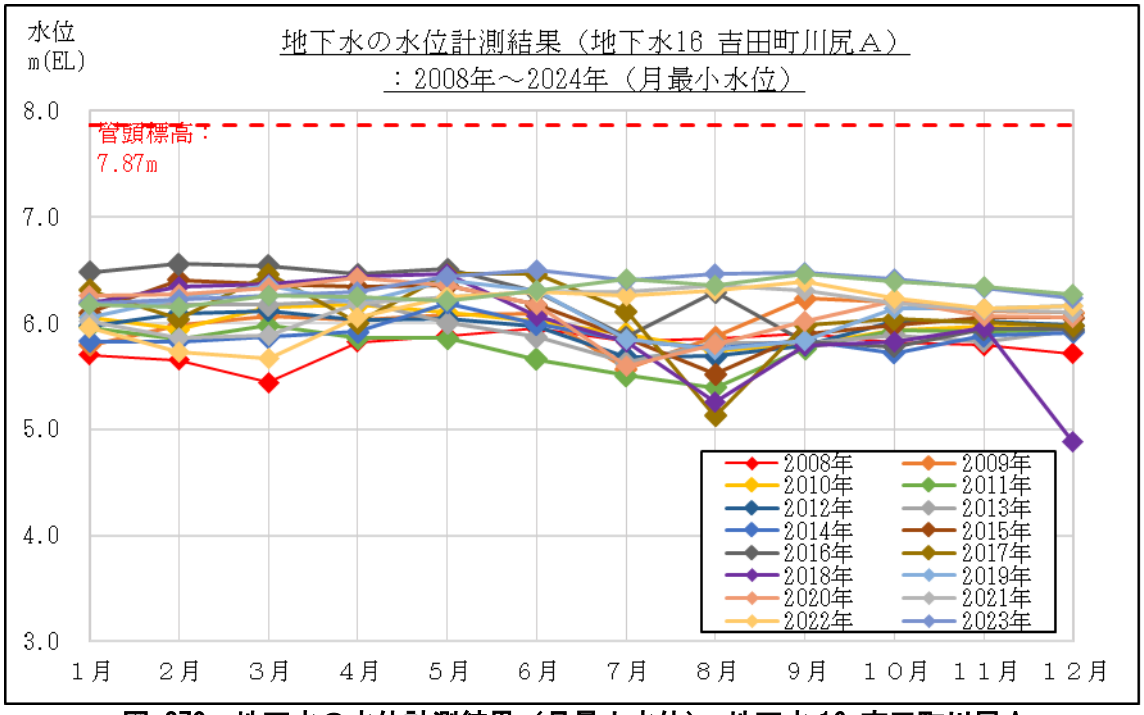


図 270　地下水の水位計測結果（月最小水位）：地下水 16 吉田町川尻 A

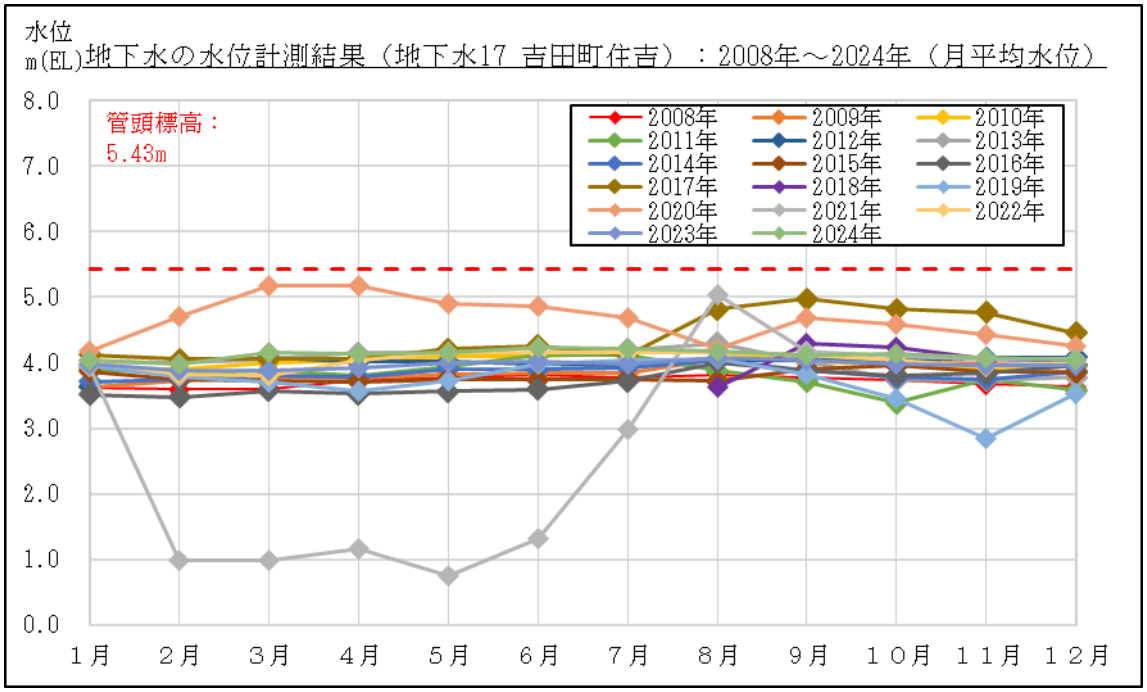


図 271　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 17 吉田町住吉

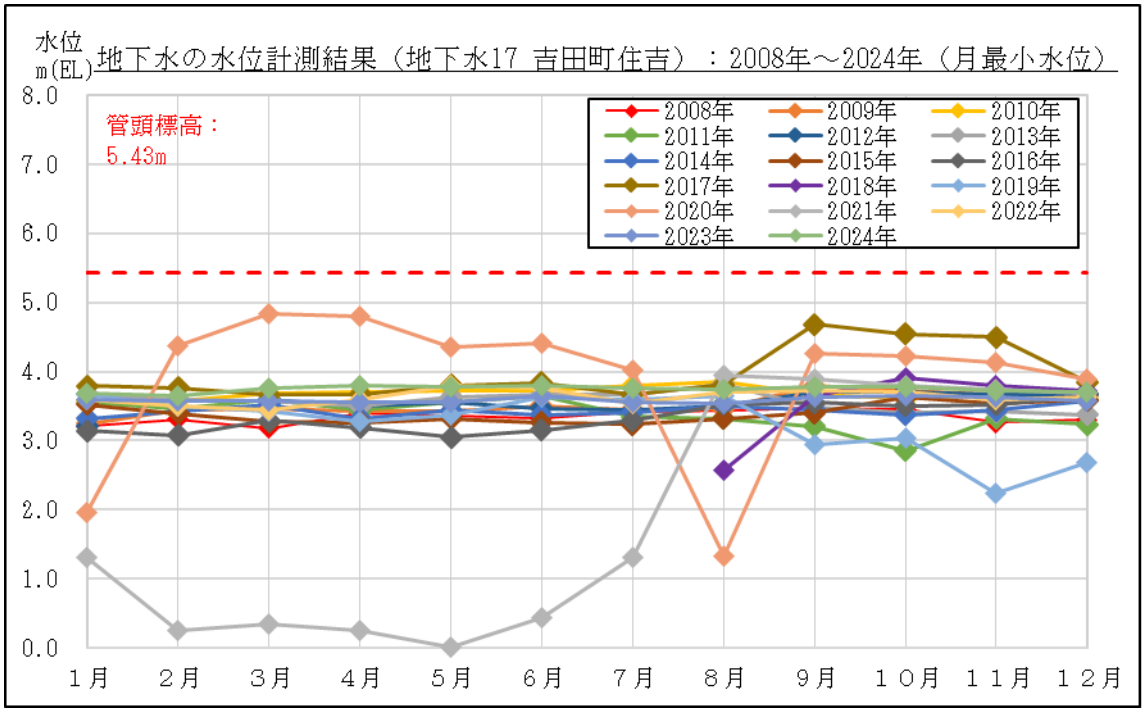


図 272　地下水の水位計測結果（月最小水位）：地下水 17 吉田町住吉

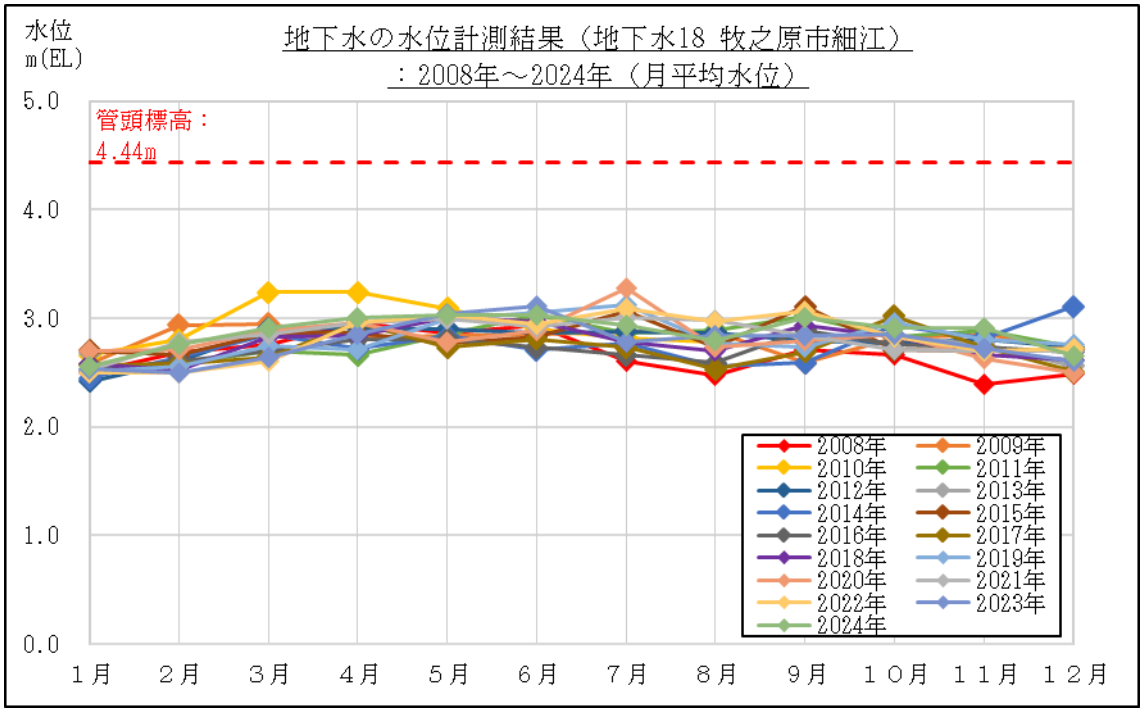


図 273　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 18 牧之原市細江

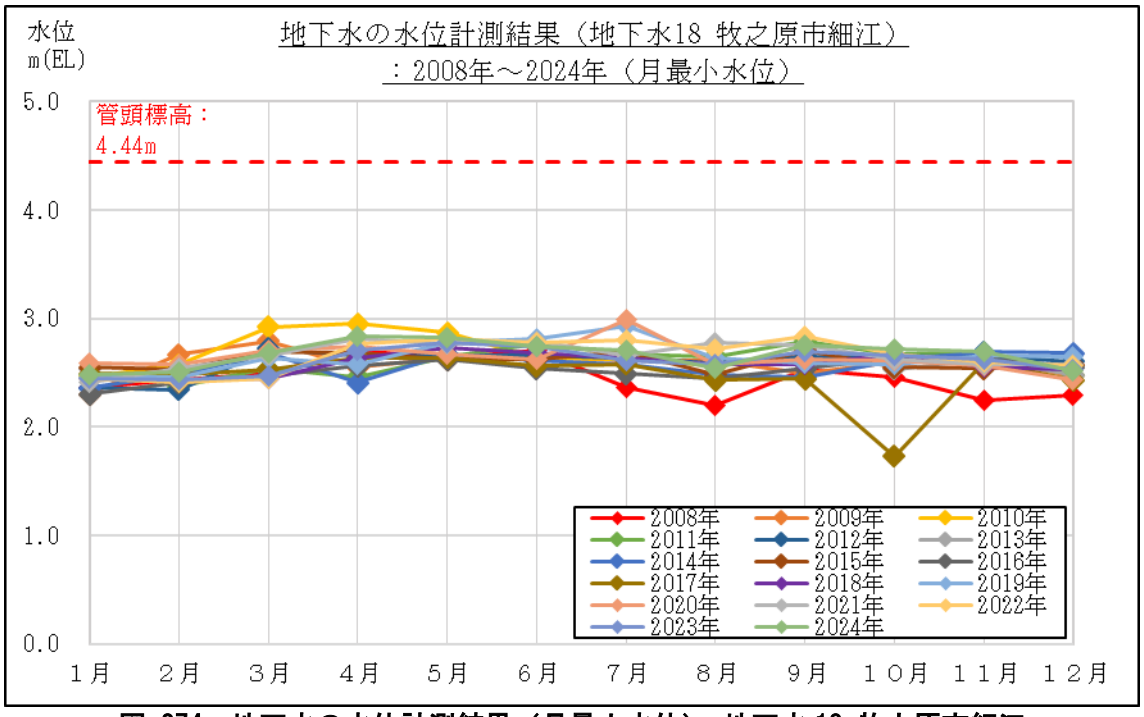


図 274　地下水の水位計測結果（月最小水位）：地下水 18 牧之原市細江

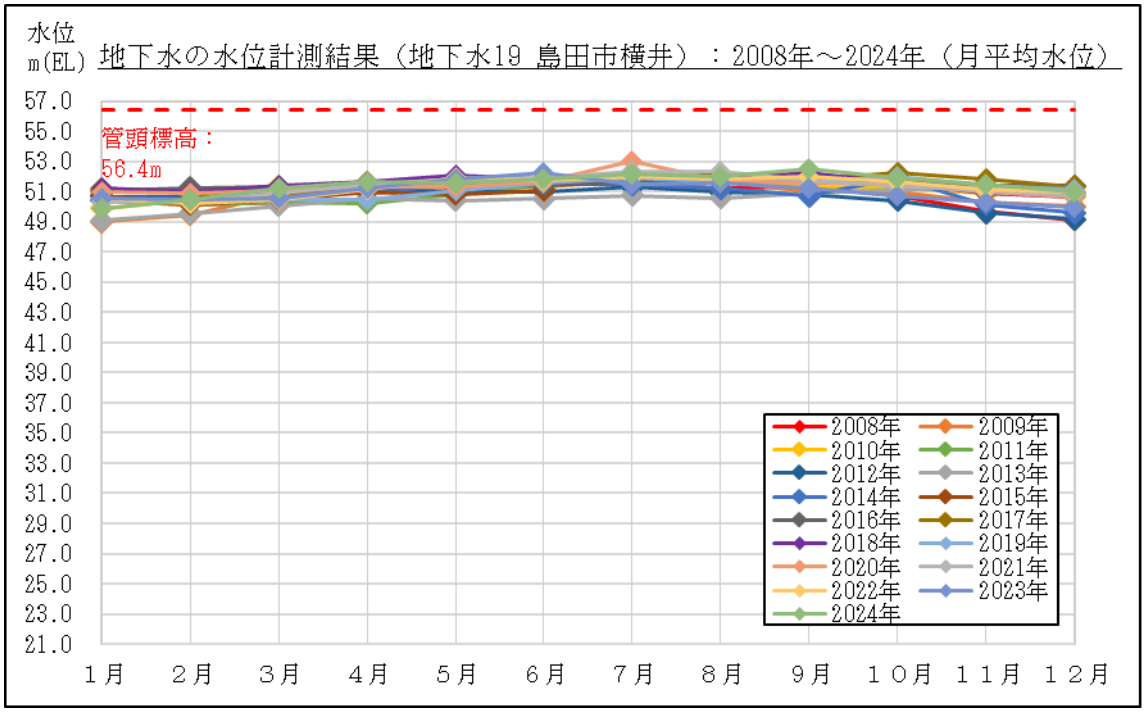


図 275　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 19 島田市横井

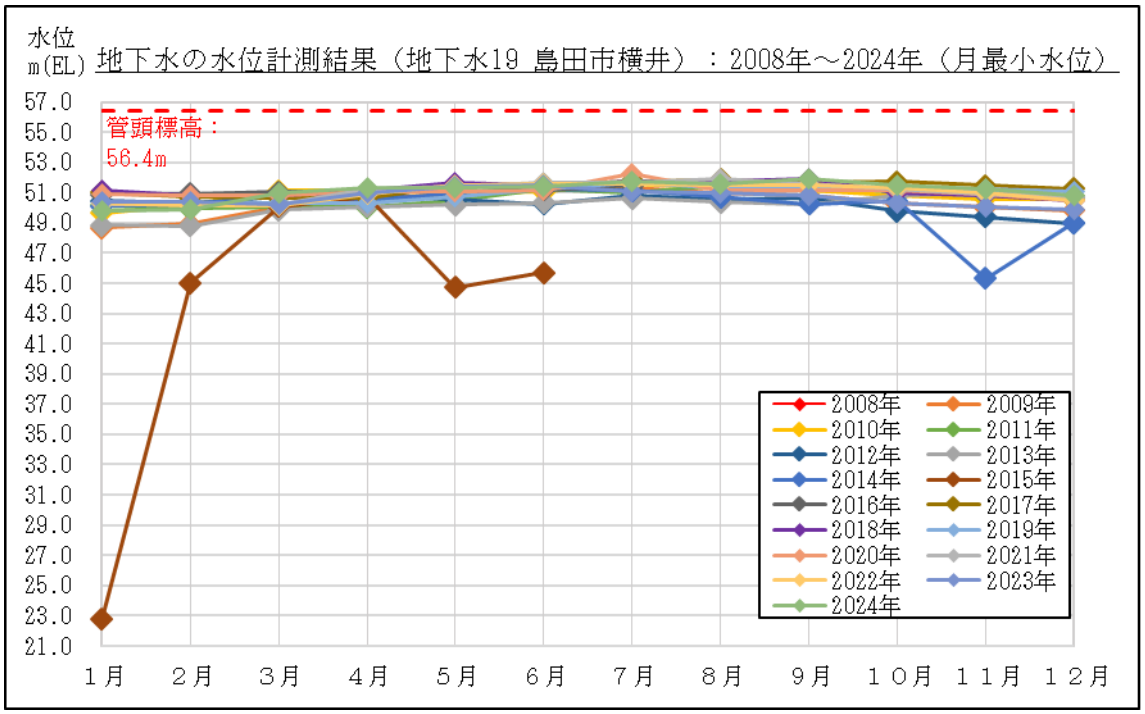


図 276　地下水の水位計測結果（月最小水位）：地下水 19 島田市横井

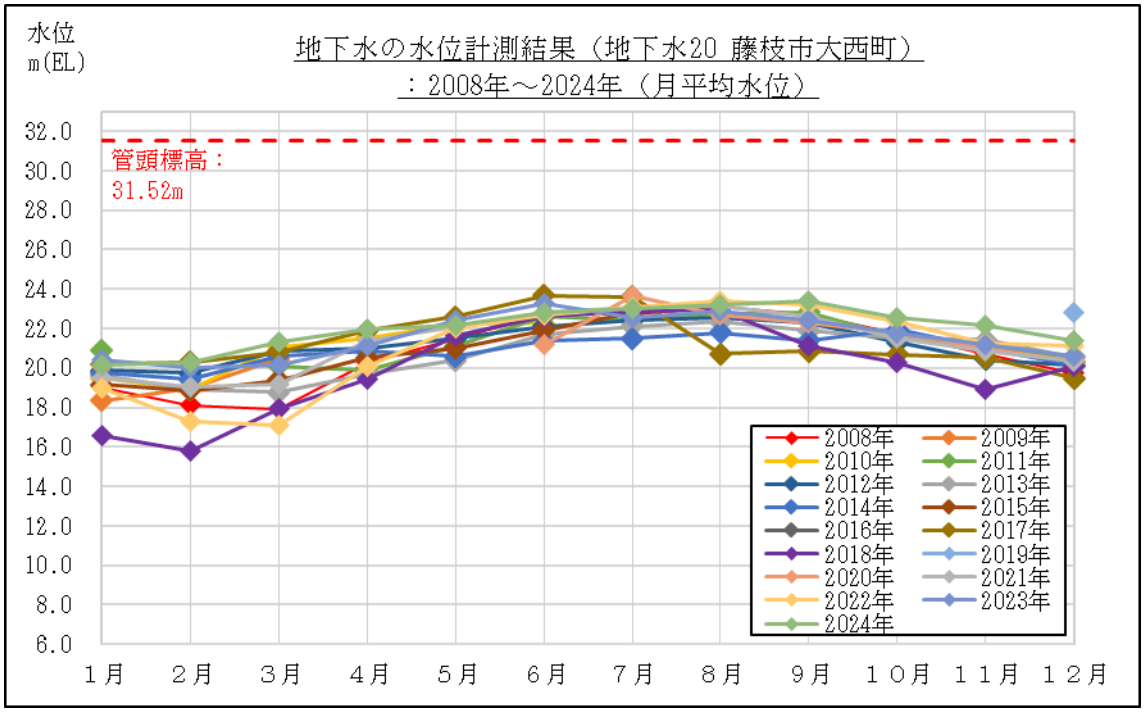


図 277　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 20 藤枝市大西町

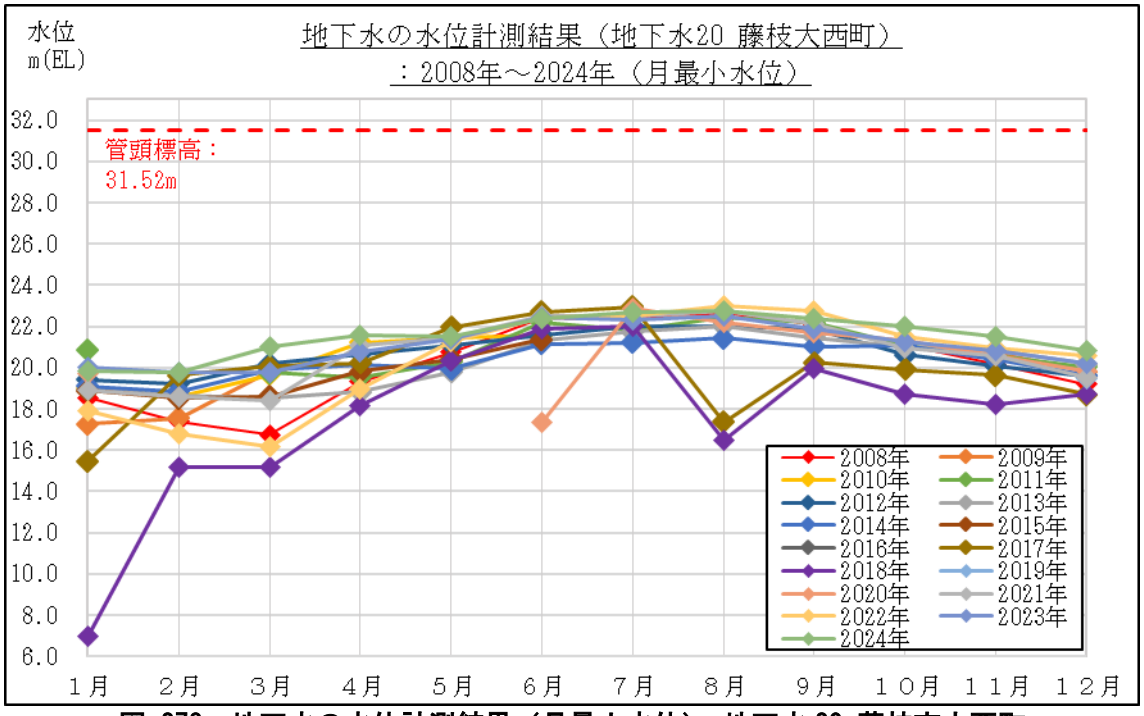


図 278　地下水の水位計測結果（月最小水位）：地下水 20 藤枝市大西町

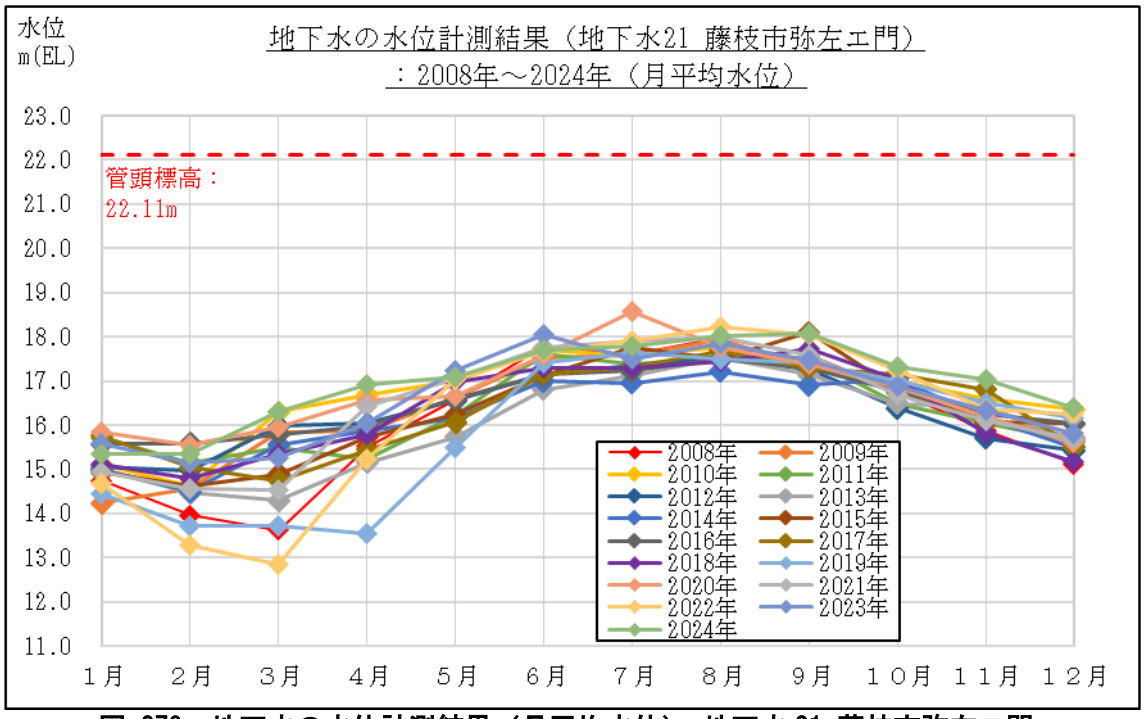


図 279　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 21 藤枝市弥左エ門

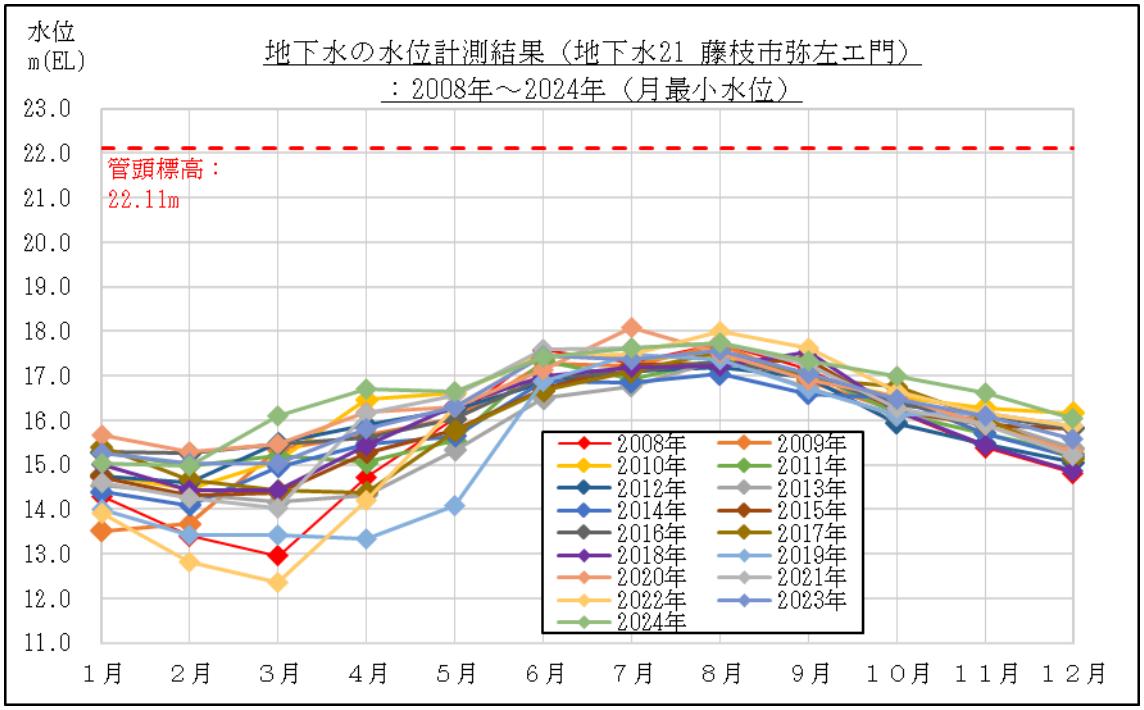


図 280　地下水の水位計測結果（月最小水位）：地下水 21 藤枝市弥左エ門

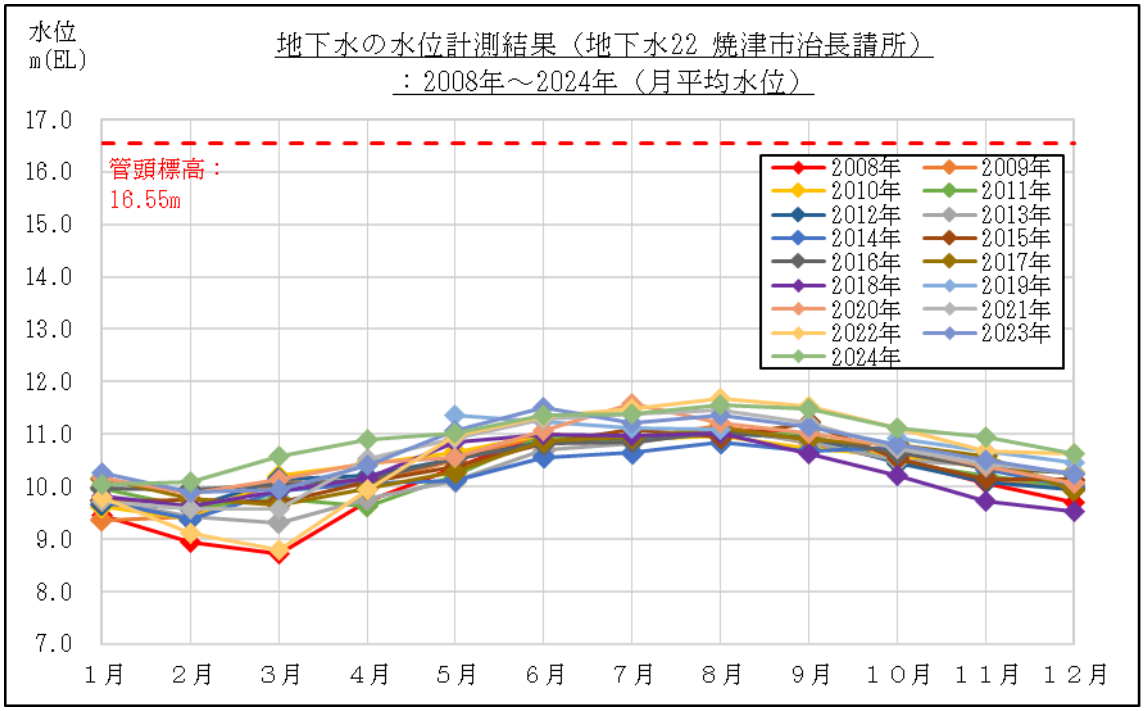


図 281　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 22 焼津市治長請所

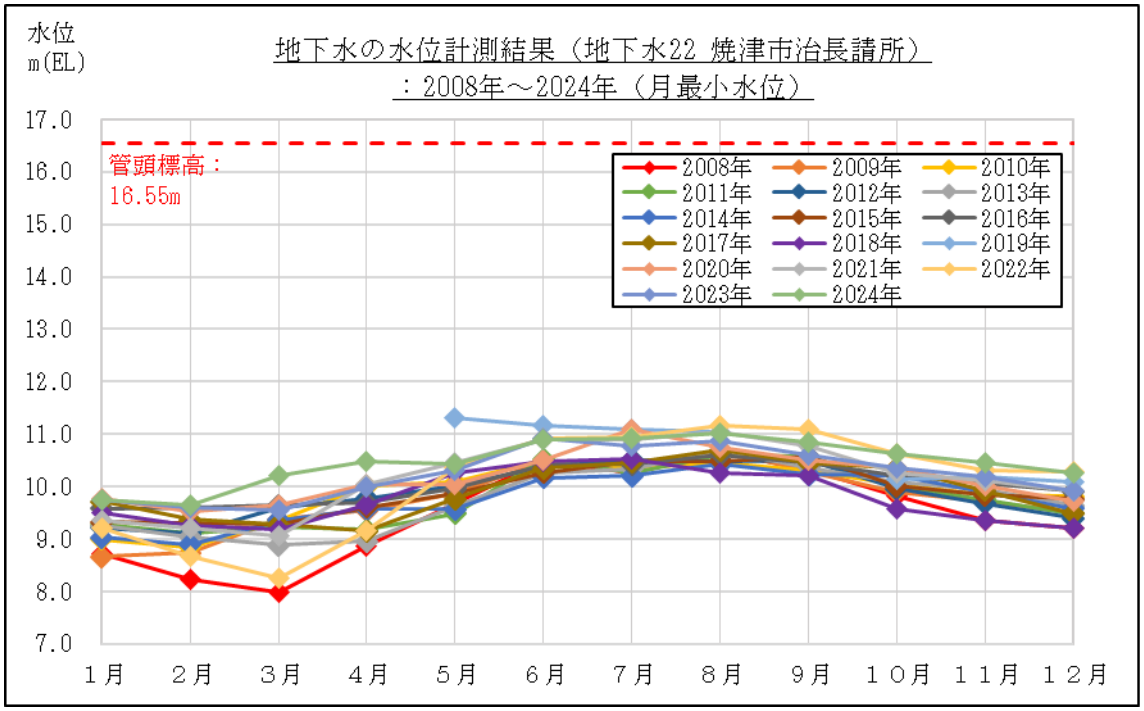


図 282　地下水の水位計測結果（月最小水位）：地下水 22 焼津市治長請所

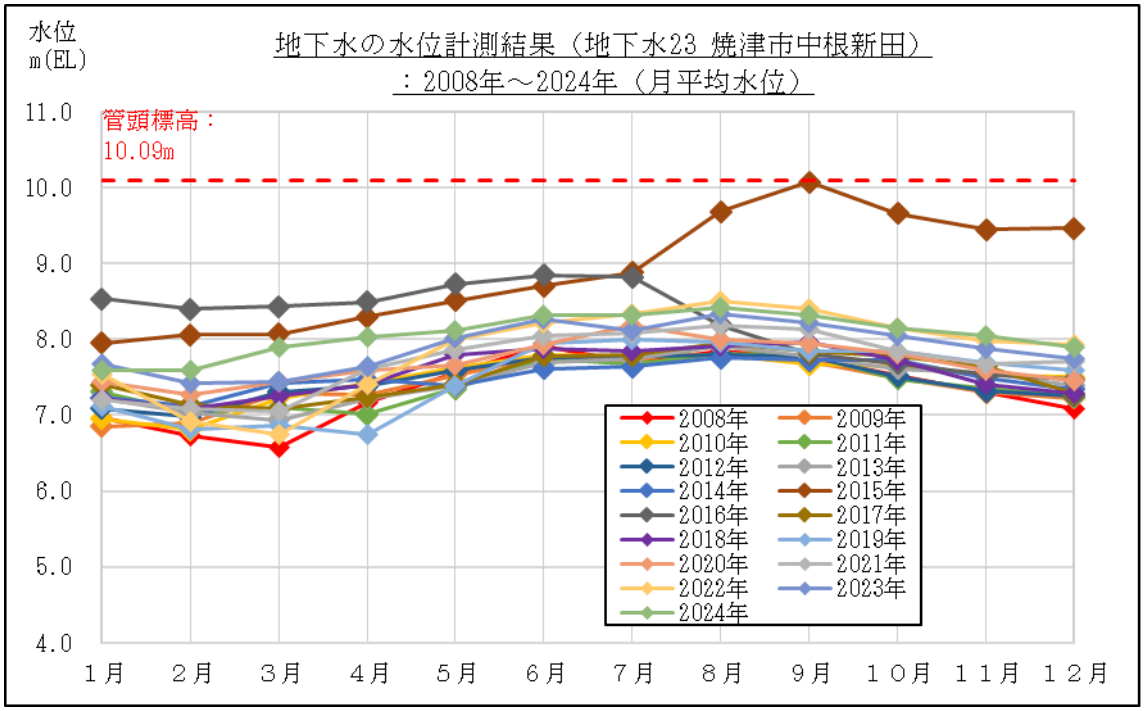


図 283　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 23 焼津市中根新田

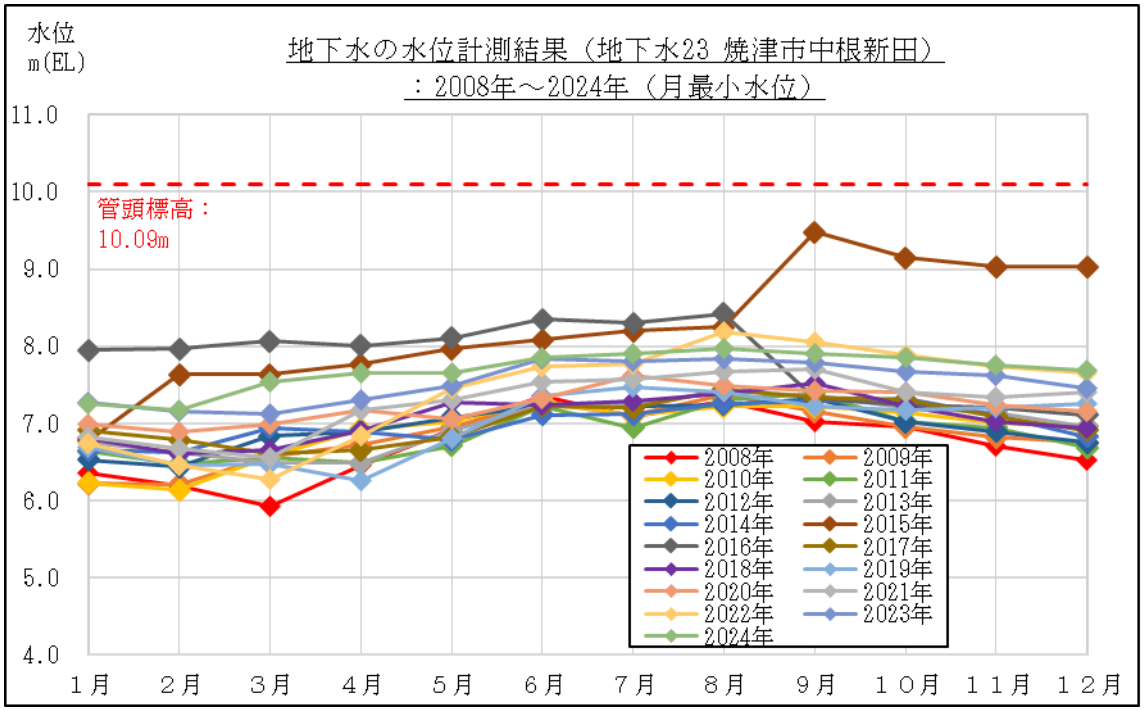


図 284　地下水の水位計測結果（月最小水位）：地下水 23 焼津市中根新田

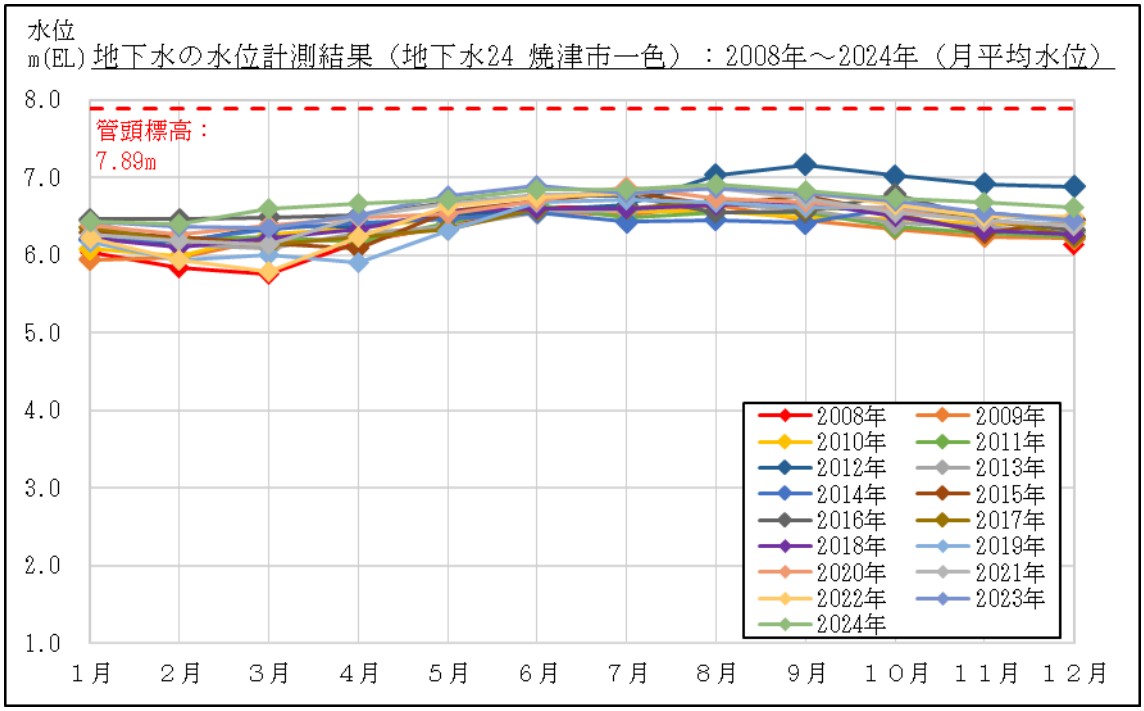


図 285　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 24 焼津市一色

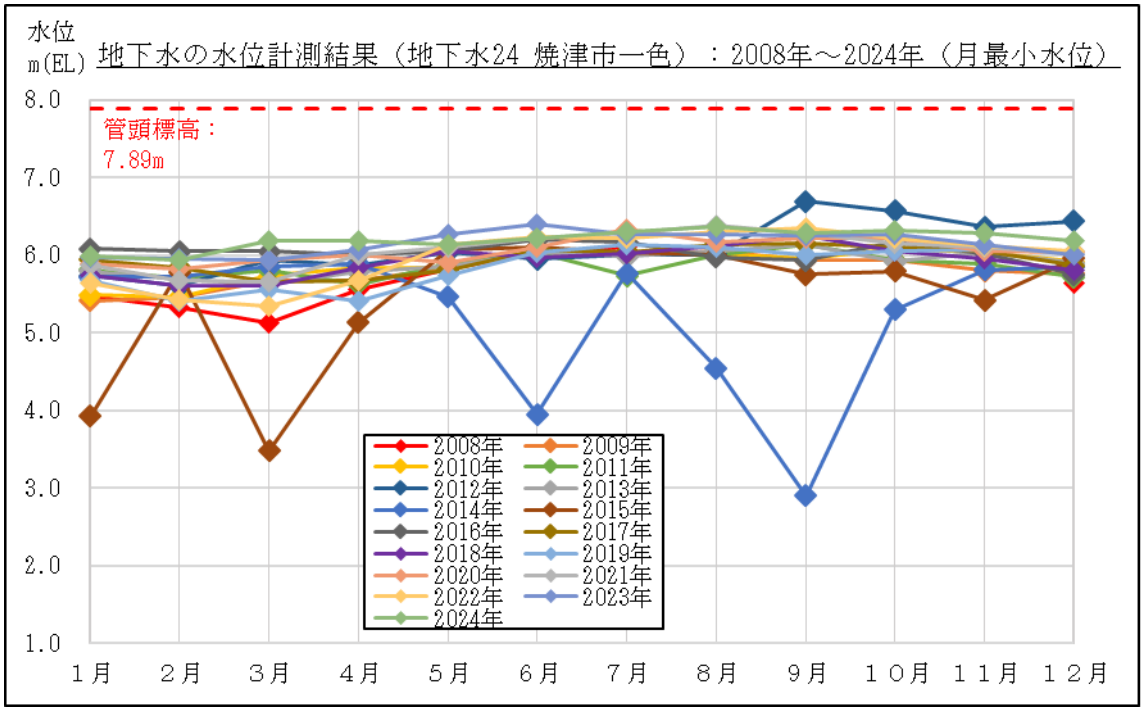


図 286　地下水の水位計測結果（月最小水位）：地下水 24 焼津市一色

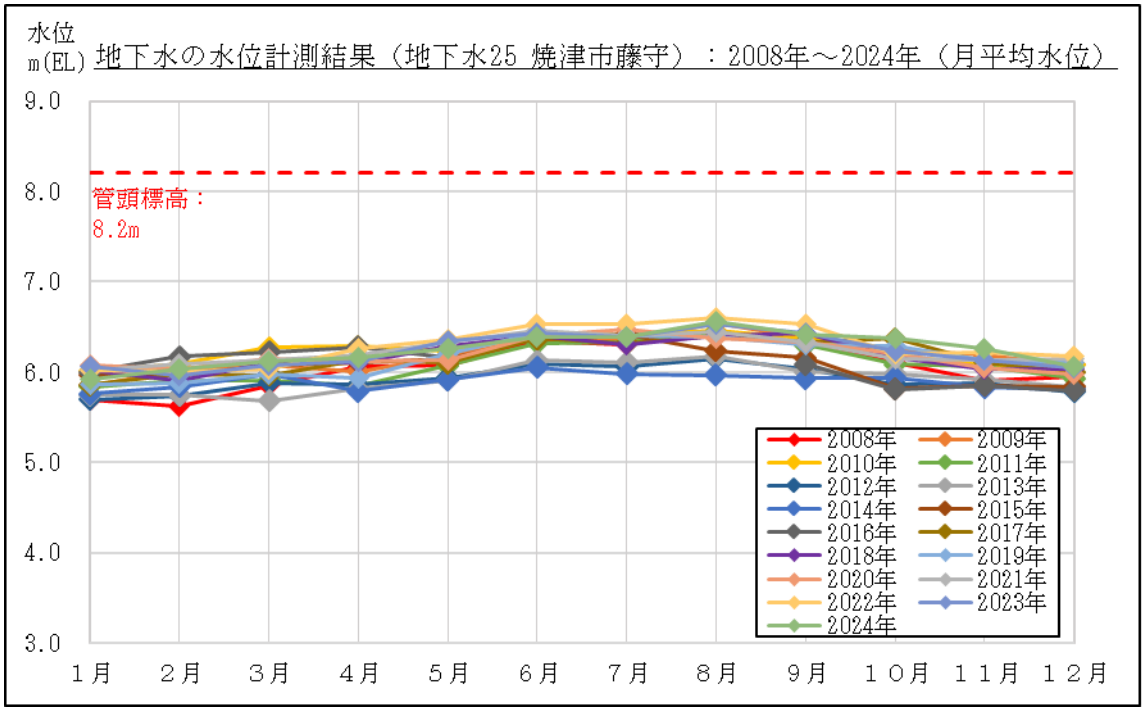


図 287　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 25 焼津市藤守

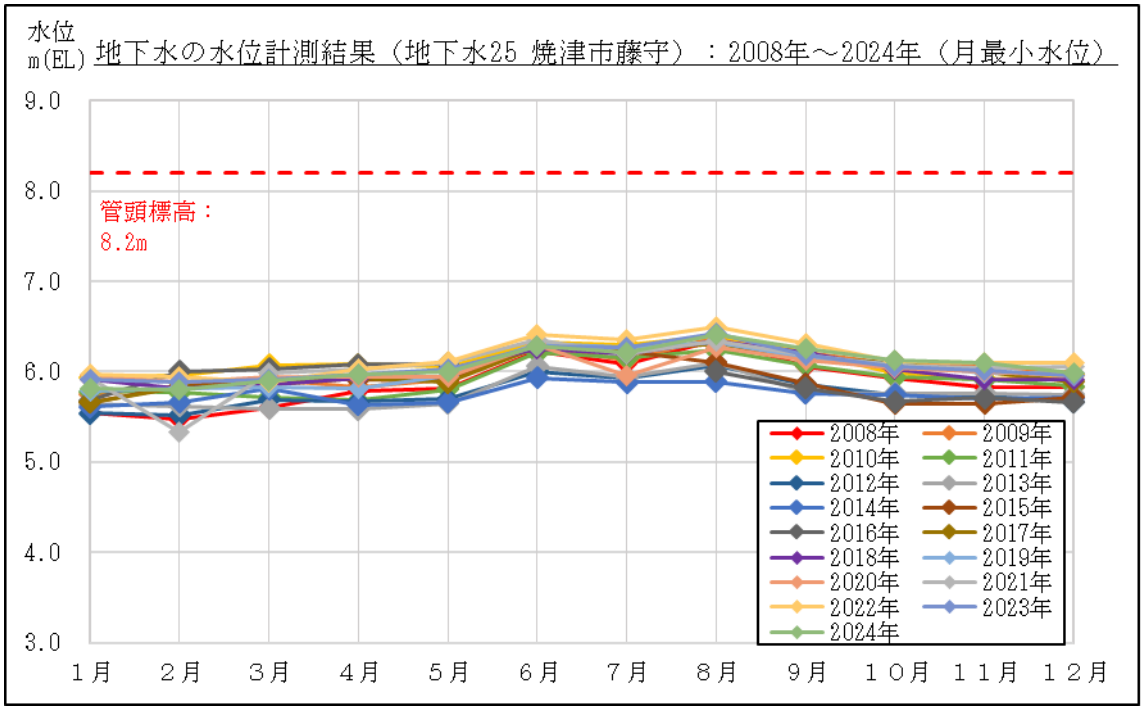


図 288　地下水の水位計測結果（月最小水位）：地下水 25 焼津市藤守

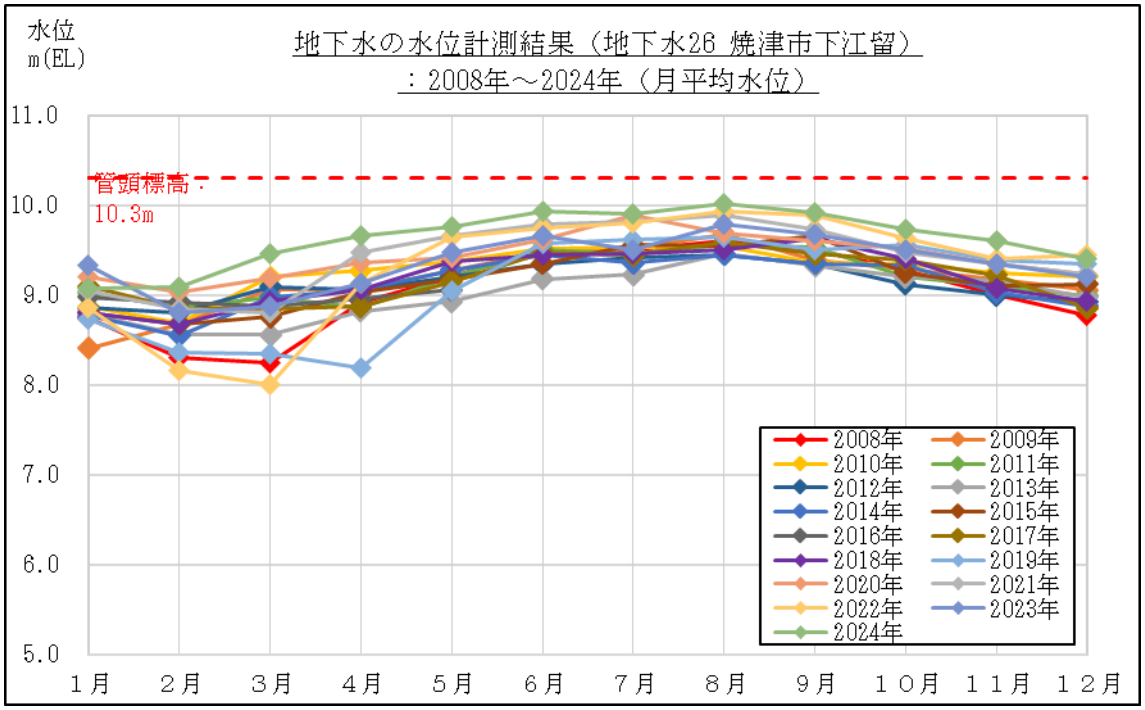


図 289　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 26 焼津市下江留

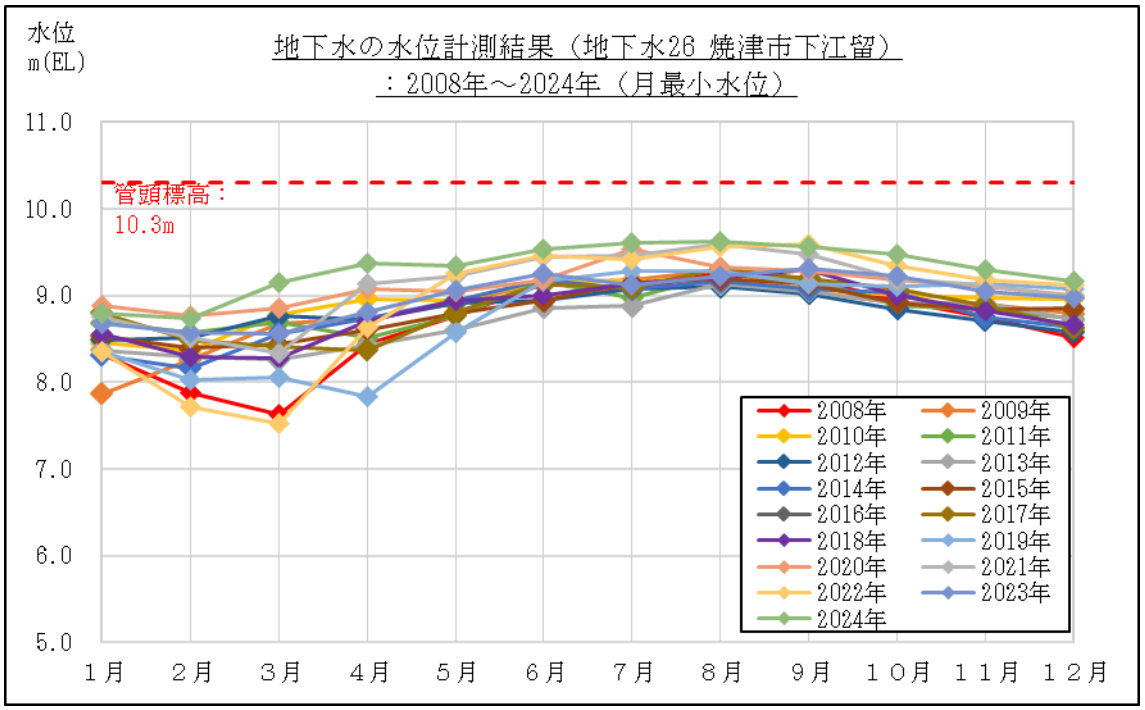


図 290　地下水の水位計測結果（月最小水位）：地下水 26 焼津市下江留

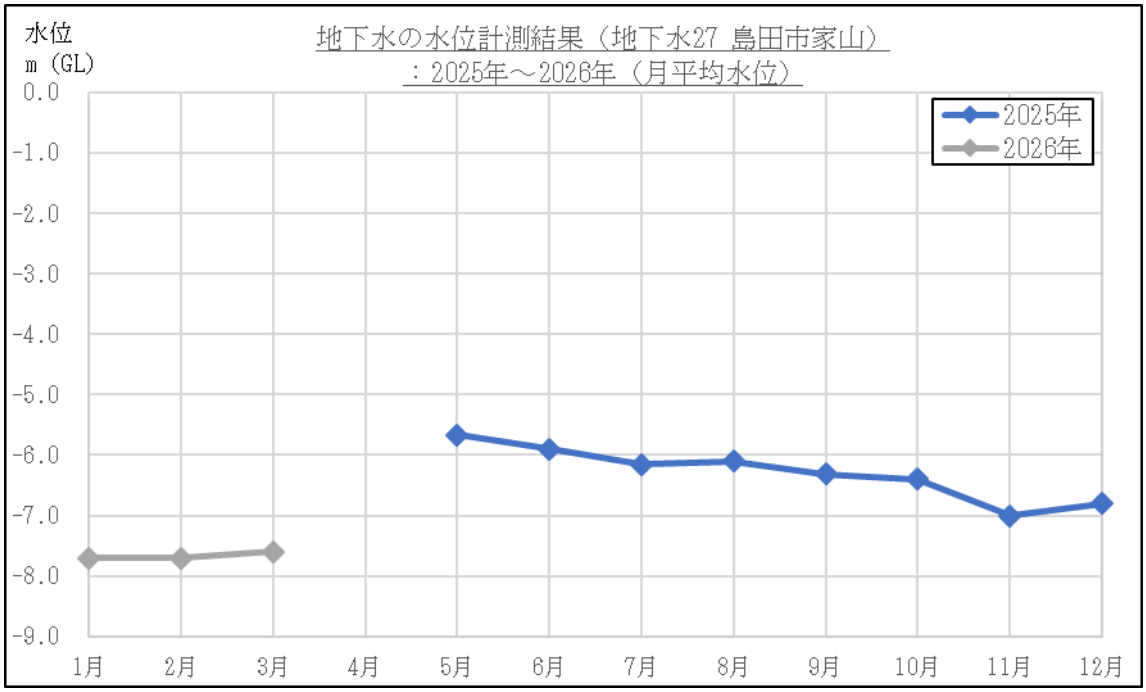


図 291　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 27 島田市家山

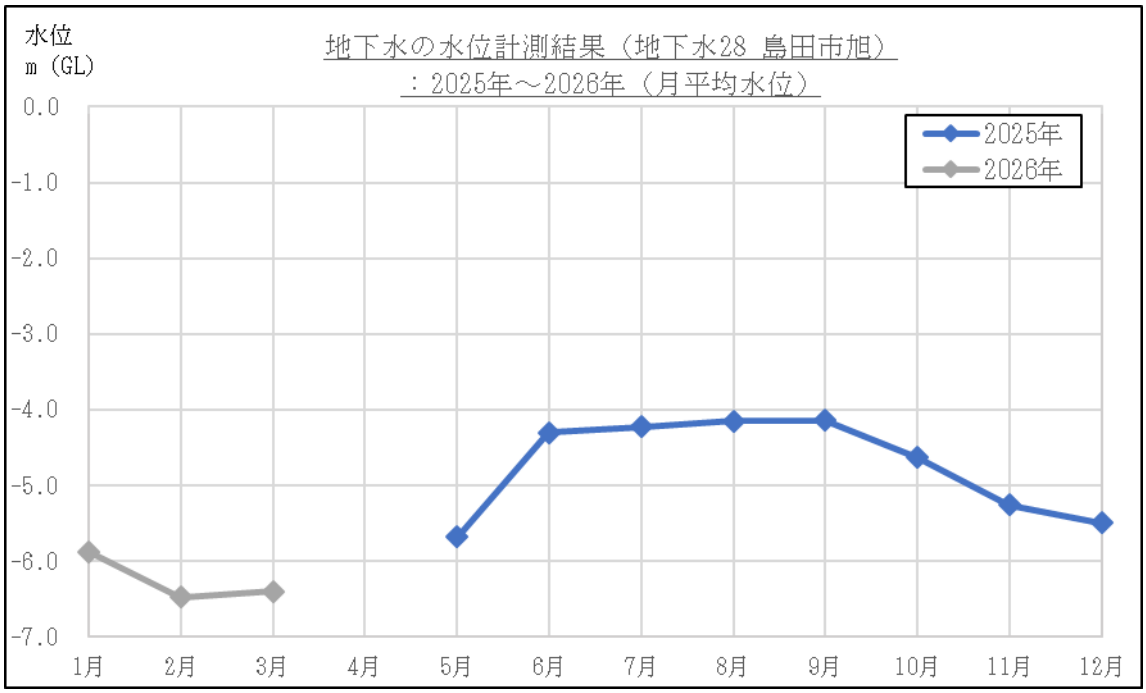


図 292　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 28 島田市旭

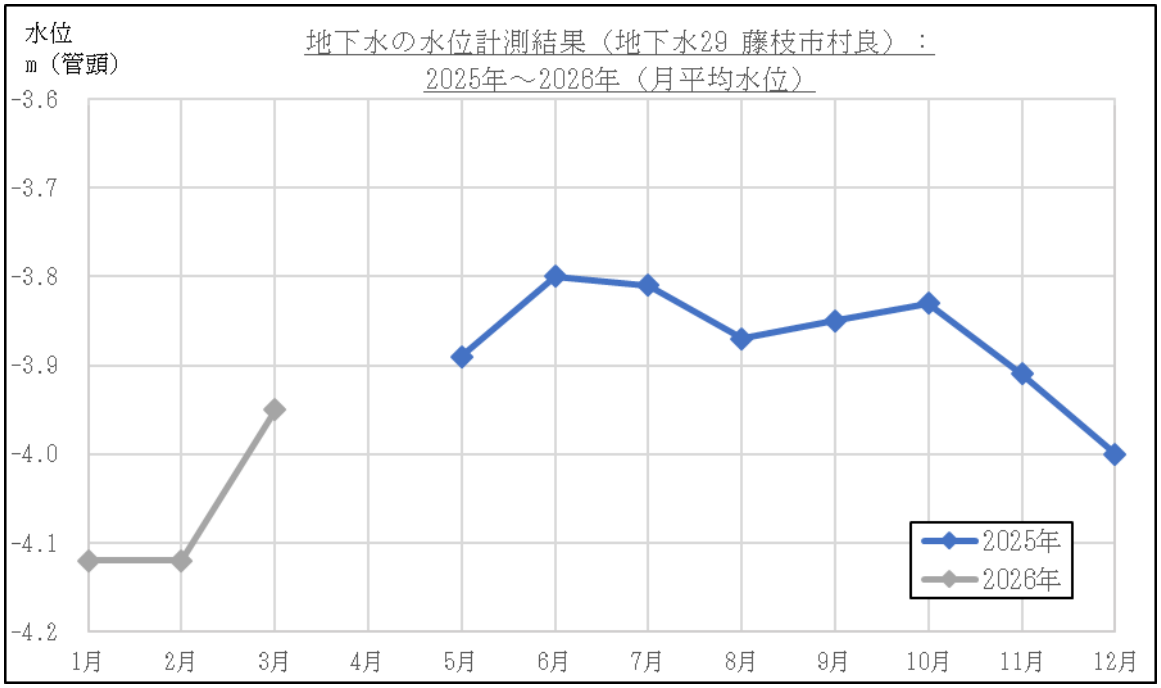


図 293　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 29 藤枝市村良

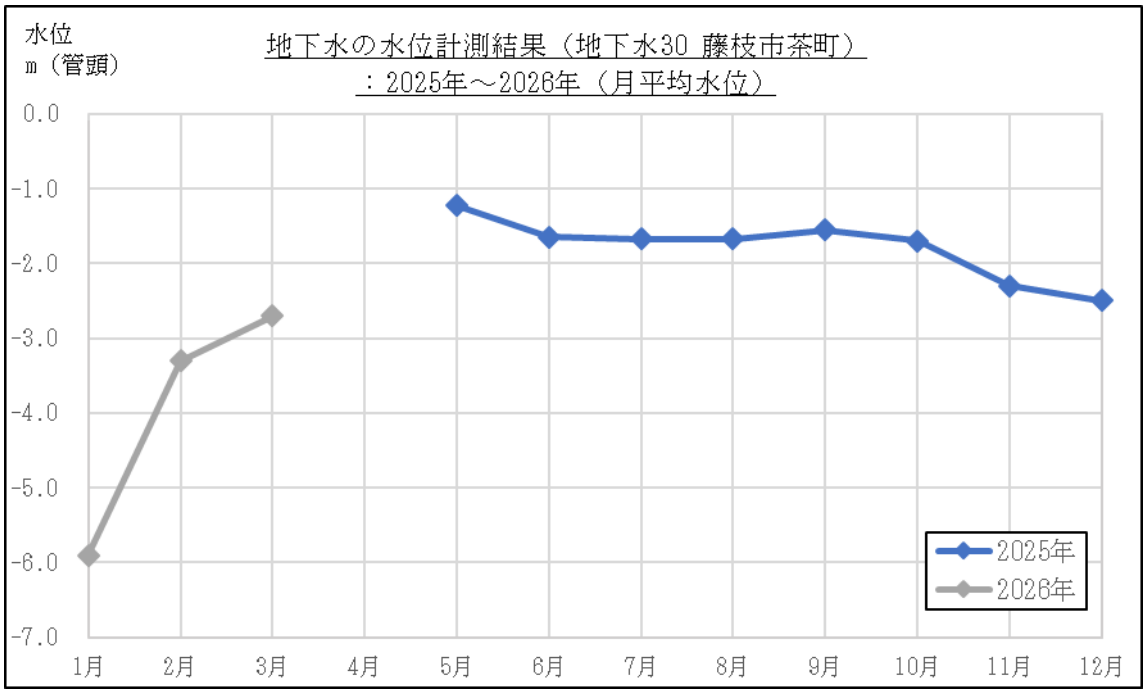


図 294　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 30 藤枝市茶町

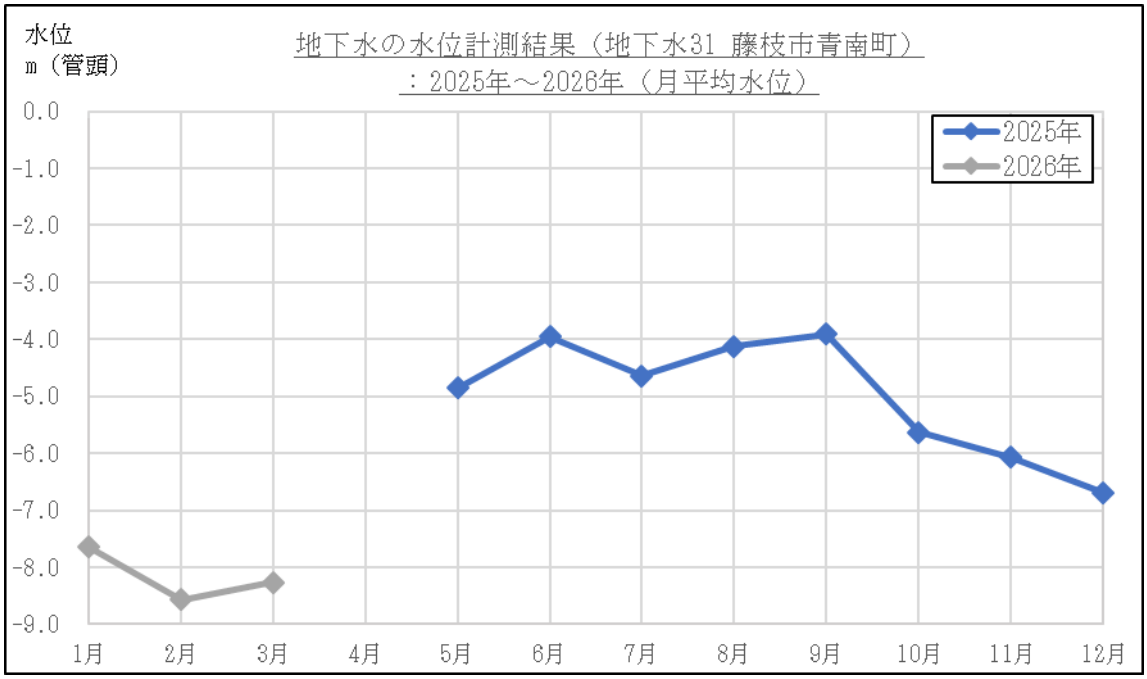


図 295　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 31 藤枝市青南町

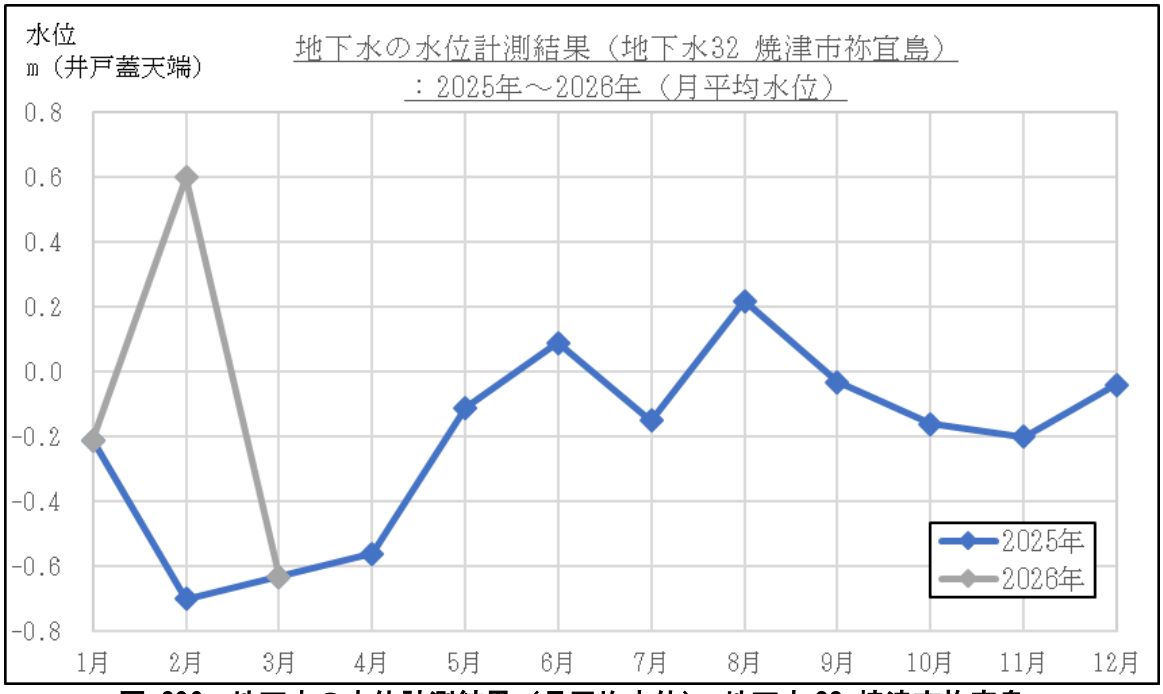


図 296　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 32 焼津市祢宜島

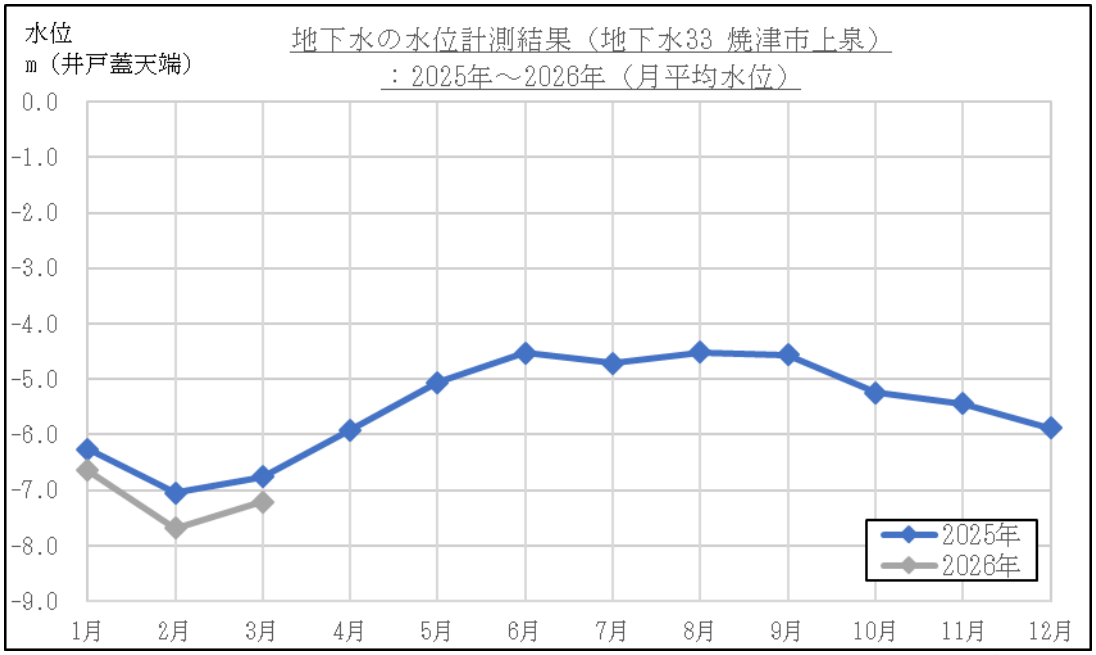


図 297　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 33 焼津市上泉

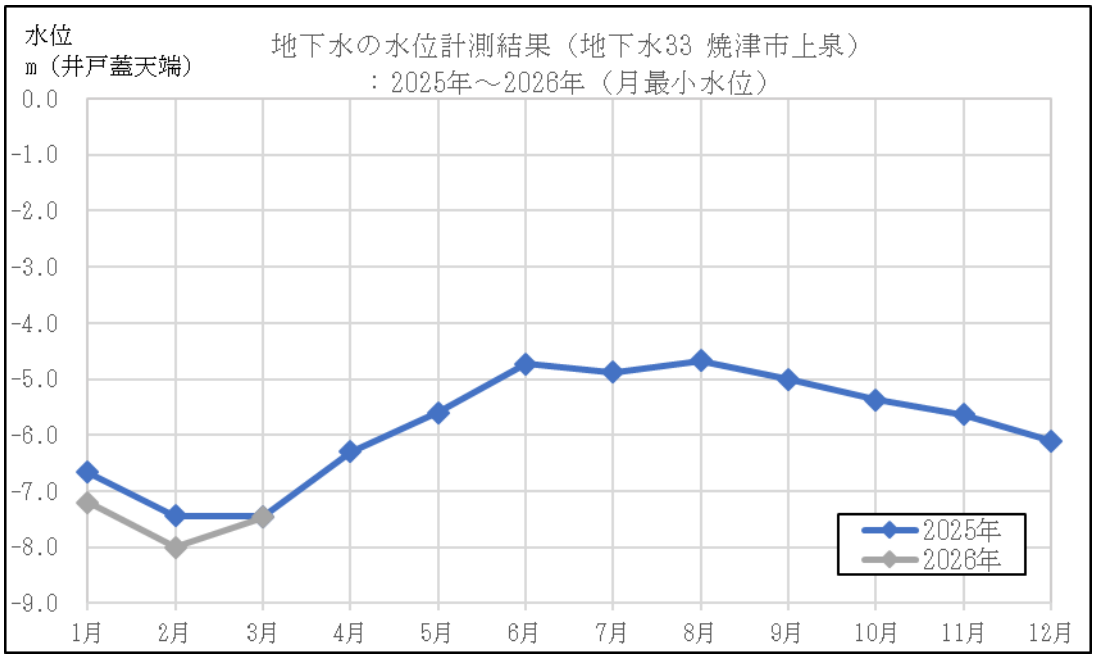


図 298　地下水の水位計測結果（月最小水位）：地下水 33 焼津市上泉

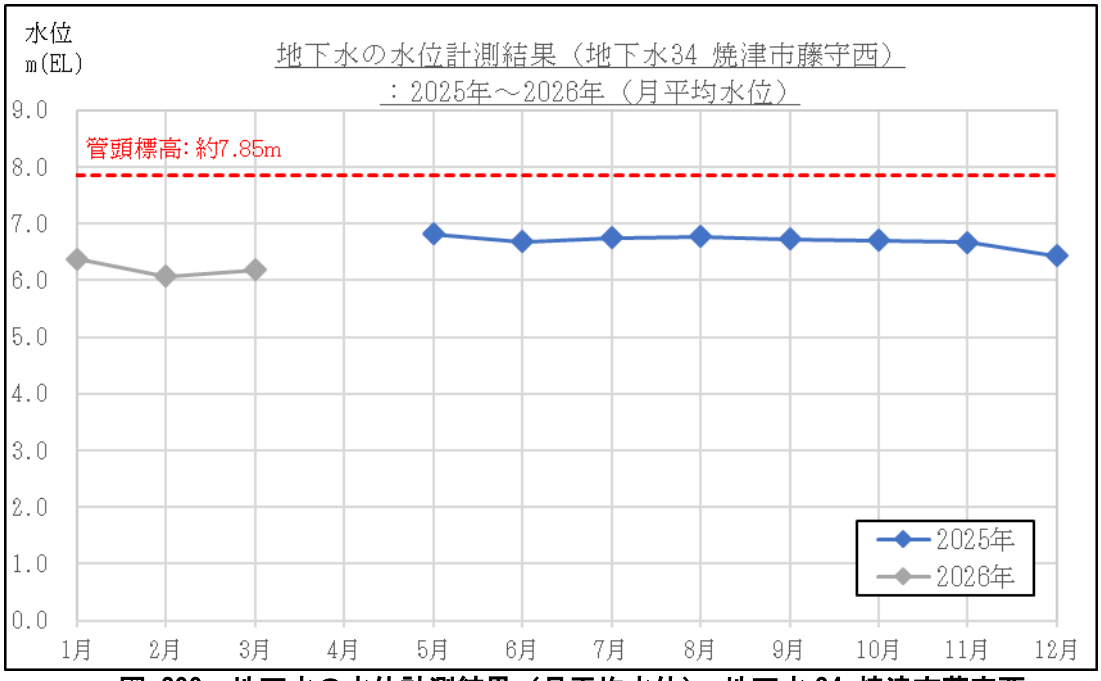


図 299　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 34 焼津市藤守西

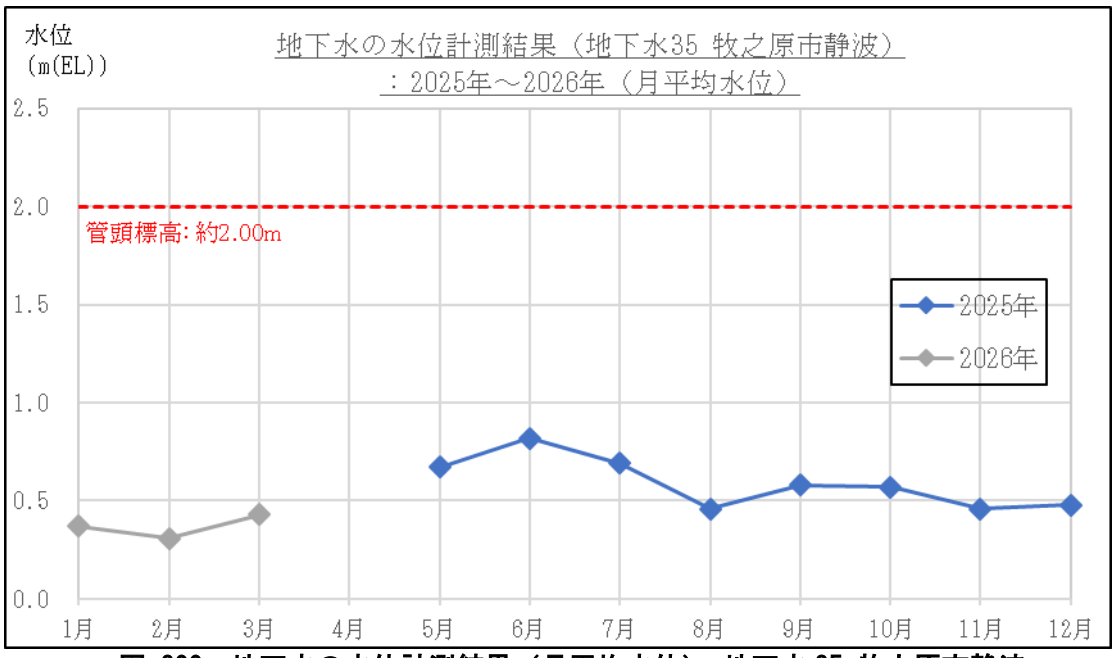


図 300　地下水の水位計測結果（月平均水位）：地下水 35 牧之原市静波

2.3.2.2 地下水の水質

地下水の水質の現地調査の結果は、表 236～表 241 に示します。

表 236　地下水の水質の計測結果

調査時期			調査項目					
			水温 (℃)	pH	電気伝導率 (EC) (mS/m)	透視度 (cm)	カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)
			総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)
地下水 12 島田市島	7 月期	2020 年度	17.4	6.7	24	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.02
	2 月期	2020 年度	17.5	6.8	13	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.04
		2024 年度	18.2	7.3	14	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	0.02
		2025 年度	18.0	7.5	14	47	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	0.02
地下水 13 島田市大柳	7 月期	2020 年度	17.8	7.2	15	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.02
	2 月期	2020 年度	15.9	7.4	13	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.04
		2024 年度	15.5	7.4	13	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.02
		2025 年度	16.7	7.5	14	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	0.03
地下水 14 吉田町大幡	7 月期	2020 年度	18.1	7.0	15	92	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.02
	2 月期	2020 年度	16.8	7.2	13	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.05
		2024 年度	17.3	7.1	13	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.02
		2025 年度	17.3	7.0	13	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	0.02

注：「<」は未満、「>」は以上を表します。

表 237　地下水の水質の計測結果

調査時期			調査項目					
			水温 (℃)	pH	電気伝導率 (EC) (mS/m)	透視度 (cm)	カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)
			総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)
地下水 15 吉田町川尻 B	7月期	2020年度	18.1	7.6	17	95	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.02
	2月期	2020年度	16.1	7.0	14	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.04
		2024年度	18.8	7.5	14	37	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.02
		2025年度	17.3	7.4	15	27	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	0.02
地下水 16 吉田町川尻 A	7月期	2020年度	17.4	7.3	16	80	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	0.3	0.02
	2月期	2020年度	15.8	7.3	13	38	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	0.3	0.04
		2024年度	16.3	7.5	14	30	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	0.23	<0.02
		2025年度	16.0	7.5	14	71	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	0.21	0.02
地下水 17 吉田町住吉	7月期	2020年度	19.4	7.3	25	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	0.2	0.02
	2月期	2020年度	17.8	7.3	20	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	0.2	0.03
		2024年度	18.5	7.5	16	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	0.17	<0.02
		2025年度	18.4	7.2	16	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	0.14	0.02

注：「<」は未満、「>」は以上を表します。

表 238　地下水の水質の計測結果

調査時期			調査項目					
			水温 (℃)	pH	電気伝導率 (EC) (mS/m)	透視度 (cm)	カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)
			総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)
地下水 18 牧之原市細江	7月期	2020年度	19	5.7	21	90	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	0.4	0.02
	2月期	2020年度	19.1	5.7	20	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	0.3	0.04
		2024年度	18.5	6.0	21	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	0.31	<0.02
		2025年度	19.3	6.5	20	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	0.14	0.07
地下水 19 島田市横井	7月期	2020年度	16.4	7.2	13	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.02
	2月期	2020年度	14.9	7.3	11	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.04
		2024年度	15.2	7.4	11	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.02
		2025年度	14.3	7.3	13	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	0.03
地下水 20 藤枝市大西町	7月期	2020年度	17.9	6.9	18	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.02
	2月期	2020年度	17.4	6.9	21	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.05
		2024年度	17.2	7.2	17	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.02
		2025年度	17.2	7.2	18	92	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	0.03

注：「<」は未満、「>」は以上を表します。

表 239　地下水の水質の計測結果

調査時期			調査項目					
			水温 (℃)	pH	電気伝導率 (EC) (mS/m)	透視度 (cm)	カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)
			総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)
地下水 21 藤枝市弥左エ門	7月期	2020年度	18.3	6.7	21	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.02
	2月期	2020年度	17.3	6.9	16	85	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.04
		2024年度	18	6.9	16	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.02
		2025年度	17.4	6.9	16	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	0.02
地下水 22 焼津市治長請所	7月期	2020年度	18.2	6.8	19	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.05
	2月期	2020年度	17.4	6.8	16	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.06
		2024年度	17.0	6.9	16	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	0.03
		2025年度	17.0	6.9	15	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	0.05
地下水 24 焼津市一色	7月期	2020年度	19.9	7.0	22	15	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.02
	2月期	2020年度	16.9	6.9	18	50	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.04
		2024年度	16.8	7.1	18	31	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.02
		2025年度	16.7	6.9	18	88	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	0.03

注：「<」は未満、「>」は以上を表します。

表 240　地下水の水質の計測結果

調査時期			調査項目					
			水温 (℃)	pH	電気伝導率 (EC) (mS/m)	透視度 (cm)	カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)
			総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)
地下水 25 焼津市藤守	7月期	2020年度	23	6.6	23	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.04
	2月期	2020年度	14	6.6	17	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.05
		2024年度	13.9	6.9	20	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.02
		2025年度	13.9	6.9	19	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	0.02
地下水 26 焼津市下江留	7月期	2020年度	17.4	7.2	19	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.02
	2月期	2020年度	16.3	7.3	15	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0003	<0.01	<0.0003	<0.01	<0.1	0.04
		2024年度	16.1	7.4	18	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	<0.02
		2025年度	16.4	7.2	17	>100	<0.0003	<0.01
			<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	0.03

注：「<」は未満、「>」は以上を表します。

表 241　地下水の水質の計測結果

調査時期		調査項目					
		水温 (℃)	pH	電気伝導率 (EC) (mS/m)	透視度 (cm)	カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)
		総水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)
地下水 27 島田市家山	2025 年度	15.0	6.8	−	−	<0.0003	<0.001
		<0.00005	<0.001	<0.001	<0.001	0.06	<0.1
地下水 28 島田市旭	2025 年度	17.2	7.2	−	−	<0.0003	<0.001
		<0.00005	<0.001	<0.001	<0.001	<0.05	<0.1
地下水 29 藤枝市村良	2025 年度	15.0	7.1	−	−	<0.0003	<0.001
		<0.00005	<0.001	<0.001	<0.001	0.08	0.2
地下水 30 藤枝市茶町	2025 年度	19.0	7.0	−	−	<0.0003	<0.001
		<0.00005	<0.001	<0.001	<0.001	0.07	<0.1
地下水 31 藤枝市青南町	2025 年度	17.5	6.6	−	−	<0.0003	<0.001
		<0.00005	<0.001	<0.001	<0.001	0.07	<0.1
地下水 32 焼津市祢宜島	2025 年度	17.5	6.6	−	−	<0.00015	<0.002
		<0.00005	0.0006	<0.0005	<0.0005	<0.05	0.05
地下水 33 焼津市上泉	2025 年度	20.5	7.0	−	−	<0.00015	<0.002
		<0.00005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.05	0.04
地下水 34 焼津市藤守西	2025 年度 （２月期）	16.6	7.2	17	>100	<0.0003	<0.01
		<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	<0.08	0.03
地下水 35 牧之原市静波	2025 年度 （２月期）	19.3	8.3	54	>100	<0.0003	<0.01
		<0.0005	<0.002	<0.005	<0.005	0.16	0.3

注：「<」は未満、「>」は以上を表します。

2.4 化学的な成分分析【事後調査及びモニタリング計画通し番号 55、56】

化学的な成分分析の結果については河川や湧水などの表流水と比較することで結果を確認するため、「別冊：1.【2-2-1 水質】に係る事後調査及びモニタリングの結果」にて掲載しています。

3.【2-2-3 水資源】に係る事後調査及びモニタリングの結果

3.1 大井川上流域の河川・沢流量（時間１回計測）

【事後調査及びモニタリング計画通し番号 57、58、63、64、66、106、111，114、120】

3.1.1調査期間

大井川上流域の河川・沢流量（時間１回計測）の調査期間を表 242 に示します。

表 242 調査期間（時間１回計測）

調査項目	調査地点	調査期間
流量	河 02 西俣（放流箇所下流）	2015 年７月～2026 年２月
	河 03 東俣第一測水所	2008 年４月～2024 年 12 月
	河 08-2 千石（放流箇所下流）	2024 年４月～2026 年２月
	河 09 木賊測水所	2008 年４月～2024 年 12 月
	河 10-3 椹島（放流箇所下流②）	2024 年４月～2026 年２月
	沢 07 蛇抜沢	2024 年４月～2026 年２月
	沢 09 悪沢	2024 年４月～2026 年２月
	沢 17 スリバチ沢	2024 年４月～2026 年２月
流入量	河 11 赤石ダム	2010 年４月～2025 年 12 月
	河 12 畑薙第一ダム	2008 年４月～2025 年 12 月

注１：「河 03 東俣第一測水所」、「河 09 木賊測水所」、「河 11 赤石ダム」、「河 12 畑薙第一ダム」は電力会社による計測結果を使用しています。

注２：「河 11 赤石ダム」及び「河 12 畑薙第一ダム」について、流入量は電力会社により常時計測されているが、上流部の発電所からの放流による人為的な変異が生じるため、月平均流量に換算した値を参考値として記載しています。

注３：「河 03 東俣第一測水所」及び「河 09 木賊測水所」について、電力会社から経済産業省へ報告済みの結果（～2024 年 12 月）について記載しています。

注４：「河 11 赤石ダム」及び「河 12 畑薙第一ダム」について、電力会社から国土交通省へ報告済みの結果（～2025 年 12 月）について記載しています。

3.1.2 河 02 西俣（放流箇所下流）

3.1.2.1 調査結果（過年度）

河 02 西俣（放流箇所下流）の調査結果を表 243 及び図 301 に示します。

表 243 調査結果（過年度）（河 02 西俣（放流箇所下流））

調査年度	河 02 西俣（放流箇所下流） 流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2015年度	112.7	1503.0	36.0
2016 年度	125.4	3486.0	33.6
2017 年度	168.4	3022.2	31.8
2018 年度	221.7	2810.4	24.0
2019 年度	130.8	2770.2	8.4
2020 年度	297.8	3584.4	30.0
2021 年度	158.4	3211.2	21.0
2022 年度	97.9	1362.0	32.4
2023 年度	137.4	2454.0	9.6
2024 年度	126.6	1597.8	29.4
2025 年度	89.3	1612.8	19.2
平均	151.5	3584.4	8.4

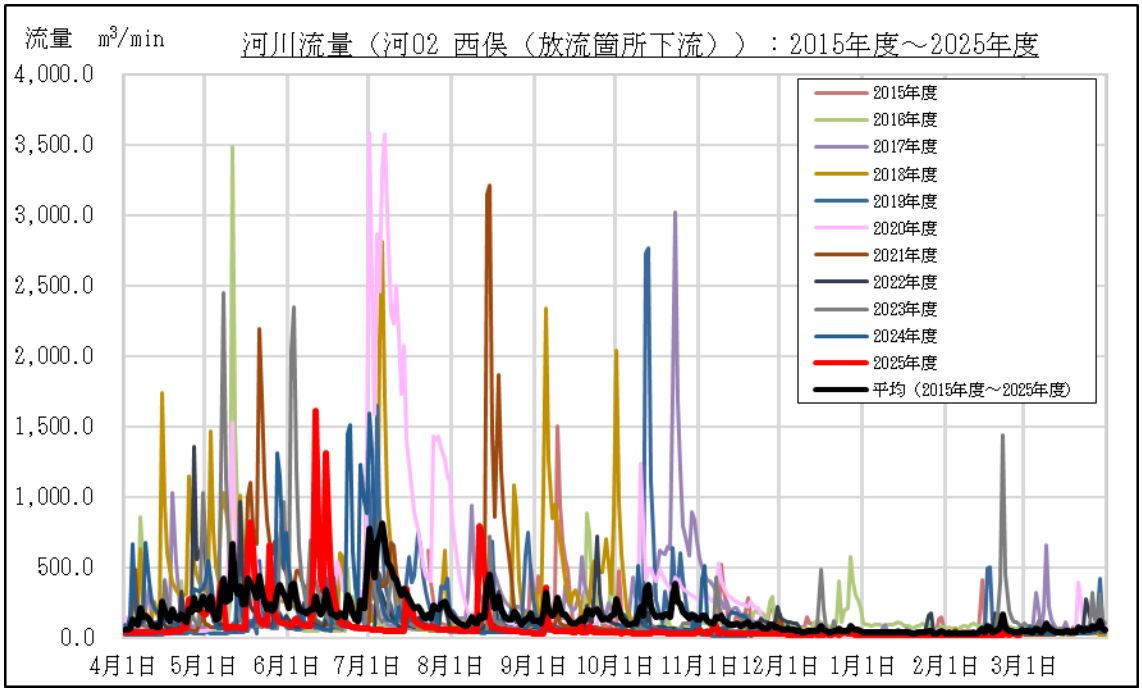


図 301 調査結果（過年度）（河 02 西俣（放流箇所下流））

3.1.3 河 03 東俣第一測水所

3.1.3.1 調査結果（過年度）

河 03 東俣第一測水所の調査結果を表 244 及び図 302 に示します。

表 244 調査結果（過年度）（河 03 東俣第一測水所）

調査年度	河 03 東俣第一測水所		
	流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2008年度	82.5	1116.6	17.4
2009 年度	108.9	2067.6	13.8
2010 年度	108.2	1772.4	22.8
2011 年度	208.7	7795.8	25.2
2012 年度	113.5	2050.8	29.4
2013 年度	79.0	1854.6	19.2
2014 年度	82.0	1014.6	27.6
2015 年度	132.0	1956.6	34.2
2016 年度	91.4	1936.2	31.8
2017 年度	139.2	2507.4	22.2
2018 年度	161.5	2760.0	12.6
2019 年度	182.0	4390.8	17.4
2020 年度	285.0	2887.8	17.4
2021 年度	110.9	1997.4	31.8
2022 年度	63.9	979.2	9.0
2023 年度	113.3	2818.8	19.8
2024 年度	106.5	981.6	23.4
平均	127.6	7795.8	9.0

注：電力会社による常時計測の結果を使用しており、電力会社から経済産業省へ報告済みの計測結果（～2024 年 12 月）について記載しています。

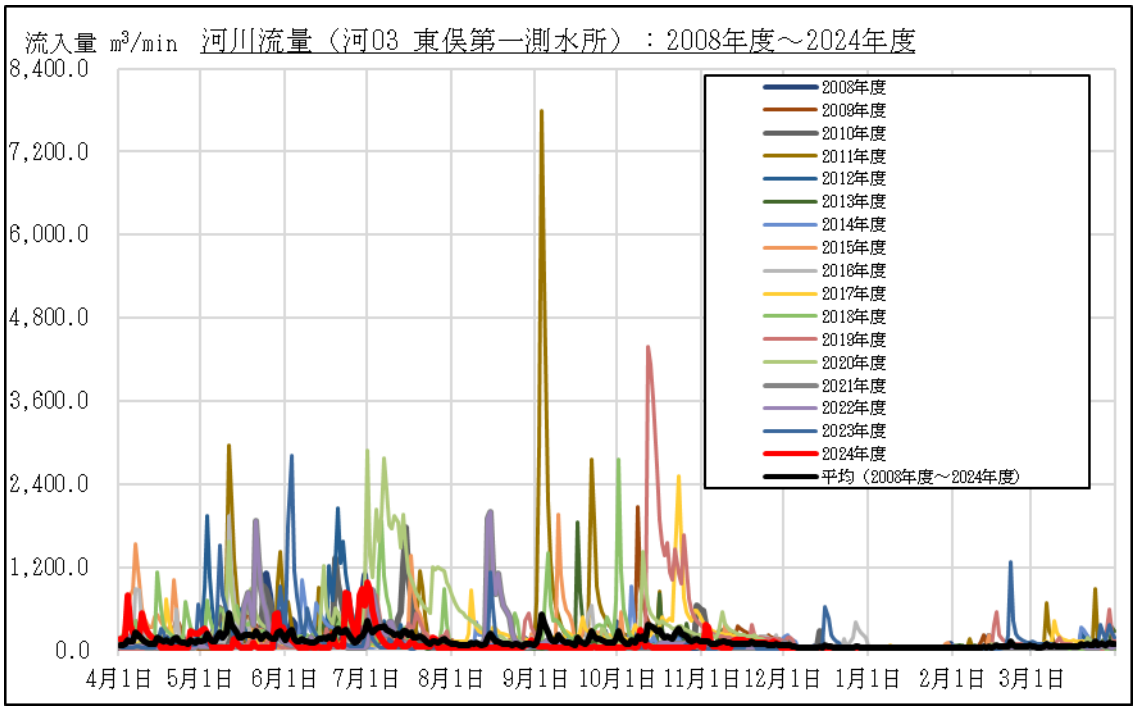


図 302 調査結果（過年度）（河 03 東俣第一測水所）

3.1.4 河 08-2 千石（放流箇所下流）

3.1.4.1 調査結果（過年度）

河 08-2 千石（放流箇所下流）の調査結果を表 245 及び図 303 に示します。

表 245 調査結果（過年度）（河 08-2 千石（放流箇所下流））

調査年度	河 08-2 千石（放流箇所下流） 流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2024 年度	405.5	1282.6	92.9
2025 年度	415.7	1702.6	65.0
平均	410.6	1702.6	65.0

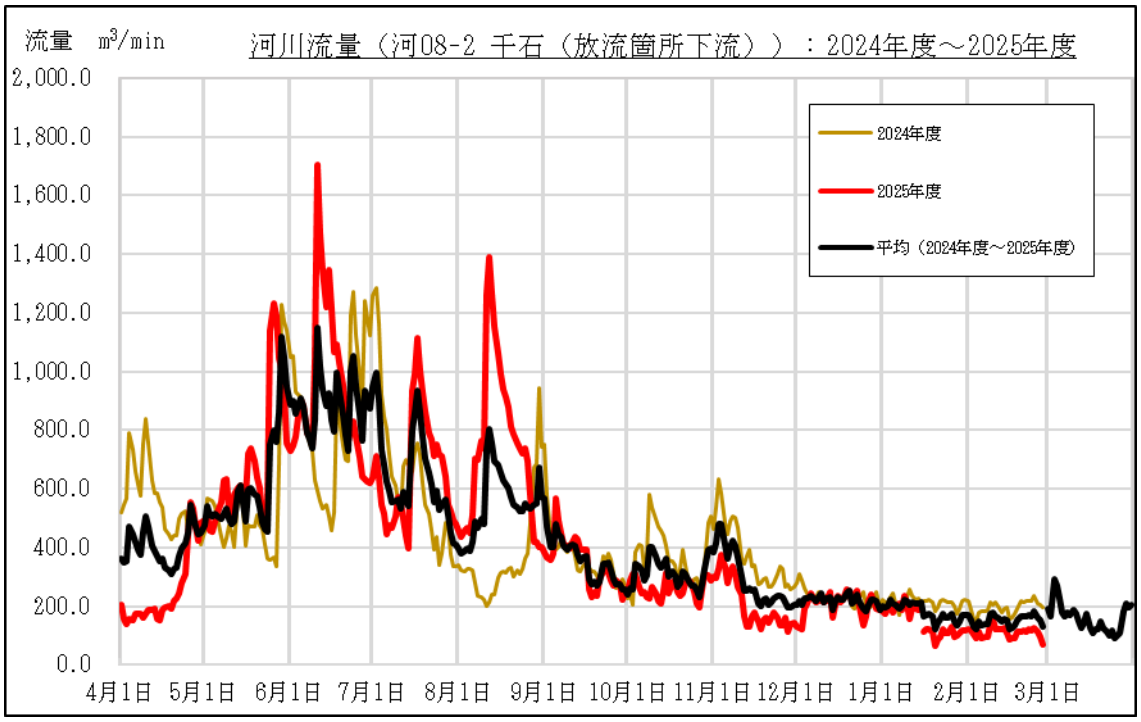


図 303 調査結果（過年度）（河 08-2 千石（放流箇所下流））

3.1.5 河 09 木賊測水所

3.1.5.1 調査結果（過年度）

河 09 木賊測水所の調査結果を表 246 及び図 304 に示します。

表 246 調査結果（過年度）（河 09 木賊測水所）

調査年度	河 09 木賊測水所		
	流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2008年度	323.1	3928.8	47.4
2009 年度	452.6	4785.0	52.2
2010 年度	519.8	5199.6	59.4
2011 年度	1484.9	22321.2	104.4
2012 年度	191.6	1822.8	106.2
2013 年度	378.5	3082.2	132.0
2014 年度	456.7	5682.0	147.6
2015 年度	782.9	8134.2	51.0
2016 年度	517.4	8830.8	80.4
2017 年度	513.9	12957.0	52.2
2018 年度	624.5	8175.6	48.6
2019 年度	652.6	4096.8	102.6
2020 年度	101.6	1254.6	31.2
2021 年度	451.2	6040.8	52.8
2022 年度	302.4	3264.6	59.4
2023 年度	635.3	5722.8	57.0
2024 年度	839.5	3792.6	171.0
平均	542.9	22321.2	31.2

注：電力会社による常時計測の結果を使用しており、電力会社から経済産業省へ報告済みの計測結果（～2024 年 12 月）について記載しています。

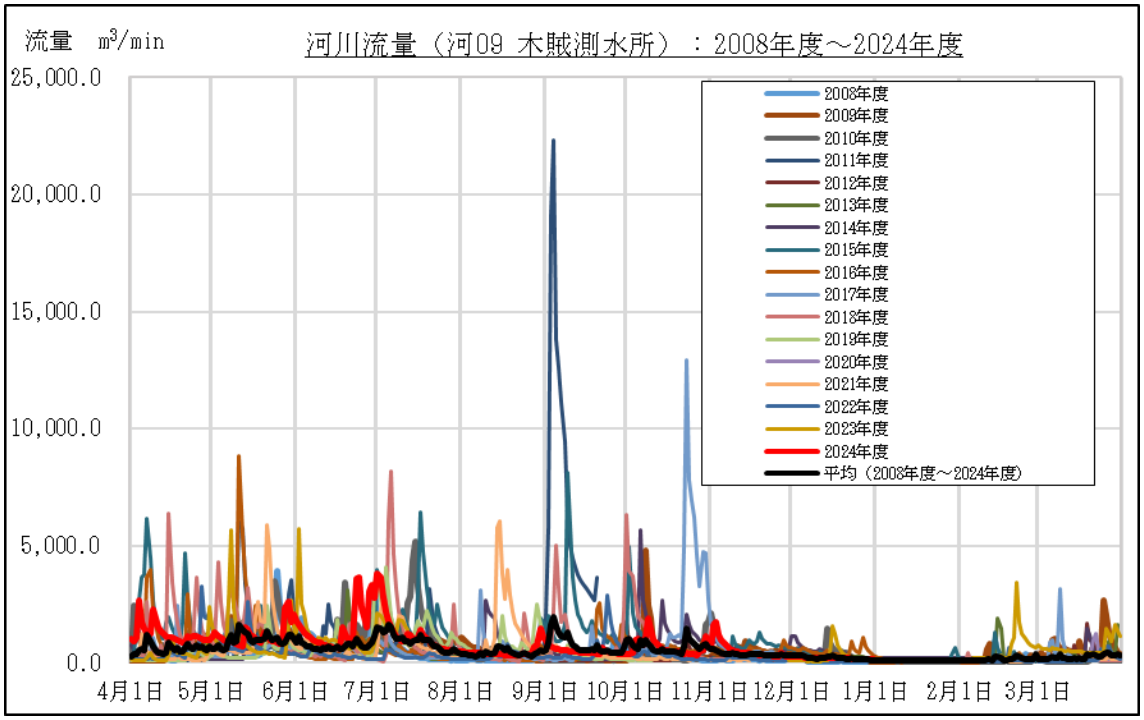


図 304 調査結果（過年度）（河 09 木賊測水所）

・2019 年度について、2019 年 4 月～2019 年 10 月の結果を記載しています。
・2020 年度について、2021 年 1 月～2021 年 3 月の結果を記載しています。
・2023 年度について、2023 年 4 月～2023 年 7 月、2023 年 12 月の結果を記載しています。

3.1.6 河 10-3 椹島（放流箇所下流②）

3.1.6.1 調査結果（過年度）

河 10-3 椹島（放流箇所下流②）の調査結果を表 247 及び図 305 に示します。

表 247 調査結果（過年度）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））

調査年度	河 10-3 椹島（放流箇所下流②）		
	流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2024 年度	127.3	513.7	45.9
2025 年度	130.9	807.6	21.2
平均	129.1	807.6	21.2

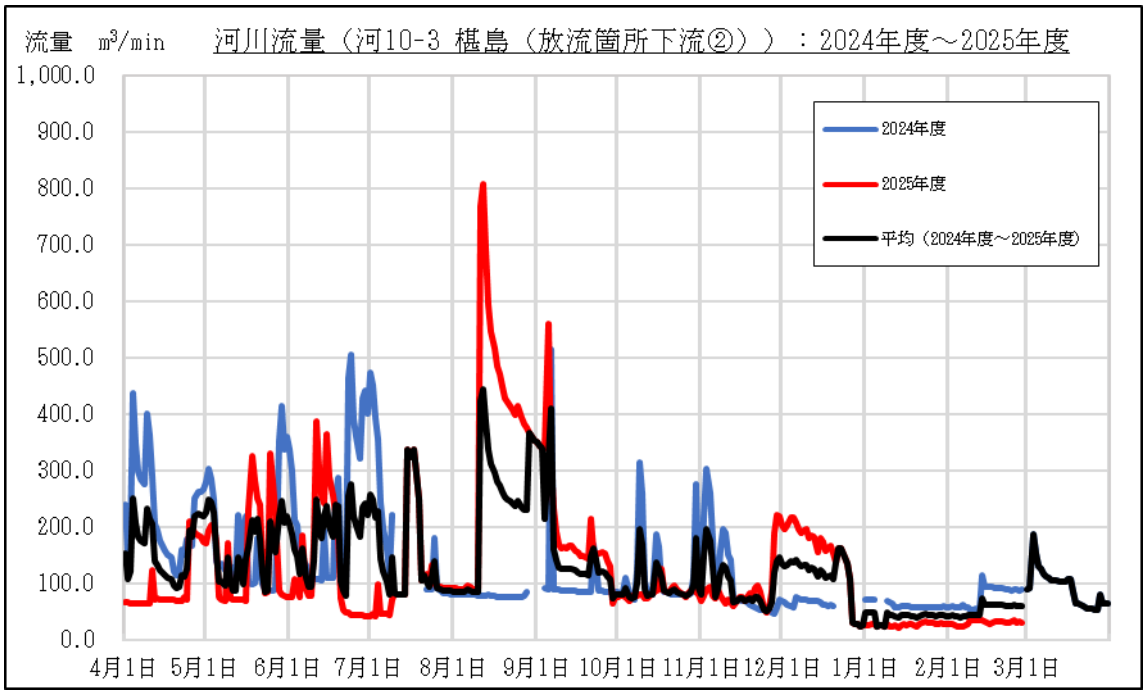


図 305 調査結果（過年度）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））

・2024 年 7 月から 9 月、12 月から 2025 年 1 月は日射不足によるバッテリ低下のため欠測しています。

3.1.7 沢 07 蛇抜沢

3.1.7.1 調査結果（過年度）

沢 07 蛇抜沢の調査結果を表 248 及び図 306 に示します。

表 248 調査結果（過年度）（沢 07 蛇抜沢）

調査年度	沢 07 蛇抜沢 流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2024 年度	25.4	77.8	6.5
2025 年度	23.7	224.0	1.6
平均	24.6	224.0	1.6

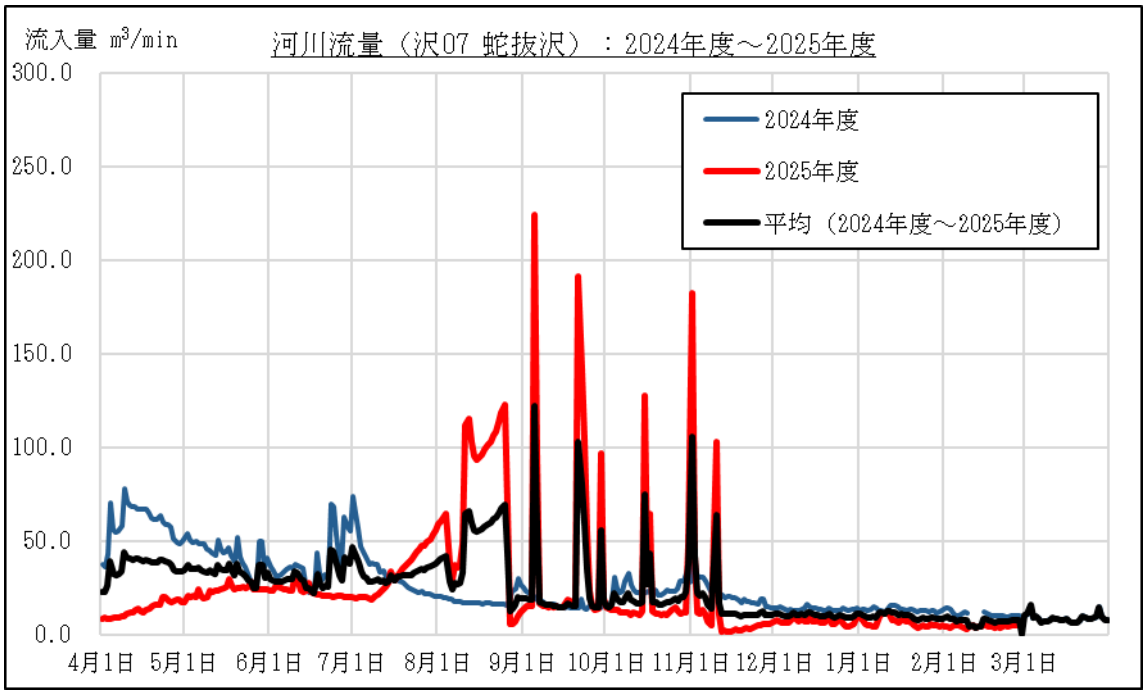


図 306 調査結果（過年度）（沢 07 蛇抜沢）

・2025年2月は、降雨等により河川に流れ込んだ土砂で計測機器のセンサ部が埋没したため欠測しています。

3.1.8 沢 09 悪沢

3.1.8.1 調査結果（過年度）

沢 09 悪沢の調査結果を表 249 及び図 307 に示します。

表 249 調査結果（過年度）（沢 09 悪沢）

調査年度	沢 09 悪沢 流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2024 年度	23.9	124.2	1.2
2025 年度	20.7	182.0	3.9
平均	22.30	182.0	1.2

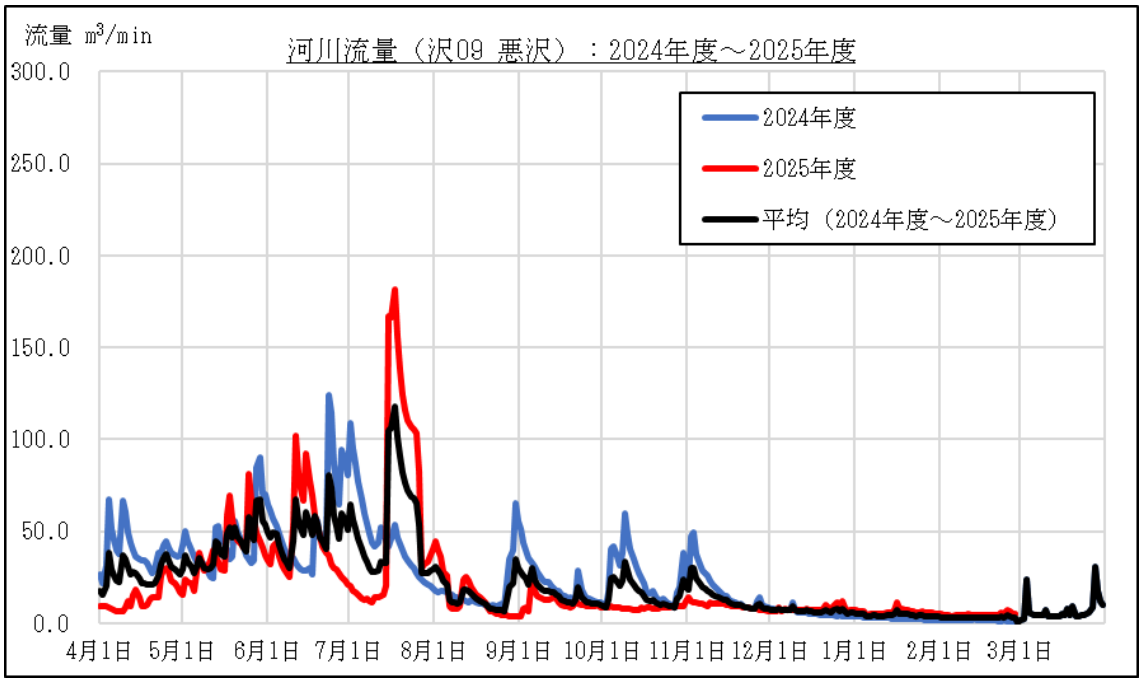


図 307 調査結果（過年度）（沢 09 悪沢）

3.1.9 沢 17 スリバチ沢

3.1.9.1 調査結果（過年度）

沢 17 スリバチ沢の調査結果を表 250 及び図 308 に示します。

表 250 調査結果（過年度）（沢 17 スリバチ沢）

調査年度	沢 17 スリバチ沢 流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2024 年度	2.8	14.5	＜0.01
2025 年度	2.3	9.8	0.02
平均	2.6	14.5	＜0.01

注１：「く」は未満を示します。

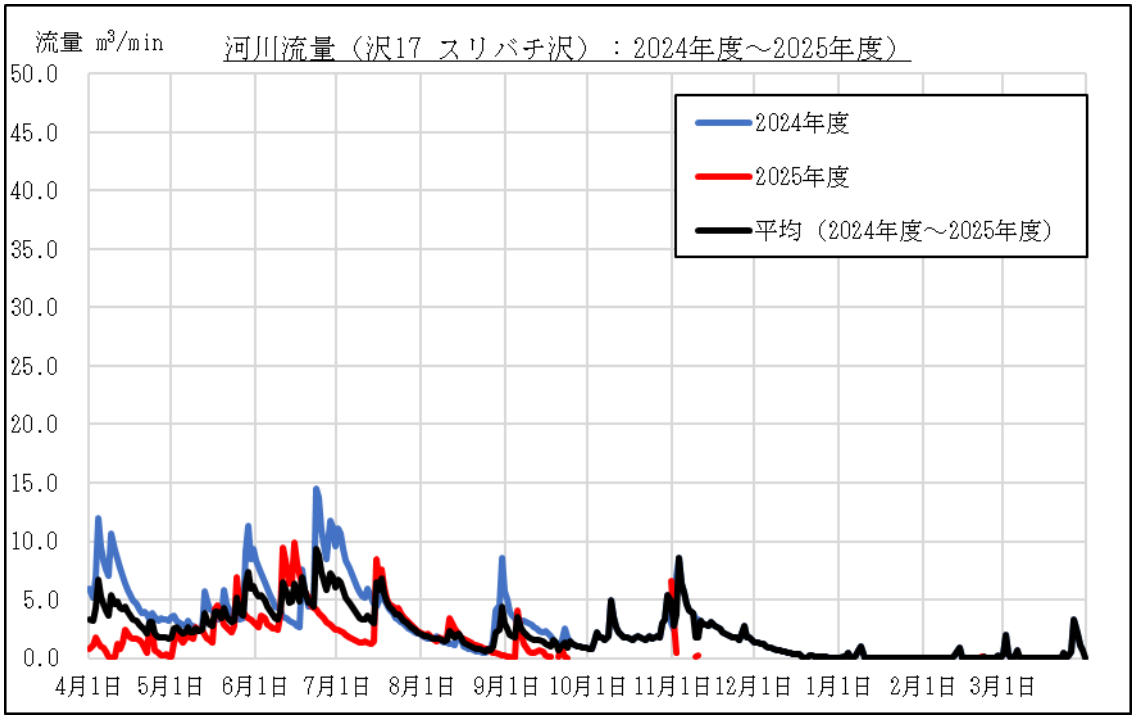


図 308 調査結果（過年度）（沢 17 スリバチ沢）

・例年9月中旬から3月下旬までの一部期間において、沢の流量が極めて少なく、水面が水位計のセンサ部まで届かなかったため、欠測しています。

3.1.10 河 11 赤石ダム

3.1.10.1 調査結果（過年度）

河 11 赤石ダムの調査結果を表 251 及び図 309 に示します。

表 251 調査結果（過年度）（河 11 赤石ダム）

調査年度	河 11 赤石ダム		
	流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2010年度	372.8	771.2	82.7
2011 年度	474.5	1442.3	72.2
2012 年度	264.0	800.3	81.6
2013 年度	269.4	566.2	36.9
2014 年度	264.3	462.4	66.8
2015 年度	400.5	1034.5	124.2
2016 年度	292.2	737.1	63.2
2017 年度	322.1	718.4	53.7
2018 年度	422.3	954.8	59.0
2019 年度	664.4	1381.0	157.7
2020 年度	575.9	2339.8	77.5
2021 年度	525.1	1237.1	90.1
2022 年度	463.1	820.8	112.2
2023 年度	482.4	1201.5	129.3
2024 年度	693.8	1285.7	101.2
2025 年度	643.7	1235.1	166.2
平均	445.7	2339.8	36.9

注１：上流部の発電所からの放流による人為的な変動が生じるため、月平均流量に換算した値を参考値として記載しています。

注２：電力会社から国土交通省へ報告済みの結果（～2025 年 12 月）について記載しています。

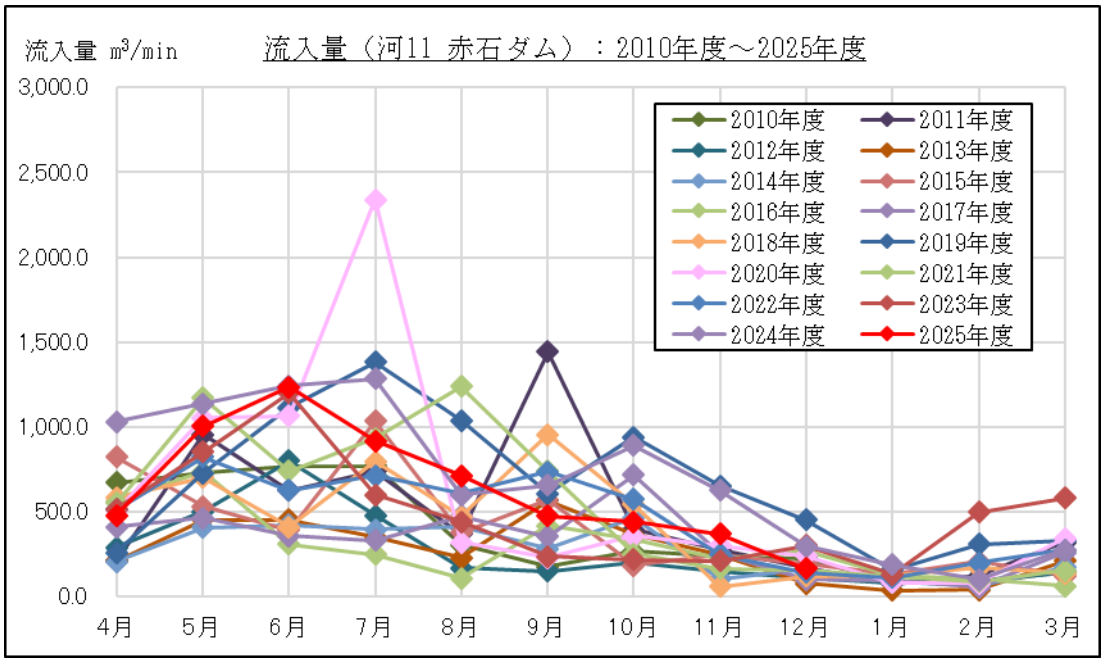


図 309 調査結果（過年度）（河 11 赤石ダム）

・上流部の発電所からの放流による人為的な変動が生じるため、月平均流量に換算した値を参考値として記載しています。

3.1.11 河 12 畑薙第一ダム

3.1.11.1 調査結果（過年度）

河 12 畑薙第一ダムの調査結果を表 252 及び図 310 に示します。

表 252 調査結果（過年度）（河 12 畑薙第一ダム）

調査年度	河 12 畑薙第一ダム		
	流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2008年度	1116.7	2640.6	298.9
2009 年度	1465.7	2773.1	380.2
2010 年度	1589.3	3559.2	366.9
2011 年度	2275.7	8094.7	318.4
2012 年度	1285.7	3709.3	414.7
2013 年度	1272.5	2559.9	411.7
2014 年度	1282.0	2613.1	305.6
2015 年度	1833.5	4779.1	547.5
2016 年度	1378.9	3126.2	361.5
2017 年度	1365.5	3757.4	284.7
2018 年度	1787.7	4289.2	321.9
2019 年度	1744.0	4376.1	503.9
2020 年度	2035.4	10908.1	313.6
2021 年度	1399.8	4505.9	248.2
2022 年度	1124.4	2450.6	331.0
2023 年度	1561.3	4264.7	444.5
2024 年度	1721.5	3732.5	330.9
2025 年度	1556.2	3279.9	520.7
平均	1544.2	10908.1	248.2

注１：上流部の発電所からの放流による人為的な変動が生じるため、月平均流量に換算した値を参考値として記載しています。

注２：電力会社から国土交通省へ報告済みの結果（～2025 年 12 月）について記載しています。

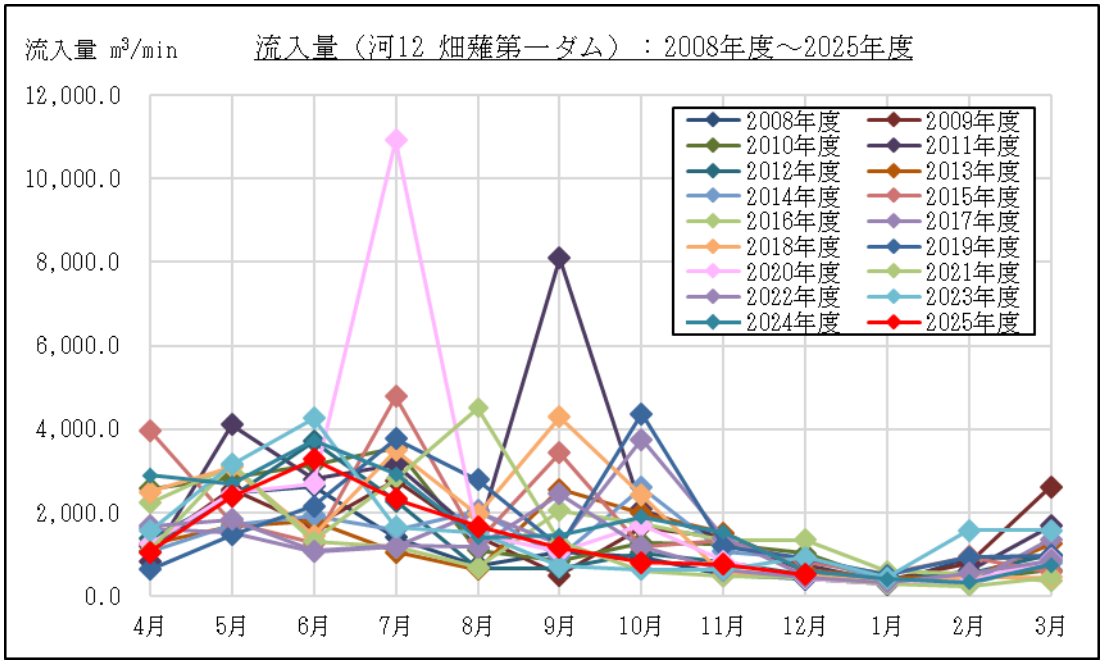


図 310 調査結果（過年度）（河 12 畑薙第一ダム）

・上流部の発電所からの放流による人為的な変動が生じるため、月平均流量に換算した値を参考値として記載しています。

3.2 大井川上流域の河川・沢流量（月１回計測）

【事後調査及びモニタリング計画通し番号 59、67、68、110、119】

3.2.1調査期間

大井川上流域の河川・沢流量（月１回計測）の調査期間を表 253～表 255 に示します。

表 253 調査期間（月１回計測（2014 年度～2017 年度））

調査地点	調査年度	調査期間
河 01 西俣堰堤上流 河 04 東俣堰堤上流 河 06 田代ダム上流 河 07 田代ダム下流 沢 07 蛇抜沢	2014 年度	2014 年５月 27 日～５月 31 日 2014 年６月 17 日～６月 19 日 2014 年７月８日～７月 10 日 2014 年８月 26 日～８月 27 日、８月 29 日 2014 年９月 23 日～９月 25 日 2014 年 10 月 25 日～10 月 27 日 2014 年 11 月４日～11 月６日 2014 年 12 月２日～12 月５日、12 月 11 日
河 01 西俣堰堤上流 河 04 東俣堰堤上流 河 06 田代ダム上流 河 07 田代ダム下流 河 10-2 椹島（放流箇所下流①） （2015 年 12 月開始）※２ 沢 07 蛇抜沢 沢 33 北俣・中俣合流部付近 （2015 年 6 月開始）※１	2015 年度	2015 年４月 28 日～５月１日 2015 年５月 22 日～５月 24 日 2015 年６月 28 日～６月 30 日 2015 年８月３日～８月５日 2015 年８月 25 日～８月 27 日 2015 年９月 23 日～９月 25 日 2015 年 10 月６日～10 月８日 2015 年 11 月４日～11 月６日 2015 年 12 月１日～12 月３日
	2016 年度	2016 年４月 28 日～５月１日 2016 年５月 18 日～５月 20 日、５月 29 日～５月 30 日 2016 年６月７日～６月９日 2016 年７月４日～７月７日 2016 年８月１日～８月３日 2016 年９月６日～９月８日 2016 年 10 月４日～10 月７日 2016 年 11 月３日～11 月５日 2016 年 12 月２日～12 月４日
	2017 年度	2017 年４月 28 日～４月 30 日 2017 年５月 16 日～５月 19 日 2017 年６月６日～６月７日、６月９日 2017 年７月４日、７月６日 ～ ７月７日 2017 年８月２日～８月４日 2017 年９月５日～９月７日 2017 年 10 月３日～10 月５日 2017 年 11 月３日～11 月４日、11 月 17 日、11 月 19 日 2017 年 12 月４日～12 月６日

注１：「※１」は大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015年６月以降に事後調査（月１回計測）地点として追加しています。

注２：「※２」は大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015 年 12 月以降にモニタリング（年２回計測）から事後調査（月１回計測）に変更しています。

表 254 調査期間（月１回計測（2018 年度～2021 年度））

調査地点	調査年度	調査期間
河 01 西俣堰堤上流 河 04 東俣堰堤上流 河 06 田代ダム上流 河 07 田代ダム下流 河 10-2 椹島（放流箇所下流①）（2015 年 12 月開始）※２ 沢 07 蛇抜沢 沢 33 北俣・中俣合流部付近（2015 年 6 月開始）※１	2018 年度	2018 年５月 10 日～５月 13 日 2018 年５月 24 日～５月 26 日 2018 年６月５日～６月７日 2018 年７月３日、７月４日、７月 18 日、７月 19 日 2018 年８月１日～８月４日 2018 年９月 19 日～９月 21 日 2018 年 10 月 16 日～10 月 19 日 2018 年 11 月２日～11 月５日 2018 年 12 月２日～12 月４日 2019 年１月 16 日、１月 17 日 2019 年２月 13 日、２月 14 日 2019 年３月 12 日、３月 13 日
	2019 年度	2019 年４月 30 日～2019 年５月２日 2019 年５月 14 日、５月 15 日 2019 年６月４日、６月５日 2019 年７月 12 日、７月 13 日、７月 31 日 2019 年８月１日～８月４日 2019 年９月４日、９月５日 2019 年 10 月２日、10 月３日 2019 年 11 月 20 日 ～ 11 月 22 日 2019 年 12 月５日、12 月６日 2020 年１月 21 日、１月 22 日 2020 年２月 11 日、２月 12 日 2020 年３月 10 日、３月 12 日、３月 13 日
河 01 西俣堰堤上流 河 04 東俣堰堤上流 河 06 田代ダム上流 河 07 田代ダム下流 河 10-2 椹島（放流箇所下流①）（2015 年 12 月開始）※２ 沢 07 蛇抜沢 沢 32 赤石沢（2021 年１月以降）※３ 沢 33 北俣・中俣合流部付近（2015 年 6 月開始）※１	2020 年度	2020 年５月 28 日～５月 30 日 2020 年６月９日、６月 10 日 2020 年８月 25 日～８月 27 日、８月 29 日 2020 年９月 15 日、９月 16 日 2020 年 10 月６日、10 月７日 2020 年 11 月１日～11 月４日 2020 年 12 月 15 日～12 月 17 日 2021 年１月 19 日、１月 20 日 2021 年２月２日、２月３日 2021 年３月２日～３月４日
	2021 年度	2021 年４月 13 日～４月 15 日 2021 年５月 11 日～５月 13 日 2021 年６月８日、６月９日 2021 年７月 13 日、７月 14 日、７月 31 日 2021 年８月１日～８月３日 2021 年９月 14 日、９月 15 日 2021 年 10 月 12 日～10 月 14 日 2021 年 11 月 12 日～11 月 15 日 2021 年 12 月 14 日、12 月 15 日 2022 年１月 12 日～１月 14 日 2022 年３月 12 日、３月 13 日

注１：「※１」は大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015年６月以降に事後調査（月１回計測）地点として追加しています。

注２：「※２」は大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015年12月以降にモニタリング（年２回計測）から事後調査（月１回計測）に変更しています。

注３：「※３」は有識者会議での議論を踏まえて、2021 年１月から月１回計測地点に追加しています。

表 255 調査期間（月１回計測（2022 年度～2025 年度））

調査地点	調査年度	調査期間
河 01 西俣堰堤上流 河 04 東俣堰堤上流 河 06 田代ダム上流 河 07 田代ダム下流 河 10-2 椹島（放流箇所下流①） （2015 年 12 月開始）※２ 沢 07 蛇抜沢 沢 32 赤石沢（2021 年１月以降）※３ 沢 33 北俣・中俣合流部付近 （2015 年６月開始）※１	2022 年度	2022 年４月 14 日～４月 16 日 2022 年５月 10 日、５月 11 日 2022 年６月１日、６月２日 2022 年７月１日～７月３日 2022 年８月 10 日～８月 12 日 2022 年９月１日～９月３日 2022 年 10 月 27 日、10 月 28 日 2022 年 11 月 10 日～11 月 12 日、11 月 30 日 2022 年 12 月１日～12 月３日、12 月 15 日 2023 年１月 11 日、１月 12 日 2023 年２月２日、２月３日 2023 年３月２日、３月３日
	2023 年度	2023 年４月 13 日、４月 14 日、４月 27 日、４月 28 日 2023 年５月 25 日～５月 27 日 2023 年６月 16 日～６月 18 日、６月 30 日 2023 年７月 28 日、７月 29 日 2023 年８月 10 日～８月 12 日 2023 年９月１日、９月２日 2023 年 10 月 13 日～10 月 15 日 2023 年 11 月２日～11 月４日 2023 年 12 月１日～12 月３日 2023 年１月 12 日、１月 13 日※２ 2023 年２月１日、２月２日※２ 2023 年３月１日、３月２日、３月 15 日
河 01 西俣堰堤上流 河 04 東俣堰堤上流 河 06 田代ダム上流 河 07 田代ダム下流 河 10-2 椹島（放流箇所下流①） （2015 年 12 月開始）※２ 沢 07 蛇抜沢 沢 15 二軒小屋南西の沢 （2024 年６月開始）※４ 沢 16 上スリバチ沢 （2024 年６月開始）※４ 沢 26 虎杖沢（2024 年６月開始）※４ 沢 31 奥西河内川（2024 年６月開始）※４ 沢 32 赤石沢（2021 年１月以降）※３ 沢 33 北俣・中俣合流部付近 （2015 年６月開始）※１	2024 年度	2024 年４月 25 日、４月 26 日 2024 年５月 11 日、５月 12 日、５月 30 日 2024 年６月 14 日 ～ ６月 16 日、６月 27 日 2024 年７月 11 日、７月 26 日、７月 27 日 2024 年８月１日 ～ ８月３日、８月 25 日 2024 年９月６日、９月７日、９月 18 日 2024 年 10 月１日 ～ 10 月３日、10 月 17 日 2024 年 11 月６日、11 月 14 日 ～ 11 月 17 日 2024 年 12 月３日 ～ 12 月５日、12 月 18 日 2025 年１月８日、１月 21 日 2025 年２月４日、２月５日 2025 年３月５日、３月６日
	2025 年度	2025 年４月 26 日～４月 28 日 2025 年５月８日～５月 10 日 2024 年６月３日～６月５日 2024 年７月８日～７月 11 日 2024 年８月４日～８月６日、８月 25 日 2024 年９月１日～９月４日 2024 年 10 月６日～10 月９日 2024 年 11 月４日～11 月７日 2024 年 12 月１日～12 月４日 2025 年１月 14 日～１月 16 日 2025 年２月３日～２月５日 2025 年３月３日～３月５日

注１：「※１」は大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015年６月以降に事後調査（月１回計測）地点として追加しています。

注２：「※２」は大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015年12月以降にモニタリング（年２回計測）から事後調査（月１回計測）に変更しています。

注３：「※３」は有識者会議での議論を踏まえて、2021年１月から月１回計測地点に追加しています。

注４：「※４」は有識者会議での議論を踏まえ、トンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2024 年６月から月１回計測地点に追加しています。

3.2.2 河 01 西俣堰堤上流

3.2.2.1 調査結果（2025 年度）

河 01 西俣堰堤上流の調査結果（2025 年度）を表 256 に示します。

表 256 調査結果（2025 年度）（河 01 西俣堰堤上流）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
河 01	西俣堰堤上流	流量（m^3/min）	145.2	223.8	238.2	102.6	289.8	90.0	71.4	75.0	46.2	－※1	20.4	26.4
		水温（℃）	5.4	6.4	6.7	11.3	13.6	11.5	11.6	7.2	3.1	－※1	1.6	4.0
		pH	8.0	8.0	7.9	8.0	7.9	7.8	8.1	8.1	8.0	－※1	7.9	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	9.3	8.7	7.7	9.1	9.9	9.5	10.3	10.0	10.4	－※1	11.5	12.4

注：「※1」は積雪のため、作業上の安全確保の観点から欠測となっています。

3.2.2.2 調査結果（過年度）

河 01 西俣堰堤上流の調査結果（過年度）を表 257 及び図 311 に示します。

表 257 調査結果（過年度）（河 01 西俣堰堤上流）

調査年度	河 01 西俣堰堤上流		
	流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2014年度	240.2	392.5	79.2
2015年度	160.8	311.3	72.5
2016 年度	217.9	435.9	109.0
2017 年度	187.0	356.9	76.5
2018 年度	144.9	268.7	42.1
2019 年度	172.2	306.6	74.3
2020 年度	99.1	279.5	30.2
2021 年度	140.7	306.1	46.1
2022 年度	145.4	306.6	58.2
2023 年度	131.6	273.0	60.0
2024 年度	137.0	278.0	64.4
2025 年度	120.8	289.8	20.4
過年度	158.1	435.9	20.4

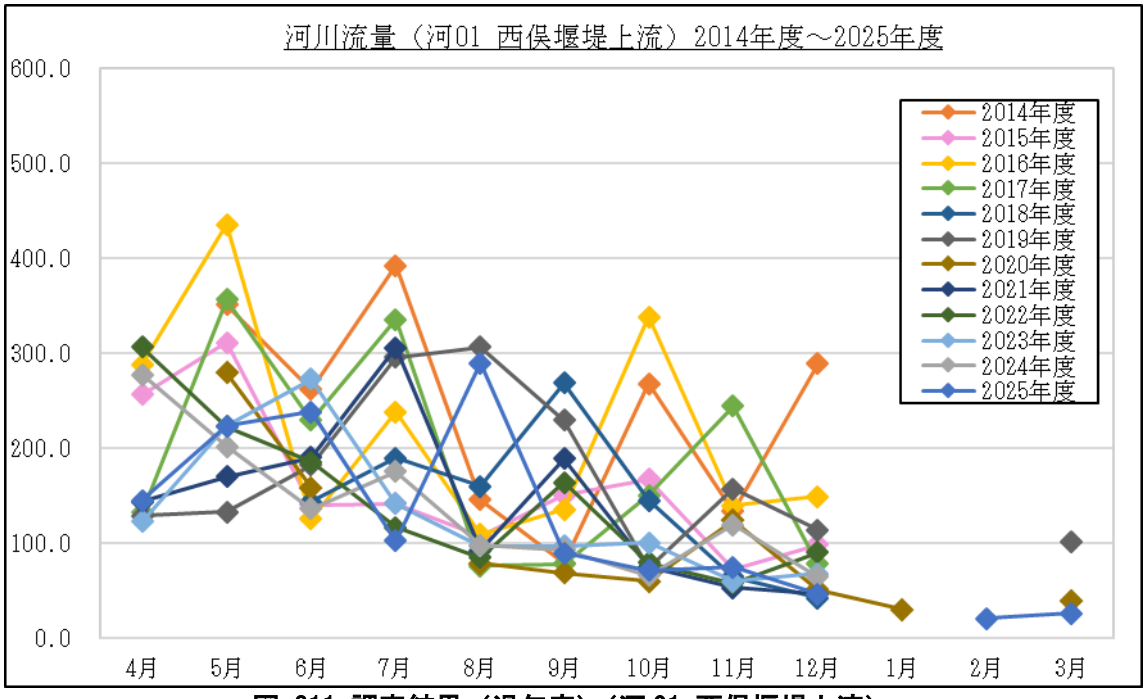


図 311 調査結果（過年度）（河 01 西俣堰堤上流）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

3.2.3 河 04 東俣堰堤上流

3.2.3.1 調査結果（2025 年度）

河 04 東俣堰堤上流の調査結果（2025 年度）を表 258 に示します。

表 258 調査結果（2025 年度）（河 04 東俣堰堤上流）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
河 04	東俣堰堤上流	流量（m^3/min）	157.2	196.2	307.2	118.2	118.2	90.0	77.4	90.0	55.2	－※1	－※1	33.0
		水温（℃）	7.6	5.7	8.9	13.3	14.4	13.5	11.7	7.2	6.1	－※1	－※1	5.4
		pH	8.0	7.9	7.8	8.0	8.0	7.9	8.1	8.1	8.2	－※1	－※1	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	9.5	8.7	7.9	8.1	9.5	9.2	9.9	9.9	10.1	－※1	－※1	10.9

注：「※1」は積雪のため、作業上の安全確保の観点から欠測となっています。

1-402

3.2.3.2 調査結果（過年度）

河 04 東俣堰堤上流の調査結果（過年度）を表 259 及び図 312 に示します。

表 259 調査結果（過年度）（河 04 東俣堰堤上流）

調査年度	河 04 東俣堰堤上流		
	流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2014年度	201.8	330.6	81.5
2015年度	177.1	281.8	96.7
2016 年度	232.7	514.3	110.5
2017 年度	184.5	407.5	86.4
2018 年度	204.1	391.6	63.4
2019 年度	204.7	293.9	101.9
2020 年度	116.2	131.6	100.7
2021 年度	151.8	365.9	67.6
2022 年度	135.4	236.4	70.8
2023 年度	149.7	302.4	82.8
2024 年度	147.7	308.2	76.0
2025 年度	124.3	307.2	33.0
過年度	169.2	514.3	33.0

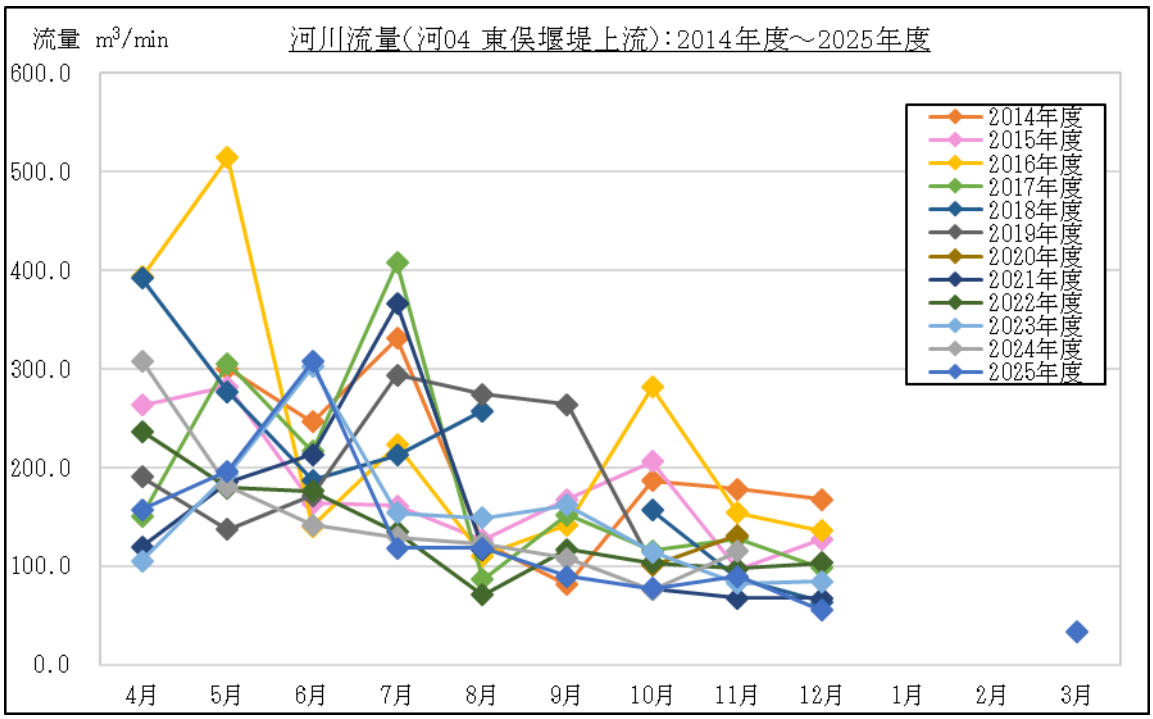


図 312 調査結果（過年度）（河 04 東俣堰堤上流）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

3.2.4 河 06 田代ダム上流

3.2.4.1 調査結果（2025 年度）

河 06 田代ダム上流の調査結果（2025 年度）を表 260 に示します。

表 260 調査結果（2025 年度）（河 06 田代ダム上流）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
河 06	田代ダム上流	流量（m^3/min）	435.6	－※1	－※1	443.4	337.8	239.4	247.8	208.8	184.2	116.4	108.0	126.0
		水温（℃）	8.4	6.2	8.0	12.3	15.1	11.7	10.9	8.1	3.9	1.5	2.3	1.3
		pH	8.0	7.4	7.9	7.7	7.9	7.8	8.1	8.0	8.0	8.1	8.0	8.0
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.3	10.1	9.2	10.2	9.9	11.2	11.7	12.0	12.5	13.2	13.5	13.9

注：「※1」は河川増水のため、作業上の安全確保の観点から欠測となっています。

1-404

3.2.4.2 調査結果（過年度）

河 06 田代ダム上流の調査結果（過年度）を表 261 及び図 313 に示します。

表 261 調査結果（過年度）（河 06 田代ダム上流）

調査年度	河 06 田代ダム上流		
	流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2014年度	544.2	943.0	239.1
2015年度	479.3	766.5	256.9
2016 年度	597.5	1152.8	329.0
2017 年度	446.9	866.2	223.3
2018 年度	396.6	1012.6	109.7
2019 年度	426.9	757.5	127.8
2020 年度	291.2	720.7	115.4
2021 年度	337.3	580.3	98.2
2022 年度	283.3	573.0	95.4
2023 年度	357.0	667.8	172.8
2024 年度	295.1	537.1	121.1
2025 年度	244.7	443.4	108.0
過年度	391.7	1152.8	95.4

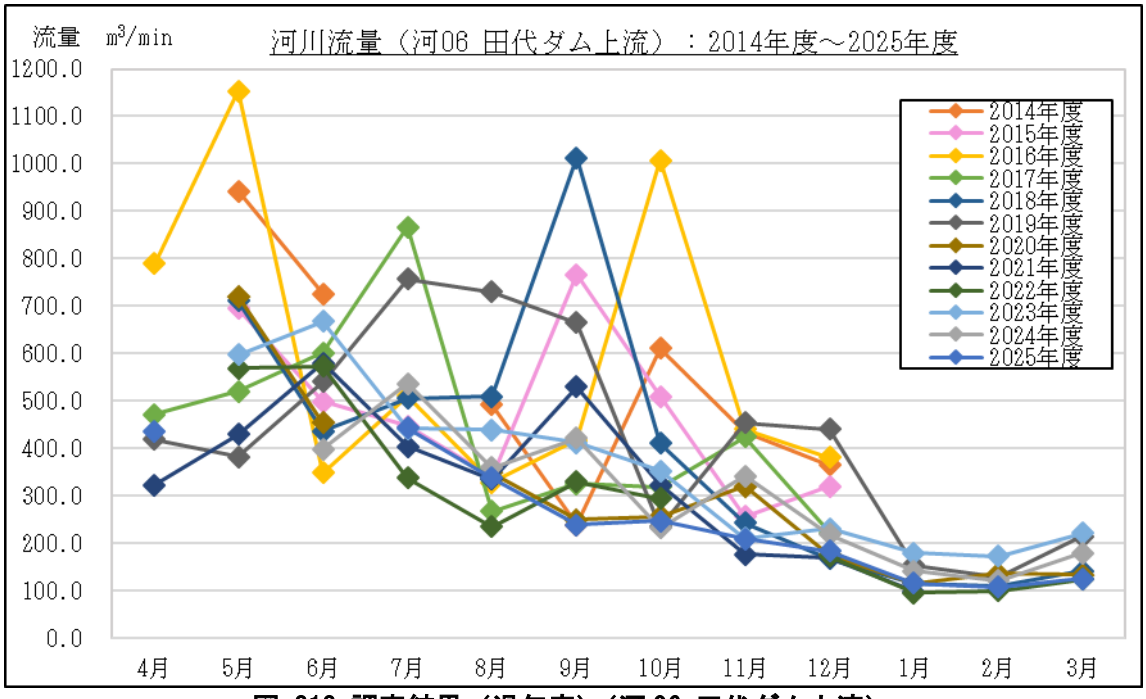


図 313 調査結果（過年度）（河 06 田代ダム上流）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

3.2.5 河 07 田代ダム下流

3.2.5.1 調査結果（2025 年度）

河 07 田代ダム下流の調査結果（過年度）を表 262 に示します。

表 262 調査結果（2025 年度）（河 07 田代ダム下流）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度															
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月※2		2 月※2				3 月※2	
河 07	田代ダム下流	流量 (m^3/min)	516.6	604.2	-※1	447.0	310.8	358.8	268.8	242.4	174.6	100.0	139.1	87.7	83.3	132.1	112.1	112.0	83.0
		水温（℃）	5.7	7.0	8.1	13.4	18.0	12.9	11.5	6.7	4.7	2.6	2.9	2.7	2.0	5.2	1.8	3.1	4.6
		pH	7.8	7.9	8.0	7.6	8.0	7.6	8.0	8.0	8.3	8.1	7.9	7.7	7.7	8.0	8.1	8.2	7.5
		電気伝導率 (EC) (mS/m)	11.7	14.8	7.0	10.2	11.4	12.5	11.5	12.1	13.0	15.3	14.0	13.5	14.2	13.6	14.3	14.2	13.7

注１：「※１」は河川増水のため、作業上の安全確保の観点から欠測しています。

注２：「※２」は山梨県境付近の山梨県内の先進坑掘削に伴うリスク管理として頻度を上げて調査を実施しています。

3.2.5.2 調査結果（過年度）

河 07 田代ダム下流の調査結果（過年度）を表 263 及び図 314 に示します。

表 263 調査結果（過年度）（河 07 田代ダム下流）

調査年度	河 07 田代ダム下流		
	流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2014年度	476.1	794.4	144.6
2015年度	302.0	550.7	56.1
2016 年度	389.4	875.3	64.3
2017 年度	266.8	610.0	74.5
2018 年度	201.8	753.4	28.0
2019 年度	222.0	505.4	22.6
2020 年度	107.0	406.4	26.2
2021 年度	117.4	328.3	22.8
2022 年度	111.8	290.4	34.2
2023 年度	121.7	369.6	12.0
2024 年度	308.5	506.0	113.4
2025 年度	228.4	604.2	83.0
過年度	237.7	875.3	12.0

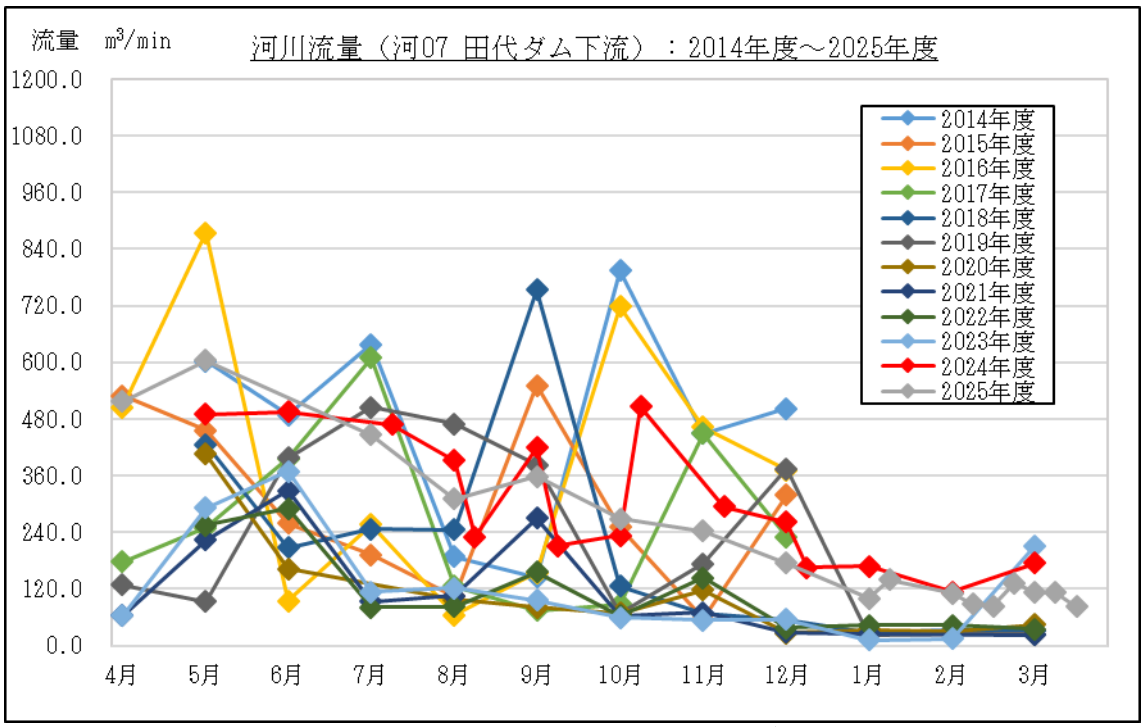


図 314 調査結果（過年度）（河 07 田代ダム下流）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

3.2.6 河 10-2 椹島（放流箇所下流①）

3.2.6.1 調査結果（2025 年度）

河 10-2 椹島（放流箇所下流①）の調査結果（2025 年度）を表 264 に示します。

表 264 調査結果（2025 年度）（河 10-2 椹島（放流箇所下流①））

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
河 10-2	椹島（放流箇所下流①）	流量（m^3/min）	610.8	71.4	88.8	84.6	76.8	376.2	66.0	61.8	237.0	27.0	30.0	83.4
		水温（℃）	10.6	11.1	12.2	13.7	19.8	17.2	14.1	7.9	6.5	0.2	2.6	5.6
		pH	8.1	8.1	8.1	7.7	7.3	8.0	8.1	7.5	8.0	8.1	8.2	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	11.5	11.6	10.8	12.0	12.5	12.3	12.2	13.3	13.6	15.9	15.3	15.7

3.2.6.2 調査結果（過年度）

河 10-2 椹島（放流箇所下流①）の調査結果（過年度）を表 265 及び図 315 に示します。

表 265 調査結果（過年度）（河 10-2 椹島（放流箇所下流①））

調査年度	河 10-2 椹島（放流箇所下流①）		
	流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2014年度	397.4	811.7	153.2
2015年度	215.2	448.7	130.1
2016 年度	200.4	666.1	62.4
2017 年度	155.9	496.6	22.0
2018 年度	81.7	229.0	32.9
2019 年度	117.3	744.2	40.7
2020 年度	133.6	222.1	53.5
2021 年度	191.1	1104.9	43.2
2022 年度	93.7	172.8	45.0
2023 年度	146.1	579.6	62.4
2024 年度	153.4	574.1	42.1
2025 年度	151.2	610.8	27.0
過年度	169.7	1104.9	22.0

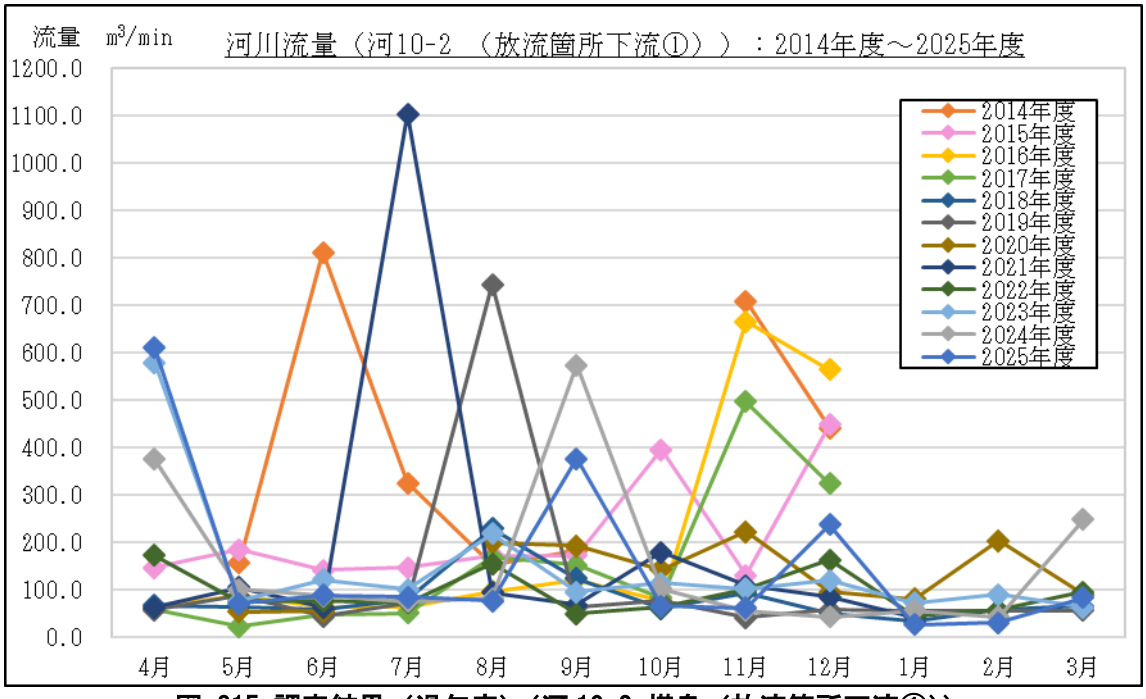


図 315 調査結果（過年度）（河 10-2 椹島（放流箇所下流①））

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

3.2.7 沢 07 蛇抜沢

3.2.7.1 調査結果（2025 年度）

沢 07 蛇抜沢の調査結果（2025 年度）を表 266 に示します。

表 266 調査結果（2025 年度）（沢 07 蛇抜沢）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
沢 07	蛇抜沢	流量（m^3/min）	12.0	21.0	34.2	27.6	27.6	12.0	12.0	16.8	7.8	5.4	4.3	4.2
		水温（℃）	4.8	5.7	7.1	12.0	14.1	12.8	10.1	4.9	1.6	1.2	1.3	1.4
		pH	8.0	8.0	7.4	7.9	8.2	8.0	8.1	8.4	8.0	8.1	8.1	8.3
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.6	9.9	8.9	9.7	10.0	10.4	10.4	10.9	11.9	13.0	13.4	13.8

3.2.7.2 調査結果（過年度）

沢 07 蛇抜沢の調査結果（過年度）を表 267 及び図 316 に示します。

表 267 調査結果（過年度）（沢 07 蛇抜沢）

調査年度	沢 07 蛇抜沢		
	流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2014年度	21.7	32.5	13.4
2015年度	28.2	48.0	15.8
2016 年度	32.9	67.9	15.5
2017 年度	26.1	53.8	9.3
2018 年度	19.4	29.5	4.4
2019 年度	20.7	41.9	4.7
2020 年度	17.8	46.3	4.3
2021 年度	19.3	39.2	5.8
2022 年度	18.8	35.4	10.8
2023 年度	20.6	36.0	10.2
2024 年度	25.1	47.1	3.9
2025 年度	15.4	34.2	4.2
過年度	22.2	67.9	3.9

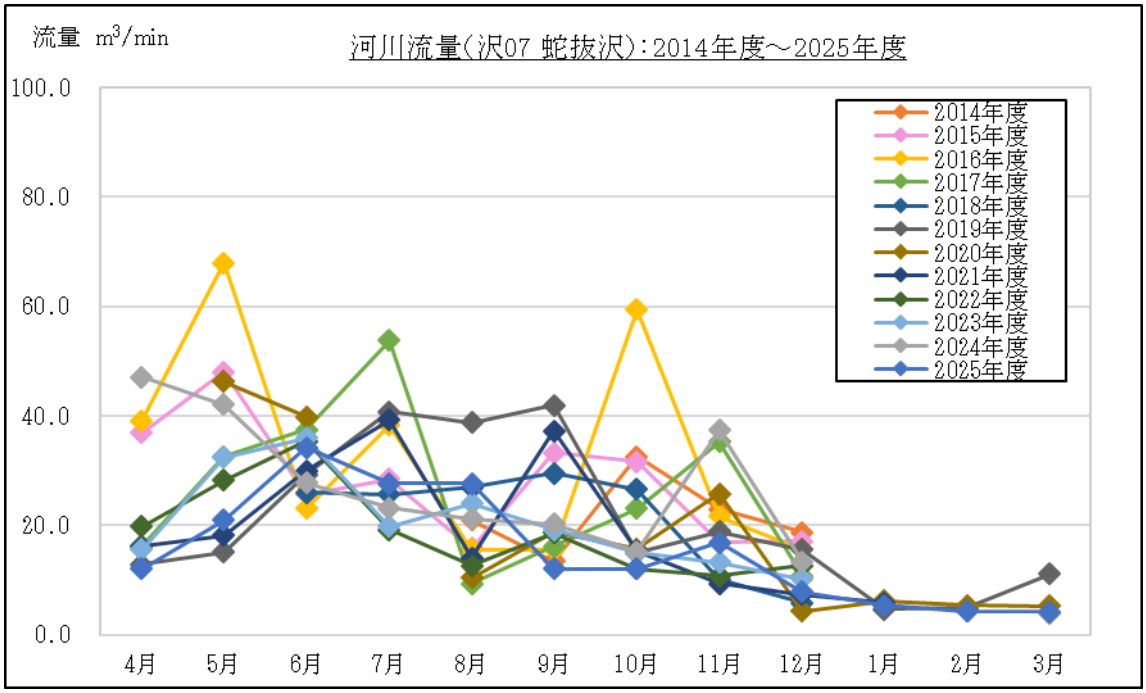


図 316 調査結果（過年度）（沢 07 蛇抜沢）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

3.2.8 沢 15 二軒小屋南西の沢

3.2.8.1 調査結果（2025 年度）

沢 15 二軒小屋南西の沢の調査結果（2025 年度）を表 268 に示します。

表 268 調査結果（2025 年度）（沢 15 二軒小屋南西の沢）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度										
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
沢 15	二軒小屋南西の沢	流量（m^3/min）	–※1	–※1	0.6	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1
		水温（℃）	–※1	–※1	10.5	17.7	18.1	17.6	14.7	7.3	3.3	0.7	0.4	3.4
		pH	–※1	–※1	8.2	8.4	8.4	8.4	8.5	8.2	8.2	7.7	8.3	8.3
		電気伝導率（EC）（mS/m）	–※1	–※1	30.0	32.6	30.7	32.6	35.2	35.0	35.0	36.8	36.9	33.8

注：「※1」は河川増水のため、作業上の安全確保の観点から欠測となっています。

3.2.8.2 調査結果（過年度）

沢 15 二軒小屋南西の沢の調査結果（過年度）を表 269 及び図 317 に示します。

表 269 調査結果（過年度）（沢 15 二軒小屋南西の沢）

調査年度	沢 15 二軒小屋南西の沢		
	流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2024 年度	2.1	6.6	0.2
2025 年度	0.2	0.6	0.05
過年度	1.2	6.6	0.05

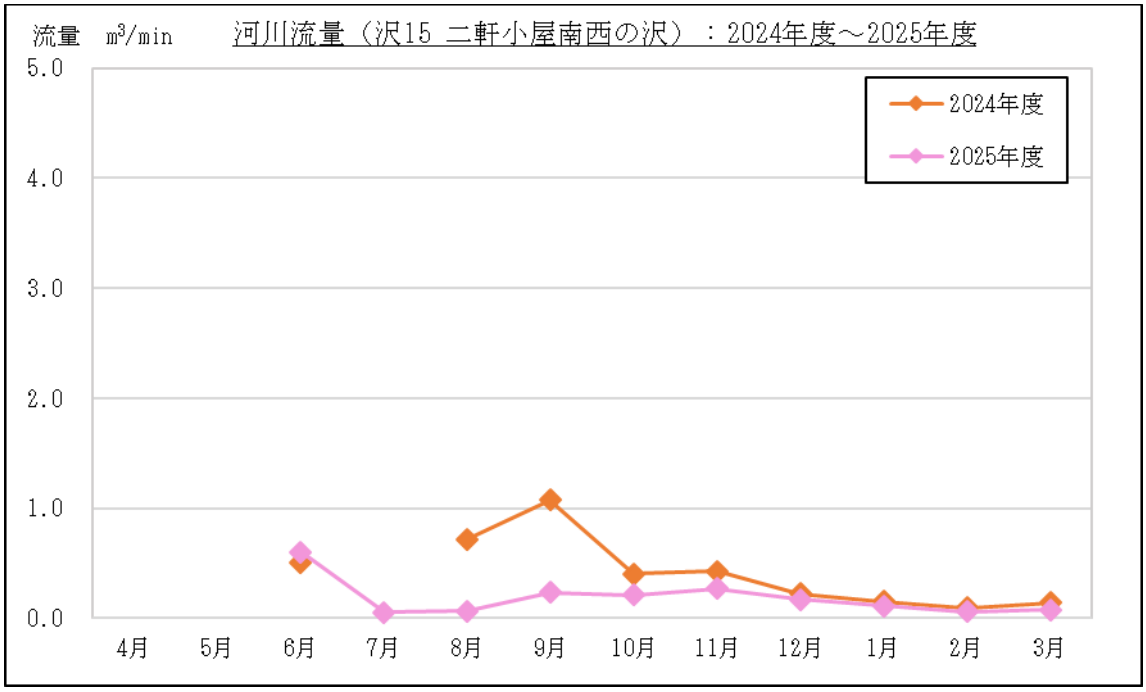


図 317 調査結果（過年度）（沢 15 二軒小屋南西の沢）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

3.2.9 沢 16 上スリバチ沢

3.2.9.1 調査結果（2025 年度）

沢 16 上スリバチ沢の調査結果（2025 年度）を表 270 に示します。

表 270 調査結果（2025 年度）（沢 16 上スリバチ沢）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
沢 16	上スリバチ沢	流量（m^3/min）	0.02	0.08	0.36	0.05	0.03	0.03	0.05	0.04	0.01	<0.01	0.01	0.01
		水温（℃）	6.7	8.4	9.9	16.5	16.8	16.4	13.8	6.9	4.4	0.3	1.5	3.0
		pH	8.0	8.1	8.1	7.9	8.1	8.0	8.1	7.3	8.0	8.0	8.2	8.3
		電気伝導率（EC）（mS/m）	24.5	25.8	25.4	28.8	23.7	27.2	31.3	29.2	28.7	29.7	28.3	30.7

3.2.9.2 調査結果（過年度）

沢 16 上スリバチの調査結果（過年度）を表 271 及び図 318 に示します。

表 271 調査結果（過年度）（沢 16 上スリバチ沢）

調査年度	沢 16 上スリバチ沢		
	流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2024 年度	0.08	0.25	0.02
2025 年度	0.06	0.36	＜0.01
過年度	0.07	0.36	＜0.01

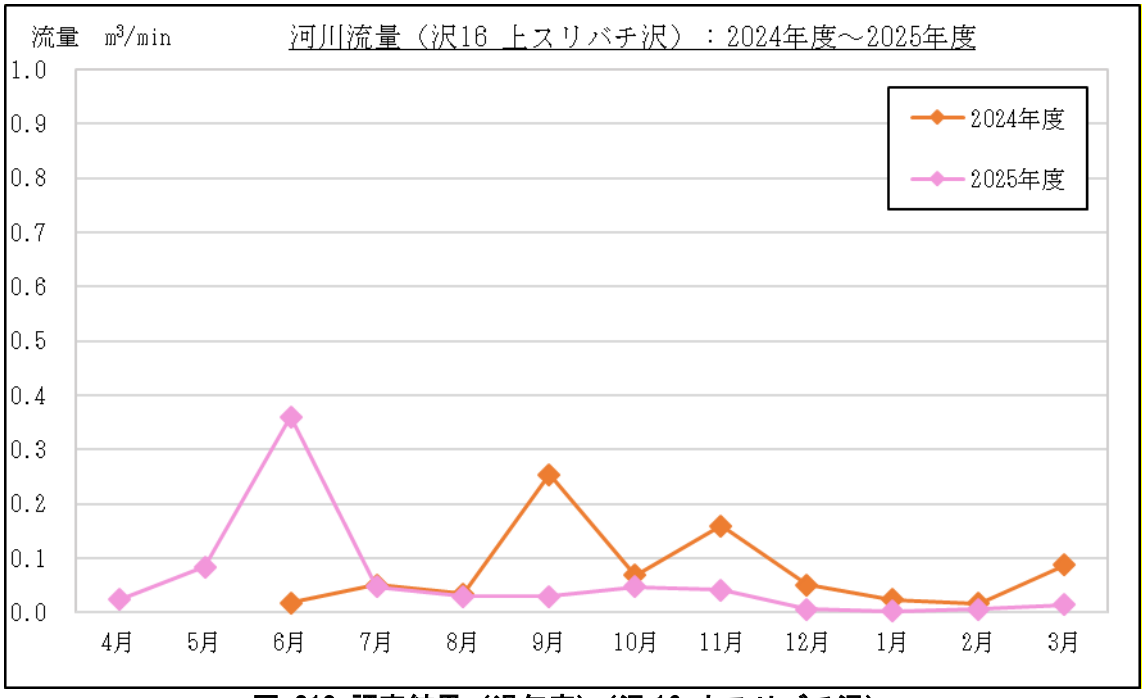


図 318 調査結果（過年度）（沢 16 上スリバチ沢）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

3.2.10 沢 26 虎杖沢

3.2.10.1 調査結果（2025 年度）

沢 26 虎杖沢の調査結果（2025 年度）を表 272 に示します。

表 272 調査結果（2025 年度）（沢 26 虎杖沢）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
沢 26	虎杖沢	流量（m^3/min）	0.07	0.18	1.19	6.60	0.46	0.01	0.11	0.04	0.03	0.02	0.02	0.02
		水温（℃）	6.9	7.3	7.3	10.6	10.6	13.3	11.1	8.9	7.4	3.8	5.4	5.5
		pH	7.7	7.7	7.7	7.3	7.3	7.8	7.7	7.5	7.8	7.8	7.9	7.9
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.8	10.6	10.6	10.7	10.7	11.4	11.5	12.0	11.5	12.5	11.6	12.7

3.2.10.2 調査結果（過年度）

沢 26 虎杖沢の調査結果（過年度）を表 273 及び図 319 に示します。

表 273 調査結果（過年度）（沢 26 虎杖沢）

調査年度	沢 26 虎杖沢		
	流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2024 年度	1.51	9.00	0.02
2025 年度	0.70	6.60	0.01
過年度	1.11	9.00	0.01

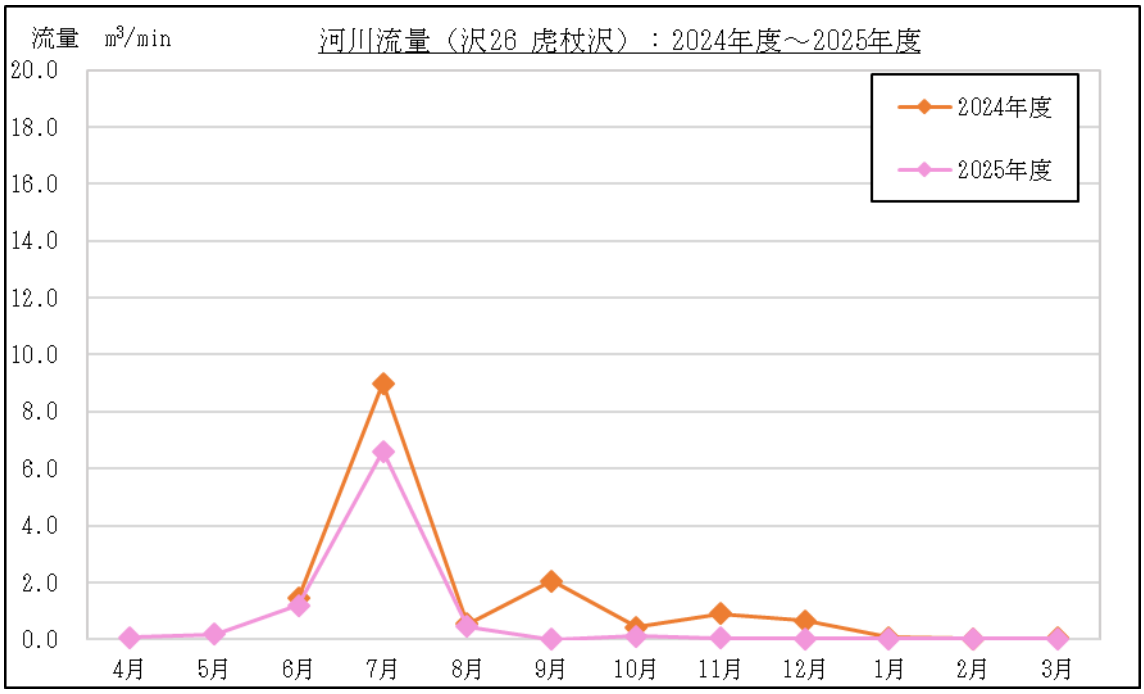


図 319 調査結果（過年度）（沢 26 虎杖沢）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

3.2.11 沢 31 奥西河内川

3.2.11.1 調査結果（2025 年度）

沢 31 奥西河内川の調査結果（2025 年度）を表 274 に示します。

表 274 調査結果（2025 年度）（沢 31 奥西河内川）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
沢 31	奥西河内川	流量（m^3/min）	97.2	20.4	34.8	25.8	16.8	14.4	16.2	20.4	13.2	4.8	24.0	31.2
		水温（℃）	6.9	10.4	11.2	14.2	14.6	17.0	13.8	7.6	5.7	1.0	1.9	3.6
		pH	8.0	8.0	7.6	8.1	7.8	7.7	7.8	7.8	7.9	8.0	7.8	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	10.1	10.8	12.1	14.2	15.0	14.9	14.7	14.8	14.8	17.7	14.0	13.7

3.2.11.2 調査結果（過年度）

沢 31 奥西河内川の調査結果（過年度）を表 275 及び図 320 に示します。

表 275 調査結果（過年度）（沢 31 奥西河内川）

調査年度	沢 31 奥西河内川		
	流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2024 年度	31.8	108.2	6.1
2025 年度	26.6	97.2	4.8
過年度	29.2	108.2	4.8

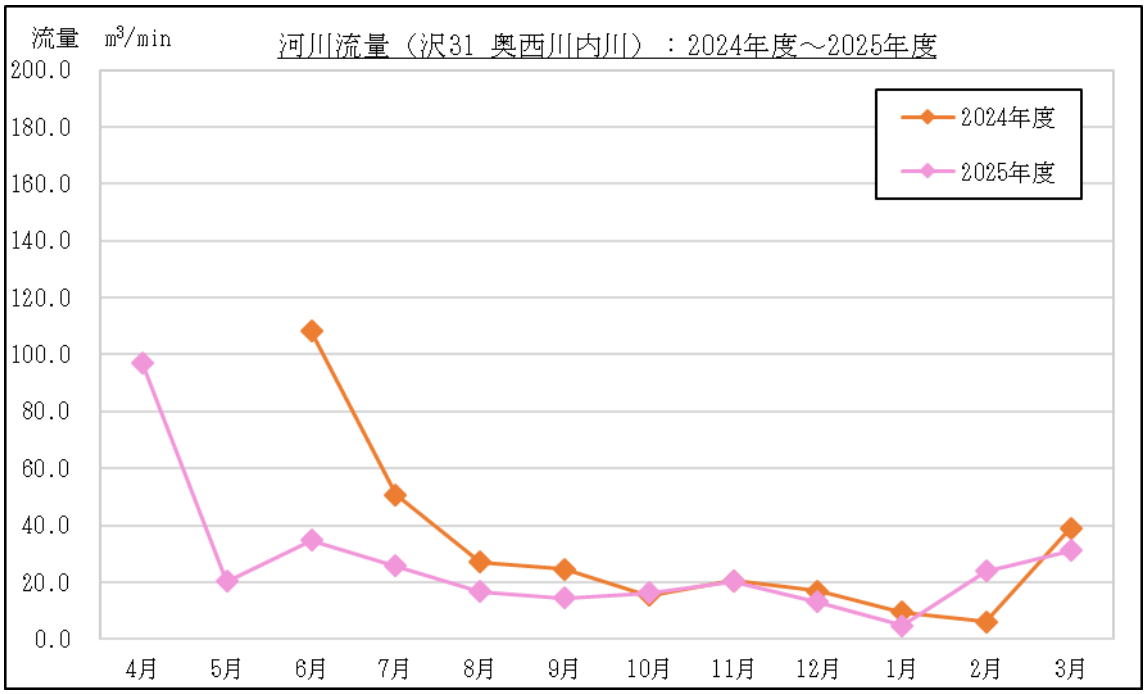


図 320 調査結果（過年度）（沢 31 奥西河内川）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

3.2.12 沢 32 赤石沢

3.2.12.1 調査結果（2025 年度）

沢 32 赤石沢の調査結果（過年度）を表 276 に示します。

表 276 調査結果（2025 年度）（沢 32 赤石沢）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
沢 32	赤石沢	流量（m^3/min）	165.6	29.4	30.6	31.2	23.4	13.2	13.8	18.6	12.6	15.0	19.2	29.4
		水温（℃）	3.5	8.5	9.9	15.3	17.8	17.1	13.7	6.6	4.1	0.1	0.5	4.0
		pH	7.9	7.9	7.9	7.7	7.8	7.9	8.0	7.6	7.5	8.0	8.1	8.2
		電気伝導率（EC）（mS/m）	5.7	7.9	8.2	9.2	8.5	10.3	9.9	9.2	9.6	10.1	10.0	9.5

3.2.12.2 調査結果（過年度）

沢 32 赤石沢の調査結果（過年度）を表 277 及び図 321 に示します。

表 277 調査結果（過年度）（沢 32 赤石沢）

調査年度	沢 32 赤石沢		
	流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2020 年度	25.5	40.9	13.3
2021 年度	59.3	200.9	22.2
2022 年度	19.6	33.6	10.8
2023 年度	20.4	45.6	7.8
2024 年度	42.8	172.9	13.2
2025 年度	33.5	165.6	12.6
過年度	33.5	200.9	7.8

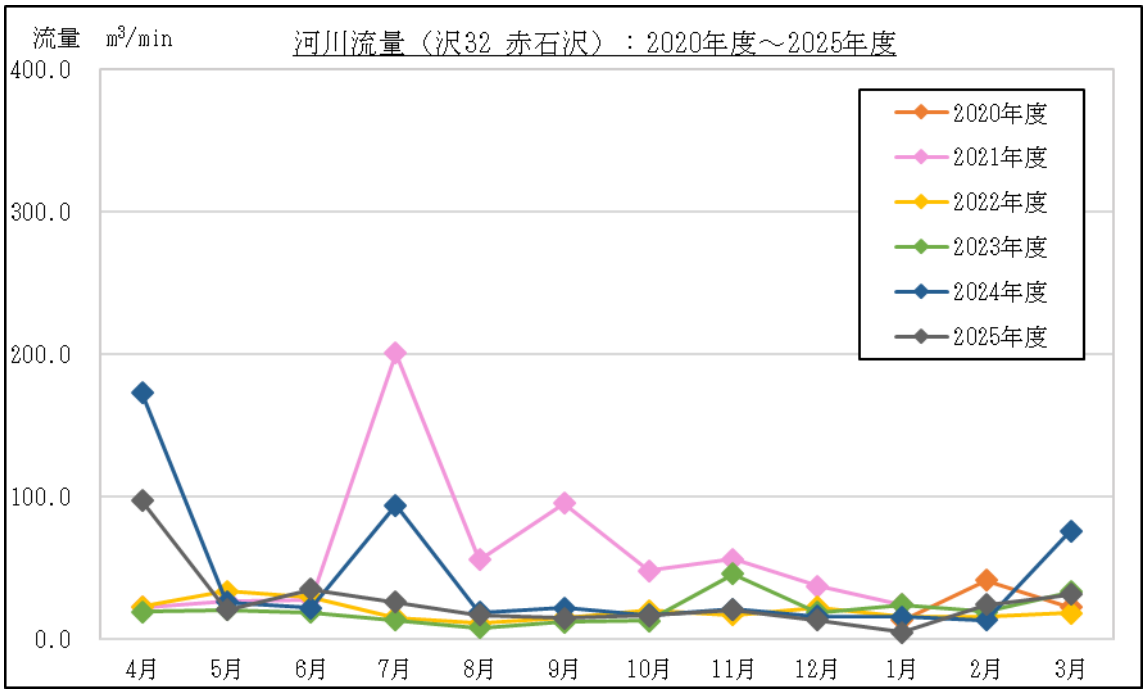


図 321 調査結果（過年度）（沢 32 赤石沢）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

3.2.13 沢 33 北俣・中俣合流部付近

3.2.13.1 調査結果（2025 年度）

沢 33 北俣・中俣合流部付近の調査結果（2025 年度）を表 278 に示します。

表 278 調査結果（2025 年度）（沢 33 北俣・中俣合流部付近）

地点番号	調査地点	調査項目	2025 年度											
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
沢 33	北俣・中俣合流部付近	流量（m^3/min）	24.6	38.4	27.6	15.6	13.2	12.0	11.4	12.6	7.2	–※1	–※1	3.6
		水温（℃）	4.6	6.4	6.4	11.4	12.8	11.0	11.7	6.0	2.4	–※1	–※1	3.5
		pH	8.0	8.0	7.8	8.0	7.9	8.0	8.0	8.0	8.0	–※1	–※1	8.1
		電気伝導率（EC）（mS/m）	8.1	7.7	8.1	8.6	9.5	9.5	9.1	9.5	10.2	–※1	–※1	10.9

注：「※1」は積雪のため、作業上の安全確保の観点から欠測となっています。

3.2.13.2 調査結果（過年度）

沢 33 北俣・中俣合流部付近の調査結果（過年度）を表 279 及び図 322 に示します。

表 279 調査結果（過年度）（沢 33 北俣・中俣合流部付近）

調査年度	沢 33 北俣・中俣合流部付近		
	流量（m^3/min）		
	平均	最大	最小
2015年度	17.9	24.1	10.3
2016 年度	27.5	50.4	14.6
2017 年度	26.8	51.0	9.4
2018 年度	21.5	39.5	5.9
2019 年度	26.0	39.0	11.6
2020 年度	16.6	41.0	7.4
2021 年度	23.7	51.7	6.1
2022 年度	17.5	34.8	10.2
2023 年度	20.2	39.0	9.6
2024 年度	22.1	52.9	9.0
2025 年度	16.6	38.4	3.6
過年度	21.5	52.9	3.6

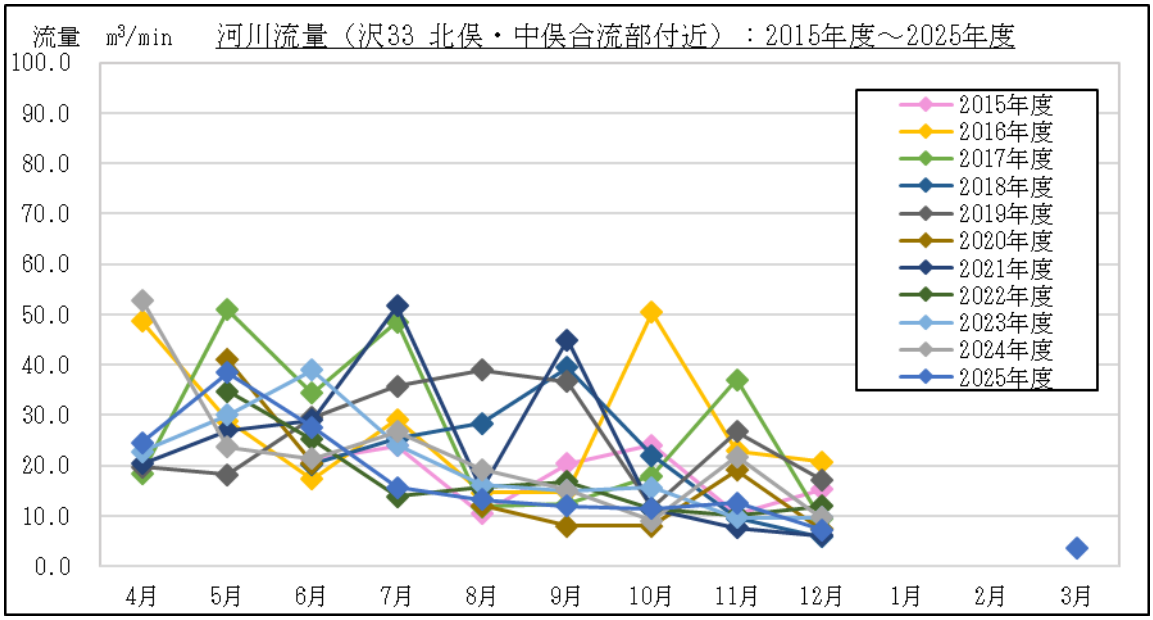


図 322 調査結果（過年度）（沢 33 北俣・中俣合流部付近）

・現地状況により欠測が生じている時期があります。

3.3 大井川上流域の河川・沢流量（年２回計測等）【事後調査及びモニタリング計画通し番号 68、69、70】

3.3.1調査期間

大井川上流域の河川・沢流量（年２回計測）調査期間を表 280 に、河川・沢流量（年１回計測　流速等※1）調査期間を表 281 に、それぞれ示します。なお、有識者会議の議論を踏まえて、常時計測、月１回計測と頻度を増やして計測している地点においても、「「中央新幹線（東京・名古屋市間）環境影響評価【静岡県】平成 26 年８月」に基づく事後調査計画書」に基づく年２回計測地点は年２回計測の調査結果を再掲しています。

注：「※１」について、瀬・淵の状況として、川幅、水深、流速を計測

表 280 調査期間（年２回計測）

調査地点	調査年度	調査期間
河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-2 椹島（放流箇所下流①）（2016 年度より月１回へ頻度増）、河 13 西俣堰堤下流、河 14 西俣（柾小屋沢北）、河 15 二軒小屋発電所放流口上流、河 16 東俣堰堤下流、河 17 東俣（徳右衛門沢北）、河 18 東俣（曲輪沢北）、河 19 東俣（東俣第一測水所上流）、沢 01 内無沢、沢 02 魚無沢、沢 03 瀬戸沢、沢 04 上岳沢、沢 05 西小石沢、沢 06 柾小屋沢、沢 08 柳沢、沢 09 悪沢、沢 10 大崩、沢 11 徳右衛門沢、沢 12 曲輪沢、沢 13 ジャガ沢、沢 14 流沢、沢 15 二軒小屋南西の沢、沢 16 上スリバチ沢（2024 年度より月１回へ頻度増）、沢 17 スリバチ沢、沢 18 車屋沢、沢 19 燕沢、沢 20 大尻沢北の沢、沢 21 大尻沢、沢 22 蛇沢南東の沢、沢 23 破風石沢、沢 24 下木賊沢北の沢、沢 25 下木賊沢、沢 26 虎杖沢（2024 年度より月１回へ頻度増）、沢 27 上千枚沢、沢 28 下千枚沢、沢 29 蛇沢、沢 30 蛇沢南の沢（2015 年度より開始）、沢 31 奥西河内川、沢 34 小西俣、沢 35 上四郎作沢、沢 36 新蛇抜沢、沢 37 扇沢、沢 38 奥西河内堰堤上流、沢 39 滝見橋付近の沢（2015 年度より開始）、沢 40 倉沢	2014 年度	2014 年８月 27 日、８月 29 日 ～ ８月 31 日、９月３日 ～ ９月４日（８月期） 2014 年 10 月 31 日 ～ 11 月１日、11 月３日～11 月５日（11 月期）
	2015 年度	2015 年８月３日 ～ ８月７日（８月期） 2015 年 11 月３日 ～ 11 月６日（11 月期）
	2016 年度	2016 年８月１日 ～ ８月４日（８月期） 2016 年 11 月２日 ～ 11 月５日（11 月期）
	2017 年度	2017 年８月１日 ～ ８月４日（８月期） 2017 年 11 月３日 ～ 11 月６日、11 月 18 日～11 月 19 日、12 月６日、12 月 24 日（11 月期）
	2018 年度	2018 年８月１日 ～ ８月４日（８月期） 2018 年 11 月２日 ～ 11 月５日（11 月期）
	2019 年度	2019 年７月 31 日 ～ ８月４日（８月期） 2019 年 11 月 20 日 ～ 11 月 24 日（11 月期）
	2020 年度	2020 年８月 24 日 ～ ８月 26 日、８月 28 日 ～ ８月 30 日（８月期） 2020 年 11 月１日 ～ 11 月５日、12 月 15 日（11 月期）
	2021 年度	2021 年８月１日 ～ ８月４日（８月期） 2021 年 11 月 12 日 ～ 11 月 15 日（11 月期）
	2022 年度	2022 年８月 10 日 ～ ８月 12 日、８月 24 日（８月期） 2022 年 10 月 27 日 ～ 10 月 28 日、11 月 10 日～11 月 12 日、11 月 30 日、12 月 2 日（11 月期）
	2023 年度	2023 年８月 10 日～８月 12 日（８月期） 2023 年 11 月２日～11 月５日（11 月期）
	2024 年度	2024 年８月１日～８月４日（８月期） 2024 年 11 月 13 日～11 月 16 日（11 月期）
	2025 年度	2025 年８月４日～８月７日、８月 27 日～８月 29 日（８月期） 2025 年 11 月４日～11 月８日（11 月期）

表 281 調査期間（年１回計測　流速等※1）

調査地点	調査年度	調査期間
沢 07 蛇抜沢（上流部）、沢 09 悪沢（上流部）、沢 17 スリバチ沢（上流部）	2025 年度	2025 年９月 10 日～９月 11 日、９月 30 日

注：「※１」について、瀬・淵の状況として、川幅、水深、流速を計測

3.3.2調査結果（過年度）

調査結果を表 282～表 285、図 323～図 325 に示します。

表 282 流量計測結果（年２回計測箇所）

地点番号	調査地点	調査項目	2014 年度		2015 年度		2016 年度		2017 年度		2018 年度		2019 年度		2020 年度		2021 年度		2022 年度	
			8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期	8 月期	11 月期
河 02	西俣（放流箇所下流）	流量 (m^3/min)	60.42	66.96	56.94	112.98	40.44	72.96	119.64	400.92	69.42	31.32	142.86	55.92	37.38	32.70	40.38	29.76	43.62	35.76
河 10-2	椹島（放流箇所下流①）※1		153.20	709.62	146.10	130.10														
河 13	西俣堰堤下流		2.88	12.24	7.50	73.50	4.20	8.10	100.80	258.60	9.12	0.66	30.36	-※2	3.30	130.62	3.12	4.44	6.78	9.18
河 14	西俣（柾小屋沢北）		30.12	30.90	27.72	87.60	18.00	32.34	103.86	145.86	37.56	11.94	54.48	24.00	20.70	184.74	21.54	14.82	21.96	18.30
河 15	二軒小屋発電所放流口上流		92.10	90.48	90.18	125.46	75.42	110.76	136.14	370.74	125.40	43.38	121.32	111.00	59.76	185.34	78.24	39.60	67.74	45.00
河 16	東俣堰堤下流		10.02	1.14	8.76	97.20	12.18	4.68	102.00	122.16	8.40	4.38	9.18	-※2	-※2	128.88	9.66	11.94	5.64	26.70
河 17	東俣（徳右衛門沢北）		18.36	8.40	15.90	99.36	22.74	17.94	102.06	145.68	23.04	14.52	24.42	-※2	-※2	164.04	19.68	15.48	11.40	34.38
河 18	東俣（曲輪沢北）		33.30	30.72	32.94	104.82	27.42	34.20	105.60	341.22	44.16	20.58	49.32	-※2	-※2	157.38	30.00	22.86	20.94	42.12
河 19	東俣（東俣第一測水所上流）		44.46	43.80	46.44	113.64	34.74	46.08	113.31	381.00	56.51	28.04	57.29	209.76	130.86	164.40	41.94	27.30	24.90	45.72
沢 01	内無沢		41.34	20.34	15.90	8.10	17.22	18.78	11.88	36.30	24.84	10.32	44.52	21.18	9.66	16.74	13.32	-※2	13.08	13.26
沢 02	魚無沢		28.92	14.76	11.28	5.70	10.32	15.72	9.72	31.32	24.72	7.92	41.82	15.00	9.90	16.26	14.34	-※2	12.48	12.48
沢 03	瀬戸沢		17.04	8.28	7.86	3.54	4.68	8.58	5.46	11.88	7.50	5.34	23.82	7.20	5.16	9.48	5.88	-※2	6.48	6.18
沢 04	上岳沢		8.30	5.30	5.34	2.64	5.58	5.16	2.52	18.06	5.40	3.96	17.52	5.22	3.06	5.16	3.48	1.80	2.64	3.42
沢 05	西小石沢		7.92	4.02	2.40	2.04	2.94	5.58	1.44	7.80	4.14	2.10	10.32	3.42	2.46	3.84	3.24	1.86	2.10	2.52
沢 06	柾小屋沢		4.62	3.18	2.58	0.78	1.92	4.38	1.14	3.72	5.22	2.34	6.00	4.26	1.32	4.62	4.44	0.90	1.98	1.20
沢 08	柳沢		1.74	2.04	1.80	0.03	0.54	2.10	0.54	5.22	1.80	0.67	1.56	2.46	0.90	0.66	0.96	0.60	0.36	0.56
沢 09	悪沢※3		24.30	18.60	15.78	9.54	12.90	25.50	8.16	32.04	27.30	12.66	32.10	21.78	9.12	6.78	12.96	7.44	12.06	7.32
沢 10	大崩		1.10	2.40	1.80	1.56	0.90	1.75	0.58	4.32	2.05	0.75	1.18	3.00	0.63	2.14	1.55	0.55	0.85	0.81
沢 11	徳右衛門沢		2.34	6.18	4.44	2.28	2.34	6.42	2.10	5.82	6.24	1.74	7.32	-※2	-※2	4.92	3.42	1.86	1.56	1.80
沢 12	曲輪沢		2.64	4.08	5.16	1.98	2.16	4.44	1.50	8.52	4.02	1.92	4.44	-※2	-※2	3.06	2.22	1.38	1.68	1.68
沢 13	ジャガ沢		6.42	8.10	8.04	4.38	4.50	7.26	2.16	21.72	7.68	3.66	12.60	-※2	-※2	5.70	5.22	2.82	1.44	3.30
沢 14	流沢		0.54	0.96	0.66	0.36	0.39	0.92	0.16	2.92	0.83	0.38	1.23	0.73	0.53	0.86	0.59	0.18	0.42	0.52

注１：「※１」について、大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015 年 12 月以降はモニタリング（年２回計測）から事後調査（月１回計測）に変更しました。

注２：「※２」について、調査地点への移動経路において崩落が生じていることや積雪のため作業上の安全確保の観点から欠測しています。

注３：「※３」について、有識者会議の議論を踏まえてトンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2024 年４月から常時計測を実施していますが、「「中央新幹線（東京・名古屋市間）環境影響評価【静岡県】平成 26 年８月」に基づく事後調査計画書」に基づく年２回の計測地点のため、調査結果を記載しています。

表 283 流量計測結果（年２回計測箇所）

地点番号	調査地点	調査項目	2023 年度		2024 年度		2025 年度		平均	
			８月期	11 月期	８月期	11 月期	８月期	11 月期	８月期	11 月期
河 02	西俣（放流箇所下流）	流量 (m^3/min)	55.14	36.48	49.56	188.58	46.62	114.18	63.54	98.21
河 10-2	椹島（放流箇所下流①）※1								149.65	419.86
河 13	西俣堰堤下流		1.26	1.74	1.50	162.78	9.78	1.92	15.05	60.34
河 14	西俣（柾小屋沢北）		18.06	13.44	19.86	160.62	16.92	80.04	32.57	67.05
河 15	二軒小屋発電所放流口上流		56.76	51.06	68.82	187.74	155.28	106.98	93.93	122.30
河 16	東俣堰堤下流		9.06	12.66	10.56	119.64	9.30	85.50	17.71	55.90
河 17	東俣（徳右衛門沢北）		15.96	24.24	17.34	124.20	55.56	81.48	29.68	66.34
河 18	東俣（曲輪沢北）		30.84	40.92	28.62	161.10	32.34	100.86	39.59	96.07
河 19	東俣（東俣第一測水所上流）		37.98	35.04	35.40	189.78	41.16	100.08	55.42	115.39
沢 01	内無沢		15.90	9.78	15.30	18.78	17.10	14.34	20.01	17.08
沢 02	魚無沢		9.60	9.48	13.98	15.60	13.74	12.60	16.74	14.26
沢 03	瀬戸沢		4.86	4.38	5.52	6.48	8.16	9.66	8.54	7.36
沢 04	上岳沢		2.22	1.50	4.56	4.80	5.52	2.94	5.51	5.00
沢 05	西小石沢		5.04	1.92	3.00	3.96	3.90	2.82	4.08	3.49
沢 06	柾小屋沢		2.70	1.14	2.58	3.18	2.34	1.08	3.07	2.57
沢 08	柳沢		1.68	0.18	1.26	1.44	1.02	0.60	1.18	1.38
沢 09	悪沢※2		12.00	9.60	12.42	16.80	12.00	11.40	15.93	14.96
沢 10	大崩		0.90	0.78	0.61	1.22	0.78	0.96	1.08	1.69
沢 11	徳右衛門沢		3.00	1.68	3.06	3.72	7.62	1.92	3.95	3.49
沢 12	曲輪沢		2.46	1.44	2.04	4.14	4.44	1.44	2.98	3.10
沢 13	ジャガ沢		6.18	3.30	4.92	8.04	4.92	2.46	5.83	6.43
沢 14	流沢		0.46	0.16	0.87	0.79	0.84	0.30	0.63	0.76

注１：「※１」について、大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015 年 12 月以降はモニタリング（年２回計測）から事後調査（月１回計測）に変更しました。

注２：「※２」について、有識者会議の議論を踏まえてトンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2024 年４月から常時計測を実施していますが、「「中央新幹線（東京・名古屋市間）環境影響評価【静岡県】平成 26 年８月」に基づく事後調査計画書」に基づく年２回の計測地点のため、調査結果を記載しています。

表 284 流量計測結果（年２回計測箇所）

地点番号	調査地点	調査項目	2014 年度		2015 年度		2016 年度		2017 年度		2018 年度		2019 年度		2020 年度		2021 年度		2022 年度	
			８月期	11 月期	８月期	11 月期	８月期	11 月期	８月期	11 月期	８月期	11 月期	８月期	11 月期	８月期	11 月期	８月期	11 月期	８月期	11 月期
沢 15	二軒小屋南西の沢※4		0.48	0.66	0.42	0.30	0.27	0.91	0.34	1.43	0.63	0.26	0.94	0.63	0.55	0.44	0.33	0.32	0.43	1.13
沢 16	上スリバチ沢※6				0.05	0.02	0.12	0.15	＜0.01	0.19	0.14	0.05	0.14	0.07	0.05	0.04	0.03	0.01	0.03	0.02
沢 17	スリバチ沢※5		1.86	2.28	2.10	0.90	1.08	2.74	0.29	6.90	1.88	0.76	3.64	1.29	0.85	1.65	1.21	0.06	0.50	1.20
沢 18	車屋沢		5.76	7.14	5.88	3.48	3.84	7.44	2.64	10.08	9.42	2.64	11.34	5.16	3.60	4.32	4.56	2.82	3.48	2.64
沢 19	燕沢				0.36	0.31	0.06	0.77	0.31	3.90	1.56	0.27	2.06	0.33	0.04	0.08	0.04	0.07	0.04	0.04
沢 20	大尻沢北				0.23	0.18	0.17	0.18	0.15	1.26	0.07	0.19	0.32	0.08	0.24	0.19	0.23	0.13	0.18	0.18
沢 21	大尻沢		3.24	3.84	3.72	2.16	1.74	3.36	1.38	9.90	4.13	2.40	5.04	1.86	1.92	1.44	2.52	0.96	0.96	1.32
沢 22	蛇沢南東				0.30	0.02	0.02	0.08	＜0.01	1.62	0.74	0.04	0.15	0.02	0.03	0.04	0.01	0.00	0.00	0.00
沢 23	破風石沢				0.12	0.02	0.01	0.08	0.00	0.36	0.44	0.01	0.32	＜0.01	0.01	0.03	0.01	0.00	0.00	＜0.01
沢 24	下木賊沢北				0.66	0.54	0.24	0.60	0.24	0.60	0.58	0.44	0.63	0.39	0.46	0.10	0.08	0.06	0.05	0.06
沢 25	下木賊沢		10.26	12.96	1.74	0.48	1.74	1.32	4.92	41.28	23.76	6.54	21.24	9.18	13.20	12.00	9.00	4.74	5.34	5.46
沢 26	虎杖沢※6				2.10	0.49	2.10	1.45	0.08	10.92	3.48	1.00	4.32	2.82	0.67	1.63	0.12	0.02	0.06	0.12
沢 27	上千枚沢		10.92	15.36	11.46	5.58	14.16	17.76	5.52	24.90	20.34	5.82	16.14	15.24	11.58	13.14	10.62	7.62	10.32	6.18
沢 28	下千枚沢		3.06	4.32	6.84	2.58	3.00	8.22	3.30	5.34	5.49	4.50	7.86	6.60	3.18	3.24	0.24	1.74	2.52	3.72
沢 29	蛇沢		6.48	7.14	11.58	6.06	5.82	7.92	4.44	4.92	7.92	5.52	10.44	6.66	7.68	5.10	5.82	3.12	4.32	7.98
沢 30	蛇沢南の沢※1				0.24	＜0.01	0.06	0.20	＜0.01	0.02	0.30	0.06	0.03	0.26	0.06	0.12	0.01	＜0.01	0.01	0.03
沢 31	奥西河内川※4		16.38	161.70	19.56	49.08	47.34	121.56	8.40	38.58	18.78	53.58	31.68	23.70	22.86	21.48	61.62	38.22	13.44	11.40
沢 34	小西俣		123.24	74.16	63.36	24.42	43.92	72.30	32.34	114.48	63.00	23.40	145.56	73.98	29.76	56.04	35.22	22.80	37.02	23.82
沢 35	上四郎作沢		7.80	4.26	3.36	1.26	1.92	6.06	1.38	8.82	5.88	1.14	9.42	4.80	1.86	4.44	1.08	1.08	2.10	0.78
沢 36	新蛇抜沢		3.54	3.90	2.34	0.96	2.46	4.02	1.02	5.28	3.36	1.50	4.20	2.88	1.26	2.58	1.68	0.90	0.90	0.84
沢 37	扇沢		2.04	1.62	1.86	1.44	1.44	2.64	1.08	6.96	3.00	2.10	4.68	-※2	-※2	2.88	1.44	1.14	0.90	1.50
沢 38	奥西河内堰堤上流		76.74	111.66	69.90	35.82	86.34	110.28	33.24	94.68	156.18	43.68	150.60	70.62	58.56	64.20	50.76	32.40	46.20	25.92
沢 39	滝見橋付近の沢※1				1.26	0.78	0.48	0.90	0.60	1.92	1.08	0.85	0.04	0.90	3.78	1.08	0.84	0.78	0.41	0.55
沢 40	倉沢		45.78	34.26	33.90	23.70	17.70	-※3	19.08	12.90	55.26	21.54	98.34	31.44	26.82	32.64	28.92	20.10	17.76	0.38

注１：「く」は未満を示します。
注２：「※１」について、大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015 年度調査以降にモニタリング（年２回計測）地点として追加しました。
注３：「※２」について、調査地点への移動経路において崩落が生じていることや積雪のため作業上の安全確保の観点から欠測しています。
注４：「※３」について、調査地点より上流部の田代川第二発電所田代取水堰及び赤石発電所木賊取水堰において取水しておらず、移動経路である大井川本川が継続的に増水しており、安全に移動することができなかったため欠測となっています。
注５：「※４」について、有識者会議の議論を踏まえて、トンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2024 年６月から月１回計測を実施していますが、「「中央新幹線（東京・名古屋市間）環境影響評価【静岡県】平成 26 年８月」に基づく事後調査計画書」に基づく年２回の計測地点のため、調査結果を記載しています。
注６：「※５」について、有識者会議の議論を踏まえて、トンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2024 年４月から常時計測を実施していますが、「「中央新幹線（東京・名古屋市間）環境影響評価【静岡県】平成 26 年８月」に基づく事後調査計画書」に基づく年２回の計測地点のため、調査結果を記載しています。
注７：「※６」について、有識者会議での議論を踏まえ、トンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2024 年６月から月１回計測地点に変更しました。

表 285 流量計測結果（年２回計測箇所）

地点番号	調査地点	調査項目	2023 年度		2024 年度		2025 年度		平均	
			８月期	11 月期	８月期	11 月期	８月期	11 月期	８月期	11 月期
沢 15	二軒小屋南西の沢※2		0.43	0.23	0.72	0.43	0.07	0.27	0.47	0.58
沢 16	上スリバチ沢※4		0.02	＜0.01					0.06	0.06
沢 17	スリバチ沢※3		0.38	0.03	0.84	1.02	1.80	0.60	1.37	1.62
沢 18	車屋沢		4.26	2.28	4.68	5.76	3.72	2.82	5.27	4.72
沢 19	燕沢		0.04	0.03	0.02	0.03	0.12	0.02	0.42	0.53
沢 20	大尻沢北		0.17	0.13	0.20	0.19	0.01	0.02	0.18	0.25
沢 21	大尻沢		1.62	0.90	2.70	3.00	4.92	0.72	2.82	2.66
沢 22	蛇沢南東		0.17	0.00	0.01	0.03	0.02	0.02	0.13	0.17
沢 23	破風石沢		0.00	0.00	＜0.01	0.00	0.01	0.01	0.08	0.05
沢 24	下木賊沢北		0.06	0.05	0.13	0.17	0.06	0.06	0.29	0.28
沢 25	下木賊沢		8.16	5.10	10.02	9.66	11.76	4.86	10.10	9.47
沢 26	虎杖沢※4		0.42	0.06					1.48	2.06
沢 27	上千枚沢		10.50	4.68	9.00	10.56	9.30	6.54	11.66	11.12
沢 28	下千枚沢		3.54	1.68	4.56	3.48	6.66	2.94	4.19	4.03
沢 29	蛇沢		5.40	3.48	8.22	8.10	7.32	5.58	7.12	5.97
沢 30	蛇沢南の沢※1		0.01	＜0.01	0.07	0.04	0.12	0.12	0.08	0.08
沢 31	奥西河内川※2		14.40	40.02	27.06	20.46	16.80	20.40	24.86	50.02
沢 34	小西俣		47.10	25.32	39.84	54.18	48.48	37.20	59.07	50.18
沢 35	上四郎作沢		2.64	0.78	1.92	4.98	1.68	1.62	3.42	3.34
沢 36	新蛇抜沢		0.96	1.08	2.28	4.08	1.98	1.44	2.17	2.46
沢 37	扇沢		2.10	1.14	1.44	2.88	0.78	0.78	1.89	2.28
沢 38	奥西河内堰堤上流		40.26	33.30	63.60	63.60	62.34	41.76	74.56	60.66
沢 39	滝見橋付近の沢※1		0.60	0.53	5.11	0.80	1.38	0.42	1.42	0.86
沢 40	倉沢		37.44	16.08	28.86	ア. 2 5.02	35.94	23.46	37.15	21.96

注１：「く」は未満を示します。
注２：「※１」について、大井川水資源検討委員会での確認を踏まえて、2015 年度調査以降にモニタリング（年２回計測）地点として追加しました。
注３：「※２」について、有識者会議の議論を踏まえて、トンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2024 年６月から月１回計測を実施していますが、「「中央新幹線（東京・名古屋市間）環境影響評価【静岡県】平成 26 年８月」に基づく事後調査計画書」に基づく年２回の計測地点のため、調査結果を記載しています。
注４：「※３」について、有識者会議の議論を踏まえて、トンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2024 年４月から常時計測を実施していますが、「「中央新幹線（東京・名古屋市間）環境影響評価【静岡県】平成 26 年８月」に基づく事後調査計画書」に基づく年２回の計測地点のため、調査結果を記載しています。
注５：「※４」について、有識者会議での議論を踏まえ、トンネル切羽が当該沢の流域内に到達する前の１年間の調査として、2024 年６月から月１回計測地点に変更しました。

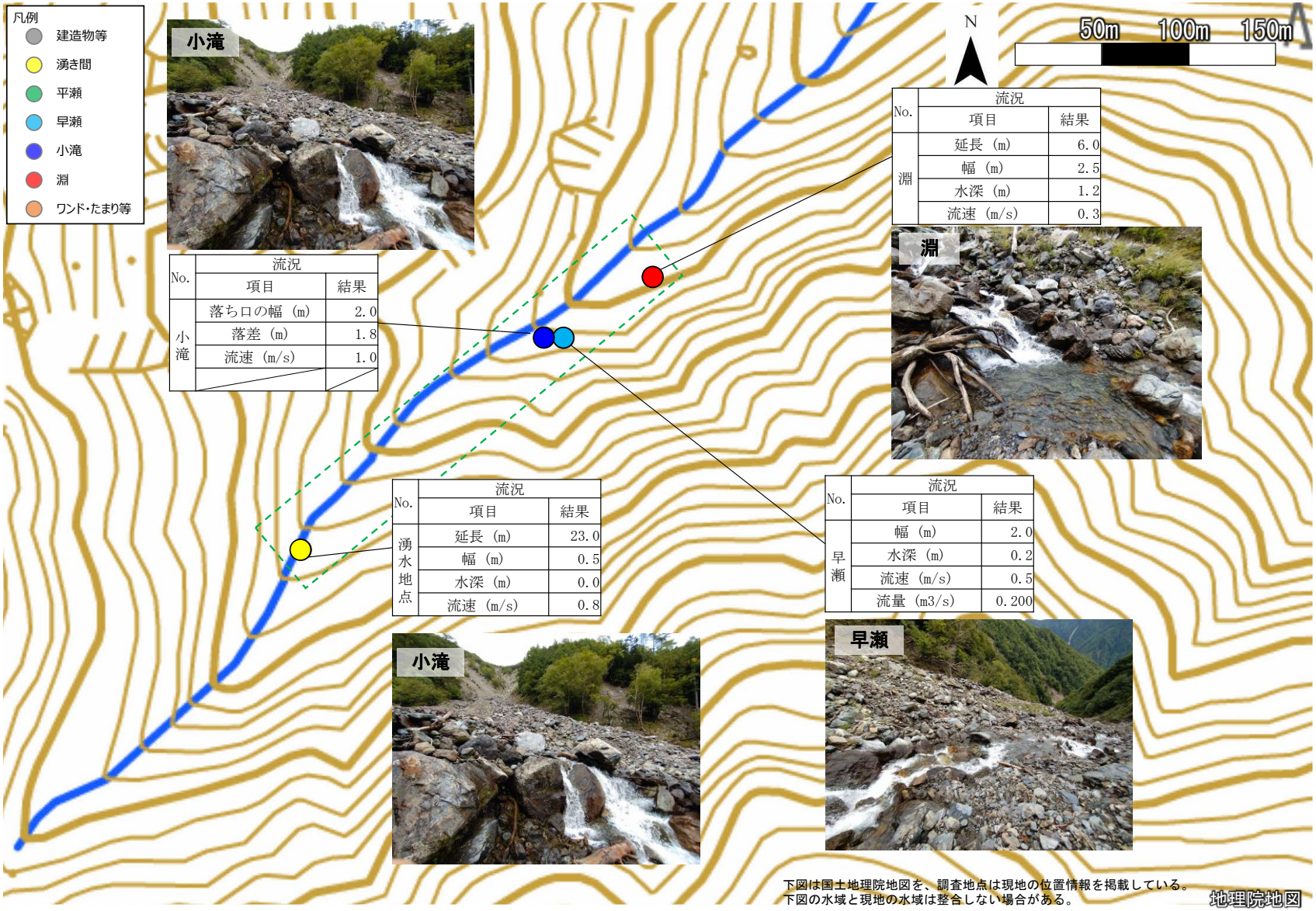


図 323　流量計測結果（年１回計測　流速等※1）：沢 07 蛇抜沢（上流部）

注：「※１」について、瀬・淵の状況として、川幅、水深、流速を計測

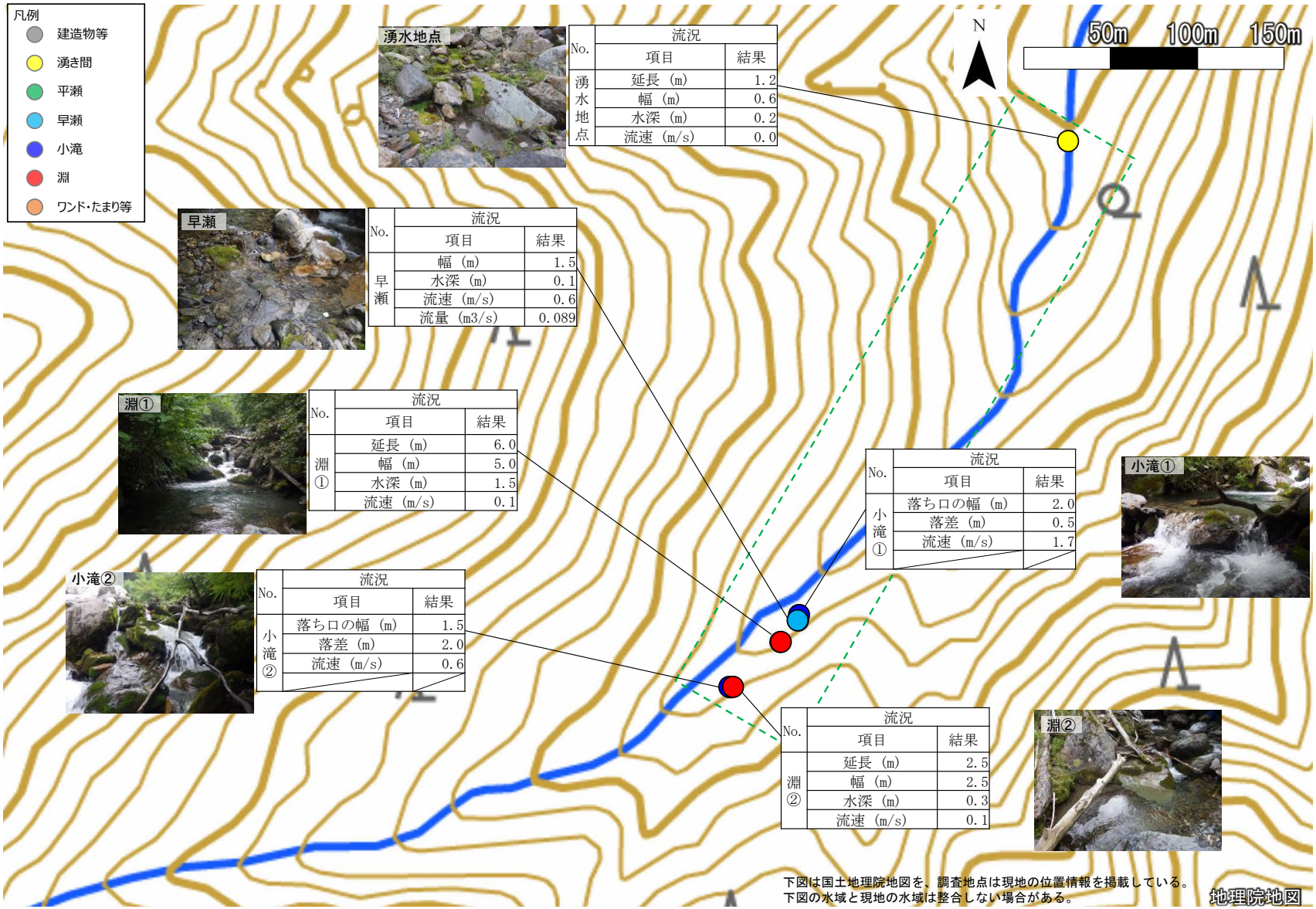
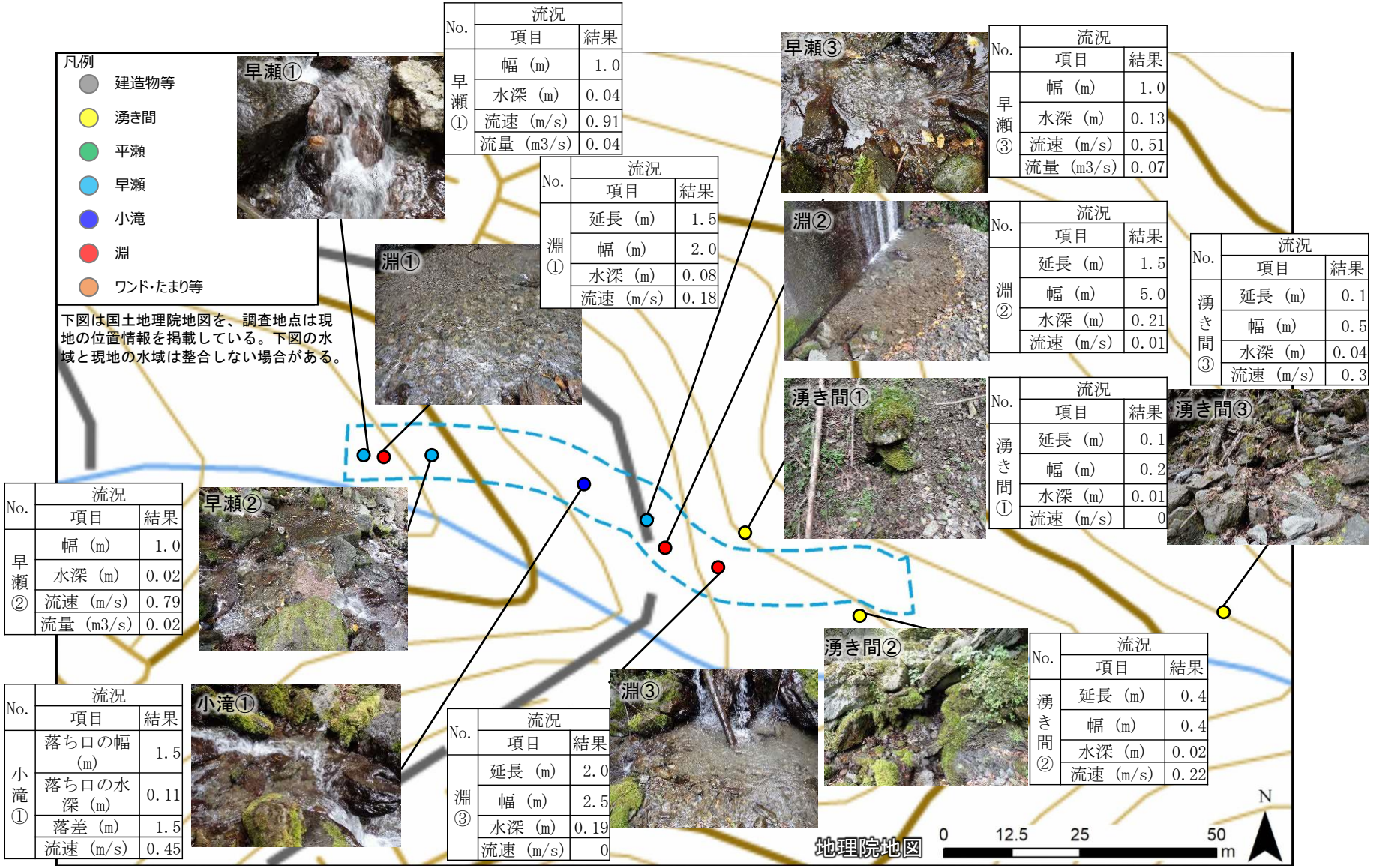


図 324　流量計測結果（年１回計測　流速等※1）：沢 09 悪沢（上流部）

注：「※１」について、瀬・淵の状況として、川幅、水深、流速を計測



No.	流況	
	項目	結果
早瀬①	幅（m）	1.0
	水深（m）	0.04
	流速（m/s）	0.91
	流量（m3/s）	0.04

No.	流況	
	項目	結果
早瀬②	幅（m）	1.0
	水深（m）	0.02
	流速（m/s）	0.79
	流量（m3/s）	0.02

No.	流況	
	項目	結果
早瀬③	幅（m）	1.0
	水深（m）	0.13
	流速（m/s）	0.51
	流量（m3/s）	0.07

No.	流況	
	項目	結果
淵①	延長（m）	1.5
	幅（m）	2.0
	水深（m）	0.08
	流速（m/s）	0.18

No.	流況	
	項目	結果
淵②	延長（m）	1.5
	幅（m）	5.0
	水深（m）	0.21
	流速（m/s）	0.01

No.	流況	
	項目	結果
淵③	延長（m）	2.0
	幅（m）	2.5
	水深（m）	0.19
	流速（m/s）	0

No.	流況	
	項目	結果
湧き間①	延長（m）	0.1
	幅（m）	0.2
	水深（m）	0.01
	流速（m/s）	0

No.	流況	
	項目	結果
湧き間②	延長（m）	0.4
	幅（m）	0.4
	水深（m）	0.02
	流速（m/s）	0.22

No.	流況	
	項目	結果
湧き間③	延長（m）	0.1
	幅（m）	0.5
	水深（m）	0.04
	流速（m/s）	0.3

No.	流況	
	項目	結果
小滝①	落ち口の幅（m）	1.5
	落ち口の水深（m）	0.11
	落差（m）	1.5
	流速（m/s）	0.45

図 325　流量計測結果（年１回計測　流速等※1）：沢 17 スリバチ沢（上流部）

注：「※１」について、瀬・淵の状況として、川幅、水深、流速を計測

3.4 常時監視カメラによる流況【事後調査及びモニタリング計画通し番号 80】

3.4.1 調査結果（沢 07　蛇抜沢）

常時監視による流況の調査結果を図 326 に示します。流況の確認であることを踏まえ、流量計測日と同日の結果を掲載しています。

			
2025 年４月 28 日 流量：12.0（m^3/min）	2025 年５月８日 流量：21.0（m^3/min）	2025 年６月３日 流量：34.2（m^3/min）	2025 年７月 10 日 流量：27.6（m^3/min）
		欠測	欠測
2025 年８月５日 流量：27.6（m^3/min）	2025 年９月３日 流量：12.0（m^3/min）	2025 年 10 月８日 流量：12.0（m^3/min）	2025 年 11 月５日 流量：16.8（m^3/min）
			
2025 年 12 月３日 流量：7.8（m^3/min）	2026 年１月 15 日 流量：5.4（m^3/min）	2026 年２月５日 流量：4.3（m^3/min）	2026 年３月４日 流量：4.2（m^3/min）

図 326 常時監視による流況（2025 年度）（沢 07 蛇抜沢）

3.4.2調査結果（沢 01 内無沢）

常時監視による流況の調査結果を図 327 に示します。流況の確認であることを踏まえ、流量計測日と同日の結果を掲載しています。

	
2025 年８月５日（８月期） 流量：17.10（m^3/min）	2025 年 11 月５日（11 月期） 流量：14.34（m^3/min）

図 327 常時監視による流況（2025 年度）（沢 01 内無沢）

3.4.3調査結果（沢 02 魚無沢）

常時監視による流況の調査結果を図 328 に示します。流況の確認であることを踏まえ、流量計測日と同日の結果を掲載しています。

欠測	欠測
2025 年８月５日（８月期） 流量：13.74（m^3/min）	2025 年 11 月５日（11 月期） 流量：12.60（m^3/min）

図 328 常時監視による流況（2025 年度）（沢 02 魚無沢）

3.4.4調査結果（沢 03 瀬戸沢）

常時監視による流況の調査結果を図 329 に示します。流況の確認であることを踏まえ、流量計測日と同日の結果を掲載しています。

	
2025 年８月５日（８月期） 流量：8.16（m^3/min）	2025 年 11 月５日（11 月期） 流量：9.66（m^3/min）

図 329 常時監視による流況（2025 年度）（沢 03 瀬戸沢）

3.4.5調査結果（沢 05 西小石沢）

常時監視による流況の調査結果を図 330 に示します。流況の確認であることを踏まえ、流量計測日と同日の結果を掲載しています。

	
2025 年８月６日（８月期） 流量：3.90（m^3/min）	2025 年 11 月５日（11 月期） 流量：2.82（m^3/min）

図 330 常時監視による流況（2025 年度）（沢 05 西小石沢）

3.4.6調査結果（沢 09 悪沢）

常時監視による流況の調査結果を図 331 に示します。流況の確認であることを踏まえ、流量計測日と同日の結果を掲載しています。

	
2025 年８月６日（８月期） 流量：12.00（m^3/min）	2025 年 11 月７日（11 月期） 流量：11.40（m^3/min）

図 331 常時監視による流況（2025 年度）（沢 09 悪沢）

3.4.7調査結果（沢 36 新蛇抜沢）

常時監視による流況の調査結果を図 332 に示します。流況の確認であることを踏まえ、流量計測日と同日の結果を掲載しています。

	
2025 年８月５日（８月期） 流量：1.98（m^3/min）	2025 年 11 月６日（11 月期） 流量：1.44（m^3/min）

図 332 常時監視による流況（2025 年度）（沢 36 新蛇抜沢）

3.5 中下流域の河川【事後調査及びモニタリング計画通し番号 71】

3.5.1 調査期間

現地調査の期間は、表 286～表 288 に示します。

表 286 現地調査期間（河 20 下泉橋）

調査年度	調査期間
2009年度	2009年４月16日、５月14日、６月２日、７月16日、８月25日、９月３日、10月15日、11月30日、12月10日、2010年１月19日、２月４日、３月４日
2010 年度	2010年４月26日、５月14日、６月11日、７月27日、８月23日、９月６日、10月５日、11月６日、12月６日、2011年１月４日、２月22日、３月14日
2011 年度	2011年４月12日、５月７日、６月24日、７月12日、８月19日、９月28日、10月12日、11月１日、12月12日、2012年１月10日、２月28日、３月13日
2012 年度	2012年４月18日、５月18日、６月５日、７月25日、８月２日、９月４日、10月４日、11月15日、12月14日、2013年１月11日、２月16日、３月12日
2013 年度	2013年４月27日、５月14日、６月10日、７月９日、８月９日、９月30日、10月15日、11月18日、12月16日、2014年１月15日、２月14日、３月12日
2014 年度	2014年４月23日、５月12日、６月９日、７月28日、８月20日、９月16日、10月30日、11月１日、12月８日、2015年１月５日、２月９日、３月９日
2015 年度	2015年４月28日、５月15日、６月１日、７月28日、８月６日、９月30日、10月１日、11月25日、12月７日、2016年１月25日、２月12日、３月14日
2016 年度	2016年４月21日、５月９日、６月７日、７月８日、８月19日、９月７日、10月24日、11月22日、12月12日、2017年１月23日、２月８日、３月３日
2017 年度	2017年４月14日、５月12日、６月５日、７月４日、８月25日、９月29日、10月12日、11月22日、12月４日、2018年１月４日、２月15日、３月22日
2018 年度	2018年４月27日、５月25日、６月12日、７月４日、８月20日、９月21日、10月30日、11月20日、12月18日、2019年１月22日、２月18日、３月６日
2019 年度	2019年４月12日、５月20日、６月７日、７月４日、８月20日、９月21日、10月30日、11月20日、12月18日、2020年１月22日、２月18日、３月６日
2020 年度	2020年４月24日、５月29日、６月９日、７月22日、８月21日、９月４日、10月７日、11月４日、12月２日、2021年１月６日、２月８日、３月１日
2021 年度	2021年４月27日、５月20日、６月９日、７月28日、８月７日、９月１日、10 月 16 日、11 月 26 日、12 月 15 日、2022 年１月４日、２月７日、３月４日
2022 年度	2022年４月13日、５月18日、６月１日、７月７日、８月１日、９月27日、10月14日、11月16日、12月７日、2023年１月４日、２月１日、３月１日
2023 年度	2023年４月18日、５月29日、６月16日、７月５日、８月２日、９月６日、10 月 13 日、11 月８日、12 月６日、2024 年１月９日、２月 14 日、３月５日
2024 年度	2024年４月22日、５月８日、６月17日、７月19日、８月８日、９月14日、10月２日、11月25日、12月４日、2025年１月15日、２月５日、３月５日

表 287 現地調査期間（河 21 神座）

調査年度	調査期間
2009年度	2009年４月28日、５月27日、６月８日、７月15日、８月19日、９月２日、 10月19日、11月４日、12月２日、2010年１月６日、２月３日、３月19日
2010 年度	2010年４月26日、５月12日、６月２日、７月28日、８月18日、９月１日、 10月６日、11月10日、12月１日、2011年１月５日、２月２日、３月９日
2011 年度	2011年４月18日、５月10日、６月16日、７月６日、８月３日、９月14日、 10月５日、11月９日、12月７日、2012年１月11日、２月15日、３月13日
2012 年度	2012年４月18日、５月14日、６月６日、７月11日、８月１日、９月５日、 10月10日、11月７日、12月５日、2013年１月９日、２月７日、３月６日
2013 年度	2013年４月24日、５月８日、６月５日、７月３日、８月７日、９月４日、 10月２日、11月６日、12月４日、2014年１月８日、２月５日、３月12日
2014 年度	2014年４月16日、５月７日、６月４日、７月２日、８月５日、９月３日、 10月１日、11月５日、12月３日、2015年１月14日、２月４日、３月11日
2015 年度	2015年４月28日、５月20日、６月４日、７月15日、８月６日、９月17日、 10月８日、11月５日、12月９日、2016年１月７日、２月４日、３月３日
2016 年度	2016年４月20日、５月25日、６月１日、７月６日、８月３日、９月28日、 10月５日、11月２日、12月７日、2017年１月11日、２月１日、３月１日
2017 年度	2017年４月26日、５月10日、６月７日、７月12日、８月２日、９月６日、 10月４日、11月８日、12月６日、2018年１月10日、２月７日、３月７日
2018 年度	2018年４月27日、５月17日、６月13日、７月19日、８月９日、９月26日、 10月17日、11月７日、12月５日、2019年１月９日、２月13日、３月６日
2019 年度	2019年４月17日、５月８日、６月５日、７月10日、８月７日、９月４日、 10月２日、11月６日、12月４日、2020年１月15日、２月５日、３月４日
2020 年度	2020年４月15日、５月13日、６月３日、７月21日、８月５日、９月２日、 10月７日、11月４日、12月２日、2021年１月６日、２月３日、３月３日
2021 年度	2021年４月21日、５月12日、６月２日、７月14日、８月４日、９月１日、 10 月６日、11 月 10 日、12 月１日、2022 年１月５日、２月２日、３月２日
2022 年度	2022年４月20日、５月11日、６月１日、７月13日、８月３日、９月７日、 10月５日、11月２日、12月７日、2023年１月11日、２月１日、３月１日
2023 年度	2023年４月19日、５月17日、６月７日、７月５日、８月２日、９月６日、 10 月 11 日、11 月１日、12 月６日、2024 年１月 10 日、２月 14 日、３月６日
2024 年度	2024年４月18日、５月15日、６月５日、７月10日、８月７日、９月11日、 10月２日、11月６日、12月４日、2025年１月８日、２月６日、３月５日

表 288 現地調査期間（河 22 富士見橋）

調査年度	調査期間
2009年度	2009年４月28日、５月27日、６月８日、７月15日、８月19日、９月２日、 10月19日、11月４日、12月２日、2010年１月６日、２月３日、３月19日
2010 年度	2010年４月26日、５月12日、６月２日、７月28日、８月18日、９月１日、 10月６日、11月10日、12月１日、2011年１月５日、２月２日、３月９日
2011 年度	2011年４月18日、５月10日、６月16日、７月６日、８月３日、９月14日、 10月５日、11月９日、12月７日、2012年１月11日、２月15日、３月13日
2012 年度	2012年４月18日、５月14日、６月６日、７月11日、８月１日、９月５日、 10月10日、11月７日、12月５日、2013年１月９日、２月７日、３月６日
2013 年度	2013年４月24日、５月８日、６月５日、７月３日、８月７日、９月４日、 10月２日、11月６日、12月４日、2014年１月８日、２月５日、３月12日
2014 年度	2014年４月16日、５月７日、６月４日、７月２日、８月５日、９月３日、 10月１日、11月５日、12月３日、2015年１月14日、２月４日、３月11日
2015 年度	2015年４月28日、５月20日、６月４日、７月15日、８月６日、９月17日、 10月８日、11月５日、12月９日、2016年１月７日、２月４日、３月３日
2016 年度	2016年４月20日、５月25日、６月１日、７月６日、８月３日、９月28日、 10月５日、11月２日、12月７日、2017年１月11日、２月１日、３月１日
2017 年度	2017年４月26日、５月10日、６月７日、７月12日、８月２日、９月６日、 10月４日、11月８日、12月６日、2018年１月10日、２月７日、３月７日
2018 年度	2018年４月27日、５月17日、６月13日、７月19日、８月９日、９月26日、 10月17日、11月７日、12月５日、2019年１月９日、２月13日、３月６日
2019 年度	2019年４月17日、５月８日、６月５日、７月10日、８月７日、９月４日、 10月２日、11月６日、12月４日、2020年１月15日、２月５日、３月４日
2020 年度	2020年４月15日、５月13日、６月３日、７月21日、８月５日、９月２日、 10月７日、11月４日、12月２日、2021年１月６日、２月３日、３月３日
2021 年度	2021年４月21日、５月12日、６月２日、７月14日、８月４日、９月１日、 10月６日、11月10日、12月１日、2022年１月５日、２月２日、３月２日
2022 年度	2022年４月20日、５月11日、６月１日、７月13日、８月３日、９月７日、 10月５日、11月２日、12月７日、2023年１月11日、２月１日、３月１日
2023 年度	2023年４月19日、５月17日、６月７日、７月５日、８月２日、９月６日、 10 月 11 日、11 月１日、12 月６日、2024 年１月 10 日、２月 14 日、３月６日
2024 年度	2024年４月18日、５月15日、６月５日、７月10日、８月７日、９月11日、 10月２日、11月６日、12月４日、2025年１月８日、２月５日、３月５日

3.5.2調査結果

流量の現地調査の結果は、表 289 及び図 333～図 335 に示します。

表 289　流量計測結果：まとめ

調査年度	河 20 下泉橋			河 21 神座			河 22 富士見橋		
	流量（m^3/s）			流量（m^3/s）			流量（m^3/s）		
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
2009年度	5.31	12.67	2.97	32.20	68.52	6.81	48.75	87.61	23.16
2010年度	16.63	51.89	6.60	31.09	82.66	4.55	32.78	42.28	15.16
2011年度	9.22	21.28	5.25	45.56	119.21	6.94	69.56	145.78	24.10
2012年度	27.87	57.40	5.32	28.43	77.76	8.31	56.51	130.43	23.14
2013年度	7.53	16.42	2.57	16.61	42.81	4.68	32.38	69.83	9.37
2014年度	11.36	36.92	3.93	34.03	59.08	7.86	49.32	72.16	18.70
2015年度	9.87	34.93	3.41	47.86	159.27	4.07	101.54	358.01	13.56
2016 年度	11.63	48.68	2.73	41.43	109.29	8.96	65.47	121.43	22.10
2017 年度	9.54	22.56	3.56	19.59	41.44	4.75	43.93	79.59	13.39
2018 年度	20.92	82.36	3.16	45.17	192.11	4.14	70.62	281.75	9.50
2019 年度	15.36	37.21	4.59	23.31	80.96	6.45	50.22	109.56	13.74
2020 年度	－※1	－※1	－※1	17.69	41.00	5.00	34.35	61.15	11.95
2021 年度	7.44	9.96	3.98	30.05	109.79	3.16	36.27	70.19	3.19
2022 年度	12.73	35.75	1.96	26.42	63.21	3.18	44.3	108.58	16.03
2023 年度	17.27	37.32	5.49	16.39	37.05	4.37	35.00	75.97	14.63
2024 年度	30.99	67.28	6.1	5.74	8.05	3.19	17.44	30.46	10.52
過年度	14.24	82.36	1.96	28.85	192.11	3.16	49.28	358.01	3.19

注１：「※１」は、2020 年度は欠測であることを示します。

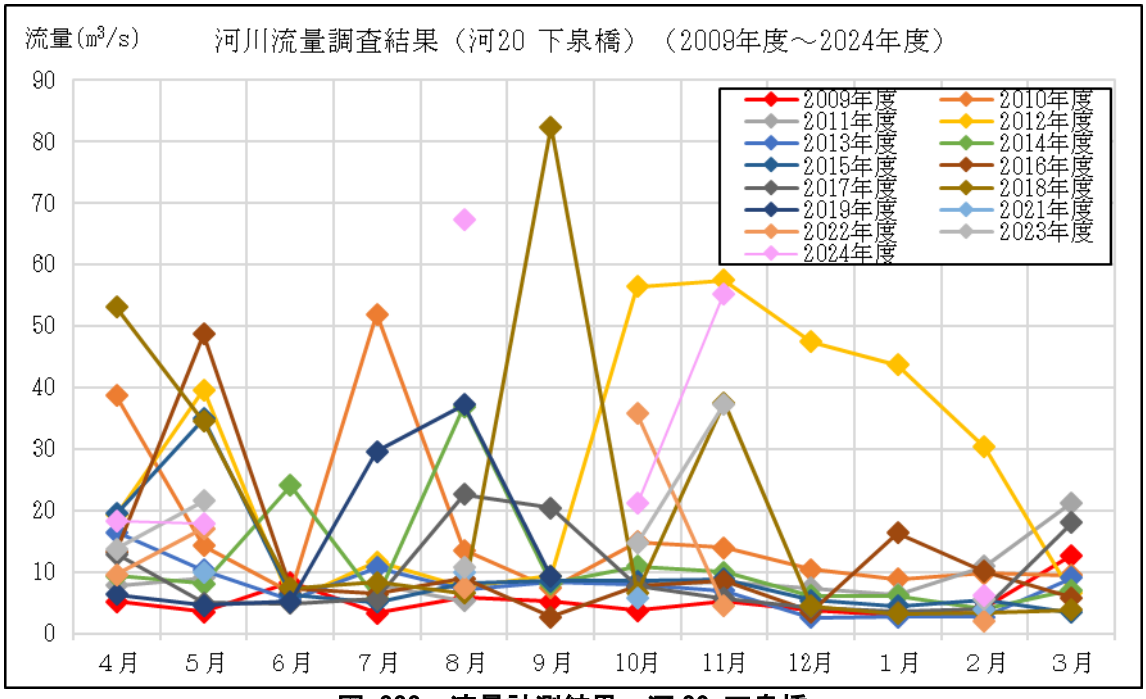


図 333　流量計測結果：河 20 下泉橋

・2020 年度は欠測となっています。

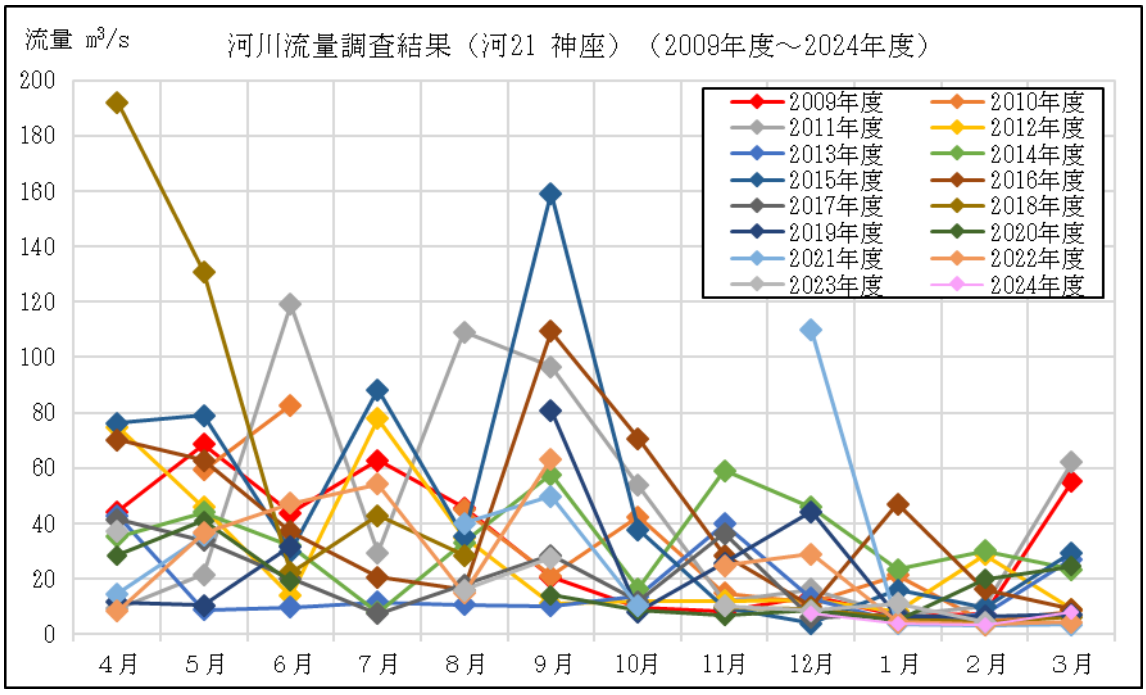


図 334　流量計測結果：河 21 神座

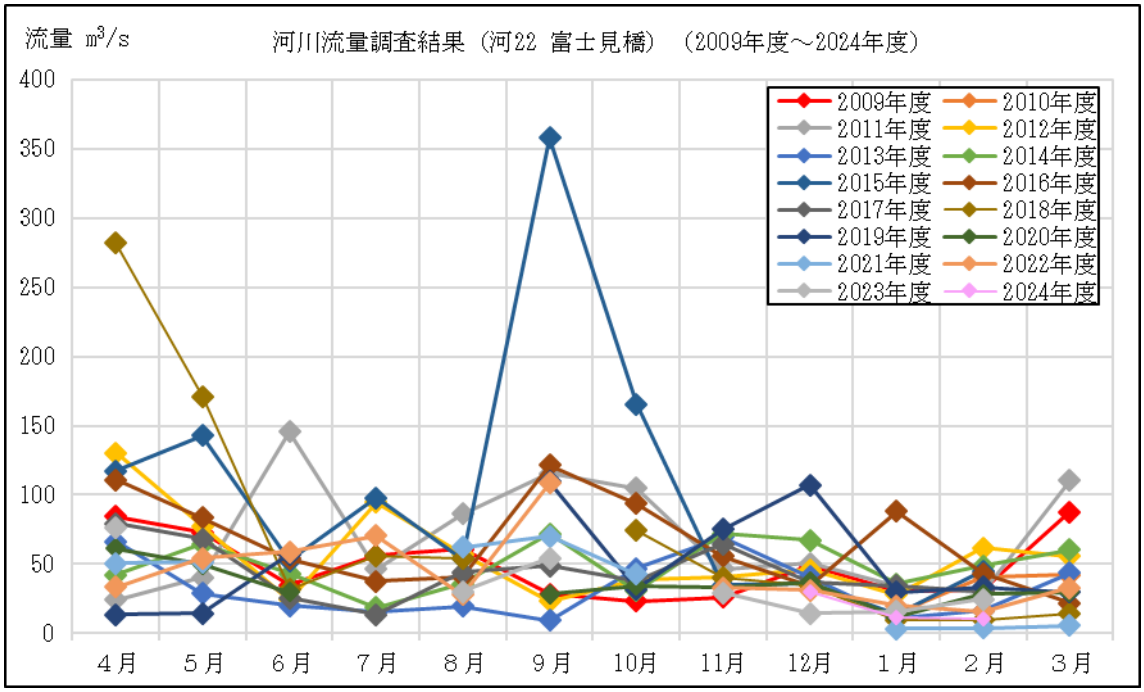


図 335 流量計測結果：河 22 富士見橋

3.6 高標高部の湧き水【事後調査及びモニタリング計画通し番号 85～88、107、108、115、116】

3.6.1調査期間

調査期間は表 290 及び表 291 に示します。

表 290 調査期間（現地調査）

調査項目	調査地点	調査期間
湧水量	湧 01 千枚小屋北	2025 年５月 14 日、６月 12 日、７月７日、10 月９日
	湧 02 千枚小屋南	2025 年６月 12 日、７月７日、10 月９日
	湧 03 荒川小屋	2025 年７月９日、10 月８日
	湧 04 高山裏避難小屋	2025 年７月 10 日、10 月８日
	湧 05 伝付峠付近	2024 年８月６日、９月９日、10 月 10 日、11 月 14 日、12 月 25 日、2025 年４月 24 日、５月 16 日、６月 13 日、７月 10 日、８月７日、９月 18 日、10 月 15 日、11 月 13 日、12 月４日、2026 年１月 16 日、２月４日、３月５日

表 291 調査期間（時間１回計測）

調査項目	調査地点	調査期間
水位	湧 01 千枚小屋北	2025 年４月～2025 年 10 月
	湧 02 千枚小屋南	
	湧 03 荒川小屋	
	湧 04 高山裏避難小屋	
	湧 05 伝付峠付近	2025 年４月～2026 年２月

3.6.2 湧 01 千枚小屋北

3.6.2.1 調査結果（現地計測）

湧 01 千枚小屋北の現地計測の調査結果を表 292 に示します。

表 292 調査結果（現地計測）（湧 01 千枚小屋北）

調査番号		湧 01
調査地点		千枚小屋北
調査項目		湧水量 (m3/min)
2025 年度	5 月	0.050
	6 月	0.100
	7 月	0.001
	10 月	0.000

3.6.2.2 調査結果（時間 1 回計測）

湧 01 千枚小屋北の時間 1 回計測の調査結果を表 293 及び図 336 に示します。

表 293 調査結果（時間 1 回計測）（湧 01 千枚小屋北）

調査年度	湧 01 千枚小屋北 水位（cm）		
	平均	最大	最小
2025 年度	15.1	28.5	9.7

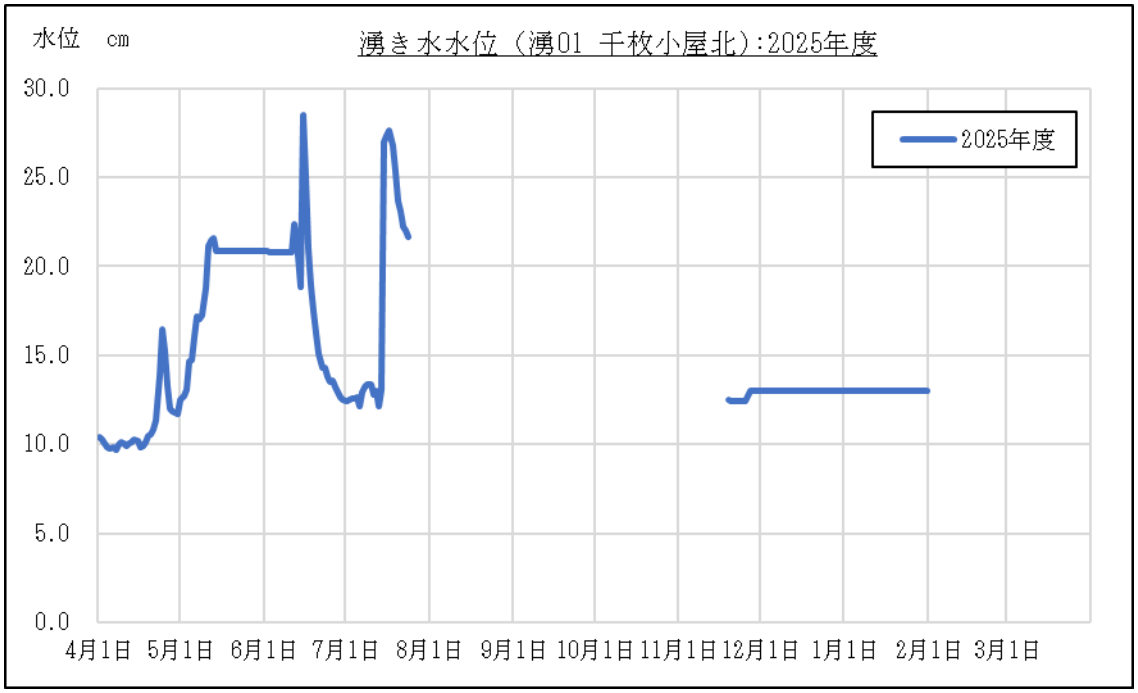


図 336 調査結果（2025 年度）（湧 01 千枚小屋北）

・7 月下旬の落雷により計測値に異常が発生したため、7 月下旬から 11 月中旬は欠測となっています。

3.6.3 湧 02 千枚小屋南

3.6.3.1 調査結果（現地計測）

湧 02 千枚小屋南の現地計測の調査結果を表 294 に示します。

表 294 調査結果（現地計測）（湧 02 千枚小屋南）

調査番号		湧 02
調査地点		千枚小屋南
調査項目		湧水量 (m3/min)
2025 年度	6 月	0.060
	7 月	0.020
	10 月	0.000

3.6.3.2 調査結果（時間 1 回計測）

湧 02 千枚小屋南の時間 1 回計測の調査結果を表 295 及び図 337 に示します。

表 295 調査結果（時間 1 回計測）（湧 02 千枚小屋南）

調査年度	湧 02 千枚小屋南 水位（cm）		
	平均	最大	最小
2025 年度	26.7	33.4	24.5

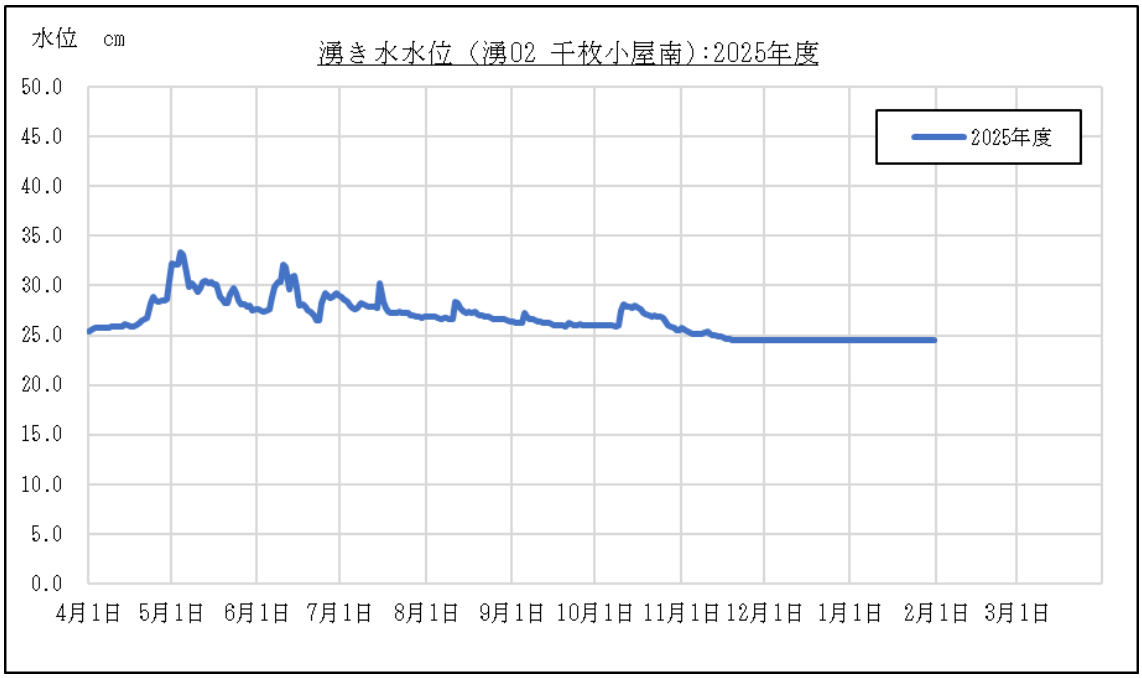


図 337 調査結果（2025 年度）（湧 02 千枚小屋南）

3.6.4 湧 03 荒川小屋

3.6.4.1 調査結果（現地計測）

湧 03 荒川小屋の現地計測の調査結果を表 296 に示します。

表 296 調査結果（現地計測）（湧 03 荒川小屋）

調査番号		湧 03
調査地点		荒川小屋
調査項目		湧水量 (m3/min)
2025 年度	7 月	0.004
	10 月	0.020

3.6.4.2 調査結果（時間 1 回計測）

湧 03 荒川小屋の時間 1 回計測の調査結果を表 297 及び図 338 に示します。

表 297 調査結果（時間 1 回計測）（湧 03 荒川小屋）

調査年度	湧 03 荒川小屋 水位（cm）		
	平均	最大	最小
2025 年度	13.7	13.7	13.7

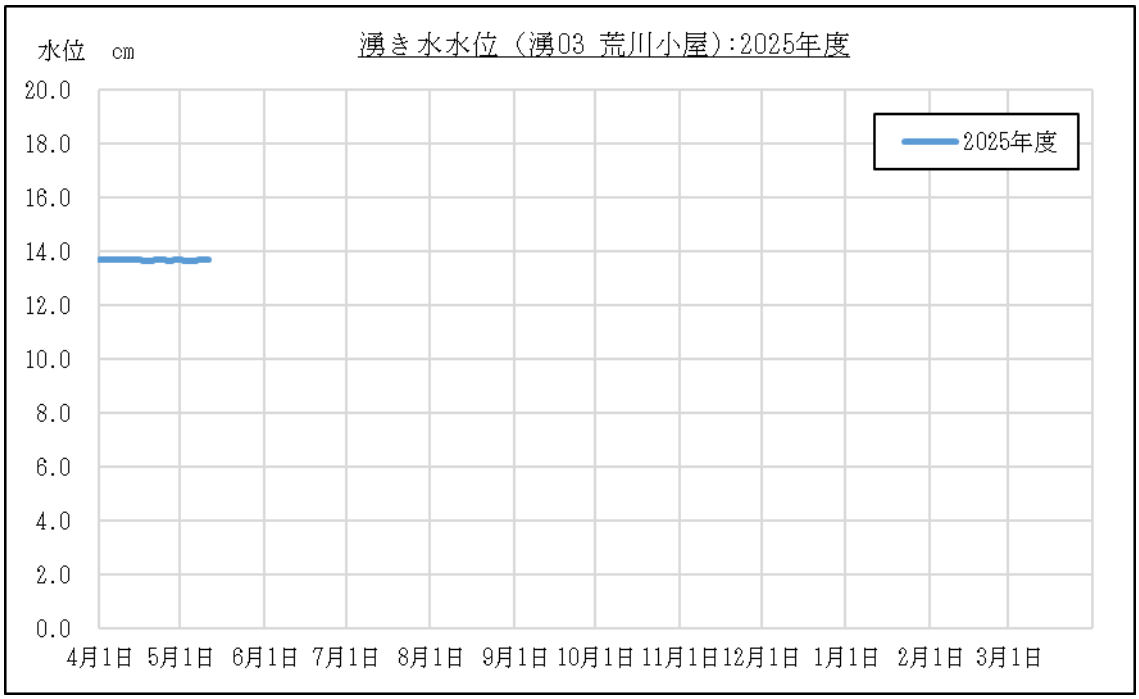


図 338 調査結果（2025 年度）（湧 03 荒川小屋）

・5 月中旬に計測機器が流出したため、以降は欠測となっています。なお、計測機器は 10 月上旬に再設置済みです。

3.6.5 湧 04 高山裏避難小屋

3.6.5.1 調査結果（現地計測）

湧 04 高山裏避難小屋の現地計測の調査結果を表 298 に示します。

表 298 調査結果（現地計測）（湧 04 高山裏避難小屋）

調査番号		湧 04
調査地点		高山裏避難小屋
調査項目		湧水量 (m3/min)
2025 年度	7 月	0.000
	10 月	0.000

3.6.5.2 調査結果（時間 1 回計測）

湧 04 高山裏避難小屋の時間 1 回計測の調査結果を表 299 及び図 339 に示します。

表 299 調査結果（時間 1 回計測）（高山裏避難小屋）

調査年度	湧 04 高山裏避難小屋 水位（cm）		
	平均	最大	最小
2025 年度	7.7	21.3	0.0

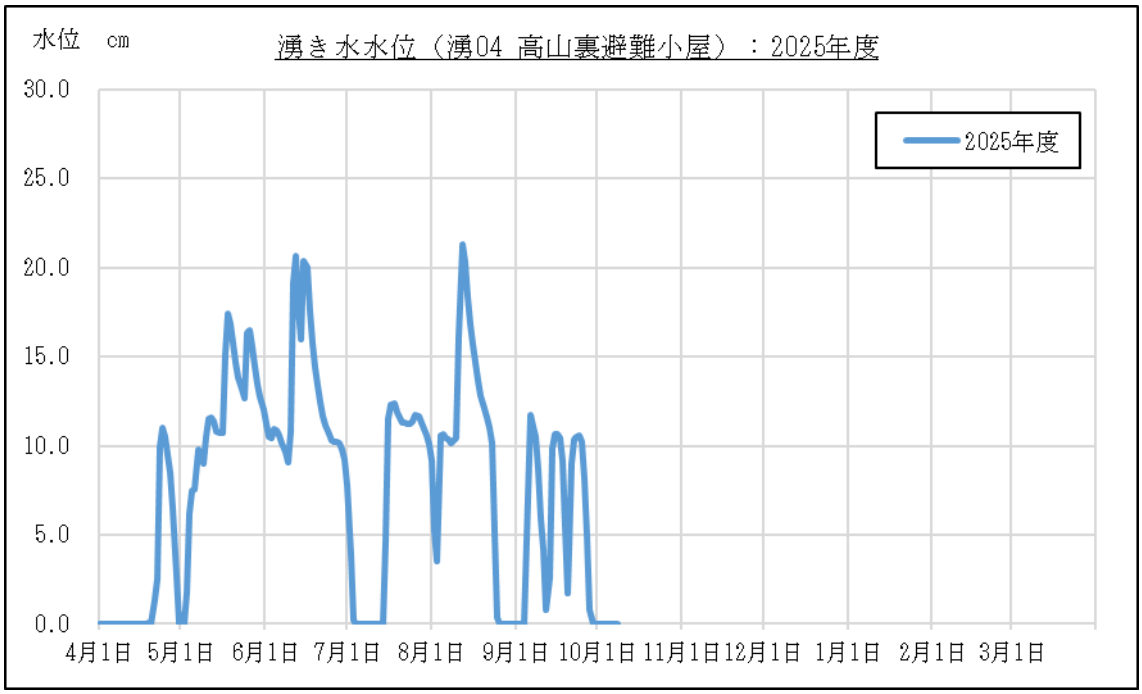


図 339 調査結果（2025 年度）（湧 04 高山裏避難小屋）

・一部期間において、表流水がなく水位が 0.0cm となっています。

3.6.6 湧 05 伝付峠付近

3.6.6.1 調査結果（現地計測）

湧 05 伝付峠付近の現地計測の調査結果を表 300 に示します。

表 300 調査結果（現地計測）（湧 05 伝付峠付近）

調査番号		湧 05	湧 05	湧 05
調査地点		伝付峠付近	伝付峠付近水場①	伝付峠付近水場②
調査項目		湧水量（m3/min）		
2025 年度	４月	0.000	0.004	0.010
	５月	0.005	0.010	0.010
	６月	0.060	0.030	0.080
	７月	0.004	0.010	0.020
	８月	0.010	0.010	0.020
	９月	0.000	0.003	0.010
	１０月	0.000	0.002	0.010
	１１月	0.000	0.003	0.010
	１２月	0.000	0.002	0.010
	１月	0.000	0.002	0.010
	２月	0.000	0.002	0.005
	３月	0.000	0.002	0.003

3.6.6.2 調査結果（時間１回計測）

湧 05 伝付峠付近の時間１回計測の調査結果を表 301 及び図 340 に示します。

表 301 調査結果（時間１回計測）（湧 05 伝付峠付近）

調査年度	湧 05 伝付峠付近		
	水位（cm）		
	平均	最大	最小
2025 年度	10.4	17.6	2.7

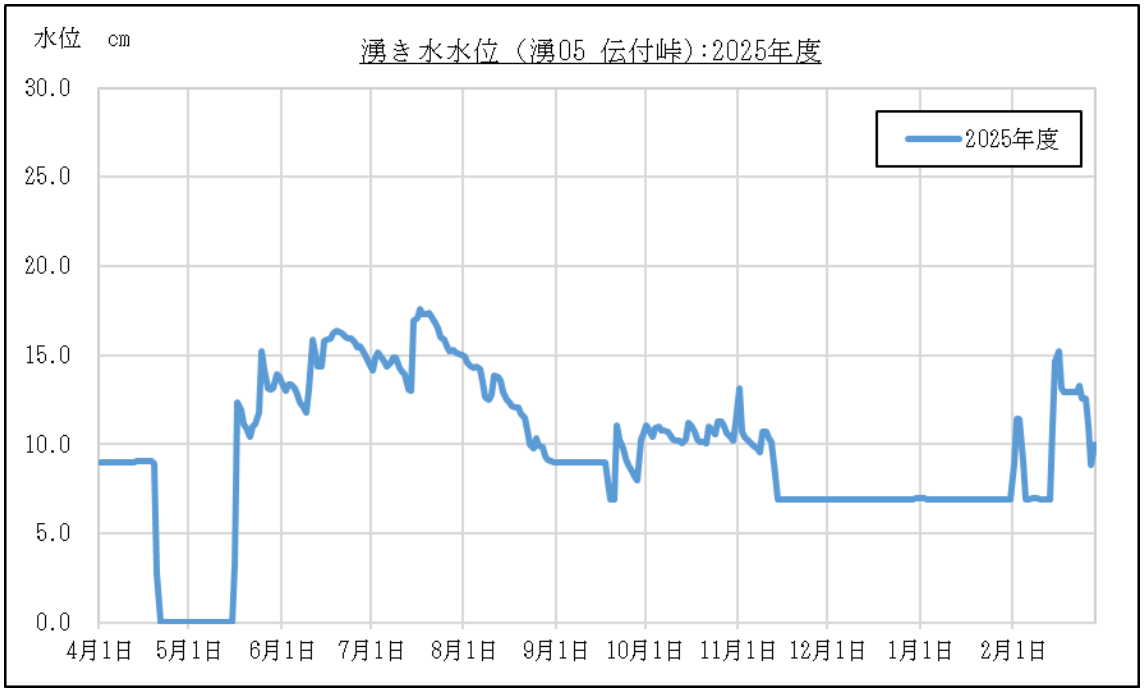


図 340 調査結果（2025 年度）（湧 05 伝付峠付近）

・４月下旬から５月中旬にかけて表流水がなく、水位の換算地が 0.0cm 未満となっています。
・11 月下旬から２月中旬にかけて水位計を設置した箇所では流れ込む水が無く、溜まった水位を計測していたため変動は確認されておりません。

3.7 高標高部の土壌水分量【事後調査及びモニタリング計画通し番号 89、117】

・高標高部の土壌水分計測は以下の通り行いました。

① 測定結果における注意点

体積含水率の測定値について、高山帯（丸山～西カール）での観測対象は最大人頭大の礫を含む土砂です。水分は主に礫間を埋める粘土や砂に含まれており、分布は極めて不均質とみられます。従って、測定値はセンサー近傍における局所的な体積含水率を示しており、土砂全体の平均的な含水率とは必ずしも一致しません。また、千枚小屋付近および伝付峠の土砂は粘土・砂を主体としていますが、これらの地点においても、測定値はセンサー周辺の礫の影響を受けている可能性があります。

pF 値について、土砂の毛管吸引力の水頭値(cm)を常用対数で示したものです。例として、pF2 とは、水深 1m 下にある飽和水を吸い上げるために必要な土砂の吸引力を示しています。pF2.7～3 は「成長阻害値」と呼ばれ、植物の根が水分を吸収することが難しくなる値とされており、このような高い pF 値が度々発生すると、植生に悪影響が生じるようになります。計器のメーカーが保証している測定範囲は、pF1.7～pF3.5 であり、F1.7 以下でも、測定値が表示されますが、誤差が大きく、またこの範囲では計器ごとの個体差も存在するとみられます。なお、実際の観測データでは、飽和状態に近い条件下において pF 値が 0 付近で推移する事例が確認されていますが、これは測定原理および分解能の制約によるものであり、真の吸引力を定量的に示すものではありません。

また、無雪期においては、測定値は降雨と日照の影響で変動していますが、積雪で覆われると短期の変動はなくなります。地中が完全に凍結すると、計器は液体の水を対象としていますので、体積含水率は 0 を示し、pF 値は最大値になります。実際の測定結果には、地中の部分的な凍結の影響も含まれているとみられます。

② 欠測について

以下調査結果における欠測の原因ですが、太陽光パネルの不具合（高標高 04 西カール）や、積雪による太陽光パネルの機能停止中における蓄電池の消耗（高山地帯の残雪期)、雷が原因の高圧地電流によるとみられるセンサーの破損（高標高 05 千枚小屋付近)、獣害とおもわれるロガーへの接続コードの引抜き（高標高 06 伝付峠付近）があげられます。

3.7.1調査期間

調査期間を表 302 に示します。

表 302 調査期間（時間１回計測）

調査地点	調査期間
高標高 01 丸山	2022 年 10 月～2026 年３月 中岳避難小屋の、設置深度 7 ㎝、20 ㎝、50 ㎝、および西カールの設置深度 20㎝、50㎝は、2023 年８月以降
高標高 02 悪沢岳	
高標高 03 中岳避難小屋付近	
高標高 04 西カール	
高標高 05 千枚小屋付近	2024 年９月～2026 年３月
高標高 06 伝付峠付近	2024 年９月～2026 年３月

3.7.2 高標高 01 丸山

3.7.2.1 調査結果

高標高 01　丸山の 2022 年度～2025 年度の体積含水率及び pF 値の調査結果を図　341～図 348 に示します。

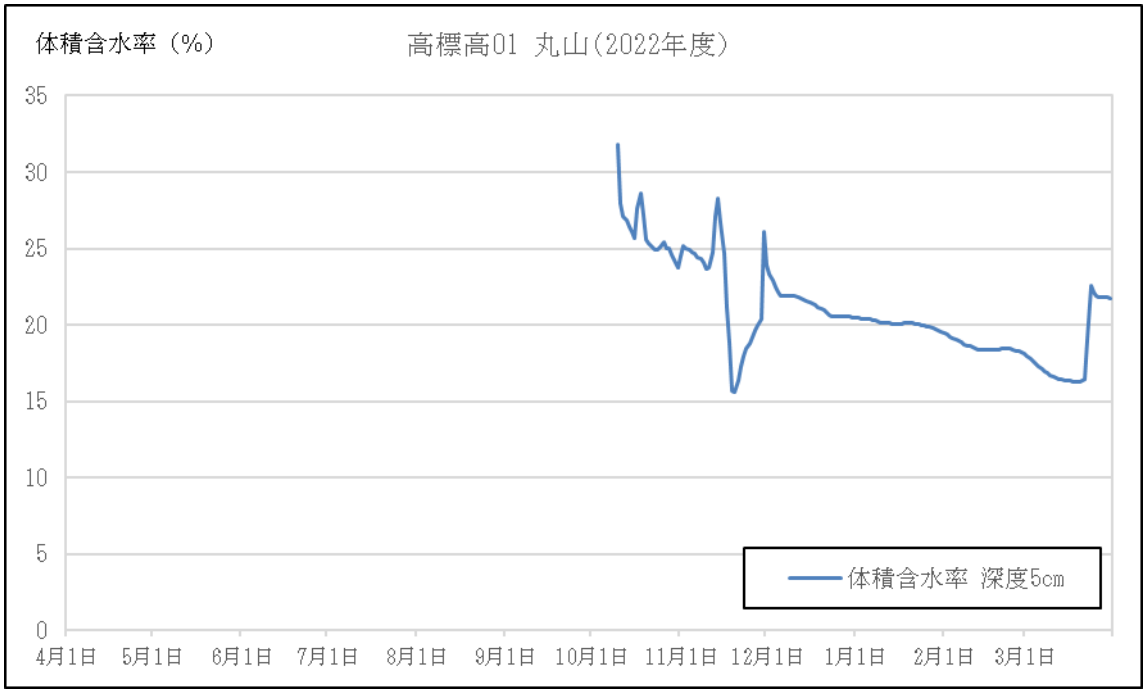


図 341 体積含水率の調査結果（高標高 01 丸山（2022 年度））

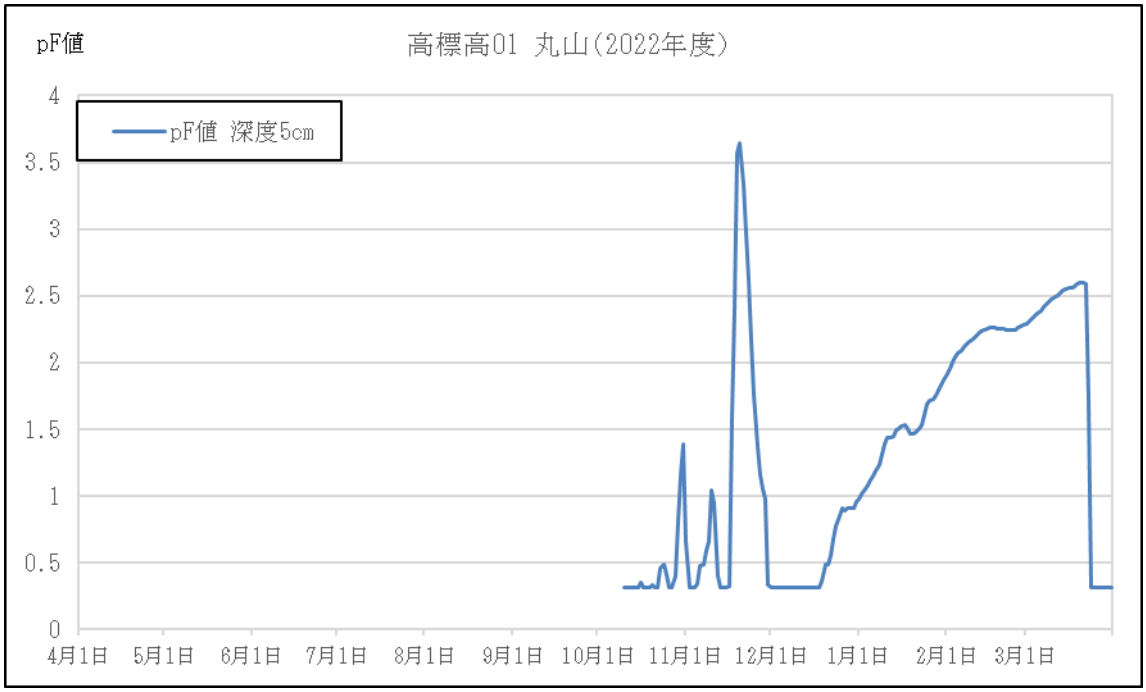


図 342 pF 値の調査結果（高標高 01 丸山（2022 年度））

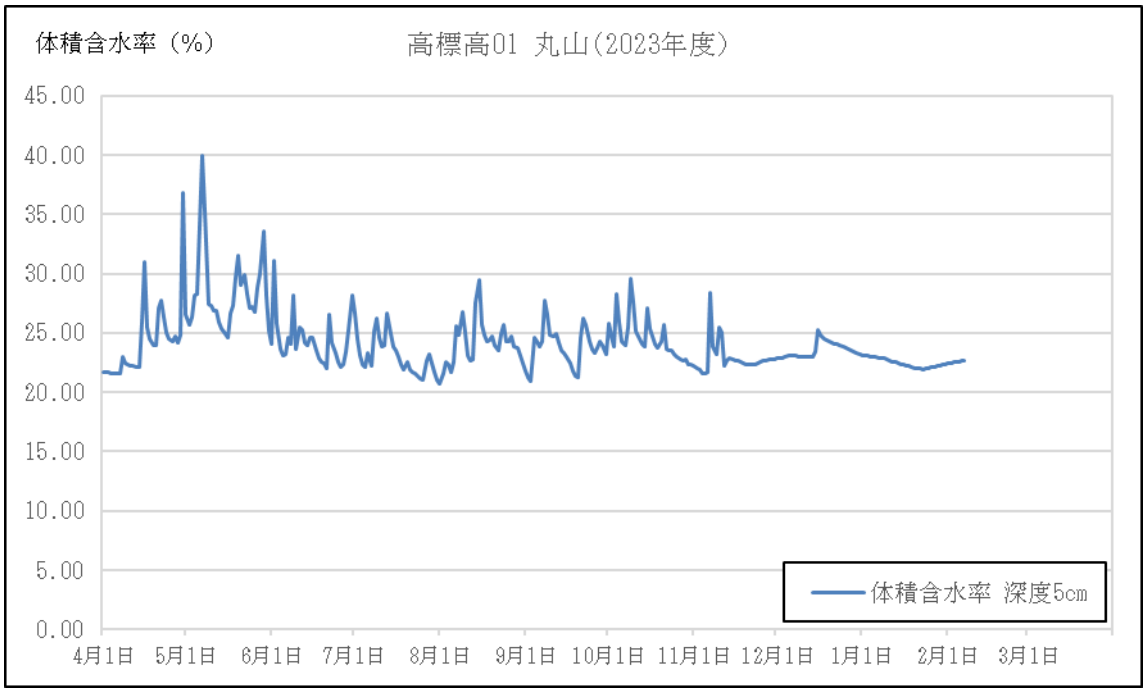


図 343 体積含水率の調査結果（高標高 01 丸山（2023 年度））

・2024 年２月よりバッテリー不足のため欠測しています。

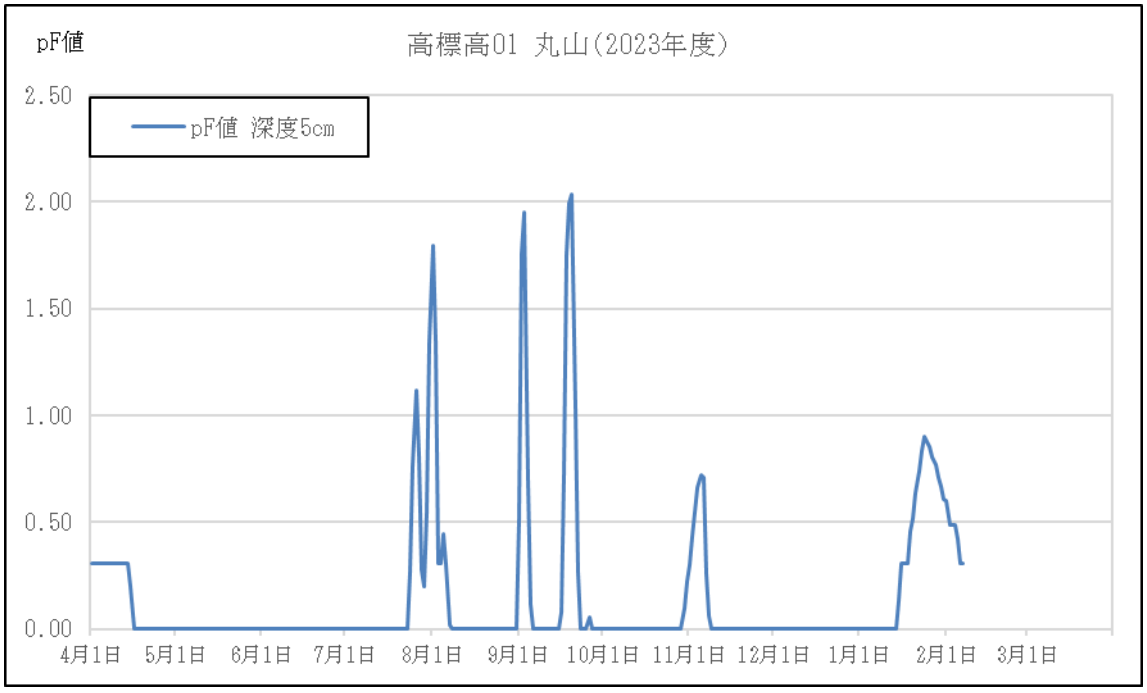


図 344 pF 値の調査結果（高標高 01 丸山（2023 年度））

・2024 年２月よりバッテリー不足のため欠測しています。

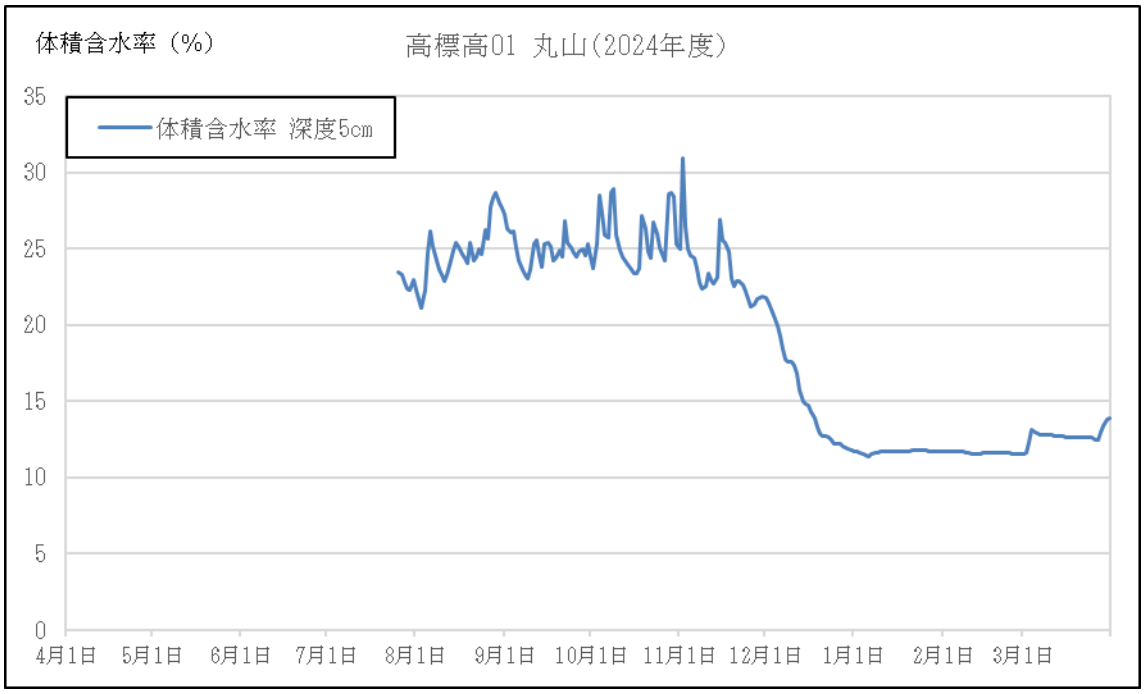


図 345 体積含水率の調査結果（高標高 01 丸山（2024 年度））

・2024 年 7 月までバッテリー不足のため欠測しています。

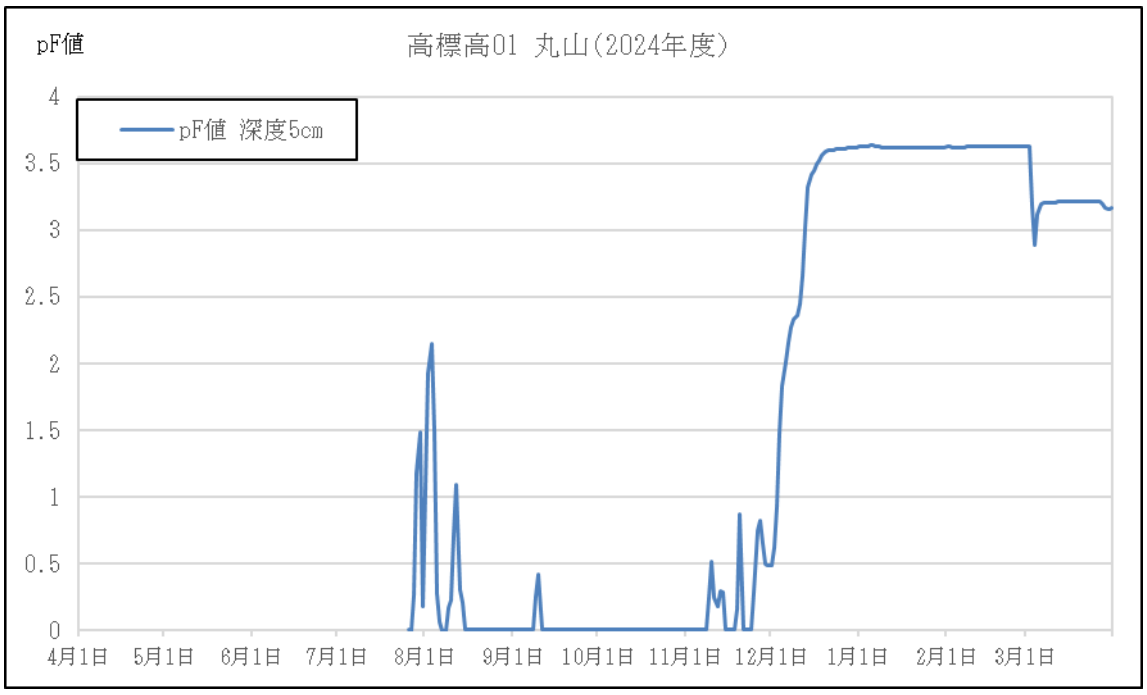


図 346 pF 値の調査結果（高標高 01 丸山（2024 年度））

・2024 年 7 月までバッテリー不足のため欠測しています。

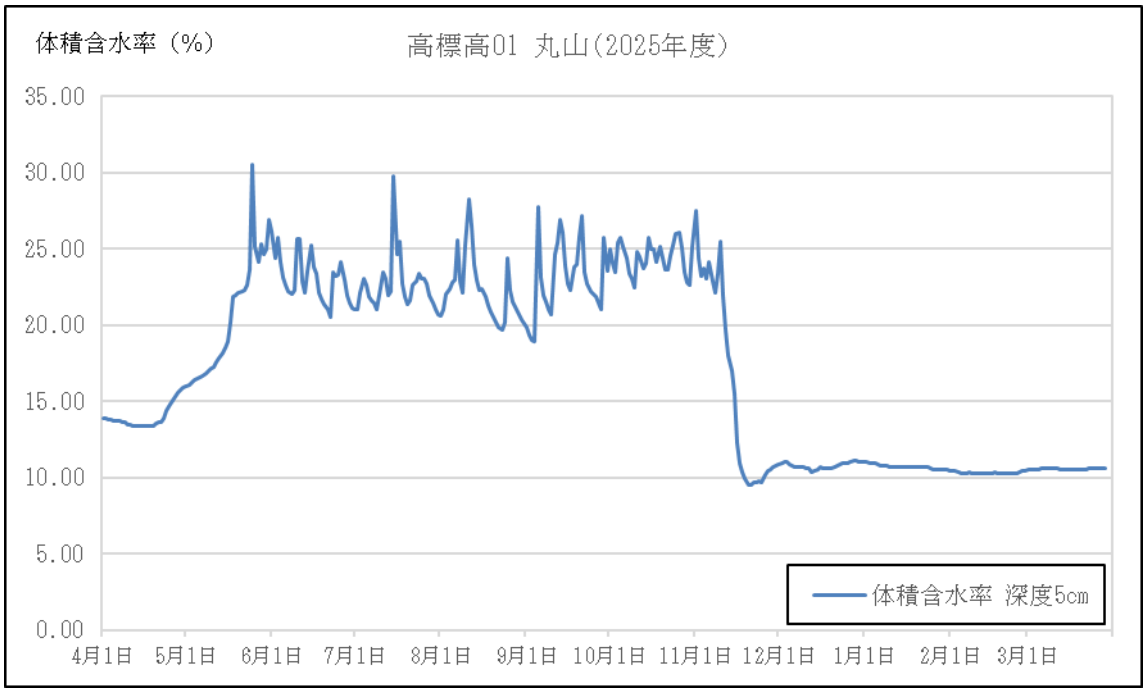


図 347 体積含水率の調査結果（高標高 01 丸山（2025 年度））

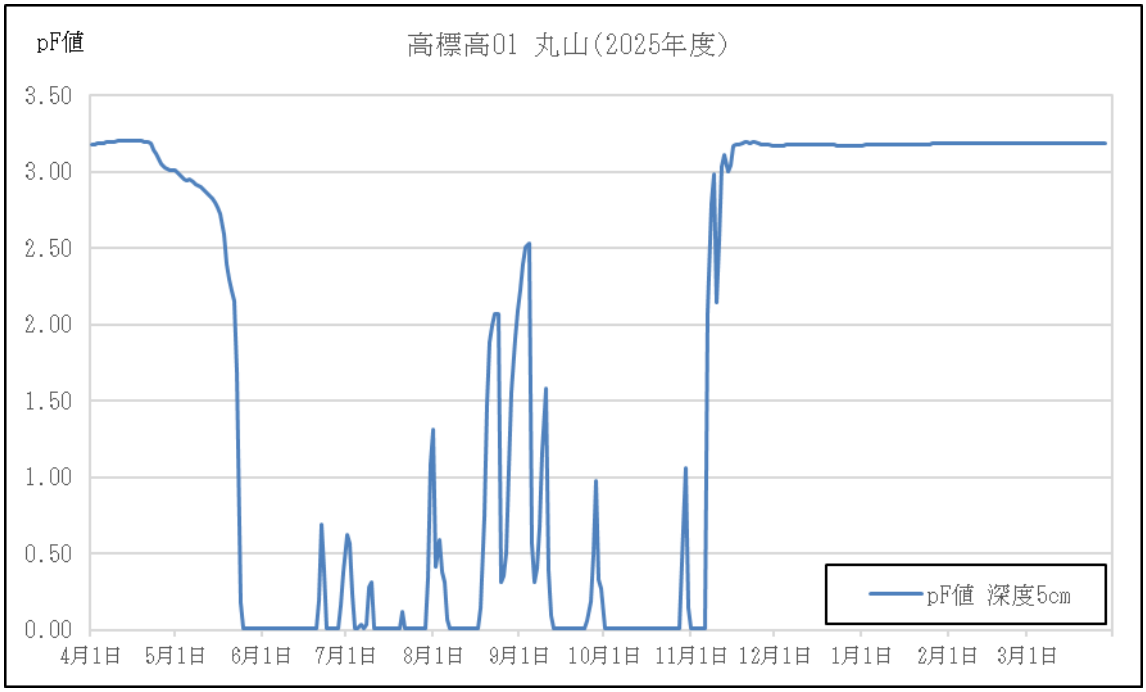


図 348 pF 値の調査結果（高標高 01 丸山（2025 年度））

3.7.3 高標高 02 悪沢岳

3.7.3.1 調査結果

高標高 02 悪沢岳の 2022 年度～2025 年度の体積含水率及び pF 値の調査結果を図 349～図 356 に示します。



図 349 体積含水率の調査結果（高標高 02 悪沢岳（2022 年度））

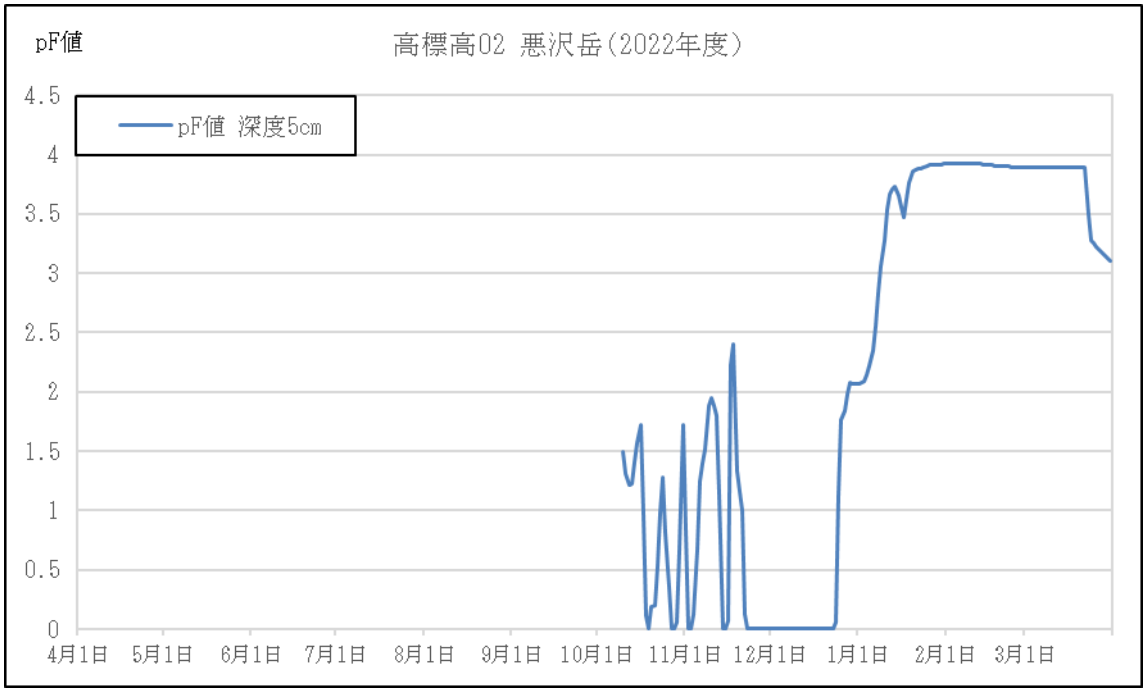


図 350 pF 値の調査結果（高標高 02 悪沢岳（2022 年度））

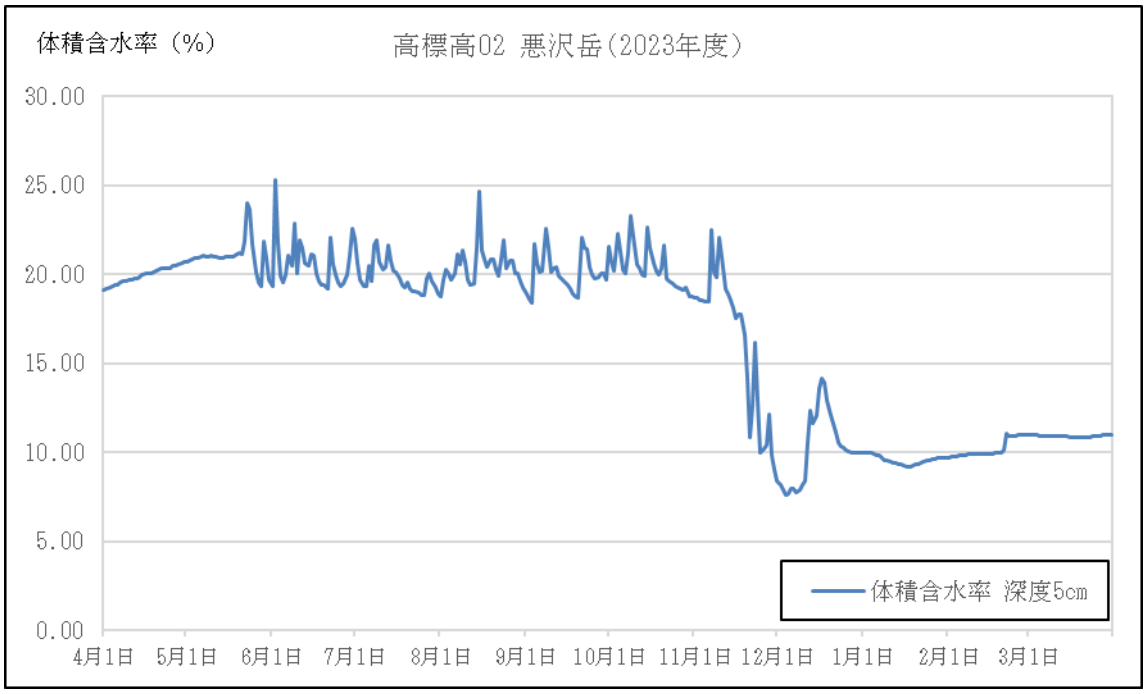


図 351 体積含水率の調査結果（高標高 02 悪沢岳（2023 年度））

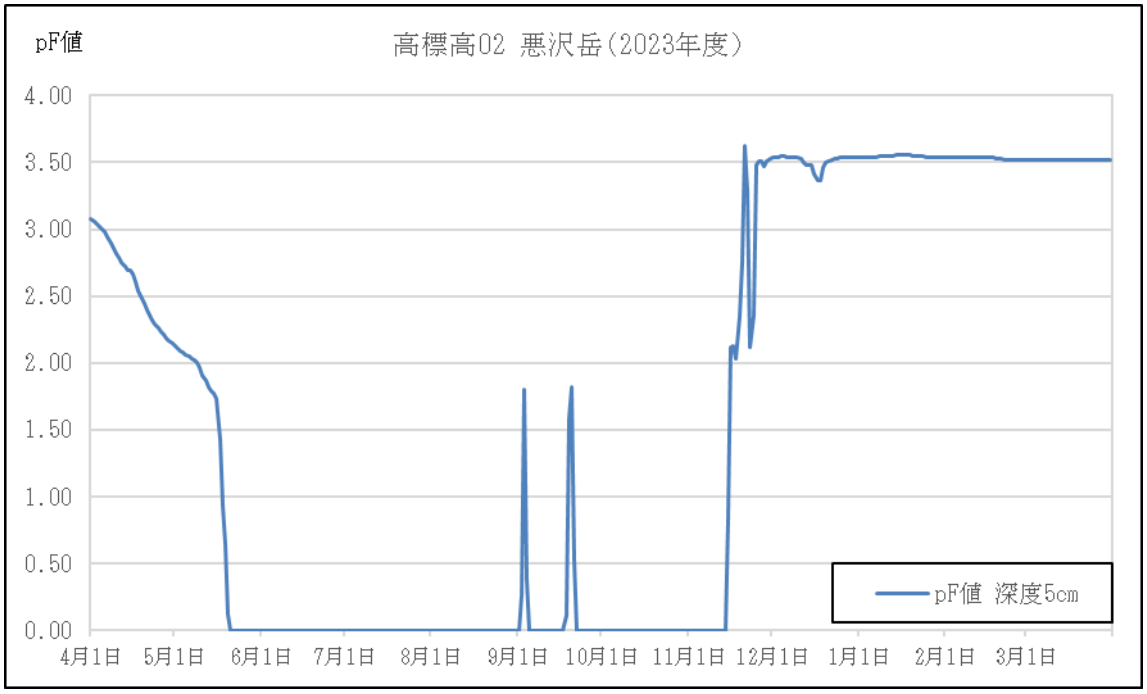


図 352 pF 値の調査結果（高標高 02 悪沢岳（2023 年度））

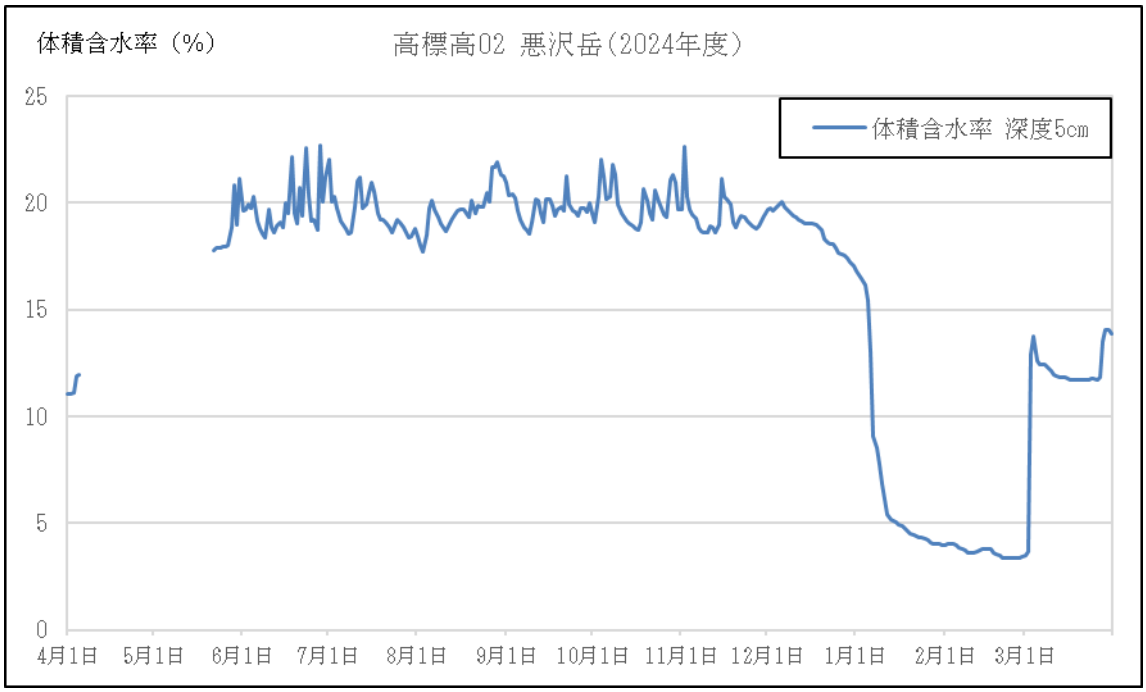


図 353 体積含水率の調査結果（高標高 02 悪沢岳（2024 年度））

・2024 年４月から５月までバッテリー不足のため欠測しています。

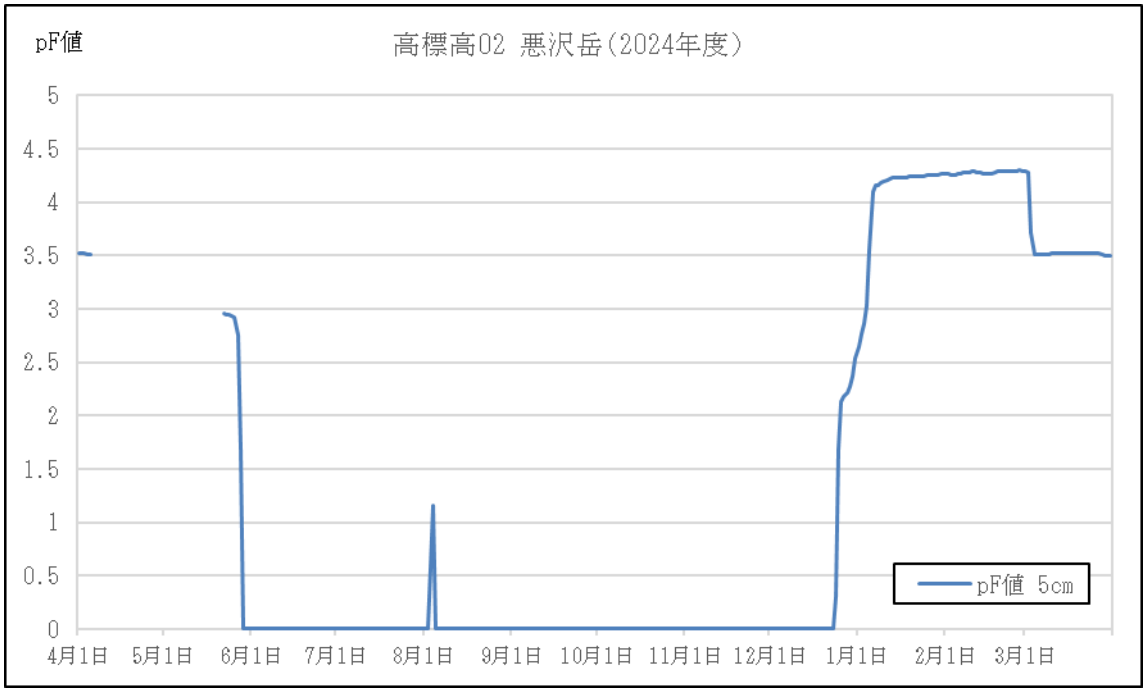


図 354 pF 値の調査結果（高標高 02 悪沢岳（2024 年度））

・2024 年４月から５月まではバッテリー不足のため欠測しています。



図 355 体積含水率の調査結果（高標高 02 悪沢岳（2025 年度））

・2025 年４月から５月までバッテリー不足のため欠測しています。
・2026 年２月から通信状況が悪くデータが取得出来ておりません。ロガー（発信機）を厚い積雪が覆っている可能性があります。記録はロガーに残されているので通信が回復すれば取得できます。

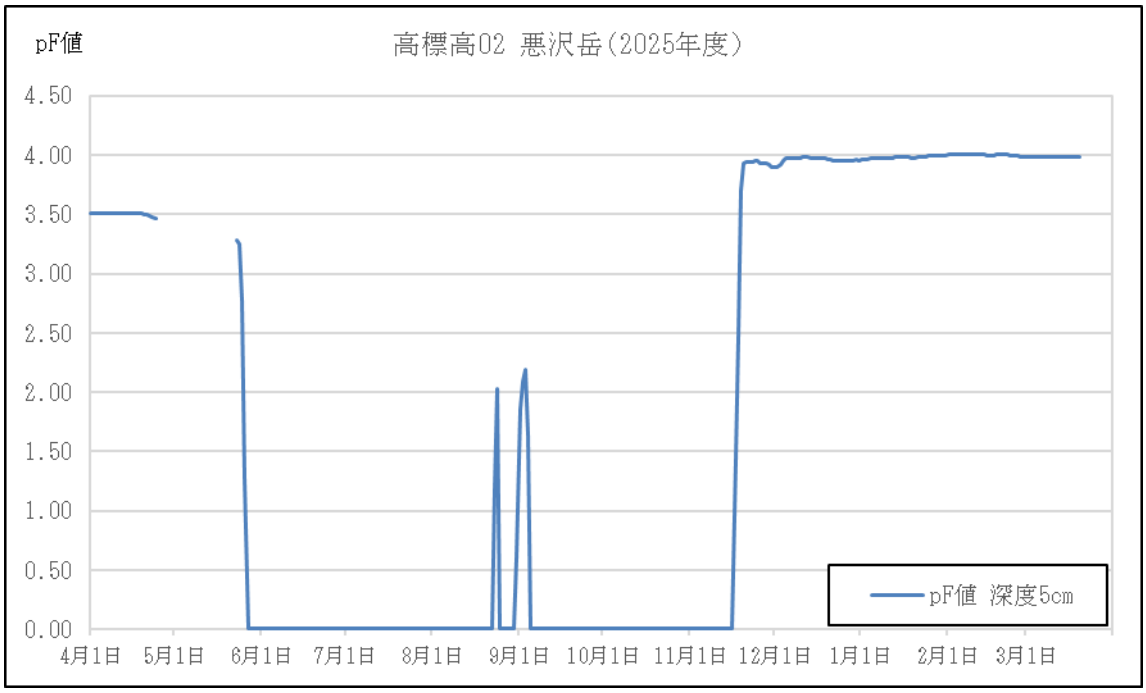


図 356 pF 値の調査結果（高標高 02 悪沢岳（2025 年度））

・2025 年４月から５月までバッテリー不足のため欠測しています。
・2026 年２月から通信状況が悪くデータが取得出来ておりません。

3.7.4 高標高 03 中岳避難小屋付近

3.7.4.1 調査結果

高標高 03 中岳避難小屋付近の 2022 年度～2025 年度の体積含水率及び pF 値の調査結果を図 357～図 364 に示します。

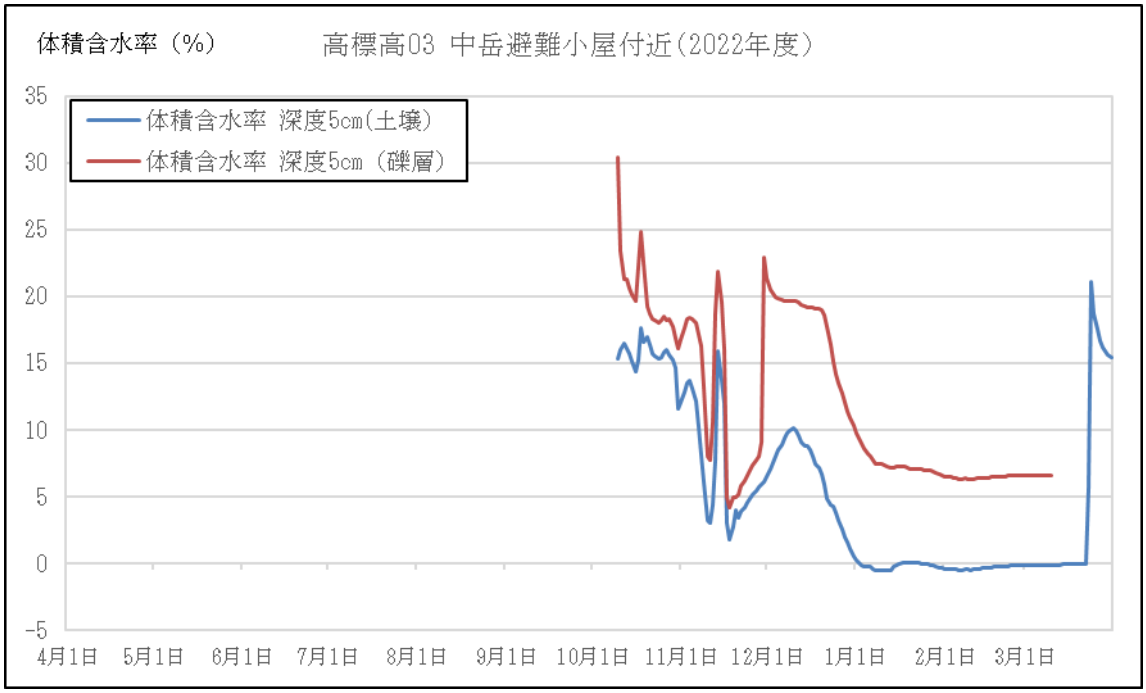


図 357 体積含水率の調査結果（高標高 03 中岳避難小屋付近（2022 年度））

・深度５ｃｍ（礫層）は 2023 年３月よりバッテリー不足のため欠測しています。

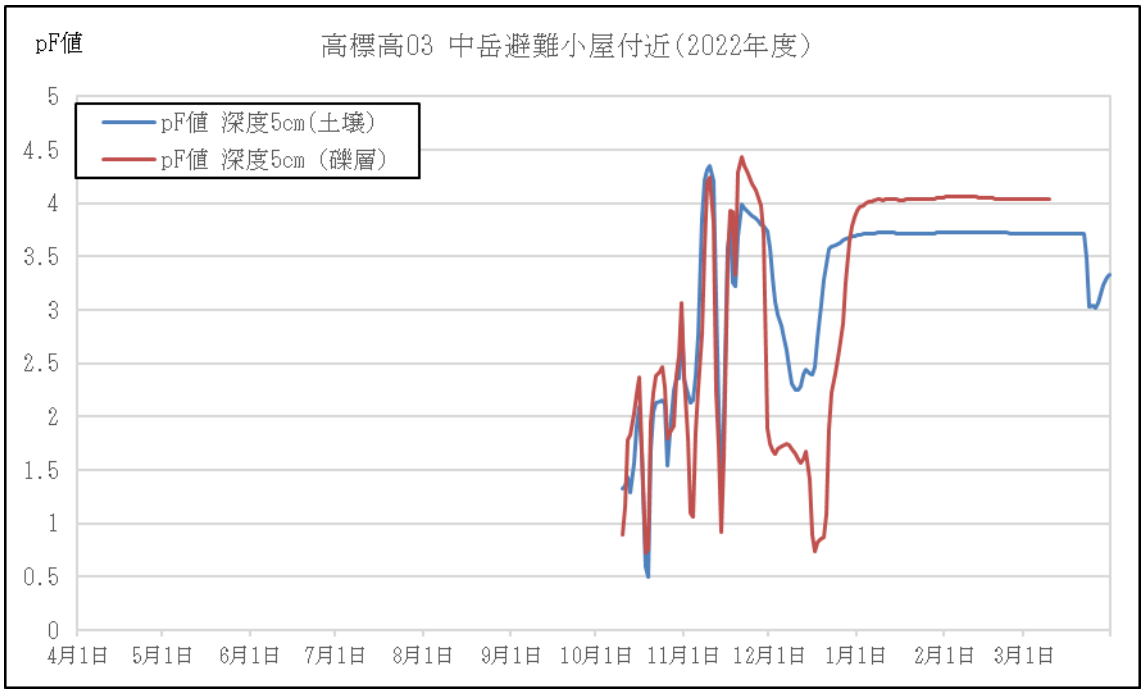


図 358 pF 値の調査結果（高標高 03 中岳避難小屋付近（2022 年度））

・深度５ｃｍ（礫層）は 2023 年３月よりバッテリー不足のため欠測しています。

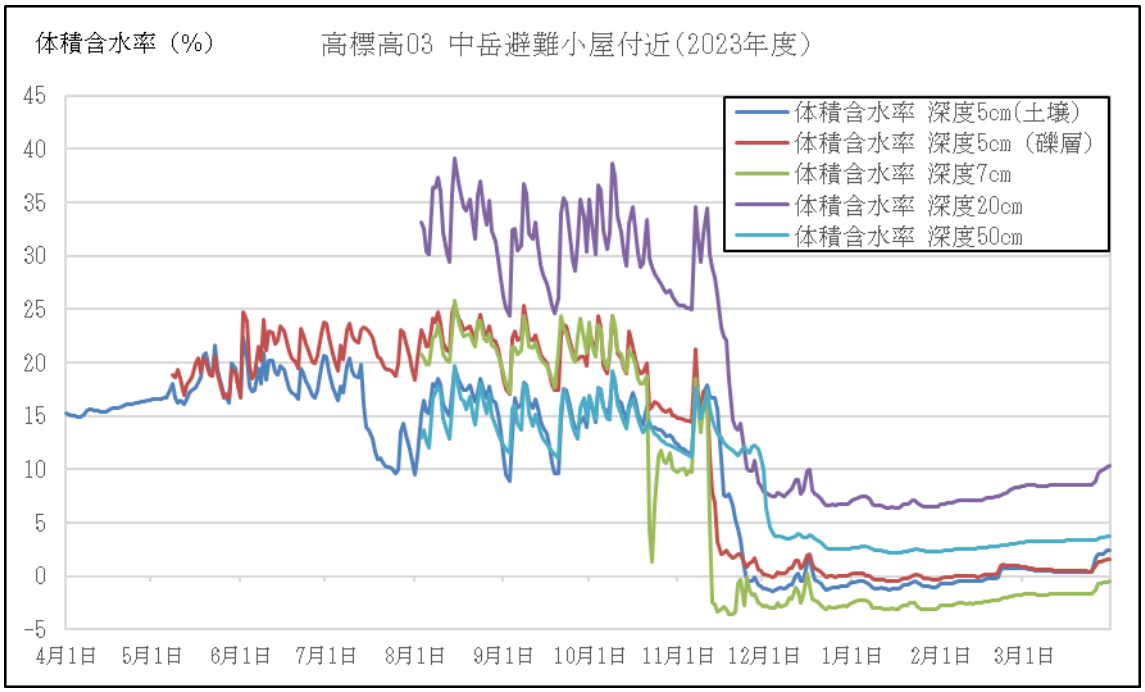


図 359 体積含水率の調査結果（高標高 03 中岳避難小屋付近（2023 年度））

・深度５ｃｍ（礫層）は 2023 年５月バッテリー不足のため欠測しています。

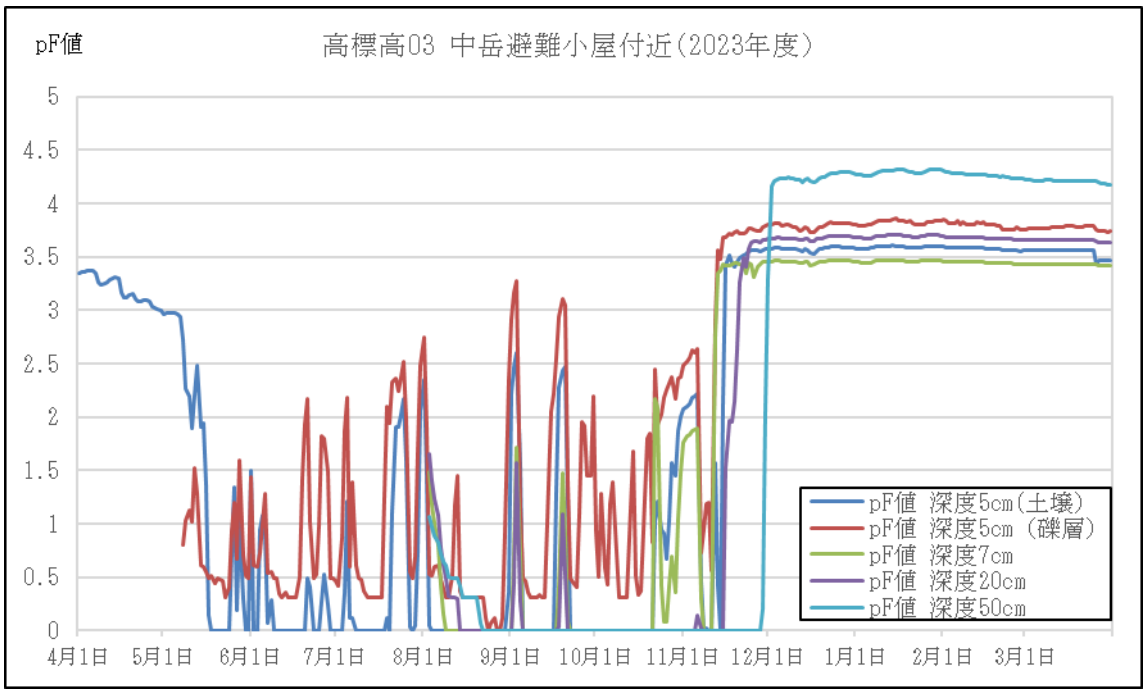


図 360 pF 値の調査結果（高標高 03 中岳避難小屋付近（2023 年度））

・深度５ｃｍ（礫層）は 2023 年５月バッテリー不足のため欠測しています。

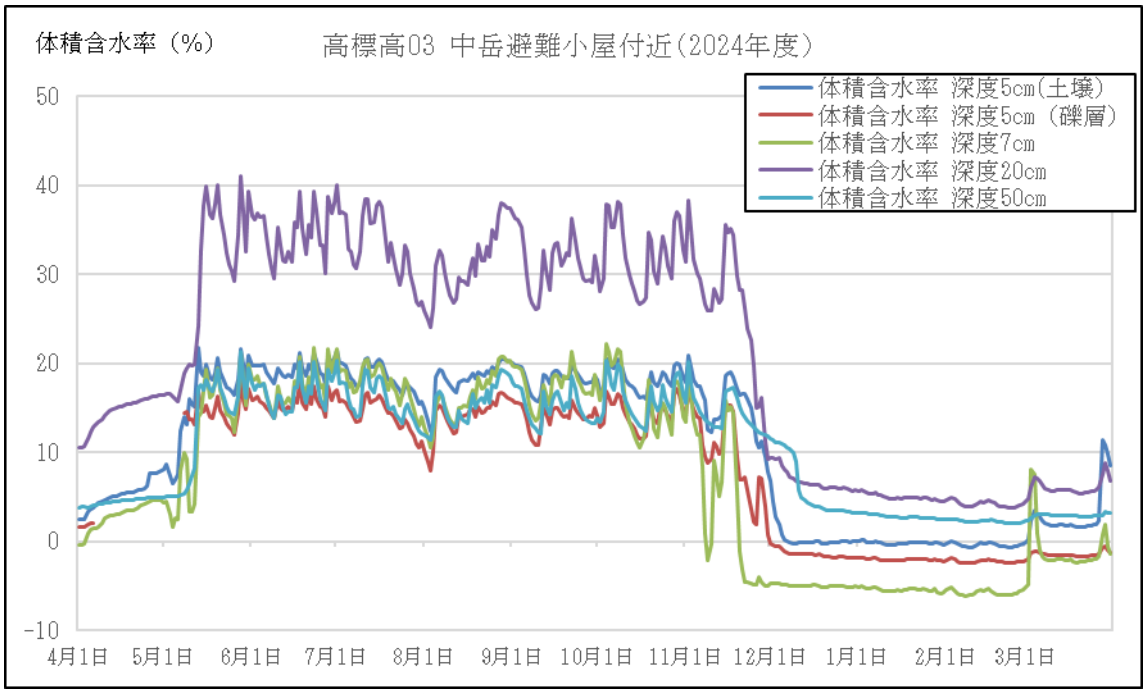


図 361 体積含水率の調査結果（高標高 03 中岳避難小屋付近（2024 年度））

・深度５ｃｍ（礫層）は 2024 年４月から５月までバッテリー不足のため欠測しています。

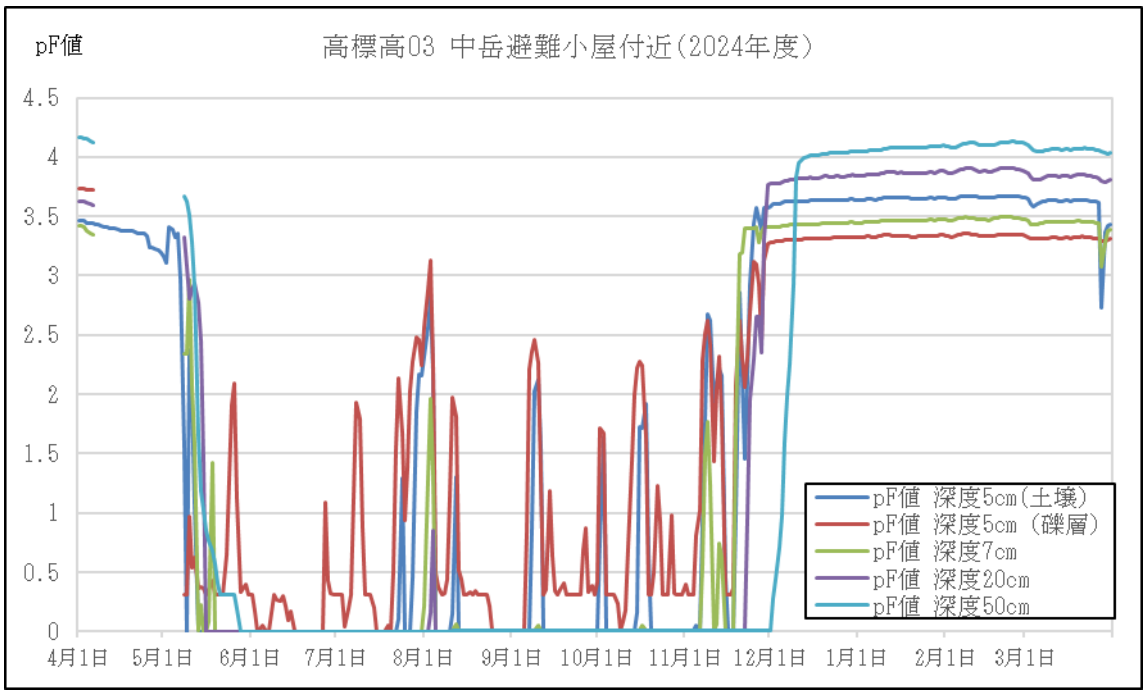


図 362 pF 値の調査結果（高標高 03 中岳避難小屋付近（2024 年度））

・深度５ｃｍ（礫層）、深度７ｃｍ、深度 20ｃｍ、深度 50ｃｍは 2024 年４月から５月までバッテリー不足のため欠測します。

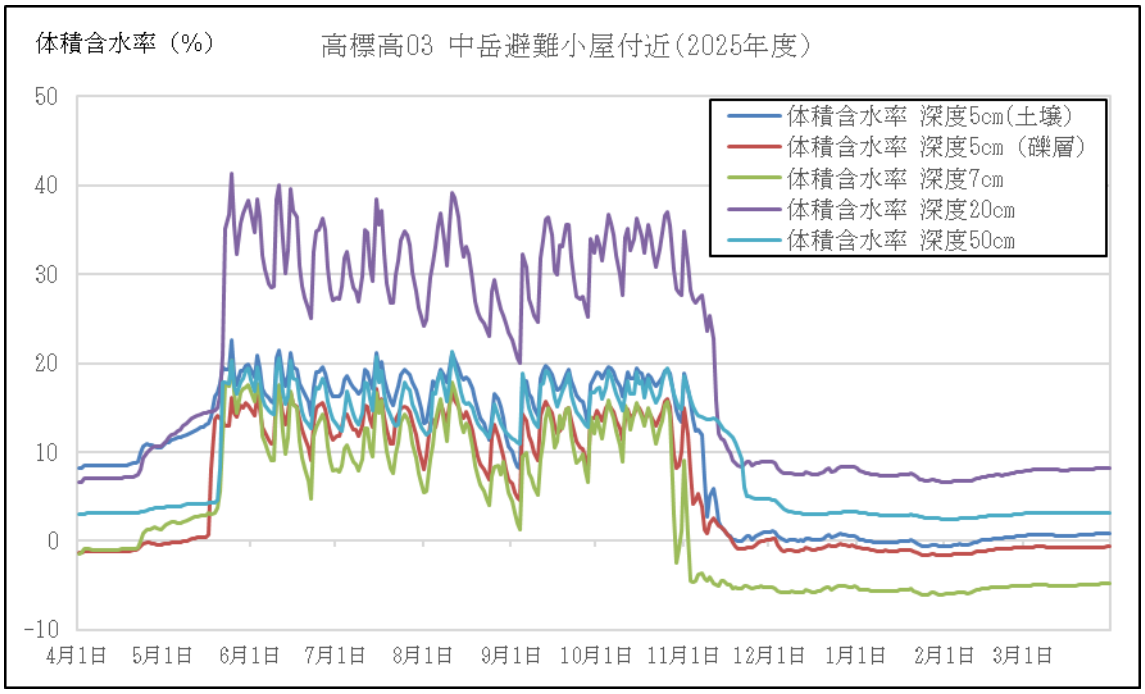


図 363 体積含水率の調査結果（高標高 03 中岳避難小屋付近（2025 年度））

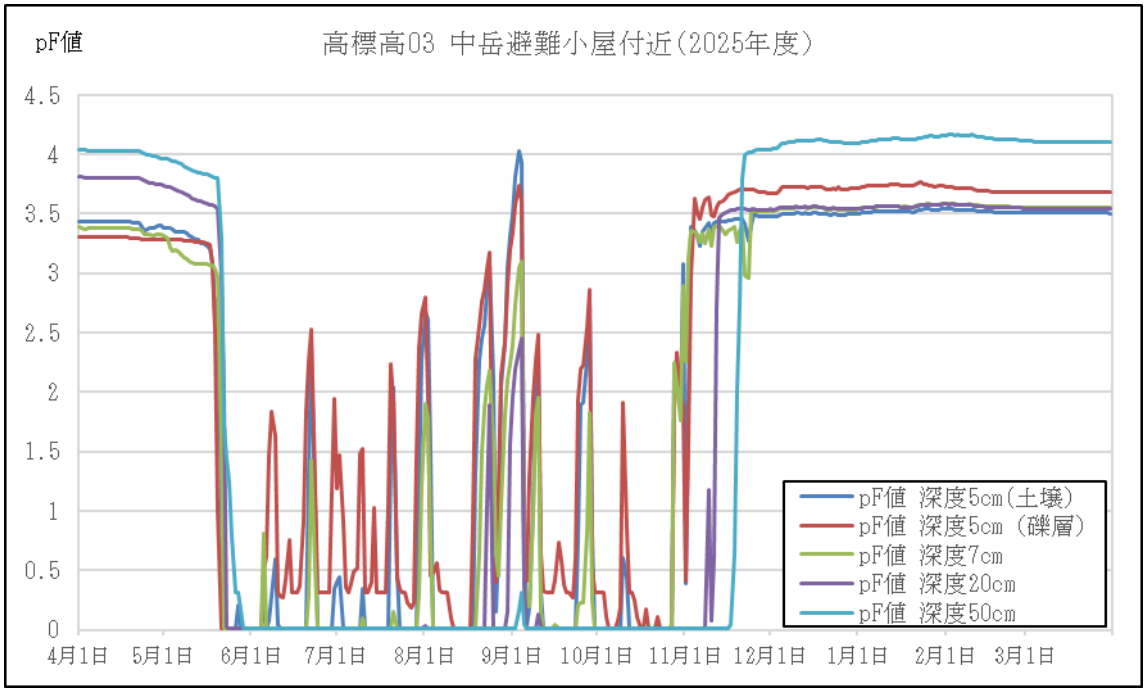


図 364 pF 値の調査結果（高標高 03 中岳避難小屋付近（2025 年度））

3.7.5 高標高 04 西カール

3.7.5.1調査結果

高標高 04 西カールの 2022 年度～2025 年度の体積含水率及び pF 値の調査結果を図 365～図 372 に示します。

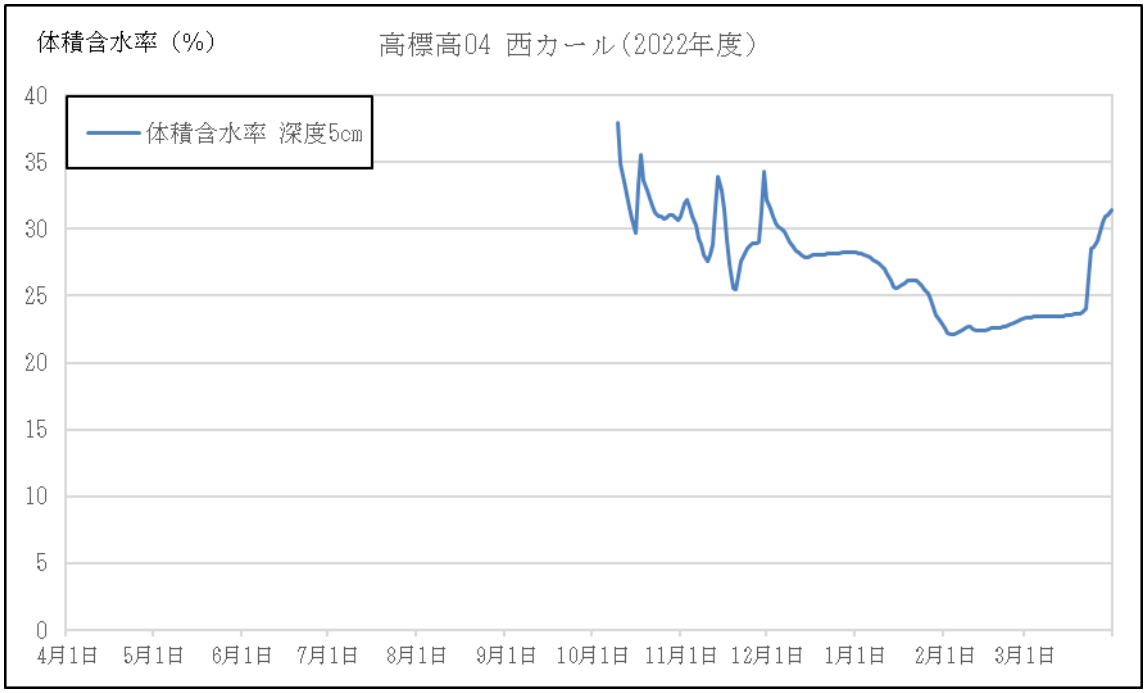


図 365 体積含水率の調査結果（高標高 04 西カール（2022 年度））

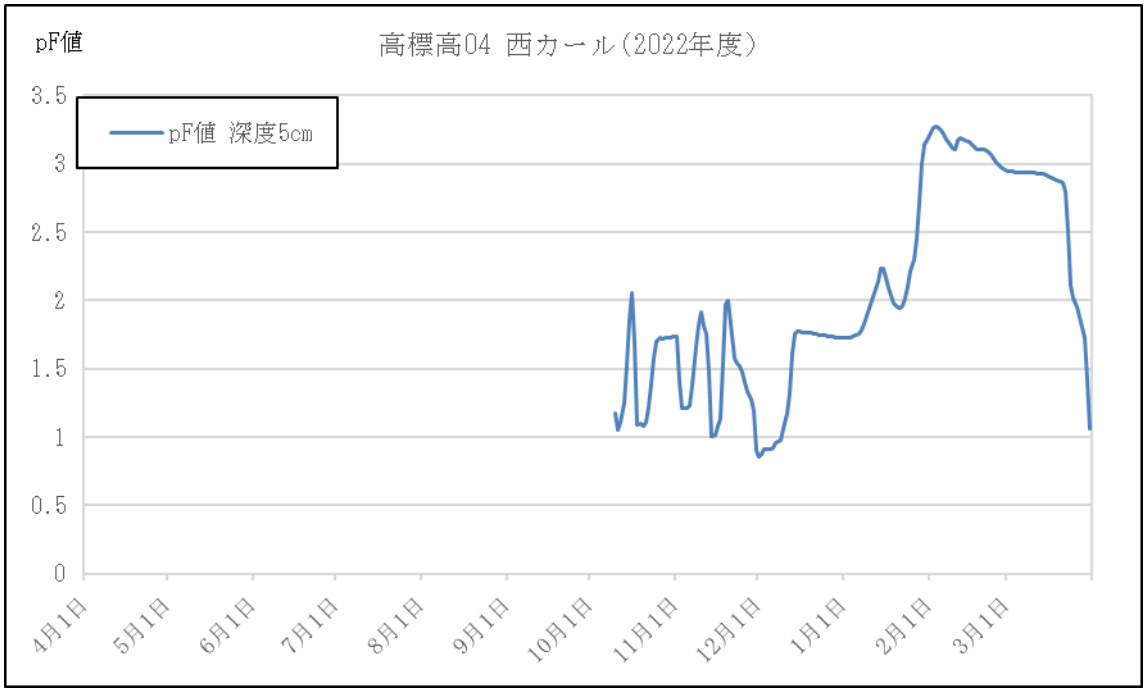


図 366 pF 値の調査結果（高標高 04 西カール（2022 年度））

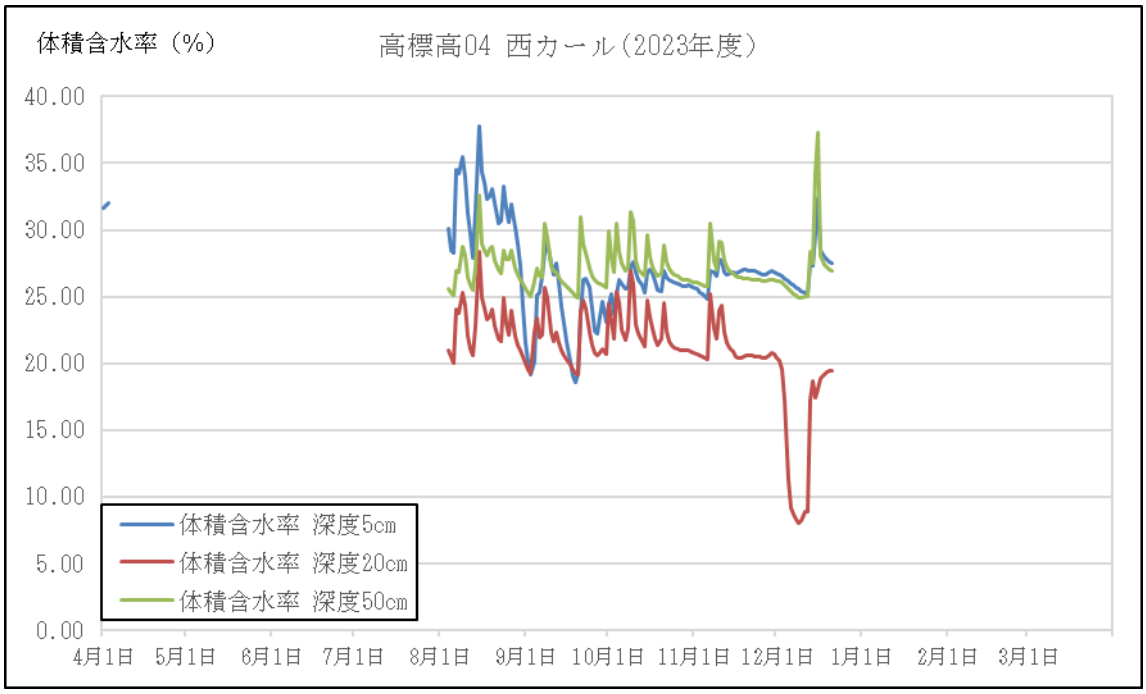


図 367 体積含水率の調査結果（高標高 04 西カール（2023 年度））

・2023 年４月から８月、2023 年 12 月から 2024 年３月はバッテリー不足のため欠測しています。

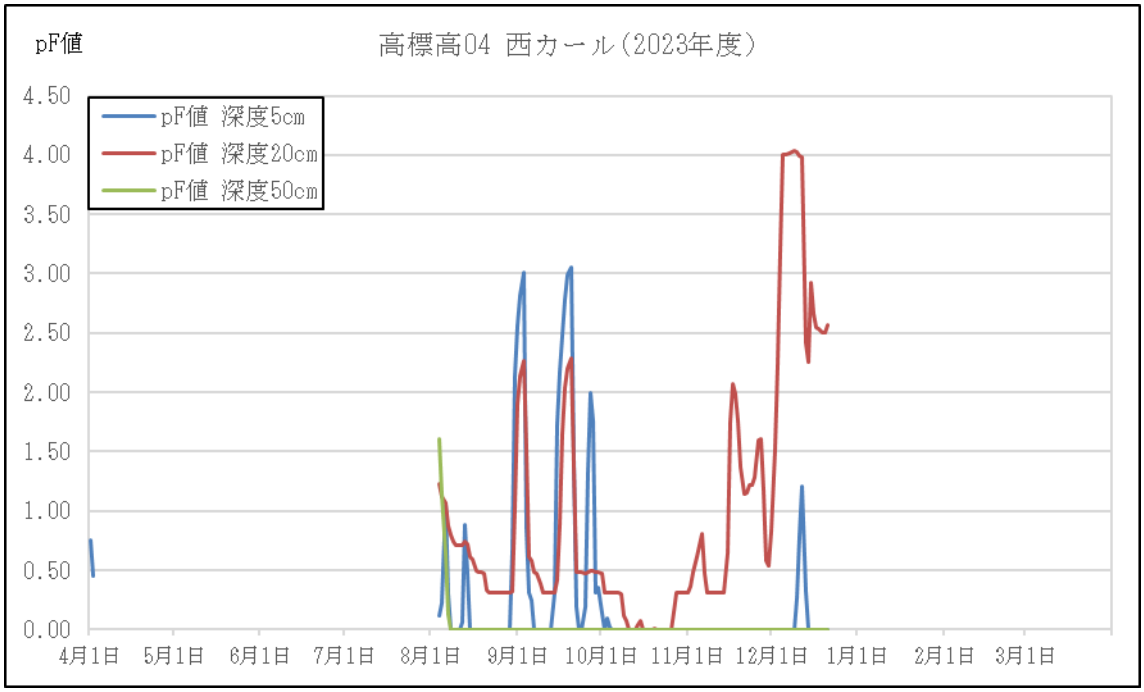


図 368 pF 値の調査結果（高標高 04 西カール（2023 年度））

・2023 年４月から８月、2023 年 12 月から 2024 年３月はバッテリー不足のため欠測しています。

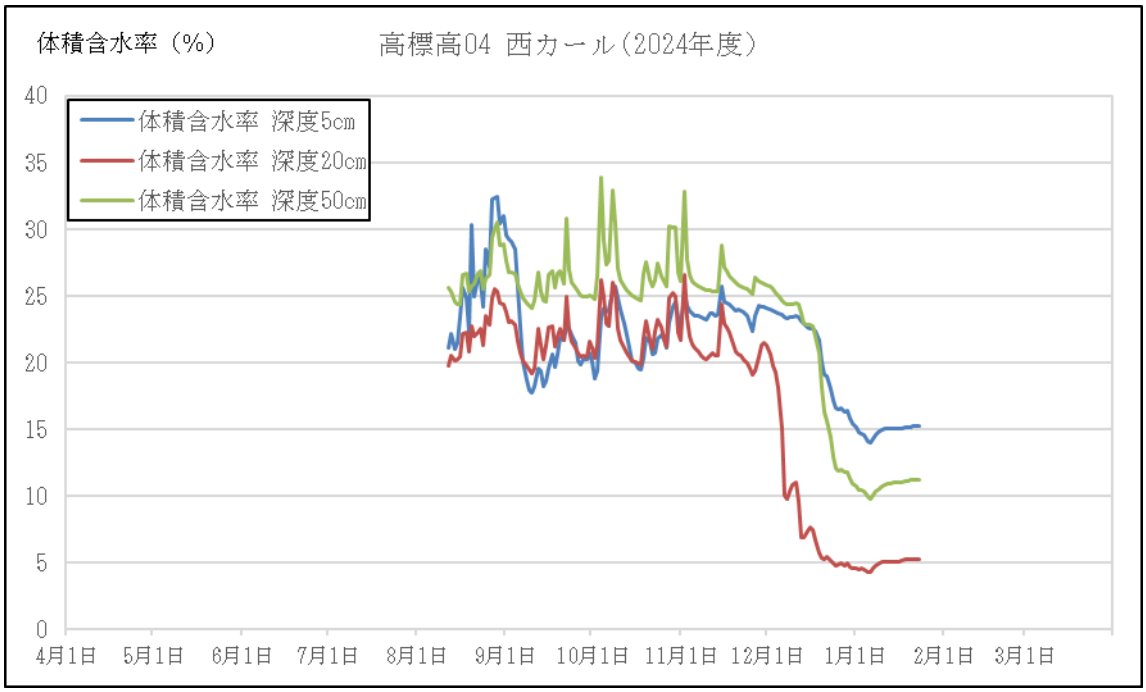


図 369 体積含水率の調査結果（高標高 04 西カール（2024 年度））

・2024 年４月から８月、2025 年１月から 2025 年３月はバッテリー不足のため欠測しています。

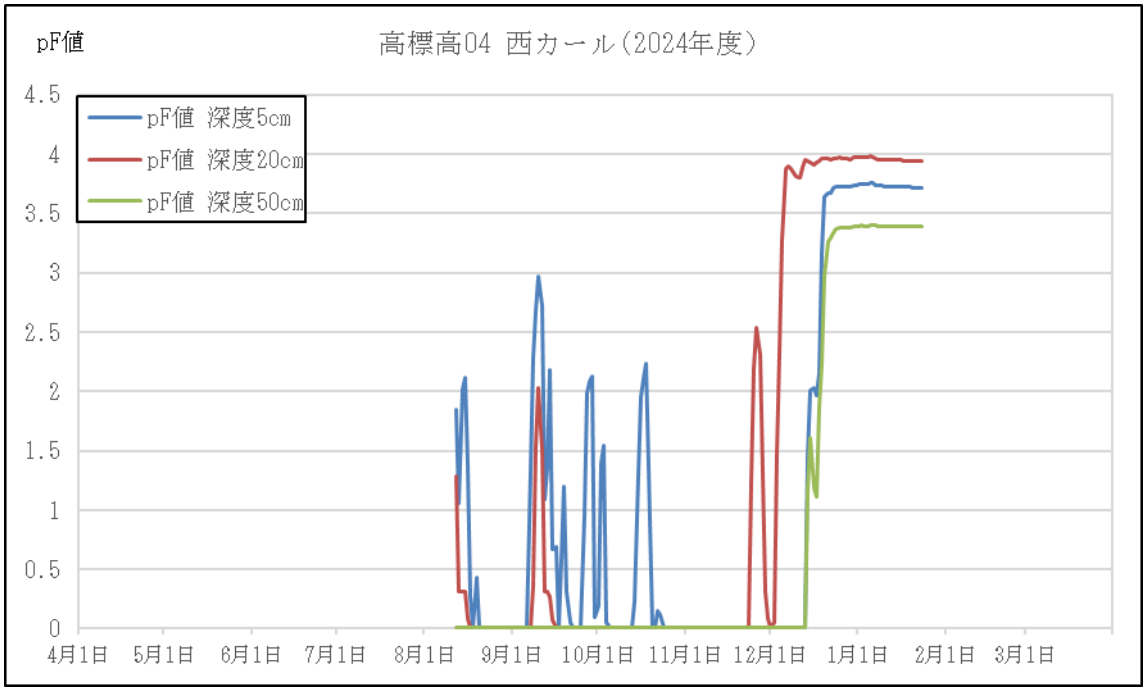


図 370 pF 値の調査結果（高標高 04 西カール（2024 年度））

・2024 年４月から８月、2025 年１月から 2025 年３月はバッテリー不足のため欠測しています。

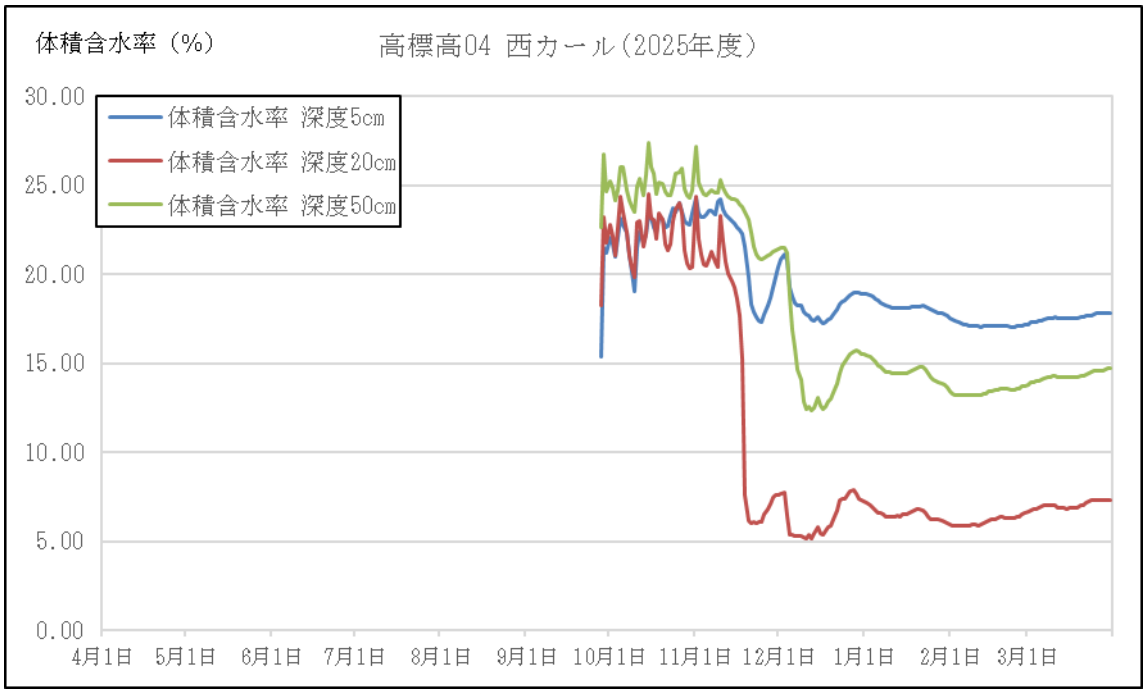


図 371 体積含水率の調査結果（高標高 04 西カール（2025 年度））

・2025 年４月から９月はバッテリー不足のため欠測しています。

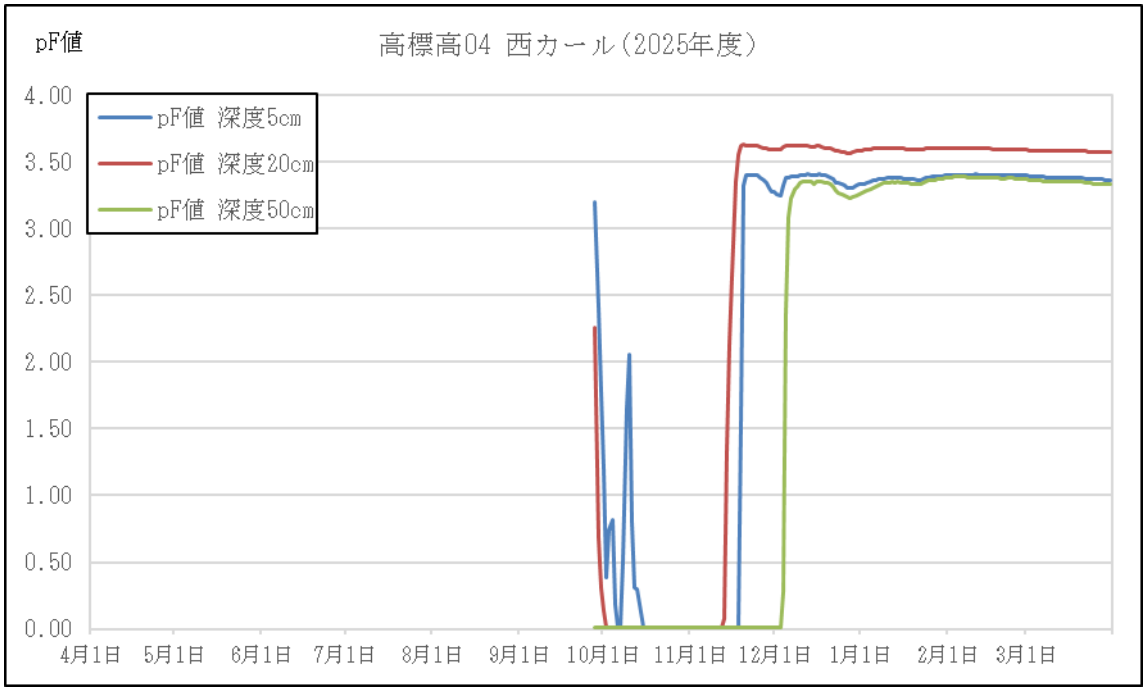


図 372 pF 値の調査結果（高標高 04 西カール（2025 年度））

・2025 年４月から９月はバッテリー不足のため欠測しています。

3.7.6 高標高 05 千枚小屋付近

3.7.6.1 調査結果

高標高 05 千枚小屋付近の 2024 年度～2025 年度の体積含水率及び pF 値の調査結果を図 373～図 376 に示します。

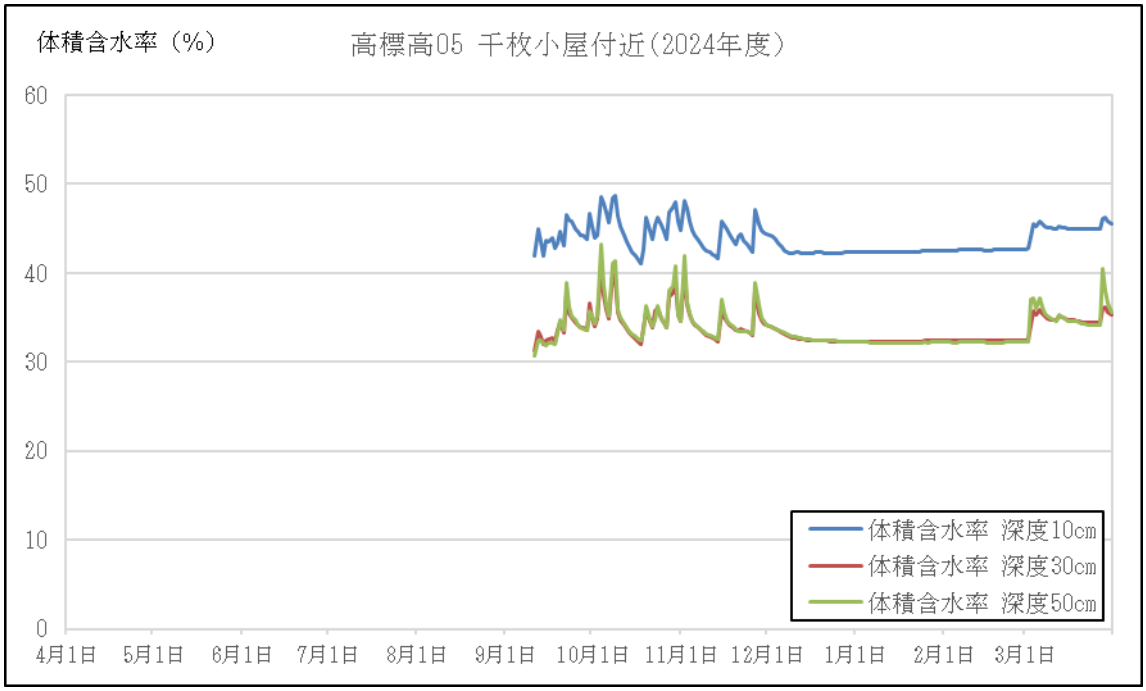


図 373 体積含水率の調査結果（高標高 05 千枚小屋付近（2024 年度））

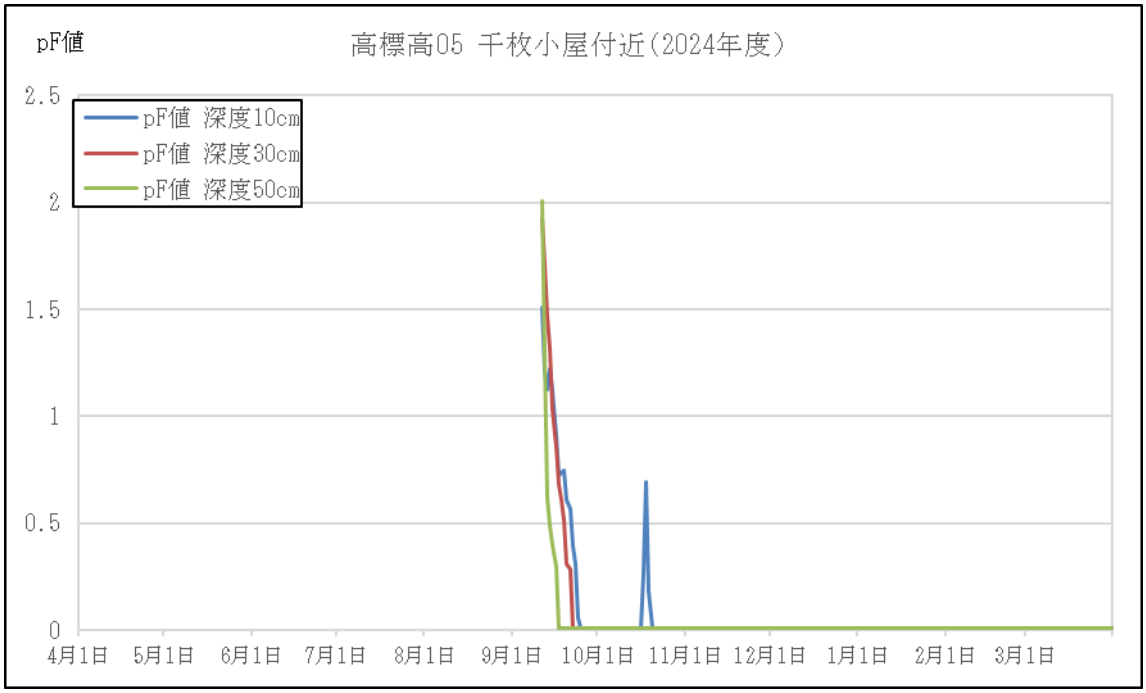


図 374 pF 値の調査結果（高標高 05 千枚小屋付近（2024 年度））

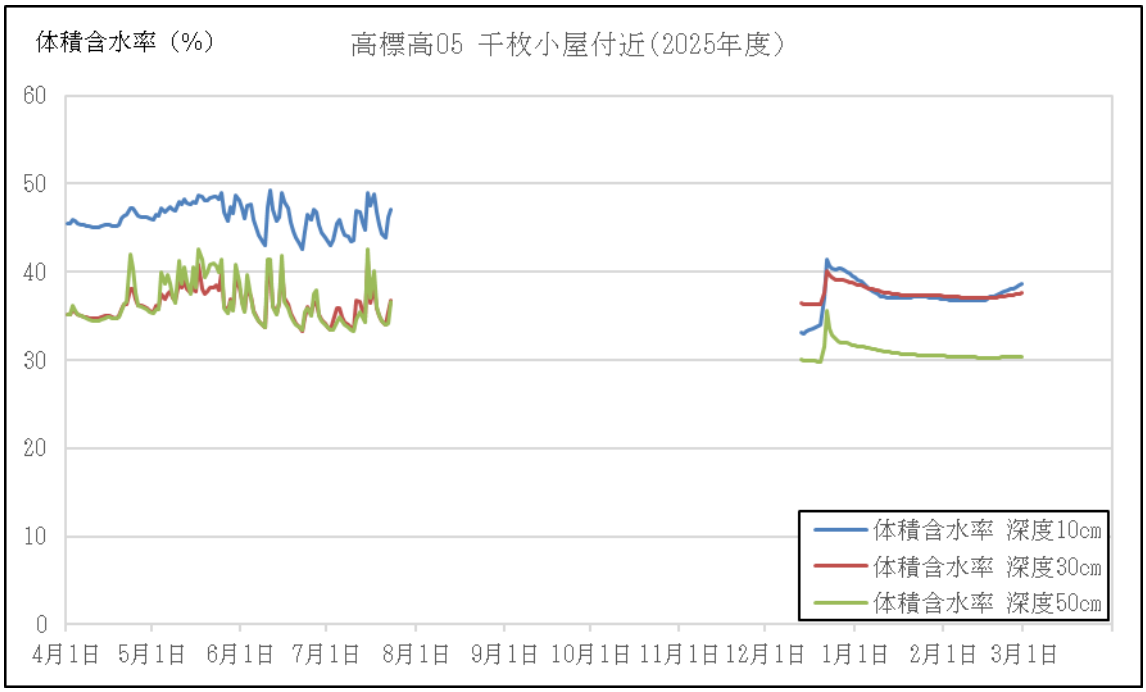


図 375　体積含水率の調査結果（高標高 05 千枚小屋付近（2025 年度））

・2025 年 7 月～12 月はセンサーとロガーが破損したため欠測しています（雷による高圧地電流によると推定）。

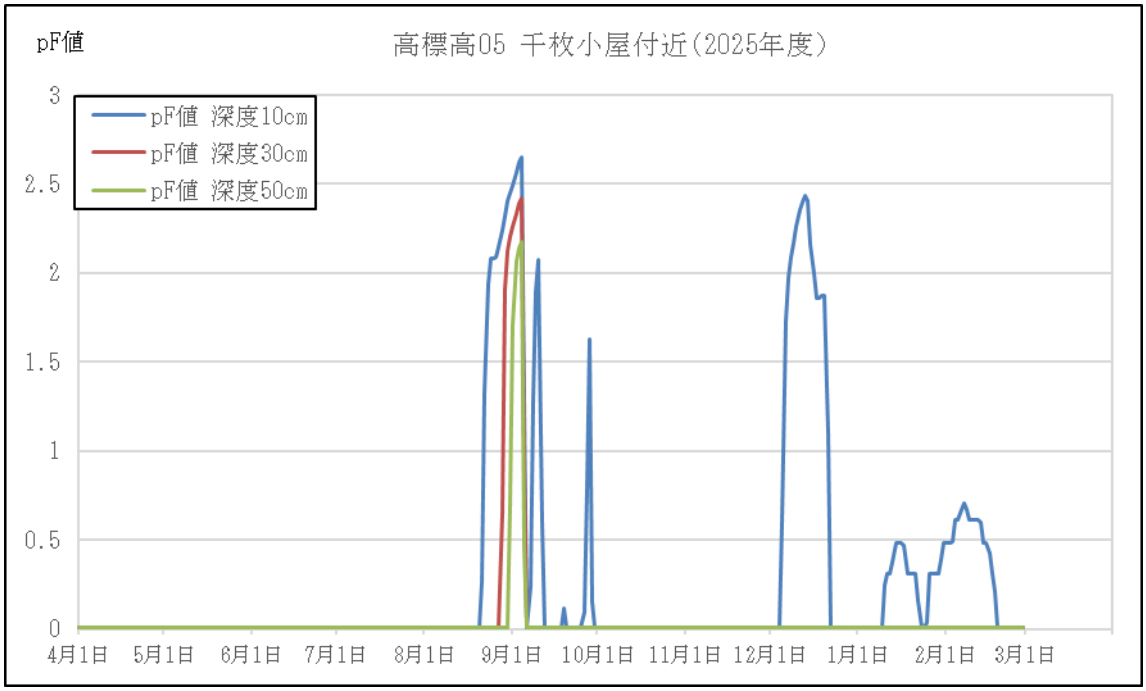


図 376　pF 値の調査結果（高標高 05 千枚小屋付近（2025 年度））

3.7.7 高標高 06 伝付峠付近

3.7.7.1 調査結果

高標高 06 伝付峠付近の 2024 年度～2025 年度の体積含水率及び pF 値の調査結果を図 377～図 380 に示します。

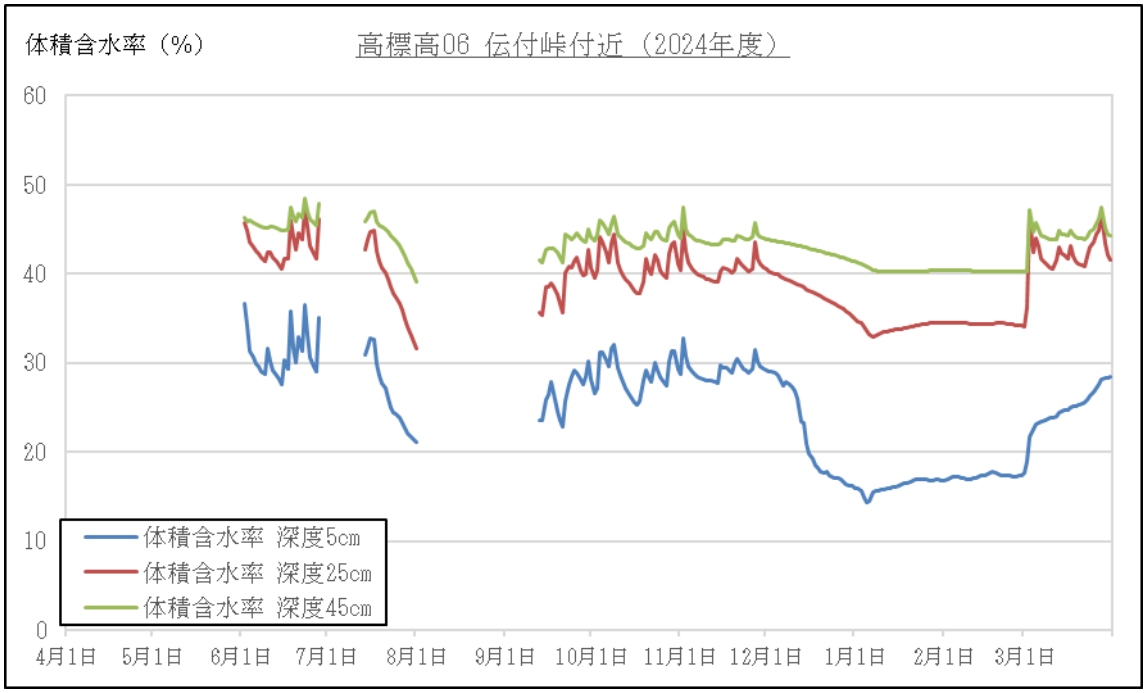


図 377 体積含水率の調査結果（高標高 06 伝付峠付近（2024 年度））

・2024 年６月～７月、８月～９月は欠測しています。原因はいずれも熊による接続コードの引抜きと判断しています。

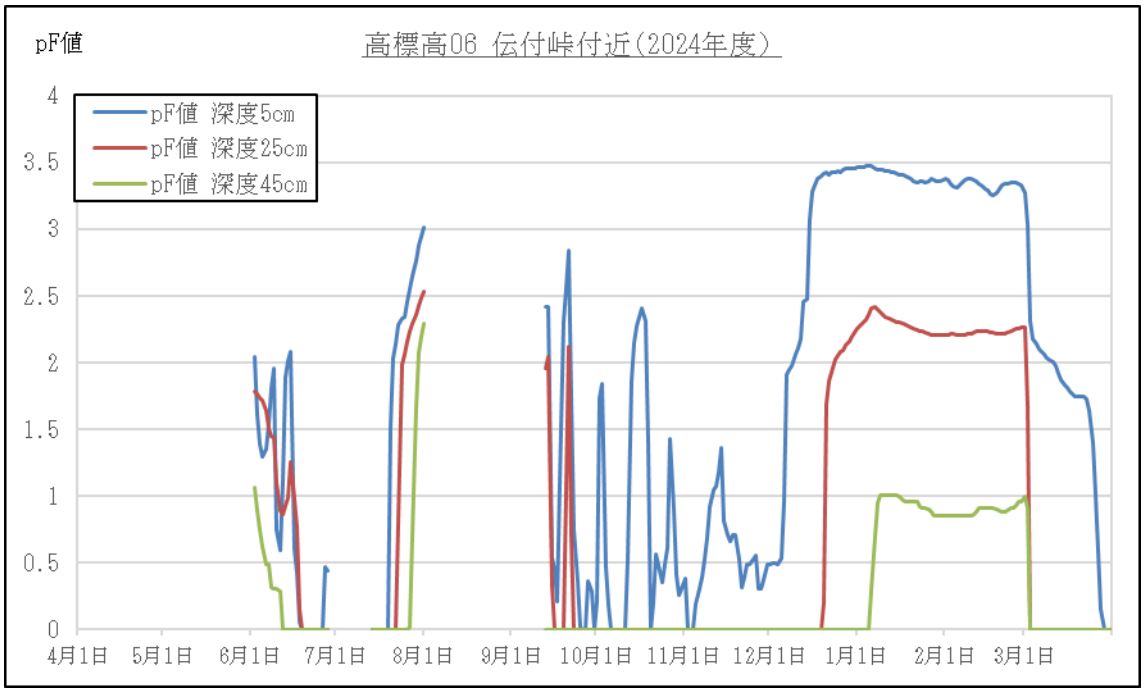


図 378 pF 値の調査結果（高標高 06 伝付峠付近（2024 年度））

・2024 年６月～７月、８月～９月は欠測しています。原因はいずれも熊による接続コードの引抜きと判断しています。

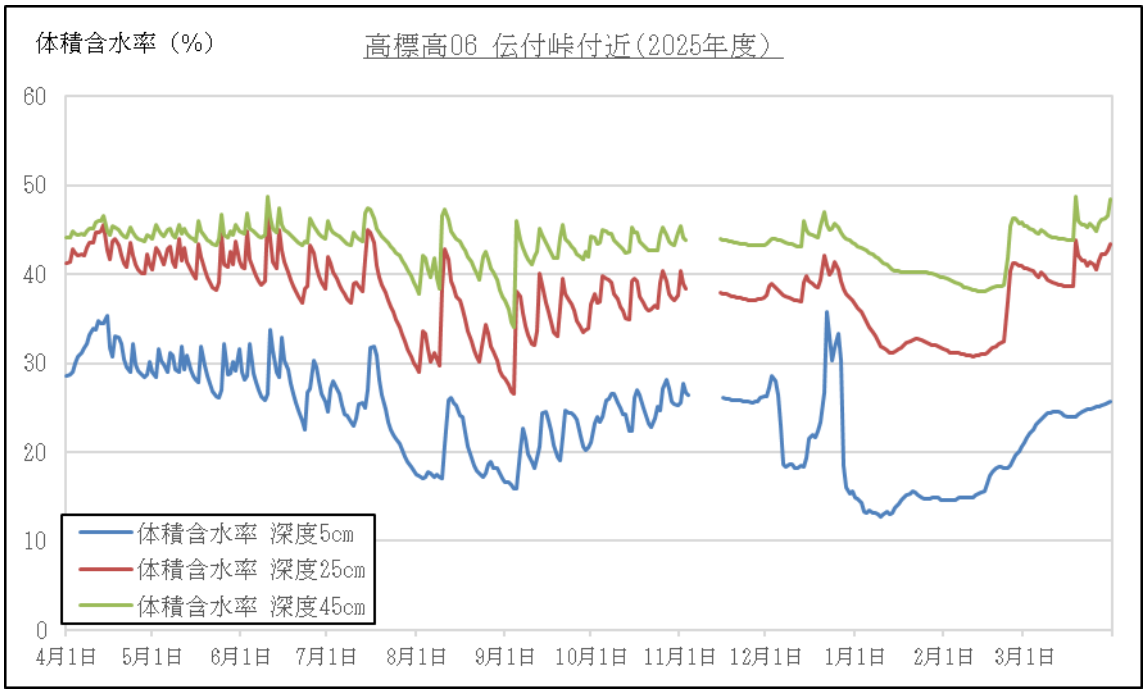


図 379 体積含水率の調査結果（高標高 06 伝付峠付近（2025 年度））

・2025 年 11 月に欠測しています。原因は熊による接続コードの引抜きと判断しています。

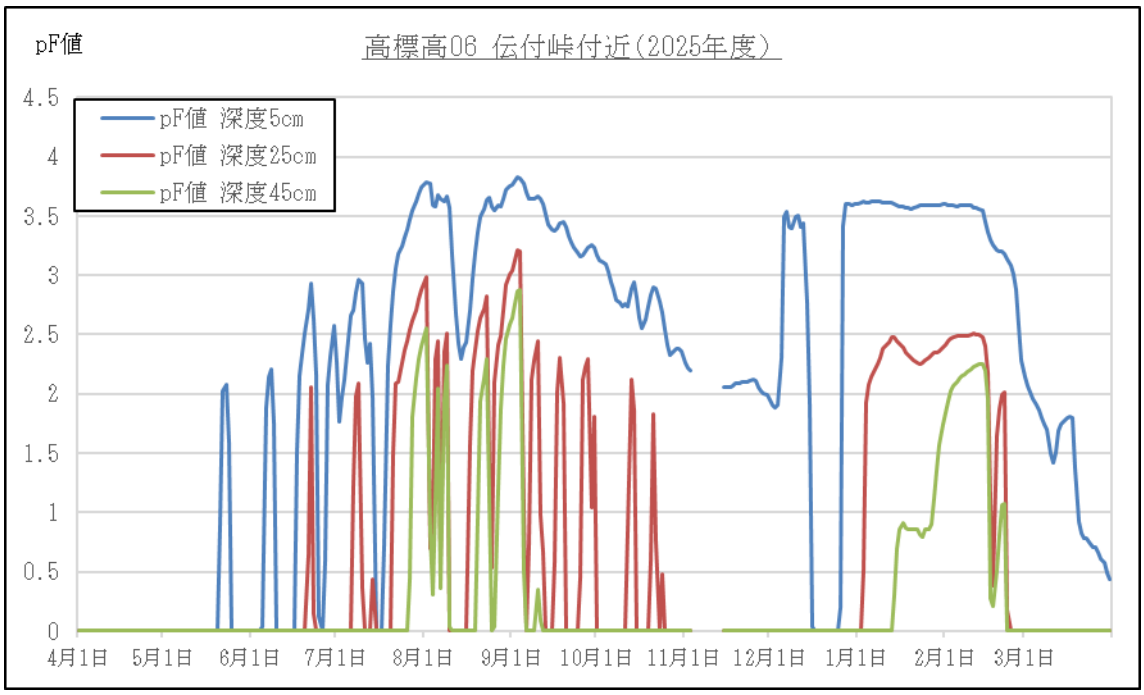


図 380 pF 値の調査結果（高標高 06 伝付峠付近（2025 年度））

・2025 年 11 月に欠測しています。原因は熊による接続コードの引抜きと判断しています。

3.8 高標高部の間隙水圧、間隙空気圧【事後調査及びモニタリング計画通し番号 90】

3.8.1調査期間

調査期間を表 302 に示します。

表 303 調査期間（時間１回計測）

調査地点	調査期間
湧 02 千枚小屋南付近	2025 年 9 月 25 日～2025 年 11 月 26 日

3.8.2調査結果

調査結果を図 381 に示します。

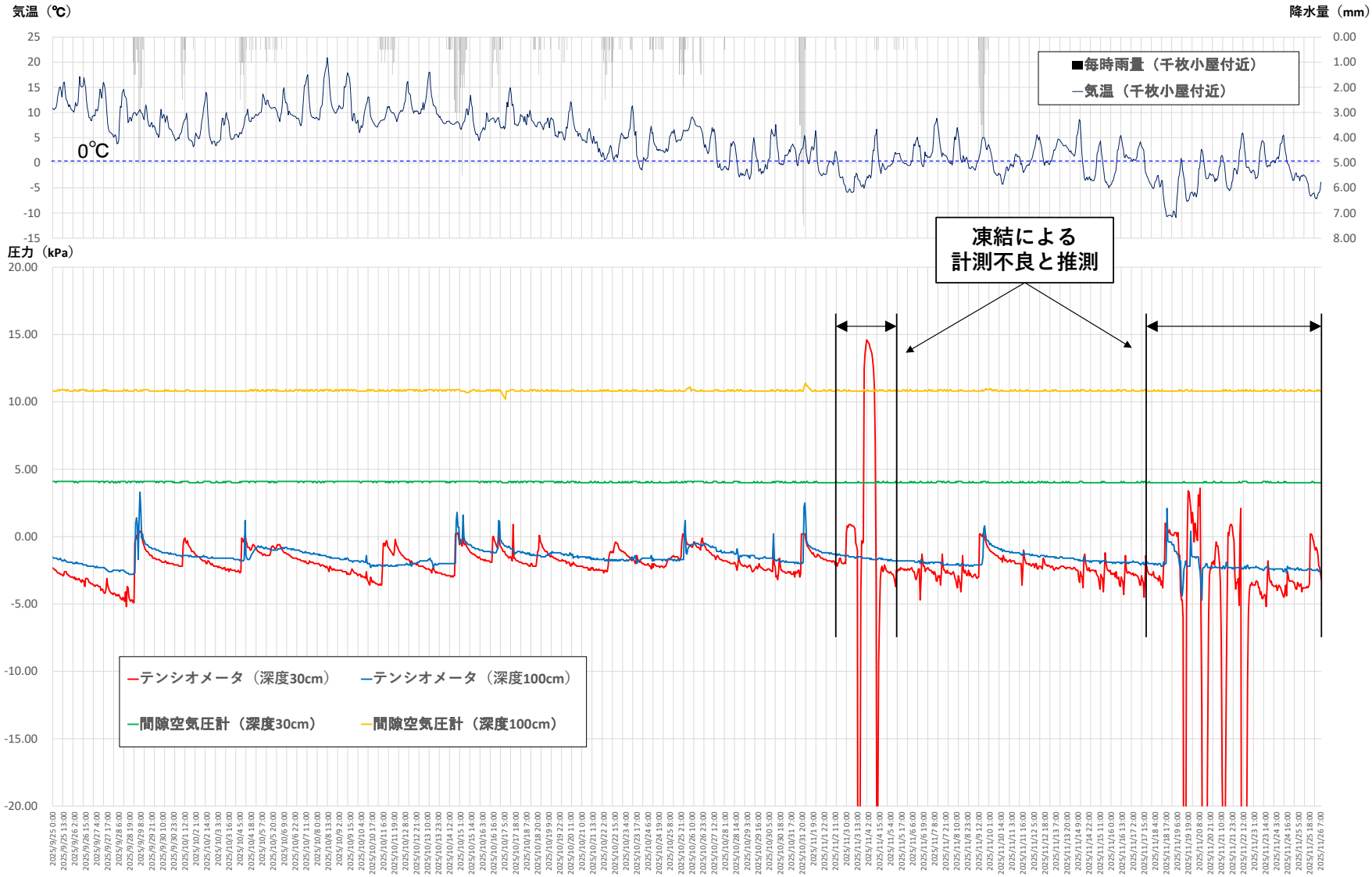


図 381 間隙水圧、間隙空気圧の調査結果（湧 02 千枚小屋南付近（2025 年度））

3.9 気象【事後調査及びモニタリング計画通し番号 95、96、98、99、100、102】

3.9.1調査期間

調査期間を表 304 に示します。

表 304 調査期間（気象）

調査地点	調査期間
気象 01 西小石沢	2023 年８月～2026 年３月
気象 02 蛇抜沢	2023 年６月～2026 年３月
気象 03 中岳避難小屋付近	2023 年６月～2026 年３月
気象 04 千枚小屋付近	2023 年７月～2026 年３月
気象 05 椹島ヤード	2023 年４月～2026 年３月
気象 06 千枚観測所	2023 年４月～2025 年６月

3.9.2 気象 01 西小石沢

3.9.2.1 調査結果（過年度）

気象 01 西小石沢の調査結果を図 382 に示します。なお調査結果は 10 分に 1 回の計測値より 1 日の雨量を算出して掲載しています。

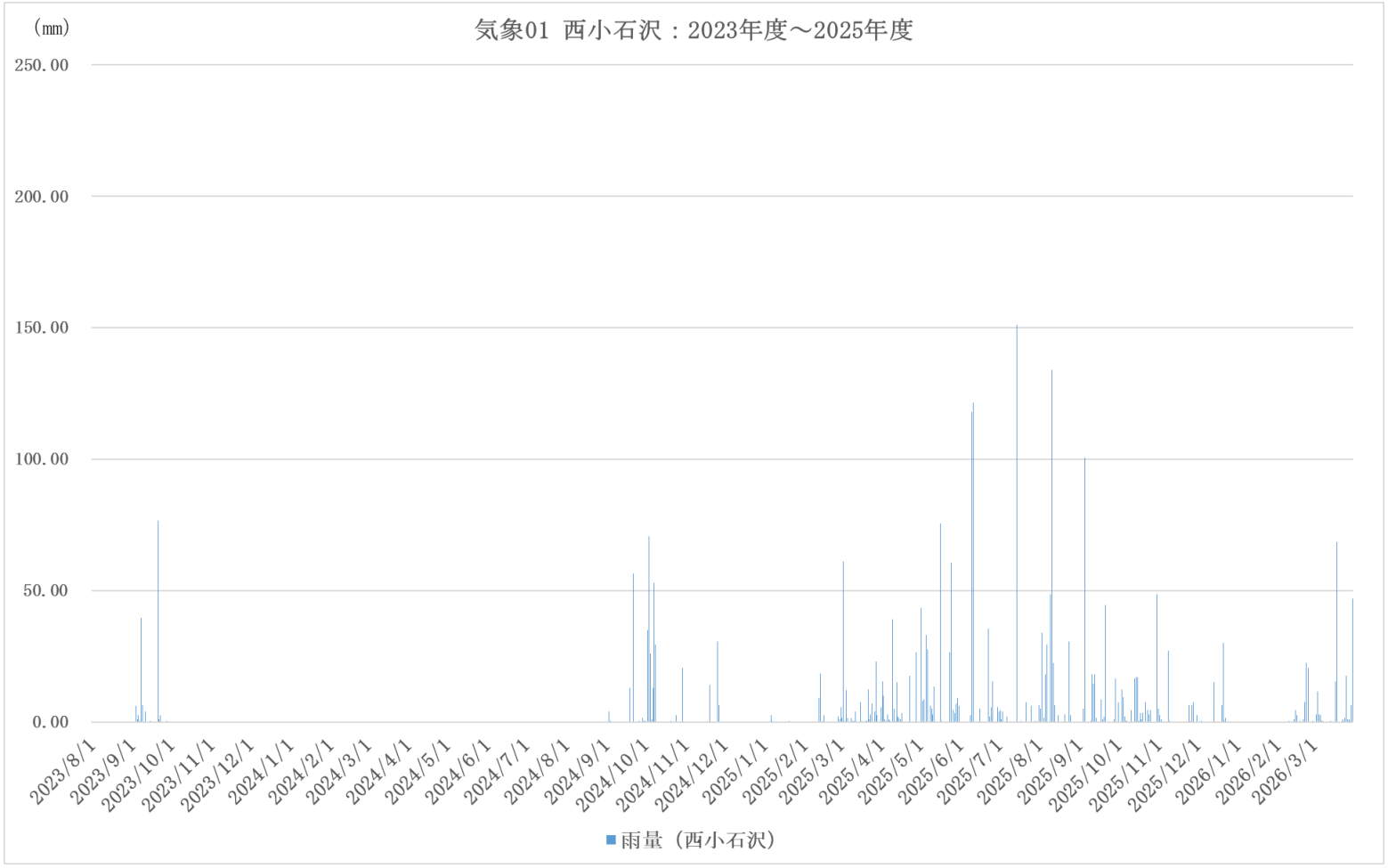


図 382 雨量の調査結果（過年度）（気象 01 西小石沢）

・欠測が生じている時期があります。

3.9.3 気象 02 蛇抜沢

3.9.3.1 調査結果（過年度）

気象 02 蛇抜沢の調査結果を図 383 に示します。なお調査結果は 10 分に 1 回の計測値より 1 日の雨量を算出して掲載しています。

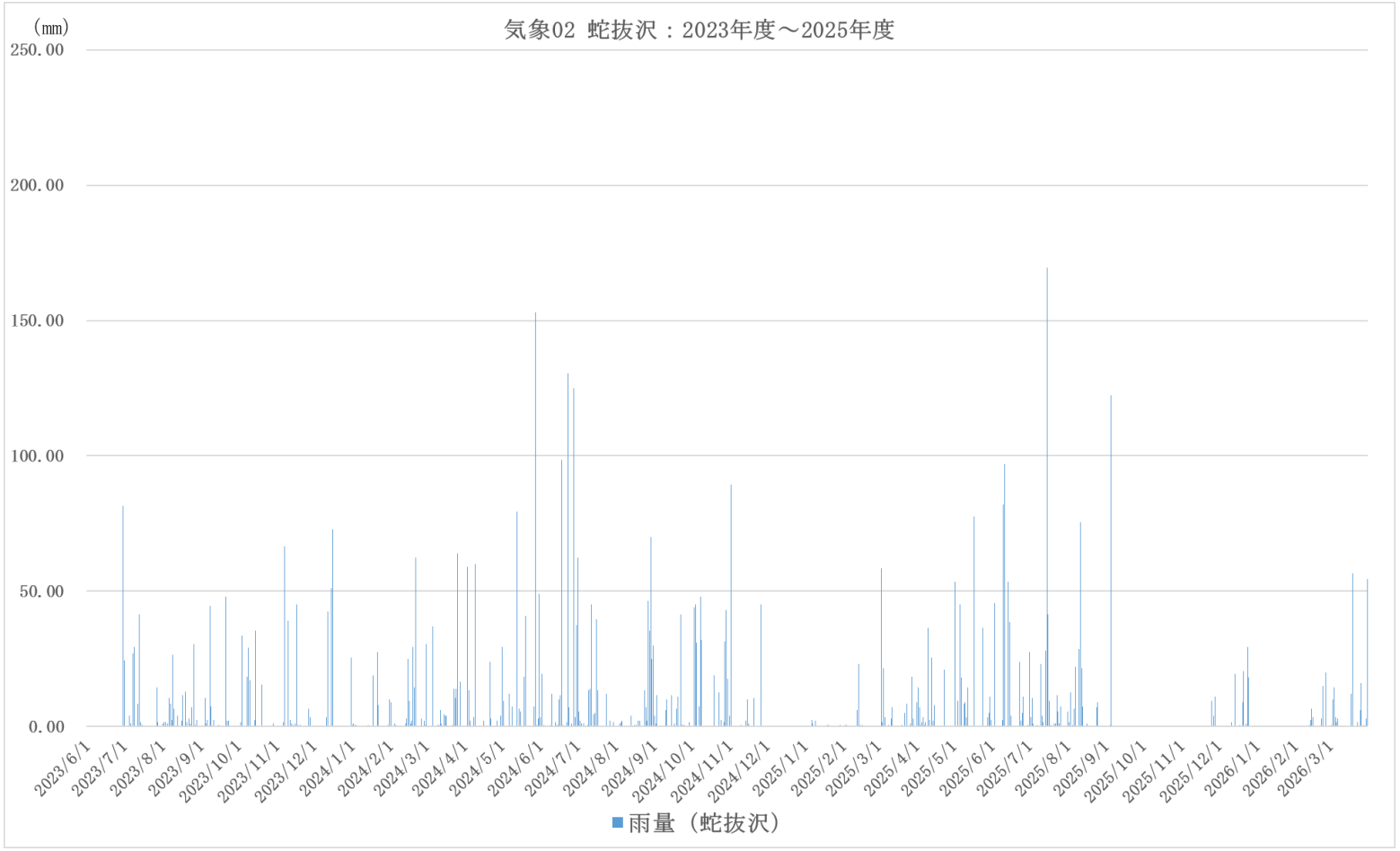


図 383 雨量の調査結果（過年度）（気象 02 蛇抜沢）

・欠測が生じている時期があります。

3.9.4 気象 03 中岳避難小屋付近

3.9.4.1 調査結果（過年度）

気象 03 中岳避難小屋付近の調査結果を図 384 及び図 385 に示します。なお調査結果は 10 分に 1 回の計測値より 1 日の雨量、平均気温を算出して掲載しています。

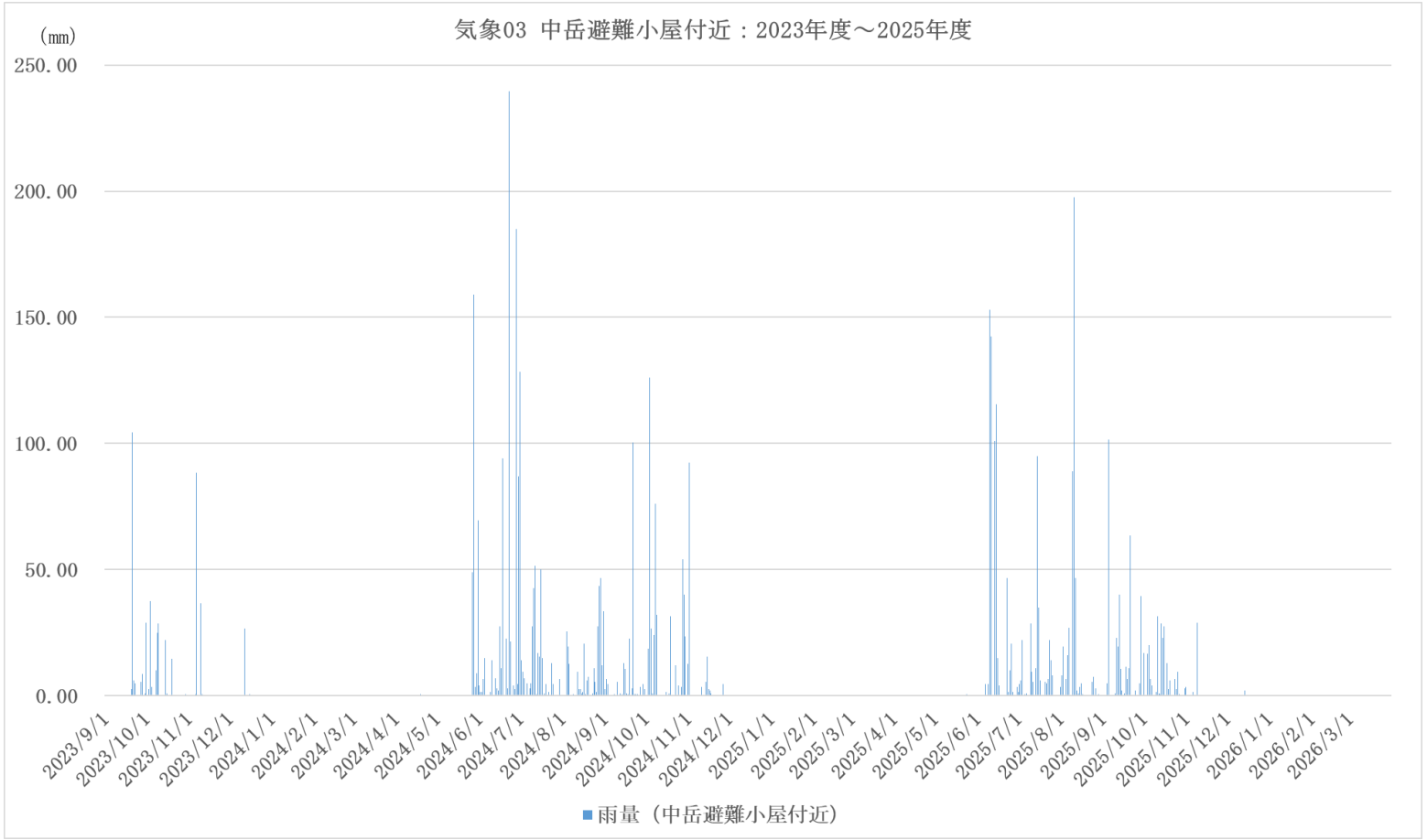


図 384 雨量の調査結果（過年度）（気象 03 中岳避難小屋付近）

・欠測が生じている時期があります。



図 385 気温の調査結果（過年度）（気象 03 中岳避難小屋付近）

・欠測が生じている時期があります。

3.9.5 気象 04 千枚小屋付近

3.9.5.1 調査結果（過年度）

気象 04 千枚小屋付近の調査結果を図 386～図 388 に示します。なお調査結果は 10 分に 1 回の計測値より 1 日の雨量、平均気温、平均積雪深を算出して掲載しています。

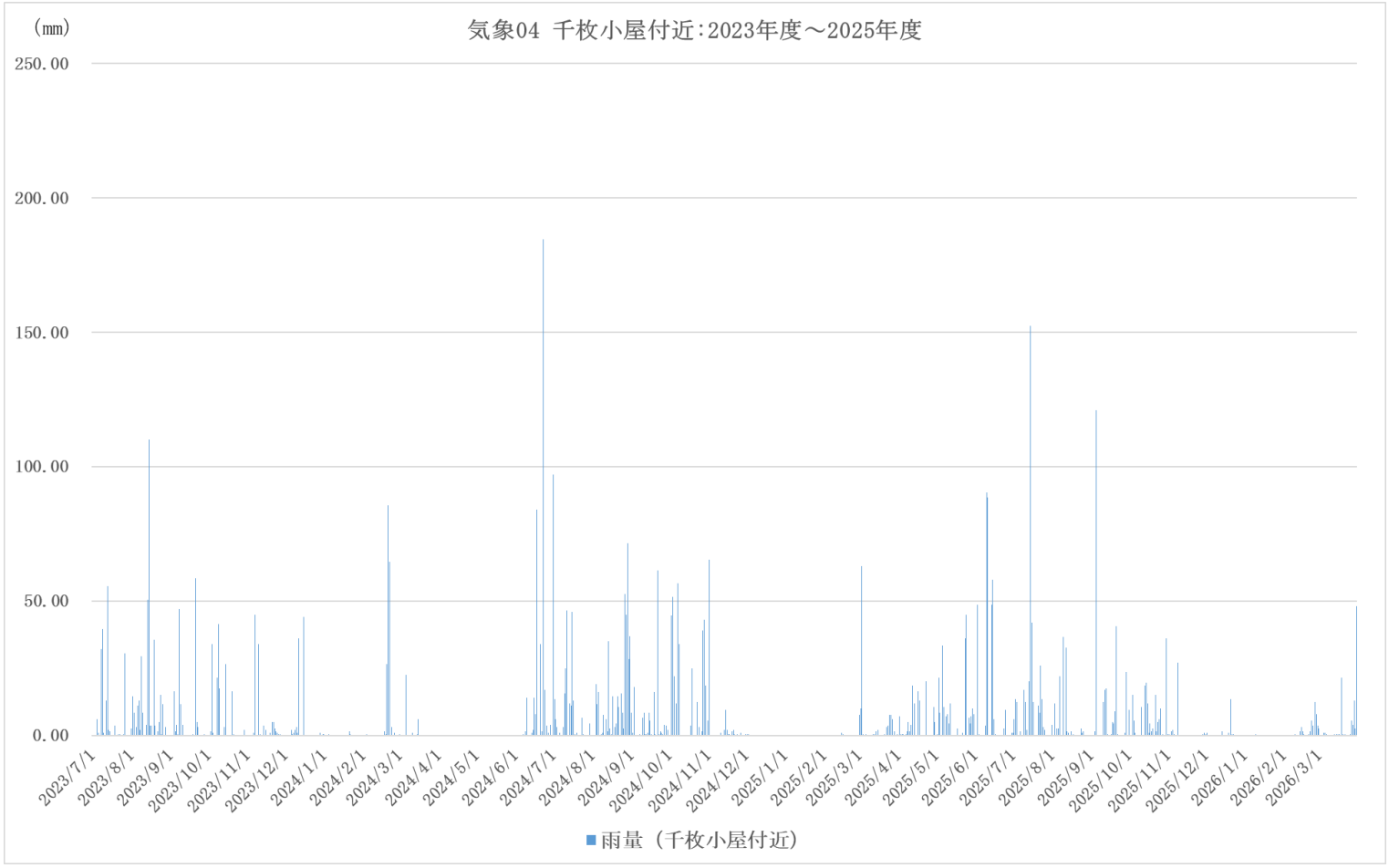


図 386 雨量の調査結果（過年度）（気象 04 千枚小屋付近）

・欠測が生じている時期があります。

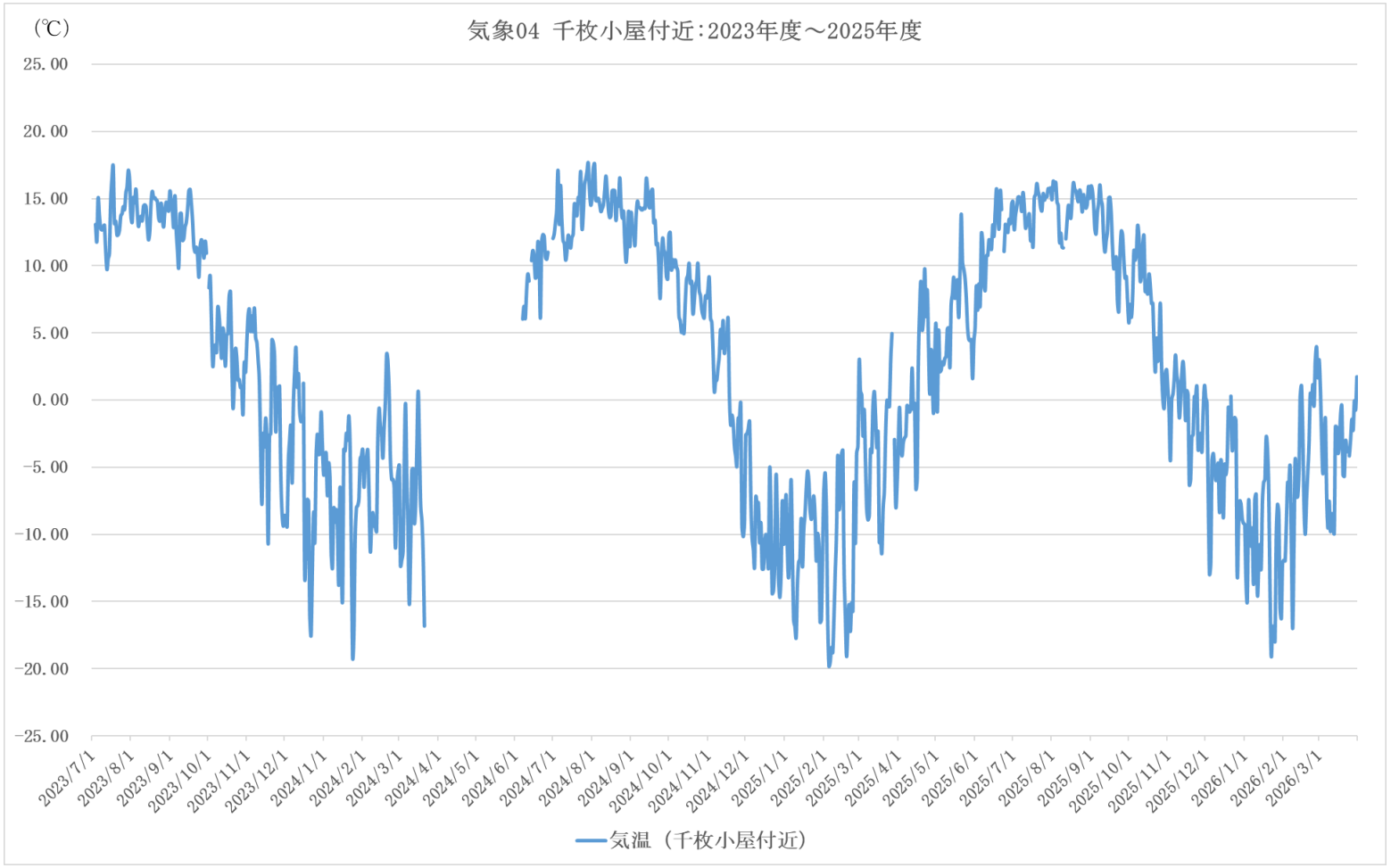


図 387 気温の調査結果（過年度）（気象 04 千枚小屋付近）

・欠測が生じている時期があります。

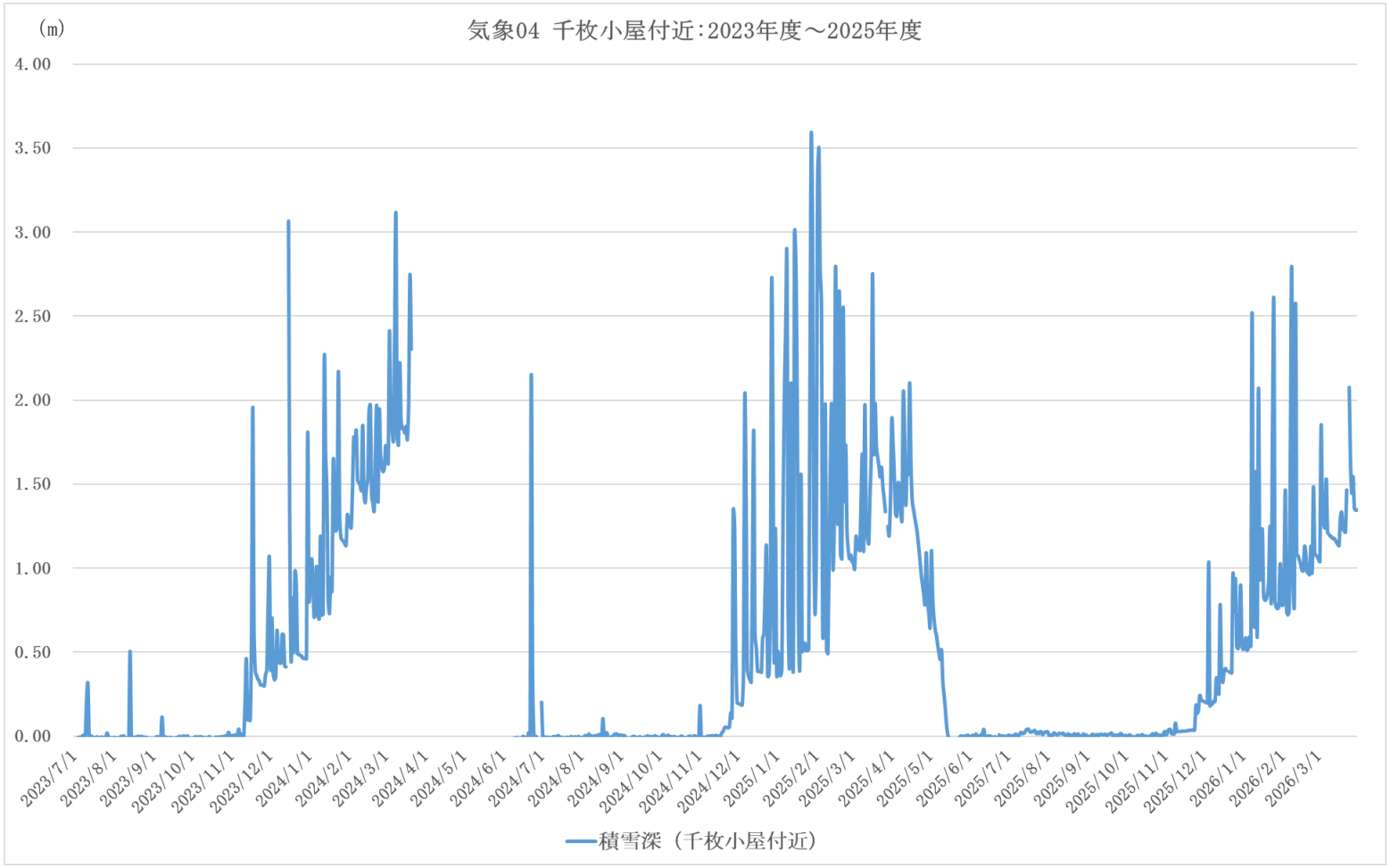


図 388 積雪深の調査結果（過年度）（気象 04 千枚小屋付近）

・欠測が生じている時期があります。

3.9.6 気象 05 椹島ヤード

3.9.6.1 調査結果（過年度）

気象 05 椹島ヤードの調査結果を図 389 及び図 390 に示します。なお調査結果は 10 分に 1 回の計測値より 1 日の雨量、平均気温を算出して掲載しています。

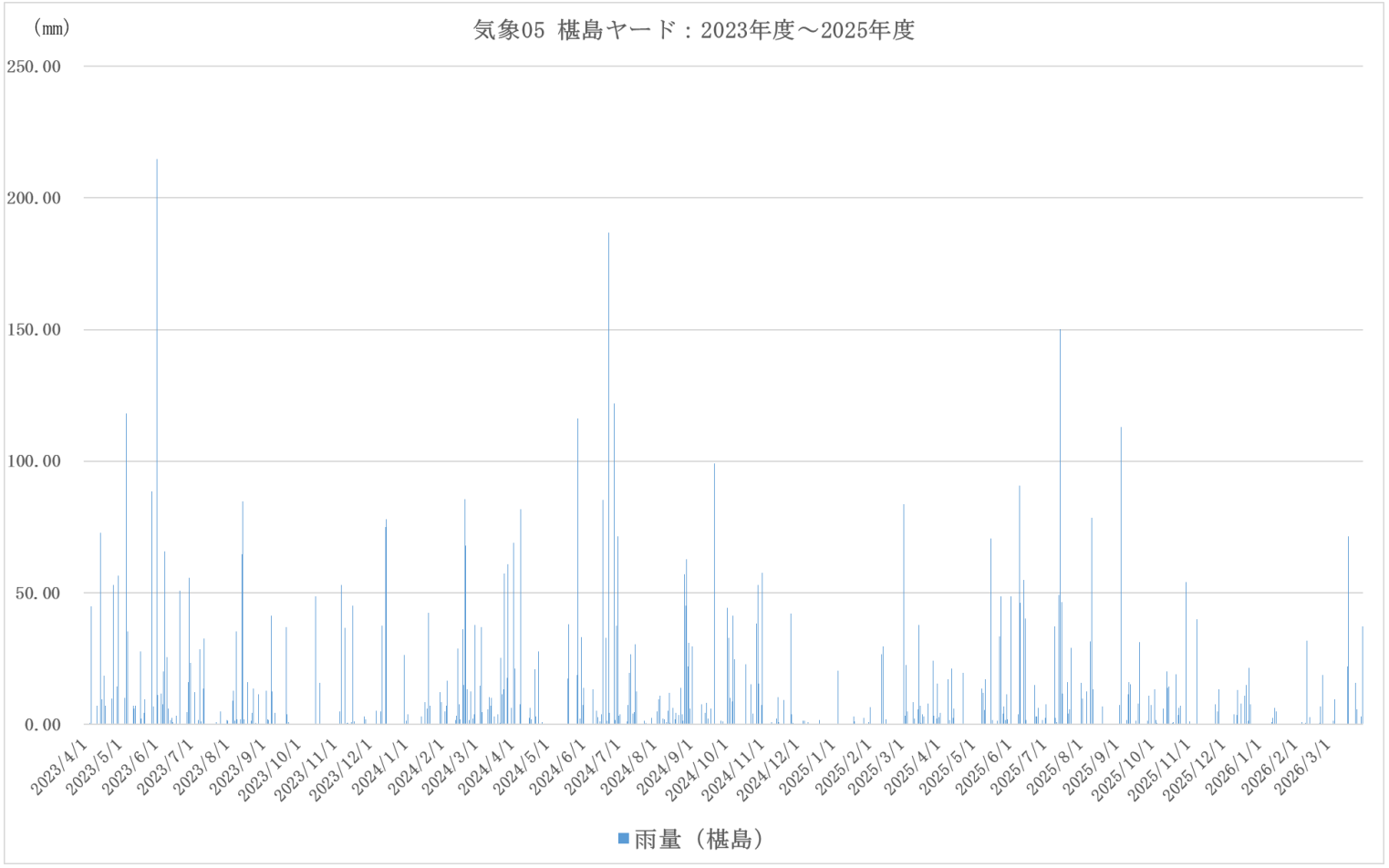


図 389 雨量の調査結果（過年度）（気象 05 椹島ヤード）

・欠測が生じている時期があります。

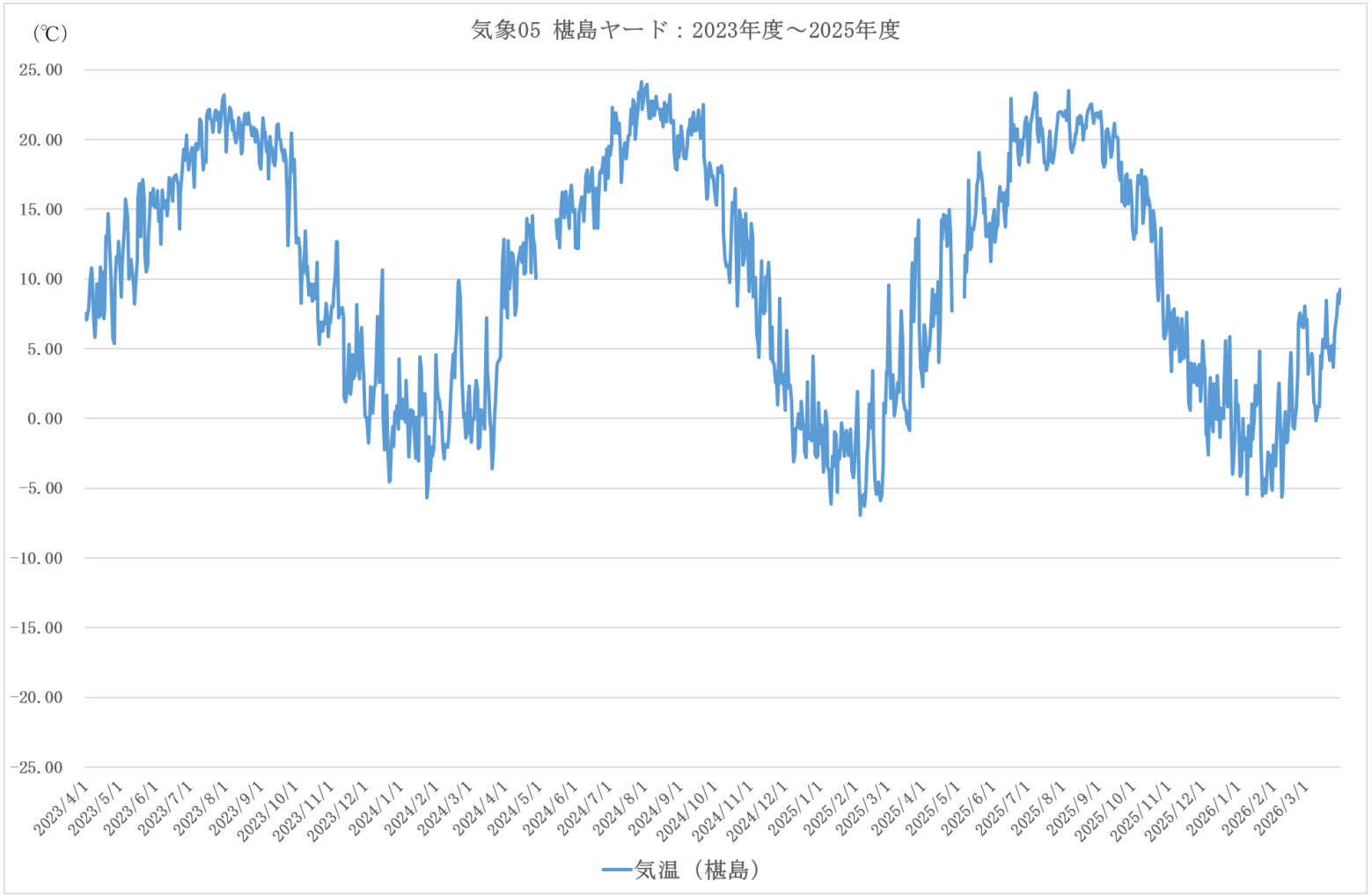


図 390 気温の調査結果（過年度）（気象 05 椹島ヤード）

・欠測が生じている時期があります。

3.9.7 気象 06 千枚観測所

3.9.7.1 調査結果（過年度）

気象 06 千枚観測所の調査結果を図 391 に示します。なお調査結果は時間 1 回の計測値より 1 日の雨量を算出して掲載しています。

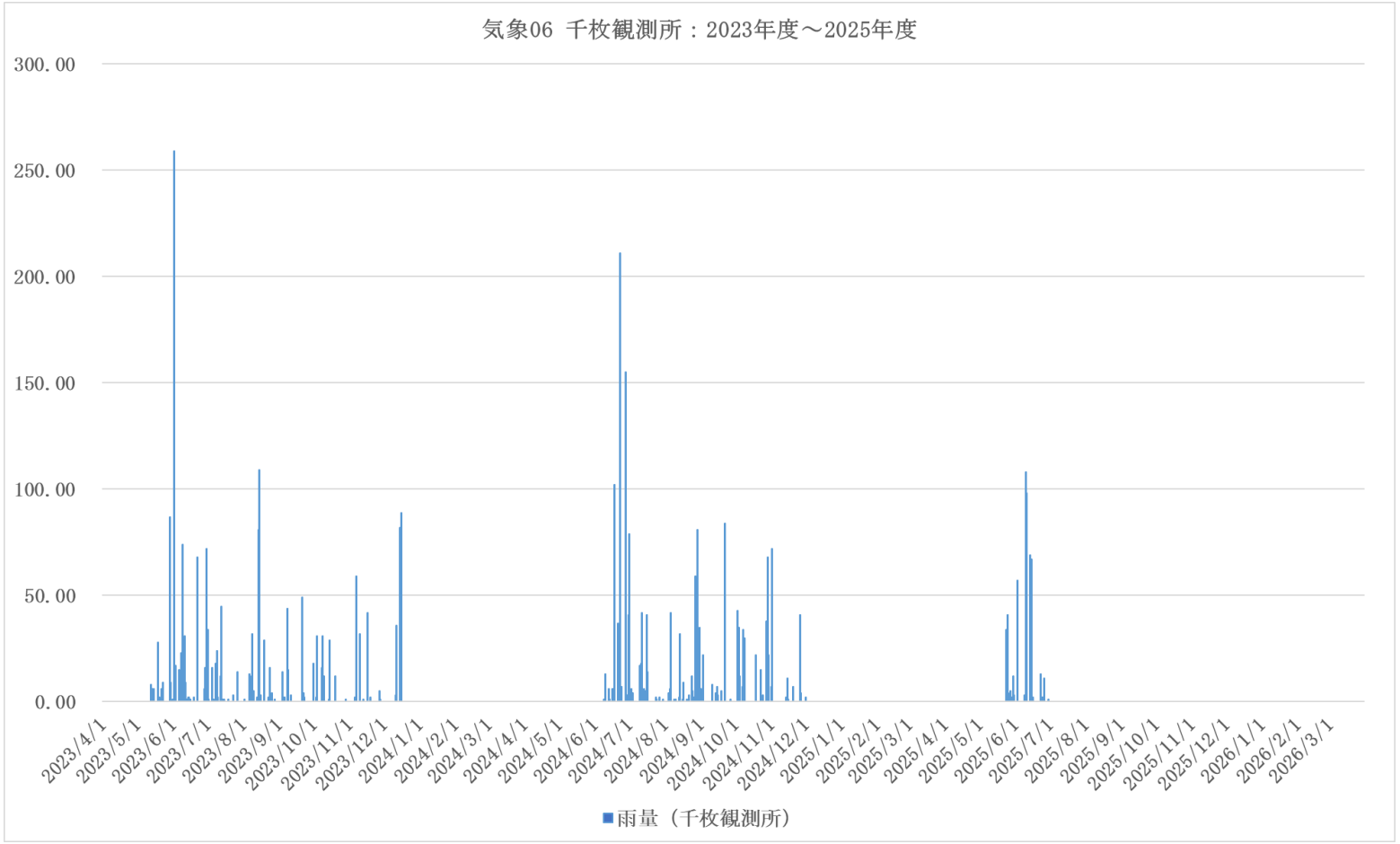


図 391 雨量の調査結果（過年度）（気象 06 千枚観測所）

出典：国土交通省 水文水質データベース（https://www1.river.go.jp/cgi-bin/SrchRainData.exe?ID=105031285523040&KIND=3&PAGE=0）（2026 年 4 月 22 日に参照）を加工して作成

3.10 沢の伏流状況【事後調査及びモニタリング計画通し番号 81】

沢の伏流状況調査は、以下の手順で行いました。

①河 02 西俣（放流箇所下流）における河川流量の常時計測結果から、豊水流量～平水流量、低水流量～渇水流量に相当する時期にあたる衛星画像を取得しました。

②衛星画像や地形図を用いて、源流部を推定しました。

③衛星画像を用いて源流部から最下流部（河川合流部）までの流程を図化しました。

④衛星画像を判読し、流路延長、表流水延長を測定しました。

⑤伏流延長（＝流路延長－表流水延長）、伏流区間の割合（＝伏流延長/流路延長）を算出しました。

3.10.1　調査期間における河川流量との関係

衛星画像の撮影日と、当該日における河 02 西俣（放流箇所下流）の河川流量常時計測結果を表 305 に示します。

表 305 衛星画像の撮影日と日平均河川流量

取得した衛星画像の撮影日	日平均河川流量 (m^3/s) ※	備考
2025 年 7 月 26 日～30 日	0.93～1.10	豊水流量～平水流量相当
2025 年 11 月 21 日～26 日	0.46	低水流量～渇水流量相当

※日平均河川流量は河 02 西俣（放流箇所下流）の河川流量常時計測結果

河 02 西俣（放流箇所下流）における河川流量の計測結果より、2019 年度～2024 年度は、豊水流量 1.55～4.65m^3/s、平水流量 0.64～1.50m^3/s、低水流量 0.49～0.74m^3/s、渇水流量 0.20～0.57m^3/s でした。2025 年度は、豊水流量 1.07m^3/s、平水流量 0.64m^3/s、低水流量 0.52m^3/s、渇水流量 0.41m^3/s でした。（衛星画像の取得時期は積雪前とすることから、2025 年 1 月～12 月の集計としました。）（表 306）

各衛星画像の撮影日における日平均河川流量から、2025 年 7 月 26 日～30 日に撮影された衛星画像を豊水流量～平水流量相当、2025 年 11 月 21 日～26 日に撮影された衛星画像を低水流量～渇水流量相当としました。

取得した衛星画像を図 392～図 393 に示します。

表 306 河 02 西俣（放流箇所下流）の河川流量常時計測結果

年度	豊水流量	平水流量	低水流量	渇水流量
2019	1.76	0.74	0.49	0.20
2020	4.65	1.50	0.74	0.57
2021	1.55	0.96	0.55	0.37
2022	1.62	1.05	0.67	0.56
2023	1.71	1.01	0.70	0.25
2024	1.76	0.84	0.57	0.49
2025	1.07	0.64	0.52	0.41
中央値	1.71	0.96	0.57	0.41



図 392 取得した衛星画像（2025.07.26～30 撮影）（豊水期～平水期相当）



図 393 取得した衛星画像（2025.11.21～26 撮影）（低水期～渇水期相当）

3.10.2　調査結果

衛星画像や地形図を用いて源流部を推定し、源流部から最下流部（河川合流部）までの流程を図化しました。衛星画像を判読し、流路延長、表流水延長を測定、伏流延長、伏流区間の割合を算出しました。

各沢の表流水・伏流判別結果を図 394、図 395 に、各沢の伏流延長及び伏流区間の割合を表 307～表 308 に、それぞれ示します。

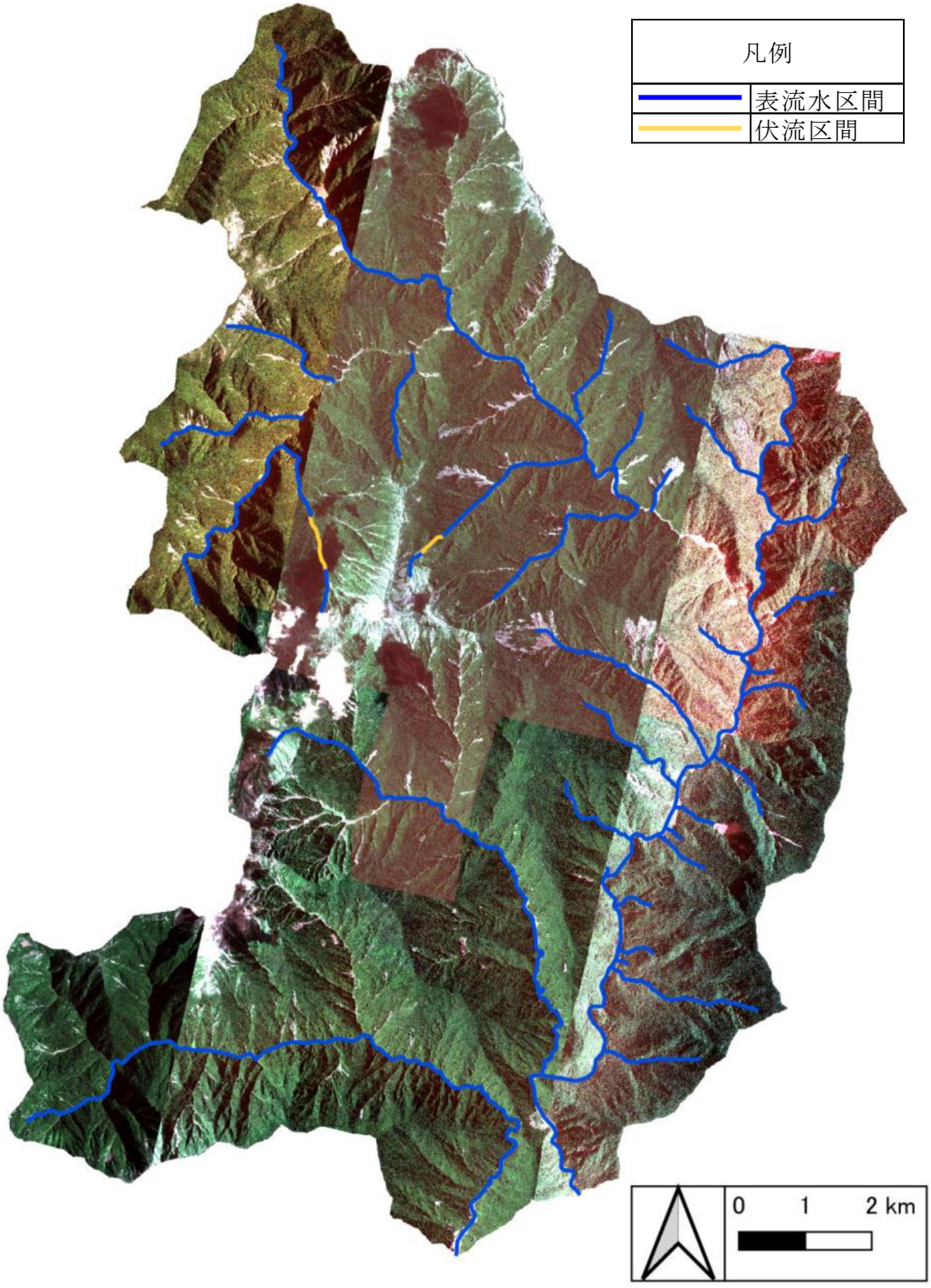


図 394 流路、表流水の判読結果（2025.07.26～30 撮影）（豊水期～平水期相当）



図 395 流路、表流水の判読結果（2025.11.21～26 撮影）（低水期～渇水期相当）

表 307 各沢の伏流区間の割合（2025.07.26～30 撮影）（豊水期～平水期相当）

No.	地点	流路延長（流程の長さ）(m)	表流水延長（表流水の長さ）(m)	伏流延長（伏流の長さ）(m)	伏流区間の割合（%）
沢01	内無沢	3,531	3,531	0	0%
沢02	魚無沢	2,783	1,879	905	33%
沢03	瀬戸沢	2,514	2,514	0	0%
沢04	上岳沢	2,049	2,049	0	0%
沢05	西小石沢	1,643	1,643	0	0%
沢06	柾小屋沢	2,016	2,016	0	0%
沢07	蛇抜沢	3,531	3,107	424	12%
沢08	柳沢	1,030	1,030	0	0%
沢09	悪沢	3,014	3,014	0	0%
沢10	大崩	696	696	0	0%
沢11	徳右衛門沢	2,044	2,044	0	0%
沢12	曲輪沢	1,603	1,603	0	0%
沢13	ジャガ沢	1,801	1,801	0	0%
沢14	流沢	1,020	1,020	0	0%
沢15	二軒小屋南西の沢	786	786	0	0%
沢16	上スリバチ沢	365	365	0	0%
沢17	スリバチ沢	1,179	1,179	0	0%
沢18	車屋沢	1,257	1,257	0	0%
沢19	燕沢	657	657	0	0%
沢20	大尻沢北の沢	292	292	0	0%
沢21	大尻沢	887	887	0	0%
沢22	蛇沢南東の沢	640	640	0	0%
沢23	破風石沢	583	583	0	0%
沢24	下木賊沢北の沢	170	170	0	0%
沢25	下木賊沢	2,492	2,492	0	0%
沢26	虎杖沢	1,517	1,517	0	0%
沢27	上千枚沢	3,556	3,556	0	0%
沢28	下千枚沢	2,091	2,091	0	0%
沢29	蛇沢	1,491	1,491	0	0%
沢30	蛇沢南の沢	122	122	0	0%
沢31	奥西河内川	9,001	9,001	0	0%
沢32	赤石沢	11,745	11,745	0	0%
沢33	北俣・中俣合流部付近	6,489	6,489	0	0%

表 308 各沢の伏流区間の割合（2025.11.21～26 撮影）（低水期～渇水期相当）

No.	地点	流路延長（流程の長さ）(m)	表流水延長（表流水の長さ）(m)	伏流延長（伏流の長さ）(m)	伏流区間の割合（%）
沢01	内無沢	3,531	2,775	756	21%
沢02	魚無沢	2,783	1,989	794	29%
沢03	瀬戸沢	2,514	2,320	194	8%
沢04	上岳沢	2,049	1,542	507	25%
沢05	西小石沢	1,643	1,537	106	6%
沢06	柾小屋沢	2,016	1,420	597	30%
沢07	蛇抜沢	3,531	1,977	1554	44%
沢08	柳沢	1,030	0	1030	100%
沢09	悪沢	3,014	2,312	702	23%
沢10	大崩	696	696	0	0%
沢11	徳右衛門沢	2,044	1,970	73	4%
沢12	曲輪沢	1,603	1,435	169	11%
沢13	ジャガ沢	1,801	1,722	79	4%
沢14	流沢	1,020	1,020	0	0%
沢15	二軒小屋南西の沢	786	786	0	0%
沢16	上スリバチ沢	－	－	－	－
沢17	スリバチ沢	－	－	－	－
沢18	車屋沢	1,257	904	353	28%
沢19	燕沢	657	268	389	59%
沢20	大尻沢北の沢	292	0	292	100%
沢21	大尻沢	887	169	718	81%
沢22	蛇沢南東の沢	640	382	258	40%
沢23	破風石沢	583	304	279	48%
沢24	下木賊沢北の沢	170	132	38	22%
沢25	下木賊沢	2,492	2,447	45	2%
沢26	虎杖沢	1,517	1,139	378	25%
沢27	上千枚沢	3,562	3,562	0	0%
沢28	下千枚沢	2,091	2,091	0	0%
沢29	蛇沢	1,491	1,002	489	33%
沢30	蛇沢南の沢	122	31	91	75%
沢31	奥西河内川	9,001	8,697	304	3%
沢32	赤石沢	11,745	11,745	0	0%
沢33	北俣・中俣合流部付近	6,489	5,649	840	13%

※沢16上スリバチ沢、沢17スリバチ沢は、沢全体が雲で隠れており、伏流範囲を確認できませんでした。

3.11 静岡・山梨県境付近における先進坑掘削

【事後調査及びモニタリング計画通し番号 104、105】

静岡・山梨県境付近における山梨県内の先進坑掘削のリスク管理として、計測したデータ（湧水量等）はＪＲ東海ホームページ（https://company.jr-central.co.jp/chuoshinkansen/efforts/shizuoka/environment/_pdf/south-alps-tunnel-digging.pdf）にて結果を掲載している。

静岡・山梨県境付近における先進坑掘削に関連するその他の調査結果については、以下の箇所に記載している。

【事後調査及びモニタリング計画通し番号 106】別冊第１章 3.1（通し番号 66）
【事後調査及びモニタリング計画通し番号 107】別冊第１章 3.6（通し番号 88）
【事後調査及びモニタリング計画通し番号 108】別冊第１章 3.6（通し番号 87）
【事後調査及びモニタリング計画通し番号 109】別冊第１章 2.1（通し番号 42）
【事後調査及びモニタリング計画通し番号 110】別冊第１章 3.2（通し番号 59）
【事後調査及びモニタリング計画通し番号 111】別冊第１章 3.1（通し番号 63）

3.12 静岡・山梨県境付近における高速長尺先進ボーリング調査

【事後調査及びモニタリング計画通し番号 113】

静岡・山梨県境付近における高速長尺先進ボーリングのリスク管理として、計測したデータ（坑口湧水量等）はＪＲ東海ホームページ（https://company.jr-central.co.jp/chuoshinkansen/efforts/shizuoka/environment/_pdf/south-alps-tunnel-boring.pdf）にて結果を掲載している。

静岡・山梨県境付近における高速長尺先進ボーリングに関連するその他の調査結果については、以下の箇所に記載している。

【事後調査及びモニタリング計画通し番号 114】別冊第１章 3.1（通し番号 66）
【事後調査及びモニタリング計画通し番号 115】別冊第１章 3.6（通し番号 88）
【事後調査及びモニタリング計画通し番号 116】別冊第１章 3.6（通し番号 87）
【事後調査及びモニタリング計画通し番号 117】別冊第１章 3.7（通し番号 89）
【事後調査及びモニタリング計画通し番号 118】別冊第１章 2.1（通し番号 42）
【事後調査及びモニタリング計画通し番号 119】別冊第１章 3.2（通し番号 59）
【事後調査及びモニタリング計画通し番号 120】別冊第１章 3.1（通し番号 63）

第2章　本編 2-4 動物に係る事後調査及びモニタリングの結果

1. イヌワシ、クマタカの生息状況及び繁殖状況

【事後調査及びモニタリング計画通し番号 133、199】

これまでに実施した調査結果を表 309～表 315 に示します。なお、2017 年度シーズン（2016 年 11 月～2017 年９月）までは工事着手前の継続調査、2018 年度シーズン（2017 年 11 月～2018 年 8 月）以降は工事中の事後調査として実施しました。

表 309　イヌワシ、クマタカの生息状況及び繁殖状況の調査結果（イヌワシＡペア）

調査期間	確認状況
2015 年度シーズン （2014 年 12 月～2015 年７月）	新たに営巣地を確認したが、繁殖は確認されなかった。
2016 年度シーズン （2015 年 11 月～2016 年７月）	2015 年度シーズンに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2017 年度シーズン （2016 年 11 月～2017 年９月）	2015 年度シーズンに確認した営巣地での繁殖を確認し、幼鳥の巣立ち等を確認した。
2018 年度シーズン （2017 年 11 月～2018 年８月）	2015 年度シーズンに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2019 年度シーズン （2018 年 12 月～2019 年９月）	2015 年度シーズンに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2020 年度シーズン （2019 年 12 月～2020 年９月）	2015 年度シーズンに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。

・2021 年度シーズン（2020 年 12 月～2021 年９月）以降は本ペアの飛翔は確認されず、本ペアの雌個体とイヌワシＢペアの雄個体による新たなペア（イヌワシＣペア）が確認されている。

表 310　イヌワシ、クマタカの生息状況及び繁殖状況の調査結果（イヌワシＢペア）

調査期間	確認状況
2018 年度シーズン （2017 年 11 月～2018 年８月）	本シーズンの調査で新たに確認されたペアであり、営巣地を確認したが繁殖は確認されなかった。
2019 年度シーズン （2018 年 12 月～2019 年９月）	2018 年度シーズンに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2020 年度シーズン （2019 年 12 月～2020 年９月）	2018 年度シーズンに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。

・2021 年度シーズン（2020 年 12 月～2021 年９月）以降は本ペアの飛翔は確認されず、イヌワシＡペアの雌個体と本ペアの雄個体とによる新たなペア（イヌワシＣペア）が確認されている。

表 311　イヌワシ、クマタカの生息状況及び繁殖状況の調査結果（イヌワシCペア）

調査期間	確認状況
2021 年度シーズン （2020 年 12 月～2021 年９月）	本シーズンの調査で新たにイヌワシAペアの雌個体とイヌワシBペアの雄個体によるペアである。イヌワシAペアの既知の営巣地（2015 年度シーズンに確認）やイヌワシBペアの既知の営巣地（2018 年度シーズンに確認）での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2022 年度シーズン （2021 年 11 月～2022 年 10 月）	イヌワシAペアの既知の営巣地（2015 年度シーズンに確認）やイヌワシBペアの既知の営巣地（2018 年度シーズンに確認）での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2023 年度シーズン （2022 年 12 月～2023 年９月）	イヌワシAペアの既知の営巣地（2015 年度シーズンに確認）やイヌワシBペアの既知の営巣地（2018 年度シーズンに確認）での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2024 年度シーズン （2023 年 12 月～2024 年９月）	イヌワシAペアの既知の営巣地（2015 年度シーズンに確認）やイヌワシBペアの既知の営巣地（2018 年度シーズンに確認）での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2025 年度シーズン （2024 年 12 月～2025 年９月）	イヌワシAペアの既知の営巣地（2015 年度シーズンに確認）やイヌワシBペアの既知の営巣地（2018 年度シーズンに確認）と異なる場所で新たに営巣地を発見し、幼鳥の飛翔を確認した。

表 312　イヌワシ、クマタカの生息状況及び繁殖状況の調査結果（クマタカＡペア）

調査期間	確認状況
2015 年度シーズン （2014 年 12 月～2015 年７月）	環境影響評価調査時の 2012 年度シーズンまでに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2016 年度シーズン （2015 年 11 月～2016 年７月）	環境影響評価調査時の 2012 年度シーズンまでに確認した営巣地と異なる場所で新たに営巣地を発見したが、繁殖は確認されなかった。
2017 年度シーズン （2016 年 11 月～2017 年９月）	2016 年度シーズンまでに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2018 年度シーズン （2017 年 11 月～2018 年８月）	2016 年度シーズンまでに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2019 年度シーズン （2018 年 12 月～2019 年９月）	2016 年度シーズンに確認した営巣地での繁殖を確認し、幼鳥の巣立ちを確認した。
2020 年度シーズン （2019 年 12 月～2020 年９月）	2016 年度シーズンまでに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。なお、2019 年度シーズンに孵化した若鳥について、営巣地周辺での飛翔が確認した。
2021 年度シーズン （2020 年 12 月～2021 年９月）	2016 年度シーズンまでに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。なお、2019 年度シーズンに孵化した若鳥について、営巣地周辺での飛翔が確認した。
2022 年度シーズン （2021 年 11 月～2022 年 10 月）	2016 年度シーズンまでに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2023 年度シーズン （2022 年 12 月～2023 年９月）	環境影響評価調査時の 2012 年度シーズンまでに確認した営巣地での繁殖を確認し、幼鳥の飛翔を確認した。
2024 年度シーズン （2023 年 12 月～2024 年９月）	2023 年度シーズンまでに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。なお、2023 年度シーズンに孵化した若鳥について、営巣地周辺での飛翔が確認した。
2025 年度シーズン （2024 年 12 月～2025 年９月）	2023 年度シーズンまでに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。

表 313　イヌワシ、クマタカの生息状況及び繁殖状況の調査結果（クマタカＢペア）

調査期間	確認状況
2015 年度シーズン （2014 年 12 月～2015 年７月）	繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2016 年度シーズン （2015 年 11 月～2016 年７月）	繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2017 年度シーズン （2016 年 11 月～2017 年９月）	繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2018 年度シーズン （2017 年 11 月～2018 年８月）	繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2019 年度シーズン （2018 年 12 月～2019 年９月）	繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2020 年度シーズン （2019 年 12 月～2020 年９月）	繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2021 年度シーズン （2020 年 12 月～2021 年９月）	営巣地の特定には至らなかったが、幼鳥の飛翔を確認した。
2022 年度シーズン （2021 年 11 月～2022 年 10 月）	新たに営巣地を確認し、幼鳥の飛翔を確認した。なお、2021 年度シーズンに孵化した若鳥の飛翔を確認するとともに、2021 年度シーズンに使用した古巣の位置も特定した。
2023 年度シーズン （2022 年 12 月～2023 年９月）	2022 年度シーズンまでに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。なお、2022 年度シーズンに孵化した若鳥について、営巣地周辺での飛翔が確認した。
2024 年度シーズン （2023 年 12 月～2024 年９月）	2022 年度シーズンに確認した営巣地での繁殖を確認し、幼鳥の飛翔を確認した。
2025 年度シーズン （2024 年 12 月～2025 年９月）	2024 年度シーズンまでに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。なお、2024 年度シーズンに孵化した若鳥について、営巣地周辺での飛翔が確認した。

表 314　イヌワシ、クマタカの生息状況及び繁殖状況の調査結果（クマタカＣペア）

調査期間	確認状況
2018 年度シーズン （2017 年 11 月～2018 年８月）	本シーズンの調査で新たに確認されたペアであり、営巣地を確認したが繁殖は確認されなかった。
2019 年度シーズン （2018 年 12 月～2019 年９月）	2018 年度シーズンに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2020 年度シーズン （2019 年 12 月～2020 年９月）	2018 年度シーズンに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2021 年度シーズン （2020 年 12 月～2021 年９月）	2018 年度シーズンに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2022 年度シーズン （2021 年 11 月～2022 年 10 月）	2018 年度シーズンに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2023 年度シーズン （2022 年 12 月～2023 年９月）	2018 年度シーズンに確認した営巣地と異なる場所で新たに営巣地を発見したが、繁殖は確認されなかった。
2024 年度シーズン （2023 年 12 月～2024 年９月）	2023 年度シーズンまでに確認した営巣地と異なる場所で新たに営巣地を発見し、幼鳥の飛翔を確認した。
2025 年度シーズン （2024 年 12 月～2025 年９月）	2024 年度シーズンまでに確認した営巣地での繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。なお、2024 年度シーズンに孵化した若鳥について、営巣地周辺での飛翔が確認した。

表 315　イヌワシ、クマタカの生息状況及び繁殖状況の調査結果（クマタカＤペア）

調査期間	確認状況
2021 年度シーズン （2020 年 12 月～2021 年９月）	本シーズンの調査で新たに確認されたペアであり、繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2022 年度シーズン （2021 年 11 月～2022 年 10 月）	繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2023 年度シーズン （2022 年 12 月～2023 年９月）	繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2024 年度シーズン （2023 年 12 月～2024 年９月）	繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。
2025 年度シーズン （2024 年 12 月～2025 年９月）	繁殖は確認されなかったが、飛翔等を確認した。なお、若鳥の飛翔が確認されたことから、2024 年度シーズンは繁殖していた可能性が考えられた。

2. 沢の動物調査

【事後調査及びモニタリング計画通し番号 136～156、162～165、168～172、175～177】

これまでにトンネル掘削工事により影響が生じる可能性があると想定した沢等において、動物の生息状況等を把握するための調査を実施してきました。

具体的には、環境影響評価の一環として、トンネル上部やトンネル周辺の沢等を網羅的に現地踏査したうえで、全体 33 の沢で可能な限り遡上し、作業の安全性等を考慮した上で調査範囲を設定し、動物（哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、魚類、底生動物）と植物の生息・生育状況を確認するための調査（以下、「動植物全般調査」という。）を実施しました。

その後、生物多様性専門部会や国土交通省リニア中央新幹線静岡工区有識者会議等での議論を踏まえ、動植物の調査を実施してきました。また、生物多様性専門部会での議論を踏まえ、静岡県から新たに上流域へのアクセスルートの情報提供があり、より上流域での調査を実施できる可能性のある沢を対象に、11 の沢における上流域調査を 2025 年秋季に実施しました（表 316）。

これまで実施した捕獲等調査の結果のうち、当該沢で確認された種の中から、重要種の確定と指標種の選定を行いました。重要種を2.1に、指標種を2.2に、これまで実施した沢の水生生物等の捕獲等調査の結果の詳細については、2.3に、それぞれ示します。

2.1. 重要種の確定

重要種は、当該種が確認された時点における、環境省第 4 次レッドリスト（令和 2 年、環境省）、静岡県版淡水魚類レッドリスト 2020（令和 2 年、静岡県）、静岡県版両生類レッドリスト 2020（令和 2 年、静岡県）、静岡県版哺乳類レッドリスト 2020（令和 2 年、静岡県）、文化財保護法（昭和 25 年、法律第 214 号）、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年、法律第 75 号）、静岡県希少野生動植物保護条例（平成 23 年、静岡県条例第 37 号））等に該当する種とし、トンネル掘削に伴う沢の流量減少による影響が懸念されていることから、沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無を整理しました。

調査結果から重要種を抽出して確定させ、沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無を整理しました。重要種について、沢ごとに表 317～表 349 に示します。

表 316　沢の上流域調査の実施箇所

No	沢名称	上流域調査の実施有無	備考
沢01	内無沢	－	事前踏査の結果、移動時間が長く、天候急変等のリスクに対する安全の確保が難しいため、上流域調査は実施しないこととした
沢02	魚無沢	－	事前踏査の結果、移動時間が長く、天候急変等のリスクに対する安全の確保が難しいため、上流域調査は実施しないこととした
沢03	瀬戸沢	－	事前踏査の結果、移動時間が長く、天候急変等のリスクに対する安全の確保が難しいため、上流域調査は実施しないこととした
沢04	上岳沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢05	西小石沢	○	
沢06	柾小屋沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢07	蛇抜沢	○	
沢08	柳沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢09	悪沢	○	
沢10	大崩	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢11	徳右衛門沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢12	曲輪沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢13	ジャガ沢	○	
沢14	流沢	○	
沢15	二軒小屋南西の沢	－	事前踏査の結果、踏査時に、調査候補地において沢への落石が発生し、調査地点における安全の確保が難しいため、上流域調査は実施しないこととした
沢16	上スリバチ沢	○	
沢17	スリバチ沢	○	
沢18	車屋沢	○	
沢19	燕沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢20	大尻沢北の沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢21	大尻沢	○	
沢22	蛇沢南東の沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢23	破風石沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢24	下木賊沢北の沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢25	下木賊沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢26	虎杖沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢27	上千枚沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢28	下千枚沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢29	蛇沢	○	
沢30	蛇沢南の沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢31	奥西河内川	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢32	赤石沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢33	北俣・中俣合流部付近（三伏沢）	○	

■：上流域モデル[2]による解析の結果、流量減少が予測される沢

表 317　重要種一覧（沢 01 内無沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 318　重要種一覧（沢 02 魚無沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 319　重要種一覧（沢 03 瀬戸沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 320　重要種一覧（沢 04 上岳沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 321　重要種一覧（沢 05 西小石沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 322　重要種一覧（沢 06 柾小屋沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 323　重要種一覧（沢 07 蛇抜沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 324　重要種一覧（沢 08 柳沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 325　重要種一覧（沢 09 悪沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 326　重要種一覧（沢 10 大崩）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 327　重要種一覧（沢 11 徳右衛門沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 328　重要種一覧（沢 12 曲輪沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 329　重要種一覧（沢 13 ジャガ沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 330　重要種一覧（沢 14 流沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 331　重要種一覧（沢 15 二軒小屋南西の沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 332　重要種一覧（沢 16 上スリバチ沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 333　重要種一覧（沢 17 スリバチ沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 334　重要種一覧（沢 18 車屋沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 335　重要種一覧（沢 19 燕沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 336　重要種一覧（沢 20 大尻沢北の沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 337　重要種一覧（沢 21 大尻沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 338　重要種一覧（沢 22 蛇沢南東の沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 339　重要種一覧（沢 23 破風石沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 340　重要種一覧（沢 24 下木賊沢北の沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 341　重要種一覧（沢 25 下木賊沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 342　重要種一覧（沢 26 虎杖沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 343　重要種一覧（沢 27 上千枚沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 344　重要種一覧（沢 28 下千枚沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 345　重要種一覧（沢 29 蛇沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 346　重要種一覧（沢 30 蛇沢南の沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 347　重要種一覧（沢 31 奥西河内川）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 348　重要種一覧（沢 32 赤石沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 349　重要種一覧（沢 33 北俣・中俣合流部付近（（三伏沢））

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

2.2.　指標種の選定

底生動物は、科・属・種などの分類群ごとに生息場条件（地形上の位置、河床材料、流速、水温等）が異なることから、専門家の助言を基にそれぞれの分類群が必要とする生息場条件を生息場指標として分類し、整理しました。これにより、各指標種群の生息状況をモニタリングすることによって、生息場にどのような変化が起きたかを評価することができます。このため、従来のように特定の種を指標種とするのではなく、生息場条件（地形上の位置、河床材料、水深、流速、水温等）が類似する底生動物を指標種群として分類し、色分けしました（表 350）。

底生動物の指標種群について、沢ごとに表 351～表 429 に、生息場指標ごとに分類した底生動物の割合を図 396～図 428 に示します。

表 350　指標種群の類型と生息環境の特徴[1]

指標種群の類型	代表的な指標種例	流量減少時の解釈
①急流の水衝部指標種群	オナガヒラタカゲロウ、イワヒラタカゲロウ、[redacted]、ヤマトクチナガアミカ、	小滝や早瀬などの水衝部の特に流れが速い環境（例えば2m/s以上の激流）がが無くなると生息不可
②急流の表流水指標種群	フタバコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、クロツツトビケラ、ヤマトコマドアミカ	小滝や早瀬などの流れが速い環境（例えば1～2m/s程度の急流）が失われると生息不可
③急流～緩流の表流水指標種群	ナミヒラタカゲロウ、モンカワゲラ、シロズシマトビケラ、ハダカユスリカ属など	早瀬や平瀬などの表流水の流れがある環境（例えば0.1～1m/s程度の緩流）が失われると生息不可
④緩流～止水の表流水指標種群	ヒラタウズムシ科、フサオナシカワゲラ属、ヤマトビケラ属、カクツツトビケラ属	平瀬や淵、ワンド、たまり、湧水等の止水環境（例えば0.1m/s以下の止水）が失われると生息不可
⑤湿岩面の指標種群	ミヤマノギカワゲラ、タニガワトビケラ、ナガレチョウバエ属、ホソカ属など	表流水が減っても岩面等の滴れ環境があれば生息可
⑥間隙水域の指標種群	ナミミズミミズ属、クロカワゲラ科、ヒゲナガガガンボ属、ニセテンマクエリユスリカ属	表流水が減っても河床や川岸に間隙水があれば生息可
⑦その他 （目、科、亜科、属どまり等）	－	不明ないし生息環境を特定できない種群

[1] 指標種群の類型については今後のモニタリングの結果を踏まえ必要に応じて見直しを行います。

表 351　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 01 内無沢）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	トゲマダラカゲロウ属 Drunella 属	*Drunella* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ	*Calineuria stigmatica*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	源流～上流	強低温表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性：卵の最適生息温度：8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる extワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Clemens group：鰓なし）クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Clemens* group）	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Lieftinki group）タシタナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Lieftinki* group）= R. impar	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
三岐腸目	―	Tricladida fem. gen. spp.	種により異なる	表流水・緩流止水（種によって高温耐性あり）	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus 属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	種により異なる	表流水・リターパック	淵・ワンド・たまりなどの止水域の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）ないし緩流域のダム型リターパック（落葉落枝の塊）の隙間に生息。（冷水性）
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
カクスイトビケラ科	ウエノマルツツトビケラ	*Micrasema uenoi*	源流～上流・枝谷の岸際	表流水・蘚類マット・湿岩面	砂粒の携巣型で滝・早瀬・平瀬・淵・湧水の岩盤・石礫・流倒木の蘚類にしがみ付いて生活する。（冷水性）
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）
ゲンゴロウ科	モンキマメゲンゴロウ属 *Platambus*属	*Platambus* sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
アミカ科	フタマタアミカ属（成虫を含む）	*Philorus* sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

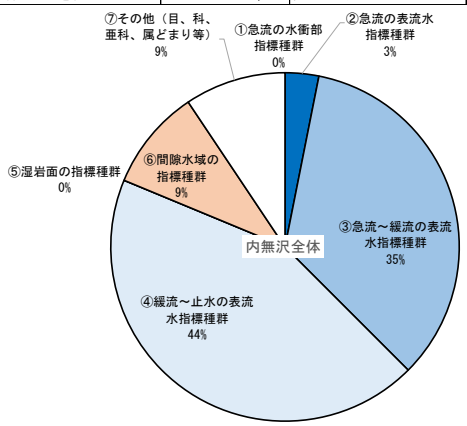


図 396　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 01 内無沢）

表 352　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 02 魚無沢 1/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
希少種保護のため非公開					
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	源流～中流	表流水・急流	小滝・早瀬の巨石や石の流速の速い石表面
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sacharinensis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ or イワヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus or E. cumulus*	上流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	源流～上流	強低温表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性：卵の最適生息温度：8℃）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒメアミメカワゲラ属 Skwala属	*Skwala* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Clemens group：鰓なし）クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Clemens* group）	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	RCナガレトビケラ	Rhyacophila sp. RC	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Retracta group）ユミナガレトビケラ，モタカンタナガレトビケラ、トガリミジカオナガレトビケラ，ウエノナガレトビケラ *R. retracta*，カドオナガレトビケラ*R. humerigera*（青森・秋田），*R. geranos*，*R. koryne*，	*Rhyacophila* sp.（*Retracta* group）	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	トランスクィラナガレトビケラ	Rhyacophila transquilla	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
アミカ科	クロバアミカ（クロバアミカ属）	*Bibiocephala infuscata infuscata*	上流～中流	表流水	早瀬や平瀬の石礫の表面に生息する（昼間は石の下面や側面の凹みで静止し、夜に上面を歩行して採餌）（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ハダカユスリカ属	*Cardiocladius* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの表面に生息
ブユ科	オオブユ属（成虫を含む）	*Prosimulium* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中に生息し、石礫・抽水植物・流倒木・落葉落枝などの表面に付着生活する
ヒラタウズムシ科	ホソウズムシ属 *Phagocata*属	*Phagocata* sp.	源流全域・細流の枝谷	表流水・強低温湧水	冷水温の湧水中の岩盤や石表面に生息する（水温上限15℃-13℃　適温13℃-10℃以下）
ヒラタウズムシ科	ホソウズムシ属　ミヤマウズムシ	*Phagocata vivida*	源流全域・枝谷の細流	表流水・強低温湧水	冷水温の湧水中の岩盤や石表面に生息する（水温上限15℃-13℃　適温13℃-10℃以下）
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	コカゲロウ科（成虫を含む）	Baetidae gen. spp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒメヒラタカゲロウ属　（成虫を含む）	*Rhithrogena* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
トワダカワゲラ科	ミネトワダカワゲラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Scopura montana*	源流の最上流・枝谷の細流	表流水・極低温湧水	源流や細流の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表層や間隙に生息。幼虫期間は 4年、食性：落ち葉、コケ、微小な水生昆虫など（水温上限14℃-4℃　適温10℃以下）
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	種により異なる	表流水・リターパック	淵・ワンド・たまりなどの止水域の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）ないし緩流域のダム型リターパック（落葉落枝の塊）の隙間に生息。（冷水性）
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる

表 353　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 02 魚無沢 2/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
カクスイトビケラ科	ハナセマルツツトビケラ	*Micrasema hanasense*	源流～上流・枝谷の岸際	表流水・蘚類マット・湿岩面	蘚類の携巣型で滝・早瀬・平瀬・淵・湧水の岩盤・石礫・流倒木の蘚類にしがみ付いて生活する。（冷水性）
カクスイトビケラ科	ウエノマルツツトビケラ	*Micrasema uenoi*	源流～上流・枝谷の岸際	表流水・蘚類マット・湿岩面	砂粒の携巣型で滝・早瀬・平瀬・淵・湧水の岩盤・石礫・流倒木の蘚類にしがみ付いて生活する。（冷水性）
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
クロツツトビケラ科	アツバエグリトビケラ属	*Neophylax* sp.	源流～上流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ケブカユスリカ亜科	キタケブカユスリカ属	*Boreochlus* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	表流水・蘚類マット	平瀬、淵、ワンドなどの砂礫・蘚類・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。（冷水性）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ属	*Diamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の砂礫・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセエリユスリカ属	*Pseudorthocladius* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	表流水・蘚類マット・湿岩面・間隙水域	平瀬、淵、ワンドなどの砂礫・蘚類・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。（冷水性）
ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	源流～上流・枝谷	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ナガレアブ科	ハマダラナガレアブ	*Atherix ibis japonica*	上流～中流	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Yoraperla uenoi*	源流の滝・細流の水際湿岩面	湿岩面・湧水	湿岩面Hygropetric zone に生息する（生息水温範囲：13-15℃以下）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	タニユスリカ属　*Boreoheptagyia* 属	*Boreoheptagyia* sp.	源流～上流・枝谷の水際	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面や蘚類マットに生息。（冷水性）
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科（成虫を含む）	Leuctridae sp.	上流～中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	セスジミドリカワゲラ属 Sweltsa 属	*Sweltsa* spp.	中流～下流（流程を問わず平地流）	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
カワトビケラ科	カワトビケラ科　他にコタニガワトビケラ属 Chimarraトゲタニガワトビケラ属 Kisauraの可能性あり	Philopotamidae gen. sp.	種により異なる	湿岩面・表流水・間隙水域	種により異なる
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

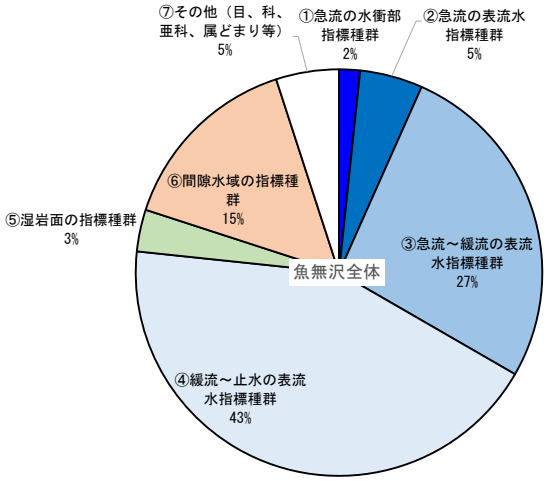


図 397　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 02 魚無沢）

表 354　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 03 瀬戸沢 1/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
希少種保護のため非公開					
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	源流～中流	表流水・急流	小滝・早瀬の巨石や石の流速の速い石表面
アミカ科	ヤマトコマドアミカ（コマドアミカ属（ヤマトアミカ属））	*Agathon japonicus*	源流～上流・枝谷	表流水・急流	滝や早瀬の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する。（冷水性）
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sacharinensis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	トゲマダラカゲロウ属 Drunella 属	*Drunella* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ or イワヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus or E. cumulus*	上流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	源流～上流	強低温表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性：卵の最適生息温度：8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Anatina group）フタタマオナガレトビケラ，ナカガワナガレトビケラ，*R. kuranishii*	*Rhyacophila* sp.（*Anatina* group）	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流～上流の滝-早瀬-細流
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Clemens group：鰓なし）クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Clemens* group）	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	RCナガレトビケラ	Rhyacophila sp. RC	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Retracta group）ユミナガレトビケラ，モタカンタナガレトビケラ，トガリミジカオナガレトビケラ，ウエノナガレトビケラ *R. retracta*，カドオナガレトビケラ*R. humerigera*（青森・秋田），*R. geranos*，*R. koryne*，	*Rhyacophila* sp.（*Retracta* group）	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	トランスクィラナガレトビケラ	Rhyacophila transquilla	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Sibirica group）トランスクィラナガレトビケラ，キソナガレトビケラ，Sibirica group-sp.1，Sibirica group-sp.2，*R. hattorii*，*R. kobayashii*	*Rhyacophila* sp.（*Sibirica* group）	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
アミカ科	クロバアミカ（クロバアミカ属）	*Bibiocephala infuscata infuscata*	上流～中流	表流水	早瀬や平瀬の石礫の表面に生息する（昼間は石の下面や側面の凹みで静止し、夜に上面を歩行して採餌）（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ハダカユスリカ属	*Cardiocladius* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの表面に生息
ヒラタウズムシ科	ホソウズムシ属 *Phagocata*属	*Phagocata* sp.	源流全域・細流の枝谷	表流水・強低温湧水	冷水温の湧水中の岩盤や石表面に生息する（水温上限15℃-13℃　適温13℃-10℃以下）
ヒラタウズムシ科	ホソウズムシ属　ミヤマウズムシ	*Phagocata vivida*	源流全域・枝谷の細流	表流水・強低温湧水	冷水温の湧水中の岩盤や石表面に生息する（水温上限15℃-13℃　適温13℃-10℃以下）
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus 属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	コカゲロウ科（成虫を含む）	Baetidae gen. spp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	種により異なる	表流水・リターパック	淵・ワンド・たまりなどの止水域の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）ないし緩流域のダム型リターパック（落葉落枝の塊）の隙間に生息。（冷水性）
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
イワトビケラ科	イワトビケラ科	Polycentropodidae gen. sp.	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクスイトビケラ科	ウエノマルツツトビケラ	*Micrasema uenoi*	源流～上流・枝谷の岸際	表流水・蘚類マット・湿岩面	砂粒の携巣型で滝・早瀬・平瀬・淵・湧水の岩盤・石礫・流倒木の蘚類にしがみ付いて生活する。（冷水性）
カクツツトビケラ科	オオカクツツトビケラ	*Lepidostoma crassicorne*	源流・枝谷・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）

表 355　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 03 瀬戸沢 2/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ属	*Diamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の砂礫・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
カ科	ハマダラカ属	*Anopheles* sp.	池沼・中流～下流のたまり	表流水	平地の池沼や水たまりに生息するが河川敷に恒常的な止水域があれば分布する。（高温耐性あり）
ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	源流～上流・枝谷	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ナガレアブ科	ハマダラナガレアブ	*Atherix ibis japonica*	上流～中流	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ゲンゴロウ科	モンキマメゲンゴロウ属 *Platambus*属	*Platambus* sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Yoraperla uenoi*	源流の滝・細流の水際湿岩面	湿岩面・湧水	湿岩面Hygropetric zone に生息する（生息水温範囲：13-15℃以下）
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	Osmylidae sp.	源流～上流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類や落葉落枝中に生息する
カワトビケラ科	ヒメタニガワトビケラ属：ナガノタニガワトビケラ Wormaldia kisoensis ウオヌマタニガワトビケラ *Wormaldia uonumana*　フジノタニガワトビケラ *Wormaldia fujinoensis* 他の可能性	*Wormaldia* sp.	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
オドリバエ科	トゲナシシシブキバエ属（成虫を含む）	*Wiedemannia* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	幼虫：表流水、成虫：湿岩面	種により異なる
ミズミミズ科	ナミミズミミズ属 Nais属	*Nais* sp.	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科（成虫を含む）	Leuctridae sp.	上流～中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
オビヒメガガンボ科	ダイミョウガガンボ属	*Pedicia* sp.	源流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域・蘚類マット・落葉落枝	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する。（冷水性種を含む）
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	ボカシヌマユスリカ属	*Macropelopia* sp.	源流・細流・湧水・湿地・湖沼	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ケユキユスリカ属	*Pseudodiamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ナガレツヤユスリカ属	*Rheocricotopus* sp.	源流～上流・枝谷・湖沼	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ダニ目	－	Acarina fam. gen. spp.	全流程	種により異なる	種により異なる
カワトビケラ科	カワトビケラ科　他にコタニガワトビケラ属 Chimarra トゲタニガワトビケラ属 Kisaura の可能性あり	Philopotamidae gen. sp.	種により異なる	湿岩面・表流水・間隙水域	種により異なる
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
エグリトビケラ科	エグリトビケラ科	Limnephilidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる

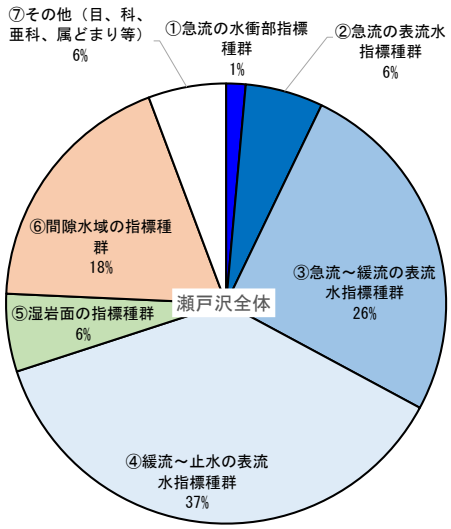


図 398　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 03 瀬戸沢）

表 356　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 04 上岳沢）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	トゲマダラカゲロウ属 Drunella 属	*Drunella* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ or イワヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus or E. cumulus*	上流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ	*Calineuria stigmatica*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	源流～上流	強低温表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性：卵の最適生息温度：8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Acropedes* group)	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Clemens group：鰓なし）クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Clemens* group)	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Lieftinki group）タシタナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Lieftinki* group) = R. impar	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Sibirica group）トランスクィラナガレトビケラ，キソナガレトビケラ，Sibirica group-sp.1，Sibirica group-sp.2，*R. hattorii*，*R. kobayashii*	*Rhyacophila* sp. (*Sibirica* group)	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
三岐腸目	―	Tricladida fem. gen. spp.	種により異なる	表流水・緩流止水(種によって高温耐性あり)	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus 属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	種により異なる	表流水・リターパック	淵・ワンド・たまりなどの止水域の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）ないし緩流域のダム型リターパック（落葉落枝の塊）の隙間に生息。（冷水性）
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）
ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	源流～上流・枝谷	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ナガレアブ科	ナガレアブ科	Athericidae sp.	属・種により異なる	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Yoraperla uenoi*	源流の滝・細流の水際湿岩面	湿岩面・湧水	湿岩面Hygropetric zone に生息する（生息水温範囲：13-15℃以下）
オドリバエ科	トゲナシシシブキバエ属（成虫を含む）	*Wiedemannia* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	幼虫：表流水、成虫：湿岩面	種により異なる
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ヒゲユスリカ属	*Tanytarsus* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンド・たまりなどの砂泥・砂礫・石礫・落葉落枝の間隙簡巣を固着させてFPOMを濾過して生活する
ハナアブ科	アシブトハナアブ（成虫を含む）	*Helophilus eristaloideus*	中流～下流のたまりや湿地	間隙水域・湿った土壌中	種により異なる
カワトビケラ科	カワトビケラ科　他にコタニガワトビケラ属 Chimarraトゲタニガワトビケラ属 Kisauraの可能性あり	Philopotamidae gen. sp.	種により異なる	湿岩面・表流水・間隙水域	種により異なる
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
エグリトビケラ科	エグリトビケラ科	Limnephilidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
アミカ科	アミカ科	Blephariceridae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

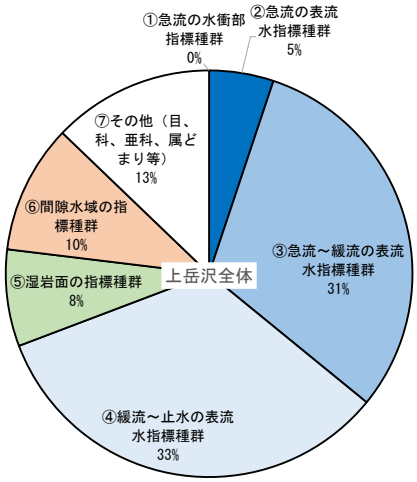


図 399　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 04 上岳沢）

表 357　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 05 西小石沢 1/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
希少種保護のため非公開					
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	源流～中流	表流水・急流	小滝・早瀬の巨石や石の流速の速い石表面
アミメシマトビケラ科　Arctops	アミメシマトビケラ属 Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷・細流	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミカ科	ヤマトコマドアミカ（コマドアミカ属（ヤマトアミカ属））	*Agathon japonicus*	源流～上流・枝谷	表流水・急流	滝や早瀬の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する。（冷水性）
アミカ科	ハナレメナミアミカ（ナミアミカ属（ニホンアミカ属）　）	*Blepharicera shirakii*	源流～上流・枝谷	表流水・急流	早瀬や平瀬の岩盤・石礫・流木の表面に生息する（緩流部にも生息する）
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石砂利などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sacharinensis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	トゲマダラカゲロウ属 Drunella属	*Drunella* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（ユミモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.0℃-最低温度12.4℃（平均16.7℃））
カワゲラ科	モンカワゲラ	*Calineuria stigmatica*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	源流～上流	強低温表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性：卵の最適生息温度：8℃）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
シマトビケラ科 Hydropsychidae	ミヤマシマトビケラ属 Diplectrona属	*Diplectrona* sp.	源流の最上流域	間隙水域	細流の砂利石礫底の下の間隙中に営巣する
シマトビケラ科 Hydropsychidae	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する。（比較的高温耐性あり）
ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する。（雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃、耐酸性が強い（pH2-3台でも生息可））
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Acropedes* group)	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる extトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	フタタマオナガレトビケラ	Rhyacophila bilobata	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流～上流の滝-早瀬-細流
ナガレトビケラ科	クレメンスナガレトビケラ	Rhyacophila clemens	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Clemens group：鰓なし）クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Clemens* group)	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	タシタナガレトビケラ（Lieftinki group）	*Rhyacophila impar* (*Lieftinki* group)	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Lieftinki group）タシタナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Lieftinki* group) = R. impar	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	トランスクィラナガレトビケラ	Rhyacophila transquilla	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Sibirica group）トランスクィラナガレトビケラ，キソナガレトビケラ，Sibirica group-sp.1，Sibirica group-sp.2，*R. hattorii*，*R. kobayashii*	*Rhyacophila* sp. (*Sibirica* group)	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
アミカ科	クロバアミカ属	*Bibiocephala* sp.	源流～上流・枝谷	表流水	早瀬や平瀬の石礫の表面に生息する（昼間は石の下面や側面の凹みで静止し、夜に上面を歩行して採餌）（冷水性を含む）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ツツイヤマユスリカ	*Diamesa tsutsuii*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	流水中の石礫・倒木表面に生息する

表 358　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 05 西小石沢 2/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	*Dugesia japonica*	源流～上流・細流の枝谷	表流水・低温湧水	湧水などの冷水温環境に生息する。（生息水温範囲：10.2-20.0℃）
ヒラタウズムシ科	コガタウズムシ	*Phagocata kawakatsui*	源流全域・細流の枝谷	表流水・強低温湧水	冷水温の湧水中の岩盤や石表面に生息する
ヒラタウズムシ科	ホソウズムシ属　ミヤマウズムシ	*Phagocata vivida*	源流全域・枝谷の細流	表流水・強低温湧水	冷水温の湧水中の岩盤や石表面に生息する（水温上限15℃-13℃　適温13℃-10℃以下）
三岐腸目	－	Tricladida fem. gen. spp.	種により異なる	表流水・緩流止水(種によって高温耐性あり)	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
ハリガネムシ科	ハリガネムシ科	Gordiidae gen. spp.	種により異なる（全流程の可能性あり）	表流水・緩流止水	淵やワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus 属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
カワトンボ科	カワトンボ科	Calopterygidae gen. sp.	上流～中流	表流水・緩流止水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底・抽水植物などの表層に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	種により異なる	表流水・リターパック	淵・ワンド・たまりなどの止水域の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）ないし緩流域のダム型リターパック（落葉落枝の塊）の隙間に生息。（冷水性）
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヤマトビケラ科	ニッポンヤマトビケラ	*Glossosoma hospitum*	上流～中流	表流水（緩流中）	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクスイトビケラ科	ウエノマルツツトビケラ	*Micrasema uenoi*	源流～上流・枝谷の岸際	表流水・蘚類マット・湿岩面	砂粒の携巣型で滝・早瀬・平瀬・淵・湧水の岩盤・石礫・流倒木の蘚類にしがみ付いて生活する。（冷水性）
カクツツトビケラ科	フトヒゲカクツツトビケラ	*Lepidostoma complicatum*	上流～中流・枝谷	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ （南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Pseudostenophylax ondakensis*	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	フサケヤマユスリカ	*Diamesa plumicornis*	源流～上流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	流水中の石礫・倒木表面や間隙に生息する
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ属	*Diamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	アルプスケユキユスリカ	*Pagastia nivis*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	緩流中の砂礫・石表面・植物体表面や間隙に生息。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	源流～上流・枝谷	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ナガレアブ科	ハマダラナガレアブ	*Atherix ibis japonica*	上流～中流	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ナガレアブ科	サツマモンナガレアブ	*Suragina satsumana*	上流～中流	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ゲンゴロウ科	サワダマメゲンゴロウ	*Platambus sawadai*	源流域の流水河道から隔離されたたまり・高標高の池沼	表流水・湧水	種により異なる
オナシカワゲラ科	インドオナシカワゲラ属	*Indonemoura* sp.	源流～上流の水際湿岩面・枝谷・細流の下垂れ	湿岩面・湧水・蘚類マット	小滝岸際湿岩上や細流下垂れの蘚類や落ち葉の隙間などに生息。
ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Yoraperla uenoi*	源流の滝・細流の水際湿岩面	湿岩面・湧水	湿岩面Hygropetric zone に生息する（生息水温範囲：13-15℃以下）
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	Osmylidae sp.	源流～上流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類や落葉落枝中に生息する
カワトビケラ科	タニガワトビケラ	*Dolophilodes japonica*	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る

表 359　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 05 西小石沢 3/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
カワトビケラ科	タニガワトビケラ属 ： ミミタニガワトビケラ *Dolophilodes auriculata* ノムギタニガワトビケラ *Dolophilodes nomugiensis* シンボタニガワトビケラ *Dolophilodes sinboensis*　サキブトタニガワトビケラ *Dolophilodes dilatata*　イロタニガワトビケラ *Dolophilodes iroensis*　サキボソタニガワトビケラ　*Dolophilodes angustata* の可能性	*Dolophilodes* sp.	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
アミカ科	ハナレフタマタアミカ（フタマタアミカ属）	*Philorus gokaensisi*	源流～上流・枝谷	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘚類群落内に生息
アミカ科	タチゲヒメフタマタアミカ（フタマタアミカ属）	*Philorus minor*	源流～上流・枝谷	湿岩面（飛沫帯）	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘚類群落内に生息
チョウバエ科	ナガレチョウバエ属	*Pericoma* sp.	源流～上流・枝谷の水際	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘚類群落内に生息
ユスリカバエ科	アンドロプロソパ属	*Androprosopa* sp.	源流・細流・湧水の岸際	表流水・湿岩面	滝や滴れの湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息。（冷水性）
オドリバエ科	トゲナシシシブキバエ属（成虫を含む）	*Wiedemannia* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	幼虫：表流水、成虫：湿岩面	種により異なる
ナガミミズ科	ナガミミズ科	Haplotaxidae sp.	種により異なる（陸生・湿地生・河川間隙生の種が含まれる）	陸域土壌・間隙水域	陸上土壌中、湿地底泥中、淵、ワンドの落葉溜りや河床間隙に生息。
ヒメミミズ科	ヒメミミズ科	Enchytraeidae gen. sp.	全流程	間隙水域・リターパック	淵、ワンド、周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
ツリミミズ目	―	Lumbricida fam. gen. spp.	全流程	間隙水域・リターパック	周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科（成虫を含む）	Leuctridae sp.	上流～中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ナガレトビケラ科	シコツナガレトビケラ	*Rhyacophila shikotsuensis*	上流～中流・枝谷・細流	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ヒゲユスリカ属	*Tanytarsus* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンド・たまりなどの砂泥・砂礫・石礫・落葉落枝の間隙筒巣を固着させてFPOMを濾過して生活する
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
ツトガ科　　ミズメイガ亜科	ミズメイガ亜科	Acentropinae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヒメガガンボ科	ヒメガガンボ科（成虫を含む）	Limoniidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
ガガンボ科	ガガンボ科	Tipulidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
アミカ科	フタマタアミカ属（成虫を含む）	*Philorus* sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

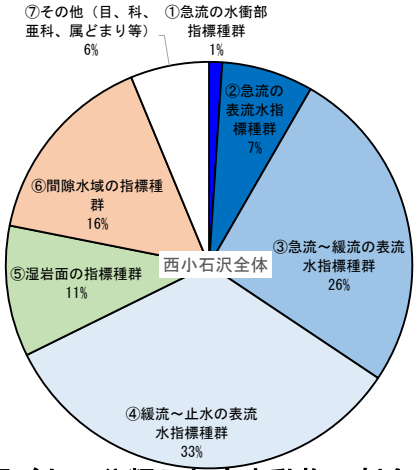


図 400　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 05 西小石沢）

表 360　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 06 柾小屋沢 1/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
アミメシマトビケラ科　Arctopsychinae	アミメシマトビケラ属 Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷・細流	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctopsychinae	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctopsychinae	シロフツヤトビケラ	*Parapsyche maculata*	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	ミツトゲマダラカゲロウ	*Drunella trispina*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	トゲマダラカゲロウ属 Drunella 属	*Drunella* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（ユミモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.0℃-最低温度12.4℃（平均16.7℃））
カワゲラ科	モンカワゲラ	*Calineuria stigmatica*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	源流～上流	強低温表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性：卵の最適生息温度：8℃）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒメアミメカワゲラ属 Skwala属	*Skwala* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シマトビケラ属の1種	*Hydropsyche* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。（高温耐性あり）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる extワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Anatina group）フタタマオナガレトビケラ，ナカガワナガレトビケラ，*R. kuranishii*	*Rhyacophila* sp.（*Anatina* group）	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流～上流の滝-早瀬-細流
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Clemens group：鰓なし）クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Clemens* group）	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	タシタナガレトビケラ（Lieftinki group）	*Rhyacophila impar*（*Lieftinki* group）	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	RCナガレトビケラ	Rhyacophila sp. RC	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	*Dugesia japonica*	源流～上流・細流の枝谷	表流水・低温湧水	湧水などの冷水温環境に生息する。（生息水温範囲：10.2-20.0℃）
三岐腸目	―	Tricladida fem. gen. spp.	種により異なる	表流水・緩流止水（種によって高温耐性あり）	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*	上流～中流	表流水・リターパック	淵やワンドの石礫・砂利・砂底・流倒木の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）などの隙間に生息。
マダラカゲロウ科	トウヨウマダラカゲロウ属 Cincticostella属	*Cincticostella* sp.	上流～中流	表流水	淵やワンドの石礫・砂利・砂底・流倒木の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）などの隙間に生息。
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus 属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	種により異なる	表流水・リターパック	淵・ワンド・たまりなどの止水域の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）ないし緩流域のダム型リターパック（落葉落枝の塊）の隙間に生息。（冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒロバネアミメカワゲラ Pseudomegarcys japonicus	*Pseudomegarcys japonica*	源流～上流	強低温表流水	堆積型リターパック内（強冷水性）
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
イワトビケラ科	ミヤマイワトビケラ属：オンダケミヤマイワトビケラ *Plectrocnemia ondakeana*	*Plectrocnemia* sp.	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。

表 361　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 06 柾小屋沢 2/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ属	*Diamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセエリユスリカ属	*Pseudorthocladius* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	表流水・蘚類マット・湿岩面・間隙水域	平瀬、淵、ワンドなどの砂礫・蘚類・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。（冷水性）
ブユ科	ブユ科	Simuliidae sp.	属・種により異なる	少なくとも表流水	種により異なる
ゲンゴロウ科	モンキマメゲンゴロウ属 *Platambus*属	*Platambus* sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
マルハナノミ科	クロマルハナノミ属　Odeles属	*Odeles* sp.	上流～中流・枝谷	表流水	種により異なる
ヒメドロムシ科	スネアカヒメドロムシ	*Heterlimnius variabilis*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流や細流の淵・たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝などの隙間に生息。
ヒメドロムシ科	ヒメツヤドロムシ属	*Zaitzeviaria* sp.	源流・枝谷・細流	表流水	種により異なる
ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Yoraperla uenoi*	源流の滝・細流の水際湿岩面	湿岩面・湧水	湿岩面Hygropetric zone に生息する（生息水温範囲：13-15℃以下）
カワトビケラ科	タニガワトビケラ属：ミミタニガワトビケラ *Dolophilodes auriculata* ノムギタニガワトビケラ *Dolophilodes nomugiensis* シンボタニガワトビケラ *Dolophilodes sinboensis*　サキブトタニガワトビケラ *Dolophilodes dilatata*　イロタニガワトビケラ *Dolophilodes iroensis*　サキボソタニガワトビケラ　*Dolophilodes angustata* の可能性	*Dolophilodes* sp.	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ属 Eobrachycentrus属	*Eobrachycentrus* sp.	源流・枝谷・細流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤・石礫・流倒木の蘚類群落に生息する。（冷水性）
チョウバエ科	ナガレチョウバエ属	*Pericoma* sp.	源流～上流・枝谷の水際	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘚類群落内に生息
ミズミミズ科	ナミミズミミズ属 Nais属	*Nais* sp.	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ヌカユスリカ属	*Thienemanniella* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
カワトビケラ科	カワトビケラ科　他にコタニガワトビケラ属 Chimarraトゲタニガワトビケラ属 Kisauraの可能性あり	Philopotamidae gen. sp.	種により異なる	湿岩面・表流水・間隙水域	種により異なる
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
アミカ科	フタマタアミカ属（成虫を含む）	*Philorus* sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

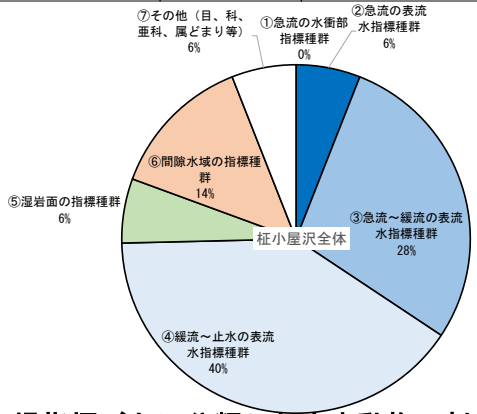


図 401　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 06 柾小屋沢）

表 362　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 07 蛇抜沢 1/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヒラタカゲロウ科	イワヒラタカゲロウ	*Epeorus cumulus*	源流～上流	急流・湿岩面	小滝や早瀬の落差のある滝を流れ落ちる岩面に生息する
希少種保護のため非公開					
アミカ科	ヤマトクチナガアミカ	*Apistomyia uenoi*	源流～上流・枝谷	急流水衝部	滝の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する
希少種保護のため非公開					
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	源流～中流	表流水・急流	小滝・早瀬の巨石や石の流速の速い石表面
アミメシマトビケラ科　Arctops	アミメシマトビケラ属 Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷・細流	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミカ科	アルプスコマドアミカ	*Agathon bispinus*	源流～中流・枝谷	表流水・急流	滝や早瀬の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する。（冷水性）
アミカ科	ヤマトコマドアミカ（コマドアミカ属（ヤマトアミカ属））	*Agathon japonicus*	源流～上流・枝谷	表流水・急流	滝や早瀬の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する。（冷水性）
アミカ科	（コマドアミカ属（ヤマトアミカ属））	*Agathon* sp.	源流～上流・枝谷	表流水・急流	滝や早瀬の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する
アミカ科	ハナレメナミアミカ（ナミアミカ属（ニホンアミカ属）　）	*Blepharicera shirakii*	源流～上流・枝谷	表流水・急流	早瀬や平瀬の岩盤・石礫・流木の表面に生息する（緩流部にも生息する）
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sacharinensis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	トゲマダラカゲロウ属 Drunella 属	*Drunella* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
コカゲロウ科	Fコカゲロウ	*Baetis* sp.F	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（ユミモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.0℃-最低温度12.4℃（平均16.7℃））
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ or イワヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus or E. cumulus*	上流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ	*Calineuria stigmatica*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	源流～上流	強低温表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性：卵の最適生息温度：8℃）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒメアミメカワゲラ属 Skwala属	*Skwala* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する。（雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃、耐酸性が強い（pH2-3台でも生息可））
ナガレトビケラ科	トワダナガレトビケラ	*Rhyacophila towadensis*	源流～上流・枝谷・細流（細流中心）	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Acropedes* group)	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Anatina group）フタタマオナガレトビケラ，ナカガワナガレトビケラ，*R. kuranishii*	*Rhyacophila* sp. (*Anatina* group)	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流～上流の滝-早瀬-細流
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Lieftinki group）タシタナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Lieftinki* group) = R. impar	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。

表 363　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 07 蛇抜沢 2/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Retracta group）ユミナガレトビケラ，モタカンタナガレトビケラ、トガリミジカオナガレトビケラ，ウエノナガレトビケラ *R. retracta*，カドオナガレトビケラ*R. humerigera*（青森・秋田），*R. geranos*，*R. koryne*，	*Rhyacophila* sp.（*Retracta* group）	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
アミカ科	クロバアミカ（クロバアミカ属）	*Bibiocephala infuscata infuscata*	上流～中流	表流水	早瀬や平瀬の石礫の表面に生息する（昼間は石の下面や側面の凹みで静止し、夜に上面を歩行して採餌）（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ハダカユスリカ属	*Cardiocladius* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの表面に生息
ブユ科	オオブユ属（成虫を含む）	*Prosimulium* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中に生息し、石礫・抽水植物・流倒木・落葉落枝などの表面に付着生活する
サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	*Dugesia japonica*	源流～上流・細流の枝谷	表流水・低温湧水	湧水などの冷水温環境に生息する。（生息水温範囲：10.2-20.0℃）
ヒラタウズムシ科	ホソウズムシ属　ミヤマウズムシ	*Phagocata vivida*	源流全域・枝谷の細流	表流水・強低温湧水	冷水温の湧水中の岩盤や石表面に生息する（水温上限15℃-13℃　適温13℃-10℃以下）
ヒラタウズムシ科	キタカズメウズムシ属 カズメウズムシ	*Seidlia auriculata*	源流の最上流域・枝谷の細流	表流水・極低温湧水	極低水温の湧水中落ち葉だまりや湿地に生息する（水温上限13℃-10℃　適温10℃-8℃以下）
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus 属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	クロタニガワカゲロウ	*Ecdyonurus tobiironis*	上流・枝谷・細流下部	表流水	淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	エルモンヒラタカゲロウ or マツムラヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium or E. l-nigrus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。（エルモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.6℃-最低温度12.4℃（平均17.0℃））
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒメヒラタカゲロウ属　（成虫を含む）	*Rhithrogena* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
トワダカワゲラ科	ミネトワダカワゲラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Scopura montana*	源流の最上流・枝谷の細流	表流水・極低温湧水	源流や細流の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表層や間隙に生息。幼虫期間は 4年、食性：落ち葉、コケ、微小な水生昆虫など（水温上限14℃-4℃　適温10℃以下）
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	種により異なる	表流水・リターパック	淵・ワンド・たまりなどの止水域の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）ないし緩流域のダム型リターパック（落葉落枝の塊）の隙間に生息。（冷水性）
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
コエグリトビケラ科	コエグリトビケラ属の数種	*Apatania* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ属	*Diamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の砂礫・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセエリユスリカ属	*Pseudorthocladius* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	表流水・蘚類マット・湿岩面・間隙水域	平瀬、淵、ワンドなどの砂礫・蘚類・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。（冷水性）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガレユスリカ属	*Rheotanytarsus* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水	平瀬・淵などの緩流部の岩盤・石礫の表面に固着させた筒巣に網を張ってFPOMを濾し取って生活する
ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	源流～上流・枝谷	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ゲンゴロウ科	サワダマメゲンゴロウ	*Platambus sawadai*	源流域の流水河道から隔離されたたまり・高標高の池沼	表流水・湧水	源流域の流水河道から隔離されたたまり。（冷水性）

表 364　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 07 蛇抜沢 3/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Yoraperla uenoi*	源流の滝・細流の水際湿岩面	湿岩面・湧水	湿岩面Hygropetric zone に生息する（生息水温範囲：13-15℃以下）
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	プライヤーヒロバカゲロウ	*Osmylus pryeri*	源流～上流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類や落葉落枝中に生息する
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	Osmylidae sp.	源流～上流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類や落葉落枝中に生息する
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	タニユスリカ属　*Boreoheptagyia* 属	*Boreoheptagyia* sp.	源流～上流・枝谷の水際	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面や蘚類マットに生息。（冷水性）
ホソカ科	クロホソカ	*Dixa yamatona*	源流・細流・湧水の岸際・湿地	表流水・湿岩面・湿地	滝や滴れの湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息
ホソカ科	ホソカ属	*Dixa* sp.	源流・細流・湧水の岸際・湿地	表流水・湿岩面・湿地	滝や滴れの湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科（成虫を含む）	Leuctridae sp.	上流～中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Nigrocephala group：鰓なし）ムナグロナガレトビケラ，ニッポンナガレトビケラ，シコツナガエトビケラ、カワムラナガレトビケラ、クワムラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Nigrocephala* group)	源流～中流・枝谷・細流（種により異なる）	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。
オビヒメガガンボ科	ダイミョウガガンボ属	*Pedicia* sp.	源流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域・蘚類マット・落葉落枝	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する。（冷水性種を含む）
オビヒメガガンボ科	オビヒメガガンボ科	Pediciidae sp.	源流・上流・細流・湧水・岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水が必要な種あり）	種により異なる
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ナミヒメガガンボ属	*Dicranomyia* sp.	源流・上流・細流・湧水・岸際・湿地	流倒木・落葉落枝・間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際の落葉落枝や流倒木の隙間に生息する
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ケユキユスリカ属	*Pseudodiamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	コナユスリカ属	*Corynoneura* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	間隙水域	緩流中の砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ナガレツヤユスリカ属	*Rheocricotopus* sp.	源流～上流・枝谷・湖沼	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ヌカユスリカ属	*Thienemanniella* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ミズアブ科	ミズアブ科	Stratiomyidae sp.	源流～下流・枝谷・細流・湿地	リターパック・土壌	淵、ワンド、周辺湿地の落葉溜り・朽木など有機物の多い土壌中に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
エグリトビケラ科	エグリトビケラ科	Limnephilidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
アミカ科	フタマタアミカ属（成虫を含む）	*Philorus* sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
アミカ科	アミカ科	Blephariceridae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

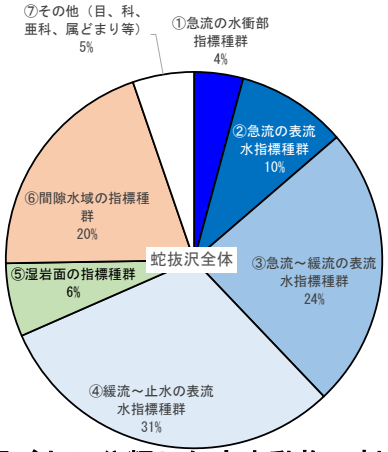


図 402　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 07 蛇抜沢）

表 365　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 08 柳沢 1/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヒラタカゲロウ科	オナガヒラタカゲロウ	*Epeorus hiemalis*	源流～上流	急流・湿岩面	小滝や早瀬の落差のある滝を流れ落ちる岩面の剥離流の裏側部分に生息する（オナガヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度17.7℃-最低温度12.7℃（平均14.5℃））。
アミメシマトビケラ科　Arctops	アミメシマトビケラ属 Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷・細流	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する。
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する。
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息。
マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石砂利などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	トゲマダラカゲロウ属 Drunella属	*Drunella* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
カワリナガレトビケラ科	ツメナガナガレトビケラ	*Apsilochorema sutshanum*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Acropedes* group)	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる extトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Clemens group：鰓なし）クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Clemens* group)	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	*Dugesia japonica*	源流～上流・細流の枝谷	表流水・低温湧水	湧水などの冷水温環境に生息する。（生息水温範囲：10.2-20.0℃）
三岐腸目	―	Tricladida fem. gen. spp.	種により異なる	表流水・緩流止水（種によって高温耐性あり）	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
ハリガネムシ科	ハリガネムシ科	Gordiidae gen. spp.	種により異なる（全流程の可能性あり）	表流水・緩流止水	淵やワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝などの表層に生息。
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
マダラカゲロウ科	トウヨウマダラカゲロウ属 Cincticostella属	*Cincticostella* sp.	上流～中流	表流水	淵やワンドの石礫・砂利・砂底・流倒木の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）などの隙間に生息。
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	エルモンヒラタカゲロウ or マツムラヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium or E. l-nigrus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。（エルモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.6℃-最低温度12.4℃（平均17.0℃））
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	種により異なる	表流水・リターパック	淵・ワンド・たまりなどの止水域の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）ないし緩流域のダム型リターパック（落葉落枝の塊）の隙間に生息。（冷水性）
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
イワトビケラ科	ミヤマイワトビケラ属：オンダケミヤマイワトビケラ *Plectrocnemia ondakeana*	*Plectrocnemia* sp.	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
ニンギョウトビケラ科	クロニンギョウトビケラ	*Goera nigrosoma*	上流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の砂礫・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）

表 366　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 08 柳沢 2/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ゲンゴロウ科	モンキマメゲンゴロウ属 *Platambus*属	*Platambus* sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
マルハナノミ科	Elodes属	*Elodes* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水	上～中流域の岸際・淵・ワンド・たまりの石礫の隙間や落ちたまりなどに生息
ヒメドロムシ科	スネアカヒメドロムシ	*Heterlimnius variabilis*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流や細流の淵・たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝などの隙間に生息。
ヒメドロムシ科	ヒメツヤドロムシ属	*Zaitzeviaria* sp.	源流・枝谷・細流	表流水	種により異なる
ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Yoraperla uenoi*	源流の滝・細流の水際湿岩面	湿岩面・湧水	湿岩面Hygropetric zone に生息する（生息水温範囲：13-15℃以下）
カワトビケラ科	タニガワトビケラ属：ミミタニガワトビケラ *Dolophilodes auriculata* ノムギタニガワトビケラ *Dolophilodes nomugiensis* シンボタニガワトビケラ *Dolophilodes sinboensis*　サキブトタニガワトビケラ *Dolophilodes dilatata*　イロタニガワトビケラ *Dolophilodes iroensis*　サキボソタニガワトビケラ　*Dolophilodes angustata* の可能性	*Dolophilodes* sp.	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
ヒメトビケラ科	カクヒメトビケラ属	*Stactobia* spp.	源流～上流の水際・枝谷・細流の下垂れ	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類群落中に生息する
カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ	*Eobrachycentrus vernalis*	源流・枝谷・細流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤・石礫・流倒木の蘚類群落に生息する。（冷水性）
カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ属 Eobrachycentrus属	*Eobrachycentrus* sp.	源流・枝谷・細流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤・石礫・流倒木の蘚類群落に生息する。（冷水性）
オドリバエ科	トゲナシシシブキバエ属（成虫を含む）	*Wiedemannia* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	幼虫：表流水、成虫：湿岩面	種により異なる
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ナガレトビケラ科	シコツナガレトビケラ	*Rhyacophila shikotsuensis*	上流～中流・枝谷・細流	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	コナユスリカ属	*Corynoneura* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	間隙水域	緩流中の砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ヒゲユスリカ属	*Tanytarsus* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンド・たまりなどの砂泥・砂礫・石礫・落葉落枝の間隙簡巣を固着させてFPOMを濾過して生活する
カワトビケラ科	カワトビケラ科　他にコタニガワトビケラ属 Chimarraトゲタニガワトビケラ属 Kisauraの可能性あり	Philopotamidae gen. sp.	種により異なる	湿岩面・表流水・間隙水域	種により異なる
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
エグリトビケラ科	エグリトビケラ科	Limnephilidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	モンユスリカ亜科	Tanypodinae gen. spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

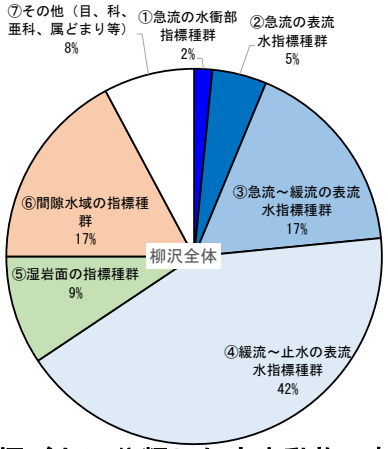


図 403　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 08 柳沢）

表 367　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 09 悪沢 1/4）

ヒラタカゲロウ科	オナガヒラタカゲロウ	*Epeorus hiemalis*	源流～上流	急流・湿岩面	小滝や早瀬の落差のある滝を流れ落ちる岩面の剥離流の裏側部分に生息する（オナガヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度17.7℃-最低温度12.7℃（平均14.5℃）））
ヒラタカゲロウ科	イワヒラタカゲロウ	*Epeorus cumulus*	源流～上流	急流・湿岩面	小滝や早瀬の落差のある滝を流れ落ちる岩面に生息する
希少種保護のため非公開					
アミカ科	ヤマトクチナガアミカ	*Apistomyia uenoi*	源流～上流・枝谷	急流水衝部	滝の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	源流～中流	表流水・急流	小滝・早瀬の巨石や石の流速の速い石表面
アミメシマトビケラ科　Arctops	アミメシマトビケラ属 Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷・細流	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミカ科	ヤマトコマドアミカ（コマドアミカ属（ヤマトアミカ属））	*Agathon japonicus*	源流～上流・枝谷	表流水・急流	滝や早瀬の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する。（冷水性）
アミカ科	（コマドアミカ属（ヤマトアミカ属））	*Agathon* sp.	源流～上流・枝谷	表流水・急流	滝や早瀬の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する
アミカ科	ハナレメナミアミカ（ナミアミカ属（ニホンアミカ属）　）	*Blepharicera shirakii*	源流～上流・枝谷	表流水・急流	早瀬や平瀬の岩盤・石礫・流木の表面に生息する（緩流部にも生息する）
アミカ科	ナミアミカ属（ニホンアミカ属）（成虫を含む）	*Blepharicera* sp.	源流～上流・枝谷	表流水・急流	早瀬や平瀬の岩盤・石礫・流木の表面に生息する（緩流部にも生息する）（種によって高温耐性あり）
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石砂利などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sacharinensis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	トゲマダラカゲロウ属 Drunella属	*Drunella* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
コカゲロウ科	Fコカゲロウ	*Baetis* sp.F	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ナミヒラタカゲロウ	*Epeorus ikanonis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（ユミモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.0℃-最低温度12.4℃（平均16.7℃））
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カミムラカワゲラ属Kamimuria属	*Kamimuria* sp.	種により異なる（ウエノ・クロヒゲなら源流～上流；カミムラなら上流～下流）	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	源流～上流	強低温表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性：卵の最適生息温度：8℃）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒメアミメカワゲラ属 Skwala属	*Skwala* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シマトビケラ属の1種	*Hydropsyche* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シマトビケラ科	Hydropsychidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。（高温耐性あり）
ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する。（雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃、耐酸性が強い（pH2-3台でも生息可））
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）

表 368　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 09 悪沢 2/4）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Clemens group：鰓なし）クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Clemens* group）	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Lieftinki group）タシタナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Lieftinki* group）= R. impar	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Retracta group）ユミナガレトビケラ，モタカンタナガレトビケラ、トガリミジカオナガレトビケラ，ウエノナガレトビケラ *R. retracta*，カドオナガレトビケラ*R. humerigera*（青森・秋田），*R. geranos*，　*R. koryne*，	*Rhyacophila* sp.（*Retracta* group）	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
アミカ科	クロバアミカ（クロバアミカ属）	*Bibiocephala infuscata infuscata*	上流～中流	表流水	早瀬や平瀬の石礫の表面に生息する（昼間は石の下面や側面の凹みで静止し、夜に上面を歩行して採餌）（冷水性）
ブユ科	オオブユ属（成虫を含む）	*Prosimulium* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中に生息し、石礫・抽水植物・流倒木・落葉落枝などの表面に付着生活する
サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	*Dugesia japonica*	源流～上流・細流の枝谷	表流水・低温湧水	湧水などの冷水温環境に生息する。（生息水温範囲：10.2-20.0℃）
ヒラタウズムシ科	ホソウズムシ属　ミヤマウズムシ	*Phagocata vivida*	源流全域・枝谷の細流	表流水・強低温湧水	冷水温の湧水中の岩盤や石表面に生息する（水温上限15℃-13℃　適温13℃-10℃以下）
三岐腸目	―	Tricladida fem. gen. spp.	種により異なる	表流水(種によって高温耐性あり)	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*	上流～中流	表流水・リターパック	淵やワンドの石礫・砂利・砂底・流倒木の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）などの隙間に生息。
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus 属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	コカゲロウ属の1種（成虫）	*Baetis* sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヒラタカゲロウ科	タニガワカゲロウ属 Ecdyonurus 属	*Ecdyonurus* sp.	源流～中流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	エルモンヒラタカゲロウ or マツムラヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium* or *E. l-nigrus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。（エルモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.6℃-最低温度12.4℃（平均17.0℃））
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒメヒラタカゲロウ属　（成虫を含む）	*Rhithrogena* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	種により異なる	表流水・リターパック	淵・ワンド・たまりなどの止水域の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）ないし緩流域のダム型リターパック（落葉落枝の塊）の隙間に生息。（冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒロバネアミメカワゲラ Pseudomegarcys japonicus	*Pseudomegarcys japonica*	源流～上流	強低温表流水	堆積型リターパック内（強冷水性）
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
イワトビケラ科	ミヤマイワトビケラ属：オンダケミヤマイワトビケラ *Plectrocnemia ondakeana*	*Plectrocnemia* sp.	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Pseudostenophylax ondakensis*	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
マルバネトビケラ科	Phryganopsyche属	*Phryganopsyche* sp.	源流・枝谷・細流・池沼・湿地	表流水	淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）

表 369　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 09 悪沢 3/4）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ属	*Diamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の砂礫・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセエリユスリカ属	*Pseudorthocladius* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	表流水・蘇類マット・湿岩面・間隙水域	平瀬、淵、ワンドなどの砂礫・蘇類・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。（冷水性）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガレユスリカ属	*Rheotanytarsus* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水	平瀬・淵などの緩流部の岩盤・石礫の表面に固着させた簡巣に網を張ってFPOMを濾し取って生活する
ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	源流～上流・枝谷	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ナガレアブ科	ハマダラナガレアブ	*Atherix ibis japonica*	上流～中流	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ナガレアブ科	ナガレアブ科	Athericidae sp.	属・種により異なる	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ゲンゴロウ科	モンキマメゲンゴロウ属 *Platambus*属	*Platambus* sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
マルハナノミ科	クロマルハナノミ属　Odeles属	*Odeles* sp.	上流～中流・枝谷	表流水	上～中流域の岸際・淵・ワンド・たまりの落ちたまりなどに生息
ヒメドロムシ科	ヒメツヤドロムシ属	*Zaitzeviaria* sp.	源流・枝谷・細流	表流水	源流や細流の淵・たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝などの隙間に生息。
ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Yoraperla uenoi*	源流の滝・細流の水際湿岩面	湿岩面・湧水	湿岩面Hygropetric zone に生息する（生息水温範囲：13-15℃以下）
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	プライヤーヒロバカゲロウ	*Osmylus pryeri*	源流～上流の岸際	湿岩面・湧水・蘇類マット	岩盤や石礫の蘇類や落葉落枝中に生息する
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	Osmylidae sp.	源流～上流の岸際	湿岩面・湧水・蘇類マット	岩盤や石礫の蘇類や落葉落枝中に生息する
カワトビケラ科	タニガワトビケラ属：ミミタニガワトビケラ *Dolophilodes auriculata* ノムギタニガワトビケラ *Dolophilodes nomugiensis* シンボタニガワトビケラ *Dolophilodes sinboensis*　サキブトタニガワトビケラ *Dolophilodes dilatata*　イロタニガワトビケラ *Dolophilodes iroensis*　サキボソタニガワトビケラ　*Dolophilodes angustata* の可能性	*Dolophilodes* sp.	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘇類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘇類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ	*Eobrachycentrus vernalis*	源流・枝谷・細流の岸際	湿岩面・湧水・蘇類マット	岩盤・石礫・流倒木の蘇類群落に生息する。（冷水性）
アミカ科	アシボソヒメフタマタアミカ（フタマタアミカ属）	*Philorus longirostris*	源流～上流・枝谷	湿岩面（飛沫帯）	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘇類群落内に生息（冷水性）
チョウバエ科	ナガレチョウバエ属	*Pericoma* sp.	源流～上流・枝谷の水際	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘇類群落内に生息
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	タニユスリカ属　*Boreoheptagyia* 属	*Boreoheptagyia* sp.	源流～上流・枝谷の水際	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面や蘇類マットに生息。（冷水性）
ホソカ科	ホソカ属	*Dixa* sp.	源流・細流・湧水の岸際・湿地	表流水・湿岩面・湿地	滝や滴れの湿岩面・蘇類マット・細流の岸際に生息
ナガミミズ科	ナガミミズ科	*Haplotaxidae sp.*	種により異なる（陸生・湿地生・河川間隙生の種が含まれる）	陸域土壌・間隙水域	陸上土壌中、湿地底泥中、淵、ワンドの落葉溜りや河床間隙に生息。
ミズミミズ科	ナミミズミミズ属 Nais属	*Nais* sp.	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ツリミミズ目	―	Lumbricida fam. gen. spp.	全流程	間隙水域・リターパック	周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科（成虫を含む）	Leuctridae sp.	上流～中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
オビヒメガガンボ科	オビヒメガガンボ科	Pediciidae sp.	源流・上流・細流・湧水・岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水が必要な種あり）	種により異なる
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘇類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　クモヒメガガンボ亜科	エリオプテラ属	*Erioptera* sp.	源流・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の有機物の多い底泥中に生息する
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	ボカシヌマユスリカ属	*Macropelopia* sp.	源流・細流・湧水・湿地・湖沼	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ケユキユスリカ属	*Pseudodiamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ユキユスリカ属	*Syndiamesa* sp.	細流・湧水・湖沼	間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ヌカユスリカ属	*Thienemanniella* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する

表 370　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 09 悪沢 4/4）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
エグリトビケラ科	エグリトビケラ科	Limnephilidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
アミカ科	フタマタアミカ属（成虫を含む）	*Philorus* sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
アミカ科	アミカ科	Blephariceridae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
ユスリカ科　モンユスリカ亜科　モンユスリカ亜科		Tanypodinae gen. spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

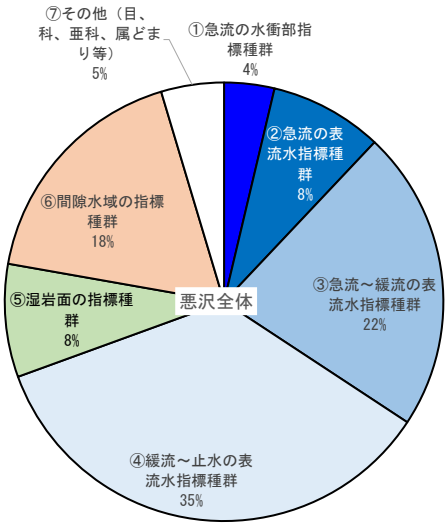


図 404　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 09 悪沢）

表 371　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 10 大崩）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤトビケラ	*Parapsyche maculata*	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
三岐腸目	―	Tricladida fem. gen. spp.	種により異なる	表流水・緩流止水（種によって高温耐性あり）	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ属	*Diamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
オビヒメガガンボ科	ダイミョウガガンボ属	*Pedicia* sp.	源流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域・蘚類マット・落葉落枝	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する。（冷水性種を含む）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

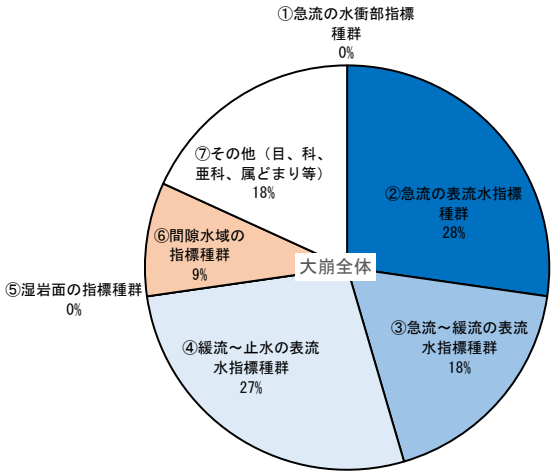


図 405　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 10 大崩）

表 372　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 11 徳右衛門沢 1/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
希少種保護のため非公開					
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	源流～中流	表流水・急流	小滝・早瀬の巨石や石の流速の速い石表面
アミメシマトビケラ科　Arctops	アミメシマトビケラ属 Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷・細流	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミカ科	ヤマトコマドアミカ（コマドアミカ属（ヤマトアミカ属））	*Agathon japonicus*	源流～上流・枝谷	表流水・急流	滝や早瀬の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する。（冷水性）
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	トゲマダラカゲロウ属 Drunella属	*Drunella* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ナミヒラタカゲロウ	*Epeorus ikanonis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ or イワヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus or E. cumulus*	上流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ	*Calineuria stigmatica*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	トウゴウカワゲラ属 Togoperla属 T. トウゴウカワゲラimbataとヤマトウゴウカワゲラ T. brevispinis	*Togoperla* sp.	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	源流～上流	強低温表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性：卵の最適生息温度：8℃）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シマトビケラ属の1種	*Hydropsyche* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い簡巣を固着させて生息。（高温耐性あり）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Clemens group：鰓なし）クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Clemens* group）	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
三岐腸目	—	Tricladida fem. gen. spp.	種により異なる	表流水・緩流止水（種によって高温耐性あり）	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
マダラカゲロウ科	トウヨウマダラカゲロウ属 Cincticostella属	*Cincticostella* sp.	上流～中流	表流水	淵やワンドの石礫・砂利・砂底・流倒木の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）などの隙間に生息。
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる

表 373　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 11 徳右衛門沢 2/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）
ナガレアブ科	ナガレアブ科	Athericidae sp.	属・種により異なる	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ヒメドロムシ科	ヒメツヤドロムシ属	*Zaitzeviaria* sp.	源流・枝谷・細流	表流水	種により異なる
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	Osmylidae sp.	源流～上流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類や落葉落枝中に生息する
カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ属 Eobrachycentrus属	*Eobrachycentrus* sp.	源流・枝谷・細流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤・石礫・流倒木の蘚類群落に生息する。（冷水性）
オドリバエ科	トゲナシシシブキバエ属（成虫を含む）	*Wiedemannia* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	幼虫：表流水、成虫：湿岩面	種により異なる
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ属（種によって生息環境は様々）	*Chironomus* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ヒゲユスリカ属	*Tanytarsus* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンド・たまりなどの砂泥・砂礫・石礫・落葉落枝の間隙筒巣を固着させてFPOMを濾過して生活する
カワトビケラ科	カワトビケラ科　他にコタニガワトビケラ属 Chimarraトゲタニガワトビケラ属 Kisauraの可能性あり	Philopotamidae gen. sp.	種により異なる	湿岩面・表流水・間隙水域	種により異なる
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
アミカ科	フタマタアミカ属（成虫を含む）	*Philorus* sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

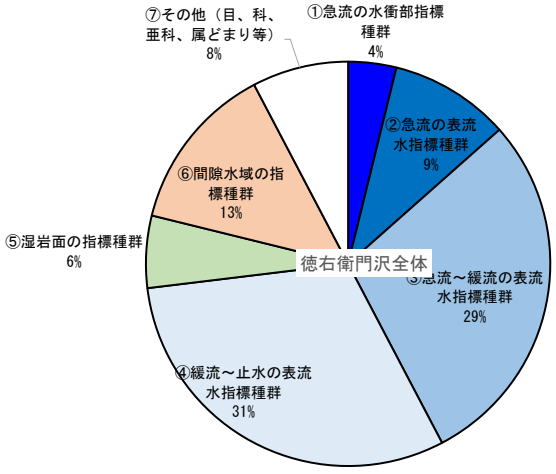


図 406　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 11 徳右衛門沢）

表 374　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 12 曲輪沢 1/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヒラタカゲロウ科	オナガヒラタカゲロウ	*Epeorus hiemalis*	源流～上流	急流・湿岩面	小滝や早瀬の落差のある滝を流れ落ちる岩面の剥離流の裏側部分に生息する（オナガヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度17.7℃-最低温度12.7℃（平均14.5℃））
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	アミメシマトビケラ属 Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷・細流	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤトビケラ	*Parapsyche maculata*	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	トゲマダラカゲロウ属 Drunella属	*Drunella* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ナミヒラタカゲロウ	*Epeorus ikanonis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ	*Calineuria stigmatica*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
シマトビケラ科 Hydropsychidae	ミヤマシマトビケラ属 Diplectrona属	*Diplectrona* sp.	源流の最上流域	間隙水域	細流の砂利石礫底の下の間隙中に営巣する
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シマトビケラ属の1種	*Hydropsyche* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。（高温耐性あり）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Clemens group：鰓なし）クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Clemens* group）	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Sibirica group）トランスクィラナガレトビケラ，キソナガレトビケラ，Sibirica group-sp.1，Sibirica group-sp.2，*R. hattorii*，*R. kobayashii*	*Rhyacophila* sp.（*Sibirica* group）	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
三岐腸目	－	Tricladida fem. gen. spp.	種により異なる	表流水・緩流止水（種によって高温耐性あり）	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
マダラカゲロウ科	トウヨウマダラカゲロウ属 Cincticostella属	*Cincticostella* sp.	上流～中流	表流水	淵やワンドの石礫・砂利・砂底・流倒木の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）などの隙間に生息。
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒロバネアミメカワゲラ Pseudomegarcys japonicus	*Pseudomegarcys japonica*	源流～上流	強低温表流水	堆積型リターパック内（強冷水性）
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ属	*Goera* sp.	種により異なる	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ科	Goeridae sp.	種により異なる	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。

表 375　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 12 曲輪沢 2/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
マルバネトビケラ科	Phryganopsyche属	*Phryganopsyche* sp.	源流・枝谷・細流・池沼・湿地	表流水	淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の砂礫・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
マルハナノミ科	Elodes属	*Elodes* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水	上～中流域の岸際・淵・ワンド・たまりの石礫の隙間や落ちたまりなどに生息
ヒメドロムシ科	スネアカヒメドロムシ	*Heterlimnius variabilis*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流や細流の淵・たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝などの隙間に生息。
ヒメドロムシ科	ヒメツヤドロムシ属	*Zaitzeviaria* sp.	源流・枝谷・細流	表流水	種により異なる
ヒロムネカワゲラ科	ノギカワゲラ	*Cryptoperla japonica*	源流～上流の滝の水際湿岩面	湿岩面・湧水	湿岩面Hygropetric zone に生息する
ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Yoraperla uenoi*	源流の滝・細流の水際湿岩面	湿岩面・湧水	湿岩面Hygropetric zone に生息する（生息水温範囲：13-15℃以下）
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	Osmylidae sp.	源流～上流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類や落葉落枝中に生息する
カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ属 Eobrachycentrus属	*Eobrachycentrus* sp.	源流・枝谷・細流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤・石礫・流倒木の蘚類群落に生息する。（冷水性）
ホソカ科	ホソカ属	*Dixa* sp.	源流・細流・湧水の岸際・湿地	表流水・湿岩面・湿地	滝や滴れの湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息
オドリバエ科	トゲナシシシブキバエ属（成虫を含む）	*Wiedemannia* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	幼虫：表流水、成虫：湿岩面	種により異なる
ミズミミズ科	ナミミズミミズ属 Nais属	*Nais* sp.	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミズミミズ科	ミズミミズ科	Naididae gen. spp.	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙、ないしは周辺湿地の落葉溜りに生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
オビヒメガガンボ科	ダイミョウガガンボ属	*Pedicia* sp.	源流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域・蘚類マット・落葉落枝	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する。（冷水性種を含む）
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ツヤヒメガガンボ属	*Pilaria* sp.	源流～中流・細流	表流水・間隙水	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂底泥の間隙に生息する
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ヌカカ科	ヌカカ科（成虫を含む）	Ceratopogonidae sp.	種により異なる	表流水・間隙水	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセトゲアシエリユスリカ属	*Parachaetocladius* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの岸際や砂州上の河床間隙に生息する種や抽水植物や沈水植物の根系に生息する種が知られている。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ヒゲユスリカ属	*Tanytarsus* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンド・たまりなどの砂泥・砂礫・石礫・落葉落枝の間隙簡巣を固着させてFPOMを濾過して生活する
カワトビケラ科	カワトビケラ科　他にコタニガワトビケラ属 Chimarraトゲタニガワトビケラ属 Kisauraの可能性あり	Philopotamidae gen. sp.	種により異なる	湿岩面・表流水・間隙水域	種により異なる
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
トビケラ目（毛翅目）	－	Tricoptera fam. gen. spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
アミカ科	フタマタアミカ属（成虫を含む）	*Philorus* sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

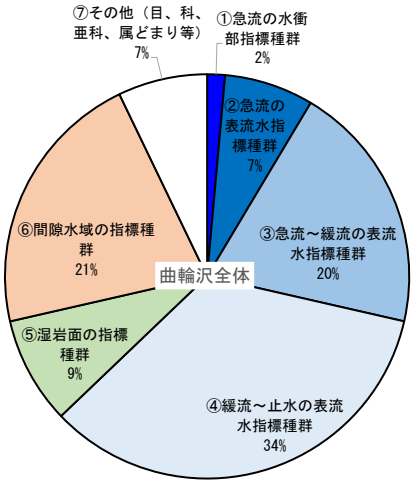


図 407　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 12 曲輪沢）

表 376　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 13 ジャガ沢 1/4）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヒラタカゲロウ科	オナガヒラタカゲロウ	*Epeorus hiemalis*	源流～上流	急流・湿岩面	小滝や早瀬の落差のある滝を流れ落ちる岩面の剥離流の裏側部分に生息する（オナガヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度17.7℃-最低温度12.7℃（平均14.5℃））
希少種保護のため非公開					
希少種保護のため非公開					
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	源流～中流	表流水・急流	小滝・早瀬の巨石や石の流速の速い石表面
アミメシマトビケラ科　Arctops	アミメシマトビケラ	*Arctopsyche spinifera*	源流～上流源流～上流・枝谷・細流	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	アミメシマトビケラ属 Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷・細流	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤトビケラ	*Parapsyche maculata*	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	アミメシマトビケラ科の1種	Arctopsychidae gen. spp.	源流～上流源流～上流・枝谷・細流	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミカ科	ヤマトコマドアミカ（コマドアミカ属（ヤマトアミカ属））	*Agathon japonicus*	源流～上流・枝谷	表流水・急流	滝や早瀬の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する。（冷水性）
アミカ科	（コマドアミカ属（ヤマトアミカ属））	*Agathon* sp.	源流～上流・枝谷	表流水・急流	滝や早瀬の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する
アミカ科	ハナレメナミアミカ（ナミアミカ属（ニホンアミカ属）　）	*Blepharicera shirakii*	源流～上流・枝谷	表流水・急流	早瀬や平瀬の岩盤・石礫・流木の表面に生息する（緩流部にも生息する）
アミカ科	ナミアミカ属（ニホンアミカ属）（成虫を含む）	*Blepharicera* sp.	源流～上流・枝谷	表流水・急流	早瀬や平瀬の岩盤・石礫・流木の表面に生息する（緩流部にも生息する）（種によって高温耐性あり）
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石砂利などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sacharinensis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	ミツトゲマダラカゲロウ	*Drunella trispina*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	トゲマダラカゲロウ属 Drunella属	*Drunella* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	フタモンコカゲロウ	*Baetis taiwanensis*	中流～下流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表層に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ナミヒラタカゲロウ	*Epeorus ikanonis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（ユミモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.0℃-最低温度12.4℃（平均16.7℃））
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ or イワヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus or E. cumulus*	上流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カミムラカワゲラ属Kamimuria属	*Kamimuria* sp.	種により異なる（ウエノ・クロヒゲなら源流～上流；カミムラなら上流～下流）	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	源流～上流	強低温表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性：卵の最適生息温度：8℃）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒメアミメカワゲラ属 Skwala属	*Skwala* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
シマトビケラ科 Hydropsychidae	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する。（比較的高温耐性あり）
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シマトビケラ属の1種	*Hydropsyche* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する

表 377　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 13 ジャガ沢 2/4）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。（高温耐性あり）
ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する。（雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃、耐酸性が強い（pH2-3台でも生息可））
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Acropedes* group)	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ヒロアタマナガレトビケラ	*Rhyacophila brevicephala*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Clemens group：鰓なし）クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Clemens* group)	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Lieftinki group）タシタナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Lieftinki* group) = R. impar	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Sibirica group）トランスクィラナガレトビケラ，キソナガレトビケラ，Sibirica group-sp.1，Sibirica group-sp.2，*R. hattorii*，*R. kobayashii*	*Rhyacophila* sp. (*Sibirica* group)	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
アミカ科	クロバアミカ（クロバアミカ属）	*Bibiocephala infuscata infuscata*	上流～中流	表流水	早瀬や平瀬の石礫の表面に生息する（昼間は石の下面や側面の凹みで静止し、夜に上面を歩行して採餌）（冷水性）
ブユ科	オオブユ属（成虫を含む）	*Prosimulium* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中に生息し、石礫・抽水植物・流倒木・落葉落枝などの表面に付着生活する
カワカゲロウ科	カワカゲロウ属	*Potamanthus* sp.	中流～下流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層とはまり石の下面に生息。（キイロカワカゲロウは暖水性）
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
マダラカゲロウ科	トウヨウマダラカゲロウ属 Cincticostella属	*Cincticostella* sp.	上流～中流	表流水	淵やワンドの石礫・砂利・砂底・流倒木の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）などの隙間に生息。
マダラカゲロウ科	マダラカゲロウ科	Ephemerellidae gen. spp.	種により異なる	表流水・リターパック・抽水植物	種により異なる
ヒメフタオカゲロウ科	クロベヒメフタオカゲロウ	*Ameletus subalpinus*	源流・枝谷	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。（これまで1,000m以上の高標高域で確認されていることから冷水性と推察される）
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	コカゲロウ属の1種（成虫）	*Baetis* sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヒラタカゲロウ科	ミドリタニガワカゲロウ	*Ecdyonurus viridis*	上流～中流	表流水	平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	タニガワカゲロウ属 Ecdyonurus属	*Ecdyonurus* sp.	源流～中流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒメヒラタカゲロウ属　（成虫を含む）	*Rhithrogena* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ科（成虫を含む）	Heptageniidae gen. spp.	種により異なる	表流水	種により異なる
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	種により異なる	表流水・リターパック	淵・ワンド・たまりなどの止水域の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）ないし緩流域のダム型リターパック（落葉落枝の塊）の隙間に生息。（冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒロバネアミメカワゲラ Pseudomegarcys japonicus	*Pseudomegarcys japonica*	源流～上流	強低温表流水	堆積型リターパック内（強冷水性）
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ科の数種	Glossosomatidae gen. spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。

表 378　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 13 ジャガ沢 3/4）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
エグリトビケラ科	ヤマガタトビイロトビケラ	*Nothopsyche yamagataensis*	上流～中流	表流水・湧水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターバックに生息。（強冷水性）
トビケラ科	ムラサキトビケラ	*Eubasilissa regina*	源流～上流	表流水	淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ属	*Diamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の砂礫・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガレユスリカ属	*Rheotanytarsus* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水	平瀬・淵などの緩流部の岩盤・石礫の表面に固着させた筒巣に網を張ってFPOMを濾し取って生活する
ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	源流～上流・枝谷	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ゲンゴロウ科	サワダマメゲンゴロウ	*Platambus sawadai*	源流域の流水河道から隔離されたたまり・高標高の池沼	表流水・湧水	源流域の流水河道から隔離されたたまり。（冷水性）
マルハナノミ科	ケシマルハナノミ属Hydrocyphon属	*Hydrocyphon* sp.	上流～中流・枝谷	表流水	上～中流域の岸際・淵・ワンド・たまりの石礫の隙間や落ちたまりなどに生息
ヒメドロムシ科	キタマルヒメドロムシ属 Heterlimnius属	*Heterlimnius* sp.	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流や細流の淵・たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝などの隙間に生息。
ヒメドロムシ科	Optioservus属	Optioservus sp.	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流や細流の淵・たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝などの隙間に生息。
ヒメドロムシ科	ヒメドロムシ科	Elmidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Yoraperla uenoi*	源流の滝・細流の水際湿岩面	湿岩面・湧水	湿岩面Hygropetric zone に生息する（生息水温範囲：13-15℃以下）
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	Osmylidae sp.	源流～上流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類や落葉落枝中に生息する
カワトビケラ科	タニガワトビケラ属：ミミタニガワトビケラ *Dolophilodes auriculata* ノムギタニガワトビケラ *Dolophilodes nomugiensis* シンボタニガワトビケラ *Dolophilodes sinboensis*　サキブトタニガワトビケラ *Dolophilodes dilatata*　イロタニガワトビケラ *Dolophilodes iroensis*　サキボソタニガワトビケラ　*Dolophilodes angustata* の可能性	*Dolophilodes* sp.	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ	*Eobrachycentrus vernalis*	源流・枝谷・細流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤・石礫・流倒木の蘚類群落に生息する。（冷水性）
カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ属 Eobrachycentrus属	*Eobrachycentrus* sp.	源流・枝谷・細流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤・石礫・流倒木の蘚類群落に生息する。（冷水性）
アミカ科	ユミアシヒメフタマタアミカ	*Philorus vividis*	源流～中流	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘚類群落内に生息
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	タニユスリカ属　*Boreoheptagyia* 属	*Boreoheptagyia* sp.	源流～上流・枝谷の水際	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面や蘚類マットに生息。（冷水性）
ホソカ科	ホソカ属	*Dixa* sp.	源流・細流・湧水の岸際・湿地	表流水・湿岩面・湿地	滝や滴れの湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息
ユスリカバエ科	ユスリカバエ科	Thaumaleidae gen. sp.	源流・細流・湧水の岸際	表流水・湿岩面	滝や滴れの湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息。（冷水性）
ミズミミズ科	ナミミズミミズ属 Nais属	*Nais* sp.	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミズミミズ科	ミズミミズ科	Naididae gen. spp.	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙、ないしは周辺湿地の落葉溜りに生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Nigrocephala group：鰓なし）ムナグロナガレトビケラ，ニッポンナガレトビケラ，シコツナガエトビケラ、カワムラナガレトビケラ、クワムラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Nigrocephala* group)	源流～中流・枝谷・細流（種により異なる）	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。
オビヒメガガンボ科	ダイミョウガガンボ属	*Pedicia* sp.	源流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域・蘚類マット・落葉落枝	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する。（冷水性種を含む）
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ツヤヒメガガンボ属	*Pilaria* sp.	源流～中流・細流	表流水・間隙水	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂底泥の間隙に生息する
ヒメガガンボ科　クモヒメガガンボ亜科	モロフィルス属	*Molophilus* sp.	源流・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂底泥中に生息する
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）

表 379　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 13 ジャガ沢 4/4）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケナガケバネエリユスリカ属	*Paraphaenocladius* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域・湿った土壌中	岸際の湿った土壌や落葉落枝下に生息（半陸生種が多く含まれる）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ナガレツヤユスリカ属	*Rheocricotopus* sp.	源流～上流・枝谷・湖沼	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ヒゲユスリカ属	*Tanytarsus* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンド・たまりなどの砂泥・砂礫・石礫・落葉落枝の間隙筒巣を固着させてFPOMを濾過して生活する
カワトビケラ科	カワトビケラ科　他にコタニガワトビケラ属 Chimarraトゲタニガワトビケラ属 Kisauraの可能性あり	Philopotamidae gen. sp.	種により異なる	湿岩面・表流水・間隙水域	種により異なる
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
エグリトビケラ科	エグリトビケラ科	Limnephilidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
アミカ科	フタマタアミカ属（成虫を含む）	*Philorus* sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
アミカ科	アミカ科	Blephariceridae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ツヤユスリカ属（本属は種によって山地渓流から大河川や湖沼などに分布する。間隙水域に生息する種が多いが、Nostococladius亜属には湿岩面の蘚類マット内に生息する種もある）	*Cricotopus* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・湿岩面・蘚類マット・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の石礫方面に生息種、砂礫・植物の根の隙間に生息する種、砂州内河床間隙水域に生息する種、蘚類マット内に生息する種など色々
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
オドリバエ科	オドリバエ科（成虫を含む）	Empididae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

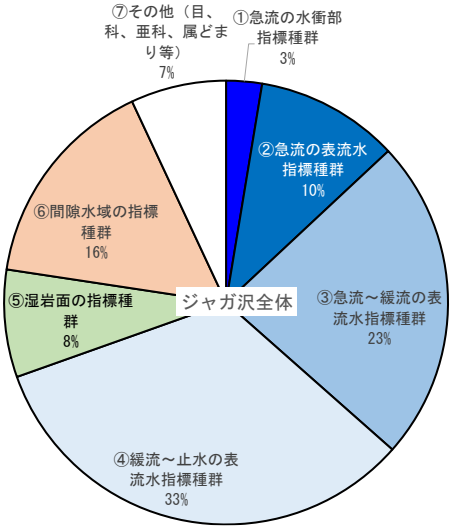


図 408　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 13 ジャガ沢）

表 380　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 14 流沢 1/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
希少種保護のため非公開					
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	源流～中流	表流水・急流	小滝・早瀬の巨石や石の流速の速い石表面
アミメシマトビケラ科　Arctops	アミメシマトビケラ属 Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷・細流	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミカ科	（コマドアミカ属（ヤマトアミカ属））	*Agathon* sp.	源流～上流・枝谷	表流水・急流	滝や早瀬の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する
アミカ科	ナミアミカ属（ニホンアミカ属）（成虫を含む）	*Blepharicera* sp.	源流～上流・枝谷	表流水・急流	早瀬や平瀬の岩盤・石礫・流木の表面に生息する（緩流部にも生息する）（種によって高温耐性あり）
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石砂利などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sacharinensis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	トゲマダラカゲロウ属 Drunella属	*Drunella* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ナミヒラタカゲロウ	*Epeorus ikanonis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（ユミモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.0℃-最低温度12.4℃（平均16.7℃））
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ亜科	Acroneuriinae sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	源流～上流	強低温表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性：卵の最適生息温度：8℃）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒメアミメカワゲラ属 Skwala属	*Skwala* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
シマトビケラ科 Hydropsychidae	コガタシマトビケラ属	*Cheumatopsyche sp.*	中流～下流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの側面や下面に造巣する。（種ごとに高温耐性あり）
シマトビケラ科 Hydropsychidae	ミヤマシマトビケラ属 Diplectrona属	*Diplectrona* sp.	源流の最上流域	間隙水域	細流の砂利石礫底の下の間隙中に営巣する
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シマトビケラ属の1種	*Hydropsyche* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。（高温耐性あり）
ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する。（雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃、耐酸性が強い（pH2-3台でも生息可））
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：腮あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ヒロアタマナガレトビケラ	*Rhyacophila brevicephala*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Clemens group：腮なし）クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Clemens* group）	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Sibirica group）トランスクィラナガレトビケラ，キソナガレトビケラ，Sibirica group-sp.1，Sibirica group-sp.2，*R. hattorii*，*R. kobayashii*	*Rhyacophila* sp.（*Sibirica* group）	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。

表 381　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 14 流沢 2/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
三岐腸目	―	Tricladida fem. gen. spp.	種により異なる	表流水（種によって高温耐性あり）	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
トビイロカゲロウ科	トビイロカゲロウ属 Paraleptophlebia属	*Paraleptophlebia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
マダラカゲロウ科	マダラカゲロウ属 Ephemerella属	*Ephemerella* sp.	種により異なる	表流水・抽水植物	平瀬・淵やワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表層・隙間に生息。
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	フタバカゲロウ属	*Cloeon* sp.	池沼・中流～下流	表流水	平地の池沼や水たまりに生息するが河川敷に恒常的な止水域があれば分布する（高温耐性あり）
ヒラタカゲロウ科	クロタニガワカゲロウ	*Ecdyonurus tobiironis*	上流・枝谷・細流下部	表流水	淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	キハダヒラタカゲロウ属	*Heptagenia* sp.	*H.kihada*なら源流・小枝谷・細流上部、*H.kuyotoensis*なら源流下部～上流・枝谷・細流下部	表流水	H.kihadaなら淵やワンドの石礫・落葉落枝などの表層・隙間に生息。H.kuyotoensisなら淵やワンドの岩盤・巨石・石礫などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒメヒラタカゲロウ属　（成虫を含む）	*Rhithrogena* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒメカワゲラ属	*Stavsolus* sp.	種により異なるものの低標高域の上流から中下流域	表流水・湧水	生息条件が種によって異なる
アミメカワゲラ科　クサカワゲラ亜科	クサカワゲラ属 Isoperla属	*Isoperla* sp.	種により異なる	表流水	生息条件が種によって異なる
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
イワトビケラ科	イワトビケラ科	Polycentropodidae gen. sp.	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
コエグリトビケラ科	コエグリトビケラ属の数種	*Apatania* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
ニンギョウトビケラ科	クロニンギョウトビケラ	*Goera nigrosoma*	上流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
マルバネトビケラ科	Phryganopsyche属	*Phryganopsyche* sp.	源流・枝谷・細流・池沼・湿地	表流水	淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ属	*Diamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の砂礫・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ナガレアブ科	コモンナガレアブ	*Atrichops morimotoi*	源流～中流	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ゲンゴロウ科	モンキマメゲンゴロウ	*Platambus pictipennis*	中流～下流のワンドやたまり	表流水	中下流域のワンドやたまり。（高温耐性あり）
ゲンゴロウ科	サワダマメゲンゴロウ	*Platambus sawadai*	源流域の流水河道から隔離されたたまり・高標高の池沼	表流水・湧水	源流域の流水河道から隔離されたたまり。（冷水性）
ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ科	Dytiscidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
マルハナノミ科	ケシマルハナノミ属Hydrocyphon属	*Hydrocyphon* sp.	上流～中流・枝谷	表流水	上～中流域の岸際・淵・ワンド・たまりの石礫の隙間や落ちたまりなどに生息
マルハナノミ科	マルハナノミ科	Scirtidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヒメドロムシ科	キタマルヒメドロムシ属 Heterlimnius属	*Heterlimnius* sp.	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流や細流の淵・たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝などの隙間に生息。
ヒメドロムシ科	ヒメドロムシ科	Elmidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Yoraperla uenoi*	源流の滝・細流の水際湿岩面	湿岩面・湧水	湿岩面Hygropetric zone に生息する（生息水温範囲：13-15℃以下）
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	Osmylidae sp.	源流～上流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類や落葉落枝中に生息する
ヒメトビケラ科	Stactobia属の数種	*Stactobia* spp.	源流～上流の水際・枝谷・細流の下垂れ	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類群落中に生息する
カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ	*Eobrachycentrus vernalis*	源流・枝谷・細流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤・石礫・流倒木の蘚類群落に生息する。（冷水性）
カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ属 Eobrachycentrus属	*Eobrachycentrus* sp.	源流・枝谷・細流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤・石礫・流倒木の蘚類群落に生息する。（冷水性）

表 382　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 14 流沢 3/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
アミカ科	ヒゲブトオオフタマタアミカ（フタマタアミカ属）	*Philorus kibunensis*	源流～上流・枝谷	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘚類群落内に生息（冷水性）
チョウバエ科	ナガレチョウバエ属	*Pericoma* sp.	源流～上流・枝谷の水際	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘚類群落内に生息
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	タニユスリカ属　*Boreoheptagyia* 属	*Boreoheptagyia* sp.	源流～上流・枝谷の水際	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面や蘚類マットに生息。（冷水性）
ホソカ科	ホソカ科	Dixidae sp.	源流・細流・湧水の岸際・湿地	表流水・湿岩面・湿地	滝や滴れの湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息
ミズミミズ科	ミズミミズ科	Naididae gen. spp.	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙、ないしは周辺湿地の落葉溜りに生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科（成虫を含む）	Leuctridae sp.	上流～中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Nigrocephala group：鰓なし）ムナグロナガレトビケラ，ニッポンナガレトビケラ，シコツナガエトビケラ、カワムラナガレトビケラ、クワムラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Nigrocephala* group)	源流～中流・枝谷・細流（種により異なる）	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ヌカカ科	ヌカカ科（成虫を含む）	Ceratopogonidae sp.	種により異なる	表流水・間隙水	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	ウスギヌヒメユスリカ属	*Rheopelopia* sp.	上流～下流・湖沼	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	サワユスリカ属	*Potthastia* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセトゲアシエリユスリカ属	*Parachaetocladius* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの岸際や砂州上の河床間隙に生息する種や抽水植物や沈水植物の根系に生息する種が知られている。（冷水性）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ヒゲユスリカ属	*Tanytarsus* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンド・たまりなどの砂泥・砂礫・石礫・落葉落枝の間隙筒巣を固着させてFPOMを濾過して生活する
カワトビケラ科	カワトビケラ科　他にコタニガワトビケラ属 Chimarraトゲタニガワトビケラ属 Kisauraの可能性あり	Philopotamidae gen. sp.	種により異なる	湿岩面・表流水・間隙水域	種により異なる
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
エグリトビケラ科	エグリトビケラ科	Limnephilidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヒメガガンボ科	ヒメガガンボ科（成虫を含む）	Limoniidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
アミカ科	フタマタアミカ属（成虫を含む）	*Philorus* sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ亜科	Diamesinae gen. spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ツヤユスリカ属（本属は種によって山地渓流から大河川や湖沼などに分布する。間隙水域に生息する種が多いが、Nostococladius亜属には湿岩面の蘚類マット内に生息する種もある）	*Cricotopus* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・湿岩面・蘚類マット・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の石礫方面に生息種、砂礫・植物の根の隙間に生息する種、砂州内河床間隙水域に生息する種、蘚類マット内に生息する種など色々
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ亜科		種により異なる	種により異なる	種により異なる
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

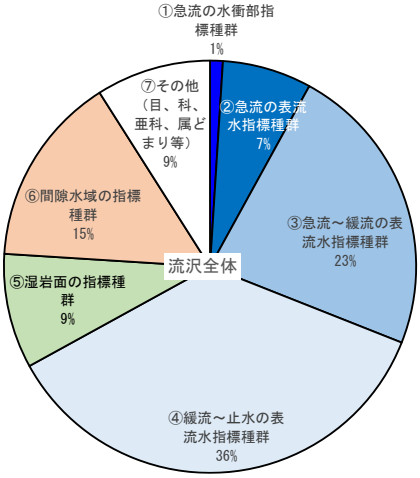


図 409　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 14 流沢）

表 383　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 15 二軒小屋南西の沢）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
三岐腸目	―	Tricladida fem. gen. spp.	種により異なる	表流水(種によって高温耐性あり)	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
ハリガネムシ科	ハリガネムシ科	Gordiidae gen. spp.	全流程	表流水	淵やワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
アミカ科	ヒゲブトオオフタマタアミカ（フタマタアミカ属）	*Philorus kibunensis*	源流～上流・枝谷	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘚類群落内に生息（冷水性）
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ミズアブ科	オキシケラ属	*Oxycera* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湿地	リターパック・土壌	淵、ワンド、周辺湿地の落葉溜り・朽木など有機物の多い土壌中に生息。
アミカ科	フタマタアミカ属（成虫を含む）	*Philorus* sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）

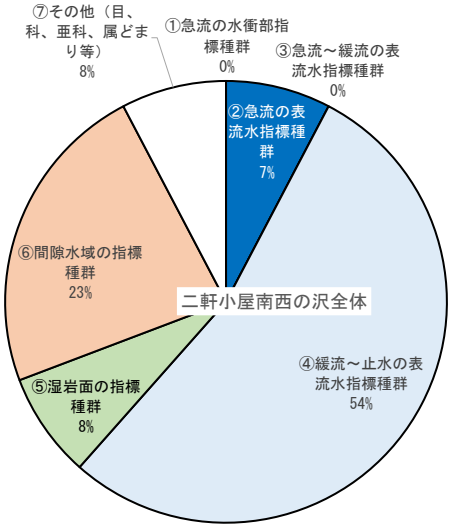


図 410　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 15 二軒小屋南西の沢）

表 384　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 16 上スリバチ沢 1/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤトビケラ	*Parapsyche maculata*	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する。（雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃、耐酸性が強い（pH2-3台でも生息可））
サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	*Dugesia japonica*	源流～上流・細流の枝谷	表流水・低温湧水	湧水などの冷水温環境に生息する。（生息水温範囲：10.2-20.0℃）
サンカクアタマウズムシ科	サンカクアタマウズムシ科	Dugesiidae gen. spp.	種により異なる（ナミウズムシであれば源流～上流・細流の枝谷）	表流水(種によって高温耐性あり)	種により異なる（水温適応も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
三岐腸目	―	Tricladida fem. gen. spp.	種により異なる	表流水(種によって高温耐性あり)	種により異なる（水温適応も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
ガガンボカゲロウ科	ガガンボカゲロウ　（南アルプスの遺伝的固有性指標種）	*Dipteromimus flavipterus*	源流・小枝谷・細流	表流水・湧水	源流や細流の淵・たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	クロタニガワカゲロウ	*Ecdyonurus tobiironis*	上流・枝谷・細流下部	表流水	淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
アミメカワゲラ科　クサカワゲラ亜科	クサカワゲラ属 Isoperla属	*Isoperla* sp.	種により異なる	表流水	生息条件が種によって異なる
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
イワトビケラ科	ミヤマイワトビケラ属: オンダケミヤマイワトビケラ *Plectrocnemia ondakeana*	*Plectrocnemia* sp.	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。
カクツツトビケラ科	オオカクツツトビケラ	*Lepidostoma crassicorne*	源流・枝谷・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ属	*Diamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセエリユスリカ属	*Pseudorthocladius* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	表流水・蘚類マット・湿岩面・間隙水域	平瀬、淵、ワンドなどの砂礫・蘚類・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。（冷水性）
マルハナノミ科	クロマルハナノミ属　Odeles属	*Odeles* sp.	上流～中流・枝谷	表流水	上～中流域の岸際・淵・ワンド・たまりの落ちたまりなどに生息
マルハナノミ科	マルハナノミ科	Scirtidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヒメドロムシ科	キタマルヒメドロムシ属 Heterlimnius属	*Heterlimnius* sp.	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流や細流の淵・たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝などの隙間に生息。
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	Osmylidae sp.	源流～上流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類や落葉落枝中に生息する
カワトビケラ科	ヒメタニガワトビケラ属 ： ナガノタニガワトビケラ Wormaldia kisoensis ウオヌマタニガワトビケラ *Wormaldia uonumana*　フジノタニガワトビケラ *Wormaldia fujinoensis* 他の可能性	*Wormaldia* sp.	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Ulmeri group）クラマナガレトビケラ，ミジカオナガレトビケラ，	*Rhyacophila* sp.（*Ulmeri* group）	源流～上流・枝谷・細流	湿岩面	小滝・早瀬・平瀬・下垂れの岩盤や巨石の湿岩面Hygropetric zoneの表層や蘚類群落内に生息する
ホソカ科	ホソカ科	Dixidae sp.	源流・細流・湧水の岸際・湿地	表流水・湿岩面・湿地	滝や滴れの湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息
ミズミミズ科	ナミミズミミズ属 Nais属	*Nais* sp.	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミズミミズ科	ミズミミズ科	Naididae gen. spp.	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙、ないしは周辺湿地の落葉溜りに生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科（成虫を含む）	Leuctridae sp.	上流～中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
オビヒメガガンボ科	ダイミョウガガンボ属	*Pedicia* sp.	源流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域・蘚類マット・落葉落枝	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する。（冷水性種を含む）

表 385　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 16 上スリバチ沢 2/2）

科名	亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科		ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・藓類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ガガンボ科		ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ヌカカ科		ヌカカ科（成虫を含む）	Ceratopogonidae sp.	種により異なる	表流水・間隙水	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科		ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　ユスリカ亜科		ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科		ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　ユスリカ亜科		ヒゲユスリカ属	*Tanytarsus* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンド・たまりなどの砂泥・砂礫・石礫・落葉落枝の間隙筒巣を固着させてFPOMを濾過して生活する
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	モンユスリカ亜科		Tanypodinae gen. spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
ガムシ科		ガムシ科	Hydrophilidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

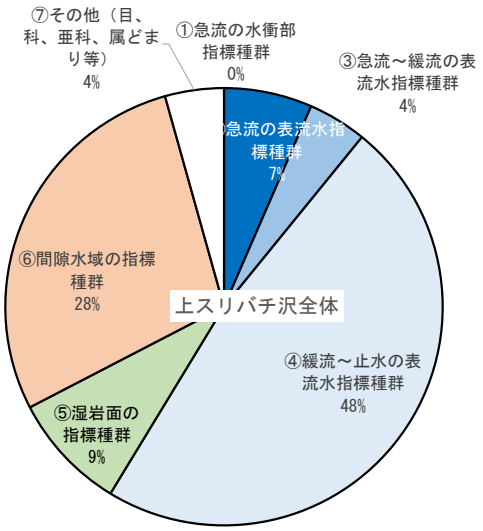


図 411　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 16 上スリバチ沢）

表 386　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 17 スリバチ沢 1/4）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヒラタカゲロウ科	オナガヒラタカゲロウ	*Epeorus hiemalis*	源流～上流	急流・湿岩面	小滝や早瀬の落差のある滝を流れ落ちる岩面の剥離流の裏側部分に生息する（オナガヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度17.7℃-最低温度12.7℃（平均14.5℃）））
ヒラタカゲロウ科	イワヒラタカゲロウ	*Epeorus cumulus*	源流～上流	急流・湿岩面	小滝や早瀬の落差のある滝を流れ落ちる岩面に生息する
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	源流～中流	表流水・急流	小滝・早瀬の巨石や石の流速の速い石表面
アミメシマトビケラ科　Arctops	アミメシマトビケラ属 Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷・細流	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミカ科	（コマドアミカ属（ヤマトアミカ属））	*Agathon* sp.	源流～上流・枝谷	表流水・急流	滝や早瀬の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する
アミカ科	ナミアミカ属（ニホンアミカ属）（成虫を含む）	*Blepharicera* sp.	源流～上流・枝谷	表流水・急流	早瀬や平瀬の岩盤・石礫・流木の表面に生息する（緩流部にも生息する）（種によって高温耐性あり）
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石砂利などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sacharinensis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	ミツトゲマダラカゲロウ	*Drunella trispina*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	トゲマダラカゲロウ属 Drunella属	*Drunella* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
コカゲロウ科	Fコカゲロウ	*Baetis* sp.F	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（ユミモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.0℃-最低温度12.4℃（平均16.7℃））
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	源流～上流	強低温表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性：卵の最適生息温度：8℃）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
シマトビケラ科 Hydropsychidae	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する。（比較的高温耐性あり）
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シマトビケラ属の1種	*Hydropsyche* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シマトビケラ科	Hydropsychidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い簡巣を固着させて生息。（高温耐性あり）
ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する。（雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃、耐酸性が強い（pH2-3台でも生息可））
ナガレトビケラ科	トワダナガレトビケラ	*Rhyacophila towadensis*	源流～上流・枝谷・細流（細流中心）	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Clemens group：鰓なし）クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Clemens* group）	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	タシタナガレトビケラ（Lieftinki group）	*Rhyacophila impar*（*Lieftinki* group）	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Lieftinki group）タシタナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Lieftinki* group）= R. impar	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Kaltatica group）	*Rhyacophila sp.（Kaltatica group）*	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Sibirica group）トランスクィラナガレトビケラ，キソナガレトビケラ，Sibirica group-sp.1，Sibirica group-sp.2，*R. hattorii*，*R. kobayashii*	*Rhyacophila* sp.（*Sibirica* group）	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ブユ科	オオブユ属（成虫を含む）	*Prosimulium* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中に生息し、石礫・抽水植物・流倒木・落葉落枝などの表面に付着生活する

表 387　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 17 スリバチ沢 2/4）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	*Dugesia japonica*	源流～上流・細流の枝谷	表流水・低温湧水	湧水などの冷水温環境に生息する。（生息水温範囲：10.2-20.0℃）
ヒラタウズムシ科	キタカズメウズムシ属 カズメウズムシ	*Seidlia auriculata*	源流の最上流域・枝谷の細流	表流水・極低温湧水	極低水温の湧水中落ち葉だまりや湿地に生息する（水温上限13℃-10℃　適温10℃-8℃以下）
三岐腸目	－	Tricladida fem. gen. spp.	種により異なる	表流水(種によって高温耐性あり)	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
ハリガネムシ科	ハリガネムシ科	Gordiidae gen. spp.	全流程	表流水	淵やワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
トビイロカゲロウ科	トビイロカゲロウ属 Paraleptophlebia属	*Paraleptophlebia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*	上流～中流	表流水・リターパック	淵やワンドの石礫・砂利・砂底・流倒木の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）などの隙間に生息。
マダラカゲロウ科	トウヨウマダラカゲロウ属 Cincticostella属	*Cincticostella* sp.	上流～中流	表流水	淵やワンドの石礫・砂利・砂底・流倒木の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）などの隙間に生息。
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	タニガワカゲロウ属 Ecdyonurus属	*Ecdyonurus* sp.	源流～中流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	エルモンヒラタカゲロウ or マツムラヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium or E. l-nigrus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。（エルモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.6℃-最低温度12.4℃（平均17.0℃））
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
トワダカワゲラ科	ミネトワダカワゲラ （南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Scopura montana*	源流の最上流・枝谷の細流	表流水・極低温湧水	源流や細流の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表層や間隙に生息。幼虫期間は 4年、食性：落ち葉、コケ、微小な水生昆虫など（水温上限14℃-4℃　適温10℃以下）
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	種により異なる	表流水・リターパック	淵・ワンド・たまりなどの止水域の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）ないし緩流域のダム型リターパック（落葉落枝の塊）の隙間に生息。（冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒロバネアミメカワゲラ Pseudomegarcys japonicus	*Pseudomegarcys japonica*	源流～上流	強低温表流水	堆積型リターパック内（強冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	コグサヒメカワゲラ属	*Ostrovus* sp.	源流から中流・枝谷・細流（高標高の渓流に生息する種や低標高の丘陵に生息する種がいる）	表流水	生息条件が種によって異なる
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
イワトビケラ科	ミヤマイワトビケラ属：オンダケミヤマイワトビケラ *Plectrocnemia ondakeana*	*Plectrocnemia* sp.	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。
イワトビケラ科	イワトビケラ科	Polycentropodidae gen. sp.	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクスイトビケラ科	カクスイトビケラ属 Brachycentrus属	*Brachycentrus* sp.	源流・枝谷・細流	表流水	蘚類の携巣型で滝・早瀬・平瀬・淵・湧水の岩盤・石礫の蘚類植物体・水生生物植物体・抽水植物体にへばり付いて生活する。（冷水性）
カクスイトビケラ科	ハナセマルツツトビケラ	*Micrasema hanasense*	源流～上流・枝谷の岸際	表流水・蘚類マット・湿岩面	蘚類の携巣型で滝・早瀬・平瀬・淵・湧水の岩盤・石礫・流倒木の蘚類にしがみ付いて生活する。（冷水性）
ニンギョウトビケラ科	クロニンギョウトビケラ	*Goera nigrosoma*	上流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクツツトビケラ科	オオカクツツトビケラ	*Lepidostoma crassicorne*	源流・枝谷・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。

表 388　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 17 スリバチ沢 3/4）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
トビケラ科	ムラサキトビケラ	*Eubasilissa regina*	源流～上流	表流水	淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。
マルバネトビケラ科	Phryganopsyche属	*Phryganopsyche* sp.	源流・枝谷・細流・池沼・湿地	表流水	淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ケブカユスリカ亜科	キタケブカユスリカ属	*Boreochlus* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	表流水・蘚類マット	平瀬、淵、ワンドなどの砂礫・蘚類・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。（冷水性）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ属	*Diamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の砂礫・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケバネエリユスリカ属	*Metriocnemus* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	表流水・蘚類マット	平瀬、淵、ワンドなどの砂礫・蘚類・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセエリユスリカ属	*Pseudorthocladius* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	表流水・蘚類マット・湿岩面・間隙水域	平瀬、淵、ワンドなどの砂礫・蘚類・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。（冷水性）
ナガレアブ科	ハマダラナガレアブ	*Atherix ibis japonica*	上流～中流	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ゲンゴロウ科	サワダマメゲンゴロウ	*Platambus sawadai*	源流域の流水河道から隔離されたたまり・高標高の池沼	表流水・湧水	源流域の流水河道から隔離されたたまり。（冷水性）
ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ科	Dytiscidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
マルハナノミ科	クロマルハナノミ属　Odeles属	*Odeles* sp.	上流～中流・枝谷	表流水	上～中流域の岸際・淵・ワンド・たまりの落ちたまりなどに生息
マルハナノミ科	マルハナノミ科	Scirtidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヒメドロムシ科	スネアカヒメドロムシ	*Heterlimnius variabilis*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流や細流の淵・たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝などの隙間に生息。（冷水性）
ヒメドロムシ科	キタマルヒメドロムシ属 Heterlimnius属	*Heterlimnius* sp.	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流や細流の淵・たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝などの隙間に生息。
ヒメドロムシ科	ヒメツヤドロムシ属	*Zaitzeviaria* sp.	源流・枝谷・細流	表流水	源流や細流の淵・たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝などの隙間に生息。
ヒメドロムシ科	ヒメドロムシ科	Elmidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Yoraperla uenoi*	源流の滝・細流の水際湿岩面	湿岩面・湧水	湿岩面Hygropetric zone に生息する（生息水温範囲：13-15℃以下）
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	Osmylidae sp.	源流～上流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類や落葉落枝中に生息する
カワトビケラ科	タニガワトビケラ属：ミミタニガワトビケラ *Dolophilodes auriculata* ノムギタニガワトビケラ *Dolophilodes nomugiensis* シンボタニガワトビケラ *Dolophilodes sinboensis*　サキブトタニガワトビケラ *Dolophilodes dilatata*　イロタニガワトビケラ *Dolophilodes iroensis*　サキボソタニガワトビケラ　*Dolophilodes angustata* の可能性	*Dolophilodes* sp.	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
ヒメトビケラ科	Stactobia属の数種	*Stactobia* spp.	源流～上流の水際・枝谷・細流の下垂れ	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類群落中に生息する
カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ	*Eobrachycentrus vernalis*	源流・枝谷・細流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤・石礫・流倒木の蘚類群落に生息する。（冷水性）
チョウバエ科	ナガレチョウバエ属	*Pericoma* sp.	源流～上流・枝谷の水際	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘚類群落内に生息
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	タニユスリカ属　*Boreoheptagyia* 属	*Boreoheptagyia* sp.	源流～上流・枝谷の水際	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面や蘚類マットに生息。（冷水性）
ホソカ科	マダラホソカ	*Dixa longistyla*	源流～中流・枝谷・細流・湧水の岸際・湿地	表流水・湿岩面・湿地	淵や平瀬の湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息
ホソカ科	ホソカ属	*Dixa* sp.	源流・細流・湧水の岸際・湿地	表流水・湿岩面・湿地	滝や滴れの湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息
ヒメミミズ科	ヒメミミズ科	Enchytraeidae gen. sp.	全流程	間隙水域・リターパック	淵、ワンド、周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
ミズミミズ科	ナミミズミミズ属 Nais属	*Nais* sp.	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミズミミズ科	ミズミミズ科	Naididae gen. spp.	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙、ないしは周辺湿地の落葉溜りに生息。
フトミミズ科	フトミミズ科	Megascolecidae gen. spp.	全流程	間隙水域・リターパック	周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
ツリミミズ目	―	Lumbricida fam. gen. spp.	全流程	間隙水域・リターパック	周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ナガレトビケラ科	シコツナガレトビケラ	*Rhyacophila shikotsuensis*	上流～中流・枝谷・細流	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。

表 389　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 17 スリバチ沢 4/4）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Nigrocephala group：鰓なし）ムナグロナガレトビケラ，ニッポンナガレトビケラ，シコツナガエトビケラ、カワムラナガレトビケラ、クワムラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Nigrocephala* group）	源流～中流・枝谷・細流（種により異なる）	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。
オビヒメガガンボ科	ダイミョウガガンボ属	*Pedicia* sp.	源流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域・蘚類マット・落葉落枝	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する。（冷水性種を含む）
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	カスリヒメガガンボ属	*Limnophila* sp.	源流～中流・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥・石礫・蘚類マットの間隙に潜行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ツヤヒメガガンボ属	*Pilaria* sp.	源流～中流・細流	表流水・間隙水	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂底泥の間隙に生息する
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ヌカカ科	ヌカカ科（成虫を含む）	Ceratopogonidae sp.	種により異なる	表流水・間隙水	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	ボカシヌマユスリカ属	*Macropelopia* sp.	源流・細流・湧水・湿地・湖沼	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	コナユスリカ属	*Corynoneura* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	間隙水域	緩流中の砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ホソケブカエリユスリカ属	*Neobrillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	朽木掘潜	水中に没した朽木や落葉落枝に穿入する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ナガレツヤユスリカ属	*Rheocricotopus* sp.	源流～上流・枝谷・湖沼	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ヌカユスリカ属	*Thienemanniella* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
吻無蛭目	－	Arhynchobdellida fam. gen. spp.	全流程	種により異なる	種により異なる
カワトビケラ科	カワトビケラ科　他にコタニガワトビケラ属 Chimarraトゲタニガワトビケラ属 Kisauraの可能性あり	Philopotamidae gen. sp.	種により異なる	湿岩面・表流水・間隙水域	種により異なる
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
エグリトビケラ科	エグリトビケラ科	Limnephilidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	クチバシガガンボ属	*Helius* sp.	森林内の湿潤な土壌中、腐朽材、子嚢菌類体に生息	陸生	森林や草地の湿潤な土壌中や腐朽材中に生息
ユスリカ科　モンユスリカ亜科　モンユスリカ亜科		Tanypodinae gen. spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

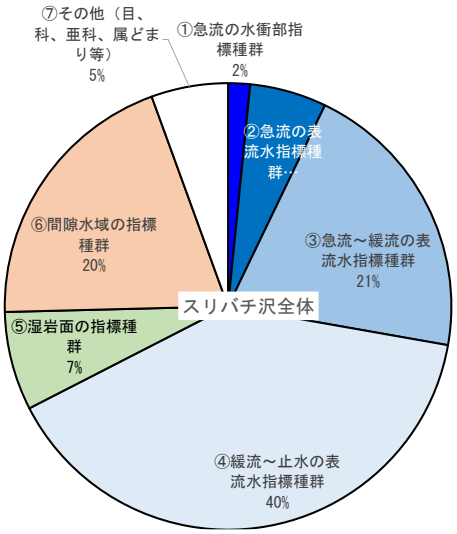


図 412　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 17 スリバチ沢）

表 390　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 18 車屋沢 1/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヒラタカゲロウ科	オナガヒラタカゲロウ	*Epeorus hiemalis*	源流～上流	急流・湿岩面	小滝や早瀬の落差のある滝を流れ落ちる岩面の剥離流の裏側部分に生息する（オナガヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度17.7℃-最低温度12.7℃（平均14.5℃））
希少種保護のため非公開					
アミカ科	ヤマトクチナガアミカ	*Apistomyia uenoi*	源流～上流・枝谷	急流水衝部	滝の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	源流～中流	表流水・急流	小滝・早瀬の巨石や石の流速の速い石表面
アミメシマトビケラ科　Arctops	アミメシマトビケラ属 Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷・細流	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤトビケラ	*Parapsyche maculata*	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミカ科	オオメナミアミカ（ナミアミカ属（ニホンアミカ属）　）	*Blepharicera esakii*	上流～中流	表流水・急流	早瀬や平瀬の岩盤・石礫・流木の表面に生息する（韓流部にも生息する）
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（ユミモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.0℃-最低温度12.4℃（平均16.7℃））
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ or イワヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus or E. cumulus*	上流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒメアミメカワゲラ属 Skwala属	*Skwala* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
シマトビケラ科 Hydropsychidae	オオヤマシマトビケラ	*Hydropsyche dilatata*	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シマトビケラ属の1種	*Hydropsyche* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。（高温耐性あり）
ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する。（雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃、耐酸性が強い（pH2-3台でも生息可））
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ニワナガレトビケラ	Rhyacophila niwae	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	クレメンスナガレトビケラ	Rhyacophila clemens	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	RCナガレトビケラ	Rhyacophila sp. RC	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
オドリバエ科	カマオドリバエ属	*Chelifera* sp.	源流～上流・枝谷	成虫：流水面上空、幼虫：水生	幼虫は水生で瀬の石礫底の藚類の中や岸際の湿潤域に生息すると推定される、成虫は瀬淵の水面上で採餌・配偶をする。
サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	*Dugesia japonica*	源流～上流・細流の枝谷	表流水・低温湧水	湧水などの冷水温環境に生息する。（生息水温範囲：10.2-20.0℃）
三岐腸目	―	Tricladida fem. gen. spp.	種により異なる	表流水・緩流止水（種によって高温耐性あり）	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
ハリガネムシ科	ハリガネムシ属	*Gordius* sp.	種により異なる（全流程の可能性あり）	表流水・緩流止水	淵やワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
ダニ目	ヒヤミズダニ科	Hydrovolziidae gen. spp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・極低温湧水	極低水温の細流・湧水中に生息する

表 391　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 18 車屋沢 2/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*	上流～中流	表流水・リターパック	淵やワンドの石礫・砂利・砂底・流倒木の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）などの隙間に生息。
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ	*Ameletus montanus montanus*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus 属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	クロタニガワカゲロウ	*Ecdyonurus tobiironis*	上流・枝谷・細流下部	表流水	淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	タニガワカゲロウ属 Ecdyonurus 属	*Ecdyonurus* sp.	源流～中流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒメヒラタカゲロウ属　（成虫を含む）	*Rhithrogena* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	種により異なる	表流水・リターパック	淵・ワンド・たまりなどの止水域の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）ないし緩流域のダム型リターパック（落葉落枝の塊）の隙間に生息。（冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒロバネアミメカワゲラ Pseudomegarcys japonicus	*Pseudomegarcys japonica*	源流～上流	強低温表流水	堆積型リターパック内（強冷水性）
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
ニンギョウトビケラ科	クロニンギョウトビケラ	*Goera nigrosoma*	上流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ属	*Diamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の砂礫・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ブユ科	ツノマユブユ属	*Eusimulium* sp.	源流・細流・湧水	表流水	細流中や小規模な湧水流路に生息し、礫やツルヨシ，流木，小枝，落ち葉などに付着生活する
マルハナノミ科	クロマルハナノミ属　Odeles属	*Odeles* sp.	上流～中流・枝谷	表流水	種により異なる
ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Yoraperla uenoi*	源流の滝・細流の水際湿岩面	湿岩面・湧水	湿岩面Hygropetric zone に生息する（生息水温範囲：13-15℃以下）
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	ブライヤーヒロバカゲロウ	*Osmylus pryeri*	源流～上流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類や落葉落枝中に生息する
カワトビケラ科	ヒメタニガワトビケラ属：ナガノタニガワトビケラ Wormaldia kisoensis ウオヌマタニガワトビケラ *Wormaldia uonumana*　フジノタニガワトビケラ *Wormaldia fujinoensis* 他の可能性	*Wormaldia* sp.	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
ヒメトビケラ科	カクヒメトビケラ属	*Stactobia* spp.	源流～上流の水際・枝谷・細流の下垂れ	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類群落中に生息する
ナガレトビケラ科	クラマナガレトビケラ	Rhyacophila kuramana	源流～上流・枝谷・細流	湿岩面	小滝・早瀬・平瀬・下垂れの岩盤や巨石の湿岩面Hygropetric zoneの表層や蘚類群落内に生息する
カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ	*Eobrachycentrus vernalis*	源流・枝谷・細流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤・石礫・流倒木の蘚類群落に生息する。（冷水性）
アミカ科	ヒゲブトオオフタマタアミカ（フタマタアミカ属）	*Philorus kibunensis*	源流～上流・枝谷	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘚類群落内に生息（冷水性）
アミカ科	アシボソヒメフタマタアミカ（フタマタアミカ属）	*Philorus longirostris*	源流～上流・枝谷	湿岩面（飛沫帯）	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘚類群落内に生息（冷水性）
アミカ科	ユミアシヒメフタマタアミカ	*Philorus vividis*	源流～中流	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘚類群落内に生息
チョウバエ科	ナガレチョウバエ属	*Pericoma* sp.	源流～上流・枝谷の水際	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘚類群落内に生息

表 392　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 18 車屋沢 3/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ホソカ科	マダラホソカ	*Dixa longistyla*	源流～中流・枝谷・細流・湧水の岸際・湿地	表流水・湿岩面・湿地	淵や平瀬の湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息
ホソカ科	クロホソカ	*Dixa yamatona*	源流・細流・湧水の岸際・湿地	表流水・湿岩面・湿地	滝や滴れの湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息
オドリバエ科	ナミシブキバエ属	*Clinocera* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	表流水・湿岩面・蘚類マット	淵や平瀬岸際の石礫や蘚類の隙間に生息
ナガミミズ科	ナガミミズ科	Haplotaxidae sp.	種により異なる（陸生・湿地生・河川間隙生の種が含まれる）	陸域土壌・間隙水域	陸上土壌中、湿地底泥中、淵、ワンドの落葉溜りや河床間隙に生息。
ミズミミズ科	ナミミズミミズ属 Nais属	*Nais* sp.	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ツリミミズ科	ツリミミズ科	Lumbricidae gen. spp.	全流程	間隙水域・リターパック	淵、ワンド、周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科（成虫を含む）	Leuctridae sp.	上流～中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	セスジミドリカワゲラ属 Sweltsa属	*Sweltsa* spp.	中流～下流（流程を問わず平地流）	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ナガレトビケラ科	シコツナガレトビケラ	*Rhyacophila shikotsuensis*	上流～中流・枝谷・細流	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。
オビヒメガガンボ科	ダイミョウガガンボ属	*Pedicia* sp.	源流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域・蘚類マット・落葉落枝	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する。（冷水性種を含む）
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ナミヒメガガンボ属	*Dicranomyia* sp.	源流・上流・細流・湧水・岸際・湿地	流倒木・落葉落枝・間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際の落葉落枝や流倒木の隙間に生息する
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	カスリヒメガガンボ属	*Limnophila* sp.	源流～中流・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥・石礫・蘚類マットの間隙に潜行し水生動物を捕食する
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ガガンボ科	ノコヒゲガガンボ属	Prionocera sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	細流・湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	コナユスリカ属	*Corynoneura* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	間隙水域	緩流中の砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	トクナガエリユスリカ属	*Tokunagaia* sp.	源流～上流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
トビケラ目（毛翅目）	―	Tricoptera fam. gen. spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
ガガンボ科	ガガンボ科	Tipulidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
アミカ科	フタマタアミカ属（成虫を含む）	*Philorus* sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
ミギワバエ科	ミギワバエ科	Ephydridae sp.	種により異なる	種により異なる	平瀬・淵の岸際・砂州内や湧水・湿地の砂礫泥中に生息し表層の藻類を摂餌する
クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae gen. spp.	森林・草地・湿地の湿潤な土壌中、ないしは腐朽材に生息	幼虫：陸生・渓流岸際の湿潤域	幼虫は森林・草地・湿地の湿潤な土壌中、ないしは腐朽材に生息。一部の種は山地渓流の岸際土壌中や腐朽材中に生息する。

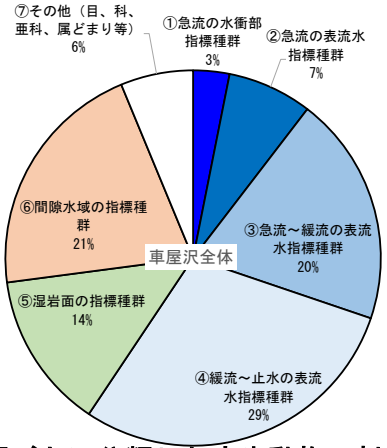


図 413　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 18 車屋沢）

表 393　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 19 燕沢 1/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	トゲマダラカゲロウ属 Drunella 属	*Drunella* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ or イワヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus or E. cumulus*	上流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ亜科	Acroneuriinae sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒメアミメカワゲラ属 Skwala属	*Skwala* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
シマトビケラ科 Hydropsychidae	DAミヤマシマトビケラ Diplectrona sp.DA	*Diplectrona* sp. DA	源流の最上流域	間隙水域	細流の砂利石礫底の下の間隙中に営巣する
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Acropedes* group)	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Anatina group）フタタマオナガレトビケラ，ナカガワナガレトビケラ，*R. kuranishii*	*Rhyacophila* sp. (*Anatina* group)	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流～上流の滝-早瀬-細流
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Lieftinki group）タシタナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Lieftinki* group) = R. impar	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ハダカユスリカ属	*Cardiocladius* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの表面に生息
サンカクアタマウズムシ科	サンカクアタマウズムシ科	Dugesiidae gen. spp.	種により異なる（ナミウズムシであれば源流～上流・細流の枝谷）	表流水(種によって高温耐性あり)	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*	上流～中流	表流水・リターパック	淵やワンドの石礫・砂利・砂底・流倒木の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）などの隙間に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	種により異なる	表流水・リターパック	淵・ワンド・たまりなどの止水域の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）ないし緩流域のダム型リターパック（落葉落枝の塊）の隙間に生息。（冷水性）
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ属	*Diamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	源流～上流・枝谷	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ヒメトビケラ科	カクヒメトビケラ属	*Stactobia* spp.	源流～上流の水際・枝谷・細流の下垂れ	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類群落中に生息する
アミカ科	ヒゲブトオオフタマタアミカ（フタマタアミカ属）	*Philorus kibunensis*	源流～上流・枝谷	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘚類群落内に生息（冷水性）
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	コナユスリカ属	*Corynoneura* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	間隙水域	緩流中の砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）

表 394　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 19 燕沢 2/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
アミカ科	フタマタアミカ属（成虫を含む）	*Philorus* sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

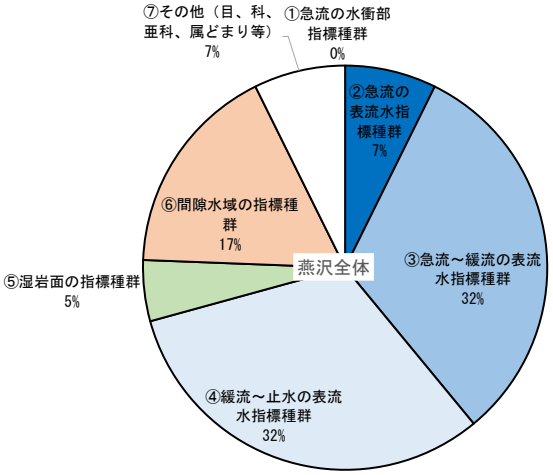


図 414　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 19 燕沢）

表 395　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 20 大尻沢北の沢 1/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤトビケラ	*Parapsyche maculata*	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ヒラタウズムシ科	キタカズメウズムシ属 カズメウズムシ	*Seidlia auriculata*	源流の最上流域・枝谷の細流	表流水・極低温湧水	極低水温の湧水中落ち葉だまりや湿地に生息する（水温上限13℃-10℃　適温10℃-8℃以下）
トビイロカゲロウ科	トビイロカゲロウ属 Paraleptophlebia属	*Paraleptophlebia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
カクスイトビケラ科	ハナセマルツツトビケラ	*Micrasema hanasense*	源流～上流・枝谷の岸際	表流水・蘚類マット・湿岩面	蘚類の携巣型で滝・早瀬・平瀬・淵・湧水の岩盤・石礫・流倒木の蘚類にしがみ付いて生活する。（冷水性）
カクツツトビケラ科	オオカクツツトビケラ	*Lepidostoma crassicorne*	源流・枝谷・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
カクツツトビケラ科	カンムリカクツツトビケラ　（ナラカクツツトビケラ種群）	*Lepidostoma emarginatum*	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	トチギミヤマトビケラ　（南アルプスの遺伝的固有性指標種）	*Pseudostenophylax tochigiensis*	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）

表 396　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 20 大尻沢北の沢 2/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	ハヤセヒメユスリカ属	*Trissopelopia* sp.	源流・細流・湧水・湿地・湖沼	表流水・蘚類マット	緩流中の砂礫底や蘚類マットの間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の砂礫・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）
カワトビケラ科	タニガワトビケラ	*Dolophilodes japonica*	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
ヒラタドロムシ科	マルヒゲナガハナノミ	*Schinostethus brevis*	源流～上流の滝の水際湿岩面	表流水・湿岩面	源流全域（冷水性）
ヒメミミズ科	ヒメミミズ科	Enchytraeidae gen. sp.	全流程	間隙水域・リターバック	淵、ワンド、周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
ミズミミズ科	ナミミズミミズ	*Nais communis*	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミズミミズ科	イトミミズ亜科	Tubificinae fam. gen. spp.	全流程	間隙水域	淵、ワンド、周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科（成虫を含む）	Leuctridae sp.	上流～中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	ヒメユスリカ属	*Conchapelopia* sp.	上流～下流・湖沼	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	コナユスリカ属	*Corynoneura* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	間隙水域	緩流中の砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
エグリトビケラ科	エグリトビケラ科	Limnephilidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

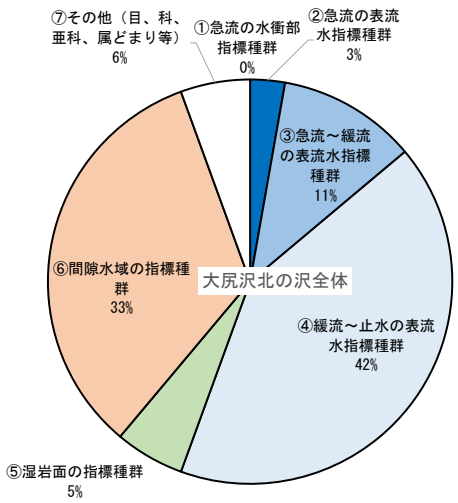


図 415　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 20 大尻沢北の沢）

表 397　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 21 大尻沢 1/4）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヒラタカゲロウ科	オナガヒラタカゲロウ	*Epeorus hiemalis*	源流～上流	急流・湿岩面	小滝や早瀬の落差のある滝を流れ落ちる岩面の剥離流の裏側部分に生息する（オナガヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度17.7℃-最低温度12.7℃（平均14.5℃））
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	アミメシマトビケラ属 Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷・細流	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤトビケラ	*Parapsyche maculata*	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
クロツツトビケラ科	クロツツトビケラ	*Uenoa tokunagai*	源流～上流	表流水・急流	絹糸の携巣型で小滝・早瀬の急流表面に固着生活する
アミカ科	トゲコマドアミカ	*Agathon longispinus*	源流～上流・枝谷	表流水・急流	滝や早瀬の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する
アミカ科	オオメナミアミカ（ナミアミカ属（ニホンアミカ属）　）	*Blepharicera esakii*	上流～中流	表流水・急流	早瀬や平瀬の岩盤・石礫・流木の表面に生息する（韓流部にも生息する）
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石砂利などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	トゲマダラカゲロウ属 Drunella属	*Drunella* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
コカゲロウ科	Fコカゲロウ	*Baetis* sp.F	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（ユミモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.0℃-最低温度12.4℃（平均16.7℃））
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ or イワヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus or E. cumulus*	上流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ亜科	Acroneuriinae sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒメアミメカワゲラ属 Skwala属	*Skwala* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する。（雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃、耐酸性が強い（pH2-3台でも生息可））
ナガレトビケラ科	トワダナガレトビケラ	*Rhyacophila towadensis*	源流～上流・枝谷・細流（細流中心）	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ニワナガレトビケラ	Rhyacophila niwae	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	クレメンスナガレトビケラ	Rhyacophila clemens	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	RCナガレトビケラ	Rhyacophila sp. RC	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	トランスクィラナガレトビケラ	Rhyacophila transquilla	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
オドリバエ科	カマオドリバエ属	*Chelifera* sp.	源流～上流・枝谷	成虫：流水面上空、幼虫：水生	幼虫は水生で瀬の石礫底の藓類の中や岸際の湿潤域に生息すると推定される、成虫は瀬淵の水面上で採餌・配偶をする。
ヒラタウズムシ科	カズメウズムシ属 *Polycelis*属	*Polycelis* sp.	源流の最上流域・枝谷の細流	表流水・極低温湧水	極低水温の湧水中落ち葉だまりや湿地に生息する（水温上限13℃-10℃　適温10℃-8℃以下）
ヒラタウズムシ科	ホソウズムシ属　ミヤマウズムシ	*Phagocata vivida*	源流全域・枝谷の細流	表流水・強低温湧水	冷水温の湧水中の岩盤や石表面に生息する（水温上限15℃-13℃　適温13℃-10℃以下）
ヒラタウズムシ科	キタカズメウズムシ属 カズメウズムシ	*Seidlia auriculata*	源流の最上流域・枝谷の細流	表流水・極低温湧水	極低水温の湧水中落ち葉だまりや湿地に生息する（水温上限13℃-10℃　適温10℃-8℃以下）
ハリガネムシ科	ハリガネムシ属	*Gordius* sp.	種により異なる（全流程の可能性あり）	表流水・緩流止水	淵やワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。

表 398　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 21 大尻沢 2/4）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヒドラ科	Hydra属	*Hydra* sp.	種により異なる（陸生・湿地生・河川間隙生の種が含まれる）	表流水・緩流止水	淵やワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
トビイロカゲロウ科	トビイロカゲロウ属 Paraleptophlebia属	*Paraleptophlebia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	ヒロバネトビイロコカゲロウ	*Nigrobaetis latus*	上流～中流	表流水・緩流	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの緩流域ないし止水域の石礫・落葉落枝底・ヨシ根際など表層に生息。
コカゲロウ科	トビイロコカゲロウ属	*Nigrobaetis* sp.	上流～中流	表流水・緩流	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの緩流域ないし止水域の石礫・落葉落枝底・ヨシ根際など表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	タニガワカゲロウ属 Ecdyonurus属	*Ecdyonurus* sp.	源流～中流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	エルモンヒラタカゲロウ or マツムラヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium or E. l-nigrus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。（エルモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.6℃-最低温度12.4℃（平均17.0℃））
トワダカワゲラ科	ミネトワダカワゲラ （南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Scopura montana*	源流の最上流・枝谷の細流	表流水・極低温湧水	源流や細流の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表層や間隙に生息。幼虫期間は 4年、食性：落ち葉、コケ、微小な水生昆虫など（水温上限14℃-4℃　適温10℃以下）
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
カワゲラ科	フタツメカワゲラ属	*Neoperla* sp.	種により異なる（源流～上流、上流～下流、下流など）	表流水・緩流止水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒロバネアミメカワゲラ Pseudomegarcys japonicus	*Pseudomegarcys japonica*	源流～上流	強低温表流水	堆積型リターパック内（強冷水性）
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
イワトビケラ科	ミヤマイワトビケラ属: オンダケミヤマイワトビケラ *Plectrocnemia ondakeana*	*Plectrocnemia* sp.	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
コエグリトビケラ科	コエグリトビケラ属の数種	*Apatania* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
コエグリトビケラ科	コエグリトビケラ科	Apataniidae sp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクスイトビケラ科	ハナセマルツツトビケラ	*Micrasema hanasense*	源流～上流・枝谷の岸際	表流水・蘚類マット・湿岩面	蘚類の携巣型で滝・早瀬・平瀬・淵・湧水の岩盤・石礫・流倒木の蘚類にしがみ付いて生活する。（冷水性）
カクスイトビケラ科	ウエノマルツツトビケラ	*Micrasema uenoi*	源流～上流・枝谷の岸際	表流水・蘚類マット・湿岩面	砂粒の携巣型で滝・早瀬・平瀬・淵・湧水の岩盤・石礫・流倒木の蘚類にしがみ付いて生活する。（冷水性）
ニンギョウトビケラ科	クロニンギョウトビケラ	*Goera nigrosoma*	上流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクツツトビケラ科	オオカクツツトビケラ	*Lepidostoma crassicorne*	源流・枝谷・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
カクツツトビケラ科	カンムリカクツツトビケラ　（ナラカクツツトビケラ種群）	*Lepidostoma emarginatum*	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ （南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Pseudostenophylax ondakensis*	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の砂礫・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）

表 399　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 21 大尻沢 3/4）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	キリカキケバネエリユスリカ属	*Heterotrissocladius sp.*	源流～上流・枝谷・細流・湧水	表流水・蘚類マット	淵、ワンド、湧水などの緩流ないし止水の砂礫・蘚類・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガレユスリカ属	*Rheotanytarsus* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水	平瀬・淵などの緩流部の岩盤・石礫の表面に固着させた簡巣に網を張ってFPOMを濾し取って生活する
ブユ科	ツノマユブユ属	*Eusimulium* sp.	源流・細流・湧水	表流水	細流中や小規模な湧水流路に生息し、礫やツルヨシ，流木，小枝，落ち葉などに付着生活する
ナガハナノミ科	クロツヤヒゲナガハナノミ属 Anchycteis属	*Anchycteis* sp.	源流全域	表流水	表流水が減っても水没した流倒木や落葉落枝があれば生息可。
ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Yoraperla uenoi*	源流の滝・細流の水際湿岩面	湿岩面・湧水	湿岩面Hygropetric zone に生息する（生息水温範囲：13-15℃以下）
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	プライヤーヒロバカゲロウ	*Osmylus pryeri*	源流～上流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類や落葉落枝中に生息する
カワトビケラ科	タニガワトビケラ	*Dolophilodes japonica*	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
カワトビケラ科	タニガワトビケラ属：ミミタニガワトビケラ *Dolophilodes auriculata* ノムギタニガワトビケラ *Dolophilodes nomugiensis* シンボタニガワトビケラ *Dolophilodes sinboensis*　サキブトタニガワトビケラ *Dolophilodes dilatata*　イロタニガワトビケラ *Dolophilodes iroensis*　サキボソタニガワトビケラ　*Dolophilodes angustata* の可能性	*Dolophilodes* sp.	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ	*Eobrachycentrus vernalis*	源流・枝谷・細流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤・石礫・流倒木の蘚類群落に生息する。（冷水性）
チョウバエ科	ナガレチョウバエ属	*Pericoma* sp.	源流～上流・枝谷の水際	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘚類群落内に生息
ホソカ科	マダラホソカ	*Dixa longistyla*	源流～中流・枝谷・細流・湧水の岸際・湿地	表流水・湿岩面・湿地	淵や平瀬の湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息
ホソカ科	クロホソカ	*Dixa yamatona*	源流・細流・湧水の岸際・湿地	表流水・湿岩面・湿地	滝や滴れの湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息
オドリバエ科	ナミシブキバエ属	*Clinocera* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	表流水・湿岩面・蘚類マット	淵や平瀬岸際の石礫や蘚類の隙間に生息
オドリバエ科	クチナガシブキバエ属	Roederiodes sp.	源流～上流・枝谷	幼虫：表流水、成虫：湿岩面	成虫は滝の岸沿いや滴れの湿岩面に生息する。幼虫は水生で米国の観察から急流中の瀬の石礫底の蘚類の中に生息すると推定されるが、日本では観察されていない。
オドリバエ科	トゲナシシシブキバエ属（成虫を含む）	*Wiedemannia* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	幼虫：表流水、成虫：湿岩面	種により異なる
ヒメミミズ科	ハタケヒメミミズ属	*Fridericia* sp.	陸生・湿地生種が含まれ乾燥条件に耐性がある	陸域土壌・湿地	陸上土壌中、湿地底泥中、淵、ワンドの落葉溜りや河床間隙に生息。
ヒメミミズ科	ヒメミミズ科	Enchytraeidae gen. sp.	全流程	間隙水域・リターパック	淵、ワンド、周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
ミズミミズ科	ナミミズミミズ	*Nais communis*	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミズミミズ科	ナミミズミミズ属 Nais属	*Nais* sp.	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ツリミミズ科	ツリミミズ科	Lumbricidae gen. spp.	全流程	間隙水域・リターパック	淵、ワンド、周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ホソカワゲラ科	カギホソカワゲラ属	*Paraleuctra* sp.	上流～中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	セスジミドリカワゲラ属 Sweltsa属	*Sweltsa* spp.	中流～下流（流程を問わず平地流）	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ナガレトビケラ科	シコツナガレトビケラ	*Rhyacophila shikotsuensis*	上流～中流・枝谷・細流	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Nigrocephala group：鰓なし）ムナグロナガレトビケラ，ニッポンナガレトビケラ，シコツナガエトビケラ、カワムラナガレトビケラ、クワムラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Nigrocephala* group）	源流～中流・枝谷・細流（種により異なる）	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。
オビヒメガガンボ科	ダイミョウガガンボ属	*Pedicia* sp.	源流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域・蘚類マット・落葉落枝	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する。（冷水性種を含む）
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ナミヒメガガンボ属	*Dicranomyia* sp.	源流・上流・細流・湧水・岸際・湿地	流倒木・落葉落枝・間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際の落葉落枝や流倒木の隙間に生息する
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ツヤヒメガガンボ属	*Pilaria* sp.	源流～中流・細流	表流水・間隙水	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂底泥の間隙に生息する
ヌカカ科	ブユモドキ属	Forcipomyia sp.	源流・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水域	湿地の蘚類植物体や間隙に生息する
ヌカカ科	ヌカカ科（成虫を含む）	Ceratopogonidae sp.	種により異なる	表流水・間隙水	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	モンヌマユスリカ属	*Natarsia* sp.	源流・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水域	湿地の蘚類植物体や間隙に生息する

表 400　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 21 大尻沢 4/4）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	ウスギヌヒメユスリカ属	*Rheopelopia* sp.	上流～下流・湖沼	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	トゲアシエリユスリカ属	*Chaetocladius* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	間隙水域	緩流中の砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	コナユスリカ属	*Corynoneura* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	間隙水域	緩流中の砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エラノリユスリカ属	*Epoicocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの砂利・砂底のモンカゲロウ属のエラや腿節の付け根に寄生する。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	シミズビロウドエリユスリカ属	*Krenosmittia* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニイツマホソケブカエリユスリカ	*Neobrillia longistyla*	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	朽木掘潜	水中に没した朽木や落葉落枝に穿入する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセトゲアシエリユスリカ属	*Parachaetocladius* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの岸際や砂州上の河床間隙に生息する種や抽水植物や沈水植物の根系に生息する種が知られている。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ナガレツヤユスリカ属	*Rheocricotopus* sp.	源流～上流・枝谷・湖沼	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ヌカユスリカ属	*Thienemanniella* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	トクナガエリユスリカ属	*Tokunagaia* sp.	源流～上流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
カワトビケラ科	カワトビケラ科　他にコタニガワトビケラ属 Chimarraトゲタニガワトビケラ属 Kisauraの可能性あり	Philopotamidae gen. sp.	種により異なる	湿岩面・表流水・間隙水域	種により異なる
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
エグリトビケラ科	エグリトビケラ科	Limnephilidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
アミカ科	フタマタアミカ属（成虫を含む）	*Philorus* sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
ユスリカ科	ユスリカ亜科	Chironominae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae gen. spp.	森林・草地・湿地の湿潤な土壌中、ないしは腐朽材に生息	幼虫：陸生・渓流岸際の湿潤域	幼虫は森林・草地・湿地の湿潤な土壌中、ないしは腐朽材に生息。一部の種は山地渓流の岸際土壌中や腐朽材中に生息する。

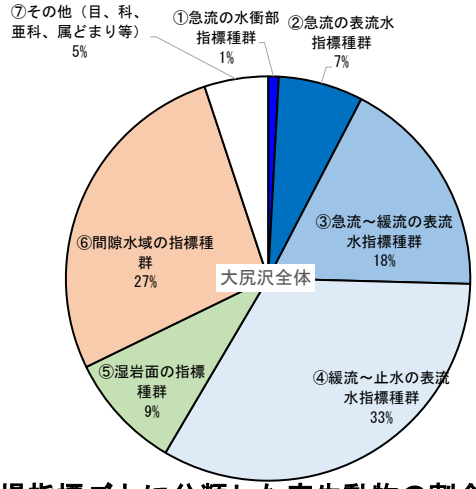


図 416　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 21 大尻沢）

表 401　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 22 蛇沢南東の沢 1/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヒラタカゲロウ科	オナガヒラタカゲロウ	*Epeorus hiemalis*	源流～上流	急流・湿岩面	小滝や早瀬の落差のある滝を流れ落ちる岩面の剥離流の裏側部分に生息する（オナガヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度17.7℃-最低温度12.7℃（平均14.5℃））。
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤトビケラ	*Parapsyche maculata*	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ or イワヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus or E. cumulus*	上流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ亜科	Acroneuriinae sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒメアミメカワゲラ属 Skwala属	*Skwala* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Lieftinki group）タシタナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Lieftinki* group）= R. impar	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
サンカクアタマウズムシ科	サンカクアタマウズムシ科	Dugesiidae gen. spp.	種により異なる（ナミウズムシであれば源流～上流・細流の枝谷）	表流水(種によって高温耐性あり)	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
トビイロカゲロウ科	トビイロカゲロウ属 Paraleptophlebia属	*Paraleptophlebia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*	上流～中流	表流水・リターパック	淵やワンドの石礫・砂利・砂底・流倒木の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）などの隙間に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
イワトビケラ科	ミヤマイワトビケラ属：オンダケミヤマイワトビケラ *Plectrocnemia ondakeana*	*Plectrocnemia* sp.	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い簡巣を固着させて生息。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	トチギミヤマトビケラ　（南アルプスの遺伝的固有性指標種）	*Pseudostenophylax tochigiensis*	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の砂礫・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。
ブユ科	ツノマユブユ属	*Eusimulium* sp.	源流・細流・湧水	表流水	細流中や小規模な湧水流路に生息し、礫やツルヨシ，流木，小枝，落ち葉などに付着生活する
マルハナノミ科	ケシマルハナノミ属Hydrocyphon属	*Hydrocyphon* sp.	上流～中流・枝谷	表流水	上～中流域の岸際・淵・ワンド・たまりの落ちたまりなどに生息
ヒメドロムシ科	タテスジマルヒメドロムシ	*Optioservus ogatai*	源流・枝谷・細流	表流水	源流や細流の淵・たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝などの隙間に生息。（冷水性）
ヒメドロムシ科	スネアカヒメドロムシ	*Heterlimnius variabilis*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流や細流の淵・たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝などの隙間に生息。
カワトビケラ科	タニガワトビケラ	*Dolophilodes japonica*	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
カワトビケラ科	タニガワトビケラ属：ミミタニガワトビケラ *Dolophilodes auriculata* ノムギタニガワトビケラ *Dolophilodes nomugiensis* シンボタニガワトビケラ *Dolophilodes sinboensis*　サキブトタニガワトビケラ *Dolophilodes dilatata*　イロタニガワトビケラ *Dolophilodes iroensis*　サキボソタニガワトビケラ　*Dolophilodes angustata* の可能性	*Dolophilodes* sp.	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る

表 402　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 22 蛇沢南東の沢 2/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヒメミミズ科	ヒメミミズ科	Enchytraeidae gen. sp.	全流程	間隙水域・リターバック	淵、ワンド、周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
カワゲラ科	キコナガカワゲラ属 Flavoperla 属	*Flavoperla* sp.	種により異なる	間隙水域	平瀬や淵などの砂州内の河床間隙に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Nigrocephala group：鰓なし）ムナグロナガレトビケラ，ニッポンナガレトビケラ，シコツナガエトビケラ、カワムラナガレトビケラ、クワムラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Nigrocephala* group）	源流～中流・枝谷・細流（種により異なる）	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・藓類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	トゲアシエリユスリカ属	*Chaetocladius* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	間隙水域	緩流中の砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	コナユスリカ属	*Corynoneura* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	間隙水域	緩流中の砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エラノリユスリカ属	*Epoicocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの砂利・砂底のモンカゲロウ属のエラや腿節の付け根に寄生する。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセトゲアシエリユスリカ属	*Parachaetocladius* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの岸際や砂州上の河床間隙に生息する種や抽水植物や沈水植物の根系に生息する種が知られている。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

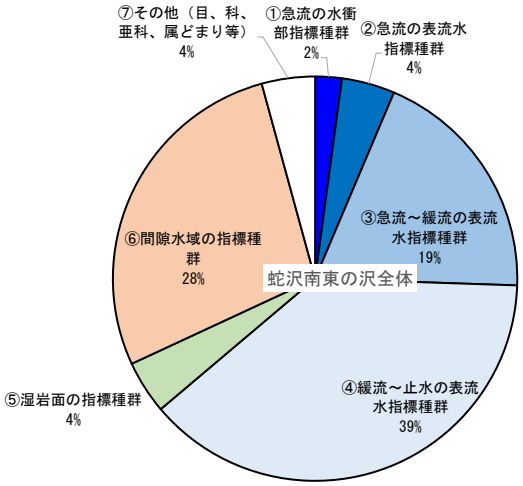


図 417　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 22 蛇沢南東の沢）

表 403　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 23 破風石沢 1/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤトビケラ	*Parapsyche maculata*	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
シマトビケラ科 Hydropsychidae	ミヤマシマトビケラ属 Diplectrona属	*Diplectrona* sp.	源流の最上流域	間隙水域	細流の砂利石礫底の下の間隙中に営巣する
ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する。（雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃、耐酸性が強い（pH2-3台でも生息可））
ナガレトビケラ科	トワダナガレトビケラ	*Rhyacophila towadensis*	源流～上流・枝谷・細流（細流中心）	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Sibirica group）トランスクィラナガレトビケラ，キソナガレトビケラ，Sibirica group-sp.1，Sibirica group-sp.2，*R. hattorii*，*R. kobayashii*	*Rhyacophila* sp.（*Sibirica* group）	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	*Dugesia japonica*	源流～上流・細流の枝谷	表流水・低温湧水	湧水などの冷水温環境に生息する。（生息水温範囲：10.2-20.0℃）
サンカクアタマウズムシ科	サンカクアタマウズムシ科	Dugesiidae gen. spp.	種により異なる（ナミウズムシであれば源流～上流・細流の枝谷）	表流水(種によって高温耐性あり)	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
ヒラタウズムシ科	ホソウズムシ属　ミヤマウズムシ	*Phagocata vivida*	源流全域・枝谷の細流	表流水・強低温湧水	冷水温の湧水中の岩盤や石表面に生息する（水温上限15℃-13℃　適温13℃-10℃以下）
トビイロカゲロウ科	トビイロカゲロウ属 Paraleptophlebia属	*Paraleptophlebia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	トビイロコカゲロウ属	*Nigrobaetis* sp.	上流～中流	表流水・緩流	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの緩流域ないし止水域の石礫・落葉落枝底・ヨシ根際など表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ナガレトビケラ科	ヨシイナガレトビケラ	Rhyacophila yosiiana	源流・枝谷・細流	蘚類マット・表流水	源流や枝谷の細流中の石礫・砂利・流倒木など湿った表面や落ち葉の隙間に生息する
ニンギョウトビケラ科	クロニンギョウトビケラ	*Goera nigrosoma*	上流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクツツトビケラ科	オオカクツツトビケラ	*Lepidostoma crassicorne*	源流・枝谷・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	トチギミヤマトビケラ（南アルプスの遺伝的固有性指標種）	*Pseudostenophylax tochigiensis*	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセエリユスリカ属	*Pseudorthocladius* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	表流水・蘚類マット・湿岩面・間隙水域	平瀬、淵、ワンドなどの砂礫・蘚類・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。（冷水性）
マルハナノミ科	クロマルハナノミ属　Odeles属	*Odeles* sp.	上流～中流・枝谷	表流水	種により異なる

表 404　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 23 破風石沢 2/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	Osmylidae sp.	源流～上流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類や落葉落枝中に生息する
カワトビケラ科	タニガワトビケラ	*Dolophilodes japonica*	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
カワトビケラ科	タニガワトビケラ属 ： ミミタニガワトビケラ *Dolophilodes auriculata* ノムギタニガワトビケラ *Dolophilodes nomugiensis* シンボタニガワトビケラ *Dolophilodes sinboensis*　サキブトタニガワトビケラ *Dolophilodes dilatata*　イロタニガワトビケラ *Dolophilodes iroensis*　サキボソタニガワトビケラ　*Dolophilodes angustata* の可能性	*Dolophilodes* sp.	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
ホソカ科	マダラホソカ	*Dixa longistyla*	源流～中流・枝谷・細流・湧水の岸際・湿地	表流水・湿岩面・湿地	淵や平瀬の湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息
ホソカ科	クロホソカ	*Dixa yamatona*	源流・細流・湧水の岸際・湿地	表流水・湿岩面・湿地	滝や滴れの湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息
ミズミミズ科	ナミミズミミズ属 Nais属	*Nais* sp.	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
オビヒメガガンボ科	ダイミョウガガンボ属	*Pedicia* sp.	源流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域・蘚類マット・落葉落枝	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する。（冷水性種を含む）
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ツヤヒメガガンボ属	*Pilaria* sp.	源流～中流・細流	表流水・間隙水	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂底泥の間隙に生息する
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ヌカカ科	ヌカカ科（成虫を含む）	Ceratopogonidae sp.	種により異なる	表流水・間隙水	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	コナユスリカ属	*Corynoneura* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	間隙水域	緩流中の砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ナガレツヤユスリカ属	*Rheocricotopus* sp.	源流～上流・枝谷・湖沼	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
エグリトビケラ科	エグリトビケラ科	Limnephilidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	モンユスリカ亜科	Tanypodinae gen. spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

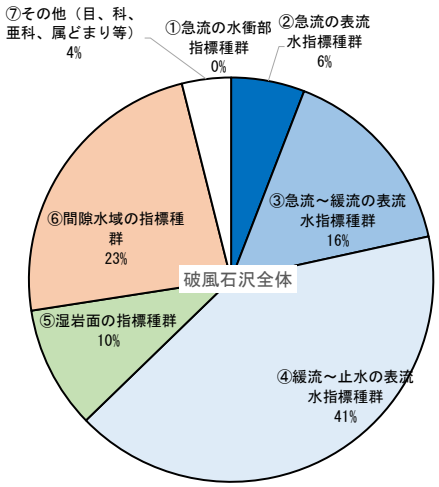


図 418　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 23 破風石沢）

表 405　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 24 下木賊沢北の沢 1/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤトビケラ	*Parapsyche maculata*	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	源流～上流	強低温表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性：卵の最適生息温度：8℃）
シマトビケラ科 Hydropsychidae	DAミヤマシマトビケラ Diplectrona sp.DA	*Diplectrona* sp. DA	源流の最上流域	間隙水域	細流の砂利石礫底の下の間隙中に営巣する
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シマトビケラ科	Hydropsychidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
ナガレトビケラ科	トワダナガレトビケラ	*Rhyacophila towadensis*	源流～上流・枝谷・細流（細流中心）	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Acropedes* group)	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Sibirica group）トランスクィラナガレトビケラ，キソナガレトビケラ，Sibirica group-sp.1，Sibirica group-sp.2，*R. hattorii*，*R. kobayashii*	*Rhyacophila* sp. (*Sibirica* group)	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ヒラタウズムシ科	キタカズメウズムシ属 カズメウズムシ	*Seidlia auriculata*	源流の最上流域・枝谷の細流	表流水・極低温湧水	極低水温の湧水中落ち葉だまりや湿地に生息する（水温上限13℃-10℃　適温10℃-8℃以下）
ハリガネムシ科	ハリガネムシ科	Gordiidae gen. spp.	種により異なる（全流程の可能性あり）	表流水・緩流止水	淵やワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
トビイロカゲロウ科	トビイロカゲロウ属 Paraleptophlebia属	*Paraleptophlebia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
センブリ科	センブリ属	*Sialis* sp.	源流域や上流域の河道から隔離されたたまり・高標高の池沼・湿地	表流水・湧水・湿地	淵・ワンド・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底・抽水植物などの表層に生息。
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
コエグリトビケラ科	コエグリトビケラ属の数種	*Apatania* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクスイトビケラ科	ハナセマルツツトビケラ	*Micrasema hanasense*	源流～上流・枝谷の岸際	表流水・蘚類マット・湿岩面	蘚類の携巣型で滝・早瀬・平瀬・淵・湧水の岩盤・石礫・流倒木の蘚類にしがみ付いて生活する。（冷水性）
カクスイトビケラ科	ウエノマルツツトビケラ	*Micrasema uenoi*	源流～上流・枝谷の岸際	表流水・蘚類マット・湿岩面	砂粒の携巣型で滝・早瀬・平瀬・淵・湧水の岩盤・石礫・流倒木の蘚類にしがみ付いて生活する。（冷水性）
ニンギョウトビケラ科	クロニンギョウトビケラ	*Goera nigrosoma*	上流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクツツトビケラ科	オオカクツツトビケラ	*Lepidostoma crassicorne*	源流・枝谷・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
カクツツトビケラ科	カンムリカクツツトビケラ　（ナラカクツツトビケラ種群）	*Lepidostoma emarginatum*	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
トビケラ科	ムラサキトビケラ	*Eubasilissa regina*	源流～上流	表流水	淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。
マルバネトビケラ科	Phryganopsyche属	*Phryganopsyche* sp.	源流・枝谷・細流・池沼・湿地	表流水	淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する

表 406　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 24 下木賊沢北の沢 2/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	ハヤセヒメユスリカ属	*Trissopelopia* sp.	源流・細流・湧水・湿地・湖沼	表流水・蘚類マット	緩流中の砂礫底や蘚類マットの間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の砂礫・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケバネエリユスリカ属	*Metriocnemus* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	表流水・蘚類マット	平瀬、淵、ワンドなどの砂礫・蘚類・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。（冷水性）
ブユ科	ツノマユブユ属	*Eusimulium* sp.	源流・細流・湧水	表流水	細流中や小規模な湧水流路に生息し、礫やツルヨシ，流木，小枝，落ち葉などに付着生活する
ナガレアブ科	ハマダラナガレアブ	*Atherix ibis japonica*	上流～中流	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
マルハナノミ科	Elodes属	*Elodes* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水	上～中流域の岸際・淵・ワンド・たまりの石礫の隙間や落ちたまりなどに生息
マルハナノミ科	クロマルハナノミ属　Odeles属	*Odeles* sp.	上流～中流・枝谷	表流水	種により異なる
カワトビケラ科	タニガワトビケラ属：ミミタニガワトビケラ *Dolophilodes auriculata* ノムギタニガワトビケラ *Dolophilodes nomugiensis* シンボタニガワトビケラ *Dolophilodes sinboensis*　サキブトタニガワトビケラ *Dolophilodes dilatata*　イロタニガワトビケラ *Dolophilodes iroensis*　サキボソタニガワトビケラ　*Dolophilodes angustata* の可能性	*Dolophilodes* sp.	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
チョウバエ科	ナガレチョウバエ属	*Pericoma* sp.	源流～上流・枝谷の水際	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘚類群落内に生息
ヒラタドロムシ科	マルヒゲナガハナノミ	*Schinostethus brevis*	源流～上流の滝の水際湿岩面	表流水・湿岩面	源流全域（冷水性）
マメシジミ科	マメシジミ属	*Pisidium* sp.	種により異なる	間隙水域	淵、ワンド、周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
ヒメミミズ科	ヒメミミズ科	Enchytraeidae gen. sp.	全流程	間隙水域・リターパック	淵、ワンド、周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
ミズミミズ科	イトミミズ亜科	Tubificinae fam. gen. spp.	全流程	間隙水域	淵、ワンド、周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
ミズミミズ科	ミズミミズ科	Naididae gen. spp.	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙、ないしは周辺湿地の落葉溜りに生息。
ツリミミズ目	－	Lumbricida fam. gen. spp.	全流程	間隙水域・リターパック	周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科（成虫を含む）	Leuctridae sp.	上流～中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Nigrocephala group：鰓なし）ムナグロナガレトビケラ，ニッポンナガレトビケラ，シコツナガエトビケラ、カワムラナガレトビケラ、クワムラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Nigrocephala* group）	源流～中流・枝谷・細流（種により異なる）	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。
ヌカカ科	ヌカカ科（成虫を含む）	Ceratopogonidae sp.	種により異なる	表流水・間隙水	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	ヒメユスリカ属	*Conchapelopia* sp.	上流～下流・湖沼	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	ウスギヌヒメユスリカ属	*Rheopelopia* sp.	上流～下流・湖沼	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ホソケブカエリユスリカ属	*Neobrillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	朽木掘潜	水中に没した朽木や落葉落枝に穿入する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセトゲアシエリユスリカ属	*Parachaetocladius* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの岸際や砂州上の河床間隙に生息する種や抽水植物や沈水植物の根系に生息する種が知られている。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ナガレツヤユスリカ属	*Rheocricotopus* sp.	源流～上流・枝谷・湖沼	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	アシマダラユスリカ属	*Stictochironomus* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	間隙水域	淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ダニ目	－	Acarina fam. gen. spp.	全流程	種により異なる	種により異なる
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	モンユスリカ亜科	Tanypodinae gen. spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

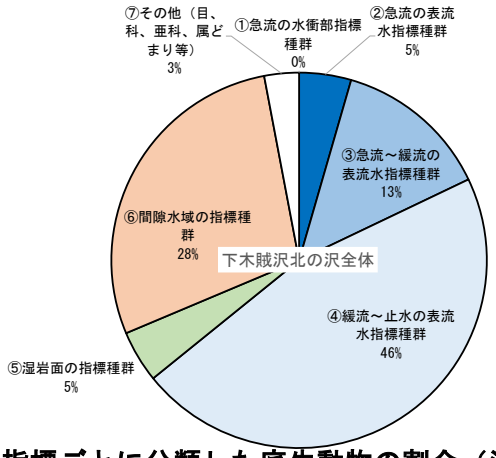


図 419　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 24 下木賊沢北の沢）

表 407　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 25 下木賊沢 1/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヒラタカゲロウ科	オナガヒラタカゲロウ	*Epeorus hiemalis*	源流～上流	急流・湿岩面	小滝や早瀬の落差のある滝を流れ落ちる岩面の剥離流の裏側部分に生息する（オナガヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度17.7℃-最低温度12.7℃（平均14.5℃）））
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	アミメシマトビケラ属 Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷・細流	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤトビケラ	*Parapsyche maculata*	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミカ科	ナミアミカ属（ニホンアミカ属）（成虫を含む）	*Blepharicera* sp.	源流～上流・枝谷	表流水・急流	早瀬や平瀬の岩盤・石礫・流木の表面に生息する（緩流部にも生息する）（種によって高温耐性あり）
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石砂利などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	トゲマダラカゲロウ属 Drunella 属	*Drunella* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（ユミモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.0℃-最低温度12.4℃（平均16.7℃））
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ亜科	Acroneuriinae sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	源流～上流	強低温表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性：卵の最適生息温度：8℃）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒメアミメカワゲラ属 Skwala属	*Skwala* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シマトビケラ属の1種	*Hydropsyche* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シマトビケラ科	Hydropsychidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。（高温耐性あり）
ナガレトビケラ科	トワダナガレトビケラ	*Rhyacophila towadensis*	源流～上流・枝谷・細流（細流中心）	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）

表 408　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 25 下木賊沢 2/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ナガレトビケラ科	クレメンスナガレトビケラ	Rhyacophila clemens	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Sibirica group）トランスクィラナガレトビケラ，キソナガレトビケラ，Sibirica group-sp.1，Sibirica group-sp.2，*R. hattorii*，*R. kobayashii*	*Rhyacophila* sp.（*Sibirica* group）	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
アミカ科	クロバアミカ属	*Bibiocephala* sp.	源流～上流・枝谷	表流水	早瀬や平瀬の石礫の表面に生息する（昼間は石の下面や側面の凹みで静止し、夜に上面を歩行して採餌）（冷水性を含む）
サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	*Dugesia japonica*	源流～上流・細流の枝谷	表流水・低温湧水	湧水などの冷水温環境に生息する。（生息水温範囲：10.2-20.0℃）
サンカクアタマウズムシ科	サンカクアタマウズムシ科	Dugesiidae gen. spp.	種により異なる（ナミウズムシであれば源流～上流・細流の枝谷）	表流水(種によって高温耐性あり)	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
ハリガネムシ科	ハリガネムシ科	Gordiidae gen. spp.	種により異なる（全流程の可能性あり）	表流水・緩流止水	淵やワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
トビイロカゲロウ科	トビイロカゲロウ属 Paraleptophlebia属	*Paraleptophlebia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*	上流～中流	表流水・リターパック	淵やワンドの石礫・砂利・砂底・流倒木の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）などの隙間に生息。
ヒラタカゲロウ科	エルモンヒラタカゲロウ or マツムラヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium or E. l-nigrus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。（エルモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.6℃-最低温度12.4℃（平均17.0℃））
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	種により異なる	表流水・リターパック	淵・ワンド・たまりなどの止水域の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）ないし緩流域のダム型リターパック（落葉落枝の塊）の隙間に生息。（冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒロバネアミメカワゲラ Pseudomegarcys japonicus	*Pseudomegarcys japonica*	源流～上流	強低温表流水	堆積型リターパック内（強冷水性）
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
ニンギョウトビケラ科	クロニンギョウトビケラ	*Goera nigrosoma*	上流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクツツトビケラ科	オオカクツツトビケラ	*Lepidostoma crassicorne*	源流・枝谷・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	トチギミヤマトビケラ（南アルプスの遺伝的固有性指標種）	*Pseudostenophylax tochigiensis*	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
マルバネトビケラ科	Phryganopsyche属	*Phryganopsyche* sp.	源流・枝谷・細流・池沼・湿地	表流水	淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセエリユスリカ属	*Pseudorthocladius* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	表流水・蘚類マット・湿岩面・間隙水域	平瀬、淵、ワンドなどの砂礫・蘚類・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。（冷水性）
ブユ科	ツノマユブユ属	*Eusimulium* sp.	源流・細流・湧水	表流水	細流中や小規模な湧水流路に生息し、礫やツルヨシ，流木，小枝，落ち葉などに付着生活する
ナガレアブ科	ナガレアブ科	Athericidae sp.	属・種により異なる	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
マルハナノミ科	クロマルハナノミ属　Odeles属	*Odeles* sp.	上流～中流・枝谷	表流水	種により異なる
カワトビケラ科	タニガワトビケラ属：ミミタニガワトビケラ *Dolophilodes auriculata* ノムギタニガワトビケラ *Dolophilodes nomugiensis* シンボタニガワトビケラ *Dolophilodes sinboensis* サキブトタニガワトビケラ *Dolophilodes dilatata* イロタニガワトビケラ *Dolophilodes iroensis* サキボソタニガワトビケラ *Dolophilodes angustata* の可能性	*Dolophilodes* sp.	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ	*Eobrachycentrus vernalis*	源流・枝谷・細流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤・石礫・流倒木の蘚類群落に生息する。（冷水性）
ホソカ科	ホソカ属	*Dixa* sp.	源流・細流・湧水の岸際・湿地	表流水・湿岩面・湿地	滝や滴れの湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息

表 409　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 25 下木賊沢 3/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ツリミミズ目	―	Lumbricida fam. gen. spp.	全流程	間隙水域・リターバック	周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ナガレトビケラ科	シコツナガレトビケラ	*Rhyacophila shikotsuensis*	上流～中流・枝谷・細流	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。
オビヒメガガンボ科	ダイミョウガガンボ属	*Pedicia* sp.	源流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域・蘚類マット・落葉落枝	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する。（冷水性種を含む）
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ナガレツヤユスリカ属	*Rheocricotopus* sp.	源流～上流・枝谷・湖沼	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	モンユスリカ亜科	Tanypodinae gen. spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

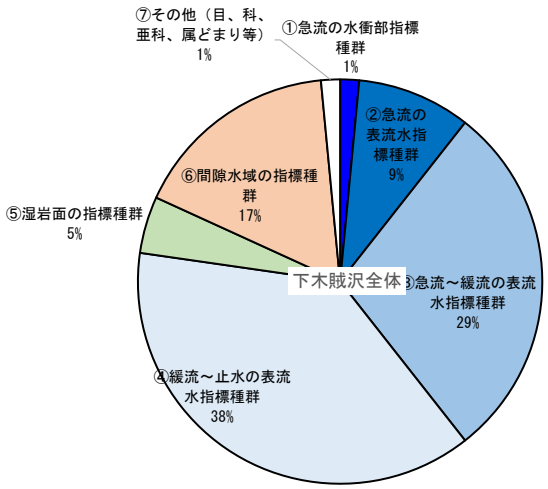


図 420　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 25 下木賊沢）

表 410　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 26 虎杖沢 1/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	源流～中流	表流水・急流	小滝・早瀬の巨石や石の流速の速い石表面
アミメシマトビケラ科　Arctops	アミメシマトビケラ属 Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷・細流	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤトビケラ	*Parapsyche maculata*	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石砂利などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sacharinensis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
コカゲロウ科	Fコカゲロウ	*Baetis* sp.F	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（ユミモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.0℃-最低温度12.4℃（平均16.7℃））
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ or イワヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus or E. cumulus*	上流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ亜科	Acroneuriinae sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シマトビケラ科	Hydropsychidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる extトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Anatina group）フタタマオナガレトビケラ，ナカガワナガレトビケラ，*R. kuranishii*	*Rhyacophila* sp.（*Anatina* group）	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流～上流の滝-早瀬-細流
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Sibirica group）トランスクィラナガレトビケラ，キソナガレトビケラ，Sibirica group-sp.1，Sibirica group-sp.2，*R. hattorii*，*R. kobayashii*	*Rhyacophila* sp.（*Sibirica* group）	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ブユ科	オオブユ属（成虫を含む）	*Prosimulium* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中に生息し、石礫・抽水植物・流倒木・落葉落枝などの表面に付着生活する
サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	*Dugesia japonica*	源流～上流・細流の枝谷	表流水・低温湧水	湧水などの冷水温環境に生息する。（生息水温範囲：10.2-20.0℃）
サンカクアタマウズムシ科	サンカクアタマウズムシ科	Dugesiidae gen. spp.	種により異なる（ナミウズムシであれば源流～上流・細流の枝谷）	表流水(種によって高温耐性あり)	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
ヒラタウズムシ科	ホソウズムシ属　ミヤマウズムシ	*Phagocata vivida*	源流全域・枝谷の細流	表流水・強低温湧水	冷水温の湧水中の岩盤や石表面に生息する（水温上限15℃-13℃　適温13℃-10℃以下）
三岐腸目	―	Tricladida fem. gen. spp.	種により異なる	表流水・緩流止水(種によって高温耐性あり)	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
トビイロカゲロウ科	トビイロカゲロウ属 Paraleptophlebia属	*Paraleptophlebia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
モンカゲロウ科	モンカゲロウ属 Ephemera属	*Ephemera* sp.	源流～下流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	クロタニガワカゲロウ	*Ecdyonurus tobiironis*	上流・枝谷・細流下部	表流水	淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。

表 411　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 26 虎杖沢 2/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクツツトビケラ科	オオカクツツトビケラ	*Lepidostoma crassicorne*	源流・枝谷・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	ヤマガタトビイロトビケラ	*Nothopsyche yamagataensis*	上流～中流	表流水・湧水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	トチギミヤマトビケラ （南アルプスの遺伝的固有性指標種）	*Pseudostenophylax tochigiensis*	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ属	*Diamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の砂礫・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセエリユスリカ属	*Pseudorthocladius* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	表流水・蘚類マット・湿岩面・間隙水域	平瀬、淵、ワンドなどの砂礫・蘚類・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。（冷水性）
ブユ科	ツノマユブユ属	*Eusimulium* sp.	源流・細流・湧水	表流水	細流中や小規模な湧水流路に生息し、礫やツルヨシ，流木，小枝，落ち葉などに付着生活する
マルハナノミ科	ケシマルハナノミ属Hydrocyphon属	*Hydrocyphon* sp.	上流～中流・枝谷	表流水	上～中流域の岸際・淵・ワンド・たまりの落ちたまりなどに生息
マルハナノミ科	クロマルハナノミ属　Odeles属	*Odeles* sp.	上流～中流・枝谷	表流水	種により異なる
ヒメドロムシ科	スネアカヒメドロムシ	*Heterlimnius variabilis*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流や細流の淵・たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝などの隙間に生息。
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	Osmylidae sp.	源流～上流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類や落葉落枝中に生息する
カワトビケラ科	タニガワトビケラ	*Dolophilodes japonica*	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
カワトビケラ科	タニガワトビケラ属 ： ミミタニガワトビケラ *Dolophilodes auriculata* ノムギタニガワトビケラ *Dolophilodes nomugiensis* シンボタニガワトビケラ *Dolophilodes sinboensis* サキブトタニガワトビケラ *Dolophilodes dilatata* イロタニガワトビケラ *Dolophilodes iroensis* サキボソタニガワトビケラ *Dolophilodes angustata* の可能性	*Dolophilodes* sp.	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ	*Eobrachycentrus vernalis*	源流・枝谷・細流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤・石礫・流倒木の蘚類群落に生息する。（冷水性）
ヒメミミズ科	ヒメミミズ科	Enchytraeidae gen. sp.	全流程	間隙水域・リターパック	淵、ワンド、周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
ミズミミズ科	ナミミズミミズ属 Nais属	*Nais* sp.	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ツリミミズ目	－	Lumbricida fam. gen. spp.	全流程	間隙水域・リターパック	周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科（成虫を含む）	Leuctridae sp.	上流～中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ナガレトビケラ科	シコツナガレトビケラ	*Rhyacophila shikotsuensis*	上流～中流・枝谷・細流	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Nigrocephala group：鰓なし）ムナグロナガレトビケラ，ニッポンナガレトビケラ，シコツナガエトビケラ、カワムラナガレトビケラ、クワムラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Nigrocephala* group）	源流～中流・枝谷・細流（種により異なる）	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。

表 412　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 26 虎杖沢 3/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
オビヒメガガンボ科	ダイミョウガガンボ属	*Pedicia* sp.	源流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域・蘚類マット・落葉落枝	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する。（冷水性種を含む）
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ヌカカ科	ヌカカ科（成虫を含む）	Ceratopogonidae sp.	種により異なる	表流水・間隙水	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	ボカシヌマユスリカ属	*Macropelopia* sp.	源流・細流・湧水・湿地・湖沼	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	コナユスリカ属	*Corynoneura* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	間隙水域	緩流中の砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ホソケブカエリユスリカ属	*Neobrillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	朽木掘潜	水中に没した朽木や落葉落枝に穿入する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセトゲアシエリユスリカ属	*Parachaetocladius* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの岸際や砂州上の河床間隙に生息する種や抽水植物や沈水植物の根系に生息する種が知られている。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ナガレツヤユスリカ属	*Rheocricotopus* sp.	源流～上流・枝谷・湖沼	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ツヤムネユスリカ属	*Microtendipes* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
エグリトビケラ科	エグリトビケラ科	Limnephilidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヒメガガンボ科	ヒメガガンボ科（成虫を含む）	Limoniidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	モンユスリカ亜科	Tanypodinae gen. spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ亜科	Orthocladiinae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

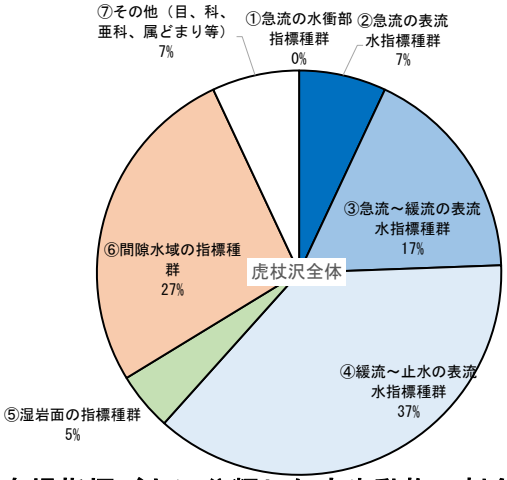


図 421　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 26 虎杖沢）

表 413　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 27 上千枚沢）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
希少種保護のため非公開					
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤトビケラ	*Parapsyche maculata*	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ナミヒラタカゲロウ	*Epeorus ikanonis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シマトビケラ属の1種	*Hydropsyche* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。（高温耐性あり）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
三岐腸目	―	Tricladida fem. gen. spp.	種により異なる	表流水・緩流止水（種によって高温耐性あり）	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒメヒラタカゲロウ属　（成虫を含む）	*Rhithrogena* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	種により異なる	表流水・リターパック	淵・ワンド・たまりなどの止水域の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）ないし緩流域のダム型リターパック（落葉落枝の塊）の隙間に生息。（冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒロバネアミメカワゲラ Pseudomegarcys japonicus	*Pseudomegarcys japonica*	源流～上流	強低温表流水	堆積型リターパック内（強冷水性）
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
アミカ科	ヒゲブトオオフタマタアミカ（フタマタアミカ属）	*Philorus kibunensis*	源流～上流・枝谷	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘚類群落内に生息（冷水性）
ホソカ科	ホソカ属	*Dixa* sp.	源流・細流・湧水の岸際・湿地	表流水・湿岩面・湿地	滝や滴れの湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科（成虫を含む）	Leuctridae sp.	上流～中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
トビケラ目（毛翅目）	―	Tricoptera fam. gen. spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
アミカ科	フタマタアミカ属（成虫を含む）	*Philorus* sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

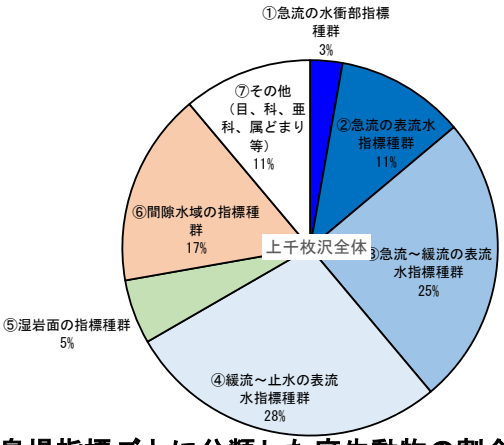


図 422　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 27 上千枚沢）

表 414　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 28 下千枚沢 1/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	アミメシマトビケラ属 Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷・細流	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒメアミメカワゲラ属 Skwala属	*Skwala* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
シマトビケラ科 Hydropsychidae	ミヤマシマトビケラ属 Diplectrona属	*Diplectrona* sp.	源流の最上流域	間隙水域	細流の砂利石礫底の下の間隙中に営巣する
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Acropedes* group)	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる extトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Clemens group：鰓なし）クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Clemens* group)	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Retracta group）ユミナガレトビケラ，モタカンタナガレトビケラ、トガリミジカオナガレトビケラ，ウエノナガレトビケラ *R. retracta*，カドオナガレトビケラ*R. humerigera*（青森・秋田），*R. geranos*，*R. koryne*，	*Rhyacophila* sp. (*Retracta* group)	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ブユ科	オオブユ属（成虫を含む）	*Prosimulium* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中に生息し、石礫・抽水植物・流倒木・落葉落枝などの表面に付着生活する
マダラカゲロウ科	キタマダラカゲロウ	*Ephemerella aurivillii*	上流～中流	表流水・抽水植物	平瀬・淵やワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表層・隙間に生息。
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ属	*Diamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ヒメドロムシ科	スネアカヒメドロムシ	*Heterlimnius variabilis*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流や細流の淵・たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝などの隙間に生息。
カワトビケラ科	ヒメタニガワトビケラ属：ナガノタニガワトビケラ Wormaldia kisoensis ウオヌマタニガワトビケラ *Wormaldia uonumana*　フジノタニガワトビケラ *Wormaldia fujinoensis* 他の可能性	*Wormaldia* sp.	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・藓類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や藓類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Ulmeri group）クラマナガレトビケラ，ミジカオナガレトビケラ，	*Rhyacophila* sp. (*Ulmeri* group)	源流～上流・枝谷・細流	湿岩面	小滝・早瀬・平瀬・下垂れの岩盤や巨石の湿岩面Hygropetric zoneの表層や藓類群落内に生息する

表 415　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 28 下千枚沢 2/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
オビヒメガガンボ科	ダイミョウガガンボ属	*Pedicia* sp.	源流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域・藻類マット・落葉落枝	平瀬や淵の砂泥底・石礫・藻類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する。（冷水性種を含む）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

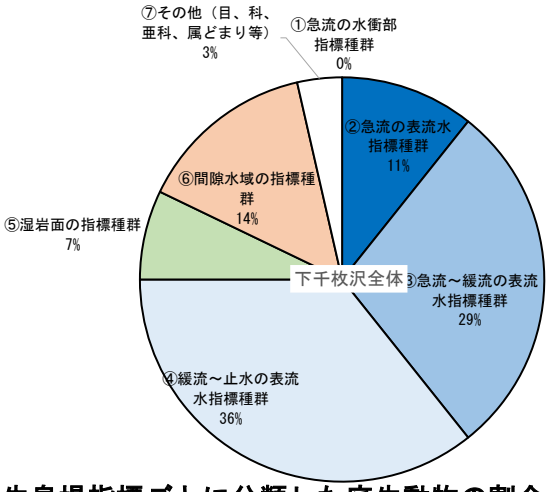


図 423　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 28 下千枚沢）

表 416　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 29 蛇沢 1/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヒラタカゲロウ科	オナガヒラタカゲロウ	*Epeorus hiemalis*	源流～上流	急流・湿岩面	小滝や早瀬の落差のある滝を流れ落ちる岩面の剥離流の裏側部分に生息する（オナガヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度17.7℃-最低温度12.7℃（平均14.5℃））
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	源流～中流	表流水・急流	小滝・早瀬の巨石や石の流速の速い石表面
アミメシマトビケラ科　Arctops	アミメシマトビケラ属 Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷・細流	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤトビケラ	*Parapsyche maculata*	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
クロツツトビケラ科	クロツツトビケラ	*Uenoa tokunagai*	源流～上流	表流水・急流	絹糸の携巣型で小滝・早瀬の急流表面に固着生活する
アミカ科	（コマドアミカ属（ヤマトアミカ属））	*Agathon* sp.	源流～上流・枝谷	表流水・急流	滝や早瀬の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する
アミカ科	ナミアミカ属（ニホンアミカ属）（成虫を含む）	*Blepharicera* sp.	源流～上流・枝谷	表流水・急流	早瀬や平瀬の岩盤・石礫・流木の表面に生息する（緩流部にも生息する）（種によって高温耐性あり）
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sacharinensis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ナミヒラタカゲロウ	*Epeorus ikanonis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（ユミモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.0℃-最低温度12.4℃（平均16.7℃））
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ or イワヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus or E. cumulus*	上流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	トウゴウカワゲラ属 Togoperla属 T. トウゴウカワゲラlimbataとヤマトウゴウカワゲラ T. brevispinis	*Togoperla* sp.	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ亜科	Acroneuriinae sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	源流～上流	強低温表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性：卵の最適生息温度：8℃）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒメアミメカワゲラ属 Skwala属	*Skwala* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
シマトビケラ科 Hydropsychidae	ミヤマシマトビケラ属 Diplectrona属	*Diplectrona* sp.	源流の最上流域	間隙水域	細流の砂利石礫底の下の間隙中に営巣する
ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する。（雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃、耐酸性が強い（pH2-3台でも生息可））
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Clemens group：鰓なし）クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Clemens* group）	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Sibirica group）トランスクィラナガレトビケラ，キソナガレトビケラ，Sibirica group-sp.1，Sibirica group-sp.2，*R. hattorii*，*R. kobayashii*	*Rhyacophila* sp.（*Sibirica* group）	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ブユ科	オオブユ属（成虫を含む）	*Prosimulium* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中に生息し、石礫・抽水植物・流倒木・落葉落枝などの表面に付着生活する

表 417　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 29 蛇沢 2/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	*Dugesia japonica*	源流～上流・細流の枝谷	表流水・低温湧水	湧水などの冷水温環境に生息する。（生息水温範囲：10.2-20.0℃）
三岐腸目	－	Tricladida fem. gen. spp.	種により異なる	表流水（種によって高温耐性あり）	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
マダラカゲロウ科	トウヨウマダラカゲロウ属 Cincticostella属	*Cincticostella* sp.	上流～中流	表流水	淵やワンドの石礫・砂利・砂底・流倒木の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）などの隙間に生息。
マダラカゲロウ科	マダラカゲロウ属 Ephemerella属	*Ephemerella* sp.	種により異なる	表流水・抽水植物	平瀬・淵やワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
ガガンボカゲロウ科	ガガンボカゲロウ　（南アルプスの遺伝的固有性指標種）	*Dipteromimus flavipterus*	源流・小枝谷・細流	表流水・湧水	源流や細流の淵・たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	クロタニガワカゲロウ	*Ecdyonurus tobiironis*	上流・枝谷・細流下部	表流水	淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
アミメカワゲラ科　クサカワゲラ亜科	クサカワゲラ属 Isoperla属	*Isoperla* sp.	種により異なる	表流水	生息条件が種によって異なる
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
ニンギョウトビケラ科	クロニンギョウトビケラ	*Goera nigrosoma*	上流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ属	*Diamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の砂礫・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	源流～上流・枝谷	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ナガレアブ科	ハマダラナガレアブ	*Atherix ibis japonica*	上流～中流	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ナガレアブ科	ナガレアブ属	*Atherix* sp.	種により異なる	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
マルハナノミ科	Elodes属	*Elodes* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水	源流・上流・細流の落ちたまりなどに生息
マルハナノミ科	ケシマルハナノミ属Hydrocyphon属	*Hydrocyphon* sp.	上流～中流・枝谷	表流水	上～中流域の岸際・淵・ワンド・たまりの石礫の隙間や落ちたまりなどに生息
マルハナノミ科	マルハナノミ科	Scirtidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヒメドロムシ科	ヒメドロムシ科	Elmidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Yoraperla uenoi*	源流の滝・細流の水際湿岩面	湿岩面・湧水	湿岩面Hygropetric zone に生息する（生息水温範囲：13-15℃以下）
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	Osmylidae sp.	源流～上流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類や落葉落枝中に生息する
カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ	*Eobrachycentrus vernalis*	源流・枝谷・細流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤・石礫・流倒木の蘚類群落に生息する。（冷水性）
カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ属 Eobrachycentrus属	*Eobrachycentrus* sp.	源流・枝谷・細流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤・石礫・流倒木の蘚類群落に生息する。（冷水性）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	タニユスリカ属　*Boreoheptagyia* 属	*Boreoheptagyia* sp.	源流～上流・枝谷の水際	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面や蘚類マットに生息。（冷水性）
ヒメミミズ科	ヒメミミズ科	Enchytraeidae gen. sp.	全流程	間隙水域・リターパック	淵、ワンド、周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
ミズミミズ科	ミズミミズ科	Naididae gen. spp.	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙、ないしは周辺湿地の落葉溜りに生息。
ツリミミズ目	－	Lumbricida fam. gen. spp.	全流程	間隙水域・リターパック	周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
厚環帯目	－	Crassiclitellata sp.	全流程	間隙水域・陸域土壌中	平瀬、淵、ワンドの河床間隙、ないしは周辺湿地の落葉溜りに生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Nigrocephala group：鰓なし）ムナグロナガレトビケラ，ニッポンナガレトビケラ，シコツナガエトビケラ、カワムラナガレトビケラ、クワムラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Nigrocephala* group）	源流～中流・枝谷・細流（種により異なる）	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。

表 418　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 29 蛇沢 3/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ヒゲユスリカ属	*Tanytarsus* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンド・たまりなどの砂泥・砂礫・石礫・落葉落枝の間隙筒巣を固着させてFPOMを濾過して生活する
エグリトビケラ科	エグリトビケラ科	Limnephilidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ガガンボ科	ガガンボ科	Tipulidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
アミカ科	フタマタアミカ属（成虫を含む）	*Philorus* sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
ユスリカ科　モンユスリカ亜科　モンユスリカ亜科		Tanypodinae gen. spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

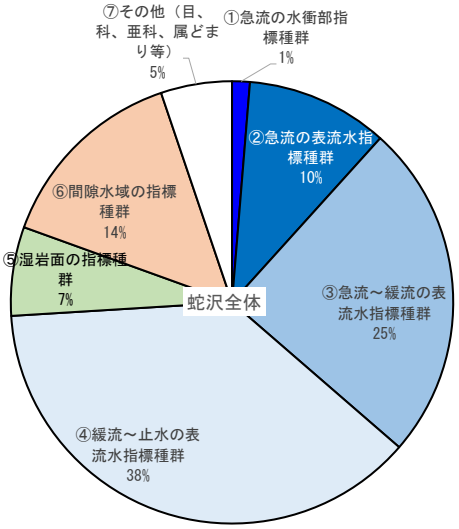


図 424　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 29 蛇沢）

表 419　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 30 蛇沢南の沢 1/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
アミメシマトビケラ科　Arctopsy	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミメシマトビケラ科　Arctopsy	シロフツヤトビケラ	*Parapsyche maculata*	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ヒラタウズムシ科	ホソウズムシ属 *Phagocata*属	*Phagocata* sp.	源流全域・細流の枝谷	表流水・強低温湧水	冷水温の湧水中の岩盤や石表面に生息する（水温上限15℃-13℃　適温13℃-10℃以下）
ヒラタウズムシ科	ヒラタウズムシ科	Planariidae gen. spp.	種により異なるが基本的に源流・枝谷細流のどこか	表流水・強低温湧水	冷水温の湧水中（水温上限15℃-13℃　適温13℃-10℃以下）
トビイロカゲロウ科	トビイロカゲロウ属 Paraleptophlebia属	*Paraleptophlebia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	コカゲロウ科（成虫を含む）	Baetidae gen. spp.	種により異なる	表流水	種により異なる
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
アミメカワゲラ科　クサカワゲラ亜科	クサカワゲラ属 Isoperla属	*Isoperla* sp.	種により異なる	表流水	生息条件が種によって異なる
カクツツトビケラ科	オオカクツツトビケラ	*Lepidostoma crassicorne*	源流・枝谷・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
トビケラ科	ムラサキトビケラ	*Eubasilissa regina*	源流～上流	表流水	淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。
ブユ科	ツノマユブユ属	*Eusimulium* sp.	源流・細流・湧水	表流水	細流中や小規模な湧水流路に生息し、礫やツルヨシ，流木，小枝，落ち葉などに付着生活する

表 420　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 30 蛇沢南の沢 2/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
カワトビケラ科	ヒメタニガワトビケラ属：ナガノタニガワトビケラ Wormaldia kisoensis ウオヌマタニガワトビケラ *Wormaldia uonumana* フジノタニガワトビケラ *Wormaldia fujinoensis* 他の可能性	*Wormaldia* sp.	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
マメシジミ科	マメシジミ属	*Pisidium* sp.	種により異なる	間隙水域	淵、ワンド、周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
ヒメミミズ科	ヒメミミズ科	Enchytraeidae gen. sp.	全流程	間隙水域・リターパック	淵、ワンド、周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
ツリミミズ目	―	Lumbricida fam. gen. spp.	全流程	間隙水域・リターパック	周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
オビヒメガガンボ科	ダイミョウガガンボ属	*Pedicia* sp.	源流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域・蘚類マット・落葉落枝	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する。（冷水性種を含む）
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ヌカカ科	ヌカカ科（成虫を含む）	Ceratopogonidae sp.	種により異なる	表流水・間隙水	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ホソケブカエリユスリカ属	*Neobrillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	朽木掘潜	水中に没した朽木や落葉落枝に穿入する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセトゲアシエリユスリカ属	*Parachaetocladius* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの岸際や砂州上の河床間隙に生息する種や抽水植物や沈水植物の根系に生息する種が知られている。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ナガレツヤユスリカ属	*Rheocricotopus* sp.	源流～上流・枝谷・湖沼	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	アシマダラユスリカ属	*Stictochironomus* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	間隙水域	淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
カワトビケラ科	カワトビケラ科　他にコタニガワトビケラ属 Chimarraトゲタニガワトビケラ属 Kisauraの可能性あり	Philopotamidae gen. sp.	種により異なる	湿岩面・表流水・間隙水域	種により異なる
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
エグリトビケラ科	エグリトビケラ科	Limnephilidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ガガンボ科	ガガンボ科	Tipulidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
ガムシ科	ガムシ科	Hydrophilidae sp.	種により異なる	種により異なる	源流・上流・細流の落ちたまりなどに生息

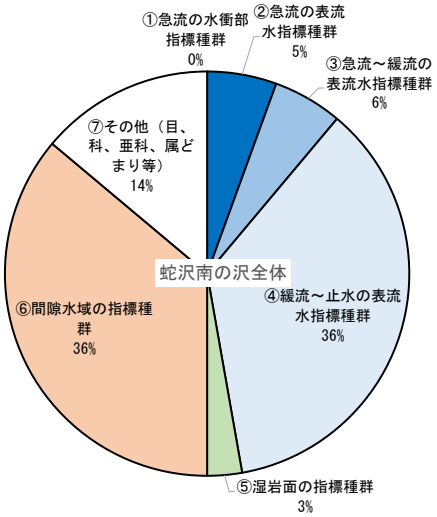


図 425　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 30 蛇沢南の沢）

表 421　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 31 奥西河内川 1/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	源流～中流	表流水・急流	小滝・早瀬の巨石や石の流速の速い石表面
ヒラタカゲロウ科	ウエノヒラタカゲロウ	*Epeorus curvatulus*	上流～中流	表流水・急流	小滝・早瀬の巨石や石の流速の速い石表面（ウエノヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度24.0℃-最低温度12.5℃（平均16.6℃））
カワゲラ科	キカワゲラ属 Xanthoneuria属 キクロカワゲラ X. bolivariかジョウクリカワゲラ X. jouklii	*Xanthoneuria* sp.	源流～上流	表流水・急流	小滝・早瀬の巨石や石の流速の速い石の下に生息。（生息水温範囲：13-15℃以下）
アミカ科	ヤマトコマドアミカ（コマドアミカ属（ヤマトアミカ属））	*Agathon japonicus*	源流～上流・枝谷	表流水・急流	滝や早瀬の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する。（冷水性）
アミカ科	ハナレメナミアミカ（ナミアミカ属（ニホンアミカ属）　）	*Blepharicera shirakii*	源流～上流・枝谷	表流水・急流	早瀬や平瀬の岩盤・石礫・流木の表面に生息する（緩流部にも生息する）
アミカ科	ミヤマフタマタアミカフタマタアミカ属	*Philorus alpinus*	源流～上流・枝谷	表流水・急流（蛹は湿岩面）	滝や早瀬の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する（冷水性）
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石砂利などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sacharinensis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
コカゲロウ科	Fコカゲロウ	*Baetis* sp.F	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（ユミモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.0℃-最低温度12.4℃（平均16.7℃））
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	源流～上流	強低温表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性：卵の最適生息温度：8℃）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
シマトビケラ科 Hydropsychidae	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する。（比較的高温耐性あり）
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シマトビケラ属の1種	*Hydropsyche* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い簡巣を固着させて生息。（高温耐性あり）
ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する。（雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃、耐酸性が強い（pH2-3台でも生息可））
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる extトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Retracta group）ユミナガレトビケラ，モタカンタナガレトビケラ、トガリミジカオナガレトビケラ，ウエノナガレトビケラ *R. retracta*，カドオナガレトビケラ*R. humerigera*（青森・秋田），*R. geranos*，　*R. koryne*，	*Rhyacophila* sp.（*Retracta* group）	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
アミカ科	クロバアミカ（クロバアミカ属）	*Bibiocephala infuscata infuscata*	上流～中流	表流水	早瀬や平瀬の石礫の表面に生息する（昼間は石の下面や側面の凹みで静止し、夜に上面を歩行して採餌）（冷水性）
ブユ科	オオブユ属（成虫を含む）	*Prosimulium* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中に生息し、石礫・抽水植物・流倒木・落葉落枝などの表面に付着生活する
ハリガネムシ科	ハリガネムシ科	Gordiidae gen. spp.	種により異なる（全流程の可能性あり）	表流水・緩流止水	淵やワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*	上流～中流	表流水・リターパック	淵やワンドの石礫・砂利・砂底・流倒木の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）などの隙間に生息。
マダラカゲロウ科	トウヨウマダラカゲロウ属 Cincticostella属	*Cincticostella* sp.	上流～中流	表流水	淵やワンドの石礫・砂利・砂底・流倒木の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）などの隙間に生息。
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。

表 422　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 31 奥西河内川 2/2）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヒラタカゲロウ科	クロタニガワカゲロウ	*Ecdyonurus tobiironis*	上流・枝谷・細流下部	表流水	淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミドリタニガワカゲロウ	*Ecdyonurus viridis*	上流～中流	表流水	平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	エルモンヒラタカゲロウ or マツムラヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium or E. l-nigrus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。（エルモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.6℃-最低温度12.4℃（平均17.0℃））
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒメヒラタカゲロウ属　（成虫を含む）	*Rhithrogena* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	種により異なる	表流水・リターパック	淵・ワンド・たまりなどの止水域の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）ないし緩流域のダム型リターパック（落葉落枝の塊）の隙間に生息。（冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒロバネアミメカワゲラ Pseudomegarcys japonicus	*Pseudomegarcys japonica*	源流～上流	強低温表流水	堆積型リターパック内（強冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	コウノアミメカワゲラ属 Tadamus属	*Tadamus* sp.	源流～上流	表流水	緩流域の堆積型リターパック内に生息する。（冷水性）
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	ヤマガタトビイロトビケラ	*Nothopsyche yamagataensis*	上流～中流	表流水・湧水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
クロツツトビケラ科	アツバエグリトビケラ属	*Neophylax* sp.	源流～上流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	源流～上流・枝谷	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ゲンゴロウ科	サワダマメゲンゴロウ	*Platambus sawadai*	源流域の流水河道から隔離されたたまり・高標高の池沼	表流水・湧水	種により異なる
マルハナノミ科	マルハナノミ科	Scirtidae sp.	種により異なる	表流水	源流全域並びに上流域のワンドやたまり流倒木・朽木の窪みや落葉落枝の隙間に生息
ツリミミズ目	－	Lumbricida fam. gen. spp.	全流程	間隙水域・リターパック	周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ナガレトビケラ科	シコツナガレトビケラ	*Rhyacophila shikotsuensis*	上流～中流・枝谷・細流	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・藚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ケユキユスリカ属	*Pseudodiamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ホソケブカエリユスリカ属	*Neobrillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	朽木掘潜	水中に没した朽木や落葉落枝に穿入する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ナガレツヤユスリカ属	*Rheocricotopus* sp.	源流～上流・枝谷・湖沼	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ツヤムネユスリカ属	*Microtendipes* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
アミカ科	フタマタアミカ属（成虫を含む）	*Philorus* sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	モンユスリカ亜科	Tanypodinae gen. spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
ハエ目（双翅目）	－	DIPTERA sp.	種により異なる	種により異なる	源流全域並びに上流域のワンドやたまり（冷水性）

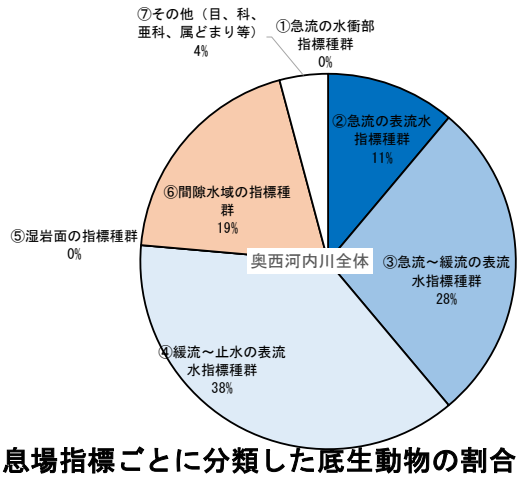


図 426　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 31 奥西河内川）

表 423　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 32 赤石沢 1/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヒラタカゲロウ科	オナガヒラタカゲロウ	*Epeorus hiemalis*	源流～上流	急流・湿岩面	小滝や早瀬の落差のある滝を流れ落ちる岩面の剥離流の裏側部分に生息する（オナガヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度17.7℃-最低温度12.7℃（平均14.5℃））
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	源流～中流	表流水・急流	小滝・早瀬の巨石や石の流速の速い石表面
カワゲラ科	キカワゲラ属 Xanthoneuria属 キクロカワゲラ X. bolivariかショウクリカワゲラ X. jouklii	*Xanthoneuria* sp.	源流～上流	表流水・急流	小滝・早瀬の巨石や石の流速の速い石の下に生息。（生息水温範囲：13-15℃以下）
アミメシマトビケラ科　Arctops	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミカ科	ヤマトコマドアミカ（コマドアミカ属（ヤマトアミカ属））	*Agathon japonicus*	源流～上流・枝谷	表流水・急流	滝や早瀬の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する。（冷水性）
アミカ科	ナミアミカ属（ニホンアミカ属）（成虫を含む）	*Blepharicera* sp.	源流～上流・枝谷	表流水・急流	早瀬や平瀬の岩盤・石礫・流木の表面に生息する（緩流部にも生息する）（種によって高温耐性あり）
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石砂利などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sacharinensis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	トゲマダラカゲロウ属 Drunella属	*Drunella* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*	中流～下流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表層に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
コカゲロウ科	Fコカゲロウ	*Baetis* sp.F	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（ユミモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.0℃-最低温度12.4℃（平均16.7℃））
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ亜科	Acroneuriinae sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	源流～上流	強低温表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性：卵の最適生息温度：8℃）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	源流～上流	強低温表流水	ダム型リターパック内早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性）
シマトビケラ科 Hydropsychidae	ミヤマシマトビケラ属 Diplectrona属	*Diplectrona* sp.	源流の最上流域	間隙水域	細流の砂利石礫底の下の間隙中に営巣する
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
シマトビケラ科 Hydropsychidae	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する。（比較的高温耐性あり）

表 424　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 32 赤石沢 2/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シマトビケラ属の1種	*Hydropsyche* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。（高温耐性あり）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる exトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Anatina group）フタタマオナガレトビケラ，ナカガワナガレトビケラ，*R. kuranishii*	*Rhyacophila* sp.（*Anatina* group）	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流～上流の滝-早瀬-細流
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Retracta group）ユミナガレトビケラ，モタカンタナガレトビケラ、トガリミジカオナガレトビケラ，ウエノナガレトビケラ *R. retracta*，カドオナガレトビケラ*R. humerigera*（青森・秋田），*R. geranos*，*R. koryne*，	*Rhyacophila* sp.（*Retracta* group）	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
アミカ科	クロバアミカ（クロバアミカ属）	*Bibiocephala infuscata infuscata*	上流～中流	表流水	早瀬や平瀬の石礫の表面に生息する（昼間は石の下面や側面の凹みで静止し、夜に上面を歩行して採餌）（冷水性）
アミカ科	クロバアミカ属	*Bibiocephala* sp.	源流～上流・枝谷	表流水	早瀬や平瀬の石礫の表面に生息する（昼間は石の下面や側面の凹みで静止し、夜に上面を歩行して採餌）（冷水性を含む）
ブユ科	オオブユ属（成虫を含む）	*Prosimulium* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中に生息し、石礫・抽水植物・流倒木・落葉落枝などの表面に付着生活する
サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	*Dugesia japonica*	源流～上流・細流の枝谷	表流水・低温湧水	湧水などの冷水温環境に生息する。（生息水温範囲：10.2-20.0℃）
サンカクアタマウズムシ科	サンカクアタマウズムシ科	Dugesiidae gen. spp.	種により異なる（ナミウズムシであれば源流～上流・細流の枝谷）	表流水(種によって高温耐性あり)	種により異なる（水温適正も種により異なり外来種には高温耐性種もいる）
ヒラタウズムシ科	ホソウズムシ属　ミヤマウズムシ	*Phagocata vivida*	源流全域・枝谷の細流	表流水・強低温湧水	冷水温の湧水中の岩盤や石表面に生息する（水温上限15℃-13℃　適温13℃-10℃以下）
モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	源流～上流・枝谷・細流	間隙水域	平瀬、淵、ワンド、たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層と河床間隙に生息。
マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*	上流～中流	表流水・リターパック	淵やワンドの石礫・砂利・砂底・流倒木の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）などの隙間に生息。
マダラカゲロウ科	トウヨウマダラカゲロウ属 Cincticostella属	*Cincticostella* sp.	上流～中流	表流水	淵やワンドの石礫・砂利・砂底・流倒木の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）などの隙間に生息。
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミドリタニガワカゲロウ	*Ecdyonurus viridis*	上流～中流	表流水	平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	タニガワカゲロウ属 Ecdyonurus属	*Ecdyonurus* sp.	源流～中流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	エルモンヒラタカゲロウ or マツムラヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium or E. l-nigrus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。（エルモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.6℃-最低温度12.4℃（平均17.0℃））
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒメヒラタカゲロウ属　（成虫を含む）	*Rhithrogena* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	種により異なる	表流水・リターパック	淵・ワンド・たまりなどの止水域の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）ないし緩流域のダム型リターパック（落葉落枝の塊）の隙間に生息。（冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒロバネアミメカワゲラ Pseudomegarcys japonicus	*Pseudomegarcys japonica*	源流～上流	強低温表流水	堆積型リターパック内（強冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	コウノアミメカワゲラ属 Tadamus属	*Tadamus* sp.	源流～上流	表流水	緩流域の堆積型リターパック内に生息する。（冷水性）
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
イワトビケラ科	イワトビケラ科	Polycentropodidae gen. sp.	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。

表 425　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 32 赤石沢 3/3）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
トビケラ科	ムラサキトビケラ	*Eubasilissa regina*	源流～上流	表流水	淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の砂礫・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ナガレアブ科	クロモンナガレアブ	*Asuragina caerulescens*	上流～中流・枝谷	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	源流～上流・枝谷	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ナガレアブ科	ハマダラナガレアブ	*Atherix ibis japonica*	上流～中流	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ヒメドロムシ科	スネアカヒメドロムシ	*Heterlimnius variabilis*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	源流や細流の淵・たまりの石礫・砂利・砂・落葉落枝などの隙間に生息。
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	Osmylidae sp.	源流～上流の岸際	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類や落葉落枝中に生息する
カワトビケラ科	タニガワトビケラ属：ミミタニガワトビケラ *Dolophilodes auriculata* ノムギタニガワトビケラ *Dolophilodes nomugiensis* シンボタニガワトビケラ *Dolophilodes sinboensis*　サキブトタニガワトビケラ *Dolophilodes dilatata*　イロタニガワトビケラ *Dolophilodes iroensis*　サキボソタニガワトビケラ　*Dolophilodes angustata* の可能性	*Dolophilodes* sp.	源流～上流・細流の枝谷	湿岩面・湧水・蘚類マット	滝や早瀬の水際で岩盤・巨石・流木や表面や蘚類中を下垂れ落ちる流水中に袋状の巣を造る
オドリバエ科	トゲナシシシブキバエ属（成虫を含む）	*Wiedemannia* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	幼虫：表流水、成虫：湿岩面	種により異なる
ミズミミズ科	ミズミミズ科	Naididae gen. spp.	全流程	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙、ないしは周辺湿地の落葉溜りに生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科（成虫を含む）	Leuctridae sp.	上流～中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Nigrocephala group：鰓なし）ムナグロナガレトビケラ，ニッポンナガレトビケラ，シコツナガエトビケラ、カワムラナガレトビケラ、クワムラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Nigrocephala* group）	源流～中流・枝谷・細流（種により異なる）	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ナガレツヤユスリカ属	*Rheocricotopus* sp.	源流～上流・枝谷・湖沼	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ツヤムネユスリカ属	*Microtendipes* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
アミカ科	フタマタアミカ属（成虫を含む）	*Philorus* sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
ユスリカ科　モンユスリカ亜科	モンユスリカ亜科	Tanypodinae gen. spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ亜科	Orthocladiinae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

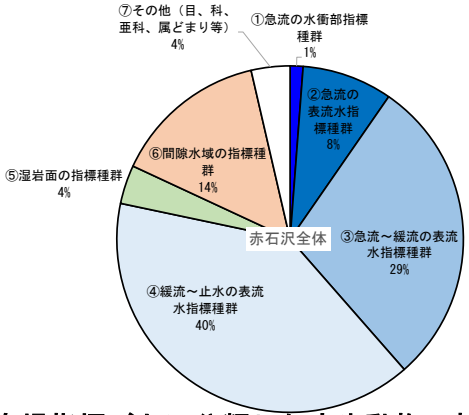


図 427　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 32 赤石沢）

表 426　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 33 北俣・中俣合流部付近（三伏沢）1/4）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ヒラタカゲロウ科	イワヒラタカゲロウ	*Epeorus cumulus*	源流～上流	急流・湿岩面	小滝や早瀬の落差のある滝を流れ落ちる岩面に生息する
希少種保護のため非公開					
アミカ科	ヤマトクチナガアミカ	*Apistomyia uenoi*	源流～上流・枝谷	急流水衝部	滝の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する
希少種保護のため非公開					
コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	上流～中流	表流水・急流	滝や早瀬の流速の速い岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	源流～中流	表流水・急流	小滝・早瀬の巨石や石の流速の速い石表面
アミメシマトビケラ科　Arctopsy	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	源流～上流源流～上流・枝谷	表流水・湿岩面	滝や早瀬の落口付近の岩盤・巨石・流木の表面に営巣する
アミカ科	ヤマトコマドアミカ（コマドアミカ属（ヤマトアミカ属））	*Agathon japonicus*	源流～上流・枝谷	表流水・急流	滝や早瀬の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する。（冷水性）
アミカ科	（コマドアミカ属（ヤマトアミカ属））	*Agathon* sp.	源流～上流・枝谷	表流水・急流	滝や早瀬の急流中の岩盤・巨石・流木の表面に生息する
アミカ科	ナミアミカ属（ニホンアミカ属）（成虫を含む）	*Blepharicera* sp.	源流～上流・枝谷	表流水・急流	早瀬や平瀬の岩盤・石礫・流木の表面に生息する（緩流部にも生息する）（種によって高温耐性あり）
ブユ科	アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	源流～中流・枝谷・細流	表流水・急流	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・流倒木などの水衝部の表面に生息
マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石砂利などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sacharinensis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
マダラカゲロウ科	トゲマダラカゲロウ属 Drunella 属	*Drunella* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の石礫・流倒木などの表層・隙間に生息。
コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
コカゲロウ科	Fコカゲロウ	*Baetis* sp.F	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・砂・落葉落枝・水生植物などの表面に生息。
ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵やワンドの石礫・砂利の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ナミヒラタカゲロウ	*Epeorus ikanonis*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（ユミモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.0℃-最低温度12.4℃（平均16.7℃））
ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ or イワヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus or E. cumulus*	上流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	源流～上流	強低温表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・流倒木などの表面の表層に生息。（強冷水性：卵の最適生息温度：8℃）
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シマトビケラ属の1種	*Hydropsyche* sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
シマトビケラ科 Hydropsychidae	シマトビケラ科	Hydropsychidae gen. sp.	種により異なる	表流水	早瀬・平瀬の流水中の巨石・石礫・流倒木などの上面や側面に造巣する
ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫・流倒木などの表面に砂粒で粗い筒巣を固着させて生息。（高温耐性あり）
ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する。（雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃、耐酸性が強い（pH2-3台でも生息可））
ナガレトビケラ科	トワダナガレトビケラ	*Rhyacophila towadensis*	源流～上流・枝谷・細流（細流中心）	表流水	早瀬・平瀬の流水中の岩盤・巨石・石礫・流倒木などの表面に生息する
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	源流～上流・枝谷・細流（種により異なる extトワダは細流中心）	表流水	（トワダナガレトビケラは細流中心）（レゼイナガレトビケラ雄発育零点7.0℃雌発育零点6.8℃）
ナガレトビケラ科	ヒロアタマナガレトビケラ	*Rhyacophila brevicephala*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	クレメンスナガレトビケラ	Rhyacophila clemens	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Clemens group：鰓なし）クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Clemens* group）	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	タシタナガレトビケラ（Lieftinki group）	*Rhyacophila impar*（*Lieftinki* group）	源流～上流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。

表 427　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 33 北俣・中俣合流部付近（三伏沢）2/4）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ナガレトビケラ科	RCナガレトビケラ	Rhyacophila sp. RC	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Retracta group）ユミナガレトビケラ，モタカンタナガレトビケラ、トガリミジカオナガレトビケラ，ウエノナガレトビケラ *R. retracta*，カドオナガレトビケラ*R. humerigera*（青森・秋田），*R. geranos*，*R. koryne*，	*Rhyacophila* sp. (*Retracta* group)	源流～上流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
アミカ科	クロバアミカ（クロバアミカ属）	*Bibiocephala infuscata infuscata*	上流～中流	表流水	早瀬や平瀬の石礫の表面に生息する（昼間は石の下面や側面の凹みで静止し、夜に上面を歩行して採餌）（冷水性）
アミカ科	クロバアミカ属	*Bibiocephala* sp.	源流～上流・枝谷	表流水	早瀬や平瀬の石礫の表面に生息する（昼間は石の下面や側面の凹みで静止し、夜に上面を歩行して採餌）（冷水性を含む）
ブユ科	オオブユ属（成虫を含む）	*Prosimulium* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中に生息し、石礫・抽水植物・流倒木・落葉落枝などの表面に付着生活する
ヒラタウズムシ科	カズメウズムシ属 *Polycelis*属	*Polycelis* sp.	源流の最上流域・枝谷の細流	表流水・極低温湧水	極低水温の湧水中落ち葉だまりや湿地に生息する（水温上限13℃-10℃　適温10℃-8℃以下）
ヒラタウズムシ科	キタカズメウズムシ属 カズメウズムシ	*Seidlia auriculata*	源流の最上流域・枝谷の細流	表流水・極低温湧水	極低水温の湧水中落ち葉だまりや湿地に生息する（水温上限13℃-10℃　適温10℃-8℃以下）
ヒメフタオカゲロウ科	クロベヒメフタオカゲロウ	*Ameletus subalpinus*	源流・枝谷	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。（これまで1,000m以上の高標高域で確認されていることから冷水性と推察される）
ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus属	*Ameletus* spp.	種により異なる	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の岸際の石礫・落葉落枝底などの表層に生息。
コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	上流～中流	表流水	平瀬、淵、ワンドの石礫・砂利・砂・落葉落枝底などの表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	エルモンヒラタカゲロウ or マツムラヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium or E. l-nigrus*	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。（エルモンヒラタカゲロウの九州における生息地の温度条件：最高温度27.6℃-最低温度12.4℃（平均17.0℃））
ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	源流～中流	表流水	小滝・早瀬・平瀬の流水中の岩盤・石礫・砂利・流倒木などの表面の表層に生息。
ヒラタカゲロウ科	ヒメヒラタカゲロウ属　（成虫を含む）	*Rhithrogena* sp.	上流～中流	表流水	早瀬・平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息。
オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	源流～下流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
オナシカワゲラ科	ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・リターパック	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	種により異なる	表流水・リターパック	淵・ワンド・たまりなどの止水域の堆積型リターパック（落葉落枝の塊）ないし緩流域のダム型リターパック（落葉落枝の塊）の隙間に生息。（冷水性）
アミメカワゲラ科　アミメカワゲラ亜科	ヒロバネアミメカワゲラ Pseudomegarcys japonicus	*Pseudomegarcys japonica*	源流～上流	強低温表流水	堆積型リターパック内（強冷水性）
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	上流～中流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
カクスイトビケラ科	マルツツトビケラ	*Micrasema quadriloba*	源流～上流・枝谷・細流の岸際	表流水・蘚類マット・湿岩面	蘚類の携巣型で滝・早瀬・平瀬・淵・湧水の岩盤・石礫・流倒木の蘚類にしがみ付いて生活する。
カクスイトビケラ科	ウエノマルツツトビケラ	*Micrasema uenoi*	源流～上流・枝谷の岸際	表流水・蘚類マット・湿岩面	砂粒の携巣型で滝・早瀬・平瀬・淵・湧水の岩盤・石礫・流倒木の蘚類にしがみ付いて生活する。（冷水性）
カクツツトビケラ科	オオカクツツトビケラ	*Lepidostoma crassicorne*	源流・枝谷・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	源流～上流・細流	表流水	淵・ワンド・平瀬・たまりなどの止水域ないし緩流域の石礫・落葉落枝底などの表層や隙間に生息。
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Pseudostenophylax ondakensis*	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
エグリトビケラ科	オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	源流・枝谷・細流・湿地	表流水	源流の淵や細流のたまりなどの止水域ないし緩流域のリターパックに生息。（強冷水性）
クロツツトビケラ科	アツバエグリトビケラ属	*Neophylax* sp.	源流～上流	表流水	砂粒の携巣型で早瀬・平瀬・淵の岩盤・石礫の上面の付着藻類を剥ぎ取る。
オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	源流・上流・細流の岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水部）	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	上流～中流	表流水	（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ属	*Diamesa* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する。（冷水性）

表 428　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 33 北俣・中俣合流部付近（三伏沢）3/4）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬、淵の流水中の砂礫・植物の根の隙間や砂州内河床間隙水域に生息。
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	ササユスリカ属	*Sasayusurika* sp.	源流～上流・枝谷・細流(原記載地：日光外山沢、再記載地：滋賀県霊山漆ケ滝)	表流水・間隙水域	緩流中の各種底質表面や間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水	流水中の砂礫・流倒木・落葉落枝の間隙に生息
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガレユスリカ属	*Rheotanytarsus* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水	平瀬・淵などの緩流部の岩盤・石礫の表面に固着させた簡巣に網を張ってFPOMを濾し取って生活する
ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	源流～上流・枝谷	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ナガレアブ科	ナガレアブ科	Athericidae sp.	属・種により異なる	表流水	平瀬や淵の流水中の石礫・流倒木の表面や間隙に生息
ゲンゴロウ科	カノシマチビゲンゴロウ Oreodytes属	*Oreodytes kanoi*	源流～上流	表流水・湧水	中下流域のワンドやたまり。（高温耐性あり）
ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Yoraperla uenoi*	源流の滝・細流の水際湿岩面	湿岩面・湧水	湿岩面Hygropetric zone に生息する（生息水温範囲：13-15℃以下）
ヒメトビケラ科	カクヒメトビケラ属	*Stactobia* spp.	源流～上流の水際・枝谷・細流の下垂れ	湿岩面・湧水・蘚類マット	岩盤や石礫の蘚類群落中に生息する
チョウバエ科	チョウバエ科	Psychodidae sp.	源流～上流・枝谷の水際	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面Hygropetric zoneや蘚類群落内に生息
ユスリカ科　ヤマユスリカ亜科	タニユスリカ属　*Boreoheptagyia* 属	*Boreoheptagyia* sp.	源流～上流・枝谷の水際	湿岩面	滝や下垂れの湿岩面や蘚類マットに生息。（冷水性）
ホソカ科	クロホソカ	*Dixa yamatona*	源流・細流・湧水の岸際・湿地	表流水・湿岩面・湿地	滝や滴れの湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息
ホソカ科	ホソカ属	*Dixa* sp.	源流・細流・湧水の岸際・湿地	表流水・湿岩面・湿地	滝や滴れの湿岩面・蘚類マット・細流の岸際に生息
ヒメミミズ科	ヒメミミズ科	Enchytraeidae gen. sp.	全流程	間隙水域・リターパック	淵、ワンド、周辺湿地の落葉溜りや河床間隙に生息。
クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	源流の最上流域～上中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科（成虫を含む）	Leuctridae sp.	上流～中流	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	種により異なる	間隙水域	平瀬、淵、ワンドの河床間隙に生息。
ナガレトビケラ科	ニッポンナガレトビケラ	Rhyacophila nipponica	上流～中流	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Nigrocephala group：鰓なし）ムナグロナガレトビケラ，ニッポンナガレトビケラ，シコツナガエトビケラ、カワムラナガレトビケラ、クワムラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp. (*Nigrocephala* group)	源流～中流・枝谷・細流（種により異なる）	間隙水域・表流水	平瀬・淵の流水中の石礫・砂利・流倒木などの表面に生息する種と下面や砂礫の間隙水中に生息する種があるがいずれも緩流域が中心。
オビヒメガガンボ科	ダイミョウガガンボ属	*Pedicia* sp.	源流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域・蘚類マット・落葉落枝	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する。（冷水性種を含む）
オビヒメガガンボ科	オビヒメガガンボ科	Pediciidae sp.	源流・上流・細流・湧水・岸際・湿地	間隙水域・表流水（流水が必要な種あり）	種により異なる
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	源流～中流・枝谷・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥底・石礫・蘚類マットの表面や間隙を歩行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	カスリヒメガガンボ属	*Limnophila* sp.	源流～中流・細流	表流水・間隙水	平瀬や淵の砂泥・石礫・蘚類マットの間隙に潜行し水生動物を捕食する
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	フチケガガンボ属	*Paradelphomyia* sp.	源流～中流・細流	表流水・間隙水	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂底泥の間隙に生息する
ヒメガガンボ科　トゲアシヒメガガンボ亜科	ツヤヒメガガンボ属	*Pilaria* sp.	源流～中流・細流	表流水・間隙水	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂底泥の間隙に生息する
ガガンボ科	ガガンボ属	*Tipula* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・細流の岸際や湧水・湿地の砂礫・砂泥・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	コナユスリカ属	*Corynoneura* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	間隙水域	緩流中の砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセトゲアシエリユスリカ属	*Parachaetocladius* sp.	源流～上流・枝谷・細流・湧水	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの岸際や砂州上の河床間隙に生息する種や抽水植物や沈水植物の根系に生息する種が知られている。（冷水性）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	源流～中流・枝谷・細流・湧水・湿地	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ナガレツヤユスリカ属	*Rheocricotopus* sp.	源流～上流・枝谷・湖沼	間隙水域	平瀬・淵・ワンドの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ヌカユスリカ属	*Thienemanniella* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.	源流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼・湿地	表流水・間隙水域	早瀬・平瀬・淵・ワンドなどの各種底質表面や間隙に生息する。（種によって高温耐性あり）
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	上流～下流・枝谷・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンドなどの砂泥・砂礫・落葉落枝の間隙に生息する
ユスリカ科　ユスリカ亜科	ヒゲユスリカ属	*Tanytarsus* sp.	上流～下流・枝谷・細流・湧水・湖沼	表流水・間隙水域	平瀬・淵・ワンド・たまりなどの砂泥・砂礫・石礫・落葉落枝の間隙簡巣を固着させてFPOMを濾過して生活する

表 429　指標種群ごとの底生動物一覧（沢 33 北俣・中俣合流部付近（三伏沢）4/4）

科名　　亜科名	種名	学名	生息域の流程	生息場指標	生息場条件の解説
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ科の数種	Rhyacophilidae gen. spp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
エグリトビケラ科	エグリトビケラ科	Limnephilidae sp.	種により異なる	表流水	種により異なる
ヒメガガンボ科	ヒメガガンボ科（成虫を含む）	Limoniidae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる
アミカ科	フタマタアミカ属（成虫を含む）	*Philorus* sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる（冷水性を含む）
ユスリカ科　エリユスリカ亜科	エリユスリカ亜科	Orthocladiinae sp.	種により異なる	種により異なる	種により異なる

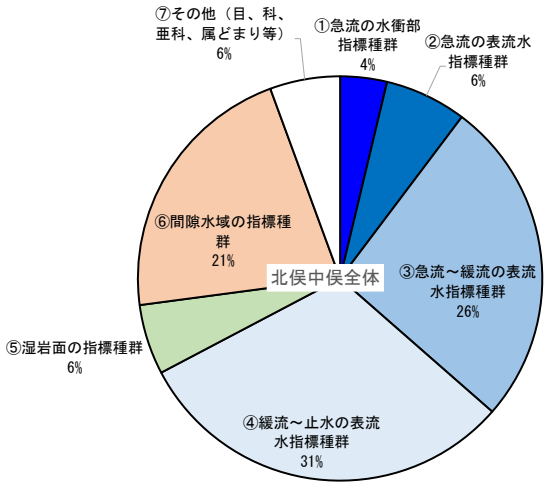


図 428　生息場指標ごとに分類した底生動物の割合（沢 33 北俣・中俣合流部付近（三伏沢））

2.3. これまでの沢の水生生物等の捕獲等調査の結果

これまで実施した沢の水生生物等の捕獲等調査の詳細について、以下に示します。

魚類の捕獲等調査結果

・2021～2025 年度の捕獲等調査の結果、環境 DNA 分析の結果、ヤマトイワナの生息状況を表 430、表 431 に示します。

底生動物の捕獲等調査結果

・2014～2025 年度の捕獲等調査で現地において確認された種、環境 DNA 分析で確認された種の一覧を表 432～表 441 に示します。

両生類の捕獲等調査結果

・2014～2025 年度の捕獲等調査で現地において確認された種、環境 DNA 分析で確認された種の一覧を表 442～表 445 に示します。

表 430　魚類のこれまでの捕獲等調査の結果およびヤマトイワナの生息状況（流量減少が予測される沢）

No.	沢名称	過年度調査		R7年度調査							
		沢下流域		沢上流域				沢下流域			
		鰭サンプルを用いたヤマトイワナ同定のためのDNA分析		捕獲調査	鰭サンプルを用いたヤマトイワナ同定のためのDNA分析		環境DNA分析によるイワナ類の在・不在	捕獲調査	鰭サンプルを用いたヤマトイワナ同定のためのDNA分析		環境DNA分析によるイワナ類の在・不在
		ヤマトイワナ	交雑種		ヤマトイワナ	交雑種			ヤマトイワナ	交雑種（可能性含む）	
		計（個体）	計（個体）	計（個体）	計（個体）	計（個体）	分析結果	計（個体）	計（個体）	計（個体）	分析結果
沢07	蛇抜沢	希少種保護のため非公開									
沢09	悪沢										
沢13	ジャガ沢										
沢14	流沢										
沢15	二軒小屋南西の沢										
沢16	上スリバチ沢										
沢17	スリバチ沢										
沢29	蛇沢										

：流量減少の予測される沢

表 431　魚類のこれまでの捕獲等調査の結果およびヤマトイワナの生息状況（流量減少が予測されない沢）

No.	沢名称	過年度調査		R7年度調査							
		沢下流域		沢上流域				沢下流域			
		鰭サンプルを用いたヤマトイワナ同定のためのDNA分析		捕獲調査	鰭サンプルを用いたヤマトイワナ同定のためのDNA分析		環境DNA分析によるイワナ類の在・不在	捕獲調査	鰭サンプルを用いたヤマトイワナ同定のためのDNA分析		環境DNA分析によるイワナ類の在・不在
		ヤマトイワナ	交雑種		ヤマトイワナ	交雑種			ヤマトイワナ	交雑種（可能性含む）	
		計（個体）	計（個体）	計（個体）	計（個体）	計（個体）	分析結果	計（個体）	計（個体）	計（個体）	分析結果
沢01	内無沢	希少種保護のため非公開									
沢02	魚無沢										
沢03	瀬戸沢										
沢04	上岳沢										
沢05	西小石沢										
沢06	柾小屋沢										
沢08	柳沢										
沢10	大崩										
沢11	徳右衛門沢										
沢12	曲輪沢										
沢18	車屋沢										
沢19	燕沢										
沢20	大尻沢北の沢										
沢21	大尻沢										
沢22	蛇沢南東の沢										
沢23	破風石沢										
沢24	下木賊沢北の沢										
沢25	下木賊沢										
沢26	虎杖沢										
沢27	上千枚沢										
沢28	下千枚沢										
沢30	蛇沢南の沢										
沢31	奥西河内沢										
沢32	赤石沢										
沢33	北俣・中俣合流部付近（三伏沢）										

表 432　底生動物のこれまでの捕獲等調査による確認種一覧（流量減少が予測される沢 1/5）

科名	亜科名	種名	学名	捕獲等調査確認状況	DNA確認状況	07 蛇抜沢					09 原沢					13 ジャガ沢					14 流沢					15 二軒小屋南西の沢		16 上スリバチ沢					17 スリバチ沢					29 蛇沢				
						捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA		捕獲	環境DNA	捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA	
						これまで	R7沢/下流	R7沢/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7沢/下流	R7沢/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7沢/下流	R7沢/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7沢/下流	R7沢/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	これまで	R7沢/下流	R7沢/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7沢/下流	R7沢/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7沢/下流	R7沢/上流	R7秋/下流	R7秋/上流
サンカクアタマウズムシ科		ナミウズムシ	*Dugesia japonica*	●		●					●																●						●	●			●				
サンカクアタマウズムシ科		サンカクアタマウズムシ科	Dugesiidae gen. spp.	●																							●														
ヒラタウズムシ科		ホソウズムシ属　ミヤマウズムシ	*Phagocata vivida*	●		●	●				●	●																												
ヒラタウズムシ科		キタカズメウズムシ属 カズメウズムシ	*Seidlia auriculata*	●			●																											●						
三岐腸目		―	Tricladida fem. gen. spp.	●							●										●	●				●			●	●					●						
ハリガネムシ科		ハリガネムシ科	Gordiidae gen. spp.	●																						●														
ナガミミズ科		ナガミミズ科	*Haplotaxidae sp.*	●							●																													
ヒメミミズ科		ヒメミミズ科	Enchytraeidae gen. sp.	●																																		●			
ミズミミズ科		ナミミズミミズ	*Nais communis*		●																																			
ミズミミズ科		ナミミズミミズ属 Nais属	*Nais* sp.	●							●					●																		●	●						
ミズミミズ科		ミズミミズ科	Naididae gen. spp.	●													●					●				●								●	●	●			●			
ツリミミズ科		ツリミミズ科	Lumbricidae gen. spp.		●																		●																	
フトミミズ科		フトミミズ科	Megascolecidae gen. spp.	●																														●						
ツリミミズ目		―	Lumbricida fam. gen. spp.	●							●																							●				●			
厚環帯目		―	Crassiclitellata sp.	●																															●						
吻無蛭目		―	Arhynchobdellida fam. gen. spp.	●																														●						
トビイロカゲロウ科		トビイロカゲロウ属 Paraleptophlebia属	*Paraleptophlebia* sp.	●																		●												●	●					
カワカゲロウ科		カワカゲロウ属	*Potamanthus* sp.	●													●																						
モンカゲロウ科		フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	●	●							●		●			●		●	●	●		●	●	●				●					●	●	●	●		●		●	●
マダラカゲロウ科		オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*	●							●																							●			●				
マダラカゲロウ科		トウヨウマダラカゲロウ属 Cincticostella属	*Cincticostella* sp.	●												●																		●					●		
マダラカゲロウ科		オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	●	●	●					●			●					●		●			●									●			●	●				
マダラカゲロウ科		ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*	●							●		●			●	●	●				●	●											●							
マダラカゲロウ科		フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sacharinensis*	●		●					●		●			●							●											●				●	●		
マダラカゲロウ科		ミツトゲマダラカゲロウ	*Drunella trispina*	●												●																		●							
マダラカゲロウ科		トゲマダラカゲロウ属 Drunella属	*Drunella* sp.	●		●	●				●	●	●			●					●														●	●					
マダラカゲロウ科		マダラカゲロウ属 Ephemerella属	*Ephemerella* sp.	●																		●														●	●				
マダラカゲロウ科		マダラカゲロウ科	Ephemerellidae gen. spp.	●													●																								
ヒメフタオカゲロウ科		ヒメフタオカゲロウ	*Ameletus montanus montanus*		●										●																										
ヒメフタオカゲロウ科		クロベヒメフタオカゲロウ	*Ameletus subalpinus*	●													●	●																							
ヒメフタオカゲロウ科		ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus属	*Ameletus* spp.	●		●	●	●			●	●	●			●					●	●	●											●	●	●					
コカゲロウ科		ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	●		●					●	●				●																		●	●			●			
コカゲロウ科		フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	●		●	●	●			●	●	●			●	●	●				●	●											●		●		●	●		
コカゲロウ科		フタモンコカゲロウ	*Baetis taiwanensis*	●													●																								
コカゲロウ科		シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	●		●	●	●			●	●	●			●	●	●			●	●	●						●	●				●	●	●			●	●		
コカゲロウ科		Fコカゲロウ	*Baetis* sp.F	●			●					●																						●	●	●					
コカゲロウ科		コカゲロウ属の1種	*Baetis* sp.	●									●				●																								
コカゲロウ科		フタバカゲロウ属	*Cloeon* sp.	●																		●																		
ガガンボカゲロウ科		ガガンボカゲロウ　（南アルプスの遺伝的固有性指標種）	*Dipteromimus flavipterus*	●																										●	●						●			
ヒラタカゲロウ科		ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	●		●	●	●			●	●	●			●					●													●	●	●			●		
ヒラタカゲロウ科		クロタニガワカゲロウ	*Ecdyonurus tobiironis*	●			●															●	●						●	●								●			
ヒラタカゲロウ科		ミドリタニガワカゲロウ	*Ecdyonurus viridis*	●													●																								
ヒラタカゲロウ科		タニガワカゲロウ属 Ecdyonurus属	*Ecdyonurus* sp.	●							●						●	●																	●	●						
ヒラタカゲロウ科		キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●						●												●			●	●		●	
ヒラタカゲロウ科		オナガヒラタカゲロウ	*Epeorus hiemalis*	●	●							●		●		●	●	●																	●	●	●	●	●		●	●
ヒラタカゲロウ科		ナミヒラタカゲロウ	*Epeorus ikanonis*	●							●					●	●				●																		●		
ヒラタカゲロウ科		エルモンヒラタカゲロウ or マツムラヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium or E. l-nigrus*	●	●	●			●		●		●	●						●																	●	●			
ヒラタカゲロウ科		ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	●	●	●						●		●			●	●				●															●	●		●		
ヒラタカゲロウ科		イワヒラタカゲロウ	*Epeorus cumulus*	●			●	●			●	●																						●			●				
ヒラタカゲロウ科		ユミモンヒラタカゲロウ or イワヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus or E. cumulus*	●		●										●																						●			
ヒラタカゲロウ科		ヒラタカゲロウ属	*Epeorus* sp.	●	●	●		●			●		●		●		●						●		●									●	●				●			
ヒラタカゲロウ科		キハダヒラタカゲロウ属	*Heptagenia* sp.	●																		●																		
ヒラタカゲロウ科		ヒメヒラタカゲロウ属	*Rhithrogena* sp.	●		●					●	●				●	●	●				●	●																	
ヒラタカゲロウ科		ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae gen. spp.	●													●																								

表 433　底生動物のこれまでの捕獲等調査による確認種一覧（流量減少が予測される沢 2/5）

科名	亜科名	種名	学名	捕獲等調査確認状況	DNA確認状況	07 蛇抜沢					09 悪沢					13 ジャガ沢					14 流沢					15 二軒小屋南西の沢		16 上スリバチ沢					17 スリバチ沢					29 蛇沢				
						捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA		捕獲	環境DN	捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA	
						これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流
トワダカワゲラ科		ミネトワダカワゲラ （南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Scopura montana*	●		●															●						●					●								
クロカワゲラ科		クロカワゲラ科	Capniidae sp.	●	●	●	●				●					●					●						●					●			●	●	●				
ホソカワゲラ科		ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.	●		●					●										●						●													
オナシカワゲラ科		ムネオナシカワゲラ	*Amphinemura longispina*		●					●				●																										
オナシカワゲラ科		フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	●	●	●	●				●	●		●		●	●	●			●	●				●	●	●				●	●	●	●	●		●		●	
オナシカワゲラ科		クロオナシカワゲラ	*Indonemoura nohirae*		●																					●								●	●					
オナシカワゲラ科		チノオナシカワゲラ	*Nemoura chinonis*		●									●																				●	●					
オナシカワゲラ科		アサカワオナシカワゲラ	*Nemoura longicercia*		●										●																									
オナシカワゲラ科		オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	●	●	●	●				●	●	●		●	●	●	●			●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●		●	●
オナシカワゲラ科		コウノオナシカワゲラ	*Protonemura kohnoae*		●			●	●					●	●					●																				
オナシカワゲラ科		エンバンオナシカワゲラ	*Protonemura orbiculata*		●			●	●					●	●				●																●	●					
オナシカワゲラ科		ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属	*Protonemura* sp.	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
オナシカワゲラ科		オナシカワゲラ科	Nemouridae gen.spp.		●																																		●	
シタカワゲラ科		シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	●	●	●			●		●					●																		●						
ヒロムネカワゲラ科		ノギカワゲラ	*Cryptoperla japonica*		●																														●	●				
ヒロムネカワゲラ科		ミヤマノギカワゲラ （南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Yoraperla uenoi*	●	●		●					●					●		●			●												●	●	●	●				
ミドリカワゲラ科		セスジミドリカワゲラ属 Sweltsa属	*Sweltsa* spp.		●																		●																●	
ミドリカワゲラ科		ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	●	●	●	●	●			●	●	●			●	●	●			●	●	●			●	●		●	●	●	●	●	●			●	●			
カワゲラ科		モンカワゲラ	*Calineuria stigmatica*	●	●	●				●				●					●																					
カワゲラ科		モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	●	●	●	●	●			●	●	●			●					●	●	●			●								●	●	●	●				
カワゲラ科		カミムラカワゲラ属Kamimuria属	*Kamimuria* sp.	●							●						●																							
カワゲラ科		トウゴウカワゲラ属 Togoperla属 T. トウゴウカワゲラlimbataとヤマトウゴウカワゲラ T. brevispinis	*Togoperla* sp.	●																																●					
カワゲラ科		モンカワゲラ亜科	Acroneuriinae sp.	●																		●														●					
カワゲラ科		カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	●	●	●	●	●			●	●			●	●	●																			●					
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	●		●	●	●			●	●	●			●	●	●				●	●														●	●			
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ亜科	ヒロバネアミメカワゲラ Pseudomegarcys japonicus	*Pseudomegarcys japonica*	●							●					●	●	●																		●					
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	●	●	●										●					●														●	●	●		●	●	
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ亜科	ヒメアミメカワゲラ属 Skwala属	*Skwala* sp.	●		●					●					●						●	●														●	●			
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ亜科	ヒメカワゲラ属	*Stavsolus* sp.	●																			●																	
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ亜科	コグサヒメカワゲラ属	*Ostrovus* sp.	●																															●					
アミメカワゲラ科	クサカワゲラ亜科	クサカワゲラ属 Isoperla属	*Isoperla* sp.	●																			●	●						●	●							●	●		
アミメカワゲラ科		アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	●	●	●	●				●	●			●	●	●				●	●	●				●								●	●	●				
ヒメカゲロウ科		ヤマトヒメカゲロウ	*Hemerobius japonicus*		●																					●														
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae		プライヤーヒロバカゲロウ	*Osmylus pryeri*	●				●					●																										
ヒロバカゲロウ科 Osmylidae		ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	Osmylidae sp.	●		●					●	●				●	●	●			●							●								●	●			
アミメシマトビケラ科 Arctopsych		アミメシマトビケラ	*Arctopsyche spinifera*	●													●	●																					
アミメシマトビケラ科 Arctopsych		アミメシマトビケラ属 Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.	●		●					●	●				●					●	●														●	●			
アミメシマトビケラ科 Arctopsych		シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	●		●	●				●	●	●			●	●	●			●	●	●				●	●							●	●	●				
アミメシマトビケラ科 Arctopsych		シロフツヤトビケラ	*Parapsyche maculata*	●												●											●													
アミメシマトビケラ科 Arctopsych		アミメシマトビケラ科の1種	Arctopsychidae gen. spp.	●												●																							
シマトビケラ科 Hydropsychidae		コガタシマトビケラ属	*Cheumatopsyche sp.*	●																		●																	
シマトビケラ科 Hydropsychidae		ミヤマシマトビケラ属 Diplectrona属	*Diplectrona* sp.	●																		●															●	●	
シマトビケラ科 Hydropsychidae		シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*	●																		●																	
シマトビケラ科 Hydropsychidae		ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	●												●																				●				
シマトビケラ科 Hydropsychidae		シマトビケラ属の1種	*Hydropsyche* sp.	●							●					●	●					●	●													●				
シマトビケラ科 Hydropsychidae		シマトビケラ科	Hydropsychidae gen. sp.	●								●																								●				
カワトビケラ科		イロタニガワトビケラ	*Dolophilodes iroensis*		●																															●	●			
カワトビケラ科		タニガワトビケラ属 ： ミミタニガワトビケラ *Dolophilodes auriculata* ノムギタニガワトビケラ *Dolophilodes nomugiensis* シンボタニガワトビケラ *Dolophilodes sinboensis* サキブトタニガワトビケラ *Dolophilodes dilatata* イロタニガワトビケラ *Dolophilodes iroensis* サキボソタニガワトビケラ *Dolophilodes angustata* の可能性	*Dolophilodes* sp.	●							●					●																				●					

表 434　底生動物のこれまでの捕獲等調査による確認種一覧（流量減少が予測される沢 3/5）

科名　亜科名	種名	学名	捕獲等調査確認状況	DNA確認状況	07 蛇抜沢					09 幕沢					13 ジャガ沢					14 滝沢					15 二軒小屋南西の沢		16 上スリバチ沢					17 スリバチ沢					29 蛇沢				
					捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA		捕獲	環境DN	捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA	
					これまで	R7駅/下流	R7駅/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7駅/下流	R7駅/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7駅/下流	R7駅/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7駅/下流	R7駅/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	これまで	R7駅/下流	R7駅/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7駅/下流	R7駅/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7駅/下流	R7駅/上流	R7秋/下流	R7秋/上流
カワトビケラ科	ヒメタニガワトビケラ属 ： ナガノタニガワトビケラ Wormaldia kisoensis ウオヌマタニガワトビケラ *Wormaldia uonumana*　フジノタニガワトビケラ *Wormaldia fujinoensis* 他の可能性	*Wormaldia* sp.	●																								●												
カワトビケラ科	カワトビケラ科　他にコタニガワトビケラ属 Chimarraトゲタニガワトビケラ属 Kisauraの可能性あり	Philopotamidae gen. sp.	●												●					●											●								
イワトビケラ科	ミヤマイワトビケラ属: オンダケミヤマイワトビケラ*Plectrocnemia ondakeana*	*Plectrocnemia* sp.	●							●		●															●					●	●							
イワトビケラ科	イワトビケラ科	Polycentropodidae gen. sp.	●																	●											●								
ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*	●	●						●					●	●	●				●	●									●				●				
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ属の数種	*Glossosoma* spp.	●		●		●			●					●	●	●				●	●									●		●			●			
ヤマトビケラ科	ヤマトビケラ科の数種	Glossosomatidae gen. spp.	●													●																						
ヒメトビケラ科	Stactobia属の数種	*Stactobia* spp.	●																			●											●						
希少種保護のため非公開																																							
ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	●	●	●	●	●			●						●						●	●					●				●	●		●				
ナガレトビケラ科	トワダナガレトビケラ	*Rhyacophila towadensis*	●			●																							●					●	●					
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トワダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	●		●	●				●	●				●					●											●	●	●			●			
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Anatina group）フタタマオナガレトビケラ，ナカガワナガレトビケラ，*R. kuranishii*	*Rhyacophila* sp.（*Anatina* group）	●		●																																		
ナガレトビケラ科	ヒロアタマナガレトビケラ	*Rhyacophila brevicephala*	●													●					●	●																	
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Clemens group：鰓なし）クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Clemens* group）	●							●					●	●					●	●										●		●				●		
ナガレトビケラ科	タシタナガレトビケラ（Lieftinki group）	*Rhyacophila impar*（*Lieftinki* group）	●																													●							
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Lieftinki group）タシタナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Lieftinki* group）= R. impar	●		●					●		●			●																●	●	●						
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Kaltatica group）	*Rhyacophila sp.*（*Kaltatica group*）	●																													●							
ナガレトビケラ科	シコツナガレトビケラ	*Rhyacophila shikotsuensis*	●	●				●																							●								
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Nigrocephala group：鰓なし）ムナグロナガレトビケラ，ニッポンナガレトビケラ，シコツナガエトビケラ、カワムラナガレトビケラ、クワムラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Nigrocephala* group）	●			●									●	●	●				●	●										●	●				●			
ナガレトビケラ科	ユミナガレトビケラ	*Rhyacophila lambakanta*		●				●																															
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Retracta group）ユミナガレトビケラ，モタカンタナガレトビケラ、トガリミジカオナガレトビケラ，ウエノナガレトビケラ *R. retracta*，カドオナガレトビケラ*R. humerigera*（青森・秋田），*R. geranos*，*R. koryne*，	*Rhyacophila* sp.（*Retracta* group）	●		●					●	●																												
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Sibirica group）トランスクィラナガレトビケラ，キソナガレトビケラ，Sibirica group-sp.1，Sibirica group-sp.2，*R. hattorii*，*R. kobayashii*	*Rhyacophila* sp.（*Sibirica* group）	●												●						●	●										●	●	●		●	●		
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属（Ulmeri group）クラマナガレトビケラ，ミジカオナガレトビケラ，	*Rhyacophila* sp.（*Ulmeri* group）	●																								●												
ナガレトビケラ科	ナガレトビケラ属の数種	*Rhyacophila* spp.	●	●	●	●	●	●		●		●	●		●	●				●	●										●				●				
コエグリトビケラ科	コエグリトビケラ属の数種	*Apatania* spp.	●		●		●														●																		
カクスイトビケラ科	カクスイトビケラ属 Brachycentrus属	*Brachycentrus* sp.	●																												●								
カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ	*Eobrachycentrus vernalis*	●	●							●					●	●				●	●									●		●	●	●		●	●		
カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ属 Eobrachycentrus属	*Eobrachycentrus* sp.	●												●					●																●				
カクスイトビケラ科	ハナセマルツツトビケラ	*Micrasema hanasense*	●																												●								
ニンギョウトビケラ科	クロニンギョウトビケラ	*Goera nigrosoma*	●																		●															●			
カクツツトビケラ科	オオカクツツトビケラ	*Lepidostoma crassicorne*	●																								●				●	●	●						
カクツツトビケラ科	ナラカクツツトビケラ	*Lepidostoma naraense*		●				●																															
カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属の数種	*Lepidostoma* spp.	●	●	●			●		●		●	●		●					●						●		●	●			●	●		●				

表 435　底生動物のこれまでの捕獲等調査による確認種一覧（流量減少が予測される沢 4/5）

科名	亜科名	種名	学名	捕獲等調査確認状況	DNA確認状況	07 蛇抜沢					09 悪沢					13 ジャガ沢					14 流沢					15 二軒小屋南西の沢		16 上スリバチ沢					17 スリバチ沢					29 蛇沢				
						捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA		捕獲	環境DN	捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA	
						これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流
エグリトビケラ科		ヤマガタトビイロトビケラ	*Nothopsyche yamagataensis*	●												●																								
エグリトビケラ科		オンダケトビケラ （南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Pseudostenophylax ondakensis*	●									●																										
エグリトビケラ科		オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	●		●	●				●					●					●							●					●	●	●						
エグリトビケラ科		エグリトビケラ科	Limnephilidae sp.	●		●					●					●					●											●				●				
トビケラ科		ムラサキトビケラ	*Eubasilissa regina*	●												●																	●	●							
マルバネトビケラ科		Phryganopsyche属	*Phryganopsyche* sp.	●							●										●												●	●							
クロツツトビケラ科		ニッポンアツバエグリトビケラ	*Neophylax japonicus*		●																														●	●				
クロツツトビケラ科		クロツツトビケラ	*Uenoa tokunagai*	●																																		●		
オビヒメガガンボ科		ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	●	●	●	●	●			●	●	●	●		●						●	●						●	●			●	●	●			●			
オビヒメガガンボ科		ダイミョウガガンボ属	*Pedicia* sp.	●	●	●										●												●			●	●								●
オビヒメガガンボ科		オビヒメガガンボ科	Pediciidae sp.	●			●	●				●																											
ヒメガガンボ科	ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	●	●	●					●						●				●	●	●							●			●			●				
ヒメガガンボ科	トゲアシヒメガガンボ亜科	クチバシガガンボ属	*Helius* sp.	●																													●							
ヒメガガンボ科	トゲアシヒメガガンボ亜科	ナミヒメガガンボ属	*Dicranomyia* sp.	●			●																																	
ヒメガガンボ科	トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	●		●					●		●			●	●				●							●	●			●	●	●						
ヒメガガンボ科	トゲアシヒメガガンボ亜科	カスリヒメガガンボ属	*Limnophila* sp.	●																													●							
ヒメガガンボ科	トゲアシヒメガガンボ亜科	ツヤヒメガガンボ属	*Pilaria* sp.	●												●																	●							
ヒメガガンボ科	クモヒメガガンボ亜科	エリオプテラ属	*Erioptera* sp.	●								●																												
ヒメガガンボ科	クモヒメガガンボ亜科	モロフィルス属	*Molophilus* sp.	●													●	●																						
ヒメガガンボ科		ヒメガガンボ科	Limoniidae sp.	●																		●	●																	
ガガンボ科		ホソガガンボ属	*Nephrotoma* sp.		●																			●	●							●	●							●
ガガンボ科		ガガンボ属	*Tipula* sp.	●		●	●	●			●	●	●			●		●			●	●	●			●		●	●				●	●	●			●	●		
ガガンボ科		ガガンボ科	Tipulidae sp.	●	●									●																								●			
アミカ科		アルプスコマドアミカ	*Agathon bispinus*	●			●																																	
アミカ科		ヤマトコマドアミカ（コマドアミカ属（ヤマトアミカ属））	*Agathon japonicus*	●		●					●					●																								
アミカ科		（コマドアミカ属（ヤマトアミカ属））	*Agathon* sp.	●		●	●	●			●					●						●												●	●					
アミカ科		ヤマトクチナガアミカ	*Apistomyia uenoi*	●			●					●																												
アミカ科		クロバアミカ（クロバアミカ属）	*Bibiocephala infuscata infuscata*	●		●					●					●																								
アミカ科		ハナレメナミアミカ（ナミアミカ属（ニホンアミカ属））	*Blepharicera shirakii*	●			●					●	●				●	●																						
アミカ科		ナミアミカ属（ニホンアミカ属）	*Blepharicera* sp.	●							●					●						●	●										●				●				
アミカ科		ヒゲブトオオフタマタアミカ（フタマタアミカ属）	*Philorus kibunensis*	●																	●					●														
アミカ科		アシボソヒメフタマタアミカ（フタマタアミカ属）	*Philorus longirostris*	●								●																												
アミカ科		ユミアシヒメフタマタアミカ	*Philorus vividis*	●													●	●																						
アミカ科		フタマタアミカ属	*Philorus* sp.	●			●	●			●	●	●			●					●					●										●	●			
アミカ科		アミカ科	Blephariceridae sp.	●		●					●					●	●																							
希少種保護のため非公開																																								
チョウバエ科		ナガレチョウバエ属	*Pericoma* sp.	●							●											●										●		●						
ヌカカ科		ヌカカ科	Ceratopogonidae sp.	●																	●	●						●	●			●	●							
ユスリカ科	ケブカユスリカ亜科	キタケブカユスリカ属	*Boreochlus* sp.	●																												●							
ユスリカ科	モンユスリカ亜科	ボカシヌマユスリカ属	*Macropelopia* sp.	●									●																				●						
ユスリカ科	モンユスリカ亜科	ウスギヌヒメユスリカ属	*Rheopelopia* sp.	●																			●																
ユスリカ科	モンユスリカ亜科	モンユスリカ亜科	Tanypodinae gen. spp.	●							●																						●				●			
ユスリカ科	ヤマユスリカ亜科	クロベタニユスリカ	*Boreoheptagyia kurobebrevis*		●				●																														
ユスリカ科	ヤマユスリカ亜科	タニユスリカ属 *Boreoheptagyia*属	*Boreoheptagyia* sp.	●		●	●				●	●				●	●	●				●											●				●			
ユスリカ科	ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ属	*Diamesa* sp.	●	●	●	●	●	●		●	●		●		●			●	●		●	●										●				●	●		
ユスリカ科	ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	●		●	●				●	●					●	●			●	●	●										●				●			
ユスリカ科	ヤマユスリカ亜科	サワユスリカ属	*Potthastia* sp.	●																		●	●																
ユスリカ科	ヤマユスリカ亜科	ケユキユスリカ属	*Pseudodiamesa* sp.	●			●						●																										
ユスリカ科	ヤマユスリカ亜科	ユキユスリカ属	*Syndiamesa* sp.	●								●																												
ユスリカ科	ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ亜科	Diamesinae gen. spp.	●																		●																	
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	●		●	●				●		●			●						●											●	●						
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ハダカユスリカ属	*Cardiocladius* sp.	●			●																																
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	コナユスリカ属	*Corynoneura* sp.	●		●																																	
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ツヤユスリカ属（本属は種によって山地渓流から大河川や湖沼などに分布する。間隙水域に生息する種が多いが、Nostococladius亜属には湿岩面の蘚類マット内に生息する種もある）	*Cricotopus* sp.	●													●	●				●																	
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	●		●	●				●	●					●	●				●	●										●				●			
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ケバネエリユスリカ属	*Metriocnemus* sp.	●																														●						
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ホソケブカエリユスリカ属	*Neobrillia* sp.	●																													●	●						
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	●	●	●	●				●	●				●						●											●		●	●	●				
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ニセトゲアシエリユスリカ属	*Parachaetocladius* sp.	●																	●																			
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	●		●					●							●										●						●	●	●				
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ケナガケバネエリユスリカ属	*Paraphaenocladius* sp.	●														●																						
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ニセエリユスリカ属	*Pseudorthocladius* sp.	●		●					●																	●						●	●					

表 436　底生動物のこれまでの捕獲等調査による確認種一覧（流量減少が予測される沢 5/5）

科名	亜科名	種名	学名	捕獲等調査確認状況	DNA確認状況	07 蛇抜沢						09 悪沢						13 ジャガ沢						14 流沢						15 二軒小屋南西の沢		16 上スリバチ沢						17 スリバチ沢						29 蛇沢					
						捕獲等調査			環境DNA			捕獲等調査			環境DNA			捕獲等調査			環境DNA			捕獲等調査			環境DNA			捕獲	環境DN	捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA		
						これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流		これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流		これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流		これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流		これまで	R7秋/下流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ナガレツヤユスリカ属	*Rheocricotopus* sp.	●		●	●										●																			●	●	●								
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ヌカユスリカ属	*Thienemanniella* sp.	●		●	●				●																									●		●								
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	●		●	●				●	●					●																			●		●				●				
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	エリユスリカ亜科		●																				●	●																				
ユスリカ科	ユスリカ亜科	ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.	●		●	●				●						●							●		●							●	●											
ユスリカ科	ユスリカ亜科	ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	●	●	●	●				●	●	●				●	●	●					●	●	●							●						●	●	●				●				●
ユスリカ科	ユスリカ亜科	ナガレユスリカ属	*Rheotanytarsus* sp.	●		●					●							●																												
ユスリカ科	ユスリカ亜科	ヒゲユスリカ属	*Tanytarsus* sp.	●													●							●									●	●								●	●			
ユスリカ科	ユスリカ亜科	ユスリカ科	Chironomidae sp.	●				●									●							●														●								
ホソカ科		マダラホソカ	*Dixa longistyla*	●																																		●								
ホソカ科		ニッポンホソカ	*Dixa nipponica*		●				●					●																															
ホソカ科		クロホソカ	*Dixa yamatona*	●		●	●																																						
ホソカ科		ホソカ属	*Dixa* sp.	●		●					●						●																												
ホソカ科		ホソカ科	Dixidae sp.	●	●																			●	●		●						●												
ブユ科		キアシオオブユ	*Prosimulium yezoense*		●				●																																				
ブユ科		オオブユ属	*Prosimulium* sp.	●		●					●						●																						●				●				
ブユ科		アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●			●	●	●					●	●						●	●	●	●				●			●	●	●			
ユスリカバエ科		ユスリカバエ科	Thaumaleidae gen. sp.	●														●																												
ミズアブ科		オキシケラ属	*Oxycera* sp.	●																					●																				
ミズアブ科		ミズアブ科	Stratiomyidae sp.	●			●																																						
ナガレアブ科		ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	●		●	●				●	●	●				●	●																							●	●				
ナガレアブ科		ハマダラナガレアブ	*Atherix ibis japonica*	●									●																												●						
ナガレアブ科		ナガレアブ属	*Atherix* sp.	●																																						●				
ナガレアブ科		コモンナガレアブ	*Atrichops morimotoi*	●																				●																						
ナガレアブ科		ナガレアブ科	Athericidae sp.	●							●																																			
アシナガバエ科		アシナガバエ科	Dolichopodidae sp.		●																																						●	●			
オドリバエ科		オドリバエ科	Empididae sp.	●														●																												
ハナアブ科		アシブトハナアブ	*Helophilus eristaloideus*		●				●																																				
ゲンゴロウ科		モンキマメゲンゴロウ	*Platambus pictipennis*	●													●							●																						
ゲンゴロウ科		サワダマメゲンゴロウ	*Platambus sawadai*	●		●	●				●														●														●	●					
ゲンゴロウ科		モンキマメゲンゴロウ属　*Platambus*属	*Platambus* sp.	●							●																																		
ゲンゴロウ科		ゲンゴロウ科	Dytiscidae sp.	●													●																												
ガムシ科		ガムシ科	Hydrophilidae sp.	●																																			●							
マルハナノミ科		Elodes属	*Elodes* sp.	●																																							●			
マルハナノミ科		ケシマルハナノミ属Hydrocyphon属	*Hydrocyphon* sp.	●													●	●	●					●																				●		
マルハナノミ科		クロマルハナノミ属　Odeles属	*Odeles* sp.	●							●																							●					●							
マルハナノミ科		マルハナノミ科	Scirtidae sp.	●																				●	●									●	●				●				●			
ヒメドロムシ科		スネアカヒメドロムシ	*Heterlimnius variabilis*	●																																			●	●	●						
ヒメドロムシ科		キタマルヒメドロムシ属 Heterlimnius属	*Heterlimnius* sp.	●													●							●	●	●								●					●	●						
ヒメドロムシ科		Optioservus属	*Optioservus* sp.	●													●																												
ヒメドロムシ科		ヒメツヤドロムシ属	*Zaitzeviaria* sp.	●							●																													●						
ヒメドロムシ科		ヒメドロムシ科	Elmidae sp.	●																●				●	●	●														●		●				
カミキリムシ科		ヒメヒゲナガカミキリ	*subfasciatus*		●										●																														
クギヌキハサミムシ科		コブハサミムシ	*Anechura harmandi*		●																											●												
アブラムシ科		ヨモギミドリクギケアブラムシ	*Pleotrichophorus glandulosus*		●					●																																		
アブラムシ科		ユキヤナギアブラムシ	*Aphis spiraecola Patch*		●					●																																		
アブラムシ科		オカボキバラアブラムシ	*Anoecia fulviabdominalis*		●										●																														
アブラムシ科		カバブチアブラムシ	*Symydobius kabae*		●																											●												
ツノカメムシ科		ヒメセグロベニモンツノカメムシ	*Elasmostethus kerzhneri*		●										●																													
カメムシ科		アシアカカメムシ	*Pentatoma rufipes*		●										●																													
ヤガ科		シロモンヤガ	*Xestia c-nigrum c-nigrum*		●										●																													
				217種	67種	77種	56種	26種	18種	6種	88種	49種	35種	17種	18種	82種	58種	39種	7種	4種	44種	69種	47種	8種	6種	13種	9種	27種	29種	13種	5種	7種	115種	53種	54種	21種	24種	17種	52種	34種	10種	7種

表 437　底生動物のこれまでの捕獲等調査による確認種一覧（流量減少が予測されない沢 1/5）

科名	亜科名	種名	学名	捕獲等調査 確認状況	DNA 確認状況	01 内舘沢	02 魚儛沢	03 銀戸沢	04 上岳沢	05 百小石沢				06 並小屋沢	08 柳沢	10 大扇	11 猿石御門沢	12 曲舘沢	18 東屋沢				19 曲沢	20 大尻沢北の沢	21 大尻沢				22 能沢南東の沢	23 猿風石沢	24 下木舘沢北の沢	25 下木舘沢	26 能牧沢	27 上千牧沢	28 下千牧沢	30 能沢南の沢	31 鳥雨河内川	32 赤石沢	33 北俣・中俣合流部付近（三伏沢）				
						捕獲等調査				捕獲等調査			環境DNA	捕獲等調査					捕獲等調査			環境DNA	捕獲等調査		捕獲等調査		環境DNA		捕獲等調査											捕獲等調査			環境DNA	
						これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流 R7秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流 R7秋/上流	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流 R7秋/下流 R7秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流 R7秋/上流
サンカクアタマウズムシ科		ナミウズムシ	*Dugesia japonica*	●							●			●	●					●	●								●	●						●					
サンカクアタマウズムシ科		サンカクアタマウズムシ科	Dugesiidae gen. spp.	●																			●					●	●		●	●				●				
ヒラタウズムシ科		コガタウズムシ	*Phagocata kawakatsui*	●							●	●																												
ヒラタウズムシ科		ホソウズムシ属	*Phagocata* sp.	●			●	●																											●				
ヒラタウズムシ科		カズメウズムシ属	*Polycelis* sp.	●																					●	●														
ヒラタウズムシ科		ホソウズムシ属　ミヤマウズムシ	*Phagocata vivida*	●			●	●		●															●				●			●				●				
ヒラタウズムシ科		キタカズメウズムシ属 カズメウズムシ	*Seidlia auriculata*	●																				●	●					●								●		
ヒラタウズムシ科		ヒラタウズムシ科	Planariidae gen. spp.	●																																●				
三岐腸目		―	Tricladida fem. gen. spp.	●		●			●	●				●	●	●	●	●	●													●	●							
ハリガネムシ科		ハリガネムシ属	*Gordius* sp.	●																●						●														
ハリガネムシ科		ハリガネムシ科	Gordiidae gen. spp.	●								●			●															●	●			●					
ヒドラ科		Hydra属	*Hydra* sp.	●																							●													
マメシジミ科		マメシジミ属	*Pisidium* sp.	●																											●				●					
ナガミミズ科		ナガミミズ科	Haplotaxidae sp.	●							●								●																				
ヒメミミズ科		ハタケヒメミミズ属	*Fridericia* sp.	●																							●												
ヒメミミズ科		ヒメミミズ科	Enchytraeidae gen. sp.	●							●														●	●	●			●		●			●			●		
ミズミミズ科		ナミミズミミズ	*Nais communis*	●	●																				●		●	●	●										
ミズミミズ科		ナミミズミミズ属 Nais属	*Nais* sp.	●				●						●				●	●						●				●			●							
ミズミミズ科		イトミミズ亜科	Tubificinae fam. gen. spp.	●																					●					●									
ミズミミズ科		ミズミミズ科	Naididae gen. spp.	●														●												●						●			
ツリミミズ科		ツリミミズ科	Lumbricidae gen. spp.	●															●						●														
ツリミミズ目		―	Lumbricida fam. gen. spp.	●						●																				●	●	●			●	●				
ダニ目		ヒヤミズダニ科	Hydrovolziidae gen. spp.	●															●																				
ダニ目		―	Acarina fam. gen. spp.	●				●																						●									
トビイロカゲロウ科		トビイロカゲロウ属 Paraleptophlebia属	*Paraleptophlebia* sp.	●																					●	●	●	●	●	●	●	●	●			●				
モンカゲロウ科		フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*	●							●	●		●	●	●									●	●	●	●	●	●	●					●	●			
モンカゲロウ科		モンカゲロウ属 Ephemera属	*Ephemera* sp.	●	●																																		
マダラカゲロウ科		オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*	●										●					●				●						●							●	●			
マダラカゲロウ科		トウヨウマダラカゲロウ属 Cincticostella属	*Cincticostella* sp.	●										●	●		●	●																		●	●			
マダラカゲロウ科		オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●				●						●		●									●				●
マダラカゲロウ科		ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*	●							●	●			●										●					●	●					●	●	●	●	
マダラカゲロウ科		フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sacharinensis*	●			●	●			●																				●				●	●	●		
マダラカゲロウ科		ミットゲマダラカゲロウ	*Drunella trispina*	●										●																									
マダラカゲロウ科		トゲマダラカゲロウ属 Drunella属	*Drunella* sp.	●		●		●	●	●	●	●		●	●		●	●					●		●						●					●	●	●	
マダラカゲロウ科		キタマダラカゲロウ	*Ephemerella aurivillii*	●																													●						
ヒメフタオカゲロウ科		ヒメフタオカゲロウ	*Ameletus montanus montanus*	●															●																				
ヒメフタオカゲロウ科		クロベヒメフタオカゲロウ	*Ameletus subalpinus*	●																																	●		
ヒメフタオカゲロウ科		ヒメフタオカゲロウ属 Ameletus属	*Ameletus* spp.	●		●	●	●	●	●	●	●		●	●		●	●	●					●	●	●						●	●	●	●	●	●	●	
コカゲロウ科		ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	●				●	●	●	●	●			●		●	●	●				●	●					●	●	●		●		●	●				
コカゲロウ科		フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	●			●	●	●	●	●	●					●	●	●	●	●		●		●							●	●		●	●	●	●		
コカゲロウ科		サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*	●																																●				
コカゲロウ科		シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	●		●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コカゲロウ科		Fコカゲロウ	*Baetis* sp.F	●																																●				
コカゲロウ科		ヒロバネトビイロコカゲロウ	*Nigrobaetis latus*	●																																			
コカゲロウ科		トビイロコカゲロウ属	*Nigrobaetis* sp.	●																											●								
コカゲロウ科		コカゲロウ科（成虫を含む）	Baetidae gen. spp.	●			●	●																															
ヒラタカゲロウ科		ミヤマタニガワカゲロウ属 Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●			●		●	●			●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ヒラタカゲロウ科		クロタニガワカゲロウ	*Ecdyonurus tobiironis*	●															●	●												●				●				
ヒラタカゲロウ科		ミドリタニガワカゲロウ	*Ecdyonurus viridis*	●																																●	●			
ヒラタカゲロウ科		タニガワカゲロウ属 Ecdyonurus属	*Ecdyonurus* sp.	●															●	●					●											●				
ヒラタカゲロウ科		キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	●	●		●	●		●	●	●		●				●		●		●										●				●	●	●		
ヒラタカゲロウ科		ウエノヒラタカゲロウ	*Epeorus curvatulus*	●																																●				
ヒラタカゲロウ科		オナガヒラタカゲロウ	*Epeorus hiemalis*	●											●			●	●	●					●						●						●			
ヒラタカゲロウ科		ナミヒラタカゲロウ	*Epeorus ikanonis*	●													●	●															●					●		
ヒラタカゲロウ科		エルモンヒラタカゲロウ or マツムラヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium or E. l-nigrus*	●	●										●					●												●				●	●	●		●
ヒラタカゲロウ科		ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	●							●	●								●	●															●	●			
ヒラタカゲロウ科		イワヒラタカゲロウ	*Epeorus cumulus*	●																																		●		
ヒラタカゲロウ科		ユミモンヒラタカゲロウ or イワヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus or E. cumulus*	●			●	●	●								●		●				●		●					●							●			
ヒラタカゲロウ科		ヒラタカゲロウ属（成虫を含む）	*Epeorus* sp.	●	●	●	●	●	●	●				●			●	●			●					●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ヒラタカゲロウ科		ヒメヒラタカゲロウ属 （成虫を含む）	*Rhithrogena* sp.	●			●												●	●													●				●	●	●		
カワトンボ科		カワトンボ科	Calopterygidae gen.sp.	●							●																													
トワダカワゲラ科		ミネトワダカワゲラ （南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Scopura montana*	●	●		●																●		●		●												
クロカワゲラ科		クロカワゲラ科（成虫を含む）	Capniidae sp.	●	●	●	●	●	●	●				●	●		●	●	●	●			●	●	●		●			●		●	●	●	●	●	●			
ホソカワゲラ科		ハルホソカワゲラ属 Perlomyia属（成虫を含む）	*Perlomyia* sp.		●																																		●
ホソカワゲラ科		カギホソカワゲラ属	*Paraleuctra* sp.	●																					●														
ホソカワゲラ科		ホソカワゲラ科（成虫を含む）	Leuctridae sp.	●			●	●		●	●	●							●						●				●		●	●	●				●	●	●	

表 438　底生動物のこれまでの捕獲等調査による確認種一覧（流量減少が予測されない沢 2/5）

科名	亜科名	種名	学名	捕獲等調査確認状況	DNA確認状況	01 内舘沢	02 魚無沢	03 銀戸沢	04 上呂沢	05 百小石沢					06 並小屋沢	08 柳沢	10 大扇	11 猿石御門沢	12 曲舘沢	18 来屋沢					19 曲沢	20 大尻沢北の沢	21 大尻沢					22 能代南京の沢	23 琥風石沢	24 下水無沢北の沢	25 下木無沢	26 能牧沢	27 上千枚沢	28 下千枚沢	30 能代南の沢	31 奥阿内川	32 赤石沢	33 北俣・中俣合流部付近（三伏沢）				
						捕獲等調査				捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査					捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査		捕獲等調査		環境DNA				捕獲等調査															
						これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流
オナシカワゲラ科		ムネオナシカワゲラ	*Amphinemura longispina*		●																																							●
オナシカワゲラ科		フサオナシカワゲラ属 Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	●	●	●	●	●	●	●					●	●		●	●	●	●	●			●	●		●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●		
オナシカワゲラ科		クロオナシカワゲラ	*Indonemoura nohirae*		●																		●	●																				
オナシカワゲラ科		インドオナシカワゲラ属	*Indonemoura* sp.	●							●																																	
オナシカワゲラ科		アサカワオナシカワゲラ	*Nemoura longicercia*		●																		●	●					●															●
オナシカワゲラ科		オナシカワゲラ属 Nemoura属	*Nemoura* sp.	●	●	●	●	●		●	●	●		●	●	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●		
オナシカワゲラ科		コウノオナシカワゲラ	*Protonemura kohnoae*		●								●	●															●	●														●
オナシカワゲラ科		エンパンオナシカワゲラ	*Protonemura orbiculata*		●								●	●									●	●					●	●														●
オナシカワゲラ科		ユビオナシカワゲラ属 Protonemura属（成虫を含む）	*Protonemura* sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●		●	●	●	●	●			●		●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●
シタカワゲラ科		ユキシタカワゲラ属	*Mesyatsia sp.*		●																																							●
シタカワゲラ科		シタカワゲラ科	Taeniopterygidae gen. sp.	●		●	●	●	●	●					●	●				●					●																				
ヒロムネカワゲラ科		ノギカワゲラ	*Cryptoperla japonica*	●															●																										
ヒロムネカワゲラ科		ミヤマノギカワゲラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Yoraperla uenoi*	●	●		●	●	●	●	●	●			●	●			●	●	●	●	●	●					●	●														●
ミドリカワゲラ科		セスジミドリカワゲラ属 Sweltsa属	*Sweltsa* spp.	●	●		●														●	●																						●
ミドリカワゲラ科		ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae gen. spp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●		●	●	●					●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●
カワゲラ科		モンカワゲラ	*Calineuria stigmatica*	●	●	●			●	●			●		●			●	●									●	●															●
カワゲラ科		モンカワゲラ属 Calineuria属 C. stigmaticaとC. crassicaudaとの可能性	*Calineuria* sp.	●		●	●	●	●	●	●	●			●	●		●	●		●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●		●	●	●	●	●		
カワゲラ科		キコナガカワゲラ属 Flavoperla属	*Flavoperla* sp.	●																									●															
カワゲラ科		フタツメカワゲラ属	*Neoperla* sp.	●																						●																		
カワゲラ科		トウゴウカワゲラ属 Togoperla属 T. トウゴウカワゲラlimbataとヤマトウゴウカワゲラ T. brevispinis	*Togoperla* sp.	●														●																										
カワゲラ科		キカワゲラ属 Xanthoneuria属 キクロカワゲラ X. bolivariかジョウクリカワゲラ X. jouklii	*Xanthoneuria* sp.	●																																	●	●						
カワゲラ科		モンカワゲラ亜科	Acroneuriinae sp.	●																					●		●						●	●					●						
カワゲラ科		カワゲラ科	Perlidae gen. sp.	●		●		●		●	●	●			●	●		●	●	●						●						●				●			●	●	●				
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ亜科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	●		●	●	●	●	●	●	●			●			●																●	●					●	●	●	●		
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ亜科	ヒロバネアミメカワゲラ Pseudomegarcys japonicus	*Pseudomegarcys japonica*	●											●				●		●	●				●								●					●	●	●				
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ亜科	ニッコウアミメカワゲラ Sopkalia yamadae	*Sopkalia yamadae*	●						●					●	●		●	●	●	●	●			●	●	●					●			●	●	●		●	●				
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ亜科	ヒメアミメカワゲラ属 Skwala属	*Skwala* sp.	●			●								●						●	●				●								●				●						
アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ亜科	コウノアミメカワゲラ属 Tadamus属	*Tadamus* sp.	●																																		●	●					
アミメカワゲラ科	クサカワゲラ亜科	クサカワゲラ属 Isoperla属	*Isoperla* sp.	●																																			●						
アミメカワゲラ科		アミメカワゲラ科	Perlodidae gen. sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●							●					●	●	●	●	●			●	●	●	●		●
ヒロバカゲロウ科	Osmylidae	ブライヤーヒロバカゲロウ	*Osmylus pryeri*	●																		●					●																	
ヒロバカゲロウ科	Osmylidae	ヒロバカゲロウ科 Osmylidae	Osmylidae sp.	●				●			●	●						●	●													●							●					
センブリ科		センブリ属	*Sialis* sp.	●																														●										
アミメシマトビケラ科	Arctopsych	アミメシマトビケラ属 Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.	●							●				●	●		●	●	●	●	●				●	●							●	●									
アミメシマトビケラ科	Arctopsych	シロフツヤシマトビケラ属 Parapsyche属	*Parapsyche* sp.	●						●	●	●			●	●	●		●	●	●	●			●		●	●				●	●	●	●	●	●		●			●	●		
アミメシマトビケラ科	Arctopsych	シロフツヤトビケラ	*Parapsyche maculata*	●											●		●		●	●							●					●	●	●	●	●		●						
シマトビケラ科	Hydropsychidae	DAミヤマシマトビケラ　Diplectrona sp. DA	*Diplectrona* sp. DA	●																						●							●										
シマトビケラ科	Hydropsychidae	ミヤマシマトビケラ属 Diplectrona属	*Diplectrona* sp.	●							●								●																	●				●				
シマトビケラ科	Hydropsychidae	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*	●																●	●																	●		●	●				
シマトビケラ科	Hydropsychidae	オオヤマシマトビケラ	*Hydropsyche dilatata*	●																	●																							
シマトビケラ科	Hydropsychidae	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	●						●																														●	●				
シマトビケラ科	Hydropsychidae	シマトビケラ属のI種	*Hydropsyche* sp.	●											●			●	●	●	●	●																	●	●		●			
シマトビケラ科	Hydropsychidae	シマトビケラ科	Hydropsychidae gen. sp.	●																																					●				
カワトビケラ科		タニガワトビケラ	*Dolophilodes japonica*	●								●														●		●																	
カワトビケラ科		タニガワトビケラ属 ： ミミタニガワトビケラ *Dolophilodes auriculata* ノムギタニガワトビケラ *Dolophilodes nomugiensis* シンボタニガワトビケラ *Dolophilodes sinboensis* サキブトタニガワトビケラ *Dolophilodes dilatata* イロタニガワトビケラ *Dolophilodes iroensis* サキボソタニガワトビケラ *Dolophilodes angustata* の可能性	*Dolophilodes* sp.	●								●			●	●				●	●					●	●						●	●	●	●	●								
カワトビケラ科		ヒメタニガワトビケラ属 ： ナガノタニガワトビケラ Wormaldia kisoensis ウオヌマタニガワトビケラ *Wormaldia uonumana* フジノタニガワトビケラ *Wormaldia fujinoensis* 他の可能性	*Wormaldia* sp.	●				●															●													●	●						
カワトビケラ科		カワトビケラ科　他にコタニガワトビケラ属 Chimarratゲタニガワトビケラ属 Kisauraの可能性あり	Philopotamidae gen. sp.	●			●	●	●						●	●		●	●						●												●							
イワトビケラ科		ミヤマイワトビケラ属： オンダケミヤマイワトビケラ*Plectrocnemia ondakeana*	*Plectrocnemia* sp.	●											●	●									●	●				●														
イワトビケラ科		イワトビケラ科	Polycentropodidae gen. sp.	●				●																															●						
ヒゲナガカワトビケラ科		ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*	●											●			●	●		●	●										●					●	●		●				
ヤマトビケラ科		ニッポンヤマトビケラ	*Glossosoma hospitum*	●							●	●																																
ヤマトビケラ科		ヤマトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Glossosoma* spp.	●				●							●	●		●	●	●	●	●			●								●	●	●				●	●	●	●	●	
カワリナガレトビケラ科		ツメナガガレトビケラ	*Apsilochorema sutshanum*	●												●																												
ヒメトビケラ科		カクヒメトビケラ属	*Stactobia* spp.	●												●					●	●				●																●		

表 439　底生動物のこれまでの捕獲等調査による確認種一覧（流量減少が予測されない沢 3/5）

科名	亜科名	種名	学名	捕獲等調査確認状況	DNA確認状況	01 内舘沢	02 魚留沢	03 堰戸沢	04 上筋沢	05 畳小石沢						06 荻小屋沢	08 柳沢	10 大扇	11 猿右衛門沢	12 曲渕沢	18 東黒沢					19 鼎沢	20 大尻沢北の沢	21 大尻沢					22 能沢南京の沢	23 硯風石沢	24 下木舘沢北の沢	25 下木舘沢	26 虎杖沢	27 上千枚沢	28 下千枚沢	30 能沢南の沢	31 鳥首河内川	32 赤石沢	33 北俣・中俣合流部付近（三伏沢）				
						捕獲等調査				捕獲等調査				環境DNA		捕獲等調査					捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査		捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査									捕獲等調査			環境DNA	
						これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流
希少種保護のため非公開																																													
ナガレトビケラ科		レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	●								●				●	●					●	●						●					●						●				●		
ナガレトビケラ科		トウダナガレトビケラ	*Rhyacophila towadensis*	●																									●	●	●									●				●		
ナガレトビケラ科		ナガレトビケラ属（Acropedes group：鰓あり）トウダナガレトビケラ，レゼイナガレトビケラ，エダエラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Acropedes* group）	●		●	●	●	●	●						●	●		●	●	●					●	●	●						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
ナガレトビケラ科		フタタマオナガレトビケラ	Rhyacophila bilobata	●								●																																		
ナガレトビケラ科		ナガレトビケラ属（Anatina group）フタタマオナガレトビケラ，ナカガワナガレトビケラ，*R. kuranishii*	*Rhyacophila* sp.（*Anatina* group）	●					●							●											●									●									
ナガレトビケラ科		ヒロアタマナガレトビケラ	*Rhyacophila brevicephala*	●																																						●		
ナガレトビケラ科		ニワナガレトビケラ	Rhyacophila niwae	●																	●								●																
ナガレトビケラ科		クレメンスナガレトビケラ	Rhyacophila clemens	●							●	●									●								●						●									
ナガレトビケラ科		ナガレトビケラ属（Clemens group：鰓なし）クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Clemens* group）	●		●	●	●	●	●						●	●		●	●																		●						
ナガレトビケラ科		タシタナガレトビケラ（Lieftinki group）	*Rhyacophila impar*（*Lieftinki* group）	●								●				●																										●		
ナガレトビケラ科		ナガレトビケラ属（Lieftinki group）タシタナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Lieftinki* group）= R. impar	●		●			●	●																●			●															
ナガレトビケラ科		シコツナガレトビケラ	*Rhyacophila shikotsuensis*	●								●					●				●	●							●	●									●						
ナガレトビケラ科		ニッポンナガレトビケラ	Rhyacophila nipponica	●																																						●		
ナガレトビケラ科		ナガレトビケラ属（Nigrocephala group：鰓なし）ムナグロナガレトビケラ，ニッポンナガレトビケラ，シコツナガエトビケラ，カワムラナガレトビケラ，クワムラナガレトビケラ	*Rhyacophila* sp.（*Nigrocephala* group）	●																							●			●						●					●				
ナガレトビケラ科		RCナガレトビケラ	Rhyacophila sp. RC	●			●	●								●					●							●													●			
ナガレトビケラ科		ナガレトビケラ属（Retracta group）ユミナガレトビケラ，モタカンタナガレトビケラ，トガリミジカオナガレトビケラ，ウエノナガレトビケラ *R. retracta*，カドオナガレトビケラ*R. humerigera*（青森・秋田），*R. geranos*，*R. koryne*，	*Rhyacophila* sp.（*Retracta* group）	●			●	●																													●			●	●	●				
ナガレトビケラ科		トランスクィラナガレトビケラ	Rhyacophila transquilla	●			●	●				●																	●															
ナガレトビケラ科		ナガレトビケラ属（Sibirica group）トランスクィラナガレトビケラ，キソナガレトビケラ，Sibirica group-sp.1，Sibirica group-sp.2，*R. hattorii*，*R. kobayashii*	*Rhyacophila* sp.（*Sibirica* group）	●				●	●	●										●															●	●	●	●						
ナガレトビケラ科		クラマナガレトビケラ	Rhyacophila kuramana	●																		●																							
ナガレトビケラ科		ナガレトビケラ属（Ulmeri group）クラマナガレトビケラ，ミジカオナガレトビケラ，	*Rhyacophila* sp.（*Ulmeri* group）	●																																								
ナガレトビケラ科		ヨシイナガレトビケラ	Rhyacophila yosiiana	●																										●															
ナガレトビケラ科		ナガレトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Rhyacophila* spp.	●		●	●	●	●		●	●				●	●	●	●	●	●	●				●	●	●					●	●		●	●	●	●				●		●		
ナガレトビケラ科		ナガレトビケラ科の数種	Rhyacophilidae gen. spp.	●																																							●			
コエグリトビケラ科		コエグリトビケラ属の数種	*Apatania* spp.	●																																●										
コエグリトビケラ科		コエグリトビケラ科	Apataniidae sp.	●																																										
カクスイトビケラ科		オオハラツツトビケラ	*Eobrachycentrus vernalis*	●													●					●	●							●	●															
カクスイトビケラ科		オオハラツツトビケラ属 Eobrachycentrus属	*Eobrachycentrus* sp.	●												●	●		●	●																										
カクスイトビケラ科		ハナセマルツツトビケラ	*Micrasema hanasense*	●			●																			●	●									●										
カクスイトビケラ科		マルツツトビケラ	*Micrasema quadriloba*	●																																								●		
カクスイトビケラ科		ウエノマルツツトビケラ	*Micrasema uenoi*	●		●	●	●		●	●	●															●	●								●										
ニンギョウトビケラ科		クロニンギョウトビケラ	*Goera nigrosoma*	●													●				●						●	●							●	●	●									
ニンギョウトビケラ科		ニンギョウトビケラ属	*Goera* sp.	●																●																										
ニンギョウトビケラ科		ニンギョウトビケラ科	Goeridae sp.	●																●																										
カクツツトビケラ科		フトヒゲカクツツトビケラ	*Lepidostoma complicatum*	●							●	●																																		
カクツツトビケラ科		オオカクツツトビケラ	*Lepidostoma crassicorne*	●				●																		●		●	●							●	●	●	●				●				
カクツツトビケラ科		カンムリカクツツトビケラ　（ナラカクツツトビケラ種群）	*Lepidostoma emarginatum*	●																						●	●		●							●										
カクツツトビケラ科		カクツツトビケラ属の数種（成虫を含む）	*Lepidostoma* spp.	●	●	●	●				●					●	●		●	●	●					●	●	●	●	●						●					●	●		●	●		●	
エグリトビケラ科		ヤマガタトビイロトビケラ	*Nothopsyche yamagataensis*	●																																					●						
エグリトビケラ科		オンダケトビケラ　（南アルプスの遺伝的固有性ならびに域内変異性指標種）	*Pseudostenophylax ondakensis*	●							●	●															●																●		
エグリトビケラ科		トチギミヤマトビケラ　（南アルプスの遺伝的固有性指標種）	*Pseudostenophylax tochigiensis*	●																						●			●	●					●	●									
エグリトビケラ科		オンダケトビケラ属の数種	*Pseudostenophylax* sp.	●		●		●	●	●						●	●			●						●			●						●	●					●	●			
エグリトビケラ科		エグリトビケラ科	Limnephilidae sp.	●				●	●								●									●	●			●						●									
トビケラ科		ムラサキトビケラ	*Eubasilissa regina*	●																									●								●		●						
マルバネトビケラ科		Phryganopsyche属	*Phryganopsyche* sp.	●																●									●	●															
クロツツトビケラ科		アツバエグリトビケラ属	*Neophylax* sp.	●			●																																	●				●		
クロツツトビケラ科		クロツツトビケラ	*Uenoa tokunagai*	●																	●	●	●																							
トビケラ目（毛翅目）		－	Tricoptera fam. gen. spp.	●																●	●																	●									
ツトガ科	ミズメイガ亜科	ミズメイガ亜科	Acentropinae sp.	●						●																																			
オビヒメガガンボ科		ホソオビヒメガガンボ属	*Dicranota* sp.	●		●	●	●	●	●	●	●				●	●			●	●		●						●		●	●	●					●	●	●						
オビヒメガガンボ科		ダイミョウガガンボ属	*Pedicia* sp.	●				●											●	●			●							●		●	●			●	●				●					
オビヒメガガンボ科		オビヒメガガンボ科	Pediciidae sp.	●																																							●			

表 440　底生動物のこれまでの捕獲等調査による確認種一覧（流量減少が予測されない沢 4/5）

科名	亜科名	種名	学名	捕獲等調査	DNA簡易調査	01 内舘沢	02 桑舘沢	03 銀戸沢	04 上舘沢	05 冒小石沢					06 新小屋沢	08 御沢	10 大崩	11 猿右衛門沢	12 曲舘沢	16 東黒沢					19 曲沢	20 大尻沢北の沢	21 大尻沢					22 絶沢南東の沢	23 破風石沢	24 下木騨沢北の沢	25 下木騨沢	26 虎伏沢	27 上千枚沢	28 下千枚沢	30 絶沢南の沢	31 鳥首岡内川	32 赤石沢	33 北俣・中俣合流部付近（三伏沢）				
				確認状況	確認状況	捕獲等調査				捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査					捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査			環境DNA						捕獲等調査											環境DNA	
						これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7渠/下流	R7渠/上流	R7渠/下流	R7渠/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7渠/下流	R7渠/上流	R7渠/下流	R7渠/上流	これまで	これまで	これまで	R7渠/下流	R7渠/上流	R7渠/下流	R7渠/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7渠/下流	R7渠/上流	R7渠/下流	R7渠/上流
ヒメガガンボ科	ヒメガガンボ亜科	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.	●			●	●			●	●			●	●		●	●		●				●									●			●	●	●	●				
ヒメガガンボ科	トゲアシヒメガガンボ亜科	ナミヒメガガンボ属	*Dicranomyia* sp.	●																	●					●																		
ヒメガガンボ科	トゲアシヒメガガンボ亜科	ヒゲナガガガンボ属	*Hexatoma* sp.	●		●	●	●		●	●	●			●	●			●		●					●					●	●		●	●	●			●	●		●				
ヒメガガンボ科	トゲアシヒメガガンボ亜科	カスリヒメガガンボ属	*Limnophila* sp.	●																	●																						●		
ヒメガガンボ科	トゲアシヒメガガンボ亜科	フチケガガンボ属	*Paradelphomyia* sp.	●																																						●		
ヒメガガンボ科	トゲアシヒメガガンボ亜科	ツヤヒメガガンボ属	*Pilaria* sp.	●															●							●								●						●				
ヒメガガンボ科		ヒメガガンボ科（成虫を含む）	Limoniidae sp.	●						●																														●				
ガガンボ科		ガガンボ属	*Tipula* sp.	●				●	●	●	●	●			●	●			●	●					●	●					●	●		●	●	●		●	●	●		●				
ガガンボ科		ノコヒゲガガンボ属	Prionocera sp.	●																	●																								
ガガンボ科		ガガンボ科	Tipulidae sp.	●						●											●																		●						
アミカ科		ヤマトコマドアミカ（コマドアミカ属（ヤマトアミカ属））	*Agathon japonicus*	●				●		●								●																					●	●	●				
アミカ科		トゲコマドアミカ	*Agathon longispinus*	●																							●																		
アミカ科		ヤマトクチナガアミカ	*Apistomyia uenoi*	●																	●																					●				
アミカ科		クロバアミカ（クロバアミカ属）	*Bibiocephala infuscata infuscata*	●			●	●																																●	●	●	●			
アミカ科		クロバアミカ属	*Bibiocephala* sp.	●								●																								●					●		●				
アミカ科		オオメナミアミカ（ナミアミカ属（ニホンアミカ属））	*Blepharicera esakii*	●																	●	●					●																		
アミカ科		ハナレメナミアミカ（ナミアミカ属（ニホンアミカ属））	*Blepharicera shirakii*	●							●																														●				
アミカ科		ナミアミカ属（ニホンアミカ属）（成虫を含む）	*Blepharicera* sp.	●																																●					●				
アミカ科		ハナレフタマタアミカ（フタマタアミカ属）	*Philorus gokaensisi*	●							●	●																																	
アミカ科		ヒゲブトオオフタマタアミカ（フタマタアミカ属）	*Philorus kibunensis*	●																●					●																				
アミカ科		アシボソヒメフタマタアミカ（フタマタアミカ属）	*Philorus longirostris*	●																		●																							
アミカ科		タチゲヒメフタマタアミカ（フタマタアミカ属）	*Philorus minor*	●							●	●																																	
アミカ科		ミヤマフタマタアミカフタマタアミカ属	*Philorus alpinus*	●																																						●				
アミカ科		ユミアシヒメフタマタアミカ	*Philorus vividis*	●																	●																								
アミカ科		フタマタアミカ属（成虫を含む）	*Philorus* sp.	●		●				●					●			●	●	●	●				●																●	●	●	●			
アミカ科		アミカ科	Blephariceridae sp.	●					●																																				
希少種保護のため非公開																																														
チョウバエ科		ナガレチョウバエ属	*Pericoma* sp.	●							●	●			●						●						●								●										
チョウバエ科		チョウバエ科	Psychodidae sp.	●																																								●		
ヌカカ科		ブユモドキ属	Forcipomyia sp.	●																							●																		
ヌカカ科		ヌカカ科（成虫を含む）	Ceratopogonidae sp.	●															●							●								●	●		●			●						
ユスリカ科	ケブカユスリカ亜科	キタケブカユスリカ属	*Boreochlus* sp.	●			●																																					
ユスリカ科	モンユスリカ亜科	ヒメユスリカ属	*Conchapelopia* sp.	●																					●									●											
ユスリカ科	モンユスリカ亜科	ボカシヌマユスリカ属	*Macropelopia* sp.	●				●																												●									
ユスリカ科	モンユスリカ亜科	モンヌマユスリカ属	*Natarsia* sp.	●																							●																		
ユスリカ科	モンユスリカ亜科	ウスギヌヒメユスリカ属	*Rheopelopia* sp.	●																							●																		
ユスリカ科	モンユスリカ亜科	ハヤセヒメユスリカ属	*Trissopelopia* sp.	●																																●									
ユスリカ科	モンユスリカ亜科	モンユスリカ亜科	Tanypodinae gen. spp.	●													●																				●	●	●	●			●	●			
ユスリカ科	ヤマユスリカ亜科	タニユスリカ属 *Boreoheptagyia*属	*Boreoheptagyia* sp.	●			●																																		●	●			
ユスリカ科	ヤマユスリカ亜科	フサケヤマユスリカ	*Diamesa plumicornis*	●								●																																	
ユスリカ科	ヤマユスリカ亜科	ツツイヤマユスリカ	*Diamesa tsutsuii*	●							●																																		
ユスリカ科	ヤマユスリカ亜科	ヤマユスリカ属	*Diamesa* sp.	●			●	●		●					●		●				●					●											●				●				
ユスリカ科	ヤマユスリカ亜科	アルプスケユキユスリカ	*Pagastia nivis*	●	●							●																																	●
ユスリカ科	ヤマユスリカ亜科	オオユキユスリカ属	*Pagastia* sp.	●	●		●	●									●		●		●				●	●	●	●					●								●	●	●		●
ユスリカ科	ヤマユスリカ亜科	ケユキユスリカ属	*Pseudodiamesa* sp.	●				●																																	●				
ユスリカ科	ヤマユスリカ亜科	ササユスリカ属	*Sasayusurika* sp.	●																																						●			
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	●		●	●	●	●	●	●					●		●	●						●		●							●	●		●			●	●	●	●		
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ハダカユスリカ属	*Cardiocladius* sp.	●			●	●																	●																				
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	トゲアシエリユスリカ属	*Chaetocladius* sp.	●																						●						●												
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	コナユスリカ属	*Corynoneura* sp.	●												●					●					●	●					●	●										●		
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	エラノリユスリカ属	*Epicocladius* sp.	●																	●											●												
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	テンマクエリユスリカ属	*Eukiefferiella* sp.	●			●	●		●	●	●			●	●			●	●	●					●		●							●	●		●			●	●	●	●		
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	キリカキケバネエリユスリカ属	*Heterotrissocladius sp.*	●																							●	●																	
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	シミズビロウドエリユスリカ属	*Krenosmittia* sp.	●																							●																		
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ケバネエリユスリカ属	*Metriocnemus* sp.	●																																●									
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ニイツマホソケブカエリユスリカ	*Neobrillia longistyla*	●																							●																		
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ホソケブカエリユスリカ属	*Neobrillia* sp.	●																																●				●	●				
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	エリユスリカ属	*Orthocladius* sp.	●			●	●		●	●	●			●	●		●	●		●				●										●					●	●	●			
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ニセトゲアシエリユスリカ属	*Parachaetocladius* sp.	●															●			●					●															●				
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ニセケバネエリユスリカ属	*Parametriocnemus* sp.	●			●				●	●							●	●	●				●	●					●	●		●	●				●				●		
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ニセエリユスリカ属	*Pseudorthocladius* sp.	●			●								●																					●		●	●						
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ナガレツヤユスリカ属	*Rheocricotopus* sp.	●				●																			●										●	●	●			●	●		
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ヌカユスリカ属	*Thienemanniella* sp.	●											●												●															●			
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	トクナガエリユスリカ属	*Tokunagaia* sp.	●																	●	●					●																		
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ニセテンマクエリユスリカ属	*Tvetenia sp.*	●			●	●			●				●	●		●	●	●	●	●				●							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	エリユスリカ亜科	Orthocladiinae sp.	●																																●					●	●				
ユスリカ科	ユスリカ亜科	ユスリカ属（種によって生息環境は様々）	*Chironomus* sp.	●														●																											
ユスリカ科	エリユスリカ亜科	ツヤムネユスリカ属	*Microtendipes* sp.	●																																●					●	●				

表 441　底生動物のこれまでの捕獲等調査による確認種一覧（流量減少が予測されない沢 5/5）

科名	亜科名	種名	学名	捕獲等調査確認状況	DNA確認状況	01 内舘沢	02 魚無沢	03 銀戸沢	04 上岳沢	05 百小石沢					06 並小屋沢	08 柳沢	10 大原	11 猿石御門沢	12 曲舘沢	18 東屋沢					19 曲沢	20 大尻沢北の沢	21 大尻沢					22 能沢南東の沢	23 猿風石沢	24 下木鮒沢北の沢	25 下木鮒沢	26 能牧沢	27 上千牧沢	28 下千牧沢	30 能沢南の沢	31 鳥雨内川	32 赤石沢	33 北俣・中俣合流部付近（三伏沢）				
						捕獲等調査				捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査					捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査		捕獲等調査			環境DNA		捕獲等調査														捕獲等調査			環境DNA	
						これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流
ユスリカ科　ユスリカ亜科		ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.	●						●	●					●			●																		●	●	●					
ユスリカ科　ユスリカ亜科		アシマダラユスリカ属	*Stictochironomus* sp.	●																											●												
ユスリカ科　ユスリカ亜科		ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.	●			●	●		●	●	●			●	●					●	●				●	●	●			●	●	●					●	●	●	●	●			
ユスリカ科　ユスリカ亜科		ナガレユスリカ属	*Rheotanytarsus* sp.	●																								●											●					
ユスリカ科　ユスリカ亜科		ヒゲユスリカ属	*Tanytarsus* sp.	●					●	●						●		●	●																				●					
ユスリカ科		ユスリカ亜科	Chironominae sp.	●																								●																
ユスリカ科　ユスリカ亜科		ユスリカ科（成虫を含む）	Chironomidae sp.	●		●	●		●	●					●	●	●	●	●	●					●	●	●	●	●			●			●	●									
カ科		ハマダラカ属	*Anopheles* sp.	●				●																																				
ホソカ科		マダラホソカ	*Dixa longistyla*	●																		●						●				●												
ホソカ科		クロホソカ	*Dixa yamatona*	●																	●							●				●												
ホソカ科		ホソカ属	*Dixa* sp.	●															●																●					●				
ブユ科		ツノマユブユ属	*Eusimulium* sp.	●																	●							●				●		●	●	●			●					
ブユ科		オオブユ属（成虫を含む）	*Prosimulium* sp.	●			●																												●		●		●	●	●				
ブユ科		アシマダラブユ属	*Simulium sp.*	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●			●			●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
ブユ科		ブユ科	Simuliidae sp.	●											●																													
ユスリカバエ科		アンドロプロソパ属	*Androprosopa* sp.	●							●																																
ナガレアブ科		クロモンナガレアブ	*Asuragina caerulescens*	●																																				●				
ナガレアブ科		ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	●			●	●	●	●															●															●	●	●			
ナガレアブ科		ハマダラナガレアブ	*Atherix ibis japonica*	●			●	●		●	●	●																						●						●				
ナガレアブ科		サツマモンナガレアブ	*Suragina satsumana*	●							●																																	
ナガレアブ科		ナガレアブ科	Athericidae sp.	●					●									●																							●				
アシナガバエ科		アシナガバエ科（成虫を含む）ゼンズリストキンイロアシナガバエは湿岩面に生息する	Dolichopodidae sp.		●																			●					●																
オドリバエ科		カマオドリバエ属	*Chelifera* sp.	●																	●							●																
オドリバエ科		ナミシブキバエ属	*Clinocera* sp.	●																	●							●	●																
オドリバエ科		クチナガシブキバエ属	Roederiodes sp.	●																								●																
オドリバエ科		トゲナシシシブキバエ属（成虫を含む）	*Wiedemannia* sp.	●				●	●	●						●		●	●									●													●				
ミギワバエ科		ミギワバエ科	Ephydridae sp.	●																	●																							
ハナアブ科		アシブトハナアブ（成虫を含む）	*Helophilus eristaloideus*	●					●																																			
ハエ目（双翅目）		－	DIPTERA sp.	●																																				●				
ゲンゴロウ科		カノシマチビゲンゴロウ Oreodytes属	*Oreodytes kanoi*	●																																					●				
ゲンゴロウ科		サワダマメゲンゴロウ	*Platambus sawadai*	●							●																																		
ゲンゴロウ科		モンキマメゲンゴロウ属　*Platambus*属	*Platambus* sp.	●		●		●							●	●																												
ガムシ科		ガムシ科	Hydrophilidae sp.	●																																								
マルハナノミ科		Elodes属	*Elodes* sp.	●												●			●																										
マルハナノミ科		ケシマルハナノミ属Hydrocyphon属	*Hydrocyphon* sp.	●																																								
マルハナノミ科		クロマルハナノミ属　Odeles属	*Odeles* sp.	●											●						●																								
マルハナノミ科		マルハナノミ科	Scirtidae sp.	●																																								
ヒメドロムシ科		タテスジマルヒメドロムシ	*Optioservus ogatai*	●																																								
ヒメドロムシ科		スネアカヒメドロムシ	*Heterlimnius variabilis*	●											●	●			●																										
ヒメドロムシ科		ヒメツヤドロムシ属	*Zaitzeviaria* sp.	●											●	●		●	●																										
ヒラタドロムシ科		マルヒゲナガハナノミ	*Schinostethus brevis*	●																									●																
ナガハナノミ科		クロツヤヒゲナガハナノミ属 Anchycteis属	*Anchycteis* sp.	●																								●																
クロバネキノコバエ科		クロバネキノコバエ科	*Sciaridae* sp.	●																		●						●																
				275種	29種	32種	60種	70種	39種	54種	59種	52種	2種	8種	67種	64種	11種	52種	70種	36種	69種	46種	6種	7種	41種	36種	41種	99種	38種	11種	9種	47種	51種	67種	66種	86種	36種	28種	36種	72種	83種	63種	58種	42種	3種	15種		

表 442　両生類のこれまでの捕獲等調査及び環境 DNA 分析による確認種一覧(流量減少が予測される沢 1/2)

科名	和名	学名	種の保存法	県RL H16 2004	県RL R2 2020 (2017)	省RL R2 2020	07 蛇抜沢					09 悪沢					13 ジャガ沢						14 流沢				
							捕獲等調査			環境DNA分析		捕獲等調査			環境DNA分析		捕獲等調査			環境DNA分析			捕獲等調査			環境DNA分析	
							これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7春/下流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流
希少種保護のため非公開																											

表 443　両生類のこれまでの捕獲等調査及び環境 DNA 分析による確認種一覧(流量減少が予測される沢 2/2)

科名	和名	学名	種の保存法	県RL H16 2004	県RL R2 2020 (2017)	省RL R2 2020	15 二軒小屋南西の沢			16 上スリバチ沢					17 スリバチ沢					29 蛇沢				
							捕獲等	環境DNA分析		捕獲等調査			環境DNA分析		捕獲等調査			環境DNA分析		捕獲等調査			環境DNA分析	
							これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流
希少種保護のため非公開																								

[redacted]

表 444　両生類のこれまでの捕獲等調査及び環境 DNA 分析による確認種一覧(流量減少が予測されない沢 1/2)

科名	和名	学名	種の保存法	県RL H16 2004	県RL R2 2020 (2017)	省RL R2 2020	01 内無沢	02 魚無沢	03 瀬戸沢	04 上岳沢	05 西小石沢					06 柾小屋沢	08 柳沢	10 大崩	11 徳右衛門沢	12 曲輪沢	18 車屋沢				
							捕獲等	捕獲等	捕獲等	捕獲等	捕獲等調査			環境DNA分析		捕獲等	捕獲等	捕獲等	捕獲等	捕獲等	捕獲等調査			環境DNA分析	
							これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流
希少種保護のため非公開																									

表 445　両生類のこれまでの捕獲等調査及び環境 DNA 分析による確認種一覧(流量減少が予測されない沢 2/2)

科名	和名	学名	種の保存法	県RL H16 2004	県RL R2 2020 (2017)	省RL R2 2020	19 燕沢	20 大尻沢北の沢	21 大尻沢					22 蛇沢南東の沢	23 破風石沢	24 下木賊沢北の沢	25 下木賊沢	26 虎杖沢	27 上千枚沢	28 下千枚沢	30 蛇沢南の沢	31 奥西河内川	32 赤石沢	33 北俣・中俣合流部付近(三伏沢)				
							捕獲等	捕獲等	捕獲等調査			環境DNA分析		捕獲等	捕獲等	捕獲等	捕獲等	捕獲等	捕獲等	捕獲等	捕獲等	捕獲等	捕獲等	捕獲等調査			環境DNA分析	
							これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	R7秋/下流	R7秋/上流
希少種保護のため非公開																												

3. 河川本流の動物調査

3.1. 魚類の生息状況調査

【事後調査及びモニタリング計画通し番号 160、161】

任意採集による魚類の生息状況調査及び標識再捕獲法による総生息数の推定を実施しました。確認された重要種は[redacted]の[redacted]種でした。各年度の調査期間、調査結果は以下の通りです。

3.1.1. 調査期間

調査期間を表 446 に示します。調査時期は、各種の生活史及び生息特性等に応じて設定しました。

表 446(1)　動物（魚類）の調査期間（任意採集）

地点番号	調査地点	調査実施日							
		春季		夏季		秋季		冬季	
		１回目調査	２回目調査	１回目調査	２回目調査	１回目調査	２回目調査	１回目調査	２回目調査
沢33	北俣・中俣合流部付近	2020年度※1 2021年度※3 2022年５月25日 2023年５月28日 2024年６月16日 2025年５月21日	2020年度※1 2021年度※3 2022年６月３日 2023年６月18日 2024年度※3 2025年６月４日	2020年度※2 2021年９月１日 2022年７月28日 2023年７月29日 2024年度※3 2025年８月５日	2020年度※2 2021年９月16日 2022年８月26日 2023年８月31日 2024年度※3 2025年８月19日	2020年10月31日 2021年９月29日 2022年９月17日 2023年９月16日 2024年10月１日 2025年９月９日	2020年11月５日 2021年10月14日 2022年10月15日 2023年９月29日 2024年10月15日 2025年９月16日		
河02	西俣（放流箇所下流）	2020年６月６日 2021年６月11日 2022年５月19日 2023年５月13日 2024年４月29日 2025年５月14日	2020年６月25日 2021年６月15日 2022年５月30日 2023年６月19日 2024年５月17日 2025年５月22日	2020年９月15日 2021年８月５日 2022年７月16日 2023年７月15日 2024年７月15日 2025年８月６日	2020年９月22日 2021年８月11日 2022年７月31日 2023年７月28日 2024年８月21日 2025年８月27日	2020年10月28日 2021年９月21日 2022年10月16日 2023年９月17日 2024年10月３日 2025年９月18日	2020年11月３日 2021年９月25日 2022年10月30日 2023年９月30日 2024年10月16日 2025年10月１日	2020年２月28日 2021年１月20日 2022年１月14日 2022年12月２日 2023年12月１日 2024年12月10日 2025年12月11日	2020年３月４日 2021年１月26日 2022年１月27日 2022年12月17日 2023年12月14日 2024年12月17日 2025年12月18日

注１：胃の内容物調査は、生物多様性専門部会委員のご意見を踏まえ、沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②）の３地点で実施。

注２：冬季調査は、主要な地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で実施。

注３：「※１」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、主要な地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で６月に実施。

注４：「※２」は、2020 年７月の豪雨による林道東俣線の通行止めに伴い、主要な地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で９月に実施。

注５：「※３」は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

表 446(2)　動物（魚類）の調査期間（任意採集）

地点番号	調査地点	調査実施日							
		春季		夏季		秋季		冬季	
		１回目調査	２回目調査	１回目調査	２回目調査	１回目調査	２回目調査	１回目調査	２回目調査
河 08-2	千石 （放流箇所下流）	2020年６月７日 2021年６月10日 2022年度※2 2023年度※2 2024年６月17日 2025年５月20日	2020年度※1 2021年６月14日 2022年度※2 2023年度※2 2024年度※1 2025年５月29日	2020年９月14日 2021年８月３日 2022年度※2 2023年度※2 2024年７月29日 2025年８月21日	2020年９月22日 2021年８月７日 2022年度※2 2023年度※2 2024年８月14日 2025年８月25日	2020年10月28日 2021年度※2 2022年度※2 2023年度※2 2024年10月18日 2025年10月９日	2020年11月３日 2021年度※2 2022年度※2 2023年度※2 2024年10月29日 2025年10月14日	2020年２月26日 2021年１月19日 2021年度※2 2022年度※2 2023年度※2 2024年12月11日 2025年12月９日	2020年３月５日 2021年１月27日 2021年度※2 2022年度※2 2023年度※2 2024年12月18日 2025年12月18日
河 10-3	椹島 （放流箇所下流②）	2020年６月７日 2021年５月11日 2022年５月18日 2023年度※1 2024年５月19日 2025年５月29日	2020年６月25日 2021年６月１日 2022年５月22日 2023年度※1 2024年６月16日 2025年６月３日	2020年９月14日 2021年８月３日 2022年７月17日 2023年７月14日 2024年７月28日 2025年８月21日	2020年９月23日 2021年８月７日 2022年８月１日 2023年７月28日 2024年８月20日 2025年８月25日	2020年11月15日 2021年９月19日 2022年９月18日 2023年９月19日 2024年10月18日 2025年10月16日	2020年12月21日 2021年９月23日 2022年10月28日 2023年９月30日 2024年10月23日 2025年10月28日	2020年２月19日 2021年１月19日 2022年１月15日 2022年12月４日 2023年12月３日 2024年12月９日 2025年12月10日	2020年２月27日 2021年１月27日 2022年１月28日 2022年12月16日 2023年12月27日 2024年12月16日 2025年12月15日

注１：胃の内容物調査は、生物多様性専門部会委員のご意見を踏まえ、沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②）の３地点で実施。また、この３地点は工事箇所周辺の経年的な水生生物の生息状況の変化を確認するために継続的に調査を実施。

注２：冬季調査は、主要な地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で実施。

注３：「※１」は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

注４：「※２」は過年度までの調査で工事着手前段階の四季別データが揃ったため、調査を実施していないことを表す。

3.1.2. 調査結果（2019 年度）

3.1.2.1. 魚類（任意採集）（2019 年度）

魚類（任意採集）の確認種一覧を表 447、地点別の確認種の概要及び総生息数（推定値）を表 448 に示します。

表 447　魚類（任意採集）確認種一覧（2019 年度）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域		
					河 02 西俣（放流箇所下流）	河 08-2 千石（放流箇所下流）	河 10-3 椹島（放流箇所下流②）
					冬季	冬季	冬季
希少種保護のため非公開							

表 448(1)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2019 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）
冬季	1	2020/2/28	2.2	希少種保護のため非公開					
	2	2020/3/4	3.4						

表 448(2)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 08-2 千石（放流箇所下流）・2019 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）
冬季	1	2020/2/26	3.1	希少種保護のため非公開				
	2	2020/3/5	3.0					

表 448(3)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））・2019 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）
冬季	1	2020/2/19	2.1	希少種保護のため非公開					
	2	2020/2/27	4.7						

3.1.3. 調査結果（2020 年度）

3.1.3.1. 魚類（任意採集）（2020 年度）

魚類（任意採集）の確認種一覧を表 449、地点別の確認種の概要及び総生息数（推定値）を表 450 に示します。

表 449(1)　魚類（任意採集）確認種一覧（2020 年度）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域				
					沢 33 北俣・中俣合流部付近	河 02 西俣（放流箇所下流）			
					秋季	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開									

表 449(2)　魚類（任意採集）確認種一覧（2020 年度）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 08-2 千石（放流箇所下流）				河 10-3 椛島（放流箇所下流②）			
					春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開												

表 450(1)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2020 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）
春季	1	2020/6/6	9.5	希少種保護のため非公開					
夏季	1	2020/9/15	11.9						
	2	2020/9/22	10.6						
冬季	1	2021/1/20	0.5						

注：春季調査の２回目調査、秋季調査の１回目調査・２回目調査及び冬季調査の２回目調査では、魚類は確認されなかった。

表 450(2)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 08-2 千石（放流箇所下流）・2020 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）
夏季	1	2020/9/14	14.9	希少種保護のため非公開				
	2	2020/9/22	13.4					
秋季	1	2020/10/28	7.8					
冬季	1	2021/1/19	0.8					
	2	2021/1/27	3.8					

注１：春季調査の１回目調査では、魚類は確認されなかった。２回目調査は、河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。
注２：秋季調査の２回目調査では、魚類は確認されなかった。

表 450(2)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②）・2020 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温 (℃)	個体 No.	種名	体長 (cm)	マーキング個体 の再捕獲の有無	胃の内容物調査 の有無	魚類の総生息数 （推定値）
春季	1	2020/6/7	14.8	希少種保護のため非公開					
	2	2020/6/25	15.8						
夏季	1	2020/9/14	14.0						
	2	2020/9/23	12.8						
秋季	1	2020/11/15	7.2						

注：秋季調査の２回目調査及び冬季調査の１回目、２回目調査では、魚類は確認されなかった。

3.1.4. 調査結果（2021 年度）

3.1.4.1. 魚類（任意採集）（2021 年度）

魚類（任意採集）の確認種一覧を表 451、地点別の確認種の概要及び総生息数（推定値）を表 452 に示します。

表 451(1)　魚類（任意採集）確認種一覧（2021 年度）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域						
					沢 33 北俣・中俣合流部付近			河 02 西俣（放流箇所下流）			
					春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開											

注１：「※１」は[redacted]
注２：「※２」は[redacted]
注３：「※３」は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

表 451(2)　魚類（任意採集）確認種一覧（2021 年度）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域					
					河 08-2 千石（放流箇所下流）		河 10-3 椹島（放流箇所下流②）			
					春季	夏季	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開										

注：「※」は[redacted]

表 452(1)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（沢 33 北俣・中俣合流部付近・2021 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）
夏季	1	2021/9/1	9.8	希少種保護のため非公開					
	2	2021/9/16	8.3						
秋季	2	2021/10/14	7.3						

注：秋季調査の１回目調査では、魚類は確認されなかった。

表 452(2)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2021 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）
夏季	1	2021/8/5	12.3	希少種保護のため非公開					
	2	2021/8/11	13.0						
秋季	1	2021/9/21	10.6						
	2	2021/9/25	10.8						
冬季	2	2022/1/27	1.3						

注：春季調査の１回目調査・２回目調査及び冬季調査の２回目調査では、魚類は確認されなかった。

表 452(3)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 08-2 千石（放流箇所下流）・2021 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）
春季	2	2021/6/14	10.2	希少種保護のため非公開				
夏季	1	2021/8/3	16.0					
	2	2021/8/7	12.5					

注１：春季調査の１回目調査では、魚類は確認されなかった。
注２：「※」は[redacted]

表 452(4)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②）・2021 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）
春季	1	2021/5/11	8.6	希少種保護のため非公開					
夏季	1	2021/8/3	14.6						
	2	2021/8/7	14.3						

注１：春季調査の２回目調査では、魚類は確認されなかった。
注２：「※」は[redacted]

表 452(5)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））・2021 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）
秋季	1	2021/9/19	12.9	希少種保護のため非公開					
	2	2021/9/23	12.2						
冬季	1	2022/1/15	0.3						
	2	2022/1/28	1.9						

注：「※」は[redacted]

3.1.5. 調査結果（2022 年度）

3.1.5.1. 魚類（任意採集）（2022 年度）

魚類（任意採集）の確認種一覧を表 453、地点別の確認種の概要及び総生息数（推定値）を表 454 に示します。

表 453(1)　魚類（任意採集）確認種一覧（2022 年度）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域						
					沢 33 北俣・中俣合流部付近			河 02 西俣（放流箇所下流）			
					春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開											

注１：「※１」は[redacted]
注２：「※２」は[redacted]

表 453(2)　魚類（任意採集）確認種一覧（2022 年度）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域			
					河 10-3 椹島（放流箇所下流②）			
					春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開								

注：「※」は[redacted]

表 454(1)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（沢 33 北俣・中俣合流部付近・2022 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）
春季	2	2022/6/3	6.3	希少種保護のため非公開					

注：　春季調査の１回目調査では、魚類は確認されなかった。

表 454(2)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（沢 33 北俣・中俣合流部付近・2022 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）
夏季	1	2022/7/28	11.5	希少種保護のため非公開					
	2	2022/8/26	12.5						

注１：「※１」は[redacted]

注２：「※２」について、[redacted]

表 454(3)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（沢 33 北俣・中俣合流部付近・2022 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）
秋季	1	2022/9/17	8.8	希少種保護のため非公開					
	2	2022/10/15	6.4						

表 454(4)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2022 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）
春季	1	2022/5/19	6.2	希少種保護のため非公開					
	2	2022/5/30	11.3						

表 454(5)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2022 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）
夏季	1	2022/7/16	11.5	希少種保護のため非公開					
	2	2022/7/31	13.5						

注１：「※１」は[redacted]

注２：「※２」について、[redacted]

表 454(6)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2022 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）
秋季	1	2022/10/16	8.0	希少種保護のため非公開					
	2	2022/10/30	7.5						

表 454(7)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2022 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）
冬季	1	2022/12/2	3.1	希少種保護のため非公開					
	2	2022/12/17	2.3						

表 454(8)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））・2022 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）
春季	1	2022/5/18	7.9	希少種保護のため非公開					
	2	2022/5/22	8.3						

注１：「※１」は[redacted]

注２：「※２」について、[redacted]

表 454(9)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））・2022 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）
夏季	1	2022/7/17	13.1	希少種保護のため非公開					
	2	2022/8/1	15.1						

注１：「※１」は[redacted]

注２：「※２」について、[redacted]

表 454(10)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））・2022 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温(℃)	個体No.	種名	体長(cm)	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）
秋季	1	2022/9/18	15.8	希少種保護のため非公開					
	2	2022/10/28	6.1						

注１：「※１」は[redacted]

注２：「※２」について、[redacted]。

表 454(11)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））・2022 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）
冬季	1	2022/12/4	3.9	希少種保護のため非公開					
	2	2022/12/16	1.8						

注１：「※１」は[redacted]

注２：「※２」について、[redacted]

3.1.6. 調査結果（2023 年度）

3.1.6.1. 魚類（任意採集）（2023 年度）

魚類（任意採集）の確認種一覧を表 455、地点別の確認種の概要及び総生息数（推定値）を表 456 に示します。

表 455(1)　魚類（任意採集）確認種一覧（2023 年度）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域						
					沢 33 北俣・中俣合流部付近			河 02 西俣（放流箇所下流）			
					春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開											

注１：「※１」は[redacted]
注２：「※２」は[redacted]

表 455(2)　魚類（任意採集）確認種一覧（2023 年度）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域			
					河 10-3 椹島（放流箇所下流②）			
					春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開								

注１：「※」は[redacted]
注２：春季は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

表 456(1)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（沢 33 北俣・中俣合流部付近・2023 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
春季	1	2023/5/28	7.3	希少種保護のため非公開					
	2	2023/6/18	6.7						
夏季	1	2023/7/29	12.9						
	2	2023/8/31	9.1						

注：「※」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。

表 456(2)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（沢 33 北俣・中俣合流部付近・2023 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
秋季	1	2023/9/16	10.8	希少種保護のため非公開					
	2	2023/9/29	8.1						

注：「※」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。

表 456(3)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2023 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
春季	1	2023/5/13	5.1	希少種保護のため非公開					
	2	2023/6/19	10.5						

注：「※」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。

表 456(4)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2023 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
夏季	1	2023/7/15	11.1	希少種保護のため非公開					
	2	2023/7/28	12.9						

注：「※」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。

表 456(5)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2023 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
秋季	1	2023/9/17	12.9	希少種保護のため非公開					
	2	2023/9/30	12.3						

注：「※」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。

表 456(6)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2023 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
冬季	1	2023/12/1	2.1	希少種保護のため非公開					
	2	2023/12/14	2.3						

注：「※」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。

表 456(7)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②）・2023 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
夏季	1	2023/7/14	12.8	希少種保護のため非公開					
	2	2023/7/27	17.6						

注：「※」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。

表 456(8)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②）・2023 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
秋季	1	2023/9/19	13.9	希少種保護のため非公開					
	2	2023/10/1	14.7						

注：「※」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。

表 456(9)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②）・2023 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	胃の内容物調査の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
冬季	1	2023/12/3	2.0	希少種保護のため非公開					
	2	2023/12/27	2.1						

注：「※」について、マーキング個体の再捕獲数が 0 個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。

3.1.7. 調査結果（2024 年度）

3.1.7.1. 魚類（任意採集）（2024 年度）

魚類（任意採集）の確認種一覧を表 457、地点別の確認種の概要及び総生息数（推定値）を表 458 に示します。

表 457(1)　魚類（任意採集）確認種一覧（2024 年度）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域						
					沢 33 北俣・中俣合流部付近			河 02 西俣（放流箇所下流）			
					春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開											

注１：「※１」は[redacted]
注２：「※２」は[redacted]

表 457(2)　魚類（任意採集）確認種一覧（2024 年度）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 08-2 千石（放流箇所下流）				河 10-3 椹島（放流箇所下流②）			
					春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開												

注：「※」は[redacted]

表 458(1)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（沢 33 北俣・中俣合流部付近・2024 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
春季	1	2024/6/16	9.8	希少種保護のため非公開				
秋季	1	2024/10/1	12.5					
	2	2024/10/15	10.9					

注１：春季の２回目、夏季の１回目・２回目は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。
注２：「※」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。

表 458(2)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2024 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
春季	1	2024/4/28	7.8	希少種保護のため非公開				
	2	2024/5/17	5.8					

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 458(3)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2024 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
夏季	1	2024/7/15	11.4	希少種保護のため非公開				
	2	2024/8/21	13.1					

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 458(4)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2024 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
秋季	1	2024/10/3	11.9	希少種保護のため非公開				
	2	2024/10/16	11.0					

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 458(5)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2024 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値） ※（）内は標準偏差
冬季	1	2024/12/10	2.4	希少種保護のため非公開				
	2	2024/12/17	2.5					

注：「※」について、[redacted]

表 458(6)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 08-2 千石（放流箇所下流）・2024 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
春季	1	2024/6/17	10.4	希少種保護のため非公開				

注１：春季の２回目は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。
注２：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注３：「※２」について、[redacted]

表 458(7)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 08-2 千石（放流箇所下流）・2024 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
夏季	1	2024/7/29	11.8	希少種保護のため非公開				
	2	2024/8/14	14.5					

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 458(8)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 08-2 千石（放流箇所下流）・2024 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
秋季	1	2024/10/18	10.5	希少種保護のため非公開				
	2	2024/10/29	10.3					

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。

注２：「※２」について、[redacted]

表 458(9)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 08-2 千石（放流箇所下流）・2024 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
冬季	1	2024/12/11	2.7	希少種保護のため非公開				

注：「※」について、[redacted]

表 458(10)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 08-2 千石（放流箇所下流）・2024 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
冬季	2	2024/12/18	2.4	希少種保護のため非公開				

注：「※」について、[redacted]

表 458(11)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②）・2024 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
春季	1	2024/5/19	8.7	希少種保護のため非公開				
	2	2024/6/16	12.3					

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 458(12)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））・2024 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
夏季	1	2024/7/28	13.2	希少種保護のため非公開				
	2	2024/8/20	14.8					

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 458(13)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 槌島（放流箇所下流②））・2024 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
秋季	1	2024/10/18	11.1	希少種保護のため非公開				
	2	2024/10/23	12.2					

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 458(14)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 槌島（放流箇所下流②））・2024 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値） ※（）内は標準偏差
冬季	1	2024/12/9	3.7	希少種保護のため非公開				
	2	2024/12/16	2.2					

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

3.1.8. 調査結果（2025 年度）

3.1.8.1. 魚類（任意採集）（2025 年度）

魚類（任意採集）の確認種一覧を表 459、地点別の確認種の概要及び総生息数（推定値）を表 460 に示します。

表 459(1)　魚類（任意採集）確認種一覧（2025 年度）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域						
					沢 33 北俣・中俣合流部付近			河 02 西俣（放流箇所下流）			
					春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開											

注１：「※１」は[redacted]
注２：「※２」は[redacted]

表 459(2)　魚類（任意採集）確認種一覧（2025 年度）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 08-2 千石（放流箇所下流）				河 10-3 椹島（放流箇所下流②）			
					春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開												

注：「※」は[redacted]

表 460(1)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（沢 33 北俣・中俣合流部付近・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
春季	1	2025/5/21	7.2	希少種保護のため非公開				
	2	2025/6/4	8.3					

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 460(2)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（沢 33 北俣・中俣合流部付近・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
夏季	1	2025/8/5	12.3	希少種保護のため非公開				

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 460(3)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（沢 33 北俣・中俣合流部付近・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
夏季	2	2025/8/19	13.0	希少種保護のため非公開				

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 460(4)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（沢 33 北俣・中俣合流部付近・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
秋季	1	2025/9/9	11.6	希少種保護のため非公開				

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 460(5)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（沢 33 北俣・中俣合流部付近・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
秋季	2	2025/9/16	11.8	希少種保護のため非公開				

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 460(6)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
春季	1	2025/5/14	7.5	希少種保護のため非公開				

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 460(7)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
春季	2	2025/5/22	8.7	希少種保護のため非公開				

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 460(8)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
夏季	1	2025/8/6	13.5	希少種保護のため非公開				

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 460(9)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
夏季	2	2025/8/27	13.2	希少種保護のため非公開				

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 460(10)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
秋季	1	2025/9/18	14.1	希少種保護のため非公開				

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 460(11)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
秋季	2	2025/10/1	10.9	希少種保護のため非公開				

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 460(12)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
冬季	1	2025/12/11	3.2	希少種保護のため非公開				

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 460(13)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 02 西俣（放流箇所下流）・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
冬季	2	2025/12/18	3.1	希少種保護のため非公開				

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 460(14)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 08-2 千石（放流箇所下流）・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
春季	1	2025/5/20	7.2	希少種保護のため非公開				

注：「※」について、[redacted]

表 460(15)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 08-2 千石（放流箇所下流）・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
春季	2	2025/5/29	8.5	希少種保護のため非公開				

注：「※」について、[redacted]

表 460(16)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 08-2 千石（放流箇所下流）・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
夏季	1	2025/8/21	12.7	希少種保護のため非公開				

注：「※」について、[redacted]

表 460(17)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 08-2 千石（放流箇所下流）・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
夏季	2	2025/8/27	15.1	希少種保護のため非公開				

注：「※」について、[redacted]

表 460(18)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 08-2 千石（放流箇所下流）・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
秋季	1	2025/10/9	11.8	希少種保護のため非公開				

注：「※」について、[redacted]

表 460(19)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 08-2 千石（放流箇所下流）・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
秋季	2	2025/10/14	13.4	希少種保護のため非公開				

注：「※」について、[redacted]

表 460(20)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 08-2 千石（放流箇所下流）・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
冬季	1	2025/12/9	3.1	希少種保護のため非公開				

注：「※」について、[redacted]

表 460(21)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 08-2 千石（放流箇所下流）・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
冬季	2	2025/12/18	3.5	希少種保護のため非公開				

注：「※」について、[redacted]

表 460(22)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
春季	1	2025/5/29	9.1	希少種保護のため非公開				

注：「※」について、[redacted]

表 460(23)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
春季	2	2025/6/3	9.6	希少種保護のため非公開				

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 460(24)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
夏季	1	2025/8/21	15.3	希少種保護のため非公開				
	2	2025/8/25	16.5					

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 460(25)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
秋季	1	2025/10/16	12.9	希少種保護のため非公開				

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 460(26)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 08-2 千石（放流箇所下流）・2024 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
秋季	2	2025/10/28	11.1	希少種保護のため非公開				

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

表 460(27)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（河 10-3 椹島（放流箇所下流②））・2025 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体No.	種名	体長（ｃｍ）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）※（）内は標準偏差
冬季	1	2025/12/10	2.4	希少種保護のため非公開				
	2	2025/12/15	3.9					

注１：「※１」について、マーキング個体の再捕獲数が０個体であったため、総生息数の推定は行っていない。参考として調査で確認された総個体数を記載している。
注２：「※２」について、[redacted]

3.2.底生動物の生息状況調査

【事後調査及びモニタリング計画通し番号 166、167、173、174】

3.2.1. 調査期間

調査期間を表 461～表 463 に示します。調査時期は、各種の生活史及び生息特性等に応じて設定しました。

表 461　底生動物の調査日（任意採集）

地点番号	調査地点	任意採集				
		早春季	春季	夏季	秋季	冬季
沢 33	北俣・中俣合流部付近		2024 年６月 16 日 2025 年６月４日	2024 年度※4 2025 年８月 21 日	2024 年 10 月 16 日 2025 年 10 月２日	
河 02	西俣（放流箇所下流）	2024 年４月 13 日 2025 年３月 19 日	2020 年６月６日 － －	2020 年９月 15 日 2024 年８月 21 日 2025 年８月６日	2020 年 10 月 28 日 2024 年 10 月３日 2025 年 10 月 22 日	2020 年２月 28 日 － 2024 年 12 月 10 日 2025 年 12 月 11 日
河 08-2	千石（放流箇所下流）	2024 年３月 15 日 2025 年３月 20 日	2020 年６月７日 － －	2020 年９月 14 日 2024 年８月 14 日 2025 年８月 27 日	2020 年 10 月 28 日 2024 年 10 月 29 日 2025 年 10 月 14 日	2020 年２月 26 日 － 2024 年 12 月 12 日 2025 年 12 月９日
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	2024 年３月 16 日 2025 年３月 20 日	2020 年６月７日 － －	2020 年９月 14 日 2024 年７月 28 日 2025 年７月 24 日	2020 年 11 月 15 日 2024 年 10 月 22 日 2025 年 10 月 16 日	2020 年２月 27 日 － 2024 年 12 月 12 日 2025 年 12 月 10 日

注４：「※４」は、河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

表 462　底生動物の調査日（定量採集（瀬））

地点番号	調査地点	定量採集(瀬)				
		早春季	春季	夏季	秋季	冬季
沢 33	北俣・中俣合流部付近		2020 年度※1 2021 年度※4 2022 年５月 25 日 2023 年５月 28 日 2024 年６月 16 日 2025 年度※4	2020 年度※2 2021 年９月 16 日 2022 年７月 29 日 2023 年７月 31 日 2024 年度※4 2025 年８月 19 日	2020 年 10 月 31 日 2021 年９月 29 日 2022 年９月 17 日 2023 年９月 16 日 2024 年 10 月 16 日 2025 年 10 月１日	
河 02	西俣（放流箇所下流）	2024 年４月 13 日 2025 年度※4	2020 年６月６日 2021 年６月 11 日 2022 年５月 19 日 2023 年６月 19 日 － －	2020 年９月 15 日 2021 年８月５日 2022 年７月 16 日 2023 年７月 28 日 2024 年８月 21 日 2025 年８月６日	2020 年 12 月 16 日 2021 年９月 21 日 2022 年 10 月 16 日 2023 年９月 17 日 2024 年 10 月３日 2025 年 10 月 22 日	2020 年２月 28 日 2021 年１月 20 日 2022 年１月 14 日 2022 年 12 月２日 2023 年 12 月１日 2024 年 12 月 10 日 2025 年 12 月 11 日
河 08-2	千石（放流箇所下流）	2024 年３月 15 日 2025 年３月 20 日	2020 年６月７日 2021 年６月 14 日 － －	2020 年９月 14 日 2021 年８月３日 2024 年８月 14 日 2025 年８月 27 日	2020 年 10 月 28 日 2021 年度※4 2024 年 10 月 29 日 2025 年 10 月 14 日	2020 年２月 26 日 2021 年１月 19 日 2021 年度※4 2024 年 12 月 12 日 2025 年 12 月９日
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	2024 年３月 16 日 2025 年度※4	2020 年６月７日 2021 年５月 11 日 2022 年５月 18 日 2023 年流量 － －	2020 年９月 14 日 2021 年８月３日 2022 年７月 17 日 2023 年７月 27 日 2024 年７月 28 日 2025 年７月 24 日	2020 年 11 月 15 日 2021 年９月 19 日 2022 年９月 18 日 2023 年９月 19 日 2024 年 10 月 22 日 2025 年 10 月 16 日	2020 年２月 27 日 2021 年１月 19 日 2022 年１月 15 日 2022 年 12 月４日 2023 年 12 月３日 2024 年 12 月 12 日 2025 年 12 月 10 日

注１：「※１」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、主要な３地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で６月に実施した。

注２：「※２」は、2020 年７月の豪雨による林道東俣線の通行止めに伴い、主要な３地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で９月に実施した。

注３：「※３」は、底生動物（淵での定量採集）は、令和２年９月の生物多様性専門部会委員との意見交換を踏まえ、令和２年度秋季調査以降に追加して実施することとした。

注４：「※４」は、河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

表 463　底生動物の調査日（定量採集（淵））

地点番号	調査地点	定量採集(淵)				
		早春季	春季	夏季	秋季	冬季
沢 33	北俣・中俣合流部付近		2021 年度※4 2022 年５月 25 日 2023 年５月 28 日 2024 年６月 16 日 2025 年度※4	2021 年９月 16 日 2022 年７月 29 日 2023 年７月 31 日 2024 年度※4 2025 年８月 19 日	2020 年 10 月 31 日 2021 年９月 29 日 2022 年９月 17 日 2023 年９月 16 日 2024 年 10 月 16 日 2025 年 10 月１日	
河 02	西俣（放流箇所下流）		2021 年６月 11 日 2022 年５月 19 日 2023 年６月 19 日	2021 年８月５日 2022 年７月 16 日 2023 年７月 28 日 2024 年８月 21 日 2025 年８月６日	2020 年 12 月 16 日※3 2021 年９月 21 日 2022 年 10 月 16 日 2023 年９月 17 日 2024 年 10 月３日 2025 年 10 月 22 日	2021 年２月 17 日 2022 年１月 14 日 2022 年 12 月２日 2023 年 12 月１日 2024 年 12 月 10 日 2025 年 12 月 11 日
河 08-2	千石（放流箇所下流）	2024 年３月 15 日 2025 年３月 20 日	2021 年６月 14 日 － －	2021 年８月３日 2024 年８月 14 日 2025 年８月 27 日	2020 年 12 月 18 日※3 2021 年度※4 2024 年 10 月 29 日 2025 年 10 月 14 日	2021 年１月 19 日 2021 年度※4 2024 年 12 月 12 日 2025 年 12 月９日
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	2024 年３月 16 日 2025 年度※4	2021 年５月 11 日 2022 年５月 18 日 2023 年度※4 － －	2021 年８月３日 2022 年７月 17 日 2023 年７月 27 日 2024 年７月 28 日 2025 年７月 24 日	2020 年 12 月 21 日※3 2021 年９月 19 日 2022 年９月 18 日 2023 年９月 19 日 2024 年 10 月 22 日 2025 年 10 月 16 日	2021 年２月 18 日 2022 年１月 15 日 2022 年 12 月４日 2023 年 12 月３日 2024 年 12 月 12 日 2025 年 12 月 10 日

注１：「※１」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、主要な３地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で６月に実施した。

注２：「※２」は、2020 年７月の豪雨による林道東俣線の通行止めに伴い、主要な３地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で９月に実施した。

注３：「※３」は、底生動物（淵での定量採集）は、令和２年９月の生物多様性専門部会委員との意見交換を踏まえ、令和２年度秋季調査以降に追加して実施することとした。

注４：「※４」は、河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

3.2.2. 調査結果

確認された重要種は、[redacted]の[redacted]種でした。なお、指標種のモニタリングは、調査で確認された種の指標性を踏まえて実施します。各年度の調査結果は以下の通りです。

3.2.2.1. 調査結果（2019 年度）

調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種一覧を、表 464 に示します。重要種は確認されませんでした。

調査地域別の底生動物（定量採集）確認種一覧を、表 465 に示します。重要種は確認されませんでした。

表 464　底生動物（任意採集）確認種一覧（地点別）（2019 年度冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域		
						河 02 西俣(放流箇所下流)	河 08-2 千石(放流箇所下流)	河 10-3 椹島(放流箇所下流②)
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	ミズミミズ科	Naididae sp.		●	
2		ツリミミズ目	－	ツリミミズ目	Lumbricida sp.			●
3	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	●	●	●
4			コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*			●
5				フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*		●	
6				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	●	●	●
7			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	●	●	●
8				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	●	●	●
－				Epeorus 属	*Epeorus* sp.	●	●	●
9				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.		●	●
10		カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	●	●	●
11			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.	●	●	●
12			オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.		●	●
13				Nemoura 属	*Nemoura* sp.		●	●
14				Protonemura 属	*Protonemura* sp.	●	●	●
15			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	●	●	●
16			ミドリカワゲラ科	Sweltsa 属	*Sweltsa* sp.	●	●	
－				ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.		●	●
17			カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria* sp.			●
18			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	●		●
19				Tadamus 属	*Tadamus* sp.		●	●
20		トビケラ目(毛翅目)	カワトビケラ科	Dolophilodes 属	*Dolophilodes* sp.			●
21			ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.			●
22			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (*Acropedes* group)	●		●
23				Rhyacophila 属 (Clemens group)	*Rhyacophila* sp. (*Clemens* group)		●	
24				Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila* sp. (*Retracta* group)	●	●	
25			コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.		●	
26		ハエ目(双翅目)	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.	●	●	●
27			ガガンボ科	Tipula 属	*Tipula* sp.	●	●	
28			アミカ科	ヤマトコマドアミカ	*Agathon japonicus*	●	●	●
29				クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*		●	●
30			ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.	●	●	●
31				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	●	●	●
32				Macropelopia 属	*Macropelopia* sp.		●	
33				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.	●	●	
34				Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.		●	●
35				Pagastia 属	*Pagastia* sp.	●	●	●
36				Parametriocnemus 属	*Parametriocnemus* sp.			●
37				Pseudodiamesa 属	*Pseudodiamesa* sp.	●	●	●
38				Tvetenia 属	*Tvetenia* sp.			●
－				エリユスリカ亜科	Orthocladiinae sp.			●
39			ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium* sp.	●	●	●
40				Simulium 属	*Simulium* sp.		●	●

表 465　底生動物（定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（地点別）（2019 年度冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域																	
						河02西俣（放流箇所下流）						河08-2千石（放流箇所下流）						河10-3椹島（放流箇所下流②）					
						調査箇所						調査箇所						調査箇所					
						上流		中流		下流		上流		中流		下流		上流		中流		下流	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*											1	0.002						
2				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	0.004	2	0.001	1	0.002	4	0.011	6	0.014	8	0.024	3	0.008	3	0.008	1	0.001
3			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	1	0.002	2	0.009	1	0.011	4	0.021	3	0.017	5	0.027	2	0.013	1	0.004	1	0.001
4				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	6	0.021	3	0.008														
－				Epeorus属	*Epeorus* sp.					2	0.002	4	0.004	2	0.002	4	0.006	3	0.002	2	0.008	1	+
5				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.									1	0.003			2	0.006	3	0.001		
6		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.							7	0.011	18	0.022	20	0.026	15	0.021	2	0.001	4	0.005
7			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.							4	0.001	2	0.004								
8			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.									1	0.002	1	0.001						
9				Protonemura属	*Protonemura* sp.	5	0.004	10	0.023					5	0.011	10	0.021						
10			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	15	0.117	22	0.125	13	0.067	16	0.075	11	0.045	15	0.071	3	0.019	1	0.002		
11			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.							3	0.004					3	0.007	1	0.001		
12		トビケラ目（毛翅目）	ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.																	1	0.012
13			ナガレトビケラ科	Rhyacophila属 (Clemens group)	*Rhyacophila* sp. (*Clemens* group)											1	0.013						
14				Rhyacophila属 (Retracta group)	*Rhyacophila* sp. (*Retracta* group)							1	0.002										
15		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota属	*Dicranota* sp.							2	0.009									2	0.012
16			アミカ科	ヤマトコマドアミカ	*Agathon japonicus*					1	0.004	1	0.017			3	0.015						
17				クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*									1	0.057								
18			ユスリカ科	Diamesa属	*Diamesa* sp.	7	0.003	3	0.009	7	0.011	30	0.027	15	0.012	20	0.021	1	0.003			3	0.002
19				Eukiefferiella属	*Eukiefferiella* sp.	10	0.003	7	0.008	2	0.001	32	0.021	15	0.009	22	0.012	4	0.002	4	0.001	3	0.001
20				Micropsectra属	*Micropsectra* sp.							3	+										
21				Orthocladius属	*Orthocladius* sp.							2	0.001	2	0.001							1	+
22				Pagastia属	*Pagastia* sp.			1	0.005									2	0.014				
23				Tvetenia属	*Tvetenia* sp.															1	+		
24			ブユ科	Prosimulium属	*Prosimulium* sp.	6	0.012	2	0.008			2	0.005	3	0.004	10	0.025					5	0.014
25				Simulium属	*Simulium* sp.											1	+			3	0.007	2	0.003
計	1綱	4目	13科	25種	総個体数(/25cm×25cm×1回)	51		52		27		115		85		120		38		18		22	
					総湿重量(g/25cm×25cm×1回)	0.166		0.196		0.098		0.209		0.203		0.264		0.095		0.026		0.048	
					河床型	早瀬						早瀬						早瀬					
					河床材料	小石(SB)、中石(MB)						小石(SB)、中石(MB)						小石(SB)、中石(MB)					
					礫の状況	浮き石						浮き石						浮き石					
					流速(cm/秒)	100		100		120		100		100		80		80		120		120	
					水深(cm)	20		20		20		20		20		22		20		25		20	

注1. 分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注3. 湿重量欄の「+」は、湿重量が0.001g未満であることを示す。

3.2.2.2.調査結果（2020 年度）

調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種一覧を、表 466～表 467 に示します。重要種は確認されませんでした。

調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種一覧を、表 468～表 475 に示します。重要種は確認されませんでした。

調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種一覧を、表 476～表 478 に示します。重要種は確認されませんでした。

表 466　調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種一覧：(2020 年度春季・夏季・秋季 1/2)

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域								
						河02 西俣（放流箇所下流）			河08-2 千石（放流箇所下流）			河10-3 槌島（放流箇所下流②）		
						春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	Cincticostella 属	*Cincticostella sp.*									●
2			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus sp.*	●	●	●	●	●				●
3			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	●	●			●		●	●	
4				サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*		●						●	
5				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*	●	●	●	●		●			
7				Ecdyonurus 属	*Ecdyonurus sp.*					●				
8				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	●			●			●		
9				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*			●					●	
10				ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*			●						
11				Rhithrogena 属	*Rhithrogena sp.*		●			●	●	●	●	●
12		カワゲラ目（セキ翅目）	トワダカワゲラ科	ミネトワダカワゲラ	*Scopura montana*	●								
13			クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	*Capniidae sp.*			●			●			●
14			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	*Leuctridae sp.*			●						
15			オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura sp.*	●		●			●			
16				Nemoura 属	*Nemoura sp.*				●					
17				Protonemura 属	*Protonemura sp.*	●	●	●	●	●	●		●	●
18			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	*Taeniopterygidae sp.*	●		●			●			
19			ミドリカワゲラ科	Sweltsa 属	*Sweltsa sp.*	●								
－				ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*		●		●	●	●	●	●	●
20			カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria sp.*	●	●	●		●				
21				カワゲラ科	*Perlidae sp.*								●	
22			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*		●			●	●		●	●
23				ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*			●						
24				ニッコウアミメカワゲラ	*Sopkalia yamadae*					●				
25				Skwala 属	*Skwala sp.*									●
－				アミメカワゲラ科	*Perlodidae sp.*									●
26		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	Arctopsyche 属	*Arctopsyche sp.*			●					●	●
27				シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*									●
28			ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma sp.*					●			●	
29			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila sp. (Acropedes group)*	●	●	●		●	●		●	●
30				Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila sp. (Retracta group)*									
31			カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma sp.*				●				●	
32		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota sp.*	●								
33			ヒメガガンボ科	Hexatoma 属	*Hexatoma sp.*		●							
34			ガガンボ科	Tipula 属	*Tipula sp.*									●
35			アミカ科	Blepharicera 属	*Blepharicera sp.*								●	
36				ヤマトコマドアミカ	*Agathon japonicus*	●								
37			ユスリカ科	Cardiocladius 属	*Cardiocladius sp.*					●			●	
38				Chironomus 属	*Chironomus sp.*		●							
39				Diamesa 属	*Diamesa sp.*	●	●		●	●			●	
40				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*		●	●			●	●	●	
41				Macropelopia 属	*Macropelopia sp.*				●					
42				Micropsectra 属	*Micropsectra sp.*		●		●					
43				Orthocladius 属	*Orthocladius sp.*		●			●			●	
44				Polypedilum 属	*Polypedilum sp.*		●		●	●			●	
45				Syndiamesa 属	*Syndiamesa sp.*		●							
46				Tanytarsus 属	*Tanytarsus sp.*					●				

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。

注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

表 467　調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種一覧：(2020 年度春季・夏季・秋季 2/2)

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域								
						河02 西俣（放流箇所下流）			河08-2 千石（放流箇所下流）			河10-3 槻島（放流箇所下流②）		
						春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
－	昆虫綱	ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	モンユスリカ亜科	*Tanypodinae sp.*					●				
47			ブユ科	Simulium 属	*Simulium sp.*		●	●		●	●		●	
48			ナガレアブ科	クロモンナガレアブ	*Asuragina caerulescens*		●							
49				ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	●								
50		コウチュウ目（鞘翅目）	ヒラタドロムシ科	マルヒゲナガハナノミ	*Schinostethus brevis*							●		
51			ゲンゴロウ科	カノシマチビゲンゴロウ	*Oreodytes kanoi*				●					
計						16 種	21 種	16 種	13 種	19 種	12 種	7 種	20 種	13 種

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

表 468　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2020 年度秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						沢 33 北俣・中俣合流部付近							
						秋季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus sp.*					1	+	1	0.023
2			コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	2	+	1	+	3	+	5	0.003
3			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*	7	0.005	9	0.009	5	0.004	5	0.004
4		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	*Capniidae sp.*	2	0.004						
5			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	*Leuctridae sp.*	2	+	4	0.001				
6			オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura sp.*	9	0.009	7	0.007	4	0.005	2	0.003
7			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	*Taeniopterygidae sp.*	58	0.035	47	0.023	18	0.009	12	0.006
8			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*	1	+						
9		トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila sp. (Acropedes group)*	3	0.015	1	0.007	1	0.002	1	0.008
10		ハエ目（双翅目）	ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha sp.*					1	+		
11			ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia sp.*	4	+						
12				Diamesa 属	*Diamesa sp.*			1	+				
13				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*					1	+		
14			ブユ科	Simulium 属	*Simulium sp.*	1	0.003						
計					種数	4 目 12 科 14 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	89		70		34		26	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.071		0.047		0.02		0.047	
					河床型	早瀬							
					河床材料	細礫（SG）～大石（LB）							
					礫の状況	浮き石							
					流速（cm/秒）	40		30		30		20	
					水深（cm）	30		20		30		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 469　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2020 年度春季・夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域											
						河 02 西俣（放流箇所下流）											
						春季						夏季					
						定量１		定量２		定量３		定量１		定量２		定量３	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais 属	*Nais sp.*											1	+
2	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	Drunella 属	*Drunella sp.*									1	+		
3			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus sp.*	1	0.004										
4			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*							3	0.019	4	0.021		
5				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	2	0.004	8	0.018	8	0.007	2	0.014	16	0.114	9	0.065
6			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*	4	0.058	2	0.016	1	0.016					1	+
7				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	7	0.023	6	0.016								
－				Epeorus 属	*Epeorus sp.*			11	0.029	5	0.003	1	+				
8				Rhithrogena 属	*Rhithrogena sp.*	3	+			1	+	1	+	1	0.025		
9		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	*Capniidae sp.*									2	+	1	+
10			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	*Leuctridae sp.*							8	0.004	5	0.002	10	0.005
11			オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura sp.*			1	0.002								
12				Protonemura 属	*Protonemura sp.*	1	0.005	3	0.009	3	0.015	6	0.012	28	0.061	25	0.087
13			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*	8	0.019					5	0.016	1	+		
14			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*							1	0.038				
15		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	Parapsyche 属	*Parapsyche sp.*											1	0.006
16			ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma sp.*									1	+		
17		ハエ目（双翅目）	アミカ科	Blepharicera 属	*Blepharicera sp.*							2	0.019				
18			ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia sp.*			1	0.001	1	0.001	1	+				
19				Diamesa 属	*Diamesa sp.*	8	0.003	5	0.003	2	0.002			2	+	2	0.001
20				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*	1	+	1	+			53	0.018	60	0.019	55	0.019
21				Micropsectra 属	*Micropsectra sp.*											1	+
22				Orthocladius 属	*Orthocladius sp.*									3	0.003	1	+
23				Polypedilum 属	*Polypedilum sp.*									1	+		
24				Rheocricotopus 属	*Rheocricotopus sp.*	1	+										
25				Tvetenia 属	*Tvetenia sp.*			2	+					1	+	1	+
26			ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium sp.*			1	0.002								
27				Simulium 属	*Simulium sp.*							117	0.306	54	0.141	30	0.032
28			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*					1	0.056						
計					種数等	3 目 8 科 15 種						5 目 14 科 22 種					
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	36		41		22		200		180		138	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.116		0.096		0.100		0.446		0.386		0.215	
					河床型	早瀬						早瀬					
					河床材料	小石（SB）、中石（MB）						細礫（SG）～大石（LB）					
					礫の状況	浮き石						浮き石					
					流速（cm/秒）	150		150		150		80		80		90	
					水深（cm）	25		25		25		10		20		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。

注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 470　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2020 年度冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 02 西俣（放流箇所下流）							
						冬季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus sp.*							1	0.081
2				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	135	0.318	75	0.154	45	0.106	35	0.089
3			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*	10	0.054	9	0.034	16	0.086	21	0.111
－				Epeorus 属	*Epeorus sp.*					2	+		
4		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	*Capniidae sp.*							8	0.026
5			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	*Leuctridae sp.*	2	+	3	+				
6			オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura sp.*					1	+		
7				Nemoura 属	*Nemoura sp.*			2	+				
8				Protonemura 属	*Protonemura sp.*	38	0.057	22	0.019	12	0.014	6	0.011
9			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	*Taeniopterygidae sp.*	26	0.114	78	0.431	26	0.175	20	0.134
10			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*			1	+	1	0.001		
11			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*					2	0.251		
12				Tadamus 属	*Tadamus sp.*			1	0.072				
13		トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila sp (Acropedes group)*	3	0.152	3	0.129	1	0.003		
14		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota sp.*	1	0.008						
15			ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha sp.*					1	0.006		
16			ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia sp.*	2	+					2	+
17				Diamesa 属	*Diamesa sp.*			1	+	1	+		
18				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*	16	0.005	23	0.007	32	0.011	38	0.013
19				Micropsectra 属	*Micropsectra sp.*			7	+	3	+	4	+
20				Pagastia 属	*Pagastia sp.*			1	+	2	0.005		
21				Pseudorthocladius 属	*Pseudorthocladius sp.*			1	+				
22				Syndiamesa 属	*Syndiamesa sp.*							7	0.009
23				Tvetenia 属	*Tvetenia sp.*	5	+						
24			ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium sp.*	3	0.004	2	0.001	1	+		
25				Simulium 属	*Simulium sp.*	1	0.001						
計					種数等	4 目 13 科 25 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	242		229		146		142	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.713		0.847		0.658		0.474	
					河床型	早瀬							
					河床材料	砂（S）～大石（LB）							
					礫の状況	浮き石							
					流速（cm/秒）	80		80		80		70	
					水深（cm）	20		20		20		30	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 471　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2020 年度春季・夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域											
						河 08-2 千石（放流箇所下流）											
						春季						夏季					
						上流		中流		下流		上流		中流		下流	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais 属	*Nais sp.*											1	+
2	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus sp.*	1	+										
3			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	0.002							1	0.003		
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	7	0.011	18	0.032	7	0.012					4	0.041
5			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*			1	0.002								
6				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	4	0.021	7	0.037	12	0.054			1	0.012		
－				Epeorus 属	*Epeorus sp.*	7	0.007										
7				Rhithrogena 属	*Rhithrogena sp.*	1	+			1	0.004	1	0.015	1	0.016	8	0.106
8		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	*Capniidae sp.*	1	0.001										
9			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	*Leuctridae sp.*							1	+				
10			オナシカワゲラ科	Nemoura 属	*Nemoura sp.*	1	+										
11				Protonemura 属	*Protonemura sp.*	2	0.004					2	0.008	1	+	21	0.128
12			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	*Taeniopterygidae sp.*			1	0.004								
13			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*	5	0.014	5	0.017			1	0.008			4	0.022
14			カワゲラ科	カワゲラ科	*Perlidae sp.*									1	0.003		
15		トビケラ目（毛翅目）	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma sp.*									1	+		
16			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila sp. (Acropedes group)*									2	0.067	2	0.029
17		ハエ目（双翅目）	アミカ科	アミカ科	*Blephariceridae sp.*	1	+										
18			チョウバエ科	チョウバエ科	*Psychodidae sp.*			1	+								
19			ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia sp.*	1	+	1	+								
20				Cardiocladius 属	*Cardiocladius sp.*											3	0.006
21				Diamesa 属	*Diamesa sp.*	11	0.007	5	0.003	9	0.006	1	+			3	0.006
22				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*	1	+			2	+	20	0.006	28	0.008	34	0.011
23				Orthocladius 属	*Orthocladius sp.*											1	+
24				Polypedilum 属	*Polypedilum sp.*	1	+			1	+					1	+
25			ブユ科	Simulium 属	*Simulium sp.*	1	+					29	0.075	358	0.925	80	0.209
計					種数等	3 目 11 科 18 種						5 目 11 科 17 種					
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	46		39		32		55		394		162	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.067		0.095		0.076		0.112		1.034		0.558	
					河床型	早瀬						早瀬					
					河床材料	小石（SG）、中石（MB）						細礫（SG）～大石（LB）					
					礫の状況	浮き石						浮き石					
					流速（cm/秒）	110		110		130		80		80		30	
					水深（cm）	25		25		25		10		20		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 472　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2020 年度秋季・冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域													
						河 08-2 千石（放流箇所下流）													
						秋季								冬季					
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4		定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais 属	*Nais sp.*									1	+						
2	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*													2	+	3	0.001
3				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	12	0.007	16	0.009	5	0.002	3	+	81	0.217	112	0.233	87	0.223	82	0.211
4			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*	7	0.004	5	0.004					12	0.076	11	0.081	12	0.055	5	0.023
－				Epeorus 属	*Epeorus sp.*							1	+								
5				Rhithrogena 属	*Rhithrogena sp.*													3	0.011	4	0.008
6		カワゲラ目（セキ翅目）	ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	*Leuctridae sp.*			1	+											4	+
7			オナシカワゲラ科	Nemoura 属	*Nemoura sp.*									1	+						
8				Protonemura 属	*Protonemura sp.*	2	+	3	+	6	0.002	5	0.004	38	0.077	5	0.005	43	0.081	9	0.016
9			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	*Taeniopterygidae sp.*	2	+	2	+			1	+	28	0.231	22	0.155	16	0.101	32	0.212
10			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*							1	+	2	0.007	2	0.013	4	0.018	4	0.009
11			アミメカワゲラ科	Skwala 属	*Skwala sp.*									1	0.081						
12				ニッコウアミメカワゲラ	*Sopkalia yamadae*															1	0.058
13		トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila sp. (Acropedes group)*									2	0.131	1	0.009	1	0.002	1	0.003
14				Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila sp. (Retracta group)*									1	0.003			1	+	1	0.001
15		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota sp.*									2	0.017	1	0.005	1	0.008		
16			アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*															3	0.258
17			ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia sp.*									2	+	1	+			2	+
18				Diamesa 属	*Diamesa sp.*													1	+	1	+
19				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*	10	0.002	14	0.003	6	0.001	23	0.006	5	+	38	0.012	8	0.002	14	0.004
20				Micropsectra 属	*Micropsectra sp.*									10	+			15	+	1	+
21				Orthocladius 属	*Orthocladius sp.*							1	+								
22				Pagastia 属	*Pagastia sp.*															3	+
23				Parametriocnemus 属	*Parametriocnemus sp.*													1	+		
24				Syndiamesa 属	*Syndiamesa sp.*									1	0.001	1	0.001				
25				Tvetenia 属	*Tvetenia sp.*									7	+	5	+	7	+		
26			ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium sp.*									2	0.004			6	0.012	3	0.006
27				Simulium 属	*Simulium sp.*	3	0.004	4	0.007	8	0.009			1	0.001			9	0.0439	22	0.087
計					種数等	3 目 8 科 9 種								5 目 13 科 26 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	36		45		25		35		197		199		217		195	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.017		0.023		0.014		0.01		0.846		0.514		0.5569		0.897	
					河床型	早瀬								早瀬							
					河床材料	細礫（SG）～大石（LB）								細礫（SG）～大石（LB）							
					礫の状況	浮き石								浮き石							
					流速（cm/秒）	20		30		30		30		90		80		80		90	
					水深（cm）	20		30		20		30		20		20		20		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。

注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 473　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2020 年度春季・夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域											
						河 10-3 椹島（放流箇所下流②）											
						春季						夏季					
						定量１		定量２		定量３		定量１		定量２		定量３	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais 属	*Nais sp.*											1	+
2	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	コカゲロウ科	サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*									1	0.003		
3				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	2	0.007	1	+					5	0.011	10	0.056
4			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*	1	+										
5				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	1	0.003										
6				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*							1	0.022	1	0.009		
－				Epeorus 属	*Epeorus sp.*					2	0.003						
7				Rhithrogena 属	*Rhithrogena sp.*	1	+	1	0.002	1	+			6	0.097	7	0.101
8		カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura sp.*							3	0.018	1	0.007		
9			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*	11	0.032	6	0.011	7	0.017	2	+	1	0.008	3	0.006
10		トビケラ目（毛翅目）	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma sp.*											1	0.004
11		ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Cardiocladius 属	*Cardiocladius sp.*							1	+	2	+	3	+
12				Diamesa 属	*Diamesa sp.*			1	+			3	0.006	5	0.009	8	0.015
13				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*	1	+	1	+	4	+	40	0.011	28	0.007	31	0.009
14				Micropsectra 属	*Micropsectra sp.*											2	+
15				Orthocladius 属	*Orthocladius sp.*							6	0.002	13	0.005	24	0.011
16				Polypedilum 属	*Polypedilum sp.*							10	0.003	2	+	1	+
17			ブユ科	Simulium 属	*Simulium sp.*							14	0.036	13	0.033		
計					種数等	3 目 4 科 7 種						5 目 8 科 15 種					
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	17		10		14		80		78		91	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.042		0.013		0.02		0.098		0.189		0.202	
					河床型	早瀬						早瀬					
					河床材料	小石（SB）～中石（MB）						細礫（SG）～大石（LB）					
					礫の状況	浮き石						浮き石					
					流速（cm/秒）	120		120		120		80		80		80	
					水深（cm）	25		25		25		20		20		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。

注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 474　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2020 年度秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 10-3 椹島（放流箇所下流②）							
						秋季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais 属	*Nais sp.*	10	+			1	+		
2	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	1	0.011						
3			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus sp.*	4	0.009						
4			コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	24	0.015	28	0.031	17	0.014	16	0.013
5			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*	13	0.009	4	0.001	5	0.002	4	0.002
6				Rhithrogena 属	*Rhithrogena sp.*			2	0.005	2	0.004		
7		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	*Capniidae sp.*	2	0.011	1	0.004	3	0.009	2	0.006
8			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	*Leuctridae sp.*			1	+				
9			オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura sp.*							1	+
10				Protonemura 属	*Protonemura sp.*	14	0.013	9	0.015	10	0.029	8	0.023
11			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	*Taeniopterygidae sp.*			1	+			1	+
12			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*	6	0.014	7	0.004	2	0.003	2	0.003
13			カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria sp.*					1	0.017		
14			アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	*Perlodidae sp.*			2	0.016	－	－		
15		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*	1	0.001			1	0.009		
16			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila sp. (Acropedes group)*					1	0.035		
17				Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila sp. (Retracta group)*					1	0.007		
18		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota sp.*	1	+					1	0.006
19			ヒメガガンボ科	Molophilus 属	*Molophilus sp.*			1	+				
20			ユスリカ科	Corynoneura 属	*Corynoneura sp.*					1	+		
21				Diamesa 属	*Diamesa sp.*					1	+		
22				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*	2	+	15	0.004	15	0.009	4	+
23				Micropsectra 属	*Micropsectra sp.*							1	+
24			ブユ科	Simulium 属	*Simulium sp.*	2	0.004	7	0.021	5	0.006		
計					種数等	5 目 18 科 24 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	80		78		66		40	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.087		0.101		0.144		0.053	
					河床型	早瀬							
					河床材料	細礫（SG）～大石（LB）							
					礫の状況	浮き石							
					流速（cm/秒）	20		40		20		20	
					水深（cm）	10		10		20		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 475　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2020 年度冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 10-3 椹島（放流箇所下流②）							
						冬季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais 属	*Nais sp.*							1	+
2	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*	1	0.015			1	0.043		
3			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			3	0.002				
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	110	0.228	113	0.285	118	0.297	167	0.394
5			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*	23	0.161	4	0.021	4	0.021	10	0.051
6				Rhithrogena 属	*Rhithrogena sp.*	1	+					2	0.011
7		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	*Capniidae sp.*	4	0.015			9	0.037		
8			オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura sp.*					1	+		
9				Protonemura 属	*Protonemura sp.*	24	0.027	22	0.024	70	0.115	12	0.018
10			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	*Taeniopterygidae sp.*	13	0.073	7	0.041	12	0.055	13	0.057
11			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*	2	0.009	2	0.007	1	0.005	2	0.011
12			アミメカワゲラ科	Skwala 属	*Skwala sp.*			1	0.153				
13				Tadamus 属	*Tadamus sp.*	1	0.069					1	0.041
14		トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila sp. (Acropedes group)*							1	0.003
15			コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania sp.*	1	0.006						
16		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota sp.*	1	0.006					1	0.007
17			ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia sp.*	1	+						
18				Diamesa 属	*Diamesa sp.*			1	+				
19				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*	7	0.001	6	+	5	+	7	+
20				Micropsectra 属	*Micropsectra sp.*	2	+	2	+			8	0.001
21				Orthocladius 属	*Orthocladius sp.*			2	+				
22				Pagastia 属	*Pagastia sp.*	2	0.001			1	+	5	0.002
23				Syndiamesa 属	*Syndiamesa sp.*					1	+		
24				Tvetenia 属	*Tvetenia sp.*	3	+			5	+	2	+
25			ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium sp.*	4	0.008	3	0.005	7	0.011	7	0.011
26				Simulium 属	*Simulium sp.*	2	0.002	43	0.147	28	0.085	53	0.158
計					種数等	5 目 14 科 26 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	202		209		263		292	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.621		0.685		0.669		0.765	
					河床型	早瀬							
					河床材料	細礫（SG）～大石（LB）							
					礫の状況	浮き石							
					流速（cm/秒）	70		80		80		80	
					水深（cm）	20		20		20		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 476　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2020 年度秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域	
						沢 33 北俣・中俣合流部付近	
						秋季	
						定量（淵）	
						個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus sp.*	3	0.021
2			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*	11	0.009
3		カワゲラ目（セキ翅目）	シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	*Taeniopterygidae sp.*	3	0.005
4			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*	1	0.004
5		ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*	1	+
計					種数	3 目 5 科 5 種	
					個体数(タモ網 1 回)	19	
					湿重量(g/タモ網 1 回)	0.039	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 477　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧

：河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）（2020 年度秋季・冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 02 西俣（放流箇所下流）				河 08-2 千石（放流箇所下流）			
						秋季		冬季		秋季		冬季	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus sp.*	6	0.042	1	0.007	2	0.008	64	1.338
2			コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	0.002	1	0.002	2	0.002	1	+
3			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*	10	0.028	3	0.008	9	0.021	12	0.085
4		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	*Capniidae sp.*	1	0.002	2	0.004	11	0.097	36	0.105
5			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	*Leuctridae sp.*	16	0.014	3	0.003				
6			オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura sp.*					17	0.019	3	0.007
7			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	*Taeniopterygidae sp.*	6	0.023	3	0.012	3	0.011		
8			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*	6	0.019	1	0.003			4	0.038
9		トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila sp. (Acropedes group)*							1	0.015
10				Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila sp. (Retracta group)*					1	0.007		
11			コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania sp.*							2	0.004
12		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota sp.*							1	0.008
13			アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*	1	0.077						
14			ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*	7	0.005	2	0.001	1	+	24	0.011
15				Micropsectra 属	*Micropsectra sp.*							25	0.007
16				Orthocladius 属	*Orthocladius sp.*							1	0.001
17				Pagastia 属	*Pagastia sp.*							26	0.111
18				Pseudodiamesa 属	*Pseudodiamesa sp.*	3	0.002	1	0.001			75	0.694
19				Tvetenia 属	*Tvetenia sp.*							1	+
計					種数	3 目 9 科 10 種		3 目 8 科 9 種		4 目 8 科 8 種		4 目 10 科 15 種	
					個体数(タモ網 1 回)	57		17		46		276	
					湿重量(g/タモ網 1 回)	0.214		0.041		0.165		2.424	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 478　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2020 年度秋季・冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域			
						河 10-3 椹島（放流箇所下流②）			
						秋季		冬季	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*			1	0.039
2			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus sp.*	2	0.011	9	0.181
3			コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	2	0.002	22	0.083
4			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*	1	0.002	2	0.009
5		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	*Capniidae sp.*	17	0.043	27	0.074
6			オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura sp.*			1	0.007
7			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	*Taeniopterygidae sp.*	1	0.001	1	0.004
8			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*			6	0.079
9			アミメカワゲラ科	Skwala 属	*Skwala sp.*	1	0.129		
10		トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila sp. (Retracta group)*	1	0.005		
11			コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania sp.*			5	0.013
12			カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma sp.*			1	+
13		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota sp.*			3	0.031
14			ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa sp.*	1	+		
15				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*	5	+	7	0.003
16				Micropsectra 属	*Micropsectra sp.*			24	0.007
17				Parametrionemus 属	*Parametrionemus sp.*			1	+
18				Pseudodiamesa 属	*Pseudodiamesa sp.*	1	+	68	0.401
19				Rheocricotopus 属	*Rheocricotopus sp.*			1	+
20			オドリバエ科	オドリバエ科	*Empididae sp.*			1	0.004
計					種数	4 目 8 科 10 種		4 目 13 科 17 種	
					個体数(タモ網 1 回)	32		180	
					湿重量(g/タモ網 1 回)	0.193		0.935	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

3.2.2.3.調査結果（2021 年度）

調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種一覧を、表 479～表 490 に示します。重要種は確認されませんでした。

調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種一覧を、表 491～表 494 に示します。重要種は確認されませんでした。

表 479　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2021 年度夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						沢 33 北俣･中俣合流部付近							
						夏季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.							2	0.018
2			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			1	+	1	0.001		
3				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	7	0.041	1	0.003	7	0.039		
4			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.							4	0.044
5				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	2	0.038			1	0.027		
6		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	1	+	1	+				
7			オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.	2	+						
8			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.			1	+				
9			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.					1	+	7	0.021
10			カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria* sp.							1	0.078
11			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	1	0.059			2	0.064		
12		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.							1	+
13			ヒメガガンボ科	ヒメガガンボ科	Limoniidae sp.					1	+		
14			ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	2	+	2	+				
15			ホソカ科	Dixa 属	*Dixa* sp.							1	+
16			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	1	+						
計					種数	3 目 14 科 16 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	16		6		13		16	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.138		0.003		0.131		0.161	
					河床型	早瀬							
					河床材料	石礫～中石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	70		80		80		60	
					水深(cm)	20		13		15		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 480　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2021 年度秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						沢 33 北俣・中俣合流部付近							
						秋季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	0.003	2	0.012	3	0.022		
2				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	7	0.035	8	0.041	3	0.013	2	0.014
3			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	1	0.011					1	0.009
4				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.			1	+				
5		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	3	+	2	+	1	+		
6			オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.							1	+
7				Protonemura 属	*Protonemura* sp.	5	+	1	+			2	0.003
8			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	3	+	8	+	10	0.003	12	0.003
9			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	1	0.005			1	0.003		
10			カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria* sp.					1	0.115	1	0.003
11			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	2	0.059			1	0.021		
12		トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)	3	0.011			2	0.016		
13		ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.			2	+			2	+
計					種数	4 目 10 科 13 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	26		24		22		21	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.124		0.053		0.193		0.032	
					河床型	早瀬							
					河床材料	石礫～小石							
					礫の状況	浮石・沈石							
					流速（cm/秒）	50		50		100		80	
					水深（cm）	10		15		15		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 481　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度春季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 02 西俣(放流箇所下流)							
						春季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	Drunella 属	*Drunella* sp.							1	0.003
2			コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	+	1	+				
3			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	1	0.012	1	0.007			1	+
4				Epeorus 属	*Epeorus* sp.	7	0.002	2	+	11	0.011	7	0.002
5		カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.	2	0.003			3	0.001	1	0.002
6			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.					1	0.003		
7			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	1	+	2	+	1	0.003		
8		トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)							1	+
9		ハエ目(双翅目)	アミカ科	アミカ科	Blephariceridae sp.	1	+						
10			ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium* sp.	1	0.001	1	+				
計					種数	4 目 9 科 10 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	14		7		16		11	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.018		0.007		0.018		0.007	
					河床型	早瀬							
					河床材料	石礫～小石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	20		10		20		20	
					水深(cm)	15		10		20		10	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 482　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 02 西俣(放流箇所下流)							
						夏季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*							1	0.032
2			コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	1	+						
3				フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			2	+	2	0.005	7	0.021
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	17	0.071	23	0.081	36	0.112	15	0.061
5			ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	10	0.178	5	0.058	16	0.102	21	0.289
6				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	13	0.022	14	0.047	2	0.003	6	0.013
7		カワゲラ目(セキ翅目)	ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.	1	+						
8			オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.					1	0.002		
9				Protonemura 属	*Protonemura* sp.			2	0.004				
10			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	5	0.021	2	0.007	1	+	10	0.044
11			カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria* sp.					1	0.081		
12		トビケラ目(毛翅目)	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	2	0.003	1	0.003	5	0.012		
13			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)			1	0.016	1	0.018		
14		ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.					1	0.009		
15			ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.							3	+
16				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.	2	+						
17				Pagastia 属	*Pagastia* sp.	1	+	2	+	2	+	1	+
18				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.			1	+	4	0.002		
19			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	1	+					5	+
20			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	1	0.029						
計					種数	4 目 13 科 20 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	54		53		72		69	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.324		0.216		0.346		0.460	
					河床型	早瀬							
					河床材料	石礫～小石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	30		20		25		30	
					水深(cm)	25		20		35		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 483　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 02 西俣(放流箇所下流)							
						秋季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	0.004	1	0.003	14	0.041	1	0.005
2				サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*	1	0.004						
3				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	19	0.109	2	0.017	5	0.017	5	0.023
4			ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*					10	0.111		
5				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	12	0.059	5	0.042	1	0.002	15	0.058
6		カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	4	+	3	+			3	+
7			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.	2	+						
8			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.			2	+			3	+
9			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.			1	+	4	0.006		
10			アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.			1	0.002				
11		トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)			3	0.004	2	+	4	0.006
12		ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.			2	+			1	0.003
13				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	5	+	8	+	5	+	8	+
14				Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.			7	+			2	+
計					種数	4 目 9 科 14 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	44		35		41		42	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.176		0.068		0.177		0.095	
					河床型	早瀬							
					河床材料	小石～中石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	70		80		90		70	
					水深(cm)	20		17		20		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 484　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 02 西俣(放流箇所下流)							
						冬季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais 属	*Nais* sp.					4	+		
2	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.			1	0.045	2	0.041	2	0.007
3			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*							4	0.005
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	3	0.007	13	0.032	3	0.002	43	0.105
5			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	33	0.102	20	0.062	32	0.072	55	0.173
6				Epeorus 属	*Epeorus* sp.	2	+	1	+	5	+	4	0.005
7				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.			3	0.006				
8		カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	11	0.029	1	0.002	5	0.007	5	0.011
9			オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.	4	0.001	2	+				
10				Nemoura 属	*Nemoura* sp.	1	+						
11				Protonemura 属	*Protonemura* sp.	18	0.012	33	0.026	5	0.003	11	0.008
12			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	12	0.042	35	0.084	7	0.029	208	0.541
13			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.							1	0.003
14			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*					1	0.191		
15		トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*			1	0.001				
16			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)	1	+					5	0.133
17		ハエ目(双翅目)	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.	2	0.012			1	0.004	1	0.005
18			ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia* sp.	4	+	2	+			1	+
19				Diamesa 属	*Diamesa* sp.			1	+			3	+
20				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	3	+	11	0.005	20	0.013	21	0.013
21				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.	45	0.005	31	0.003	97	0.016	22	0.003
22				Pagastia 属	*Pagastia* sp.					1	+		
23				Pseudodiamesa 属	*Pseudodiamesa* sp.	1	0.002			3	0.003		
24				Pseudorthocladius 属	*Pseudorthocladius* sp.			1	+	3	+		
25				Tvetenia 属	*Tvetenia* sp.	1	+					2	+
26			ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium* sp.			3	0.001			2	0.004
27				Simulium 属	*Simulium* sp.							5	0.009
計	2 綱	5 目	14 科	27 種	種数	5 目 14 科 27 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	141		159		189		395	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.212		0.267		0.381		1.025	
					河床型	早瀬							
					河床材料	小石～中石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	60		70		60		60	
					水深(cm)	15		20		15		10	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 485　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2021 年度春季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 08-2 千石（放流箇所下流）							
						春季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	Drunella 属	*Drunella* sp.	1	+						
2			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.			2	0.004				
3			コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	7	0.003	12	0.004	3	0.003	7	0.004
4			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	1	+	3	0.003	2	0.003		
5				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	2	0.012	6	0.009	6	0.017	2	0.006
−				Epeorus 属	*Epeorus* sp.	4	0.003					7	0.007
6				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	1	+	3	0.003			1	0.006
7		カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.					1	0.002		
8				Protonemura 属	*Protonemura* sp.	3	0.006	1	+	5	0.012	1	+
9			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.			1	+	1	0.002	7	0.022
10		トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属（Acropedes group）	*Rhyacophila* sp.（Acropedes group）					1	0.005		
計					種数	3 目 7 科 10 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	19		28		19		25	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.024		0.023		0.044		0.045	
					河床型	早瀬							
					河床材料	石礫～小石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	30		40		40		40	
					水深(cm)	20		20		25		30	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 486　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2021 年度夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 08-2 千石（放流箇所下流）							
						夏季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	1	+					1	+
2				フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	4	0.011	4	0.008	3	0.007	20	0.042
3				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	56	0.112	40	0.086	48	0.096	16	0.034
4			ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	32	0.488	32	0.475	32	0.481	20	0.296
5				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	16	0.034	12	0.025	8	0.014	4	0.009
6		カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.	12	0.008					1	+
7			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	16	0.037			12	0.028	12	0.063
8			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	1	0.048						
9		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	Arctopsyche 属	*Arctopsyche* sp.							1	+
10			ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	8	0.006					8	0.006
11			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)	1	0.062						
12		ハエ目（双翅目）	アミカ科	アミカ科	Blephariceridae sp.			8	0.018			8	0.014
13			ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia* sp.	1	+						
14				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	8	+	12	0.002	4	+		
15				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.	12	0.005	12	0.005	4	+	8	0.002
16			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	20	0.012	52	0.029	32	0.017	44	0.024
計					種数	4 目 11 科 16 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	188		172		143		143	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.823		0.648		0.643		0.490	
					河床型	早瀬							
					河床材料	石礫～中石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	35		40		40		40	
					水深(cm)	25		30		35		35	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 487　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度春季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
						春季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*					1	0.009		
－				Drunella 属	*Drunella* sp.			1	0.003			1	0.002
2			コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*					1	+		
3				フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	0.005	4	0.014			5	0.015
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	30	0.094	13	0.028	45	0.102	28	0.064
5			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	1	0.006					3	0.007
6				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	20	0.104	43	0.262	22	0.137	60	0.376
7				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	6	0.047	7	0.009	8	0.031	7	0.012
8		カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.	5	0.015	3	0.005			1	0.003
9				Nemoura 属	*Nemoura* sp.	7	0.015	1	0.006			4	0.004
10				Protonemura 属	*Protonemura* sp.	3	0.009	3	0.005			4	0.009
11			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.							1	0.005
12			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	13	0.048	13	0.041	6	0.021	15	0.017
13			アミメカワゲラ科	ニッコウアミメカワゲラ	Sopkalia yamadae	1	0.258						
14		トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*							1	0.025
15			ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.					2	0.006	2	0.006
16			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila* sp. (Retracta group)			1	0.003				
17		ハエ目(双翅目)	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.	1	0.007						
18			ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia* sp.			1	+				
19				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.			3	+			5	+
20				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.	7	+	1	+			6	0.002
21				Parametriocnemus 属	*Parametriocnemus* sp.	1	+					3	+
22				Thienemanniella 属	*Thienemanniella* sp.			1	+				
23				Tvetenia 属	*Tvetenia* sp.	2	+						
24			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.			3	0.005			6	0.033
計					種数	4 目 13 科 24 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	98		98		85		152	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.608		0.381		0.306		0.58	
					河床型	早瀬							
					河床材料	石礫～小石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	30		30		40		40	
					水深(cm)	25		25		20		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 488　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
						夏季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	3	0.004	5	0.009	8	0.013	1	+
2				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	10	0.046	6	0.031	12	0.061	8	0.038
3			ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	3	0.048	8	0.129	8	0.161	5	0.075
4				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	5	0.045	3	0.014	10	0.088	5	0.069
5		カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.	1	+						
6			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	9	0.054	4	0.016	4	0.019	5	0.008
7			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*							1	0.034
8		トビケラ目(毛翅目)	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.					1	0.005	1	+
9			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)			1	0.011				
10		ハエ目(双翅目)	アミカ科	Blepharicera 属	*Blepharicera* sp.			3	0.041				
－				アミカ科	Blephariceridae sp.					1	+		
11			ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	3	+	1	+			1	+
12				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.							1	+
13				Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.	1	+						
14				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.	1	+						
15			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	12	0.037	21	0.098	10	0.031	7	0.008
計					種数	4 目 10 科 15 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	48		52		54		35	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.234		0.349		0.378		0.232	
					河床型	早瀬							
					河床材料	石礫～小石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	80		80		80		80	
					水深(cm)	20		30		30		30	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 489　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
						秋季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	2	0.014	4	0.009	5	0.016	1	0.009
2			ヒラタカゲロウ科	Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	1	+	5	0.002	12	0.049	18	0.047
3		カワゲラ目(セキ翅目)	シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	1	+						
4			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	1	+	2	+			2	0.004
5		ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.			1	+				
計					種数	3 目 5 科 5 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	5		12		17		21	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.014		0.011		0.065		0.060	
					河床型	早瀬							
					河床材料	小石～中石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	90		80		80		90	
					水深(cm)	16		10		20		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 490　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
						冬季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	3	0.005			2	0.018	1	0.018
2			コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	20	0.032	5	0.008	32	0.052	7	0.011
3			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	12	0.051	15	0.063	14	0.048	17	0.071
4				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	23	0.063	15	0.041	2	0.002	25	0.068
5		カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	8	0.026	6	0.018	3	0.005	9	0.041
6			オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.					1	+		
7				Protonemura 属	*Protonemura* sp.	2	0.003	3	0.006	3	0.005	6	0.009
8			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	12	0.068	8	0.034	4	0.011	15	0.085
9			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	3	0.005	2	+	1	0.001		
10			アミメカワゲラ科	Tadamus 属	*Tadamus* sp.	1	0.034	12	0.576	1	0.033	1	0.027
11		トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*			1	0.006	1	0.007		
12				ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*					3	0.023		
13			カワリナガレトビケラ科	ツメナガナガレトビケラ	*Apsilochorema sutshanum*					1	+		
14			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)	1	0.059					4	0.302
15			コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.	1	0.007	2	0.017	2	0.008	1	0.008
16		ハエ目(双翅目)	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.	1	0.005			1	0.003	5	0.033
17			ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	21	0.009	24	0.011	22	0.008	16	0.006
18				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.	10	+	14	0.001	30	0.003	10	+
19				Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.	28	0.041	13	0.019	11	0.016	15	0.022
20				Pagastia 属	*Pagastia* sp.			5	0.009	5	0.003	3	0.004
21				Pseudorthocladius 属	*Pseudorthocladius* sp.	1	+						
22				Tvetenia 属	*Tvetenia* sp.							6	+
23			ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium* sp.							2	+
24				Simulium 属	*Simulium* sp.	8	0.007			2	+	2	+
					種数	4 目 15 科 24 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	155		125		141		145	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.415		0.809		0.246		0.705	
					河床型	早瀬							
					河床材料	小石～中石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	80		80		70		70	
					水深(cm)	15		15		20		15	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 491　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2021 年度夏季・秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域			
						沢 33 北俣・中俣合流部付近			
						夏季		秋季	
						定量(淵)			
						個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.			10	0.033
2			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	+		
3				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	+		
4			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	3	0.024	1	+
5				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	1	+		
6		カワゲラ目（セキ翅目）	ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.	3	+		
7			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.			7	+
8			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	12	0.007	1	+
9			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*			1	0.002
10		トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属（Lieftinki group）	*Rhyacophila* sp.（Lieftinki group）			1	0.005
11				Rhyacophila 属（Retracta group）	*Rhyacophila* sp.（Retracta group）	1	+		
12		ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia* sp.	1	+		
13				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+	2	+
14				Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.			1	+
15			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	1	+		
計					種数	4 目 7 科 10 種		4 目 7 科 8 種	
					個体数(タモ網 1 回)	25		24	
					湿重量(g/タモ網 1 回)	0.031		0.04	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 492　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度春季・夏季・秋季・冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 02 西俣(放流箇所下流)							
						春季		夏季		秋季		冬季	
						定量(淵)							
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.			1	0.004	1	0.017	9	0.038
2			コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*			14	0.034				
3			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	1	0.001					8	0.009
4				Epeorus 属	*Epeorus* sp.	1	0.001						
5				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.			13	0.072	4	0.027		
6		カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.					8	+	9	0.011
7			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.					4	+		
8			オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.							3	0.002
9			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.							2	0.007
10			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.			2	0.009	1	+		
11			カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria* sp.					1	0.019		
12		トビケラ目(毛翅目)	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.			1	+				
13			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)							1	0.008
14		ハエ目(双翅目)	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.							1	0.002
15			ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.					1	0.002		
16				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.					1	+	26	0.018
17				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.			1	+	1	+	35	0.005
18				Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.					4	+		
19				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.			4	0.003				
20				Pseudodiamesa 属	*Pseudodiamesa* sp.							35	0.112
21			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.					1	+		
計					種数	1 目 1 科 2 種		4 目 6 科 7 種		3 目 8 科 11 種		4 目 8 科 10 種	
					個体数(タモ網 1 回)	2		36		27		129	
					湿重量(g/タモ網 1 回)	0.002		0.122		0.065		0.212	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 493　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2021 年度春季・夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域			
						河 08-2 千石（放流箇所下流）			
						春季		夏季	
						定量（淵）			
						個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	2	0.003		
2			コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*			1	+
3				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*			11	0.026
4			ヒラタカゲロウ科	Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.			11	0.011
5		カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Nemoura 属	*Nemoura* sp.	2	0.005		
6				Protonemura 属	*Protonemura* sp.	5	0.011		
7			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.			16	0.057
8		トビケラ目（毛翅目）	カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.	6	0.101		
9		ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.			7	0.004
計					種数	3 目 3 科 4 種		3 目 4 科 5 種	
					個体数(タモ網 1 回)	15		46	
					湿重量(g/タモ網 1 回)	0.120		0.098	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 494　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度春季・夏季・秋季・冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 10-3 椹島（放流箇所下流②）							
						春季		夏季		秋季		冬季	
						定量（淵）							
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.							27	0.179
2			コカゲロウ科	サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*								
3			コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	0.002	2	0.005				
4			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.							2	0.008
5				Epeorus 属	*Epeorus* sp.	1	+						
6				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.			10	0.005	8	0.049	3	0.009
7		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.							7	0.037
8			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.					1	+		
9			オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.							1	+
10			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	7	0.028	7	0.012				
11			アミメカワゲラ科	Skwala 属	*Skwala* sp.							1	0.091
12				ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*							9	1.152
13		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*							2	0.041
14			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属（Acropedes group）	*Rhyacophila* sp.（Acropedes group）							1	0.063
15			コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.							9	0.051
16			カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.							1	0.003
17		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.							7	0.056
18			ヒメガガンボ科	Hexatoma 属	*Hexatoma* sp.					1	0.012		
19			アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*							1	0.116
20			ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia* sp.							2	+
21				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.							13	0.009
22				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.	6	0.002					72	0.012
23				Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.							5	0.005
24				Pagastia 属	*Pagastia* sp.	1	0.006					1	0.005
25				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.					5	+		
26				Pseudodiamesa 属	*Pseudodiamesa* sp.							30	0.028
27				モンユスリカ亜科	Tanypodinae sp.					1	+		
28			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	1	0.002						
計					種数	3 目 5 科 6 種		2 目 3 科 3 種		3 目 4 科 5 種		4 目 12 科 19 種	
					個体数(タモ網 1 回)	17		19		16		194	
					湿重量(g/タモ網 1 回)	0.04		0.022		0.061		1.865	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

3.2.2.4.調査結果（2022 年度）

調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種一覧を、表 495～表 505 に示します。重要種は確認されませんでした。

調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種一覧を、表 506～表 508 に示します。重要種は確認されませんでした。

表 495　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2022 年度春季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						沢 33 北俣･中俣合流部付近							
						春季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*					1	0.024		
2				フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*							2	0.003
3			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.					1	0.003		
4			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*							1	0.002
5				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	4	0.004	1	0.001	2	0.008	7	0.019
6			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	13	0.063	16	0.059	10	0.049	6	0.023
7				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	10	0.026					11	0.041
－				Epeorus 属	*Epeorus* sp.			1	0.004	4	0.011	2	0.017
8		カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.							2	0.002
9				Protonemura 属	*Protonemura* sp.			6	0.004	1	0.005	7	0.007
10			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.					2	0.015		
11			ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ	*Yoraperla uenoi*	1	0.004						
12			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	4	0.006	4	0.008				
13			カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae sp.			1	0.001				
14			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	1	0.071			2	0.396	1	0.239
15		トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)					1	0.002		
16				Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila* sp. (Retracta group)							2	0.031
17		ハエ目(双翅目)	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.					1	0.002		
18			アミカ科	ヤマトコマドアミカ	*Agathon japonicus*	1	0.023						
19				クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*					1	0.083		
20			ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia* sp.							1	+
21				Diamesa 属	*Diamesa* sp.					4	0.002		
22				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	2	+			2	+	2	+
23				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.					2	+	1	+
24				Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.					3	0.001		
25				Pagastia 属	*Pagastia* sp.					1	0.002		
26			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.							1	+
計					種数	4 目 15 科 26 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	36		29		38		46	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.197		0.077		0.603		0.384	
					河床型	早瀬							
					河床材料	粗礫～小石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	100		100		130		120	
					水深(cm)	35		18		20		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 496　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2022 年度夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						沢 33 北俣･中俣合流部付近							
						夏季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*							1	0.008
2				フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*							1	0.033
3			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.					2	0.001		
4			コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*			3	0.002				
5				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	7	0.018	7	0.022	4	0.004	4	0.009
6			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	14	0.038	25	0.043	8	0.025	7	0.017
7				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	1	0.005	1	0.004	1	0.007	7	0.052
8				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	7	0.015	3	0.006	2	0.003	3	0.005
9		カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.							1	+
10			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	5	0.019	4	0.026	1	+		
11			カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria* sp.					1	0.003	1	0.005
12			アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.							1	0.003
13		トビケラ目（毛翅目）	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	1	+	1	+	2	0.001	5	0.005
14			カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.					1	0.007		
15		ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.					1	+	6	+
16				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.					1	+		
17			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*			1	0.006			1	0.005
計					種数	4 目 12 科 17 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	35		45		24		38	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.095		0.109		0.051		0.142	
					河床型	早瀬							
					河床材料	中礫～小石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	50		50		50		70	
					水深(cm)	11		16		23		24	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 497　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2022 年度秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						沢 33 北俣･中俣合流部付近							
						秋季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*					1	0.021	1	0.021
−				Drunella 属	*Drunella* sp.			1	+				
2			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.							1	0.003
3			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	0.003	8	0.013				
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	28	0.043	30	0.045	20	0.027	30	0.051
5			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	10	0.032	6	0.029	10	0.003	5	+
6				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*			1	0.007				
7				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	3	0.002					5	0.011
8		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	2	+	1	+	1	+		
9			オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.					1	+		
10				Protonemura 属	*Protonemura* sp.					1	0.003	2	0.003
11			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.							1	+
12			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	1	+	3	0.008	8	0.011	3	0.003
13			カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria* sp.					1	0.088	3	0.334
14			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*			2	0.072	5	0.073	4	0.103
15		トビケラ目（毛翅目）	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.							1	0.003
16			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)	2	0.018	2	0.014	1	0.018	5	0.071
17				Rhyacophila 属 (Clemens group)	*Rhyacophila* sp. (Clemens group)	1	0.005						
18			エグリトビケラ科	Pseudostenophylax 属	*Pseudostenophylax* sp.							1	0.069
19		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.					2	0.001	2	0.008
20			ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+	1	+				
21				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.			1	+	8	+	21	0.001
22				Tvetenia 属	*Tvetenia* sp.					2	+	2	+
23			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	3	0.006	2	0.003	1	+	4	0.007
24			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*							1	0.014
計					種数	4 目 17 科 24 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	52		58		62		92	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.109		0.191		0.245		0.702	
					河床型	早瀬							
					河床材料	中礫～小石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	60		60		40		40	
					水深(cm)	10		15		7		16	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 498　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度春季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 02 西俣(放流箇所下流)							
						春季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			1	0.003				
2				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	4	0.003	4	0.002	1	+	7	0.009
3			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	15	0.072	1	0.003	5	0.019	7	0.022
4				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	11	0.052	13	0.016	18	0.021	28	0.036
5				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	4	0.007	3	0.001	5	0.006	2	0.007
6		カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.							1	0.002
7				Nemoura 属	*Nemoura* sp.							1	0.003
8				Protonemura 属	*Protonemura* sp.			3	0.006			12	0.021
9			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	1	+			2	0.001	2	0.004
10		ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.							1	+
11				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.							1	+
12				Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.							1	+
13			ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium* sp.							2	0.005
14				Simulium 属	*Simulium* sp.			1	0.005			1	0.002
計					種数	3 目 6 科 14 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	35		26		31		66	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.134		0.036		0.047		0.111	
					河床型	早瀬							
					河床材料	小石～中石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	150		120		120		100	
					水深(cm)	40		40		40		25	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 499　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 02 西俣(放流箇所下流)							
						夏季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*					1	0.004	1	0.004
2			コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*					2	+		
3				フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	18	0.027	5	0.003	2	0.003	3	0.004
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	10	0.029	3	0.001	3	0.007	8	0.019
5			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.					2	0.007		
6				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	32	0.233	5	0.019	8	0.024	14	0.104
7				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	31	0.091	20	0.061	15	0.045	20	0.039
8		カワゲラ目(セキ翅目)	ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.			1	+				
9			オナシカワゲラ科	Nemoura 属	*Nemoura* sp.					1	+		
10			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	10	0.033	8	0.024	1	+	3	0.006
11			アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.	1	0.006						
12		トビケラ目(毛翅目)	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.					6	0.005	1	+
13		ハエ目(双翅目)	アミカ科	Blepharicera 属	*Blepharicera* sp.	1	0.004						
14			ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+						
15				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.			1	+			2	+
16				Pagastia 属	*Pagastia* sp.					2	0.004		
17				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.			1	+			2	+
18				Tvetenia 属	*Tvetenia* sp.							1	+
19			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	22	0.019					1	+
20			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*			2	0.008	1	0.004		
計					種数	4 目 12 科 20 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	126		46		44		56	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.442		0.116		0.103		0.176	
					河床型	早瀬							
					河床材料	粗礫～中石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	140		110		100		140	
					水深(cm)	20		20		20		28	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 500　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 02 西俣(放流箇所下流)							
						秋季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*							1	0.006
2			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.							2	0.013
3			コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	0.009	8	0.054	2	0.006	1	+
4			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	22	0.009	54	0.017	1	+	11	0.009
5				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*	1	0.021	1	0.031	1	0.021	1	0.036
6				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.			4	0.004	7	0.006	2	0.001
7		カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.			3	+			4	+
8			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.			6	+	11	+	3	+
9			オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.							1	+
10			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.							1	+
11			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.			4	0.004	11	0.008	7	0.007
12			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	1	0.117			1	0.106	2	0.061
－				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.	6	0.018	7	0.026	6	0.003		
13		トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*			2	0.004				
14			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*			1	0.367				
15			ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.			1	+	3	0.004		
16			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)	4	0.011	4	0.018	4	0.004	3	0.006
17		ハエ目(双翅目)	アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*					2	0.027		
18			ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+	1	+	1	+	2	+
19				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.					1	+		
20			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*			1	+				
計					種数	4 目 17 科 20 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	36		97		51		41	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.185		0.525		0.185		0.139	
					河床型	早瀬							
					河床材料	細礫～中石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	40		50		130		30	
					水深(cm)	20		25		35		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 501　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 02 西俣(放流箇所下流)							
						冬季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*			1	0.009				
2			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.			4	0.143	2	0.022		
3			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	+						
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	6	0.007	2	0.004	5	0.008	6	0.007
5			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	50	0.107	40	0.071	38	0.071	33	0.064
6				Epeorus 属	*Epeorus* sp.	1	+	1	+				
7		カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	1	0.001	5	0.017	1	0.006	3	0.007
8			オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.	1	+	1	+	1	+	1	+
9				Protonemura 属	*Protonemura* sp.	10	0.005	4	0.003			1	+
10			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	3	0.004	1	0.001	1	0.003	2	0.004
11			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	3	0.011	1	0.003	4	0.017	1	0.003
12			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*							1	0.156
13		トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)	2	0.008	2	0.035			1	0.007
14				Rhyacophila 属 (Clemens group)	*Rhyacophila* sp. (Clemens group)							1	0.002
15		ハエ目(双翅目)	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.	1	0.003						
16			ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.	1	+					1	0.002
17				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.	1	+						
18				Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.					4	0.003	3	+
19				Pagastia 属	*Pagastia* sp.	1	+			2	+	2	0.003
20				Pseudodiamesa 属	*Pseudodiamesa* sp.			5	0.003				
21				Pseudorthocladius 属	*Pseudorthocladius* sp.							1	+
計					種数	4 目 12 科 21 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	82		67		58		57	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.146		0.289		0.130		0.255	
					河床型	早瀬							
					河床材料	中礫～中石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	40		50		70		40	
					水深(cm)	15		20		20		15	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 502　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2022 年度春季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
						春季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais 属	*Nais* sp.					1	+		
2	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	7	0.005			1	0.001	4	0.003
3			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	2	0.004			1	+	3	0.006
4				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	7	0.009	3	0.006	1	0.002	12	0.008
5				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	10	0.021	6	0.004			5	0.008
6		カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.			1	0.001				
7				Protonemura 属	*Protonemura* sp.	2	0.002	2	0.002			1	0.001
8			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	9	0.019	27	0.082	1	0.001	2	0.003
9		ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+			1	+		
10				Parametriocnemus 属	*Parametriocnemus* sp.			1	+				
計					種数	4 目 6 科 10 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	38		40		6		27	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.060		0.095		0.004		0.029	
					河床型	早瀬							
					河床材料	小石～中石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	80		80		70		70	
					水深(cm)	18		20		17		25	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 503　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2022 年度夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
						夏季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais 属	*Nais* sp.	1	+						
2	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*							1	0.079
3			コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*							1	+
4				フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*							2	0.005
5				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	0.009	8	0.025			2	0.008
6			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.					2	0.006		
7				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	1	0.016						
8				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*							1	0.046
9				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	28	0.099	30	0.061	16	0.059	25	0.088
10		カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.	1	+						
11			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	20	0.084	8	0.032	5	0.011	20	0.058
12			カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria* sp.							2	0.037
13		トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	1	+						
14			イワトビケラ科	Plectrocnemia 属	*Plectrocnemia* sp.							1	0.006
15			ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	5	0.016	1	0.003	2	+	5	0.009
16		ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	Cardiocladius 属	*Cardiocladius* sp.	2	+					4	0.012
17				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.			3	+				
18				Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.							1	+
19				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.	4	+	18	0.009				
20			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	72	0.061	17	0.014	11	0.009	140	0.122
計					種数	5 目 12 科 20 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	136		85		36		205	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.285		0.144		0.085		0.470	
					河床型	早瀬							
					河床材料	粗礫～中石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	110		110		90		100	
					水深(cm)	18		18		25		25	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 504　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2022 年度秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
						秋季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	1	+	5	0.012	2	+	3	0.005
2				フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	4	0.013	2	0.007	1	0.002		
3				サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*					1	0.002		
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	13	0.056	10	0.018	5	0.004	5	0.033
5			ヒラタカゲロウ科	エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*	1	0.015						
6				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	5	0.014	7	0.023	5	0.029	1	+
7		カワゲラ目(セキ翅目)	ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.							1	+
8			オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.			1	+				
9			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.			7	0.006	3	0.004	3	0.006
10			アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.			1	+				
11		トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*			6	0.031				
12			ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	2	0.006	15	0.036	2	0.009	3	0.012
13			カワリナガレトビケラ科	ツメナガナガレトビケラ	*Apsilochorema sutshanum*			1	0.001	1	0.011		
14			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)			2	0.015	1	0.015		
15			カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.	1	0.007						
16		ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	Hexatoma 属	*Hexatoma* sp.	1	0.002			2	0.198		
17			ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+						
18				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.			1	+	3	+	1	+
19				Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.			1	+	2	+	3	+
20				Pagastia 属	*Pagastia* sp.					1	+		
21				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.					2	+	3	+
22				Potthastia 属	*Potthastia* sp.					2	+		
23			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	6	0.019	3	0.013				
計					種数	4 目 14 科 23 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	35		62		33		23	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.132		0.162		0.274		0.056	
					河床型	早瀬							
					河床材料	中礫～小石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	70		70		40		50	
					水深(cm)	10		16		17		10	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 505　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2022 年度冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
						冬季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*					1	0.008		
2			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.			4	0.014				
3			コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*			3	0.004	6	0.009	4	0.005
4			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	5	0.002	4	0.004	7	0.006	8	0.017
5				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	1	+	3	0.003	10	0.019	12	0.021
6		カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.			1	+	1	+		
7			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	1	+	1	0.001			1	0.001
8			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	1	0.007	5	0.017	1	0.005	4	0.012
9			アミメカワゲラ科	ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*			1	0.051				
－				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.			1	0.006	1	0.002	3	0.025
10		トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	4	0.051			6	0.018	2	0.006
11			ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	2	0.004	3	0.003	6	0.005	3	0.005
12			カワリナガレトビケラ科	ツメナガナガレトビケラ	*Apsilochorema sutshanum*					2	0.007		
13			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)							2	0.023
14				Rhyacophila 属 (Clemens group)	*Rhyacophila* sp. (Clemens group)	1	+						
15				Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila* sp. (Retracta group)					1	0.003		
16				Rhyacophila 属 (Sibirica group)	*Rhyacophila* sp. (Sibirica group)					1	0.003		
17			コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.					2	0.003	2	+
18		ハエ目(双翅目)	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.	2	0.002	2	0.008	1	0.002	1	0.001
19			ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.	1	0.004						
20				Hexatoma 属	*Hexatoma* sp.			1	0.036	2	0.051		
21			ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.			1	+			1	0.001
22				Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.	1	+	2	+	5	0.001	1	+
23				Pagastia 属	*Pagastia* sp.	4	0.001			2	+	7	0.002
計					種数	4 目 16 科 23 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	11		14		17		14	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.071		0.147		0.142		0.119	
					河床型	早瀬							
					河床材料	小礫～小石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	30		30		40		50	
					水深(cm)	25		20		25		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 506　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2022 年度春季・夏季・秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域					
						沢 33 北俣・中俣合流部付近					
						春季		夏季		秋季	
						定量(淵)					
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	1	+				
2			コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	0.003	1	0.003	13	0.021
3			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	2	0.008	6	0.017	11	0.046
4				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*			1	0.001		
−				Epeorus 属	*Epeorus* sp.	1	+				
5				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.			9	0.016		
6		カワゲラ目（セキ翅目）	シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	1	0.004				
7			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.			6	0.019	5	0.009
8			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*					2	0.045
9		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.	1	+				
10				Pedicia 属	*Pedicia* sp.					1	0.006
11			ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.					1	+
12				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+				
計					種数	3 目 6 科 7 種		2 目 3 科 5 種		3 目 6 科 6 種	
					個体数(タモ網 1 回)	8		23		33	
					湿重量(g/タモ網 1 回)	0.015		0.056		0.127	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 507　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度春季・夏季・秋季・冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 02 西俣(放流箇所下流)							
						春季		夏季		秋季		冬季	
						定量(淵)							
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*			1	0.003				
2			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	2	0.012	6	0.016	3	0.003	11	0.155
3			コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*			3	0.004				
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	2	0.008					2	0.001
5			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	20	0.113	3	0.007	30	0.009	38	0.061
6				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	3	0.009						
7				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*			1	0.012				
8				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.			54	0.099				
9		カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.					2	+	2	0.001
10			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.			2	+				
11			オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.			1	0.003				
12			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.							3	0.003
13			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	2	0.002	19	0.051	5	0.006	8	0.038
14			カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria* sp.			1	0.007				
15			アミメカワゲラ科	ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*							12	0.445
－				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.					13	0.066		
16		トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*							1	0.001
17			ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.			7	0.018				
18			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)			1	0.011			2	0.001
19			コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.							1	0.008
20			カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.			1	0.016				
21		ハエ目(双翅目)	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.					1	+	2	0.007
22			ヒメガガンボ科	Hexatoma 属	*Hexatoma* sp.							1	0.022
23			ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.							2	0.006
24				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.			1	+	2	+		
25				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.			7	+	3	+		
26				Pagastia 属	*Pagastia* sp.							3	0.001
27				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.			2	+				
28				Pseudodiamesa 属	*Pseudodiamesa* sp.							3	0.002
29				Pseudorthocladius 属	*Pseudorthocladius* sp.					2	+		
30			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*			2	0.036				
計					種数	2 目 4 科 5 種		4 目 13 科 17 種		3 目 7 科 9 種		4 目 13 科 15 種	
					個体数(タモ網 1 回)	29		112		61		91	
					湿重量(g/タモ網 1 回)	0.144		0.283		0.084		0.752	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 508　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 槙島（放流箇所下流②）（2022 年度春季・夏季・秋季・冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 10-3 槙島(放流箇所下流②)							
						春季		夏季		秋季		冬季	
						定量(淵)							
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	軟甲綱	ワラジムシ目	ミズムシ科(甲)	ミズムシ属(甲)	*Asellus* sp.			1	0.006				
2	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*			1	0.014				
3			コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	1	+			1	+		
4				サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*			5	0.009	5	0.005		
5				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	2	0.002			1	+		
6			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	1	0.012					1	0.001
7				Ecdyonurus 属	*Ecdyonurus* sp.			3	0.025				
8				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	3	0.004	41	0.139	1	0.009		
9		カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.	1	0.001						
10			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.			23	0.066	1	+	7	0.032
11			アミメカワゲラ科	ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*							1	0.031
12		トビケラ目(毛翅目)	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.			1	+				
13			コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.							1	0.001
14			カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.	1	0.006	1	0.003			2	0.006
15		ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	Hexatoma 属	*Hexatoma* sp.							1	0.007
16			ユスリカ科	Cladotanytarsus 属	*Cladotanytarsus* sp.					1	+		
17				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.			2	+	2	+		
18				Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.					3	+		
19				Parametriocnemus 属	*Parametriocnemus* sp.			2	+				
20				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.			10	0.004	3	+		
21				Potthastia 属	*Potthastia* sp.					2	+		
22				モンユスリカ亜科	Tanypodinae sp.			8	0.006	1	+		
23			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.			1	+				
計					種数	3 目 4 科 6 種		5 目 9 科 13 種		3 目 4 科 11 種		4 目 6 科 6 種	
					個体数(タモ網 1 回)	9		99		21		13	
					湿重量(g/タモ網 1 回)	0.025		0.272		0.014		0.078	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

3.2.2.5.調査結果（2023 年度）

調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種一覧を、表 509～表 517 に示します。重要種は確認されませんでした。

調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種一覧を、表 518～表 520 に示します。重要種は確認されませんでした。

表 509　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2023 年度春季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						沢 33 北俣・中俣合流部付近							
						春季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*							1	0.055
–				Drunella 属	*Drunella* sp.	1	0.003						
2			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	1	+			3	0.001		
3			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			1	+				
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	5	0.002	2	0.002	9	0.008	4	0.005
5			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	1	0.003	1	0.007	6	0.027	8	0.047
6				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	9	0.019	12	0.021	14	0.015	12	0.017
7		カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.					3	0.003	4	0.005
8				Protonemura 属	*Protonemura* sp.	1	0.001					9	0.015
9			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.							3	0.004
10			カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae sp.							1	0.004
11		トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属（Acropedes group）	*Rhyacophila* sp.（Acropedes group）							1	+
12				Rhyacophila 属（Retracta group）	*Rhyacophila* sp.（Retracta group）					1	0.003		
13			クロツツトビケラ科	Neophylax 属	*Neophylax* sp.							2	0.004
14		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.					2	0.005		
15			ユスリカ科	Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.					1	+		
16				Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.					1	+		
17				Rheotanytarsus 属	*Rheotanytarsus* sp.							1	+
18				Tvetenia 属	*Tvetenia* sp.					1	+		
19			ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium* sp.	1	0.004						
20				Simulium 属	*Simulium* sp.	2	0.004	4	0.012				
計					種数	4 目 12 科 20 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	21		20		41		46	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.036		0.042		0.062		0.156	
					河床型	早瀬							
					河床材料	粗礫（LG）～小石（SB）							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	50		60		50		40	
					水深(cm)	10		20		20		10	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 510　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2023 年度夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						沢 33 北俣･中俣合流部付近							
						夏季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*							1	0.016
2			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	3	0.002						
3				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	6	0.019	4	0.013	2	0.001	2	0.004
4			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	9	0.008	2	0.002	3	0.005	9	0.008
5				Epeorus 属	*Epeorus* sp.	10	0.017	7	0.019	1	0.001		
6		カワゲラ目（セキ翅目）	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	3	0.008			3	0.015	10	0.008
7			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	1	0.005			2	0.009	4	0.011
8		トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)			1	0.003				
9		ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.			4	0.005	4	0.001		
10				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	2	+						
11				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.							1	+
12			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	2	+			1	+		
13			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*			2	0.018			1	0.008
計					種数	4 目 9 科 13 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	36		20		16		28	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.059		0.060		0.032		0.055	
					河床型	早瀬							
					河床材料	細礫(SG)～小石(SB)							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	30		40		50		60	
					水深(cm)	20		10		10		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 511　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2023 年度秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						沢 33 北俣・中俣合流部付近							
						秋季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*					1	0.014		
2			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	3	0.008	2	0.008	1	0.004		
3				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	20	0.054	10	0.016	16	0.032	7	0.026
4			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	4	0.029					3	0.029
5				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	1	0.005						
6		カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.							1	+
7			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.							3	0.001
8			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*					2	0.043	4	0.082
9		トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)	1	0.001						
10				Rhyacophila 属 (Clemens group)	*Rhyacophila* sp. (Clemens group)			1	0.001				
11		ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Boreoheptagyia 属	*Boreoheptagyia* sp.	1	+						
12				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	3	+	3	+	2	+		
13				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.					1	+		
−				エリユスリカ亜科	Orthocladiinae sp.							2	+
14			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.					2	0.004		
15			ナガレアブ科	ナガレアブ科	Athericidae sp.	1	+						
計					種数	4 目 10 科 15 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	34		16		25		20	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.097		0.025		0.097		0.138	
					河床型	早瀬							
					河床材料	粗礫(LG)～中石(MB)							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	70		80		60		60	
					水深(cm)	20		30		10		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 512　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 02 西俣(放流箇所下流)							
						夏季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.			1	0.012	11	0.051		
2			コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*					2	+		
3				フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	0.004	2	0.004			3	0.008
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	2	0.007	33	0.209	10	0.049	7	0.039
5			ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	8	0.093	12	0.116			7	0.061
6				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*					10	0.038		
7				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	7	0.015	7	0.037	26	0.063	21	0.024
8		カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.			1	+				
9			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	18	0.039	7	0.025	15	0.058	18	0.041
10			カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria* sp.					1	0.192		
11			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*			1	0.005				
12		トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)	2	0.011						
13		ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.	2	0.001			1	+		
14				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+	2	+			3	+
15				Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.					11	0.003	1	+
16			ブユ科	Eusimulium 属	*Eusimulium* sp.			1	+				
17				Simulium 属	*Simulium* sp.			1	+	1	+	1	+
18			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*							1	0.021
計					種数	4 目 11 科 18 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	41		68		88		62	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.170		0.408		0.454		0.194	
					河床型	早瀬							
					河床材料	粗礫(LG)～小石(SB)							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	70		60		40		70	
					水深(cm)	10		20		20		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 513　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 02 西俣(放流箇所下流)							
						秋季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			1	0.005			2	0.00
2				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	15	0.067	3	0.007	12	0.061	9	0.03
3			ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	2	0.025					1	0.01
4				オナガヒラタカゲロウ	*Epeorus hiemalis*							1	0.01
5				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	11	0.045	10	0.028	16	0.047	7	0.05
6		カワゲラ目(セキ翅目)	ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.							2	+
7			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	14	0.009	9	0.006	6	0.003	11	0.00
8			アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.			2	0.005			1	0.00
9		トビケラ目(毛翅目)	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.			1	0.001	1	+		
10		ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.							1	+
11				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+	2	+	5	+	5	+
12			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.							19	0.03
13			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	1	0.007						
計					種数	4 目 9 科 13 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	44		28		40		59	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.153		0.052		0.111		0.168	
					河床型	早瀬							
					河床材料	粗礫(LG)～小石(SB)							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	70		80		70		90	
					水深(cm)	20		20		20		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 514　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 02 西俣(放流箇所下流)							
						冬季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	3	+	3	+	4	0.002		
2				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	14	0.015	14	0.011	12	0.008	20	0.015
3			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	4	0.004	15	0.015	10	0.012	4	0.002
4				Epeorus 属	*Epeorus* sp.					1	+	1	+
5				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	3	0.005	8	0.009	15	0.021	12	0.008
6		カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	3	0.006	2	+				
7			オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.			1	0.004	1	0.003	1	+
8				Protonemura 属	*Protonemura* sp.			3	0.007	1	0.003	9	0.007
9			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	21	0.011	36	0.023	24	0.014	23	0.012
10			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	9	0.011	10	0.017	6	0.014	15	0.027
11			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	1	0.086	1	0.123				
－				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.					1	0.009	1	0.002
12		トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)	1	0.003	4	0.061	5	0.038		
13				Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila* sp. (Retracta group)	1	0.003						
14		ハエ目(双翅目)	ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	1	0.016						
計					種数	4 目 9 科 14 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	61		97		80		86	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.160		0.270		0.124		0.073	
					河床型	早瀬							
					河床材料	粗礫(LG)～小石(SB)							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	50		40		50		40	
					水深(cm)	10		10		10		10	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 515　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2023 年度夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
						夏季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*			2	0.003				
2			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*							1	0.001
3				サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*	2	+	3	0.004	3	0.005	2	0.003
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	+	7	0.019	2	0.002	4	0.007
5			ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	3	0.014	5	0.017	3	0.014		
6				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*			1	0.003	1	0.002	1	0.007
7				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	8	0.008	16	0.035	11	0.028	16	0.033
8		カワゲラ目(セキ翅目)	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	13	0.027	10	0.021	10	0.011	6	0.009
9		ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	2	+	5	+			2	+
10				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.			2	+				
11			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	1	+	6	0.001	1	+	8	+
計					種数	3 目 6 科 11 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	30		57		31		40	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.049		0.103		0.062		0.060	
					河床型	早瀬							
					河床材料	粗礫(LG)～小石(SB)							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	30		50		60		40	
					水深(cm)	10		20		20		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 516　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2023 年度秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
						秋季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*	19	0.042	7	0.012	2	0.004	20	0.045
2				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	0.002					1	+
3			ヒラタカゲロウ科	エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*	2	0.076					1	0.016
4				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	7	0.102	10	0.007	6	0.074	10	0.104
5		カワゲラ目(セキ翅目)	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	1	+	3	0.003				
6			カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria* sp.							1	0.002
−				カワゲラ科	Perlidae sp.			1	0.003				
7			アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.							1	0.003
8		トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	Hydropsyche 属	*Hydropsyche* sp.					1	+	3	0.001
9			ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	1	+	1	+			2	0.005
10			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)	1	0.016						
11		ハエ目(双翅目)	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.			1	0.003				
12			ユスリカ科	Cardiocladius 属	*Cardiocladius* sp.	1	+	3	+	1	0.002		
13				Diamesa 属	*Diamesa* sp.							3	0.005
14				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.					1	+		
15				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.	2	+					4	0.003
16				Tvetenia 属	*Tvetenia* sp.			1	+				
17			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	2	0.001						
計					種数	4 目 11 科 17 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	37		27		11		46	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.239		0.028		0.08		0.184	
					河床型	早瀬							
					河床材料	粗礫(LG)～中石(MB)							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	80		80		70		70	
					水深(cm)	30		30		20		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 517　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2023 年度冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
						冬季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais 属	*Nais* sp.			2	+				
2	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*					1	0.009		
3			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.					2	0.029		
4			コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*			1	+				
5				フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	+						
6				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	35	0.023	13	0.009	4	0.003	14	0.098
7			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	10	0.012	24	0.031	20	0.023	11	0.011
8				Epeorus 属	*Epeorus* sp.	2	+	4	0.002				
9				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	48	0.071	33	0.032	4	0.004	52	0.082
10		カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	4	0.009	3	0.002	2	0.001	4	0.005
11			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.	2	+			3	+	3	+
12			オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.	3	0.001	2	+	4	+	4	0.002
13				Protonemura 属	*Protonemura* sp.	10	0.007	6	0.004	4	0.002	10	0.005
14			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	2	0.001	4	0.004	3	0.001		
15			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	20	0.027	5	0.007			8	0.028
16			アミメカワゲラ科	ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*					1	0.089		
17				Tadamus 属	*Tadamus* sp.	7	0.106			2	0.033	3	0.042
18		トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	3	0.015	7	0.021	7	0.027	10	0.038
19			ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.					1	+		
20			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)							1	0.012
21			コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.	3	0.008	3	0.011	3	0.013		
22		ハエ目(双翅目)	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.							1	0.001
23			ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.					1	+		
24			ユスリカ科	Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.	4	+	2	+				
25				Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.							1	+
26				Parametriocnemus 属	*Parametriocnemus* sp.			2	+				
27				Tvetenia 属	*Tvetenia* sp.			2	+				
28			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	1	+	1	+				
29			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*			1	0.027				
計					種数	5 目 20 科 29 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	155		115		62		122	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.280		0.150		0.234		0.324	
					河床型	早瀬							
					河床材料	粗礫(LG)～小石(SB)							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	60		80		50		40	
					水深(cm)	10		10		20		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 518　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2023 年度春季・夏季・秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域					
						沢 33 北俣･中俣合流部付近					
						春季		夏季		秋季	
						定量(淵)					
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*					1	0.003
2			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	4	0.019	1	0.005		
3				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*					1	0.005
－				Epeorus 属	*Epeorus* sp.	2	0.001				
4				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	5	0.002			3	0.008
5		カワゲラ目(セキ翅目)	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	5	0.006	6	0.009	1	+
6		トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)	1	0.004			1	0.001
7		ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.					4	+
8			ナガレアブ科	ナガレアブ科	Athericidae sp.			1	+		
計					種数	3 目 3 科 5 種		3 目 3 科 3 種		4 目 5 科 6 種	
					個体数(タモ網 1 回)	17		8		11	
					湿重量(g/タモ網 1 回)	0.032		0.014		0.017	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 519　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度春季・夏季・秋季・冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 02 西俣(放流箇所下流)							
						春季		夏季		秋季		冬季	
						定量(淵)							
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	1	+	6	0.009			4	0.018
2			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*					1	0.004	1	0.001
3				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*					2	0.001	2	0.001
4			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.			3	0.013			6	0.007
5				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*			1	+				
6				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	8	0.003	6	0.012	22	0.016	1	0.001
7		カワゲラ目(セキ翅目)	ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.			1	+			1	+
8			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.							3	+
9			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	57	0.031	9	0.021	28	0.028	8	0.019
10			アミメカワゲラ科	ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*							1	0.025
11		トビケラ目(毛翅目)	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.							1	+
12		ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.			3	0.002				
13			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*							1	0.007
計					種数	2 目 3 科 3 種		3 目 5 科 7 種		2 目 3 科 4 種		4 目 9 科 11 種	
					個体数(タモ網 1 回)	66		29		53		29	
					湿重量(g/タモ網 1 回)	0.034		0.057		0.049		0.079	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 520　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2023 年度夏季・秋季・冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域					
						河 10-3 椹島(放流箇所下流②)					
						夏季		秋季		冬季	
						定量(淵)					
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*	6	0.007	20	0.025		
2				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	0.007			4	0.002
3			ヒラタカゲロウ科	エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*	2	0.011				
－				Epeorus 属	*Epeorus* sp.					1	+
4				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	26	0.025	2	0.002	16	0.003
5		カワゲラ目(セキ翅目)	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.			2	0.002	9	0.033
6		トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*					1	0.009
7			ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.			1	+		
8			カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.					1	0.004
9		ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	Cladotanytarsus 属	*Cladotanytarsus* sp.			1	+		
10				Diamesa 属	*Diamesa* sp.			1	0.003		
11				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.			1	+		
12				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.			1	+		
計					種数	1 目 2 科 4 種		4 目 5 科 8 種		3 目 5 科 6 種	
					個体数(タモ網 1 回)	35		29		32	
					湿重量(g/タモ網 1 回)	0.050		0.032		0.051	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注４：春季は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

3.2.2.6.調査結果（2024 年度）

調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種一覧を、表 521～表 527 に示します。確認された重要種は、[redacted]の[redacted]種でした。

調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種一覧を、表 528～表 541 に示します。重要種は確認されませんでした。

調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種一覧を、表 542～表 545 に示します。重要種は確認されませんでした。

表 521　調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2024 年度春季・秋季）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域 沢 33 北俣・中俣合流部付近			
					春季		秋季	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	5	0.597	3	0.018
			フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*	3	0.017		
		ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	2	0.029	2	0.006
		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	11	0.042	5	0.004
			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	12	0.048	18	0.064
			F コカゲロウ	*Baetis* sp. F			2	0.006
		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	8	0.089	3	0.002
			エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*			3	0.088
			ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*			1	0.002
			Epeorus 属	*Epeorus* sp.	20	0.238		
	カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.			3	0.002
		オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.			3	0.006
			Protonemura 属	*Protonemura* sp.	1	+	27	0.025
		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.			8	0.004
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	2	0.008	3	0.006
		カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria* sp.	2	0.388		
		アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*			6	0.314
			アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.	1	+		
	トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	Parapsyche 属	*Parapsyche* sp.			1	0.022
		ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.			1	0.013
		ナガレトビケラ科	クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila clemens*			2	0.006
			レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*			3	0.065
			Rhyacophila 属 RC	*Rhyacophila* sp. RC			2	0.005
			Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)	2	0.009		
		カクスイトビケラ科	ウエノマルツツトビケラ	*Micrasema uenoi*	1	+		
		カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.	6	0.077		
		エグリトビケラ科	Pseudostenophylax 属	*Pseudostenophylax* sp.			1	0.084
	希少種保護のため非公開							
	ハエ目（双翅目）	ヒメガガンボ科	Hexatoma 属	*Hexatoma* sp.	1	0.438	1	0.111
		アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*			5	0.079
			Blepharicera 属	*Blepharicera* sp.	1	0.008		
			Philorus 属	*Philorus* sp.	3	0.041		
		ユスリカ科	Boreoheptagyia 属	*Boreoheptagyia* sp.			2	+
			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.			5	+
			Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.	4	+		
			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.			5	0.002
			Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.	1	+		
		ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium* sp.	1	0.004		
			Simulium 属	*Simulium* sp.			12	0.035
		ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	3	0.163	1	0.009
計				種数	4 目 16 科 21 種		4 目 18 科 28 種	
				個体数(個体/1 地点)	90		129	
				湿重量(g/1 地点)	2.196		1.077	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。

注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 522　調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度早春季・夏季・秋季・冬季 1/2）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					早春季		夏季		秋季		冬季	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
有棒状体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	*Dugesia japonica*							1	0.066
昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*					1	0.003	1	0.023
			オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	1	0.052						
			フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*			1	0.081				
		ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	12	0.017					7	0.103
		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			13	0.027	6	0.018	5	0.003
			サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*			38	0.096				
			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	2	0.016	128	0.448	10	0.054	13	0.024
		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	6	0.019					10	0.034
			キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	1	0.005	1	0.014				
			エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*			3	0.079	2	0.088		
			Epeorus 属	*Epeorus* sp.							1	+
			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.			96	0.304	8	0.058	1	0.002
	カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.					3	0.006	5	0.044
			Protonemura 属	*Protonemura* sp.					1	+	3	0.004
		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	5	0.021					10	0.019
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	8	0.013	80	0.048	2	0.003	7	0.033
		カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria* sp.							1	0.078
		アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	3	0.491	1	0.025	7	0.469	6	0.538
			ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*							4	0.162
			Tadamus 属	*Tadamus* sp.							2	0.117
			アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.					3	0.005	8	0.059

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 523　調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度早春季・夏季・秋季・冬季 2/2）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					早春季		夏季		秋季		冬季	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*							3	0.023
			ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*							9	0.047
			Hydropsyche 属	*Hydropsyche* sp.					6	0.007		
			Parapsyche 属	*Parapsyche* sp.					1	0.039		
		イワトビケラ科	Plectrocnemia 属	*Plectrocnemia* sp.	1	0.002						
		ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*							1	0.177
		ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.			19	0.025			1	0.007
		ナガレトビケラ科	タシタナガレトビケラ	*Rhyacophila impar*							1	0.037
			クラマナガレトビケラ	*Rhyacophila kuramana*							1	0.003
			レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*					3	0.057	6	0.087
			Rhyacophila 属 RC	*Rhyacophila* sp. RC							3	0.009
			Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)	2	0.115	1	0.003				
		コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.							4	0.006
		カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.	2	0.003					1	+
	希少種保護のため非公開											
	ハエ目(双翅目)	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.	4	0.013						
		ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.			1	0.002				
			Hexatoma 属	*Hexatoma* sp.			2	0.098				
		アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*					1	0.005	3	0.189
			Blepharicera 属	*Blepharicera* sp.			4	0.014				
		チョウバエ科	Pericoma 属	*Pericoma* sp.	1	+						
		ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.	1	0.001					1	+
			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.			16	+	1	+		
			Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.			6	+			2	+
			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.							1	+
			Pagastia 属	*Pagastia* sp.							2	+
			Rheotanytarsus 属	*Rheotanytarsus* sp.							1	+
		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.			1088	0.624	4	0.009		
		ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	1	0.033	2	0.039	1	0.013	3	0.041
	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	カノシマチビゲンゴロウ	*Oreodytes kanoi*					1	0.008	2	0.013
計				種数	4 目 14 科 15 種		4 目 13 科 19 種		5 目 13 科 17 種		6 目 20 科 34 種	
				個体数(個体/1 地点)	50		1501		61		130	
				湿重量(g/1 地点)	0.801		1.93		0.842		1.948	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 524　調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2024 年度早春季・夏季・秋季・冬季 1/2）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 08-2 千石(放流箇所下流)							
					早春季		夏季		秋季		冬季	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
有棒状体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	*Dugesia japonica*					2	0.023	1	0.039
ミミズ綱	ツリミミズ目	ツリミミズ科	ツリミミズ科	Lumbricidae sp.							1	0.192
昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*					2	0.011	8	0.113
			オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*					1	0.006	3	0.053
			ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*			3	0.032				
			フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*			3	0.168				
		ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.			1	0.014			2	0.017
		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	8	0.004	2	0.004			1	+
			サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*			2	0.004	1	0.003		
			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	20	0.081	20	0.043	11	0.062	14	0.026
		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	8	0.035			1	0.003	8	0.021
			キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	12	0.027	2	0.009				
			エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*			2	0.018				
			ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*					1	0.002	6	0.103
			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	10	0.011	11	0.079	9	0.015	3	0.008
	カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	5	0.085			1	0.001	7	0.042
		オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.					4	0.015	4	0.046
			Nemoura 属	*Nemoura* sp.							5	0.023
			Protonemura 属	*Protonemura* sp.	10	0.008			10	0.005	3	0.009
		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	7	0.019						
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	10	0.059	19	0.076	4	0.008	11	0.029
		アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	5	0.201	3	0.078	3	0.302	5	0.741
			Skwala 属	*Skwala* sp.					1	0.014		
			ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*					1	0.017		
			Tadamus 属	*Tadamus* sp.	5	0.177					2	0.053
			アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.					6	0.021	8	0.154
	トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*							6	0.064
			ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	7	0.025						
			Hydropsyche 属	*Hydropsyche* sp.					1	+		
			Parapsyche 属	*Parapsyche* sp.					2	0.137	1	0.008
		カワトビケラ科	Dolophilodes 属	*Dolophilodes* sp.							2	0.029
		イワトビケラ科	Plectrocnemia 属	*Plectrocnemia* sp.							2	0.002
		ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*			2	0.049	2	0.717	6	2.856
		ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.			3	0.011				
		カワリナガレトビケラ科	ツメナガナガレトビケラ	*Apsilochorema sutshanum*	1	0.002						

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 525　調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 08-2 千石（放流箇所下流）(2024 年度早春季・夏季・秋季・冬季 2/2)

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 08-2 千石(放流箇所下流)							
					早春季		夏季		秋季		冬季	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*					1	0.026	4	0.106
			トワダナガレトビケラ	*Rhyacophila towadensis*					1	0.013		
			ヨシイナガレトビケラ	*Rhyacophila yosiiana*					1	0.011		
			Rhyacophila 属 RC	*Rhyacophila* sp. RC					1	0.001	1	+
			Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)	4	0.129	1	0.002				
			Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila* sp. (Retracta group)	2	0.008						
		コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.							2	0.012
		ニンギョウトビケラ科	クロニンギョウトビケラ	*Goera nigrosoma*							1	0.009
		カクツツトビケラ科	オオカクツツトビケラ	*Lepidostoma crassicorne*					1	0.023	1	0.052
			Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.			1	0.008			1	0.005
		エグリトビケラ科	Pseudostenophylax 属	*Pseudostenophylax* sp.							6	0.411
		マルバネトビケラ科	Phryganopsyche 属	*Phryganopsyche* sp.							1	0.001
	ハエ目(双翅目)	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.	3	0.009						
		ガガンボ科	Tipula 属	*Tipula* sp.					4	1.339	7	1.981
		アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*	2	0.183			1	0.089	4	0.364
			ハナレメナミアミカ	*Blepharicera shirakii*			1	0.013				
		ヌカカ科	ヌカカ科	Ceratopogonidae sp.					1	+		
		ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia* sp.	2	+						
			Diamesa 属	*Diamesa* sp.					1	0.004		
			Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.					10	0.004	1	+
			Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.					3	0.001		
			Tvetenia 属	*Tvetenia* sp.	5	+						
			モンユスリカ亜科	Tanypodinae sp.			1	+			1	+
		ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium* sp.	4	0.007						
			Simulium 属	*Simulium* sp.	3	0.005			8	0.015		
		ナガレアブ科	ハマダラナガレアブ	*Atherix ibis japonica*			3	0.043				
	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	カノシマチビゲンゴロウ	*Oreodytes kanoi*							1	0.008
			Platambus 属	*Platambus* sp.					3	0.022	1	0.004
		マルハナノミ科	Odeles 属	*Odeles* sp.					1	0.009		
計				種数	4 目 14 科 21 種		4 目 13 科 18 種		6 目 19 科 32 種		7 目 24 科 35 種	
				個体数(個体/1 地点)	133		80		100		141	
				湿重量(g/1 地点)	1.075		0.651		2.919		7.581	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 526　調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度早春季・夏季・秋季・冬季 1/2）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島（放流箇所下流②）							
					早春季		夏季		秋季		冬季	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
有棒状体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	*Dugesia japonica*			2	0.026	3	0.039		
ハリガネムシ綱	ハリガネムシ目	ハリガネムシ科	ハリガネムシ科	Gordiidae sp.							1	0.113
ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais 属	*Nais* sp.					2	+		
	ツリミミズ目	–	ツリミミズ目	Lumbricida sp.			2	0.082	2	0.201		
昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*							1	0.055
		マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*							2	0.048
			オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	1	0.052						
		ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.							4	0.025
		コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*					1	+		
			フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			12	0.036	6	0.016	1	+
			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	10	0.016	5	0.032	10	0.041	5	0.007
		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	10	0.046					7	0.006
			キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*			4	0.045				
			ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*					1	0.009	2	0.013
			Epeorus 属	*Epeorus* sp.	2	0.002						
			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	15	0.023	4	0.017	11	0.055	52	0.168
	カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	1	+					3	0.011
		オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.	1	0.017			3	0.011		
			Protonemura 属	*Protonemura* sp.	2	0.003	1	0.002	5	0.002	8	0.014
		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	2	0.006						
		ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ	*Yoraperla uenoi*					2	0.011	1	0.008
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	25	0.127	10	0.032	5	0.008	7	0.026
		カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria* sp.							1	0.104
		アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*							1	0.143
			ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*					1	0.009		
			ニッコウアミメカワゲラ	*Sopkalia yamadae*			2	0.037	1	0.068	1	0.167
			アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.					3	0.019	7	0.105

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 527　調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度早春季・夏季・秋季・冬季 2/2）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島（放流箇所下流②）							
					早春季		夏季		秋季		冬季	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	アミメカゲロウ目（脈翅目）	ヒロバカゲロウ科	ヒロバカゲロウ科	Osmylidae sp.							1	0.026
	トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*			1	0.022			2	0.029
			ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	2	0.006	1	0.009	6	0.033	8	0.039
			Parapsyche 属	*Parapsyche* sp.					5	0.323		
		カワトビケラ科	Dolophilodes 属	*Dolophilodes* sp.					2	0.001		
		ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*							1	0.305
		ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.					2	0.004	1	+
		ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*					2	0.032		
			ヨシイナガレトビケラ	*Rhyacophila yosiiana*					1	0.003		
		カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ	*Eobrachycentrus vernalis*					1	0.026		
	ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.	7	0.034	1	0.002				
		ヒメガガンボ科	Hexatoma 属	*Hexatoma* sp.			1	0.044				
		ガガンボ科	Tipula 属	*Tipula* sp.							1	0.618
		アミカ科	Blepharicera 属	*Blepharicera* sp.			9	0.045				
		ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.			1	+				
			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.					2	+		
			Neobrillia 属	*Neobrillia* sp.					1	+		
			Rheocricotopus 属	*Rheocricotopus* sp.					2	+		
			モンユスリカ亜科	Tanypodinae sp.			1	+				
		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.					12	0.031		
	コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	カノシマチビゲンゴロウ	*Oreodytes kanoi*							1	0.009
			Platambus 属	*Platambus* sp.							1	0.011
				種数	4 目 9 科 12 種		6 目 12 科 16 種		7 目 16 科 25 種		7 目 18 科 24 種	
			計	個体数（個体/1 地点）	78		57		92		120	
				湿重量(g/1 地点)	0.332		0.431		0.942		2.05	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 528　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2024 年度春季）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					沢 33 北俣・中俣合流部付近							
					春季							
					定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*							2	0.215
			フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*	2	0.014	1	0.006	5	0.028	3	0.011
		ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	1	0.001						
		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			12	0.025	8	0.019	3	0.009
			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	6	0.016	13	0.027	18	0.046	18	0.042
		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	5	0.028	8	0.055	7	0.036	6	0.024
			キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*			18	0.087	10	0.098		
			ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	1	0.013						
			Epeorus 属	*Epeorus* sp.	6	0.011	8	0.005	14	0.053	22	0.092
			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	2	+	1	+				
	カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.							1	+
			Protonemura 属	*Protonemura* sp.	2	0.002	5	0.017	3	0.006	1	+
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.			3	0.008	2	0.003	13	0.014
		カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria* sp.			1	0.232			2	0.311
			カワゲラ科	Perlidae sp.	1	+						
		アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.	1	+	4	0.005	6	0.009	10	0.013
	ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.							1	0.002
		アミカ科	Agathon 属	*Agathon* sp.			1	0.025				
			クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*							1	0.119
			Blepharicera 属	*Blepharicera* sp.					1	0.003	1	0.002
			Philorus 属	*Philorus* sp.			2	0.011	3	0.013		
		ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.	3	+	5	+	3	0.001	3	+
			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.					2	+		
			Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.	1	+						
			Pagastia 属	*Pagastia* sp.	1	+	2	+				
		ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium* sp.			2	0.006			1	0.001
			Simulium 属	*Simulium* sp.			2	0.005				
計				種数	12		16		12		16	
					3 目 12 科 25 種							
				個体数(/25cm×25cm×1 回)	32		88		82		88	
				湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.085		0.514		0.315		0.855	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 529　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2024 年度秋季）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					沢 33 北俣・中俣合流部付近							
					秋季							
					定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.							1	0.008
		コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	13	0.017	6	0.009	2	0.001	3	0.002
		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	4	0.001	6	0.002	2	0.001	23	0.007
			エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*							1	0.018
			Epeorus 属	*Epeorus* sp.	1	+						
	カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	3	0.003						
		オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.	3	0.008						
			Protonemura 属	*Protonemura* sp.	27	0.017	4	0.001				
		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	1	+	1	+	1	+	5	0.002
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	1	0.002	1	+	1	+	3	0.001
		アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	3	0.121	2	0.073	1	0.026		
			アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.	1	+	1	0.002				
	トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila clemens*			1	0.003				
			レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	1	0.009						
	ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia* sp.	1	+						
		ホソカ科	クロホソカ	*Dixa yamatona*							1	+
		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	3	0.006						
計				種数	12		7		5		7	
					4 目 12 科 15 種							
				個体数(/25cm×25cm×1 回)	62		22		7		37	
				湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.184		0.09		0.028		0.038	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 530　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度早春季）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					早春季							
					定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			2	+	4	0.003	2	0.002
			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*			4	0.013	7	0.009	10	0.012
		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.			1	0.003	3	0.009	1	0.011
			Epeorus 属	*Epeorus* sp.	2	0.001	6	0.004	11	0.004	10	0.006
			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	2	+	1	0.002	3	0.002	2	0.001
	カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.	1	+	1	+	7	0.006	5	0.004
		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.			4	0.022	3	0.021	5	0.011
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	6	0.012			7	0.028	5	0.009
		アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*			1	0.129				
	トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	Hydropsyche 属	*Hydropsyche* sp.			1	0.001				
	ハエ目(双翅目)	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.					1	0.003		
		ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.					2	+	1	+
		ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium* sp.			2	0.004	1	0.003		
計				種数	4		10		11		9	
					4 目 10 科 13 種							
				個体数(/25cm×25cm×1 回)	11		23		49		41	
				湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.013		0.178		0.088		0.056	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 531　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度夏季）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					夏季							
					定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*	1	0.061	1	0.068	1	0.078		
		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	14	0.025	11	0.014	9	0.015	28	0.048
			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	20	0.059	19	0.077	6	0.028	20	0.081
		ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	2	0.038	1	0.018	1	0.02	4	0.067
			ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	1	0.035						
			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	9	0.031	14	0.154	11	0.054	13	0.047
	カワゲラ目(セキ翅目)	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	15	0.024	2	0.002	10	0.021	7	0.009
		アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	4	0.062	3	0.065			1	0.007
	トビケラ目(毛翅目)	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	8	0.025	1	0.006	4	0.009	2	0.003
		ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)			1	0.006				
	ハエ目(双翅目)	アミカ科	ハナレメナミアミカ	*Blepharicera shirakii*							1	0.014
		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	2	+	1	+	5	0.005	11	0.007
		ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*			1	0.016				
計				種数	10		11		8		9	
					4 目 10 科 13 種							
				個体数(/25cm×25cm×1 回)	76		55		47		87	
				湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.36		0.426		0.23		0.283	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 532　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度秋季）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					秋季							
					定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*	3	0.007	1	0.002	2	0.004	1	0.002
		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	2	0.008	5	0.029	8	0.043	12	0.059
			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	3	0.019	11	0.057	16	0.116	15	0.096
		ヒラタカゲロウ科	エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*					1	0.048		
			Epeorus 属	*Epeorus* sp.					1	+		
			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	8	0.005	14	0.095	17	0.039	9	0.021
	カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	1	+			2	+		
		ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.			6	+				
		オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.	2	0.003					1	+
			Protonemura 属	*Protonemura* sp.	11	0.003	8	0.005	25	0.011	8	0.004
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	7	0.008	27	0.015	23	0.021	17	0.018
		カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae sp.	1	0.002						
		アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	2	0.077	3	0.145	4	0.232		
			アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.							5	0.006
	トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*			3	0.022				
			Hydropsyche 属	*Hydropsyche* sp.	20	0.021	23	0.021	38	0.041	12	0.017
		ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	1	0.009	1	+				
		ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	1	0.018	3	0.031	3	0.059	3	0.038
			Rhyacophila 属 RC	*Rhyacophila* sp. RC	1	0.002			1	0.002		
	ハエ目(双翅目)	アミカ科	アルプスコマドアミカ	*Agathon bispinus*							4	0.047
			クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*							3	0.022
			ハナレメナミアミカ	*Blepharicera shirakii*							1	0.021
		ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+			2	+	3	+
			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.			2	+				
		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	15	0.019	4	0.002	12	0.016	353	0.581
		ナガレアブ科	ナガレアブ科	Athericidae sp.			2	+	2	+		
計				種数	16		14		15		15	
					4 目 16 科 23 種							
				個体数(/25cm×25cm×1 回)	79		113		157		447	
				湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.201		0.424		0.632		0.932	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 533　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度冬季）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					冬季							
					定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	6	0.001			21	0.006	6	0.001
			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	90	0.061	52	0.039	136	0.103	64	0.049
		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	42	0.061	66	0.087	41	0.055	48	0.066
			Epeorus 属	*Epeorus* sp.							2	+
			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	14	0.021			3	0.003	12	0.016
	カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	6	0.006	8	0.006	3	+	3	0.004
		ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.	4	+			3	+		
		オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.			6	+	4	+	3	+
			Protonemura 属	*Protonemura* sp.	104	0.058	80	0.046	88	0.037	51	0.018
		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	28	0.022	22	0.032	36	0.025	22	0.019
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	36	0.082	38	0.112	17	0.021	54	0.151
		カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria* sp.	1	0.065						
		アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	2	0.188	12	1.537	1	0.154	5	0.678
			Tadamus 属	*Tadamus* sp.	1	0.035						
			アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.					7	0.063	2	0.022
	トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*	1	0.013			3	0.031	1	0.014
			ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	2	0.004	5	0.012	7	0.019		
		ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*			1	0.264				
		ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	4	0.049	5	0.081	9	0.081	8	0.123
			Rhyacophila 属 RC	*Rhyacophila* sp. RC					3	0.004		
		コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.					2	0.001		
	ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.					2	+	1	+
		アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*	1	0.106			2	0.193	3	0.322
		ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.							1	+
			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.					1	+		
			Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.	8	+	8	+	7	+	1	+
			Pagastia 属	*Pagastia* sp.	1	+	3	+	4	+		
			Thienemanniella 属	*Thienemanniella* sp.					1	+		
		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	2	+					1	+
		ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*							1	0.021
計				種数	19		13		22		19	
					4 目 18 科 29 種							
				個体数(/25cm×25cm×1 回)	353		306		401		289	
				湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.772		2.216		0.796		1.504	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 534　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2024 年度早春季）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 08-2 千石（放流箇所下流）							
					早春季							
					定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	Drunella 属	*Drunella* sp.	1	+						
		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	+	1	+	2	0.001		
			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	15	0.029	5	0.007	8	0.006	5	0.011
		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	5	0.031	2	0.018			2	0.011
			キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*			7	0.006	3	0.013	4	0.009
			Epeorus 属	*Epeorus* sp.	24	0.004			7	0.003		
			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	11	0.008	5	0.012	1	+	1	+
	カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.							1	0.001
		オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.	1	0.002			1	+	1	+
			Protonemura 属	*Protonemura* sp.	3	0.002	6	0.004	8	0.007	11	0.013
		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	3	0.014	8	0.035	9	0.043		
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	1	+	3	0.014	3	0.009	1	0.004
		アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*			1	0.038			1	0.189
			ニッコウアミメカワゲラ	*Sopkalia yamadae*					1	0.205		
	トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	1	0.005						
			Hydropsyche 属	*Hydropsyche* sp.					1	+		
		ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属（Sibirica group）	*Rhyacophila* sp.（Sibirica group）	1	0.016						
	ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	2	+						
			Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.					1	+		
			Rheocricotopus 属	*Rheocricotopus* sp.			1	+	2	+		
		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.			3	0.001				
計				種数	13		11		12		9	
					4 目 12 科 19 種							
				個体数(/25cm×25cm×1 回)	69		42		47		27	
				湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.111		0.135		0.287		0.238	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 535　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2024 年度夏季）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 08-2 千石（放流箇所下流）							
					夏季							
					定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*			1	0.063				
		ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.					1	0.008		
		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	20	0.028	51	0.091	17	0.041	8	0.009
			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	32	0.047	15	0.023	62	0.129	22	0.031
		ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*			3	0.049	1	0.005	1	0.007
			エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*							2	0.015
			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	5	0.017			7	0.069	9	0.062
	カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.			1	0.002	3	0.008		
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	4	0.013	1	0.005	3	0.008	1	0.002
		アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*			2	0.056			1	0.012
	トビケラ目（毛翅目）	ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*			1	0.011				
		ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.			1	+	13	0.028	5	0.015
		ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属（Acropedes group）	*Rhyacophila* sp.（Acropedes group）	1	0.002						
	ハエ目（双翅目）	ヒメガガンボ科	Hexatoma 属	*Hexatoma* sp.							1	0.023
		ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.			3	+				
			Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.					1	+		
		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	8	0.006	47	0.045			1	+
計				種数	6		11		9		10	
					4 目 13 科 17 種							
				個体数(/25cm×25cm×1 回)	70		126		108		51	
				湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.113		0.345		0.296		0.176	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 536　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2024 年度秋季）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 08-2 千石（放流箇所下流）							
					秋季							
					定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais 属	*Nais* sp.	5	+						
昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*	1	0.006			2	0.005		
		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	4	+			1	0.001	1	0.005
			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	26	0.022	27	0.083	38	0.065	33	0.126
		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	3	0.002	6	0.004	3	0.003	3	0.002
			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	36	0.041	11	0.015	12	0.021	28	0.054
	カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	1	+	1	0.002	14	0.014	5	0.005
		オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.	56	0.019	12	0.007	17	0.008	9	0.013
		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	1	+	2	+			4	0.004
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	4	0.005	3	0.005	11	0.019	5	0.009
		アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*			2	0.269	5	0.539		
			Skwala 属	*Skwala* sp.					1	0.022	2	0.036
			アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.	12	0.059	10	0.077			9	0.038
	トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	4	0.021						
			Hydropsyche 属	*Hydropsyche* sp.	15	0.012	8	0.014	2	0.003	5	0.014
		ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*	1	0.364			1	0.081		
		ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	5	0.022	1	0.002	1	0.002		
		ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	3	0.032	2	0.037	6	0.094	3	0.068
			Rhyacophila 属 RC	*Rhyacophila* sp. RC					1	0.003		
	ハエ目（双翅目）	ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.			1	0.002				
		アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*	1	0.041						
		ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia* sp.							1	+
			Diamesa 属	*Diamesa* sp.	2	0.007					1	+
			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	10	0.003	4	+	6	+	2	+
			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.	3	+	23	0.017	4	+		
			Tvetenia 属	*Tvetenia* sp.							1	+
		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	37	0.164	3	0.011	19	0.102	5	0.027
計				種数	20		15		18		16	
					5 目 17 科 25 種							
				個体数(/25cm×25cm×1 回)	230		116		144		117	
				湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.82		0.545		0.982		0.401	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 537　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2024 年度冬季）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 08-2 千石（放流箇所下流）							
					冬季							
					定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*					2	0.013		
			オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*			1	0.039				
		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	16	0.005	12	0.006	5	0.001	33	0.021
			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	81	0.091	84	0.098	109	0.126	52	0.039
		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	6	0.006	70	0.091	56	0.079	9	0.011
			Epeorus 属	*Epeorus* sp.	1	+			4	+		
			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	14	0.021	12	0.04	5	0.009	8	0.012
	カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.					3	0.005		
		オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.					1	0.007		
			Protonemura 属	*Protonemura* sp.	6	0.004	42	0.028	53	0.035	4	0.001
		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	11	0.006	8	0.006	6	0.007	9	0.006
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	3	0.002	6	0.021	4	0.004	3	+
		アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*			1	0.139				
			アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.	4	0.035	10	0.086	17	0.249	4	0.051
	トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*	1	0.003	6	0.063	1	0.004	2	0.012
			ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*			5	0.011	15	0.063	5	0.008
		ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*			1	0.766	3	2.568		
		ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	2	0.042	3	0.031	2	0.037	4	0.038
		コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.	3	0.003			1	+		
	ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.			1	+				
		ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.			2	0.005	1	+		
		アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*	1	0.107	3	0.317			3	0.299
		ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia* sp.	1	+	4	+	2	+		
			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+						
			Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.	2	+	3	+				
			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.			1	+				
			Pagastia 属	*Pagastia* sp.			1	+			2	+
			Parametriocnemus 属	*Parametriocnemus* sp.	1	+			1	+		
			Pseudorthocladius 属	*Pseudorthocladius* sp.	4	+					1	+
		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	1	0.007			2	+		
計				種数	19		20		21		14	
					4 目 17 科 29 種							
				個体数(/25cm×25cm×1 回)	159		276		293		139	
				湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.332		1.747		3.207		0.498	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 538　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度早春季）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島（放流箇所下流②）							
					早春季							
					定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*			1	0.148				
		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	2	0.001	1	+	5	0.004	1	+
			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	3	0.007	3	0.002	7	0.008		
		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	2	0.021	2	0.005	3	0.043	2	0.001
			Epeorus 属	*Epeorus* sp.	3	0.003	3	0.002	6	0.001	10	0.005
			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	8	0.017	10	0.031	10	0.012	18	0.017
	カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.					1	+		
		オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.	3	0.004					8	0.008
			Protonemura 属	*Protonemura* sp.	4	0.005	1	+	14	0.021	3	0.006
		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	1	0.008			5	0.022	1	0.004
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	4	0.017	11	0.014	12	0.007	5	0.033
		アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*			1	0.039	1	0.046		
			Tadamus 属	*Tadamus* sp.	1	0.041	1	0.107	1	0.073		
	トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*					8	0.038		
		ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属（Acropedes group）	*Rhyacophila* sp.（Acropedes group）	1	0.028					1	0.074
	ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.							1	+
			Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.							8	+
			Tvetenia 属	*Tvetenia* sp.							3	+
		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.					1	0.005		
計				種数	11		10		13		12	
					4 目 12 科 19 種							
				個体数(/25cm×25cm×1 回)	32		34		74		61	
				湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.152		0.348		0.28		0.148	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 539　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度夏季）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島（放流箇所下流②）							
					夏季							
					定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*							1	0.004
		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	0.001	1	0.003	5	0.009	7	0.006
			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	4	0.013	4	0.004	13	0.041	16	0.033
		ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	1	0.009	1	0.002	5	0.037	6	0.066
			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	7	0.029	4	0.007	13	0.031	5	0.017
	カワゲラ目（セキ翅目）	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	4	0.004	1	+	5	0.008	9	0.014
	トビケラ目（毛翅目）	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	1	+						
	ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.			1	+	2	+	1	+
計				種数	6		6		6		7	
					4 目 6 科 8 種							
				個体数(/25cm×25cm×1 回)	18		12		43		45	
				湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.056		0.016		0.126		0.14	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 540　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度秋季）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
					秋季							
					定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*							1	0.001
		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*					1	+		
			サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*							2	0.005
			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*			3	0.006	2	0.016	4	0.016
		ヒラタカゲロウ科	Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	11	0.025	17	0.023	11	0.015	24	0.051
	カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.							1	+
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	7	0.007	3	0.002	1	+	9	0.017
		カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria* sp.					1	0.117		
		アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.	1	0.009	1	+			3	0.021
	トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	Hydropsyche 属	*Hydropsyche* sp.			1	+	5	0.007		
		ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	2	0.003			6	0.009	1	+
		カワリナガレトビケラ科	ツメナガナガレトビケラ	*Apsilochorema sutshanum*							1	+
計				種数	4		5		7		9	
					3 目 10 科 12 種							
				個体数(/25cm×25cm×1 回)	21		25		27		46	
				湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.044		0.031		0.164		0.111	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 541　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度冬季）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
					冬季							
					定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
有棒状体綱	三岐腸目	ヒラタウズムシ科	ミヤマウズムシ	*Phagocata vivida*			1	+				
昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*					1	0.009		
		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			3	+				
			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	22	0.023	25	0.029	22	0.017	48	0.033
		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.					2	+	2	0.001
			Epeorus 属	*Epeorus* sp.					4	+		
			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	21	0.046	29	0.049	15	0.021	17	0.045
	カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.			4	0.002	2	+	3	+
		ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.			4	+				
		オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.			2	+			6	+
			Protonemura 属	*Protonemura* sp.	1	+	12	0.005	4	+	20	0.016
		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.					1	+		
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	3	0.005	7	0.015			2	0.008
		アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.			1	0.014				
	トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	1	0.001						
			Hydropsyche 属	*Hydropsyche* sp.			3	0.006	4	0.015	6	0.007
		ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*							1	0.878
		ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	1	+	1	0.004				
		カワリナガレトビケラ科	ツメナガナガレトビケラ	*Apsilochorema sutshanum*							1	+
		ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*			4	0.039			1	0.016
			Rhyacophila 属 RC	*Rhyacophila* sp. RC	1	+						
		コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.					3	0.006		
	ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.			1	0.001				
		アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*			1	0.104				
		ユスリカ科	Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.							1	+
			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.							1	+
			Pagastia 属	*Pagastia* sp.					1	+		
		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.			1	+				
計				種数	7		16		11		13	
					5 目 20 科 27 種							
				個体数(/25cm×25cm×1 回)	50		99		59		109	
				湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.075		0.268		0.068		1.004	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 542　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2024 年度春季・秋季）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域			
					沢 33 北俣・中俣合流部付近			
					春季		秋季	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	10	0.011	1	0.009
		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	6	0.015	3	+
			ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*			2	0.009
			Epeorus 属	*Epeorus* sp.	10	0.017		
	カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.			1	+
		オナシカワゲラ科	Nemoura 属	*Nemoura* sp.			1	+
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	12	0.005		
		アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.			2	+
	ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.	2	+		
			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.			1	+
			エリユスリカ亜科	Orthocladiinae sp.	4	+		
計				種数	3 目 4 科 6 種		3 目 6 科 7 種	
				個体数(/25cm×25cm×1 回)	44		11	
				湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.048		0.018	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 543　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度早春季・夏季・秋季・冬季）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域 河 02 西俣(放流箇所下流)							
					早春季		夏季		秋季		冬季	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*							1	0.011
			フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*			1	0.066				
		ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	4	0.009			1	+	3	0.003
		コカゲロウ科	サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*			28	0.045	2	0.003		
			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*			1	0.004			5	0.001
			F コカゲロウ	*Baetis* sp. F			1	0.008				
		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.			2	0.012			2	0.002
			エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*			2	0.019				
			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.			26	0.147	12	0.004		
	カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.							2	+
		ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.			2	+	22	0.004	2	+
		オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.							2	+
		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.							1	+
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	15	0.006	45	0.081	111	0.108	101	0.195
		カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria* sp.			3	0.052				
	トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*							1	0.002
		ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)			1	0.002				
	ハエ目(双翅目)	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.	1	0.006						
		ヒメガガンボ科	Hexatoma 属	*Hexatoma* sp.			3	0.053				
		ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.					1	+		
			Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.			7	+				
			Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.			2	+				
		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.			2	+				
		ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*			7	0.079	6	0.093	1	0.014
計				種数	3 目 3 科 3 種		4 目 11 科 16 種		3 目 7 科 7 種		4 目 11 科 11 種	
				個体数(/25cm×25cm×1 回)	20		133		155		121	
				湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.021		0.568		0.212		0.228	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 544　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2024 年度早春季・夏季・秋季・冬季）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域 河 08-2 千石（放流箇所下流）							
					早春季		夏季		秋季		冬季	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*			1	0.022				
			フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*			1	0.048				
		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	0.001	1	0.001			1	+
			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	3	0.001	21	0.037	3	0.007	41	0.027
		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	1	0.003			6	0.003	45	0.064
			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.			4	0.008	5	0.004	16	0.014
	カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	8	0.015			1	+		
		ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.					1	+		
		オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.	1	+					2	+
			Nemoura 属	*Nemoura* sp.	1	+						
			Protonemura 属	*Protonemura* sp.	12	0.015			1	+	4	0.001
		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	2	0.003					5	0.003
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	2	0.001	3	0.004	6	0.006	21	0.031
		アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*							2	0.399
			アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.							3	0.022
	トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*							3	0.028
			Hydropsyche 属	*Hydropsyche* sp.					1	0.001		
		ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.			10	0.004				
		ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*							1	0.027
		コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.							3	0.003
	ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.	1	0.003					2	0.002
		ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.					3	+		
			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	5	+			1	+		
			Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.	1	+						
			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.					11	0.006		
			Rheocricotopus 属	*Rheocricotopus* sp.	2	+						
		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.					1	+		
		ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*							1	0.014
計				種数	3 目 8 科 13 種		3 目 5 科 7 種		4 目 9 科 12 種		4 目 11 科 14 種	
				個体数(/25cm×25cm×1 回)	40		41		40		150	
				湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.042		0.124		0.027		0.635	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 545　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度早春季・夏季・秋季・冬季）

綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域 河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
					早春季		夏季		秋季		冬季	
					個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*							2	0.024
		ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	7	0.006						
		コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*							2	+
		ヒラタカゲロウ科	Epeorus 属	*Epeorus* sp.	1	+						
			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	1	+	4	0.001	6	0.001		
	カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	2	0.003					19	0.021
		オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.							1	0.007
		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	1	0.007	36	0.054	6	0.006	20	0.064
		アミメカワゲラ科	ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*	1	0.187					2	0.113
	トビケラ目(毛翅目)	カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.							3	0.006
	ハエ目(双翅目)	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.							1	+
		ユスリカ科	Thienemanniella 属	*Thienemanniella* sp.	1	+						
	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	カノシマチビゲンゴロウ	*Oreodytes kanoi*	1	0.006						
計				種数	4 目 7 科 8 種		2 目 2 科 2 種		2 目 2 科 2 種		4 目 8 科 8 種	
				個体数(/25cm×25cm×1 回)	15		40		12		50	
				湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.209		0.055		0.007		0.235	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

3.2.2.7.調査結果（2025 年度）

調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種一覧を、表 546～表 553 に示します。確認された重要種は、[redacted]の[redacted]種でした。

調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種一覧を、表 554～表 560 に示します。重要種は確認されませんでした。

調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種一覧を、表 561～表 567 に示します。重要種は確認されませんでした。

表 546　調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度春季・夏季・秋季 1/2）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域：沢 33 北俣・中俣合流部																					
						春季							夏季							秋季								
						早瀬	淵	小滝					早瀬	淵	小滝					早瀬	平瀬	淵		小滝				
								滑床上流域	滑床流心部	乱れ石盤	水衝部	滴れ部			滑床上流域	滑床流心部	乱れ石盤	水衝部	滴れ部			落ち込み	岸際	滑床上流域	滑床流心部	乱れ石盤	水衝部	滴れ部
1	有棒状体綱	三岐腸目	ヒラタウズムシ科	カズメウズムシ	*Seidlia auriculata*															●			●					
2	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	●	●	●																				
3				ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*										●													
4				フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*								●		●													
–				Drunella属	*Drunella* sp.																			●				
5			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属	*Ameletus* sp.	●	●			●	●			●							●	●		●				
6			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	●	●		
7				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●		●	●		●		●		●		
8				Fコカゲロウ	*Baetis* sp. F									●														
9			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	●	●	●			●		●	●	●	●				●		●		●				
10				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●			
11				イワヒラタカゲロウ	*Epeorus cumulus*				●							●								●				
12				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*									●	●					●				●				
–				Epeorus属	*Epeorus* sp.																	●						
13				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.									●						●								
14		カワゲラ目（セキ翅目）	ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.																	●						
15			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.		●													●	●			●				
16				Nemoura属	*Nemoura* sp.									●									●					
17				Protonemura属	*Protonemura* sp.	●	●	●	●	●		●	●		●				●	●		●		●	●	●		
18			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.							●								●				●			●	
19			ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ	*Yoraperla uenoi*				●		●													●				
20			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	●	●	●					●	●	●					●		●	●	●				
21			カワゲラ科	Calineuria属	*Calineuria* sp.	●							●		●					●		●		●				
22			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*								●		●					●				●				
–				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.																●	●						
23		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	Hydropsyche属	*Hydropsyche* sp.																						●	
24				Parapsyche属	*Parapsyche* sp.																		●					
25			ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.								●	●	●			●					●					
26				希少種保護のため非公開																								
27			ナガレトビケラ科	クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila clemens*								●		●													
28				レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	●							●															
29				Rhyacophila属 RC	*Rhyacophila* sp. RC			●		●							●		●	●	●							
–				Rhyacophila属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)															●	●	●						
30				Rhyacophila属 (Kaltatica group)	*Rhyacophila* sp. (Kaltatica group)					●																		
31				Rhyacophila属 (Nigrocephala group)	*Rhyacophila* sp. (Nigrocephala group)																		●					
–				Rhyacophila属	*Rhyacophila* sp.				●			●																	
–				ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae sp.																				●			●
32			カクスイトビケラ科	ウエノマルツツトビケラ	*Micrasema uenoi*												●								●			
33			カクツツトビケラ科	オオカクツツトビケラ	*Lepidostoma crassicorne*																		●					
–				Lepidostoma属	*Lepidostoma* sp.		●	●			●				●					●	●							
34			エグリトビケラ科	Pseudostenophylax属	*Pseudostenophylax* sp.																●		●					
35		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota属	*Dicranota* sp.									●														
–				オビヒメガガンボ科	Pediciidae sp.																●	●						
36			ヒメガガンボ科	Antocha属	*Antocha* sp.		●		●	●																		●
37				Hexatoma属	*Hexatoma* sp.															●								
38			ガガンボ科	Tipula属	*Tipula* sp.																	●	●					
39			アミカ科	アルプスコマドアミカ	*Agathon bispinus*				●	●		●																
40				ヤマトコマドアミカ	*Agathon japonicus*					●																		
41				ミヤマコマドアミカ	*Agathon montanus*				●	●																		
–				Agathon属	*Agathon* sp.			●					●															
42				ヤマトケチナガアミカ	*Apistomyia uenoi*															●								
43				クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*	●	●													●				●				
–				Bibiocephala属	*Bibiocephala* sp.																					●	●	
44				ハナレメナミアミカ	*Blepharicera shirakii*												●	●										
45				ミヤマフタマタアミカ	*Philorus alpinus*						●						●											
46				ハナレメフタマタアミカ	*Philorus gokaensis*						●																	
47				アシボソヒメフタマタアミカ	*Philorus longirostris*												●	●	●									
48				オオメフタマタアミカ	*Philorus sikokuensis*						●	●																
–				Philorus属	*Philorus* sp.																							●
49				希少種保護のため非公開																								

注 1. 分類は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和 6 年度版生物リスト」（令和 6 年、国土交通省）に準拠した。
注 2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注 3. 湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注 4. 夏季は降雨による増水のため、調査が実施できなかった。

表 547　調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度春季・夏季・秋季 2/2）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域																						
						沢 33 北俣・中俣合流部付近																						
						春季							夏季							秋季								
								小滝							小滝							淵		小滝				
						早瀬	淵	剥離流上流側	剥離流裏側	流水中岩盤	水衝部	滴れ部	早瀬	淵	剥離流上流側	剥離流裏側	流水中岩盤	水衝部	滴れ部	早瀬	平瀬	落葉落枝	岸際	剥離流上流側	剥離流裏側	流水中岩盤	水衝部	滴れ部
50	昆虫綱	ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Boreoheptagyia属	*Boreoheptagyia* sp.					●	●	●					●	●	●			●						●
51				Brillia属	*Brillia* sp.																●							
52				Diamesa属	*Diamesa* sp.		●		●	●		●																
53				Eukiefferiella属	*Eukiefferiella* sp.				●	●		●			●		●								●	●	●
54				Micropsectra属	*Micropsectra* sp.			●					●	●	●					●	●	●		●				
55				Orthocladius属	*Orthocladius* sp.			●											●									●
56				Pagastia属	*Pagastia* sp.									●						●								
57				Polypedilum属	*Polypedilum* sp.									●														
58				Pseudodiamesa属	*Pseudodiamesa* sp.											●												
59				Rheocricotopus属	*Rheocricotopus* sp.							●																
60				Rheotanytarsus属	*Rheotanytarsus* sp.							●																
61				Sasayusurika属	*Sasayusurika* sp.																						●	
62				Thienemanniella属	*Thienemanniella* sp.																	●						
63				Tvetenia属	*Tvetenia* sp.				●			●	●							●	●				●			
–				ヒリユスリカ亜科	Orthocladiinae sp.							●																
64			ホソカ科	Dixa属	*Dixa* sp.											●												
65			ブユ科	Simulium属	*Simulium* sp.	●		●	●	●					●	●	●	●	●	●				●		●		
66			ユスリカバエ科	ユスリカバエ科	Thaumaleidae sp.				●																			
67			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	●	●	●					●		●					●		●		●				
68		コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	カノシマチビゲンゴロウ	*Oreodytes kanoi*									●							●							
計	2綱	6目	29科	68種	種数（目）	4目	4目	4目	4目	4目	4目	4目	4目	5目	4目	3目	3目	2目	4目	5目	5目	4目	4目	3目	3目	4目	3目	2目
					種数（科）	11科	11科	11科	10科	9科	7科	7科	12科	9科	13科	6科	8科	5科	7科	16科	9科	13科	8科	13科	5科	6科	4科	4科
					種数（種）	13種	14種	14種	15種	14種	9種	16種	16種	16種	18種	9種	12種	6種	9種	25種	12種	18種	8種	17種	6種	8種	5種	6種

注 1. 分類は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和 6 年度版生物リスト」（令和 6 年、国土交通省）に準拠した。
注 2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注 3. 湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注 4. 夏季は降雨による増水のため、調査が実施できなかった。

表 548　調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河02西俣（放流箇所下流）（2025年度早春季・夏季・秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域																							
						河02西俣（放流箇所下流）																							
						早春季								夏季										秋季					
									小滝							小滝								小滝					
						早瀬	平瀬	淵	剥離流上流側	剥離流裏側	流水中岩盤	水衝部	澪れ部	早瀬	平瀬	淵	剥離流上流側	剥離流裏側	流水中岩盤	水衝部	澪れ部	早瀬	平瀬	淵	剥離流上流側	剥離流裏側	流水中岩盤	水衝部	澪れ部
1	ハリガネムシ綱	ハリガネムシ目	-	ハリガネムシ目	*Gordioida* sp.																●								
2	有棒状体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	*Dugesia japonica*									●															
3			ヒラタウズムシ科	ミヤマウズムシ	*Phagocata vivida*																●								
4	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais属	*Nais* sp.																		●						
5		厚環帯目	フトミミズ科	フトミミズ科	Megascolecidae sp.											●													
6	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*											●							●						
7			マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*																								
8				オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*																								
9				ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*									●	●														
10				フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*									●															
11			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属	*Ameletus* sp.										●	●							●						
12			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●			
13				サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*												●						●						
14				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	●	●	●	●	●		●	●	●	●		●		●	●		●	●		●				
15			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	●	●	●	●					●								●	●						
16				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*				●					●	●		●	●	●	●	●								
17				イワヒラタカゲロウ	*Epeorus cumuitis*																				●				
18				ウエノヒラタカゲロウ	*Epeorus curvatulus*																●								
19				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*										●								●		●				
20				ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*																								
-				Epeorus属	*Epeorus* sp.	●	●	●	●	●	●	●																	
21				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.	●	●		●					●	●	●				●		●	●		●				
22		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.		●	●	●														●		●				
23			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.																								
24			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	●	●	●	●														●		●				
25				Nemoura属	*Nemoura* sp.											●													
26				Protonemura属	*Protonemura* sp.	●	●	●	●			●	●	●								●			●			●	
27			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	●	●	●	●	●	●	●	●									●							
28			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	●	●	●	●					●	●	●				●	●	●	●		●				
29			カワゲラ科	Calineuria属	*Calineuria* sp.									●	●					●	●	●	●		●				
30			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	●	●		●													●							
31				Skwala属	*Skwala* sp.																								
32				ヒロベネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*																								
33				Tadamus属	*Tadamus* sp.		●																						
-				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.										●								●		●				
34		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*			●														●	●		●				
35				ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*			●	●																●				
36			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*									●									●	●					
37			ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.									●						●	●								
38						売却種保護のため非公開																								
39			ナガレトビケラ科	クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila clemens*									●															
40				レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezevi*	●	●		●					●															
41				トランスクィラナガレトビケラ	*Rhyacophila transquilla*																								
42				Rhyacophila属 RC	*Rhyacophila* sp. RC				●		●	●	●							●									
-				Rhyacophila属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)																	●							
43			コエグリトビケラ科	Apatania属	*Apatania* sp.									●															
44			カクツツトビケラ科	Lepidostoma属	*Lepidostoma* sp.		●		●						●	●													
45			トビケラ科	ムラサキトビケラ	*Eubasilissa regina*																		●						
46		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota属	*Dicranota* sp.			●	●																				
-				オビヒメガガンボ科	Pediciidae sp.																		●						
47			ヒメガガンボ科	Antocha属	*Antocha* sp.			●	●			●					●												
48			アミカ科	ヤマトコマドアミカ	*Agathon japonicus*							●																	
-				Agathon属	*Agathon* sp.					●																			
49				クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*	●			●														●		●		●	●	
50				ハナレメトミアミカ	*Blepharicera shirakii*												●		●										
-				Blepharicera属	*Blepharicera* sp.									●				●		●	●								
51				ミヤマフタマタアミカ	*Philorus alpinus*																●								
-				Philorus属	*Philorus* sp.													●		●									
52						売却種保護のため非公開																								
53			ユスリカ科	Boreoheptagyia属	*Boreoheptagyia* sp.					●			●					●			●	●			●				●
54				Brillia属	*Brillia* sp.		●																						
55				Corynoneura属	*Corynoneura* sp.		●																						
56				Diamesa属	*Diamesa* sp.	●	●		●	●	●	●	●										●	●					
57				Eukiefferiella属	*Eukiefferiella* sp.	●	●		●	●	●	●	●								●	●			●		●	●	●
58				Micropsectra属	*Micropsectra* sp.	●	●	●	●														●						
59				Orthocladius属	*Orthocladius* sp.	●	●	●	●	●	●	●	●										●		●	●	●		●
60				Pagastia属	*Pagastia* sp.		●	●			●																		
61				Polypedilum属	*Polypedilum* sp.																		●						
62				Pseudodiamesa属	*Pseudodiamesa* sp.		●	●																					
63				Pseudorthocladius属	*Pseudorthocladius* sp.																		●						
64				Rheocricotopus属	*Rheocricotopus* sp.	●			●																				
65				Syndiamesa属	*Syndiamesa* sp.																								
66				Thienemanniella属	*Thienemanniella* sp.	●	●	●	●	●	●	●	●										●		●				
67				Tvetenia属	*Tvetenia* sp.	●	●		●														●						
68			ブユ科	Simulium属	*Simulium* sp.				●	●	●	●						●				●			●	●		
69			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*									●	●	●						●	●		●				
70		コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	カノシマヒゲゲンゴロウ	*Oreodytes kanoi*											●													
71				モンキマメゲンゴロウ	*Platambus pictipennis*																								
72				サワダマメゲンゴロウ	*Platambus sawadai*																								
計	4綱	9目	32科	72種	種数(目)	4目	4目	4目	4目	3目	4目	4目	4目	5目	4目	6目	2目	2目	2目	4目	4目	6目	4目	6目	4目	3目	2目	2	1目
					種数(科)	9科	11科	11科	16科	6科	6科	9科	5科	13科	9科	10科	5科	4科	4科	6科	7科	15科	10科	11科	12科	4科	4科	4科	1科
					種数(種)	19種	25種	18種	27種	11種	10種	13種	10種	18種	12種	10種	7種	5種	5種	9種	10種	20種	14種	15種	17種	5種	5種	4種	3種

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 549　調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河02 西俣（放流箇所下流）							
						冬季							
									小滝				
						早瀬	平瀬	淵	剥離流上流側	剥離流裏側	流水中岩盤	水衝部	滴れ部
1	ハリガネムシ綱	ハリガネムシ目	-	ハリガネムシ目	Gordioida sp.								
2	有棒状体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	サミウズムシ	*Dugesia japonica*								
3			ヒラタウズムシ科	ミヤマウズムシ	*Phagocata vivida*								
4	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais属	*Nais* sp.								
5		厚環帯目	フトミミズ科	フトミミズ科	Megascolecidae sp.								
6	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	モンカゲロウ科	ワタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*								
7			マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*	●	●						
8				オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	●	●		●				
9				ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*								
10				ワタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*								
11			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属	*Ameletus* sp.	●	●	●	●				
12			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*					●	●	●	●
13				サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*								
14				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	●			●	●			
15			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	●	●	●	●				
16				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*								
17				イワヒラタカゲロウ	*Epeorus cumulus*								
18				ウエノヒラタカゲロウ	*Epeorus curvatulus*								
19				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*				●				
20				ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*	●							
-				Epeorus属	*Epeorus* sp.								
21				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.	●							
22		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	●	●	●					
23			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.		●						
24			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	●	●						
25				Nemoura属	*Nemoura* sp.	●							
26				Protonemura属	*Protonemura* sp.	●	●		●	●		●	●
27			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	●		●	●	●	●	●	●
28			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	●	●	●	●				
29			カワゲラ科	Calineuria属	*Calineuria* sp.	●	●	●					
30			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	●	●		●				
31				Skwala属	*Skwala* sp.	●							
32				ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*		●	●					
33				Tadamus属	*Tadamus* sp.								
-				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.								
34		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*								
35				ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	●	●		●				
36			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*	●	●		●				
37			ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.								
38					希少種保護のため非公開								
39			ナガレトビケラ科	クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila clemens*								
40				レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	●	●		●				
41				トランスクィラナガレトビケラ	*Rhyacophila transquilla*			●					
42				Rhyacophila属 RC	*Rhyacophila* sp. RC								
-				Rhyacophila属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)								
43			コエグリトビケラ科	Apatania属	*Apatania* sp.		●	●					
44			カクツツトビケラ科	Lepidostoma属	*Lepidostoma* sp.								
45			トビケラ科	ムラサキトビケラ	*Eubasilissa regina*			●					
46		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota属	*Dicranota* sp.								
-				オビヒメガガンボ科	Pediciidae sp.								
47			ヒメガガンボ科	Antocha属	*Antocha* sp.								
48			アミカ科	ヤマトコマドアミカ	*Agathon japonicus*								
-				Agathon属	*Agathon* sp.								
49				クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*	●	●		●			●	
50				ハナレメナミアミカ	*Blepharicera shirakii*								
-				Blepharicera属	*Blepharicera* sp.								
51				ミヤマフタマタアミカ	*Philorus alpinus*								
-				Philorus属	*Philorus* sp.								
52					希少種保護のため非公開								
53			ユスリカ科	Boreoheptagyia属	*Boreoheptagyia* sp.								●
54				Brillia属	*Brillia* sp.	●	●						
55				Corynoneura属	*Corynoneura* sp.								
56				Diamesa属	*Diamesa* sp.					●	●		●
57				Eukiefferiella属	*Eukiefferiella* sp.						●	●	●
58				Micropsectra属	*Micropsectra* sp.	●	●	●					
59				Orthocladius属	*Orthocladius* sp.					●	●		●
60				Pagastia属	*Pagastia* sp.								
61				Polypedilum属	*Polypedilum* sp.								
62				Pseudodiamesa属	*Pseudodiamesa* sp.								
63				Pseudorthocladius属	*Pseudorthocladius* sp.								
64				Rheocricotopus属	*Rheocricotopus* sp.								
65				Syndiamesa属	*Syndiamesa* sp.			●					●
66				Thienemanniella属	*Thienemanniella* sp.								●
67				Tvetenia属	*Tvetenia* sp.								
68			ブユ科	Simulium属	*Simulium* sp.					●	●		
69			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	●		●					
70		コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	カノシマヒゲゲンゴロウ	*Oreodytes kanoi*								
71				モンキマメゲンゴロウ	*Platambus pictipennis*			●					
72				サワダマメゲンゴロウ	*Platambus sawadai*								
計	4綱	9目	32科	72種	種数(目)	4目	4目	5目	4目	3目	3目	3目	3目
					種数(科)	16科	15科	13科	12科	5科	4科	5科	4科
					種数(種)	24種	19種	14種	13種	7種	6種	5種	9種

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 550　調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2025 年度早春季・夏季・秋季・冬季 1/2）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域																	
						河 08-2 千石（放流箇所下流）																	
						早春季								夏季			秋季			冬季			
						早瀬	平瀬	淵	小滝					早瀬	平瀬	淵	早瀬	平瀬	淵	早瀬	平瀬	淵	
									剥離流上流側	剥離流裏側	流水中岩盤	水衝部	滴れ部										
1	有棒状体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	*Dugesia japonica*			●															●
2	ミミズ綱	ヒメミミズ目	ヒメミミズ科	ヒメミミズ科	Enchytraeidae sp.											●							
3		厚環帯目	ツリミミズ科	ツリミミズ科	Lumbricidae sp.											●			●				●
4	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*														●				
5			マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*			●												●	●	●	
–				Cincticostella属	*Cincticostella* sp.												●						
6				オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*															●	●		
7				ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*									●	●	●							
8			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属	*Ameletus* sp.	●	●	●							●	●			●	●	●	●	●
9			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	●			●	●	●	●	●	●	●		●						
10				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●
11				Fコカゲロウ	*Baetis* sp. F													●					
12			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	●	●	●	●											●	●	●	●
13				ミドリタニガワカゲロウ	*Ecdyonurus viridis*											●							
–				Ecdyonurus属	*Ecdyonurus* sp.										●	●							
14				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	●			●		●			●	●	●							
15				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*										●		●		●				
–				Epeorus属	*Epeorus* sp.		●					●									●	●	
16				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.	●			●					●	●		●	●		●	●		
17		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	●		●	●								●			●	●	●	●
18			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.																●	●	●
19			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	●	●	●	●												●	●	●
20				Nemoura属	*Nemoura* sp.											●							
21				Protonemura属	*Protonemura* sp.	●	●	●	●	●	●	●	●		●						●	●	●
22			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	●	●	●	●	●	●	●	●								●	●	
23			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	●	●	●	●					●	●	●	●		●	●	●		
24			カワゲラ科	Calineuria属	*Calineuria* sp.		●							●			●		●	●			●
25			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	●	●		●								●			●			
26				ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*			●									●		●	●			●
27				ニッコウアミメカワゲラ	*Sopkalia yamadae*												●		●				
28				Tadamus属	*Tadamus* sp.	●	●	●															
–				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.													●	●		●		
29		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*		●													●	●		
30				ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*		●										●	●		●	●	●	●
–				Hydropsyche属	*Hydropsyche* sp.	●			●														
31			カワトビケラ科	Dolophilodes属	*Dolophilodes* sp.																		●
32			イワトビケラ科	Plectrocnemia属	*Plectrocnemia* sp.				●														
33			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*	●	●		●					●	●		●	●	●	●	●	●
34			ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.										●	●	●			●	●		

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 551　調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2025 年度早春季・夏季・秋季・冬季 2/2）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域												調査地域					
						河 08-2 千石（放流箇所下流）												河 08-2 千石（放流箇所下流）					
						早春季								夏季				秋季			冬季		
									小滝														
						早瀬	平瀬	淵	剥離流上流側	剥離流裏側	流水中岩盤	水衝部	滴れ部	早瀬	平瀬	淵		早瀬	平瀬	淵	早瀬	平瀬	淵
35	昆虫綱	トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila clemens*																	●	
36				タシタナガレトビケラ	*Rhyacophila impar*																		●
37				レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	●	●		●			●						●	●		●	●	
38				Rhyacophila属 RC	*Rhyacophila* sp. RC				●	●	●	●	●								●		
–				Rhyacophila属（Acropedes group）	*Rhyacophila* sp.（Acropedes group）									●	●			●					
39			ヨエグリトビケラ科	Apatania属	*Apatania* sp.																	●	●
40			カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ	*Eobrachycentrus vernalis*											●							
41			カクツツトビケラ科	Lepidostoma属	*Lepidostoma* sp.			●															
42			エグリトビケラ科	Pseudostenophylax属	*Pseudostenophylax* sp.											●				●			●
43		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota属	*Dicranota* sp.	●		●	●							●				●		●	
44			ヒメガガンボ科	Antocha属	*Antocha* sp.		●						●									●	●
45				Hexatoma属	*Hexatoma* sp.										●	●			●	●	●		
46			ガガンボ科	Tipula属	*Tipula* sp.											●					●		●
47			アミカ科	ヤマトコマドアミカ	*Agathon japonicus*						●	●											
48				クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*	●			●												●	●	●
–				Bibiocephala属	*Bibiocephala* sp.													●	●	●			
49				ハナレメナミアミカ	*Blepharicera shirakii*									●									
50			ユスリカ科	Boreoheptagyia属	*Boreoheptagyia* sp.					●	●	●	●										
51				Brillia属	*Brillia* sp.	●		●	●				●									●	●
52				Cardiocladius属	*Cardiocladius* sp.								●					●					
53				Conchapelopia属	*Conchapelopia* sp.											●							
54				Cricotopus属	*Cricotopus* sp.														●				
55				Diamesa属	*Diamesa* sp.	●	●	●	●	●	●	●	●								●	●	
56				Eukiefferiella属	*Eukiefferiella* sp.	●		●	●	●	●	●	●					●	●				
57				Macropelopia属	*Macropelopia* sp.											●							
58				Micropsectra属	*Micropsectra* sp.	●	●	●	●										●				●
59				Orthocladius属	*Orthocladius* sp.	●	●		●	●	●	●	●					●	●	●		●	●
60				Pagastia属	*Pagastia* sp.		●	●	●		●	●	●									●	●
61				Paracladopelma属	*Paracladopelma* sp.															●			
62				Parametriocnemus属	*Parametriocnemus* sp.															●			
63				Polypedilum属	*Polypedilum* sp.										●	●				●			
64				Pseudodiamesa属	*Pseudodiamesa* sp.			●								●							
65				Pseudorthocladius属	*Pseudorthocladius* sp.													●		●			
66				Rheocricotopus属	*Rheocricotopus* sp.			●		●													
67				Stictochironomus属	*Stictochironomus* sp.											●				●			
68				Tanytarsus属	*Tanytarsus* sp.											●							
69				Thienemanniella属	*Thienemanniella* sp.	●	●		●				●										
70				Tvetenia属	*Tvetenia* sp.	●	●		●			●	●					●	●	●			
–				ユスリカ亜科	Chironominae sp.											●				●			
–				エリユスリカ亜科	Orthocladiinae sp.															●			
71			ブユ科	Prosimulium属	*Prosimulium* sp.								●										
72				Simulium属	*Simulium* sp.	●				●	●	●				●		●					
73			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*				●						●	●			●	●	●		●
74			オドリバエ科	オドリバエ科	Empididae sp.																	●	●
75		コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	カノシマチビゲンゴロウ	*Oreodytes kanoi*											●				●			
76				モンキマメゲンゴロウ	*Platambus pictipennis*											●				●			
計	3綱	8目	34科	76種	種数（目）	4目	4目	5目	4目	4目	4目	4目	4目	4目	4目	7目		4目	4目	6目	4目	4目	6目
					種数（科）	15科	13科	13科	15科	6科	8科	8科	7科	8科	12科	17科		14科	10科	16科	19科	20科	23科
					種数（種）	26種	22種	21種	27種	11種	13種	15種	16種	10種	16種	24種		22種	15種	24種	24種	29種	28種

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 552　調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度早春季・夏季・秋季・冬季 1/2）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域										
						河 10-3 椹島（放流箇所下流②）										
						早春季			夏季			秋季			冬季	
						早瀬	平瀬	淵	早瀬	平瀬	淵	早瀬	平瀬	淵	早瀬	淵
1	ハリガネムシ綱	ハリガネムシ目	ハリガネムシ科	ハリガネムシ科	Gordiidae sp.									●		
2	有棒状体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	*Dugesia japonica*			●			●					
3			ヒラタウズムシ科	ミヤマウズムシ	*Phagocata vivida*	●										
4	ミミズ綱	厚環帯目	ツリミミズ科	ツリミミズ科	Lumbricidae sp.			●			●					
5	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	*Ephemera japonica*						●					
6			マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*	●		●							●	
7				オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*		●								●	●
8				フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*				●							
9			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属	*Ameletus* sp.		●	●					●	●	●	●
10			コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	●	●	●								
11				フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	●	●		●	●	●	●			●	
12				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	●	●	●	●	●	●	●	●		●	
13				Fコカゲロウ	*Baetis* sp. F									●		
14			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	●	●	●							●	●
15				ミドリタニガワカゲロウ	*Ecdyonurus viridis*				●							
16				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	●			●	●						
17				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*					●		●				
18				ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*			●								
–				Epeorus属	*Epeorus* sp.		●				●					
19				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
20		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	●	●	●						●	●	●
21			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	●	●	●								●
22				Nemoura属	*Nemoura* sp.			●								
23				Protonemura属	*Protonemura* sp.	●	●	●							●	
24			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	●	●	●								●
25			ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ	*Yoraperla uenoi*			●								
26			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
27			カワゲラ科	Xanthoneuria属	*Xanthoneuria* sp.										●	
–				カワゲラ科	Perlidae sp.						●					
28			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*				●			●			●	
29				ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*			●						●		●
30				Tadamus属	*Tadamus* sp.	●	●	●								
–				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.							●	●			
31		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*	●			●		●	●	●			
32				ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	●	●	●							●	
–				Hydropsyche属	*Hydropsyche* sp.							●	●			
33				Parapsyche属	*Parapsyche* sp.			●			●					
34			カワトビケラ科	Dolophilodes属	*Dolophilodes* sp.			●			●					
35			イワトビケラ科	Plectrocnemia属	*Plectrocnemia* sp.					●						
36			クダトビケラ科	Psychomyia属	*Psychomyia* sp.									●		
37			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*				●			●			●	
38			ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.	●	●						●			
39			カワリナガレトビケラ科	ツメナガナガレトビケラ	*Apsilochorema sutshanum*		●	●								
40			ナガレトビケラ科	カワムラナガレトビケラ	*Rhyacophila kawamurae*		●									
41				キソナガレトビケラ	*Rhyacophila kisoensis*			●								
42				レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*							●			●	
43				シコツナガレトビケラ	*Rhyacophila shikotsuensis*				●							
44				トワダナガレトビケラ	*Rhyacophila towadensis*			●								
45				Rhyacophila属 RC	*Rhyacophila* sp. RC	●		●								
–				Rhyacophila属（Acropedes group）	*Rhyacophila* sp.（Acropedes group）									●		
–				Rhyacophila属（Nigrocephala group）	*Rhyacophila* sp.（Nigrocephala group）	●										
46			コエグリトビケラ科	Apatania属	*Apatania* sp.										●	
47			カクツツトビケラ科	Lepidostoma属	*Lepidostoma* sp.			●	●							

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 553　調査地域、調査時期別の底生動物（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度早春季・夏季・秋季・冬季 2/2）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域										
						河 10-3 椹島（放流箇所下流②）										
						早春季			夏季			秋季			冬季	
						早瀬	平瀬	淵	早瀬	平瀬	淵	早瀬	平瀬	淵	早瀬	淵
48	昆虫綱	ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota属	*Dicranota* sp.	●	●	●						●		
49			ヒメガガンボ科	Antocha属	*Antocha* sp.	●	●			●						
50				Hexatoma属	*Hexatoma* sp.									●		
51			アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*	●									●	
–				Bibiocephala属	*Bibiocephala* sp.							●	●			
52				ヒメナミアミカ	*Blepharicera japonica*				●							
53				ハナレメナミアミカ	*Blepharicera shirakii*				●							
54				ミヤマフタマタアミカ	*Philorus alpinus*				●							
55				ユミアシヒメフタマタアミカ	*Philorus vividis*				●							
56			ユスリカ科	Brillia属	*Brillia* sp.	●		●				●				
57				Cardiocladius属	*Cardiocladius* sp.								●			
58				Diamesa属	*Diamesa* sp.	●	●									
59				Eukiefferiella属	*Eukiefferiella* sp.	●	●	●					●			
60				Micropsectra属	*Micropsectra* sp.	●	●	●							●	
61				Orthocladius属	*Orthocladius* sp.	●	●					●	●	●		●
62				Pagastia属	*Pagastia* sp.		●									
63				Parametriocnemus属	*Parametriocnemus* sp.		●	●						●		
64				Polypedilum属	*Polypedilum* sp.									●		
65				Potthastia属	*Potthastia* sp.									●		
66				Pseudorthocladius属	*Pseudorthocladius* sp.			●								
67				Rheocricotopus属	*Rheocricotopus* sp.		●	●								
68				Thienemanniella属	*Thienemanniella* sp.		●									
69				Tvetenia属	*Tvetenia* sp.	●	●	●								
–				エリユスリカ亜科	Orthocladiinae sp.							●				
70			ブユ科	Eusimulium属	*Eusimulium* sp.						●					
71				Prosimulium属	*Prosimulium* sp.	●										
72				Simulium属	*Simulium* sp.	●					●	●				
73			ユスリカバエ科	ユスリカバエ科	Thaumaleidae sp.						●					
74			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*									●		
75		コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	カノシマチビゲンゴロウ	*Oreodytes kanoi*									●		●
76				モンキマメゲンゴロウ	*Platambus pictipennis*									●		
–				Platambus属	*Platambus* sp.									●		
計	4綱	8目	34科	76種	種数(目)	5目	4目	6目	4目	4目	6目	4目	4目	6目	4目	4目
					種数(科)	17科	16科	19科	10科	5科	11科	9科	9科	14科	15科	10科
					種数(種)	30種	29種	34種	16種	8種	15種	12種	10種	18種	18種	11種

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 554　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度夏季・秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域													
						沢 33 北俣・中俣合流部付近													
						夏季								秋季					
						定量1		定量2		定量3		定量4		定量1		定量2		定量3		定量4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	有棒状体綱	三岐腸目	ヒラタウズムシ科	ミヤマウズムシ	*Phagocata vivida*			1	0.001												
2				カズメウズムシ	*Seidlia auriculata*													1	0.002		
3	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*					1	0.001										
4				フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*					2	0.117	4	0.185								
–				Drunella属	*Drunella* sp.									1	+	5	0.002	7	0.004	2	0.001
5			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	+	5	0.002	5	0.002	1	+	2	0.009						
6				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	6	0.007	5	0.008	2	0.001	2	0.002	1	0.001	1	0.007	12	0.053	2	0.005
7			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	11	0.024	2	0.003					5	+	30	0.002	36	0.009	16	0.001
8				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	1	0.001	7	0.043	2	0.004	3	0.013								
9				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*			1	0.002							1	0.039	1	0.018	2	0.045
10				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.	1	+	1	0.002	2	+	4	0.004	3	+	1	+				
11		カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.													1	0.002	2	0.001
12				Protonemura属	*Protonemura* sp.											1	+			1	+
13			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.											8	0.001	14	0.001	4	+
14			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	4	0.003	5	0.005	1	+	2	0.012	12	0.008	3	0.002	14	0.011	32	0.043
15			カワゲラ科	Calineuria属	*Calineuria* sp.	1	0.001			2	0.001	1	0.184	2	0.061					4	0.185
16			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	2	0.007	2	0.017	1	0.008	2	0.014	2	0.016			1	0.011		
17		トビケラ目（毛翅目）	ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*											1	0.005				
18			ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.	1	+					1	+								
19			ナガレトビケラ科	クレメンスナガレトビケラ	*Rhyacophila clemens*	1	0.005					1	0.003								
20				Rhyacophila属 RC	*Rhyacophila* sp. RC													1	+		
21				Rhyacophila属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)									1	+						
22			カクツツトビケラ科	Lepidostoma属	*Lepidostoma* sp.	1	0.021														
23			エグリトビケラ科	Pseudostenophylax属	*Pseudostenophylax* sp.															1	0.093
24		ハエ目（双翅目）	アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*									1	0.009						
25			ユスリカ科	Micropsectra属	*Micropsectra* sp.													4	+		
26				Polypedilum属	*Polypedilum* sp.	1	+														
27				Tvetenia属	*Tvetenia* sp.															2	+
28			ブユ科	Simulium属	*Simulium* sp.	2	+														
29			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*			1	0.021							1	0.005				
–				ナガレアブ科	Athericidae sp.	1	+														
計	2綱	5目	18科	29種	種数	14		10		9		10		10		10		11		11	
						5目13科18種								5目15科21種							
					個体数(/25cm×25cm×1回)	34		30		18		21		30		52		92		68	
					湿重量(g/25cm×25cm×1回)	0.069		0.104		0.134		0.417		0.104		0.063		0.111		0.374	

注 1. 分類は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和 7 年度版生物リスト」（令和 7 年、国土交通省）に準拠した。
注 2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注 3. 湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注 4. 夏季は降雨による増水のため、調査が実施できなかった。

表 555　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度夏季・秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域															
						河 02 西俣（放流箇所下流）															
						夏季								秋季							
						定量1		定量2		定量3		定量4		定量1		定量2		定量3		定量4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	有棒状体綱	三岐腸目	ヒラタウズムシ科	ミヤマウズムシ	*Phagocata vivida*							1	0.001	1	0.001						
2	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*							1	0.029								
–				Drunella属	*Drunella* sp.													1	0.005		
3			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属	*Ameletus* sp.													1	+		
4			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	2	+	1	+	20	0.014	16	0.021							3	+
5				サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*									2	0.005	1	0.001				
6				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*			4	+	5	0.006	4	0.003	1	0.013					6	0.044
7			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	1	+	2	+											1	+
8				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*					3	0.012	4	0.008								
–				Epeorus属	*Epeorus* sp.					1	+										
9				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.	8	0.005	7	0.011	8	0.009	1	0.002	25	0.022	30	0.028	28	0.027	21	0.023
10		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.													1	+	3	0.004
11			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.													1	+	2	+
12			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.																
13				Protonemura属	*Protonemura* sp.							5	0.003			1	+			3	0.003
14			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.													1	+		
15			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	4	0.002	24	0.035	5	0.008	10	0.012	1	0.002	5	0.007	4	0.006	7	0.015
16			カワゲラ科	Calineuria属	*Calineuria* sp.			1	0.366	1	0.271									1	0.014
17			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*							1	0.009			1	0.036	1	0.048		
18				ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*																
–				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.									2	0.003	6	0.008	5	0.007	14	0.025
19		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*											1	0.002	1	0.006		
20				ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*													1	0.007		
–				Hydropsyche属	*Hydropsyche* sp.									5	0.007						
21			ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.			2	+	5	+	1	+								
22			ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*			1	0.004											3	0.026
23				Rhyacophila属 RC	*Rhyacophila* sp. RC																
–				Rhyacophila属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)											1	0.002	1	0.002		
24			カクツツトビケラ科	Lepidostoma属	*Lepidostoma* sp.							1	0.006								
25		ハエ目（双翅目）	ヒメガガンボ科	Antocha属	*Antocha* sp.																
26			アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*															16	0.247
27				Blepharicera属	*Blepharicera* sp.							1	+								
28			ユスリカ科	Diamesa属	*Diamesa* sp.											2	+	1	+		
29				Eukiefferiella属	*Eukiefferiella* sp.									2	+	1	+	6	+	1	+
30				Micropsectra属	*Micropsectra* sp.																
31				Orthocladius属	*Orthocladius* sp.									7	0.005	6	0.006	14	0.015	2	+
32				Pagastia属	*Pagastia* sp.																
33				Syndiamesa属	*Syndiamesa* sp.																
34				Tvetenia属	*Tvetenia* sp.							1	+								
35			ブユ科	Simulium属	*Simulium* sp.																
36			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*					1	0.005									1	0.005
–				ナガレアブ科	Athericidae sp.									1	0.003						
計	2綱	5目	21科	36種	種数	4		8		8		13		10		10		14		15	
						5目14科17種								5目17科23種							
					個体数(/25cm×25cm×1回)	15		42		49		47		47		55		67		84	
					湿重量(g/25cm×25cm×1回)	0.007		0.416		0.325		0.094		0.061		0.09		0.123		0.406	

注 1. 分類は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和 7 年度版生物リスト」（令和 7 年、国土交通省）に準拠した。
注 2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注 3. 湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注 4. 夏季は降雨による増水のため、調査が実施できなかった。

表 556　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 02 西俣（放流箇所下流）							
						冬季							
						定量1		定量2		定量3		定量4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	有棒状体綱	三岐腸目	ヒラタウズムシ科	ミヤマウズムシ	*Phagocata vivida*								
2	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*								
–				Drunella属	*Drunella* sp.								
3			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属	*Ameletus* sp.	5	0.103	1	0.014	1	0.004		
4			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	+	1	+	7	0.002	1	+
5				サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*								
6				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	+	4	0.003	10	0.01	2	0.004
7			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	10	0.016	17	0.023	32	0.026	19	0.032
8				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*								
–				Epeorus属	*Epeorus* sp.								
9				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.	1	0.002	9	0.012	16	0.038	9	0.006
10		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	1	+						
11			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.			1	+				
12			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	10	0.001	7	0.002	10	0.001	5	0.001
13				Protonemura属	*Protonemura* sp.	25	0.013	33	0.023	10	0.007	4	0.002
14			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	6	0.007	15	0.011	48	0.027	6	0.004
15			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	4	0.003			1	+		
16			カワゲラ科	Calineuria属	*Calineuria* sp.								
17			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*	1	0.095						
18				ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*			1	0.057				
–				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.	8	0.077	4	0.033	4	0.039	12	0.081
19		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*								
20				ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	4	0.014	3	0.007	10	0.022	3	0.006
–				Hydropsyche属	*Hydropsyche* sp.								
21			ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.								
22			ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	1	0.007	1	0.029				
23				Rhyacophila属 RC	*Rhyacophila* sp. RC			1	+	3	0.008	1	+
–				Rhyacophila属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)								
24			カクツツトビケラ科	Lepidostoma属	*Lepidostoma* sp.								
25		ハエ目（双翅目）	ヒメガガンボ科	Antocha属	*Antocha* sp.			1	+				
26			アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*			5	0.376	1	0.048	2	0.129
27				Blepharicera属	*Blepharicera* sp.					1	+		
28			ユスリカ科	Diamesa属	*Diamesa* sp.								
29				Eukiefferiella属	*Eukiefferiella* sp.								
30				Micropsectra属	*Micropsectra* sp.	46	0.003	6	+			8	+
31				Orthocladius属	*Orthocladius* sp.	3	+	2	+	5	+	2	+
32				Pagastia属	*Pagastia* sp.	2	+	1	+	2	+	3	0.002
33				Syndiamesa属	*Syndiamesa* sp.			1	+				
34				Tvetenia属	*Tvetenia* sp.								
35			ブユ科	Simulium属	*Simulium* sp.	1	+	1	+				
36			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*								
–				ナガレアブ科	Athericidae sp.								
計	2綱	5目	21科	36種	種数	17		20		16		14	
						4目15科24種							
					個体数(/25cm×25cm×1回)	130		115		161		77	
					湿重量(g/25cm×25cm×1回)	0.341		0.59		0.232		0.267	

注 1. 分類は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和 7 年度版生物リスト」（令和 7 年、国土交通省）に準拠した。
注 2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注 3. 湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注 4. 夏季は降雨による増水のため、調査が実施できなかった。

表 557　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2025 年度夏季・秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域															
						河 08-2 千石（放流箇所下流）															
						夏季								秋季							
						定量1		定量2		定量3		定量4		定量1		定量2		定量3		定量4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*																
–				Cincticostella属	*Cincticostella* sp.											1	0.002				
2				ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*	2	0.023			1	0.014										
3			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	28	0.021	2	0.001	4	0.004	19	0.025	2	0.012					2	0.012
4				サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*					1	+										
5				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	6	0.009	1	0.001	10	0.015	7	0.004	3	0.016	20	0.139	6	0.053	2	0.011
6			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.																
7				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	2	0.014					1	0.005								
8				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*					1	0.002			1	0.026						
9				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.	3	0.008	3	0.005	7	0.019	6	0.011	5	0.009	15	0.059	7	0.02	1	0.001
10		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.									1	+			1	0.001		
11			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.																
12			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.																
13				Protonemura属	*Protonemura* sp.																
14			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.																
15			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	2	0.005	2	0.005	8	0.021	1	0.001	2	0.004	3	0.005	1	0.002	2	0.002
16			カワゲラ科	Calineuria属	*Calineuria* sp.															1	0.139
17			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*													1	0.024		
18				ニッコウアミメカワゲラ	*Sopkalia yamadae*											2	0.127				
–				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.													6	0.003		
19		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*									1	0.002	5	0.007			2	0.008
20				ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*											2	0.008				
–				Hydropsyche属	*Hydropsyche* sp.											5	0.004			1	0.004
21			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*									1	0.33	2	0.161	2	0.176	5	0.872
22			ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.	2	0.006			6	0.009	5	0.005	2	0.021	1	0.007	2	0.009	3	0.016
23			ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*																
24				トワダナガレトビケラ	*Rhyacophila towadensis*	1	0.015														
25				Rhyacophila属 RC	*Rhyacophila* sp. RC																
–				Rhyacophila属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)											2	0.006				
26		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota属	*Dicranota* sp.																
27			ヒメガガンボ科	Hexatoma属	*Hexatoma* sp.													1	0.165		
28			アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*																
–				Bibiocephala属	*Bibiocephala* sp.									4	0.044			1	0.01	5	0.043
29				ハナレメナミアミカ	*Blephariceraa shirakii*	2	0.008														
30			ユスリカ科	Cardiocladius属	*Cardiocladius* sp.															1	0.001
31				Diamesa属	*Diamesa* sp.															1	0.002
32				Eukiefferiella属	*Eukiefferiella* sp.											2	0.002	2	0.002		
33				Orthocladius属	*Orthocladius* sp.					1	+									1	0.002
34				Pagastia属	*Pagastia* sp.																
35				Polypedilum属	*Polypedilum* sp.	1	+														
–				エリユスリカ亜科	Orthocladiinae sp.	2	0.001														
36			ブユ科	Simulium属	*Simulium* sp.																
37			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*					1	0.009										
38			オドリバエ科	オドリバエ科	Empididae sp.																
計	1綱	4目	21科	38種	種数	11		4		10		6		10		11		10		12	
						4目9科14種								4目14科21種							
					個体数(/25cm×25cm×1回)	51		8		40		39		22		60		30		27	
					湿重量(g/25cm×25cm×1回)	0.11		0.012		0.093		0.051		0.464		0.527		0.465		1.113	

注 1. 分類は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和 7 年度版生物リスト」（令和 7 年、国土交通省）に準拠した。
注 2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注 3. 湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注 4. 夏季は降雨による増水のため、調査が実施できなかった。

表 558　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2025 年度冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 08-2 千石（放流箇所下流）							
						冬季							
						定量1		定量2		定量3		定量4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*			2	0.028	1	0.026		
–				Cincticostella属	*Cincticostella* sp.								
2				ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*								
3			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*							2	+
4				サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*								
5				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	5	0.002	7	0.012	5	0.004	6	0.005
6			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	18	0.013	12	0.017	11	0.009	14	0.017
7				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*								
8				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*								
9				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.	3	0.006	3	0.003	23	0.043	16	0.026
10		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	1	+			5	0.017	2	0.001
11			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.							1	+
12			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	5	+	10	0.002	3	+	5	+
13				Protonemura属	*Protonemura* sp.	10	0.004	5	0.002	8	0.004	15	0.008
14			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	7	0.005	10	0.007	4	+	6	0.005
15			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.			2	0.004	4	0.005	10	0.022
16			カワゲラ科	Calineuria属	*Calineuria* sp.								
17			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*								
18				ニッコウアミメカワゲラ	*Sopkalia yamadae*								
–				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.	4	0.025	19	0.125	7	0.037	6	0.036
19		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*			1	0.018				
20				ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	6	0.008	3	0.011	2	0.002	3	0.002
–				Hydropsyche属	*Hydropsyche* sp.								
21			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*	1	0.103						
22			ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.			1	0.005				
23			ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*	1	0.011	1	0.007	2	0.031	1	0.019
24				トワダナガレトビケラ	*Rhyacophila towadensis*								
25				Rhyacophila属 RC	*Rhyacophila* sp. RC							1	0.003
–				Rhyacophila属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)								
26		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota属	*Dicranota* sp.					1	+		
27			ヒメガガンボ科	Hexatoma属	*Hexatoma* sp.								
28			アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*	8	0.491	3	0.141	2	0.135	18	1.026
–				Bibiocephala属	*Bibiocephala* sp.								
29				ハナレメナミアミカ	*Blepharicera shirakii*								
30			ユスリカ科	Cardiocladius属	*Cardiocladius* sp.								
31				Diamesa属	*Diamesa* sp.	3	+						
32				Eukiefferiella属	*Eukiefferiella* sp.	1	+						
33				Orthocladius属	*Orthocladius* sp.	1	+						
34				Pagastia属	*Pagastia* sp.	1	+						
35				Polypedilum属	*Polypedilum* sp.								
–				エリユスリカ亜科	Orthocladiinae sp.								
36			ブユ科	Simulium属	*Simulium* sp.			1	+				
37			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*								
38			オドリバエ科	オドリバエ科	Empididae sp.	1	+						
計	1綱	4目	21科	38種	種数	17		15		14		15	
						4目18科26種							
					個体数(/25cm×25cm×1回)	76		80		78		106	
					湿重量(g/25cm×25cm×1回)	0.668		0.382		0.313		1.17	

注 1. 分類は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和 7 年度版生物リスト」（令和 7 年、国土交通省）に準拠した。
注 2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注 3. 湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注 4. 夏季は降雨による増水のため、調査が実施できなかった。

表 559　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度夏季・秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域													
						河 10-3 椹島（放流箇所下流②）													
						夏季								秋季					
						定量1		定量2		定量3		定量4		定量1		定量2		定量3		定量4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*														
2				ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*	1	0.002			1	0.005	3	0.013								
3			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属	*Ameletus* sp.																
4			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*					1	0.001	1	+								
5				サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*					1	0.001										
6				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	0.002	2	0.001	4	0.003	2	0.004								
7			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.																
8				Ecdyonurus属	*Ecdyonurus* sp.					1	0.002										
9				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*							1	0.002								
10				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*					9	0.018							1	0.033		
–				Epeorus属	*Epeorus* sp.																
11				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.	13	0.042	16	0.098	8	0.02	12	0.059	14	0.1	11	0.037	11	0.022	13	0.031
12		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.																
13			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.									1	+	1	+				
14			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.																
15				Nemoura属	*Nemoura* sp.																
16				Protonemura属	*Protonemura* sp.																
17			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.																
18			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	16	0.041	9	0.022	9	0.024	11	0.029	3	0.003						
19			アミメカワゲラ科	Tadamus属	*Tadamus* sp.									1	0.003						
–				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.											5	0.003	3	0.002	13	0.014
20		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*															1	0.004
21				ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*																
–				Hydropsyche属	*Hydropsyche* sp.													1	0.001	4	0.002
22			イワトビケラ科	Plectrocnemia属	*Plectrocnemia* sp.	1	0.002														
23			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*			1	0.002									2	0.006		
24			ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.							1	0.002	1	0.001	1	0.001	1	+	1	0.001
25			コエグリトビケラ科	Apatania属	*Apatania* sp.																
26		ハエ目（双翅目）	ヒメガガンボ科	Hexatoma属	*Hexatoma* sp.											1	0.006				
27			アミカ科	Bibiocephala属	*Bibiocephala* sp.															1	0.01
28				Blepharicera属	*Blepharicera* sp.							1	0.001								
29			ヌカカ科	ヌカカ科	Ceratopogonidae sp.			1	+												
30			ユスリカ科	Cardiocladius属	*Cardiocladius* sp.													1	0.002		
31				Micropsectra属	*Micropsectra* sp.																
32				Orthocladius属	*Orthocladius* sp.															1	0.001
33				Pagastia属	*Pagastia* sp.																
34				Parametriocnemus属	*Parametriocnemus* sp.																
35				Polypedilum属	*Polypedilum* sp.					1	+										
計	1綱	4目	19科	35種	種数	5		5		9		8		5		5		7		6	
						4目10科15種								4目10科12種							
					個体数(/25cm×25cm×1回)	32		29		35		32		20		19		20		34	
					湿重量(g/25cm×25cm×1回)	0.089		0.123		0.074		0.11		0.107		0.047		0.066		0.063	

注 1. 分類は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和 7 年度版生物リスト」（令和 7 年、国土交通省）に準拠した。
注 2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注 3. 湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注 4. 夏季は降雨による増水のため、調査が実施できなかった。

表 560　調査地域、調査時期別の底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 10-3 椹島（放流箇所下流②）							
						冬季							
						定量1		定量2		定量3		定量4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*							1	0.023
2				ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*								
3			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属	*Ameletus* sp.					1	0.008		
4			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			1	+				
5				サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*								
6				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*							1	0.001
7			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	5	0.007	1	+	1	+	6	0.006
8				Ecdyonurus属	*Ecdyonurus* sp.								
9				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*								
10				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*								
–				Epeorus属	*Epeorus* sp.					1	+		
11				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.	4	0.006	4	0.006	6	0.007	10	0.024
12		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.							2	0.014
13			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.								
14			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.			7	+	1	+		
15				Nemoura属	*Nemoura* sp.	1	+						
16				Protonemura属	*Protonemura* sp.			1	+			5	0.005
17			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.							2	+
18			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	4	0.001	1	0.001	4	0.001	1	0.003
19			アミメカワゲラ科	Tadamus属	*Tadamus* sp.								
–				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.	4	0.056	4	0.039			3	0.026
20		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*								
21				ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	1	0.003	8	0.012				
–				Hydropsyche属	*Hydropsyche* sp.								
22			イワトビケラ科	Plectrocnemia属	*Plectrocnemia* sp.								
23			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*								
24			ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.	1	+	1	0.001				
25			コエグリトビケラ科	Apatania属	*Apatania* sp.	1	+						
26		ハエ目（双翅目）	ヒメガガンボ科	Hexatoma属	*Hexatoma* sp.								
27			アミカ科	Bibiocephala属	*Bibiocephala* sp.								
28				Blepharicera属	*Blepharicera* sp.								
29			ヌカカ科	ヌカカ科	Ceratopogonidae sp.								
30			ユスリカ科	Cardiocladius属	*Cardiocladius* sp.								
31				Micropsectra属	*Micropsectra* sp.	2	+	2	+	6	+		
32				Orthocladius属	*Orthocladius* sp.								
33				Pagastia属	*Pagastia* sp.					1	+		
34				Parametriocnemus属	*Parametriocnemus* sp.					1	+	1	+
35				Polypedilum属	*Polypedilum* sp.								
計	1綱	4目	19科	35種	種数	9		10		9		10	
						4目13科20種							
					個体数(/25cm×25cm×1回)	23		30		22		32	
					湿重量(g/25cm×25cm×1回)	0.073		0.059		0.016		0.102	

注 1. 分類は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和 7 年度版生物リスト」（令和 7 年、国土交通省）に準拠した。
注 2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注 3. 湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注 4. 夏季は降雨による増水のため、調査が実施できなかった。

表 561　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度夏季・秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域															
						沢 33 北俣・中俣合流部付近															
						夏季								秋季							
						定量1		定量2		定量3		定量4		定量1		定量2		定量3		定量4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*									1	0.013						
–				Drunella属	*Drunella* sp.											1	+			2	+
2			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属	*Ameletus* sp.									1	+					2	0.025
3			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	3	0.001			3	+										
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*					1	0.001			10	0.047	2	0.006			2	0.004
5			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.			1	+					9	0.023	11	0.002	1	0.004	36	0.011
6				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*			1	0.004	1	0.003	1	0.002								
–				Epeorus属	*Epeorus* sp.													1	+		
7				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.			2	0.001					3	0.002	1	+	5	0.013		
8		カワゲラ目（セキ翅目）	ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.			1	+					2	+			4	+		
9			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.									1	+						
10				Protonemura属	*Protonemura* sp.									1	+	1	+				
11			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.									6	+	4	+			7	+
12			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	3	0.001	10	0.003	1	+	4	0.001	23	0.024	5	0.001	12	0.003	4	0.003
13			カワゲラ科	Calineuria属	*Calineuria* sp.															1	0.034
–				カワゲラ科	Perlidae sp.							1	0.002								
14			アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.									1	+						
15		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	シマトビケラ科	Hydropsychidae sp.									1	+						
16			ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.	2	+													1	+
17			ナガレトビケラ科	Rhyacophila属（Acropedes group）	*Rhyacophila* sp.（Acropedes group）											1	0.003				
–				ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae sp.									3	+						
18		ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Eukiefferiella属	*Eukiefferiella* sp.											3	+				
19				Micropsectra属	*Micropsectra* sp.	1	+			1	+	3	+							3	+
20				Orthocladius属	*Orthocladius* sp.											1	+				
21				Polypedilum属	*Polypedilum* sp.	1	+														
22				Rheocricotopus属	*Rheocricotopus* sp.															1	+
23				Thienemanniella属	*Thienemanniella* sp.															2	+
24				Tvetenia属	*Tvetenia* sp.					1	+										
25			ブユ科	Simulium属	*Simulium* sp.	1	+														
26			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*									3	0.019					1	0.008
計	1綱	4目	16科	26種	種数	6		5		6		4		14		10		5		12	
						4目8科13種								4目15科22種							
					個体数(/25cm×25cm×1回)	11		15		8		9		65		30		23		62	
					湿重量(g/25cm×25cm×1回)	0.002		0.008		0.004		0.005		0.128		0.012		0.02		0.085	

注 1. 分類は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和 7 年度版生物リスト」（令和 7 年、国土交通省）に準拠した。
注 2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注 3. 湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注 4. 夏季は降雨による増水のため、調査が実施できなかった。

表 562　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度夏季・秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域													
						河 02 西俣（放流箇所下流）													
						夏季								秋季					
						定量1		定量2		定量3		定量4		定量1		定量2		定量3		定量4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*																
2				フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*			1	0.056												
3			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属	*Ameletus* sp.					2	0.005	2	0.005							6	0.002
4			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*					1	+					2	+	1	+		
5				サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*					2	+	11	0.006	5	0.014						
6				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*			1	0.001												
7			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.									3	+			1	+	1	+
8				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*			1	0.005												
9				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.			15	0.008	5	0.003	1	+	6	0.002	9	0.008	6	0.004		
10		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.																
11			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.											2	+			1	+
12			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.																
13				Nemoura属	*Nemoura* sp.																
14				Protonemura属	*Protonemura* sp.									1	+						
15			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.																
16			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	14	0.008	5	0.004	3	0.004	7	0.011	6	0.005	4	0.001			10	0.017
17			カワゲラ科	Calineuria属	*Calineuria* sp.			1	0.024												
18			アミメカワゲラ科	ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*									1	0.005						
–				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.																
19		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*																
20			ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.			4	+			1	+								
21			ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*																
–				Rhyacophila属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)													1	0.003		
22			コエグリトビケラ科	Apatania属	*Apatania* sp.																
23			クロツツトビケラ科	Neophylax属	*Neophylax* sp.									2	+						
24		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota属	*Dicranota* sp.																
25			ヒメガガンボ科	Antocha属	*Antocha* sp.	1	+														
26				Hexatoma属	*Hexatoma* sp.									1	0.099						
27			アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*																
28			ユスリカ科	Diamesa属	*Diamesa* sp.											1	+			1	0.004
29				Micropsectra属	*Micropsectra* sp.															2	+
30				Orthocladius属	*Orthocladius* sp.									2	+					2	+
31				Pagastia属	*Pagastia* sp.																
32				Polypedilum属	*Polypedilum* sp.			1	+											1	+
33				Pseudorthocladius属	*Pseudorthocladius* sp.																
34				Syndiamesa属	*Syndiamesa* sp.																
35				Tvetenia属	*Tvetenia* sp.									1	+						
36			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*			2	0.012			2	0.019	2	0.02			1	0.011		
37			オドリバエ科	オドリバエ科	Empididae sp.																
計	1綱	4目	22科	37種	種数	2		9		5		6		11		5		5		8	
						4目10科13種								4目12科18種							
					個体数(/25cm×25cm×1回)	15		31		13		24		30		18		10		24	
					湿重量(g/25cm×25cm×1回)	0.008		0.11		0.012		0.041		0.145		0.009		0.018		0.023	

注 1. 分類は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和 7 年度版生物リスト」（令和 7 年、国土交通省）に準拠した。
注 2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注 3. 湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注 4. 夏季は降雨による増水のため、調査が実施できなかった。

表 563　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 02 西俣（放流箇所下流）							
						冬季							
						定量1		定量2		定量3		定量4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*							1	0.016
2				フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*								
3			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属	*Ameletus* sp.	9	0.019	4	0.005	1	0.004	3	0.005
4			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			1	+	2	+		
5				サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*								
6				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*					2	+		
7			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	6	0.01	4	0.002	7	0.012	5	0.004
8				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*								
9				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.					13	0.017	3	+
10		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.					1	+	2	+
11			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.					1	+		
12			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.					7	0.002	6	+
13				Nemoura属	*Nemoura* sp.					1	+		
14				Protonemura属	*Protonemura* sp.					1	+		
15			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.					8	0.005	3	0.001
16			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	7	0.023	27	0.041	6	+	3	0.001
17			カワゲラ科	Calineuria属	*Calineuria* sp.								
18			アミメカワゲラ科	ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*								
–				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.	1	0.007	1	0.014	7	0.044		
19		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*							1	0.012
20			ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.								
21			ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*							1	0.007
–				Rhyacophila属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)								
22			コエグリトビケラ科	Apatania属	*Apatania* sp.	4	0.002			5	0.006	3	+
23			クロツツトビケラ科	Neophylax属	*Neophylax* sp.								
24		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota属	*Dicranota* sp.			1	+				
25			ヒメガガンボ科	Antocha属	*Antocha* sp.					1	+		
26				Hexatoma属	*Hexatoma* sp.								
27			アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*					1	0.078		
28			ユスリカ科	Diamesa属	*Diamesa* sp.					2	+		
29				Micropsectra属	*Micropsectra* sp.	152	0.009	42	0.003	17	+	272	0.024
30				Orthocladius属	*Orthocladius* sp.			1	+	6	+		
31				Pagastia属	*Pagastia* sp.					3	+	2	+
32				Polypedilum属	*Polypedilum* sp.								
33				Pseudorthocladius属	*Pseudorthocladius* sp.							1	+
34				Syndiamesa属	*Syndiamesa* sp.			3	+			1	+
35				Tvetenia属	*Tvetenia* sp.								
36			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	2	0.019	1	0.021	2	0.034		
37			オドリバエ科	オドリバエ科	Empididae sp.	2	+					1	+
計	1綱	4目	22科	37種	種数	8		10		21		16	
						4目19科28種							
					個体数(/25cm×25cm×1回)	183		85		94		308	
					湿重量(g/25cm×25cm×1回)	0.089		0.086		0.202		0.07	

注 1. 分類は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和 7 年度版生物リスト」（令和 7 年、国土交通省）に準拠した。
注 2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注 3. 湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注 4. 夏季は降雨による増水のため、調査が実施できなかった。

表 564　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2025 年度夏季・秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域													
						河 08-2 千石（放流箇所下流）													
						夏季								秋季					
						定量1		定量2		定量3		定量4		定量1		定量2		定量3		定量4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	Cincticostella属	*Cincticostella* sp.									1	0.002						
2				ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*			1	0.011												
3			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属	*Ameletus* sp.									4	0.047						
4			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	+	3	0.003			1	0.002					1	0.002		
5				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*			2	0.001	1	0.002									5	0.037
6			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.																
7				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*											1	0.032				
8				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.			3	0.012					1	+	13	0.015	4	0.004	23	0.022
9		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.									3	0.003						
10			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.															1	+
11			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.																
12			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.																
13			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	1	0.001	11	0.018	3	0.007			13	0.031	1	0.004	6	0.01		
14			カワゲラ科	Calineuria属	*Calineuria* sp.									1	0.161	1	0.061				
15			アミメカワゲラ科	ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*																
–				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.															5	0.004
16		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.													1	0.027		
17				シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*															2	0.004
18				ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*									1	0.002						
–				Hydropsyche属	*Hydropsyche* sp.													1	0.001	4	0.007
19			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*											1	0.006				
20			ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.					2	0.006										
21			ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*																
22				Rhyacophila属 RC	*Rhyacophila* sp. RC																
23				Rhyacophila属 (Sibirica group)	*Rhyacophila* sp. (Sibirica group)															1	0.006
24			コエグリトビケラ科	Apatania属	*Apatania* sp.																
25			カクツツトビケラ科	Lepidostoma属	*Lepidostoma* sp.									1	0.001						
26		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota属	*Dicranota* sp.																
–				オビヒメガガンボ科	Pediciidae sp.									1	0.001						
27			ヒメガガンボ科	Hexatoma属	*Hexatoma* sp.									1	0.023			1	0.238	1	0.023
28			アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*																
29			ユスリカ科	Diamesa属	*Diamesa* sp.											1	0.002				
30				Eukiefferiella属	*Eukiefferiella* sp.					1	+										
31				Micropsectra属	*Micropsectra* sp.																
32				Orthocladius属	*Orthocladius* sp.									11	0.014						
33				Polypedilum属	*Polypedilum* sp.									1	+						
34				Pseudorthocladius属	*Pseudorthocladius* sp.																
35				Syndiamesa属	*Syndiamesa* sp.					1	0.007										
36				Tvetenia属	*Tvetenia* sp.									1	+						
計	1綱	4目	21科	36種	種数	2		5		5		1		13		6		6		7	
						4目6科8種								4目16科23種							
					個体数(/25cm×25cm×1回)	2		20		8		1		40		18		14		42	
					湿重量(g/25cm×25cm×1回)	0.001		0.045		0.022		0.002		0.285		0.12		0.282		0.103	

注 1. 分類は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和 7 年度版生物リスト」（令和 7 年、国土交通省）に準拠した。
注 2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注 3. 湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注 4. 夏季は降雨による増水のため、調査が実施できなかった。

表 565　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2025 年度冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 08-2 千石（放流箇所下流）							
						冬季							
						定量1		定量2		定量3		定量4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	Cincticostella属	*Cincticostella* sp.								
2				ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*								
3			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属	*Ameletus* sp.	3	0.012	1	0.004				
4			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*								
5				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*							3	0.003
6			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	9	0.007			1	+	13	0.009
7				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*								
8				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.	1	+			4	0.006	13	0.016
9		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.							2	0.012
10			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.								
11			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.			1	+			7	0.001
12			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.							2	0.003
13			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	3	0.003			4	+	6	0.019
14			カワゲラ科	Calineuria属	*Calineuria* sp.								
15			アミメカワゲラ科	ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*							1	0.047
－				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.					1	0.002		
16		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	Arctopsyche属	*Arctopsyche* sp.								
17				シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*								
18				ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*							1	0.001
－				Hydropsyche属	*Hydropsyche* sp.								
19			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*								
20			ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.							2	0.006
21			ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*							1	0.017
22				Rhyacophila属 RC	*Rhyacophila* sp. RC					1	0.001		
23				Rhyacophila属 (Sibirica group)	*Rhyacophila* sp. (Sibirica group)								
24			コエグリトビケラ科	Apatania属	*Apatania* sp.	1	+	1	+	1	0.001		
25			カクツツトビケラ科	Lepidostoma属	*Lepidostoma* sp.								
26		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota属	*Dicranota* sp.	3	0.002	7	0.01				
－				オビヒメガガンボ科	Pediciidae sp.								
27			ヒメガガンボ科	Hexatoma属	*Hexatoma* sp.								
28			アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*					1	0.047	1	0.058
29			ユスリカ科	Diamesa属	*Diamesa* sp.								
30				Eukiefferiella属	*Eukiefferiella* sp.								
31				Micropsectra属	*Micropsectra* sp.			2	+	2	+		
32				Orthocladius属	*Orthocladius* sp.								
33				Polypedilum属	*Polypedilum* sp.								
34				Pseudorthocladius属	*Pseudorthocladius* sp.			1	+				
35				Syndiamesa属	*Syndiamesa* sp.								
36				Tvetenia属	*Tvetenia* sp.								
計	1綱	4目	21科	36種	種数	6		6		8		12	
						4目15科18種							
					個体数(/25cm×25cm×1回)	20		13		15		52	
					湿重量(g/25cm×25cm×1回)	0.024		0.014		0.057		0.192	

注 1. 分類は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和 7 年度版生物リスト」（令和 7 年、国土交通省）に準拠した。
注 2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注 3. 湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注 4. 夏季は降雨による増水のため、調査が実施できなかった。

表 566　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度夏季・秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域															
						河 10-3 椹島（放流箇所下流②）															
						夏季								秋季							
						定量1		定量2		定量3		定量4		定量1		定量2		定量3		定量4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais属	*Nais* sp.					1	0.001										
2	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*																
–				Cincticostella属	*Cincticostella* sp.															2	0.005
3			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属	*Ameletus* sp.					1	0.01			1	+					1	+
4			コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*							1	+								
5			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.																
6				ミドリタニガワカゲロウ	*Ecdyonurus viridis*			1	0.005												
–				Ecdyonurus属	*Ecdyonurus* sp.			9	0.013	3	0.007										
7				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*											1	0.045				
8				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.	1	0.004	3	0.007			2	0.03	4	0.007	6	0.009	7	0.02	1	0.027
9		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.													1	0.001	1	+
10			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.																
11			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.			12	0.037	5	0.023			4	0.004			4	0.007	5	0.019
12			アミメカワゲラ科	ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*									2	0.021						
–				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.															1	0.001
13		トビケラ目（毛翅目）	イワトビケラ科	Nyctiophylax属	*Nyctiophylax* sp.					1	0.01										
14				Plectrocnemia属	*Plectrocnemia* sp.					5	0.044										
15			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*					1	0.331										
16			ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.											1	0.002				
17			ナガレトビケラ科	トランスクィラナガレトビケラ	*Rhyacophila transquilla*																
18			カクツツトビケラ科	Lepidostoma属	*Lepidostoma* sp.					7	0.022										
19		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota属	*Dicranota* sp.																
20			ヒメガガンボ科	Hexatoma属	*Hexatoma* sp.	1	0.135	1	0.107	1	0.045							1	0.012	2	0.014
–				ヒメガガンボ科	Limoniidae sp.					1	0.005										
21			ユスリカ科	Micropsectra属	*Micropsectra* sp.	3	0.001														
22				Orthocladius属	*Orthocladius* sp.													1	0.001	1	0.002
23				Pagastia属	*Pagastia* sp.																
24				Parachaetocladius属	*Parachaetocladius* sp.																
25				Polypedilum属	*Polypedilum* sp.					1	0.002					1	+				
26				Saetheria属	*Saetheria* sp.	2	0.002	1	0.002												
–				ユスリカ亜科	Chironominae sp.	1	0.001			1	0.001										
–				エリユスリカ亜科	Orthocladiinae sp.	1	+														
27				モンユスリカ亜科	Tanypodinae sp.					1	+										
28			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*			1	0.016												
29			オドリバエ科	オドリバエ科	Empididae sp.																
計	2綱	5目	19科	29種	種数	5		6		11		2		4		4		5		8	
						5目11科17種								4目9科11種							
					個体数(/25cm×25cm×1回)	9		28		29		3		11		9		14		14	
					湿重量(g/25cm×25cm×1回)	0.143		0.187		0.501		0.03		0.032		0.056		0.041		0.068	

注 1. 分類は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和 7 年度版生物リスト」（令和 7 年、国土交通省）に準拠した。
注 2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注 3. 湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注 4. 夏季は降雨による増水のため、調査が実施できなかった。

表 567　調査地域、調査時期別の底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 槌島（放流箇所下流②）（2025 年度冬季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						河 10-3 槌島（放流箇所下流②）							
						冬季							
						定量1		定量2		定量3		定量4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais属	*Nais* sp.	4	+						
2	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	*Cincticostella elongatula*					2	0.043		
–				Cincticostella属	*Cincticostella* sp.								
3			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属	*Ameletus* sp.	1	0.004					15	0.039
4			コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*								
5			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.			1	+			11	0.014
6				ミドリタニガワカゲロウ	*Ecdyonurus viridis*								
–				Ecdyonurus属	*Ecdyonurus* sp.								
7				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*								
8				Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.			3	0.005			2	0.002
9		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.								
10			オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.					2	+	2	+
11			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	3	0.006	5	0.002	1	+		
12			アミメカワゲラ科	ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*								
–				アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.								
13		トビケラ目（毛翅目）	イワトビケラ科	Nyctiophylax属	*Nyctiophylax* sp.								
14				Plectrocnemia属	*Plectrocnemia* sp.								
15			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	*Stenopsyche marmorata*								
16			ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.								
17			ナガレトビケラ科	トランスクィラナガレトビケラ	*Rhyacophila transquilla*							2	0.008
18			カクツツトビケラ科	Lepidostoma属	*Lepidostoma* sp.								
19		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota属	*Dicranota* sp.			1	0.004				
20			ヒメガガンボ科	Hexatoma属	*Hexatoma* sp.								
–				ヒメガガンボ科	Limoniidae sp.								
21			ユスリカ科	Micropsectra属	*Micropsectra* sp.	1	+			4	+	3	+
22				Orthocladius属	*Orthocladius* sp.	2	+						
23				Pagastia属	*Pagastia* sp.					1	+		
24				Parachaetocladius属	*Parachaetocladius* sp.							1	+
25				Polypedilum属	*Polypedilum* sp.					9	+	6	+
26				Saetheria属	*Saetheria* sp.								
–				ユスリカ亜科	Chironominae sp.								
–				エリユスリカ亜科	Orthocladiinae sp.								
27				モンユスリカ亜科	Tanypodinae sp.								
28			ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*								
29			オドリバエ科	オドリバエ科	Empididae sp.					1	+	3	0.002
計	2綱	5目	19科	29種	種数	5		4		7		9	
						5目10科15種							
					個体数(/25cm×25cm×1回)	11		10		20		45	
					湿重量(g/25cm×25cm×1回)	0.01		0.011		0.043		0.065	

注 1. 分類は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和 7 年度版生物リスト」（令和 7 年、国土交通省）に準拠した。
注 2. 種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注 3. 湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注 4. 夏季は降雨による増水のため、調査が実施できなかった。

3.3. [redacted]の生息状況調査

【事後調査及びモニタリング計画通し番号135】

放流箇所下流における哺乳類[redacted]の調査を行いました。

3.3.1. 調査期間

調査期間を表 568 に示します。

表 568　哺乳類[redacted]の調査期間

調査項目	地点番号	調査地点	調査実施日			
			春季	夏季	秋季	冬季
哺乳類（捕獲調査）	河 02	西俣（放流箇所下流）	2020年６月14日 2020年６月15日 2020年６月16日	2020年９月14日 2020年９月15日 2020年９月16日		2020年２月18日 2020年２月19日 2020年２月20日
	河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	2020年６月24日 2020年６月25日 2020年６月26日	2020年９月14日 2020年９月15日 2020年９月16日		2020年２月19日 2020年２月20日 2020年２月21日
哺乳類（任意確認）	河 02	西俣（放流箇所下流）	2024年４月28日 2025年４月30日	2024年７月15日 2025年８月６日 2025年８月７日	2024年10月３日 2025年10月２日	
	河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	2024年５月17日 2025年５月13日	2024年７月15日 2025年８月４日	2024年９月13日 2025年９月29日 2025年９月30日	
哺乳類（環境 DNA 分析（種特異的解析））	河 02	西俣（放流箇所下流）	2021年６月11日 2022年６月２日 2023年５月13日 2024年４月29日 2025年５月15日	2020年９月22日 2021年８月11日 2022年７月31日 2023年７月15日 2024年７月15日 2025年８月26日	2020年11月６日 2021年９月25日 2022年10月16日 2023年９月17日 2024年10月３日 2025年９月18日	2020年２月28日 2021年１月20日 2022年１月27日 2022年12月17日 2023年12月１日 2024年12月11日 2025年12月11日
	河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	2021年５月14日 2021年５月15日 2022年６月３日 2024年５月19日 2025年５月28日	2020年９月22日 2020年９月23日 2021年８月12日 2022年７月31日 2022年８月１日 2023年７月14日 2024年７月28日 2025年８月４日 2025年８月５日	2020年12月21日 2021年９月25日 2022年10月27日 2022年10月28日 2023年９月19日 2024年10月８日 2024年10月22日 2025年10月16日	2020年２月28日 2020年２月29日 2021年１月27日 2021年１月28日 2022年１月28日 2022年12月16日 2023年12月３日 2024年12月12日 2025年12月10日

・静岡県生物多様性部会専門部会での対話を踏まえ、2020 年２月から 2020 年９月まで捕獲調査を実施していたが、2020 年９月の生物多様性部会専門部会委員との意見交換において、捕獲調査では捕獲個体が損傷を受ける恐れがあるとの意見があったことから、2020 年秋季から 2023 年度までは、環境 DNA 分析のみを実施した。2024 年度以降は、任意確認及び環境 DNA を実施した。

3.3.2. 調査結果（2019 年度）

3.3.2.1. 捕獲調査

調査結果を、表 569 に示します。

表 569　哺乳類[redacted]捕獲調査結果（地点別）

調査地域	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開				

3.3.2.2. 環境 DNA 分析（種特異的解析）

調査結果を、表 570 に示します。

表 570　哺乳類[redacted]環境 DNA 分析（種特異的解析）結果（地点別）

調査地域	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開				

3.3.3. 調査結果（2020 年度）

3.3.3.1. 捕獲調査

調査結果を、表 571 に示します。

表 571　哺乳類[redacted]捕獲調査結果（地点別）

調査地域	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開				

3.3.3.2. 環境 DNA 分析（種特異的解析）

調査結果を、表 572 に示します。

表 572　哺乳類[redacted]環境 DNA 分析（種特異的解析）結果（地点別）

調査地域	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開				

3.3.4. 調査結果（2021 年度）

3.3.4.1.環境 DNA 分析（種特異的解析）

調査結果を、表 573 に示します。

表 573　哺乳類[redacted]環境 DNA 分析（種特異的解析）結果（地点別）

調査地域	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開				

3.3.5. 調査結果（2022 年度）

3.3.5.1.環境 DNA 分析（種特異的解析）

調査結果を、表 574 に示します。

表 574　哺乳類[redacted]環境 DNA 分析（種特異的解析）結果（地点別）

調査地域	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開				

3.3.6. 調査結果（2023 年度）

3.3.6.1.環境 DNA 分析（種特異的解析）

調査結果を、表 575 に示します。

表 575　哺乳類[redacted]環境 DNA 分析（種特異的解析）結果（地点別）

調査地域	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開				

※　現地の天候悪化等に伴う河川流量の増加のため、作業上の安全確保の観点から調査を中止した。

3.3.7. 調査結果（2024 年度）

3.3.7.1.任意確認

調査結果を、表 576 に示します。

表 576　哺乳類[redacted]任意確認結果（地点別）

調査地域	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開				

3.3.7.2.環境 DNA 分析（種特異的解析）

調査結果を、表 577 に示します。

表 577　哺乳類[redacted]環境 DNA 分析（種特異的解析）結果（地点別）

調査地域	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開				

3.3.8. 調査結果（2025 年度）

3.3.8.1.任意確認

調査結果を、表 578 に示します。

表 578　哺乳類[redacted]任意確認結果（地点別）

調査地域	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開				

3.3.8.2.環境 DNA 分析（種特異的解析）

調査結果を、表 579 に示します。

表 579　哺乳類[redacted]環境 DNA 分析（種特異的解析）結果（地点別）

調査地域	春季	夏季	秋季	冬季
希少種保護のため非公開				

3.4. 生息環境（水質等、流況）

【事後調査及びモニタリング計画通し番号 194、195】

3.4.1. 調査期間

調査期間を表 580 に示します。

表 580　生息環境（水質等、流況）の調査期間

地点番号	調査地点	調査実施日			
		春季	夏季	秋季	冬季
沢 33	北俣・中俣合流部付近	2021 年度※1 2022 年６月３日 2023 年５月 28 日 2024 年度※2 2025 年６月５日	2021 年９月１日 2022 年７月 29 日 2023 年７月 31 日 2024 年度※2 2025 年８月 20 日	2020 年 10 月 31 日 2021 年９月 29 日、10 月 14 日 2022 年９月 17 日 2023 年９月 16 日 2024 年 10 月２日、15 日 2025 年 10 月１日	
河 02	西俣（放流箇所下流）	2021 年６月 11 日、13 日 2022 年５月 19 日、30 日 2023 年５月 13 日、28 日 2024 年４月 28、29 日、５月 17 日 2025 年５月 21 日	2021 年７月 29 日、８月５日、11 日 2022 年７月 15 日、16 日 2023 年７月 28 日 2024 年８月６日、21 日 2025 年８月 27 日	2020 年 10 月 28 日 2021 年９月 21 日、10 月 14 日 2022 年 10 月 13 日、16 日 2023 年９月 14 日、17 日 2024 年 10 月３日、30 日 2025 年 10 月 14 日	2021 年２月 17 日 2022 年１月 14 日 2022 年 12 月２日 2023 年 12 月１日 2024 年 12 月 10 日、12 日 2025 年 12 月 18 日
河 08-2	千石（放流箇所下流）	2021 年６月 14 日 2024 年４月 28 日、６月１日、17 日 2025 年５月 20 日、29 日	2021 年７月 29 日、８月３日、７日 2024 年７月 29 日、８月７日 2025 年８月 26 日、28 日	2020 年 10 月 28 日 2021 年度※1 2024 年 10 月 29 日 2025 年 10 月 14 日、15 日	2021 年２月 18 日 2021 年度※1 2024 年 12 月 10 日、11 日、12 日 2025 年 12 月９日、17 日
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	2021 年５月 11 日、６月 11 日 2022 年５月 18 日、31 日 2023 年５月 27 日 2024 年５月 18 日、19 日 2025 年５月 22 日	2021 年７月 28 日、８月３日、７日 2022 年７月 14 日、16 日、17 日 2023 年７月 14 日、26 日、27 日 2024 年７月 28 日、８月８日 2025 年８月 28 日	2020 年 11 月 15 日 2021 年９月 19 日、10 月 15 日 2022 年 10 月 12 日 2023 年９月 15 日、19 日 2024 年 10 月 18 日、22 日、28 日 2025 年 10 月 16 日	2021 年２月 18 日 2022 年１月 15 日 2022 年 12 月１日、４日 2023 年 12 月２日、３日 2024 年 12 月 11 日、12 日 2025 年 12 月 16 日

注１：生息環境（水質等、流況及び周辺植生）は、令和２年９月の生物多様性専門部会委員との意見交換を踏まえ、令和２年度秋季調査以降に追加して実施することとした。

注２：冬季調査は、主要な３地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で実施することとする。

注３：イワナを中心とした食物連鎖図を作成することとしている３地点（沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））については、四季別のデータを整えることに加えて工事箇所周辺の経年的な水生生物の生息状況の変化を確認するために、工事前調査を継続的に実施することとしている。

注４：「※１」は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

注５：「※２」は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため、UAV による撮影のみ実施。

3.4.2. 調査結果（2020 年度）

生息環境（水質等、流況）について、調査時期、調査地域別の調査結果を、表 580～表 582、図 429～図 434 に示します。

表 581　調査地域、調査時期別の水質等の調査結果（2020 年度秋季・冬季）

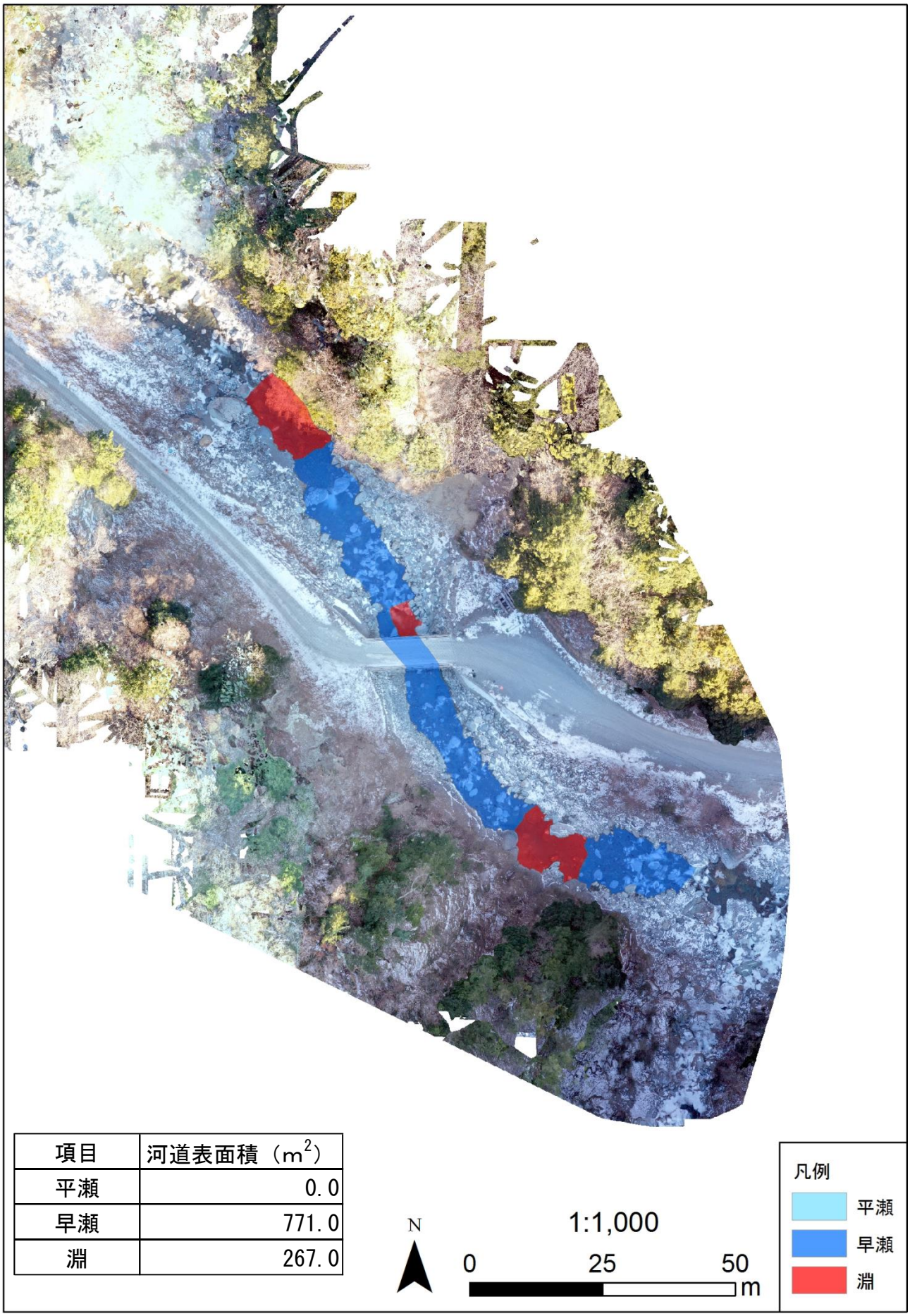
地点番号	調査地点	調査時期							
		秋季				冬季			
		SS (mg/l)	DO (mg/l)	pH	水温 (℃)	SS (mg/l)	DO (mg/l)	pH	水温 (℃)
沢33	北俣・中俣合流部付近		8.4	7.9	3.8				
河02	西俣（放流箇所下流）	1.0未満	8.3	8.2	6.6	1.0未満	8.3	7.8	0.1
河08-2	千石（放流箇所下流）	1.0未満	8.2	7.9	7.8	1.0未満	8.4	7.8	2.1
河10-3	椹島（放流箇所下流②）	1.0未満	10.8	8.1	7.2	1.0未満	8.8	7.7	0.1

注１：令和２年９月の生物多様性専門部会委員との意見交換でのご意見を踏まえ、秋季調査以降に実施した。
注２：冬季調査は、主要な３地点（河02西俣（放流箇所下流）、河08-2千石（放流箇所下流）、河10-3椹島（放流箇所下流②））で実施する。
注３：SS（浮遊物質量）は排水放流箇所の下流地点（河02西俣（放流箇所下流）、河08-2千石（放流箇所下流）、河10-3椹島（放流箇所下流②））で計測した。

表 582　調査地域、調査時期別の流況の調査結果（2020 年度春季・夏季・秋季・冬季）

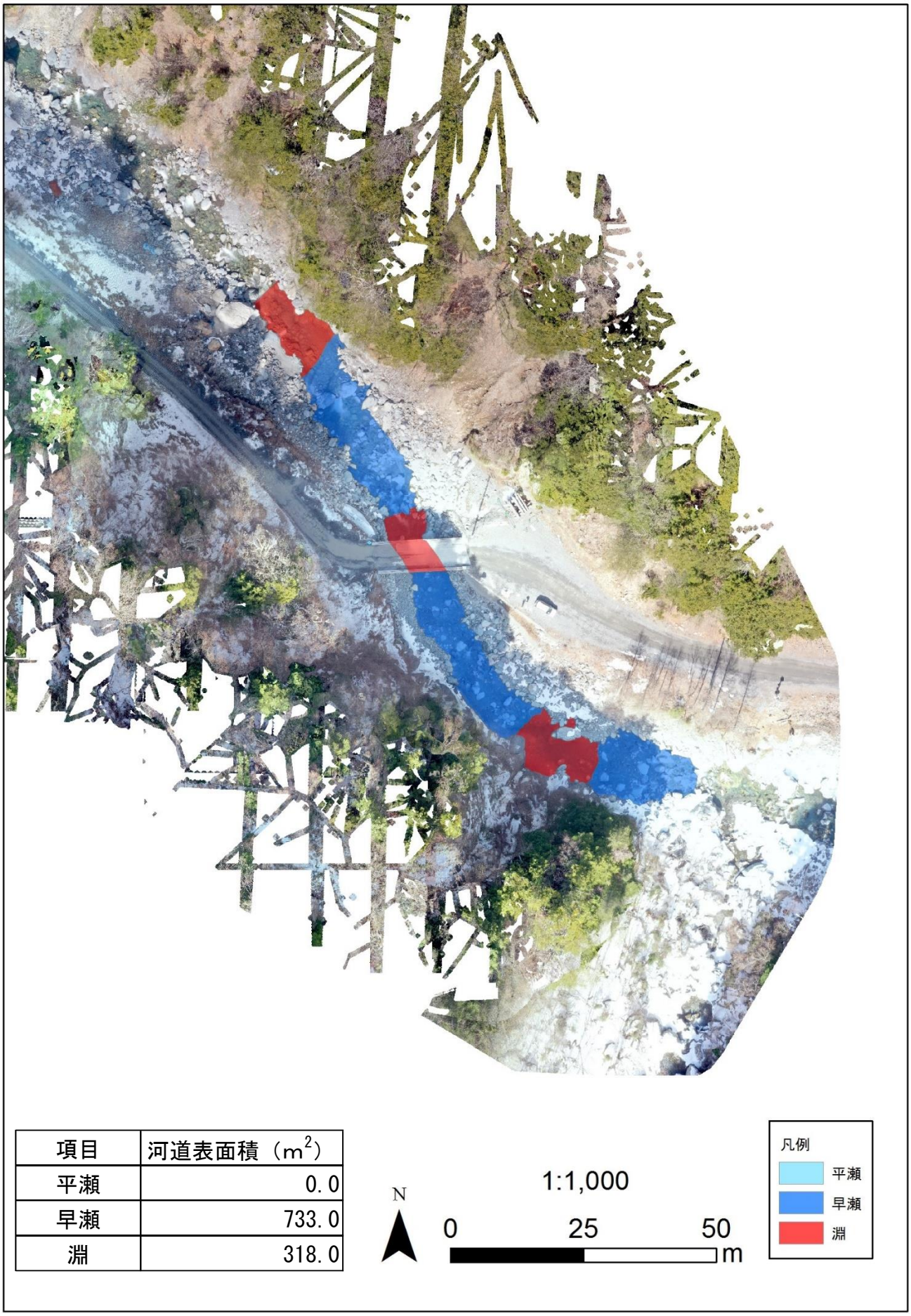
地点番号	調査地点	調査時期							
		春季		夏季		秋季		冬季	
		流量 (m^3/秒)	流速 (m/秒)	流量 (m^3/秒)	流速 (m/秒)	流量 (m^3/秒)	流速 (m/秒)	流量 (m^3/秒)	流速 (m/秒)
沢33	北俣・中俣合流部付近	—	—	—	—	約1.1	約0.9		
河02	西俣（放流箇所下流）	約3.5	約0.9	約1.0	約0.2	約0.5	約0.1	約1.4	約0.4
河08-2	千石（放流箇所下流）	約3.6	約0.7	約1.3	約0.6	約3.4	約0.7	約0.9	約0.4
河10-3	椹島（放流箇所下流②）	約0.8	約1.5	約3.2	約0.6	約3.5	約0.7	約2.2	約0.5

注１：各調査地点の瀬の代表１断面で実施した結果を記載した。
注２：春季調査は、新型コロナウイルス感染症の影響により、主要な３地点（河02西俣（放流箇所下流）、河08-2千石（放流箇所下流）、河10-3椹島（放流箇所下流②））で６月に実施した。
注３：夏季調査は、７月の豪雨による林道東俣線の通行止めに伴い、主要な３地点（河02西俣（放流箇所下流）、河08-2千石（放流箇所下流）、河10-3椹島（放流箇所下流②））で９月に実施した。
注４：冬季調査は、主要な３地点（河02西俣（放流箇所下流）、河08-2千石（放流箇所下流）、河10-3椹島（放流箇所下流②））で実施する。



項目	河道表面積（m^2）
平瀬	0.0
早瀬	771.0
淵	267.0

図 429 UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2020 年度秋季）



項目	河道表面積（m^2）
平瀬	0.0
早瀬	733.0
淵	318.0

図 430 UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2020 年度冬季）

項目	河道表面積（m^2）
平瀬	88.0
早瀬	1,623.0
淵	299.0

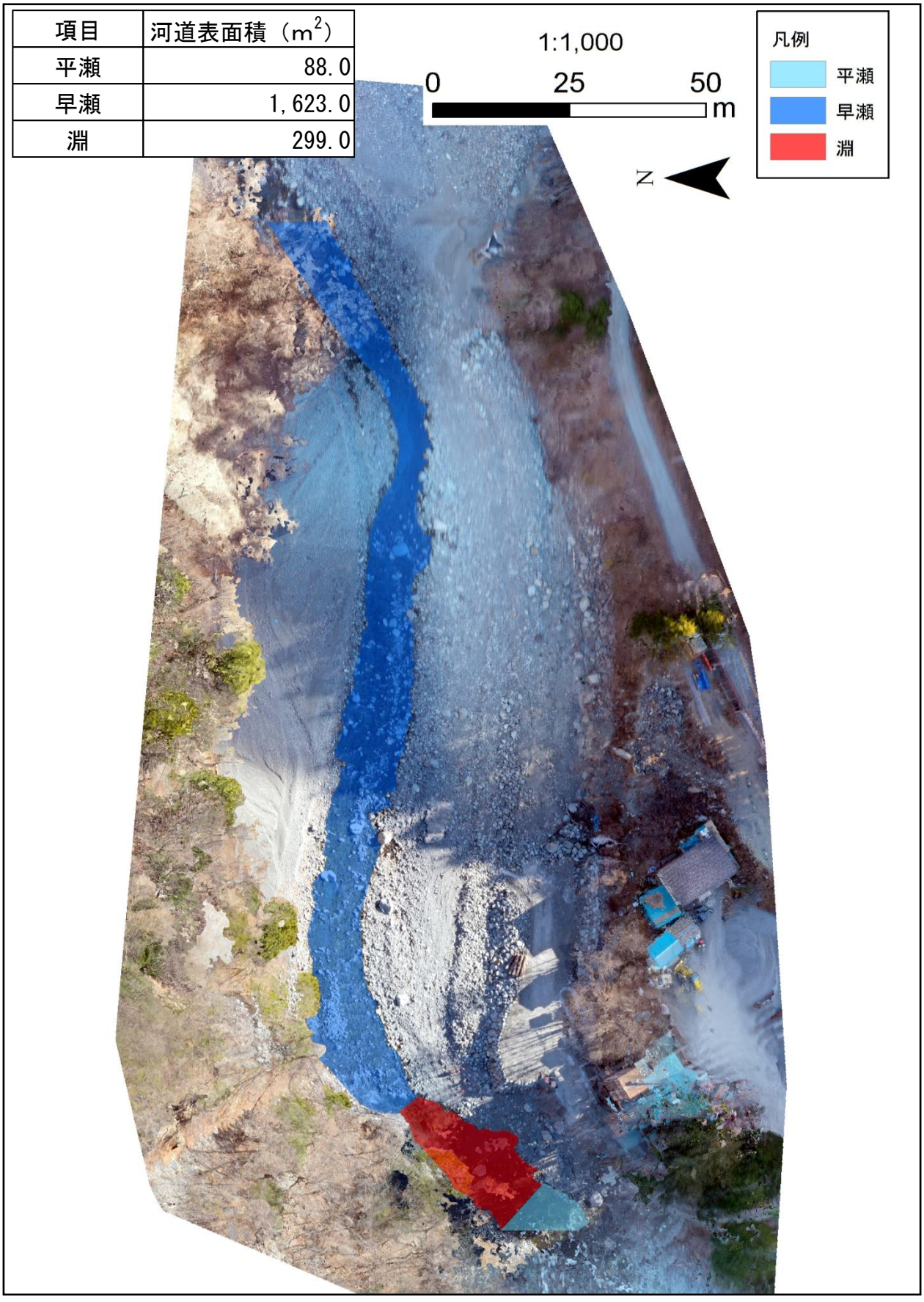


図 431 UAV による調査結果：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2020 年度秋季）



図 432 UAV による調査結果：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2020 年度冬季）

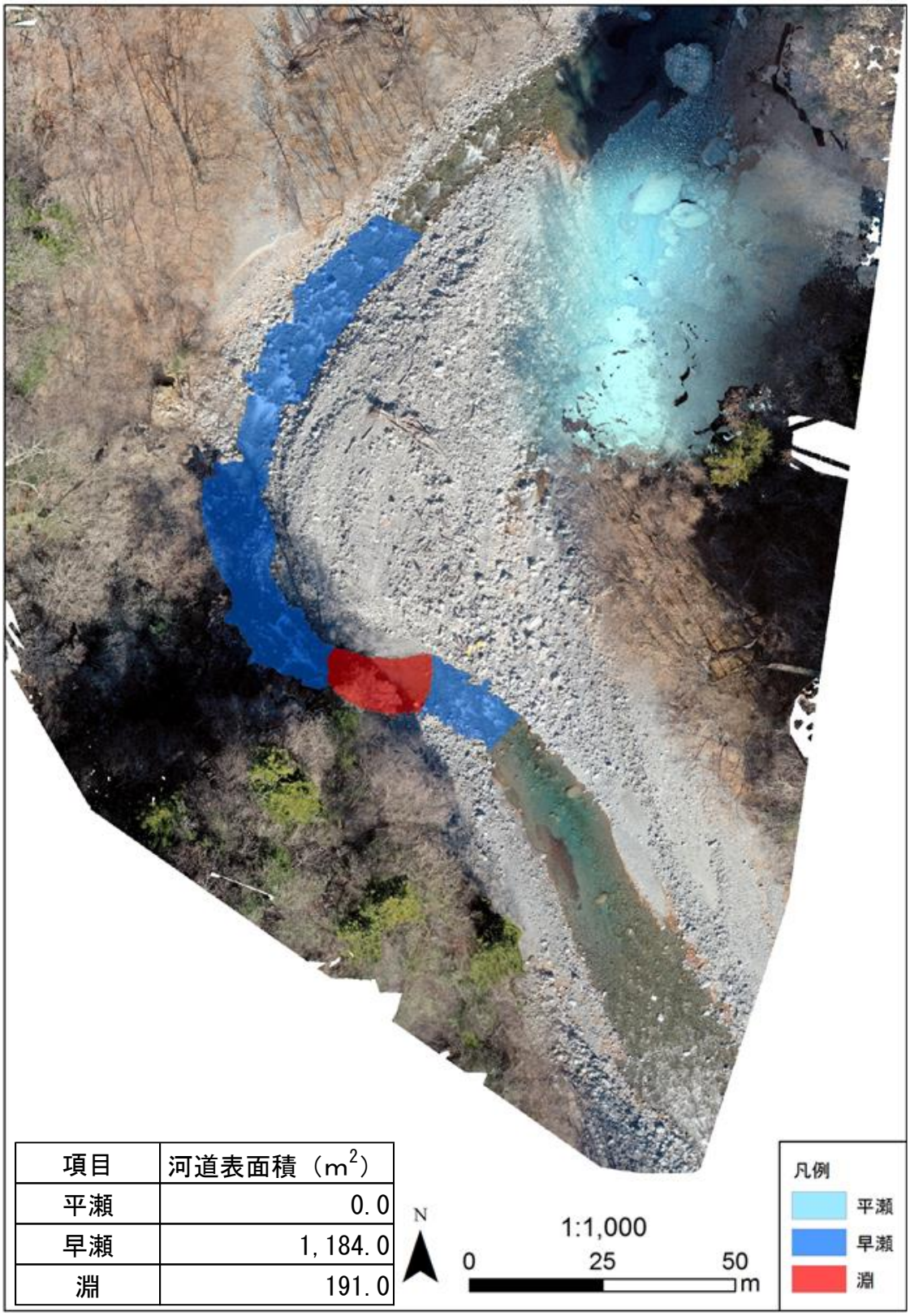


図 433 UAV による調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2020 年度秋季）

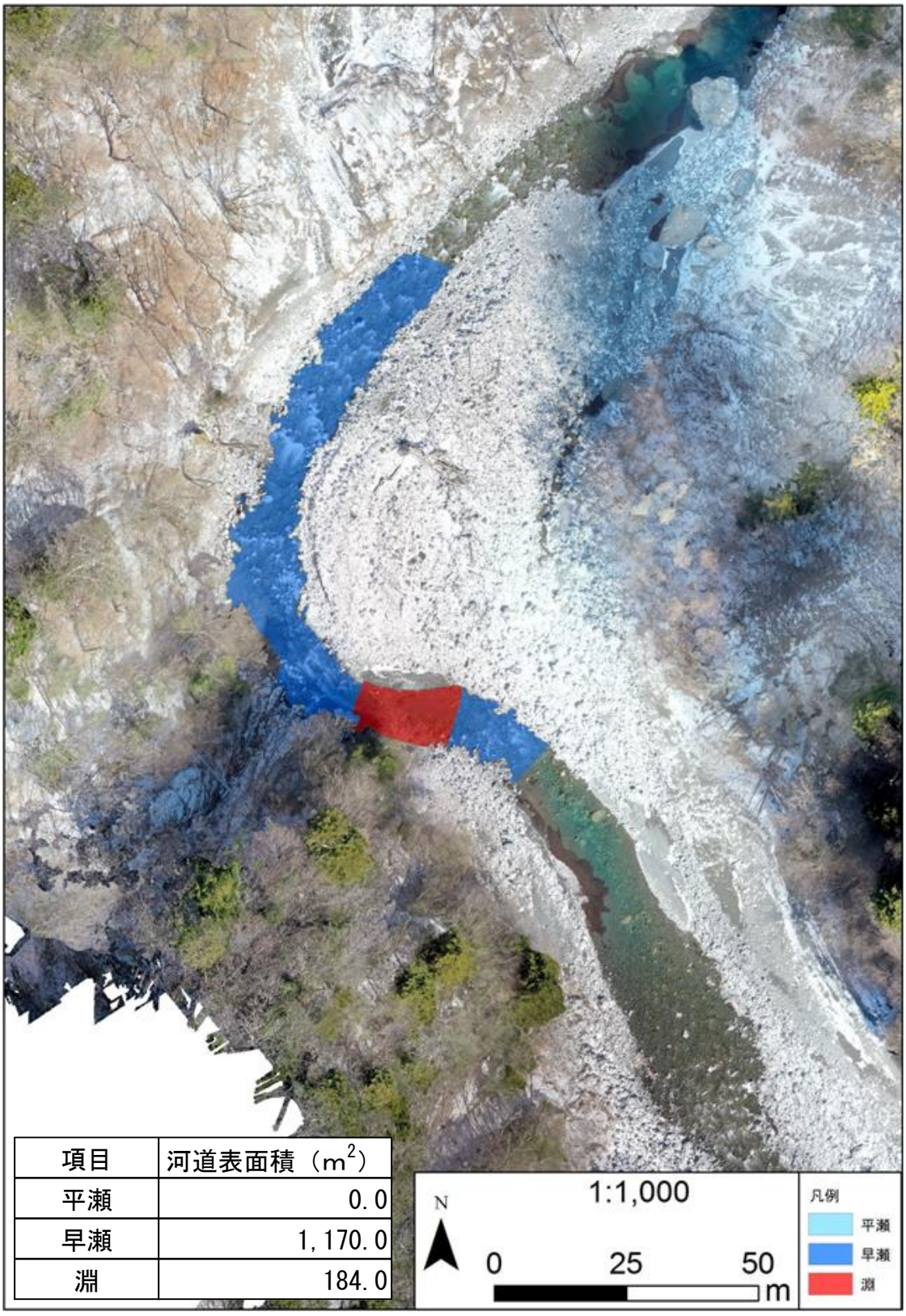


図 434 UAV による調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2020 年度冬季）

3.4.3. 調査結果（2021 年度）

生息環境（水質等、流況）について、調査時期、調査地域別の調査結果を、表 583～表 585、図 435～図 444 に示します。

表 583　調査地域、調査時期別の水質等の調査結果（2021 年度春季・夏季）

地点番号	調査地点	調査時期							
		春季				夏季			
		SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)
沢 33	北俣・中俣合流部付近		—※1	—※1	—※1		9.5	8.0	9.8
河 02	西俣（放流箇所下流）	1.0 未満	10.5	8.1	10.3	5.2	10.1	8.3	12.3
河 08-2	千石（放流箇所下流）	1.0 未満	10.8	8.2	10.2	1.0 未満	9.8	8.2	12.5
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	1.0 未満	10.2	8.0	8.6	1.0 未満	10.1	8.1	14.6

注２：SS（浮遊物質量）は排水放流箇所の下流地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で計測した。

注３：イワナ類等を中心とした食物連鎖図を作成することとしている３地点（沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））については、四季別のデータを整えることに加えて工事箇所周辺の経年的な水生生物の生息状況の変化を確認するために、工事前調査を継続的に実施することとしている。

注４：「※１」は過年度において当該時期の調査が完了しているため、令和３年度は調査を実施していないことを表す。

表 584　調査地域、調査時期別の水質等の調査結果（2021 年度秋季・冬季）

地点番号	調査地点	調査時期							
		秋季				冬季			
		SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)
沢 33	北俣・中俣合流部付近		10.3	7.8	8.0				
河 02	西俣（放流箇所下流）	1.0 未満	10.0	8.1	10.0	1.0 未満	9.9	7.6	0.9
河 08-2	千石（放流箇所下流）	—※1	—※1	—※1	—※1	—※1	—※1	—※1	—※1
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	1.2	9.6	8.0	12.9	1.0 未満	10.0	7.5	0.3

注１：冬季調査は、主要な３地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で実施する。

注２：SS（浮遊物質量）は排水放流箇所の下流地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で計測した。

注３：イワナ類等を中心とした食物連鎖図を作成することとしている３地点（沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））については、四季別のデータを整えることに加えて工事箇所周辺の経年的な水生生物の生息状況の変化を確認するために、工事前調査を継続的に実施することとしている。

注４：「※１」は過年度において当該時期の調査が完了しているため、令和３年度は調査を実施していないことを表す。

表 585　調査地域、調査時期別の流況の調査結果（2021 年度春季・夏季・秋季・冬季）

地点番号	調査地点	調査時期							
		春季		夏季		秋季		冬季	
		流量（m^3/秒）	流速（m/秒）	流量（m^3/秒）	流速（m/秒）	流量（m^3/秒）	流速（m/秒）	流量（m^3/秒）	流速（m/秒）
沢 33	北俣・中俣合流部付近	—※1	—※1	約 2.7	約 0.9	約 0.6	約 0.4		
河 02	西俣（放流箇所下流）	約 1.2	約 0.6	約 1.5	約 0.7	約 0.9	約 0.4	約 0.7	約 0.4
河 08-2	千石（放流箇所下流）	約 3.9	約 0.6	約 1.3	約 0.2	—※2	—※2	—※2	—※2
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	約 1.8	約 0.3	約 2.5	約 0.8	約 0.9	約 0.3	約 0.8	約 0.5

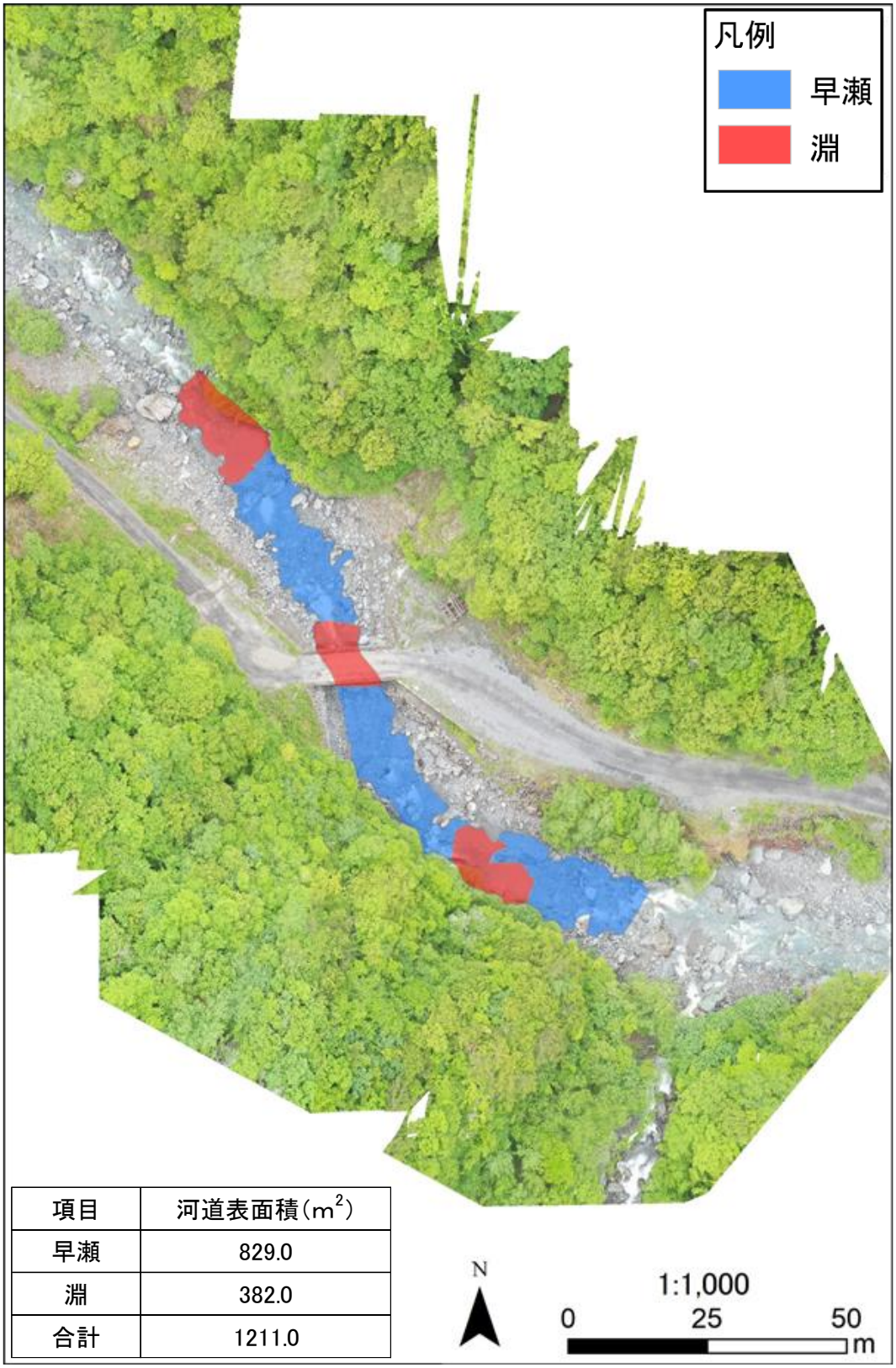
注１：各調査地点の瀬の代表１断面で実施した結果を記載した。

注２：冬季調査は、主要な３地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で実施する。

注３：イワナ類等を中心とした食物連鎖図を作成することとしている３地点（沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））については、四季別のデータを整えることに加えて工事箇所周辺の経年的な水生生物の生息状況の変化を確認するために、工事前調査を継続的に実施することとしている。

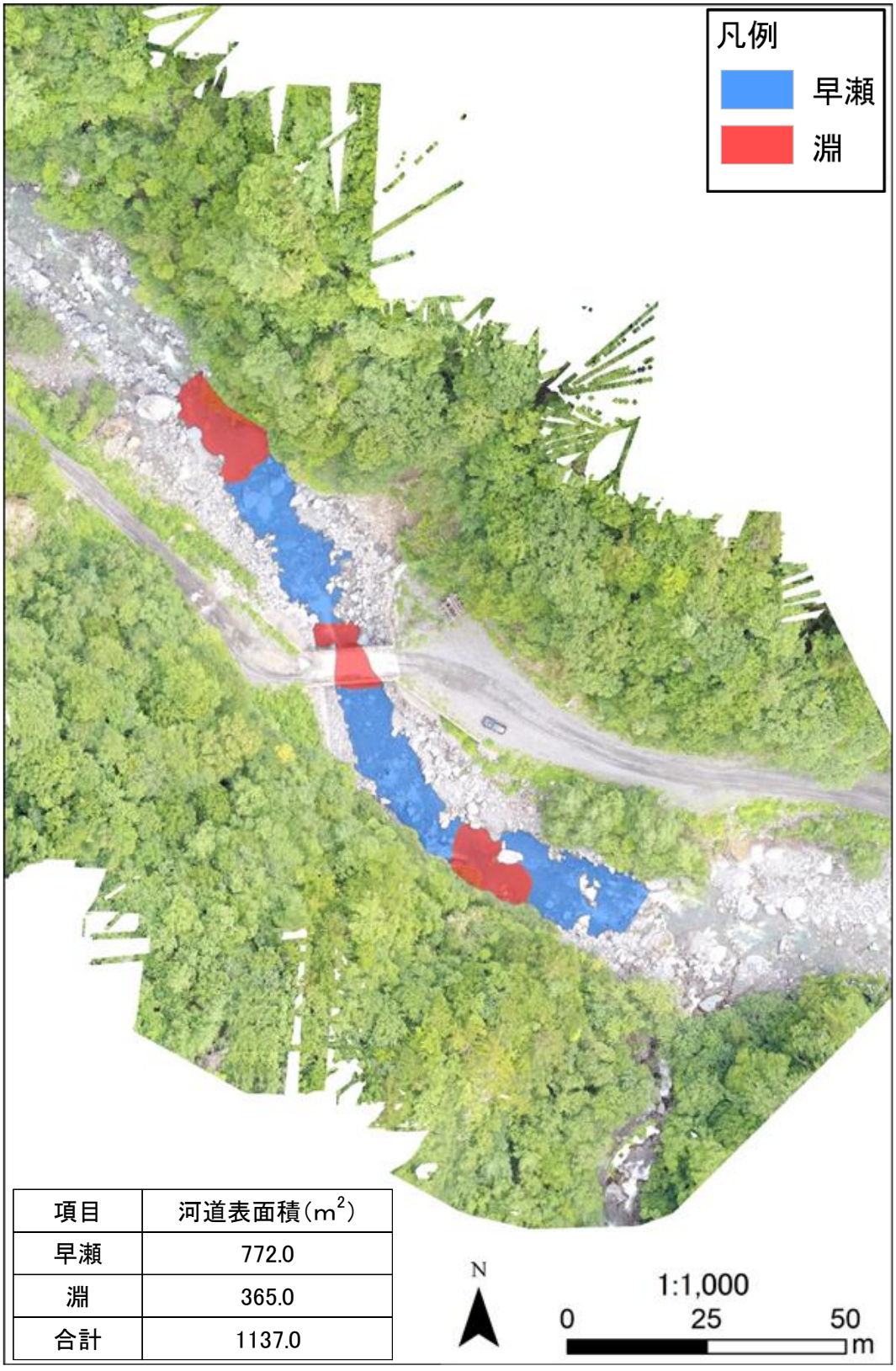
注４：「※１」は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

注５：「※２」は過年度において当該時期の調査が完了しているため、令和３年度の調査は実施していないことを表す。



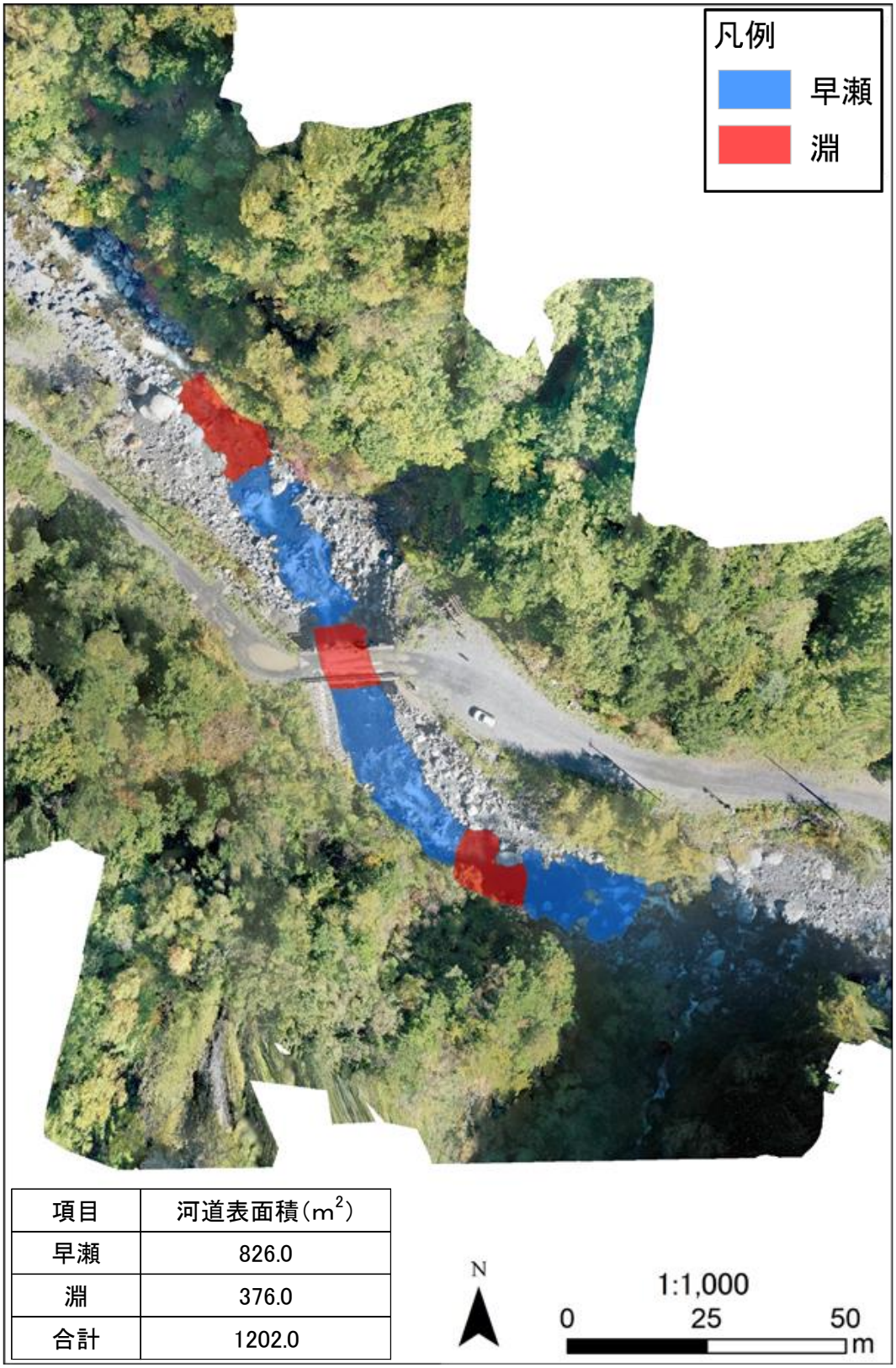
項目	河道表面積(m^2)
早瀬	829.0
淵	382.0
合計	1211.0

図 435 UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度春季）



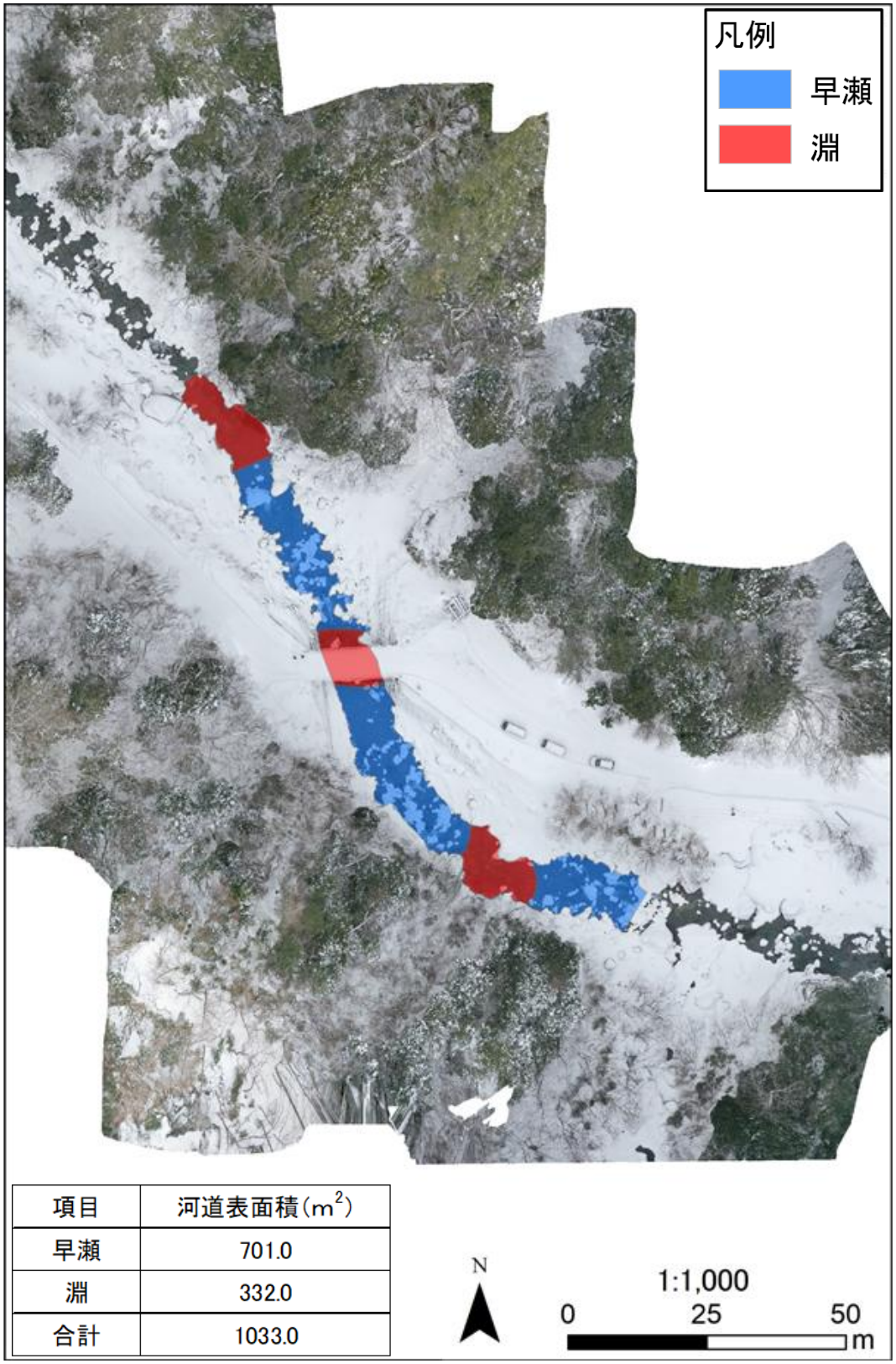
項目	河道表面積(m^2)
早瀬	772.0
淵	365.0
合計	1137.0

図 436 UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度夏季）



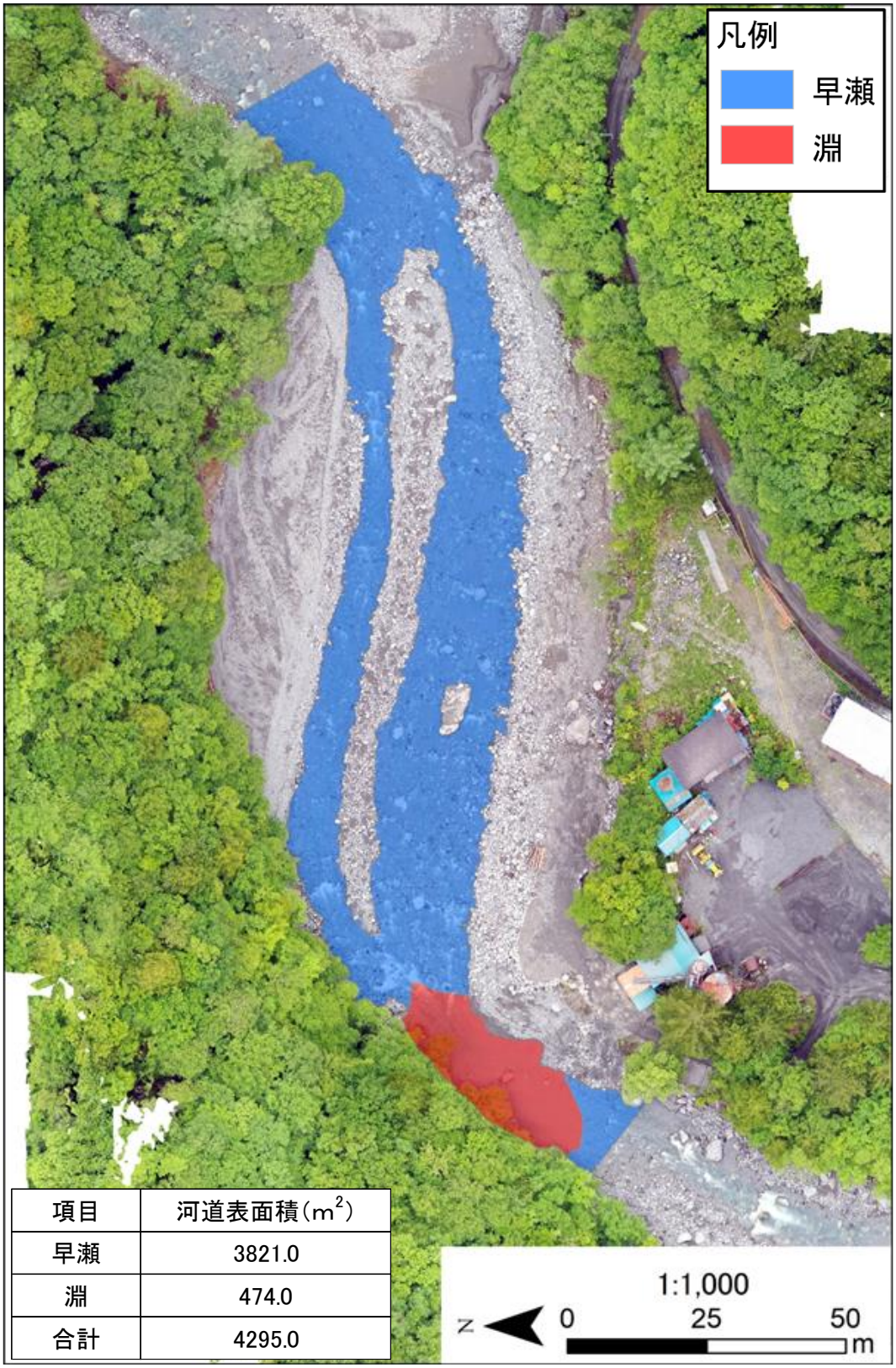
項目	河道表面積(m^2)
早瀬	826.0
淵	376.0
合計	1202.0

図 437 UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度秋季）



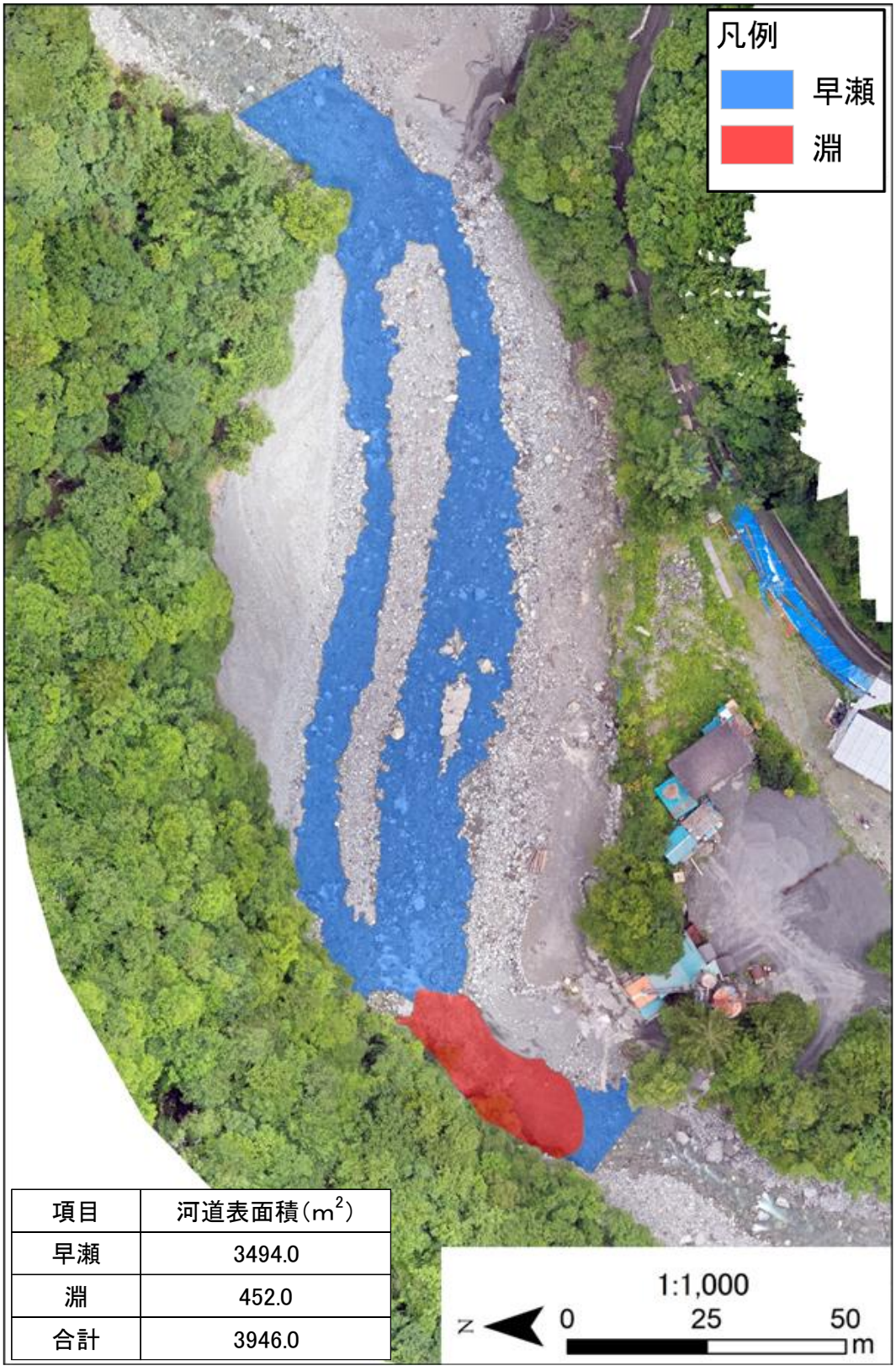
項目	河道表面積(m^2)
早瀬	701.0
淵	332.0
合計	1033.0

図 438 UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度冬季）



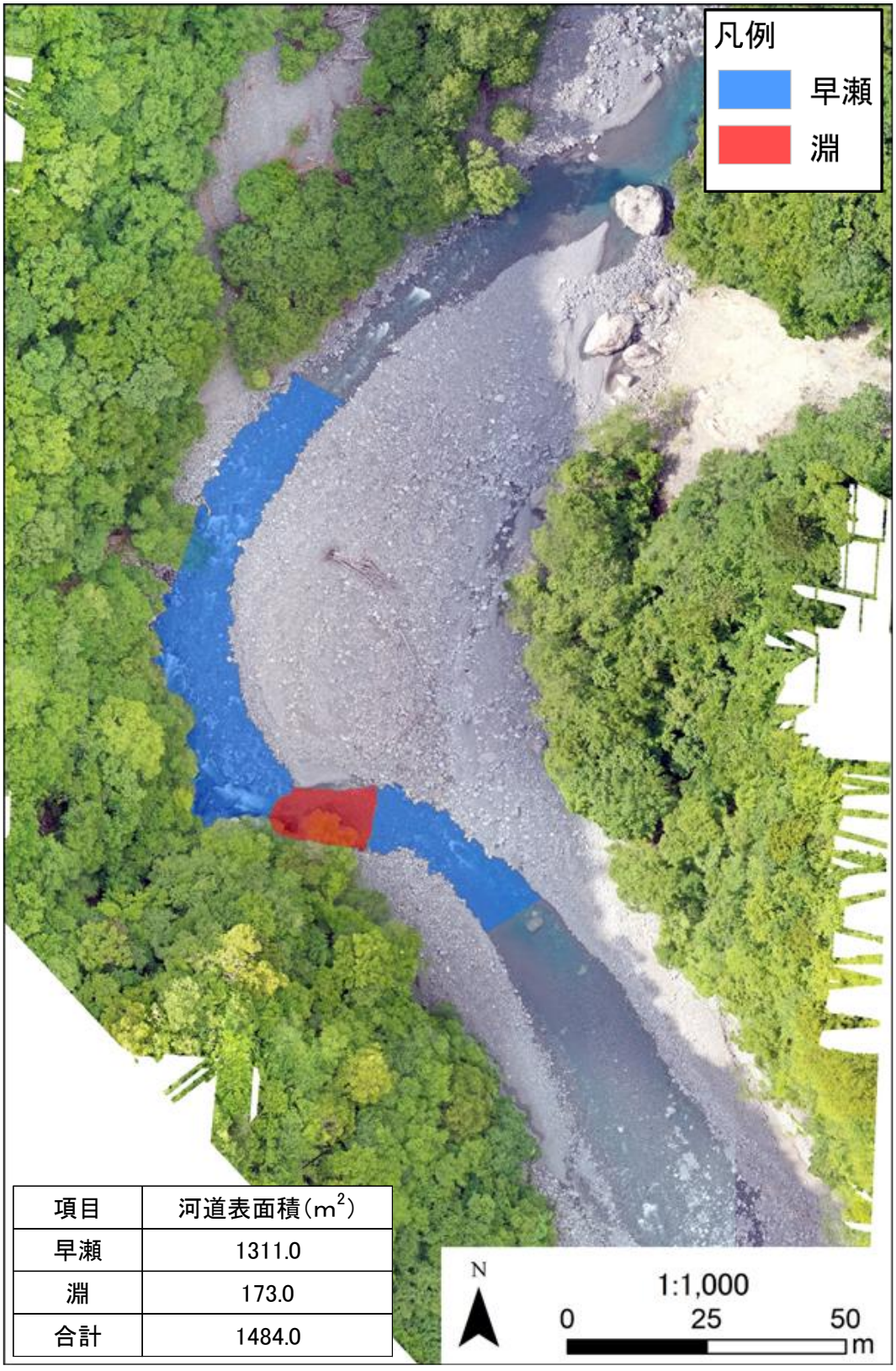
項目	河道表面積(m^2)
早瀬	3821.0
淵	474.0
合計	4295.0

図 439 UAV による調査結果：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2021 年度春季）



項目	河道表面積(m²)
早瀬	3494.0
淵	452.0
合計	3946.0

図 440 UAV による調査結果：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2021 年度夏季）



項目	河道表面積(m^2)
早瀬	1311.0
淵	173.0
合計	1484.0

図 441 UAV による調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度春季）



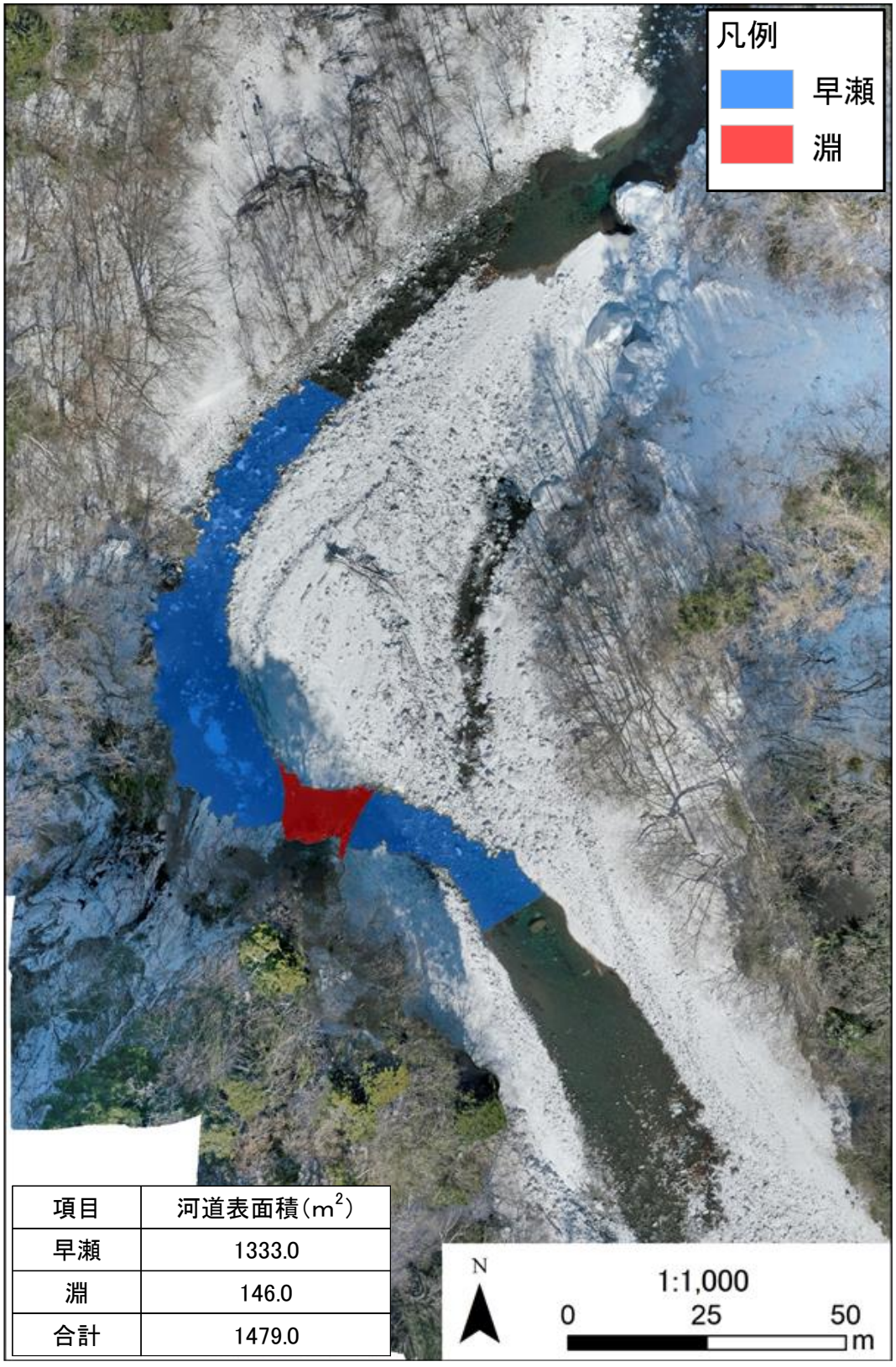
項目	河道表面積(m^2)
早瀬	1221.0
淵	133.0
合計	1354.0

図 442 UAV による調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度夏季）



項目	河道表面積(m^2)
早瀬	1305.0
淵	182.0
合計	1487.0

図 443 UAV による調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度秋季）



項目	河道表面積(m^2)
早瀬	1333.0
淵	146.0
合計	1479.0

図 444 UAV による調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度冬季）

3.4.4. 調査結果（2022 年度）

生息環境（水質等、流況）について、調査時期、調査地域別の調査結果を、表 586 表 588、図 445～図 452 に示します。

表 586　調査地域、調査時期別の水質等の調査結果（2022 年度春季・夏季）

地点番号	調査地点	調査時期							
		春季				夏季			
		SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)
沢 33	北俣・中俣合流部付近		10.7	7.6	6.3		9.5	7.7	10.1
河 02	西俣（放流箇所下流）	1.0 未満	10.5	7.6	6.2	1.0	8.1	8.0	11.5
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	1.0 未満	9.6	7.4	7.9	1.0 未満	7.9	7.7	13.1

注１：SS（浮遊物質量）は排水放流箇所の下流地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で計測した。

注２：イワナを中心とした食物連鎖図を作成することとしている３地点（沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））については、四季別のデータを整えることに加えて工事箇所周辺の経年的な水生生物の生息状況の変化を確認するために、工事前調査を継続的に実施することとしている。

表 587　調査地域、調査時期別の水質等の調査結果（2022 年度秋季・冬季）

地点番号	調査地点	調査時期							
		秋季				冬季			
		SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)
沢 33	北俣・中俣合流部付近		9.0	8.1	8.8				
河 02	西俣（放流箇所下流）	1.0 未満	9.2	8.3	10.6	1.0 未満	9.3	7.8	3.1
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	1.0 未満	9.7	8.0	6.1	2.4	9.4	7.7	3.9

注１：冬季調査は、主要な３地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で実施する。

注２：SS（浮遊物質量）は排水放流箇所の下流地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で計測した。

注３：イワナを中心とした食物連鎖図を作成することとしている３地点（沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））については、四季別のデータを整えることに加えて工事箇所周辺の経年的な水生生物の生息状況の変化を確認するために、工事前調査を継続的に実施することとしている。

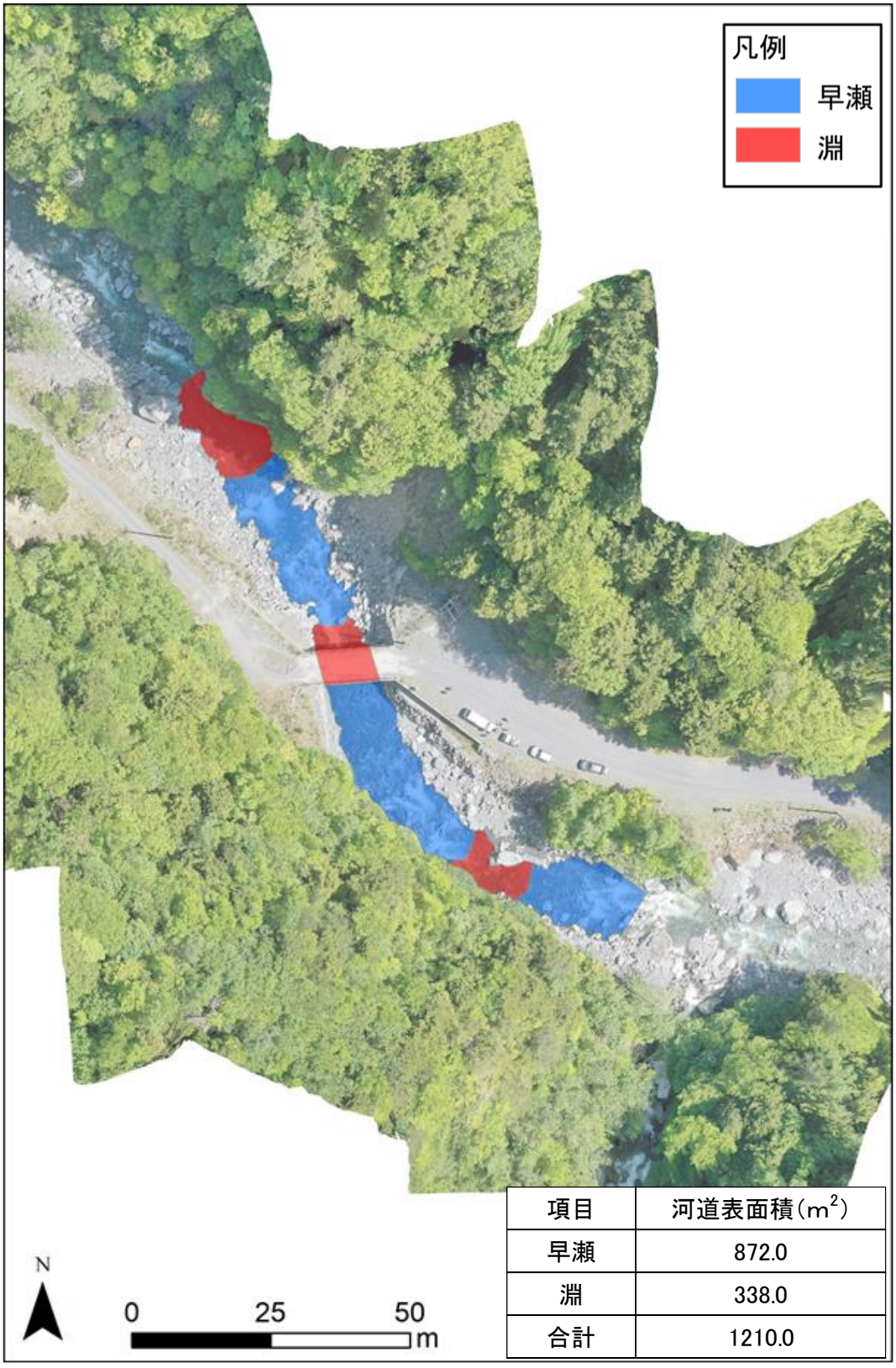
表 588　調査地域、調査時期別の流況の調査結果（2022 年度春季・夏季・秋季・冬季）

地点番号	調査地点	調査時期							
		春季		夏季		秋季		冬季	
		流量 (m^3/秒)	流速 (m/秒)	流量 (m^3/秒)	流速 (m/秒)	流量 (m^3/秒)	流速 (m/秒)	流量 (m^3/秒)	流速 (m/秒)
沢 33	北俣・中俣合流部付近	約 1.6	約 0.8	約 1.5	約 0.9	約 0.9	約 0.6		
河 02	西俣（放流箇所下流）	約 3.2	約 0.7	約 1.4	約 0.6	約 1.3	約 0.5	約 2.3	約 0.6
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	約 1.5	約 0.5	約 1.3	約 0.4	約 1.4	約 0.5	約 2.2	約 0.6

注１：各調査地点の瀬の代表１断面で実施した結果を記載した。

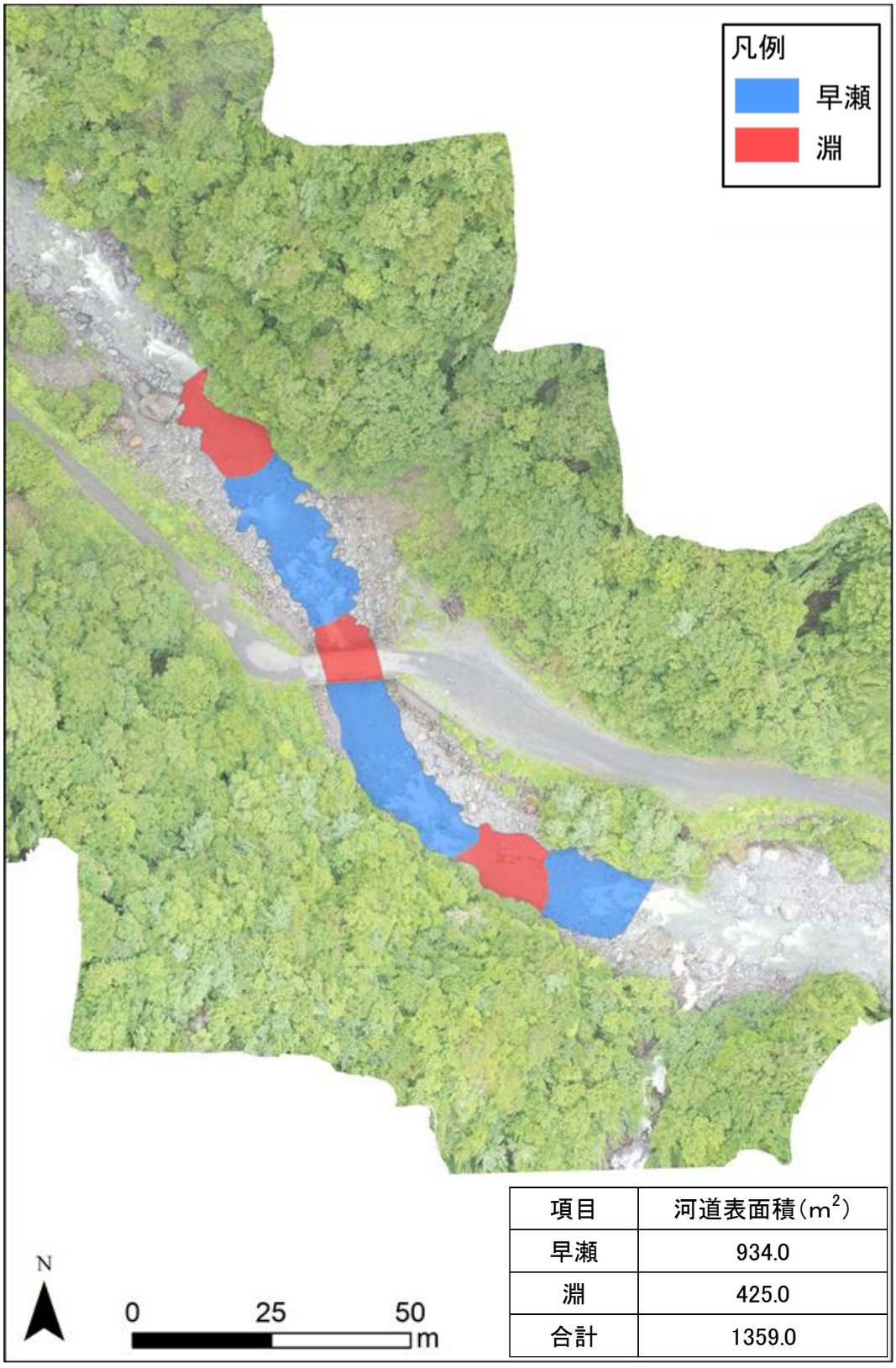
注２：冬季調査は、主要な３地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で実施する。

注３：イワナ類等を中心とした食物連鎖図を作成することとしている３地点（沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））については、四季別のデータを整えることに加えて工事箇所周辺の経年的な水生生物の生息状況の変化を確認するために、工事前調査を継続的に実施することとしている。



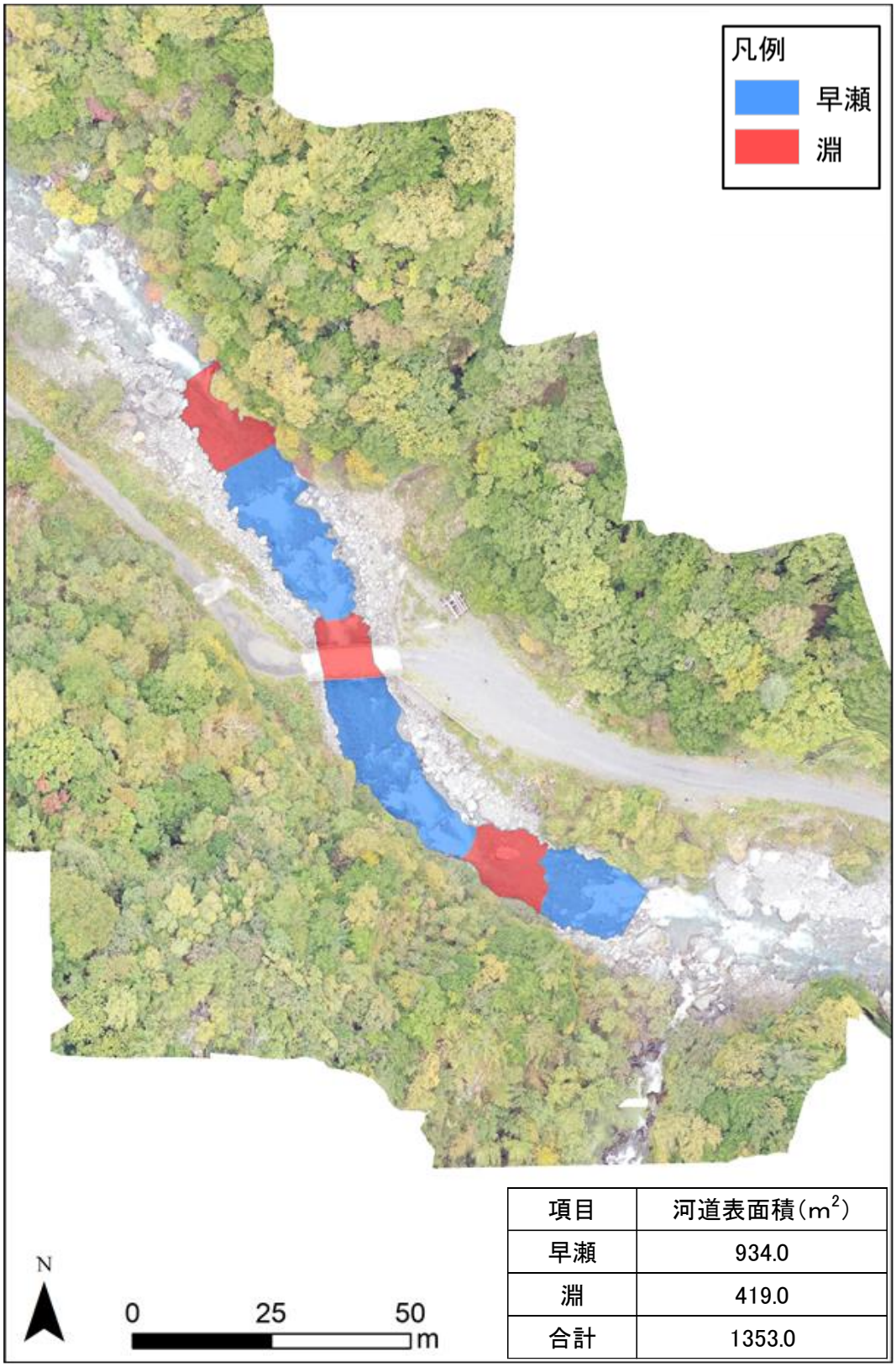
項目	河道表面積(m^2)
早瀬	872.0
淵	338.0
合計	1210.0

図 445 UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度春季）



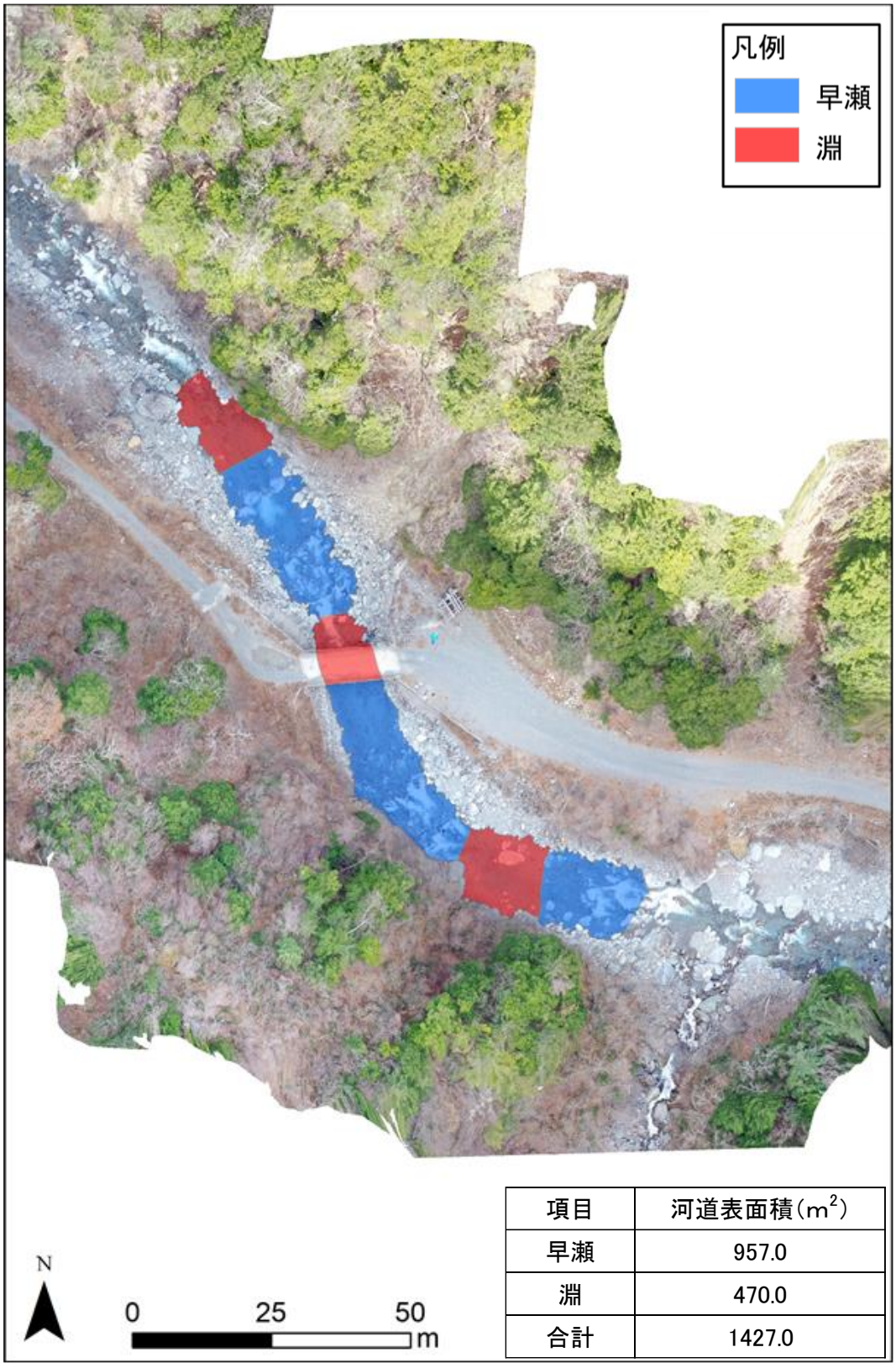
項目	河道表面積(m^2)
早瀬	934.0
淵	425.0
合計	1359.0

図 446 UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度夏季）



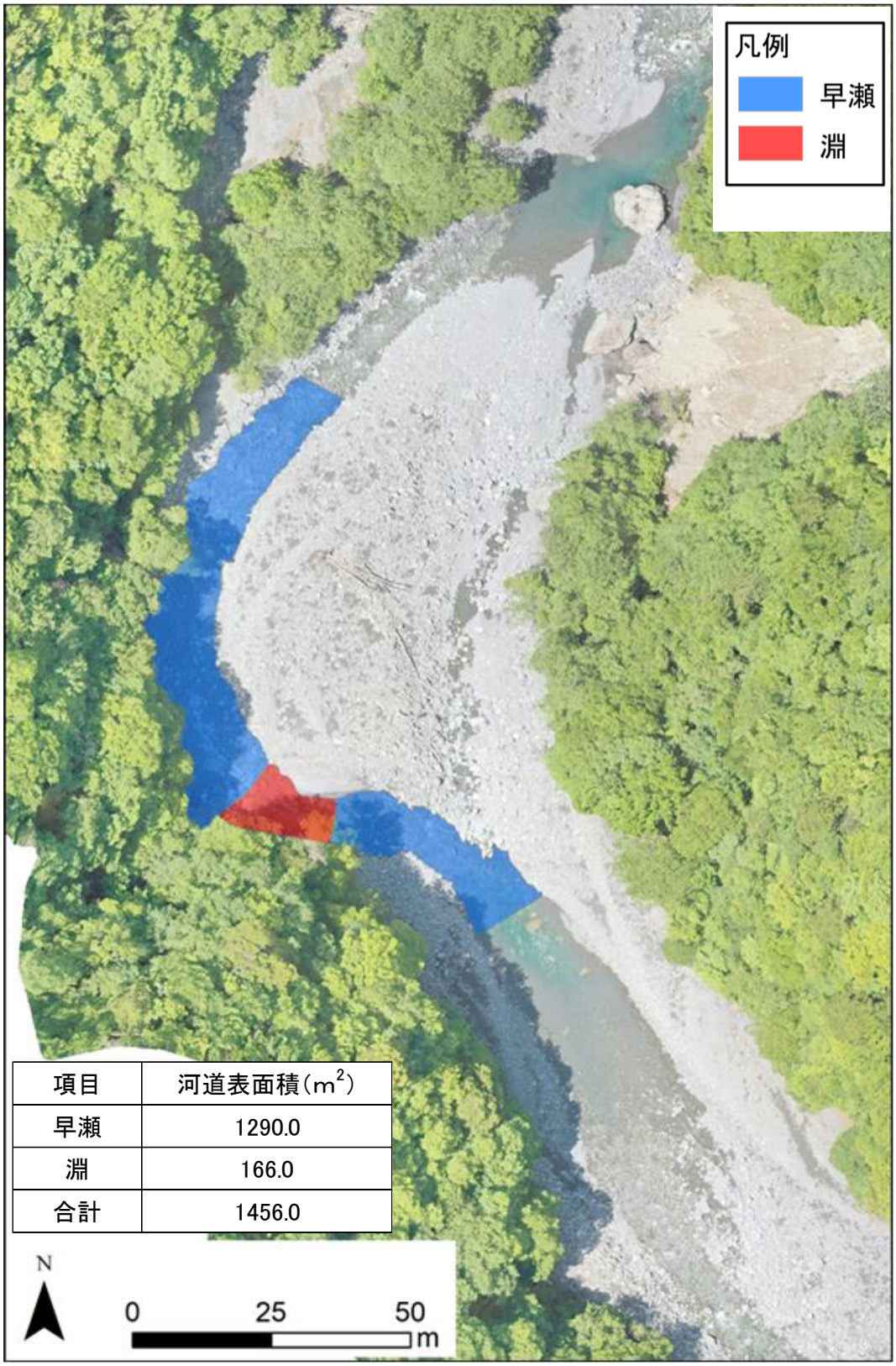
項目	河道表面積(m^2)
早瀬	934.0
淵	419.0
合計	1353.0

図 447 UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度秋季）



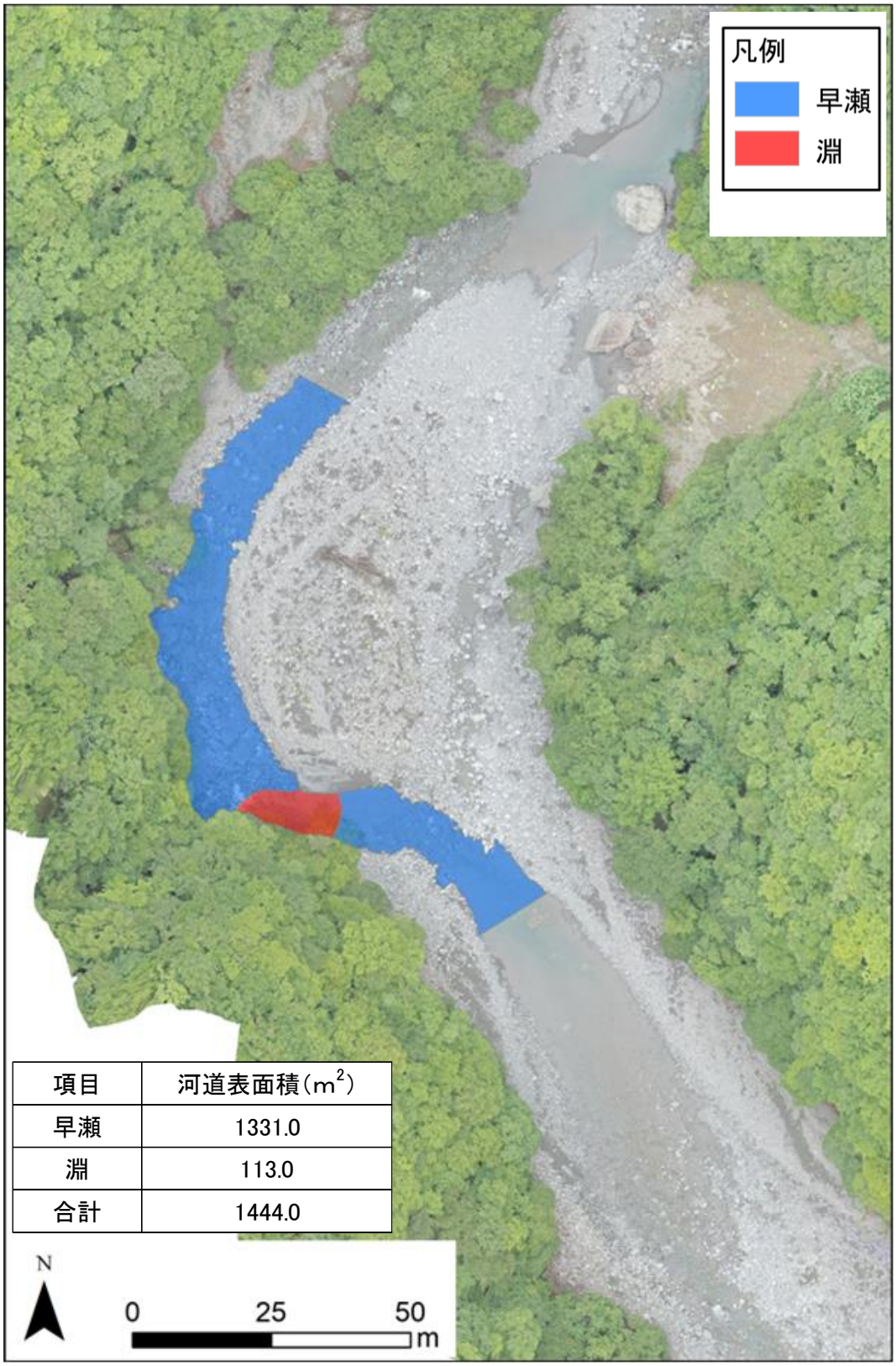
項目	河道表面積(m^2)
早瀬	957.0
淵	470.0
合計	1427.0

図 448 UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度冬季）



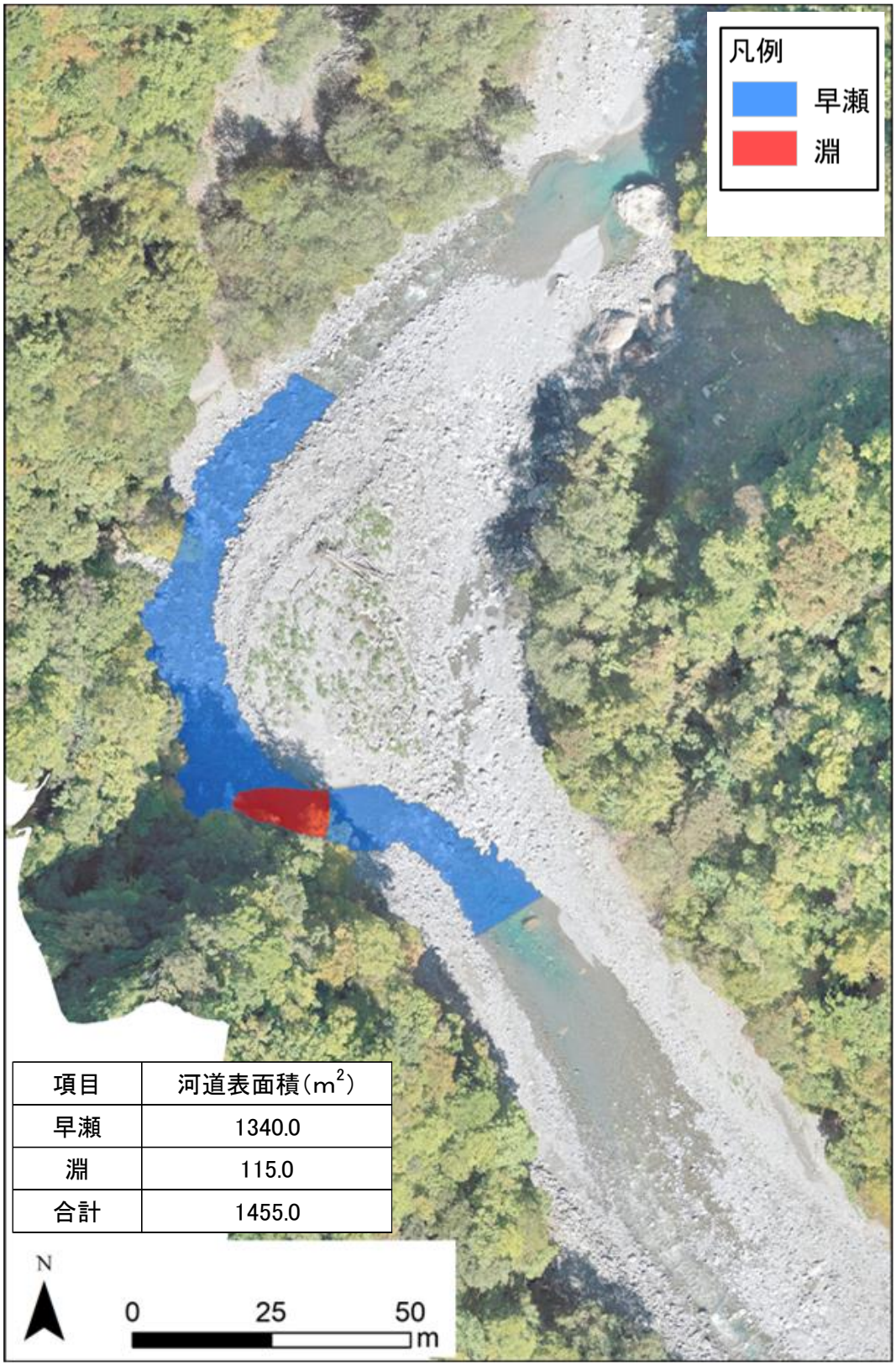
項目	河道表面積(m^2)
早瀬	1290.0
淵	166.0
合計	1456.0

図 449 UAV による調査結果：河 10-3 槌島（放流箇所下流②）（2022 年度春季）



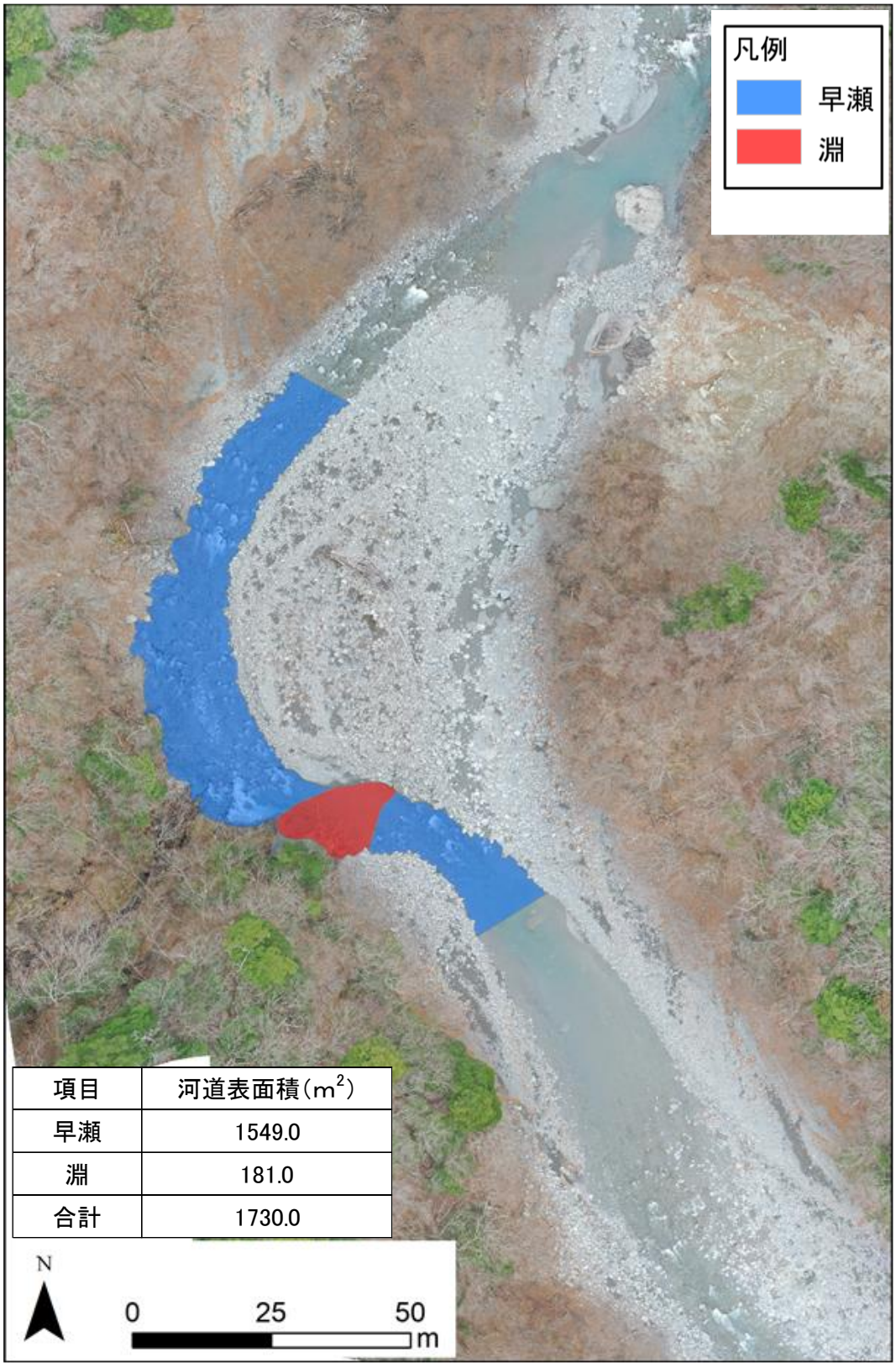
項目	河道表面積(m^2)
早瀬	1331.0
淵	113.0
合計	1444.0

図 450 UAV による調査結果：河 10-3 槌島（放流箇所下流②）（2022 年度夏季）



項目	河道表面積(m^2)
早瀬	1340.0
淵	115.0
合計	1455.0

図 451 UAV による調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2022 年度秋季）



項目	河道表面積(m^2)
早瀬	1549.0
淵	181.0
合計	1730.0

図 452 UAV による調査結果：河 10-3 槌島（放流箇所下流②）（2022 年度冬季）

3.4.5. 調査結果（2023 年度）

生息環境（水質等、流況）について、調査時期、調査地域別の調査結果を、表 589～表 591、図 453～図 460 に示します。

表 589　調査地域、調査時期別の水質等の調査結果（2023 年度春季・夏季）

地点番号	調査地点	調査時期							
		春季				夏季			
		SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)
沢 33	北俣・中俣合流部付近		9.7	7.7	7.9		10.2	8.3	9.4
河 02	西俣（放流箇所下流）	1.0 未満	8.6	8.1	10.5	1.0 未満	9.4	8.2	11.1
河 08-2	千石（放流箇所下流）	1.0 未満	10.2	7.6	16.4	1.0 未満	11.4	7.6	14.6
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	－※	－※	－※	－※	3.4	8.6	7.9	12.8

注１：SS（浮遊物質量）は排水放流箇所の下流地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で計測した。

注２：イワナを中心とした食物連鎖図を作成することとしている３地点（沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））については、四季別のデータを整えることに加えて工事箇所周辺の経年的な水生生物の生息状況の変化を確認するために、工事前調査を継続的に実施することとしている。

注３：「※」は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

表 590　調査地域、調査時期別の水質等の調査結果（2023 年度秋季・冬季）

地点番号	調査地点	調査時期							
		秋季				冬季			
		SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)
沢 33	北俣・中俣合流部付近		9.6	7.8	10.8				
河 02	西俣（放流箇所下流）	1.2	9.2	8.2	12.9	1.0	10.6	7.8	2.1
河 08-2	千石（放流箇所下流）	1.0 未満	8.4	7.8	10.1	1.0 未満	12.6	7.8	2.7
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	1.0 未満	9.0	7.7	13.9	1.0 未満	9.8	7.5	2.0

注１：冬季調査は、主要な３地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で実施する。

注２：SS（浮遊物質量）は排水放流箇所の下流地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で計測した。

注３：イワナを中心とした食物連鎖図を作成することとしている３地点（沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））については、四季別のデータを整えることに加えて工事箇所周辺の経年的な水生生物の生息状況の変化を確認するために、工事前調査を継続的に実施することとしている。

表 591　調査地域、調査時期別の流況の調査結果（2023 年度春季・夏季・秋季・冬季）

地点番号	調査地点	調査時期							
		春季		夏季		秋季		冬季	
		流量（m^3/秒）	流速（m/秒）	流量（m^3/秒）	流速（m/秒）	流量（m^3/秒）	流速（m/秒）	流量（m^3/秒）	流速（m/秒）
沢 33	北俣・中俣合流部付近	1.61	0.61	2.31	0.98	0.75	0.59		
河 02	西俣（放流箇所下流）	3.23	0.75	0.94	0.64	0.81	0.60	0.69	0.54
河 08-2	千石（放流箇所下流）	7.07	0.85	7.44	0.80	6.33	0.69	3.85	0.53
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	—※	—※	3.97	0.92	2.26	0.62	1.70	0.51

注１：各調査地点の瀬の代表１断面で実施した結果を記載した。

注２：冬季調査は、主要な３地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で実施する。

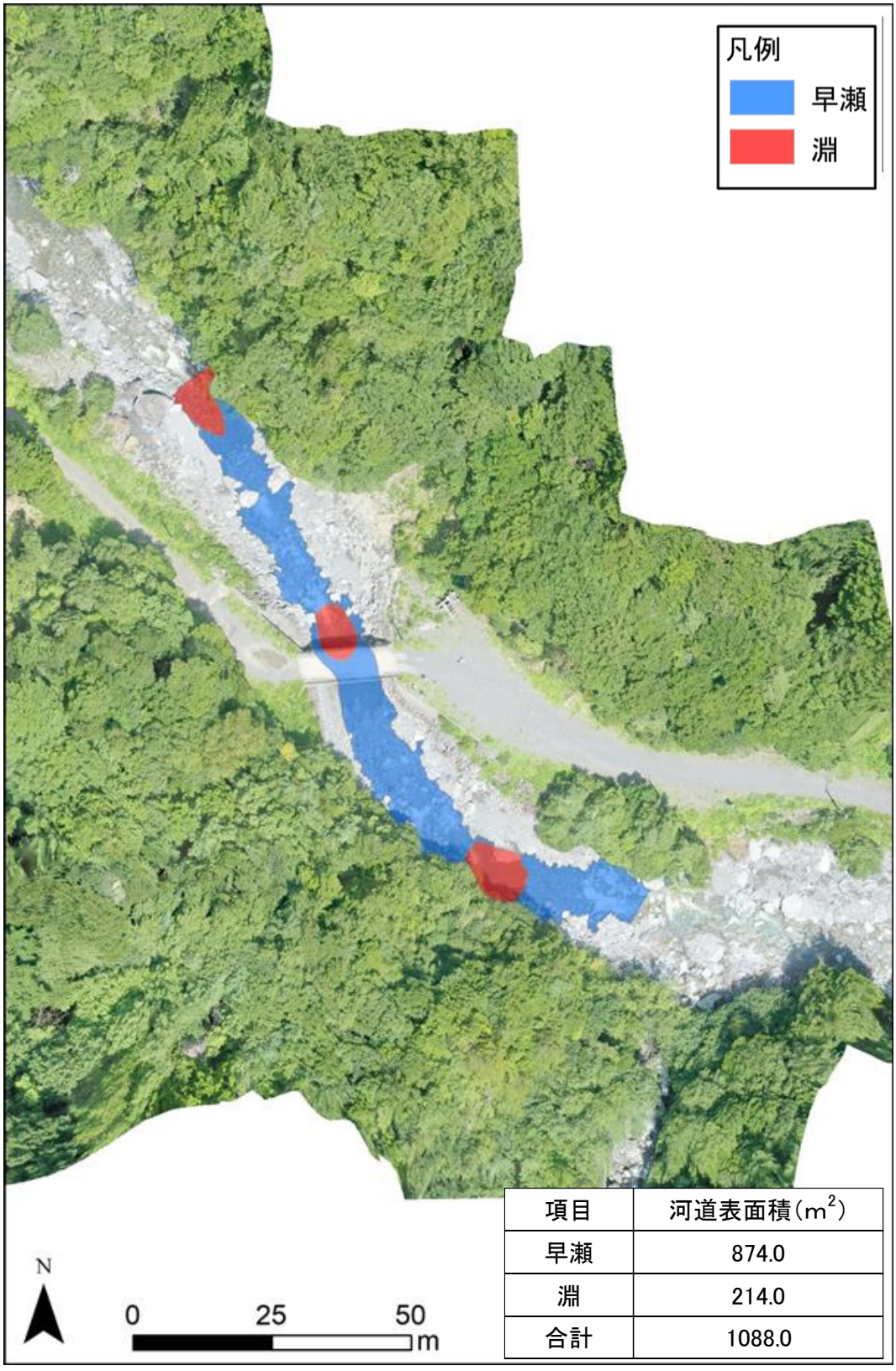
注３：イワナ類等を中心とした食物連鎖図を作成することとしている３地点（沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））については、四季別のデータを整えることに加えて工事箇所周辺の経年的な水生生物の生息状況の変化を確認するために、工事前調査を継続的に実施することとしている。

注３：「※」は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。



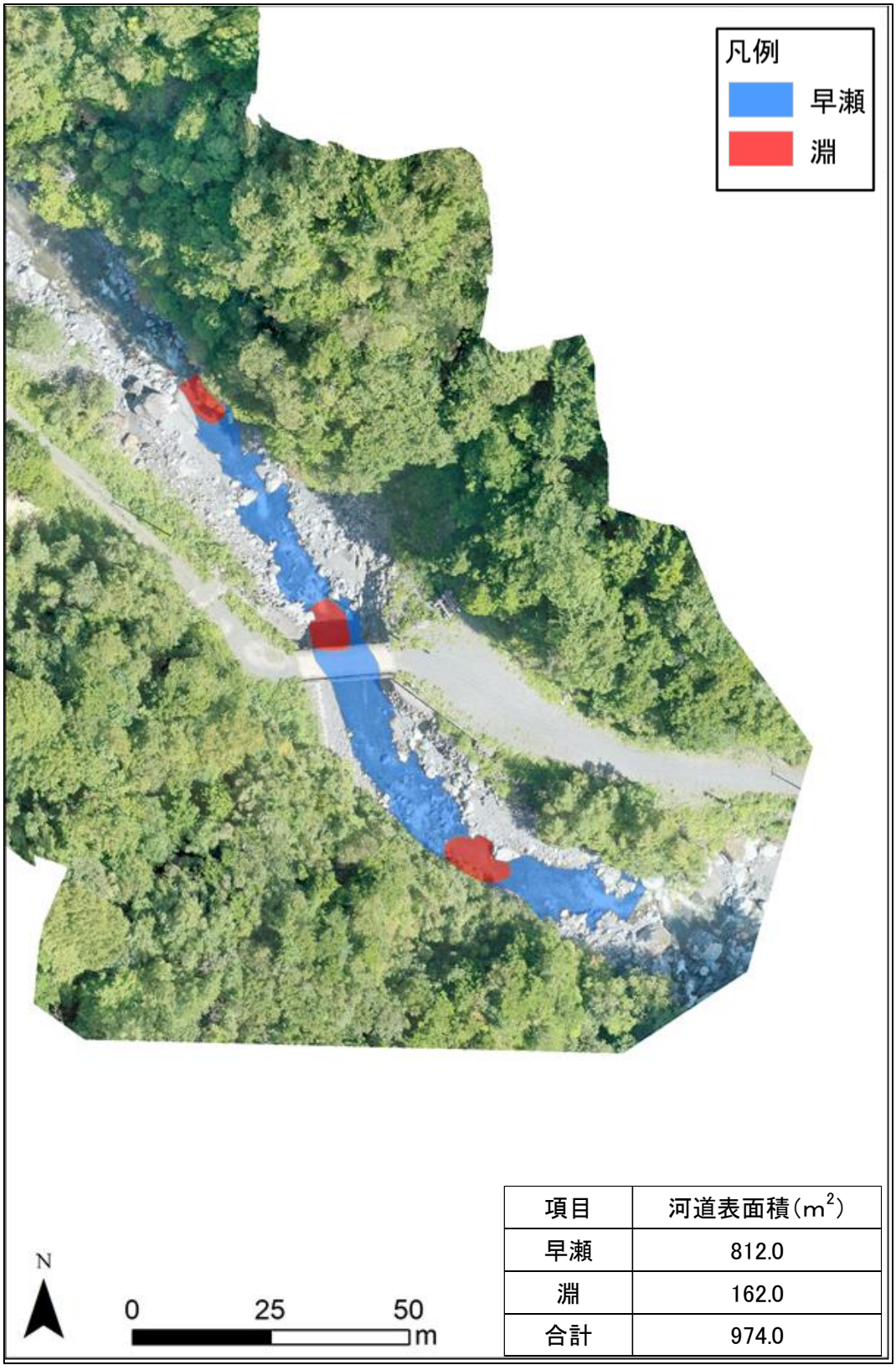
項目	河道表面積(m^2)
早瀬	866.0
淵	288.0
合計	1154.0

図 453　UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度春季）



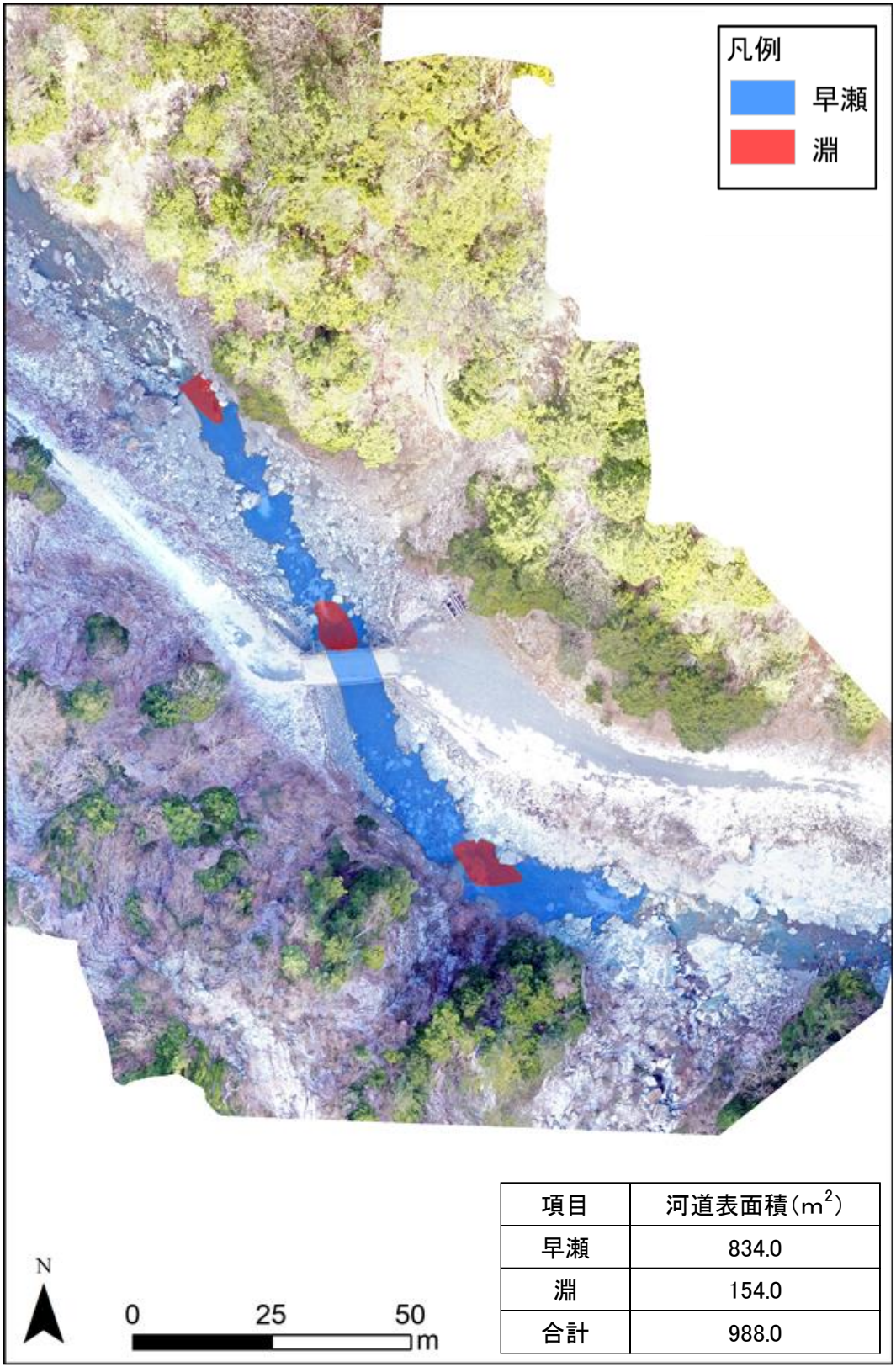
項目	河道表面積(m^2)
早瀬	874.0
淵	214.0
合計	1088.0

図 454　UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度夏季）



項目	河道表面積(m^2)
早瀬	812.0
淵	162.0
合計	974.0

図 455　UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度秋季）



項目	河道表面積(m^2)
早瀬	834.0
淵	154.0
合計	988.0

図 456　UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度冬季）

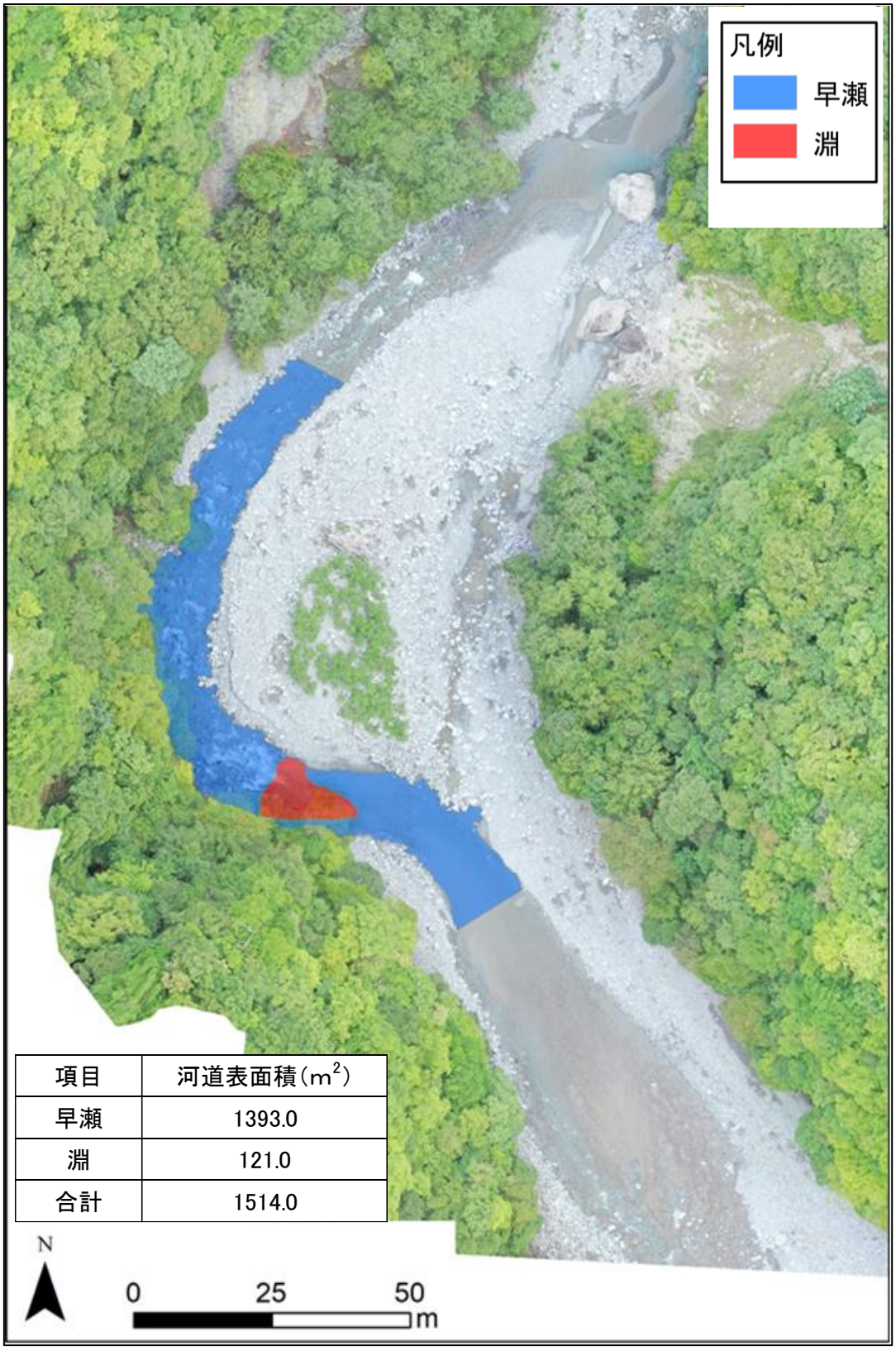


項目	河道表面積(m^2)
早瀬	1270.0
淵	254.0
合計	1524.0

図 457　UAV による調査結果：河 10-3 槌島（放流箇所下流②）（2023 年度春季）



図 458　UAV による調査結果：河 10-3 槌島（放流箇所下流②）（2023 年度夏季）



項目	河道表面積(m^2)
早瀬	1393.0
淵	121.0
合計	1514.0

図 459　UAV による調査結果：河 10-3 槌島（放流箇所下流②）（2023 年度秋季）



項目	河道表面積(m^2)
早瀬	1216.0
淵	117.0
合計	1333.0

図 460　UAV による調査結果：河 10-3 槌島（放流箇所下流②）（2023 年度冬季）

3.4.6. 調査結果（2024 年度）

生息環境（水質等、流況）について、調査時期、調査地域別の調査結果を、表 592～表 596、図 461～図 472 に示します。

表 592　調査地域、調査時期別の水質等の調査結果（2024 年度春季・夏季）

地点番号	調査地点	調査時期							
		春季				夏季			
		SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)
沢 33	北俣・中俣合流部付近		―※	―※	―※		―※	―※	―※
河 02	西俣（放流箇所下流）	1.0 未満	9.9	6.9	5.8	1.0 未満	9.3	6.9	11.6
河 08-2	千石（放流箇所下流）	1.0 未満	10.2	7.6	16.4	1.0 未満	11.4	7.6	14.6
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	1.0 未満	10.6	7.8	8.7	1.0 未満	9.2	7.8	13.2

注１：SS（浮遊物質量）は排水放流箇所の下流地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で計測した。

注２：イワナを中心とした食物連鎖図を作成することとしている３地点（沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））については、四季別のデータを整えることに加えて工事箇所周辺の経年的な水生生物の生息状況の変化を確認するために、工事前調査を継続的に実施することとしている。

注３：「※」は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

表 593　調査地域、調査時期別の水質等の調査結果（2024 年度秋季・冬季）

地点番号	調査地点	調査時期							
		秋季				冬季			
		SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)
沢 33	北俣・中俣合流部付近		11.0	7.8	10.9				
河 02	西俣（放流箇所下流）	1.0 未満	10.1	8.0	11.8	1.0	12.6	7.4	2.7
河 08-2	千石（放流箇所下流）	1.0 未満	8.4	7.8	10.1	1.0 未満	12.6	7.8	2.7
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	1.0 未満	9.9	7.5	13.6	1.0 未満	12.8	7.8	3.9

注１：SS（浮遊物質量）は排水放流箇所の下流地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で計測した。

注２：イワナを中心とした食物連鎖図を作成することとしている３地点（沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））については、四季別のデータを整えることに加えて工事箇所周辺の経年的な水生生物の生息状況の変化を確認するために、工事前調査を継続的に実施することとしている。

注３：「※」は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

表 594　調査地域、調査時期別の流況の調査結果（2024 年度春季・夏季・秋季・冬季）

地点番号	調査地点	調査時期							
		春季		夏季		秋季		冬季	
		流量（m^3/秒）	流速（m/秒）	流量（m^3/秒）	流速（m/秒）	流量（m^3/秒）	流速（m/秒）	流量（m^3/秒）	流速（m/秒）
沢 33	北俣・中俣合流部付近	―※	―※	―※	―※	1.41	0.52		
河 02	西俣（放流箇所下流）	1.61	0.70	0.61	0.36	0.49	0.29	0.84	0.42
河 08-2	千石（放流箇所下流）	7.07	0.85	7.44	0.80	6.33	0.69	3.85	0.53
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	1.35	0.45	1.15	0.33	1.44	0.50	1.16	0.46

注１：各調査地点の瀬の代表１断面で実施した結果を記載した。

注２：冬季調査は、主要な３地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で実施することとしている。

注３：イワナを中心とした食物連鎖図を作成することとしている３地点（沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））については、四季別のデータを整えることに加えて工事箇所周辺の経年的な水生生物の生息状況の変化を確認するために、工事前調査を継続的に実施することとしている。

注４：「※」は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

表 595　調査地域、調査時期別の生息場毎の面積の調査結果（2024 年度春季・夏季）

地点番号	調査地点	調査時期							
		春季				夏季			
		平瀬	早瀬	淵	その他	平瀬	早瀬	淵	その他
沢 33	北俣・中俣合流部付近	―※	―※	―※	―※	―※	―※	―※	―※
河 02	西俣（放流箇所下流）	500.0	588.0	505.0	57.0	345.0	388.0	475.0	28.0
河 08-2	千石（放流箇所下流）	653.0	3,357.0	550.0	292.0	461.0	3,889.0	355.0	247.0
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	553.0	802.0	189.0	14.0	818.0	554.0	230.0	0.0

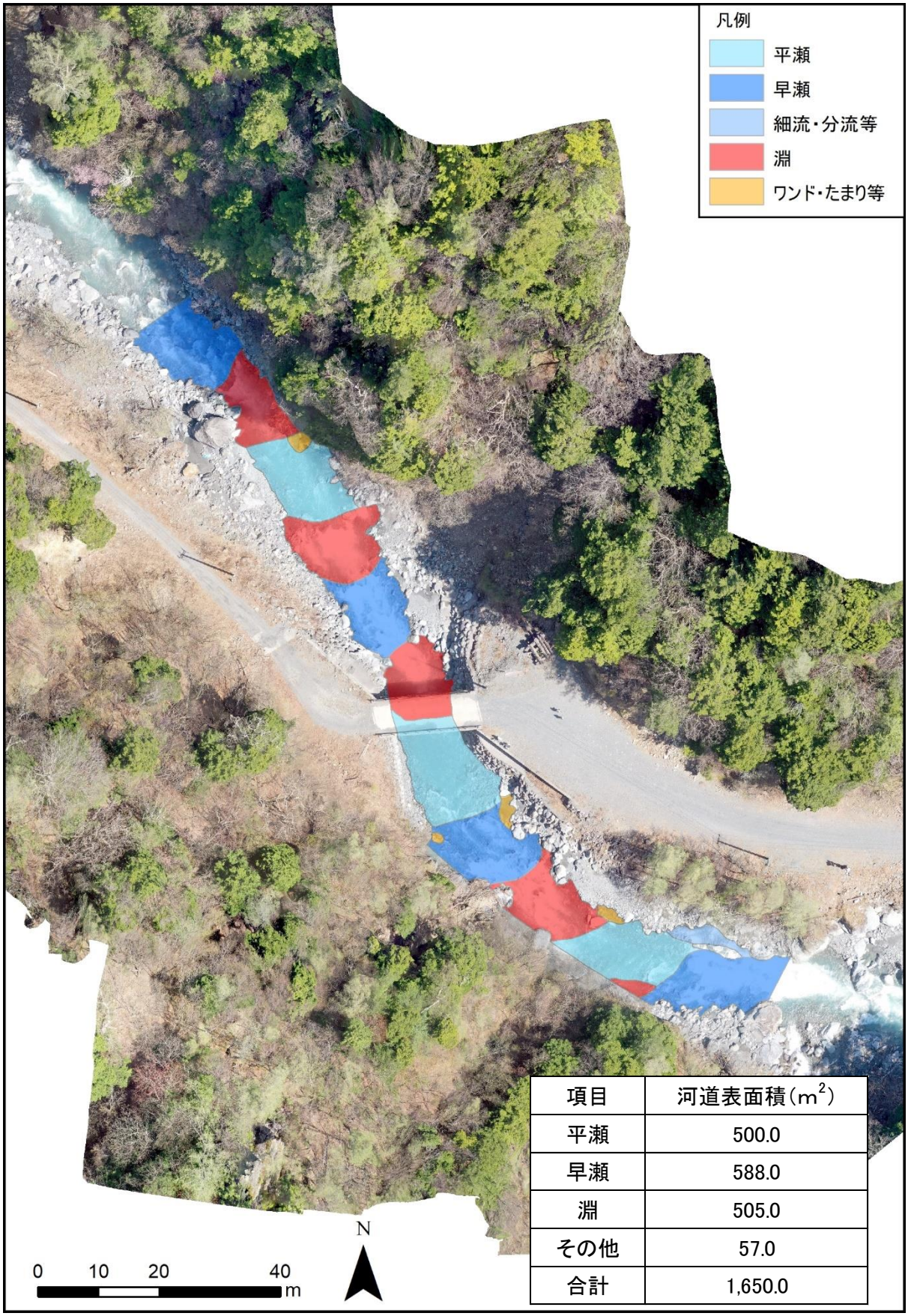
注１：「※」は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

注２：「その他」は、ワンド・たまり等を示す。

表 596　調査地域、調査時期別の生息場毎の面積の調査結果（2024 年度秋季・冬季）

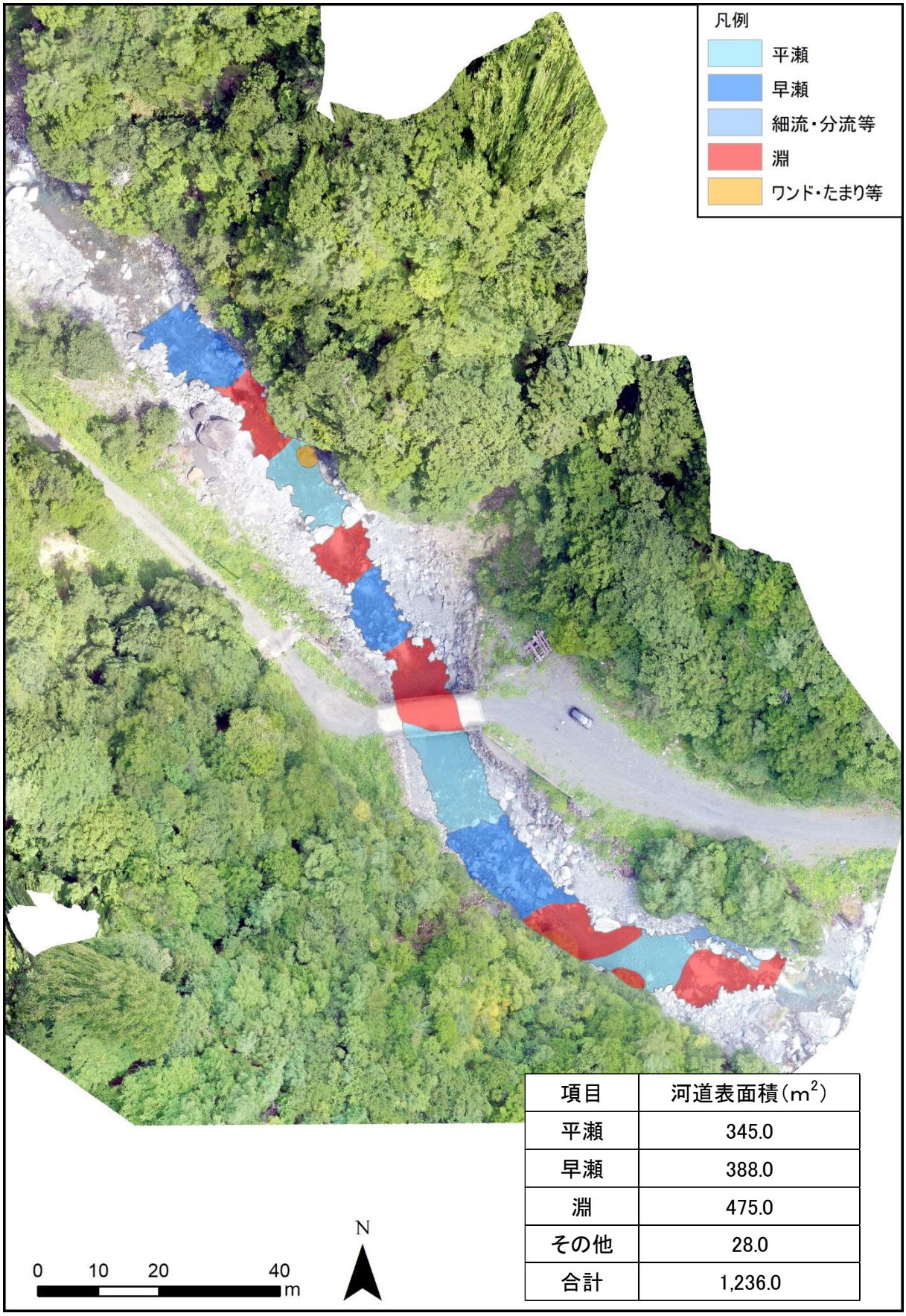
地点番号	調査地点	調査時期							
		秋季				冬季			
		平瀬	早瀬	淵	その他	平瀬	早瀬	淵	その他
沢 33	北俣・中俣合流部付近	30.0	760.0	787.0	0.0				
河 02	西俣（放流箇所下流）	434.0	592.0	552.0	58.0	304.0	413.0	413.0	51.0
河 08-2	千石（放流箇所下流）	823.0	3,775.0	333.0	178.0	681.0	2,431.0	598.0	84.0
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	808.0	546.0	205.0	0.0	479.0	778.0	170.0	0.0

注：「その他」は、ワンド・たまり等を示す。



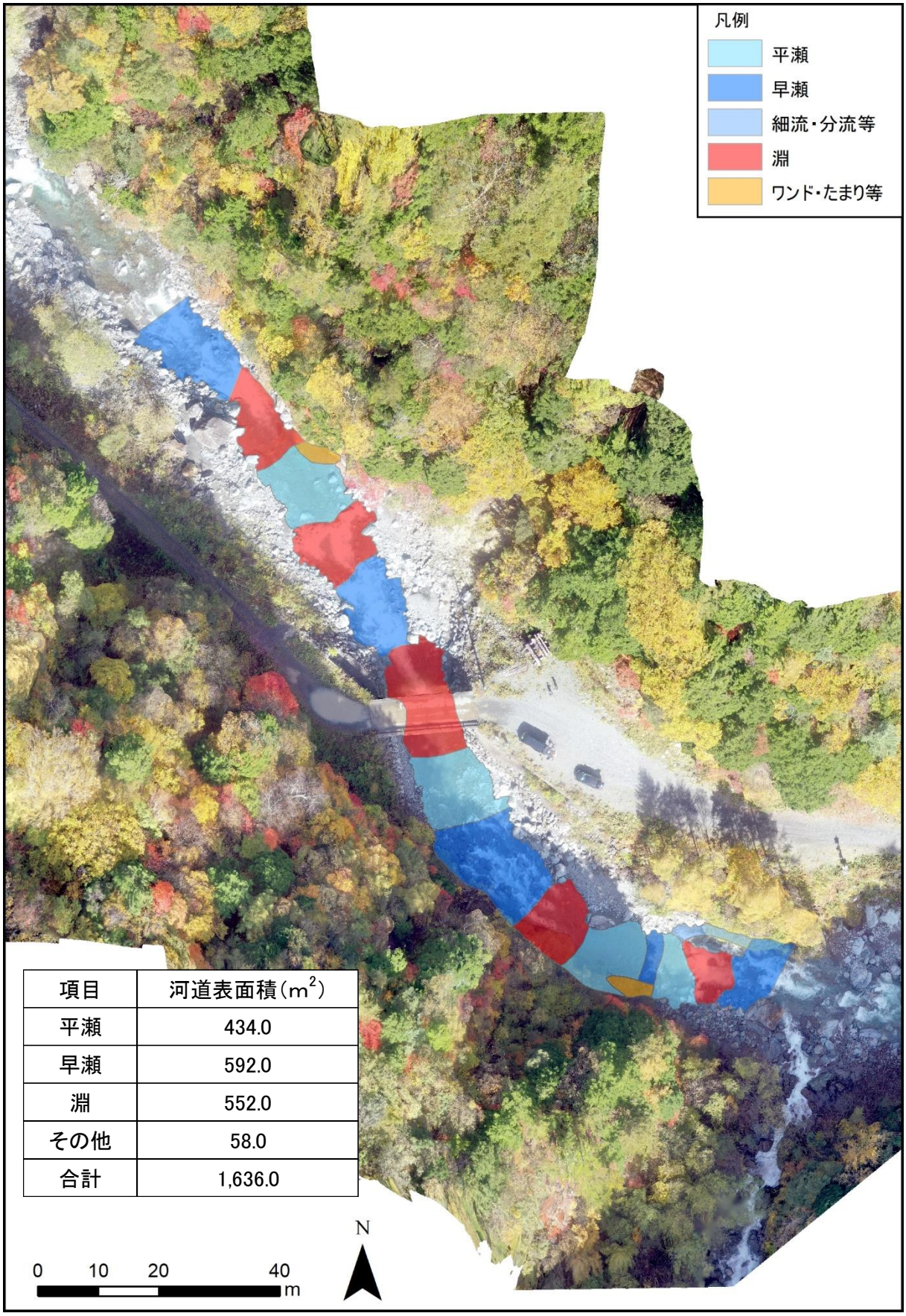
項目	河道表面積(m^2)
平瀬	500.0
早瀬	588.0
淵	505.0
その他	57.0
合計	1,650.0

図 461 UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度春季）



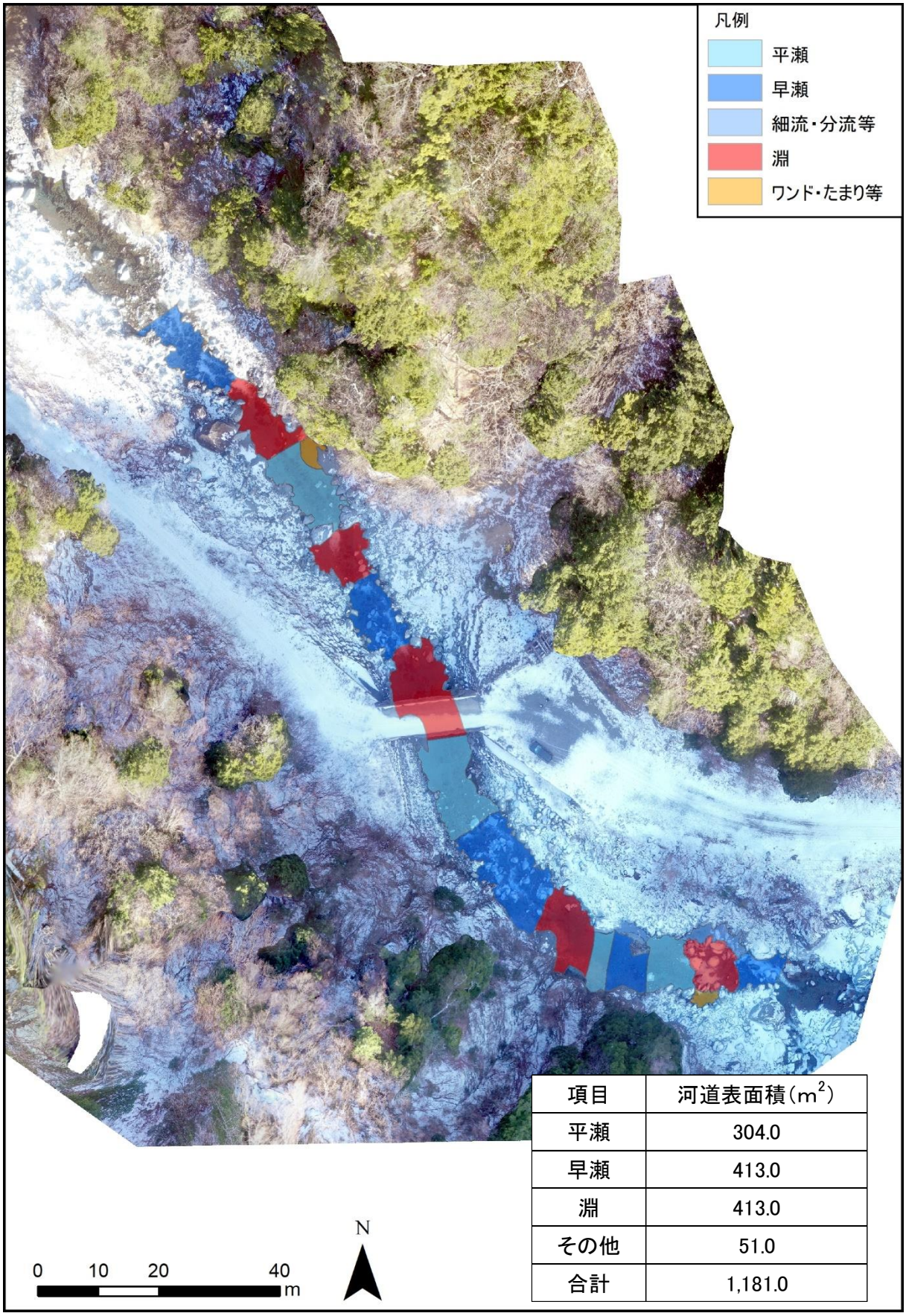
項目	河道表面積(m^2)
平瀬	345.0
早瀬	388.0
淵	475.0
その他	28.0
合計	1,236.0

図 462 UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度夏季）



項目	河道表面積(m^2)
平瀬	434.0
早瀬	592.0
淵	552.0
その他	58.0
合計	1,636.0

図 463 UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度秋季）



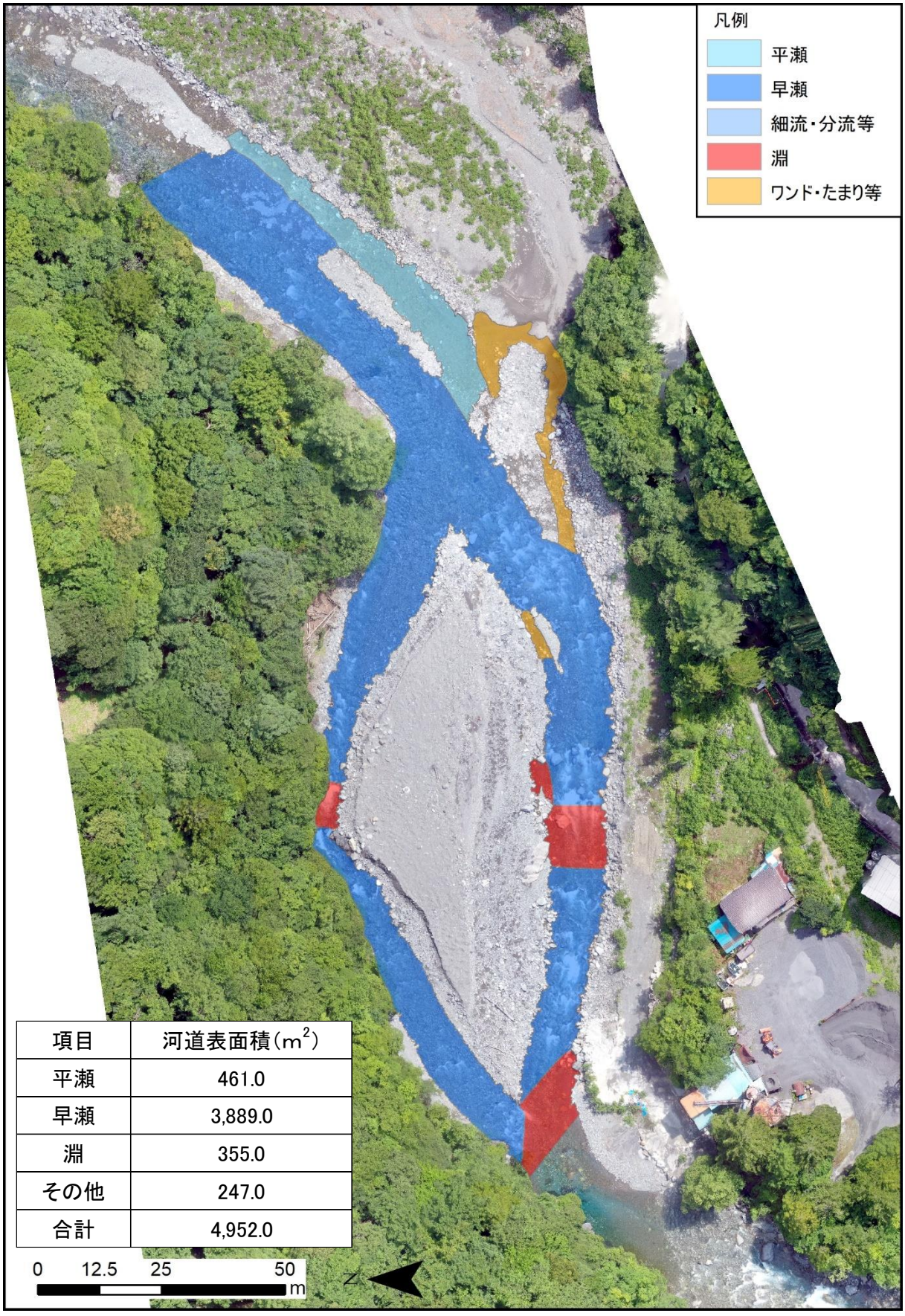
項目	河道表面積(m^2)
平瀬	304.0
早瀬	413.0
淵	413.0
その他	51.0
合計	1,181.0

図 464 UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度冬季）



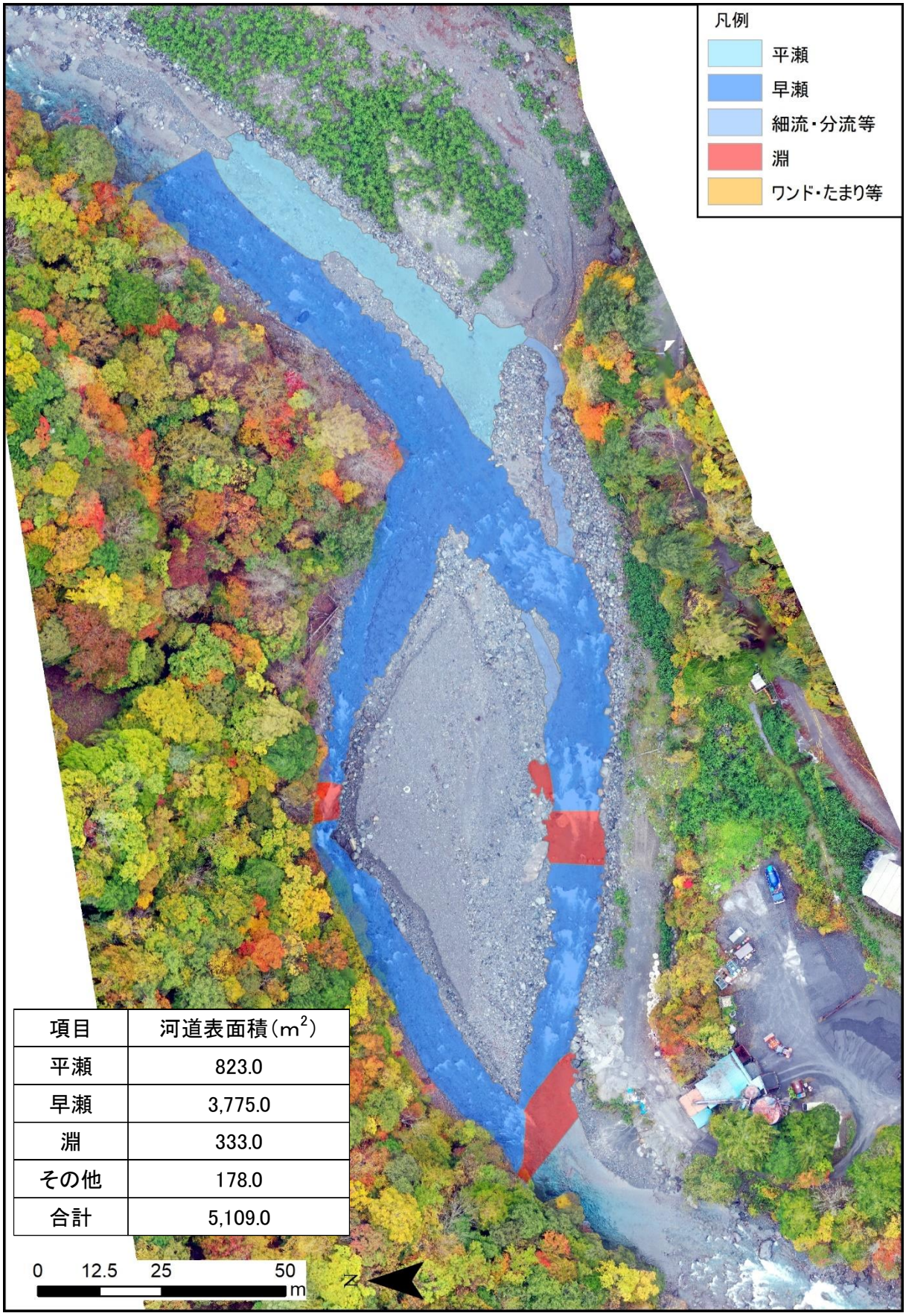
項目	河道表面積(m^2)
平瀬	653.0
早瀬	3,357.0
淵	550.0
その他	292.0
合計	4,852.0

図 465 UAV による調査結果：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2024 年度春季）



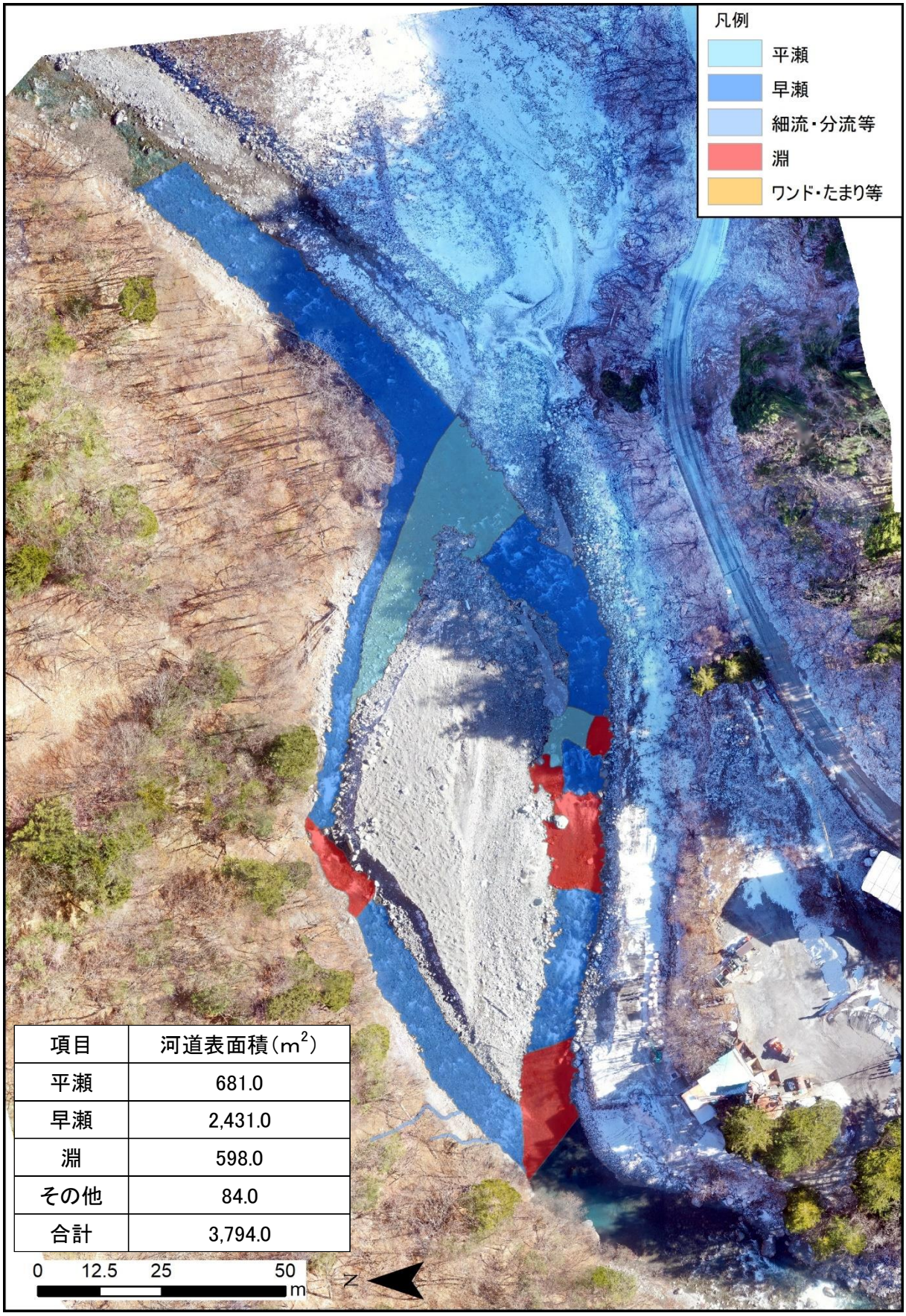
項目	河道表面積(m^2)
平瀬	461.0
早瀬	3,889.0
淵	355.0
その他	247.0
合計	4,952.0

図 466 UAV による調査結果：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2024 年度夏季）



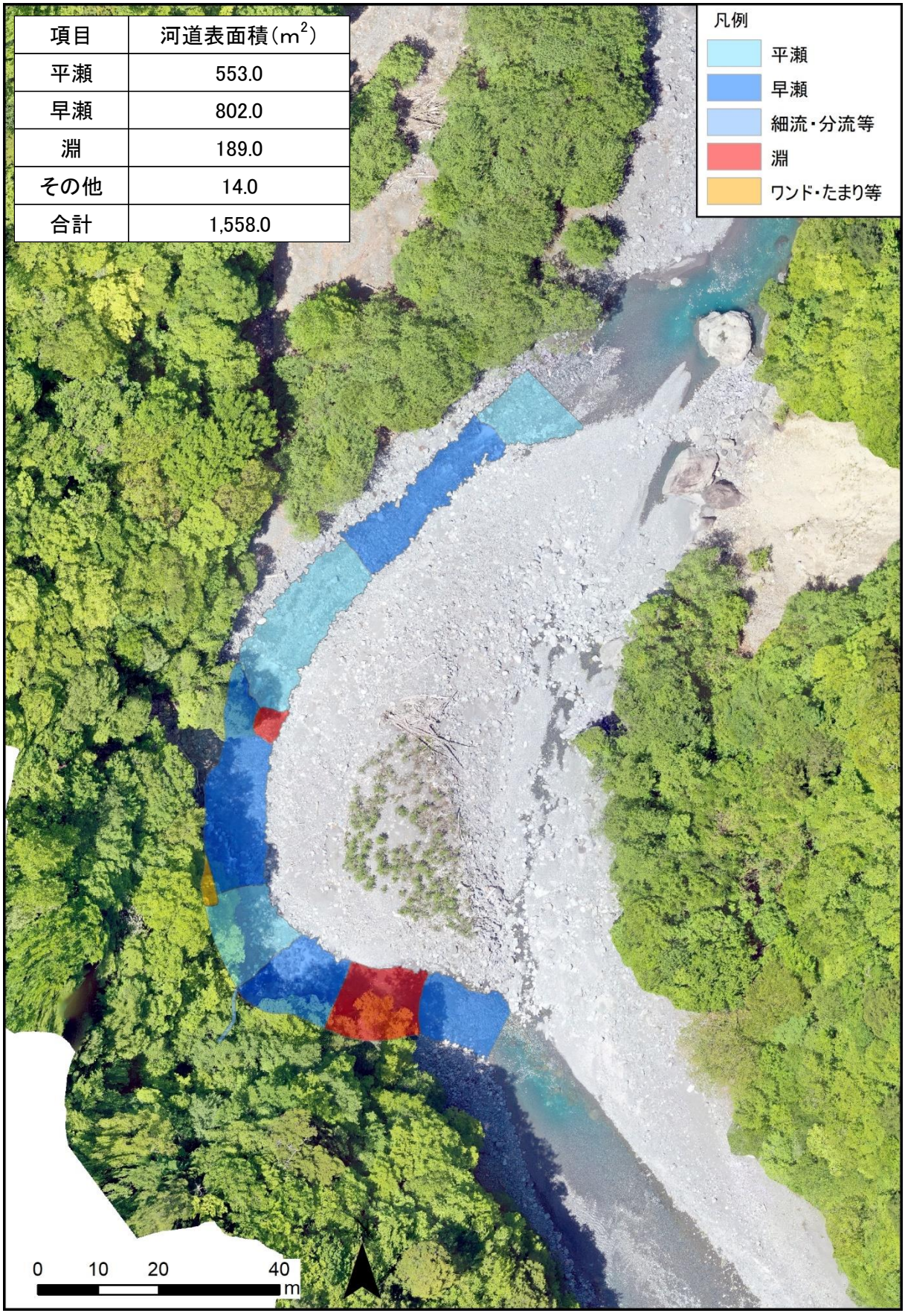
項目	河道表面積(m^2)
平瀬	823.0
早瀬	3,775.0
淵	333.0
その他	178.0
合計	5,109.0

図 467 UAV による調査結果：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2024 年度秋季）



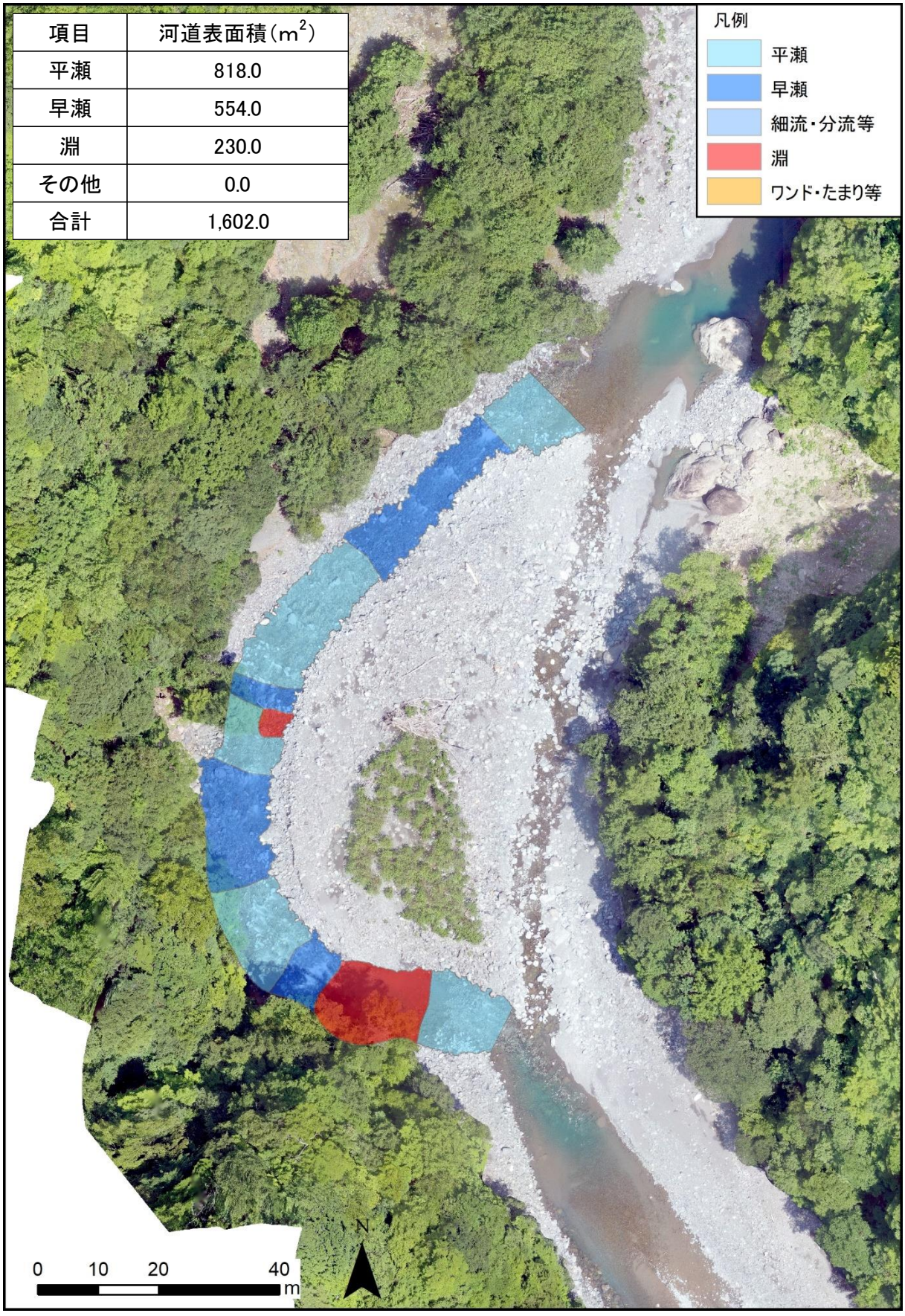
項目	河道表面積(m^2)
平瀬	681.0
早瀬	2,431.0
淵	598.0
その他	84.0
合計	3,794.0

図 468 UAV による調査結果：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2024 年度冬季）



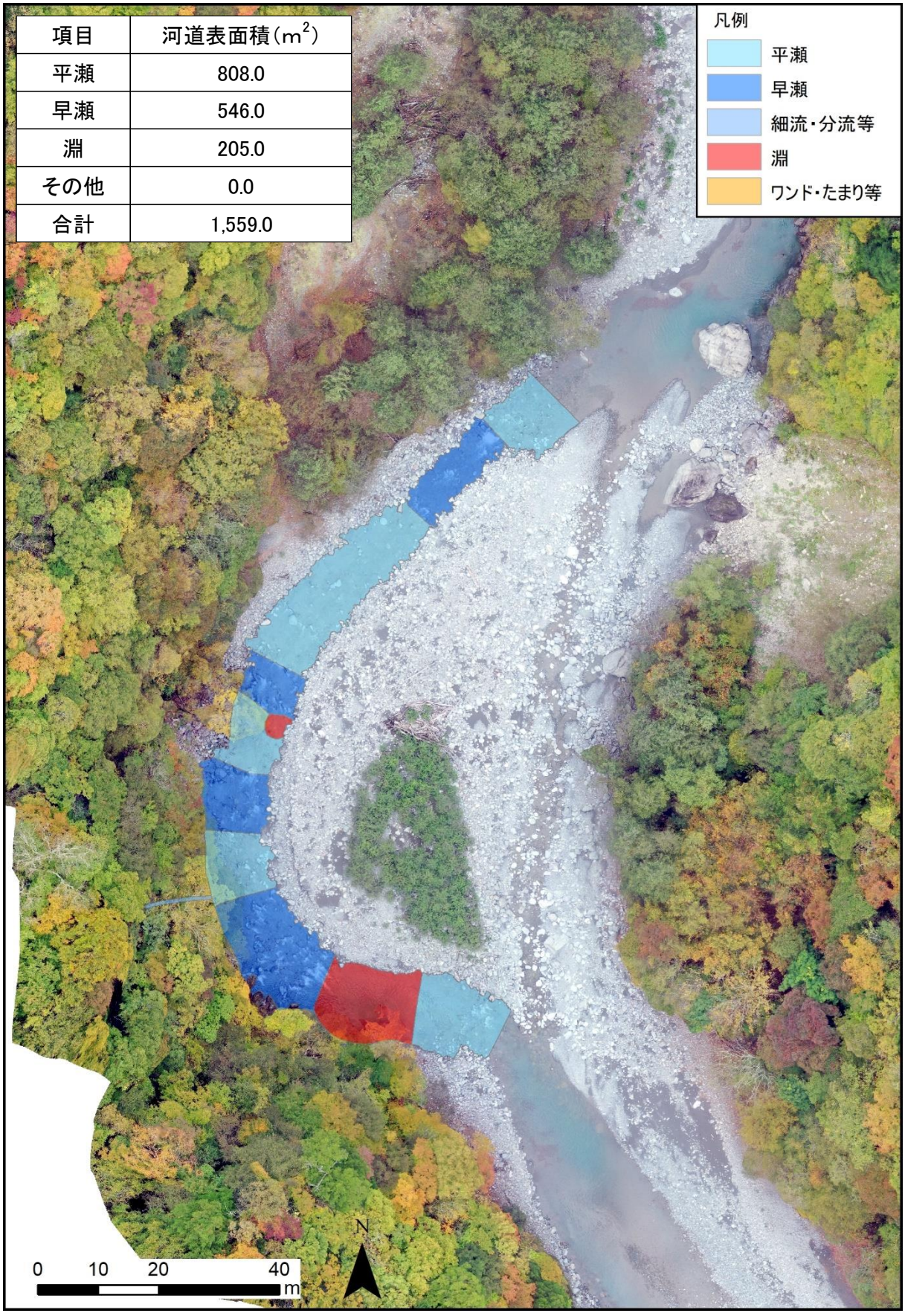
項目	河道表面積(m^2)
平瀬	553.0
早瀬	802.0
淵	189.0
その他	14.0
合計	1,558.0

図 469 UAV による調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度春季）



項目	河道表面積(m^2)
平瀬	818.0
早瀬	554.0
淵	230.0
その他	0.0
合計	1,602.0

図 470 UAV による調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度夏季）



項目	河道表面積(m^2)
平瀬	808.0
早瀬	546.0
淵	205.0
その他	0.0
合計	1,559.0

図 471 UAV による調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度秋季）

項目	河道表面積(m^2)
平瀬	479.0
早瀬	778.0
淵	170.0
その他	0.0
合計	1,427.0

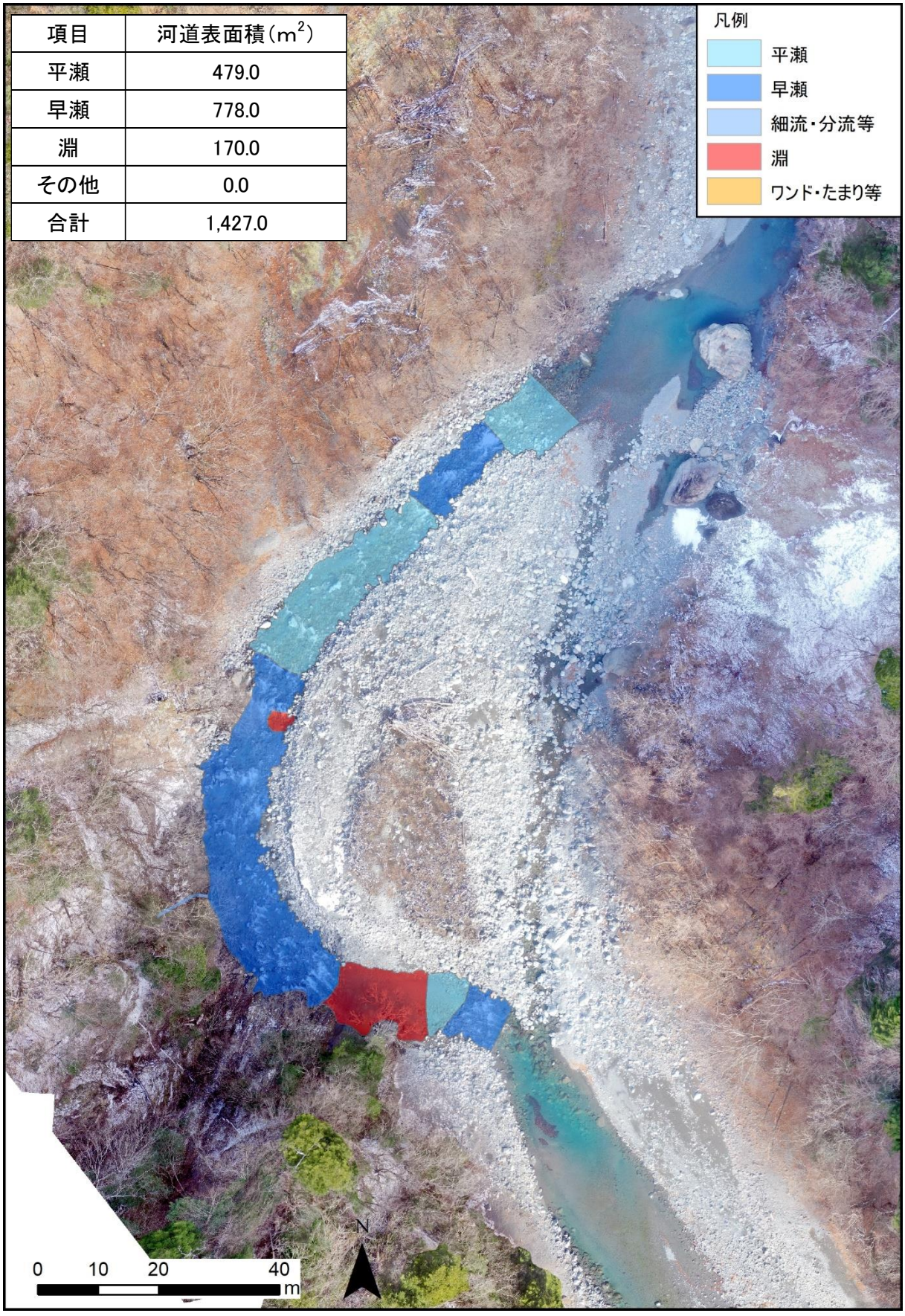


図 472 UAV による調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度冬季）

3.4.7. 調査結果（2025 年度）

生息環境（水質等、流況）について、調査時期、調査地域別の調査結果を、表 597～表 601、図 473～図 484 に示します。

表 597　調査地域、調査時期別の水質等の調査結果（2025 年度春季・夏季）

地点番号	調査地点	調査時期							
		春季				夏季			
		SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)
沢 33	北俣・中俣合流部付近		10.28	8.04	8.0		10.33	7.82	10.2
河 02	西俣（放流箇所下流）	1.0 未満	11.33	8.19	7.5	1.0 未満	9.38	7.81	13.5
河 08-2	千石（放流箇所下流）	2.0	10.43	8.03	8.4	1.4	9.77	7.95	14.7
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	5.2	10.57	7.89	9.5	1.8	11.13	7.85	11.9

注１：SS（浮遊物質量）は排水放流箇所の下流地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で計測した。

注２：イワナを中心とした食物連鎖図を作成することとしている３地点（沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））については、四季別のデータを整えることに加えて工事箇所周辺の経年的な水生生物の生息状況の変化を確認するために、工事前調査を継続的に実施することとしている。

表 598　調査地域、調査時期別の水質等の調査結果（2025 年度秋季・冬季）

地点番号	調査地点	調査時期							
		秋季				冬季			
		SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)
沢 33	北俣・中俣合流部付近		10.62	8.05	9.7				
河 02	西俣（放流箇所下流）	1.0 未満	11.35	7.48	9.5	1.0 未満	10.68	8.15	2.9
河 08-2	千石（放流箇所下流）	1.0 未満	10.12	7.97	10.9	1.0 未満	11.13	8.08	2.6
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	1.0 未満	9.74	8.31	13.3	1.0 未満	10.83	6.91	4.2

注１：SS（浮遊物質量）は排水放流箇所の下流地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で計測した。

注２：イワナを中心とした食物連鎖図を作成することとしている３地点（沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））については、四季別のデータを整えることに加えて工事箇所周辺の経年的な水生生物の生息状況の変化を確認するために、工事前調査を継続的に実施することとしている。

表 599　調査地域、調査時期別の流況の調査結果（2025 年度春季・夏季・秋季・冬季）

地点番号	調査地点	調査時期							
		春季		夏季		秋季		冬季	
		流量（m^3/秒）	流速（m/秒）	流量（m^3/秒）	流速（m/秒）	流量（m^3/秒）	流速（m/秒）	流量（m^3/秒）	流速（m/秒）
沢 33	北俣・中俣合流部付近	2.233	0.784	1.398	0.711	0.888	0.764		
河 02	西俣（放流箇所下流）	1.114	0.655	0.746	0.355	0.497	0.166	0.404	0.317
河 08-2	千石（放流箇所下流）	—※	—※	5.655	0.925	3.861	0.696	2.509	0.603
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	1.685	0.386	1.167	0.383	0.834	0.391	2.529	0.586

注１：各調査地点の瀬の代表１断面で実施した結果を記載した。
注２：冬季調査は、主要な３地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 08-2 千石（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で実施することとしている。
注３：イワナを中心とした食物連鎖図を作成することとしている３（沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））については、四季別のデータを整えることに加えて工事箇所周辺の経年的な水生生物の生息状況の変化を確認するために、工事前調査を継続的に実施することとしている。
注４：「※」は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

表 600　調査地域、調査時期別の生息場毎の面積の調査結果（2025 年度春季・夏季）

地点番号	調査地点	調査時期									
		春季					夏季				
		小滝	早瀬	平瀬	淵	その他	小滝	早瀬	平瀬	淵	その他
沢 33	北俣・中俣合流部付近	37	820	0	445	0	39	870	0	374	0
河 02	西俣（放流箇所下流）	0	676	367	507	0	0	791	327	381	10
河 08-2	千石（放流箇所下流）	0	3,090	1,055	440	870	0	3,361	493	118	127
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	0	515	722	306	17	0	529	684	240	7

注１：「その他」は、ワンド・たまり等を示す。

表 601　調査地域、調査時期別の生息場毎の面積の調査結果（2025 年度秋季・冬季）

地点番号	調査地点	調査時期									
		秋季					冬季				
		小滝	早瀬	平瀬	淵	その他	小滝	早瀬	平瀬	淵	その他
沢 33	北俣・中俣合流部付近	49	862	0	350	0					
河 02	西俣（放流箇所下流）	0	345	223	418	26	0	353	202	495	32
河 08-2	千石（放流箇所下流）	0	2,776	83	109	168	0	1,519	858	182	117
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	0	509	893	187	0	0	632	715	177	12

注：「／」は、非対象項目であることを示す。
注：「その他」は、ワンド・たまり等を示す。

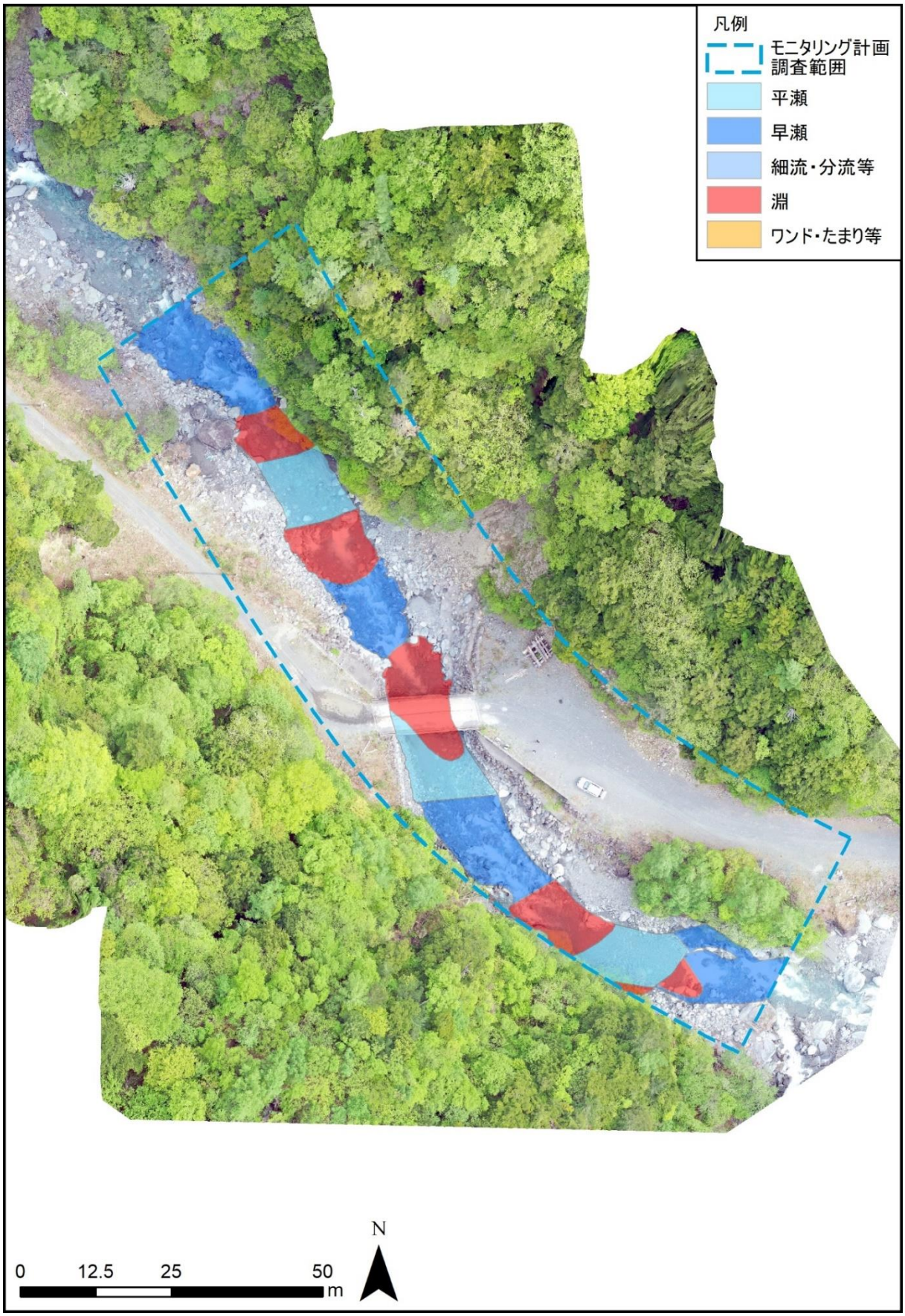


図 473 UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度春季）

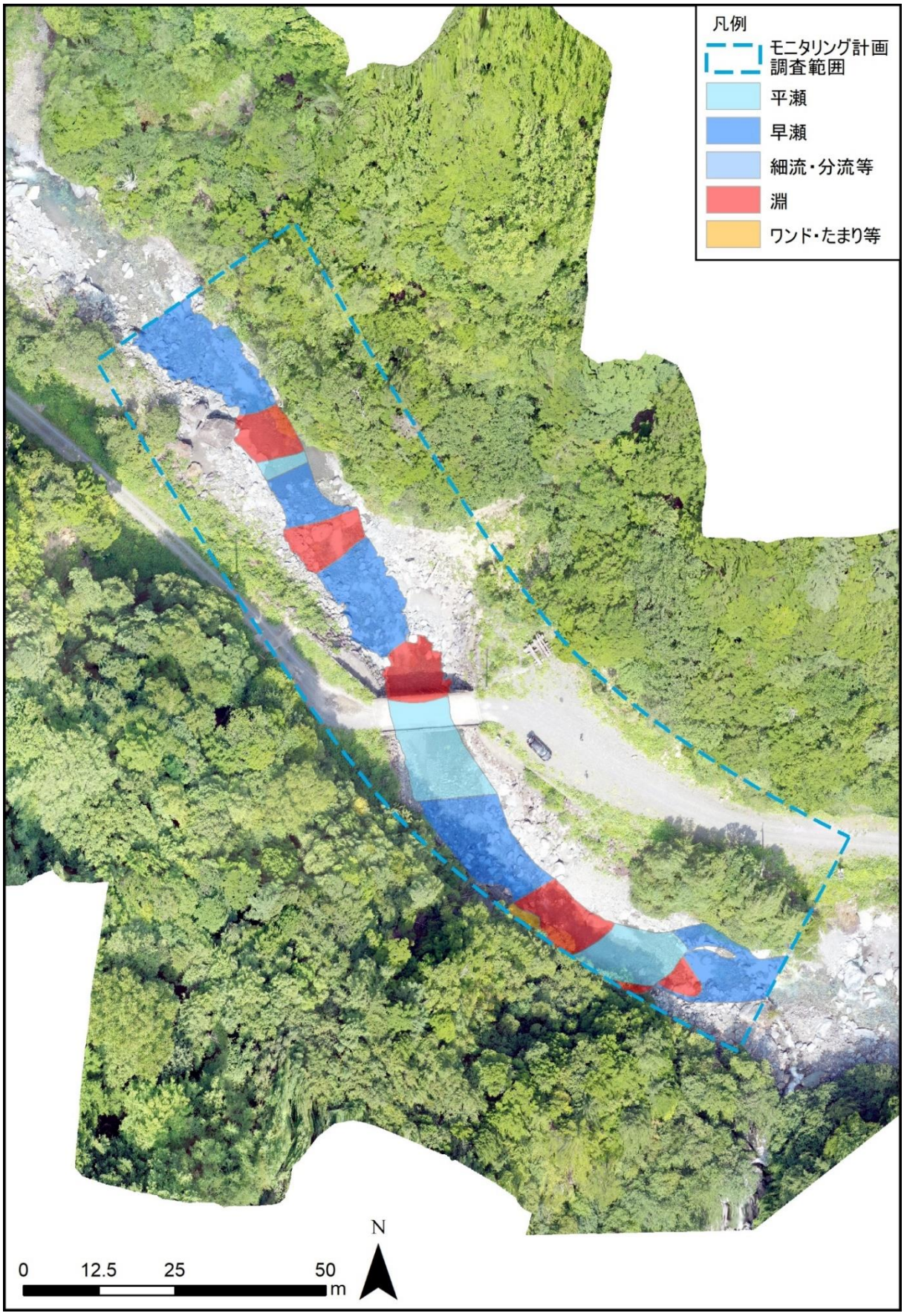


図 474 UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度夏季）

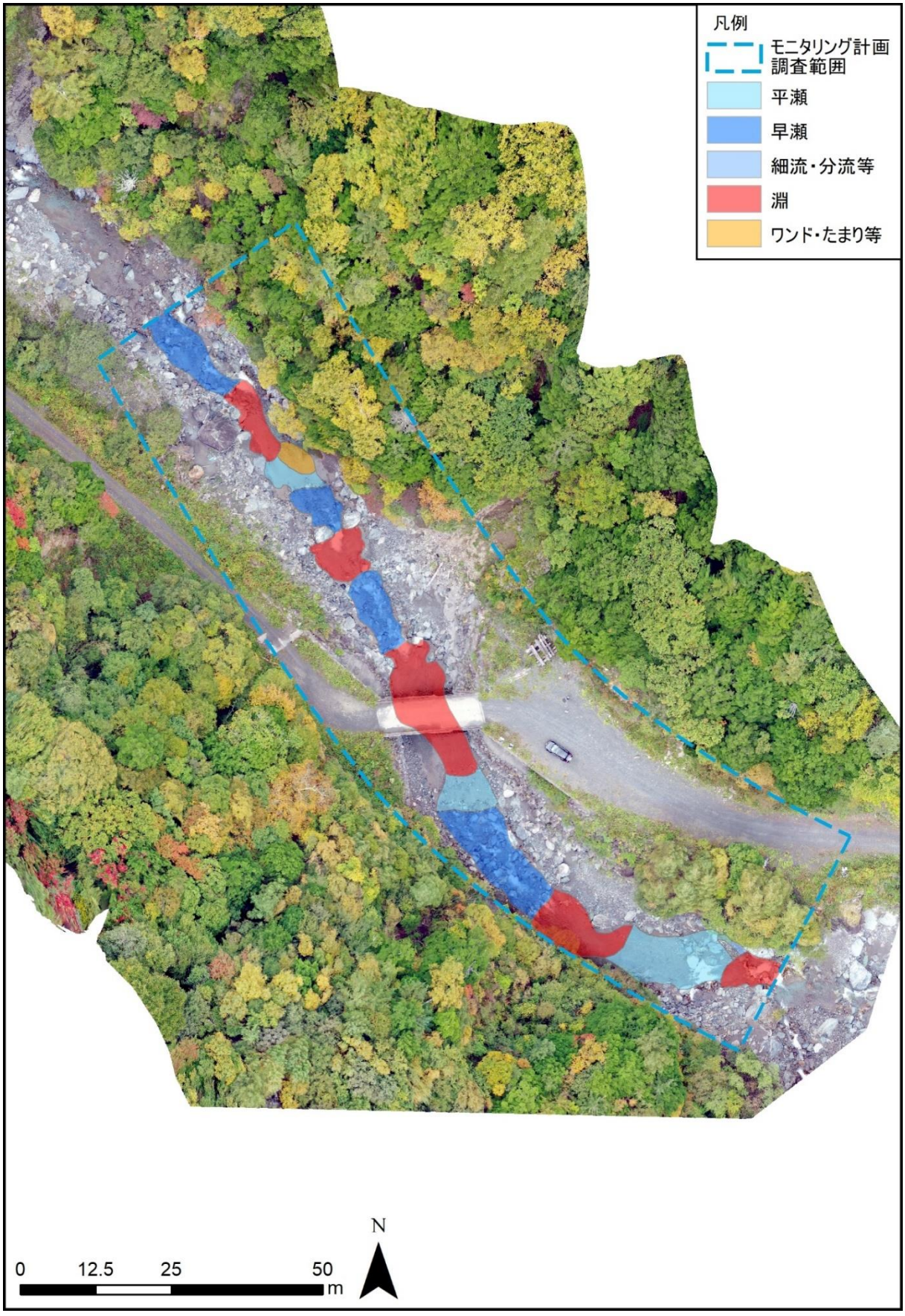


図 475 UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度秋季）

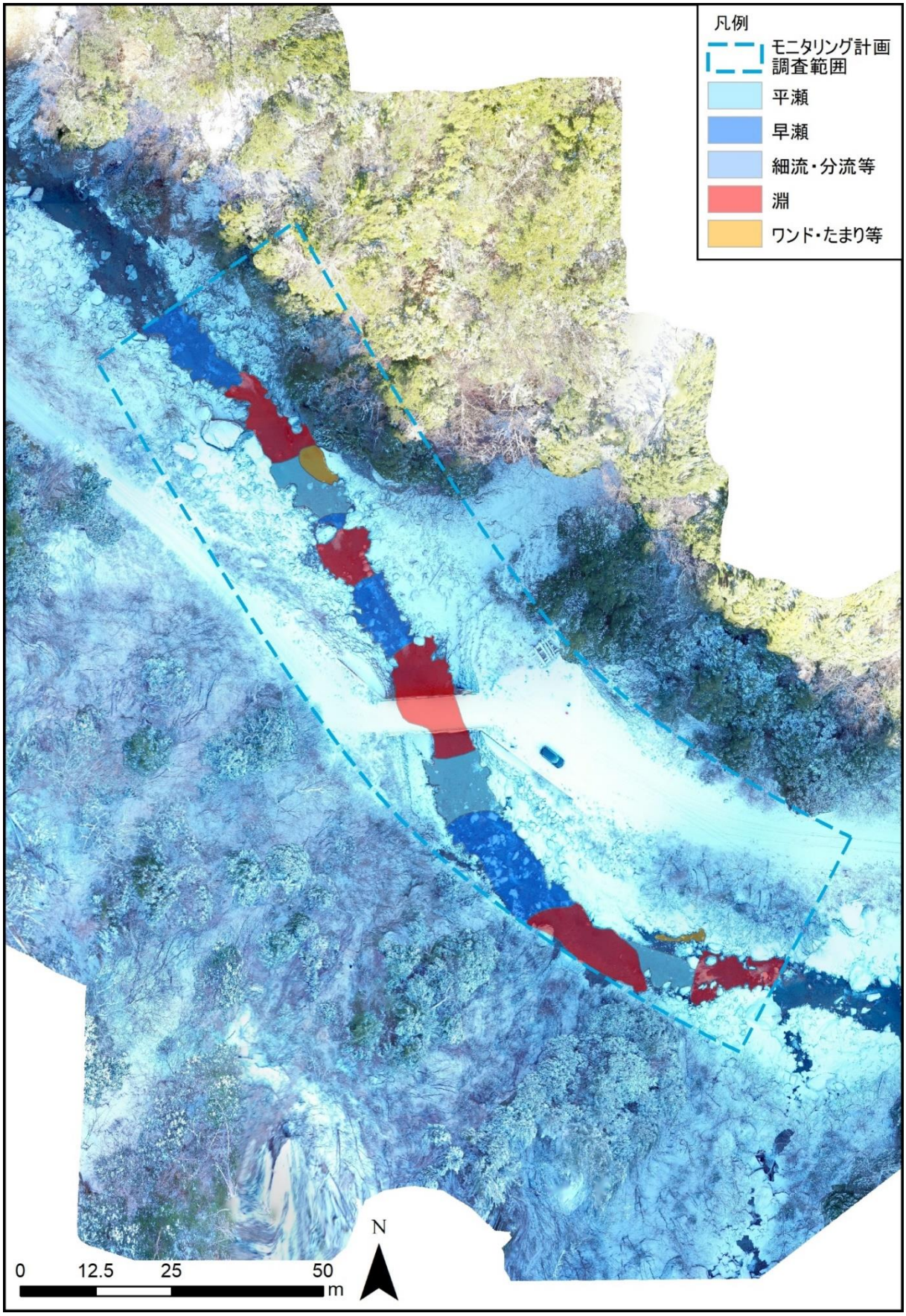


図 476 UAV による調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度冬季）

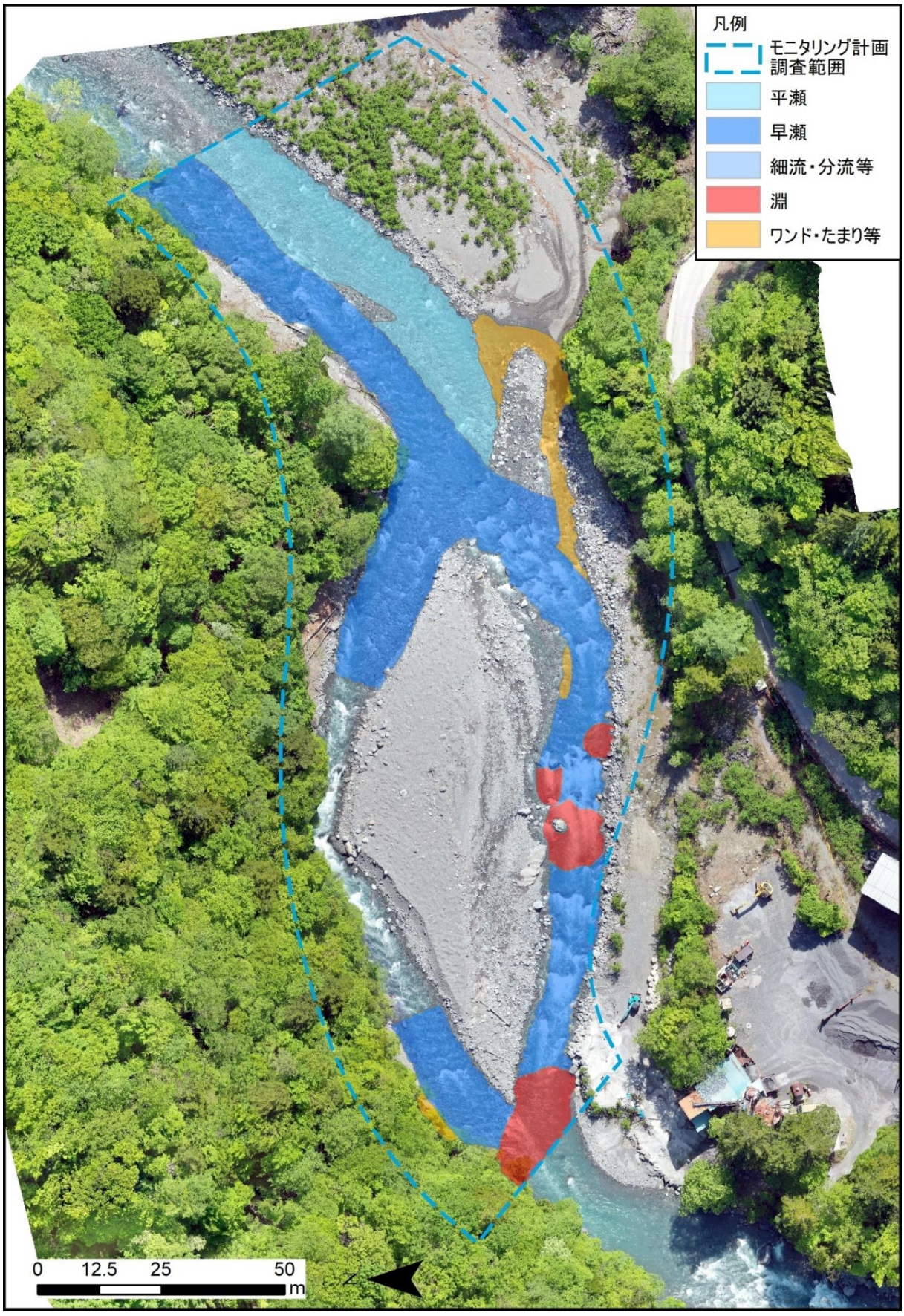


図 477 UAV による調査結果：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2025 年度春季）



図 478 UAV による調査結果：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2025 年度夏季）

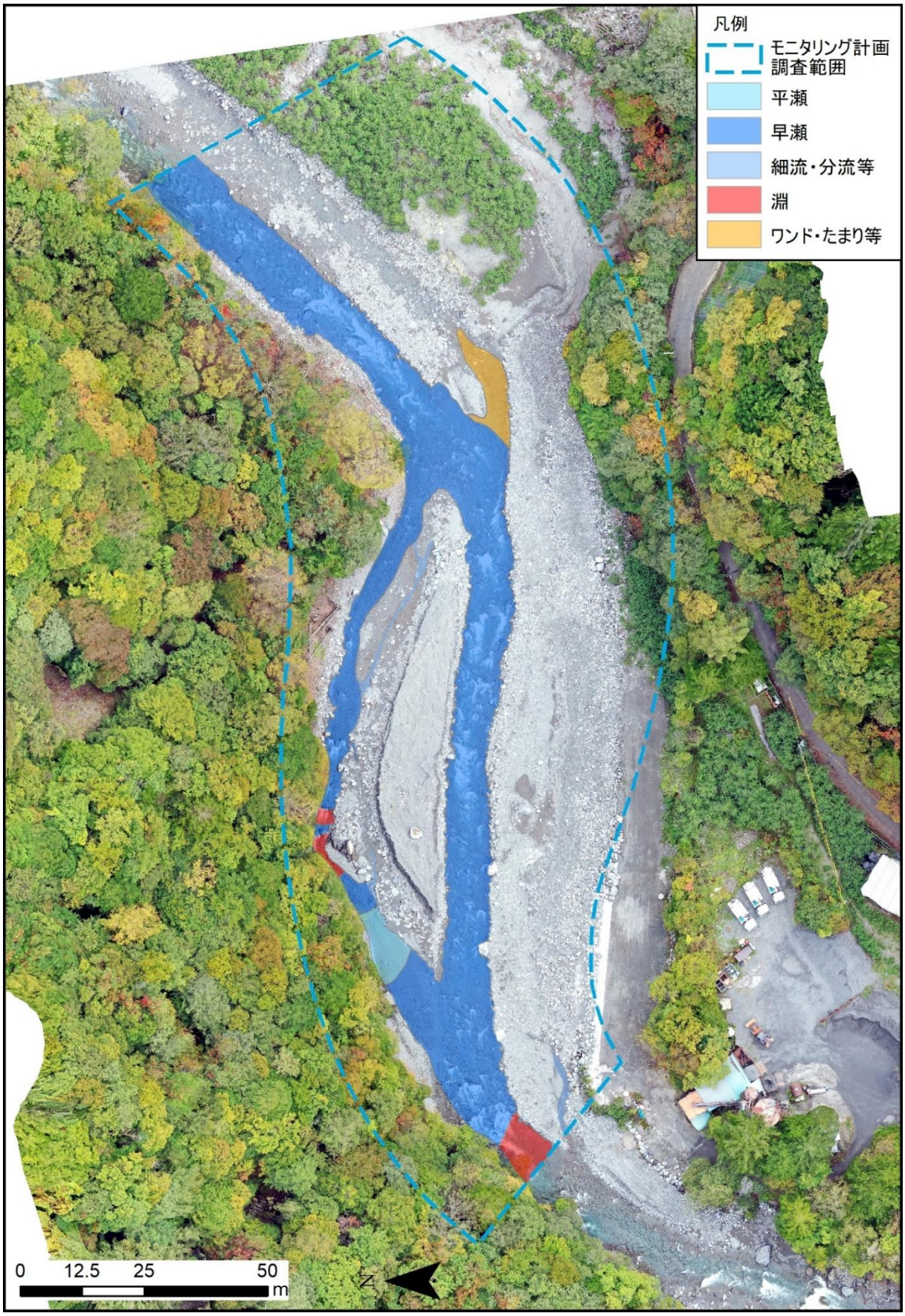


図 479 UAV による調査結果：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2025 年度秋季）



図 480 UAV による調査結果：河 08-2 千石（放流箇所下流）（2025 年度冬季）

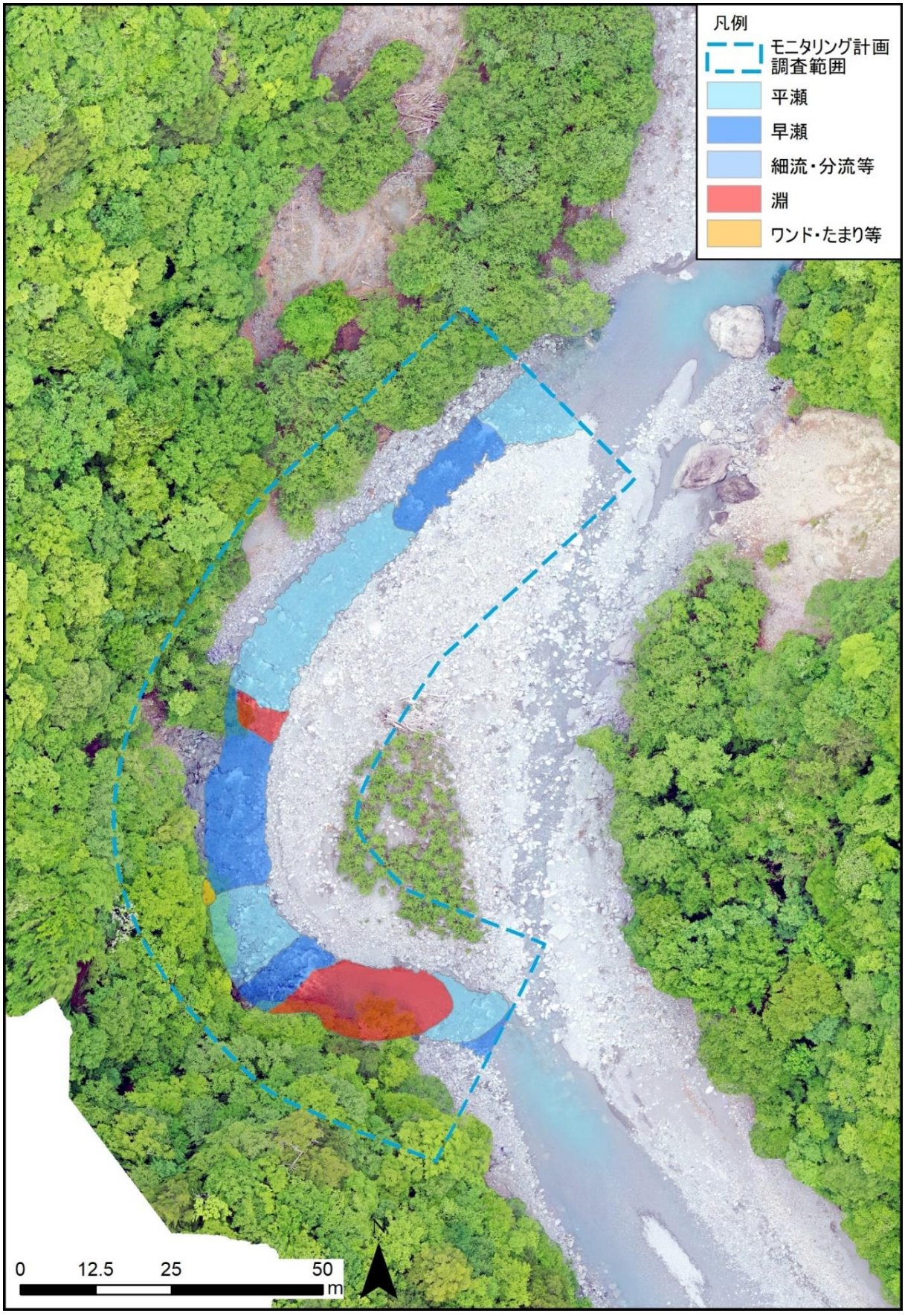


図 481 UAV による調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度春季）

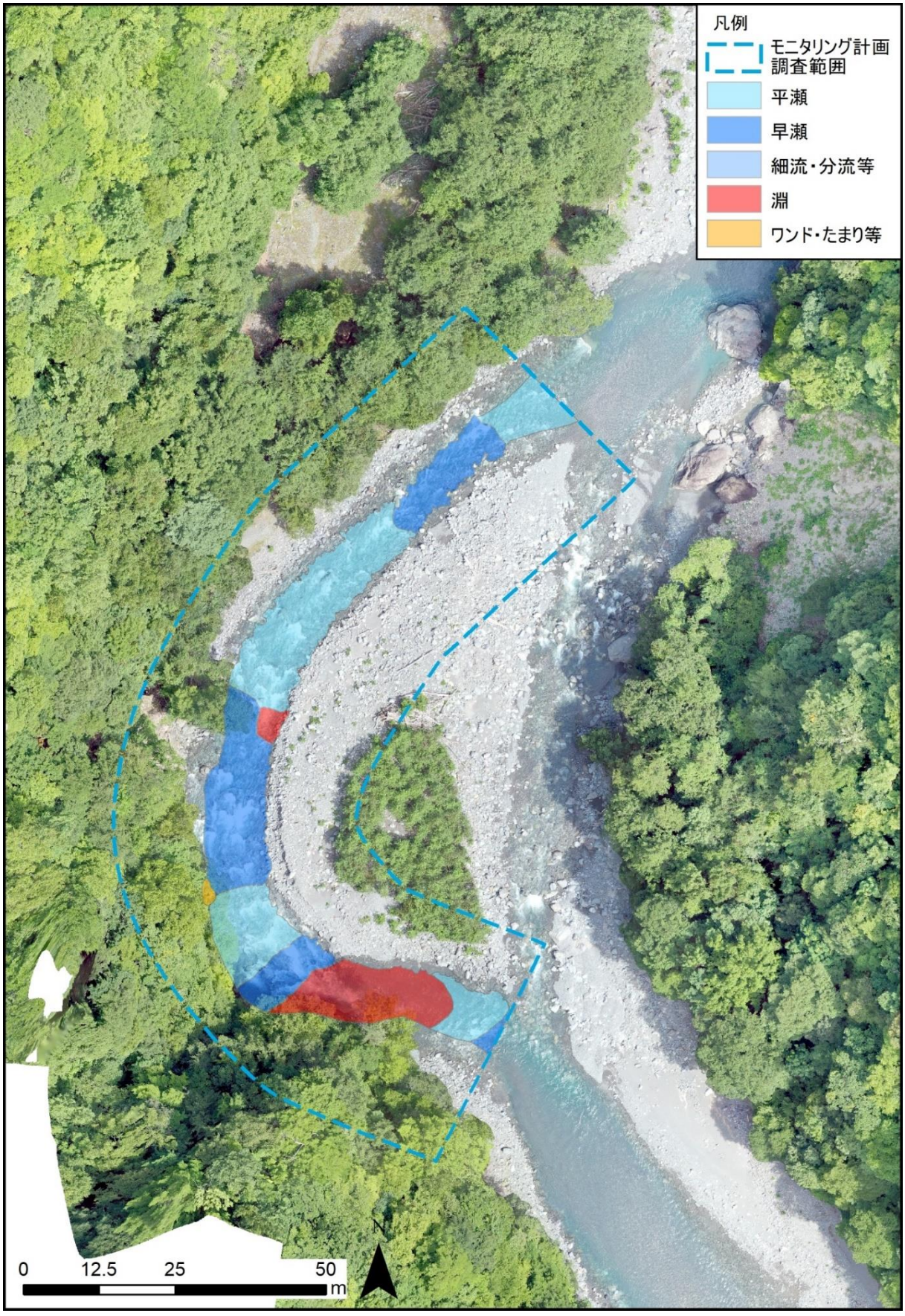


図 482 UAV による調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度夏季）

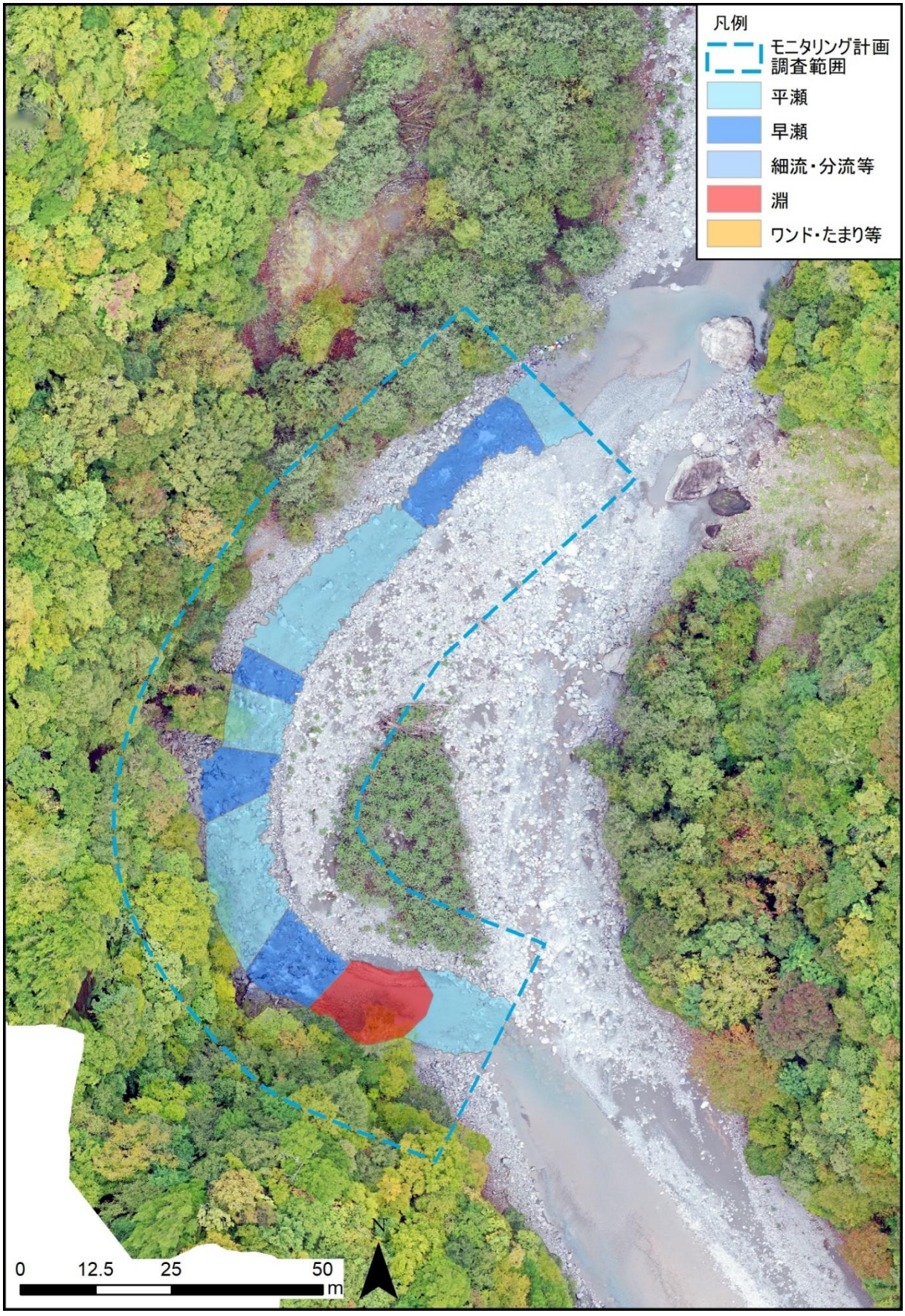


図 483 UAV による調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度秋季）

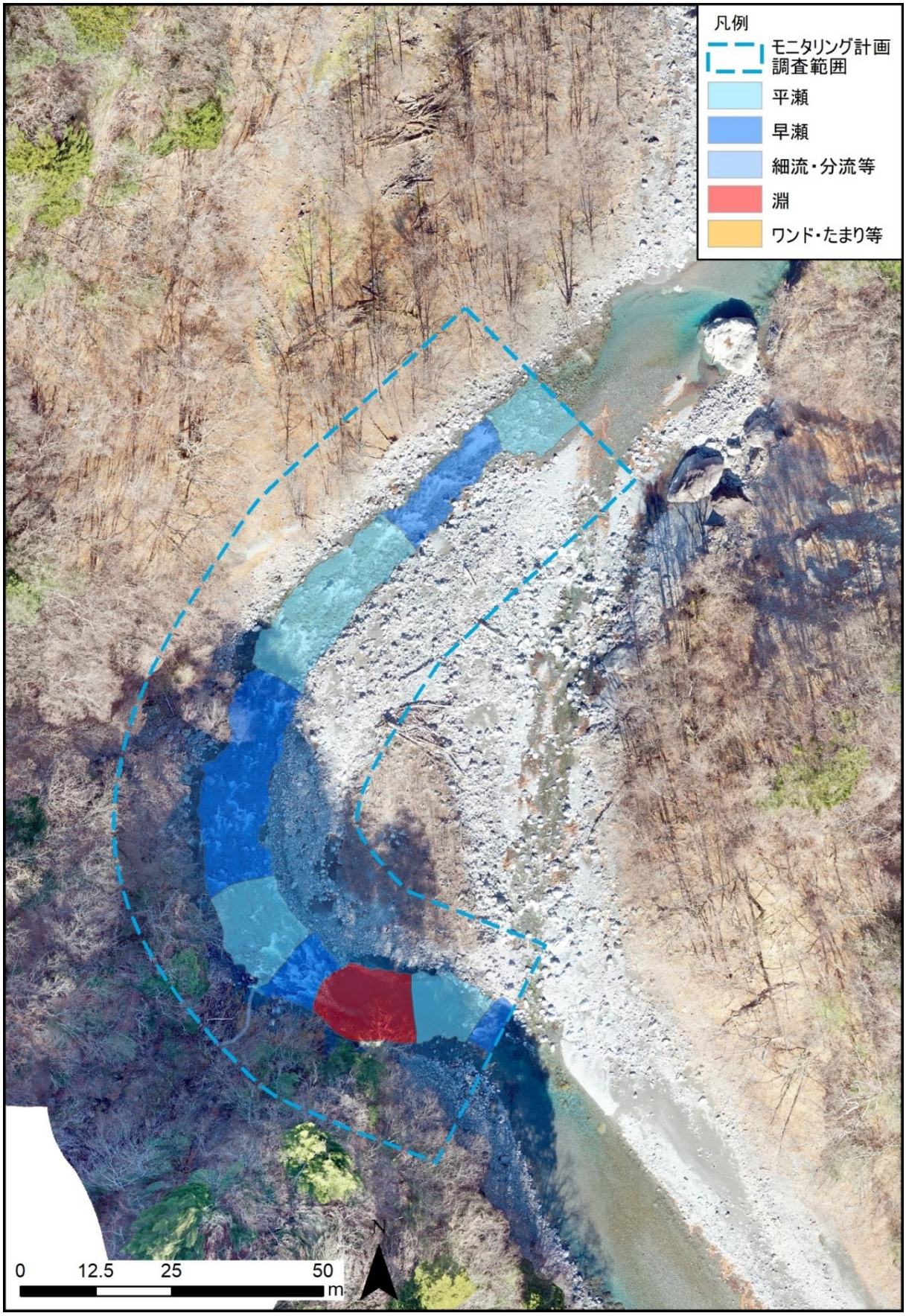


図 484 UAV による調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度冬季）

4. イワナの餌資源等調査

【事後調査及びモニタリング計画通し番号158、159、194、195】

イワナの餌資源等調査として、魚類（胃の内容物調査）、餌資源等（流下昆虫、落下昆虫）、生育環境（周辺植生）の調査を行いました。また、イワナの餌資源等調査の結果をもとに、イワナ類を中心とした食物連鎖図を作成しました。なお、底生動物の生息状況調査の結果は、「3.2.底生動物の生息状況調査」に記載しています。

4.1. 調査期間

調査期間を表 602～表 604 に示します。調査時期は、各種の生活史及び生息特性等に応じて設定しました。

表 602　魚類（イワナ類の胃の内容物調査）の調査期間（任意採集）

地点番号	調査地点	調査実施日							
		春季		夏季		秋季		冬季	
		１回目調査	２回目調査	１回目調査	２回目調査	１回目調査	２回目調査	１回目調査	２回目調査
沢 33	北俣・中俣合流部 付近	2020 年度※1 2021 年度※3 2022 年５月 25 日 2023 年５月 28 日 2024 年６月 16 日 2025 年５月 21 日	2020 年度※1 2021 年度※3 2022 年６月３日 2023 年６月 18 日 2023 年度※3 2025 年６月４日	2020 年度※2 2021 年９月１日 2022 年７月 28 日 2023 年７月 29 日 2023 年度※3 2025 年８月５日	2020 年年度※2 2021 年９月 16 日 2022 年８月 26 日 2023 年８月 31 日 2023 年度※3 2025 年８月 19 日	2020 年 10 月 31 日 2021 年９月 29 日 2022 年９月 17 日 2023 年９月 16 日 2024 年 10 月１日 2025 年９月９日	2020 年 11 月５日 2021 年 10 月 14 日 2022 年 10 月 15 日 2023 年９月 29 日 2024 年 10 月 15 日 2025 年９月 16 日		
河 02	西俣 （放流箇所下流）	2020 年６月６日 2021 年６月 11 日 2022 年５月 19 日 2023 年５月 13 日 2024 年４月 29 日 2025 年５月 14 日	2020 年６月 25 日 2021 年６月 15 日 2022 年５月 30 日 2023 年６月 19 日 2024 年５月 17 日 2025 年５月 22 日	2020 年９月 15 日 2021 年８月５日 2022 年７月 16 日 2023 年７月 15 日 2024 年７月 15 日 2025 年８月６日	2020 年９月 22 日 2021 年８月 11 日 2022 年７月 31 日 2023 年７月 28 日 2024 年８月 21 日 2025 年８月 27 日	2020 年 10 月 28 日 2021 年９月 21 日 2022 年 10 月 16 日 2023 年９月 17 日 2024 年 10 月３日 2025 年９月 18 日	2020 年 11 月３日 2021 年９月 25 日 2022 年 10 月 30 日 2023 年９月 30 日 2024 年 10 月 16 日 2025 年 10 月１日	2020 年２月 28 日 2021 年１月 20 日 2022 年１月 14 日 2022 年 12 月２日 2023 年 12 月１日 2024 年 12 月 10 日 2025 年 12 月 11 日	2020 年３月４日 2021 年１月 26 日 2022 年１月 27 日 2022 年 12 月 17 日 2023 年 12 月 14 日 2024 年 12 月 17 日 2025 年 12 月 18 日
河 10-3	椹島 （放流箇所下流②）	2020 年６月７日 2021 年５月 11 日 2022 年５月 18 日 2023 年度※3 2024 年５月 19 日 2025 年５月 29 日	2020 年６月 25 日 2021 年６月１日 2022 年５月 22 日 2023 年度※3 2024 年６月 16 日 2025 年６月３日	2020 年９月 14 日 2021 年８月３日 2022 年７月 17 日 2023 年７月 14 日 2024 年７月 28 日 2025 年８月 21 日	2020 年９月 23 日 2021 年８月７日 2022 年８月１日 2023 年７月 28 日 2024 年８月 20 日 2025 年８月 25 日	2020 年 11 月 15 日 2021 年９月 19 日 2022 年９月 18 日 2023 年９月 19 日 2024 年 10 月 18 日 2025 年 10 月 16 日	2020 年 12 月 21 日 2021 年９月 23 日 2022 年 10 月 28 日 2023 年９月 30 日 2024 年 10 月 23 日 2025 年 10 月 28 日	2020 年２月 19 日 2021 年１月 19 日 2022 年１月 15 日 2022 年 12 月４日 2023 年 12 月３日 2024 年 12 月９日 2025 年 12 月 10 日	2020 年２月 27 日 2021 年１月 27 日 2022 年１月 28 日 2022 年 12 月 16 日 2023 年 12 月 27 日 2024 年 12 月 16 日 2025 年 12 月 15 日

注１：胃の内容物調査は、生物多様性専門部会委員のご意見を踏まえ、沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②）の３地点で実施する。
注２：冬季調査は、主要な地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で実施することとした。
注３：「※１」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、主要な地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で６月に実施した。
注４：「※２」は、2020 年７月の豪雨による林道東俣線の通行止めに伴い、主要な地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で９月に実施した。
注３：「※３」は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

表 603　イワナの餌資源等（流下昆虫、落下昆虫及び植物群落）の調査期間

調査項目	地点番号	調査地点	調査実施日			
			春季	夏季	秋季	冬季
流下昆虫	沢 33	北俣・中俣合流部付近	2021 年度※1 2022 年 5 月 24 日 2023 年 6 月 17 日 2024 年度※1 2025 年 6 月 5 日	2021 年 9 月 15 日 2022 年度※1 2023 年度※3 2024 年度※1 2025 年 8 月 20 日	2020 年度※2 2021 年 10 月 15 日 2022 年 9 月 16 日 2023 年 9 月 15 日 2024 年 10 月 16 日 2025 年 10 月 23 日	
	河 02	西俣（放流箇所下流）	2021 年 5 月 13 日 2022 年 5 月 20 日 2023 年度※1 2024 年 4 月 29 日 2025 年 5 月 15 日	2021 年 8 月 6 日 2022 年 8 月 11 日 2023 年 7 月 16 日 2024 年 8 月 13 日 2025 年 8 月 26 日	2020 年 11 月 26 日 2021 年 9 月 22 日 2022 年 10 月 31 日 2023 年 9 月 18 日 2024 年 10 月 24 日 2025 年 10 月 21 日	2021 年 2 月 17 日 2022 年 1 月 13 日 2022 年 12 月 3 日 2023 年 12 月 2 日 2024 年 12 月 11 日 2025 年 12 月 16 日
	河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	2021 年 5 月 14 日 2022 年 5 月 19 日 2023 年度※1 2024 年度※1 2025 年 5 月 28 日	2021 年 8 月 8 日 2022 年 7 月 18 日 2023 年 7 月 15 日 2024 年 7 月 29 日 2025 年度※1	2020 年 11 月 25 日 2021 年 9 月 20 日 2022 年 10 月 29 日 2023 年 9 月 20 日 2024 年 10 月 22 日 2025 年 10 月 29 日	2021 年 2 月 18 日 2022 年 1 月 12 日 2022 年 12 月 5 日 2023 年 12 月 4 日 2024 年 12 月 12 日 2025 年 12 月 17 日
落下昆虫	沢 33	北俣・中俣合流部付近	2021 年度※1 2022 年 5 月 24 日 2023 年 6 月 17 日 2024 年度※1 2025 年 6 月 5 日	2021 年 9 月 15 日 2022 年度※1 2023 年度※3 2024 年度※1 2025 年 8 月 20 日	2020 年度※2 2021 年 10 月 15 日 2022 年 9 月 16 日 2023 年 9 月 15 日 2024 年 10 月 16 日 2025 年 10 月 23 日	
	河 02	西俣（放流箇所下流）	2020 年対象外 2021 年 5 月 13 日 2022 年 5 月 20 日 2023 年度※1 2024 年 4 月 29 日 2025 年 5 月 15 日	2020 年対象外 2021 年 8 月 6 日 2022 年 8 月 12 日 2023 年 7 月 16 日 2024 年 8 月 13 日 2025 年 8 月 26 日	2020 年 11 月 26 日 2021 年 9 月 22 日 2022 年 10 月 31 日 2023 年 9 月 18 日 2024 年 10 月 24 日 2025 年 10 月 21 日	2021 年 2 月 17 日 2024 年 12 月 11 日 2025 年 12 月 16 日
	河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	2020 年対象外 2021 年 5 月 14 日 2022 年 5 月 19 日 2023 年度※1 2024 年度※1 2025 年 5 月 28 日	2020 年対象外 2021 年 8 月 8 日 2022 年 7 月 18 日 2023 年 7 月 15 日 2024 年 7 月 29 日 2025 年度※1	2020 年 11 月 25 日 2021 年 9 月 20 日 2022 年 10 月 29 日 2023 年 9 月 20 日 2024 年 10 月 22 日 2025 年 10 月 29 日	2021 年 2 月 18 日 2024 年 12 月 12 日 2025 年 12 月 17 日
植物群落	沢 33	北俣・中俣合流部付近			2020 年度※2 2021 年 9 月 27 日、29 日 2022 年 9 月 17 日 2023 年 9 月 14 日、15 日 2024 年 10 月 1 日、2 日 2025 年 10 月 1 日、2 日	
	河 02	西俣（放流箇所下流）			2020 年 11 月 17 日 2021 年 9 月 30 日 2022 年 10 月 30 日、31 日 2023 年 9 月 17 日、18 日 2024 年 10 月 3 日 2025 年 9 月 17 日	2021 年 2 月 18 日
	河 10-3	椹島（放流箇所下流②）			2020 年 11 月 18 日 2021 年 10 月 13 日～15 日 2022 年 9 月 18 日、10 月 28 日 2023 年 9 月 17 日、30 日 2024 年 10 月 8 日、11 日 2025 年 9 月 29 日、30 日	2021 年 2 月 17 日

注１：「※１」は、河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

注２：「※２」は、調査地点周辺の気温が低温となっており、調査地点への移動経路において凍結等が確認されたため、作業上の安全確保の観点から欠測。

注３：「※３」は、調査期間中に天候悪化に伴う河川流量の増加が想定されたため、調査地点まで安全に移動することができない可能性があったため欠測。

表 604　生育環境（周辺植生）の調査期間

地点番号	調査地点	調査実施日			
		春季	夏季	秋季	冬季
沢 33	北俣・中俣合流部付近	2021 年度※1 2022 年６月３日 2023 年５月 28 日 2024 年度※2 2025 年６月５日	2021 年９月１日 2022 年７月 29 日 2023 年７月 31 日 2024 年度※2 2025 年８月 20 日	2020 年 10 月 31 日 2021 年９月 29 日、10 月 14 日 2022 年９月 17 日 2023 年９月 16 日 2024 年 10 月２日、15 日 2025 年 10 月１日	
河 02	西俣（放流箇所下流）	2021 年６月 11 日、13 日 2022 年５月 19 日、30 日 2023 年５月 13 日、28 日 2024 年４月 28、29 日、５月 17 日 2025 年５月 21 日	2021 年７月 29 日、８月５日、11 日 2022 年７月 15 日、16 日 2023 年７月 28 日 2024 年８月６日、21 日 2025 年８月 27 日	2020 年 10 月 28 日 2021 年９月 21 日、10 月 14 日 2022 年 10 月 13 日、16 日 2023 年９月 14 日、17 日 2024 年 10 月３日、30 日 2025 年 10 月 14 日	2021 年２月 17 日 2022 年１月 14 日 2022 年 12 月２日 2023 年 12 月１日 2024 年 12 月 10 日、12 日 2025 年 12 月 18 日
河 10-3	椹島（放流箇所下流②）	2021 年５月 11 日、６月 11 日 2022 年５月 18 日、31 日 2023 年５月 27 日 2024 年５月 18 日、19 日 2025 年５月 22 日	2021 年７月 28 日、８月３日、７日 2022 年７月 14 日、16 日、17 日 2023 年７月 14 日、26 日、27 日 2024 年７月 28 日、８月８日 2025 年８月 28 日	2020 年 11 月 15 日 2021 年９月 19 日、10 月 15 日 2022 年 10 月 12 日 2023 年９月 15 日、19 日 2024 年 10 月 18 日、22 日、28 日 2025 年 10 月 16 日	2021 年２月 18 日 2022 年１月 15 日 2022 年 12 月１日、４日 2023 年 12 月２日、３日 2024 年 12 月 11 日、12 日 2025 年 12 月 16 日

注１：生育環境（周辺植生）は、令和２年９月の生物多様性専門部会委員との意見交換を踏まえ、令和２年度秋季調査以降に追加して実施することとした。

注２：冬季調査は、主要な地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で実施することとする。

注３：イワナを中心とした食物連鎖図を作成することとしている３地点（沢 33 北俣・中俣合流部付近、河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））については、四季別のデータを整えることに加えて工事箇所周辺の経年的な水生生物の生息状況の変化を確認するために、工事前調査を継続的に実施することとしている。

注４：「※１」は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

注５：「※２」は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため、UAV による撮影のみ実施。

4.2.調査結果（2019 年度）

4.2.1. 魚類（イワナ類の胃の内容物調査）（2019 年度）

イワナ類の胃の内容物調査結果を、表 605 に示します。重要種は確認されませんでした。

表 605　イワナの胃の内容物 確認種一覧：[redacted]（2019 年度）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	イワナ類確認個体数(体長区分別)			
						希少種保護のため非公開		希少種保護のため非公開	
						胃の内容物の確認個体数、湿重量			
						個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	1	0.007	－	－
2		ハサミムシ目(革翅目)	クギヌキハサミムシ科	コブハサミムシ	*Anechura harmandi*	1	0.012	－	－
3		カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	5	0.012	－	－
4			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	3	0.021	－	－
5		カメムシ目(半翅目)	キジラミ科	キジラミ科	Psyllidae sp.	1	0.001	－	－
6		ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.	2	0.003	－	－
7				Pagastia 属	*Pagastia* sp.	2	0.008	－	－
8				ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.	9	0.025	－	－
計	1 綱	5 目	6 科	8種		24	0.089	－	－

注 1. 個体数、湿重量等は、地点 01（西俣）、地点 03（椹島）での調査結果を合計したものを記載している。
注 2. 分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注 3. 水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
1）体長 20cm 以上のイワナ類が 1 個体確認されたが、胃の内容物は確認されなかった。

4.3.調査結果（2020 年度）

4.3.1. 魚類（イワナ類の胃の内容物調査）（2020 年度）

イワナ類の胃の内容物調査結果を、表 606 に示します。重要種は確認されませんでした。

表 606　イワナ類の胃の内容物 確認種一覧：[redacted]（2020 年度）

調査時期	イワナ類の体長区分	イワナ類の捕獲個体数	胃の内容物の確認種数	胃の内容物の主な確認種	胃の内容物の湿重量（g）
春季	希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開	11 目 35 科 40 種	シラホシハマダラミバエ、クワムシ、シベリアカタアリ、トビイロケアリ等	0.445
			—	—	—
夏季			—	—	—
			11 目 30 科 33 種	ヌカグモ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、スジチャタテ、ミヤマナガレアブ等	0.819
秋季			—	—	—
			—	—	—
冬季			—	—	—
			3 目 6 科 6 種	シロハラコカゲロウ等	0.102
計			11 目 35 科 40 種	シラホシハマダラミバエ、クワムシ、シベリアカタアリ、トビイロケアリ等	0.445
			11 目 34 科 39 種	ヌカグモ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、スジチャタテ、ミヤマナガレアブ等	0.921

注：捕獲個体数、確認種数等は、各調査地点での調査結果を合計したものを記載している。

4.3.2. 餌資源等（流下昆虫、落下昆虫）（2020 年度）

調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種一覧を、表 607～表 608 に示します。重要種は確認されませんでした。

調査地域、調査時期別の落下昆虫（任意採集）確認種一覧を、表 609～表 610 に示します。重要種は確認されませんでした。

4.3.2.1.流下昆虫（任意採集）確認種一覧

表 607　調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2020 年度秋季・冬季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域											
					河 02 西俣（放流箇所下流）											
					秋季				冬季							
					左岸				左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目（蜉蝣目）	コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	3	+	4	0.001	19	0.035	8	0.023	5	0.007	5	0.011
2		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*					3	0.014	2	0.011			3	0.016
3	カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	*Capniidae sp.*					2	0.005	3	0.009				
4		オナシカワゲラ科	Nemoura 属	*Nemoura sp.*											1	+
5			Protonemura 属	*Protonemura sp.*	3	0.003	3	+	6	0.012					1	+
6		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	*Taeniopterygidae sp.*					5	0.041	3	0.017	1	+	1	0.007
7		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*							1	0.004				
8	ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa sp.*	2	0.004	1	0.001	4	+						
9			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*	1	+	3	0.002	11	0.007	9	0.004	2	+		
10			Orthocladius 属	*Orthocladius sp.*							1	+				
11			Pagastia 属	*Pagastia sp.*					5	0.017	9	0.047			2	0.008
12			Pseudodiamesa 属	*Pseudodiamesa sp.*					6	0.027	8	0.052	1	0.002	1	+
13		ブユ科	Simulium 属	*Simulium sp.*	6	0.008	1	0.001	1	+						
計				種数	3 目 4 科 5 種		3 目 4 科 5 種		3 目 7 科 10 種		3 目 6 科 9 種		3 目 3 科 4 種		3 目 5 科 7 種	
				個体数	15		12		62		44		9		14	
				湿重量(g)	0.015		0.005		0.158		0.167		0.009		0.042	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。

注２：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 608　調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2020 年度秋季・冬季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域											
					河 10-3 椹島（放流箇所下流②）											
					秋季				冬季							
					右岸				左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus sp.*			1	0.007							1	0.017
2		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*					4	0.005			2	+		
3			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	8	0.007	7	0.005	35	0.066	47	0.131	40	0.072	68	0.209
4		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*	1	0.002			3	0.011	1	0.002	2	0.007	6	0.061
5			Rhithrogena 属	*Rhithrogena sp.*							1	+				
6	カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	*Capniidae sp.*	2	0.009			4	0.005	41	0.085	7	0.011	31	0.065
7		オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura sp.*							1	+				
8			Nemoura 属	*Nemoura sp.*	1	0.003										
－			Nemoura 属（成虫）	*Nemoura sp.*	1	0.005										
9			Protonemura 属	*Protonemura sp.*	2	+	1	0.001	4	0.006	15	0.038			4	0.011
10		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	*Taeniopterygidae sp.*					1	0.012	4	0.019			1	0.014
11		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*									1	0.001	2	0.002
12	カメムシ目（半翅目）	ツノカメムシ科	ヒメツノカメムシ	*Elasmucha putoni*	1	0.031										
13	トビケラ目（毛翅目）	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma sp.*					1	+					1	0.005
14		ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila sp. (Retracta group)*							2	0.021			1	0.021
15		コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania sp.*									2	+	1	0.003
16	ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa sp.*			1	+			1	0.001	3	0.001		
17			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*	3	+	2	+	15	0.008	107	0.087	10	0.006	38	0.031
18			Micropsectra 属	*Micropsectra sp.*					1	+					1	+
19			Orthocladius 属	*Orthocladius sp.*	1	+	2	+	3	0.002	5	0.007	2	+		
20			Pagastia 属	*Pagastia sp.*					3	0.004	25	0.055	11	0.028	31	0.081
21			Pseudodiamesa 属	*Pseudodiamesa sp.*					1	0.001	8	0.029			1	0.003
22			Rheocricotopus 属	*Rheocricotopus sp.*					1	+						
23			Thienemanniella 属	*Thienemanniella sp.*									1	+		
－			ヤマユスリカ亜科	*Diamesinae sp.*					2	0.002						
24		ホソカ科	Dixa 属	*Dixa sp.*							1	+				
25		ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium sp.*					4	0.006	2	0.009	4	0.012	4	0.021
26			Simulium 属	*Simulium sp.*			1	+	23	0.031	147	0.378	33	0.057	151	0.391
27		ハナバエ科	ハナバエ科	*Anthomyiidae sp.*	1	0.026										
28		イエバエ科	Phaonia 属	*Phaonia sp.*	1	0.029										
29	コウチュウ目（鞘翅目）	テントウムシ科	ナミテントウ	*Harmonia axyridis*	2	0.059										
計				種数	5 目 9 科 11 種		3 目 5 科 7 種		4 目 8 科 15 種		4 目 9 科 16 種		4 目 7 科 13 種		4 目 12 科 16 種	
				個体数	24		15		105		408		118		342	
				湿重量(g)	0.171		0.013		0.159		0.862		0.195		0.935	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。

注２：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

注３：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

4.3.2.2.落下昆虫（任意採集）確認種一覧

表 609　調査地域、調査時期別の落下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2020 年度秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣（放流箇所下流）							
					秋季							
					①		②		③		④	
					個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量
1	カメムシ目（半翅目）	アワフキムシ科	ミヤマアワフキ	*Peuceptyelus nigroscutellatus*							1	+
2	ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	ユスリカ科	*Chironomidae sp.*							1	+
3	コウチュウ目（鞘翅目）	ハネカクシ科	Atheta 属	*Atheta sp.*			1	+				
計				種数等	3 目 3 科 3 種							
				個体数			1				2	
				重量(g)			+				+	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注２：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注３：冬季は確認されなかった

表 610　調査地域、調査時期別の落下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2020 年度秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域					
					河 10-3 椹島（放流箇所下流②）					
					秋季					
					①		②		③	
					個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量
1	カメムシ目（半翅目）	アワフキムシ科	コガタアワフキ	*Aphrophora obtusa*					1	+
2	ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	ユスリカ科	*Chironomidae sp.*	1	+			2	+
3		イエバエ科	Phaonia 属	*Phaonia sp.*			1	0.006		
4	ハチ目（膜翅目）	ハエヤドリクロバチ科	ハエヤドリクロバチ科	*Diapriidae sp.*					1	+
計				種数等	3 目 4 科 4 種					
				個体数	1		1		4	
				重量(g)	＋		0.006		+	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注２：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注３：冬季は確認されなかった

4.3.3. 生育環境（周辺植生）（2020 年度）

生育環境（周辺植生）について、調査時期、調査地域別の調査結果を、図 485～図 486、表 611～表 612 に示します。

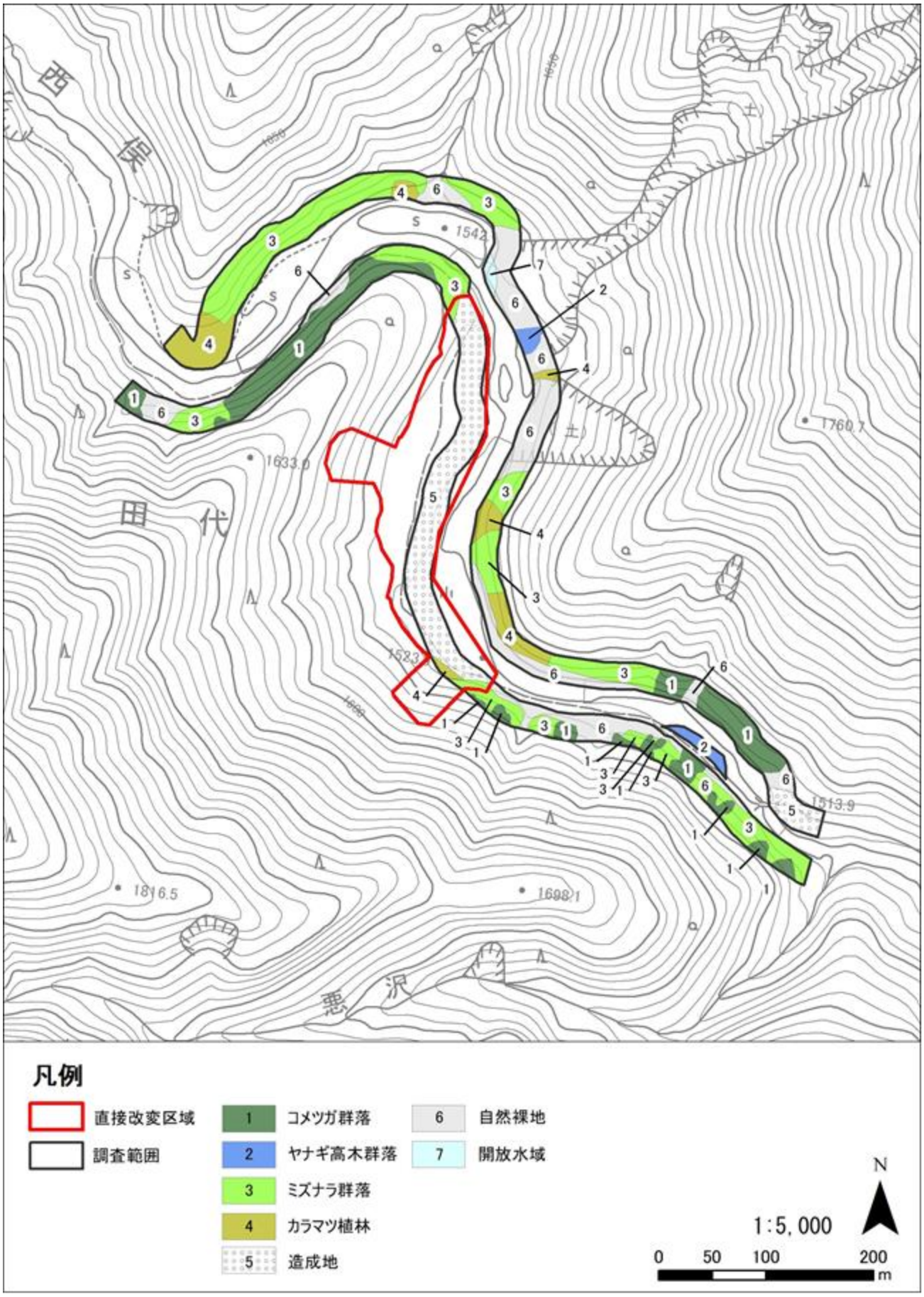


図 485　植生図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2020 年度秋季）

表 611　植物群落の調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2020 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
1	コメツガ群落		コメツガが優先する群落である。高木層には、コメツガのほか、ヒメコマツ等が生育する。亜高木層にはコメツガ、オノオレカンバ等が、低木層にはコメツガ、ミツバツツジ等がそれぞれ生育する。草本層には、コイワカガミ等が生育する。
2	ヤナギ高木群落		高木のヤナギ類が優先する群落である。ドロヤナギ等が優先する群落である。高木層には、オオバヤナギ、ドロヤナギ等のヤナギ類のほか、ミヤマハンノキが生育する。低木層には、ミヤマハンノキが、草本層には、テンニンヨウ、ヨモギ等がそれぞれ生育する。
3	ミズナラ群落		ミズナラが優先する群落である。高木層には、ミズナラのほか、クマシデが生育する。亜高木層には、ヤシャブシ、ハウチワカエデ等が生育する。低木層は、コメツガ等が、草本層には、テンニンソウ、ヒメノガリヤス等が生育する。
4	カラマツ群落		カラマツの植林地である。高木層には、カラマツ１種が生育する。亜高木層には、ミズナラ、ウダイカンバ等が生育する。低木層には、コメツガ、オオモミジ、ハウチワカエデ等が、草本層には、サワダツ、キヌタソウ等が生育する。
5	造成地		造成により生じた人工的な裸地である。
6	自然裸地		河原の砂礫地や急斜面地の崩壊地である。
7	開放水域		河川等の水面である。

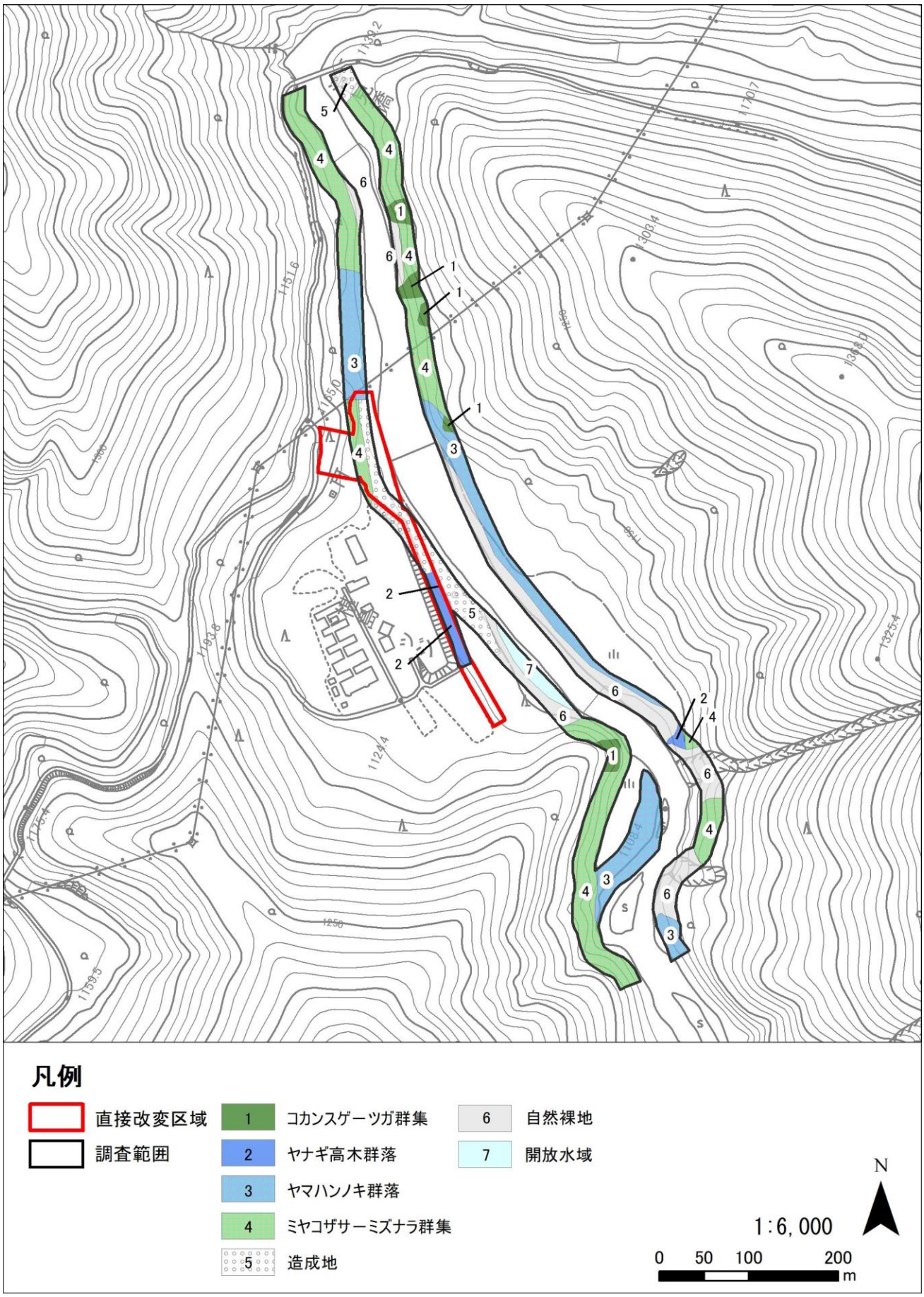


図 486　植生図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2020 年度秋季）

表 612　植物群落の調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2020 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
1	コカンスゲーツガ群集		ツガもしくはモミが優占する群落である。高木層は、ツガ、モミ、カエデ類等が生育する。亜高木層には、ツガ、モミが生育するほか、ミズナラ等の落葉広葉樹を交える。
2	ヤナギ高木群落		高木のヤナギ類が優占する群落である。バッコヤナギもしくはオノエヤナギが優占する群落である。高木層には、バッコヤナギ、オノエヤナギのほか、ウワミズザクラが生育する。低木層には、イヌシデ、ウツギ、ウワミズザクラが生育し、草本層には、カキドオシ、スゲ属の一種等が生育する。
3	ヤマハンノキ群落		ケヤマハンノキが優占する群落である。高木層は、ケヤマハンノキ、カズミザクラが生育する。低木層には、アサダ、クマシデ、ケヤキ等が生育し、草本層には、クサコアカソ、ウツギ、ジュウモンジシダ等が生育する。
4	ミヤコザサ・ミズナラ群集		ミズナラが優占する群落である。 高木層には、ミズナラのほか、ウダイカンバが生育する。亜高木層には、ヤシャブシ、アカシデが生育する。低木層は、サワシバ、ダンコウバイ、ムラサキシキブ等が、草本層には、テンニンソウ、クサコアカソ等が生育する。
5	造成地		造成により生じた人工的な裸地である。
6	自然裸地		河原の砂礫地や急斜面地の崩壊地である。
7	開放水域		河川等の水面である。

4.3.4. イワナ類を中心とした食物連鎖図（2020 年度）

イワナ類の胃の内容物調査、流下昆虫、落下昆虫調査及び植物群落調査結果をもとに、イワナ類を中心とした食物連鎖図を作成しました。図 487～図 495 に示します。

（春季・夏季調査）

・イワナ類の胃の内容物調査をもとに作成しています。なお、植物群落は環境影響評価時に実施した調査結果を使用しています。
・図中の赤色の線の大きさは、イワナ類の胃の内容物調査の調査で確認された各種の湿重量の違いを相対的に示したものです。
・なお、沢 33 北俣・中俣合流部付近について、春季調査は新型コロナウイルス感染症の影響により、また夏季調査は 7 月の豪雨による林道東俣線の通行止めに伴い、魚類等の調査を中止したことから、食物連鎖図は作成していません。

（秋季・冬季調査）

・イワナ類の胃の内容物調査、流下昆虫、落下昆虫調査及び植物群落調査結果をもとに作成しています。なお、沢 33 北俣・中俣合流部付近の秋季調査については、作業上の安全確保の観点から魚類調査流下昆虫、落下昆虫調査及び植物群落調査を中止したことから、底生動物の瀬での定量調査、淵での定量調査結果をもとに作成しています。
・イワナ類と各生物種を結ぶ線は、胃の内容物の調査で確認された生物種であることを示します。また、各線の色はそれぞれ以下の指標に対応します。
黒色：Manly の餌選択係数
赤色：各生物種の餌重要度指数の全体に対する割合
・各指標の計算方法及び考え方を下表に示します。各線の太さは、各指標の算出値の大きさを相対的に示したものです。ただし、線の太さについて各指標間における関係性はありません。

項目	計算方法	考え方
Ｍａｎｌｙの餌選択係数α	$\alpha = (r_i/p_i) \Big/ \sum (r_i/p_i)$ r_i：胃の内容物中の湿重量比 p_i：流下昆虫、落下昆虫の湿重量比	環境中に存在する餌資源量の比率（流下昆虫、落下昆虫の湿重量比）と、実際にその餌資源を利用した比率（胃の内容物中の湿重量比）をもとに、餌資源に対する選択性を表現
餌重要度指数ＩＲＩ	$\mathbf{IRI} = (\%N/\%W) \times \%F$ $\%N$：胃の内容物中の個体数比 $\%W$：胃の内容物中の湿重量比 $\%F$：ある餌資源を捕食していたイワナ類の数/全イワナ類の数	胃内容物として出現した類別の餌資源について、その個体数比と湿重量比から、相対的な重要度を表現

・図中の各生物種に付随する円（●）の大きさは、流下昆虫調査（沢 33 北俣・中俣合流部付近の秋季調査分については底生動物の定量調査）で確認された各生物種の湿重量の違いを相対的に示したものです。なお、「⊕」は湿重量が 0.001g 未満であることを示します。
・また、図中の各生物種に付随する四角（■）の大きさは、落下昆虫調査で確認された各生物種の重量の違いを相対的に示したものです。なお、「田」は重量が 0.001g 未満であることを示しており、「⊠」は胃の内容物調査で確認されたものの、落下昆虫の調査で確認されなかったことを示します。
・魚類等の冬季調査は主要な地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で実施することとしていることから、沢 33 北俣・中俣合流部付近の冬季調査の食物連鎖図は作成していません。



図 487　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2020 年度秋季）



図 488　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2020 年度春季）



図 489　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2020 年度夏季）



図 490　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2020 年度秋季）



図 491　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2020 年度冬季）



図 492　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2020 年度春季）



図 493　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2020 年度夏季）



図 494　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2020 年度秋季）

希少種保護のため非公開

図 495　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2020 年度冬季）

4.4. 調査結果（2021 年度）

4.4.1. 魚類（イワナ類の胃の内容物調査）（2021 年度）

イワナ類の胃の内容物調査結果を、表 613 に示します。重要種は確認されませんでした。

表 613　イワナ類の胃の内容物 確認種一覧：[redacted]（2021 年度）

調査時期	イワナ類等の体長区分	イワナ類等の捕獲個体数	胃の内容物の確認種数	胃の内容物の主な確認種	胃の内容物の湿重量（g）
春季	希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開	－	－	－
			3目4科4種	シロハラコカゲロウ等	0.012
夏季			11目27科31種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、ミヤマノギカワゲラ、ホソチャタテ、テングアワフキ等	0.449
			14目43科53種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、コブハサミムシ、ツノゼミ、テングアワフキ、クロフアワフキ、カオグロオビホソヒラタアブ、ヒメアシナガコガネ、ヤマクロヤマアリ等	1.356
秋季			8目10科12種	カラフトヤセサラグモ、リンゴチャタテ、ミヤマアワフキ等	0.393
			9目21科26種	フタバコカゲロウ、トドマツホソアワフキ、クロオオマダラカスミカメ、クロバアミカ、トビイロケアリ等	1.449
冬季			3目6科9種	シロハラコカゲロウ等	0.249
			－	－	－
計			12目33科41種	カラフトヤセサラグモ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、ミヤマノギカワゲラ、ミヤマアワフキ、テングアワフキ等	1.091
			14目51科68種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、コブハサミムシ、ツノゼミ、テングアワフキ、クロフアワフキ、クロバアミカ、カオグロオビホソヒラタアブ、ヨモギマルフシミバエ、ヒメアシナガコガネ、ヤマクロヤマアリ等	2.817

注１：捕獲個体数、確認種数等は、各調査地点での調査結果を合計したものを記載している。
注２：「※１」について、５個体のうち１個体は胃の内容物が確認されなかった。
注３：「※２」について、捕獲された個体からは胃の内容物が確認されなかった。

4.4.2. 餌資源等（流下昆虫、落下昆虫）（2021 年度）

調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種一覧を、表 614～表 632 に示します。確認された重要種は[redacted]の[redacted]種でした。

調査地域、調査時期別の落下昆虫（任意採集）確認種一覧を、表 633～表 640 に示します。確認された重要種は[redacted]の[redacted]種でした。

4.4.2.1.流下昆虫（任意採集）確認種一覧

表 614　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2021 年度夏季 1/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					沢 33 北俣・中俣合流部付近							
					夏季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目（蜉蝣目）	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	0.003	1	0.002			1	+
2			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	+			5	0.012		
3		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.					1	0.005		
4	カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.	1	0.002						
5	カメムシ目（半翅目）	アワフキムシ科	Peuceptyelus 属	*Peuceptyelus* sp.	1	+	12	0.124			12	0.118
6			ホソアワフキ	*Philaenus spumarius*							1	0.011
7		ヨコバイ科	キスジカンムリヨコバイ	*Evacanthus interruptus*			2	0.024			1	0.013
8			Oncopsis 属	*Oncopsis* sp.							1	+
－			ヨコバイ科	Cicadellidae sp.			2	+				
9	トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属（Retracta group）	*Rhyacophila* sp.（Retracta group）	2	0.001	1	0.002	2	0.006		
10	希少種保護のため非公開											
11	ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia* sp.			1	+	2	+		
12			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	7	+	6	+	7	+	4	+
－			ユスリカ科	Chironomidae sp.							1	+
13		ホソカ科	Dixa 属	*Dixa* sp.					1	+		
14		ケバエ科	Bibio 属	*Bibio* sp.			1	0.005			2	0.014
15		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	16	0.03	12	0.018	10	0.012	23	0.033
16		オドリバエ科	Parathalassius 属	*Parathalassius* sp.							1	+
17			Syneches 属	*Syneches* sp.	1	+	1	+				
－			オドリバエ科(成虫)	Empididae sp.	1	+	1	+			1	+
18		ハナアブ科	Melangyna 属	*Melangyna* sp.							1	0.013
19		イエバエ科	Coenosia 属	*Coenosia* sp.			1	+				
20			Mydaea 属	*Mydaea* sp.							1	0.018
21			Syngamoptera 属	*Syngamoptera* sp.			1	0.008				
22		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.			2	0				
23		アタマアブ科	Chalarus 属	*Chalarus* sp.							1	+
24		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.			1	+			1	+
25		シダコバエ科	Teratomyza 属	*Teratomyza* sp.			1	+				
26		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.			1	0.012				

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 615　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2021 年度夏季 2/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					沢 33 北俣・中俣合流部付近							
					夏季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
27	コウチュウ目（鞘翅目）	ハネカクシ科	Aleochara 属	*Aleochara* sp.							1	+
28			Anotylus 属	*Anotylus* sp.			1	+				
29			Geodromicus 属	*Geodromicus* sp.			1	+				
30			Philonthus 属	*Philonthus* sp.							1	+
－			ハネカクシ科	Staphylinidae sp.			2	+			3	+
31		コガネムシ科	チャグロマグソコガネ	*Aphodius isaburoi isaburoi*			1	+				
32		コメツキムシ科	Dalopius 属	*Dalopius* sp.			1	+				
33		ナガクチキムシ科	Dircaea 属	*Dircaea* sp.			1	0.009				
34		ハナノミダマシ科	キイロハナノミダマシ	*Scraptia livens*							1	+
35	ハチ目（膜翅目）	アリ科	Myrmica 属	*Myrmica* sp.	4	0.013	3	+				
－			アリ科	Formicidae sp.	21	0.1	16	0.048	6	0.026	12	0.039
36		コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.	1	+	1	+			1	+
37		ヒゲナガクロバチ科	ヒゲナガクロバチ科	Ceraphronidae sp.			1	+				
38		シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	Proctotrupidae sp.			1	+				
39		タマゴクロバチ科	タマゴクロバチ科	Scelionidae sp.			1	+				
40		コガネコバチ科	コガネコバチ科	Pteromalidae sp.			1	+			1	+
41		タマバチ科	タマバチ科	Cynipidae sp.							1	+
計				種数	6 目 9 科 10 種		6 目 23 科 26 種		4 目 8 科 9 種		5 目 17 科 20 種	
				個体数	57		78		35		73	
				湿重量(g)	0.149		0.252		0.068		0.259	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 616　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2021 年度秋季 1/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					沢 33 北俣・中俣合流部付近							
					秋季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	トビムシ目（粘管目）	ツチトビムシ科	ツチトビムシ科	Isotomidae sp.					1	+		
2	カゲロウ目（蜉蝣目）	コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	+	2	0.004	3	0.001		
3		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.							1	+
4			キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*			1	0.008				
5	カワゲラ目（セキ翅目）	トワダカワゲラ科	ミネトワダカワゲラ	*Scopura montana*	1	0.005						
6		クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	1	+	1	+	1	+	3	0.003
7		オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.					1	+	2	0.002
8		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	3	0.002	2	0.001	1	+	2	+
9		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.			1	0.002				
10	カメムシ目（半翅目）	ツノゼミ科	ハコネマルツノゼミ	*Gargara doenitzi*	1	0.012						
11		アワフキムシ科	Peuceptyelus 属	*Peuceptyelus* sp.	2	0.007	1	0.01				
12		ヨコバイ科	ヨモギヒメヨコバイ	*Eupteryx minuscula*			2	+				
13			マエジロオオヨコバイ	*Kolla atramentaria*			1	+				
14			Macropsis 属	*Macropsis* sp.	1	+	2	+			1	+
15			オヌキシダヨコバイ	*Onukigallia onukii*			1	+				
－			ヨコバイ科	Cicadellidae sp.	1	+	1	+	1	+		
16		グンバイムシ科	トサカグンバイ	*Stephanitis takeyai*	1	+						
17		カスミカメムシ科	ハヤシオオカスミカメ	*Pantilius hayashii*			1	0.03				
18		キジラミ科	カバキジラミ	*Psylla betulae*					1	+		
－			Psylla 属	*Psylla* sp.			2	+	1	+		
19		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	1	+	13	0.012	5	+	7	+
20	トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属（Retracta group）	*Rhyacophila* sp.（Retracta group）	3	0.004					2	0.002
21	ハエ目（双翅目）	ヒメガガンボ科	Epiphragma 属	*Epiphragma* sp.					1	+		
－			ヒメガガンボ科(成虫)	Limoniidae sp.					1	+		
22		ガガンボ科	Nephrotoma 属	*Nephrotoma* sp.	2	0.013						
23		アミカ科	Philorus 属(成虫)	*Philorus* sp.					1	+		
24		ヌカカ科	ヌカカ科	Ceratopogonidae sp.			2	+				
25		ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.	1	0.002						
26			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+	4	+	7	0.004	3	+
27			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.	4	0.004	1	+	6	0.004	3	+
－			ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.	92	0.052	81	0.024	70	0.042	39	0.017
28		ホソカ科	Dixa 属	*Dixa* sp.	1	+						
29		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.							1	0.002

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 617　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2021 年度秋季 2/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					沢 33 北俣・中俣合流部付近							
					秋季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
30	ハエ目（双翅目）	ケバエ科	アシブトケバエ	*Bibio gracilipalpus*	2	0.009	4	0.018			1	0.004
31		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	862	1.135	408	0.904	183	0.29	174	0.317
32		ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	1	0.004						
33		アシナガバエ科	アシナガバエ科(成虫)	Dolichopodidae sp.			4	+				
34		オドリバエ科	Platypalpus 属	*Platypalpus* sp.			2	+				
35			Wiedemannia 属(成虫)	*Wiedemannia* sp.	1	+						
36		クロバエ科	ミヤマクロバエ	*Calliphora vomitoria*	1	0.048						
37		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.	2	+	4	+	3	+	1	+
38		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.			2	+	1	+	3	+
39		キモグリバエ科	キモグリバエ科	Chloropidae sp.	1	+			1	+		
－		－	ハエ目（双翅目）	DIPTERA sp.	1	0.01	2	+				
40	コウチュウ目（鞘翅目）	ハネカクシ科	Atheta 属	*Atheta* sp.							1	+
－			ハネカクシ科	Staphylinidae sp.			2	+				
41		コメツキムシ科	コメツキムシ科	Elateridae sp.							1	+
42		ジョウカイボン科	ジョウカイボン科	Cantharidae sp.			1	0.004				
43		ツツキノコムシ科	ミヤマツツキノコムシ	*Cis nipponicus*			2	+				
44		ハムシ科	イタヤハムシ	*Pyrrhalta fuscipennis*	1	0.034						
45	ハチ目（膜翅目）	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.	2	+	9	0.005	6	+	9	+
46		アリ科	トビイロケアリ	*Lasius japonicus*			6	+				
47			Myrmica 属	*Myrmica* sp.	1	+	2	+				
－			アリ科	Formicidae sp.	1	+	2	+				
48		コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.			2	+	1	+	1	+
49		ハエヤドリクロバチ科	ハエヤドリクロバチ科	Diapriidae sp.			2	+				
50		シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	Proctotrupidae sp.	2	+			2	+		
51		タマゴクロバチ科	タマゴクロバチ科	Scelionidae sp.	1	+	2	+	4	+	7	+
52		トビコバチ科	トビコバチ科	Encyrtidae sp.			6	+				
53		ヒメコバチ科	ヒメコバチ科	Eulophidae sp.			2	+				
54		マルハラコバチ科	ルリマルハラコバチ	*Perilampus japonicus*					1	+		
55		コガネコバチ科	コガネコバチ科	Pteromalidae sp.			2	+	2	+		
56		オナガコバチ科	オナガコバチ科	Torymidae sp.					1	+		
57		ホソハネコバチ科	ホソハネコバチ科	Mymaridae sp.							3	+
58		タマバチ科	タマバチ科	Cynipidae sp.	1	+	2	+			1	+
計				種数	7 目 26 科 28 種		6 目 30 科 35 種		6 目 22 科 23 種		7 目 20 科 21 種	
				個体数	997		587		306		266	
				湿重量(g)	1.341		1.022		0.341		0.347	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 618　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度春季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					春季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais 属	*Nais* sp.			1	+				
2	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.							1	0.006
3		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	+	1	0.003				
4			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	14	0.013	4	0.008	10	0.016	5	0.011
5		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	2	0.011	2	0.004	2	0.018		
6			Epeorus 属	*Epeorus* sp.	4	0.005	1	+	4	0.009	1	+
–			ヒラタカゲロウ科(成虫)	Heptageniidae sp.			4	0.042				
7	カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科(成虫)	Capniidae sp.			4	0.007				
8		オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.	1	0.003			1	0.002	3	0.009
9		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	1	0.006					1	+
10	トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila* sp. (Retracta group)					1	0.005		
11		カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.					3	0.018		
12	チョウ目(鱗翅目)	–	チョウ目(鱗翅目)	LEPIDOPTERA sp.	1	0.008						
13	ハエ目(双翅目)	アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*					1	0.062	2	0.122
14		ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.	6	0.008	3	0.004	5	0.007	10	0.009
15			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	6	+			5	+	6	+
16			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.	1	+			4	0.004	4	0.003
–			ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.	2	+						
17		ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium* sp.							1	+
18			Simulium 属	*Simulium* sp.			1	0.002	1	+	1	+
19		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	1	+						
20		オドリバエ科	オドリバエ科(成虫)	Empididae sp.	1	+						
21	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	Eusphalerum 属	*Eusphalerum* sp.	1	+						
計				種数	5 目 9 科 13 種		4 目 6 科 8 種		4 目 8 科 11 種		3 目 8 科 11 種	
				個体数	42		21		37		35	
				湿重量(g)	0.054		0.070		0.141		0.160	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 619　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度夏季 1/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					夏季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*							1	0.003
2		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	2	0.002					1	+
3			サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*			5	0.001	1	+		
4			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	14	0.019	8	0.008	7	0.005	6	0.003
5		ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	3	0.015			1	0.006	2	0.008
–			Epeorus 属	*Epeorus* sp.			2	+				
6			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	15	0.017	12	0.016	1	+	3	0.004
7	カワゲラ目(セキ翅目)	ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.			1	+				
8		オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.							1	+
–			Protonemura 属(成虫)	*Protonemura* sp.			1	0.003				
9		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	5	0.014	1	0.004				
10	チャタテムシ目(噛虫目)	チャタテ科	チャタテ科	Psocidae sp.	1	+	2	+				
–		–	チャタテムシ目(噛虫目)	PSOCOPTERA sp.					1	+	1	+
11	カメムシ目(半翅目)	ツノゼミ科	オビマルツノゼミ	*Gargara katoi*	1	0.013						
12		ヨコバイ科	Macropsis 属	*Macropsis* sp.	1	+					1	+
13			Oncopsis 属	*Oncopsis* sp.	1	+	1	+				
14			クロヒラタヨコバイ	*Penthimia nitida*			1	0.008				
15	トビケラ目(毛翅目)	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	5	0.003	2	0.001	9	0.008	4	0.003
16		カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.			1	+				
–			Lepidostoma 属(成虫)	*Lepidostoma* sp.			1	0.007				
17	チョウ目(鱗翅目)	–	チョウ目(鱗翅目)	LEPIDOPTERA sp.			1	0.024				
18	ハエ目(双翅目)	ガガンボ科	Tipula 属	*Tipula* sp.	1	0.004						
–			Tipula 属(成虫)	*Tipula* sp.	1	0.065						
19		アミカ科	Blepharicera 属	*Blepharicera* sp.					1	+		
–			アミカ科	Blephariceridae sp.							2	+
20		ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.					3	+		
21			Pagastia 属	*Pagastia* sp.	1	+						
22		ホソカ科	Dixa 属	*Dixa* sp.	1	+						
23		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	1	+	2	+	5	0.001	2	+
24		ケバエ科	Dilophus 属	*Dilophus* sp.			1	+				
25		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	3	+	4	+	10	+	3	+
26		キアブ科	Xylophagus 属	*Xylophagus* sp.	1	0.007						
27		アシナガバエ科	アシナガバエ科(成虫)	Dolichopodidae sp.	1	+	1	+	1	+	1	+
28		オドリバエ科	Hilara 属	*Hilara* sp.	2	+						
29			Syneches 属	*Syneches* sp.					1	+		
–			オドリバエ科(成虫)	Empididae sp.							1	+

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 620　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度夏季 2/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					夏季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
30	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ヨツボシヒラタアブ	*Xanthandrus comtus*	1	0.045						
31		タマバエ科	タマバエ科	Cecidomyiidae sp.			1	+				
32		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.	2	+	1	+				
33		アタマアブ科	Chalarus 属	*Chalarus* sp.	1	+						
34		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.					1	+		
35		キモグリバエ科	キモグリバエ科	Chloropidae sp.							1	+
36	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	チビヒラタガムシ	*Enochrus esuriens*					1	+		
37		ハネカクシ科	Tachinus 属	*Tachinus* sp.							1	+
38		コメツキムシ科	Fleutiauxellus 属	*Fleutiauxellus* sp.	1	+						
39		コメツキダマシ科	クロスジヒゲコメツキダマシ	*Proxylobius galloisi*	1	+						
40		ジョウカイボン科	Asiopodabrus 属	*Asiopodabrus* sp.	2	0.017						
41			Themus 属	*Themus* sp.	1	0.09						
42		テントウムシ科	テントウムシ科	Coccinellidae sp.	1	0.012						
43		ニセクビボソムシ科	ホソニセクビボソムシ	*Pseudanidorus rubrivestis*							1	+
44		カミキリムシ科	ツヤケシハナカミキリ	*Anastrangalia scotodes*	1	0.051						
45			チャイロヒメハナカミキリ	*Pidonia aegrota aegrota*	1	0.011						
46		ゾウムシ科	ゾウムシ科	Curculionidae sp.			1	0.009				
47		キクイムシ科	キクイムシ科	Scolytidae sp.	1	+						
48	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	ハバチ科	Tenthredinidae sp.	1	0.008						
49		ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.	3	0.043						
50		アリ科	トビイロケアリ	*Lasius japonicus*	2	+	1	+			1	+
－			アリ科	Formicidae sp.	10	0.037	2	+	1	+		
51		クモバチ科	Agenioideus 属	*Agenioideus* sp.	1	0.011						
52		コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.	1	+	1	+	1	+	1	+
53		ハエヤドリクロバチ科	ハエヤドリクロバチ科	Diapriidae sp.			1	+	1	+		
54		タマゴクロバチ科	タマゴクロバチ科	Scelionidae sp.	1	+	1	+	4	+	1	+
55		タマバチ科	タマバチ科	Cynipidae sp.					1	+		
計				種数	8 目 30 科 35 種		9 目 21 科 24 種		6 目 17 科 19 種		8 目 18 科 20 種	
				個体数	92		56		51		35	
				湿重量(g)	0.484		0.081		0.020		0.021	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 621　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度秋季 1/3）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					秋季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	0.002	1	0.002	2	0.009	2	0.007
2			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	2	0.003			2	0.004	1	0.004
－			コカゲロウ科	Baetidae sp.	1	+						
3		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	1	0.006						
4			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	3	0.007						
－		－	カゲロウ目(蜉蝣目)	EPHEMEROPTERA sp.	1	+	2	+				
5	カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.	1	+	1	+				
6		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.			1	+				
7	チャタテムシ目(噛虫目)	ケチャタテ科	Caecilius 属	*Caecilius* sp.							2	+
8		ホソチャタテ科	ハグルマチャタテ	*Matsumuraiella rapiopicta*			3	+				
－			ホソチャタテ科	Stenopsocidae sp.			1	+				
9		チャタテ科	チャタテ科	Psocidae sp.			2	+				
10	カメムシ目(半翅目)	ウンカ科	セジロウンカ	*Sogatella furcifera*			1	+				
11			セジロウンカモドキ	*Sogatella kolophon*					1	+		
12		マルウンカ科	カタビロクサビウンカ	*Issus harimensis*			1	0.039			1	0.096
13		ツノゼミ科	ツノゼミ	*Butragulus flavipes*	1	0.015	1	0.019				
14		アワフキムシ科	Peuceptyelus 属	*Peuceptyelus* sp.			1	0.012				
15			テングアワフキ	*Philagra albinotata*			1	0.037				
－			アワフキムシ科	Aphrophoridae sp.					1	+	1	+
16		ヨコバイ科	フタテンヒメヨコバイ	*Arboridia apicalis*					1	+	1	+
17			Macropsis 属	*Macropsis* sp.	1	+					2	0.007
18			オヌキシダヨコバイ	*Onukigallia onukii*			2	+				
－			ヨコバイ科	Cicadellidae sp.	1	+					2	+
19		グンバイムシ科	Stephanitis 属	*Stephanitis* sp.	1	+						
20		キジラミ科	ハンノキジラミ	*Psylla alni*					1	+		
21		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	1	+	14	0.006	8	+	7	+
－		－	カメムシ目(半翅目)	HEMIPTERA sp.							1	+
22	トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)							1	0.008
23			Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila* sp. (Retracta group)	4	0.004						
24	チョウ目(鱗翅目)	－	チョウ目(鱗翅目)	LEPIDOPTERA sp.							1	+

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 622　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度秋季 2/3）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					秋季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
25	ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	ヒメガガンボ科(成虫)	Limoniidae sp.	1	+						
26		ヌカカ科	ヌカカ科	Ceratopogonidae sp.			1	+			1	+
27		ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.			1	+	1	+	1	+
28			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	16	0.004	17	0.004	45	0.011	30	0.008
29			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.					1	+	1	+
30			Tvetenia 属	*Tvetenia* sp.							1	+
－			ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.	5	+	8	+	3	+	5	+
31		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.					1	+	1	+
32		ケバエ科	アシブトケバエ	*Bibio gracilipalpus*			4	0.019				
－			Bibio 属	*Bibio* sp.							1	+
33		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	65	0.114	128	0.262	38	0.028	152	0.181
34		ムシヒキアブ科	Neoitamus 属	*Neoitamus* sp.	1	0.081						
－			ムシヒキアブ科	Asilidae sp.					1	+		
35		アシナガバエ科	アシナガバエ科(成虫)	Dolichopodidae sp.	1	+	1	+				
36		オドリバエ科	Hybos 属	*Hybos* sp.					1	+	1	+
37			Platypalpus 属	*Platypalpus* sp.					1	+	1	+
－			オドリバエ科(成虫)	Empididae sp.					1	+	1	+
38		ショウジョウバエ科	Drosophila 属	*Drosophila* sp.							1	+
39		イエバエ科	Atherigona 属	*Atherigona* sp.					1	0.008		
40		タマバエ科	タマバエ科	Cecidomyiidae sp.	2	+	1	+				
41		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.	3	+	4	+	1	+	5	+
42		キモグリバエ科	キモグリバエ科	Chloropidae sp.	1	+	1	+	1	+		
43		シマバエ科	Minettia 属	*Minettia* sp.			3	0.006				
44			Sapromyza 属	*Sapromyza* sp.			1	+				
－			シマバエ科	Lauxaniidae sp.	1	+						
45		フンコバエ科	フンコバエ科	Sphaeroceridae sp.			1	+			1	+

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 623　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度秋季 3/3）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					秋季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
46	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	Anotylus 属	*Anotylus* sp.			1	+			1	+
47			Pella 属	*Pella* sp.							1	+
－			ハネカクシ科	Staphylinidae sp.	1	+	4	+				
48		コメツキムシ科	Ampedus 属	*Ampedus* sp.			1	+				
49		カッコウムシ科	キオビナガカッコウムシ	*Opilo carinatus*			1	0.022				
50		ニセクビボソムシ科	Pseudanidorus 属	*Pseudanidorus* sp.							1	+
51		ハナノミダマシ科	キイロフナガタハナノミ	*Anaspis luteola*			1	+				
52		ハムシ科	ツブノミハムシ	*Aphthona perminuta*	1	+	3	+				
53			ヒゲナガウスバハムシ	*Stenoluperus nipponensis*	1	+						
－			ハムシ科	Chrysomelidae sp.	1	+						
54		ゾウムシ科	ヒメシギゾウムシ	*Curculio hime*							1	+
55	ハチ目(膜翅目)	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.	1	+			2	0.01		
56		アリガタバチ科	Epyris 属	*Epyris* sp.			1	+				
57		アリ科	トビイロケアリ	*Lasius japonicus*			1	+			1	+
－			アリ科	Formicidae sp.	42	0.11	14	0.123	19	0.039	14	0.017
58		コハナバチ科	Lasioglossum 属	*Lasioglossum* sp.			1	0.018				
59		コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.	5	+	5	+	2	+	2	+
60		ハエヤドリクロバチ科	ハエヤドリクロバチ科	Diapriidae sp.			2	+	3	+	1	+
61		ヒゲナガクロバチ科	ヒゲナガクロバチ科	Ceraphronidae sp.	6	+	6	+			2	+
62		シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	Proctotrupidae sp.	2	+	2	+	2	+		
63		タマゴクロバチ科	タマゴクロバチ科	Scelionidae sp.	2	+	1	+			4	+
64		トビコバチ科	トビコバチ科	Encyrtidae sp.	1	+	2	+			1	+
65		マルハラコバチ科	ルリマルハラコバチ	*Perilampus japonicus*			1	+				
66		コガネコバチ科	コガネコバチ科	Pteromalidae sp.	2	+	4	+	2	+	5	+
67		オナガコバチ科	オナガコバチ科	Torymidae sp.							1	+
68		ホソハネコバチ科	ホソハネコバチ科	Mymaridae sp.			1	+				
69		タマバチ科	タマバチ科	Cynipidae sp.			4	+	1	+		
計				種数	7 目 27 科 30 種		7 目 39 科 42 種		4 目 21 科 25 種		8 目 27 科 35 種	
				個体数	180		259		143		260	
				湿重量(g)	0.346		0.569		0.109		0.328	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 624　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度冬季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					冬季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	2	0.019	2	0.004			1	+
2		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			1	+				
3			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*			1	+	2	0.001		
4		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	18	0.042	12	0.017	5	0.013	8	0.011
−			Epeorus 属	*Epeorus* sp.	1	+			2	0.001		
5			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	1	0.002						
6	カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	3	0.001	9	0.011	2	0.007	1	0.006
7		オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.	2	0.001	1	+	5	0.005	2	0.002
8		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	9	0.014	1	+	13	0.015	10	0.021
9	トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)	1	0.001	2	0.015				
10	ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	5	+	9	0.002			5	+
11			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.			3	0.001				
12			Pagastia 属	*Pagastia* sp.	3	0.003	4	0.004			3	0.009
13			Pseudodiamesa 属	*Pseudodiamesa* sp.	1	0.001	2	0.002	1	0.003	1	0.003
14		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	1	+	1	+				
計				種数	4 目 8 科 12 種		4 目 9 科 13 種		3 目 6 科 7 種		3 目 6 科 8 種	
				個体数	47		48		30		31	
				湿重量(g)	0.084		0.056		0.045		0.052	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 625　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度春季 1/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
					春季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	Drunella 属	*Drunella* sp.	1	+						
2		コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	1	+						
3			フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	0.011						
4			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	20	0.087	13	0.044	11	0.002	2	0.003
5		ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	8	0.061	10	0.058	2	0.011		
6			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	1	0.003	1	0.005	2	0.001		
－		－	カゲロウ目(蜉蝣目)成虫	EPHEMEROPTERA sp.			1	0.002			1	0.004
7	ハサミムシ目(革翅目)	クギヌキハサミムシ科	クギヌキハサミムシ科	Forficulidae sp.	1	0.007			1	0.007		
8	カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	1	+						
－			クロカワゲラ科(成虫)	Capniidae sp.							1	0.004
9		ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科(成虫)	Leuctridae sp.			1	+	2	0.001		
10		オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.	2	0.004			1	0.004		
11			Nemoura 属	*Nemoura* sp.	3	0.014	3	0.008			1	0.002
12			Protonemura 属	*Protonemura* sp.	3	0.012	1	0.002	2	0.011		
－			Protonemura 属(成虫)	*Protonemura* sp.							2	0.009
13		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	4	0.029	7	0.045	1	0.003		
－			ミドリカワゲラ科(成虫)	Chloroperlidae sp.			2	0.021	1	0.014		
14	カメムシ目(半翅目)	アワフキムシ科	ヒメヤマアワフキ	*Peuceptyelus dimidiatus*	1	0.015						
15		ヨコバイ科	Xestocephalus 属	*Xestocephalus* sp.			4	0.009				
16		ヒラタカメムシ科	アラゲオオヒラタカメムシ	*Mezira subsetosa*							1	0.014
17	アミメカゲロウ目(脈翅目)	ヒロバカゲロウ科	ヒロバカゲロウ科	Osmylidae sp.					1	0.034		
18	トビケラ目(毛翅目)	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.			1	0.003	1	0.004		
19		コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.	4	0.001	3	0.003				
20		カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.	3	0.067	1	0.017				
21	ハエ目(双翅目)	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.	1	0.002						
22		ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia* sp.	1	+						
23			Diamesa 属	*Diamesa* sp.	2	+	2	0.003	4	0.003	3	0.003
24			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+	3	+			1	+
25			Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.	2	+						
26			Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.			1	+				
－			ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.	1	0.003						
27		ブユ科	Prosimulium 属(成虫)	*Prosimulium* sp.	1	0.001						
28		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	1	0.005	1	+	2	0.002		

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 626　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度春季 2/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
					春季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
29	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	Aleochara 属	*Aleochara* sp.			2	0.003				
30			Geodromicus 属	*Geodromicus* sp.			1	+				
31			Philonthus 属	*Philonthus* sp.			1	0.002				
32			Tachinus 属	*Tachinus* sp.			1	0.003				
33		コメツキムシ科	Ectinus 属	*Ectinus* sp.					1	0.019		
34		ジョウカイモドキ科	Dasytes 属	*Dasytes* sp.			1	0.002				
35		ツチハンミョウ科	ヒメツチハンミョウ	*Meloe coarctatus*			1	0.298				
36		ハムシ科	トホシハムシ	*Gonioctena japonica*			1	0.036				
37			カバノキハムシ	*Syneta adamsi*			1	0.005				
38		キクイムシ科	キクイムシ科	Scolytidae sp.			2	0.005			1	0.004
39	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	Fagineura crenativora	*Fagineura crenativora*			3	0.024				
－			ハバチ科	Tenthredinidae sp.	1	0.002						
40		ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.							1	0.002
41		アリ科	シベリアカタアリ	*Dolichoderus sibiricus*							1	0.002
42			Formica 属	*Formica* sp.							1	0.006
43			トビイロケアリ	*Lasius japonicus*							1	0.003
44		クモバチ科	クモバチ科	Pompilidae sp.			1	0.011				
45		コハナバチ科	Lasioglossum 属	*Lasioglossum* sp.			1	0.008				
計				種数	7 目 15 科 23 種		7 目 19 科 27 種		7 目 11 科 13 種		6 目 8 科 12 種	
				個体数	65		71		32		17	
				湿重量(g)	0.324		0.617		0.116		0.056	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 627　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度夏季 1/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
					夏季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	トビムシ目(粘管目)	ツチトビムシ科	ツチトビムシ科	Isotomidae sp.			1	+				
2	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			1	+				
3			サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*			2	0.003			2	+
4			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	8	0.017	4	0.009	10	0.026	3	0.008
5		ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	1	0.009						
–			Epeorus 属	*Epeorus* sp.			1	+				
6			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	33	0.082	18	0.016	18	0.019	7	0.007
7	ハサミムシ目(革翅目)	–	ハサミムシ目(革翅目)	DERMAPTERA sp.	1	+						
8	カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Indonemoura 属	*Indonemoura* sp.	1	0.006						
9			Protonemura 属	*Protonemura* sp.	1	+						
10		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	15	0.028	6	0.009	4	0.005	6	0.009
11	カメムシ目(半翅目)	ツノゼミ科	ツノゼミ科	Membracidae sp.					1	+		
12		ヨコバイ科	Oncopsis 属	*Oncopsis* sp.							2	0.014
13		グンバイムシ科	Stephanitis 属	*Stephanitis* sp.	1	+	1	+				
14		カスミカメムシ科	Lygocoris 属	*Lygocoris* sp.							1	+
15			Phytocoris 属	*Phytocoris* sp.					1	0.007		
16			クロツヤチビカスミカメ	*Sejanus potanini*			1	+				
17		カメムシ科	カメムシ科	Pentatomidae sp.					1	0.008		
18	トビケラ目(毛翅目)	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	1	0.004						
19	チョウ目(鱗翅目)	–	チョウ目(鱗翅目)	LEPIDOPTERA sp.					2	0.05		
20	ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.			1	+				
–			ヒメガガンボ科	Limoniidae sp.					1	+		
21		アミカ科	ヒメナミアミカ	*Blepharicera japonica*	1	+			1	+		
–			Blepharicera 属	*Blepharicera* sp.	1	0.012	1	+				
22		ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.	2	0.002	6	0.005			1	+
23			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+	3	+				
24			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.	3	+						
25			Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.			1	+				
26			エリユスリカ亜科	Orthocladiinae sp.					3	+		
27			モンユスリカ亜科	Tanypodinae sp.							1	+
–			ユスリカ科	Chironomidae sp.	2	+						
28		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	2	+	8	0.008	1	+	1	+
29		ケバエ科	Dilophus 属	*Dilophus* sp.			1	+				
30		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	4	+	9	0.005	5	+	4	+
31		ムシヒキアブ科	Neoitamus 属	*Neoitamus* sp.							1	0.087
32		アシナガバエ科	アシナガバエ科(成虫)	Dolichopodidae sp.							1	+

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 628　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度夏季 2/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島（放流箇所下流②）							
					夏季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
33	ハエ目（双翅目）	オドリバエ科	Hilara 属	*Hilara* sp.			4	+	4	0.007	6	+
34		ミギワバエ科	Nostima 属	*Nostima* sp.			1	+				
35		タマバエ科	タマバエ科	Cecidomyiidae sp.			1	+				
36		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.							1	+
37		シマバエ科	Minettia 属	*Minettia* sp.							1	+
38	コウチュウ目（鞘翅目）	ハネカクシ科	Atheta 属	*Atheta* sp.							1	+
39			Megarthrus 属	*Megarthrus* sp.					1	+		
40			Petaloscapus 属	*Petaloscapus* sp.			1	+				
41			Sepedophilus 属	*Sepedophilus* sp.	1	+			1	+	1	+
−			ハネカクシ科	Staphylinidae sp.			1	+	1	+		
42		ヒメドロムシ科	タテスジマルヒメドロムシ	*Optioservus ogatai*	1	+						
43			スネアカヒメドロムシ	*Optioservus variabilis*	1	+						
44		ジョウカイボン科	Malthinus 属	*Malthinus* sp.							1	+
45		ベニボタル科	Cautires 属	*Cautires* sp.	1	0.012						
46			Dilophotes 属	*Dilophotes* sp.					1	+		
47		ツツキノコムシ科	Cis 属	*Cis* sp.			1	+				
48		ハムシ科	アカバネタマノミハムシ	*Sphaeroderma nigricolle*							1	+
49		ゾウムシ科	ゾウムシ科	Curculionidae sp.							1	+
50		キクイムシ科	キクイムシ科	Scolytidae sp.			1	+				
51	ハチ目（膜翅目）	ハバチ科	Rocalia 属	*Rocalia* sp.					1	0.011		
−			ハバチ科	Tenthredinidae sp.					1	+		
52		ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.	1	+						
53		アリ科	アシナガアリ	*Aphaenogaster famelica*			1	+	1	+		
54			トビイロケアリ	*Lasius japonicus*	1	+	1	+	3	+	3	0.005
55			エゾクシケアリ	*Myrmica jessensis*							1	+
−			Myrmica 属	*Myrmica* sp.	1	+						
−			アリ科	Formicidae sp.	5	0.016	2	0.006	4	0.011	1	0.018
56		コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.	1	+	1	+	2	+	1	+
57		タマゴクロバチ科	タマゴクロバチ科	Scelionidae sp.			1	+				
58		コガネコバチ科	コガネコバチ科	Pteromalidae sp.			1	+				
計				種数	8 目 17 科 23 種		7 目 22 科 28 種		7 目 18 科 20 種		6 目 19 科 23 種	
				個体数	91		82		68		49	
				湿重量(g)	0.188		0.061		0.144		0.148	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 629　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度秋季 1/3）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
					秋季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ	*Ameletus montanus montanus*					1	0.006		
2		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*					1	+	1	0.003
3			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	6	0.015			2	0.004		
－		ヒラタカゲロウ科	Epeorus 属	*Epeorus* sp.							1	0.002
4			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	15	0.041						
5	カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.			1	+				
6		オナシカワゲラ科	Nemoura 属	*Nemoura* sp.					1	0.009		
7		ミドリカワゲラ科	Suwallia 属	*Suwallia* sp.					2	0.007		
8			ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	2	0.005						
9		アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.	2	0.005						
10	チャタテムシ目(噛虫目)	ケチャタテ科	Caecilius 属	*Caecilius* sp.							1	+
11		ホソチャタテ科	ハグルマチャタテ	*Matsumuraiella rapiopicta*							1	+
－			ホソチャタテ科	Stenopsocidae sp.					1	+		
12	カメムシ目(半翅目)	ヒシウンカ科	Kuvera 属	*Kuvera* sp.							1	+
13		ウンカ科	セジロウンカ	*Sogatella furcifera*							1	+
14			セジロウンカモドキ	*Sogatella kolophon*							1	+
15		マルウンカ科	カタビロクサビウンカ	*Issus harimensis*							1	0.034
16		アワフキムシ科	ヒメミヤマアワフキ	*Peuceptyelus dimidiatus*							1	0.012
17		ヨコバイ科	マエジロオオヨコバイ	*Kolla atramentaria*			1	0.008				
18			Macropsis 属	*Macropsis* sp.			1	0.003			1	+
19			シロズオオヨコバイ	*Oniella honesta*					1	+		
－			ヨコバイ科	Cicadellidae sp.	1	+	1	+			1	+
20		グンバイムシ科	グンバイムシ科	Tingidae sp.							1	+
21		ハナカメムシ科	ツヤヒメハナカメムシ	*Orius nagaii*							1	+
22		カメムシ科	ツノアオカメムシ	*Pentatoma japonica*					1	0.426		
23		キジラミ科	ハンノキジラミ	*Psylla alni*	3	0.007			7	0.023	2	0.005
24		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	5	+	6	+	14	0.007	18	+
25		ムクゲカメムシ科	ムクゲカメムシ科	Dipsocoridae sp.					1	+		
26	アザミウマ目(総翅目)	アザミウマ科	アザミウマ科	Thripidae sp.	1	+						
27		クダアザミウマ科	クダアザミウマ科	Phlaeothripidae sp.	1	+					1	+
28	アミメカゲロウ目(脈翅目)	コナカゲロウ科	シロコナカゲロウ	*Semidalis albata*	1	+						
29		クサカゲロウ科	クサカゲロウ科	Chrysopidae sp.							1	+
30	トビケラ目(毛翅目)	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	1	+						
31		ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila* sp. (Retracta group)	1	+						

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 630　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度秋季 2/3）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
					秋季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
32	ハエ目(双翅目)	アミカ科	ハナレメナミアミカ	*Blepharicera shirakii*							1	+
33		ヌカカ科	ヌカカ科	Ceratopogonidae sp.							2	+
34		ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	5	0.001	6	0.003	8	0.004	5	0.002
－			ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.	3	+	2	+	5	+	6	+
35		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	14	+	13	+	14	0.007	40	0.014
36		ムシヒキアブ科	Choerades 属	*Choerades* sp.							1	0.081
37		アシナガバエ科	アシナガバエ科(成虫)	Dolichopodidae sp.							1	+
38		オドリバエ科	Hybos 属	*Hybos* sp.	2	0.006			1	+	1	+
39		タマバエ科	タマバエ科	Cecidomyiidae sp.					1	+	1	+
40		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.							1	+
41		ヤリバエ科	ヤリバエ科	Lonchopteridae sp.					1	+		
42		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.	1	+			2	+	3	+
43		キモグリバエ科	キモグリバエ科	Chloropidae sp.							1	+
44		シマバエ科	Minettia 属	*Minettia* sp.					1	+		
45			Sapromyza 属	*Sapromyza* sp.							1	+
46		シダコバエ科	Teratomyza 属	*Teratomyza* sp.							1	+
47		フンコバエ科	フンコバエ科	Sphaeroceridae sp.			1	+			2	+
－		－	ハエ目(双翅目)	DIPTERA sp.			1	+				
48	コウチュウ目(鞘翅目)	タマキノコムシ科	Catops 属	*Catops* sp.					1	+		
49		ハネカクシ科	Atheta 属	*Atheta* sp.							1	+
50			Philonthus 属	*Philonthus* sp.							2	+
－			ハネカクシ科	Staphylinidae sp.							1	+
51		タマムシ科	Agrilus 属	*Agrilus* sp.							1	+
52		コメツキムシ科	Yukoana 属	*Yukoana* sp.	1	+						
53		ジョウカイモドキ科	Attalus 属	*Attalus* sp.							1	+
54		テントウムシダマシ科	ベニバネテントウダマシ	*Mycetina rufipennis*							1	+
55		コキノコムシ科	アカバヒゲボソコキノコムシ	*Parabaptistes reitteri*							1	+
56		ハムシ科	ツブノミハムシ	*Aphthona perminuta*					4	+		
－			ハムシ科	Chrysomelidae sp.							1	+
57		ゾウムシ科	クリシギゾウムシ	*Curculio sikkimensis*							1	0.048
58			ハチジョウノミゾウムシ	*Rhamphus hisamatsui*			1	+				
－			ゾウムシ科	Curculionidae sp.			1	+				
59		キクイムシ科	キクイムシ科	Scolytidae sp.			2	+			1	+

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 631　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度秋季 3/3）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
					秋季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
60	ハチ目(膜翅目)	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.					1	+		
61		アリガタバチ科	Epyris 属	*Epyris* sp.							2	+
62		アリ科	トビイロケアリ	*Lasius japonicus*							2	+
－			アリ科	Formicidae sp.	84	0.131	65	0.077	287	0.473	232	0.227
63		コツチバチ科	Tiphia 属	*Tiphia* sp.					1	0.039	1	0.025
64		コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.	1	+	1	+	2	+	4	+
65		ハエヤドリクロバチ科	ハエヤドリクロバチ科	Diapriidae sp.			1	+				
66		ヒゲナガクロバチ科	ヒゲナガクロバチ科	Ceraphronidae sp.					2	+	1	+
67		シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	Proctotrupidae sp.							2	+
68		タマゴクロバチ科	タマゴクロバチ科	Scelionidae sp.					1	+	4	+
69		ナガコバチ科	ナガコバチ科	Eupelmidae sp.			1	+	1	+	2	+
70		コガネコバチ科	コガネコバチ科	Pteromalidae sp.	1	+	1	+			1	+
71		オナガコバチ科	オナガコバチ科	Torymidae sp.			1	+				
72		タマバチ科	タマバチ科	Cynipidae sp.					1	+	1	+
計				種数	9 目 20 科 20 種		5 目 14 科 15 種		7 目 27 科 28 種		8 目 47 科 49 種	
				個体数	151		107		366		365	
				湿重量(g)	0.211		0.091		1.005		0.453	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 632　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度冬季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島（放流箇所下流②）							
					冬季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	4	0.014						
2		コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	15	0.021	9	0.007	12	0.016	7	0.008
3		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	15	0.056	8	0.025	4	0.007		
4			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	1	0.004	1	0.004	2	0.004	3	0.003
5	カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	4	0.003	1	0.001	9	0.006		
6		オナシカワゲラ科	Nemoura 属	*Nemoura* sp.	2	0.001						
7			Protonemura 属	*Protonemura* sp.			2	0.002			1	+
8		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	1	+	1	0.002	4	0.011	2	0.003
9	トビケラ目（毛翅目）	コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.	1	0.001	1	0.001				
10	ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.	1	0.009						
11		ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.							1	0.003
12		アミカ科	アミカ科	Blephariceridae sp.							1	+
13		ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.							1	0.001
14			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.	51	0.041	67	0.054	34	0.027	56	0.044
15			Pagastia 属	*Pagastia* sp.	5	0.011	5	0.008	5	0.009		
16			Pseudodiamesa 属	*Pseudodiamesa* sp.	1	0.001	1	0.001	1	0.001		
17		ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium* sp.					1	+		
18			Simulium 属	*Simulium* sp.	4	0.003	9	0.008	3	0.002	5	0.017
計				種数	4 目 10 科 13 種		4 目 8 科 11 種		3 目 6 科 10 種		3 目 8 科 9 種	
				個体数	105		105		75		77	
				湿重量(g)	0.165		0.113		0.083		0.079	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

4.4.2.2.落下昆虫（任意採集）確認種一覧

表 633　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2021 年度夏季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					沢 33 北俣・中俣合流部付近							
					夏季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量
1	チャタテムシ目（噛虫目）	ケチャタテ科	ケチャタテ科	Caeciliidae sp.							1	+
2		ホソチャタテ科	ホソチャタテ	*Stenopsocus aphidiformis*							1	+
3	チョウ目（鱗翅目）	シロチョウ科	ヤマトスジグロシロチョウ本州中・南部亜種	*Pieris nesis japonica*							1	0.118
4		シャクガ科	シャクガ科	Geometridae sp.			1	0.051	1	0.026	1	0.02
－		－	チョウ目（鱗翅目）	LEPIDOPTERA sp.							1	+
5	ハエ目（双翅目）	ヌカカ科	ヌカカ科(成虫)	Ceratopogonidae sp.	1	+			3	+		
6		ユスリカ科	ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.			1	+	1	+		
7		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	1	+	6	+	17	0.016	1	+
8		アシナガバエ科	アシナガバエ科(成虫)	Dolichopodidae sp.			4	0.015	4	+	2	+
9		オドリバエ科	Hilara 属	*Hilara* sp.	1	+	2	+				
10			Microphor 属	*Microphor* sp.	2	+						
11			Syneches 属	*Syneches* sp.					1	+	1	+
12		ハナアブ科	Cheilosia 属	*Cheilosia* sp.					1	0.042		
13			Melangyna 属	*Melangyna* sp.	6	0.115	8	0.174	42	1.065	12	0.264
14			Sphegina 属	*Sphegina* sp.					1	+		
15		イエバエ科	クロオオイエバエ	*Muscina japonica*					1	0.065		
16			Phaonia 属	*Phaonia* sp.					3	0.107	4	0.176
17		ヤリバエ科	ウスグロヤリバエ	*Lonchoptera sapporensis*			3	+				
18		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.			1	+	11	+	4	+
19		ハナバエ科	ハナバエ科	Anthomyiidae sp.	5	0.031	3	0.018	7	0.035	2	0.016
20		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.	53	0.594	97	1.424	91	1.533	65	0.833
21	ハチ目（膜翅目）	アリ科	アリ科	Formicidae sp.	2	+	1	+			3	+
22		コハナバチ科	Lasioglossum 属	*Lasioglossum* sp.			1	0.009				
23		コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.	1	+						
計				種数	4 目 18 科 23 種							
				個体数	72		128		184		99	
				重量(g)	0.740		1.691		2.889		1.427	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 634　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2021 年度秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					沢 33 北俣・中俣合流部付近							
					秋季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量
1	チャタテムシ目（噛虫目）	ケチャタテ科	ケチャタテ科	Caeciliidae sp.							1	+
2		ホソチャタテ科	ホソチャタテ	*Stenopsocus aphidiformis*							1	+
3		チャタテ科	カバイロチャタテ	*Metylophorus nebulosus*							1	+
4	チョウ目（鱗翅目）	シロチョウ科	ヤマトスジグロシロチョウ本州中・南部亜種	*Pieris nesis japonica*							1	0.118
5		シャクガ科	シャクガ科	Geometridae sp.			1	0.051	1	0.026	1	0.02
−		−	チョウ目（鱗翅目）	LEPIDOPTERA sp.			1	0.017			1	+
6	ハエ目（双翅目）	アミカ科	Philorus 属(成虫)	*Philorus* sp.	1	+						
7		ヌカカ科	ヌカカ科(成虫)	Ceratopogonidae sp.	1	+			3	+		
8		ユスリカ科	ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.	28	+	6	+	6	+	6	+
9		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	21	0.015	16	0.01	64	0.071	9	+
10		アシナガバエ科	アシナガバエ科(成虫)	Dolichopodidae sp.			4	0.015	4	+	2	+
11		オドリバエ科	Hilara 属(成虫)	*Hilara* sp.	1	+	2	+				
12			Microphor 属	*Microphor* sp.	2	+						
13			Syneches 属	*Syneches* sp.					1	+	1	+
14		ハナアブ科	Cheilosia 属	*Cheilosia* sp.					1	0.042		
15			Melangyna 属	*Melangyna* sp.	23	0.539	8	0.174	85	2.101	21	0.444
16			Sphegina 属	*Sphegina* sp.					1	+		
17		イエバエ科	クロオオイエバエ	*Muscina japonica*					1	0.065		
18			Phaonia 属	*Phaonia* sp.					3	0.107	4	0.176
19		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.					1	+		
20		ヤリバエ科	ウスグロヤリバエ	*Lonchoptera sapporensis*			3	+				
21		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.			1	+	14	+	5	+
22		ハナバエ科	ハナバエ科	Anthomyiidae sp.	7	0.039	3	0.018	9	0.043	2	0.016
23		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.	68	0.742	111	1.558	133	1.952	71	0.904
24	コウチュウ目（鞘翅目）	ハネカクシ科	Geodromicus 属	*Geodromicus* sp.					1	+		
25	ハチ目（膜翅目）	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.					1	0.015		
26		アリ科	アリ科	Formicidae sp.	2	+	1	+			3	+
27		コハナバチ科	Lasioglossum 属	*Lasioglossum* sp.			1	0.009	2	0.014	1	0.006
28		コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.	1	+			1	+		
29		シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	Proctotrupidae sp.					1	+	1	+
30		ノミコバチ科	ノミコバチ科	Elasmidae sp.	4	+						
31		コガネコバチ科	コガネコバチ科	Pteromalidae sp.	1	+						
計				種数	5 目 26 科 31 種							
				個体数	160		158		333		132	
				重量(g)	1.335		1.852		4.436		1.684	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 635　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度春季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣（放流箇所下流）							
					春季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量
1	カワゲラ目（セキ翅目）	シタカワゲラ科	Obipteryx 属(成虫)	*Obipteryx* sp.					1	0.008		
2	カメムシ目（半翅目）	アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.							1	+
3	ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.					1	+		
4		ケバエ科	Dilophus 属	*Dilophus* sp.							1	+
5		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.					2	+		
6		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	1	+						
7		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.							1	+
8		ヤドリバエ科	Tachina 属	*Tachina* sp.			1	0.051				
9	コウチュウ目（鞘翅目）	ハムシ科	ツブノミハムシ	*Aphthona perminuta*					2	+		
計				種数	4 目 9 科 9 種							
				個体数	1		1		6		3	
				重量(g)	+		0.051		0.008		+	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 636　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度夏季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣（放流箇所下流）							
					夏季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量
1	カメムシ目（半翅目）	ヨコバイ科	ミドリカスリヨコバイ	*Balclutha incisa*			1	+				
2	アミメカゲロウ目（脈翅目）	コナカゲロウ科	キバラコナカゲロウ	*Coniopteryx abdominalis*	1	+						
3	トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属(成虫)	*Rhyacophila* sp.							1	+
4	ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.	4	+	4	+			7	+
5		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	2	+					1	+
6		アシナガバエ科	アシナガバエ科(成虫)	Dolichopodidae sp.	1	+						
7		オドリバエ科	Hilara 属	*Hilara* sp.			1	+	3	0.01	3	+
8		ハナアブ科	ホソヒラタアブ	*Episyrphus balteatus*							1	0.025
9			Eumerus 属	*Eumerus* sp.			1	0.018			3	0.033
10			オビホソヒラタアブ	*Meliscaeva cinctella*			1	0.011			1	0.016
11			ミヤマルリイロハラナガハナアブ	*Xylota coquilletti*					1	0.046		
12		ミギワバエ科	Nostima 属	*Nostima* sp.			2	+				
13		キアブ科	Rachicerus 属	*Rachicerus* sp.					2	0.014	2	0.015
14		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.	1	+						
15		フンコバエ科	フンコバエ科	Sphaeroceridae sp.	1	+						
16		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.	2	0.019	1	+	1	0.024		
17	コウチュウ目（鞘翅目）	ハネカクシ科	ハネカクシ科	Staphylinidae sp.			1	+				
18		カツオブシムシ科	チビマルカツオブシムシ	*Anthrenus japonicus*	2	+						
19		カミキリムシ科	ヨツスジハナカミキリ	*Leptura ochraceofasciata ochraceofasciata*			1	0.154			1	0.107
20			ニンフホソハナカミキリ	*Parastrangalis nymphula*	1	0.028	1	0.041	1	0.023		
21	ハチ目（膜翅目）	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.			1	0.018				
計				種数	6 目 17 科 21 種							
				個体数	15		15		8		20	
				重量(g)	0.047		0.242		0.117		0.196	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 637　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣（放流箇所下流）							
					秋季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量
1	チャタテムシ目（噛虫目）	ホソチャタテ科	ハグルマチャタテ	*Matsumuraiella rapiopicta*			1	+				
2		チャタテ科	チャタテ科	Psocidae sp.							1	+
3	カメムシ目（半翅目）	アワフキムシ科	ミヤマアワフキ	*Peuceptyelus nigroscutellatus*							1	0.006
4		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	1	+						
5	チョウ目（鱗翅目）	シジミチョウ科	ミヤマカラスシジミ	*Fixsenia mera*							1	0.045
6		タテハチョウ科	ミドリヒョウモン	*Argynnis paphia tsushimana*	1	0.317						
7	ハエ目（双翅目）	クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	3	+	2	+	8	0.003	4	+
8		オドリバエ科	Empis 属	*Empis* sp.							1	+
9			Microphor 属	*Microphor* sp.			1	+				
10		ハナアブ科	Melangyna 属	*Melangyna* sp.			3	0.067	16	0.292	10	0.18
11			コマバムツホシヒラタアブ	*Scaeva komabensis*					1	0.07		
12		イエバエ科	Brontaea 属	*Brontaea* sp.							1	+
13		ハナバエ科	ハナバエ科	Anthomyiidae sp.	2	0.01	4	0.023	9	0.055	4	0.024
14		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.	28	0.307	20	0.201	55	0.547	12	0.138
15	ハチ目（膜翅目）	ヒメハナバチ科	Andrena 属	*Andrena* sp.					1	0.031		
16		ミツバチ科	ナガマルハナバチ	*Bombus consobrinus wittenburgi*							1	0.475
17		コハナバチ科	Lasioglossum 属	*Lasioglossum* sp.					3	0.035		
計				種数	5 目 15 科 17 種							
				個体数	35		31		93		36	
				重量(g)	0.634		0.291		1.033		0.868	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 638　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度春季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島（放流箇所下流②）							
					春季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量
1	カワゲラ目（セキ翅目）	ホソカワゲラ科	Rhopalopsole 属(成虫)	*Rhopalopsole* sp.					2	+	1	+
2	カメムシ目（半翅目）	アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.							2	+
3		コナジラミ科	コナジラミ科	Aleyrodidae sp.							1	+
4	チョウ目（鱗翅目）	セセリチョウ科	ミヤマセセリ	*Erynnis montana montana*							1	0.102
5	ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.	1	+	2	+			4	+
6		ブユ科	Simulium 属(成虫)	*Simulium* sp.							1	+
7		ミギワバエ科	Nostima 属	*Nostima* sp.	1	+	1	+				
8			ヨツモンハマダラミギワバエ	*Scatella calida*	1	+						
9		ヌカカ科	ヌカカ科(成虫)	Ceratopogonidae sp.	3	+						
10		アシナガバエ科	Argyra 属(成虫)	*Argyra* sp.			1	+				
11		オドリバエ科	Microphor 属	*Microphor* sp.			1	+				
12		ヤリバエ科	ハコネヤリバエ	*Lonchoptera hakonensis*					1	+		
13		ハナバエ科	ハナバエ科	Anthomyiidae sp.			1	+	1	0.005	1	0.009
14		ヤドリバエ科	Tachina 属	*Tachina* sp.			1	0.044				
15	コウチュウ目（鞘翅目）	オサムシ科	Bembidion 属	*Bembidion* sp.			1	+				
16		ハネカクシ科	Geodromicus 属	*Geodromicus* sp.					1	+		
－			ハネカクシ科	Staphylinidae sp.					1	+		
計				種数	5 目 15 科 16 種							
				個体数	6		8		6		11	
				重量(g)	+		0.044		0.005		0.111	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 639　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度夏季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島（放流箇所下流②）							
					夏季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量
1	チャタテムシ目（噛虫目）	ケチャタテ科	Caecilius 属	*Caecilius* sp.			1	+				
2		ホソチャタテ科	ハグルマチャタテ	*Matsumuraiella rapiopicta*					1	+		
3	カメムシ目（半翅目）	アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	1	+						
4	ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.					1	+	2	+
5		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.			1	+	1	+		
6		アシナガバエ科	アシナガバエ科(成虫)	Dolichopodidae sp.	1	+						
7		オドリバエ科	Empis 属	*Empis* sp.			1	+				
8		ミギワバエ科	Nostima 属	*Nostima* sp.							1	+
9		タマバエ科	タマバエ科	Cecidomyiidae sp.					1	+	1	+
10		キモグリバエ科	キモグリバエ科	Chloropidae sp.			3	+				
11		ハナバエ科	ハナバエ科	Anthomyiidae sp.	3	0.011	3	+	3	0.008		
12		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.							1	+
13	コウチュウ目（鞘翅目）	ハムシ科	ルリマルノミハムシ	*Nonarthra cyanea*			1	+			1	+
計				種数	4 目 13 科 13 種							
				個体数	5		10		7		6	
				重量(g)	0.011		+		0.008		+	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 640　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島（放流箇所下流②）							
					秋季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量	個体数	重量
1	カメムシ目（半翅目）	ウンカ科	セジロウンカ	*Sogatella furcifera*							1	+
2		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	2	+	2	+	1	+	4	+
3	ハエ目（双翅目）	ヌカカ科	ヌカカ科(成虫)	Ceratopogonidae sp.							1	+
4		ユスリカ科	ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.			1	+			1	+
5		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	1	+						
6		アシナガバエ科	アシナガバエ科(成虫)	Dolichopodidae sp.			1	+				
7		ハナアブ科	アシブトハナアブ(成虫)	*Helophilus eristaloideus*	1	0.075						
8			Melanostoma 属	*Melanostoma* sp.					1	0.011		
9		ショウジョウバエ科	Leucophenga 属	*Leucophenga* sp.					1	+		
10		ミギワバエ科	Nostima 属	*Nostima* sp.					3	+	3	+
11			キヒゲクロツヤミギワバエ	*Psilopa flaviantennalis*	2	+						
12		イエバエ科	Phaonia 属	*Phaonia* sp.			1	0.044				
13			コミドリイエバエ	*Pyrellia vivida*	1	0.027						
14		カバエ科	カバエ科	Anisopodidae sp.							1	+
15		タマバエ科	タマバエ科	Cecidomyiidae sp.					2	+		
16		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.	1	+	1	+	1	+		
17		ハナバエ科	ハナバエ科	Anthomyiidae sp.	4	0.025	4	0.026			2	0.013
18		ヤドリバエ科	Ectophasia 属	*Ectophasia* sp.							1	0.032
－			ヤドリバエ科	Tachinidae sp.	4	0.04			7	0.06	8	0.082
19	コウチュウ目（鞘翅目）	コガネムシ科	アオハナムグリ	*Cetonia roelofsi roelofsi*			1	0.492				
20	ハチ目（膜翅目）	クモバチ科	Anoplius 属	*Anoplius* sp.			1	0.022				
21		ヒメハナバチ科	Andrena 属	*Andrena* sp.	1	0.085						
22	希少種保護のため非公開											
23		コハナバチ科	Lasioglossum 属	*Lasioglossum* sp.					2	0.029		
計				種数	4 目 20 科 23 種							
				個体数	17		13		18		22	
				重量(g)	0.252		0.801		0.100		0.127	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

4.4.3. 生育環境（周辺植生）（2021 年度）

生育環境（周辺植生）について、調査時期、調査地域別の調査結果を、図 496～図 498、表 641～表 643 に示します。

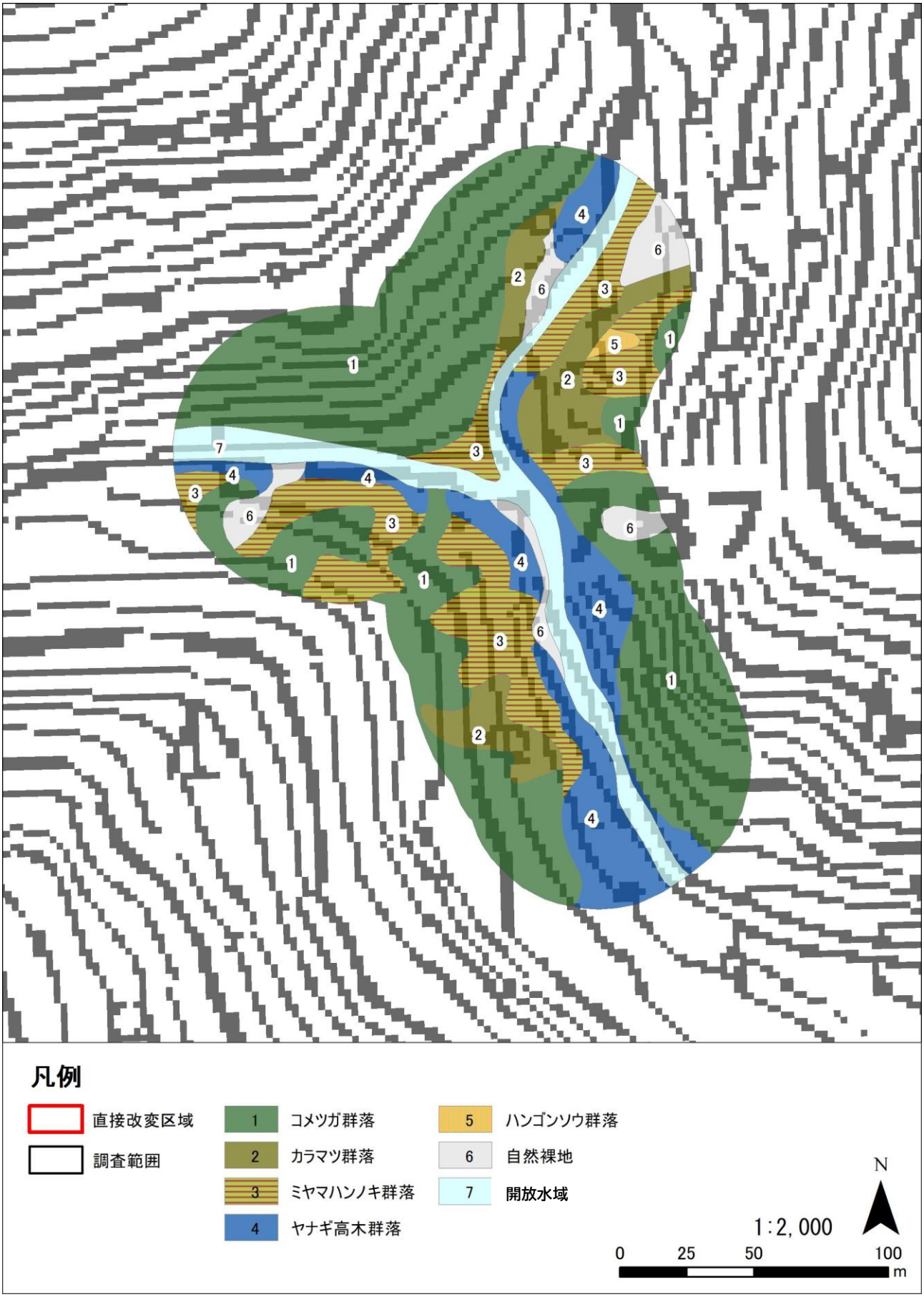
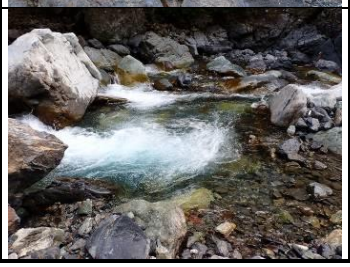


図 496 植生図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2021 年度 秋季）

表 641　植物群落の調査結果：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2021 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
1	コメツガ群落		コメツガが優占する群落である。亜高木層にはコメツガ、ネコシデが、低木層にはコメツガ、タカネナナカマド等がそれぞれ生育する。草本層には、コメツガの稚樹や、ミヤマワラビ、コミヤマカタバミ等が生育する。
2	カラマツ群落		カラマツが優占する群落である。高木層には、カラマツ 1 種が生育する。亜高木層にはヤハズハンノキ、ミヤママタタビ等が、低木層には、ニシキウツギが、それぞれ生育する。草本層には、タカネコウボウ、キヌタソウ等が生育する。
3	ミヤマハンノキ群落		ミヤマハンノキが優占する群落である。 高木層には、ミヤマハンノキのほか、ヤハズハンノキ、ダケカンバが生育する。亜高木層及び低木層を欠き、草本層には、ヒメノガリヤス、ヨモギ、キヌタソウ、ミヤマワラビ等が生育する。
4	ヤナギ高木群落		高木のヤナギ類が優占する群落である。 高木層には、オオバヤナギ、オノエヤナギ等のヤナギ類のほか、ヤハズハンノキが生育する。亜高木層にはヤハズハンノキ、ダケカンバ、カラマツ等が、低木層には、ダケカンバ、オオバヤナギ等が、草本層には、コメツガ、シラネセンキュウ、タカネコウボウ等がそれぞれ生育する。
5	ハンゴンソウ群落		草本のハンゴンソウが優占する群落である。 草本層には、ハンゴンソウのほか、キオン、コウシンヤマハッカ、ミヤマタニタデ等が生育する。
6	自然裸地		河原の砂礫地や急斜面地の崩壊地である。
7	開放水域		河川等の水面である。

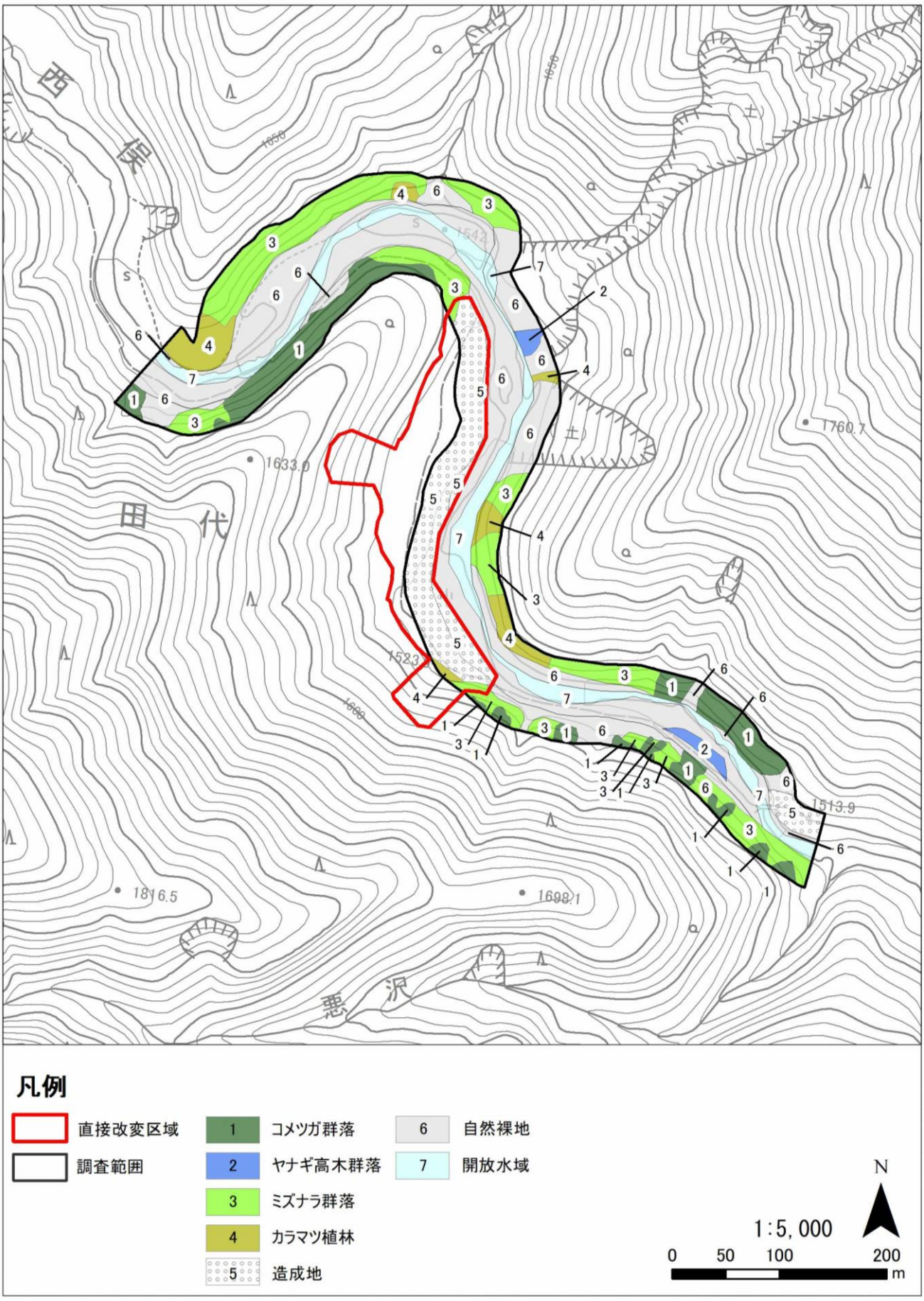


図 497 植生図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度 秋季）

表 642　植物群落の調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
1	コメツガ群落		コメツガが優占する群落である。 高木層には、コメツガのほか、ヒメコマツ等が生育する。亜高木層にはコメツガ、シナノキ等が、低木層にはコメツガ、トウゴクミツバツツジ等がそれぞれ生育する。草本層には、コイワカガミ、シロヨメナ等が生育する。
2	ヤナギ高木群落		高木のヤナギ類が優占する群落である。 オノエヤナギ、バッコヤナギ等が優占する群落である。高木層には、オノエヤナギ等のヤナギ類のほか、ミヤマハンノキが生育する。低木層には、ヤハズハンノキが、草本層には、テンニンソウ、ヨモギ、シナノナデシコ等がそれぞれ生育する。
3	ミズナラ群落		ミズナラが優占する群落である。 高木層には、ミズナラのほか、クマシデが生育する。亜高木層には、ヤシャブシ、ハウチワカエデ等が生育する。低木層は、コメツガ、オオモミジが、草本層には、テンニンソウ、ヒメノガリヤス、イワデンダ等が生育する。
4	カラマツ群落		カラマツの植林地である。 高木層には、カラマツ 1 種が生育する。亜高木層には、ミズナラ、ウダイカンバ等が生育する。低木層には、コメツガ、オオモミジ、ハウチワカエデ等が、草本層には、サワダツ、キヌタソウ等が生育する。
5	造成地		造成により生じた人工的な裸地である。
6	自然裸地		河原の砂礫地や急斜面地の崩壊地である。
7	開放水域		河川等の水面である。

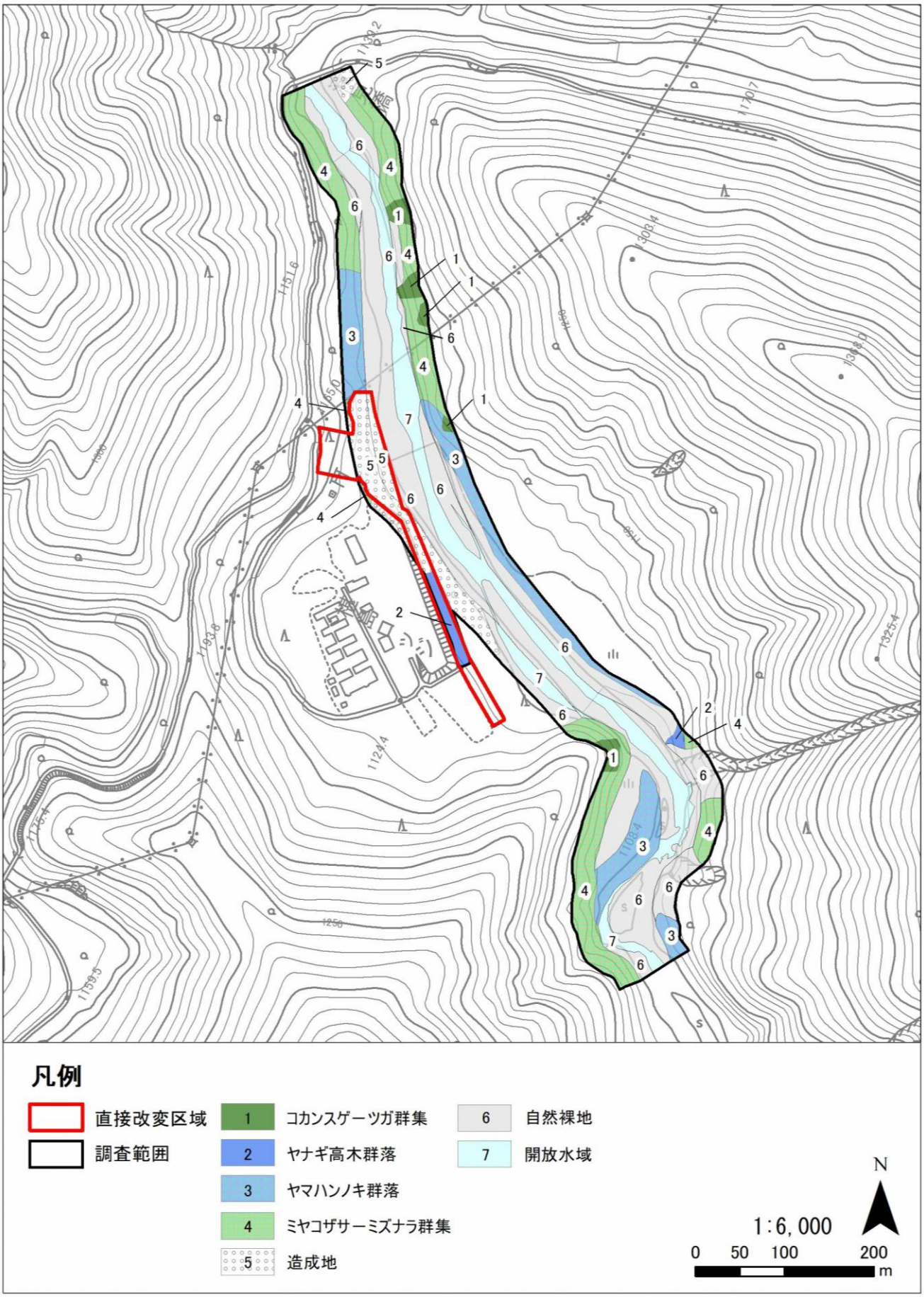


図 498 植生図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度 秋季）

表 643　植物群落の調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
1	コカンスゲ-ツガ群集		ツガもしくはモミが優占する群落である。高木層は、ツガ、モミ、カエデ類等が生育する。亜高木層には、ツガ、モミが生育するほか、ミズナラ、アカシデ等の落葉広葉樹を交える。 低木層には、トウゴクミツバツツジ、ツガ等が、草本層には、スゲ属 sp.や、イワガラミ、ヒメノガリヤス等が生育する。
2	ヤナギ高木群落		高木のヤナギ類が優占する群落である。 高木層には、オノエヤナギ、ケヤマハンノキが生育する。亜高木層にはケヤマハンノキ、オノエヤナギ等が、低木層には、イヌシデが生育し、草本層には、イワニガナ、クサコアカソ等がそれぞれ生育する。
3	ヤマハンノキ群落		ケヤマハンノキが優占する群落である。高木層は、ケヤマハンノキ、カズミザクラが生育する。亜高木層には、アサダ、クマシデ、ケヤキ等が、低木層には、オオモミジ、ダンコウバイ、アサダ等がそれぞれ生育する。草本層には、クサコアカソ、テンニンソウ、ウツギ等が生育する。
4	ミヤコザサ-ミズナラ群集		ミズナラが優占する群落である。 高木層には、ミズナラのほか、ミズメ、ヤマトアオダモが生育する。亜高木層には、ヤシャブシ、アカシデ等が生育する。低木層は、サワシバ、ダンコウバイ、ムラサキシキブ等が、草本層には、テンニンソウ、クサコアカソ、コアジサイ等がそれぞれ生育する。
5	造成地		造成により生じた人工的な裸地である。
6	自然裸地		河原の砂礫地や急斜面地の崩壊地である。
7	開放水域		河川等の水面である。

4.4.4. イワナ類を中心とした食物連鎖図（2021 年度）

イワナ類の胃の内容物調査、流下昆虫、落下昆虫調査及び植物群落調査結果をもとに、イワナ類を中心とした食物連鎖図を作成しました。図 499～図 513 に示します。

・イワナ類と各生物種を結ぶ線は、胃の内容物の調査で確認された生物種であることを示します。また、各線の色はそれぞれ以下の指標に対応します。

黒色：Manly の餌選択係数

赤色：各生物種の餌重要度指数の全体に対する割合

・各指標の計算方法及び考え方を下表に示します。各線の太さは、各指標の算出値の大きさを相対的に示したものです。ただし、線の太さについて各指標間における関係性はありません。

項目	計算方法	考え方
Ｍａｎｌｙの餌選択係数α	$\alpha = (r_i/p_i) \Big/ \sum (r_i/p_i)$ r_i：胃の内容物中の湿重量比 p_i：流下昆虫、落下昆虫の湿重量比	環境中に存在する餌資源量の比率（流下昆虫、落下昆虫の湿重量比）と、実際にその餌資源を利用した比率（胃の内容物中の湿重量比）をもとに、餌資源に対する選択性を表現
餌重要度指数ＩＲＩ	$\mathbf{IRI} = (\%N/\%W) \times \%F$ $\%N$：胃の内容物中の個体数比 $\%W$：胃の内容物中の湿重量比 $\%F$：ある餌資源を捕食していたイワナ類等の数/全イワナ類等の数	胃内容物として出現した類別の餌資源について、その個体数比と湿重量比から、相対的な重要度を表現

・図中の各生物種に付随する円（●）の大きさは、流下昆虫調査（沢 33 北俣・中俣合流部付近の秋季調査分については底生動物の定量調査）で確認された各生物種の湿重量の違いを相対的に示したものです。なお、「⊕」は湿重量が 0.001g 未満であることを示します。

・また、図中の各生物種に付随する四角（■）の大きさは、落下昆虫調査で確認された各生物種の重量の違いを相対的に示したものです。なお、「田」は重量が 0.001g 未満であることを示しており、「図」は胃の内容物調査で確認されたものの、落下昆虫の調査で確認されなかったことを示します。

・魚類等の冬季調査は主要な地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で実施することとしていることから、沢 33 北俣・中俣合流部）の冬季調査の食物連鎖図は作成していません。



図 499 食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2021 年度夏季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 500 食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2021 年度夏季（体長区分：20cm 以上））



図 501 食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2021 年度秋季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 502 食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2021 年度秋季（体長区分：20cm 以上））



図 503 食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度春季）



図 504 食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度夏季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 505 食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度夏季（体長区分：20cm 以上））



図 506 食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度秋季（体長区分：20cm 以上））



図 507 食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2021 年度冬季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 508 食物連鎖図：河 10-3 槌島（放流箇所下流②）（2021 年度春季（体長区分：20cm 以上））



図 509 食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度夏季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 510 食物連鎖図：河 10-3 槌島（放流箇所下流②）（2021 年度夏季（体長区分：20cm 以上））



図 511 食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度秋季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 512 食物連鎖図：河 10-3 槌島（放流箇所下流②）（2021 年度秋季（体長区分：20cm 以上））



図 513 食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2021 年度冬季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））

4.5. 調査結果（2022 年度）

4.5.1. 魚類（イワナ類の胃の内容物調査）（2022 年度）

イワナ類の胃の内容物調査結果を、表 644 に示します。確認された重要種は[redacted]（[redacted]でした。

表 644　イワナ類の胃の内容物 確認種一覧：[redacted]（2022 年度）

調査時期	体長区分	捕獲個体数	胃の内容物の確認種数	胃の内容物の主な確認種	胃の内容物の湿重量（g）
春季	希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開	8 目 29 科 45 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、ミヤマノギカワゲラ、シロズシマトビケラ、ウルマーシマトビケラ等	8.580
			10 目 28 科 39 種	オオマダラカゲロウ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、オオアミメカワゲラ、ウルマーシマトビケラ、ヤマトコマドアミカ、キクビアオハムシ、ヤナギハムシ等	1.715
夏季			9 目 34 科 48 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、オオアミメカワゲラ、ウルマーシマトビケラ、ニンギョウトビケラ、マルムネチビキカワムシ、ヒゲナガウスバハムシ等	2.046
			11 目 41 科 49 種	フタスジモンカゲロウ(成虫)、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、ミヤマフタマタアミカ、マルムネチビキカワムシ、ムネアカオオアリ等	2.273
秋季			11 目 32 科 44 種	オオマダラカゲロウ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、ツノゼミ、ハコネマルツノゼミ、ハコネキジラミ、シロズシマトビケラ、[redacted]、クロバアミカ、ムネアカオオアリ等	1.335
			11 目 28 科 34 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、ツノゼミ、ニンギョウトビケラ等	0.877
冬季			7 目 24 科 32 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、ヒロバネアミメカワゲラ、キマダラツヤカスミカメ、クロバアミカ等	0.516
			4 目 12 科 15 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、ヒロバネアミメカワゲラ等	0.216
計			11 目 55 科 87 種	オオマダラカゲロウ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、ミヤマノギカワゲラ、オオアミメカワゲラ、キマダラツヤカスミカメ、ハラビロマキバサシガメ、ハコネキジラミ、シロズシマトビケラ、ウルマーシマトビケラ、[redacted]、クロバアミカ、ヒゲナガウスバハムシ、アシナガアリ、ムネアカオオアリ等	7.477
			13 目 59 科 80 種	オオマダラカゲロウ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、オオアミメカワゲラ、ヒロバネアミメカワゲラ、ウルマーシマトビケラ、ニンギョウトビケラ、ヤマトコマドアミカ、ミヤマフタマタアミカ、マルムネチビキカワムシ、キクビアオハムシ、ヤナギハムシ、ムネアカオオアリ等	5.081

注：捕獲個体数、確認種数等は、各調査地点での調査結果を合計したものを記載している。

4.5.2. 餌資源等（流下昆虫、落下昆虫）（2022 年度）

調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種一覧を、表 645～表 656 に示します。重要種は確認されませんでした。

調査地域、調査時期別の落下昆虫（任意採集）確認種一覧を、表 657～表 664 に示します。重要種は確認されませんでした。

4.5.2.1.流下昆虫（任意採集）確認種一覧

表 645　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2022 年度春季 1/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					沢 33 北俣・中俣合流部付近							
					春季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目（蜉蝣目）	トビイロカゲロウ科	Paraleptophlebia 属	*Paraleptophlebia* sp.	1	+						
2		マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*	1	0.089						
3			フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*	1	0.002	1	0.002				
4		ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.					1	0.006		
5		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*					2	0.003		
6			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	+	4	0.012	3	0.003		
7		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	2	0.011	1	0.005	8	0.033	3	0.013
8			キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	2	0.007	1	+	4	0.017		
9	カワゲラ目（セキ翅目）	ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.	3	0.004			2	0.004		
10		オナシカワゲラ科	Nemoura 属	*Nemoura* sp.	2	0.004			1	0.003		
11			Protonemura 属	*Protonemura* sp.	10	0.012	5	0.007	2	0.004		
12		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	1	+			2	0.005		
13	カメムシ目（半翅目）	アワフキムシ科	ミヤマアワフキ	*Peuceptyelus nigroscutellatus*							3	0.03
−			Peuceptyelus 属	*Peuceptyelus* sp.	1	0.019	1	0.015				
14		ヨコバイ科	Macropsis 属	*Macropsis* sp.	3	0.007	3	0.006	4	0.008	1	0.022
−			ヨコバイ科	Cicadellidae sp.			1	+				
15		ナガカメムシ科	ムラサキナガカメムシ	*Pylorgus colon*							1	+
16		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.			1	+			3	0.008
17	トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属（Acropedes group）	*Rhyacophila* sp.（Acropedes group）			1	+	1	0.002		
18			Rhyacophila 属（Anatina group）	*Rhyacophila* sp.（Anatina group）			1	0.008				
19			Rhyacophila 属（Retracta group）	*Rhyacophila* sp.（Retracta group）	2	0.004	1	0.003	3	0.012		
−			Rhyacophila 属(成虫)	*Rhyacophila* sp.							2	0.015
20		カクスイトビケラ科	ハナセマルツツトビケラ	*Micrasema hanasense*					1	0.003		

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 646　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2022 年度春季 2/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					沢 33 北俣・中俣合流部付近							
					春季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
21	ハエ目（双翅目）	ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.					1	0.003		
22		アミカ科	ヤマトコマドアミカ	*Agathon japonicus*							1	0.012
23		ユスリカ科	Boreoheptagyia 属	*Boreoheptagyia* sp.			1	+				
24			Brillia 属	*Brillia* sp.					3	0.003		
25			Diamesa 属	*Diamesa* sp.	1	+	4	0.003	4	0.005		
26			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+					1	+
27			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.	1	+			4	0.003		
－			ユスリカ科	Chironomidae sp.	1	+						
28		ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium* sp.	1	+			1	0.001		
29			Simulium 属	*Simulium* sp.					2	0.004	1	0.002
30		ケバエ科	Bibio 属	*Bibio* sp.					1	0.01		
31		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	1	+			2	+		
32		ツヤホソバエ科	オスアカツヤホソバエ	*Sepsis thoracica*	1	+						
－			Sepsis 属	*Sepsis* sp.					1	+		
33		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.	1	+						
34		キモグリバエ科	キモグリバエ科	Chloropidae sp.					1	+	1	+
35		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.							1	0.013
36	コウチュウ目（鞘翅目）	ハネカクシ科	Eudectus 属	*Eudectus* sp.	1	+			2	+		
37			ハケゲアリノスハネカクシ	*Lomechusa sinuata*					1	+		
38			Philonthus 属	*Philonthus* sp.			1	0.007			1	+
39		ヒラタムシ科	エゾベニヒラタムシ	*Cucujus opacus*			1	0.004				
40		ゾウムシ科	ゾウムシ科	Curculionidae sp.			1	+				
41	ハチ目（膜翅目）	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.	1	+			1	+	3	0.045
42		アリ科	ヤマクロヤマアリ	*Formica lemani*			1	+			1	0.006
43		コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.					1	+		
計				種数	7 目 17 科 22 種		7 目 13 科 17 種		7 目 19 科 27 種		6 目 14 科 14 種	
				個体数	40		30		59		23	
				湿重量(g)	0.159		0.072		0.132		0.166	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 647　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2022 年度秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					沢 33 北俣・中俣合流部付近							
					秋季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	1	+						
2		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	8	0.015	7	0.018	1	0.003	2	0.004
3			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	27	0.047	10	0.017	23	0.041	8	0.012
4		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	1	0.002	1	+	1	+		
5			キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*					1	0.015		
6	カメムシ目（半翅目）	ツノゼミ科	ツノゼミ	*Butragulus flavipes*					1	+		
7		アワフキムシ科	ミヤマアワフキ	*Peuceptyelus nigroscutellatus*							2	0.017
–			Peuceptyelus 属	*Peuceptyelus* sp.					1	0.014		
8		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.			2	+			1	+
9	アミメカゲロウ目（脈翅目）	ヒロバカゲロウ科	ヒロバカゲロウ科	Osmylidae sp.			1	+				
10	トビケラ目（毛翅目）	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	5	0.014	1	0.003	1	0.003		
11		ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属（Acropedes group）	*Rhyacophila* sp.（Acropedes group）	1	+						
12			Rhyacophila 属（Retracta group）	*Rhyacophila* sp.（Retracta group）			1	0.003	1	+		
13	チョウ目（鱗翅目）	–	チョウ目（鱗翅目）	LEPIDOPTERA sp.			1	0.003				
14	ハエ目（双翅目）	ガガンボ科	Tipula 属	*Tipula* sp.					1	0.009		
15		アミカ科	Philorus 属	*Philorus* sp.					1	0.004		
16		ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia* sp.	1	+						
17			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	6	+	5	+	1	+	1	+
18			Pagastia 属	*Pagastia* sp.					1	0.005		
19		ホソカ科	Dixa 属	*Dixa* sp.	1	+						
20		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.			2	+	2	+	1	+
21		ケバエ科	Bibio 属	*Bibio* sp.	1	0.006			1	+	1	+
22		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.			2	+				
23		ハナアブ科	Melangyna 属	*Melangyna* sp.							2	0.046
24		イエバエ科	Coenosia 属	*Coenosia* sp.			1	+				
25		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.	1	+			2	+		
26		シマバエ科	Sapromyza 属	*Sapromyza* sp.							1	0.004
27	コウチュウ目（鞘翅目）	オサムシ科	Bembidion 属	*Bembidion* sp.							1	+
28		オトシブミ科	Deporaus 属	*Deporaus* sp.							1	+
29	ハチ目（膜翅目）	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.							1	+
30		アリ科	Myrmica 属	*Myrmica* sp.	2	0.005			3	0.006	3	0.011
31		ナガコバチ科	ナガコバチ科	Eupelmidae sp.			1	+				
計				種数	4 目 10 科 12 種		7 目 12 科 13 種		5 目 13 科 16 種		5 目 12 科 13 種	
				個体数	55		35		42		25	
				湿重量(g)	0.089		0.044		0.100		0.094	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 648　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度春季 1/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					春季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	0.003						
2			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	2	+						
3		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	4	0.024	8	0.032	1	0.001	1	0.004
4			キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	1	0.004					1	0.004
5	カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科(成虫)	Capniidae sp.			1	0.007				
6		ホソカワゲラ科	Perlomyia 属(成虫)	*Perlomyia* sp.			3	0.004			2	0.004
－			ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.			3	0.002	1	0.002		
7		オナシカワゲラ科	Nemoura 属	*Nemoura* sp.	1	0.004						
8			Protonemura 属	*Protonemura* sp.					1	0.003	3	0.003
－			Protonemura 属(成虫)	*Protonemura* sp.			1	0.004				
9		ミドリカワゲラ科	Sweltsa 属(成虫)	*Sweltsa* sp.			1	0.009				
－			ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.							1	0.021
10	カメムシ目(半翅目)	アワフキムシ科	ミヤマアワフキ	*Peuceptyelus nigroscutellatus*							1	0.006
－			Peuceptyelus 属	*Peuceptyelus* sp.			1	0.005				
11		ヨコバイ科	Xestocephalus 属	*Xestocephalus* sp.			2	+				
12		ナガカメムシ科	ウスイロヒラタナガカメムシ	*Kleidocerys resedae*	2	+	2	+			1	+
13		キジラミ科	Psylla 属	*Psylla* sp.			1	+				
14		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.			1	+	1	+		
15	トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Anatina group)	*Rhyacophila* sp. (Anatina group)							1	0.003
16			Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila* sp. (Retracta group)					1	0.002	3	0.009
17		カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.	1	+						
18	ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.					1	0.002		
19		シリブトガガンボ科	Triogma 属	*Triogma* sp.			1	0.019				
20		ガガンボ科	Tipula 属	*Tipula* sp.			1	0.098				
21		ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia* sp.	2	+						
22			Diamesa 属	*Diamesa* sp.			1	+	1	+	3	0.003
23			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.			1	+				
24			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.			1	+				
－			ユスリカ科	Chironomidae sp.			1	+				
25		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.					1	0.002	1	+
26		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	1	+			1	+	1	+
27		ミズアブ科	Beris 属	*Beris* sp.			1	+				
28		ヤリバエ科	クモスケヤリバエ	*Lonchoptera stackelbergi*			1	+				

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 649　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度春季 2/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					春季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
29	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	Philonthus 属	*Philonthus* sp.	1	+						
30			Quedius 属	*Quedius* sp.			1	0.007				
31		ハムシ科	ツブノミハムシ	*Aphthona perminuta*					1	+		
32		オトシブミ科	ナラルリオトシブミ	*Euops konoi*					1	+		
33			ルリオトシブミ	*Euops punctatostriatus*	1	+						
34		ゾウムシ科	クロナガハナゾウムシ	*Bradybatus sharpi*							1	+
35		キクイムシ科	ヤツバキクイムシ	*Ips typographus japonicus*							1	0.009
−			キクイムシ科	Scolytidae sp.					1	+	1	+
36	ハチ目(膜翅目)	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.			1	0.026			1	0.005
37		アリ科	トビイロケアリ	*Lasius japonicus*	1	+						
38			Myrmica 属	*Myrmica* sp.							1	+
−			アリ科	Formicidae sp.			1	+			1	+
39		コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.	1	+						
40		タマゴクロバチ科	タマゴクロバチ科	Scelionidae sp.					1	+	1	+
41		コガネコバチ科	コガネコバチ科	Pteromalidae sp.							1	+
計				種数	7 目 11 科 13 種		6 目 18 科 20 種		7 目 13 科 13 種		7 目 16 科 18 種	
				個体数	19		35		13		27	
				湿重量(g)	0.035		0.213		0.012		0.071	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 650　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度夏季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					夏季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	0.001	4	0.003	1	+	2	0.002
2			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	2	0.002	1	0.002			2	0.002
3		ヒラタカゲロウ科	Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	1	0.005					4	0.011
4	カワゲラ目(セキ翅目)	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	2	0.005					1	0.002
5	トビケラ目(毛翅目)	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	1	0.001	1	+	1	+	4	0.005
6		ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila* sp. (Retracta group)					1	+		
−			Rhyacophila 属	*Rhyacophila* sp.			1	+				
7	ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.			1	+				
8		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.			5	0.004	6	0.005	3	0.003
9		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	1	+					2	+
10		オドリバエ科	Hilara 属	*Hilara* sp.			1	+				
11			Hybos 属	*Hybos* sp.			1	+				
12	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ハネカクシ科	Staphylinidae sp.	1	+						
13		テントウムシダマシ科	ルリテントウダマシ	*Endomychus gorhami gorhami*	1	0.008						
14		ハムシ科	ヒゲナガウスバハムシ	*Stenoluperus nipponensis*	1	+	1	+			1	+
15	ハチ目(膜翅目)	アリ科	トビイロケアリ	*Lasius japonicus*							1	+
−			Lasius 属	*Lasius* sp.							1	+
−			アリ科	Formicidae sp.	4	0.007	1	+				
16		ハエヤドリクロバチ科	ハエヤドリクロバチ科	Diapriidae sp.					1	+		
計				種数	6 目 9 科 10 種		5 目 8 科 10 種		4 目 5 科 5 種		6 目 8 科 9 種	
				個体数	15		17		10		21	
				湿重量(g)	0.029		0.009		0.005		0.025	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 651　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					秋季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒラタカゲロウ科	ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*							1	0.003
2	カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Nemoura 属(成虫)	*Nemoura* sp.	1	+						
3	カメムシ目(半翅目)	アワフキムシ科	Aphilaenus 属	*Aphilaenus* sp.			1	0.007				
4			ミヤマアワフキ	*Peuceptyelus nigroscutellatus*	2	0.014	1	0.006			1	0.008
5		ヨコバイ科	ヨコバイ科	Cicadellidae sp.							1	+
6		クヌギカメムシ科	サジクヌギカメムシ	*Urostylis striicornis*			2	0.065				
7		キジラミ科	ハコネキジラミ	*Psylla hakonensis*	5	+						
−			Psylla 属	*Psylla* sp.	4	+	3	+			1	+
8		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	1	+						
9	トビケラ目(毛翅目)	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	1	+						
−			ヤマトビケラ科	Glossosomatidae sp.	1	+						
10		ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)			2	+				
11		カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.					1	0.004		
12	ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	ウスナミガタガガンボ	*Libnotes nohirai*	1	0.008						
13		ガガンボ科	Tipula 属	*Tipula* sp.	1	0.021						
14		アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*					2	0.037		
15		ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.			1	+			2	+
16			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.	1	+			11	0.011	5	0.003
−			ユスリカ科	Chironomidae sp.	1	+			2	+		
17		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.					1	0.004		
18		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.	2	+						
19	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ハネカクシ科	Staphylinidae sp.			2	+			1	+
20		ジョウカイボン科	ジョウカイボン科	Cantharidae sp.	1	0.019						
21	ハチ目(膜翅目)	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.	4	0.038	6	0.029				
22		アリ科	ムネアカオオアリ	*Camponotus obscuripes*	2	0.059						
23			Myrmica 属	*Myrmica* sp.			1	+				
24		スズメバチ科	シダクロスズメバチ	*Vespula shidai*	1	0.308						
25		コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.			1	0.005				
26		ハエヤドリクロバチ科	ハエヤドリクロバチ科	Diapriidae sp.			1	+				
27		シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	Proctotrupidae sp.	1	+	1	+				
28		タマバチ科	タマバチ科	Cynipidae sp.					1	+		
計				種数	6 目 14 科 14 種		5 目 11 科 12 種		2 目 5 科 5 種		4 目 6 科 7 種	
				個体数	30		22		18		12	
				湿重量(g)	0.467		0.112		0.056		0.014	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 652　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度冬季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					冬季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	1	+			4	0.004		
2		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	+						
3			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	5	0.004	1	+	10	0.013	2	0.004
4		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	9	0.009	1	0.001	8	0.006	4	0.006
5	カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.			1	+				
6		オナシカワゲラ科	Nemoura 属	*Nemoura* sp.					1	+		
7			Protonemura 属	*Protonemura* sp.	2	+	2	+	3	0.002		
8		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	1	+						
9		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	1	0.003						
10	カメムシ目(半翅目)	クヌギカメムシ科	サジクヌギカメムシ	*Urostylis striicornis*	1	0.037						
11	トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)					1	+	2	+
12			Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila* sp. (Retracta group)					3	0.004	1	+
13		カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.	2	0.004						
14	ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.	3	0.006			1	+		
15		ガガンボ科	Tipula 属	*Tipula* sp.							1	0.463
16		ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.	2	0.004	3	0.006	2	0.004	3	0.005
17			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+			2	+		
18			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.	8	0.008	1	+	3	0.004	5	0.004
19			Pagastia 属	*Pagastia* sp.	2	0.001	1	0.003				
20			Pseudodiamesa 属	*Pseudodiamesa* sp.					5	0.005	1	0.002
21		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.					2	+	1	+
22	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	Platambus 属	*Platambus* sp.					1	0.001		
計				種数	5 目 10 科 14 種		3 目 5 科 7 種		5 目 9 科 14 種		3 目 6 科 9 種	
				個体数	39		10		46		20	
				湿重量(g)	0.076		0.010		0.043		0.484	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 653　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2022 年度春季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
					春季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	2	0.003	2	0.005				
2		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	2	0.009						
3			キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*			2	0.007	2	0.013	2	0.005
4			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	3	0.003	1	0.001	1	0.002		
5	カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.			1	+				
6			Nemoura 属	*Nemoura* sp.					1	0.003		
7			Protonemura 属	*Protonemura* sp.	5	0.009	1	0.002				
8		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	3	0.012						
9	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	Xestocephalus 属	*Xestocephalus* sp.					1	+	1	+
10		ナガカメムシ科	ウスイロヒラタナガカメムシ	*Kleidocerys resedae*							1	+
11		ツノカメムシ科	エサキモンキツノカメムシ	*Sastragala esakii*							1	0.06
12		カメムシ科	Hermolaus 属	*Hermolaus* sp.							1	0.011
13		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.			1	+				
14	トビケラ目(毛翅目)	カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.	2	0.007	2	0.005				
15	ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.					1	+		
16		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.					1	+		
17		ケバエ科	キスネアシボソケバエ	*Bibio aneuretus*							1	+
18		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.			1	+	1	+	1	+
19		オドリバエ科	Rhamphomyia 属	*Rhamphomyia* sp.	3	0.006			2	0.005	1	+
20	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	コハラアカモリヒラタゴミムシ	*Colpodes lampros*					1	0.028		
21		ハネカクシ科	Megalinus 属	*Megalinus* sp.					1	0.005		
22			Philonthus 属	*Philonthus* sp.			1	+			2	0.005
23		コガネムシ科	トゲニセマグソコガネ	*Caelius denticollis*			1	+				
24		コメツキムシ科	カバイロコメツキ	*Ectinus sericeus sericeus*							1	0.021
25		コメツキダマシ科	Melasis 属	*Melasis* sp.							1	0.01
26		カミキリモドキ科	アオグロカミキリモドキ	*Ischnomera nigrocyanea nigrocyanea*							1	0.008
27		ハムシ科	ハラグロヒメハムシ	*Charaea cyaneus*					1	+		
28			ズグロキハムシ	*Gastrolinoides japonicus*							1	0.008
29	ハチ目(膜翅目)	ヒラタハバチ科	マツノイトカケハバチ	*Acantholyda sasakii*					1	0.078		
30		ハバチ科	Corymbas 属	*Corymbas* sp.					1	0.008	1	0.008
31		コハナバチ科	Lasioglossum 属	*Lasioglossum* sp.							1	+
32		コガネコバチ科	コガネコバチ科	Pteromalidae sp.	1	+						
33		タマバチ科	タマバチ科	Cynipidae sp.							1	+
計				種数	5 目 7 科 8 種		6 目 8 科 10 種		6 目 12 科 13 種		5 目 16 科 16 種	
				個体数	21		13		15		18	
				湿重量(g)	0.049		0.020		0.142		0.136	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 654　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2022 年度夏季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島（放流箇所下流②）							
					夏季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*					1	0.002		
2		コカゲロウ科	サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*	1	0.003	2	0.003				
3		ヒラタカゲロウ科	Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	9	0.025			1	0.002		
－		－	カゲロウ目（蜉蝣目）（成虫）	EPHEMEROPTERA sp.							1	+
4	カワゲラ目（セキ翅目）	ミドリカワゲラ科	Suwallia 属	*Suwallia* sp.							1	+
－			ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	3	0.004	1	0.002				
5	カメムシ目（半翅目）	ツノゼミ科	ツノゼミ	*Butragulus flavipes*					1	+		
6	トビケラ目（毛翅目）	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.			1	0.002	2	0.003		
7		カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.	1	0.012	1	0.007				
8	ハエ目（双翅目）	ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.	1	+			1	+		
－			ヒメガガンボ科	Limoniidae sp.							1	+
9		ユスリカ科	Cardiocladius 属	*Cardiocladius* sp.			1	+				
10			Diamesa 属	*Diamesa* sp.					1	+		
11			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	2	+	1	+	2	+	2	+
12			モンユスリカ亜科	Tanypodinae sp.			1	+				
13		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	10	0.007	8	0.007	14	0.006	10	0.009
14		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	1	+	2	+			1	+
15		オドリバエ科	Hilara 属	*Hilara* sp.	1	+			2	+		
16		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.							1	+
17		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.							1	+
18	コウチュウ目（鞘翅目）	ジョウカイボン科	クロジョウカイ	*Lycocerus attristatus*					1	0.096		
19		ハムシ科	ルリハムシ	*Plagiosterna aenea*							1	0.039
20	ハチ目（膜翅目）	アリ科	ムネアカオオアリ	*Camponotus obscuripes*	1	0.015						
21			トビイロケアリ	*Lasius japonicus*							1	+
－			Lasius 属	*Lasius* sp.			1	0.008	1	0.005		
計				種数	5 目 10 科 10 種		5 目 8 科 10 種		6 目 10 科 11 種		5 目 10 科 10 種	
				個体数	30		19		27		20	
				湿重量(g)	0.066		0.029		0.114		0.048	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 655　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2022 年度秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
					秋季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.							1	+
2		コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*					2	+		
−			コカゲロウ科(成虫)	Baetidae sp.			1	0.003				
3		ヒラタカゲロウ科	Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	6	0.001	1	+	4	+	1	+
4	カメムシ目(半翅目)	キジラミ科	ハコネキジラミ	*Psylla hakonensis*					1	+		
5		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	2	+			3	+		
6	トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*					1	+	1	+
7			ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*			2	+	1	+	1	+
8		ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	1	+	1	+				
9	チョウ目(鱗翅目)	−	チョウ目(鱗翅目)	LEPIDOPTERA sp.			1	0.406			1	0.011
10	ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	ウスナミガタガガンボ	*Libnotes nohirai*	1	0.008						
11		アミカ科	アミカ科	Blephariceridae sp.			1	+				
12		ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	2	+	2	+				
13			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.	1	+						
14			Thienemanniella 属	*Thienemanniella* sp.					1	+		
15		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.					1	+		
16		ケバエ科	Bibio 属	*Bibio* sp.	1	+	5	0.018			1	0.005
17		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.			3	+			1	+
18		ショウジョウバエ科	ショウジョウバエ科	Drosophilidae sp.			1	+				
19		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.					1	+		
20		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.			1	+			2	+
21		フンコバエ科	フンコバエ科	Sphaeroceridae sp.			1	+			1	+
22	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ツブノミハムシ	*Aphthona perminuta*			2	+			1	+
23			ヒゲナガウスバハムシ	*Stenoluperus nipponensis*							1	+
24		ゾウムシ科	ヒメシギゾウムシ	*Curculio hime*							2	+
25	ハチ目(膜翅目)	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.			1	+			1	0.012
26		スズメバチ科	キイロスズメバチ	*Vespa simillima*			1	0.499				
27		シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	Proctotrupidae sp.			1	+			2	+
28		コガネコバチ科	コガネコバチ科	Pteromalidae sp.							1	+
計				種数	4 目 6 科 7 種		6 目 16 科 16 種		4 目 8 科 9 種		6 目 13 科 15 種	
				個体数	14		25		15		18	
				湿重量(g)	0.009		0.926		+		0.028	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 656　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2022 年度冬季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
					冬季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	Ameletus sp.					1	+		
2		コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	Baetis thermicus					3	0.003	2	0.001
3		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	Cinygmula sp.					1	+		
4			Epeorus 属(成虫)	Epeorus sp.			1	0.016				
5			Rhithrogena 属	Rhithrogena sp.	1	0.001			3	0.004		
6	カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Nemoura 属	Nemoura sp.			1	+				
7			Protonemura 属	Protonemura sp.					1	+		
8		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.					2	0.006		
9	トビケラ目(毛翅目)	コエグリトビケラ科	Apatania 属	Apatania sp.	1	+			2	+		
10		カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	Lepidostoma sp.	1	0.002			1	0.002		
11	ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	Diamesa 属	Diamesa sp.			2	0.003	1	+		
12			Orthocladius 属	Orthocladius sp.					1	+	1	+
13			Pagastia 属	Pagastia sp.	2	0.001			1	+	1	+
−			ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.	1	+						
14		ブユ科	Simulium 属	Simulium sp.							1	+
15	ハチ目(膜翅目)	アリ科	ハヤシクロヤマアリ	Formica hayashi	1	+						
16		タマバチ科	タマバチ科	Cynipidae sp.							1	+
計				種数	4 目 5 科 5 種		3 目 3 科 3 種		4 目 8 科 11 種		3 目 4 科 5 種	
				個体数	7		4		17		6	
				湿重量(g)	0.004		0.019		0.015		0.001	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

4.5.2.2.落下昆虫（任意採集）確認種一覧

表 657　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2022 年度春季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					沢 33 北俣･中俣合流部付近							
					春季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カワゲラ目（セキ翅目）	ホソカワゲラ科	Perlomyia 属(成虫)	*Perlomyia* sp.			1	+				
2	カメムシ目（半翅目）	キジラミ科	Psylla 属	*Psylla* sp.			5	+	1	+		
3		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	1	+	3	+	2	+	3	+
4	トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属(成虫)	*Rhyacophila* sp.			2	0.02			1	0.01
5	チョウ目（鱗翅目）	－	チョウ目（鱗翅目）	*LEPIDOPTERA sp.*					1	0.017		
6	ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.	11	0.003	8	+	19	0.003	19	0.003
7		オドリバエ科	Rhamphomyia 属	*Rhamphomyia* sp.	1	+	8	0.019			1	+
8		ハナアブ科	Melangyna 属	*Melangyna* sp.					1	0.018		
9		ショウジョウバエ科	Drosophila 属	*Drosophila* sp.			1	+				
10		ツヤホソバエ科	Sepsis 属	*Sepsis* sp.							1	+
11		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.							2	+
12		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.							1	+
13		キモグリバエ科	キモグリバエ科	Chloropidae sp.					1	+	1	+
14		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.					2	+	1	+
15	コウチュウ目（鞘翅目）	ハネカクシ科	Geodromicus 属	*Geodromicus* sp.			1	+			1	+
16			Liophilydrodes 属	*Liophilydrodes* sp.	1	+						
17			Philonthus 属	*Philonthus* sp.							1	+
18	ハチ目（膜翅目）	コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.							1	+
計				種数	7 目 16 科 18 種							
				個体数	14		29		27		33	
				湿重量(g)	0.003		0.039		0.038		0.013	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 658　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2022 年度秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					沢 33 北俣･中俣合流部付近							
					秋季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Nemoura 属(成虫)	*Nemoura* sp.	1	+						
2	カメムシ目（半翅目）	アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.					1	+		
3	ハエ目（双翅目）	アミカ科	Philorus 属(成虫)	*Philorus* sp.	1	+			1	+		
4		ブユ科	Simulium 属(成虫)	*Simulium* sp.			1	+				
5		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	1	+	1	+	1	+		
6		アシナガバエ科	アシナガバエ科(成虫)	Dolichopodidae sp.			1	0.009				
7		ハナアブ科	Melangyna 属	*Melangyna* sp.	55	1.455	13	0.282	30	0.725	36	0.763
8		イエバエ科	Coenosia 属	*Coenosia* sp.					1	+		
9		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.			1	+	1	+		
10		クロツヤバエ科	クロツヤバエ科	Lonchaeidae sp.					1	+		
11		ヒロクチバエ科	ヒロクチバエ科	Platystomatidae sp.					1	0.02		
12		ハナバエ科	ハナバエ科	Anthomyiidae sp.	3	0.006	4	0.023	1	+		
13		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.	1	0.064	6	0.067	5	0.051	7	0.071
14	コウチュウ目（鞘翅目）	ハネカクシ科	Geodromicus 属	*Geodromicus* sp.			1	+				
15	ハチ目（膜翅目）	シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	Proctotrupidae sp.					1	+		
計				種数	5 目 15 科 15 種							
				個体数	62		28		44		43	
				湿重量(g)	1.525		0.381		0.796		0.834	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 659　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度春季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					春季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒラタカゲロウ科	Epeorus 属(成虫)	*Epeorus* sp.	1	+						
2	カワゲラ目(セキ翅目)	ホソカワゲラ科	Perlomyia 属(成虫)	*Perlomyia* sp.	3	+					1	+
3		ミドリカワゲラ科	Sweltsa 属(成虫)	*Sweltsa* sp.					1	0.007		
4	カメムシ目(半翅目)	アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	1	+						
5	トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属(成虫)	*Rhyacophila* sp.			3	0.022			2	0.019
6	ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	ヒメガガンボ科(成虫)	Limoniidae sp.					1	+		
7		ユスリカ科	ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.	4	+	3	+	1	+	6	+
8		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	2	+			2	+		
9		オドリバエ科	Rhamphomyia 属	*Rhamphomyia* sp.					1	+	1	+
10		イエバエ科	Helina 属	*Helina* sp.	1	+	1	+				
11		ヤリバエ科	クモスケヤリバエ	*Lonchoptera stackelbergi*					3	+		
12		フンコバエ科	フンコバエ科	Sphaeroceridae sp.			1	+				
13		ハナバエ科	ハナバエ科	Anthomyiidae sp.							1	0.013
14		ヒメイエバエ科	ヒメイエバエ科	Fanniidae sp.			2	0.006	2	0.008	1	0.005
15	ハチ目(膜翅目)	シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	Proctotrupidae sp.	1	+						
計				種数	6 目 15 科 15 種							
				個体数	13		10		11		12	
				湿重量(g)	+		0.028		0.015		0.037	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 660　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度夏季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					夏季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.							1	+
2	アザミウマ目(総翅目)	クダアザミウマ科	クダアザミウマ科	Phlaeothripidae sp.			1	+				
3	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	Ourapteryx 属	*Ourapteryx* sp.							1	0.054
4		ハマキガ科	ハマキガ科	Tortricidae sp.	1	+						
5	ハエ目(双翅目)	アミカ科	Blepharicera 属	*Blepharicera* sp.	1	0.009						
6		ヌカカ科	ヌカカ科	Ceratopogonidae sp.			1	+				
7		ユスリカ科	ユスリカ科	Chironomidae sp.							1	+
8		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.			1	+				
9		オドリバエ科	Hilara 属	*Hilara* sp.			1	+	3	0.008		
10		タマバエ科	タマバエ科	Cecidomyiidae sp.					1	+		
11		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.					1	+		
12		ヤリバエ科	ウスグロヤリバエ	*Lonchoptera sapporensis*			1	+				
13	コウチュウ目(鞘翅目)	ダルマガムシ科	Ochthebius 属	*Ochthebius* sp.							1	+
14	ハチ目(膜翅目)	アリ科	アリ科	Formicidae sp.					1	+		
計				種数	6 目 14 科 14 種							
				個体数	2		5		6		4	
				湿重量(g)	0.009		+		0.008		0.054	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 661　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					秋季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カメムシ目(半翅目)	アワフキムシ科	ミヤマアワフキ	*Peuceptyelus nigroscutellatus*	1	0.007						
2		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	1	+						
3	ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.	1	+	9	+	12	+		
4		ブユ科	Simulium 属(成虫)	*Simulium* sp.					1	+		
5		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	1	+						
6		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.							1	+
7		シマバエ科	Homoneura 属	*Homoneura* sp.	1	+						
8	ハチ目(膜翅目)	スズメバチ科	シダクロスズメバチ	*Vespula shidai*	1	0.091						
9		シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	Proctotrupidae sp.			1	+				
計				種数	3 目 9 科 9 種							
				個体数	6		10		13		1	
				湿重量(g)	0.098		+		+		+	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 662　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2022 年度春季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
					春季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カメムシ目(半翅目)	キジラミ科	セグロヒメキジラミ	*Calophya nigridorsalis*			1	+				
2		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	1	+	1	+				
3	ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	Antocha 属(成虫)	*Antocha* sp.							1	+
4		ユスリカ科	ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.	2	+	2	+	2	+	4	+
5		ブユ科	Simulium 属(成虫)	*Simulium* sp.							1	+
6		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.			1	+	1	+	1	+
7		オドリバエ科	Hilara 属	*Hilara* sp.					1	+	1	+
8		イエバエ科	Helina 属	*Helina* sp.	1	0.028						
9		キモグリバエ科	キモグリバエ科	Chloropidae sp.			1	+				
10		ヒメイエバエ科	ヒメイエバエ科	Fanniidae sp.					1	+		
11		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.	2	0.03						
12	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	Geodromicus 属	*Geodromicus* sp.			1	+	1	+	1	+
計				種数	3 目 12 科 12 種							
				個体数	6		7		6		9	
				湿重量(g)	0.058		+		+		+	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 663　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2022 年度夏季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
					夏季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	チャタテムシ目(噛虫目)	マドチャタテ科	Ectopsocopsis 属	*Ectopsocopsis* sp.			1	+				
2	カメムシ目(半翅目)	ハナカメムシ科	ナミヒメハナカメムシ	*Orius sauteri*					1	+		
3		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.			1	+	2	+		
4	ハエ目(双翅目)	チョウバエ科	チョウバエ科	Psychodidae sp.			1	+				
5		ヌカカ科	ヌカカ科	Ceratopogonidae sp.			1	+				
6		ユスリカ科	ユスリカ科	Chironomidae sp.							2	+
7		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.					1	+	1	+
8		ショウジョウバエ科	Drosophila 属	*Drosophila* sp.			1	+				
9		イエバエ科	Coenosia 属	*Coenosia* sp.			1	+				
10		タマバエ科	タマバエ科	Cecidomyiidae sp.			1	+				
11		キモグリバエ科	キモグリバエ科	Chloropidae sp.					1	+		
12		ハナバエ科	ハナバエ科	Anthomyiidae sp.	1	+			1	0.005		
13		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.	1	0.024						
14	コウチュウ目(鞘翅目)	キクイムシ科	キクイムシ科	Scolytidae sp.			1	+				
15	ハチ目(膜翅目)	アリ科	Lasius 属	*Lasius* sp.							1	0.013
−			アリ科	Formicidae sp.	1	+						
計				種数	5 目 15 科 15 種							
				個体数	3		8		6		4	
				湿重量(g)	0.024		+		0.005		0.013	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 664　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2022 年度秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島（放流箇所下流②）							
					秋季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目（蜉蝣目）	コカゲロウ科	Baetis 属(成虫)	*Baetis* sp.							1	+
2	カメムシ目（半翅目）	マキバサシガメ科	ハラビロマキバサシガメ	*Himacerus apterus*	1	0.052						
3		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.			2	+	2	+	2	+
4	トビケラ目（毛翅目）	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属(成虫)	*Glossosoma* sp.					1	+		
5	ハエ目（双翅目）	アミカ科	Philorus 属(成虫)	*Philorus* sp.					1	+		
6		ヌカカ科	ヌカカ科(成虫)	Ceratopogonidae sp.					1	+		
7		ユスリカ科	Stictochironomus 属(成虫)	*Stictochironomus* sp.			1	+				
−			ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.	3	+			10	+	2	+
8		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.			1	+	2	+		
9		ヤリバエ科	ウスグロヤリバエ	*Lonchoptera sapporensis*							2	+
10		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.			1	+				
11		シマバエ科	Homoneura 属	*Homoneura* sp.							1	0.007
12	コウチュウ目（鞘翅目）	ハネカクシ科	Geodromicus 属	*Geodromicus* sp.			1	0.006	1	+		
13	ハチ目（膜翅目）	シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	Proctotrupidae sp.					1	+	2	+
計				種数	6 目 13 科 13 種							
				個体数	4		6		19		10	
				湿重量(g)	0.052		0.006		+		0.007	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

4.5.3. 生育環境（周辺植生）（2022 年度）

生育環境（周辺植生）について、調査時期、調査地域別の調査結果を、図 514～図 516、表 665～表 668 に示します。

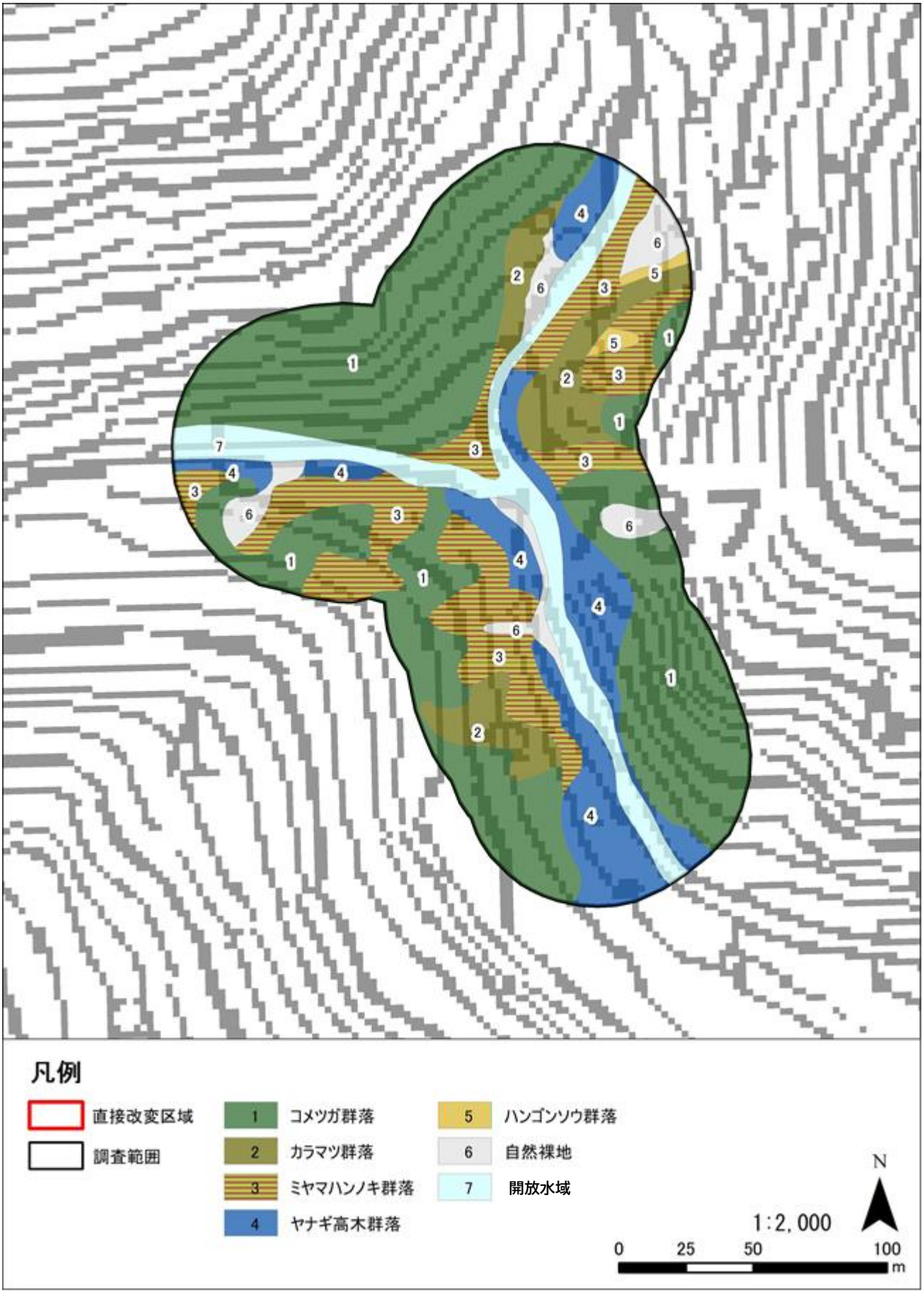


図 514 植生図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2022 年度 秋季）

表 665　植物群落の調査結果：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2022 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
1	コメツガ群落		コメツガが優占する群落である。亜高木層にはコメツガ、ネコシデが、低木層にはコメツガ、タカネナナカマド等がそれぞれ生育する。草本層には、コメツガの稚樹や、ミヤマワラビ、コミヤマカタバミ等が生育する。
2	カラマツ群落		カラマツが優占する群落である。高木層には、カラマツ 1 種が生育する。亜高木層にはヤハズハンノキ、ミヤママタタビ等が、低木層には、ニシキウツギが、それぞれ生育する。草本層には、タカネコウボウ、キヌタソウ等が生育する。
3	ミヤマハンノキ群落		ミヤマハンノキが優占する群落である。 高木層には、ミヤマハンノキのほか、ヤハズハンノキ、ダケカンバが生育する。亜高木層及び低木層を欠き、草本層には、ヒメノガリヤス、ヨモギ、キヌタソウ、ミヤマワラビ等が生育する。
4	ヤナギ高木群落		高木のヤナギ類が優占する群落である。 高木層には、オオバヤナギ、オノエヤナギ等のヤナギ類のほか、ヤハズハンノキが生育する。亜高木層にはヤハズハンノキ、ダケカンバ、カラマツ等が、低木層には、ダケカンバ、オオバヤナギ等が、草本層には、コメツガ、シラネセンキュウ、タカネコウボウ等がそれぞれ生育する。
5	ハンゴンソウ群落		草本のハンゴンソウが優占する群落である。 草本層には、ハンゴンソウのほか、キオン、コウシンヤマハッカ、センジョウアザミ、ミヤマタニタデ等が生育する。
6	自然裸地		河原の砂礫地や急斜面地の崩壊地である。
7	開放水域		河川等の水面である。

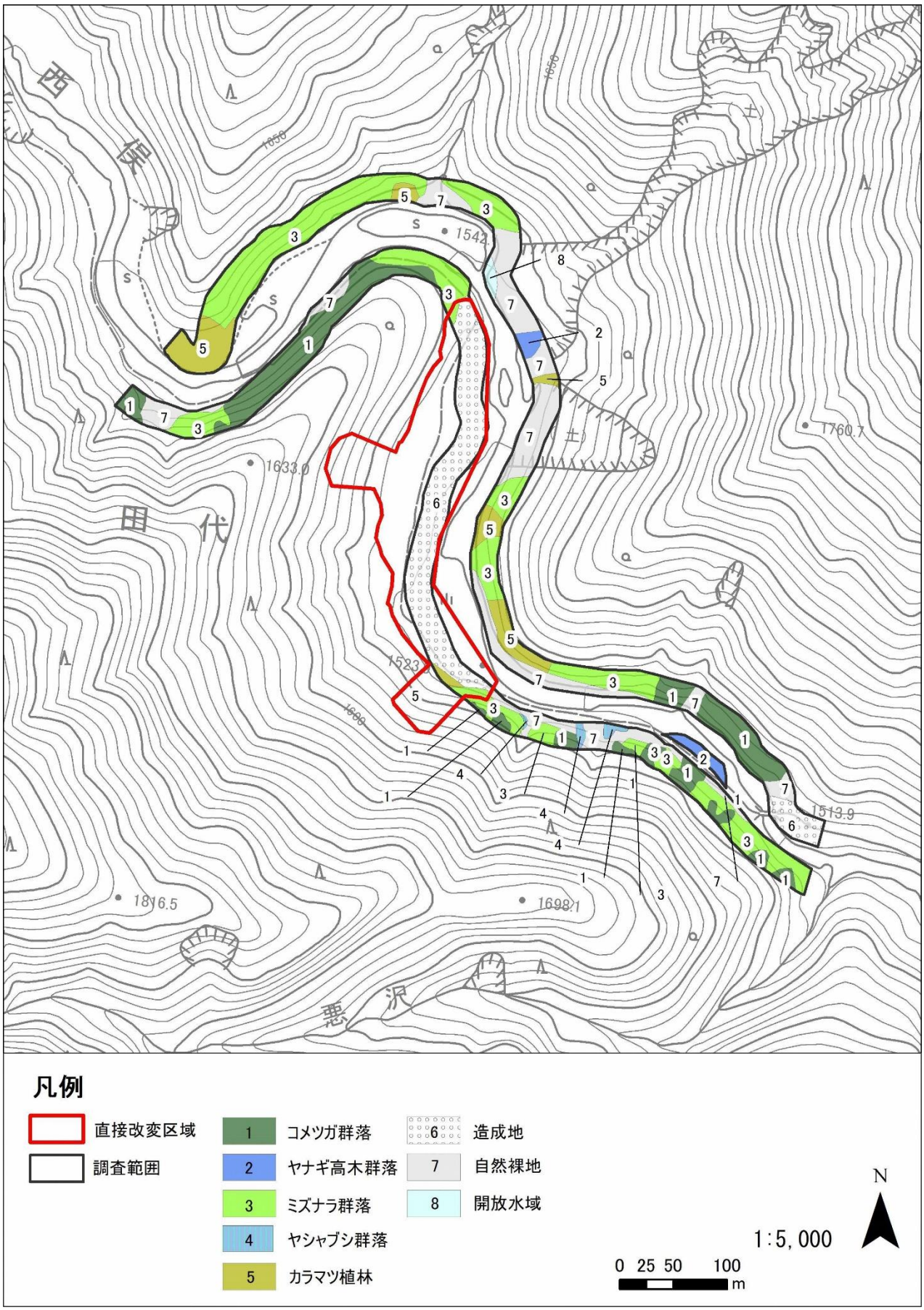


図 515 植生図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度 秋季）

表 666　植物群落の調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度秋季 1/2）

No.	群落名	現況写真	概要
1	コメツガ群落		コメツガが優占する群落である。 高木層には、コメツガのほか、ヒメコマツ等が生育する。亜高木層にはコメツガ、シナノキ等が、低木層にはコメツガ、トウゴクミツバツツジ等がそれぞれ生育する。草本層には、コイワカガミ、シロヨメナ等が生育する。
2	ヤナギ高木群落		高木のヤナギ類が優占する群落である。 オノエヤナギ、バッコヤナギ等が優占する群落である。高木層には、オノエヤナギ等のヤナギ類のほか、ミヤマハンノキが生育する。低木層には、ヤハズハンノキが、草本層には、テンニンソウ、ヨモギ、シナノナデシコ等がそれぞれ生育する。
3	ミズナラ群落		ミズナラが優占する群落である。 高木層には、ミズナラのほか、クマシデが生育する。亜高木層には、ヤシャブシ、ハウチワカエデ等が生育する。低木層は、コメツガ、オオモミジが、草本層には、テンニンソウ、ヒメノガリヤス、イワデンダ等が生育する。
4	ヤシャブシ群落		ヤシャブシが優先する低木群落である。 低木層には、ヤシャブシのみ生育する。草本層には、クマイチゴ、フジアザミ等の先駆的な草本類や、テンニンソウ、ヒメノガリヤス、シダ類のヘビノネゴザ等が生育する。
5	カラマツ群落		カラマツの植林地である。 高木層には、カラマツ 1 種が生育する。亜高木層には、ミズナラ、ウダイカンバ等が生育する。低木層には、コメツガ、オオモミジ、ハウチワカエデ等が、草本層には、サワダツ、キヌタソウ等が生育する。
6	造成地		造成により生じた人工的な裸地である。

表 667　植物群落の調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2022 年度秋季）2/2

No.	群落名	現況写真	概要
7	自然裸地		河原の砂礫地や急斜面地の崩壊地である。
8	開放水域		河川等の水面である。

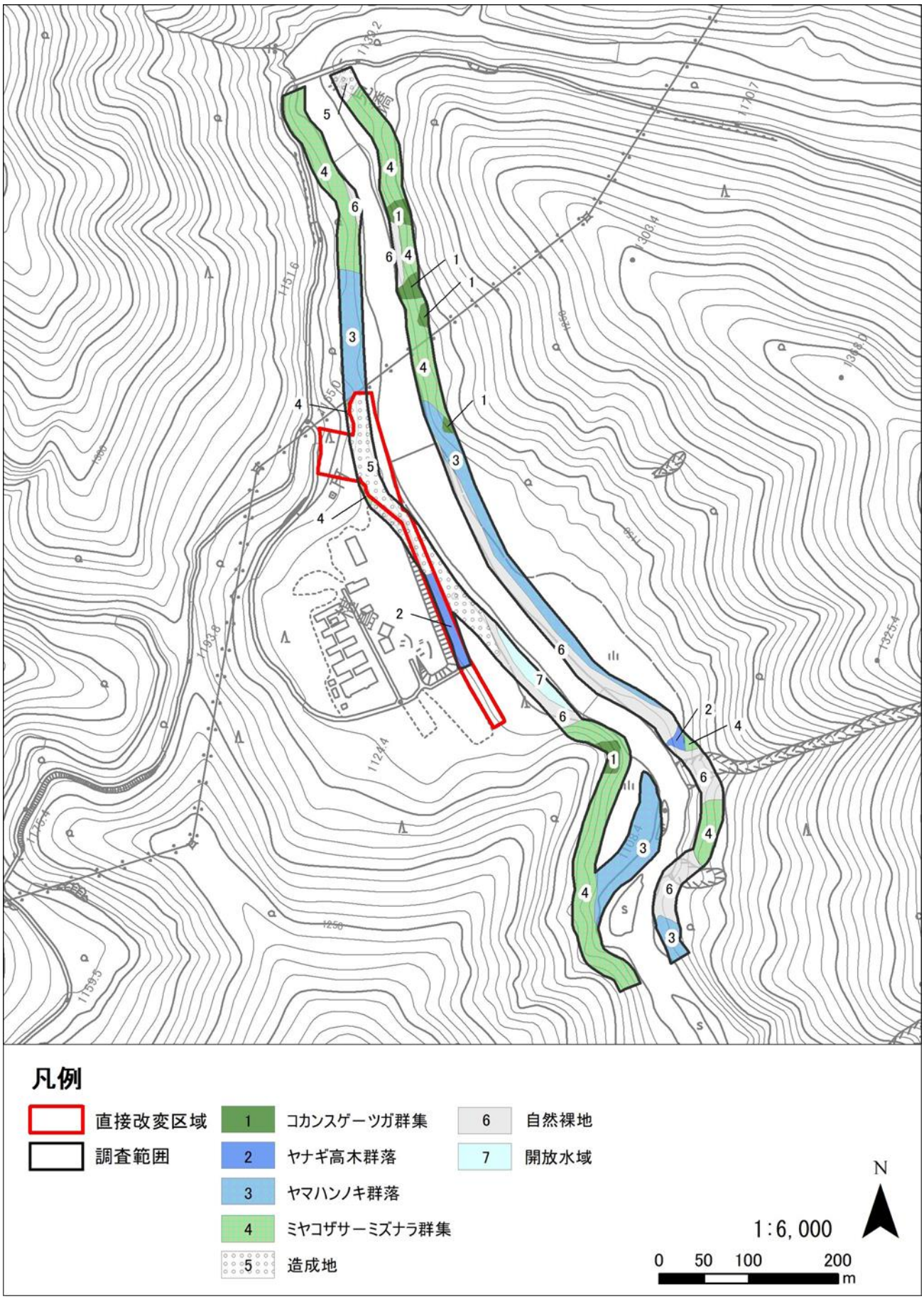


図 516 植生図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2022 年度 秋季）

表 668　植物群落の調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2022 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
1	コカンスゲーツガ群集		ツガもしくはモミが優占する群落である。高木層は、ツガ、モミ、カエデ類等が生育する。亜高木層には、ツガ、モミが生育するほか、ミズナラ、アカシデ等の落葉広葉樹を交える。 低木層には、トウゴクミツバツツジ、ツガ等が、草本層には、スゲ属 sp.や、イワガラミ、ヒメノガリヤス等が生育する。
2	ヤナギ高木群落		高木のヤナギ類が優占する群落である。 高木層には、オノエヤナギ、ケヤマハンノキが生育する。亜高木層にはケヤマハンノキ、オノエヤナギ等が、低木層には、イヌシデが生育し、草本層には、イワニガナ、クサコアカソ等がそれぞれ生育する。
3	ヤマハンノキ群落		ケヤマハンノキが優占する群落である。高木層は、ケヤマハンノキ、カズミザクラが生育する。亜高木層には、アサダ、クマシデ、ケヤキ等が、低木層には、オオモミジ、ダンコウバイ、アサダ等がそれぞれ生育する。草本層には、クサコアカソ、テンニンソウ、ウツギ等が生育する。
4	ミヤコザサーミズナラ群集		ミズナラが優占する群落である。 高木層には、ミズナラのほか、ミズメ、ヤマトアオダモが生育する。亜高木層には、ヤシャブシ、アカシデ等が生育する。低木層は、サワシバ、ダンコウバイ、ムラサキシキブ等が、草本層には、テンニンソウ、クサコアカソ、コアジサイ等がそれぞれ生育する。
5	造成地		造成により生じた人工的な裸地である。
6	自然裸地		河原の砂礫地や急斜面地の崩壊地である。
7	開放水域		河川等の水面である。

4.5.4. イワナ類を中心とした食物連鎖図（2022 年度）

イワナ類の胃の内容物調査、流下昆虫、落下昆虫調査及び植物群落調査結果をもとに、イワナ類を中心とした食物連鎖図を作成しました。図 517～図 537 に示します。

・イワナ類と各生物種を結ぶ線は、胃の内容物の調査で確認された生物種であることを示します。また、各線の色はそれぞれ以下の指標に対応します。

黒色：Manly の餌選択係数

赤色：各生物種の餌重要度指数の全体に対する割合

・各指標の計算方法及び考え方を下表に示します。各線の太さは、各指標の算出値の大きさを相対的に示したものです。ただし、線の太さについて各指標間における関係性はありません。

項目	計算方法	考え方
Ｍａｎｌｙの餌選択係数α	$\alpha = (r_i/p_i) \diagup \sum(r_i/p_i)$ r_i：胃の内容物中の湿重量比 p_i：流下昆虫、落下昆虫の湿重量比	環境中に存在する餌資源量の比率（流下昆虫、落下昆虫の湿重量比）と、実際にその餌資源を利用した比率（胃の内容物中の湿重量比）をもとに、餌資源に対する選択性を表現
餌重要度指数ＩＲＩ	$IRI = (\%N/\%W) \times \%F$ $\%N$：胃の内容物中の個体数比 $\%W$：胃の内容物中の湿重量比 $\%F$：ある餌資源を捕食していたイワナの数/全イワナの数	胃内容物として出現した類別の餌資源について、その個体数比と湿重量比から、相対的な重要度を表現

・図中の各生物種に付随する円（●）の大きさは、流下昆虫調査（沢 33 北俣・中俣合流部付近の秋季調査分については底生動物の定量調査）で確認された各生物種の湿重量の違いを相対的に示したものです。なお、「⊕」は湿重量が 0.001g 未満であることを示します。

・また、図中の各生物種に付随する四角（■）の大きさは、落下昆虫調査で確認された各生物種の重量の違いを相対的に示したものです。なお、「田」は重量が 0.001g 未満であることを示しており、「図」は胃の内容物調査で確認されたものの、落下昆虫の調査で確認されなかったことを示します。

・魚類等の冬季調査は主要な地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で実施することとしていることから、沢 33 北俣・中俣合流部）の冬季調査の食物連鎖図は作成していません。



図 517 食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近：2022 年度春季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 518 食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近：2022 年度春季（体長区分：20cm 以上））



図 519 食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近：2022 年度夏季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 520 食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近：2022 年度夏季（体長区分：20cm 以上））

希少種保護のため非公開

図 521 食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近：2022 年度秋季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 522 食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近：2022 年度秋季（体長区分：20cm 以上））

希少種保護のため非公開

図 523 食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）：2022 年度春季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 524 食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）：2022 年度春季（体長区分：20cm 以上））



図 525 食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）：2022 年度夏季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 526 食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）：2022 年度夏季（体長区分：20cm 以上））



図 527 食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）：2022 年度秋季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））

希少種保護のため非公開

図 528 食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）：2022 年度冬季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 529 食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）：2022 年度冬季（体長区分：20cm 以上））

希少種保護のため非公開

図 530 食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）：2022 年度春季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））

希少種保護のため非公開

図 531 食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）：2022 年度春季（体長区分：20cm 以上））



図 532 食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）：2022 年度夏季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 533 食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）：2022 年度夏季（体長区分：20cm 以上））

希少種保護のため非公開

図 534 食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）：2022 年度秋季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））

希少種保護のため非公開

図 535 食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）：2022 年度秋季（体長区分：20cm 以上））

希少種保護のため非公開

図 536 食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）：2022 年度冬季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 537 食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）：2022 年度冬季（体長区分：20cm 以上））

4.6. 調査結果（2023 年度）

4.6.1. 魚類（イワナ、サツキマス（アマゴ）、及びウグイの胃の内容物調査）（2023 年度）

イワナ、サツキマス（アマゴ）及びウグイの胃の内容物調査結果を、表 669～表 671 に示します。重要種は確認されませんでした。

表 669　イワナ類の胃の内容物 確認種一覧：[redacted]（2023 年度）

調査時期	体長区分	捕獲個体数	胃の内容物の確認種数	胃の内容物の主な確認種	胃の内容物の湿重量（g）
春季	希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開	10 目 41 科 50 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、ウルマーシマトビケラ、ヤマトコマドアミカ、クロホソカ、クロオビマグソコガネ、ツマグロツツシンクイ等	1.032
			11 目 27 科 31 種	カニグモ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、ヤマトコマドアミカ、ダイミョウヒラタコメツキ、ミヤマヒラタハムシ等	0.717
夏季			14 目 52 科 76 種	マメオニグモ、ヨシノコカゲロウ、フタバコカゲロウ、サホコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、オビカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ、オオアミメカワゲラ、ツノゼミ、クロホソカ、サビイロモンキハネカクシ、クロオオアリ、トビイロケアリ等	2.851
			8 目 21 科 27 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、クロヒメツノカメムシ、ハグロケバエ、オオカバイロコメツキ、ヤマクロヤマアリ等	0.437
秋季			15 目 46 科 62 種	フタバコカゲロウ、サホコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ、ツノゼミ、クロホソカ、クロスジツヤムネハネカクシ、トビイロケアリ等	2.253
			13 目 30 科 35 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、キタササキリモドキ、カタビロクサビウンカ、クロスジツヤムネハネカクシ等	1.245
冬季			8 目 21 科 30 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、ユミモンヒラタカゲロウ、シロズシマトビケラ、ウルマーシマトビケラ、クロバアミカ等	1.406
			4 目 5 科 5 種	クロバアミカ等	0.145
計			17 目 75 科 117 種	マメオニグモ、ワカバグモ、ヨシノコカゲロウ、フタバコカゲロウ、サホコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ、ユミモンヒラタカゲロウ、オオアミメカワゲラ、ツノゼミ、シロズシマトビケラ、ウルマーシマトビケラ、クロバアミカ、クロオオアリ、トビイロケアリ等	7.542
			13 目 49 科 62 種	カニグモ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、キタササキリモドキ、クロヒメツノカメムシ、クロバアミカ、ハグロケバエ、ダイミョウヒラタコメツキ、ミヤマヒラタハムシ、ヤマクロヤマアリ等	2.544

注：捕獲個体数、確認種数等は、各調査地点での調査結果を合計したものを記載している。

表 670　サツキマス（アマゴ）の胃の内容物 確認種一覧：[redacted]（2023 年度）

調査時期	体長区分	捕獲個体数	胃の内容物の確認種数	胃の内容物の主な確認種	胃の内容物の湿重量（g）
春季	希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開	－	－	－
			－	－	－
夏季			8 目 24 科 29 種	シロハラコカゲロウ、シロズシマトビケラ、クロツマキジョウカイ、ハンノキサルハムシ等	0.632
			－	－	－
秋季			9 目 18 科 22 種	フタバコカゲロウ、サホコカゲロウ等	0.576
			－	－	－
冬季			－	－	－
			－	－	－
計			10 目 29 科 39 種	シロハラコカゲロウ、フタバコカゲロウ、サホコカゲロウ、シロズシマトビケラ、クロツマキジョウカイ、ハンノキサルハムシ等	1.208
			－	－	－

注：捕獲個体数、確認種数等は、各調査地点での調査結果を合計したものを記載している。

表 671　ウグイの胃の内容物 確認種一覧：[redacted]（2023 年度）

調査時期	体長区分	捕獲個体数	胃の内容物の確認種数	胃の内容物の主な確認種	胃の内容物の湿重量（g）
春季	希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開	－	－	－
			－	－	－
夏季			6 目 11 科 16 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ等	0.031
			－	－	－
秋季			7 目 11 科 17 種	ワカバグモ、フタバコカゲロウ、サホコカゲロウ等	0.334
			－	－	－
冬季			－	－	－
			－	－	－
計			7 目 15 科 23 種	ワカバグモ、フタバコカゲロウ、サホコカゲロウ、シロハラコカゲロウ等	0.365
			－	－	－

注：捕獲個体数、確認種数等は、各調査地点での調査結果を合計したものを記載している。

4.6.2. 餌資源等（流下昆虫、落下昆虫）（2023 年度）

調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種一覧を、表 672～表 681 に示します。重要種は[redacted]（[redacted]でした。

調査地域、調査時期別の落下昆虫（任意採集）確認種一覧を、表 682～表 687 に示します。重要種は確認されませんでした。

4.6.2.1.流下昆虫（任意採集）確認種一覧

表 672　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2023 年度春季 1/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					沢 33 北俣・中俣合流部付近							
					春季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.					1	0.003	2	0.002
2		コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	0.002	1	0.005	1	0.001		
3		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.					2	0.002		
4			Epeorus 属	*Epeorus* sp.	1	0.001						
5	カワゲラ目（セキ翅目）	ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科（成虫）	Leuctridae sp.	5	0.011	14	0.035			9	0.026
6		オナシカワゲラ科	Nemoura 属	*Nemoura* sp.	2	0.001					2	0.002
7			Protonemura 属	*Protonemura* sp.			1	0.001	1	0.001		
8		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	3	0.006			2	0.004		
9	カメムシ目（半翅目）	アワフキムシ科	ミヤマアワフキ	*Peuceptyelus nigroscutellatus*							3	0.029
－			Peuceptyelus 属	*Peuceptyelus* sp.			3	0.043				
10		ヨコバイ科	Idiocerus 属	*Idiocerus* sp.							1	0.009
11			シダヨコバイ	*Japanagallia pteridis*	1	0.004						
12			Oncopsis 属	*Oncopsis* sp.			3	0.022				
13			Pediopsoides 属	*Pediopsoides* sp.							1	0.002
14		ツノカメムシ科	セグロベニモンツノカメムシ	*Elasmostethus interstinctus*	1	0.059						
15			ヒメツノカメムシ	*Elasmucha putoni*			1	0.019				
16	アミメカゲロウ目（脈翅目）	－	アミメカゲロウ目（脈翅目）	NEUROPTERA sp.					1	0.005		
17	トビケラ目（毛翅目）	カワトビケラ科	Dolophilodes 属	*Dolophilodes* sp.	1	0.004						
18		ヤマトビケラ科	Glossosoma 属（成虫）	*Glossosoma* sp.			1	0.007			3	0.016
19		ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属（Retracta group）	*Rhyacophila* sp.（Retracta group）	1	0.001			1	0.001		
20		カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.	2	0.011					2	0.014
21	チョウ目（鱗翅目）	－	チョウ目（鱗翅目）	LEPIDOPTERA sp.	1	0.128	2	0.056				
22	ハエ目（双翅目）	ガガンボ科	Tipula 属	*Tipula* sp.					1	0.007		
23		ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia* sp.	1	+						
24		ケバエ科	Bibio 属	*Bibio* sp.	1	0.008	1	0.005				
25		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	1	0.002						
26		オドリバエ科	Hilara 属	*Hilara* sp.			9	0.075				
27			Rhamphomyia 属	*Rhamphomyia* sp.	4	0.036	1	0.009			2	0.017
28		ハナアブ科	Epistrophe 属	*Epistrophe* sp.			1	0.012				
29		イエバエ科	Coenosia 属	*Coenosia* sp.					1	0.011		
30		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.			1	0.008				

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 673　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2023 年度春季 2/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					沢 33 北俣・中俣合流部付近							
					春季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
31	コウチュウ目（鞘翅目）	ハネカクシ科	Geodromicus 属	*Geodromicus* sp.			2	0.006				
32		コガネムシ科	Aphodius 属	*Aphodius* sp.			1	0.006				
33		コメツキムシ科	コガネコメツキ	*Selatosomus puncticollis*	1	0.057						
34		テントウムシ科	カメノコテントウ	*Aiolocaria hexaspilota*	1	0.128						
35		ゴミムシダマシ科	フジナガハムシダマシ	*Macrolagria rufobrunnea*							1	0.026
36		ハムシ科	ヤナギハムシ	*Chrysomela vigintipunctata*			1	0.033			2	0.062
37			ミヤマヒラタハムシ	*Gastrolina peltoidea*	1	0.034						
－			ハムシ科	Chrysomelidae sp.	2	0.121	4	0.064	1	0.001	3	0.043
38		ゾウムシ科	Dorytomus 属	*Dorytomus* sp.					1	0.001		
39			Phyllobius 属	*Phyllobius* sp.	1	0.007	1	0.007				
40			ハンノキコブキクイゾウムシ	*Xenomimetes alni*			1	0.001				
41		キクイムシ科	キクイムシ科	Scolytidae sp.			1	0.005			1	0.002
－		－	コウチュウ目（鞘翅目）	COLEOPTERA sp.	1	0.009			2	0.043		
42	ハチ目（膜翅目）	ヒラタハバチ科	Pamphilius 属	*Pamphilius* sp.					1	0.006		
43		ハバチ科	Rocalia 属	*Rocalia* sp.							1	0.006
44			Tenthredo 属	*Tenthredo* sp.							1	0.052
45		ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.			1	0.005				
46		アリ科	Lasius 属	*Lasius* sp.			1	0.002				
47			Myrmica 属	*Myrmica* sp.			3	0.008				
－			アリ科	Formicidae sp.							1	0.003
48		ギングチバチ科	Trypoxylon 属	*Trypoxylon* sp.	1	0.004						
計				種数	8 目 20 科 20 種		8 目 19 科 22 種		7 目 12 科 12 種		7 目 13 科 15 種	
				個体数	34		55		16		35	
				湿重量(g)	0.634		0.434		0.086		0.311	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 674　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2023 年度秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					沢 33 北俣・中俣合流部付近							
					秋季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目（蜉蝣目）	コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*							1	+
2			フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	0.002					1	0.004
3			サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*	1	0.001						
4			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	10	0.013	4	0.005	6	0.004	3	0.003
5		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	2	0.018						
6			キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	1	0.005					2	0.018
7	カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.	1	+						
8		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	1	0.001						
9	カメムシ目（半翅目）	アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.					2	+		
10	アミメカゲロウ目（脈翅目）	ヒロバカゲロウ科	ヒロバカゲロウ科	Osmylidae sp.					1	0.003		
11	トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)	1	+						
12			Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila* sp. (Retracta group)	1	+					3	0.001
13	チョウ目（鱗翅目）	シャクガ科	シャクガ科	Geometridae sp.	1	0.003						
14	ハエ目（双翅目）	アミカ科	Blepharicera 属	*Blepharicera* sp.			2	0.012			1	0.001
15		ユスリカ科	Boreoheptagyia 属	*Boreoheptagyia* sp.	2	+	2	0.001			4	0.001
16			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	12	0.002	21	0.004	22	0.004	21	0.003
17			Tvetenia 属	*Tvetenia* sp.	2	+						
18		ホソカ科	クロホソカ	*Dixa yamatona*					1	+		
19		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	2	+	1	+			3	+
20		ケバエ科	Bibio 属	*Bibio* sp.	1	0.011						
21		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	4	0.005	23	0.028	5	0.005	35	0.038
22		オドリバエ科	Hybos 属	*Hybos* sp.							1	0.003
23		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.	1	+						
24	コウチュウ目（鞘翅目）	オサムシ科	Bembidion 属	*Bembidion* sp.			1	0.001				
25		ハネカクシ科	Geodromicus 属	*Geodromicus* sp.					1	0.004		
26	ハチ目（膜翅目）	ハバチ科	ハバチ科	Tenthredinidae sp.							1	0.006
27		アリ科	Formica 属	*Formica* sp.							1	0.007
計				種数	5 目 11 科 17 種		3 目 6 科 7 種		5 目 7 科 7 種		4 目 10 科 13 種	
				個体数	44		54		38		77	
				湿重量(g)	0.061		0.051		0.020		0.085	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 675　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度夏季 1/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					夏季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	0.002	1	0.002				
2			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	2	0.002	1	0.007	2	0.001	2	0.012
3		ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	1	0.013			2	0.011		
–			Epeorus 属	*Epeorus* sp.			2	0.001				
4			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.			2	+	2	0.005	1	+
5	カワゲラ目(セキ翅目)	ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科（成虫）	Leuctridae sp.	1	0.003					1	0.003
6		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	3	0.005	3	0.005	1	0.001	1	+
7	バッタ目(直翅目)	イナゴ科	ハネナガフキバッタ	*Ognevia longipennis*							2	0.694
8	チャタテムシ目(噛虫目)	チャタテ科	Pseudocerastis 属	*Pseudocerastis* sp.			1	0.005	2	0.012		
9	ラクダムシ目	ラクダムシ科	ラクダムシ	*Inocellia japonica*			1	0.018				
10	アミメカゲロウ目(脈翅目)	ヒロバカゲロウ科	ヒロバカゲロウ科	Osmylidae sp.					1	+		
–		–	アミメカゲロウ目(脈翅目)	NEUROPTERA sp.							1	+
11	トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)			1	0.002				
12		カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.	1	0.001			1	0.005	1	0.006
13	チョウ目(鱗翅目)	–	チョウ目(鱗翅目)	LEPIDOPTERA sp.			2	0.019			1	0.164
14	ハエ目(双翅目)	アミカ科	Agathon 属	*Agathon* sp.							2	0.001
15		ユスリカ科	Boreoheptagyia 属	*Boreoheptagyia* sp.							1	+
16			Diamesa 属	*Diamesa* sp.	1	+	4	0.006	1	0.001	2	0.002
17			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	5	+			5	+	1	+
18			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.					3	+	1	+
19		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	1	+			5	+		
20		オドリバエ科	Hybos 属	*Hybos* sp.	1	0.001						
21		クロバエ科	Melinda 属	*Melinda* sp.	1	0.009						
22		イエバエ科	Lispocephala 属	*Lispocephala* sp.					1	0.006		
23		ハナバエ科	ハナバエ科	Anthomyiidae sp.							1	0.003

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 676　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度夏季 2/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					夏季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
24	コウチュウ目(鞘翅目)	ナガハナノミ科	クリイロヒゲナガハナノミ	*Pseudoepilichas niponicus*							1	0.008
25		タマムシ科	ヒメヒラタタマムシ	*Anthaxia proteus*							1	0.002
26		コメツキダマシ科	ナガコメツキダマシ	*Isorhipis banghaasi*							1	0.011
27		ジョウカイボン科	Asiopodabrus 属	*Asiopodabrus* sp.			1	0.006				
28			Themus 属	*Themus* sp.					1	0.187		
29		ホタル科	オバボタル	*Lucidina biplagiata*					1	0.016		
30		カミキリモドキ科	ミヤマカミキリモドキ	*Ditylus laevis laevis*					1	0.232		
31			キクビカミキリモドキ	*Nacerdes atriceps*					1	0.017		
32		デバヒラタムシ科	デバヒラタムシ	*Prostomis latoris*					1	0.002		
33		ハムシ科	バラルリツツハムシ	*Cryptocephalus approximatus*	1	0.011						
34		ゾウムシ科	ゾウムシ科	Curculionidae sp.							1	0.003
35		キクイムシ科	キクイムシ科	Scolytidae sp.			1	+				
36	ハチ目(膜翅目)	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.	1	0.008					1	0.012
37		カギバラバチ科	ナガハゴロモカギバラバチ	*Orthogonalos elongata*	1	0.026						
38		アリ科	Formica 属	*Formica* sp.							1	+
39			トビイロケアリ	*Lasius japonicus*					2	0.001		
40			Myrmica 属	*Myrmica kotokui*					1	+		
–			アリ科	Formicidae sp.							2	0.153
41		ミツバチ科	ミヤママルハナバチ	*Bombus honshuensis*	1	0.169					1	0.217
42		コマユバチ科	Ascogaster 属	*Ascogaster* sp.	1	0.003						
43		シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	Proctotrupidae sp.							1	0.002
44		タマゴクロバチ科	タマゴクロバチ科	Scelionidae sp.					1	+		
45		カタビロコバチ科	カタビロコバチ科	Eurytomidae sp.			1	+				
計				種数	6 目 14 科 16 種		9 目 11 科 13 種		8 目 15 科 20 種		9 目 19 科 22 種	
				個体数	23		21		35		28	
				湿重量(g)	0.253		0.071		0.497		1.293	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 677　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					秋季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			1	0.002				
2			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	2	0.005			2	0.005	2	0.0
3	カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Nemoura 属	*Nemoura* sp.	1	+					1	+
4		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.							1	+
5	カメムシ目(半翅目)	マルウンカ科	カタビロクサビウンカ	*Issus harimensis*					1	0.026		
6		アワフキムシ科	クロフアワフキ	*Sinophora submacula*					1	0.041		
7		ツノカメムシ科	トゲツノカメムシ	*Lindbergicoris gramineus*					1	0.042		
8	トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)					1	0.001		
9	ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	Boreoheptagyia 属	*Boreoheptagyia* sp.	1	+	1	+			3	0.0
10			Diamesa 属	*Diamesa* sp.					1	0.001	1	0.0
11			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	2	+	2	+	3	+	6	0.0
12			Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.							1	+
–			ユスリカ科	Chironomidae sp.	2	0.001						
13		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	1	+	2	+			1	0.0
14		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.			1	0.002	1	0.006	3	0.0
15		ナガレアブ科	ミヤマナガレアブ	*Atherix basilica*	1	0.004						
16		ムシヒキアブ科	ムシヒキアブ科	Asilidae sp.					1	0.053		
17		ハナアブ科	Melangyna 属	*Melangyna* sp.	1	0.032						
18	コウチュウ目(鞘翅目)	ツヤシデムシ科	チャイロホソツヤシデムシ	*Apteroloma calathoides*							1	0.0
19		ハネカクシ科	Philydrodes 属	*Philydrodes* sp.			1	+				
20		カミキリモドキ科	Nacerdes 属	*Nacerdes* sp.							1	0.0
21		ハムシ科	ハムシ科	Chrysomelidae sp.	1	0.001						
22	ハチ目(膜翅目)	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.	1	+			1	0.005		
23		アリ科	Formica 属	*Formica* sp.	1	0.005						
24			トビイロケアリ	*Lasius japonicus*	1	0.001					1	0.0
25			Myrmica 属	*Myrmica* sp.	3	0.017	1	0.003				
26		ハエヤドリクロバチ科	ハエヤドリクロバチ科	Diapriidae sp.	2	+	1	+				
計				種数	5 目 10 科 13 種		4 目 7 科 8 種		5 目 9 科 10 種		5 目 9 科 12 種	
				個体数	20		10		13		22	
				湿重量(g)	0.066		0.007		0.180		0.081	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 678　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度冬季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					冬季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.					1	0.001		
2		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	2	+	1	+			1	+
3			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	8	0.003	5	0.011	3	0.002	12	0.005
4		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	3	0.002	1	+				
5			Epeorus 属	*Epeorus* sp.	1	+	1	+	1	+		
6			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	2	0.001	2	0.001				
7	カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.	1	+					1	+
8		オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.	2	0.004	2	0.002	4	0.004	3	0.001
9		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	14	0.005	6	0.002	8	0.003	10	0.006
10		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.			2	0.002			1	0.002
11	トビケラ目(毛翅目)	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	1	+						
−			Glossosoma 属（成虫）	*Glossosoma* sp.			1	0.008				
12		ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属（Acropedes group）	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)	1	+						
13			Rhyacophila 属（Retracta group）	*Rhyacophila* sp. (Retracta group)	1	+	2	0.001	4	0.006	1	+
14		コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.	1	+						
15		カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.							1	0.004
16	ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	ユスリカ科（成虫）	Chironomidae sp.			8	+			5	+
17		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.			1	+				
計				種数	3 目 8 科 12 種		4 目 9 科 12 種		3 目 6 科 6 種		4 目 8 科 9 種	
				個体数	37		32		21		35	
				湿重量(g)	0.015		0.027		0.016		0.018	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 679　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2023 年度夏季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
					夏季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*							1	0.001
2		ヒラタカゲロウ科	Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	1	+	1	+			2	0.001
3	カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.					1	+	1	+
4		ヒロムネカワゲラ科	ミヤマノギカワゲラ	*Yoraperla uenoi*	1	+						
5		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	1	+	2	0.004	6	0.009	5	0.002
6	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	Pagaronia 属	*Pagaronia* sp.							1	0.018
7		キジラミ科	Psylla 属	*Psylla* sp.							1	0.006
8	トビケラ目(毛翅目)	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.			1	+			1	+
9		ナガレトビケラ科	ヤマナカナガレトビケラ	*Rhyacophila yamanakensis*							1	0.001
10			Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila* sp. (Retracta group)							1	0.001
11	希少種保護のため非公開											
12	ハエ目(双翅目)	アミカ科	アミカ科	Blephariceridae sp.	2	+	1	+				
13		チョウバエ科	Pericoma 属	*Pericoma* sp.			1	+	1	+		
14		ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.							1	+
15			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	8	0.001	8	+	32	0.004	4	+
16			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.					1	+		
17			Pagastia 属	*Pagastia* sp.					1	+		
18		ホソカ科	クロホソカ	*Dixa yamatona*							1	+
19		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.			2	+	4	0.001	2	0.002
20		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	1	0.002						
21		オドリバエ科	Hilara 属	*Hilara* sp.			1	+	3	0.003	4	0.002
22	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	クロジョウカイ	*Lycocerus attristatus*					1	0.101	1	0.125
23		ホタル科	オバボタル	*Lucidina biplagiata*			2	0.049			1	0.016
24		ベニボタル科	ヤマトアミメボタル	*Xylobanus japonicus*	1	0.014						
25		キクイムシ科	キクイムシ科	Scolytidae sp.			1	+				
26	ハチ目(膜翅目)	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.							1	0.001
27		アリ科	アリ科	Formicidae sp.	18	0.049	5	0.012	12	0.031	6	0.023
計				種数	5 目 8 科 8 種		6 目 11 科 11 種		4 目 8 科 10 種		7 目 17 科 19 種	
				個体数	33		25		62		36	
				湿重量(g)	0.066		0.065		0.149		0.199	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 680　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2023 年度秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
					秋季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*			3	0.007	3	0.007	4	0.004
2		ヒラタカゲロウ科	Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.			1	0.001	2	0.008	1	0.015
3	カワゲラ目(セキ翅目)	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.					1	+		
4	トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*	1	0.001			1	0.002		
5			ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*			1	0.002				
6		ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属	*Rhyacophila* sp.					1	0.003		
7	ハエ目(双翅目)	アミカ科	Blepharicera 属（成虫）	*Blepharicera* sp.					1	0.007		
8		チョウバエ科	Pericoma 属	*Pericoma* sp.			1	+				
9		ユスリカ科	Cardiocladius 属	*Cardiocladius* sp.	1	+	1	+			1	+
10			Diamesa 属	*Diamesa* sp.	1	+			2	0.001	1	0.003
11			Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+	1	+			1	+
12			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.					3	+	4	0.002
13			Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.			1	+				
14			Thienemanniella 属	*Thienemanniella* sp.					1	+		
15			Tvetenia 属	*Tvetenia* sp.			1	+				
16		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	7	0.013	15	0.022	8	0.017	14	0.019
17		ハナアブ科	オオフタホシヒラタアブ	*Syrphus ribesii*							1	0.072
18	ハチ目(膜翅目)	アリ科	トビイロケアリ	*Lasius japonicus*	1	0.002						
19		ハエヤドリクロバチ科	ハエヤドリクロバチ科	Diapriidae sp.	1	+						
20		タマゴクロバチ科	タマゴクロバチ科	Scelionidae sp.					1	+		
21		トビコバチ科	トビコバチ科	Encyrtidae sp.					1	+		
計				種数	3 目 5 科 7 種		3 目 6 科 9 種		5 目 10 科 12 種		2 目 5 科 8 種	
				個体数	13		25		25		27	
				湿重量(g)	0.016		0.032		0.045		0.115	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 681　調査地域、調査時期別の流下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2023 年度冬季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島（放流箇所下流②）							
					冬季							
					左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	1	+					1	+
2		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			1	+				
3			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	20	0.009	10	0.004	18	0.008	6	0.002
4		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.			1	0.001				
5			Epeorus 属	*Epeorus* sp.	2	+			2	+		
6			Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	7	0.011	12	0.014	3	0.002	3	0.001
7	カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.					1	0.001		
8		オナシカワゲラ科	Nemoura 属	*Nemoura* sp.	2	0.001	1	+				
9			Protonemura 属	*Protonemura* sp.	3	0.001					3	0.001
10		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.			1	+				
11		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	1	+						
12	カメムシ目（半翅目）	キジラミ科	Psylla 属	*Psylla* sp.			58	0.046			27	0.021
13	アミメカゲロウ目（脈翅目）	ヒロバカゲロウ科	ヒロバカゲロウ科	Osmylidae sp.							1	0.004
14	トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*							1	0.003
15			ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	2	0.009						
16		ヒメトビケラ科	Stactobia 属	*Stactobia* sp.			1	+				
17		コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.	1	+					1	+
18	ハエ目（双翅目）	ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.					1	+		
19		ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+						
20			Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.					1	+		
－			ユスリカ科（成虫）	Chironomidae sp.			2	+				
21		ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	1	+			1	+	1	+
22		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.			1	+				
23	ハチ目（膜翅目）	コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.			1	+				
計				種数	4 目 9 科 11 種		6 目 9 科 11 種		3 目 6 科 7 種		6 目 9 科 9 種	
				個体数	41		89		27		44	
				湿重量(g)	0.031		0.065		0.011		0.032	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

4.6.2.2.落下昆虫（任意採集）確認種一覧

表 682　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2023 年度春季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					沢 33 北俣･中俣合流部付近							
					春季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カワゲラ目（セキ翅目）	ホソカワゲラ科	Perlomyia 属	*Perlomyia* sp.	10	0.009	5	0.005				
2		オナシカワゲラ科	Nemoura 属	*Nemoura* sp.					1	0.003		
3	カメムシ目（半翅目）	アワフキムシ科	ミヤマアワフキ	*Peuceptyelus nigroscutellatus*							1	0.007
－			Peuceptyelus 属	*Peuceptyelus* sp.					1	0.010		
4		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.					2	+		
5	ハエ目（双翅目）	アミカ科	Agathon 属	*Agathon* sp.							1	0.005
6		ユスリカ科	ユスリカ科	Chironomidae sp.							1	+
7		ホソカ科	Dixa 属	*Dixa* sp.					1	+		
8		アブ科	Hybomitra 属	*Hybomitra* sp.	1	0.126						
9		オドリバエ科	Hilara 属	*Hilara* sp.	11	0.025			3	+		
10		ハナアブ科	Melangyna 属	*Melangyna* sp.	1	0.018	1	0.018	1	0.025	2	0.056
11		イエバエ科	Helina 属	*Helina* sp.	1	0.008						
12			Phaonia 属	*Phaonia* sp.							3	0.010
13		ヤリバエ科	ウスグロヤリバエ	*Lonchoptera sapporensis*	1	+			1	+		
14		アタマアブ科	アタマアブ科	Pipunculidae sp.					1	+		
15		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.					1	+		
16		クロツヤバエ科	クロツヤバエ科	Lonchaeidae sp.	1	+						
17		フンコバエ科	フンコバエ科	Sphaeroceridae sp.					1	+		
18		ハナバエ科	ハナバエ科	Anthomyiidae sp.					1	0.003		
19	コウチュウ目（鞘翅目）	ハネカクシ科	Atheta 属	*Atheta* sp.	1	+						
20			Geodromicus 属	*Geodromicus* sp.	3	0.006					1	+
21			Philonthus 属	*Philonthus* sp.							1	+
22	ハチ目（膜翅目）	シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	Proctotrupidae sp.	1	+						
計				種数	5 目 19 科 22 種							
				個体数	31		6		14		10	
				湿重量(g)	0.192		0.023		0.041		0.078	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 683　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2023 年度秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					沢 33 北俣･中俣合流部付近							
					秋季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ハエ目（双翅目）	クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	6	0.005	5	+				
2		アシナガバエ科	アシナガバエ科	Dolichopodidae sp.	1	+						
3		オドリバエ科	Hybos 属	*Hybos* sp.	1	+						
4			Parathalassius 属	*Parathalassius* sp.					1	+		
5		ハナアブ科	Melangyna 属	*Melangyna* sp.	23	0.441	11	0.21	2	0.04	11	0.213
6		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.	1	+						
7		ハナバエ科	ハナバエ科	Anthomyiidae sp.			1	+				
8		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.	2	0.023	3	0.033				
9	コウチュウ目（鞘翅目）	ハネカクシ科	Philonthus 属	*Philonthus* sp.							1	+
計				種数	2 目 8 科 9 種							
				個体数	34		20		3		12	
				湿重量(g)	0.469		0.243		0.040		0.213	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 684　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度夏季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					夏季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	コカゲロウ科	Baetidae sp.			1	+				
2	カワゲラ目(セキ翅目)	ホソカワゲラ科	Paraleuctra 属	*Paraleuctra* sp.			1	+				
3	アミメカゲロウ目(脈翅目)	ヒメカゲロウ科	Hemerobius 属	*Hemerobius* sp.					1	0.005		
4	ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	ユスリカ科	Chironomidae sp.	1	+	1	+	5	+	1	0.048
5		オドリバエ科	Hilara 属	*Hilara* sp.			1	+				
6		ハナアブ科	ナミホシヒラタアブ	*Eupeodes bucculatus*							2	0.048
7			Melangyna 属	*Melangyna* sp.					1	0.007		
8	ハチ目(膜翅目)	コガネコバチ科	コガネコバチ科	Pteromalidae sp.					1	+		
計				種数	5 目 7 科 8 種							
				個体数	1		4		8		3	
				湿重量(g)	+		+		0.012		0.096	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 685　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 02 西俣(放流箇所下流)							
					秋季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	Macropsis 属	*Macropsis* sp.			1	0.007				
2			Oncopsis 属	*Oncopsis* sp.							1	+
3			Pediopsoides 属	*Pediopsoides* sp.							1	+
4	トビケラ目(毛翅目)	コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.							1	0.006
5	ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	ユスリカ科	Chironomidae sp.					1	+	1	+
6		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.					1	+		
7		ハナアブ科	ニッポンクロヒラタアブ	*Betasyrphus nipponensis*			1	0.023				
8			Melangyna 属	*Melangyna* sp.			1	0.015				
9		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.							1	+
10		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.			1	0.026				
計				種数	3 目 7 科 10 種							
				個体数	0		4		2		5	
				湿重量(g)	0.000		0.071		+		0.006	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 686　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2023 年度夏季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
					夏季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	クモ目	ヒメグモ科	シモフリヒメグモ	*Yunohamella lyrica*			1	+				
2	カメムシ目(半翅目)	アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	1	+	3	+	5	+	2	+
3	ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	ユスリカ科	Chironomidae sp.	2	+	1	+				
4		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	1	+	1	+	1	+		
5		キモグリバエ科	キモグリバエ科	Chloropidae sp.			1	+				
6		ハナバエ科	ハナバエ科	Anthomyiidae sp.							1	+
7	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキダマシ科	Dromaeolus 属	*Dromaeolus* sp.							1	+
8		ジョウカイボン科	クロツマキジョウカイ	*Malthinus japonicus*					1	+		
9	ハチ目(膜翅目)	アリ科	アリ科	Formicidae sp.					1	+		
10		コハナバチ科	Lasioglossum 属	*Lasioglossum* sp.	1	0.018						
計				種数	5 目 10 科 10 種							
				個体数	5		7		8		4	
				湿重量(g)	0.018		+		+		+	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 687　調査地域、調査時期別の落下昆虫確認種、個体数及び湿重量一覧：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2023 年度秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河 10-3 椹島(放流箇所下流②)							
					秋季							
					調査箇所①		調査箇所②		調査箇所③		調査箇所④	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	シラゲヨモギカスミカメ	*Europiella artemisiae*							1	+
2	トビケラ目(毛翅目)	コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.					1	+	1	0.006
3	ハエ目(双翅目)	ヌカカ科	ヌカカ科	*Ceratopogonidae sp.*	2	+					1	+
4		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.							2	+
5		ショウジョウバエ科	Drosophila 属	*Drosophila* sp.			1	+				
6		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.	1	+	1	+				
7		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.					1	0.007		
8	コウチュウ目(鞘翅目)	ハナノミ科	Tomoxia 属	*Tomoxia* sp.	1	+						
9	ハチ目(膜翅目)	ホソハネコバチ科	ホソハネコバチ科	Mymaridae sp.			1	+				
計				種数	5 目 9 科 9 種							
				個体数	4		3		2		5	
				湿重量(g)	0.000		+		0.007		0.006	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和４年度版生物リスト」（令和４年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

4.6.3. 生育環境（周辺植生）（2023 年度）

生育環境（周辺植生）について、調査時期、調査地域別の調査結果を、図 538～図 540、表 688～表 691 に示します。

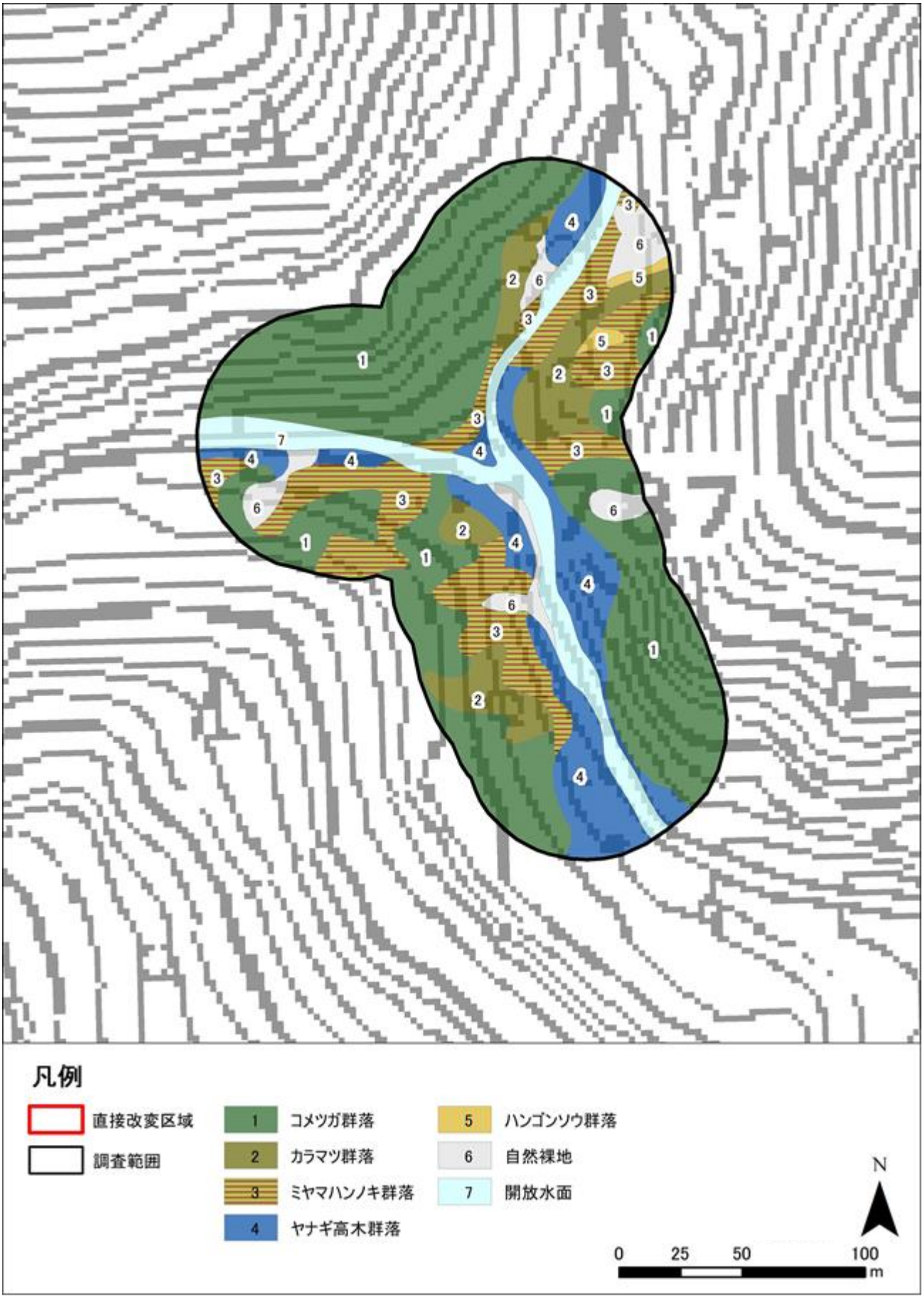


図 538　植生図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2023 年度 秋季）

表 688　植物群落の調査結果：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2023 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
1	コメツガ群落		コメツガが優占する群落である。亜高木層にはコメツガ、ネコシデが、低木層にはコメツガ、コミネカエデ等がそれぞれ生育する。草本層には、コメツガの稚樹や、ミヤマワラビ、コミヤマカタバミ等が生育する。
2	カラマツ群落		カラマツが優占する群落である。高木層には、カラマツ 1 種が生育する。亜高木層にはヤハズハンノキが、低木層には、ニシキウツギ及びコメツガが、それぞれ生育する。草本層には、キヌタソウ、ヨツバヒヨドリ、タカネコウボウ等が生育する。
3	ミヤマハンノキ群落		ミヤマハンノキが優占する群落である。 高木層には、ミヤマハンノキのほか、ヤハズハンノキが生育する。亜高木層を欠き、低木層にはダケカンバが、草本層には、ヒメノガリヤス、キヌタソウ、クガイソウ、ミヤマワラビ等が生育する。
4	ヤナギ高木群落		高木のヤナギ類が優占する群落である。 高木層には、トカチヤナギ（オオバヤナギ変種）、オノエヤナギ等のヤナギ類のほか、ヤハズハンノキ、ダケカンバ、カラマツ等が生育する。亜高木層にはヤハズハンノキ、ダケカンバ、カラマツ等が、低木層には、コメツガ、ダケカンバ、トカチヤナギ等が、草本層には、コウシンヤマハッカ、コメツガ、シラネセンキュウ、タカネコウボウ等がそれぞれ生育する。
5	ハンゴンソウ群落		草本のハンゴンソウが優占する群落である。 草本層には、ハンゴンソウのほか、コウシンヤマハッカ、センジョウアザミ、キツリフネ、ミヤマタニタデ等が生育する。
6	自然裸地		河原の砂礫地や急斜面地の崩壊地である。
7	開放水域		河川等の水面である。

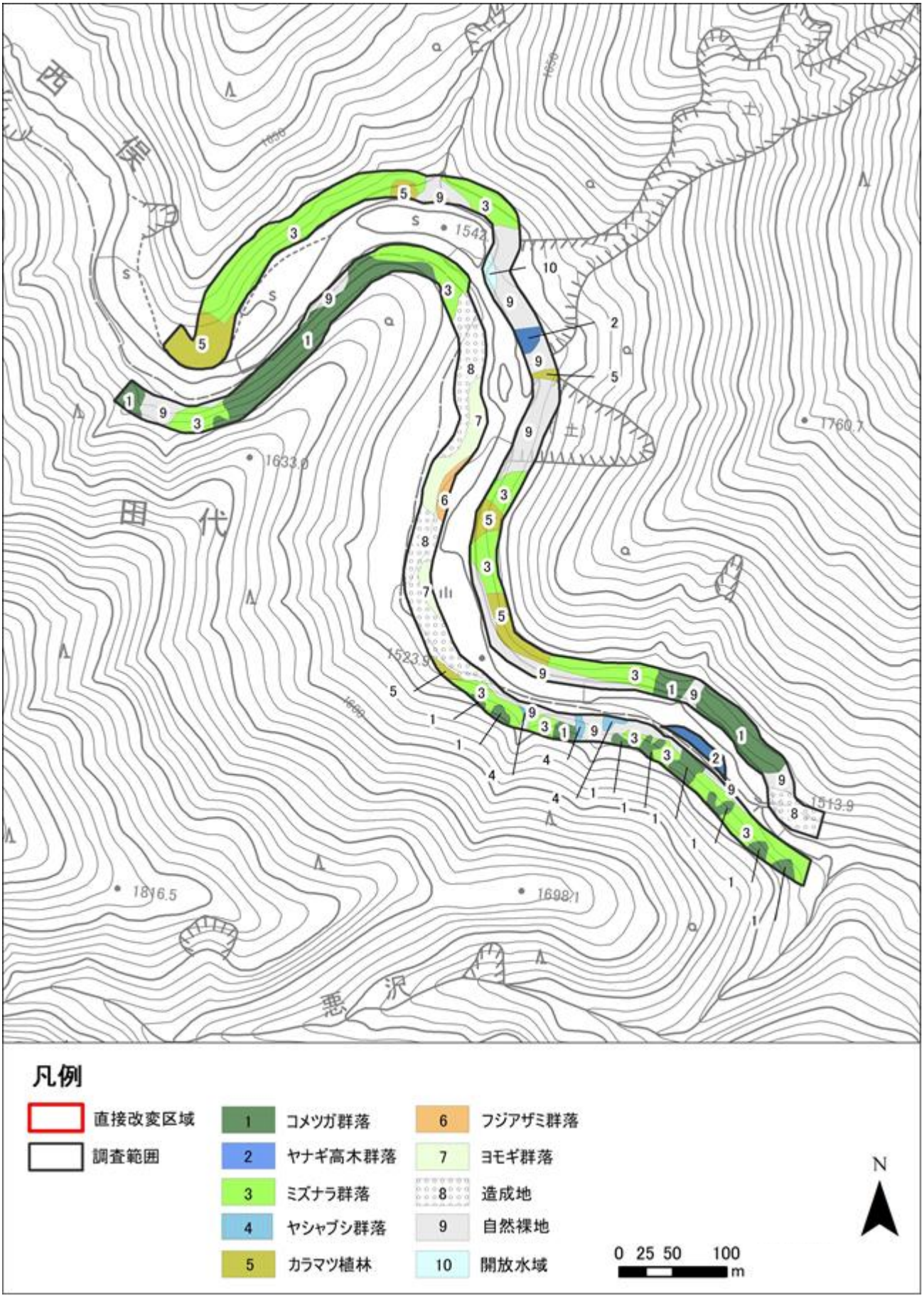


図 539　植生図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度 秋季）

表 689　植物群落の調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度秋季）1/2

No.	群落名	現況写真	概要
1	コメツガ群落		コメツガが優占する群落である。 高木層には、コメツガのほか、ヒメコマツ等が生育する。亜高木層にはコメツガ、シナノキ等が、低木層にはコメツガ、トウゴクミツバツツジ、コアジサイ等がそれぞれ生育する。草本層には、コイワカガミ、イワデンダ、シロヨメナ等が生育する。
2	ヤナギ高木群落		高木のヤナギ類が優占する群落である。 オノエヤナギ、バッコヤナギ等が優占する群落である。高木層には、オノエヤナギ等のヤナギ類のほか、ミヤマハンノキが生育する。低木層には、ヤハズハンノキやオノエヤナギが、草本層には、テンニンソウ、カリヤス等がそれぞれ生育する。
3	ミズナラ群落		ミズナラが優占する群落である。 高木層には、ミズナラのほか、クマシデが生育する。亜高木層には、ヤシャブシ、ハウチワカエデ等が生育する。低木層は、コメツガ、サワシバ等が、草本層には、テンニンソウ、ヒメノガリヤス、イワデンダ等が生育する。
4	ヤシャブシ群落		ヤシャブシが優先する低木群落である。 低木層には、ヤシャブシのみ生育する。草本層には、クマイチゴ、フジアザミ等の先駆的な草本類や、テンニンソウ、ヒメノガリヤス、ミヤマワラビ等が生育する。
5	カラマツ植林		カラマツの植林地である。 高木層には、カラマツ 1 種が生育する。亜高木層には、ミズナラ、ウダイカンバ、シナノキ等が生育する。低木層には、コメツガ、オオモミジ、ハウチワカエデ等が、草本層には、コアジサイ、キヌタソウ、ヒメノガリヤス等が生育する。
6	フジアザミ群落		草本のフジアザミが優占する群落である。草本層には、フジアザミのほか、テンニンソウ、イワニガナ、ノコンギク等が生育する。

表 690　植物群落の調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度秋季）2/2

No.	群落名	現況写真	概要
7	ヨモギ群落		草本のヨモギが優占する群落である。草本層には、ヨモギのほか、エノコログサ、フジアザミ、ヤマハハコ等が生育する。
8	造成地		造成により生じた人工的な裸地である。
9	自然裸地		河原の砂礫地や急斜面地の崩壊地である。
10	開放水域		河川等の水面である。

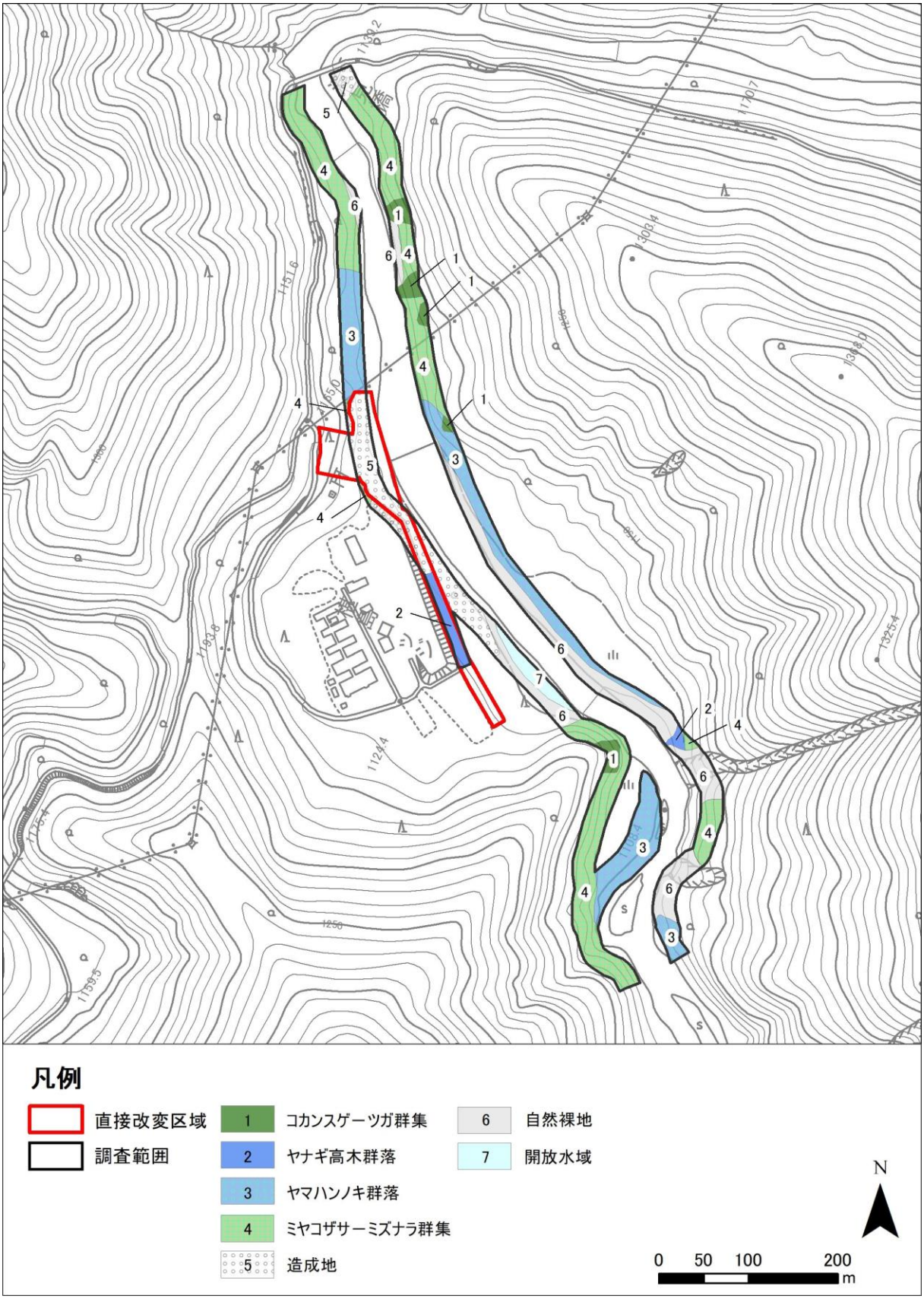


図 540　植生図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2023 年度 秋季）

表 691　植物群落の調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2023 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
1	コカンスゲーツガ群集		ツガもしくはモミが優占する群落である。高木層は、ツガ、モミ、カエデ類等が生育する。亜高木層には、ツガ、モミが生育するほか、ミズナラ、アカシデ等の落葉広葉樹を交える。 低木層には、トウゴクミツバツツジ、ツガ等が、草本層には、スゲ属 sp.や、イワガラミ、ヒメノガリヤス等が生育する。
2	ヤナギ高木群落		高木のヤナギ類が優占する群落である。 高木層には、オノエヤナギ、ケヤマハンノキが生育する。亜高木層にはケヤマハンノキ、オノエヤナギ等が、低木層には、イヌシデが生育し、草本層には、イワニガナ、クサコアカソ等がそれぞれ生育する。
3	ヤマハンノキ群落		ケヤマハンノキが優占する群落である。高木層は、ケヤマハンノキ、カズミザクラが生育する。亜高木層には、アサダ、クマシデ、ケヤキ等が、低木層には、オオモミジ、ダンコウバイ、アサダ等がそれぞれ生育する。草本層には、クサコアカソ、テンニンソウ、ウツギ等が生育する。
4	ミヤコザサーミズナラ群集		ミズナラが優占する群落である。 高木層には、ミズナラのほか、ミズメ、ヤマトアオダモが生育する。亜高木層には、ヤシャブシ、アカシデ等が生育する。低木層は、サワシバ、ダンコウバイ、ムラサキシキブ等が、草本層には、テンニンソウ、クサコアカソ、コアジサイ等がそれぞれ生育する。
5	造成地		造成により生じた人工的な裸地である。
6	自然裸地		河原の砂礫地や急斜面地の崩壊地である。
7	開放水域		河川等の水面である。

4.6.4. イワナ類を中心とした食物連鎖図（2023 年度）

イワナ類の胃の内容物調査、流下昆虫、落下昆虫調査及び植物群落調査結果をもとに、イワナ類を中心とした食物連鎖図を作成しました。図 541～図 559 に示します。

・イワナ類と各生物種を結ぶ線は、胃の内容物の調査で確認された生物種であることを示します。また、各線の色はそれぞれ以下の指標に対応します。

黒色：Manly の餌選択係数

赤色：各生物種の餌重要度指数の全体に対する割合

・各指標の計算方法及び考え方を下表に示します。各線の太さは、各指標の算出値の大きさを相対的に示したものです。ただし、線の太さについて各指標間における関係性はありません。

項目	計算方法	考え方
Ｍａｎｌｙの餌選択係数α	$\alpha = (r_i/p_i) \Big/ \sum (r_i/p_i)$ r_i：胃の内容物中の湿重量比 p_i：流下昆虫、落下昆虫の湿重量比	環境中に存在する餌資源量の比率（流下昆虫、落下昆虫の湿重量比）と、実際にその餌資源を利用した比率（胃の内容物中の湿重量比）をもとに、餌資源に対する選択性を表現
餌重要度指数ＩＲＩ	$IRI = (\%N/\%W) \times \%F$ $\%N$：胃の内容物中の個体数比 $\%W$：胃の内容物中の湿重量比 $\%F$：ある餌資源を捕食していたイワナの数/全イワナの数	胃内容物として出現した類別の餌資源について、その個体数比と湿重量比から、相対的な重要度を表現

・図中の各生物種に付随する円（●）の大きさは、流下昆虫調査（沢 33 北俣・中俣合流部付近の秋季調査分については底生動物の定量調査）で確認された各生物種の湿重量の違いを相対的に示したものです。なお、「⊕」は湿重量が 0.001g 未満であることを示します。

・また、図中の各生物種に付随する四角（■）の大きさは、落下昆虫調査で確認された各生物種の重量の違いを相対的に示したものです。なお、「田」は重量が 0.001g 未満であることを示しており、「⊠」は胃の内容物調査で確認されたものの、落下昆虫の調査で確認されなかったことを示します。

・魚類等の冬季調査は主要な地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で実施することとしていることから、沢 33 北俣・中俣合流部）の冬季調査の食物連鎖図は作成していません。



図 541　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2023 年度春季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 542　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2023 年度春季（体長区分：20cm 以上））



図 543　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2023 年度夏季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 544　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2023 年度夏季（体長区分：20cm 以上））



図 545　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2023 年度秋季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 546　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2023 年度秋季（体長区分：20㎝ 以上））



図 547　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度春季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 548　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度春季（体長区分：20cm 以上））

希少種保護のため非公開

図 549　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度夏季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 550　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度秋季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 551　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度秋季（体長区分：20cm 以上））



図 552　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度冬季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 553　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2023 年度冬季（体長区分：20cm 以上））



図 554　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2023 年度夏季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 555　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2023 年度夏季（体長区分：20cm 以上））



図 556　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2023 年度秋季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 557　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2023 年度秋季（体長区分：20cm 以上））



図 558　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2023 年度冬季（体長区分：10cm 以上 20cm 未満））



図 559　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2023 年度冬季（体長区分：20cm 以上））

4.7.調査結果（2024 年度）

4.7.1. 魚類（イワナ、サツキマス（アマゴ）、及びウグイの胃の内容物調査）（2024 年度）

イワナ、サツキマス（アマゴ）及びウグイの胃の内容物調査結果を、表 692～表 695 に示します。重要種は[redacted]（[redacted]でした。

表 692　イワナ類の胃の内容物 確認種一覧：[redacted]（2024 年度 1/2）

調査時期	体長区分	捕獲個体数	胃の内容物の確認種数	胃の内容物の主な確認種	胃の内容物の湿重量（g）
春季	希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開	12 目 45 科 60 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、フタバカゲロウ、スルガコガネヒシバッタ、ウルマーシマトビケラ、クロバアミカ、ミヤマヒラタハムシ、アシナガアリ、ムネアカオオアリ等	3.440
			13 目 34 科 42 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、ヒメツノカメムシ、タケウチトゲアワフキ、ウルマーシマトビケラ、オトシブミ、アシナガアリ等	2.325
夏季			11 目 41 科 56 種	フタバコカゲロウ、サホコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ、ツノゼミ、クロフアワフキ、ヒメツノカメムシ、イノプスヤマトビケラ、ヒメナミアミカ、ハナレメナミアミカ、クロホソカ、ナガコメツキダマシ、ナガチャコガネ等	4.101
			8 目 22 科 23 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、セジロウンカ、ハコネキジラミ、ヒゲナガカワトビケラ、クロホソカ、ホンドホソアカクチキムシ、コブヒゲボソゾウムシ等	0.947
秋季			12 目 45 科 67 種	ワカバグモ、フタバコカゲロウ、サホコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、Ｆコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ、ツノゼミ、ハコネマルツノゼミ、[redacted]、ヤマナカナガレトビケラ、クロツツトビケラ、クロバアミカ、クロホソカ、クロスジツヤムネハネカクシ、クロオオアリ等	2.664
			12 目 31 科 36 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ、ニッコウアミメカワゲラ、キタササキリモドキ、クロスジホソアワフキ、テングアワフキ、シロズオオヨコバイ、ミヤマツノカメムシ、ズグロマツカスミカメ、イノプスヤマトビケラ等	0.481
冬季			6 目 21 科 34 種	オオクママダラカゲロウ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、オオアミメカアワゲラ、ヒロバネアミメカワゲラ、シロズシマトビケラ、ウルマーシマトビケラ、クレメンスナガレトビケラ、ニンギョウトビケラ、クロバアミカ等	3.994
			5 目 15 科 22 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、オオアミメカワゲラ、ウルマーシマトビケラ、クレメンスナガレトビケラ、クロバアミカ等	0.566

表 693　イワナの胃の内容物 確認種一覧：[redacted]

[redacted]（2024 年度 2/2）

調査時期	体長区分	捕獲個体数	胃の内容物の確認種数	胃の内容物の主な確認種	胃の内容物の湿重量（g）
計	希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開	15 目 75 科 124 種	ワカバグモ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、フタバカゲロウ、サホコカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ、Ｆコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、オオクママダラカゲロウ、オオアミメカアワゲラ、ヒロバネアミメカワゲラ、スルガコガネヒシバッタ、ツノゼミ、ハコネマルツノゼミ、クロフアワフキ、ヒメツノカメムシ、ウルマーシマトビケラ、イノプスヤマトビケラ、[redacted]、ヤマナカナガレトビケラ、クロツツトビケラ、シロズシマトビケラ、クレメンスナガレトビケラ、ニンギョウトビケラ、クロバアミカ、ヒメナミアミカ、ハナレメナミアミカ、クロホソカ、ミヤマヒラタハムシ、ナガコメツキダマシ、ナガチャコガネ、クロスジツヤムネハネカクシ、アシナガアリ、ムネアカオオアリ、クロオオアリ等	14.199
			16 目 59 科 84 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ、オオアミメカワゲラ、ニッコウアミメカワゲラ、ヒメツノカメムシ、タケウチトゲアワフキ、キタササキリモドキ、クロスジホソアワフキ、テングアワフキ、シロズオオヨコバイ、ミヤマツノカメムシ、ズグロマツカスミカメ、オトシブミ、ウルマーシマトビケラ、ヒゲナガカワトビケラ、イノプスヤマトビケラ、クレメンスナガレトビケラ、セジロウンカ、ハコネキジラミ、クロバアミカ、クロホソカ、ホンドホソアカクチキムシ、コブヒゲボソゾウムシ、アシナガアリ等	4.319

注：捕獲個体数、確認種数等は、各調査地点での調査結果を合計したものを記載している。

表 694　サツキマス（アマゴ）の胃の内容物 確認種一覧：[redacted]（2024 年度）

調査時期	体長区分	捕獲個体数	胃の内容物の確認種数	胃の内容物の主な確認種	胃の内容物の湿重量（g）
春季	希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開	8 目 17 科 18 種	フタバコカゲロウ、ウルマーシマトビケラ、ヤナギハムシ等	0.544
			9 目 17 科 20 種	シロハラコカゲロウ、フタバコカゲロウ、シロトラカミキリ等	0.260
夏季			7 目 16 科 22 種	シロハラコカゲロウ、フタバコカゲロウ、サホコカゲロウ、セジロウンカ、オビマルツノゼミ、ヒメツノカメムシ、クリイロジョウカイ等	0.891
			－	－	－
秋季			9 目 17 科 19 種	シロハラコカゲロウ、フタバコカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ等	0.193
			－	－	－
冬季			7 目 13 科 13 種	シロハラコカゲロウ、ウルマーシマトビケラ、ヒゲナガカワトビケラ等	0.264
			7 目 14 科 14 種	シロハラコカゲロウ等	0.036
計			11 目 37 科 48 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、サホコカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ、ウルマーシマトビケラ、ヒゲナガカワトビケラ、セジロウンカ、オビマルツノゼミ、ヒメツノカメムシ、クリイロジョウカイ、ヤナギハムシ等	1.892
			10 目 27 科 31 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、シロトラカミキリ等	0.296

注：捕獲個体数、確認種数等は、各調査地点での調査結果を合計したものを記載している。

表 695　ウグイの胃の内容物 確認種一覧：[redacted]（2024 年度）

調査時期	体長区分	捕獲個体数	胃の内容物の確認種数	胃の内容物の主な確認種	胃の内容物の湿重量（g）
春季	希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開	－	－	－
			－	－	－
夏季			－	－	－
			－	－	－
秋季			３目３科４種	サホコカゲロウ等	0.011
			－	－	－
冬季			－	－	－
			－	－	－
計			３目３科４種	サホコカゲロウ等	0.011
			－	－	－

4.7.2. 餌資源等（流下昆虫、落下昆虫）（2024 年度）

調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種一覧を、表 696～表 703 に示します。重要種は確認されませんでした。

調査地域、調査時期別の落下昆虫（任意採集）確認種一覧を、表 704～表 709 に示します。重要種は確認されませんでした。

4.7.2.1.流下昆虫（任意採集）確認種一覧

表 696　調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2024 年度秋季）

目名	科名	種名	学名	調査地域							
				沢 33 北俣・中俣合流部付近							
				秋季							
				左岸				右岸			
				午前		午後		午前		午後	
				個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*							1	0.004
	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	+			1	+		
		シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	11	0.008	1	+	3	0.002	5	0.008
		F コカゲロウ	*Baetis* sp. F	1	0.004						
	ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	1	+			1	+	1	+
		Epeorus 属	*Epeorus* sp.	1	+	2	+				
カワゲラ目(セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.					1	0.001		
	オナシカワゲラ科	Indonemoura 属	*Indonemoura* sp.							1	0.002
		Nemoura 属	*Nemoura* sp.							1	0.002
		Protonemura 属	*Protonemura* sp.	6	+	4	0.002	2	+	1	0.002
	シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	1	+			1	+		
	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.					1	0.002		
	アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.					1	+		
バッタ目(直翅目)	キリギリス科	キリギリス科	Tettigoniidae sp.			1	0.148				
カメムシ目(半翅目)	ツノゼミ科	ツノゼミ	*Butragulus flavipes*			1	0.023				
	アワフキムシ科	Peuceptyelus 属	*Peuceptyelus* sp.			2	0.021				
	ヨコバイ科	Drabescus 属	*Drabescus* sp.	1	0.022						
	アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	13	0.009	2	+	2	+	3	+
トビケラ目(毛翅目)	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)					1	0.007		
		Rhyacophila 属 RC	*Rhyacophila* sp. RC			3	0.001	3	0.002		
	カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.					1	0.002		
ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.	1	+						
	アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*	1	0.011			1	0.022		
		ヒメナミアミカ(成虫)	*Blepharicera japonica*	1	0.012	2	0.022				
		ハナレメナミアミカ	*Blepharicera shirakii*							1	0.014
	ユスリカ科	Boreoheptagyia 属	*Boreoheptagyia* sp.	2	+					2	+
		Brillia 属	*Brillia* sp.			1	+				
		Diamesa 属	*Diamesa* sp.					1	+		
		Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	8	+	3	+			6	+
		Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.	1	+						
		ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.	12	0.002	3	+				
	ホソカ科	クロホソカ	*Dixa yamatona*	1	+					2	+
	ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	18	0.031	21	0.037	12	0.021	22	0.039
	クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	1	+	3	+				
	ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.	1	+						
コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ヒメシギゾウムシ	*Curculio hime*			1	0.005				
ハチ目(膜翅目)	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.	2	0.004						
	アリ科	アリ科	Formicidae sp.	1	0.003	1	+				
	シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	Proctotrupidae sp.	5	+	2	+			2	+
計			種数	5 目 16 科 22 種		8 目 15 科 16 種		5 目 13 科 15 種		5 目 10 科 13 種	
			個体数	91		53		32		48	
			湿重量(g)	0.106		0.259		0.059		0.071	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。

注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。

注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 697　調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度春季）

目名	科名	種名	学名	調査地域 河 02 西俣(放流箇所下流) 春季							
				左岸				右岸			
				午前		午後		午前		午後	
				個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	Drunella 属	*Drunella* sp.			1	+				
	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	+						
		シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	3	0.003	3	0.003	2	0.003	2	0.007
	ヒラタカゲロウ科	Epeorus 属	*Epeorus* sp.	6	0.002	8	0.003	3	0.001	3	0.001
		Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	2	+	1	+			1	+
カワゲラ目(セキ翅目)	ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.	3	0.007			4	0.003	2	0.04
		ホソカワゲラ科(成虫)	Leuctridae sp.			1	+	1	0.002		
	オナシカワゲラ科	Nemoura 属	*Nemoura* sp.							1	+
		Protonemura 属	*Protonemura* sp.	5	0.001					2	+
カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	シロズヒメヨコバイ	*Aguriahana triangularis*	1	+	1	+				
	キジラミ科	Psylla 属	*Psylla* sp.	3	0.003	3	0.003	2	0.002		
	アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	10	0.008	4	0.003	7	0.011	1	+
トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	Hydropsyche 属	*Hydropsyche* sp.							1	+
	ヤマトビケラ科	イノブスヤマトビケラ(成虫)	*Glossosoma ussuricum*							1	0.004
	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)			1	0.001				
		Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila* sp. (Retracta group)	1	+						
	カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.	2	+						
ハエ目(双翅目)	アミカ科	Agathon 属	*Agathon* sp.	1	0.002					1	0.001
	ユスリカ科	Boreoheptagyia 属	*Boreoheptagyia* sp.	2	+			1	+		
		Diamesa 属	*Diamesa* sp.	1	+	3	+	2	+	2	+
		Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	2	+			3	+		
		Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.	1	+	1	+				
		Tvetenia 属	*Tvetenia* sp.	1	+						
		ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.	21	0.005	6	+	14	0.005		
	ツヤホソバエ科	ナミヒトテンツヤホソバエ	*Sepsis latiforceps*					1	+		
	イエバエ科	Phaonia 属	*Phaonia* sp.					1	0.036		
	アタマアブ科	Pipunculus 属	*Pipunculus* sp.					1	0.005		
	シマバエ科	Minettia 属	*Minettia* sp.	1	+						
コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	Eusphalerum 属	*Eusphalerum* sp.	1	+						
	コガネムシ科	クロオビマグソコガネ	*Aphodius unifasciatus*							1	0.008
	テントウムシ科	ナミテントウ	*Harmonia axyridis*	1	0.036						
	ハムシ科	ツブノミハムシ	*Aphthona perminuta*	3	0.003	1	+	4	0.003		
		ミヤマヒラタハムシ	*Gastrolina peltoidea*	1	0.017						
	オトシブミ科	Deporaus 属	*Deporaus* sp.			1	+				
ハチ目(膜翅目)	アリ科	Myrmica 属	*Myrmica* sp.			1	+				
	コハナバチ科	Lasioglossum 属	*Lasioglossum* sp.							1	0.008
	コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.							1	+
	ハエヤドリクロバチ科	ハエヤドリクロバチ科	Diapriidae sp.							1	+
計			種数	6 目 15 科 22 種		7 目 12 科 14 種		5 目 10 科 12 種		7 目 13 科 15 種	
			個体数	73		36		46		21	
			湿重量(g)	0.087		0.013		0.071		0.069	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 698　調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度夏季）

目名	科名	種名	学名	調査地域							
				河 02 西俣(放流箇所下流)							
				夏季							
				左岸				右岸			
				午前		午後		午前		午後	
				個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
クモ目	カニグモ科	コハナグモ	*Diaea subdola*							1	0.011
カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	+	1	+				
		フタモンコカゲロウ	*Baetis taiwanensis*					1	0.002		
		シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*			3	0.005	2	0.002	2	0.002
		コカゲロウ科(成虫)	Baetidae sp.							1	0.005
	ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.			1	0.004				
		Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.					1	0.002	2	0.004
カワゲラ目(セキ翅目)	ホソカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.			1	0.002				
	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.			1	+				
		ミドリカワゲラ科(成虫)	Chloroperlidae sp.	1	0.003						
バッタ目(直翅目)	イナゴ科	ハネナガフキバッタ	*Ognevia longipennis*			1	0.316				
カメムシ目(半翅目)	アメンボ科	ヒメアメンボ	*Gerris latiabdominis*			1	0.016				
トビケラ目(毛翅目)	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.			1	+				
ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.	1	+	1	+				
		ヒメガガンボ科	Limoniidae sp.	1	+						
	アミカ科	ミヤマフタマタアミカ(成虫)	*Philorus alpinus*							1	0.004
	ホソカ科	クロホソカ	*Dixa yamatona*							1	+
	ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	1	+	1	+	8	0.002	4	+
	ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.							1	0.032
コウチュウ目(鞘翅目)	アリモドキ科	ツヤチビホソアリモドキ	*Anthicus laevipennis*							1	+
	ゴミムシダマシ科	ホンドホソアカクチキムシ	*Allecula tenuis*					1	0.006		
	カミキリムシ科	ニンフホソハナカミキリ	*Parastrangalis nymphula*					1	0.033		
	ハムシ科	ヒゲナガウスバハムシ	*Stenoluperus nipponensis*					1	+		
ハチ目(膜翅目)	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.					1	+		
	アリ科	アリ科	Formicidae sp.	6	0.011			7	0.013		
	ギングチバチ科	Crossocerus 属	*Crossocerus* sp.					1	0.001		
	ハエヤドリクロバチ科	ハエヤドリクロバチ科	Diapriidae sp.			1	+				
	タマゴクロバチ科	タマゴクロバチ科	Scelionidae sp.			1	+				
計			種数	4 目 5 科 5 種		7 目 11 科 12 種		4 目 9 科 10 種		4 目 8 科 8 種	
			個体数	11		14		24		14	
			湿重量(g)	0.014		0.343		0.061		0.058	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 699　調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度秋季）

目名	科名	種名	学名	調査地域							
				河 02 西俣(放流箇所下流)							
				秋季							
				左岸				右岸			
				午前		午後		午前		午後	
				個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
クモ目	カニグモ科	コハナグモ	*Diaea subdola*					1	0.035		
カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*					2	+		
		シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*			1	+				
	ヒラタカゲロウ科	Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	1	+			1	+		
カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.			2	+			1	+
カメムシ目(半翅目)	アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	3	+			7	+	13	0.006
トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	Hydropsyche 属	*Hydropsyche* sp.			1	+	1	+		
ハエ目(双翅目)	アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*			1	0.024				
	ユスリカ科	Boreoheptagyia 属	*Boreoheptagyia* sp.			1	+				
		Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.			1	+			3	+
		Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.	1	+	2	+			1	+
		ユスリカ科	Chironomidae sp.					10	0.004		
		ユスリカ科(成虫)	Chironomidae sp.	7	0.003	5	+			3	0.002
	ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.			1	0.001	2	0.011	1	+
		ブユ科(成虫)	Simuliidae sp.							3	0.005
	ケバエ科	Bibio 属	*Bibio* sp.					1	0.007		
	クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	2	0.001	2	+				
コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ヨツメツヤシデムシモドキ	*Camioleum loripes*							1	+
ハチ目(膜翅目)	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.	1	0.006					1	0.003
計			種数	4 目 5 科 5 種		4 目 7 科 9 種		5 目 8 科 8 種		5 目 6 科 7 種	
			個体数	15		17		25		27	
			湿重量(g)	0.01		0.025		0.057		0.016	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 700　調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度冬季）

目名	科名	種名	学名	調査地域							
				河 02 西俣(放流箇所下流)							
				冬季							
				左岸				右岸			
				午前		午後		午前		午後	
				個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	0.001	2	0.001	2	+	5	0.001
		シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	6	0.003	7	0.003	6	0.007	12	0.008
	ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.			1	0.001	1	0.001	2	0.004
		Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.							3	+
カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.	1	+	2	+			7	0.003
	シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.			7	0.002	4	0.002	5	0.003
カメムシ目(半翅目)	キジラミ科	Psylla 属	*Psylla* sp.							1	+
トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	Hydropsyche 属	*Hydropsyche* sp.	1	0.003						
	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 RC	*Rhyacophila* sp. RC					1	+		
		Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)					1	+		
ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.			1	+				
	ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.	1	0.001						
		Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.					1	+		
		Pagastia 属	*Pagastia* sp.	2	0.003	1	+	1	+		
	ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.			1	+			3	+
計			種数	4 目 5 科 7 種		3 目 7 科 8 種		4 目 5 科 8 種		4 目 6 科 8 種	
			個体数	12		22		17		38	
			湿重量(g)	0.011		0.007		0.01		0.019	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 701　調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度夏季）

目名	科名	種名	学名	調査地域							
				河 10-3 椹島(放流箇所下流②) 夏季							
				左岸				右岸			
				午前		午後		午前		午後	
				個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
クモ目	ヒメグモ科	ギボシヒメグモ	*Chikunia albipes*							1	+
	カニグモ科	ワカバグモ	*Oxytate striatipes*							1	0.038
		チクニエビスグモ	*Synaema chikunii*							1	0.003
カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*					2	0.002	1	0.003
		シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	3	0.005			1	+		
	ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.							1	+
		Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	2	0.014			1	0.002		
カワゲラ目(セキ翅目)	ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科(成虫)	Leuctridae sp.					1	0.001	1	0.001
	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	12	0.009	4	0.005	3	0.003	2	0.002
		ミドリカワゲラ科(成虫)	Chloroperlidae sp.							1	0.004
カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	Lygocorides 属	*Lygocorides* sp.			1	0.005				
	カメムシ科	カメムシ科	Pentatomidae sp.					1	0.018	1	0.019
	キンカメムシ科	アカスジキンカメムシ	*Poecilocoris lewisi*			1	0.451				
アザミウマ目(総翅目)	クダアザミウマ科	クダアザミウマ科	Phlaeothripidae sp.			1	+				
ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	ヒメガガンボ科	Limoniidae sp.							1	+
	アミカ科	アミカ科	Blephariceridae sp.					5	0.003		
	ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa* sp.	1	+	1	0.002				
		Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+						
		ユスリカ科	Chironomidae sp.							1	+
	ホソカ科	クロホソカ	*Dixa yamatona*							1	0.001
	ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	1	+	1	+				
	ケバエ科	Dilophus 属	*Dilophus* sp.							1	+
	クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.			1	+			1	+
	オドリバエ科	Hilara 属	*Hilara* sp.	1	0.003			3	0.005	10	0.005
		Rhamphomyia 属	*Rhamphomyia* sp.							1	+
		Syndyas 属	*Syndyas* sp.							1	+
	キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.							2	0.003
	フンコバエ科	フンコバエ科	Sphaeroceridae sp.							1	+
コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	コハラアカモリヒラタゴミムシ	*Colpodes lampros*							1	0.016
	マルハナノミ科	Contacyphon 属	*Contacyphon* sp.							1	+
	タマムシ科	Agrilus 属	*Agrilus* sp.							1	0.003
	ナガハナノミダマシ科	ニホンナガハナノミダマシ	*Eurypogon japonicus*							1	0.007
	ホソクシヒゲムシ科	ムネアカクシヒゲムシ	*Horatocera niponica*					1	0.038		
	コメツキムシ科	Ectinus 属	*Ectinus* sp.					1	0.029		
		クロオオヒラタコメツキ	*Paraphotistus niger*					1	0.245		
		Silesis 属	*Silesis* sp.							1	0.003
	コメツキダマシ科	Rhacopus 属	*Rhacopus* sp.							1	0.006
	ジョウカイボン科	フタイロチビジョウカイ	*Malthinellus bicolor*							1	0.001
	ナガクチキムシ科	Symphora 属	*Symphora* sp.							1	0.001
	オトシブミ科	ルリイクビチョッキリ	*Deporaus mannerheimi*					1	0.009		
	ゾウムシ科	Lepidepistomodes 属	*Lepidepistomodes* sp.							1	0.001
		ゾウムシ科	Curculionidae sp.							1	0.011
ハチ目(膜翅目)	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.					1	0.007	1	0.003
	カマバチ科	Aphelopus 属	*Aphelopus* sp.							1	0.002
	アリ科	ムネアカオオアリ	*Camponotus obscuripes*					1	0.041		
		Myrmica 属	*Myrmica* sp.			1	0.002				
		アリ科	Formicidae sp.	4	0.008	1	0.002	64	0.201	8	0.024
	コマユバチ科	Chelonus 属	*Chelonus* sp.							1	+
		コマユバチ科	Braconidae sp.							1	0.001
	ハエヤドリクロバチ科	ハエヤドリクロバチ科	Diapriidae sp.							1	+
計			種数	4 目 7 科 8 種		5 目 8 科 8 種		6 目 12 科 14 種		7 目 29 科 32 種	
			個体数	25		12		87		53	
			湿重量(g)	0.039		0.467		0.604		0.158	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。

注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。

注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 702　調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度秋季）

目名	科名	種名	学名	調査地域							
				河 10-3 椹島（放流箇所下流②）							
				秋季							
				左岸				右岸			
				午前		午後		午前		午後	
				個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
カゲロウ目（蜉蝣目）	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*					1	0.003		
		シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	0.002						
		Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	1	+	1	+	3	0.009		
カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.					1	0.001		
カメムシ目（半翅目）	クヌギカメムシ科	サジクヌギカメムシ	*Urostylis striicornis*							1	0.046
	キジラミ科	ハンノキジラミ	*Psylla alni*							1	0.003
	アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.			2	+	4	+	6	+
トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	Hydropsyche 属	*Hydropsyche* sp.	2	0.001	2	0.001				
	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属	*Rhyacophila* sp.					1	+		
	コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.			1	+				
ハエ目（双翅目）	ヒメガガンボ科	ヒメガガンボ科	Limoniidae sp.							1	+
	アミカ科	アミカ科(成虫)	Blephariceridae sp.			1	0.002			2	+
	ユスリカ科	Boreoheptagyia 属	*Boreoheptagyia* sp.							1	+
	ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.			4	0.011	3	0.011	3	0.008
	クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.			6	0.005	8	0.002	17	0.004
	キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.							1	+
コウチュウ目（鞘翅目）	ハムシ科	ルリハムシ	*Plagiosterna aenea*							1	0.033
ハチ目（膜翅目）	スズメバチ科	シダクロスズメバチ	*Vespula shidai*							1	0.111
	コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.							3	0.002
	ヒゲナガクロバチ科	ヒゲナガクロバチ科	Ceraphronidae sp.							2	+
	シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	Proctotrupidae sp.	1	+	1	+			1	+
	トビコバチ科	トビコバチ科	Encyrtidae sp.							1	+
計			種数	3 目 4 科 4 種		5 目 8 科 8 種		5 目 7 科 7 種		4 目 15 科 15 種	
			個体数	5		18		21		42	
			湿重量(g)	0.003		0.019		0.026		0.207	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 703　調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度冬季）

目名	科名	種名	学名	調査地域							
				河 10-3 椹島（放流箇所下流②）							
				冬季							
				左岸				右岸			
				午前		午後		午前		午後	
				個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
カゲロウ目（蜉蝣目）		シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	9	0.009	6	0.003	7	0.005	8	0.001
	ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	1	0.001						
		Epeorus 属	*Epeorus* sp.	1	+					1	0.001
		Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	1	+	2	0.003	5	0.006	12	0.006
カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.					1	+	6	0.001
	シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.			1	+				
	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	1	0.003			1	+		
	アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.							1	0.003
カメムシ目（半翅目）	アワフキムシ科	Aphilaenus 属	*Aphilaenus* sp.							1	0.014
トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	Hydropsyche 属	*Hydropsyche* sp.	1	+						
	クダトビケラ科	Psychomyia 属	*Psychomyia* sp.							2	0.001
	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.			1	0.004	1	0.004	1	+
	ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)	1	+						
	コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.	1	+	3	0.002				
ハエ目（双翅目）	ヒメガガンボ科	Antocha 属	*Antocha* sp.			1	+				
ハチ目（膜翅目）	トビコバチ科	トビコバチ科	Encyrtidae sp.							1	+
計			種数	3 目 6 科 8 種		4 目 6 科 6 種		3 目 5 科 5 種		5 目 8 科 9 種	
			個体数	16		14		15		33	
			湿重量(g)	0.013		0.012		0.015		0.027	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

4.7.2.2.落下昆虫（任意採集）確認種一覧

表 704　調査地域、調査時期別の落下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2024 年度秋季）

目名	科名	種名	学名	調査地域							
				沢 33 北俣・中俣合流部付近							
				秋季							
				①		②		③		④	
				個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
カメムシ目(半翅目)	アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	2	+	1	+				
ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	ユスリカ科	Chironomidae sp.	3	+	1	+			1	+
	ホソカ科	Dixa 属	*Dixa* sp.	1	+						
	イエバエ科	Limnophora 属	*Limnophora* sp.			2	0.008			1	0.005
	クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.			1	+	3	+		
	キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.	1	+	1	+	1	+		
			種数	2 目 6 科 6 種							
		計	個体数	7		6		4		2	
			湿重量(g)	+		0.008		+		0.005	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 705　調査地域、調査時期別の落下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度春季）

目名	科名	種名	学名	調査地域							
				河 02 西俣（放流箇所下流）							
				春季							
				①		②		③		④	
				個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
チョウ目(鱗翅目)	－	チョウ目(鱗翅目)	LEPIDOPTERA sp.			1	0.025				
ハエ目(双翅目)	ヌカカ科	ヌカカ科	Ceratopogonidae sp.					1	+		
	ユスリカ科	ユスリカ科	Chironomidae sp.	4	+	1	+	1	+	2	+
	キモグリバエ科	キモグリバエ科	Chloropidae sp.							1	+
	ハナバエ科	ハナバエ科	Anthomyiidae sp.			1	+				
	ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.			1	0.071				
ハチ目(膜翅目)	ヒメコバチ科	ヒメコバチ科	Eulophidae sp.	1	+						
			種数	3 目 7 科 7 種							
		計	個体数	5		4		2		3	
			湿重量(g)	+		0.096		+		+	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 706　調査地域、調査時期別の落下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度夏季）

目名	科名	種名	学名	調査地域							
				河 02 西俣（放流箇所下流）							
				夏季							
				①		②		③		④	
				個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	ヨコバイ科	Cicadellidae sp.							1	+
ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	ユスリカ科	Chironomidae sp.			1	+	1	+		
	オドリバエ科	Hybos 属	*Hybos* sp.	1	+						
	ミギワバエ科	ミギワバエ科	Ephydridae sp.	1	+						
	イエバエ科	Brontaea 属	*Brontaea* sp.	1	0.013	1	+				
	－	ハエ目(双翅目)	DIPTERA sp.					2	+		
			種数	2 目 6 科 5 種							
		計	個体数	3		2		3		1	
			湿重量(g)	0.013		+		+		+	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 707　調査地域、調査時期別の落下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度秋季）

目名	科名	種名	学名	調査地域 河 02 西俣（放流箇所下流） 秋季							
				①		②		③		④	
				個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
クモ目	サラグモ科	サラグモ科	Linyphiidae sp.					1	+		
カメムシ目(半翅目)	アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.					1	+	2	+
アミメカゲロウ目(脈翅目)	ヒメカゲロウ科	ヒメカゲロウ科	Hemerobiidae sp.			1	+				
ハエ目(双翅目)	ヌカカ科	ヌカカ科	Ceratopogonidae sp.							3	+
	ユスリカ科	ユスリカ科	Chironomidae sp.			1	+	9	+	1	+
	ハナアブ科	Melangyna 属	*Melangyna* sp.			1	0.024	4	0.097		
	イエバエ科	Limnophora 属	*Limnophora* sp.			1	0.005	1	+		
	クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	1	+	2	+	2	+	2	+
	キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.	1	+			1	+		
	フンコバエ科	フンコバエ科	Sphaeroceridae sp.							1	+
ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	ハバチ科	Tenthredinidae sp.					1	0.032		
	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.					1	0.007		
	タマゴクロバチ科	タマゴクロバチ科	Scelionidae sp.			1	+				
計			種数	5 目 13 科 13 種							
			個体数	2		7		21		9	
			湿重量(g)	+		0.029		0.136		+	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 708　調査地域、調査時期別の落下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度夏季）

目名	科名	種名	学名	調査地域 河 10-3 椹島（放流箇所下流②） 夏季							
				①		②		③		④	
				個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
クモ目	エビグモ科	エビグモ科	Philodromidae sp.					1	+		
アミメカゲロウ目(脈翅目)	コナカゲロウ科	キバラコナカゲロウ	Coniopteryx abdominalis					1	+		
ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	ユスリカ科	Chironomidae sp.					1	+		
	アブ科	イヨシロオビアブ	Tabanus iyoensis					1	0.071		
	オドリバエ科	Hilara 属	*Hilara* sp.					2	+		
	ショウジョウバエ科	Drosophila 属	*Drosophila* sp.					1	+		
	キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.					1	+		
	ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.					1	+		
	ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.	1	0.028					1	0.008
ハチ目(膜翅目)	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.	1	+						
計			種数	4 目 10 科 10 種							
			個体数	2		0		9		1	
			湿重量(g)	0.028		0		0.071		0.008	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

表 709　調査地域、調査時期別の落下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度秋季）

目名	科名	種名	学名	調査地域							
				河 10-3 椹島（放流箇所下流②）							
				秋季							
				①		②		③		④	
				個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
クモ目	エビグモ科	エビグモ科	Philodromidae sp.								
アミメカゲロウ目(脈翅目)	コナカゲロウ科	キバラコナカゲロウ	Coniopteryx abdominalis								
ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	ヒメガガンボ科	Limoniidae sp.					1	+		
	ヌカカ科	ヌカカ科	Ceratopogonidae sp.					3	+		
	ユスリカ科	ユスリカ科	Chironomidae sp.	3	+	1	+	7	+	3	+
	アブ科	イヨシロオビアブ	Tabanus iyoensis								
	アシナガバエ科	アシナガバエ科	Dolichopodidae sp.					1	+		
	オドリバエ科	Hilara 属	*Hilara* sp.								
	ハナアブ科	Melangyna 属	*Melangyna* sp.	1	0.026	1	0.018	2	0.034		
		キイロナミホシヒラタアブ	Syrphus vitripennis			2	0.061	2	0.052		
	クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	1	+			1	+		
	ショウジョウバエ科	Drosophila 属	*Drosophila* sp.								
	キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.					1	+		
	ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.	1	+			1	+		
	ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.								
ハチ目(膜翅目)	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.								
			種数	1 目 8 科 9 種							
		計	個体数	6		4		19		3	
			湿重量(g)	0.026		0.079		0.086		+	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和６年度版生物リスト」（令和６年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。
注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示しており、湿重量には計上していない。

4.7.3. 生育環境（周辺植生）（2024 年度）

生育環境（周辺植生）について、調査時期、調査地域別の調査結果を、図 560～図 562、表 710～表 712 に示します。

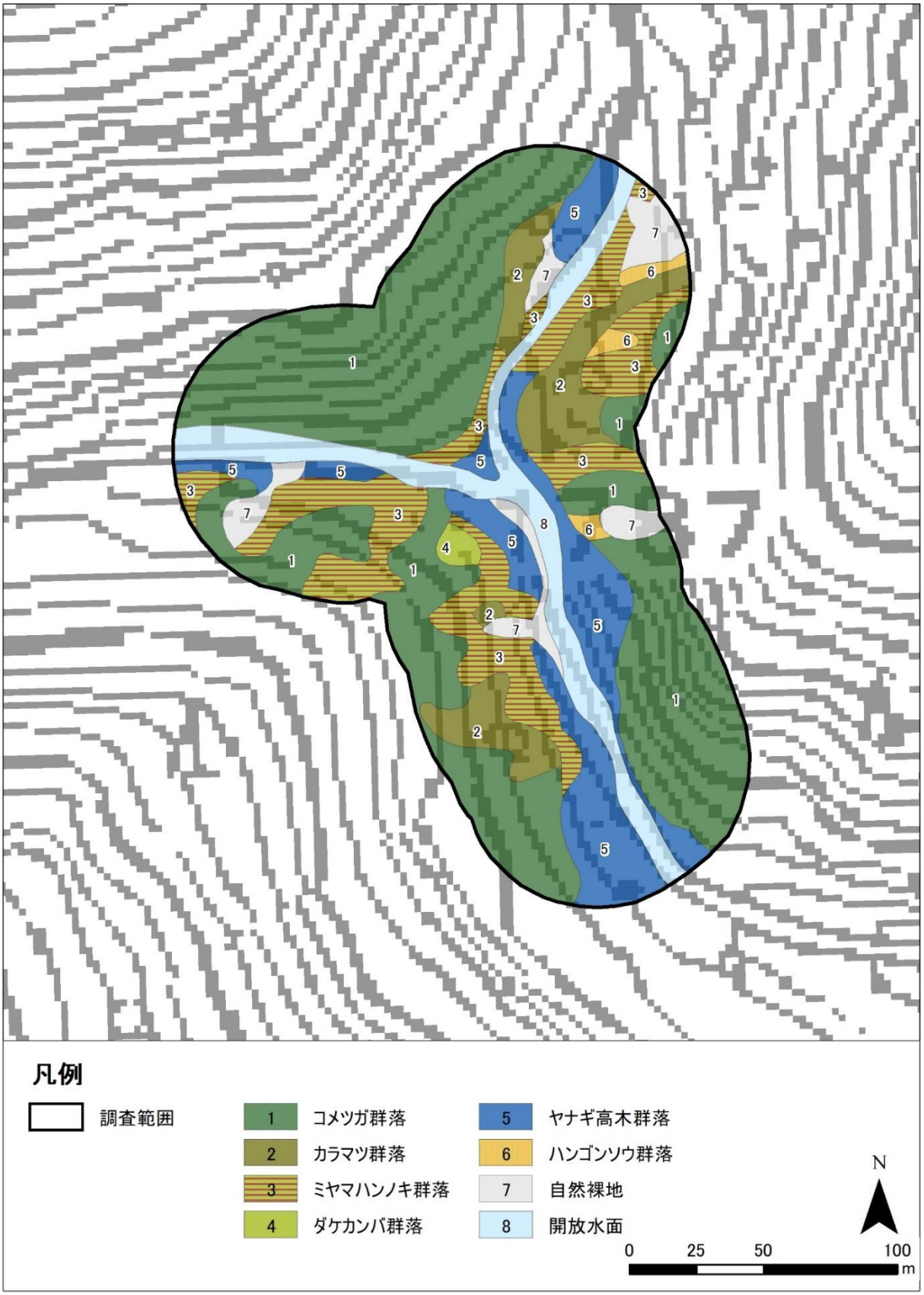


図 560　植生図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2024 年度秋季）

表 710(1)　植物群落の調査結果：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2024 年度秋季）

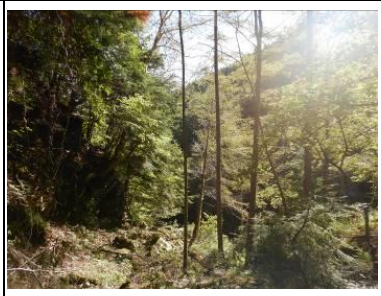
No.	群落名	現況写真	概要
1	コメツガ群落		コメツガが優占する群落である。高木層にはコメツガのほか、シラビソを交える。亜高木層にはコメツガ、ネコシデ及びウダイカンバが、低木層にはコメツガ、コミネカエデ、サラサドウダン等がそれぞれ生育する。草本層には、コメツガの稚樹や、ツルツゲ、コミネカエデ、コミヤマカタバミ等が生育する。
2	カラマツ群落		カラマツが優占する群落である。高木層には、カラマツ 1 種が生育する。亜高木層にはヤハズハンノキが、低木層には、ニシキウツギ及びコメツガが、それぞれ生育する。草本層には、キヌタソウ、コメツガ、ヨツバヒヨドリ、タカネコウボウ等が生育する。
3	ミヤマハンノキ群落		ミヤマハンノキが優占する群落である。 高木層には、ミヤマハンノキのほか、ヤハズハンノキが生育する。亜高木層を欠き、低木層にはダケカンバが、草本層には、キツリフネ、ヒメノガリヤス、キヌタソウ、センジョウアザミ、シラネセンキュウ等が生育する。
4	ダケカンバ群落		ダケカンバが優占する群落である。 高木層には、ダケカンバのほか、ミヤママタタビが生育する。亜高木層にはオガラバナ、ネコシデ、ヒロハカツラが、低木層にはコメツガ及びバイカウツギがそれぞれ生育する。草本層には、ミヤマワラビ及びイネ科 sp. がわずかに生育する。
5	ヤナギ高木群落		高木のヤナギ類が優占する群落である。 高木層には、トカチヤナギ（オオバヤナギ変種）、オノエヤナギ等のヤナギ類のほか、ヤハズハンノキ、カラマツが生育する。亜高木層にはヤハズハンノキ、ダケカンバ、カラマツ等が、低木層には、コメツガ、ダケカンバ、トカチヤナギ、ニシキウツギ等が、草本層には、コウシンヤマハッカ、コメツガ、シラネセンキュウ、ヒメノガリヤス、タカネコウボウ、ミヤマタニタデ等がそれぞれ生育する。

表 710(2)　植物群落の調査結果：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2024 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
6	ハンゴンソウ群落		草本のハンゴンソウが生育する群落である。 草本層には、ハンゴンソウのほか、コウシンヤマハッカ、センジョウアザミ、ヨツバヒヨドリ、ミヤマタニタデ等が生育する。
7	自然裸地		河原の砂礫地や急斜面地の崩壊地である。
8	開放水域		河川等の水面である。

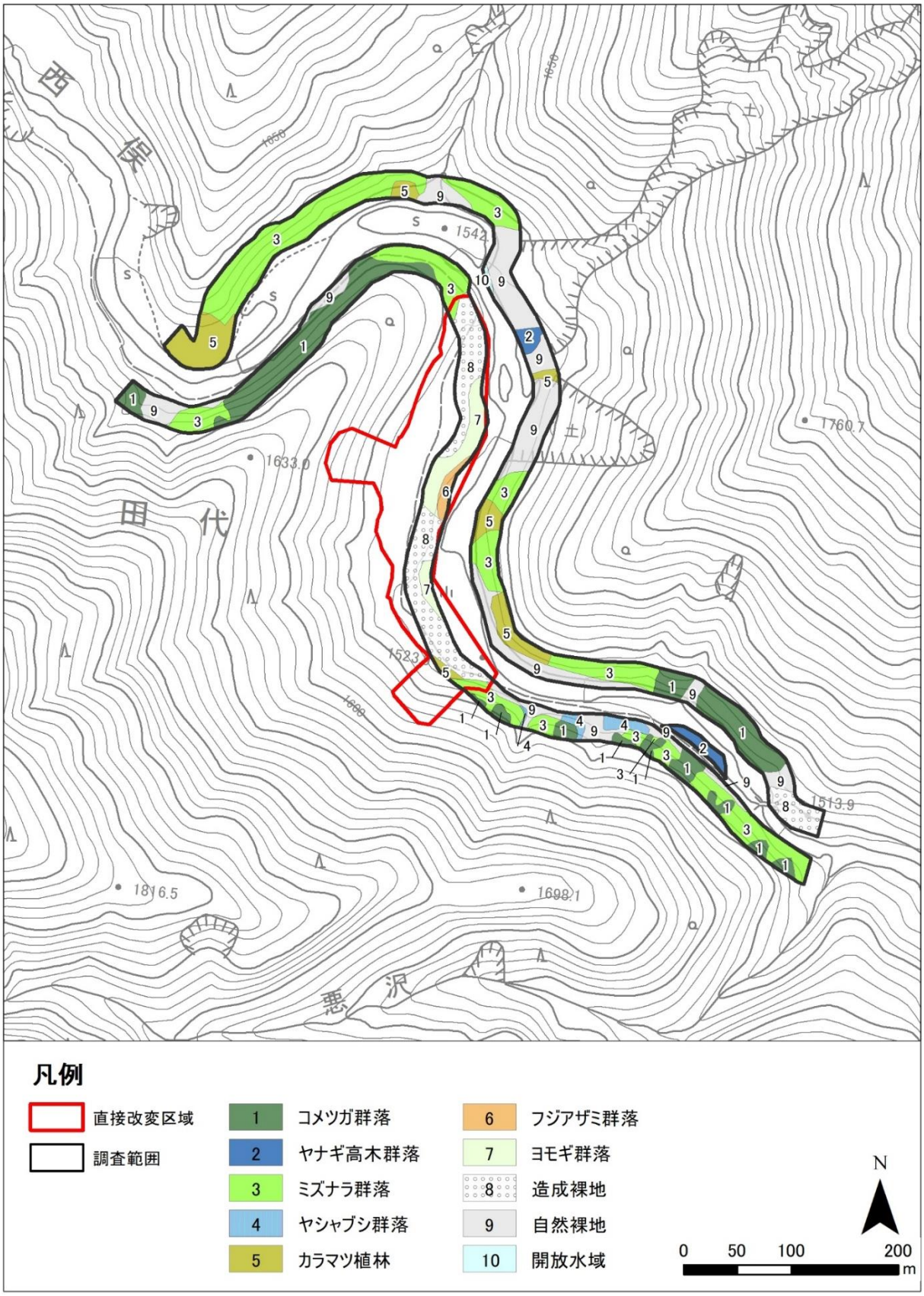


図 561　植生図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度秋季）

表 711(1)　植物群落の調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
1	コメツガ群落		コメツガが優占する群落である。 高木層には、コメツガのほか、ヒメコマツが生育する。亜高木層にはコメツガ、シナノキ等が、低木層にはトウゴクミツバツツジ、コメツガ、コアジサイ等がそれぞれ生育する。草本層には、コイワカガミ、イワデンダ、シロヨメナ等が生育する。本群落は急峻な地形上に成立しており、群落内の踏査は実施不可であるため、出来る範囲での目視確認により調査を行った。
2	ヤナギ高木群落		高木のヤナギ類が優占する群落である。 オノエヤナギ、オオバヤナギ等が優占する群落である。高木層には、オノエヤナギ等のヤナギ類のほか、ミヤマハンノキが生育する。低木層には、ヤハズハンノキやオノエヤナギが、草本層には、テンニンソウ、ヨモギ、ノコンギク等がそれぞれ生育する。
3	ミズナラ群落		ミズナラが優占する群落である。 高木層には、ミズナラのほか、クマシデが生育する。亜高木層には、ヤシャブシ、オオモミジ、ハウチワカエデ等が生育する。低木層は、コメツガ、サワシバ等が、草本層には、テンニンソウ、ヒメノガリヤス、イワデンダ等が生育する。
4	ヤシャブシ群落		ミヤマヤシャブシ（ヤシャブシ品種）が優占する低木群落である。 低木層には、ミヤマヤシャブシのみ生育する。草本層には、クマイチゴ、フジアザミ等の先駆的な草本類や、テンニンソウ、ヨツバヒヨドリ、ヒメノガリヤス、ミヤマワラビ等が生育する。
5	カラマツ植林		カラマツの植林地である。 高木層には、カラマツ 1 種が生育する。亜高木層には、ミズナラ、ウダイカンバ、エゾヤマザクラ等が生育する。低木層には、コメツガ、ハウチワカエデ、アオダモ、コミネカエデ等が、草本層には、コアジサイ、キヌタソウ、ヒメノガリヤス等が生育する。

表 711(2)　植物群落の調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
6	フジアザミ群落		草本のフジアザミが優占する群落である。 草本層には、フジアザミのほか、ヨモギ、ナギナタコウジュ、ノコンギク等が生育する。
7	ヨモギ群落		草本のヨモギが優占する群落である。 草本層には、ヨモギのほか、エノコログサ、カリヤスモドキ、ヤマハハコ等が生育する。
8	造成地		造成により生じた人工的な裸地である。
9	自然裸地		河原の砂礫地や急斜面地の崩壊地である。
10	開放水域		河川等の水面である。

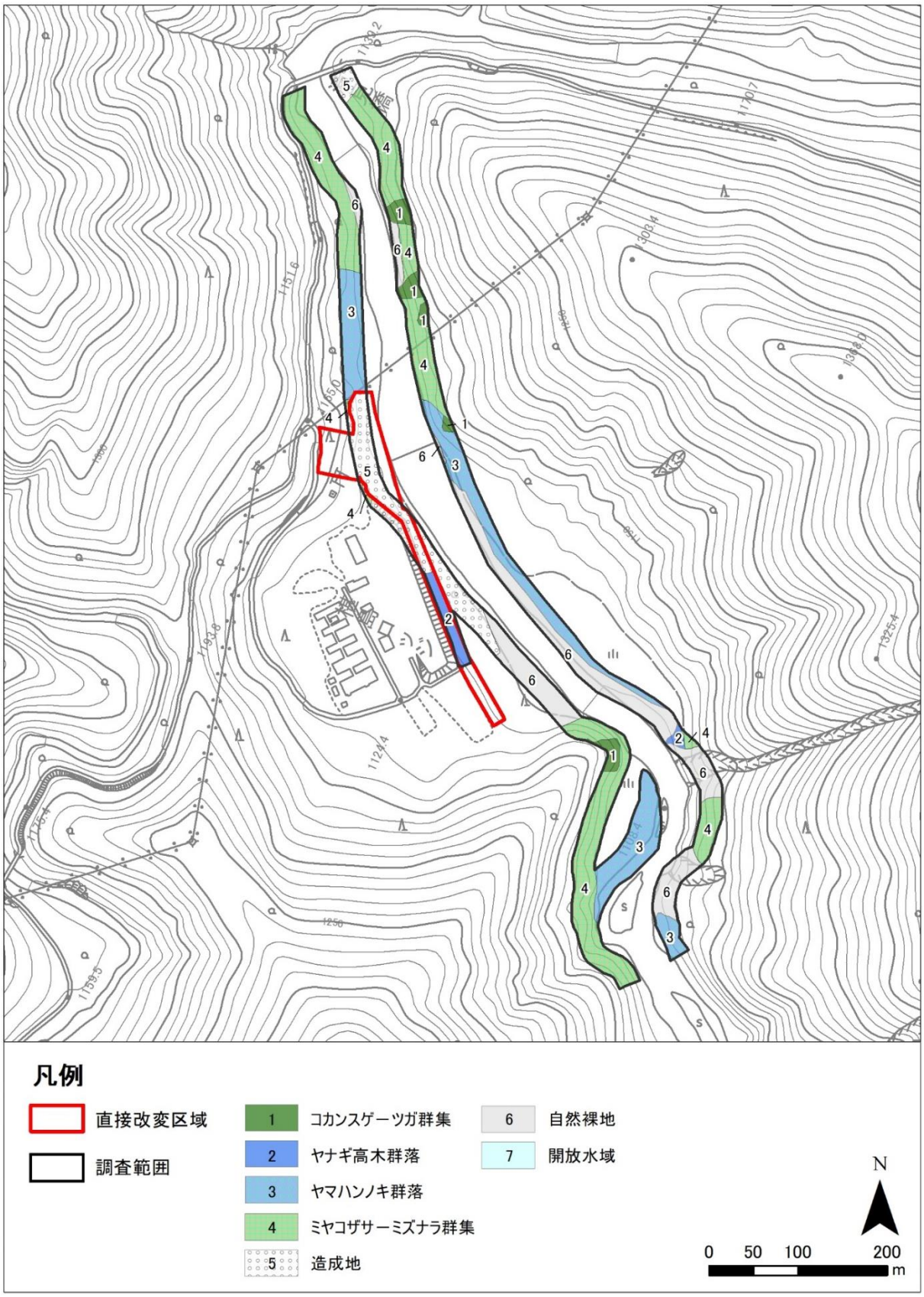


図 562　植生図：河 10-3 槌島（放流箇所下流②）（2024 年度秋季）

表 712(1)　植物群落の調査結果：河 10-3 槌島（放流箇所下流②）（2024 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
1	コカンスゲ－ツガ群集		ツガが優占する群落である。 高木層は、ツガが生育する。亜高木層は、ミズナラ、アカシデ、イタヤカエデ等の落葉広葉樹が生育する。 低木層には、ミツバツツジ、ツガ等が、草本層には、スゲ属 sp.や、イヌヨモギ、イワガラミ、ヒメノガリヤス等が生育する。 本群落は急峻な地形上に成立しており、群落内の踏査は実施不可であるため、出来る範囲での目視確認により調査を行った。
2	ヤナギ高木群落		高木のヤナギ類が優占する群落である。 高木層には、オノエヤナギ、ケヤマハンノキが生育する。亜高木層にはケヤマハンノキ、オノエヤナギ等が、低木層には、イヌシデが生育し、草本層には、イワニガナ、サワグルミ等が生育する。
3	ヤマハンノキ群落		ケヤマハンノキが優占する群落である。高木層は、ケヤマハンノキ、カズミザクラが生育する。亜高木層には、アサダ、クマシデ、ケヤキ等が、低木層には、アラゲアオダモ、ダンコウバイ、アサダ等がそれぞれ生育する。草本層には、クサコアカソ、イワガラミ、テンニンソウ、ウツギ等が生育する。
4	ミヤコザサ-ミズナラ群集		ミズナラが優占する群落である。 高木層には、ミズナラのほか、ミズメが生育する。亜高木層には、ヤシャブシ、アカシデ、ミズメ等が生育する。低木層は、コアジサイ、イタヤカエデ、ムラサキシキブ等が、草本層には、テンニンソウ、クサコアカソ、タマアジサイ等がそれぞれ生育する。
5	造成地		造成により生じた人工的な裸地である。

表 712(2)　植物群落の調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
6	自然裸地		河原の砂礫地や急斜面地の崩壊地である。
7	開放水域		河川等の水面である。

4.7.4. イワナ類を中心とした食物連鎖図（2024 年度）

イワナ類の胃の内容物調査、流下昆虫、落下昆虫調査及び植物群落調査結果をもとに、イワナ類を中心とした食物連鎖図を作成しました。図 563～図 579 に示します。

イワナ類と各生物種を結ぶ線は、胃の内容物の調査で確認された生物種であることを示します。また、各線の色はそれぞれ以下の指標に対応します。

黒色：Manly の餌選択係数

赤色：各生物種の餌重要度指数の全体に対する割合

各指標の計算方法及び考え方を下表に示します。各線の太さは、各指標の算出値の大きさを相対的に示したものです。ただし、線の太さについて各指標間における関係性はありません。

項目	計算方法	考え方
Ｍａｎｌｙの餌選択係数α	$\boldsymbol{\alpha = (r_i/p_i) \diagup \sum (r_i/p_i)}$ r_i：胃の内容物中の湿重量比 p_i：流下昆虫、落下昆虫の湿重量比	環境中に存在する餌資源量の比率（流下昆虫、落下昆虫の湿重量比）と、実際にその餌資源を利用した比率（胃の内容物中の湿重量比）をもとに、餌資源に対する選択性を表現
餌重要度指数ＩＲＩ	$\boldsymbol{IRI = (\%N/\%W) \times \%F}$ $\%N$：胃の内容物中の個体数比 $\%W$：胃の内容物中の湿重量比 $\%F$：ある餌資源を捕食していたイワナの数/全イワナの数	胃内容物として出現した類別の餌資源について、その個体数比と湿重量比から、相対的な重要度を表現

・図中の各生物種に付随する円（●）の大きさは、流下昆虫調査（沢 33 北俣・中俣合流部付近の秋季調査分については底生動物の定量調査）で確認された各生物種の湿重量の違いを相対的に示したものです。なお、「⊕」は湿重量が 0.001g 未満であることを示します。

・また、図中の各生物種に付随する四角（■）の大きさは、落下昆虫調査で確認された各生物種の重量の違いを相対的に示したものです。なお、「田」は重量が 0.001g 未満であることを示しており、「⊠」は胃の内容物調査で確認されたものの、落下昆虫の調査で確認されなかったことを示します。

・魚類等の冬季調査は主要な地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で実施することとしていることから、沢 33 北俣・中俣合流部）の冬季調査の食物連鎖図は作成していません。



図 563　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2024 年度春季（体長 10cm 以上 20cm 未満））



図 564　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2024 年度春季（体長 20cm 以上））



図 565　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2024 年度秋季（体長 10cm 以上 20cm 未満））



図 566　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2024 年度秋季（体長 20cm 以上））



図 567　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度春季（体長 10cm 以上 20cm 未満））



図 568　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度春季（体長 20cm 以上））



図 569　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度夏季（体長 10cm 以上 20cm 未満））



図 570　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度夏季（体長 20cm 以上））



図 571　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度秋季（体長 10cm 以上 20cm 未満））



図 572　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度秋季（体長 20cm 以上））



図 573　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度冬季（体長 10cm 以上 20cm 未満））



図 574　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2024 年度冬季（体長 20cm 以上））



図 575　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度春季（体長 10cm 以上 20cm 未満））



図 576　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度春季（体長 20cm 以上））



図 577　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度夏季（体長 10cm 以上 20cm 未満））

希少種保護のため非公開

図 578　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度秋季（体長 10cm 以上 20cm 未満））

希少種保護のため非公開

図 579　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2024 年度冬季（体長 10cm 以上 20cm 未満））

4.8.調査結果（2025 年度）

4.8.1. 魚類（イワナ、サツキマス（アマゴ）、及びウグイの胃の内容物調査）（2025 年度）

イワナ、サツキマス（アマゴ）及びウグイの胃の内容物調査結果を、表 713～表 717 に示します。重要種は[redacted]（[redacted]でした。

表 713　イワナの胃の内容物 確認種一覧：[redacted]（2025 年度）

調査時期	個体情報		胃の内容物		
	イワナ類の体長区分	イワナ類の捕獲個体数	胃の内容物の確認種数	胃の内容物の主な確認種	胃の内容物の湿重量（g）
春季	10cm 以上 20cm 未満	13 個体	10 目 49 科 67 種	エゾヤマサラグモ、タカネエビスグモ、オオマダラカゲロウ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、オオアミメカワゲラ、ヒメツノカメムシ、イノプスヤマトビケラ、クレメンスナガレトビケラ、レゼイナガレトビケラ、ヤマトコマドアミカ、ミヤマコマドアミカ、クロバアミカ、ミヤマフタマタアミカ、クロホソカ、ミヤマナガレアブ、イガクロツヤマグソコガネ、シロトラカミキリ、ヤハズカミキリ、カバノキハムシ等	2.802
	20cm 以上	4 個体	10 目 31 科 37 種	アマギエビスグモ、タカネエビスグモ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、ベニモンツノカメムシ、セグロヒメツノカメムシ、ヤマトコマドアミカ、クロホソカ、ミヤマヒラタハムシ、ワモンナガハムシ、Acantholyda albomaculata 等	1.363
夏季	10cm 以上 20cm 未満	27 個体	16 目 69 科 99 種	ウススジハエトリ、フタマタマダラカゲロウ、ヨシノコカゲロウ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ、キバネハサミムシ、オオアミメカワゲラ、ツノゼミ、ハコネマルツノゼミ、テングアワフキ、ミミズク、シロズオオヨコバイ、ベニモンツノカメムシ、スカシヒロバカゲロウ、キバネシリアゲ、クレメンスナガレトビケラ、フトヒゲカクツツトビケラ、ミヤマコマドアミカ、ハナレメナミアミカ、ミヤマフタマタアミカ、ナミテントウ、マルガタハナカミキリ、カクムネヒメハナカミキリ、ヤナギハムシ、ヒゲナガウスバハムシ、クロオオアリ、ヤマクロヤマアリ等	3.87
	20cm 以上	11 個体	13 目 47 科 65 種	ヤマキレアミグモ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、ヨツカギオナシカワゲラ、ツノゼミ、テングアワフキ、アルプスコマドアミカ、ミヤマフタマタアミカ、クロホソカ、キイロナミホシヒラタアブ、ムラサキモリヒラタゴミムシ、フタスジハナカミキリ、ハンノアオカミキリ、カラカネハナカミキリ、シロトラカミキリ、アカバナハバチ、クロオオアリ、ヤマクロヤマアリ、ツヤクロスズメバチ等	3.633
秋季	10cm 以上 20cm 未満	32 個体	12 目 58 科 77 種	フタマタマダラカゲロウ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、ミヤマノギカワゲラ、ミヤマアワフキ、テングアワフキ、クロフアワフキ、ヒゲナガカワトビケラ、[redacted]、[redacted]、ヒメナミアミカ、ハナレメナミアミカ、ミヤマフタマタアミカ、アシボソヒメフタマタアミカ、[redacted]、クロホソカ、クロヒラタアブ、ハイイロツツクビカミキリ、クロオオアリ、ヤマクロヤマアリ、ツヤクロスズメバチ等	3.129
	20cm 以上	5 個体	10 目 30 科 36 種	フタバコカゲロウ、ミヤマアワフキ、テングアワフキ、クロフアワフキ、クロヒメツノカメムシ、クロヒラタアブ、ミドリトビハムシ等	0.869
計	10cm 以上 20cm 未満	72 個体	17 目 99 科 151 種	エゾヤマサラグモ、アマギエビスグモ、タカネエビスグモ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、オオマダラカゲロウ、ヨシノコカゲロウ等	9.801
	20cm 以上	20 個体	14 目 67 科 99 種	アマギエビスグモ、タカネエビスグモ、ヤマキレアミグモ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、F カゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、ミヤマアワフキ、クロヒメツノカメムシ、クロヒラタアブ等	5.865

表 714　イワナの胃の内容物 確認種一覧：[redacted]（2025 年度）

調査時期	個体情報		胃の内容物		
	イワナ類の体長区分	イワナ類の捕獲個体数	胃の内容物の確認種数	胃の内容物の主な確認種	胃の内容物の湿重量（g）
春季	希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開	9 目 35 科 56 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ、ミヤマノギカワゲラ、シロズシマトビケラ、ウルマーシマトビケラ、クレメンスナガレトビケラ、レゼイナガレトビケラ、ヤマトコマドアミカ、クロバアミカ、アヤモンニセハナノミ、アシナガアリ、トビイロケアリ等	3.870
			8 目 30 科 43 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、モンカワゲラ、ウルマーシマトビケラ、ヒゲナガカワトビケラ、イノプスヤマトビケラ、レゼイナガレトビケラ、ヤマトコマドアミカ、クロバアミカ、ダイミョウヒラタコメツキ、ドウガネヒラタコメツキ、ミヤマルリハナカミキリ、オオエンモンバチ等	1.934
夏季			12 目 46 科 58 種	ヨシノマダラカゲロウ、フタマタマダラカゲロウ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ、オビマルツノゼミ、テングアワフキ、クロヒメツノカメムシ、ヒゲナガカワトビケラ、ハナレメナミアミカ、クロホソカ、キバナガゴミムシ、ケモンケシキスイ、ニセヨコモンヒメハナカミキリ、ハンノキサルハムシ、ヒゲナガウスバハムシ、アシナガアリ、ムネアカオオアリ、トビイロケアリ等	1.803
			13 目 38 科 40 種	フタバコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、マダラスズ、ミミズク、ハラビロマキバサシガメ、フトヒゲカクツツトビケラ、フタスジハナカミキリ、キクビアオハムシ、ムネアカオオアリ等	1.654
秋季			12 目 53 科 65 種	ヌカグモ、フタバコカゲロウ、サホコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ、カタビロクサビウンカ、ツノゼミ、ミヤマアワフキ、クロフアワフキ、チビツヤナガカメムシ、ヒゲナガカワトビケラ、[redacted]、クロバアミカ、ハナレメナミアミカ、キクビアオハムシ、クロオビヒゲナガゾウムシ、アシナガアリ、ムネアカオオアリ等	2.813
			11 目 29 科 34 種	フタバコカゲロウ、サホコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、ヒゲナガカワトビケラ、クロバアミカ、ハナレメナミアミカ、ミヤママルガタゴミムシ、アシナガアリ、ムネアカオオアリ、シダクロスズメバチ等	0.608
冬季			4 目 19 科 31 種	オオマダラカゲロウ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、ウルマーシマトビケラ、[redacted]、レゼイナガレトビケラ、クロバアミカ等	1.935
			7 目 29 科 40 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、オオアミメカワゲラ、ミヤマアワフキ、シロズシマトビケラ、ウルマーシマトビケラ、ヒゲナガカワトビケラ、[redacted]、レゼイナガレトビケラ、クロバアミカ、サワダマメゲンゴロウ等	3.151
計			13 目 72 科 114 種	ヨシノマダラカゲロウ、フタマタマダラカゲロウ、オオマダラカゲロウ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ、ウルマーシマトビケラ等	10.421
			15 目 67 科 92 種	フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、オオアミメカワゲラ、ミヤマアワフキ等	7.347

表 715　イワナの胃の内容物 確認種一覧：[redacted]（2025 年度）

調査時期	個体情報		胃の内容物		
	イワナ類の体長区分	イワナ類の捕獲個体数	胃の内容物の確認種数	胃の内容物の主な確認種	胃の内容物の湿重量（g）
春季	希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開	8 目 20 科 30 種	フタマタマダラカゲロウ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ等	2.156
			7 目 12 科 15 種	メガネドヨウグモ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、シロズシマトビケラ、ウルマーシマトビケラ、ナミテントウ等	0.272
夏季			8 目 12 科 12 種	フタバコカゲロウ等	0.077
			2 目 3 科 3 種	ハリガネムシ目等	0.025
秋季			11 目 34 科 40 種	フタバコカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ、コノシタウマ、ミヤマアワフキ、ウルマーシマトビケラ等	1.043
			4 目 4 科 4 種	エルモンヒラタカゲロウ等	0.016
冬季			3 目 5 科 5 種	Ameletus 属等	0.111
			－	－	－
計			11 目 45 科 59 種	フタマタマダラカゲロウ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ、コノシタウマ、ミヤマアワフキ、ウルマーシマトビケラ等	3.387
			10 目 16 科 20 種	メガネドヨウグモ、フタバコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、シロズシマトビケラ、ウルマーシマトビケラ、ナミテントウ等	0.313

表 716　サツキマス（アマゴ）の胃の内容物 確認種一覧：[redacted]（2025 年度）

調査時期	個体情報	胃の内容物		
	ウグイの捕獲個体数	胃の内容物の確認種数	胃の内容物の主な確認種	胃の内容物の湿重量（g）
春季	希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開	フタバコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、コスナゴミムシダマシ、アシナガアリ等	0.148
夏季			ヨシノマダラカゲロウ、フタバコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、シコツナガレトビケラ等	0.083
秋季			サホコカゲロウ、ヒゲナガカワトビケラ、クロバアミカ等	0.399
冬季			Ligidium 属等	0.033
計			ヨシノマダラカゲロウ、フタバコカゲロウ、サホコカゲロウ、キイロヒラタカゲロウ、シコツナガレトビケラ、、ヒゲナガカワトビケラ、クロバアミカコスナゴミムシダマシ、アシナガアリ等	0.960

表 717　ウグイの胃の内容物 確認種一覧：[redacted]（2025 年度）

調査時期	個体情報	胃の内容物		
	ウグイの捕獲個体数	胃の内容物の確認種数	胃の内容物の主な確認種	胃の内容物の湿重量（g）
春季	希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開	ウルマーシマトビケラ等	0.003
夏季			フタバコカゲロウ等	＋
秋季			フタバコカゲロウ、クロバアミカ、ヒメナミアミカ等	0.492
冬季			－	－
計			フタバコカゲロウ、ウルマーシマトビケラ、クロバアミカ、ヒメナミアミカ等	0.495

4.8.2. 餌資源等（流下昆虫、落下昆虫）（2025 年度）

調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種一覧を、表 718～表 722 に示します。重要種は[redacted]（[redacted]でした。

調査地域、調査時期別の落下昆虫（任意採集）確認種一覧を、表 723～表 725 に示します。重要種は確認されませんでした。

表 718　調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度春季、夏季、秋季 1/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域																							
					沢33北俣・中俣合流部付近																							
					春季								夏季								秋季							
					左岸				右岸				左岸				右岸				左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後		午前		午後		午前		午後		午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目（蜉蝣目）	トビイロカゲロウ科	Paraleptophlebia属	*Paraleptophlebia* sp.														1	0.004									
2		マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*	1	0.002					2	0.006	1	0.043														
–			Drunella属	*Drunella* sp.					3	+					1	+												
3		ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属	*Ameletus* sp.	3	0.013	1	+	4	0.002	4	0.002	2	0.004									1	+				
4		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	8	0.012	5	0.007	7	0.007	4	0.005	11	0.005	36	0.007	12	0.008	23	0.007					2	0.008		
5			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	8	0.006	11	0.008	11	0.006	7	0.005	4	0.006	5	0.006	4	0.007			4	0.001	1	+	1	+		
6			Fコカゲロウ	*Baetis* sp. F														1	0.002									
7		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.	1	+	1	+	4	0.017			1	+							5	0.003			10	0.004		
8			キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	15	0.031	11	0.019	23	0.024	21	0.053			4	0.002			4	0.012					1	0.005		
9			ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*														1	0.002									
–			Epeorus属	*Epeorus* sp.													2	0.003					1	+				
10			Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.							2	0.003	2	+			1	+										
11	カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	Capnia属（成虫）	*Capnia* sp.			1	0.004																				
12		ホソカワゲラ科	Perlomyia属（成虫）	*Perlomyia* sp.							2	0.002																
–			ホソカワゲラ科	Leuctridae sp.	7	0.017			3	0.002															1	+		
13		オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.	3	0.004			1	0.001											1	+						
–			Amphinemura属（成虫）	*Amphinemura* sp.									1	0.004														
14			Nemoura属	*Nemoura* sp.	4	0.007	3	0.001	3	0.001	2	0.002	1	0.002					3	+								
15			Protonemura属	*Protonemura* sp.	12	0.018	5	0.004	3	0.002	1	0.006			3	0.001	1	0.001	3	+					1	+		
–			Protonemura属（成虫）	*Protonemura* sp.			2	0.009																				
16		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.	1	0.003	1	0.002	4	0.009															1	+	1	+
17		ミドリカワゲラ科	Suwallia属（成虫）	*Suwallia* sp.													1	0.005									
–			ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	6	0.026	4	0.021	6	0.029	2	0.002							2	0.007	1	0.002				2	0.005
–			ミドリカワゲラ科（成虫）	Chloroperlidae sp.									1	+														
18		カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae sp.											1	0.002												
19		アミメカワゲラ科	Tadamus属（成虫）	*Tadamus* sp.			1	0.049																				
–			アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.													1	0.005								1	+
20	カメムシ目（半翅目）	アワフキムシ科	マツアワフキ	*Aphrophora flavipes*									1	0.047														
21			Peuceptyelus属	*Peuceptyelus* sp.							2	0.028			1	+												
22		ヨコバイ科	キスジカンムリヨコバイ	*Evacanthus interruptus*									1	0.011	1	0.006												
23			Macropsis属	*Macropsis* sp.			1	+																				
24			Oncopsis属	*Oncopsis* sp.															1	0.008								
25			Xestocephalus属	*Xestocephalus* sp.			1	+																				
–			ヨコバイ科	Cicadellidae sp.									10	0.011	32	0.061	21	0.023	16	0.018								
26		カスミカメムシ科	カスミカメムシ科	Miridae sp.	1	+			1	+	1	+																
27		ナガカメムシ科	ナガカメムシ科	Lygaeidae sp.							1	+																
28		ツノカメムシ科	セグロヒメツノカメムシ	*Elasmucha signoreti*			1	0.023											1	0.031								
29		キジラミ科	Psylla属	*Psylla* sp.							1	+																
30		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	35	0.029	15	0.021	16	0.012	21	0.025	1	+	1	+	1	+			2	+						
31	アザミウマ目（総翅目）	クダアザミウマ科	クダアザミウマ科	Phlaeothripidae sp.									1	+			1	+										
32	アミメカゲロウ目（脈翅目）	ヒロバカゲロウ科	ヒロバカゲロウ科	Osmylidae sp.											2	+			1	+								
–		-	アミメカゲロウ目（脈翅目）	NEUROPTERA sp.									1	0.004					1	+								
33	希少種保護のため非公開																											
–	トビケラ目（毛翅目）	ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.									5	0.008	5	+	3	0.009	9	0.012								
34			Glossosoma属（成虫）	*Glossosoma* sp.			1	0.005																				
35		ナガレトビケラ科	Rhyacophila属 RC	*Rhyacophila* sp. RC																	2	0.002				1	+
36			Rhyacophila属（Kaltatica group）	*Rhyacophila* sp.（Kaltatica group）	1	0.007	1	0.003																				
–			Rhyacophila属	*Rhyacophila* sp.							1	0.003							3	0.004								
37		カクツツトビケラ科	Lepidostoma属	*Lepidostoma* sp.	4	0.025	2	0.008	4	0.009	3	0.006	1	0.014	1	0.002	3	0.024										
38		クロツツトビケラ科	Neophylax属	*Neophylax* sp.			2	0.002			1	+																
39	希少種保護のため非公開																											
40	ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota属	*Dicranota* sp.			1	0.004																				
–		ヒメガガンボ科	Antocha属	*Antocha* sp.	2	0.006			2	+	1	0.004	1	0.001														
41			Antocha属（成虫）	*Antocha* sp.	1	0.003																						
–			Hexatoma属	*Hexatoma* sp.			1	0.121																				
42			ヒメガガンボ科	Limoniidae sp.							1	0.002																
–		ガガンボ科	Tipula属	*Tipula* sp.					1	0.041									2	0.047								
43			ガガンボ科	Tipulidae sp.											1	0.019												
44		アミカ科	アルプスコマドアミカ	*Agathon bispinus*															1	0.008								
–			ヤマトコマドアミカ	*Agathon japonicus*			1	0.016																				
45			Agathon属	*Agathon* sp.					5	0.003			4	0.005	3	0.005	3	0.008	6	0.014								
46			Blepharicera属	*Blepharicera* sp.									3	0.003	4	0.005	1	+	2	0.007								
–			ミヤマフタマタアミカ	*Philorus alpinus*			1	0.001																				
–			Philorus属	*Philorus* sp.	2	+					2	0.002	2	+	2	0.002			4	0.003								
47			アミカ科（成虫）	Blephariceridae sp.																			1	0.006				

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和７年度版生物リスト」（令和７年、国土交通省）に準拠し、当該リスト未掲載種は「河川水辺の国勢調査　平成 17 年度版生物リスト」（平成 17 年、国土交通省）に従った。

注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。

注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 719　調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度春季、夏季、秋季 2/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域：沢33北俣・中俣合流部付近																							
					春季								夏季								秋季							
					左岸				右岸				左岸				右岸				左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後		午前		午後		午前		午後		午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
48	ハエ目（双翅目）	チョウバエ科	Pericoma属	*Pericoma* sp.											1	+			1	+								
49		ニスリカ科	Boreoheptagyia属	*Boreoheptagyia* sp.			1	+					1	+	3	+												
50			Brillia属	*Brillia* sp.					1	+																		
51			Diamesa属	*Diamesa* sp.	2	+	1	+	2	+	3	0.006									1	0.002	1	+	2	0.001		
52			Eukiefferiella属	*Eukiefferiella* sp.			1	+	1	+											3	+	1	+	2	+	2	+
53			Micropsectra属	*Micropsectra* sp.							2	+																
54			Orthocladius属	*Orthocladius* sp.																	12	0.013	1	+	5	0.001	1	+
55			Pagastia属	*Pagastia* sp.	1	+																						
56			Rheotanytarsus属	*Rheotanytarsus* sp.	1	+	1	+																				
57			Tvetenia属	*Tvetenia* sp.																	1	+			1	+		
–			ユスリカ科（成虫）	Chironomidae sp.	5	+	6	+			5	+									8	0.002	7	0.002			3	+
58		ホソカ科	クロホソカ	*Dixa yamatona*	1	+							1	+	1	+	1	+	1	+								
59		ブユ科	Simulium属	*Simulium* sp.	2	+	1	+	2	0.002	3	+	1	+	2	+	2	0.002										
–			Simulium属（成虫）	*Simulium* sp.	11	0.015	19	0.022	5	0.005	5	0.006																
60		ケバエ科	Bibio属	*Bibio* sp.	3	0.025	1	0.004	1	0.006	2	0.019																
61		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	5	+			3	0.002	4	0.003	6	0.007	6	0.006	2	0.003	5	+			4	0.009	1	+	1	+
62		キアブ科	Xylophagus属	*Xylophagus* sp.			1	0.006																				
63		アシナガバエ科	アシナガバエ科（成虫）	Dolichopodidae sp.									1	+														
64		オドリバエ科	Hilara属	*Hilara* sp.	1	0.002																						
65			Hybos属	*Hybos* sp.									6	0.023	2	0.001												
66			Trichoclinocera属（成虫）	*Trichoclinocera* sp.													2	0.011										
67		ハナアブ科	フタスジヒラタアブ	*Dasysyrphus bilineatus*									1	0.108														
68			Xylota属	*Xylota* sp.											1	0.042												
69		ミギワバエ科	ミギワバエ科	Ephydridae sp.			1	0.002																				
70		ツヤホソバエ科	ナミヒトテンツヤホソバエ	*Sepsis latiforceps*			1	+																				
71		イエバエ科	Lispocephala属	*Lispocephala* sp.													1	0.012										
72		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.	5	0.004	2	0.003	1	0.001					2	+	1	+										
73		ヤリバエ科	Lonchoptera属	*Lonchoptera* sp.	1	0.002																						
74		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.											2	+							2	+			2	+
75		シマバエ科	Sapromyza属	*Sapromyza* sp.											1	0.008												
–			シマバエ科	Lauxaniidae sp.			1	+							2	0.009												
76	ヨウチュウ目（鞘翅目）	オサムシ科	Bembidion属	*Bembidion* sp.			1	0.006																				
77		コメツキムシ科	クロツヤヒラタコメツキ	*Calambus japonicus*											1	+												
78		ヒゲブトコメツキ科	Trixagus属	*Trixagus* sp.											1	+												
79		ジョウカイボン科	Asiopodabrus属	*Asiopodabrus* sp.							1	0.003																
80		テントウムシ科	ウンモンテントウ	*Anatis halonis*			2	0.132																				
81		テントウムシダマシ科	ヒラノクロテントウダマシ	*Endomychus nigropiceus*											1	0.009	1	0.009										
82		ハナノミダマシ科	クロフナガタハナノミ	*Anaspis marseuli*	1	+																						
83		カミキリムシ科	カラカネハナカミキリ	*Gaurotes doris doris*											1	0.036												
84		オトシブミ科	ルリイクビチョッキリ	*Deporaus mannerheimi*											1	+												
–			Deporaus属	*Deporaus* sp.	1	+																						
85			ビロウドアシナガオトシブミ	*Himatolabus cupreus*							1	0.007																
86	ハチ目（膜翅目）	ハバチ科	Pristiphora属	*Pristiphora* sp.											1	0.018												
–			ハバチ科	Tenthredinidae sp.			2	0.018																				
87		ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.	4	0.018	5	0.032	2	0.004	2	0.002							2	0.005			3	0.021				
88		アリ科	ヤマクロヤマアリ	*Formica lemani*	1	0.005																						
89			トビイロケアリ	*Lasius japonicus*							1	+																
90			Myrmica属	*Myrmica* sp.	1	+	2	0.005									3	0.006	1	0.002								
–			アリ科	Formicidae sp.									2	0.004														
91		スズメバチ科	ツヤクロスズメバチ	*Vespula rufa*									1	0.119														
92		ギングチバチ科	Trypoxylon属	*Trypoxylon* sp.											1	0.004												
93		コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.	3	0.003													1	+								
94		ハエヤドリクロバチ科	ハエヤドリクロバチ科	Diapriidae sp.					1	+	2	+	3	+	1	+	1	+	3	+	1	+	2	+				
95		ハラビロクロバチ科	ハラビロクロバチ科	Platygastridae sp.											1	+											1	+
96		タマゴクロバチ科	タマゴクロバチ科	Scelionidae sp.			1	+									1	+									1	+
97		コガネコバチ科	コガネコバチ科	Pteromalidae sp.			1	+	1	+	3	+	1	+	3	+												
98		タマバチ科	タマバチ科	Cynipidae sp.									2	+					1	+								
計	9目	67科	98種	種数	34		41		28		31		32		37		24		27		11		11		12		10	
					7目27科34種		7目33科41種		6目22科28種		7目27科31種		8目27科32種		8目34科37種		8目21科24種		7目21科27種		6目8科11種		3目9科11種		3目7科12種		4目9科10種	
				個体数	164		125		121		116		81		138		70		100		41		25		28		16	
				湿重量(g)	0.283		0.558		0.185		0.202		0.429		0.251		0.136		0.193		0.025		0.038		0.019		0.005	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和７年度版生物リスト」（令和７年、国土交通省）に準拠し、当該リスト未掲載種は「河川水辺の国勢調査　平成 17 年度版生物リスト」（平成 17 年、国土交通省）に従った。

注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。

注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 720　調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度春季、夏季、秋季、冬季 1/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域																											
					河02西俣（放流箇所下流）																											
					春季								夏季								秋季								冬季			
					左岸				右岸				左岸				右岸				左岸				右岸				左岸			
					午前		午後		午前		午後		午前		午後		午前		午後		午前		午後		午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	Drunella属	*Drunella* sp.					1	0.002																						
2		ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属	*Ameletus* sp.																											1	0.002
3		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	0.001			3	0.006	1	0.001	1	+	4	0.003	1	+	2	0.002									3	+	2	+	1	+	3	+
4			サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*																			1	+	1	0.002								
5			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	5	0.002	1	+	25	0.022	3	0.001	3	0.001	2	0.001	2	0.001	2	+									1	0.001			2	0.001		
6		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.			1	+	5	0.063	1	0.012	1	+					1	0.002	2	+	1	+										
7			キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	3	0.003	2	0.004	8	0.009	2	0.002																					
8			エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*	1	0.001					1	+																					
–			Epeorus属	*Epeorus* sp.																									1	+			1	+
9			Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.	3	0.001			5	0.006	1	0.001					3	0.004	1	0.002			1	+					1	+			2	0.003
10	カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科（成虫）	Capniidae sp.	1	0.002					3	0.012																				
11		ホソカワゲラ科	Paraleuctra属（成虫）	*Paraleuctra* sp.							1	+																				
12			Perlomyia属（成虫）	*Perlomyia* sp.	1	+					2	+																				
13			Rhopalopsole属（成虫）	*Rhopalopsole* sp.	1	+																										
14		オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.					3	0.006																						
15			Protonemura属	*Protonemura* sp.					6	0.017			1	+									1	+					1	+			2	+
–			Protonemura属（成虫）	*Protonemura* sp.	1	0.001																										
16		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.																									229	0.013	10	0.005	13	0.008	5	0.003
17		ミドリカワゲラ科	Sweltsa属（成虫）	*Chloroperlidae* sp.					1	0.004	1	0.004																					
–			ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.					5	0.006	1	+	2	0.004																				
18		アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.																	1	+										
19	カメムシ目（半翅目）	アワフキムシ科	Peuceptyelus属	*Peuceptyelus* sp.							2	0.026																				
20		ナガカメムシ科	ムラクモナガカメムシ	*Eremocoris angusticollis*							1	0.005																				
21			ムラサキナガカメムシ	*Pylorgus colon*					1	0.002	1	0.003																				
22		ツノカメムシ科	ヒメツノカメムシ	*Elasmucha putoni*					1	0.027																						
23		キジラミ科	Psylla属	*Psylla* sp.					7	0.003																						
24		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	23	0.013	11	0.004	58	0.051	39	0.034	1	+			3	+			2	0.001			2	+	2	+						
25	アザミウマ目（総翅目）	クダアザミウマ科	クダアザミウマ科	Phlaeothripidae sp.							1	+							1	+												
26	トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*					1	0.003																						
27		ヤマトビケラ科	Glossosoma属	*Glossosoma* sp.													1	0.002	1	0.002	1	+										
28		ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	*Rhyacophila lezeyi*					1	0.034																						
29			Rhyacophila属 RC	*Rhyacophila* sp. RC					1	0.002					1	+													3	0.003	1	0.003				
30			Rhyacophila属 (Acropedes group)	*Rhyacophila* sp. (Acropedes group)									2	+											1	+								
–			Rhyacophila属	*Rhyacophila* sp.																									1	+				
31		カクスイトビケラ科	Micrasema属	*Micrasema* sp.									1	+																		
32		カクツツトビケラ科	Lepidostoma属	*Lepidostoma* sp.					3	0.011	3	0.009																				
33		クロツツトビケラ科	Neophylax属	*Neophylax* sp.																												
34	ハエ目（双翅目）	ヒメガガンボ科	Antocha属	*Antocha* sp.	1	0.003	1	0.001			2	+																				
35		アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*																			1	0.004								
36			Blepharicera属	*Blepharicera* sp.									3	0.001	2	0.004	2	0.003	1	+												
37			Philorus属	*Philorus* sp.							1	+																				
38		ユスリカ科	Boreoheptagyia属	*Boreoheptagyia* sp.									1	+			1	+														
39			Brillia属	*Brillia* sp.																										1	+			
40			Diamesa属	*Diamesa* sp.	1	0.001	1	0.001			1	+									4	0.002	2	+	2	+	1	+						
41			Eukiefferiella属	*Eukiefferiella* sp.					1	+									2	+	1	+	1	+	2	+								
42			Micropsectra属	*Micropsectra* sp.	1	+			1	+																			1	+	1	+				
43			Orthocladius属	*Orthocladius* sp.																	4	0.002	5	+			3	+	4	+	2	+	3	+	8	0.004
44			Pagastia属	*Pagastia* sp.																									2	0.003	5	0.006	1	+	1	+
45			Syndiamesa属	*Syndiamesa* sp.																									1	+			3	+		
46			Tvetenia属	*Tvetenia* sp.											1	+																		
–			ユスリカ科（成虫）	Chironomidae sp.	3	+	3	+	16	0.004	10	+									7	0.001	6	+	9	0.006	12	0.005					12	0.008
47		ホソカ科	クロホソカ	*Dixa yamatona*					1	+																						
48		ブユ科	Simulium属	*Simulium* sp.									2	+			1	+			1	0.002	1	+	1	0.004			4	0.003	2	0.001	1	+	1	+
–			Simulium属（成虫）	*Simulium* sp.					1	0.001	4	0.003																						
49		ケバエ科	Bibio属	*Bibio* sp.					1	0.008	1	0.005													2	0.008	11	0.042						
50		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.									3	+	2	+	5	0.004	3	+	3	0.001	11	0.005	6	0.009	16	0.022						
51		アシナガバエ科	アシナガバエ科（成虫）	Dolichopodidae sp.									1	0.002																				
52		ツヤホソバエ科	ナミヒトテンツヤホソバエ	*Sepsis latiforceps*					1	+																								
53		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.											1	+																		
54		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.	1	+													1	+	2	+	5	0.008	2	+	6	0.003						
55	コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	カノシマチビゲンゴロウ	*Oreodytes kanoi*																											1	0.006		
56		テントウムシ科	ウンモンテントウ	*Anatis halonis*			1	0.071																										
57			シロジュウロクホシテントウ	*Halyzia sedecimguttata*																					1	0.016								
58		テントウムシダマシ科	ウスグロテントウダマシ	*Endomychus ohbayashii ohbayashii*													1	+																
59		ハムシ科	ツブノミハムシ	*Aphthona perminuta*	1	+					2	0.001																						
60			ミヤマヒラタハムシ	*Gastrolina peltoidea*					1	0.047																								
61		ゾウムシ科	アイノシギゾウムシ	*Curculio aino*																							1	0.003						
62			ヒメシギゾウムシ	*Curculio hime*																							1	0.005						

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和７年度版生物リスト」（令和７年、国土交通省）に準拠し、当該リスト未掲載種は「河川水辺の国勢調査　平成 17 年度版生物リスト」（平成 17 年、国土交通省）に従った。

注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。

注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 721　調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度春季、夏季、秋季、冬季 2/2）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域																									
					河02西俣（放流箇所下流）																									
					春季								夏季								秋季								冬季			
					左岸				右岸				左岸				右岸				左岸				右岸				左岸			
					午前		午後		午前		午後		午前		午後		午前		午後		午前		午後		午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
63	ハチ目（膜翅目）	ハバチ科	Eriocampopsis属	*Eriocampopsis* sp.							1	0.009																				
64		ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.																	1	0.003					2	0.006				
65		アリ科	アシナガアリ	*Aphaenogaster famelica*							2	0.005																				
66			クロオオアリ	*Camponotus japonicus*																					1	0.034						
67			ムネアカオオアリ	*Camponotus obscuripes*																					2	0.073						
68			Myrmica属	*Myrmica* sp.											2	0.005									1	0.003						
–			アリ科	Formicidae sp.									2	+	4	0.001	7	0.008	3	0.004												
69		スズメバチ科	ヤドリスズメバチ	*Vespula austriaca*																					1	0.115						
70			ツヤクロスズメバチ	*Vespula rufa*																					1	0.089						
71			シダクロスズメバチ	*Vespula shidai*																					1	0.091						
72		コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.															1	+												
73		ハエヤドリクロバチ科	ハエヤドリクロバチ科	Diapriidae sp.											1	+	2	+														
74		シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	Proctotrupidae sp.									1	+									1	+			1	+				
75		タマゴクロバチ科	タマゴクロバチ科	Scelionidae sp.											1	+	1	+	2	+												
76		コガネコバチ科	コガネコバチ科	Pteromalidae sp.	1	+																					1	+				
77		タマバチ科	タマバチ科	Cynipidae sp.											2	+			1	+	2	+										
計	8目	48科	77種	種数	16		7		24		24		15		11		13		14		12		12		15		12		12		9	
					6目11科16種		4目6科7種		6目18科24種		8目18科24種		6目14科15種		4目10科11種		6目12科13種		5目12科14種		6目10科12種		4目9科12種		5目10科15種		5目10科12種		4目7科12種		4目6科9種	
				個体数	49		21		158		88		25		23		30		22		31		37		35		58		252		25	
				湿重量(g)	0.028		0.081		0.334		0.133		0.008		0.014		0.022		0.012		0.012		0.017		0.45		0.086		0.023		0.015	

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域							
					河02西俣（放流箇所下流）							
					冬季							
					右岸							
					午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
63	ハチ目（膜翅目）	ハバチ科	Eriocampopsis属	*Eriocampopsis* sp.								
64		ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.								
65		アリ科	アシナガアリ	*Aphaenogaster famelica*								
66			クロオオアリ	*Camponotus japonicus*								
67			ムネアカオオアリ	*Camponotus obscuripes*								
68			Myrmica属	*Myrmica* sp.								
–			アリ科	Formicidae sp.								
69		スズメバチ科	ヤドリスズメバチ	*Vespula austriaca*								
70			ツヤクロスズメバチ	*Vespula rufa*								
71			シダクロスズメバチ	*Vespula shidai*								
72		コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.								
73		ハエヤドリクロバチ科	ハエヤドリクロバチ科	Diapriidae sp.								
74		シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	Proctotrupidae sp.								
75		タマゴクロバチ科	タマゴクロバチ科	Scelionidae sp.								
76		コガネコバチ科	コガネコバチ科	Pteromalidae sp.								
77		タマバチ科	タマバチ科	Cynipidae sp.								
計	8目	48科	77種	種数	8		9					
					4目5科8種		3目7科9種					
				個体数	25		36					
				湿重量(g)	0.015		0.02					

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和７年度版生物リスト」（令和７年、国土交通省）に準拠し、当該リスト未掲載種は「河川水辺の国勢調査　平成 17 年度版生物リスト」（平成 17 年、国土交通省）に従った。

注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。

注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 722　調査地域、調査時期別の流下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度春季、秋季、冬季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域：河10-3椹島（放流箇所下流②）																			
					春季								秋季								冬季							
					左岸				右岸				左岸				右岸				左岸				右岸			
					午前		午後		午前		午後		午前		午後		午前		午後		午前		午後		午前		午後	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	Drunella属	*Drunella* sp.					2	+															1	+		
2		ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus属	*Ameletus* sp.					1	0.005							1	+			2	0.006	1	+			2	+
3		コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	2	0.004	1	0.002	2	0.001															1	+		
4			サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*															1	+								
5			シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	4	0.005	3	0.003	3	0.005	5	0.005			1	0.008					3	0.004	1	+				
6		ヒラタカゲロウ科	Cinygmula属	*Cinygmula* sp.																	3	0.006	1	+	4	0.006	2	0.003
7			キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	2	0.006	3	0.007	5	0.018	1	0.001																
8			エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*	2	0.001					1	0.001																
–			Epeorus属	*Epeorus* sp.																							1	+
9			Rhithrogena属	*Rhithrogena* sp.	3	0.001			1	0.008	1	0.007			1	0.002	5	0.002	1	0.001	3	0.002	2	0.014	3	0.007	2	0.005
10	カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	Capniidae sp.															1	+	1	+						
11		オナシカワゲラ科	Amphinemura属	*Amphinemura* sp.					3	0.009											1	+						
–			Amphinemura属（成虫）	*Amphinemura* sp.							1	0.004																
12			Nemoura属	*Nemoura* sp.	1	+																						
13			Protonemura属	*Protonemura* sp.	2	0.001	1	0.002	1	0.002	1	0.001									1	+			5	+		
14		シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.																	2	+			4	0.003		
15		ミドリカワゲラ科	Suwallia属（成虫）	*Suwallia* sp.															2	0.006								
–			ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	2	0.004	2	0.005	4	0.008	2	0.003			1	+					2	0.007						
16		アミメカワゲラ科	アミメカワゲラ科	Perlodidae sp.																					1	0.004	2	0.024
17	カメムシ目（半翅目）	ヨコバイ科	ヨコバイ科	Cicadellidae sp.															1	+					1	+		
18		カメムシ科	ツノアオカメムシ	*Pentatoma japonica*															1	0.463								
19		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.			7	+	5	+	7	+			3	+	2	+	4	0.002								
20	トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*	2	0.025					1	0.007																
21			ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*					2	0.006													2	0.003				
–			Hydropsyche属	*Hydropsyche* sp.									2	0.006	2	+	1	+										
22		カワトビケラ科	Wormaldia属	*Wormaldia* sp.							1	0.003																
23		イワトビケラ科	Plectrocnemia属	*Plectrocnemia* sp.	1	0.004																						
24		クダトビケラ科	Psychomyia属	*Psychomyia* sp.	2	0.002	1	0.001																				
25		ナガレトビケラ科	Rhyacophila属 RC	*Rhyacophila* sp. RC	1	0.005			1	0.004																		
26		ヨエグリトビケラ科	Apatania属	*Apatania* sp.																	1	0.001						
27		カクツツトビケラ科	Lepidostoma属	*Lepidostoma* sp.	6	0.055	3	0.031	1	0.007	3	0.016																
28	ハエ目（双翅目）	ヒメガガンボ科	Antocha属	*Antocha* sp.	2	0.005	1	0.009			1	0.004									1	0.001						
29		アミカ科	Agathon属	*Agathon* sp.							1	0.003																
30			クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*									1	0.012														
–			アミカ科（成虫）	Blephariceridae sp.													2	0.004										
31		ユスリカ科	Diamesa属	*Diamesa* sp.							1	0.002	4	0.006	1	0.003	2	0.002									1	+
32			Eukiefferiella属	*Eukiefferiella* sp.	2	+					2	+	1	+	1	+			3	+			2	+	1	+		
33			Orthocladius属	*Orthocladius* sp.									12	0.006	12	0.009	6	0.004	5	0.004								
34			Pagastia属	*Pagastia* sp.																	1	0.001	1	0.001			1	+
35			Pseudorthocladius属	*Pseudorthocladius* sp.															1	+								
36			Syndiamesa属	*Syndiamesa* sp.																							1	+
37			Tvetenia属	*Tvetenia* sp.							1	+																
–			ユスリカ科（成虫）	Chironomidae sp.									4	+			21	0.016	2	+			3	+				
38		ブユ科	Prosimulium属	*Prosimulium* sp.	2	0.004	1	0.004																				
39			Simulium属	*Simulium* sp.	1	0.002			2	0.002					1	0.003												
40		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.	6	0.008	10	0.012	12	0.018	12	0.016	3	+	5	0.004			1	+								
41		オドリバエ科	Hilara属	*Hilara* sp.							3	0.005																
42		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.											1	+							3	+				
43		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.											1	+			4	+								
44		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.											1	0.033												
45	コウチュウ目（鞘翅目）	タマムシ科	Agrilus属	*Agrilus* sp.							1	+																
46		ハムシ科	ツブノミハムシ	*Aphthona perminuta*							3	+																
47		ゾウムシ科	Phyllobius属	*Phyllobius* sp.							1	0.007																
48	ハチ目（膜翅目）	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.					1	0.005					3	0.005	1	0.002	1	+								
49		アリ科	アシナガアリ	*Aphaenogaster famelica*			1	0.004	1	0.004																		
50			ムネアカオオアリ	*Camponotus obscuripes*															2	0.084								
51			トビイロケアリ	*Lasius japonicus*					1	0.002																		
–			アリ科	Formicidae sp.							1	+																
52		コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.													1	+	4	0.014								
53		ハエヤドリクロバチ科	ハエヤドリクロバチ科	Diapriidae sp.							1	+			3	+			1	+								
54		コガネコバチ科	コガネコバチ科	Pteromalidae sp.															1	+								
計	7目	36科	54種	種数	18		12		18		23		6		15		9		17		12		8		9		8	
					4目13科18種		6目11科12種		6目14科18種		7目18科23種		2目4科6種		6目13科15種		5目8科9種		5目15科17種		4目10科12種		3目6科8種		4目8科9種		3目4科8種	
				個体数	43		34		48		52		27		37		42		36		21		16		21		12	
				湿重量(g)	0.132		0.08		0.104		0.085		0.03		0.067		0.03		0.574		0.028		0.018		0.02		0.032	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和７年度版生物リスト」（令和７年、国土交通省）に準拠し、当該リスト未掲載種は「河川水辺の国勢調査　平成 17 年度版生物リスト」（平成 17 年、国土交通省）に従った。

注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。

注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

4.8.2.2.落下昆虫（任意採集）確認種一覧

表 723　調査地域、調査時期別の落下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度春季、夏季、秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域																					
					沢33北俣・中俣合流部付近																					
					春季								夏季								秋季					
					①		②		③		④		①		②		③		④		①		②		③		④	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カワゲラ目（セキ翅目）	ホソカワゲラ科	Paraleuctra属（成虫）	*Paraleuctra* sp.							1	0.002														
2		オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ科（成虫）	Nemouridae sp.									1	+												
3		ミドリカワゲラ科	Sweltsa属（成虫）	*Sweltsa* sp.									1	+					1	+						
4	チャタテムシ目（噛虫目）	ホソチャタテ科	ホソチャタテ科	Stenopsocidae sp.																	1	+				
5	カメムシ目（半翅目）	ヨコバイ科	ヨコバイ科	Cicadellidae sp.									2	+	3	+			1	+						
6		カスミカメムシ科	アカミャクカスミカメ	*Stenodema rubrinervis*																			1	0.005			
7		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.			2	+																		
8	トビケラ目（毛翅目）	ナガレトビケラ科	Rhyacophila属（成虫）	*Rhyacophila* sp.															1	0.009						
9		カクツツトビケラ科	Lepidostoma属（成虫）	*Lepidostoma* sp.					1	0.006																
10	チョウ目（鱗翅目）	シャクガ科	Ourapteryx属	*Ourapteryx* sp.									1	0.062												
11	ハエ目（双翅目）	ヒメガガンボ科	Antocha属（成虫）	*Antocha* sp.	1	+			1	+																
12		ユスリカ科	ユスリカ科（成虫）	Chironomidae sp.			16	+	1	+	8	+									1	+	1	+	2	+
13		ケバエ科	Bibio属	*Bibio* sp.					1	0.017	1	0.013														
–			ケバエ科	Bibionidae sp.							1	+														
14		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.			1	+	4	+			1	+			8	+					1	+		
15		アシナガバエ科	アシナガバエ科（成虫）	Dolichopodidae sp.									1	+			1	+								
16		オドリバエ科	Hilara属	*Hilara* sp.									2	+												
17			Phyllodromia属	*Phyllodromia* sp.													1	+								
18			Platypalpus属	*Platypalpus* sp.					1	+																
19		ハナアブ科	Melangyna属	*Melangyna* sp.	3	0.084			3	0.088	2	0.022	3	0.061	8	0.132	3	0.036	1	0.012					1	0.016		
20			オビホソヒラタアブ	*Meliscaeva cinctella*													2	0.039	1	0.017						
21		ショウジョウバエ科	Leucophenga属	*Leucophenga* sp.															1	+						
22			Stegana属	*Stegana* sp.									1	+			1	+								
23		ツヤホソバエ科	Sepsis属	*Sepsis* sp.							1	+														
24		イエバエ科	Brontaea属	*Brontaea* sp.									4	0.01					1	+			1	+		
25			Helina属	*Helina* sp.																					1	0.045
26			Lispocephala属	*Lispocephala* sp.									1	+	2	0.007										
27			Phaonia属	*Phaonia* sp.															1	0.03						
28		タマバエ科	タマバエ科	Cecidomyiidae sp.					1	+																
29		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.					2	+							1	+	1	+						
30		ヤリバエ科	Lonchoptera属	*Lonchoptera* sp.			1	+																		
31		アタマアブ科	Dorylomorpha属	*Dorylomorpha* sp.			1	+																		
32		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.					7	+							1	+								
33		シマバエ科	Sapromyza属	*Sapromyza* sp.													1	0.005								
34		クロツヤバエ科	クロツヤバエ科	Lonchaeidae sp.	1	0.009					1	+							2	+						
35		ハナバエ科	ハナバエ科	Anthomyiidae sp.	9	0.069	1	0.005	6	0.052	7	0.018	2	0.008											1	+
36		フンバエ科	ヒメフンバエ	*Scathophaga stercoraria*					1	0.006																
37		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.	5	0.134			1	0.012	6	0.186	7	0.082	4	0.045	3	0.042	3	0.162						
38	コウチュウ目（鞘翅目）	ハネカクシ科	Eusphalerum属	*Eusphalerum* sp.	1	+																				
39	ハチ目（膜翅目）	ヒメバチ科	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.					2	0.032	5	0.009							1	+						
40		アリ科	Myrmica属	*Myrmica* sp.															1	+						
41		コマユバチ科	コマユバチ科	Braconidae sp.															1	+						
42		シリボソクロバチ科	シリボソクロバチ科	Proctotrupidae sp.																						
計	8目	35科	42種	種数	6		6		14		9		13		4		10		14		2		4		5		1	
					6目21科21種								6目20科25種								4目9科10種					
				個体数	20		22		32		33		27		17		22		17		2		4		6		1	
				湿重量（g）	0.296		0.005		0.213		0.25		0.223		0.184		0.122		0.23		+		0.005		0.061		+	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和７年度版生物リスト」（令和７年、国土交通省）に準拠し、当該リスト未掲載種は「河川水辺の国勢調査　平成 17 年度版生物リスト」（平成 17 年、国土交通省）に従った。

注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。

注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 724　調査地域、調査時期別の落下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度春季、夏季、秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域																					
					河02西俣（放流箇所下流）																					
					春季								夏季								秋季							
					①		②		③		④		①		②		③		④		①		②		③		④	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	カワゲラ目（セキ翅目）	ホソカワゲラ科	Paraleuctra属（成虫）	*Paraleuctra* sp.	1	+																						
2	チャタテムシ目（噛虫目）	ケチャタテ科	Caecilius属	*Caecilius* sp.																			1	+				
3	カメムシ目（半翅目）	キジラミ科	Psylla属	*Psylla* sp.	1	+																						
4		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.			2	+	1	+											1	+					1	+
5	ハエ目（双翅目）	ヒメガガンボ科	Antocha属（成虫）	*Antocha* sp.					1	+																		
6		アミカ科	Agathon属（成虫）	*Agathon* sp.					1	0.006																		
7		ヌカカ科	ヌカカ科（成虫）	Ceratopogonidae sp.									2	+														
8		ユスリカ科	ユスリカ科（成虫）	Chironomidae sp.	3	+	4	+	8	+	5	+									1	+			7	+	1	+
9		ブユ科	Simulium属（成虫）	*Simulium* sp.																			1	+				
10		ケバエ科	Bibio属	*Bibio* sp.																	1	+			2	+	2	+
11		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.									1	+	1	+					1	+					1	+
12		オドリバエ科	Hilara属	*Hilara* sp.			1	+	1	+	3	0.007																
13		ハナアブ科	Melangyna属	*Melangyna* sp.																	1	0.014	2	0.036				
14		ショウジョウバエ科	Drosophila属	*Drosophila* sp.							1	+																
15		イエバエ科	Brontaea属	*Brontaea* sp.															1	+								
16		シマバエ科	Minettia属	*Minettia* sp.									1	0.005														
17		ハナバエ科	ハナバエ科	Anthomyiidae sp.	1	0.006			1	0.005	1	0.006			1	+												
18		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.													1	0.007	1	0.007								
19	コウチュウ目（鞘翅目）	ハネカクシ科	Philydrodes属	*Philydrodes* sp.																					1	+		
20	ハチ目（膜翅目）	コガネコバチ科	コガネコバチ科	Pteromalidae sp.																							1	+
計	6目	20科	20種	種数	4		3		6		4		3		2		1		2		5		3		3		5	
					3目9科9種								1目6科6種								5目9科9種							
				個体数	6		7		13		10		4		2		1		2		5		4		10		6	
				湿重量(g)	0.006		+		0.011		0.013		0.005		+		0.007		0.007		0.014		0.036		+		+	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和７年度版生物リスト」（令和７年、国土交通省）に準拠し、当該リスト未掲載種は「河川水辺の国勢調査　平成 17 年度版生物リスト」（平成 17 年、国土交通省）に従った。

注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。

注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 725　調査地域、調査時期別の落下昆虫（任意採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（重要種以外）：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度春季、秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域															
					河10-3椹島（放流箇所下流②）															
					春季								秋季							
					①		②		③		④		①		②		③		④	
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	クモ目	フクログモ科	Clubiona属	*Clubiona* sp.											1	+				
2	チャタテムシ目（噛虫目）	ケチャタテ科	Caecilius属	*Caecilius* sp.							1	+								
3	カメムシ目（半翅目）	ヨコバイ科	ヨコバイ科	Cicadellidae sp.					1	+										
4		アブラムシ科	アブラムシ科	Aphididae sp.	1	+					3	+								
5	ハエ目（双翅目）	アミカ科	ハナレメナミアミカ（成虫）	*Blepharicera shirakii*													1	+		
6		ユスリカ科	ユスリカ科（成虫）	Chironomidae sp.					1	+	1	+	4	+	7	+	9	+	12	+
7		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.					3	+			2	+	1	+	2	+	2	+
8		アシナガバエ科	アシナガバエ科（成虫）	Dolichopodidae sp.															1	+
9		ショウジョウバエ科	Drosophila属	*Drosophila* sp.															1	+
10		タマバエ科	タマバエ科	Cecidomyiidae sp.							1	+					1	+		
11		キノコバエ科	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.													4	+	1	+
12		ヤリバエ科	ウスグロヤリバエ	*Lonchoptera sapporensis*													1	+		
13		アタマアブ科	Cephalops属	*Cephalops* sp.													1	0.01		
14		ノミバエ科	ノミバエ科	Phoridae sp.									1	+	1	+	4	+		
15		キモグリバエ科	キモグリバエ科	Chloropidae sp.			2	+												
16		ハナバエ科	ハナバエ科	Anthomyiidae sp.					2	0.018	2	0.017								
17		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.							1	0.011					1	0.077		
18	コウチュウ目（鞘翅目）	ハネカクシ科	Atheta属	*Atheta* sp.					1	+										
19	ハチ目（膜翅目）	コハナバチ科	Lasioglossum属	*Lasioglossum* sp.	2	0.045					2	0.047								
計	6目	19科	19種	種数	2		1		5		7		3		4		9		5	
					5目11科11種								2目12科12種							
				個体数	3		2		8		11		7		10		24		17	
				湿重量（g）	0.045		+		0.018		0.075		+		+		0.087		+	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和７年度版生物リスト」（令和７年、国土交通省）に準拠し、当該リスト未掲載種は「河川水辺の国勢調査　平成 17 年度版生物リスト」（平成 17 年、国土交通省）に従った。

注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

注３：水生昆虫類の成虫については、種名の後に「成虫」と表記した。

注４：湿重量欄の「+」は、重量が 0.001g 未満であることを示す。

4.8.3. 生育環境（周辺植生）（2025 年度）

生育環境（周辺植生）について、調査時期、調査地域別の調査結果を、図 580～図 582、表 726～表 731 に示します。

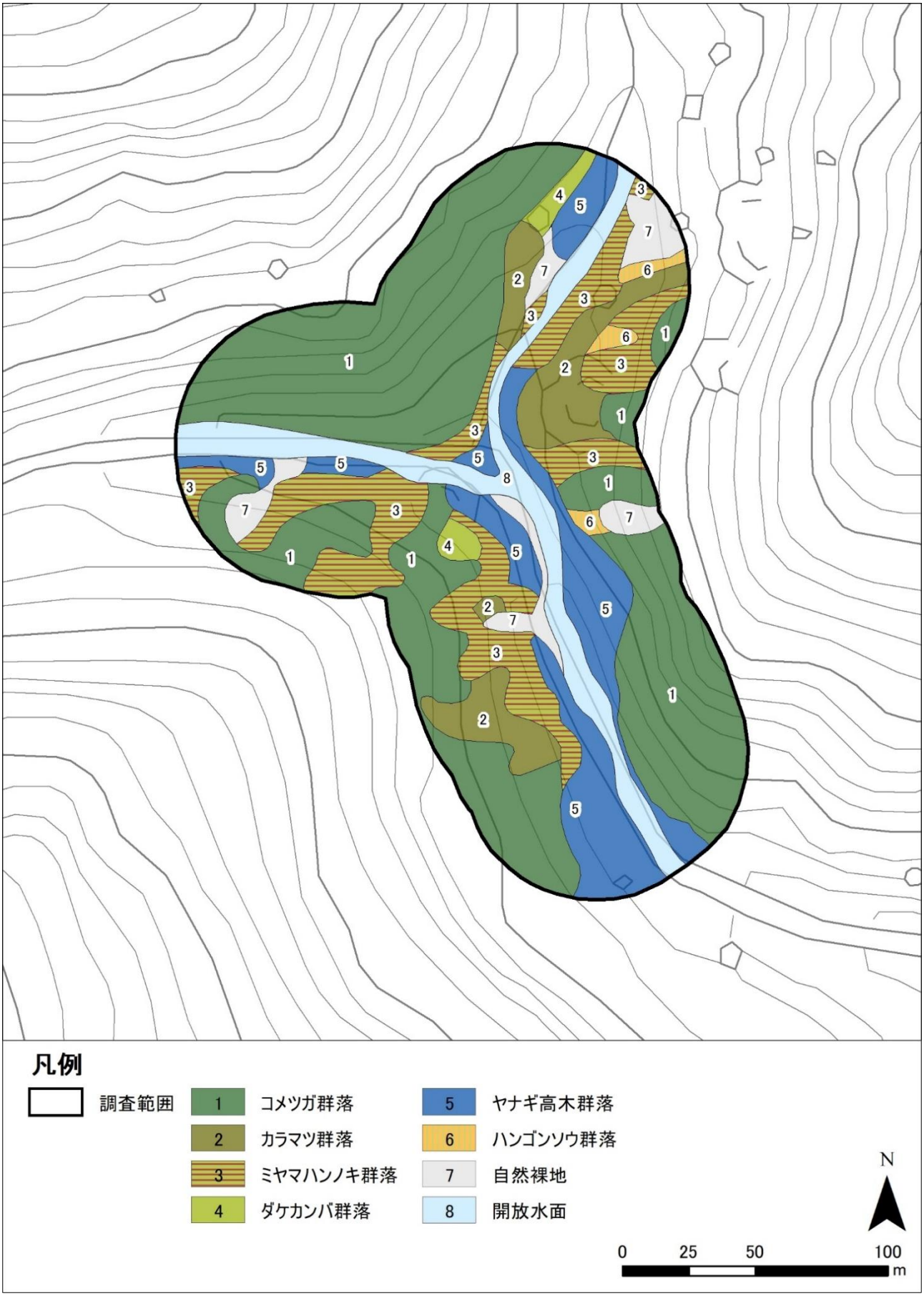


図 580　植生図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度秋季）

表 726　植物群落の調査結果：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
1	コメツガ群落		コメツガが優占する群落である。高木層にはコメツガのほか、シラビソを交える。亜高木層にはコメツガ、ネコシデ及びウダイカンバが、低木層にはコメツガ、コミネカエデ、サラサドウダン等がそれぞれ生育する。草本層には、コメツガの稚樹や、ツルツゲ、コミネカエデ、コミヤマカタバミ等が生育する。
2	カラマツ群落		カラマツが優占する群落である。高木層には、カラマツ１種が生育する。亜高木層にはヤハズハンノキが、低木層には、ニシキウツギ及びコメツガが、それぞれ生育する。草本層には、キヌタソウ、コメツガ、ヨツバヒヨドリ、タカネコウボウ等が生育する。
3	ミヤマハンノキ群落		ミヤマハンノキが優占する群落である。 高木層には、ミヤマハンノキのほか、ヤハズハンノキが生育する。亜高木層を欠き、低木層にはダケカンバが、草本層には、キツリフネ、ヒメノガリヤス、キヌタソウ、センジョウアザミ、シラネセンキュウ等が生育する。
4	ダケカンバ群落		ダケカンバが優占する群落である。 高木層には、ダケカンバのほか、ミヤママタタビが生育する。亜高木層にはオガラバナ、ネコシデ、ヒロハカツラが、低木層にはコメツガ及びバイカウツギがそれぞれ生育する。草本層には、ミヤマワラビ及びイネ科 sp. がわずかに生育する。
5	ヤナギ高木群落		高木のヤナギ類が優占する群落である。 高木層には、トカチヤナギ（オオバヤナギ変種）、オノエヤナギ等のヤナギ類のほか、ヤハズハンノキ、カラマツが生育する。亜高木層にはヤハズハンノキ、ダケカンバ、カラマツ等が、低木層には、コメツガ、ダケカンバ、トカチヤナギ、ニシキウツギ等が、草本層には、コウシンヤマハッカ、コメツガ、シラネセンキュウ、ヒメノガリヤス、タカネコウボウ、ミヤマタニタデ等がそれぞれ生育する。

表 727　植物群落の調査結果：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
6	ハンゴンソウ群落		草本のハンゴンソウが生育する群落である。草本層には、ハンゴンソウのほか、コウシンヤマハッカ、センジョウアザミ、ヨツバヒヨドリ、ミヤマタニタデ等が生育する。
7	自然裸地		河原の砂礫地や急斜面地の崩壊地である。
8	開放水域		河川等の水面である。

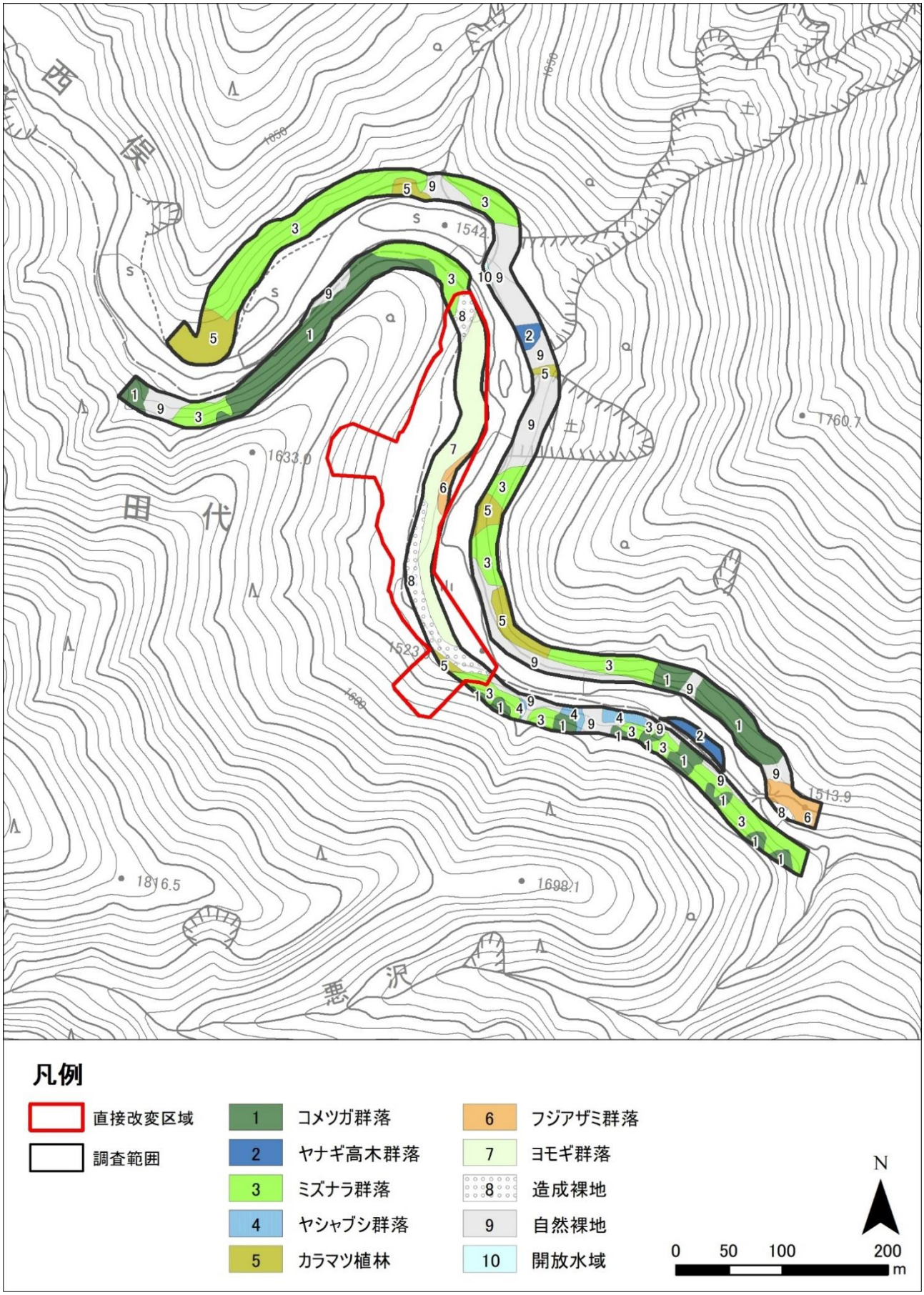


図 581　植生図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度秋季）

表 728　植物群落の調査結果；河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
1	コメツガ群落		コメツガが優占する群落である。 高木層には、コメツガのほか、ヒメコマツが生育する。亜高木層にはコメツガ、シナノキ等が、低木層にはトウゴクミツバツツジ、コメツガ、コアジサイ等がそれぞれ生育する。草本層には、コイワカガミ、イワデンダ、シロヨメナ等が生育する。本群落は急峻な地形上に成立しており、群落内の踏査は実施不可であるため、出来る範囲での目視確認により調査を行った。
2	ヤナギ高木群落		高木のヤナギ類が優占する群落である。 オノエヤナギ、オオバヤナギ等が優占する群落である。高木層には、オノエヤナギ等のヤナギ類のほか、ミヤマハンノキが生育する。低木層には、ヤハズハンノキやオノエヤナギが、草本層には、テンニンソウ、ヨモギ、ノコンギク等がそれぞれ生育する。
3	ミズナラ群落		ミズナラが優占する群落である。 高木層には、ミズナラのほか、クマシデが生育する。亜高木層には、ヤシャブシ、オオモミジ、ハウチワカエデ等が生育する。低木層は、コメツガ、サワシバ等が、草本層には、テンニンソウ、ヒメノガリヤス、イワデンダ等が生育する。
4	ヤシャブシ群落		ミヤマヤシャブシ（ヤシャブシ品種）が優占する低木群落である。 低木層には、ミヤマヤシャブシのみ生育する。草本層には、クマイチゴ、フジアザミ等の先駆的な草本類や、テンニンソウ、ヨツバヒヨドリ、ヒメノガリヤス、ミヤマワラビ等が生育する。
5	カラマツ植林		カラマツの植林地である。 高木層には、カラマツ１種が生育する。亜高木層には、ミズナラ、ウダイカンバ、エゾヤマザクラ等が生育する。低木層には、コメツガ、ハウチワカエデ、アオダモ、コミネカエデ等が、草本層には、コアジサイ、キヌタソウ、ヒメノガリヤス等が生育する。

表 729　植物群落の調査結果：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
6	フジアザミ群落		草本のフジアザミが優占する群落である。 草本層には、フジアザミのほか、ヨモギ、ナギナタコウジュ、ノコンギク等が生育する。
7	ヨモギ群落		草本のヨモギが優占する群落である。 草本層には、ヨモギのほか、エノコログサ、カリヤスモドキ、ヤマハハコ等が生育する。
8	造成地		造成により生じた人工的な裸地である。
9	自然裸地		河原の砂礫地や急斜面地の崩壊地である。
10	開放水域		河川等の水面である。

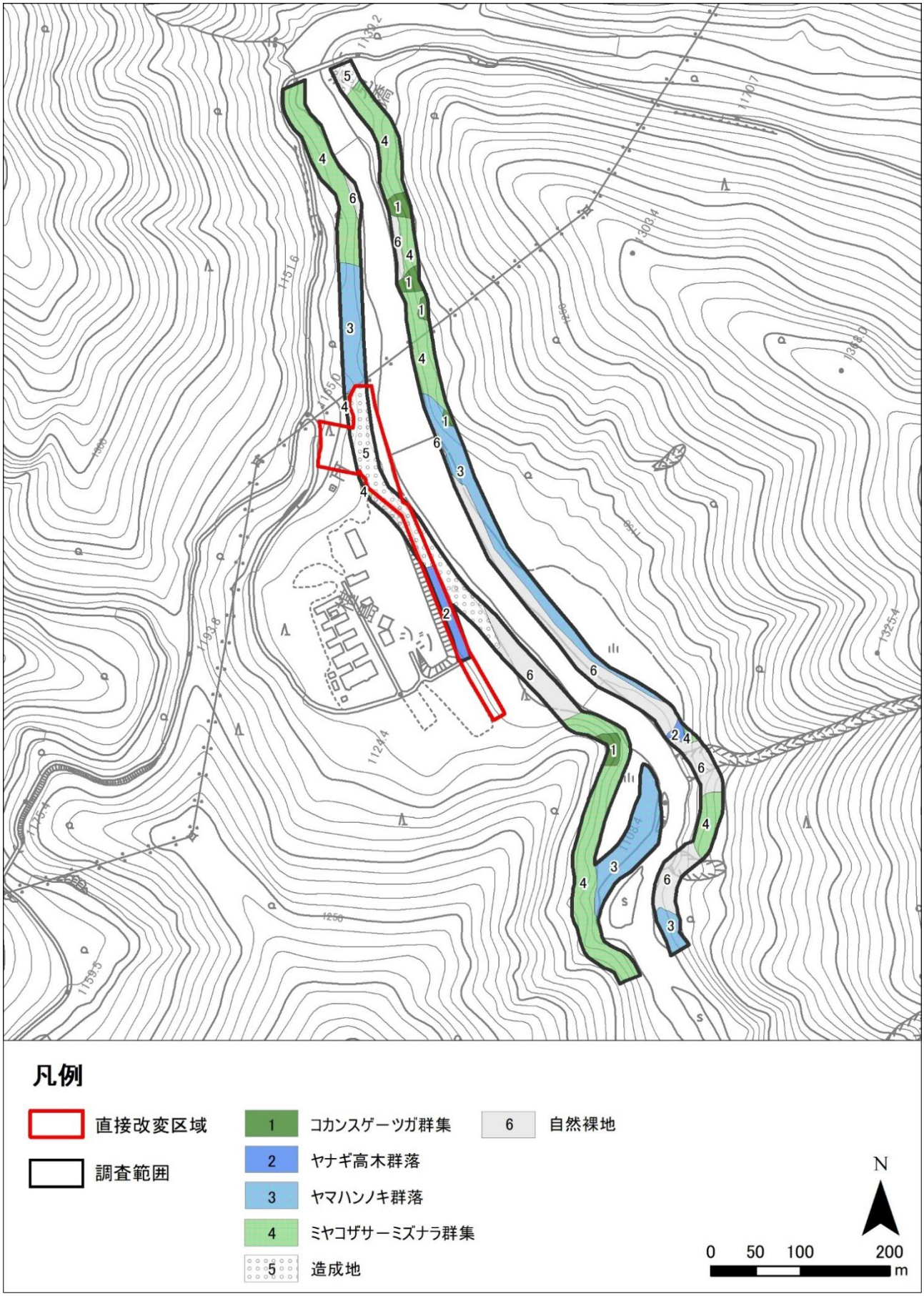


図 582　植生図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度秋季）

表 730　植物群落の調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
1	コカンスゲ-ツガ群集		ツガが優占する群落である。 高木層は、ツガが生育する。亜高木層は、ミズナラ、アカシデ、イタヤカエデ等の落葉広葉樹が生育する。 低木層には、ミツバツツジ、ツガ等が、草本層には、スゲ属 sp.や、イヌヨモギ、イワガラミ、ヒメノガリヤス等が生育する。 本群落は急峻な地形上に成立しており、群落内の踏査は実施不可であるため、出来る範囲での目視確認により調査を行った。
2	ヤナギ高木群落		高木のヤナギ類が優占する群落である。 高木層には、オノエヤナギ、ケヤマハンノキが生育する。亜高木層にはケヤマハンノキ、オノエヤナギ等が、低木層には、イヌシデが生育し、草本層には、イワニガナ、サワグルミ等が生育する。
3	ヤマハンノキ群落		ケヤマハンノキが優占する群落である。高木層は、ケヤマハンノキ、カズミザクラが生育する。亜高木層には、アサダ、クマシデ、ケヤキ等が、低木層には、アラゲアオダモ、ダンコウバイ、アサダ等がそれぞれ生育する。草本層には、クサコアカソ、イワガラミ、テンニンソウ、ウツギ等が生育する。
4	ミヤコザサ-ミズナラ群集		ミズナラが優占する群落である。 高木層には、ミズナラのほか、ミズメが生育する。亜高木層には、ヤシャブシ、アカシデ、ミズメ等が生育する。低木層は、コアジサイ、イタヤカエデ、ムラサキシキブ等が、草本層には、テンニンソウ、クサコアカソ、タマアジサイ等がそれぞれ生育する。
5	造成地		造成により生じた人工的な裸地である。

表 731　植物群落の調査結果：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度秋季）

No.	群落名	現況写真	概要
6	自然裸地		河原の砂礫地や急斜面地の崩壊地である。
7	開放水域		河川等の水面である。

4.8.4. イワナ類を中心とした食物連鎖図（2025 年度）

イワナ類の胃の内容物調査、流下昆虫、落下昆虫調査及び植物群落調査結果をもとに、イワナ類を中心とした食物連鎖図を作成しました。図 583～図 609 に示します。

イワナ類と各生物種を結ぶ線は、胃の内容物の調査で確認された生物種であることを示します。また、各線の色はそれぞれ以下の指標に対応します。

黒色：Manly の餌選択係数

赤色：各生物種の餌重要度指数の全体に対する割合

各指標の計算方法及び考え方を下表に示します。各線の太さは、各指標の算出値の大きさを相対的に示したものです。ただし、線の太さについて各指標間における関係性はありません。

項目	計算方法	考え方
Ｍａｎｌｙの餌選択係数α	$\boldsymbol{\alpha = (r_i/p_i) \diagup \sum (r_i/p_i)}$ r_i：胃の内容物中の湿重量比 p_i：流下昆虫、落下昆虫の湿重量比	環境中に存在する餌資源量の比率（流下昆虫、落下昆虫の湿重量比）と、実際にその餌資源を利用した比率（胃の内容物中の湿重量比）をもとに、餌資源に対する選択性を表現
餌重要度指数ＩＲＩ	$\boldsymbol{IRI = (\%N/\%W) \times \%F}$ $\%N$：胃の内容物中の個体数比 $\%W$：胃の内容物中の湿重量比 $\%F$：ある餌資源を捕食していたイワナの数/全イワナの数	胃内容物として出現した類別の餌資源について、その個体数比と湿重量比から、相対的な重要度を表現

・図中の各生物種に付随する円（●）の大きさは、流下昆虫調査（沢 33 北俣・中俣合流部付近の秋季調査分については底生動物の定量調査）で確認された各生物種の湿重量の違いを相対的に示したものです。なお、「⊕」は湿重量が 0.001g 未満であることを示します。

・また、図中の各生物種に付随する四角（■）の大きさは、落下昆虫調査で確認された各生物種の重量の違いを相対的に示したものです。なお、「田」は重量が 0.001g 未満であることを示しており、「⊠」は胃の内容物調査で確認されたものの、落下昆虫の調査で確認されなかったことを示します。

・魚類等の冬季調査は主要な地点（河 02 西俣（放流箇所下流）、河 10-3 椹島（放流箇所下流②））で実施することとしていることから、沢 33 北俣・中俣合流部）の冬季調査の食物連鎖図は作成していません。

希少種保護のため非公開

図 583　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度春季（体長 10cm 以上 20cm 未満）1/2）



図 584　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度春季（体長 10cm 以上 20cm 未満）2/2）



図 585　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度春季（体長 20cm 以上））



図 586　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度夏季（体長 10cm 以上 20cm 未満）1/2）



図 587　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度夏季（体長 10cm 以上 20cm 未満）2/2）



図 588　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度夏季（体長 20cm 以上）1/2）

希少種保護のため非公開

図 589　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度夏季（体長 20cm 以上）2/2）



図 590　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度秋季（体長 10cm 以上 20cm 未満）1/2）



図 591　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度秋季（体長 10cm 以上 20cm 未満）2/2）



図 592　食物連鎖図：沢 33 北俣・中俣合流部付近（2025 年度秋季（体長 20cm 以上））



図 593　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度春季（体長 10cm 以上 20cm 未満））



図 594　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度春季（体長 20cm 以上））



図 595　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度夏季（体長 10cm 以上 20cm 未満）1/2）



図 596　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度夏季（体長 10cm 以上 20cm 未満）2/2）



図 597　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度夏季（体長 20cm 以上）1/2）



図 598　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度夏季（体長 20cm 以上）2/2）



図 599　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度秋季（体長 10cm 以上 20cm 未満））



図 600　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度秋季（体長 20cm 以上））



図 601　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度冬季（体長 10cm 以上 20cm 未満））



図 602　食物連鎖図：河 02 西俣（放流箇所下流）（2025 年度冬季（体長 20cm 以上））



図 603　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度春季（体長 10cm 以上 20cm 未満））



図 604　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度春季（体長 20cm 以上））

希少種保護のため非公開

図 605　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度夏季（体長 10cm 以上 20cm 未満））

希少種保護のため非公開

図 606　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度夏季（体長 20cm 以上））



図 607　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度秋季（体長 10cm 以上 20cm 未満））



図 608　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度秋季（体長 20cm 以上））



図 609　食物連鎖図：河 10-3 椹島（放流箇所下流②）（2025 年度冬季（体長 10cm 以上 20cm 未満））

5. 発生土置き場からの放流先河川における調査

【事後調査及びモニタリング計画通し番号180】

発生土置き場下流における魚類、底生動物（瀬、淵）、生息・生育環境（水質等、流況）の調査を行いました。

5.1. 調査期間

調査期間を表 732～表 735 に示します。調査時期は、各種の生活史及び生息特性等に応じて設定しました。

表 732　動物（魚類）の調査期間

地点番号	調査地点	調査実施日							
		春季		夏季		秋季		冬季	
		１回目調査	２回目調査	１回目調査	２回目調査	１回目調査	２回目調査	１回目調査	２回目調査
土01	ツバクロ発生土置き場	2021年６月10日	2021年６月14日	2021年８月３日	2021年８月７日	2020年11月２日	2020年11月18日		
土02	イタドリ発生土置き場	2021年５月12日	2021年６月３日	2021年８月５日	2021年８月12日	2020年11月１日	2020年11月15日		
土03	藤島発生土置き場	2021年５月11日	2021年６月１日	2021年７月21日	2021年７月24日	2020年11月２日	2020年11月７日		
土04	中ノ宿2・3発生土置き場	2021年６月2日	2021年６月９日	2021年７月20日	2021年７月23日	2020年11月３日	2020年11月７日		
土05	剃石発生土置き場	2021年６月2日	2021年６月９日	2021年７月19日	2021年７月22日	2020年11月１日	2020年11月19日		

表 733　動物（底生動物（瀬での定量採集））の調査期間

地点番号	調査地点	調査実施日			
		春季	夏季	秋季	冬季
土 01	ツバクロ 発生土置き場	2021 年６月 15 日	2021 年８月３日	2020 年 11 月２日	
土 02	イタドリ 発生土置き場	2021 年５月 12 日	2021 年８月 12 日	2020 年 11 月１日	
土 03	藤島 発生土置き場	2021 年５月 11 日	2021 年７月 21 日	2020 年 11 月２日	
土 04	中ノ宿２・3 発生土置き場	2021 年６月２日	2021 年７月 20 日	2020 年 11 月７日	
土 05	剃石 発生土置き場	2021 年６月２日	2021 年７月 22 日	2020 年 11 月１日	

表 734　動物（底生動物（淵での定量採集））の調査期間

地点番号	調査地点	調査実施日			
		春季	夏季	秋季	冬季
土 01	ツバクロ 発生土置き場	2021 年６月 15 日	2021 年８月３日	2020 年 11 月 2 日	
土 02	イタドリ 発生土置き場	2021 年５月 12 日	2021 年８月 12 日	2020 年 11 月 1 日	
土 03	藤島 発生土置き場	2021 年５月 11 日	2021 年７月 21 日	2020 年 11 月 2 日	
土 04	中ノ宿2・3 発生土置き場	2021 年６月２日	2021 年７月 20 日	2020 年 11 月 7 日	
土 05	剃石 発生土置き場	—※1	—※1	2020 年 11 月 1 日	

注１：「※１」は河川内の礫の堆積状況が変化したことにより淵が消失したため、調査を中止したことを表す。

表 735　生息環境（水質等、流況）の調査期間

地点番号	調査地点	調査実施日			
		春季	夏季	秋季	冬季
土 01	ツバクロ 発生土置き場	2021 年６月 10 日、 14 日、15 日	2021 年７月 30 日 2021 年８月３日、７日	2020 年 11 月２日	
土 02	イタドリ 発生土置き場	2021 年５月 12 日 2021 年６月 15 日	2021 年７月 30 日 2021 年８月５日、12 日	2020 年 11 月１日	
土 03	藤島 発生土置き場	2021 年５月 11 日 2021 年６月 15 日	2021 年７月 21 日、31 日	2020 年 11 月２日	
土 04	中ノ宿2・3 発生土置き場	2021 年６月２日 2021 年６月 12 日	2021 年７月 20 日、31 日	2020 年 11 月１日	
土 05	剃石 発生土置き場	2021 年６月２日 2021 年６月 12 日	2021 年７月 22 日 2021 年８月２日	2020 年 11 月４日	

5.2. 調査結果（2020 年度秋季）

5.2.1. 魚類（2020 年度秋季）

魚類（任意採集）の調査結果を、表 736～表 738 に示します。

表 736　魚類（任意採集）確認種一覧（各地点：2020 年度秋季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域				
					土 01 ツバクロ発生土置き場	土 02 イタドリ発生土置き場	土 03 藤島発生土置き場	土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場	土 05 剃石発生土置き場
					秋季	秋季	秋季	秋季	秋季
希少種保護のため非公開									

[redacted]

表 737　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（土 02 イタドリ発生土置き場・2020 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）
秋季	1	2020/11/1	7.7	希少種保護のため非公開				
	2	2020/11/15	4.5					

表 738　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（土 03 藤島発生土置き場・2020 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）
秋季	1	2020/11/2	8.2	希少種保護のため非公開				
	2	2020/11/7	7.7					

5.2.2.底生動物（瀬での定量採集）（2020 年度秋季）

調査地域別の底生動物（瀬での定量採集）確認種一覧を、表 739～表 743 に示します。

表 739　底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 01 ツバクロ発生土置き場：2020 年度秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						土 01 ツバクロ発生土置き場							
						秋季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	2	0.006						
2				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	3	0.004	4	0.003	5	0.004	6	0.002
3			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*	1	+	2	+	1	+	1	+
4				Rhithrogena 属	*Rhithrogena sp.*	3	0.003	1	+			2	0.003
5		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	*Capniidae sp.*	3	0.004						
6			オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura sp.*	8	0.004	5	0.003	4	0.002	3	+
7			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	*Taeniopterygidae sp.*			1	+			3	0.001
8			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*	5	0.018	2	0.007	1	0.001	3	+
9		ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*	16	0.004	5	+	10	0.003	40	0.012
10			ブユ科	Simulium 属	*Simulium sp.*	13	0.029	4	0.003			2	0.001
計					種数等	3 目 8 科 10 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	54		24		21		60	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.072		0.016		0.01		0.019	
					河床型	早瀬							
					河床材料	細礫（SG）～大石（LB）							
					礫の状況	浮き石							
					流速（cm/秒）	20		30		30		40	
					水深（cm）	30		30		30		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注２：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 740　底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 02 イタドリ発生土置き場：2020 年度秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						土 02 イタドリ発生土置き場							
						秋季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	11	0.006	9	0.014	9	0.003	17	0.017
2			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*			1	+	1	+	2	0.001
3				Rhithrogena 属	*Rhithrogena sp.*	6	0.013	1	0.001	3	0.005	2	0.003
4		カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura sp.*	3	0.002			3	0.002	14	0.005
5			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*					1	+		
6		アミメカゲロウ目（脈翅目）	ヒロバカゲロウ科	ヒロバカゲロウ科	*Osmylidae sp.*			1	0.016				
7		ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Diamesa 属	*Diamesa sp.*					1	+		
8				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*	26	0.007	9	0.002	24	0.007	11	0.003
9			ブユ科	Simulium 属	*Simulium sp.*	28	0.062	4	0.009	2	0.004	4	0.011
計					種数等	4 目 7 科 9 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	74		25		44		50	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.09		0.042		0.021		0.04	
					河床型	早瀬							
					河床材料	砂（S）～大石（LB）							
					礫の状況	浮き石							
					流速（cm/秒）	30		20		30		40	
					水深（cm）	30		30		30		30	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注２：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 741　底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 03 藤島発生土置き場：2020 年度秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						土 03 藤島発生土置き場							
						秋季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	ミズミミズ科	*Naididae sp.*			1	+	1	+		
2	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*					1	+		
3				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	14	0.028	6	0.008	4	0.015	9	0.022
4			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*	1	+	1	+	1	+	3	+
5				Rhithrogena 属	*Rhithrogena sp.*	2	0.016					1	0.014
6		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	*Capniidae sp.*			1	0.001				
7			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	*Leuctridae sp.*							2	+
8			オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura sp.*					1	+		
9				Protonemura 属	*Protonemura sp.*	5	0.007	3	0.002	5	0.005	5	0.004
10			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*	4	0.002	3	0.007	3	0.002	3	0.001
11			アミメカワゲラ科	Skwala 属	*Skwala sp.*	1	0.032						
12		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*							1	0.004
13		ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*	30	0.014	14	0.006	6	0.002	10	0.003
14				Orthocladius 属	*Orthocladius sp.*			1	+	1	+		
-				エリユスリカ亜科	*Orthocladiinae sp.*	2	+			2	+		
15			ブユ科	Simulium 属	*Simulium sp.*	1	+	9	0.019				
計					種数等	5 目 11 科 15 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	60		39		25		34	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.099		0.043		0.024		0.048	
					河床型	早瀬							
					河床材料	砂（S）～大石（LB）							
					礫の状況	浮き石							
					流速（cm/秒）	100		100		100		120	
					水深（cm）	20		20		20		30	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注２：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注３：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

表 742　底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場：2020 年度秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場							
						秋季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais 属	*Nais sp.*	3	+			2	+	8	+
－				ミズミミズ科	*Naididae sp.*	3	+	2	+				
2	軟甲綱	ワラジムシ目	ミズムシ科（甲）	Mackinia 属	*Mackinia sp.*	3	+						
3	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	Cincticostella 属	*Cincticostella sp.*					1	+		
4			コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*							1	+
5				フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*					3	0.016		
6				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	20	0.039	16	0.035	15	0.087	18	0.087
7			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*	2	+	1	+	2	0.001	1	+
8				ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*					2	0.009		
9				Rhithrogena 属	*Rhithrogena sp.*	6	0.003			2	0.006		
10		カワゲラ目（セキ翅	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	*Capniidae sp.*			1	+	1	0.004	5	0.014
11			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	*Leuctridae sp.*	1	+						
12			オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura sp.*			8	0.011	15	0.021	5	0.005
13			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	*Taeniopterygidae sp.*					1	+		
14			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*	2	0.005	1	0.002				
15			アミメカワゲラ科	ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*			1	0.056	2	0.049		
16				ニッコウアミメカワゲラ	*Sopkalia yamadae*					1	0.059		
17				Tadamus 属	*Tadamus sp.*	1	19	1	0.018			1	0.025
18		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*			1	0.002	2	0.006		
19		ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Corynoneura 属	*Corynoneura sp.*					1	+		
20				Diamesa 属	*Diamesa sp.*	1	+						
21				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*	22	0.008	23	0.011	22	0.011	23	0.012
22				Orthocladius 属	*Orthocladius sp.*	2	+					3	+
23			ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium sp.*	1	+						
24				Simulium 属	*Simulium sp.*			6	0.016	7	0.021		
計					種数等	6 目 14 科 24 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	67		61		79		65	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	19.055		0.151		0.29		0.143	
					河床型	早瀬							
					河床材料	砂（S）～大石（LB）							
					礫の状況	浮き石							
					流速（cm/秒）	100		100		100		100	
					水深（cm）	30		30		20		30	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注２：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注３：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

表 743　底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 05 剃石発生土置き場：2020 年度秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						土 05 剃石発生土置き場							
						秋季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais 属	*Nais sp.*							2	+
2	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			1	+			1	+
3				サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*	1	+						
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	+	6	0.008	4	0.006	6	0.027
5			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*	1	+					6	0.003
6				ユミモンヒラタカゲロウ	*Epeorus nipponicus*					1	0.007		
7				Rhithrogena 属	*Rhithrogena sp.*					1	0.011		
8		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	*Capniidae sp.*	1	+						
9			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	*Leuctridae sp.*							2	+
10			オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura sp.*			5	0.007	10	0.005		
11			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*			2	0.003	3	0.005	1	+
12		ハエ目（双翅目）	アミカ科	クロバアミカ	*Bibiocephala infuscata infuscata*			1	0.025				
13			ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*	17	0.011	82	0.067	12	0.009	30	0.023
14				Orthocladius 属	*Orthocladius sp.*							1	+
－				エリユスリカ亜科	*Orthocladiinae sp.*					1	+	1	+
15			ブユ科	Simulium 属	*Simulium sp.*			9	0.013				
計					種数等	4 目 10 科 15 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	21		106		32		50	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.011		0.123		0.043		0.053	
					河床型	早瀬							
					河床材料	砂（S）～大石（LB）							
					礫の状況	浮き石							
					流速（cm/秒）	20		40		30		30	
					水深（cm）	10		20		20		20	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注２：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注３：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

5.2.3.底生動物（淵での定量採集）（2020 年度秋季）

調査地域別の底生動物（淵での定量採集）確認種一覧を、表 744～表 745 に示します。

表 744　底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 01 ツバクロ発生土置き場、土 02 イタドリ発生土置き場：2020 年度秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域			
						土 01 ツバクロ発生土置き場		土 02 イタドリ発生土置き場	
						秋季		秋季	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus sp.*	1	+		
2		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	*Capniidae sp.*	6	0.013		
3			オナシカワゲラ科	Nemoura 属	*Nemoura sp.*	1	0.001		
4				Protonemura 属	*Protonemura sp.*			1	0.002
5			アミメカワゲラ科	Isoperla 属	*Isoperla sp.*			1	0.009
6				ヒロバネアミメカワゲラ	*Pseudomegarcys japonica*	1	0.016		
7		トビケラ目（毛翅目）	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma sp.*			1	0.006
8			ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属 (Retracta group)	*Rhyacophila sp. (Retracta group)*			2	0.009
9		ハエ目（双翅目）		Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*	34	0.011	54	0.018
計					種数	3 目 5 科 5 種		3 目 5 科 5 種	
					個体数(タモ網 1 回)	43		59	
					湿重量(g/タモ網 1 回)	0.041		0.044	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注２：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注３：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

表 745　底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 03 藤島発生土置き場～土 05 剃石発生土置き場：2020 年度秋季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域					
						土 03 藤島発生土置き場		土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場		土 05 剃石発生土置き場	
						秋季		秋季		秋季	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais 属	*Nais sp.*	5	+	7	+		
2	軟甲綱	ワラジムシ目	ミズムシ科（甲）	Mackinia 属	*Mackinia sp.*			2	+		
3	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	オオマダラカゲロウ	*Drunella basalis*			1	0.014		
4			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus sp.*	10	0.033	1	0.003		
5			コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*			1	+		
6				サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*			5	0.011		
7				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*			3	0.015	3	0.018
8			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula sp.*	10	0.004	7	0.003		
9				Rhithrogena 属	*Rhithrogena sp.*	1	+	3	0.008	2	+
10		カワゲラ目（セキ翅目）	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	*Capniidae sp.*	1	0.001	3	+		
11			ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	*Leuctridae sp.*			3	+	2	+
12			オナシカワゲラ科	Nemoura 属	*Nemoura sp.*					1	+
13				Protonemura 属	*Protonemura sp.*					2	+
14			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	*Chloroperlidae sp.*			4	0.006	1	0.002
15			アミメカワゲラ科	Tadamus 属	*Tadamus sp.*			1	0.028		
16				アミメカワゲラ科	*Perlodidae sp.*	1	0.001				
17		トビケラ目（毛翅目）	カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma sp.*	1	+				
18		ハエ目（双翅目）	ガガンボ科	Tipula 属	*Tipula sp.*	1	0.213				
19			ユスリカ科	Corynoneura 属	*Corynoneura sp.*	3	+				
20				Diamesa 属	*Diamesa sp.*			1	+		
21				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella sp.*	5	0.004	43	0.021	12	0.009
22				Orthocladius 属	*Orthocladius sp.*	2	+	17	0.007		
23				Rheocricotopus 属	*Rheocricotopus sp.*	1	+				
24				Thienemanniella 属	*Thienemanniella sp.*			1	+		
－				エリユスリカ亜科	*Orthocladiinae sp.*	10	0.007	16	0.003		
計					種数	5 目 8 科 12 種		5 目 11 科 17 種		3 目 6 科 7 種	
					個体数(タモ網 1 回)	51		119		23	
					湿重量(g/タモ網 1 回)	0.263		0.119		0.029	

注１：分類、配列等は原則として「河川水辺の国勢調査　令和元年度版生物リスト」（令和元年、国土交通省）に準拠した。
注２：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。
注３：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。

5.2.4.生息・生育環境（水質等、流況）（2020 年度秋季）

生息・生育 環境（水質等、流況）について、調査時期、調査地域別の調査結果を、表 746～表 747、図 610～図 614 に示します。

表 746　調査地域、調査時期別の水質等の調査結果：2020 年度秋季

地点番号	調査地点	調査時期							
		秋季				冬季			
		SS (mg/l)	DO (mg/l)	pH	水温 (℃)	SS (mg/l)	DO (mg/l)	pH	水温 (℃)
土 01	ツバクロ 発生土置き場	1.0 未満	8.0	7.2	7.3				
土 02	イタドリ 発生土置き場	1.0 未満	10.0	7.8	7.7				
土 03	藤島 発生土置き場	1.0 未満	8.7	9.2	8.2				
土 04	中ノ宿2・3 発生土置き場	1.0 未満	8.8	8.0	9.3				
土 05	剃石 発生土置き場	1.0 未満	9.8	7.9	7.2				

注１：2020 年９月の生物多様性専門部会委員との意見交換でのご意見を踏まえ、秋季調査以降に実施した。
注２：SS（浮遊物質量）は排水放流箇所の下流地点（土 01 ツバクロ発生土置き場、土 02 イタドリ発生土置き場、土 03 藤島発生土置き場、土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場、土 05 剃石発生土置き場）で計測した。
注３：冬季調査は、主要な３地点（河 02 西俣川（柳島付近）、河 08 大井川（千石付近）、河 10 大井川（椹島付近））で実施することとしている。

表 747　調査地域、調査時期別の流況の調査結果：2020 年度秋季

地点番号	調査地点	調査時期							
		春季		夏季		秋季		冬季	
		流量 (m^3/秒)	流速 (m/秒)	流量 (m^3/秒)	流速 (m/秒)	流量 (m^3/秒)	流速 (m/秒)	流量 (m^3/秒)	流速 (m/秒)
土 01	ツバクロ 発生土置き場	—	—	—	—	約 4.8	約 0.9		
土 02	イタドリ 発生土置き場	—	—	—	—	約 1.0	約 0.3		
土 03	藤島 発生土置き場	—	—	—	—	約 5.8	約 0.8		
土 04	中ノ宿2・3 発生土置き場	—	—	—	—	約 11.2	約 1.0		
土 05	剃石 発生土置き場	—	—	—	—	約 2.6	約 0.5		

注１：各調査地点の瀬の代表１断面で実施した結果を記載した。
注２：冬季調査は、主要な３地点（河 02 西俣川（柳島付近）、河 08 大井川（千石付近）、河 10 大井川（椹島付近））で実施することとしている。
注４：「※」は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。

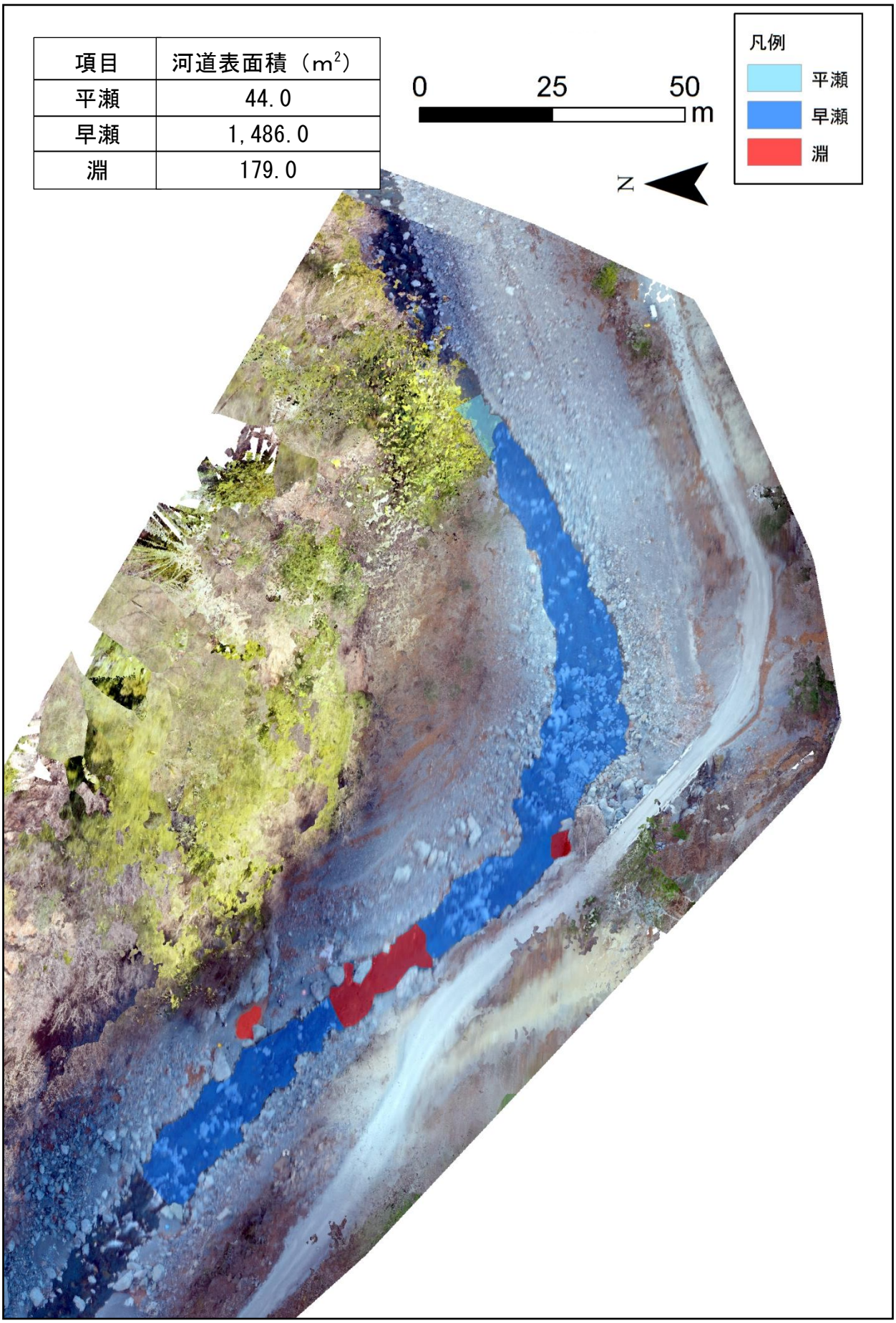


図 610 UAV による調査結果（土 01 ツバクロ発生土置き場：2020 年度秋季）

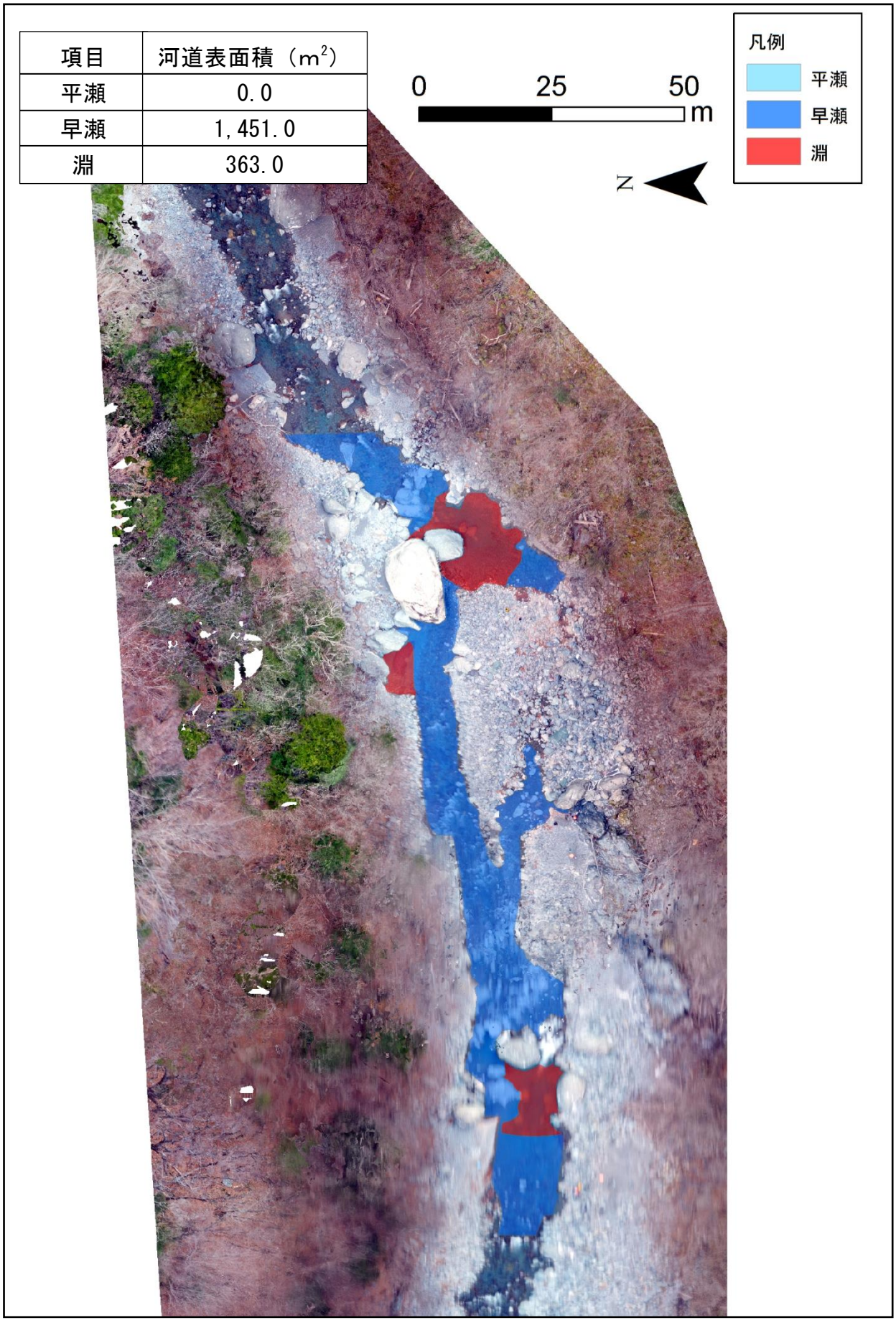
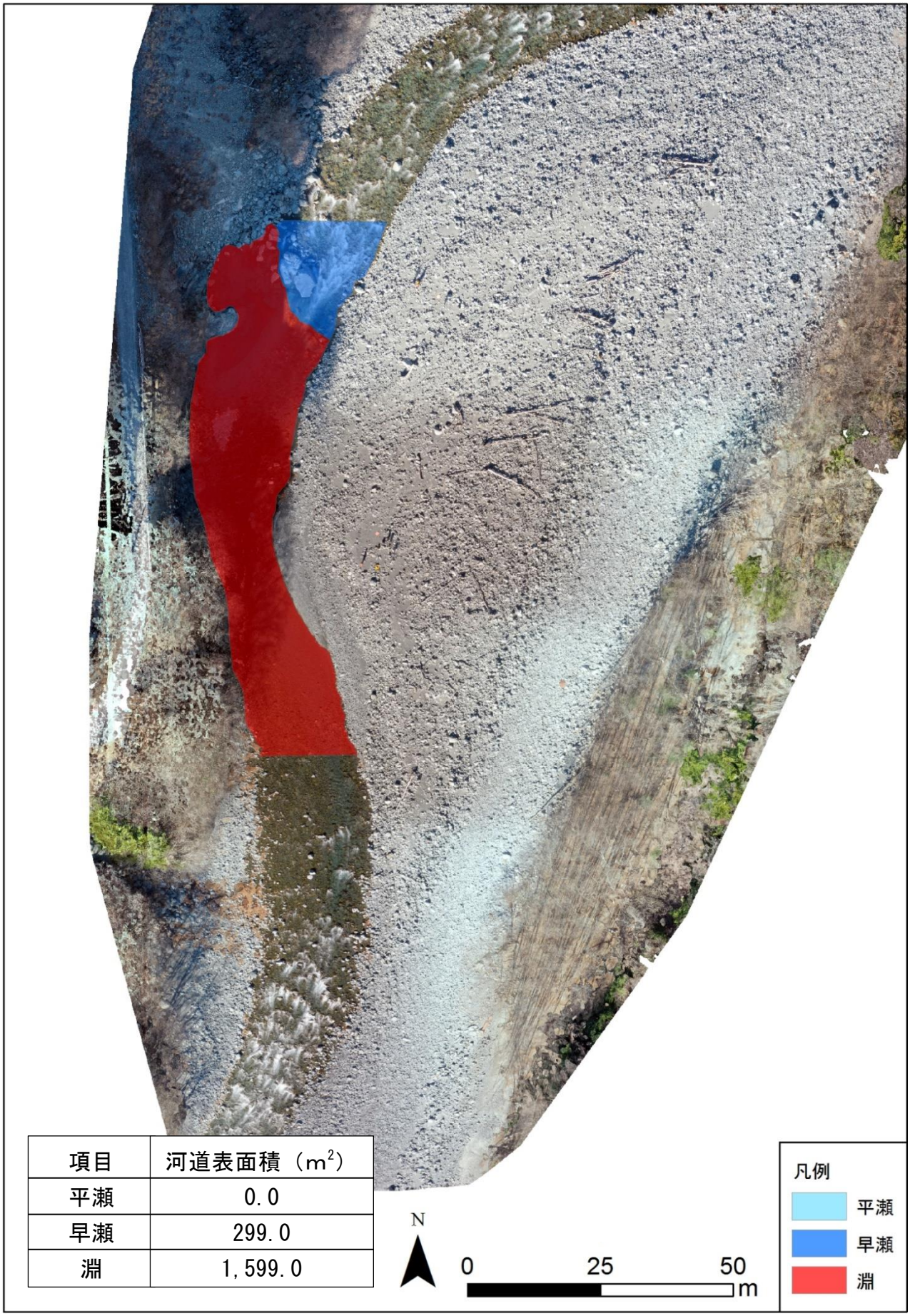


図 611 UAV による調査結果（土 02 イタドリ発生土置き場：2020 年度秋季）



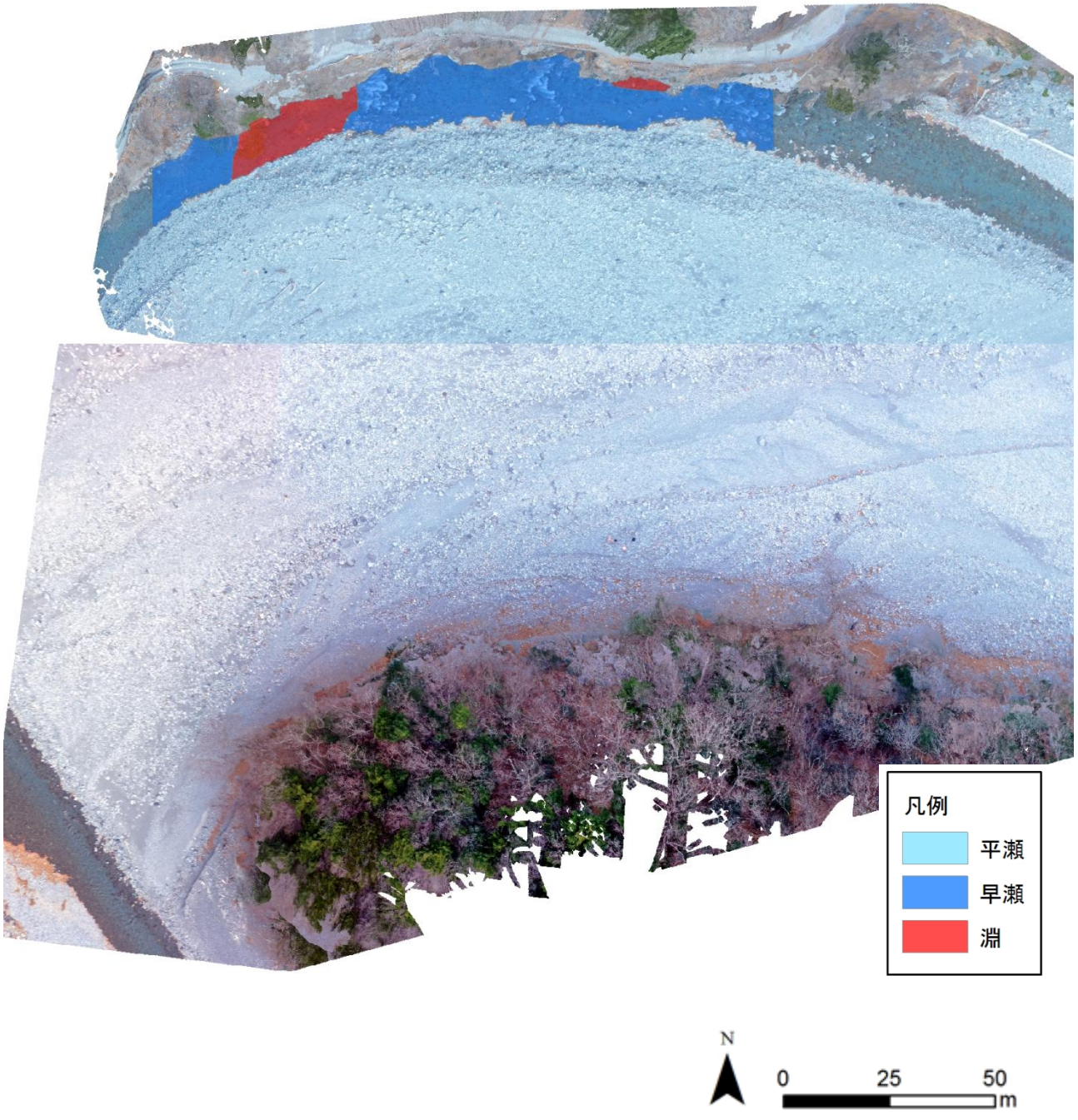
項目	河道表面積（m^2）
平瀬	0.0
早瀬	2,583.0
淵	133.0

図 612 UAV による調査結果（土 03 藤島発生土置き場：2020 年度秋季）



項目	河道表面積（m^2）
平瀬	0.0
早瀬	299.0
淵	1,599.0

図 613 UAV による調査結果（土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場：2020 年度秋季）



項目	河道表面積（m^2）
平瀬	0.0
早瀬	1,444.0
淵	322.0

図 614 UAV による調査結果（土 05 剝石発生土置き場：2020 年度秋季）

5.3.　調査結果（2021 年度春季・夏季）

5.3.1.魚類（任意採集）（2021 年度春季・夏季）

魚類（任意採集）の調査結果を、表 748～表 753 に示します。

表 748　魚類（任意採集）確認種一覧（各地点：2021 年度春季・夏季）

No.	目名	科名	種名	学名	調査地域									
					土 01 ツバクロ発生土置き場		土 02 イタドリ発生土置き場		土 03 藤島発生土置き場		土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場		土 05 剃石発生土置き場	
					春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季
希少種保護のため非公開														

[redacted]

表 749　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（土 01 ツバクロ発生土置き場・2021 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）
春季	1	2021/6/10	13.3	希少種保護のため非公開				
夏季	1	2021/8/3	17.2					
	2	2021/8/7	14.2					

注：春季調査の２回目調査では、魚類は確認されなかった。

表 750　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（土 02 イタドリ発生土置き場・2021 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）
春季	1	2021/5/12	7.8	希少種保護のため非公開				
	2	2021/6/3	12.7					
夏季	1	2021/8/5	13.7					
	2	2021/8/12	13.2					

表 751(1)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（土 03 藤島発生土置き場・2021 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）
春季	1	2021/5/11	11.8	希少種保護のため非公開				
	2	2021/6/1	10.2					
夏季	1	2021/7/21	14.5					

表 751(2)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（土 03 藤島発生土置き場・2021 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）
夏季	2	2021/7/24	14.3	希少種保護のため非公開				

表 752　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（土 04 中ノ宿２・３発生土置き場・2021 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）
春季	1	2021/6/2	13.4	希少種保護のため非公開				
	2	2021/6/9	14.3					
夏季	1	2021/7/20	17.8					
	2	2021/7/23	15.4					

表 753(1)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（土 05 剝石発生土置き場・2021 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）
春季	1	2021/6/2	12.8	希少種保護のため非公開				
	2	2021/6/9	11.9					

表 753(2)　地点別の魚類（任意採集）確認種の概要及び総生息数（推定値）（土 05 剝石発生土置き場・2021 年度）

調査時期	調査回	調査日	水温（℃）	個体 No.	種名	体長（cm）	マーキング個体の再捕獲の有無	魚類の総生息数（推定値）
春季	2	2021/6/9	11.9	希少種保護のため非公開				

5.3.2.底生動物（瀬での定量採集）（2021 年度春季・夏季）

調査地域別の底生動物（瀬での定量採集）確認種一覧を、表 754～表 763 に示します。

表 754　底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 01 ツバクロ発生土置き場：2021 年度春季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						土 01 ツバクロ発生土置き場							
						春季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.							1	+
2			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*							1	+
3				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	2	+	3	0.001	4	0.004	3	+
4			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.					1	0.003		
5				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*			8	0.016	21	0.054	3	0.005
6				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.			4	0.008	1	+	5	0.003
－				ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae sp.	1	+						
7		カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.					1	+		
8			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	1	+	3	0.003	8	0.026	1	0.001
9		ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.							1	+
計					種数	3 目 6 科 9 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	4		18		36		15	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	+		0.028		0.087		0.009	
					河床型	早瀬							
					河床材料	石礫～小石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	90		70		70		80	
					水深(cm)	35		17		17		30	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 755　底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 01 ツバクロ発生土置き場：2021 年度夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						土 01 ツバクロ発生土置き場							
						夏季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.					2	0.011		
2			コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*			1	+				
3				フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			1	+	5	0.013		
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	22	0.066	5	0.017	32	0.096	20	0.062
5			ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	13	0.091	3	0.011	22	0.264	8	0.052
6				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	7	0.018	6	0.041	8	0.049	4	+
7		カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.					2	0.008		
8			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	13	0.071	12	0.058	13	0.052	7	0.035
9			カワゲラ科	Calineuria 属	*Calineuria* sp.	1	0.327						
10			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*							1	0.044
11		トビケラ目（毛翅目）	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.					1	+		
12		ハエ目（双翅目）	アミカ科	Blepharicera 属	*Blepharicera* sp.	1	0.011						
−				アミカ科	Blephariceridae sp.							2	+
13			ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia* sp.			1	+				
14				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	5	+	1	+	10	0.004	2	+
15				Pagastia 属	*Pagastia* sp.					1	+		
16				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.			6	+				
17			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	5	0.007	11	0.022	2	+	2	+
計					種数	4 目 11 科 17 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	67		47		98		46	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.591		0.149		0.497		0.193	
					河床型	早瀬							
					河床材料	石礫～中石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	40		50		70		40	
					水深(cm)	20		25		30		15	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 756　底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 02 イタドリ発生土置き場：2021 年度春季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						土 02 イタドリ発生土置き場							
						春季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*			1	0.004				
2			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	5	0.041						
3			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			5	0.017			1	0.003
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	94	0.287	35	0.112	18	0.051	68	0.224
5			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	3	0.014					1	0.012
6				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	45	0.255	53	0.401	12	0.079	25	0.136
7				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	13	0.051	11	0.077	2	0.005	5	0.034
8		カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.	1	0.002			2	0.007	1	0.002
9				Nemoura 属	*Nemoura* sp.					2	0.005		
10				Protonemura 属	*Protonemura* sp.	2	0.006			1	0.004	6	0.031
11			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.			1	0.009			1	0.008
12			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	17	0.064	21	0.073	15	0.062	15	0.085
13		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	シロズシマトビケラ	*Hydropsyche albicephala*	2	0.041						
14			カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.	2	0.028						
15		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.	1	0.006			1	0.004	1	0.004
16			ユスリカ科	Cardiocladius 属	*Cardiocladius* sp.					5	0.008		
17				Diamesa 属	*Diamesa* sp.			2	0.003	18	0.061	1	+
18				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.			2	+	3	+	2	+
19				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.	6	+					3	+
20				Orthocladius 属	*Orthocladius* sp.					1	+		
21				Parametriocnemus 属	*Parametriocnemus* sp.							3	+
22				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.	1	+						
計					種数	4 目 11 科 22 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	192		131		80		133	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.795		0.696		0.286		0.539	
					河床型	早瀬							
					河床材料	石礫～小石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	20		30		60		30	
					水深(cm)	25		20		30		30	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 757　底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 02 イタドリ発生土置き場：2021 年度夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						土 02 イタドリ発生土置き場							
						夏季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais 属	*Nais* sp.	1	+						
2	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	ヨシノマダラカゲロウ	*Drunella ishiyamana*							1	0.039
3				フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*	1	0.061						
4			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*					1	0.002		
5				サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*	5	0.068						
6				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	25	0.429	24	0.418	35	0.368	7	0.027
7			ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*					1	0.016		
8				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*	1	0.037						
9			ヒラタカゲロウ科	Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	14	0.281	13	0.212	15	0.456	8	0.101
10		カワゲラ目（セキ翅目）	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	4	0.002			3	0.004		
11		トビケラ目（毛翅目）	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.	1	0.013			1	+	1	+
12		ハエ目（双翅目）	アミカ科	アミカ科	Blephariceridae sp.					1	0.009		
13			ユスリカ科	Cardiocladius 属	*Cardiocladius* sp.	1	+						
14				Diamesa 属	*Diamesa* sp.			1	+			1	+
15				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	5	+	3	+	4	+	5	+
16				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.	3	+						
17			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.			2	+	20	0.019	23	0.021
計					種数	5 目 9 科 17 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	61		43		81		46	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.891		0.630		0.874		0.188	
					河床型	早瀬							
					河床材料	石礫～中石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	50		60		60		60	
					水深(cm)	20		15		20		15	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 758　底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 03 藤島発生土置き場：2021 年度春季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						土 03 藤島発生土置き場							
						春季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	Nais 属	*Nais* sp.			4	+	1	+	1	+
2	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*					1	0.011		
3			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.			5	0.025	2	0.006		
4			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*							8	0.025
5				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	10	0.011	62	0.141	21	0.047	32	0.077
6			ヒラタカゲロウ科	Ecdyonurus 属	*Ecdyonurus* sp.	1	0.004						
7				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*			20	0.106	14	0.072	40	0.208
8				エルモンヒラタカゲロウ	*Epeorus latifolium*	1	0.004						
9				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	16	0.035	15	0.029	6	0.017	23	0.069
10		カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.			2	0.004			3	0.008
11				Nemoura 属	*Nemoura* sp.							2	0.004
12				Protonemura 属	*Protonemura* sp.							5	0.012
13			シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	Taeniopterygidae sp.							1	0.005
14			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	10	0.018	12	0.025	1	0.003	18	0.061
15		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*							1	+
16			ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.					3	0.012	2	0.008
17		ハエ目（双翅目）	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.			1	0.007	1	0.012	1	0.009
18			ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.			3	+			2	+
19				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.			3	+	1	+	1	+
20				Parametriocnemus 属	*Parametriocnemus* sp.			2	+	2	+	3	+
21				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.			1	+			8	+
22				モンユスリカ亜科	Tanypodinae sp.	2	+			1	+		
23			ブユ科	Prosimulium 属	*Prosimulium* sp.							3	0.002
24				Simulium 属	*Simulium* sp.							30	0.211
計					種数	5 目 13 科 24 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	40		130		54		184	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.072		0.337		0.180		0.699	
					河床型	早瀬							
					河床材料	石礫～小石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	20		30		30		30	
					水深(cm)	20		20		20		25	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 759　底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 03 藤島発生土置き場：2021 年度夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						土 03 藤島発生土置き場							
						夏季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*					2	+	1	+
2				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	8	0.011	1	+	6	0.009	5	0.001
3			ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	2	0.018	6	0.035	2	0.008	4	0.031
4				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	18	0.057	1	+	3	0.007	6	0.019
5		カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Protonemura 属	*Protonemura* sp.			1	+				
6			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	10	0.021	28	0.051	29	0.056	7	0.021
7		ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	Hexatoma 属	*Hexatoma* sp.	1	0.026						
8			アミカ科	アミカ科	Blephariceridae sp.			1	+	1	+		
9			ユスリカ科	Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.	1	+	1	+			4	+
10				モンユスリカ亜科	Tanypodinae sp.	1	+	1	+				
11			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	2	+	6	+	6	+		
計					種数	3 目 8 科 11 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	43		46		49		27	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.133		0.086		0.080		0.072	
					河床型	早瀬							
					河床材料	石礫～小石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	40		70		50		50	
					水深(cm)	25		20		20		25	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 760　底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場：2021 年度春季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						土 04 中ノ宿 2･3 発生土置き場							
						春季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	10	0.012	8	0.012	1	0.001		
2			ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	5	0.031	18	0.053	8	0.012	30	0.152
3				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	7	0.041	8	0.021	6	0.011	5	0.058
4		カワゲラ目（セキ翅目）	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	15	0.027	10	0.018	8	0.017	19	0.055
5			カワゲラ科	カワゲラ科	Perlidae sp.			1	0.008				
6		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*			1	0.005				
計					種数	3 目 5 科 6 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	37		46		23		54	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.111		0.117		0.041		0.265	
					河床型	早瀬							
					河床材料	石礫～小石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	70		100		100		100	
					水深(cm)	20		25		25		25	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 761　底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場：2021 年度夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						土 04 中ノ宿 2･3 発生土置き場							
						夏季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*					2	+	1	+
2				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	1	+	3	+	8	0.009	2	+
3			ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*			3	0.021			2	0.005
4				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	11	0.011	7	0.033	6	0.021	10	0.037
5		カワゲラ目（セキ翅目）	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	1	0.002	16	0.048	16	0.029	6	0.019
6			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*					1	0.025		
7		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	Diplectrona 属	*Diplectrona* sp.			1	0.021				
8		ハエ目（双翅目）	ユスリカ科	Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.							2	+
9				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.			1	+	2	+		
10				モンユスリカ亜科	Tanypodinae sp.			1	+	1	+		
計					種数	4 目 6 科 10 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	13		32		36		23	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.013		0.123		0.084		0.061	
					河床型	早瀬							
					河床材料	石礫～小石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	30		60		60		40	
					水深(cm)	30		20		25		20	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 762　底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 05 剃石発生土置き場：2021 年度春季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						土 05 剃石発生土置き場							
						春季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	1	+						
2			コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	2	0.003						
3				フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*			3	0.005			1	0.001
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	8	0.012	10	0.011	5	0.002	1	+
5			ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	22	0.105	25	0.119	11	0.051	13	0.057
6				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	14	0.038	20	0.044	15	0.042	10	0.013
7		カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.					1	+		
8			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	17	0.038	24	0.098	12	0.021	7	0.022
計					種数	2 目 5 科 8 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	64		82		44		32	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.196		0.277		0.116		0.093	
					河床型	早瀬							
					河床材料	石礫～小石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	110		110		110		110	
					水深(cm)	30		30		30		30	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 763　底生動物（瀬での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 05 剃石発生土置き場：2021 年度夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						土 05 剃石発生土置き場							
						夏季							
						定量 1		定量 2		定量 3		定量 4	
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*	1	0.041						
2			コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	*Alainites yoshinensis*	2	+						
3				フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*					1	+		
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	5	0.005	17	0.032	10	0.008	5	0.009
5			ヒラタカゲロウ科	キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	1	0.005	2	0.014	2	0.009	4	0.038
6				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	7	0.013	20	0.089	17	0.051	8	0.041
7		カワゲラ目（セキ翅目）	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	2	+	1	+	11	0.022	14	0.042
8			アミメカワゲラ科	オオアミメカワゲラ	*Megarcys ochracea*							1	0.069
9		トビケラ目（毛翅目）	ヤマトビケラ科	Glossosoma 属	*Glossosoma* sp.			1	+				
10		ハエ目（双翅目）	アミカ科	Blepharicera 属	*Blepharicera* sp.					1	0.007		
−				アミカ科	Blephariceridae sp.							3	+
11			ユスリカ科	Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.							1	+
12				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.							1	+
13			ブユ科	Simulium 属	*Simulium* sp.	1	+	5	0.009	8	0.002	16	0.036
計					種数	4 目 9 科 13 種							
					個体数(/25cm×25cm×1 回)	19		46		50		53	
					湿重量(g/25cm×25cm×1 回)	0.064		0.144		0.099		0.235	
					河床型	早瀬							
					河床材料	石礫～中石							
					礫の状況	浮石							
					流速(cm/秒)	20		40		90		90	
					水深(cm)	20		30		25		25	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

5.3.3.底生動物（淵での定量採集）（2021 年度春季・夏季）

調査地域別の底生動物（淵での定量採集）確認種一覧を、表 764～表 766 に示します。

表 764　底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 01 ツバクロ発生土置き場：2021 年度春季・夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域			
						土 01 ツバクロ発生土置き場			
						春季		夏季	
						定量(淵)			
						個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	6	0.022		
2		カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Nemoura 属	*Nemoura* sp.	1	0.001		
3				Protonemura 属	*Protonemura* sp.	7	0.022		
4			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	14	0.068	14	0.034
5		トビケラ目(毛翅目)	カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.	3	0.046	1	0.006
6			エグリトビケラ科	ヤマガタトビイロトビケラ	*Nothopsyche yamagataensis*	3	0.267		
7		ハエ目(双翅目)		Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.	1	+	10	0.006
計					種数	4 目 6 科 7 種		3 目 3 科 3 種	
					個体数(タモ網 1 回)	35		25	
					湿重量(g/タモ網 1 回)	0.426		0.046	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 765　底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 02 イタドリ発生土置き場：2021 年度春季・夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域			
						土 02 イタドリ発生土置き場			
						春季		夏季	
						定量(淵)			
						個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	15	0.131		
2			コカゲロウ科	サホコカゲロウ	*Baetis sahoensis*			3	0.006
3				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	2	0.006		
4			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	4	0.028		
5				キイロヒラタカゲロウ	*Epeorus aesculus*	2	0.011		
6				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	3	0.013	2	0.001
7		カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Amphinemura 属	*Amphinemura* sp.	1	0.001		
8			ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	22	0.105	13	0.021
9		トビケラ目(毛翅目)	カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	*Lepidostoma* sp.	10	0.251		
10		ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia* sp.	1	+		
11				Diamesa 属	*Diamesa* sp.	5	0.015		
12				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.	10	0.006		
13				Polypedilum 属	*Polypedilum* sp.	2	+	1	+
14				モンユスリカ亜科	Tanypodinae sp.	1	+		
計					種数	4 目 7 科 13 種		3 目 4 科 4 種	
					個体数(タモ網 1 回)	78		19	
					湿重量(g/タモ網 1 回)	0.567		0.028	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

表 766　底生動物（淵での定量採集）確認種、個体数及び湿重量一覧（土 03 藤島発生土置き場、土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場：2021 年度春季・夏季）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査地域							
						土 03 藤島発生土置き場				土 04 中ノ宿 2･3 発生土置き場			
						春季		夏季		春季		夏季	
						定量(淵)				定量(淵)			
						個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	マダラカゲロウ科	フタマタマダラカゲロウ	*Drunella sachalinensis*					1	0.012		
2			ヒメフタオカゲロウ科	Ameletus 属	*Ameletus* sp.	2	0.003						
3			コカゲロウ科	フタバコカゲロウ	*Baetiella japonica*	1	0.003						
4				シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	22	0.051	4	0.004	6	0.009		
5			ヒラタカゲロウ科	Cinygmula 属	*Cinygmula* sp.	5	0.028			4	0.016		
6				Rhithrogena 属	*Rhithrogena* sp.	17	0.031	11	0.009	7	0.023	1	+
7		カワゲラ目(セキ翅目)	ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科	Chloroperlidae sp.	40	0.141	12	0.037	11	0.031		
8			カワゲラ科	ヤマトカワゲラ	*Niponiella limbatella*							1	0.235
9		トビケラ目(毛翅目)	コエグリトビケラ科	Apatania 属	*Apatania* sp.	2	+						
10		ハエ目(双翅目)	オビヒメガガンボ科	Dicranota 属	*Dicranota* sp.	1	0.013						
11			ユスリカ科	Brillia 属	*Brillia* sp.	2	+						
12				Eukiefferiella 属	*Eukiefferiella* sp.	1	+						
13				Micropsectra 属	*Micropsectra* sp.	60	0.021						
14				Parametriocnemus 属	*Parametriocnemus* sp.	2	+						
計					種数	4 目 7 科 12 種		3 目 4 科 4 種		2 目 4 科 5 種		2 目 2 科 2 種	
					個体数(タモ網 1 回)	155		28		29		2	
					湿重量(g/タモ網 1 回)	0.291		0.050		0.091		0.235	

注１：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査　令和３年度版生物リスト」（令和３年、国土交通省）に準拠した。
注２：種、亜種までの同定がされなかったもので、同一の分類群に属する種がリストアップされている場合は、種数を計数しなかった。
注３：湿重量欄の「+」は、湿重量が 0.001g 未満であることを示す。

5.3.4.生息・生育環境（水質等、流況）（2021 年度春季・夏季）

生息・生育 環境（水質等、流況）について、調査時期、調査地域別の調査結果を、表 767～表 768、図 615～図 624 に示します。

表 767　調査地域、調査時期別の水質等の調査結果：2021 年度春季・夏季

地点番号	調査地点	調査時期							
		春季				夏季			
		SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	pH	水温 (℃)
土 01	ツバクロ 発生土置き場	1.0 未満	9.6	7.5	13.3	1.2	9.7	8.2	14.2
土 02	イタドリ 発生土置き場	1.0 未満	11.1	8.1	7.8	1.0 未満	9.6	8.1	13.2
土 03	藤島 発生土置き場	1.0 未満	10.0	8.1	11.8	1.0 未満	10.1	8.1	14.5
土 04	中ノ宿2・3 発生土置き場	3.2	9.6	8.1	13.4	1.0 未満	9.4	8.1	17.8
土 05	剃石 発生土置き場	1.0 未満	10.2	8.1	12.8	1.0 未満	9.8	7.9	15.7

注１：SS（浮遊物質量）は排水放流箇所の下流地点（土 01 ツバクロ発生土置き場、土 02 イタドリ発生土置き場、土 03 藤島発生土置き場、土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場、土 05 剃石発生土置き場）で計測した。

表 768　調査地域、調査時期別の流況の調査結果：2021 年度春季・夏季

地点番号	調査地点	調査時期							
		春季		夏季		秋季		冬季	
		流量 (m^3/秒)	流速 (m/秒)	流量 (m^3/秒)	流速 (m/秒)	流量 (m^3/秒)	流速 (m/秒)	流量 (m^3/秒)	流速 (m/秒)
土 01	ツバクロ 発生土置き場	約 4.3	約 0.9	約 1.8	約 0.4	―	―		
土 02	イタドリ 発生土置き場	約 0.7	約 0.2	約 1.1	約 0.2	―	―		
土 03	藤島 発生土置き場	約 3.9	約 0.5	約 3.7	約 0.7	―	―		
土 04	中ノ宿2・3 発生土置き場	約 4.0	約 0.5	約 3.5	約 0.5	―	―		
土 05	剃石 発生土置き場	約 3.5	約 0.8	約 2.5	約 0.7	―	―		

注１：各調査地点の瀬の代表１断面で実施した結果を記載した。

注２：冬季調査は、主要な３地点（河 02 西俣川（柳島付近）、河 08 大井川（千石付近）、河 10 大井川（椹島付近））で実施することとしている。

注４：「※」は河川流量が多く、調査地点まで安全に移動することができなかったため欠測。



図 615 UAV による調査結果（土 01 ツバクロ発生土置き場：2021 年度春季）

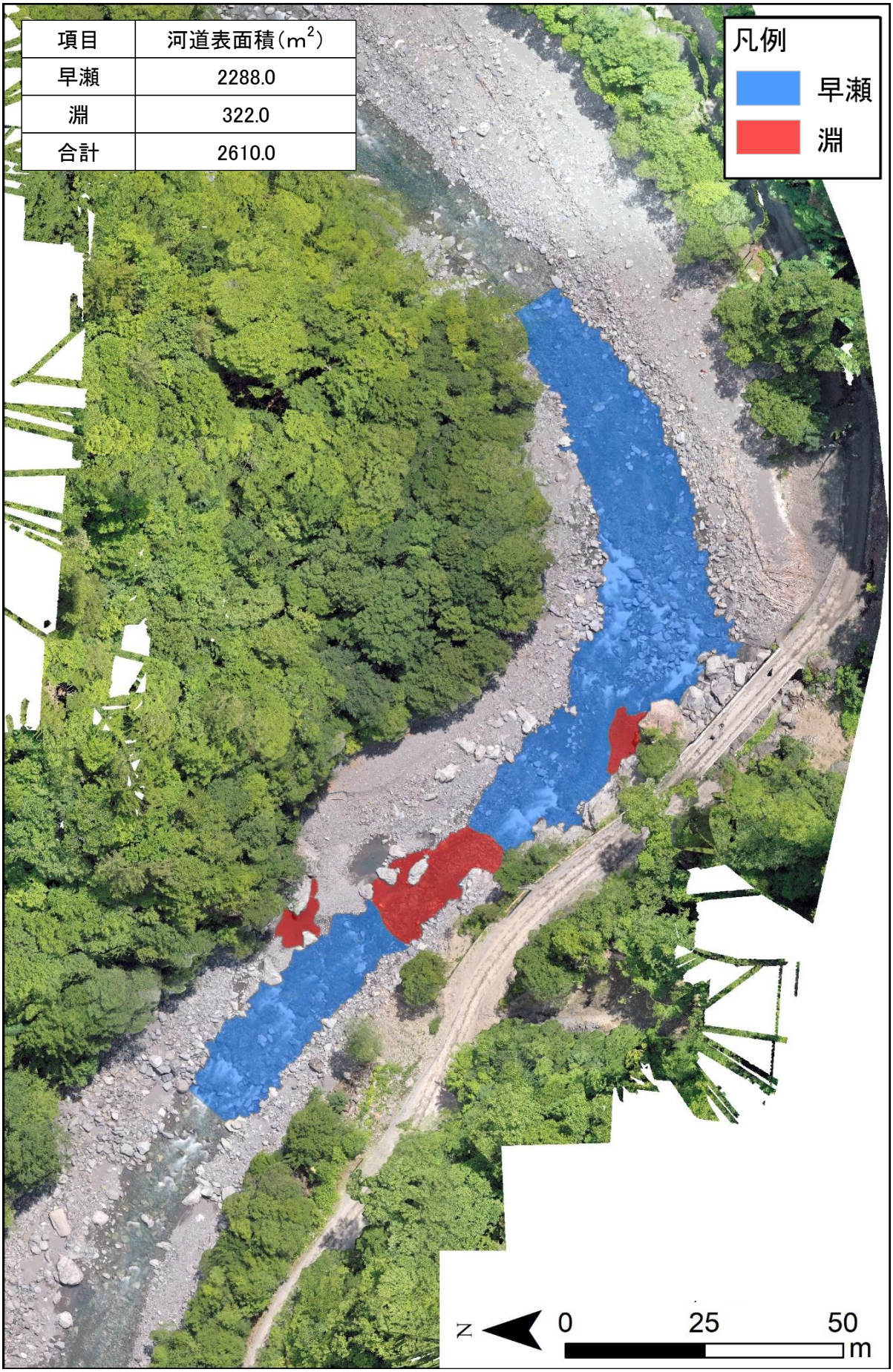
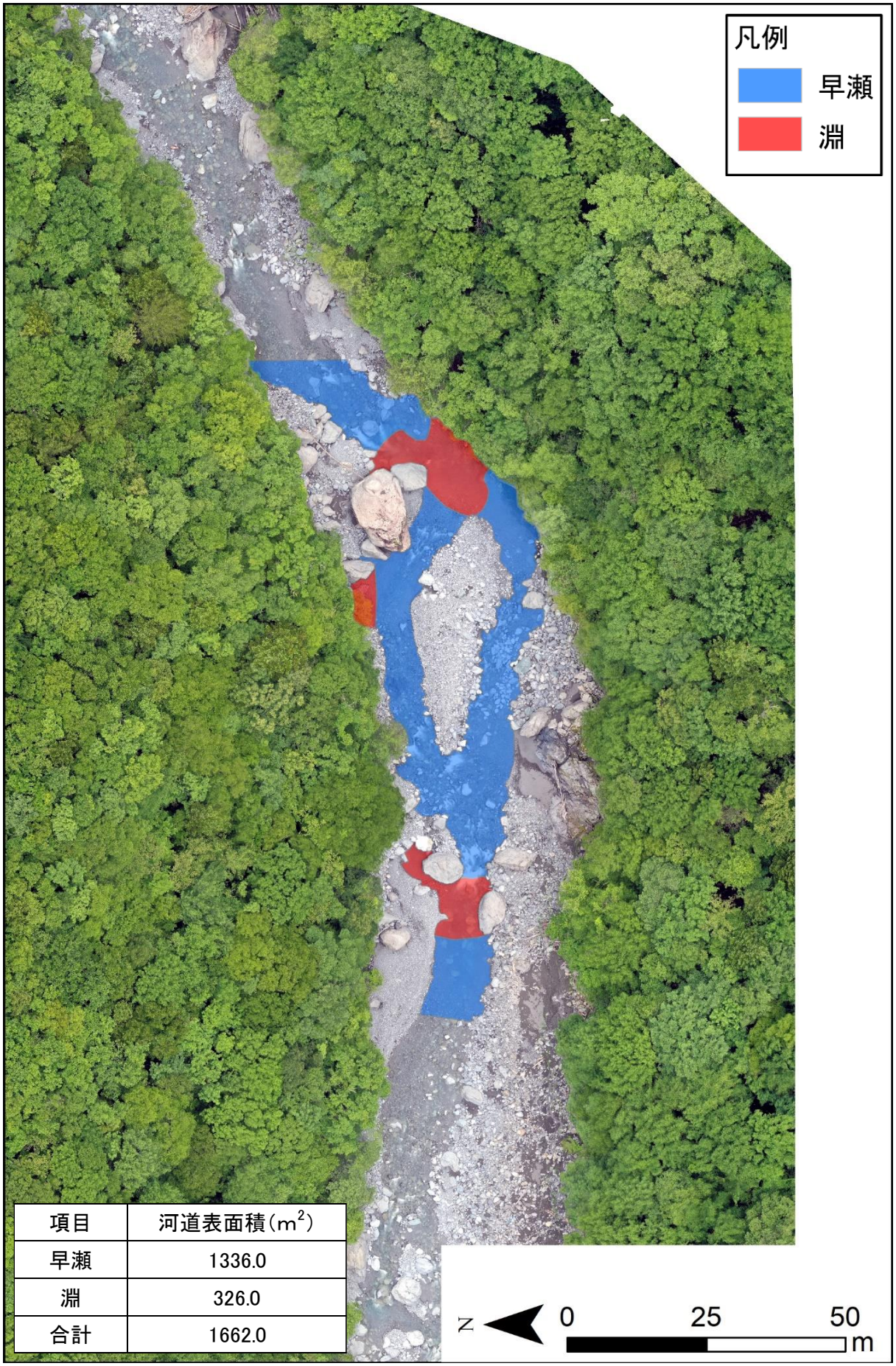
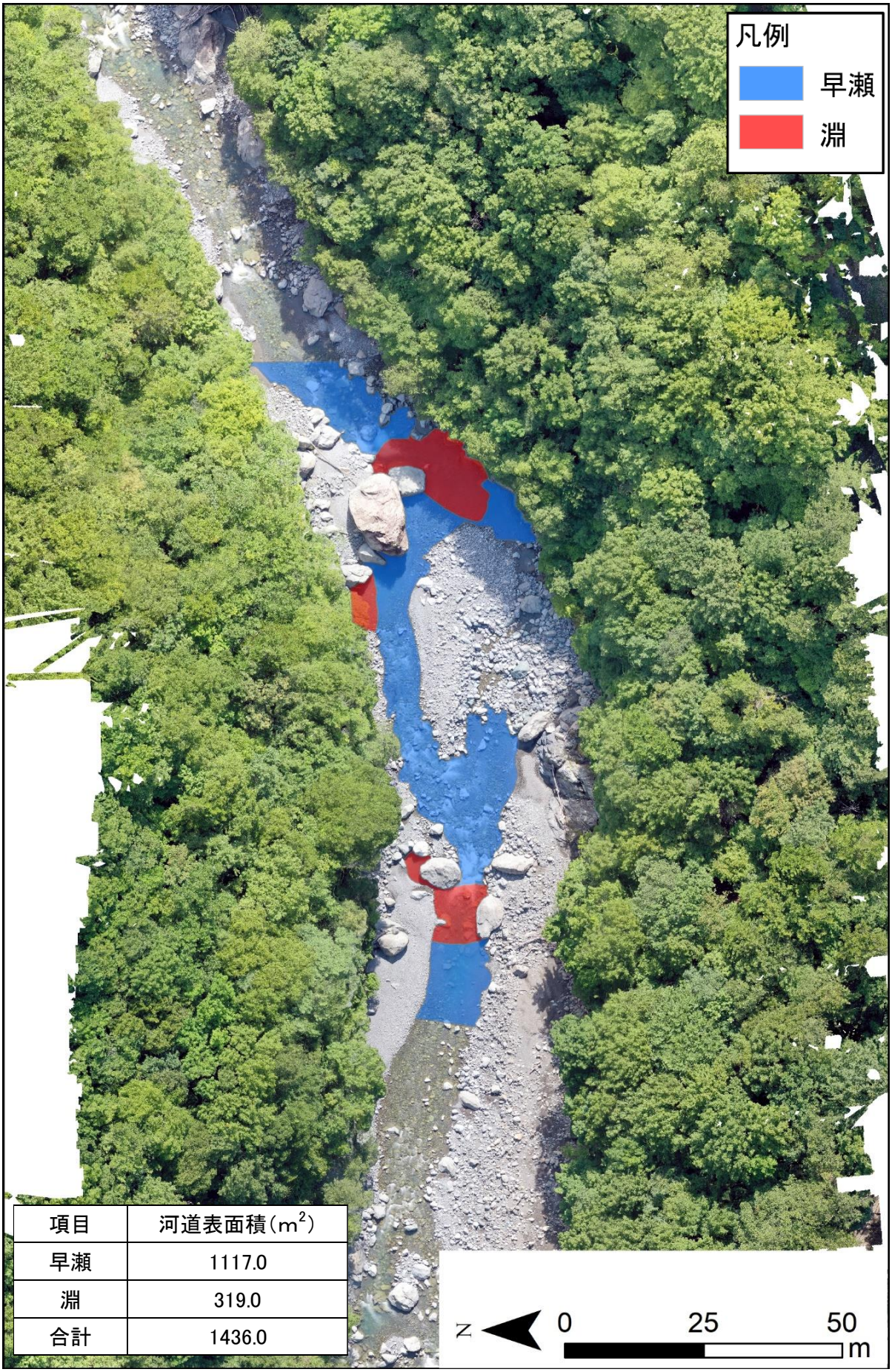


図 616 UAV による調査結果（土 01 ツバクロ発生土置き場：2021 年度夏季）



項目	河道表面積(m^2)
早瀬	1336.0
淵	326.0
合計	1662.0

図 617 UAV による調査結果（土 02 イタドリ発生土置き場：2021 年度春季）



項目	河道表面積(m^2)
早瀬	1117.0
淵	319.0
合計	1436.0

図 618 UAV による調査結果（土 02 イタドリ発生土置き場：2021 年度夏季）

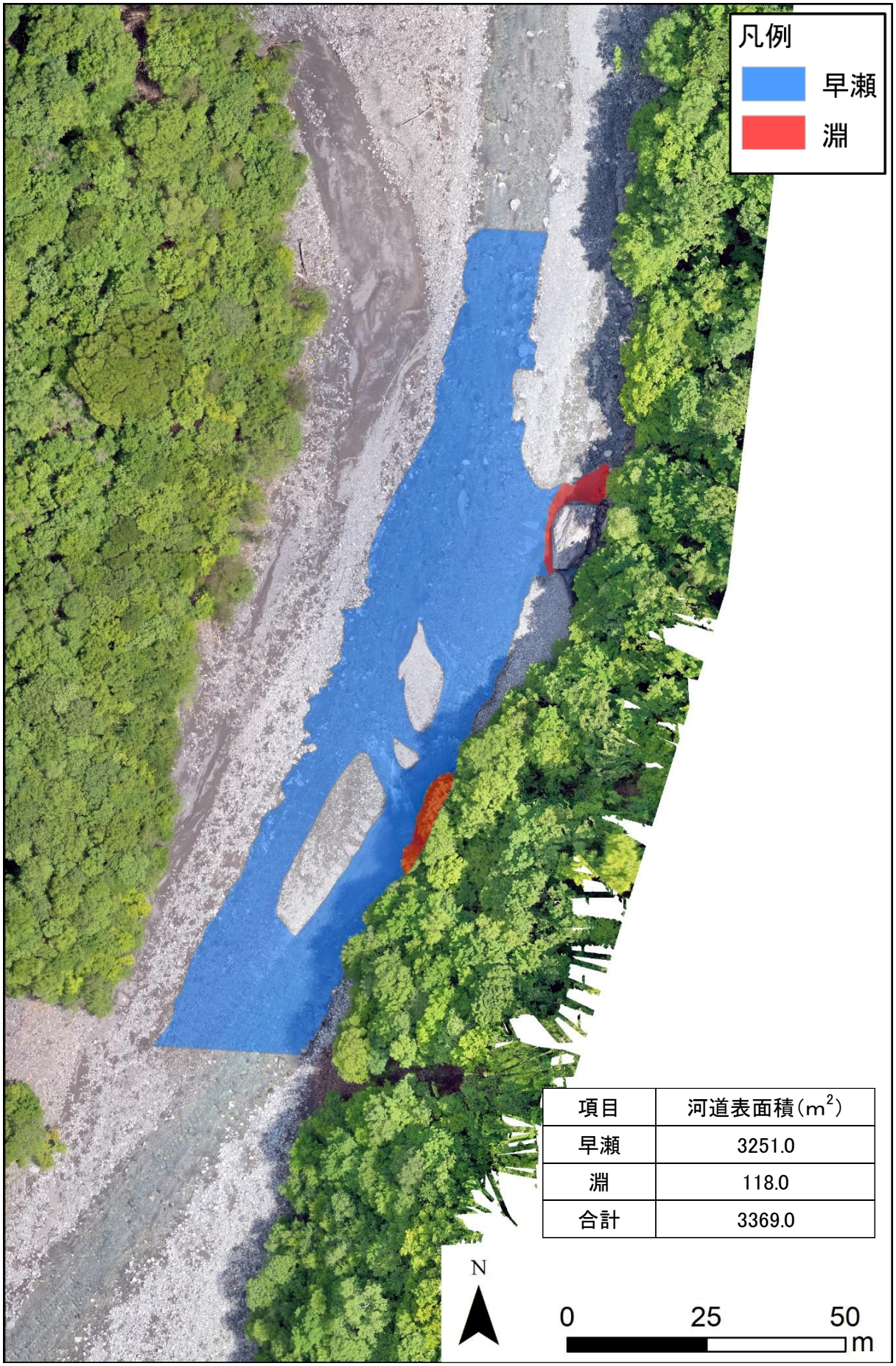
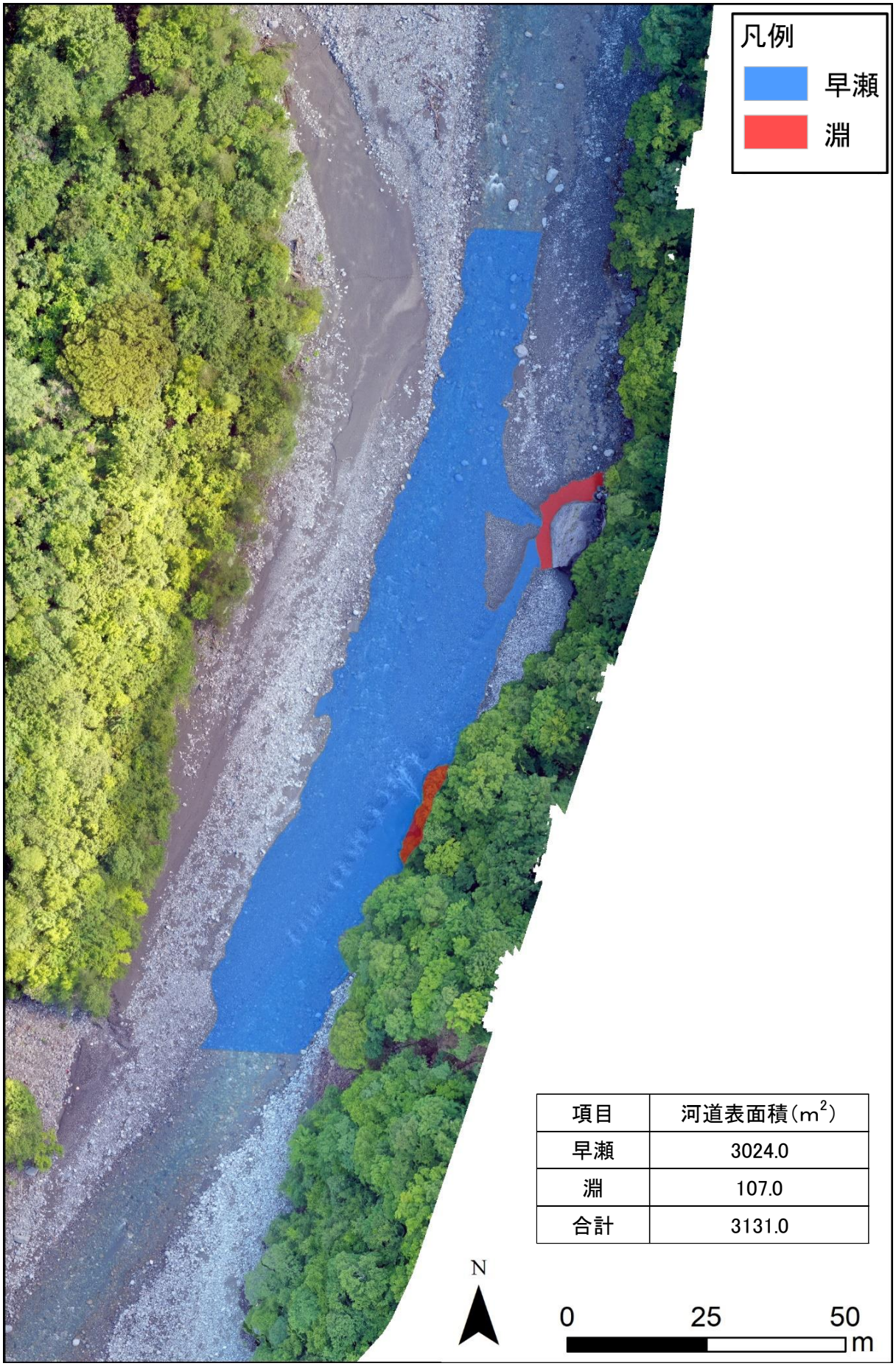


図 619 UAV による調査結果（土 03 藤島発生土置き場：2021 年度春季）



項目	河道表面積(m^2)
早瀬	3024.0
淵	107.0
合計	3131.0

図 620 UAV による調査結果（土 03 藤島発生土置き場：2021 年度夏季）

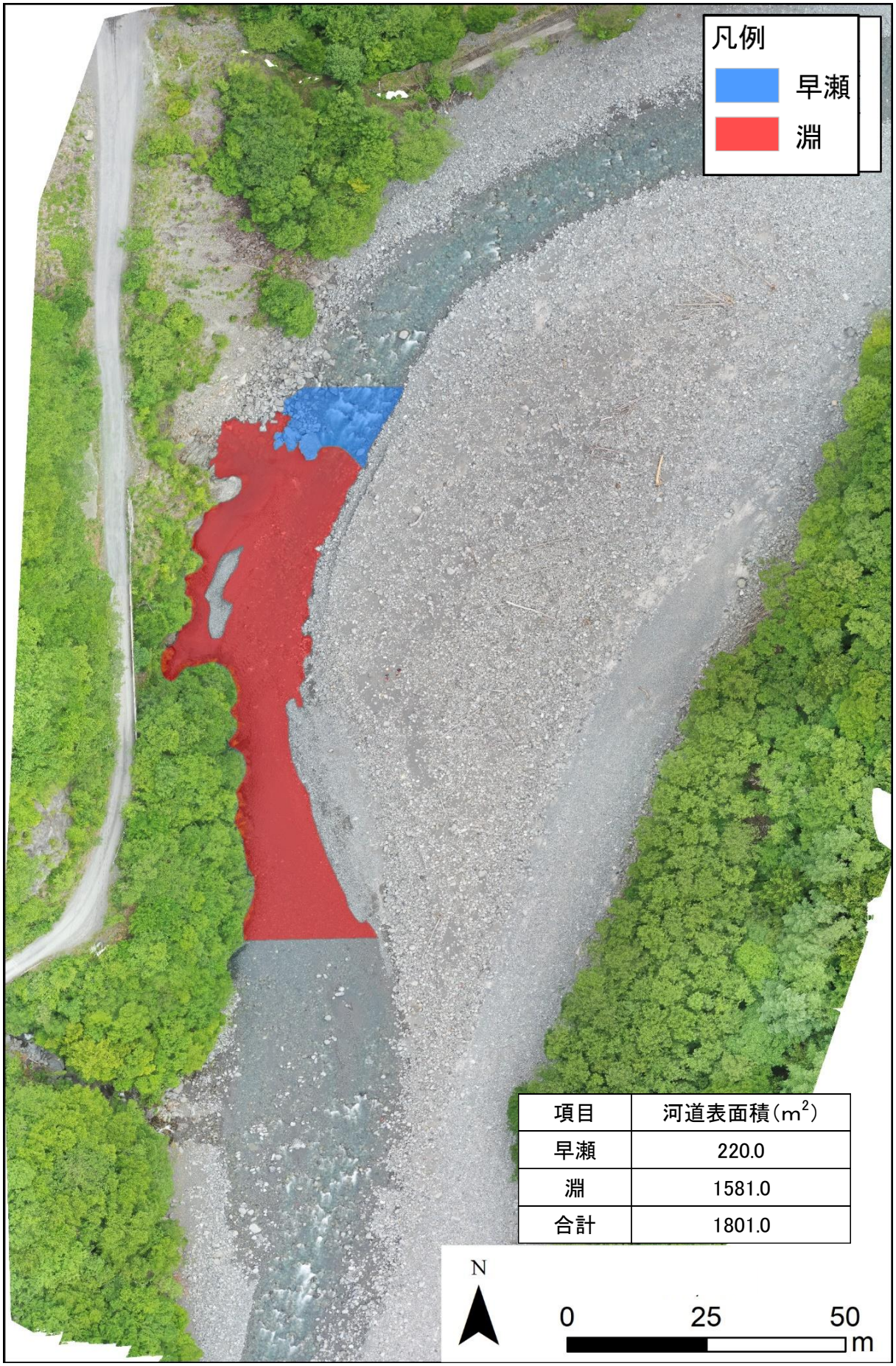


図 621 UAV による調査結果（土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場：2021 年度春季）

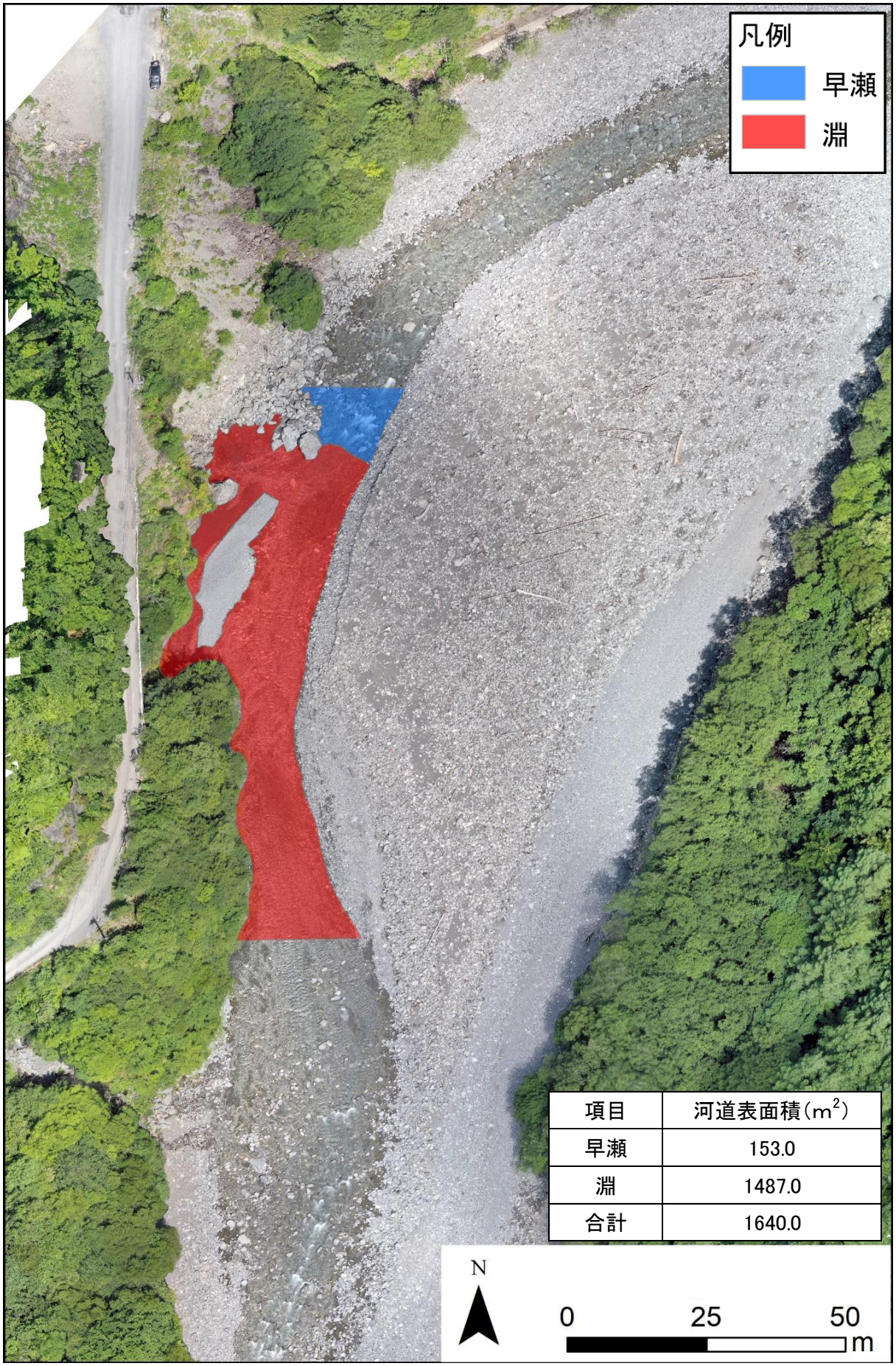


図 622 UAV による調査結果（土 04 中ノ宿 2・3 発生土置き場：2021 年度夏季）

項目	河道表面積(m^2)
早瀬	2025.0
合計	2025.0



図 623 UAV による調査結果（土 05 剝石発生土置き場：2021 年度春季）



図 624 UAV による調査結果（土 05 剝石発生土置き場：2021 年度夏季）

6. 工事施工ヤード、発生土置き場候補地における希少野生生物調査の結果

6.1. 調査方法、調査実施日

調査対象毎の調査方法及び調査実施日を表 769に示します。

表 769　調査方法

調査対象		調査方法	調査実施日
動物	哺乳類	・任意確認 調査範囲内を任意に踏査し、足跡、糞、食痕等のフィールドサインを確認する。	2025 年５月 19 日～21 日、５月 27 日、５月 28 日、７月 12 日～14 日、８月 31 日、９月１日～４日、９月 28 日～30 日
		・コウモリ類捕獲調査 調査範囲内におけるコウモリ類の通過経路と判断される場所において、ハープトラップやかすみ網を用いて捕獲調査を実施する。	2025 年８月 24 日、８月 26 日～28 日
		・小型哺乳類巣箱調査（ヤマネ） 調査範囲内の樹林地に巣箱を設置し、巣箱を利用する個体の確認、若しくは利用痕跡の確認を行う。	2025 年８月 24 日、８月 25 日、８月 27 日、８月 28 日、９月 28 日
	鳥類	・任意確認 調査範囲内を任意に踏査し、目視観察、鳴き声等で確認する。	2025 年５月 19 日～21 日、５月 27 日、５月 28 日、７月 13 日、７月 14 日、７月 16 日、８月 31 日、９月１日、９月２日、９月４日
	爬虫類	・任意確認 調査範囲内を任意に踏査し、目視観察、捕獲、鳴き声等で確認する。	2025 年５月 19 日～21 日、５月 27 日、５月 28 日、７月 12 日、７月 14 日、８月 31 日
	両生類	・任意確認 調査範囲内を任意に踏査し、目視観察、捕獲、鳴き声等で確認する。	2025 年５月 19 日～21 日、５月 27 日、５月 28 日、７月 12 日、７月 14 日、８月 31 日
	昆虫類	・任意採集 調査範囲内を任意に踏査し、目視観察、スィーピング法、ビーティング法等で確認、現地又は持ち帰り同定する。	2025 年５月 19 日～21 日、５月 28 日、５月 29 日、７月 12 日～７月 16 日、９月１日～４日、９月 29 日、９月 30 日
	クモ類	・任意採集 調査範囲内を任意に踏査し、目視観察、スィーピング法、ビーティング法等で確認、現地又は持ち帰り同定する。	2025 年７月 12 日～16 日、８月 31 日

6.2. 確認した静岡県レッドデータブック掲載種及び個体数、確認位置

希少野生生物調査により確認した静岡県レッドデータブック掲載種及び個体数を表 770～表 771、確認位置を図 625～図 629に示します。

表 770　確認した静岡県レッドデータブック掲載種（動物）

（令和７年４月 28 日付 環自第 15 号－５ 静岡県レッドデータブック掲載種確認一覧表より）

分類群	科名	種名	カテゴリー	特徴・生育環境
希少種保護のため非公開				

表 771　確認した静岡県レッドデータブック掲載種の確認位置等（動物）

和名	西俣 ヤード	千石A ヤード	千石B ヤード	ツバクロ 発生土置き場	イタドリ 発生土置き場	藤島 発生土置き場	合計
希少種保護のため非公開							

希少種保護のため非公開

図 625　確認位置図（[redacted]）

希少種保護のため非公開

図 626　確認位置図（[redacted]）

希少種保護のため非公開

図 627　確認位置図（[redacted]）

希少種保護のため非公開

図 628　確認位置図（[redacted]）

希少種保護のため非公開

図 629　確認位置図（[redacted]）

6.3. 確認された動物の保全対策の検討結果

確認された動物の保全対策の検討結果を表 772 に示します。

表 772 保全対策の検討結果

確認種(RDBカテゴリー)	保全対策実施の有無	保全対策検討結果
希少種保護のため非公開		

2025 年以前の希少野生生物調査により確認された静岡県レッドデータブック掲載種及び保全対策の検討結果を表 773 に示します。

表 773　2025 年以前の希少野生生物調査により確認された静岡県レッドデータブック掲載種及び保全対策の検討結果

分類群	科名	種名	カテゴリー	保全対策検討結果
希少種保護のため非公開				

第3章　本編 2-4 植物に係る事後調査及びモニタリングの結果

1.　移植・播種した植物の生育状況

【事後調査及びモニタリング計画通し番号 181】

1.1　調査地点

現地調査地点は、移植・播種を実施した地点であり、調査対象種を表 774 に示します。

表 774(1)　移植・播種を実施した植物

種名	科名	移植・播種前の生育地	移植・播種の実施箇所	移植・播種の実施時期
ヒロハノヘビノボラズ（アカジクヘビノボラズを含む）※1	メギ科	静岡市葵区田代、同岩崎	静岡市葵区田代	2017 年 9 月 27 日、28 日（移植） 2018 年 10 月 30 日（移植）
ヤマシャクヤク※2	ボタン科	静岡市葵区田代	静岡市葵区田代	2025 年 12 月 1 日、2 日（移植・播種※4）
ナガミノツルキケマン	ケシ科	静岡市葵区田代	静岡市葵区岩崎	2018 年 11 月 3 日（播種） 2020 年 10 月 17 日（播種） 2022 年 11 月 11 日（播種）
ヤシャビシャク	ユキノシタ科	静岡市葵区田代、同岩崎	静岡市葵区田代	2017 年 9 月 26 日（移植）
チョウセンナニワズ※1	ジンチョウゲ科	静岡市葵区田代	静岡市葵区田代	2017 年 9 月 26 日、27 日（移植）
ミヤマスミレ※2	スミレ科	静岡市葵区田代	静岡市葵区田代	2018 年 11 月 2 日（移植・播種） 2025 年 12 月 3 日（移植・播種※4）
ミヤマニガウリ※2	ウリ科	静岡市葵区田代	静岡市葵区田代	2022 年 11 月 11 日（播種※4） 2023 年 5 月 11 日（播種※4） 2025 年 11 月 5 日（播種※4） 2025 年 12 月 1 日（播種※4）
トダイアカバナ※1※2	アカバナ科	静岡市葵区田代	静岡市葵区田代	2018 年 10 月 31 日、11 月 1 日、5 日（移植・播種） 2025 年 11 月 5 日（移植・播種※4）
ホソバハナウド	セリ科	静岡市葵区田代	静岡市葵区田代	2017 年 9 月 28 日（移植・播種）
ホソバルツリンドウ	リンドウ科	静岡市葵区岩崎	静岡市葵区田代	2017 年 11 月 11 日（移植・播種） 2018 年 10 月 30 日（移植・播種）
タチキランソウ※2	シソ科	静岡市葵区田代、同岩崎	静岡市葵区田代、同岩崎	2017 年 9 月 29 日（移植・播種） 2025 年 11 月 5 日（移植・播種※4）
ナベナ	マツムシソウ科	静岡市葵区岩崎	静岡市葵区岩崎	2017 年 10 月 31 日（播種） 2018 年 10 月 29 日（播種） 2022 年 11 月 10 日（播種）

※1　評価書等において保全対象種とした植物ではないが、「静岡県自然環境保全条例」（昭和 48 年、静岡県条例第 9 号）に関連して静岡県と協議した結果、ヒロハノヘビノボラズ（アカジクヘビノボラズを含む。）及びチョウセンナニワズ、ヒトツバテンナンショウは、「まもりたい静岡県の野生生物-県版レッドデータブック-植物編 2004」（平成 16 年、静岡県）において絶滅危惧種に指定されていたことから、トダイアカバナ、クロクモキリソウは、「静岡県版レッドリスト 2017」（平成 29 年、静岡県）において新たに絶滅危惧種に指定されたことから、移植・播種を実施した。

※2「静岡県自然環境保全条例」（昭和 48 年、静岡県条例第 9 号）に基づく自然環境保全協定の締結に向けた希少野生動植物調査において確認された種であり、「まもりたい静岡県の野生生物 2020-静岡県レッドデータブック-＜植物・菌類編＞」の掲載種であることから、移植・播種を実施した。

※3　ホザキイチヨウラン及びクロクモキリソウの移植先の検討を行うにあたって、専門家の意見を踏まえ、共生する菌根菌の同定を行った。また、周辺の樹木伐採等による間接的な影響を受けやすい種とされていることから、改変区域の周辺に生育する個体についても、一部移植する計画とした。

※4　専門家の意見を踏まえて、自生株周辺の表土も合わせて移植した（埋土種子の播種）

※5　専門家の意見を踏まえて、着生する岩ごと移植した。

表 774(2)　移植・播種を実施した植物

種名	科名	移植・播種前の生育地	移植・播種の実施箇所	移植・播種の実施時期
トダイハハコ	キク科	静岡市葵区田代	静岡市葵区田代	2018 年 10 月 31 日（移植・播種）
カワラニガナ	キク科	静岡市葵区田代、同岩崎	静岡市葵区田代	2017 年 9 月 28 日（移植・播種） 2018 年 10 月 30 日（移植・播種）
ヒトツバテンナンショウ※1※2	サトイモ科	静岡市葵区田代	静岡市葵区田代	2017 年 10 月 30 日（移植・播種） 2020 年 10 月 17 日（移植・播種） 2025 年 11 月 7 日（移植・播種※4）
ギンラン※2	ラン科	静岡市葵区田代	静岡市葵区田代	2025 年 12 月 2 日（移植・播種※4）
ユウシュンラン	ラン科	静岡市葵区岩崎	静岡市葵区岩崎	2017 年 9 月 29 日（移植・播種※4）
イチヨウラン※2	ラン科	静岡市葵区田代	静岡市葵区田代	2017 年 9 月 26 日、28 日（移植・播種※4） 2025 年 11 月 6 日（移植・播種※4）
アオキラン	ラン科	静岡市葵区田代	静岡市葵区田代	2017 年 10 月 27 日、28 日（移植・播種※4） 2018 年 11 月 1 日（移植・播種※4）
クロクモキリソウ※1※2※3	ラン科	静岡市葵区田代	静岡市葵区田代	2018 年 11 月 2 日（移植・播種※4） 2025 年 12 月 1 日（移植・播種※4）
ホザキイチヨウラン※2※3	ラン科	静岡市葵区田代	静岡市葵区田代	2017 年 9 月 28 日（移植・播種※4） 2025 年 11 月 6 日（移植・播種※4） 2025 年 12 月 1 日（移植・播種※4）
カサゴケモドキ	ハリガネゴケ科	静岡市葵区田代	静岡市葵区田代	2017 年 11 月 10 日（移植※5）

※1　評価書等において保全対象種とした植物ではないが、「静岡県自然環境保全条例」（昭和 48 年、静岡県条例第 9 号）に関連して静岡県と協議した結果、ヒロハノヘビノボラズ（アカジクヘビノボラズを含む。）及びチョウセンナニワズ、ヒトツバテンナンショウは、「まもりたい静岡県の野生生物-県版レッドデータブック-植物編 2004」（平成 16 年、静岡県）において絶滅危惧種に指定されていたことから、トダイアカバナ、クロクモキリソウは、「静岡県版レッドリスト 2017」（平成 29 年、静岡県）において新たに絶滅危惧種に指定されたことから、移植・播種を実施した。

※2「静岡県自然環境保全条例」（昭和 48 年、静岡県条例第 9 号）に基づく自然環境保全協定の締結に向けた希少野生動植物調査において確認された種であり、「まもりたい静岡県の野生生物 2020-静岡県レッドデータブック-＜植物・菌類編＞」の掲載種であることから、移植・播種を実施した。

※3　ホザキイチヨウラン及びクロクモキリソウの移植先の検討を行うにあたって、専門家の意見を踏まえ、共生する菌根菌の同定を行った。また、周辺の樹木伐採等による間接的な影響を受けやすい種とされていることから、改変区域の周辺に生育する個体についても、一部移植する計画とした。

※4　専門家の意見を踏まえて、自生株周辺の表土も合わせて移植した（埋土種子の播種）

※5　専門家の意見を踏まえて、着生する岩ごと移植した。

1.2　調査時期及び頻度

これまでに実施した現地調査の期間を表 775 に示します。なお、移植・播種後の生育状況調査は、移植・播種後１ヶ月以内及び移植・播種後１年間は発芽期（播種した場合のみ）、開花期及び結実期にそれぞれ１回、それ以降は移植・播種後３年まで結実期（結実が地上から確認できないものは開花期）に年１回実施することを基本として、専門家等への報告、確認を踏まえて調査期間を設定することとします。また、調査結果によって、専門家等への報告、確認を踏まえ、調査期間の見直しを検討します。

表 775(1)　現地調査期間（植物の生育状況）

種名	調査日
ヒロハノヘビノボラズ （アカジクヘビノボラズを含む）	（2017 年移植個体） **○移植後１ヶ月以内** ・2017 年 10 月 11 日、10 月 12 日、10 月 30 日 **○移植後１年目** ・2018 年５月 22 日、５月 23 日（開花期） ・2018 年８月 28 日（結実期） **○移植後２年目** ・2019 年８月５日、８月６日（結実期） **○移植後３年目** ・2020 年８月 25 日、８月 28 日（結実期） （2018 年移植個体） **○移植後１ヶ月以内** ・2018 年 11 月 14 日、11 月 28 日 **○移植後１年目** ・2019 年５月 10 日（開花期） ・2019 年８月６日（結実期） **○移植後２年目** ・2020 年８月 28 日（結実期） **○移植後３年目** ・2021 年８月４日（結実期）
ヤマシャクヤク	（2025 年移植個体、播種箇所） **○移植・播種後１ヶ月以内** ・2025 年 12 月９日、12 月 18 日

表 775(2)　現地調査期間（植物の生育状況）

種名	調査日
ナガミノツルキケマン	（2018 年播種箇所） **○播種後１ヶ月以内** ・2018 年 11 月 15 日、11 月 29 日 **○播種後１年目** ・2019 年５月 11 日（発芽期） ・2019 年８月７日（開花期） ・2019 年９月３日（結実期） **○播種後２年目** ・2020 年９月 12 日（結実期） **○播種後３年目** ・2021 年９月 14 日（結実期） （2020 年播種箇所） **○播種後１ヶ月以内** ・2020 年 11 月５日（１回目） ・2020 年 11 月 16 日（２回目） **○播種後１年目** ・2021 年５月 16 日（発芽期） ・2021 年８月４日（開花期） ・2021 年９月 14 日（結実期） **○播種後２年目** ・2022 年９月 15 日（結実期） **○播種後３年目** ・2023 年９月 14 日（結実期） （2022 年播種箇所） **○播種後１ヶ月以内** ・2022 年 11 月 25 日（１回目） ・2022 年 12 月２日（２回目） **○播種後１年目** ・2023 年５月 11 日（発芽期） ・2023 年８月 25 日（開花期） ・2023 年９月 14 日（結実期） **○播種後２年目** ・2024 年 10 月 17 日（結実期） **○播種後３年目** ・2025 年８月 22 日（結実期）
ヤシャビシャク	（2017 年移植個体） **○移植後１ヶ月以内** ・2017 年 10 月 11 日、10 月 27 日、10 月 30 日 **○移植後１年目** ・2018 年５月 22 日、５月 23 日（開花期） ・2018 年８月 28 日（結実期） **○移植後２年目** ・2019 年８月６日（結実期） **○移植後３年目** ・2020 年８月 26 日、８月 28 日（結実期）

表 775(3)　現地調査期間（植物の生育状況）

種名	調査日
チョウセンナニワズ	（2017 年移植個体） **○移植後１ヶ月以内** ・2017 年 10 月 11 日、10 月 27 日、10 月 30 日 **○移植後１年目** ・2018 年５月 22 日（開花期） ・2018 年７月 17 日（結実期） **○移植後２年目** ・2019 年７月 17 日（結実期） **○移植後３年目** ・2020 年８月 25 日（結実期）
ミヤマスミレ	（2018 年移植個体、播種箇所） **○移植・播種後１ヶ月以内** ・2018 年 11 月 13 日、11 月 14 日、11 月 27 日、11 月 28 日 **○移植後１年目** ・2019 年５月９日（発芽期） ・2019 年６月 11 日（開花期） ・2019 年７月 19 日（結実期） **○移植後２年目** ・2020 年８月 27 日（結実期） **○移植後３年目** ・2021 年７月 12 日（結実期） （2025 年移植個体、播種箇所） **○移植・播種後１ヶ月以内** ・2025 年 12 月９日、12 月 18 日
ミヤマニガウリ	（2022 年、2023 年播種箇所） **○播種後１ヶ月以内** ・2022 年 11 月 25 日、12 月２日、2023 年５月 26 日、６月 16 日 **○播種後１年目** ・2023 年５月 11 日（発芽期） ・2023 年９月 14 日（開花期） ・2023 年 10 月 15 日（結実期） **○播種後２年目** ・2024 年 10 月 17 日（結実期） **○播種後３年目** ・2025 年９月９日（開花期） （2025 年播種箇所） **○播種後１ヶ月以内** ・2025 年 11 月 20 日、11 月 27 日、12 月９日、12 月 18 日

表 775(4)　現地調査期間（植物の生育状況）

種名	調査日
トダイアカバナ	（2018 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2018 年 11 月 13 日、11 月 27 日 **〇移植・播種後１年目** ・2019 年６月 11 日、６月 12 日（発芽期） ・2019 年９月 25 日（開花期） ・2019 年 11 月 20 日、11 月 21 日、11 月 22 日（結実期） **〇移植・播種後２年目** ・2020 年 10 月 14 日、10 月 15 日（結実期） **〇移植・播種後３年目** ・2021 年 10 月 14 日、10 月 15 日（結実期） （2025 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2025 年 11 月 20 日、11 月 26 日
ホソバハナウド	（2017 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2017 年 10 月 13 日、10 月 30 日 **〇移植・播種後１年目** ・2018 年５月 23 日（発芽期） ・2018 年９月 12 日（開花期） ・2018 年 10 月 30 日（結実期） **〇移植・播種後２年目** ・2019 年 11 月 24（結実期） **〇移植・播種後３年目** ・2020 年 10 月 16 日（結実期）
ホソバツルリンドウ	（2017 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2017 年 10 月 21 日、10 月 30 日 **〇移植・播種後１年目** ・2018 年５月 23 日（発芽期） ・2018 年９月 20 日（開花期） ・2018 年 11 月 14 日（結実期） **〇移植・播種後２年目** ・2019 年 11 月 24 日（結実期） **〇移植・播種後３年目** ・2020 年 11 月 18 日（結実期） （2018 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2018 年 11 月 14 日、11 月 28 日 **〇移植・播種後１年目** ・2019 年５月 10 日（発芽期） ・2019 年９月 26 日（開花期） ・2019 年 11 月 24 日（結実期） **〇移植・播種後２年目** ・2020 年 11 月 18 日（結実期） **〇移植・播種後３年目** ・2021 年 11 月 16 日（結実期）

表 775(5)　現地調査期間（植物の生育状況）

種名	調査日
タチキランソウ	（2017 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2017 年 10 月 10 日、10 月 30 日 **〇移植・播種後１年目** ・2018 年５月９日（発芽期） ・2018 年５月 21 日（開花期） ・2018 年６月 13 日（結実期） **〇移植・播種後２年目** ・2019 年６月 13 日（結実期） **〇移植・播種後３年目** ・2020 年６月 11 日（結実期） **〇移植・播種後４年目** ・2021 年５月 16 日（開花期） **〇移植・播種後５年目** ・2022 年５月 13 日（開花期） （2025 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2025 年 11 月 20 日、11 月 26 日

表 775(6)　現地調査期間（植物の生育状況）

種名	調査日
ナベナ	（2017 年播種箇所） **〇播種後１ヶ月以内** ・2017 年 11 月９日、11 月 22 日 **〇播種後１年目** ・2018 年５月 21 日（発芽期） ・2018 年９月 11 日（開花期） ・2018 年 10 月 29 日（結実期） **〇播種後２年目** ・2019 年 11 月 19 日（結実期） **〇播種後３年目** ・2020 年 10 月 13 日（結実期） **〇播種後４年目** ・2021 年５月 16 日（発芽期） （2018 年播種箇所） **〇播種後１ヶ月以内** ・2018 年 11 月 15 日、11 月 29 日 **〇播種後１年目** ・2019 年５月８日（発芽期） ・2019 年９月 24 日（開花期） ・2019 年 11 月 19 日（結実期） **〇播種後２年目** ・2020 年 10 月 13 日（結実期） **〇播種後３年目** ・2021 年 10 月 16 日（結実期） （2022 年播種箇所） **〇播種後１ヶ月以内** ・2022 年 11 月 25 日（１回目） ・2022 年 12 月２日（２回目） **〇播種後１年目** ・2023 年５月 12 日（発芽期） ・2023 年９月 15 日（開花期） ・2023 年 10 月 15 日（結実期） **〇播種後２年目** ・2024 年 10 月 18 日（結実期） **〇播種後３年目** ・2025 年 10 月 10 日（結実期）
トダイハハコ	（2018 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2018 年 11 月 13 日、11 月 27 日 **〇移植・播種後１年目** ・2019 年６月 12 日（発芽期） ・2019 年９月 25 日（開花期） ・2019 年 11 月 21 日（結実期） **〇移植・播種後２年目** ・2020 年 10 月 14 日（結実期） **〇移植・播種後３年目** ・2021 年 10 月 14 日（結実期）

表 775(7)　現地調査期間（植物の生育状況）

種名	調査日
カワラニガナ	（2017 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2017 年 10 月 12 日、11 月９日 **〇移植・播種後１年目** ・2018 年５月 22 日（発芽期） ・2018 年７月 18 日（開花期） ・2018 年９月 12 日（結実期） **〇移植・播種後２年目** ・2019 年９月５日（結実期） **〇移植・播種後３年目** ・2020 年９月 11 日（結実期） （2018 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2018 年 11 月 12 日、11 月 26 日 **〇移植・播種後１年目** ・2019 年５月 10 日（発芽期） ・2019 年７月 18 日（開花期） ・2019 年９月５日（結実期） **〇移植・播種後２年目** ・2020 年９月 11 日（結実期） **〇移植・播種後３年目** ・2021 年９月 13 日（結実期）
ヒトツバテンナンショウ	（2017 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2017 年 11 月９日、11 月 21 日 **〇移植・播種後１年目** ・2018 年５月 10 日（発芽期） ・2018 年５月 23 日（開花期） ・2018 年８月７日（結実期） **〇移植・播種後２年目** ・2019 年８月６日（結実期） **〇移植・播種後３年目** ・2020 年８月 28 日（結実期） （2020 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2020 年 11 月５日、11 月 16 日 **〇移植・播種後１年目** ・2021 年４月 26 日（発芽期） ・2021 年５月 15 日（開花期） ・2021 年８月４日（結実期） **〇移植・播種後２年目** ・2022 年８月 26 日（結実期） **〇移植・播種後３年目** ・2023 年８月 25 日（結実期） （2025 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2025 年 11 月 20 日、11 月 26 日

表 775(8)　現地調査期間（植物の生育状況）

種名	調査日
ギンラン	（2025 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2025 年 12 月９日、12 月 18 日
ユウシュンラン	（2017 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2017 年 10 月 10 日、10 月 30 日、10 月 31 日 **〇移植・播種後１年目** ・2018 年５月 11 日（発芽期） ・2018 年５月 24 日（開花期） ・2018 年６月 14 日（結実期） **〇移植・播種後２年目** ・2019 年６月 13 日（結実期） **〇移植・播種後３年目** ・2020 年６月 11 日（結実期） **〇移植・播種後４年目** ・2021 年６月 11 日（結実期） **〇移植・播種後５年目** ・2022 年６月 17 日（結実期）
イチヨウラン	（2017 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2017 年 10 月 12 日、10 月 27 日 **〇移植・播種後１年目** ・2018 年５月 10 日（発芽期） ・2018 年５月 22 日（開花期） ・2018 年７月 17 日、７月 18 日（結実期） **〇移植・播種後２年目** ・2019 年７月 17 日、７月 18 日（結実期） **〇移植・播種後３年目** ・2020 年８月 26 日、８月 27 日（結実期） （2025 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2025 年 11 月 21 日、11 月 27 日

表 775(9)　現地調査期間（植物の生育状況）

種名	調査日
アオキラン	（2017 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2017 年 11 月９日、11 月 21 日 **〇移植・播種後１年目** ・2018 年９月 12 日（発芽期） ・2018 年９月 19 日、９月 20 日（開花期） ・2018 年 11 月１日（結実期） **〇移植・播種後２年目** ・2019 年 11 月 23 日（結実期） **〇移植・播種後３年目** ・2020 年 10 月 15 日、10 月 16 日（結実期） **〇移植・播種後４年目** ・2021 年 10 月 13 日（結実期） （2018 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2018 年 11 月 13 日、11 月 14 日、11 月 27 日、11 月 28 日 **〇移植・播種後１年目** ・2019 年９月４日、９月５日（発芽期） ・2019 年９月 26 日（開花期） ・2019 年 11 月 22 日、11 月 23 日、11 月 24 日（結実期） **〇移植・播種後２年目** ・2020 年 10 月 15 日、10 月 16 日（結実期） **〇移植・播種後３年目** ・2021 年 10 月 13 日、10 月 15 日（結実期）
クロクモキリソウ	（2018 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2018 年 11 月 13 日、11 月 14 日、11 月 27 日、11 月 28 日 **〇移植・播種後１年目** ・2019 年５月９日、５月 10 日（発芽期） ・2019 年７月 17 日、７月 19 日（開花期） ・2019 年 11 月 22 日、11 月 23 日（結実期） **〇移植・播種後２年目** ・2020 年 10 月 15 日、10 月 16 日（結実期） **〇移植・播種後３年目** ・2021 年 10 月 13 日、10 月 15 日（結実期） （2025 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2025 年 12 月９日、12 月 18 日

表 775(10)　現地調査期間（植物の生育状況）

種名	調査日
ホザキイチヨウラン	（2017 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2017 年 10 月 11 日、10 月 12 日、10 月 27 日、10 月 28 日 **〇移植・播種後１年目** ・2018 年５月 22 日（発芽期） ・2018 年７月 17 日、７月 18 日（開花期） ・2018 年９月 19 日（結実期） **〇移植・播種後２年目** ・2019 年９月４日（結実期） **〇移植・播種後３年目** ・2020 年９月 11 日（結実期） （2025 年移植個体、播種箇所） **〇移植・播種後１ヶ月以内** ・2025 年 11 月 21 日、11 月 27 日、12 月９日、12 月 18 日
カサゴケモドキ	（2017 年移植個体） **〇移植後１ヶ月以内** ・2017 年 11 月 21 日、11 月 30 日 **〇移植後１年目** ・2018 年８月 28 日 **〇移植後２年目** ・2019 年８月５日 **〇移植後３年目** ・2020 年８月 25 日

1.3　調査手法

現地調査（任意観察）による確認とし、専門家等への報告、確認を踏まえながら実施しました。

1.4　調査結果

1.4.1ヒロハノヘビノボラズ（アカジクヘビノボラズを含む。）

ヒロハノヘビノボラズ（アカジクヘビノボラズを含む）の生育状況調査の結果を図 630 に示します。

（2017 年移植個体）

地点①に 14 個体、地点②に４個体、移植を実施しました。

移植後１ヶ月以内の確認（2017 年 10 月 11 日、10 月 12 日、10 月 30 日）では、地点①、地点②において、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植箇所の環境変化や移植個体の変化は特に見られませんでした。

移植後１年目の開花期の確認（2018 年５月 22 日、５月 23 日）では、地点①において、14 個体の生育が確認されました。地点②において、４個体の生育が確認され、そのうち１個体の開花が確認されました。結実期の確認（2018 年８月 28 日）では、地点①において、13 個体の生育が確認されました。地点②において、４個体の生育が確認され、そのうち１個体の結実が確認されました。

移植後２年目の結実期の確認（2019 年８月５日、８月６日）では、地点①において、13 個体の生育が確認されました。地点②において、４個体の生育が確認されました。

移植後３年目の結実期の確認（2020 年８月 25 日、８月 28 日）では、地点①において、11 個体の生育が確認され、そのうち１個体の結実が確認されました。地点②において、３個体の生育が確認されました。

移植後３年間の調査において、個体の生育、結実が確認できたことから、専門家への報告・確認を踏まえて、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2017 年 10 月 12 日：移植後 1 ヶ月以内）

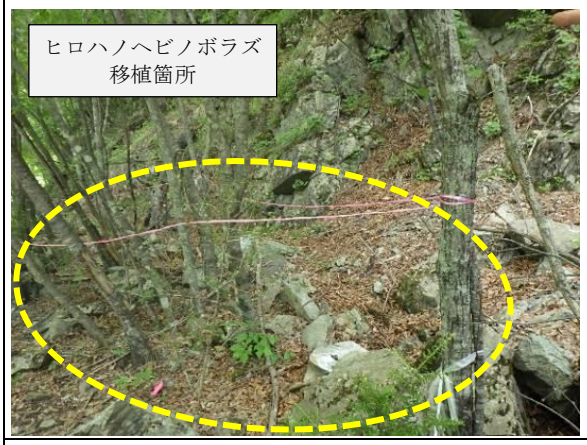




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2017 年 10 月 30 日：移植後 1 ヶ月以内）

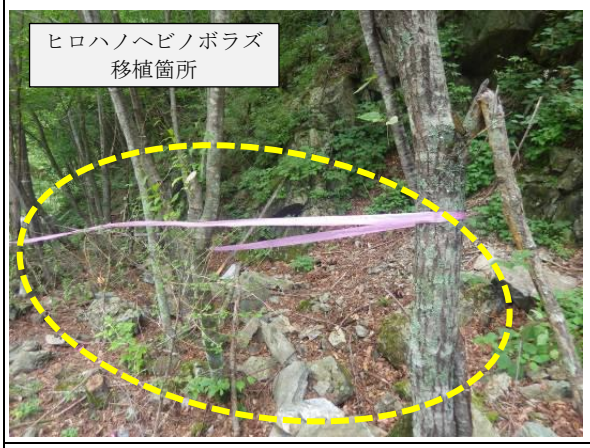
図 630(1)　生育状況調査結果（ヒロハノヘビノボラズ）

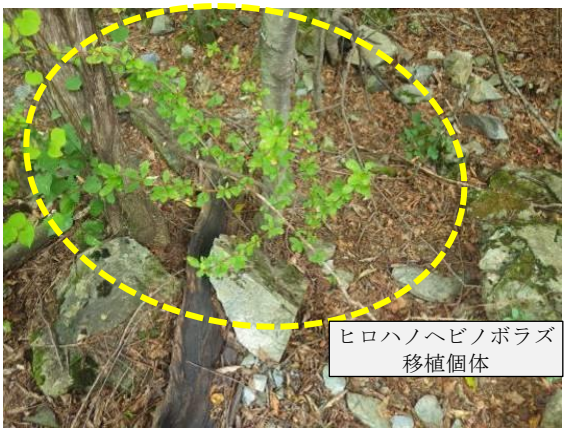




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年５月 23 日：開花期）

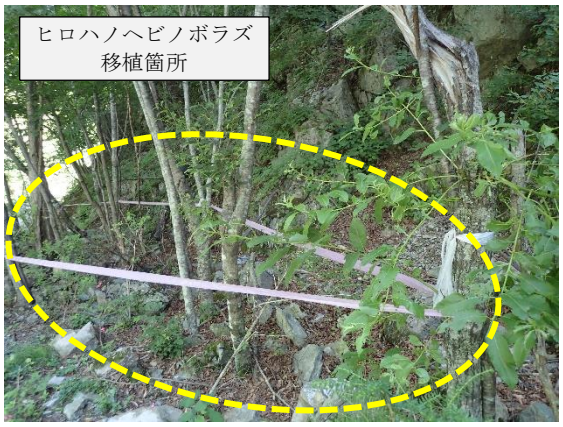


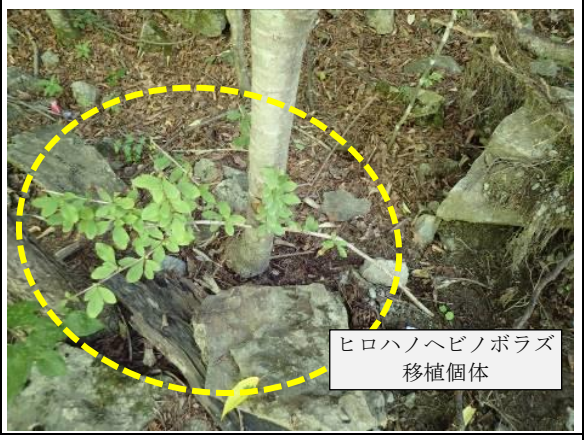


全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年８月 28 日：結実期）

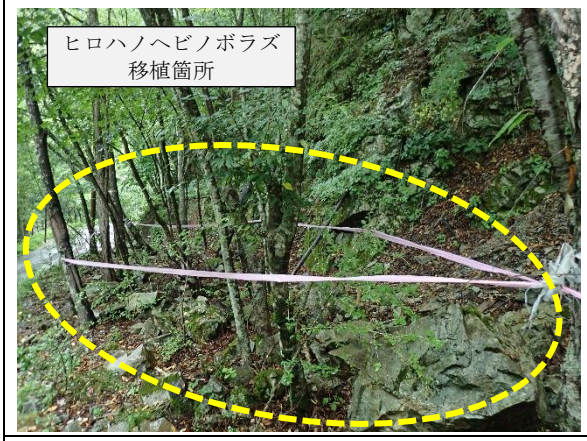
図 630(2)　生育状況調査結果（ヒロハノヘビノボラズ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2019 年８月６日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2020 年８月 28 日：結実期）

図 630(3)　生育状況調査結果（ヒロハノヘビノボラズ）

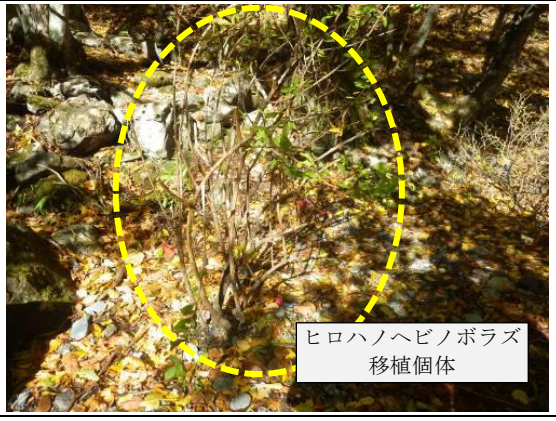




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2017 年 10 月 11 日：移植後１ヶ月以内）

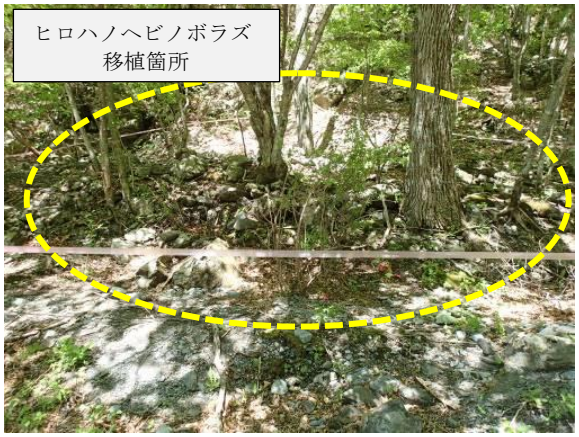


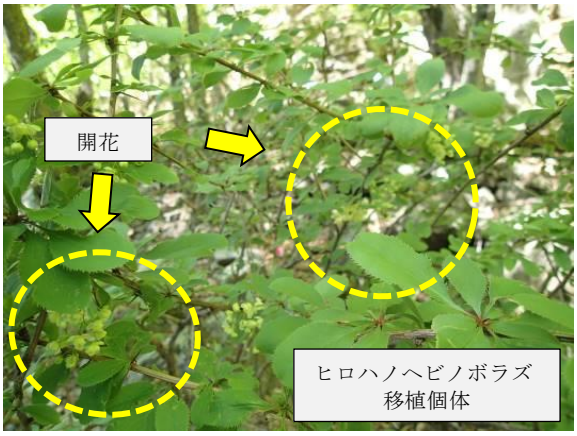


全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2017 年 10 月 30 日：移植後１ヶ月以内）

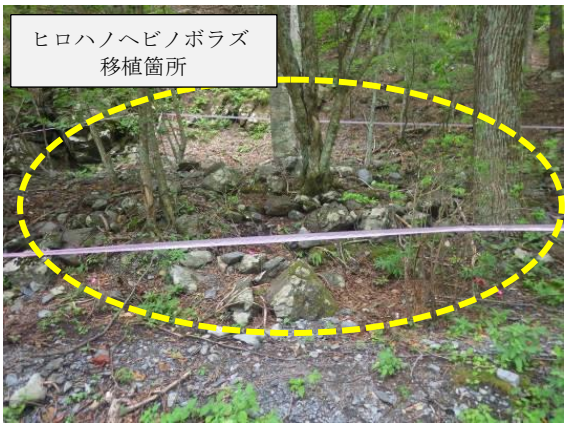
図 630(4)　生育状況調査結果（ヒロハノヘビノボラズ）

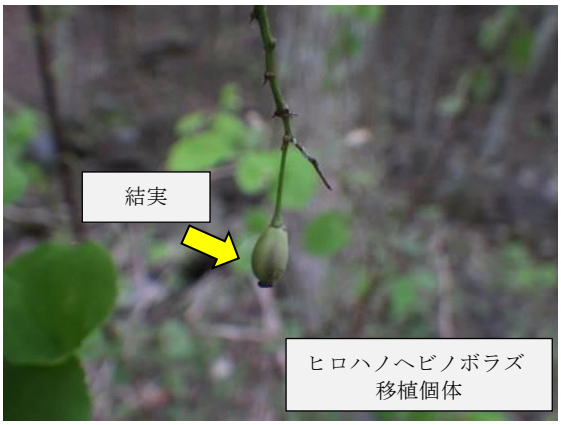




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年５月 22 日：開花期）

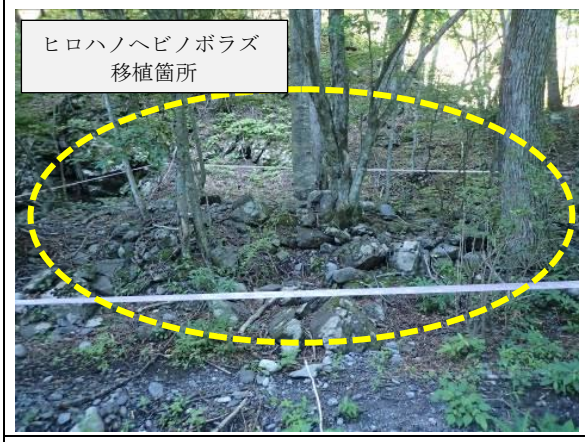




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年８月 28 日：結実期）

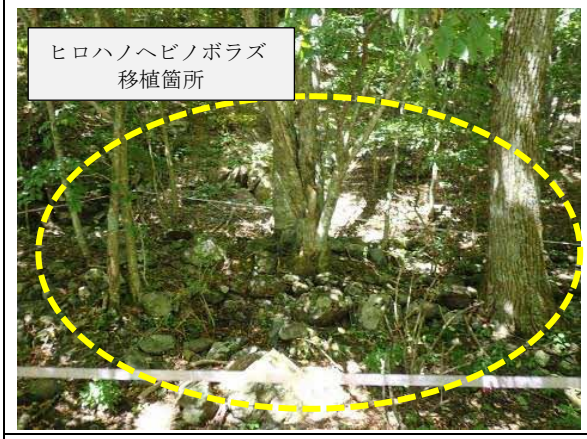
図 630(5)　生育状況調査結果（ヒロハノヘビノボラズ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2019 年８月５日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2020 年８月 25 日：結実期）

図 630(6)　生育状況調査結果（ヒロハノヘビノボラズ）

（2018 年移植個体）

９個体、移植を実施しました。

移植後１ヶ月以内の確認（2018 年 11 月 14 日、2018 年 11 月 28 日）においては、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植箇所の環境変化や移植個体の変化は特に見られませんでした。

移植後１年目の開花期の確認（2019 年５月 10 日）では、９個体の生育が確認されました。結実期の確認（2019 年８月６日）では、９個体の生育が確認されました。

移植後２年目の結実期の確認（2020 年８月 28 日）では、９個体の生育が確認されました。

移植後３年目の結実期の確認（2021 年８月４日）では、９個体の生育が確認されました。

移植後３年間の調査において、個体の生育が確認できたことから、専門家への報告・確認を踏まえて、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年 11 月 14 日：移植後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年 11 月 28 日：移植後 1 ヶ月以内）

図 630(7)　生育状況調査結果（ヒロハノヘビノボラズ）

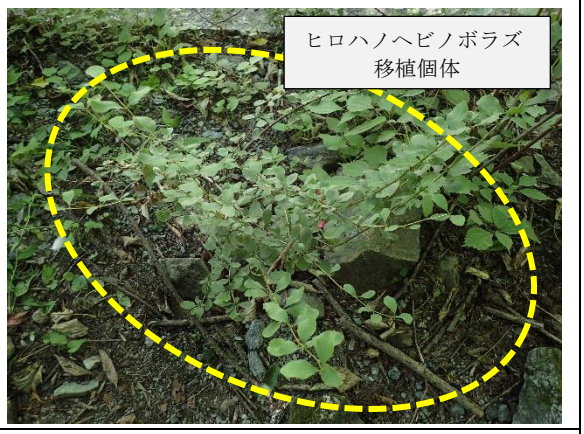




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2019 年５月 10 日：開花期）

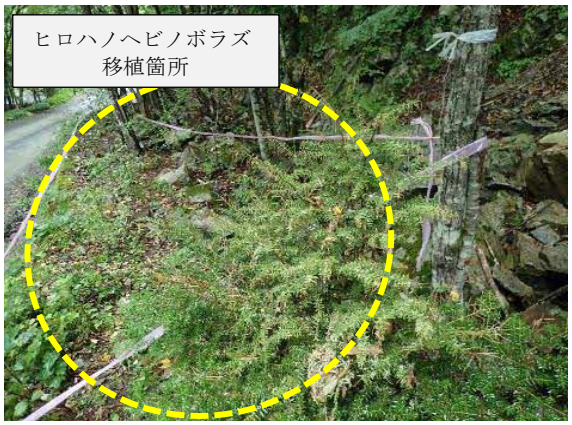


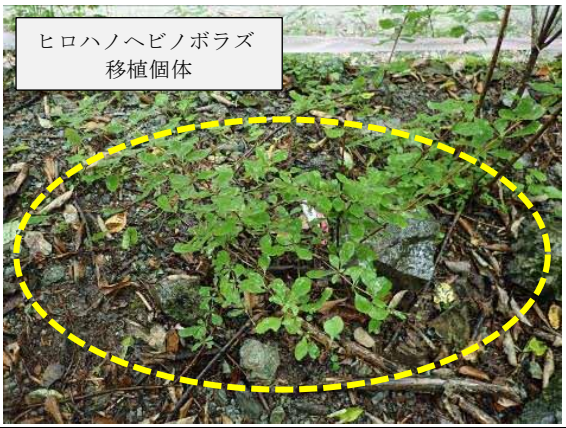


全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2019 年８月６日：結実期）

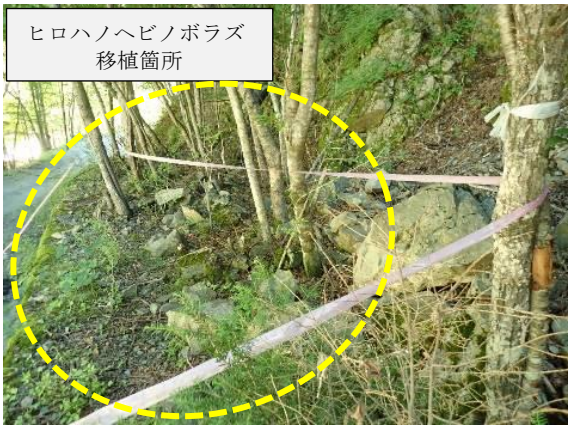
図 630(8)　生育状況調査結果（ヒロハノヘビノボラズ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2020 年８月 28 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2021 年８月４日：結実期）

図 630(9)　生育状況調査結果（ヒロハノヘビノボラズ）

1.4.2ヤマシャクヤク

ヤマシャクヤクの生育状況調査の結果を図 631 に示します。

（2025 年移植個体、播種箇所）

地点①に４個体、地点②に 10 個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2025 年 12 月９日、12 月 18 日）では、地点①、地点②において、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化や移植個体の変化は特に見られませんでした。

今後の調査においても、生育状況を確認する予定です。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2025 年 12 月９日：移植後１ヶ月以内）

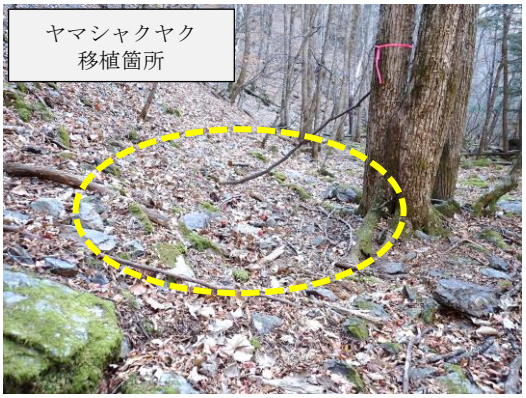




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2025 年 12 月 18 日：移植後１ヶ月以内）

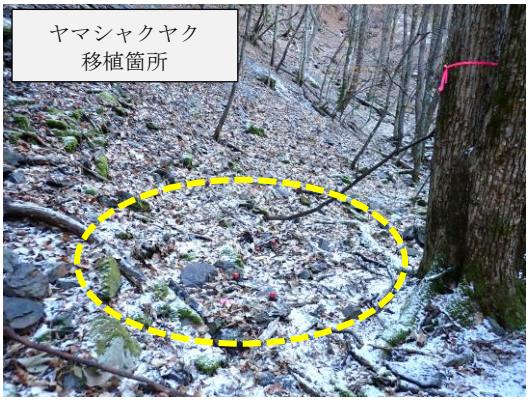
図 631(1)　生育状況調査結果（ヤマシャクヤク）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2025 年 12 月９日：移植後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2025 年 12 月 18 日：移植後１ヶ月以内）





播種後の現地状況（地点②）
（2025 年 12 月９日：播種後１ヶ月以内）

播種後の現地状況（地点②）
（2025 年 12 月 18 日：播種後１ヶ月以内）

図 631(2)　生育状況調査結果（ヤマシャクヤク）

1.4.3ナガミノツルキケマン

ナガミノツルキケマンの生育状況調査の結果を図 632 に示します。

（2018 年播種個体）

播種を実施しました。

播種後１ヶ月以内の確認（2018 年 11 月 15 日、2018 年 11 月 29 日）では、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、播種箇所の環境変化は特に見られませんでした。

播種後１年目の発芽期の確認（2019 年５月 11 日）では、２個体の発芽が確認されました。開花期の確認（2019 年８月７日）では、２個体の生育が確認され、結実期の確認（2019 年９月３日）では、２個体の生育が確認されました。

播種後２年目の結実期の確認（2020 年９月 12 日）では、個体の生育は確認されませんでした。

播種後３年目の結実期の確認（2021 年９月 14 日）では、１個体の生育が確認されました。

播種後３年間の調査において、個体の生育が確認できたことから、専門家への報告、確認のうえ、調査を終了しました。



播種後の現地状況

（2018 年 11 月 15 日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況

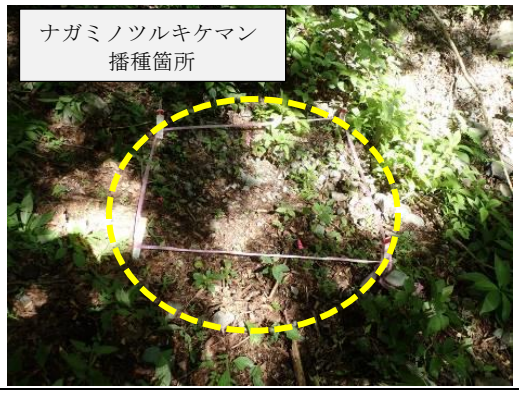
（2018 年 11 月 29 日：播種後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年５月 11 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年８月７日：開花期）

図 632(1)　生育状況調査結果（ナガミノツルキケマン）





全景写真　　近景写真

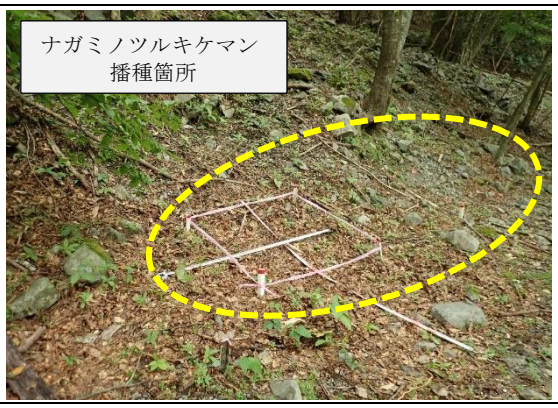
播種後の現地状況（2019 年９月３日：結実期）

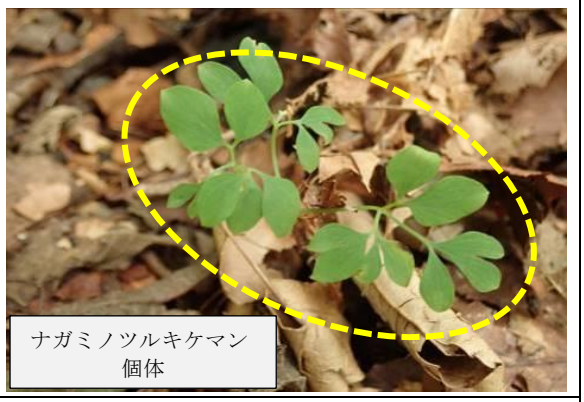




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2020 年９月 12 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2021 年９月 14 日：結実期）

図 632(2)　生育状況調査結果（ナガミノツルキケマン）

（2020 年播種箇所）

播種を実施しました。

播種後１ヶ月以内の確認（2020 年 11 月５日、2020 年 11 月 16 日）では、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、播種箇所の環境変化は特に見られませんでした。

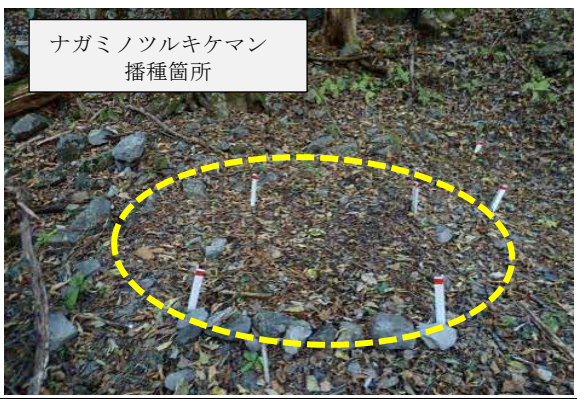
播種後１年目の発芽期の確認（2021 年５月 16 日）では、44 個体の発芽が確認されました。開花期の確認（2021 年８月４日）では、18 個体の生育が確認されました。結実期の確認（2021 年９月 14 日）では、８個体の生育が確認されました。

播種後２年目の結実期の確認（2022 年９月 15 日）では、個体の生育は確認されませんでした。

播種後３年目の結実期の確認（2023 年９月 14 日）では、個体の生育は確認されませんでした。

播種後３年間の調査において、個体の生育が確認できたことから、専門家への報告、確認のうえ、調査を終了しました。

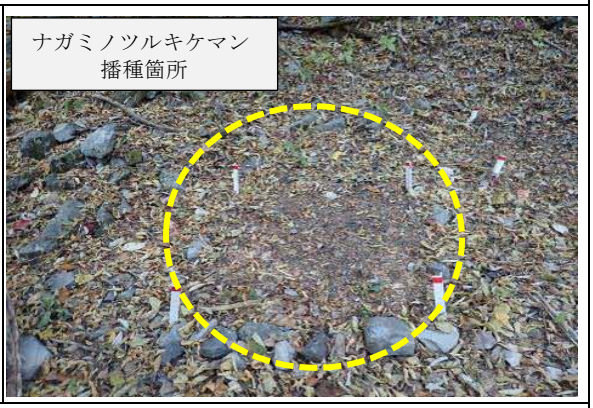




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2020 年 11 月５日：播種後１ヶ月以内（１回目））





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2020 年 11 月 16 日：播種後１ヶ月以内（２回目））

図 632(3)　生育状況調査結果（ナガミノツルキケマン）

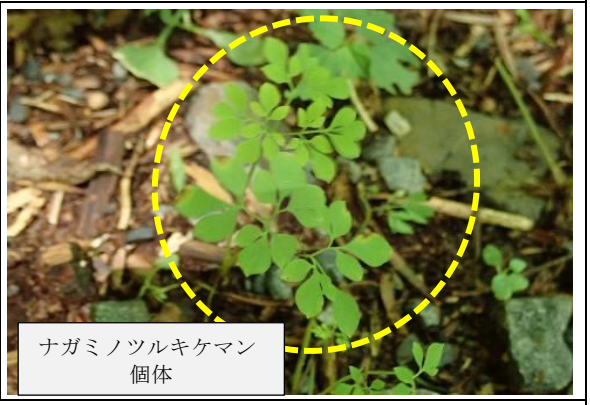




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2021 年５月 16 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2021 年８月４日：開花期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2021 年９月 14 日：結実期）

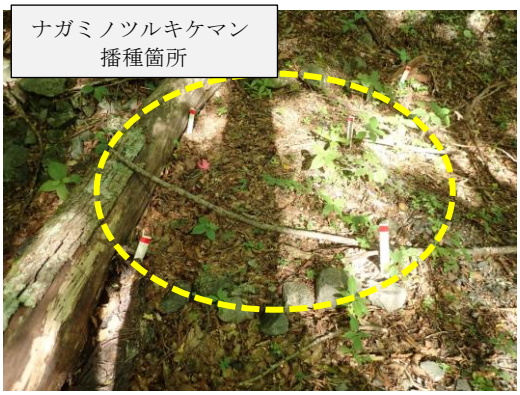
図 632(4)　生育状況調査結果（ナガミノツルキケマン）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2022 年９月 15 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2023 年９月 14 日：結実期）

図 632(5)　生育状況調査結果（ナガミノツルキケマン）

（2022 年播種個体）

播種を実施しました。

播種後１ヶ月以内の確認（2022 年 11 月 25 日、2022 年 12 月２日）では、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、播種箇所の環境変化は特に見られませんでした。

播種後１年目の発芽期の確認（2023 年５月 11 日）では、８個体の生育が確認されました。開花期の確認（2023 年８月 25 日）では、１個体の生育が確認されました。また、結実期の確認（2023 年９月 14 日）では、個体の生育は確認されませんでした。

播種後２年目の結実期の確認（2024 年 10 月 17 日）では、個体の生育は確認されませんでした。

播種後３年目の開花期の確認（2025 年８月 22 日）では、個体の生育は確認されませんでした。

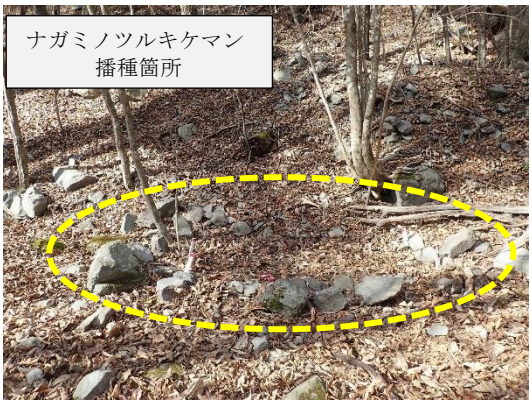
播種後３年間の調査において、個体の生育が確認できたことから、専門家への報告、確認のうえ、調査を終了しました。





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2022 年 11 月 25 日：播種後１ヶ月以内）

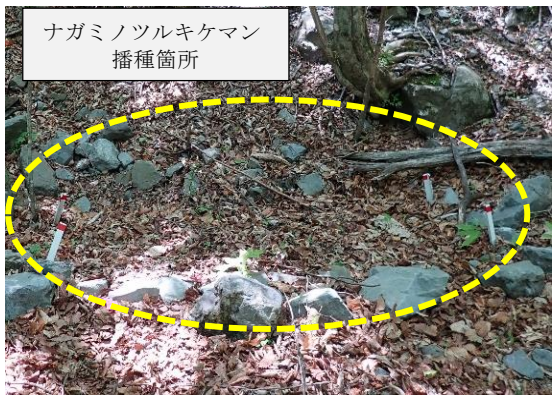




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2022 年 12 月２日：播種後１ヶ月以内）

図 632(6)　生育状況調査結果（ナガミノツルキケマン）





全景写真　　近景写真

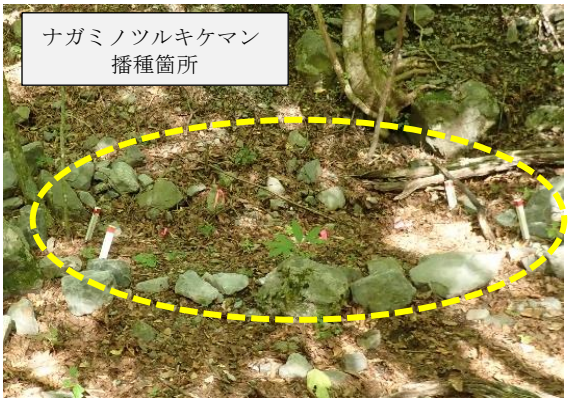
播種後の現地状況（2023 年５月 11 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2023 年８月 25 日：開花期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2023 年９月 14 日：結実期）

図 632(7)　生育状況調査結果（ナガミノツルキケマン）



全景写真



近景写真

播種後の現地状況（2024 年 10 月 17 日：結実期）



全景写真



近景写真

播種後の現地状況（2025 年８月 22 日：開花期）

図 632(8)　生育状況調査結果（ナガミノツルキケマン）

1.4.4ヤシャビシャク

ヤシャビシャクの生育状況調査の結果を図 633 に示します。

（2017 年移植個体）

地点①に３個体、地点②に２個体、移植を実施しました。

移植後１ヶ月以内の確認（2017 年 10 月 11 日、2017 年 10 月 27 日、2017 年 10 月 30 日）では、地点①、地点②において、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植箇所の環境変化や移植個体の変化も特に見られませんでした。

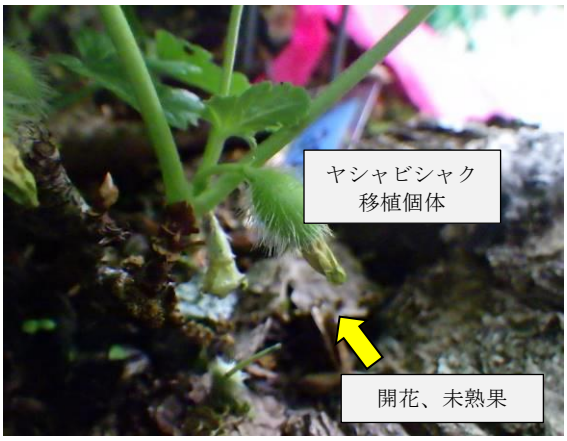
移植後１年目の開花期の確認（2018 年５月 22 日、2018 年５月 23 日）では、地点①において、３個体の生育が確認され、そのうち１個体の開花と未熟果が確認されました。地点②において、２個体の生育が確認され、そのうち２個体の開花と未熟果が確認されました。結実期の確認（2018 年８月 28 日）では、地点①において、２個体の生育が確認されました。地点②において、２個体の生育が確認され、そのうち２個体の結実が確認されました。

移植後２年目の結実期の確認（2019 年８月６日）では、地点①において、１個体の生育が確認されました。地点②においては、2018 年９月の台風による大雨の出水に伴い、移植先の倒木が回転したことで移植個体が脱落したと考えられ、移植個体は確認されませんでした。

移植後３年目の結実期の確認（2020 年８月 26 日、2020 年８月 28 日）では、地点①において、１個体の生育が確認されました。地点②については、2018 年９月の台風による大雨の出水に伴い、移植先の倒木が回転したことで移植個体が脱落したと考えられ、移植個体は確認されませんでした。

移植後３年間の調査において、個体の生育が確認できたことから、専門家への報告、確認のうえ、調査を終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年５月 23 日：開花期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年８月 28 日：結実期）

図 633(1)　生育状況調査結果（ヤシャビシャク）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2019 年８月６日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2020 年８月 28 日：結実期）

図 633(2)　生育状況調査結果（ヤシャビシャク）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年５月 22 日：開花期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年８月 28 日：結実期）

図 633(3)　生育状況調査結果（ヤシャビシャク）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2019 年８月６日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2020 年８月 26 日：結実期）

図 633(4)　生育状況調査結果（ヤシャビシャク）

1.4.5チョウセンナニワズ

チョウセンナニワズの生育状況調査の結果を図 634 に示します。

（2017 年移植個体）

地点①に４個体、地点②に 28 個体、移植を実施しました。

移植後１ヶ月以内の確認（2017 年 10 月 11 日、2017 年 10 月 27 日、2017 年 10 月 30 日）では、地点①、地点②において、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植箇所の環境変化や移植個体の変化も特に見られませんでした。

移植後１年目の開花期の確認（2018 年５月 22 日）では、地点①において、３個体の生育が確認されました。地点②において、27 個体の生育が確認され、そのうち５個体の結実が確認されました。結実期の確認（2018 年７月 17 日）では、地点①において、３個体の生育が確認され、そのうち２個体の花芽が確認されました。地点②において、27 個体の生育が確認され、そのうち７個体の結実が確認されました。

移植後２年目の結実期の確認（2019 年７月 17 日）では、地点①において、４個体の生育、花芽が確認されました。地点②において、27 個体の生育が確認され、そのうち 20 個体で花芽、６個体で結実が確認されました。

移植後３年目の結実期の確認（2020 年８月 25 日）では、地点①において、４個体の生育が確認され、そのうち３個体で花芽が確認されました。地点②において、25 個体の生育が確認され、そのうち 22 個体で花芽、１個体で結実が確認されました。

移植後３年間の調査において、個体の生育が確認できたことから、専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

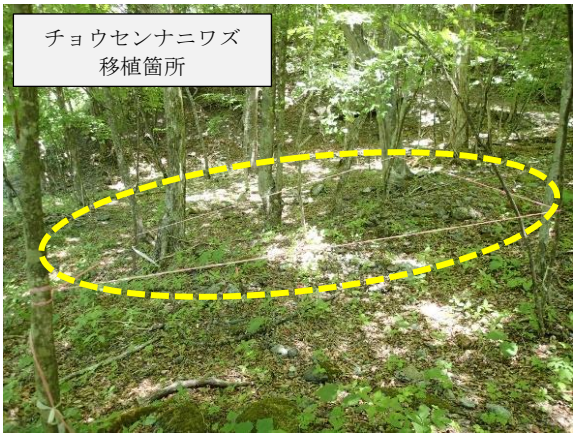
移植後の現地状況（地点①）（2017 年 10 月 11 日：移植後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2017 年 10 月 30 日：移植後 1 ヶ月以内）

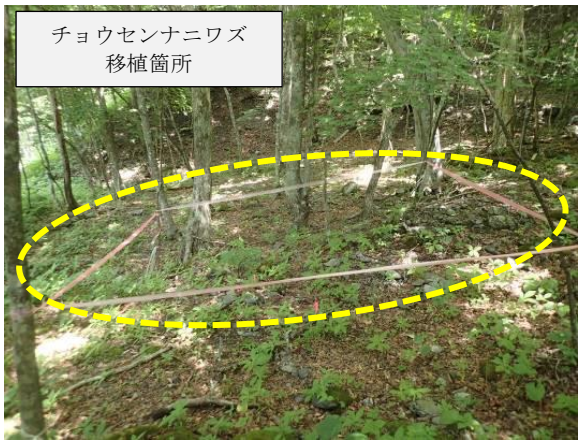




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年 5 月 22 日：開花期）

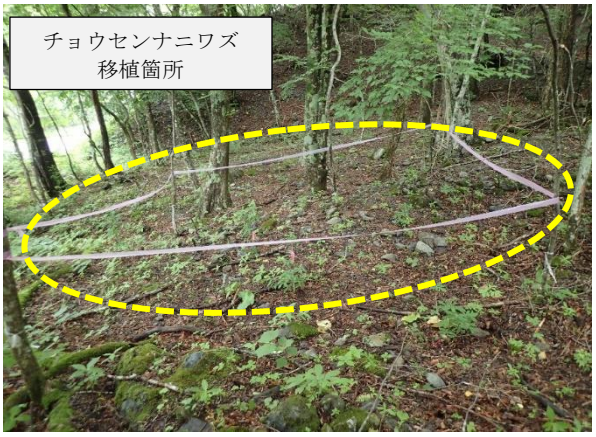
図 634(1)　生育状況調査結果（チョウセンナニワズ）

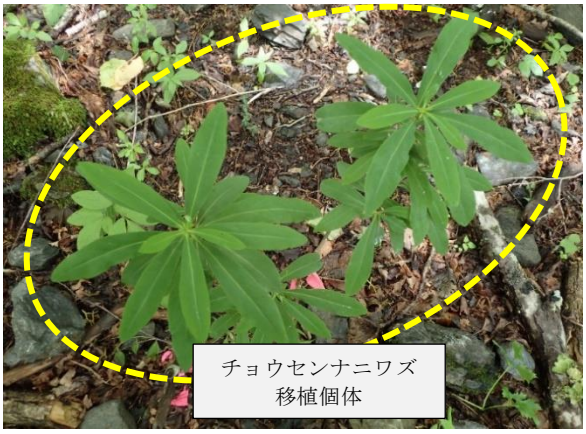




全景写真　　近景写真

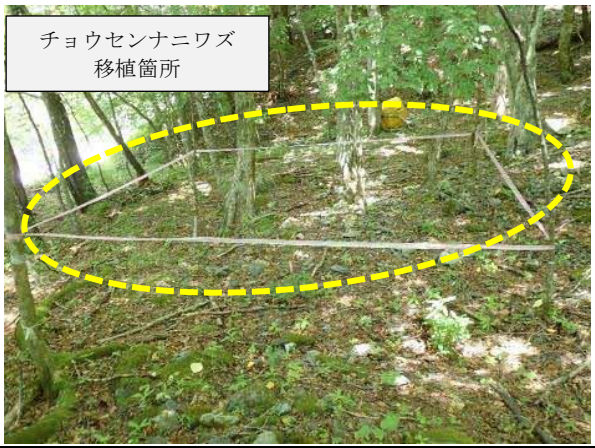
移植後の現地状況（地点①）（2018 年 7 月 17 日：結実期）

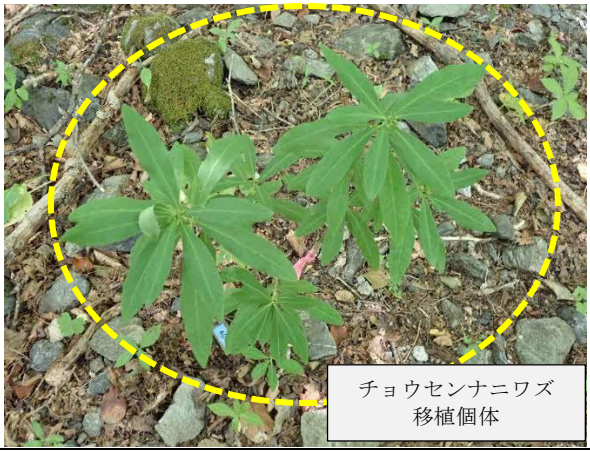




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2019 年 7 月 17 日：結実期）

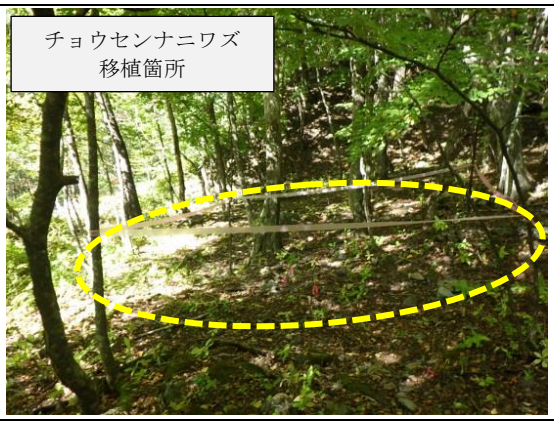




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2020 年 8 月 25 日：結実期）

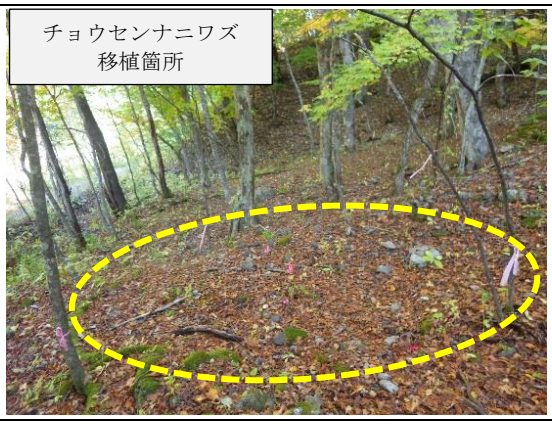
図 634(2)　生育状況調査結果（チョウセンナニワズ）





全景写真　　近景写真

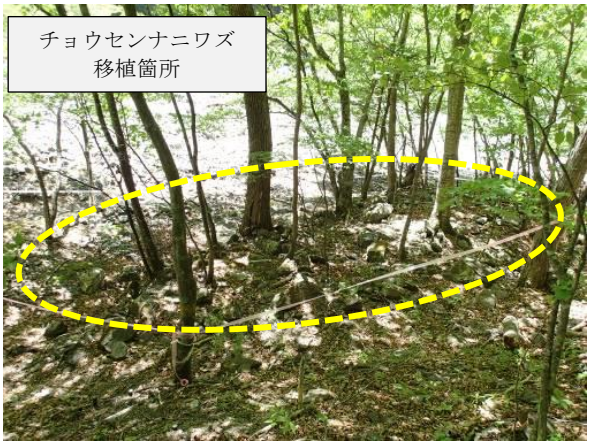
移植後の現地状況（地点②）（2017 年 10 月 11 日：移植後１ヶ月以内）

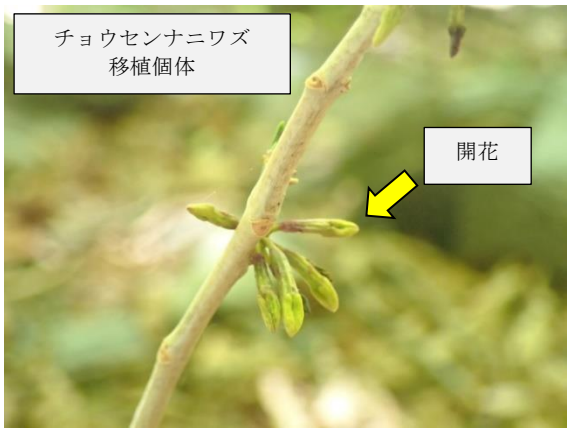




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2017 年 10 月 27 日：移植後１ヶ月以内）

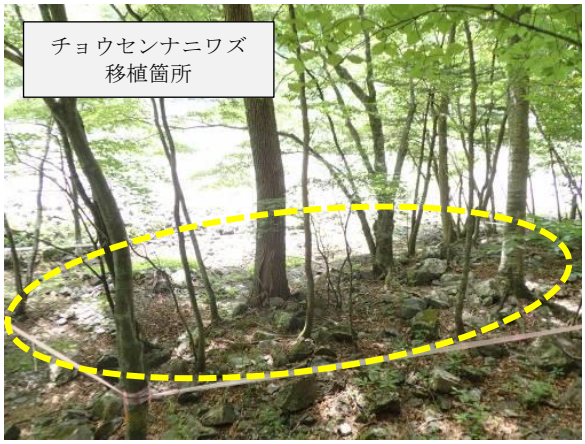




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年５月 22 日：開花期）

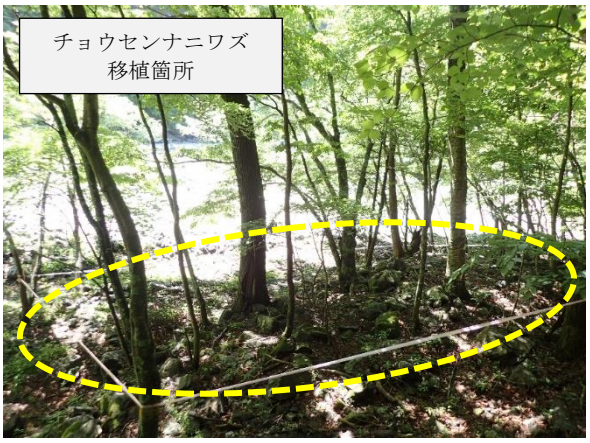
図 634(3)　生育状況調査結果（チョウセンナニワズ）

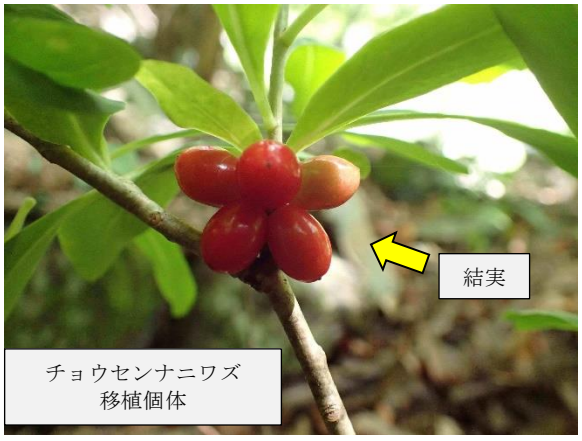




全景写真　　近景写真

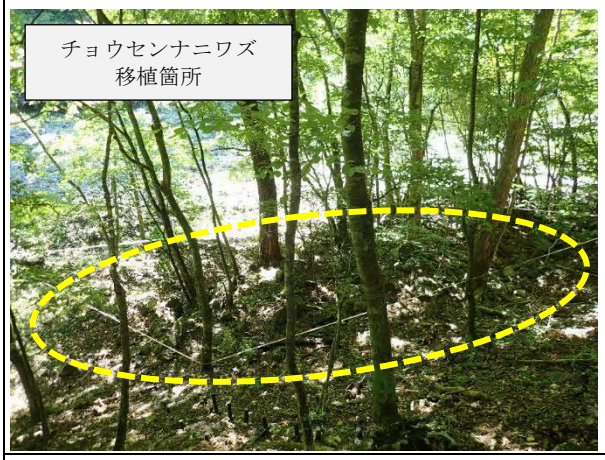
移植後の現地状況（地点②）（2018 年 7 月 17 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2019 年 7 月 17 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2020 年 8 月 25 日：結実期）

図 634(4)　生育状況調査結果（チョウセンナニワズ）

1.4.6 ミヤマスミレ

ミヤマスミレの生育状況調査の結果を図 635 に示します。

（2018 年移植個体・播種箇所）

205 個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2018 年 11 月 13 日、2018 年 11 月 14 日、2018 年 11 月 27 日、2018 年 11 月 28 日）では、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化や移植個体の変化は特に見られませんでした。

播種後１年目の発芽期の確認（2019 年５月９日）では、173 個体の発芽が確認され、そのうち 10 個体で開花が確認されました。開花期の確認（2019 年６月 11 日）では、184 個体の生育が確認され、そのうち４個体で開花、６個体で結実が確認されました。結実期の確認（2019 年７月 19 日）では、190 個体の生育が確認され、そのうち９個体の結実が確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

播種後２年目の結実期の確認（2020 年８月 27 日）では、205 個体の生育が確認され、そのうち８個体の結実が確認されました。播種箇所においては、２個体の生育が確認されました。

播種後３年目の結実期の確認（2021 年７月 12 日）では、154 個体の生育が確認されました。播種箇所においては、３個体の生育が確認されました。

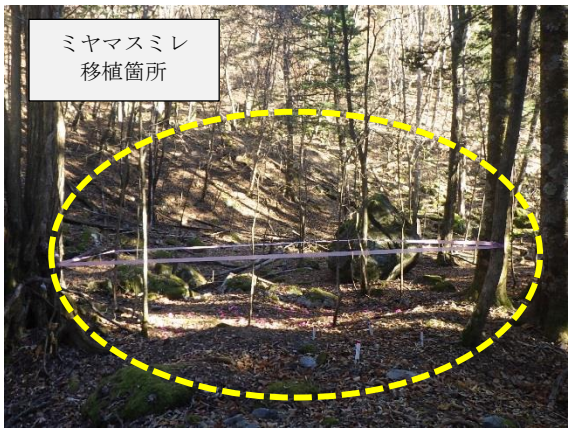
移植後３年間の調査において、個体の生育が確認できたことから、専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年 11 月 13 日、14 日：移植後 1 ヶ月以内）

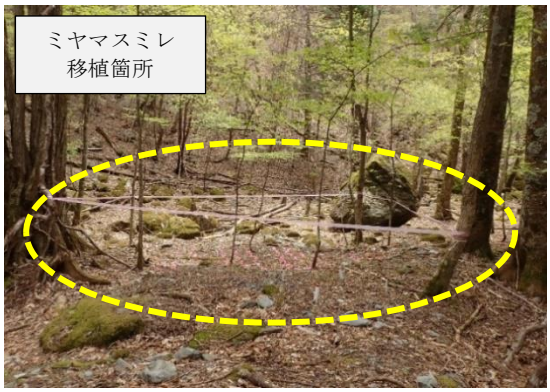




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年 11 月 27 日、28 日：移植後 1 ヶ月以内）

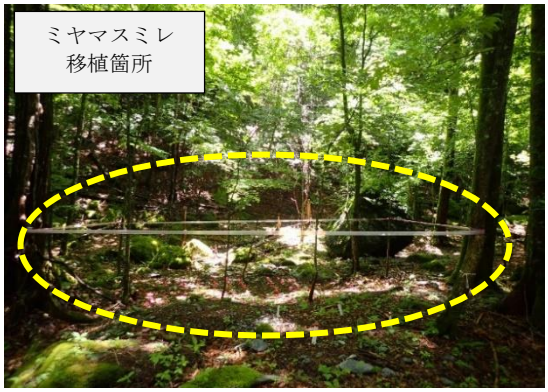
図 635(1)　生育状況調査結果（ミヤマスミレ）





全景写真　　近景写真

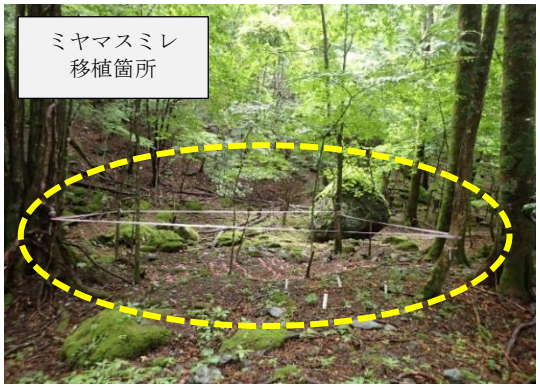
移植後の現地状況（2019 年５月９日：発芽期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2019 年６月 11 日：開花期）

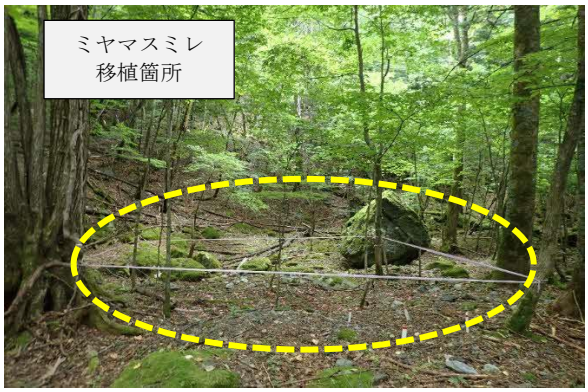


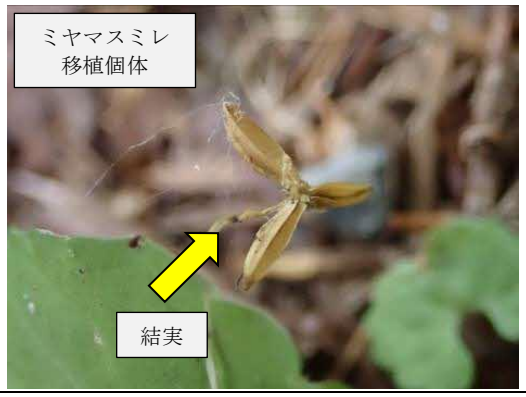


全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2019 年７月 19 日：結実期）

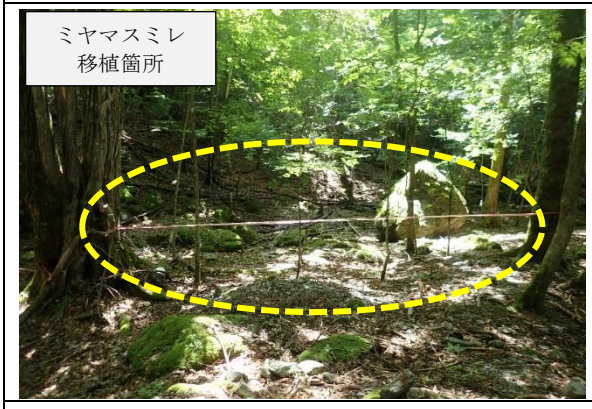
図 635(2)　生育状況調査結果（ミヤマスミレ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2020 年８月 27 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2021 年７月 12 日：結実期）

図 635(3)　生育状況調査結果（ミヤマスミレ）



播種後の現地状況

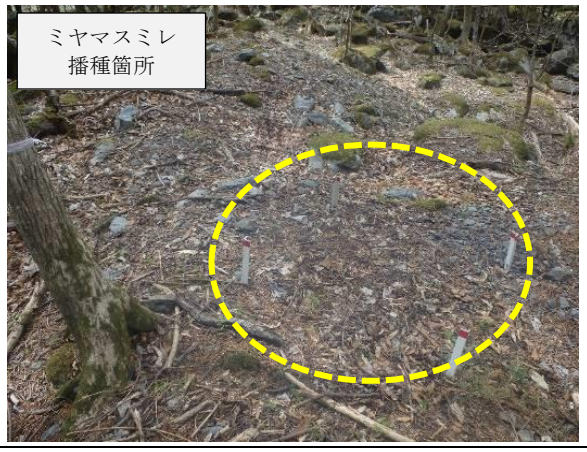
（2018 年 11 月 13 日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況

（2018 年 11 月 27 日：播種後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年５月９日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年６月 11 日：開花期）

図 635(4)　生育状況調査結果（ミヤマスミレ）





全景写真　　近景写真

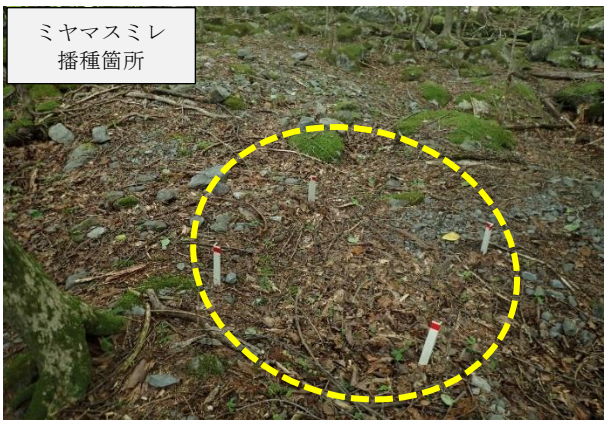
播種後の現地状況（2019 年 7 月 19 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2020 年 8 月 27 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2021 年 7 月 12 日：結実期）

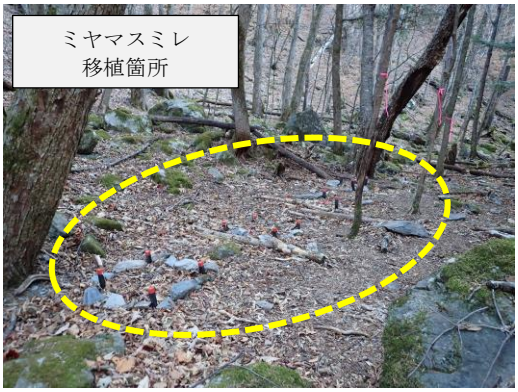
図 635(5)　生育状況調査結果（ミヤマスミレ）

（2025 年移植個体、播種箇所）

30 個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2025 年 12 月 9 日、12 月 18 日）では、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化や移植個体の変化は特に見られませんでした。

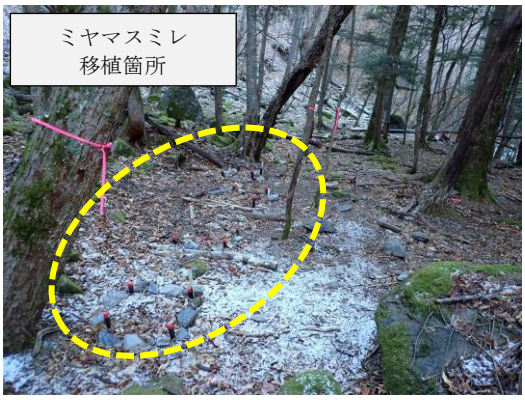
今後の調査においても、生育状況を確認する予定です。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2025 年 12 月９日：移植後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2025 年 12 月 18 日：移植後１ヶ月以内）





播種後の現地状況
（2025 年 12 月９日：播種後１ヶ月以内）

播種後の現地状況
（2025 年 12 月 18 日：播種後１ヶ月以内）

図 635(6)　生育状況調査結果（ミヤマスミレ）

1.4.7 ミヤマニガウリ

ミヤマニガウリの生育状況調査の結果を図 636 に示します。

（2022 年、2023 年播種箇所）

播種を実施しました。専門家からの助言を踏まえ、結実期後の時期と、種子を冷暗所で保管したうえで、発芽期前の時期に播種を実施しました。

播種後１ヶ月以内の確認（2022 年 11 月 25 日、12 月 2 日、2023 年５月 26 日、６月 16 日）では、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、播種箇所の環境変化は特に見られませんでした。

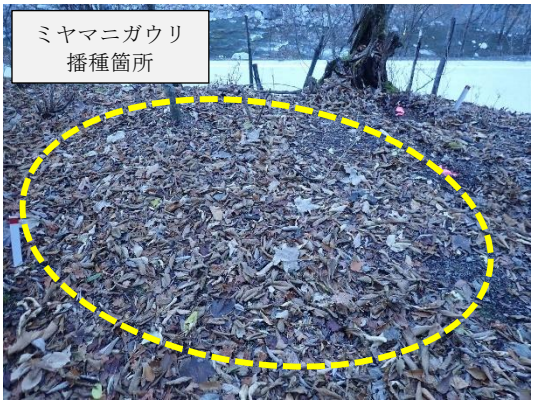
播種後１年目の発芽期の確認（2023 年５月 11 日）では、２個体の発芽が確認されました。開花期の確認（2023 年９月 14 日）では、１個体の生育が確認されました。結実期の確認（2023 年 10 月 15 日）においては、個体の生育は確認されませんでした。

播種後２年目の結実期の確認（2024 年 10 月 17 日）では、個体の生育は確認されませんでした。

播種後３年目の開花期の確認（2025 年９月９日）では、個体の生育は確認されませんでした。

播種後３年間の調査において、播種後１年目には個体の生育が確認できましたが、２年目以降で個体の生育が確認されませんでした。１年生草本である本種の特性上、以降の個体の確認は難しいと考えられます。専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。

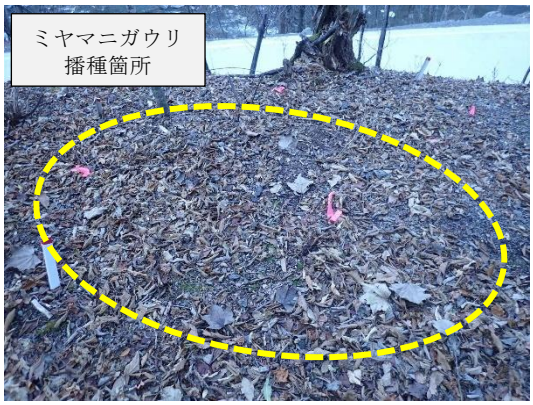




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2022 年 11 月 25 日：播種後 1 ヶ月以内）

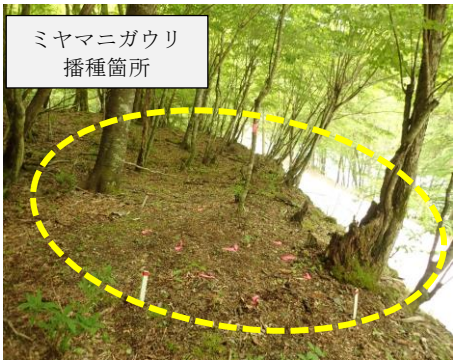




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2022 年 12 月 2 日：播種後 1 ヶ月以内）

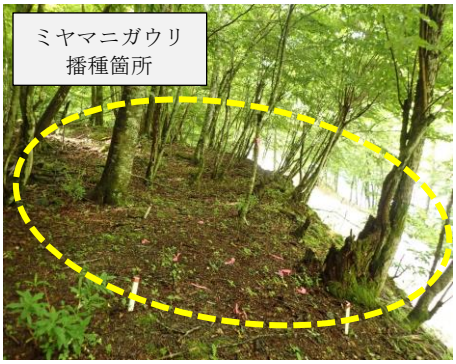
図 636(1)　生育状況調査結果（ミヤマニガウリ）

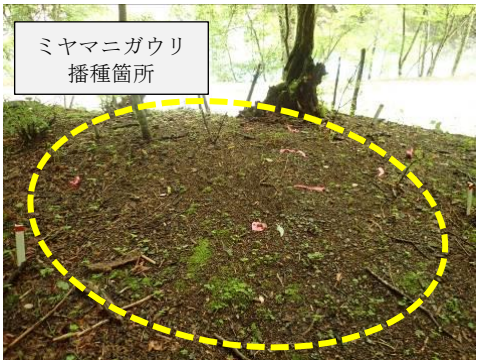




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2023 年５月 26 日：播種後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2023 年６月 16 日：播種後１ヶ月以内）

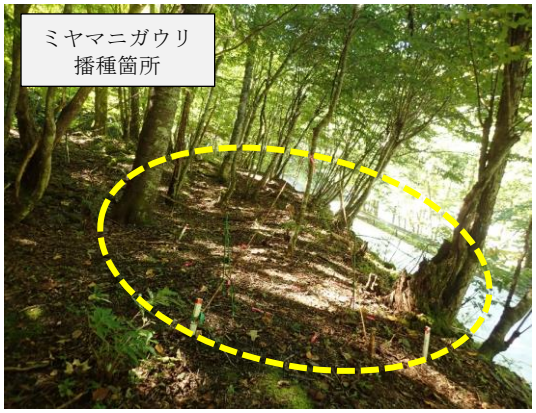
図 636(2)　生育状況調査結果（ミヤマニガウリ）





全景写真　　近景写真

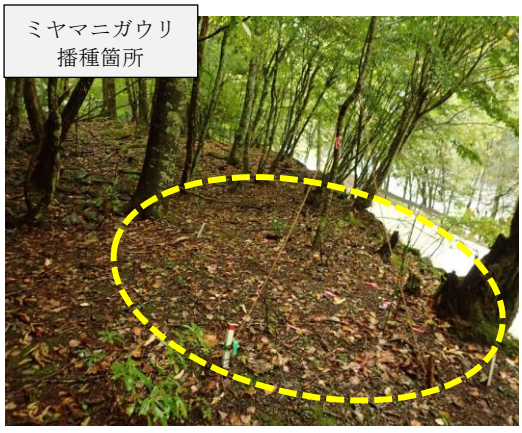
播種後の現地状況（2023 年５月 11 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2023 年９月 14 日：開花期）

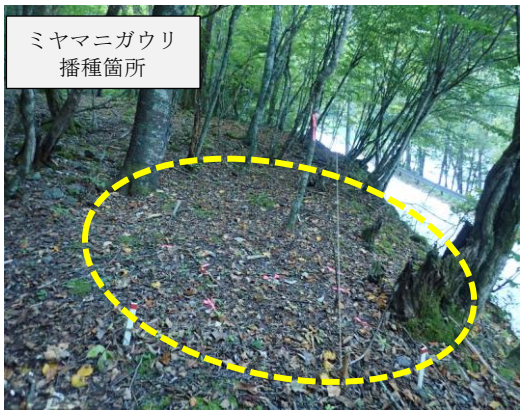




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2023 年 10 月 15 日：結実期）

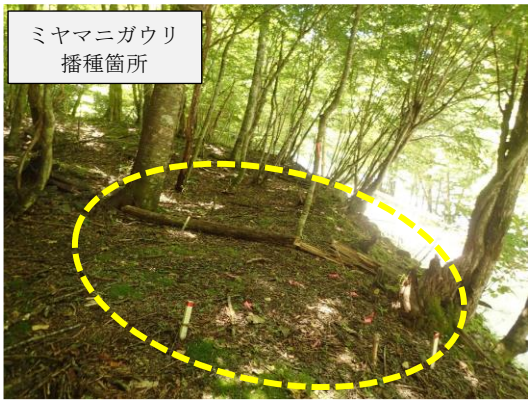
図 636(3)　生育状況調査結果（ミヤマニガウリ）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2024 年 10 月 17 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2025 年９月９日：開花期）

図 636(4)　生育状況調査結果（ミヤマニガウリ）

（2025 年播種箇所）

播種を実施しました。

播種後１ヶ月以内の確認（2025 年 11 月 20 日、11 月 27 日、12 月９日、12 月 18 日）では、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、播種箇所の環境変化は特に見られませんでした。

今後の調査においても、生育状況を確認する予定です。

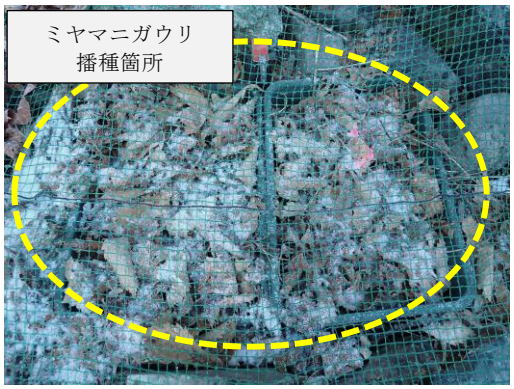
<table>
<tr><td> 
</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>播種後の現地状況
（2025 年 11 月 20 日：播種後１ヶ月以内）</td><td>播種後の現地状況
（2025 年 11 月 27 日：播種後１ヶ月以内）</td></tr>
<tr><td> 
</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>播種後の現地状況
（2025 年 12 月９日：播種後１ヶ月以内）</td><td>播種後の現地状況
（2025 年 12 月 18 日：播種後１ヶ月以内）</td></tr>
</table>

図 636(5)　生育状況調査結果（ミヤマニガウリ）

1.4.8 トダイアカバナ

トダイアカバナの生育状況調査の結果を図 637 に示します。

（2018 年移植個体、播種箇所）

地点①に 347 個体、地点②に 22 個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2018 年 11 月 13 日、2018 年 11 月 27 日）では、地点①、地点②において、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化や移植個体の変化は特に見られませんでした。

移植・播種後１年目の発芽期の確認（2019 年６月 11 日、2019 年６月 12 日）では、地点①において、212 個体の生育が確認されました。地点②において、６個体の生育が確認されました。開花期の確認（2019 年９月 25 日）では、地点①において、148 個体の生育が確認され、そのうち 13 個体で開花、66 個体で結実が確認されました。地点②において、６個体の生育が確認され、そのうち３個体で開花、２個体で結実が確認されました。播種箇所においては、70 個体の生育が確認され、そのうち３個体で開花、14 個体で結実が確認されました。結実期の確認（2019 年 11 月 20 日、2019 年 11 月 21 日、2019 年 11 月 22 日）では、地点①において、129 個体の生育が確認され、そのうち 55 個体で結実が確認されました。地点②において、６個体の生育が確認され、そのうち３個体で結実が確認されました。播種箇所においては、17 個体を確認し、そのうち５個体で結実が確認されました。

移植・播種後２年目の結実期の確認（2020 年 10 月 14 日、2020 年 10 月 15 日）では、地点①において、86 個体の生育が確認され、そのうち 55 個体で結実が確認されました。地点②において、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、18 個体が確認され、そのうち 12 個体で結実が確認されました。

移植・播種後３年目の結実期の確認（2021 年 10 月 14 日、2021 年 10 月 15 日）では、地点①において、36 個体の生育が確認され、そのうち 12 個体で結実が確認されました。地点②において、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、11 個体の生育が確認されました。

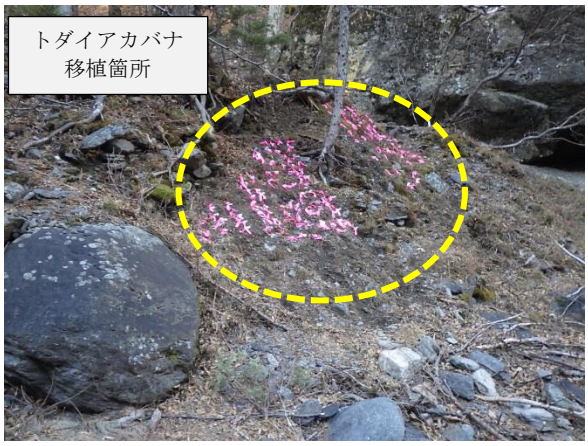
移植・播種後３年間の調査において、個体の生育、結実が確認できたことから、専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年 11 月 13 日：移植後 1 ヶ月以内）

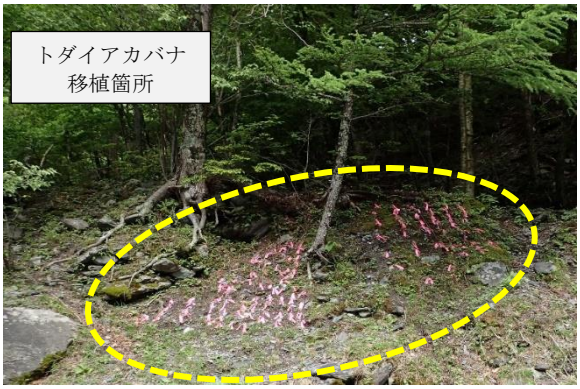




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年 11 月 27 日：移植後 1 ヶ月以内）

図 637(1)　生育状況調査結果（トダイアカバナ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2019 年６月 12 日：発芽期）

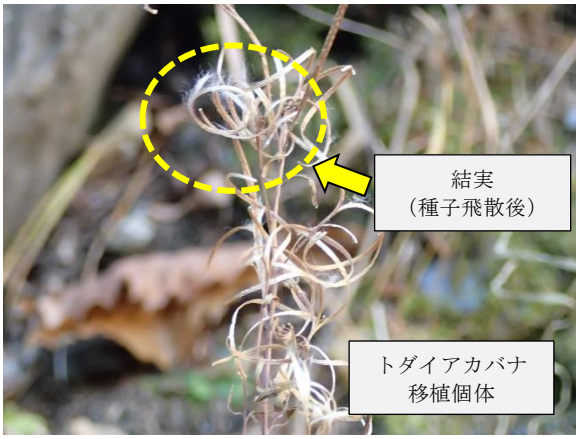




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2019 年９月 25 日：開花期）

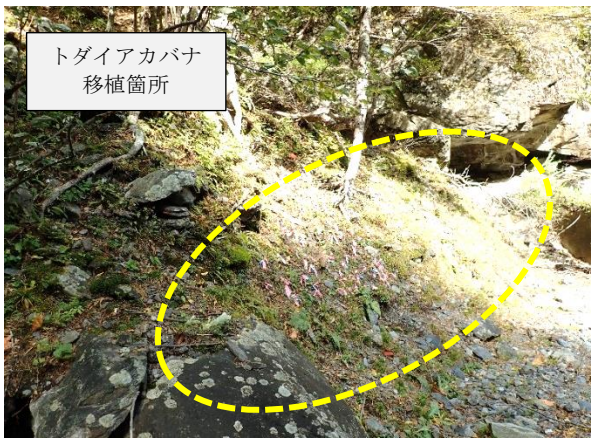


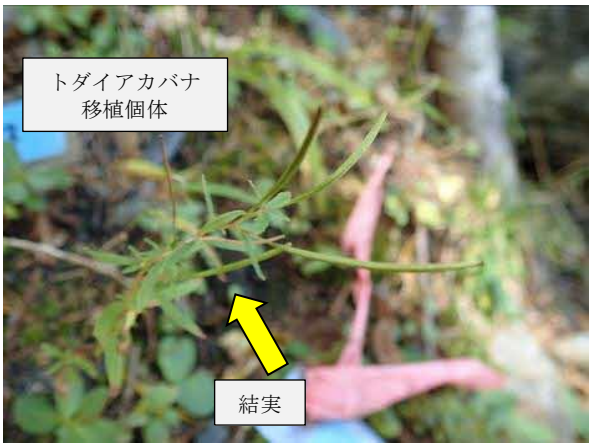


全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2019 年 11 月 20 日、21 日：結実期）

図 637(2)　生育状況調査結果（トダイアカバナ）

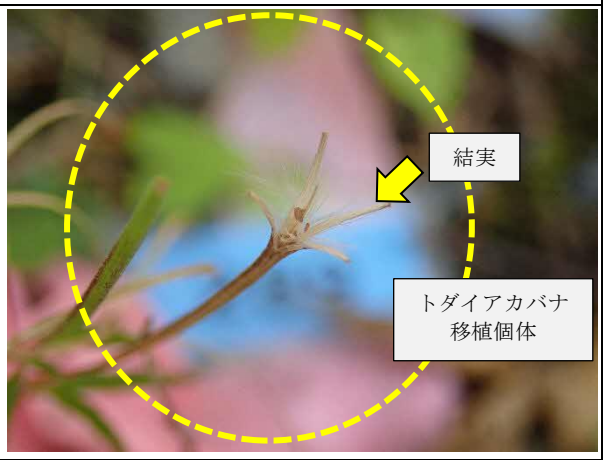




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2020 年 10 月 14 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2021 年 10 月 14 日：結実期）

図 637(3)　生育状況調査結果（トダイアカバナ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年 11 月 13 日：移植後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年 11 月 27 日：移植後 1 ヶ月以内）

図 637(4)　生育状況調査結果（トダイアカバナ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2019 年６月 11 日：発芽期）

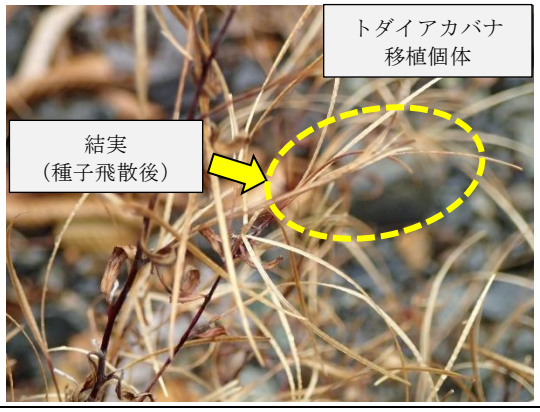




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2019 年９月 25 日：開花期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2019 年 11 月 22 日：結実期）

図 637(5)　生育状況調査結果（トダイアカバナ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2020 年 10 月 15 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2021 年 10 月 15 日：結実期）

図 637(6)　生育状況調査結果（トダイアカバナ）



播種後の現地状況（地点①）
（2018 年 11 月 13 日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況（地点①）
（2018 年 11 月 27 日：播種後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2019 年６月 12 日：発芽期）



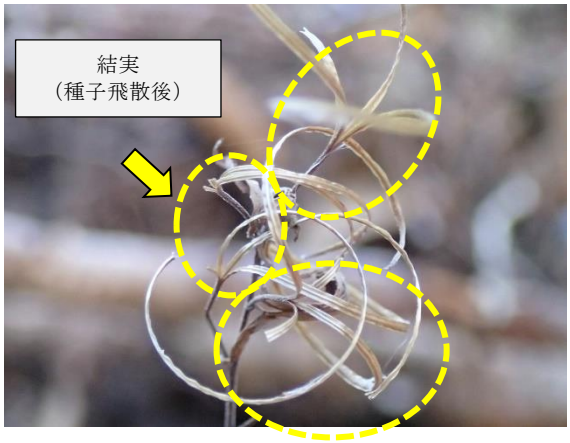


全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2019 年９月 25 日：開花期）

図 637(7)　生育状況調査結果（トダイアカバナ）





全景写真　　近景写真

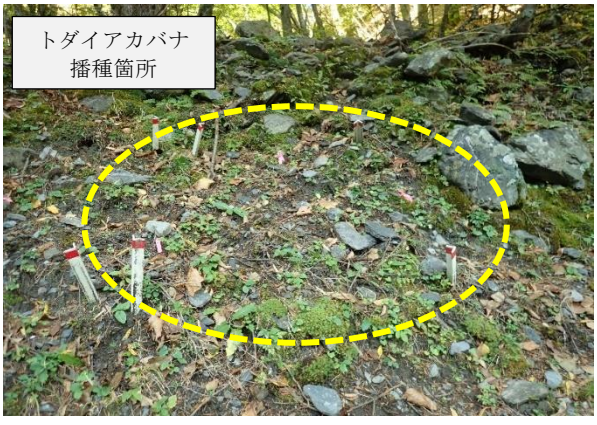
播種後の現地状況（地点①）（2019 年 11 月 20 日、21 日：結実期）

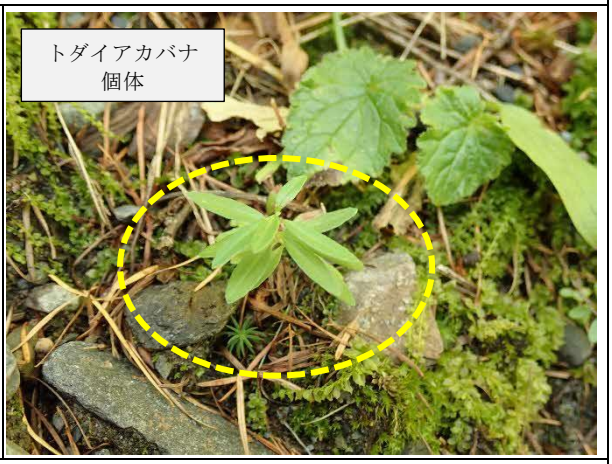




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2020 年 10 月 14 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2021 年 10 月 14 日：結実期）

図 637(8)　生育状況調査結果（トダイアカバナ）



播種後の現地状況（地点②）
（2018 年 11 月 13 日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況（地点②）
（2018 年 11 月 27 日：播種後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2019 年６月 11 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2019 年９月 25 日：開花期）

図 637(9)　生育状況調査結果（トダイアカバナ）





全景写真　　近景写真

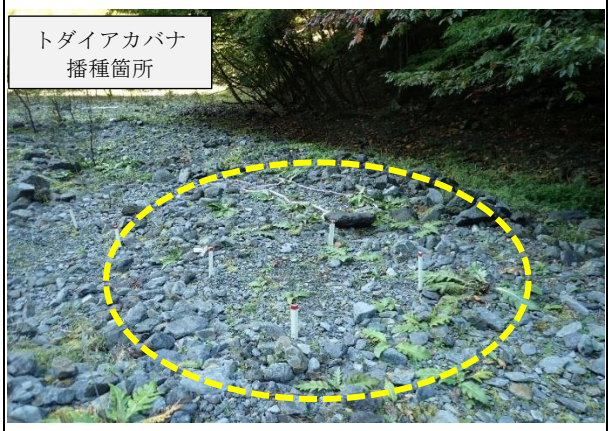
播種後の現地状況（地点②）（2019 年 11 月 22 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2020 年 10 月 15 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2021 年 10 月 15 日：結実期）

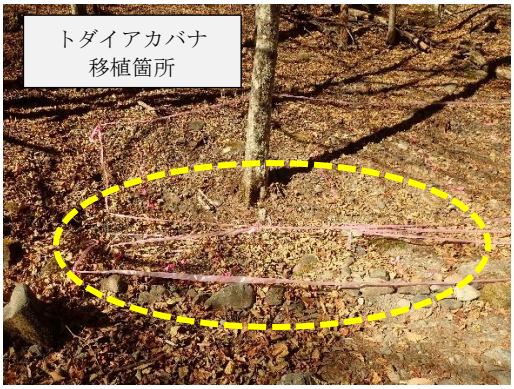
図 637(10)　生育状況調査結果（トダイアカバナ）

（2025 年移植個体、播種箇所）

15 個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2025 年 11 月 20 日、11 月 26 日）では、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化や移植個体の変化は特に見られませんでした。

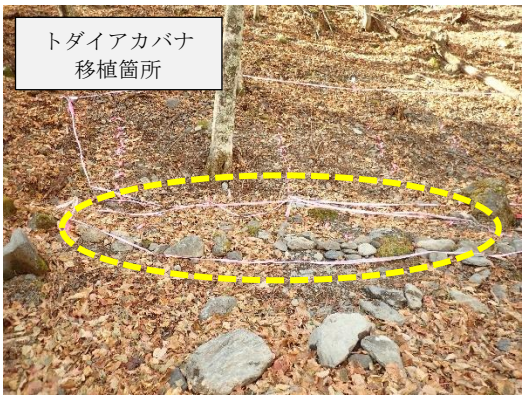
今後の調査においても、生育状況を確認する予定です。





全景写真　　近景写真

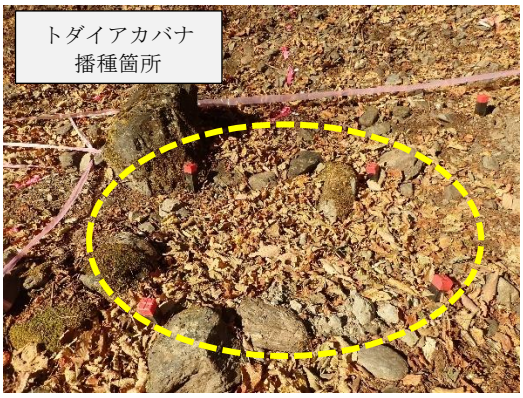
移植後の現地状況（2025 年 11 月 20 日：移植後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2025 年 11 月 26 日：移植後 1 ヶ月以内）





播種後の現地状況
（2025 年 11 月 20 日：播種後 1 ヶ月以内）

播種後の現地状況
（2025 年 11 月 26 日：播種後 1 ヶ月以内）

図 637(11)　生育状況調査結果（トダイアカバナ）

1.4.9ホソバハナウド

ホソバハナウドの生育状況調査の結果を図 638 に示します。

（2017 年移植個体、播種箇所）

３個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2017 年 10 月 13 日、2017 年 10 月 30 日）では、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化や移植個体の変化は特に見られませんでした。

移植・播種後１年目の発芽期の確認（2018 年５月 23 日）では、２個体の発芽が確認されました。また哺乳類によるものと思われる食害を受けていたことを確認したため、食害防止柵を設置しました。開花期の確認（2018 年９月 12 日）では、２個体の生育が確認されました。結実期の確認（2018 年 10 月 30 日）では、１個体の生育が確認されました。播種箇所においては、発芽は確認されませんでした。

移植・播種後２年目の結実期の確認（2019 年 11 月 24 日）では、移植箇所、播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。2019 年 10 月に頻発した台風の降雨によるものと考えられる地形変化で、生育基盤の流出及び食害防止策の損壊が確認されました。

移植・播種後３年目の結実期の確認（2020 年 10 月 16 日）では、移植個体、播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後３年間の調査において、2019 年 10 月に頻発した台風の降雨により生育基盤が流出し、以降、個体の生育は確認されませんでした。専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2017 年 10 月 13 日：移植後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2017 年 10 月 30 日：移植後 1 ヶ月以内）

図 638(1)　生育状況調査結果（ホソバハナウド）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年５月 23 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年９月 12 日：開花期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年 10 月 30 日：結実期）

図 638(2)　生育状況調査結果（ホソバハナウド）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2019 年 11 月 24 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2020 年 10 月 16 日：結実期）

図 638(3)　生育状況調査結果（ホソバハナウド）



播種後の現地状況
（2017 年 10 月 13 日：播種後 1 ヶ月以内）



播種後の現地状況
（2017 年 10 月 30 日：播種後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2018 年 5 月 23 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2018 年 9 月 12 日：開花期）

図 638(4)　生育状況調査結果（ホソバハナウド）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2018 年 10 月 30 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年 11 月 24 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2020 年 10 月 16 日：結実期）

図 638(5)　生育状況調査結果（ホソバハナウド）

1.4.10　ホソバツルリンドウ

ホソバツルリンドウの生育状況調査の結果を図 639 に示します。

（2017 年移植個体、播種箇所）

地点①に 13 個体、地点②に 16 個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2017 年 10 月 21 日、2017 年 10 月 30 日）では、地点①、地点②において、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化や移植個体の変化は特に見られませんでした。

移植・播種後１年目の発芽期の確認（2018 年５月 23 日）、開花期の確認（2018 年９月 20 日）、結実期の確認（2018 年 11 月 14 日）では、地点①、地点②において、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

播種後２年目の結実期の確認（2019 年 11 月 24 日）では、地点①、地点②において、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

播種後３年目の結実期の確認（2020 年 11 月 18 日）では、地点①、地点②において、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後３年間の調査において、個体の生育は確認されませんでした。移植・播種先には、同種が自生している箇所を選定し、環境容量にも配慮して移植・播種を実施しましたが、個体の生育を確認することはできませんでした。移植箇所に根茎が生存している可能性と、播種箇所から発芽する可能性は低いと考えられることから、専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2017 年 11 月 21 日：移植後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2017 年 11 月 30 日：移植後 1 ヶ月以内）

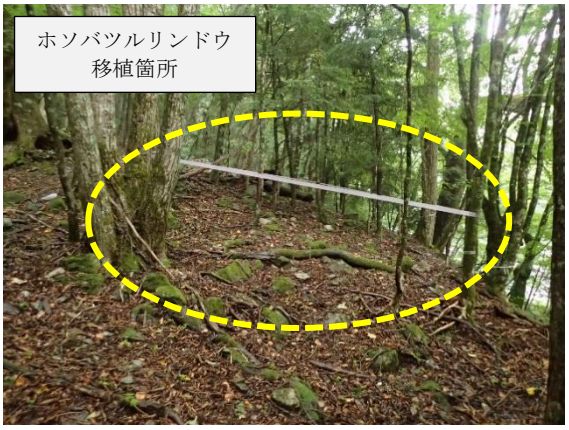
図 639(1)　生育状況調査結果（ホソバツルリンドウ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年５月 23 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年９月 20 日：開花期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年 11 月 14 日：結実期）

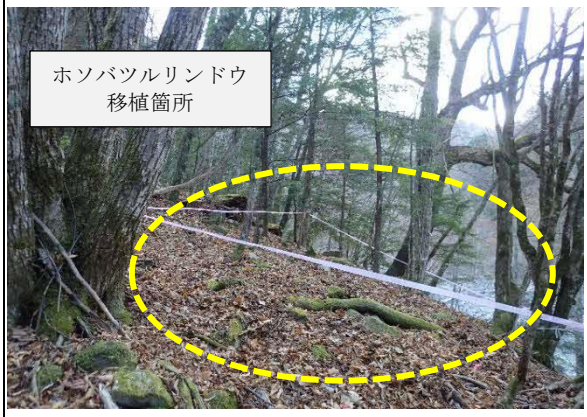
図 639(2)　生育状況調査結果（ホソバツルリンドウ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2019 年 11 月 24 日：結実期）

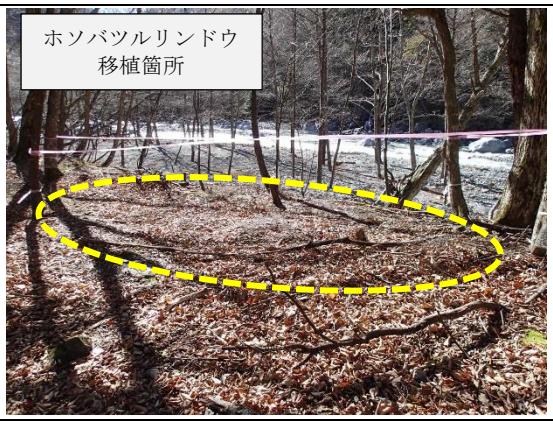




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2020 年 11 月 18 日：結実期）

図 639(3)　生育状況調査結果（ホソバツルリンドウ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2017 年 11 月 21 日：移植後 1 ヶ月以内）

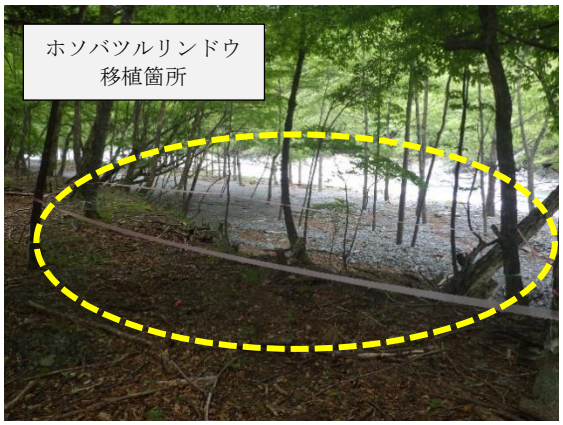




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2017 年 11 月 30 日：移植後 1 ヶ月以内）

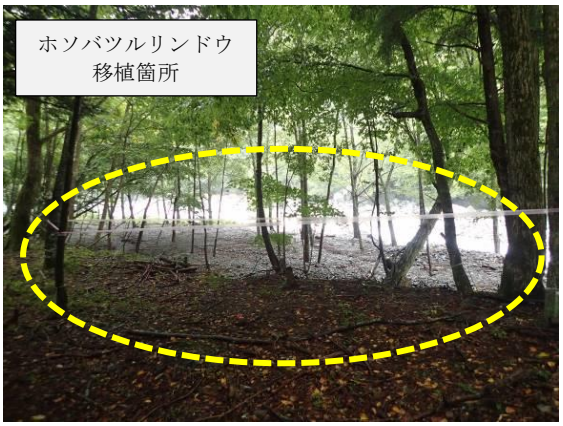
図 639(4)　生育状況調査結果（ホソバツルリンドウ）





全景写真　　近景写真

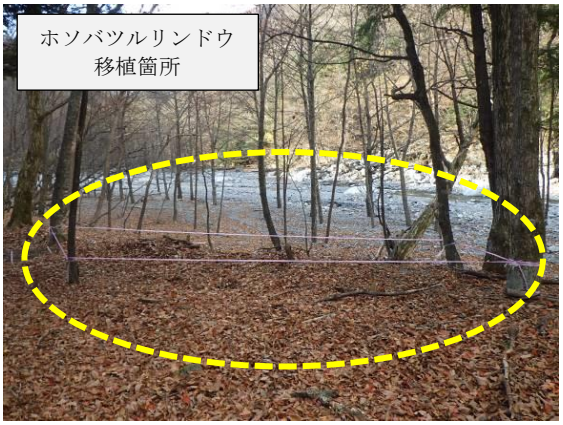
移植後の現地状況（地点②）（2018 年５月 23 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年９月 20 日：開花期）

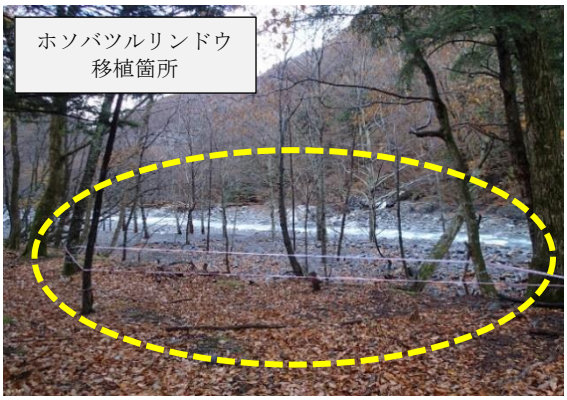




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年 11 月 14 日：結実期）

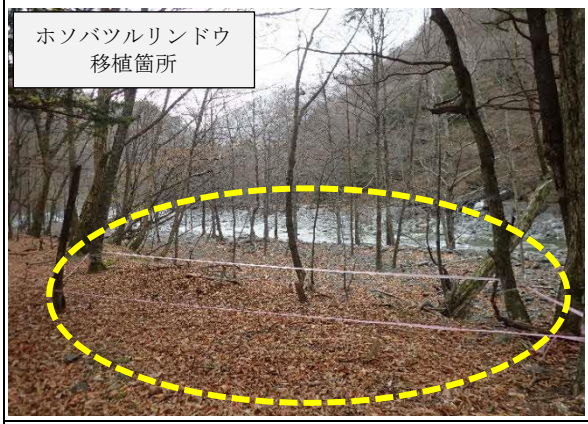
図 639(5)　生育状況調査結果（ホソバツルリンドウ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2019 年 11 月 24 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2020 年 11 月 18 日：結実期）

図 639(6)　生育状況調査結果（ホソバツルリンドウ）



播種後の現地状況（地点①）
（2017 年 11 月 21 日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況（地点①）
（2017 年 11 月 30 日：播種後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）　（2018 年５月 23 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）　（2018 年９月 20 日：開花期）

図 639(7)　生育状況調査結果（ホソバツルリンドウ）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2018 年 11 月 14 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2019 年 11 月 24 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2020 年 11 月 18 日：結実期）

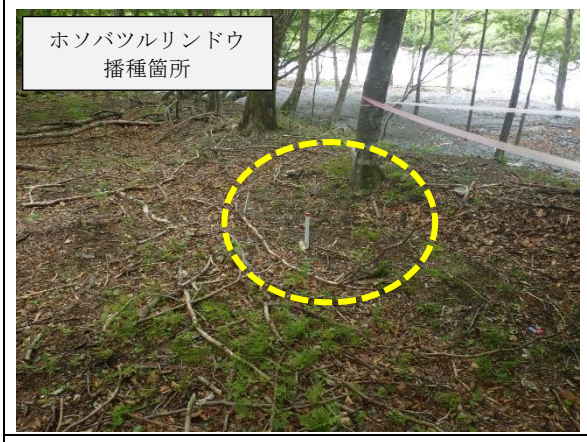
図 639(8)　生育状況調査結果（ホソバツルリンドウ）



播種後の現地状況（地点②）
（2017 年 11 月 21 日：播種後１ヶ月以内）



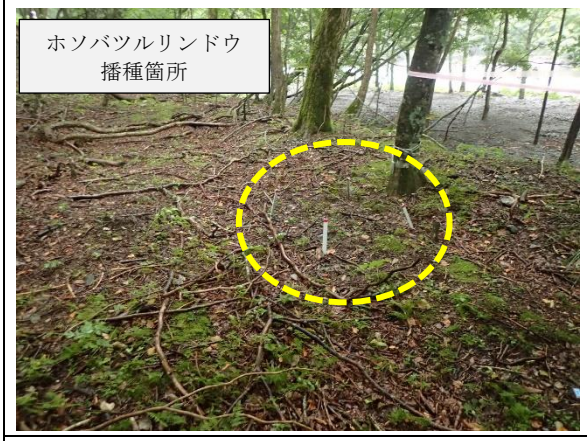
播種後の現地状況（地点②）
（20179 年 11 月 30 日：播種後１ヶ月以内）

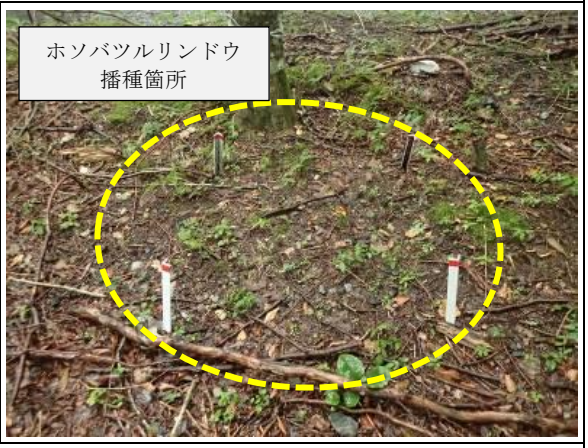




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）　（2018 年５月 23 日：発芽期）

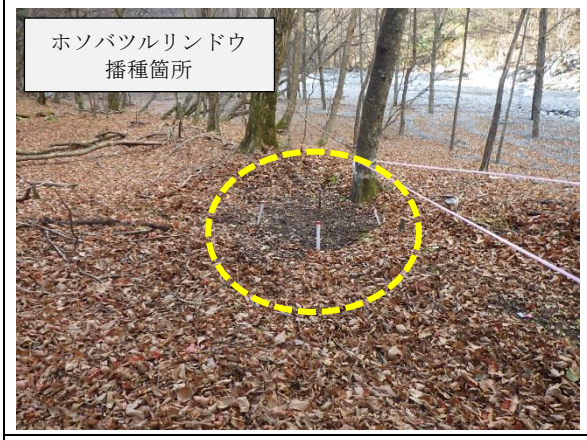


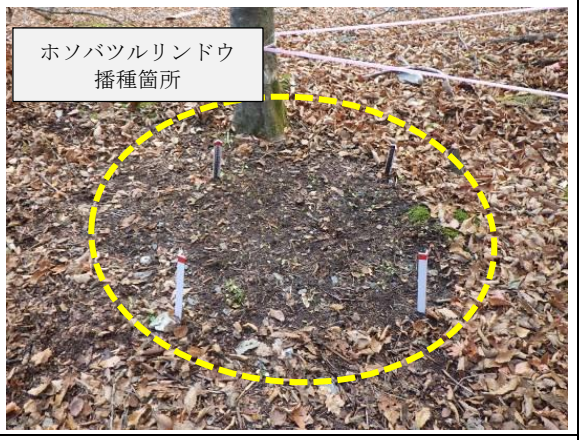


全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）　（2018 年９月 20 日：開花期）

図 639(9)　生育状況調査結果（ホソバツルリンドウ）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2018 年 11 月 14 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2019 年 11 月 24 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2019 年 11 月 18 日：結実期）

図 639(10)　生育状況調査結果（ホソバツルリンドウ）

（2018 年移植個体、播種箇所）

１個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2018 年 11 月 14 日、2018 年 11 月 28 日）では、風雨による倒伏やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化や移植個体の変化は特に見られませんでした。

移植・播種後１年目の発芽期の確認（2019 年５月 10 日）、開花期の確認（2019 年９月 26 日）及び結実期の確認（2019 年 11 月 24 日）では、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

播種後２年目の結実期の確認（2020 年 11 月 18 日）では、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

播種後３年目の結実期の確認（2021 年 11 月 16 日）では、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後３年間の調査において、個体の生育は確認されませんでした。2017 年移植個体、播種箇所と同様に、専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年 11 月 14 日：移植後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年 11 月 28 日：移植後 1 ヶ月以内）

図 639(11)　生育状況調査結果（ホソバツルリンドウ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2019 年 5 月 10 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2019 年 9 月 26 日：開花期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2019 年 11 月 24 日：結実期）

図 639(12)　生育状況調査結果（ホソバツルリンドウ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2020 年 11 月 18 日：結実期）





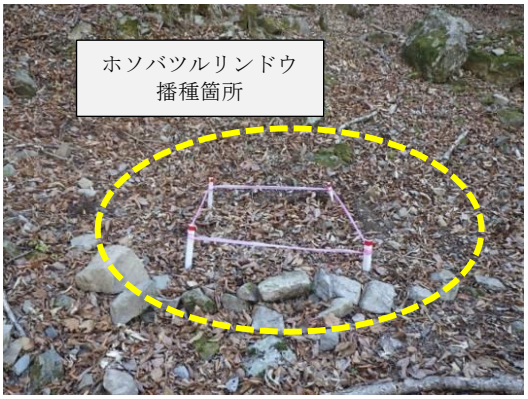
全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2021 年 11 月 16 日：結実期）

図 639(13)　生育状況調査結果（ホソバツルリンドウ）



播種後の現地状況
（2018 年 11 月 14 日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況
（2018 年 11 月 28 日：播種後１ヶ月以内）

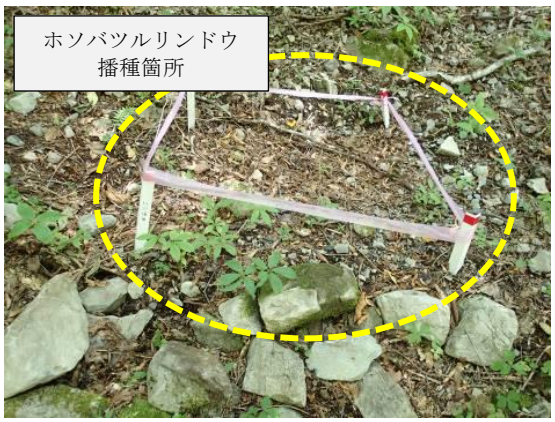




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年５月 10 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年９月 26 日：開花期）

図 639(14)　生育状況調査結果（ホソバツルリンドウ）

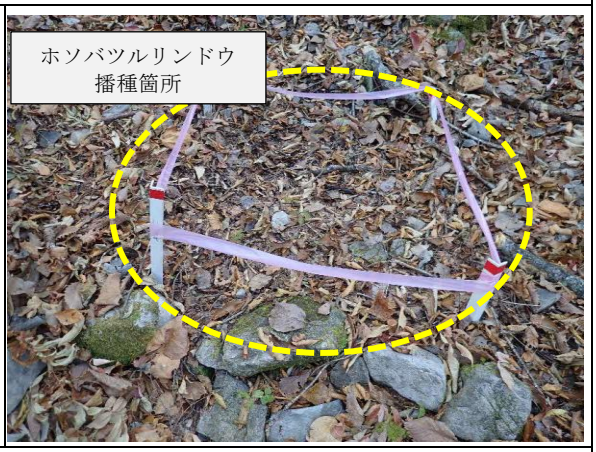




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年 11 月 24 日：結実期）

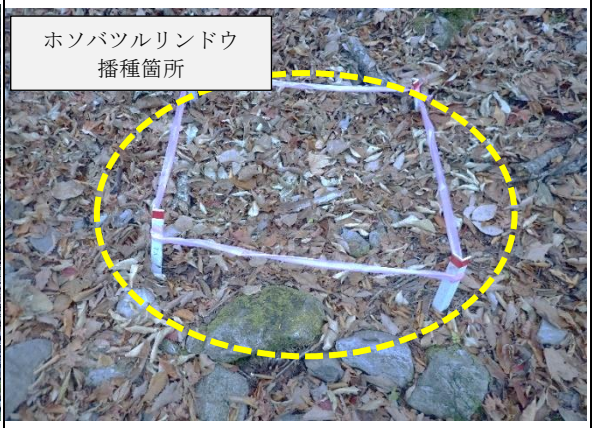




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2020 年 11 月 18 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2021 年 11 月 16 日：結実期）

図 639(15)　生育状況調査結果（ホソバツルリンドウ）

1.4.11　タチキランソウ

タチキランソウの生育状況調査の結果を図 640 に示します。

（2017 年移植個体、播種箇所）

２個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2017 年 10 月 10 日、2017 年 10 月 30 日）では、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化や移植個体の変化は特に見られませんでした。

移植・播種後１年目の発芽期の確認（2018 年５月９日）、開花期の確認（2018 年５月 21 日）及び結実期の確認（2018 年６月 13 日）では、個体の生育は確認されませんでした。また、播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後２年目の結実期の確認（2019 年６月 13 日）では、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、発芽は確認されませんでした。

移植・播種後３年目の結実期の確認（2020 年６月 11 日）では、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、本種が含まれるキランソウ属の一種の、１個体の結実が確認されました。

移植・播種後４年目の開花期の確認（2021 年５月 16 日）では、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植、播種後５年目の開花期の確認（2022 年５月 13 日）では、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後３年間の調査結果を踏まえ、移植・播種後５年目まで調査を実施しました。播種箇所において、本種が含まれるキランソウ属の一種の１個体結実が確認されましたが、移植個体の生育は確認されませんでした。専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2017 年 10 月 10 日：移植後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2017 年 10 月 30 日：移植後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年５月９日：発芽期）

図 640(1)　生育状況調査結果（タチキランソウ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年５月 21 日：開花期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年６月 13 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2019 年６月 13 日：結実期）

図 640(2)　生育状況調査結果（タチキランソウ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2020 年６月 11 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2021 年５月 16 日：開花期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2022 年５月 13 日：開花期）

図 640(3)　生育状況調査結果（タチキランソウ）



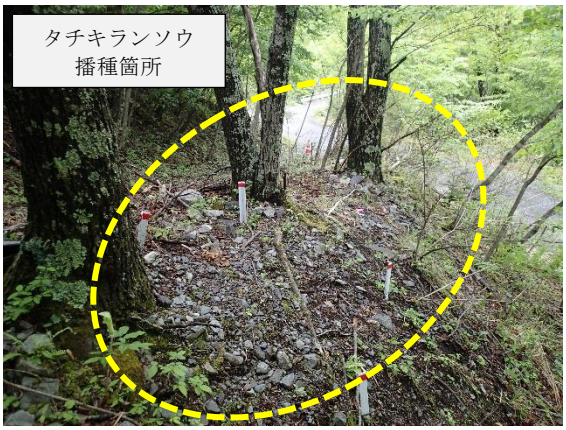
播種後の現地状況

（2017 年 10 月 10 日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況

（2017 年 10 月 30 日：播種後１ヶ月以内）

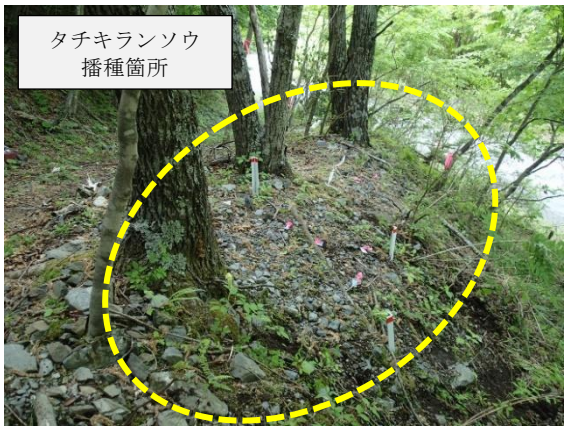




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2018 年５月９日：発芽期）

図 640(4)　生育状況調査結果（タチキランソウ）





全景写真　　近景写真

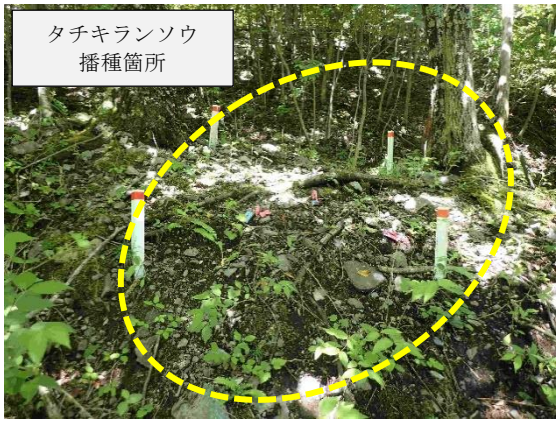
播種後の現地状況（2018 年５月 21 日：開花期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2018 年６月 13 日：結実期）

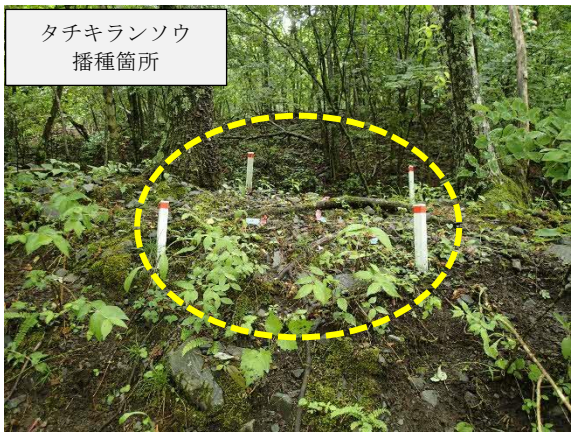


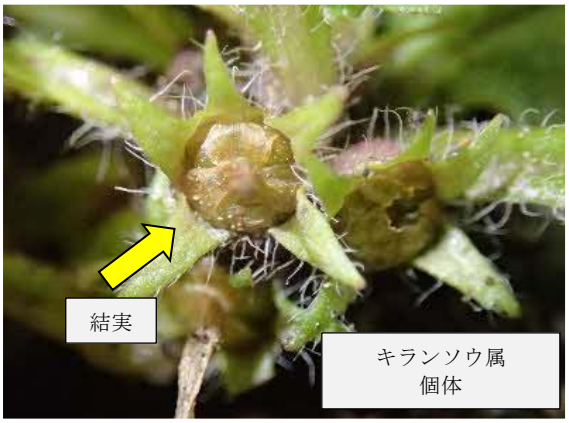


全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年６月 13 日：結実期）

図 640(5)　生育状況調査結果（タチキランソウ）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2020 年６月 11 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2021 年５月 16 日：開花期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2022 年５月 13 日：開花期）

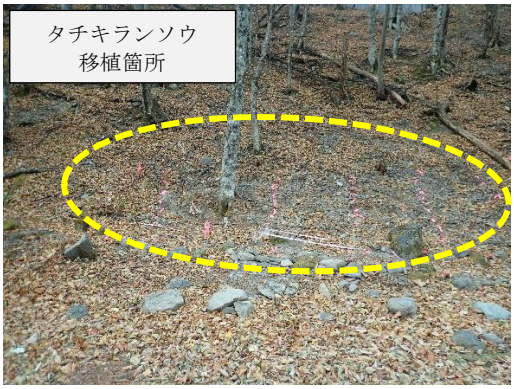
図 640(6)　生育状況調査結果（タチキランソウ）

（2025 年移植個体、播種箇所）

38 個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2025 年 11 月 20 日、11 月 26 日）においては、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化や移植個体の変化は特に見られませんでした。

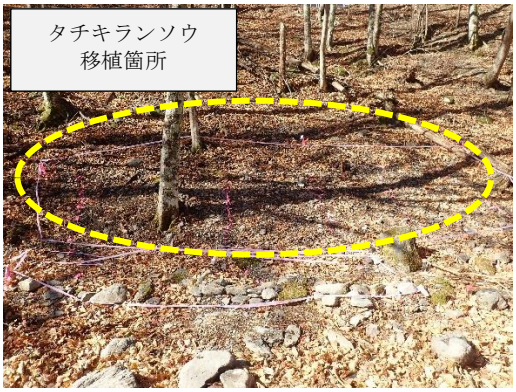
今後の調査においても、生育状況を確認する予定です。





全景写真　　近景写真

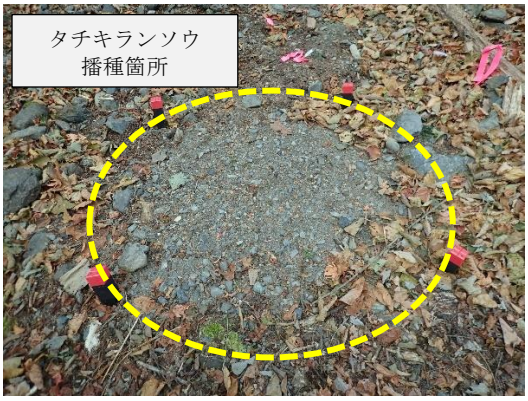
移植後の現地状況（2025 年 11 月 20 日：移植後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2025 年 11 月 26 日：移植後 1 ヶ月以内）



播種後の現地状況

（2025 年 11 月 20 日：播種後 1 ヶ月以内）



播種後の現地状況

（2025 年 11 月 26 日：播種後 1 ヶ月以内）

図 640(7)　生育状況調査結果（タチキランソウ）

1.4.12　ナベナ

ナベナの生育状況調査の結果を図 641 に示します。

（2017 年播種箇所）

播種を実施しました。

播種後１ヶ月以内の確認（2017 年 11 月９日、2017 年 11 月 22 日）においては、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、播種箇所の環境変化は特に見られませんでした。

播種後１年目の発芽期の確認（2018 年５月 21 日）では、67 個体の発芽が確認されました。開花期の確認（2018 年９月 11 日）では、58 個体の生育が確認されました。結実期の確認（2018 年 10 月 29 日）では、49 個体の生育が確認されました。

播種後２年目の結実期の確認（2019 年 11 月 19 日）では、３個体の生育が確認され、そのうち２個体の結実が確認されました。

播種後３年目の結実期の確認（2020 年 10 月 13 日）では、個体の生育は確認されませんでした。

播種後４年目の発芽期の確認（2021 年５月 16 日）では、11 個体の生育が確認されました。

播種後４年間の調査において、個体の生育が確認できたことから、専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。



播種後の現地状況
（2017 年 11 月 9 日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況
（2017 年 11 月 22 日：播種後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2018 年５月 21 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2018 年９月 11 日：開花期）

図 641(1)　生育状況調査結果（ナベナ）

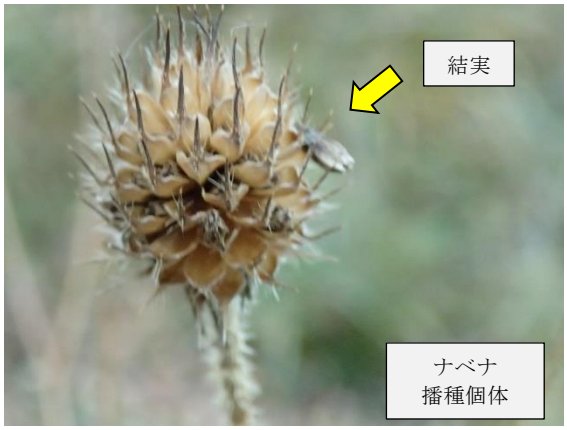




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2018 年 10 月 29 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年 11 月 19 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2020 年 10 月 13 日：結実期）

図 641(2)　生育状況調査結果（ナベナ）



全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2021 年５月 16 日：発芽期）

図 641(3)　生育状況調査結果（ナベナ）

（2018 年播種箇所）

播種を実施しました。

播種後１ヶ月以内の確認（2018 年 11 月 15 日、2018 年 11 月 29 日）においては、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、播種箇所の環境変化は特に見られませんでした。

播種後１年目の発芽期の確認（2019 年５月８日）では、118 個体の発芽が確認されました。開花期の確認（2019 年９月 24 日）では、113 個体の生育が確認されました。結実期の確認（2019 年 11 月 19 日）では、90 個体の生育が確認されました。

播種後２年目の結実期の確認（2020 年 10 月 13 日）では、個体の生育は確認されませんでした。

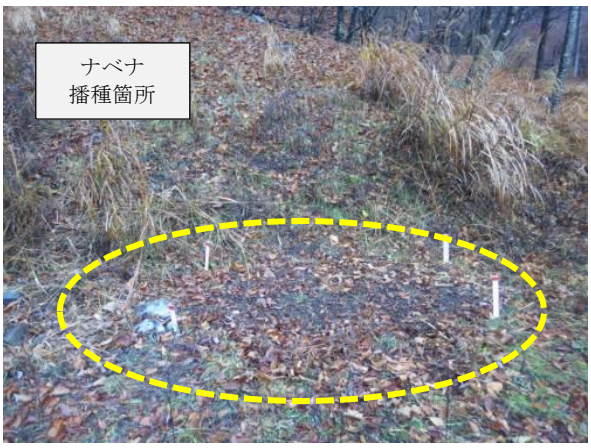
播種後３年目の結実期の確認（2021 年 10 月 16 日）では、２個体の生育が確認されました。

播種後３年間の調査において、個体の生育が確認できたことから、専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。



播種後の現地状況

（2018 年 11 月 15 日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況

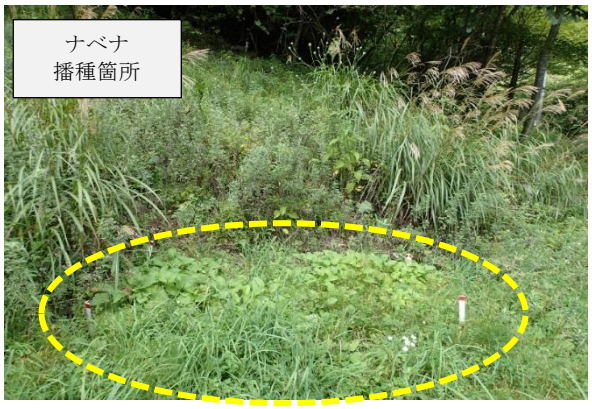
（2018 年 11 月 29 日：播種後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年５月８日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年９月 24 日：開花期）

図 641(4)　生育状況調査結果（ナベナ）





全景写真　　近景写真

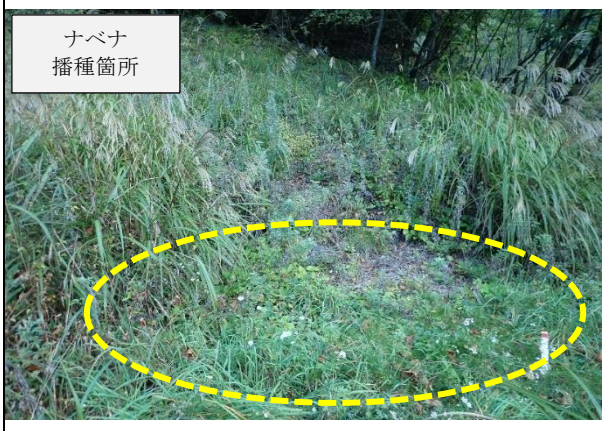
播種後の現地状況（2019 年 11 月 19 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2020 年 10 月 13 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2021 年 10 月 16 日：結実期）

図 641(5)　生育状況調査結果（ナベナ）

（2022 年播種箇所）

播種を実施しました。

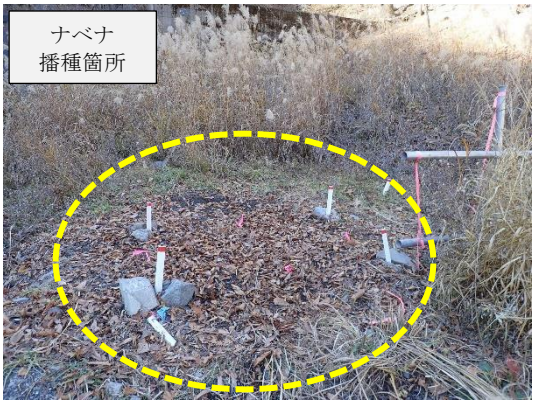
播種後１ヶ月以内の確認（2022 年 11 月 25 日、2022 年 12 月２日）においては、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、播種箇所の環境変化は特に見られませんでした。

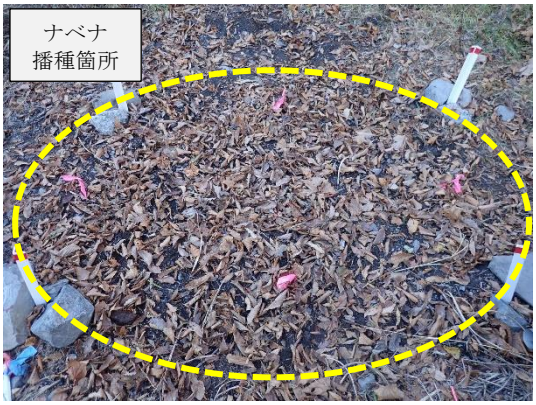
播種後１年目の発芽期の確認（2023 年５月 12 日）では、82 個体の発芽が確認されました。開花期の確認（2023 年９月 15 日）では、54 個体の生育が確認されました。結実期の確認（2023 年 10 月 15 日）では、53 個体の生育が確認されました。

播種後２年目の結実期の確認（2024 年 10 月 18 日）では、個体の生育は確認されませんでした。

播種後３年目の結実期の確認（2025 年 10 月 10 日）では、２個体の生育が確認されました。

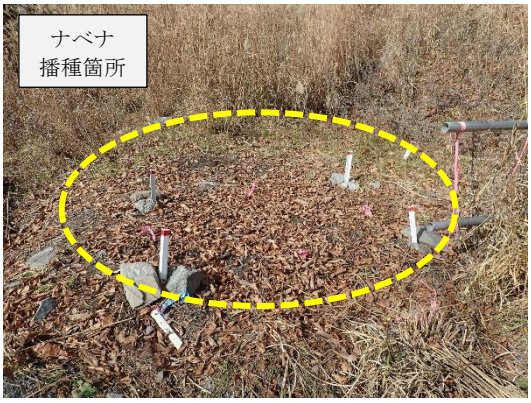
播種後３年間の調査において、個体の生育が確認できたことから、専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。

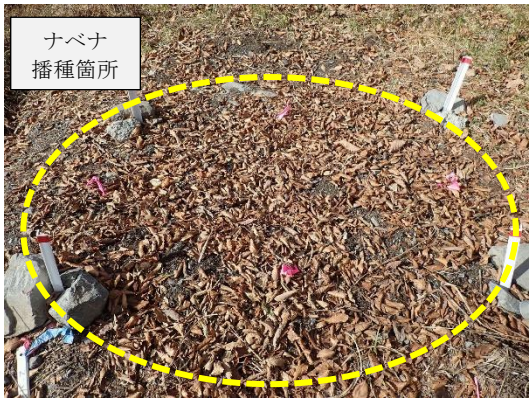




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2022 年 11 月 25 日：播種後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2022 年 12 月２日：播種後１ヶ月以内）

図 641(6)　生育状況調査結果（ナベナ）





全景写真　　近景写真

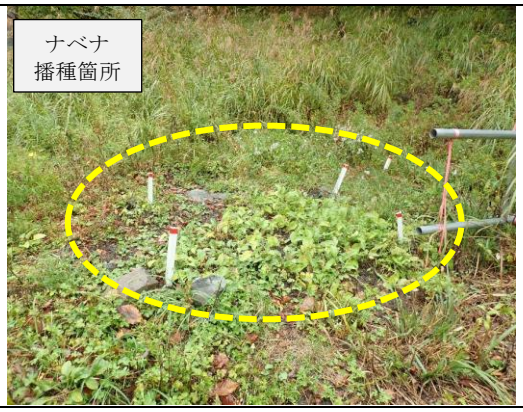
播種後の現地状況（2023 年５月 12 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2023 年９月 15 日：開花期）

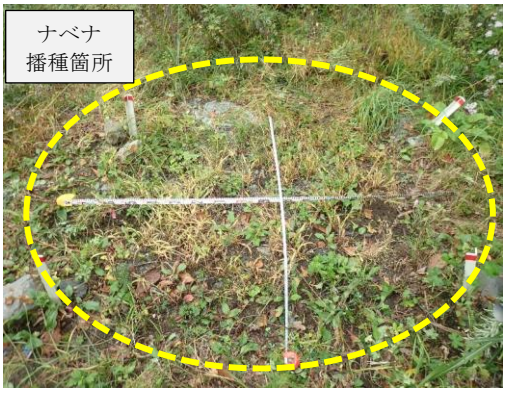




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2023 年 10 月 15 日：結実期）

図 641(7)　生育状況調査結果（ナベナ）



全景写真



近景写真

播種後の現地状況（2024 年 10 月 18 日：結実期）



全景写真



近景写真

播種後の現地状況（2025 年 10 月 10 日：結実期）

図 641(8)　生育状況調査結果（ナベナ）

1.4.13　トダイハハコ

トダイハハコの生育状況調査の結果を図 642 に示します。

（2018 年移植個体、播種箇所）

103 個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2018 年 11 月 13 日、2018 年 11 月 27 日）においては、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化や移植個体の変化は特に見られませんでした。

移植・播種後１年目の発芽期の確認（2019 年６月 12 日）では、52 個体の発芽が確認されました。開花期の確認（2019 年９月 25 日）では、46 個体の生育を確認し、そのうち 11 個体の開花が確認されました。結実期の確認（2019 年 11 月 21 日）では、38 個体の生育が確認され、そのうち２個体の結実が確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後２年目の結実期の確認（2020 年 10 月 14 日）では、16 個体の生育が確認され、そのうち６個体の結実が確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後３年目の結実期の確認（2021 年 10 月 14 日）では、９個体の生育が確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

播種後３年間の調査において、個体の生育が確認できたことから、専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年 11 月 13 日：移植後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年 11 月 27 日：移植後 1 ヶ月以内）

図 642(1)　生育状況調査結果（トダイハハコ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2019 年６月 12 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2019 年９月 25 日：開花期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2019 年 11 月 21 日：結実期）

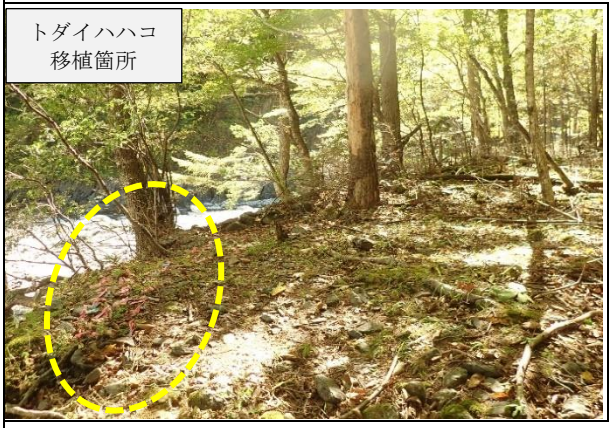
図 642(2)　生育状況調査結果（トダイハハコ）

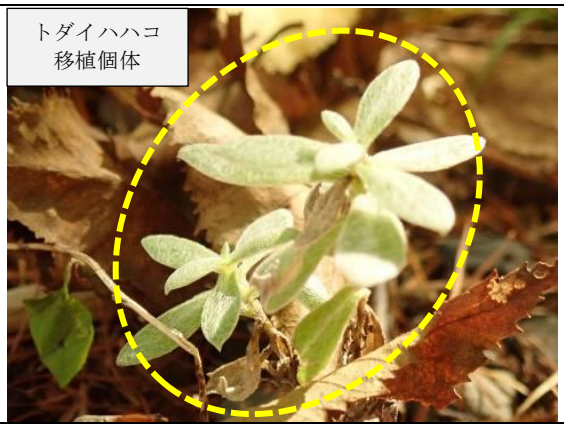




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2020 年 10 月 14 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2021 年 10 月 14 日：結実期）

図 642(3)　生育状況調査結果（トダイハハコ）



播種後の現地状況

（2018 年 11 月 13 日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況

（2018 年 11 月 27 日：播種後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年６月 12 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年９月 25 日：開花期）

図 642(4)　生育状況調査結果（トダイハハコ）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年 11 月 21 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2020 年 10 月 14 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2021 年 10 月 14 日：結実期）

図 642(5)　生育状況調査結果（トダイハハコ）

1.4.14　カワラニガナ

カワラニガナの生育状況調査の結果を図 643 に示します。

（2017 年移植個体、播種箇所）

80 個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

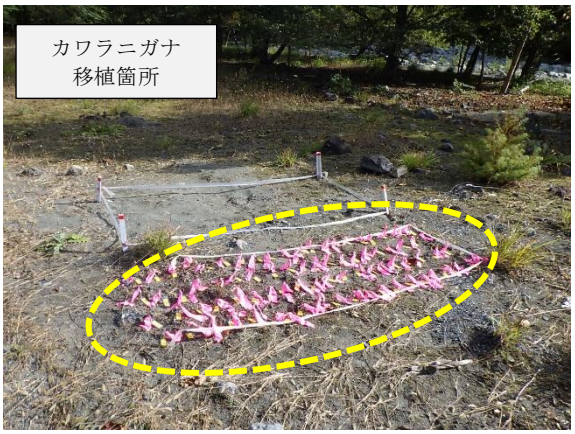
移植・播種後１ヶ月以内の確認（2017 年 10 月 12 日、11 月９日）においては、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植･播種箇所の環境変化や移植個体の変化は特に見られませんでした。

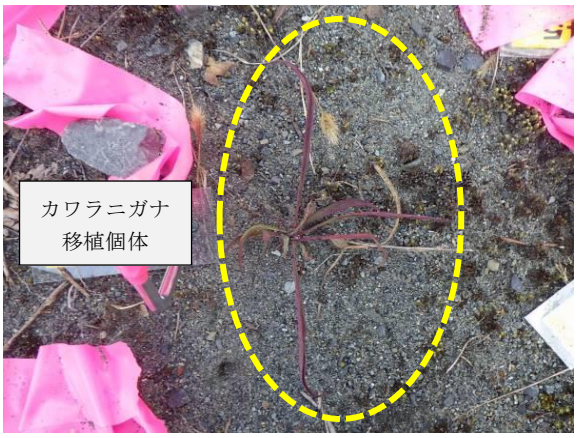
移植・播種後１年目の発芽期の確認（2018 年５月 22 日）では、17 個体の生育が確認されました。開花期の確認（2018 年７月 18 日）では、７個体の生育が確認され、そのうち１個体の開花（蕾）が確認されました。結実期の確認（2018 年９月 12 日）では、４個体の生育が確認され、そのうち１個体の結実痕が確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後２年目の結実期の確認（2019 年９月５日）では、４個体の生育が確認され、そのうち１個体の開花及び結実が確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後３年目の結実期の確認（2020 年９月 11 日）では、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。移植箇所、播種箇所ともに、20～30cm 程度土砂が堆積していました。

移植・播種後３年間の調査において、移植・播種後２年目の結実期の確認までは個体の生育、結実が確認できましたが、2019 年 10 月に頻発した台風の降雨により 20～30cm 程度土砂が堆積したと考えられ、移植・播種後３年目では、個体の生育が確認できませんでした。専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2017 年 10 月 12 日：移植後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2017 年 11 月９日：移植後１ヶ月以内）

図 643(1)　生育状況調査結果（カワラニガナ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年５月 22 日：発芽期）

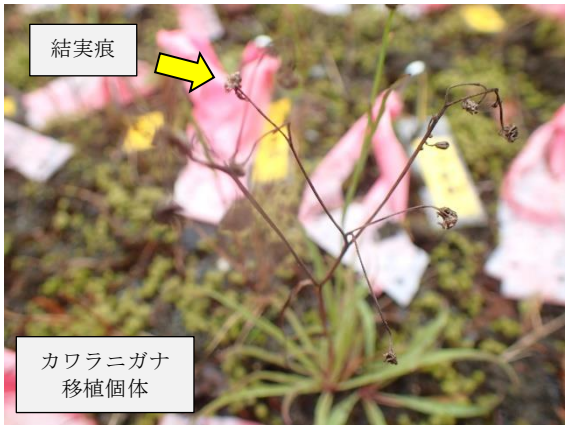




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年７月 18 日：開花期）



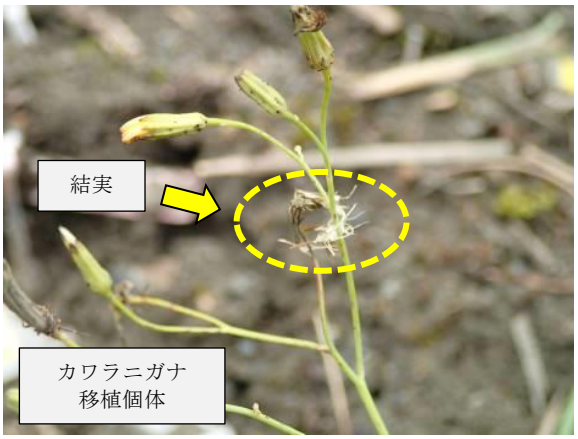


全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年９月 12 日：結実期）

図 643(2)　生育状況調査結果（カワラニガナ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2019 年９月５日：結実期）

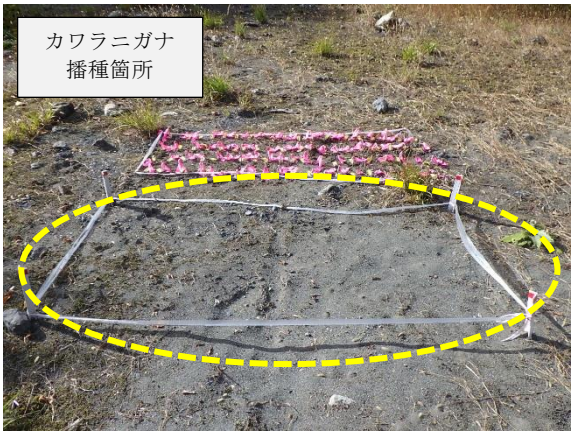




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2020 年９月 11 日：結実期）

図 643(3)　生育状況調査結果（カワラニガナ）

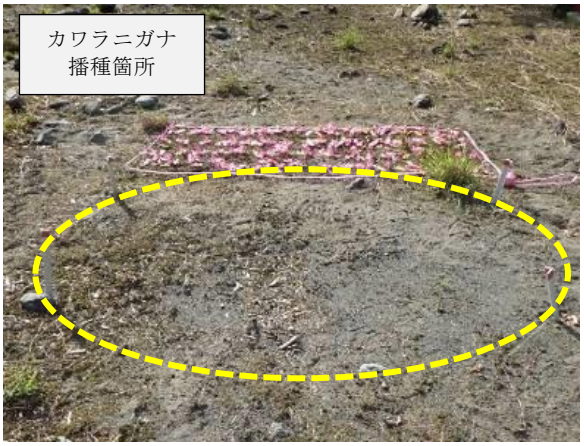


播種後の現地状況
（2017 年 10 月 12 日：播種後１ヶ月以内）



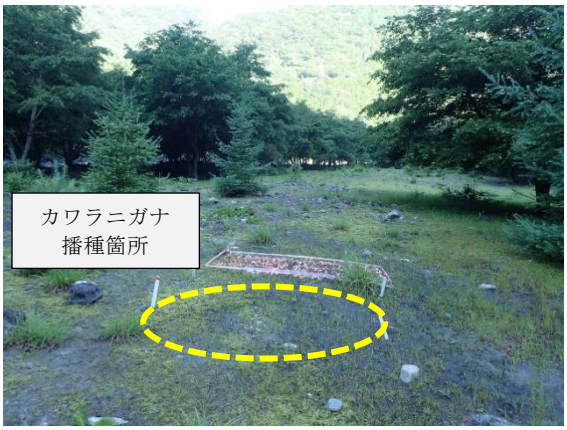
播種後の現地状況
（2017 年 11 月９日：播種後１ヶ月以内）

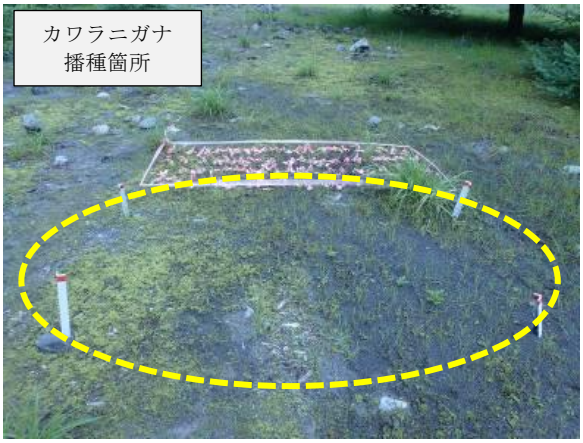




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2018 年５月 22 日：発芽期）



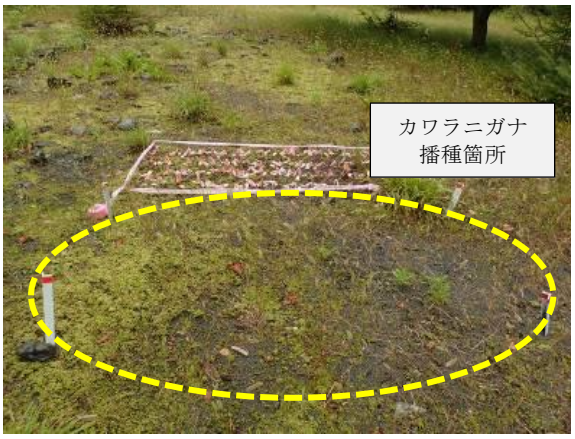


全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2018 年７月 18 日：開花期）

図 643(4)　生育状況調査結果（カワラニガナ）

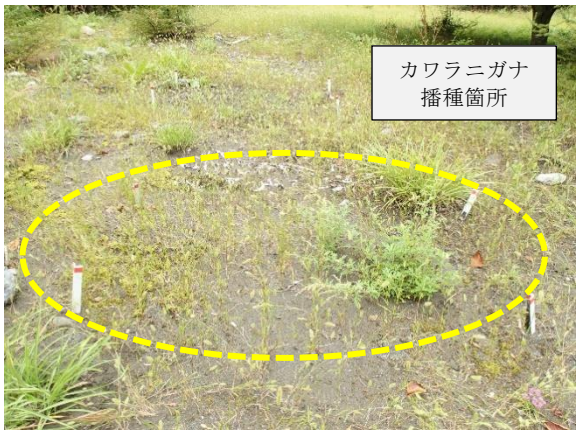




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2018 年９月 12 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年９月５日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2020 年９月 11 日：結実期）

図 643(5)　生育状況調査結果（カワラニガナ）

（2018 年移植個体、播種箇所）

127 個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2018 年 11 月 12 日、2018 年 11 月 26 日）においては、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化や移植個体の変化は特に見られませんでした。

移植・播種後１年目の発芽期の確認（2019 年５月 10 日）では、４個体の生育が確認され、そのうち２個体の開花（蕾)が確認されました。開花期の確認（2019 年７月 18 日）では、11 個体の生育が確認され、そのうち１個体の開花（蕾）が確認されました。播種箇所においては、６個体の生育が確認され、そのうち２個体の開花（蕾）が確認されました。結実期の確認（2019 年９月５日）では、８個体の生育が確認され、そのうち４個体の開花、結実が確認されました。播種箇所においては、９個体の生育が確認され、そのうち４個体の開花、結実が確認されました。

移植・播種後２年目の結実期の確認（2020 年９月 11 日）では、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。移植箇所、播種箇所ともに、20～30cm 程度土砂が堆積していました。

移植・播種後３年目の結実期の確認（2021 年９月 13 日）では、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後３年間の調査において、移植・播種後１年目の結実期の確認までは個体の生育、結実が確認できましたが、2019 年 10 月に頻発した台風の降雨により 20～30cm 程度土砂が堆積したと考えられ、移植・播種後２年目以降では、個体の生育が確認できませんでした。専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年 11 月 12 日：移植後 1 ヶ月以内）

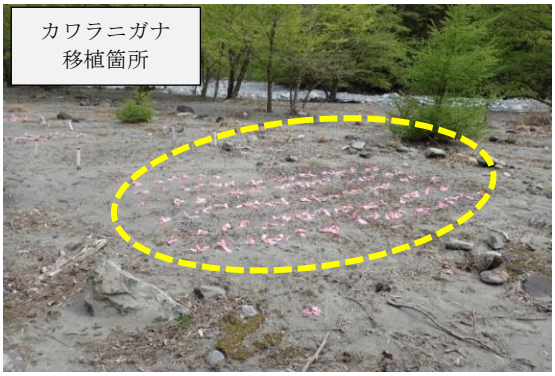




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年 11 月 26 日：移植後 1 ヶ月以内）

図 643(6)　生育状況調査結果（カワラニガナ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2019 年５月 10 日：発芽期）

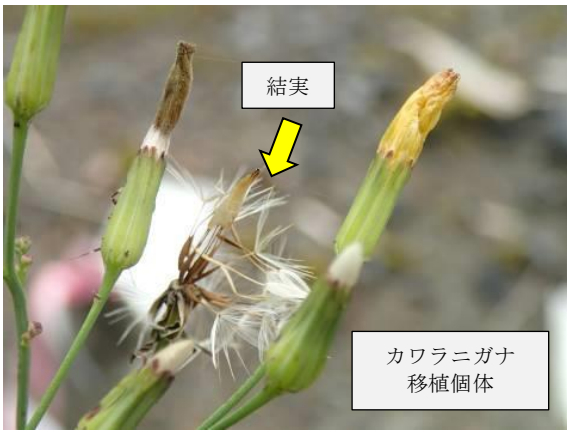




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2019 年７月 18 日：開花期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2019 年９月５日：結実期）

図 643(7)　生育状況調査結果（カワラニガナ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2020 年９月 11 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2021年９月13日：結実期）

図 643(8)　生育状況調査結果（カワラニガナ）



播種後の現地状況

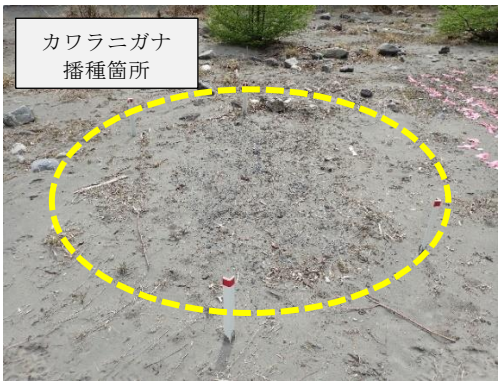
（2018 年 11 月 12 日：播種後 1 ヶ月以内）



播種後の現地状況

（2018 年 11 月 26 日：播種後 1 ヶ月以内）

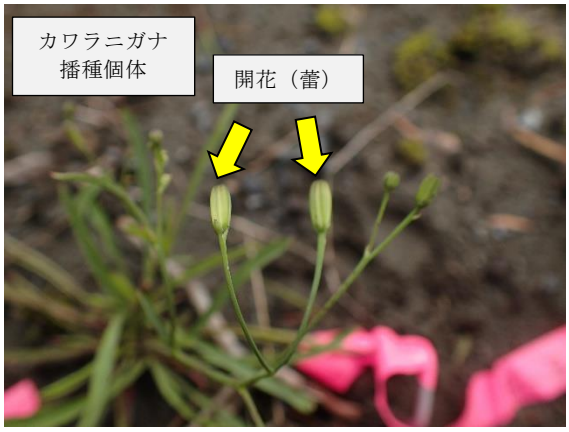




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年５月 10 日：発芽期）



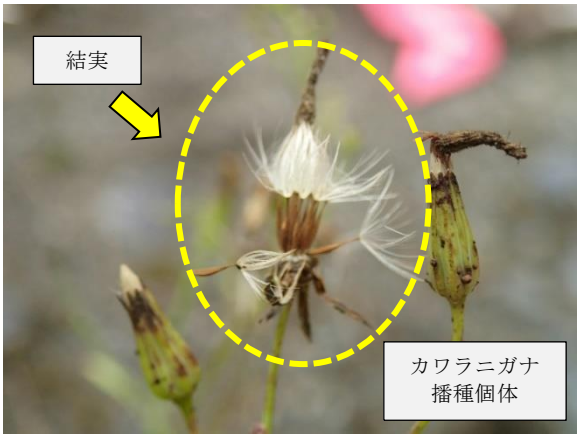


全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年７月 18 日：開花期）

図 643(9)　生育状況調査結果（カワラニガナ）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年９月５日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2020 年９月 11 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2021 年９月 13 日：結実期）

図 643(10)　生育状況調査結果（カワラニガナ）

1.4.15　ヒトツバテンナンショウ

ヒトツバテンナンショウの生育状況調査の結果を図 644 に示します。

（2017 年移植個体、播種箇所）

４個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2017 年 11 月９日、11 月 21 日）においては、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化は特に見られませんでした。

移植・播種後１年目の発芽期の確認（2018 年５月 10 日）では、４個体の発芽、開花が確認されました。開花期の確認（2018 年５月 23 日）では、４個体の生育、開花が確認されました。結実期の確認（2018 年８月７日）では、４個体の生育が確認され、そのうち１個体の結実が確認されました。播種箇所においては、開花期及び結実期に、本種を含むテンナンショウ属の芽生えが確認されましたが、種の同定には至りませんでした。

移植・播種後２年目の結実期の確認（2019 年８月６日）では、３個体の生育が確認され、そのうち２個体の結実が確認されました。播種箇所においては、本種が含まれるテンナンショウ属の一種の、17 個体の発芽が確認されました。

移植・播種後３年目の結実期の確認（2020 年８月 28 日）では、３個体の生育、結実が確認されました。播種箇所においては、本種が含まれるテンナンショウ属の一種の、27 個体の発芽が確認されました。

移植・播種後３年間の調査において、個体の生育が確認できたことから、専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2017 年 11 月 9 日：移植後 1 ヶ月以内）

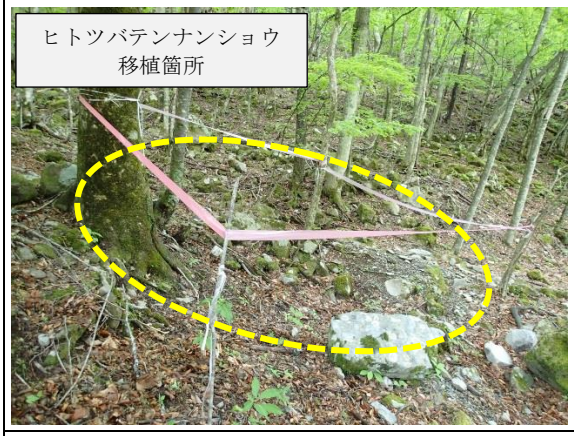




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2017 年 11 月 21 日：移植後 1 ヶ月以内）

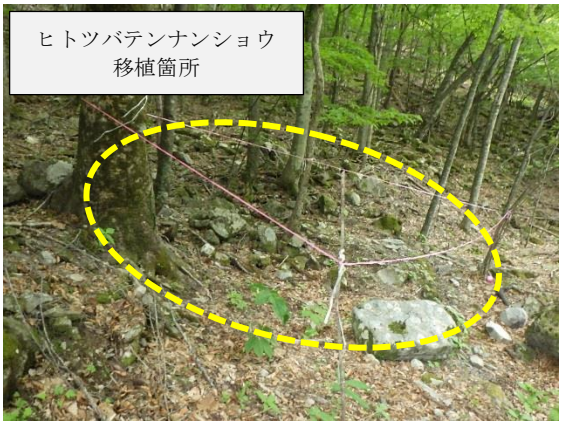
図 644(1)　生育状況調査結果（ヒトツバテンナンショウ）





全景写真　　近景写真

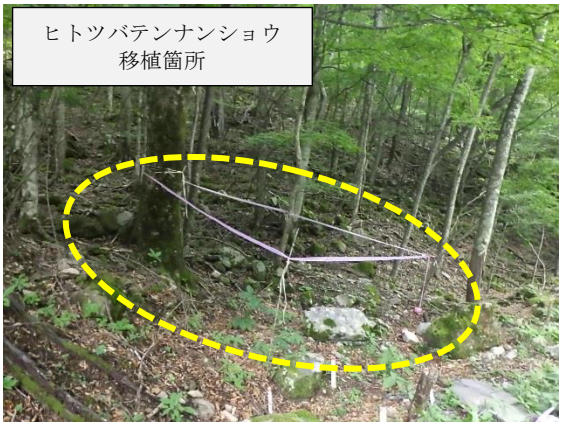
移植後の現地状況（2018 年５月 10 日：発芽期）

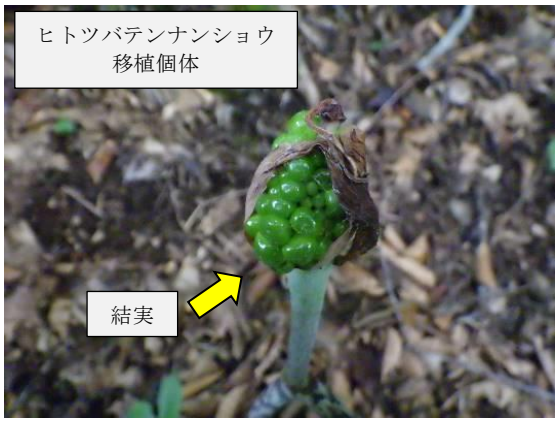




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年５月 23 日：開花期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年８月７日：結実期）

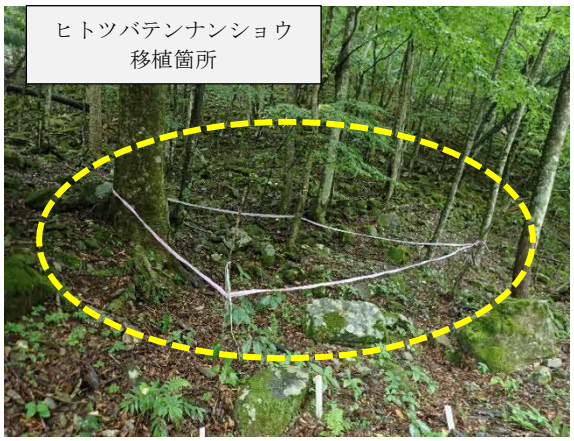
図 644(2)　生育状況調査結果（ヒトツバテンナンショウ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2019 年８月６日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2020 年８月 28 日：結実期）

図 644(3)　生育状況調査結果（ヒトツバテンナンショウ）



播種後の現地状況

（2017 年 11 月９日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況

（2017 年 11 月 21 日：播種後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2018 年５月 10 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2018 年５月 23 日：開花期）

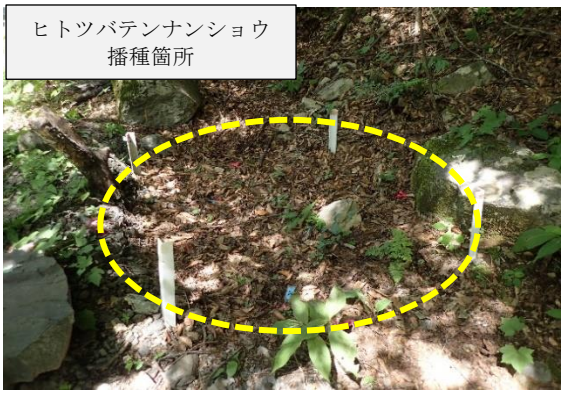
図 644(4)　生育状況調査結果（ヒトツバテンナンショウ）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2018 年８月７日：結実期）

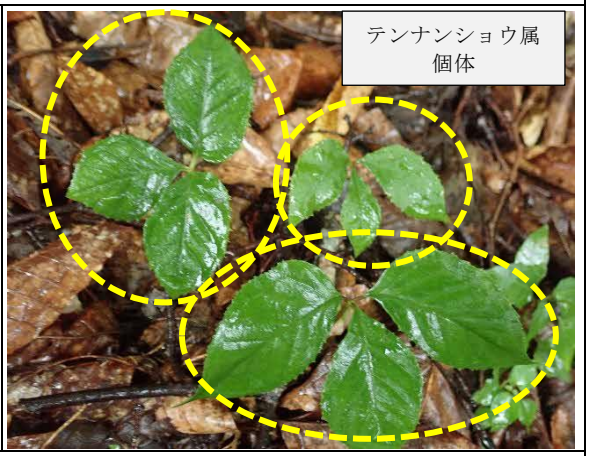




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2019 年８月６日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2020 年８月 28 日：結実期）

図 644(5)　生育状況調査結果（ヒトツバテンナンショウ）

（2020 年移植個体、播種箇所）

１個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2020 年 11 月５日、2020 年 11 月 16 日）においては、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化は特に見られませんでした。

移植・播種後１年目の発芽期の確認（2021 年４月 26 日）では、１個体の発芽が確認されました。開花期の確認（2021 年５月 15 日）では１個体の開花が確認されました。結実期の確認（2021 年８月４日）では１個体の結実が確認されました。播種箇所においては、テンナンショウ属の一種と同定されました個体の生育が確認されました

移植・播種後２年目の結実期の確認（2022 年８月 26 日）では、１個体の結実が確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後３年目の結実期の確認（2023 年８月 25 日）では、１個体の生育が確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後３年間の調査において、個体の生育が確認できたことから、専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2020 年 11 月５日：移植後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2020 年 11 月 16 日：移植後１ヶ月以内）

図 644(6)　生育状況調査結果（ヒトツバテンナンショウ）

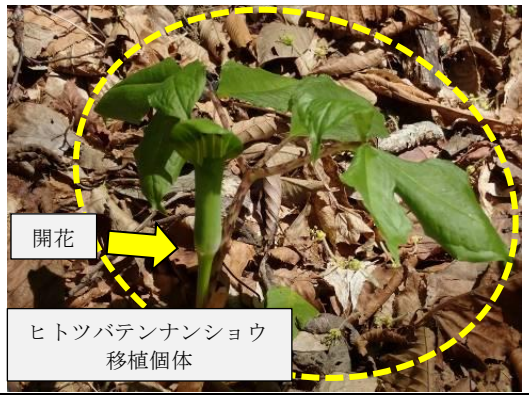




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2021 年４月 26 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2021 年５月 15 日：開花期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2021 年８月４日：結実期）

図 644(7)　生育状況調査結果（ヒトツバテンナンショウ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2022 年８月 26 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2023 年８月 25 日：結実期）

図 644(8)　生育状況調査結果（ヒトツバテンナンショウ）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2020 年 11 月５日：播種後１ヶ月以内）



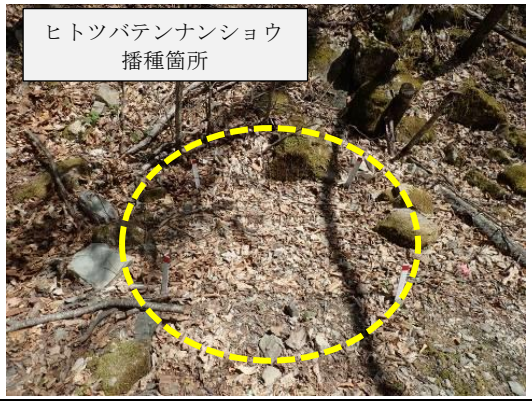


全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2020 年 11 月 16 日：播種後１ヶ月以内）

図 644(9)　生育状況調査結果（ヒトツバテンナンショウ）

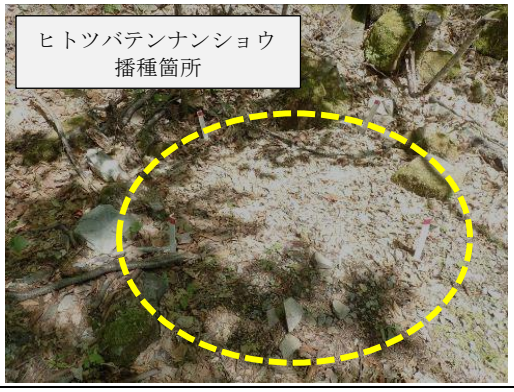




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2021 年４月 26 日：発芽期）

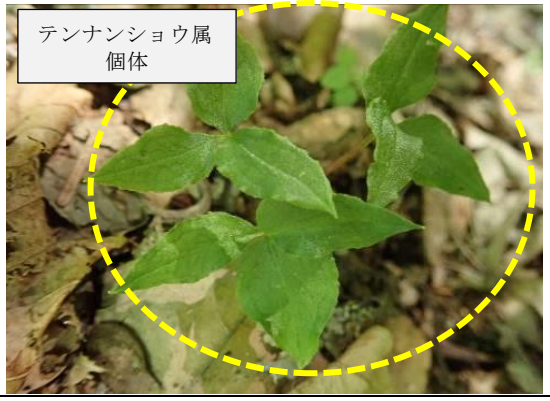




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2021 年５月 15 日：開花期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（2021 年８月４日：結実期）

図 644(10)　生育状況調査結果（ヒトツバテンナンショウ）

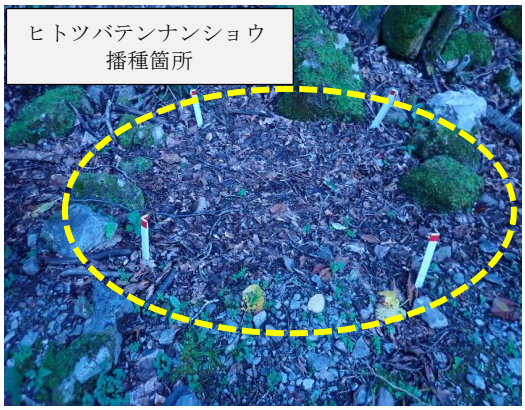


全景写真



近景写真

播種後の現地状況（2022 年８月 26 日：結実期）



全景写真



近景写真

播種後の現地状況（2023 年８月 25 日：結実期）

図 644(11)　生育状況調査結果（ヒトツバテンナンショウ）

（2025 年移植個体、播種箇所）

４個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2025 年 11 月 20 日、11 月 26 日）においては、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化や移植個体の変化は特に見られませんでした。

今後の調査においても、生育状況を確認する予定です。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2025 年 11 月 20 日：移植後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2025 年 11 月 26 日：移植後 1 ヶ月以内）



播種後の現地状況
（2025 年 11 月 20 日：播種後 1 ヶ月以内）



播種後の現地状況
（2025 年 11 月 26 日：播種後 1 ヶ月以内）

図 644(12)　生育状況調査結果（ヒトツバテンナンショウ）

1.4.16　ギンラン

ギンランの生育状況調査の結果を図 645 に示します。

（2025 年移植個体、播種箇所）

12 個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2025 年 12 月 9 日、12 月 18 日）においては、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化や移植個体の変化は特に見られませんでした。

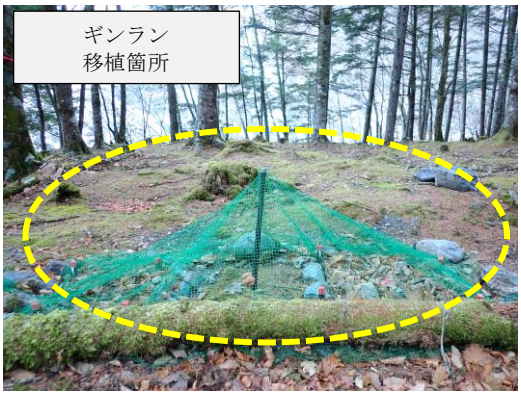
今後の調査においても、生育状況を確認する予定です。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2025 年 12 月９日：移植後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2025 年 12 月 18 日：移植後１ヶ月以内）





播種後の現地状況
（2025 年 12 月９日：播種後１ヶ月以内）

播種後の現地状況
（2025 年 12 月 18 日：播種後１ヶ月以内）

図 645　生育状況調査結果（ギンラン）

1.4.17　ユウシュンラン

ユウシュンランの生育状況調査の結果を図 646 に示します。

（2017 年移植個体、播種箇所）

地点①に１個体、地点②に２個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2017 年 10 月 10 日、2017 年 10 月 30 日、2017 年 10 月 31 日）においては、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化は特に見られませんでした。

移植・播種後１年目の発芽期の確認（2018 年５月 11 日）では、地点①において、１個体の発芽、開花が確認されました。地点②において、２個体の発芽、開花が確認されました。開花期の確認（2018 年５月 24 日）では、地点①において、１個体の生育が確認されました。地点②において、２個体の生育が確認されました。結実期の確認（2018 年６月 14 日）では、地点①において、１個体の地上部の枯れが確認されました。地点②において、２個体の地上部の枯れが確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後２年目の結実期の確認（2019 年６月 13 日）では、地点①において、個体の生育は確認されませんでした。地点②において、１個体の結実が確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後３年目の結実期の確認（2020 年６月 11 日）では、地点①、地点②において、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所では、地点①において、１個体の結実が確認されました。

移植・播種後４年目の結実期の確認（2021 年６月 11 日）では、地点①、②において、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植、播種後５年目の結実期の確認（2022 年６月 17 日）では、地点①において、個体の生育は確認されませんでした。地点②において、１個体の生育が確認されました。播種箇所では、地点①において、１個体の結実が確認されました。

移植・播種後５年間の調査において、個体の生育、結実が確認できたことから、専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2017 年 10 月 10 日：移植後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2017 年 10 月 30 日：移植後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年 5 月 11 日：発芽期）

図 646(1)　生育状況調査結果（ユウシュンラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年５月 24 日：開花期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年６月 14 日：結実期）

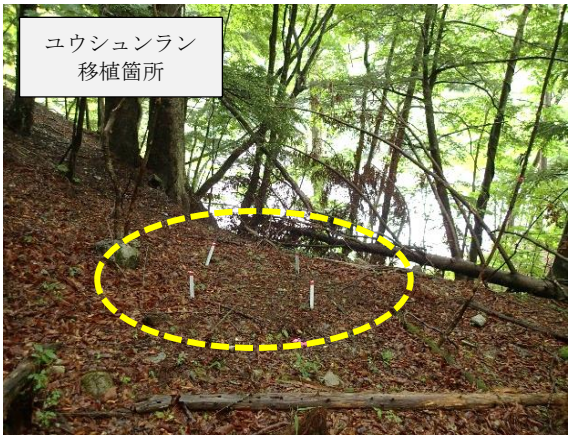




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2019 年６月 13 日：結実期）

図 646(2)　生育状況調査結果（ユウシュンラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2020 年 6 月 11 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2021 年 6 月 11 日：結実期）

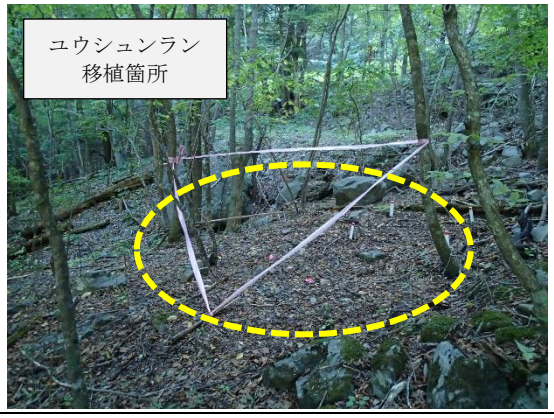




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2022 年 6 月 17 日：結実期）

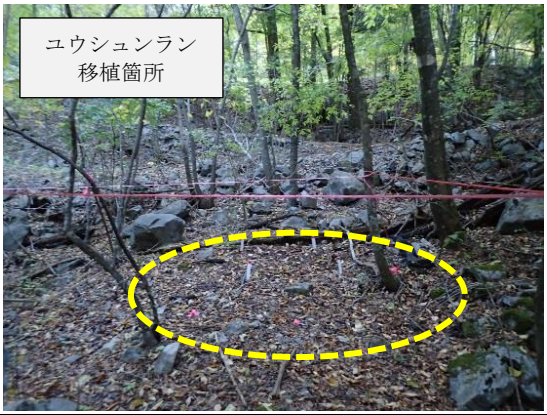
図 646(3)　生育状況調査結果（ユウシュンラン）





全景写真　　近景写真

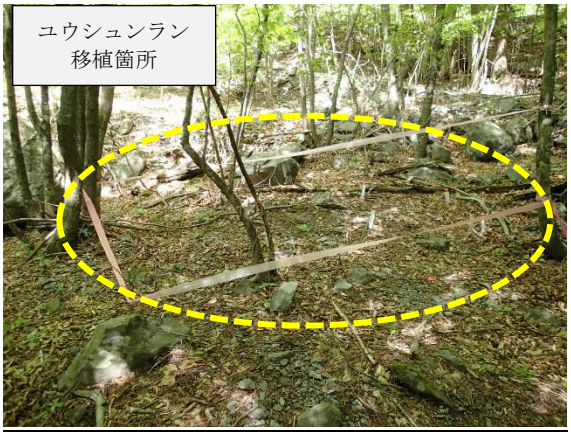
移植後の現地状況（地点②）（2017 年 10 月 10 日）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2017 年 10 月 31 日）

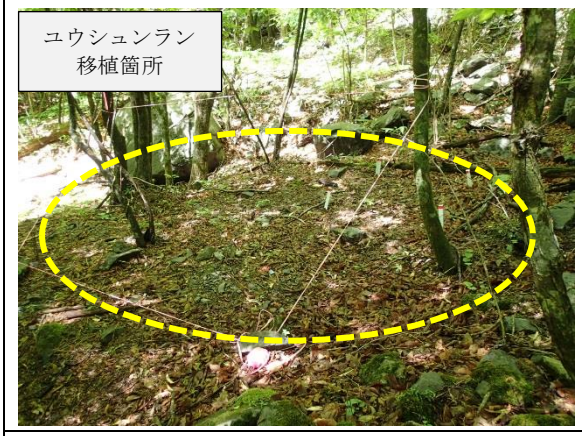




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年５月 11 日：発芽期）

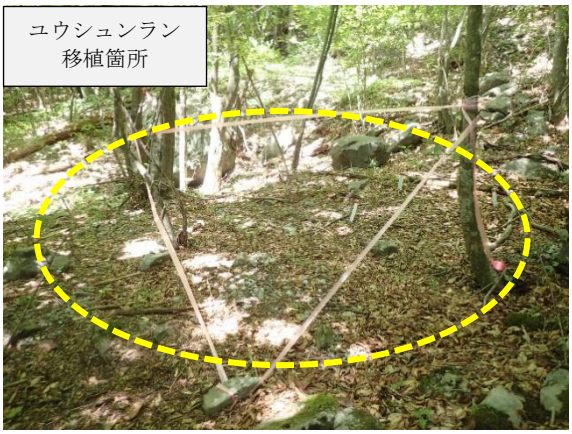
図 646(4)　生育状況調査結果（ユウシュンラン）





全景写真　　近景写真

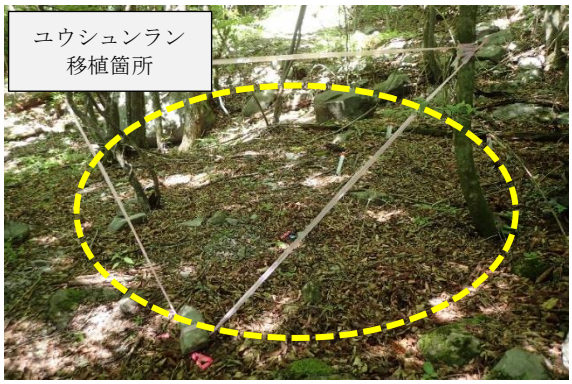
移植後の現地状況（地点②）（2018 年５月 24 日：開花期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年６月 14 日：結実期）

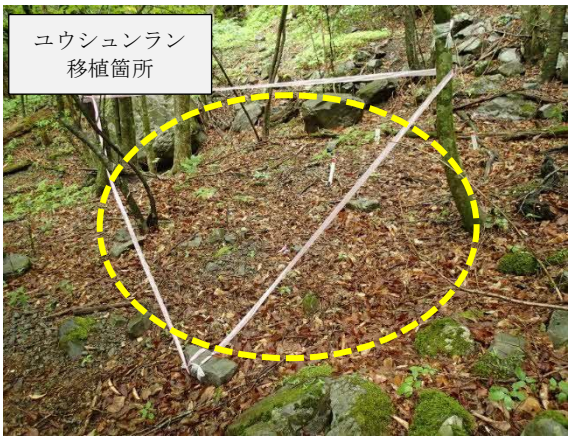




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2019 年６月 13 日：結実期）

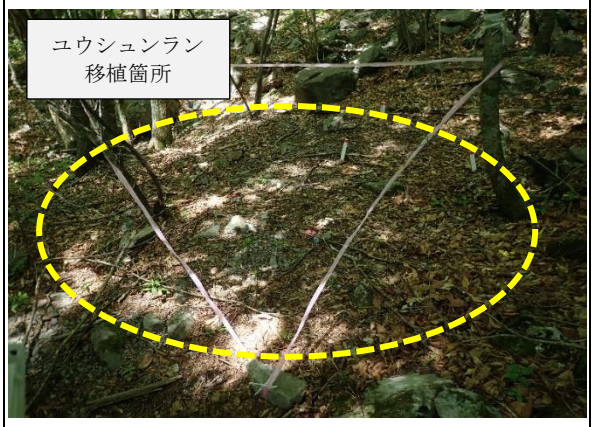
図 646(5)　生育状況調査結果（ユウシュンラン）





全景写真　　近景写真

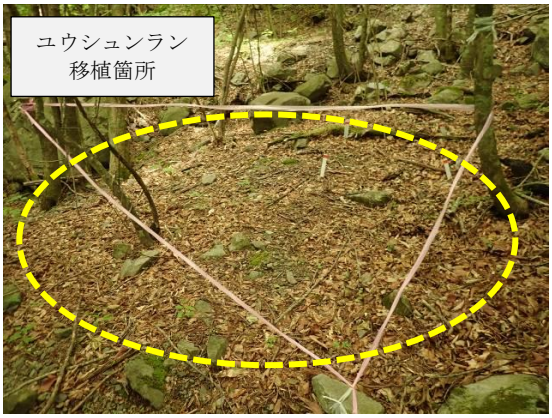
移植後の現地状況（地点②）（2020 年 6 月 11 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2021 年 6 月 11 日：結実期）

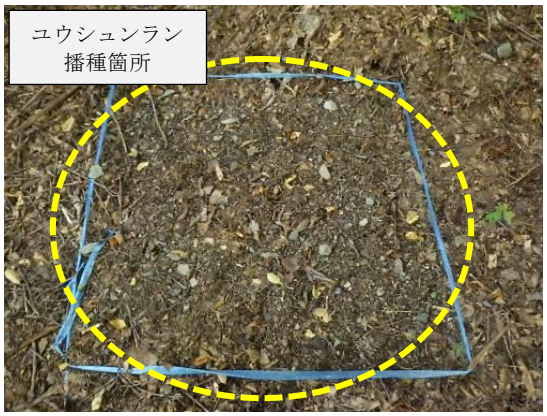




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2022 年 6 月 17 日：結実期）

図 646(6)　生育状況調査結果（ユウシュンラン）



播種後の現地状況（地点①）
（2017 年 10 月 10 日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況（地点①）
（2017 年 10 月 30 日：播種後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）　（2018 年５月 11 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）　（2018 年５月 24 日：開花期）

図 646(7)　生育状況調査結果（ユウシュンラン）

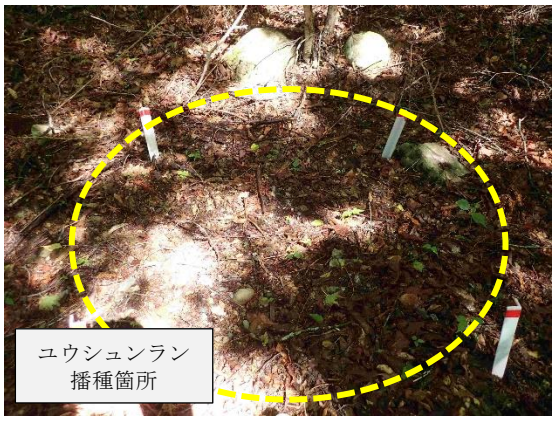




全景写真　　近景写真

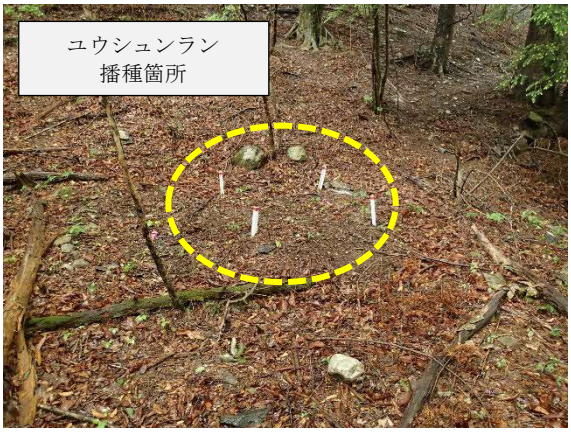
播種後の現地状況（地点①）（2018 年６月 14 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2019 年６月 13 日：結実期）

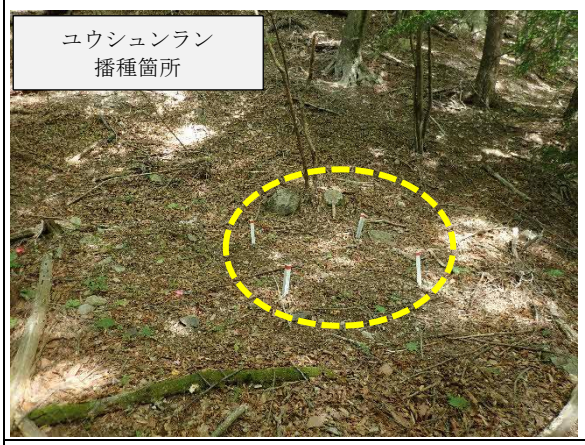




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2020 年６月 11 日：結実期）

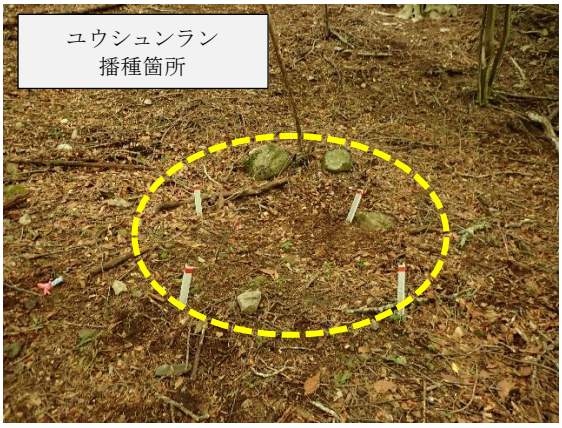
図 646(8)　生育状況調査結果（ユウシュンラン）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2021 年６月 11 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2022 年６月 17 日：結実期）

図 646(9)　生育状況調査結果（ユウシュンラン）

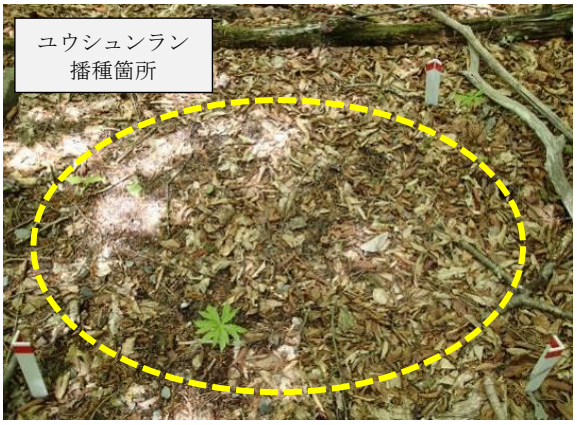


播種後の現地状況（地点②）
（2017 年 10 月 10 日：播種後１ヶ月以内）



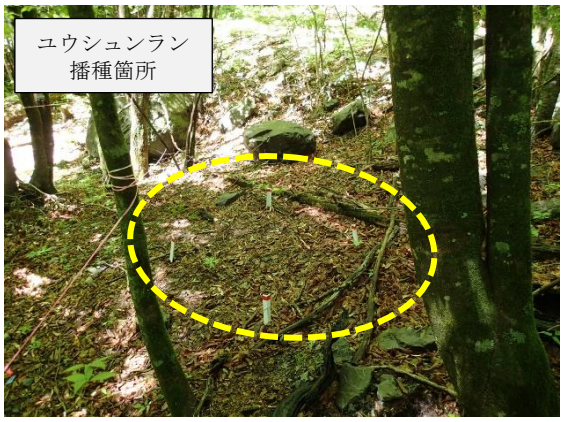
播種後の現地状況（地点②）
（2017 年 10 月 31 日：播種後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）　（2018 年５月 11 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）　（2018 年５月 24 日：開花期）

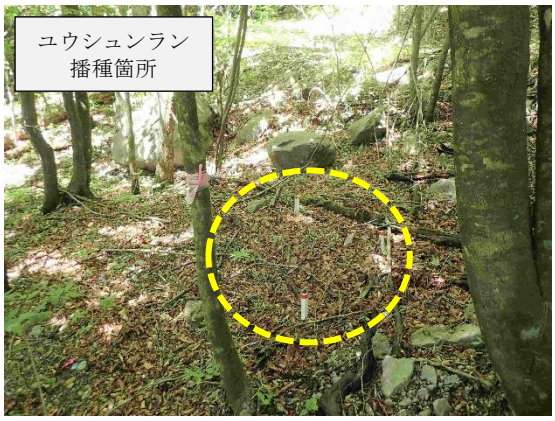
図 646(10)　生育状況調査結果（ユウシュンラン）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2018 年６月 14 日：結実期）

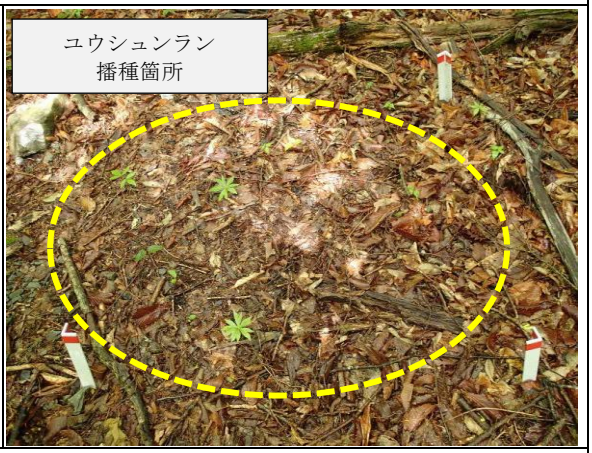




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2019 年６月 13 日：結実期）



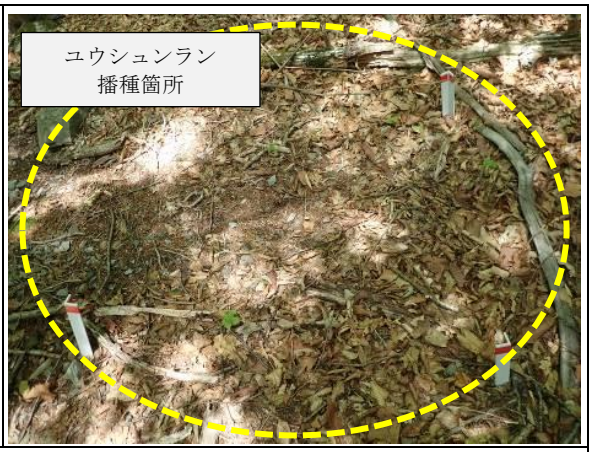


全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2020 年６月 11 日：結実期）

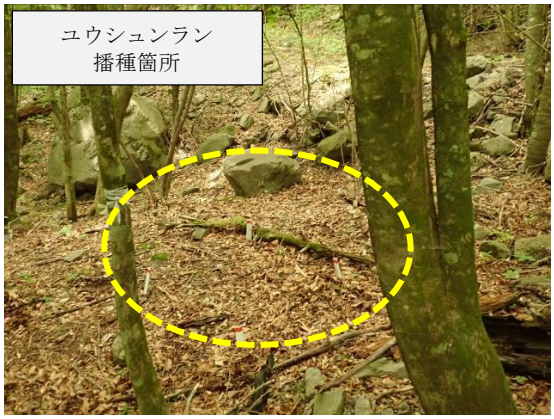
図 646(11)　生育状況調査結果（ユウシュンラン）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2021 年６月 11 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2022 年６月 17 日：結実期）

図 646(12)　生育状況調査結果（ユウシュンラン）

1.4.18　イチヨウラン

イチヨウランの生育状況調査の結果を図 647 に示します。

（2017 年移植個体、播種箇所）

地点①に 27 個体、地点②に 39 個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

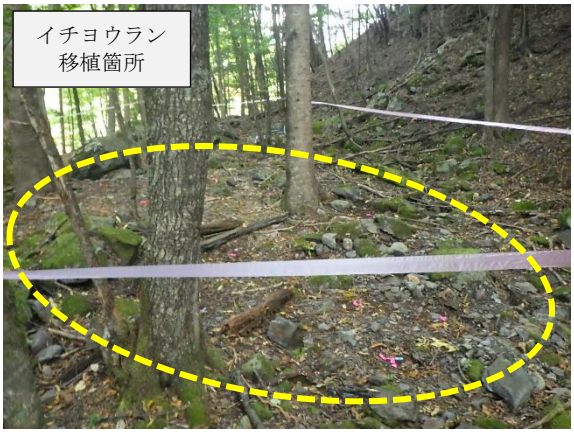
移植・播種後１ヶ月以内の確認（2017 年 10 月 12 日、2017 年 10 月 27 日）においては、地点①において１箇所、地点②において３箇所で、哺乳類によるものと思われる移植個体の掘り返しがみられた。このうち、地点①の１箇所及び地点②の２箇所については、掘り返された個体の植え戻しを行っていますが、地点②の１箇所については、移植個体が確認されませんでした。その他の移植・播種箇所の環境変化は特に見られませんでした。

移植・播種後１年目の発芽期の確認（2018 年５月 10 日）では、地点①において、22 個体の生育が確認され、そのうち８個体の開花が確認されました。地点②において、24 個体の生育が確認され、そのうち５個体で開花が確認されました。開花期の確認（2018 年５月 22 日）では、22 個体の生育が確認され、そのうち７個体の開花が確認されました。地点②において、25 個体の生育が確認され、そのうち５個体の開花が確認されました。結実期の確認（2018 年７月 17 日、2018 年７月 18 日）では、地点①において、19 個体の生育が確認され、そのうち１個体の結実が確認されました。地点②において、24 個体の生育が確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後２年目の結実期の確認（2019 年７月 17 日、2019 年７月 18 日）では、地点①において、10 個体の生育が確認されました。地点②において、13 個体の生育が確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後３年目の結実期の確認（2020 年８月 26 日、2020 年８月 27 日）では、地点①において、10 個体の生育が確認されました。地点②において、７個体の生育が確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後３年間の調査において、個体の生育が確認できたことから、専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2017 年 10 月 12 日：移植後 1 ヶ月以内）

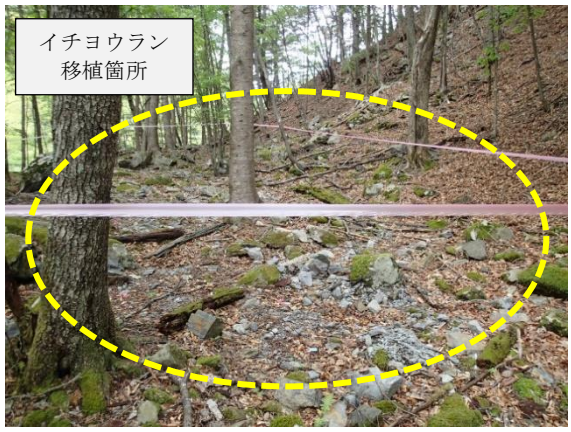




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2017 年 10 月 27 日：移植後 1 ヶ月以内）

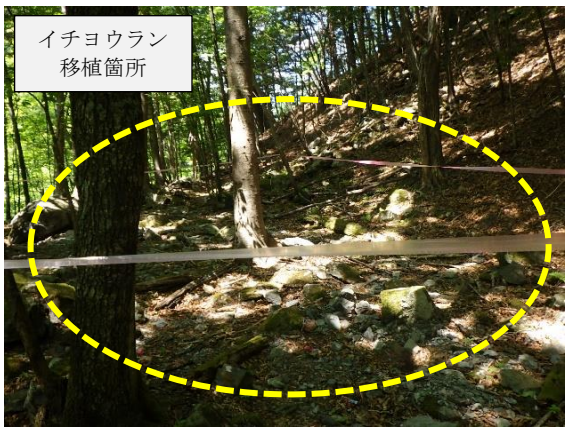
図 647(1)　生育状況調査結果（イチヨウラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年５月 10 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年５月 22 日：開花期）

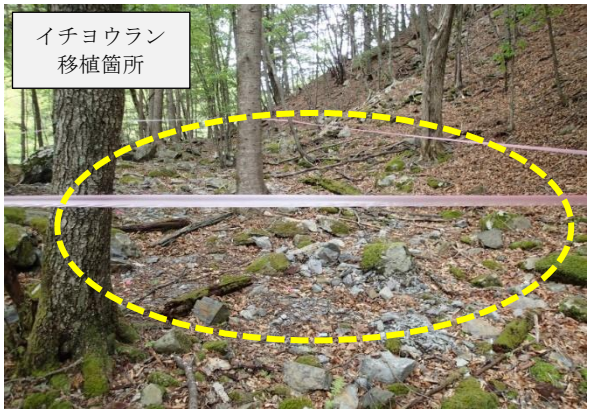




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年７月 18 日：結実期）

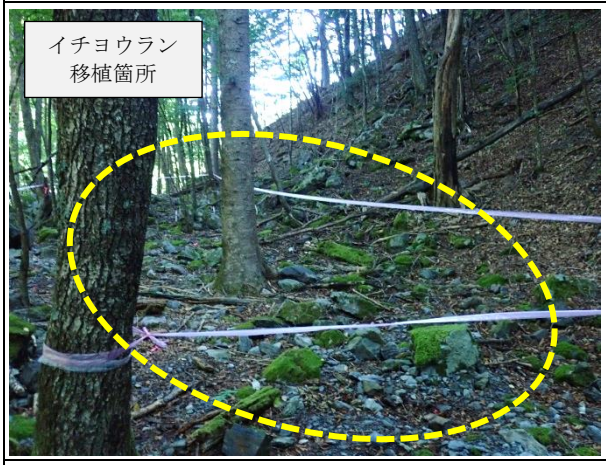
図 647(2)　生育状況調査結果（イチヨウラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2019 年 7 月 18 日：結実期）

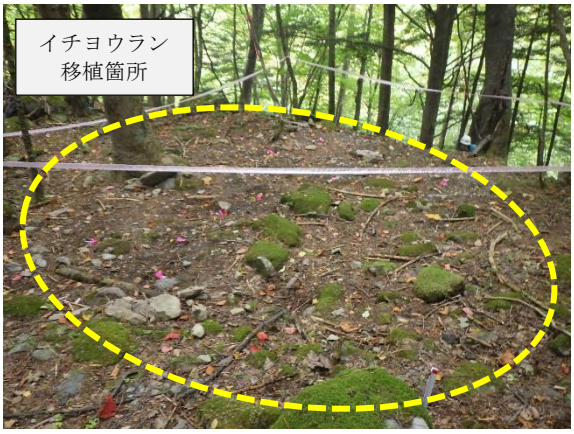




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2020 年 8 月 26 日：結実期）

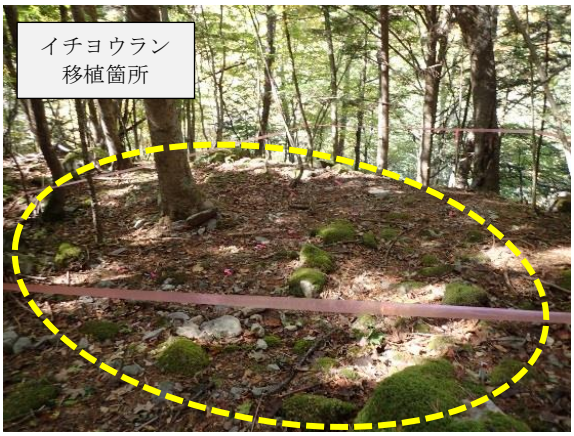
図 647(3)　生育状況調査結果（イチヨウラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2017 年 10 月 12 日：移植後 1 ヶ月以内）

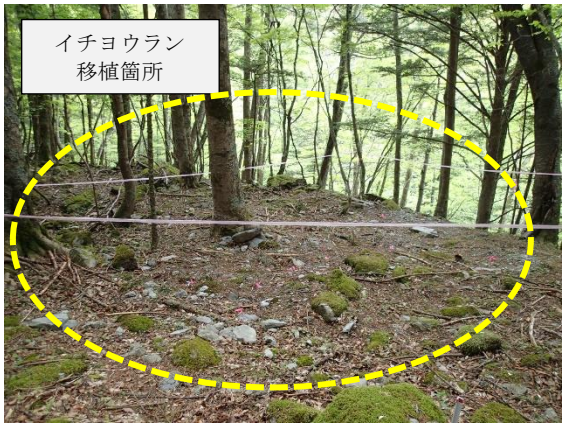




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2017 年 10 月 27 日：移植後 1 ヶ月以内）

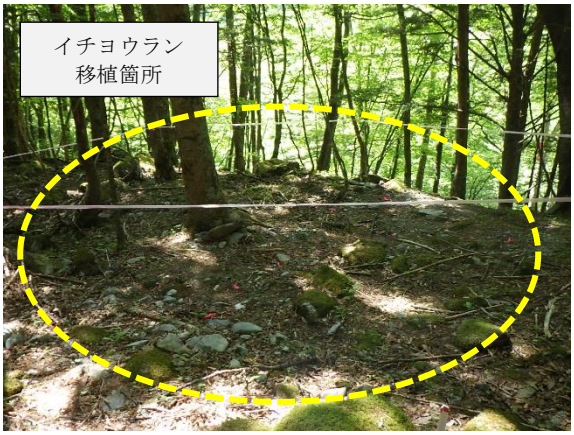
図 647(4)　生育状況調査結果（イチヨウラン）

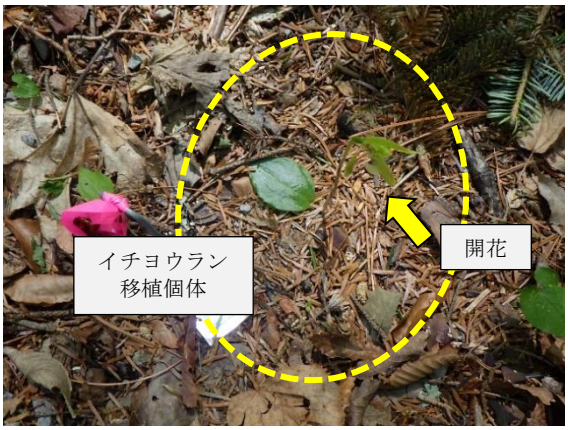




全景写真　　近景写真

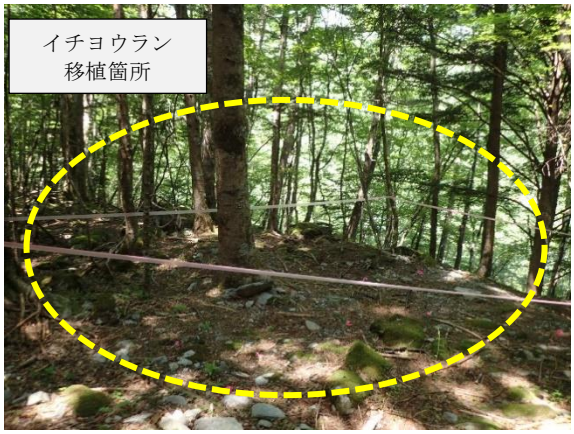
移植後の現地状況（地点②）（2018 年 5 月 10 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年 5 月 22 日：開花期）

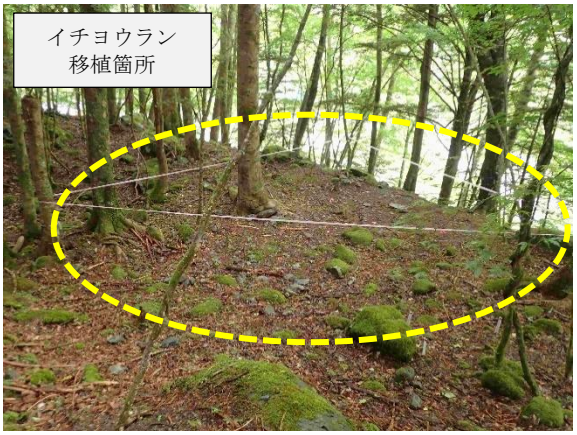




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年 7 月 18 日：結実期）

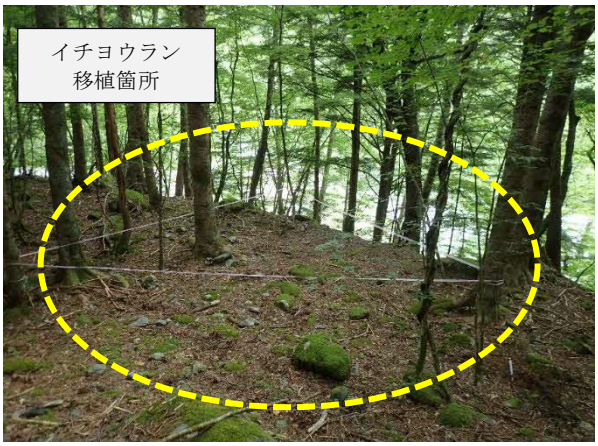
図 647(5)　生育状況調査結果（イチヨウラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2019 年 7 月 18 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2020 年 8 月 27 日：結実期）

図 647(6)　生育状況調査結果（イチヨウラン）

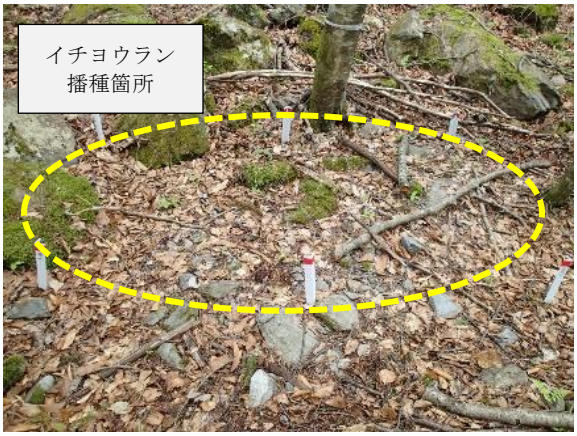


播種後の現地状況（地点①）
（2017 年 10 月 12 日：播種後 1 ヶ月以内）

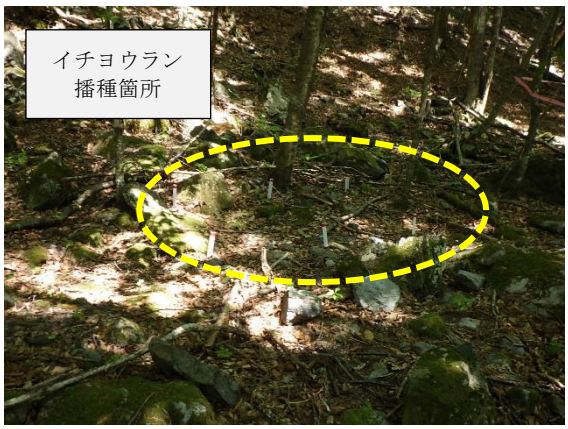


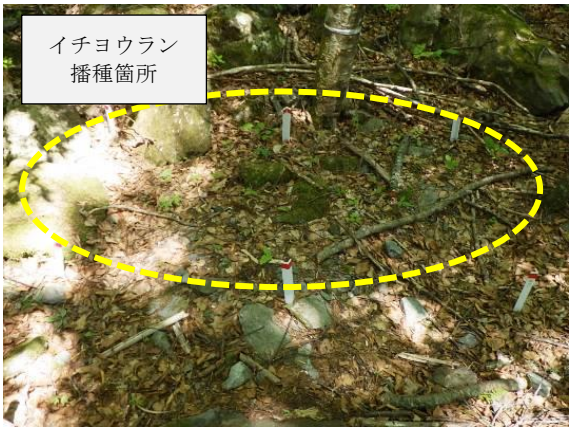
播種後の現地状況（地点①）
（2017 年 10 月 27 日：播種後 1 ヶ月以内）





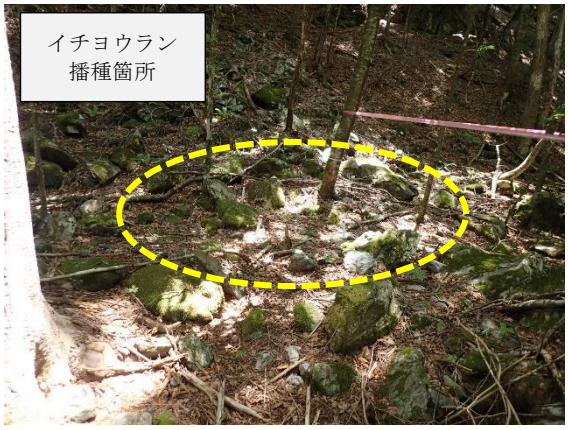
全景写真　　近景写真
播種後の現地状況（地点①）（2018 年 5 月 10 日：発芽期）

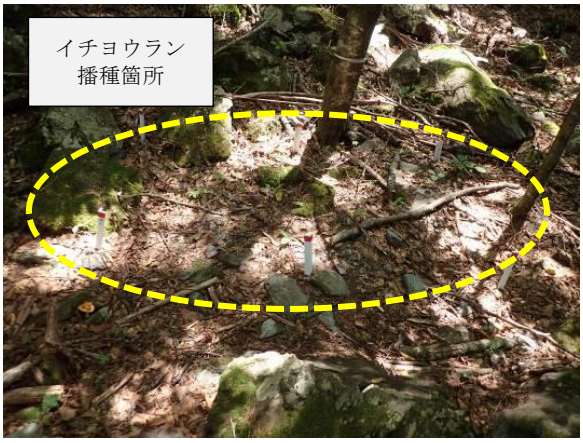




全景写真　　近景写真
播種後の現地状況（地点①）（2018 年 5 月 22 日：開花期）

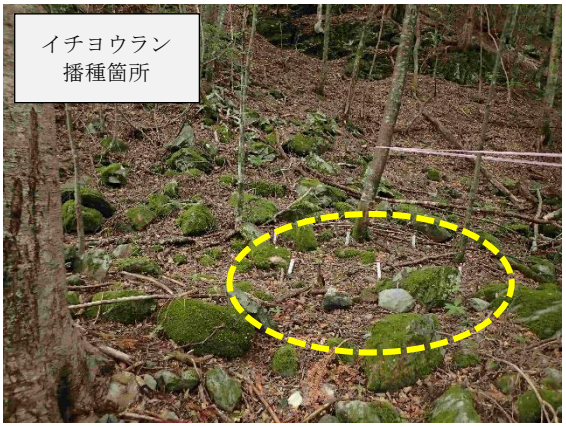
図 647(7)　生育状況調査結果（イチヨウラン）

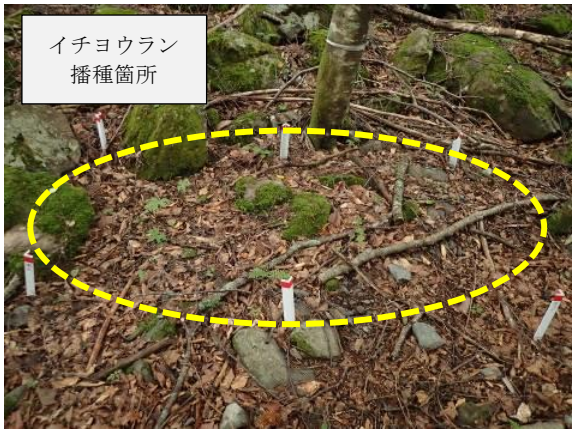




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2018 年 7 月 18 日：結実期）

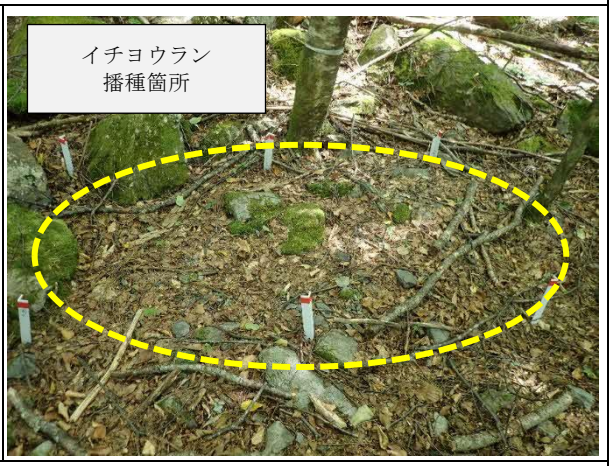




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2019 年 7 月 18 日：結実期）

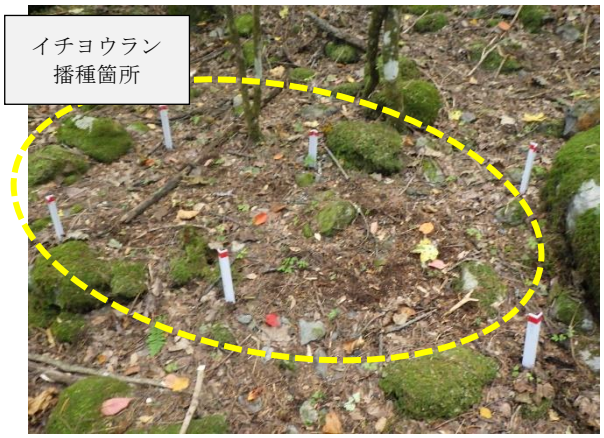




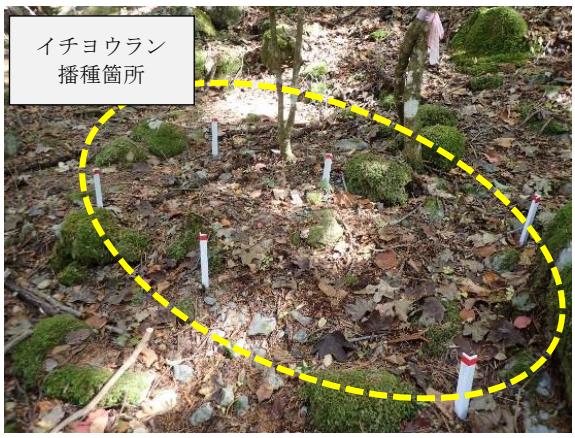
全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2020 年 8 月 26 日：結実期）

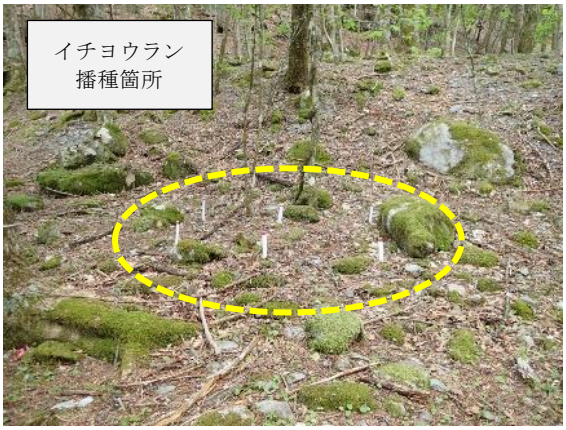
図 647(8)　生育状況調査結果（イチヨウラン）

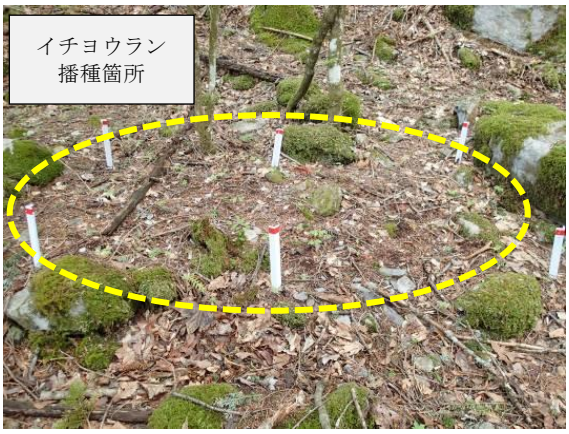


播種後の現地状況（地点②）
（2017 年 10 月 12 日：播種後 1 ヶ月以内）



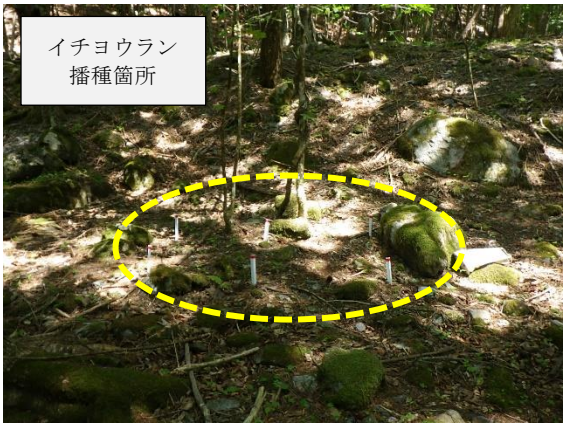
播種後の現地状況（地点②）
（2017 年 10 月 27 日：播種後 1 ヶ月以内）

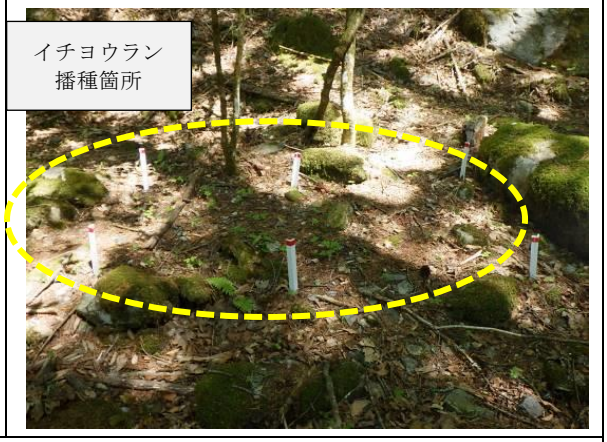




<u>全景写真</u>　　<u>近景写真</u>

播種後の現地状況（地点②）（2018 年 5 月 10 日：発芽期）

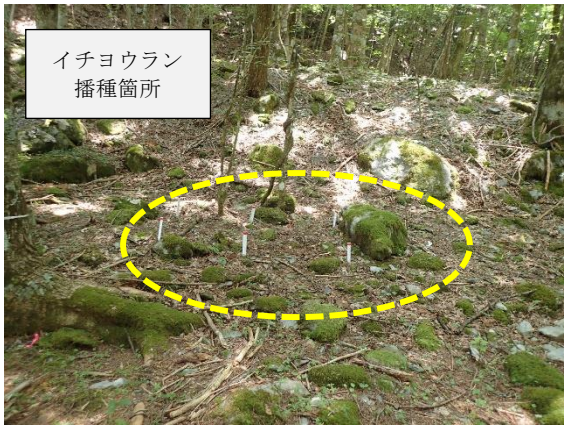


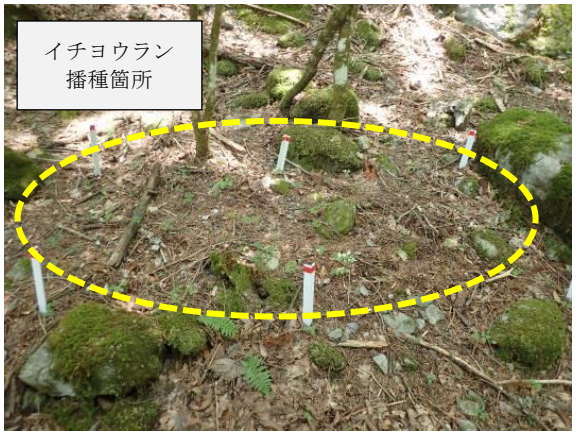


<u>全景写真</u>　　<u>近景写真</u>

播種後の現地状況（地点②）（2018 年 5 月 22 日：開花期）

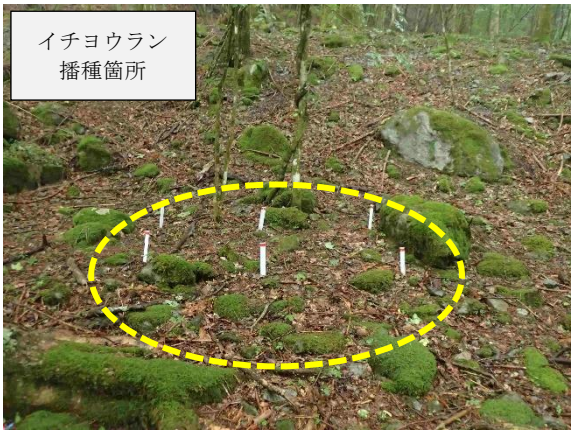
図 647(9)　生育状況調査結果（イチヨウラン）

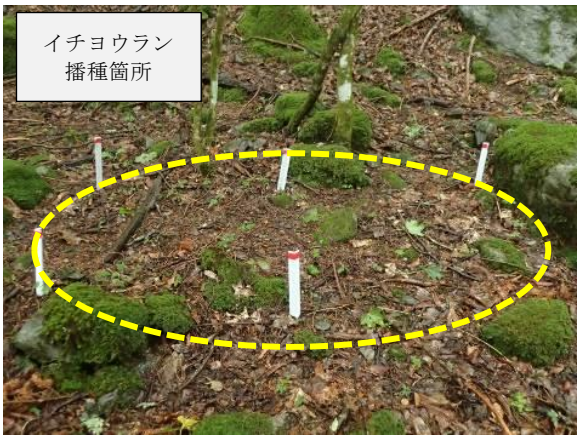




全景写真　　近景写真

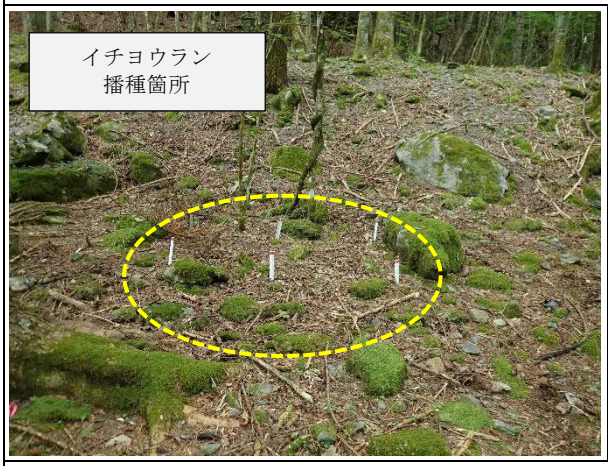
播種後の現地状況（地点②）（2018 年 7 月 18 日：結実期）

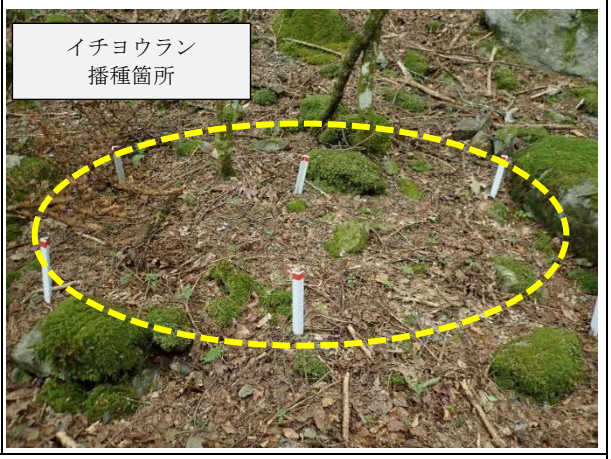




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2019 年 7 月 18 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2020 年 8 月 27 日：結実期）

図 647(10)　生育状況調査結果（イチヨウラン）

（2025 年移植個体、播種箇所）

１個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2025 年 11 月 21 日、11 月 27 日）においては、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化や移植個体の変化は特に見られませんでした。

今後の調査においても、生育状況を確認する予定です。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2025 年 11 月 21 日：移植後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2025 年 11 月 27 日：移植後 1 ヶ月以内）





播種後の現地状況
（2025 年 11 月 21 日：播種後 1 ヶ月以内）

播種後の現地状況
（2025 年 11 月 27 日：播種後 1 ヶ月以内）

図 647(11)　生育状況調査結果（イチヨウラン）

1.4.19　アオキラン

アオキランの生育状況調査の結果を図 648 に示します。

（2017 年移植個体、播種箇所）

地点①に 30 個体、地点②に 7 個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2017 年 11 月９日、2017 年 11 月 21 日）では、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化は特に見られませんでした。

移植・播種後１年目の発芽期の確認（2018 年９月 12 日）、開花期の確認（2018 年９月 19 日、2018 年９月 20 日）及び結実期の確認（2018 年 11 月１日）では、地点①、地点②において、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後２年目の結実期の確認（2019 年 11 月 23 日）では、地点①、地点②において、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後３年目の結実期の確認（2020 年 10 月 15 日、2020 年 10 月 16 日）では、地点①、地点②において、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後４年目の結実期の確認（2021 年 10 月 13 日）では、地点①、地点②において、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした

移植・播種後３年間の調査結果を踏まえ、移植・播種後４年目まで調査を実施しました。移植・播種後４年間の調査において、個体の生育は確認されませんでした。移植・播種先の環境は、アオキランに菌根菌を提供すると考えられる、外生菌根性樹木であるサワシバ、ツガなどが生育する樹林の林床としましたが、個体の生育を確認することができませんでした。専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2017 年 11 月９日：移植後１ヶ月以内）

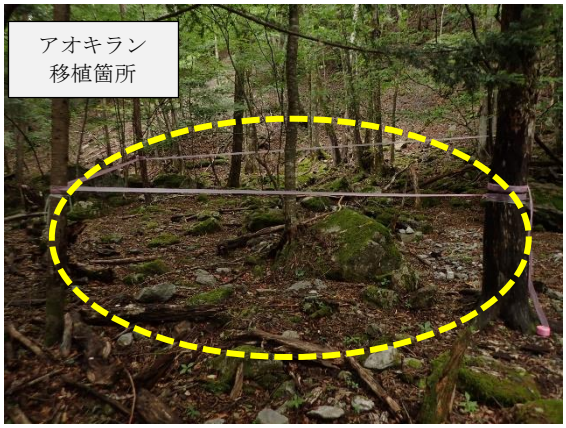




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2017 年 11 月 21 日：移植後１ヶ月以内）

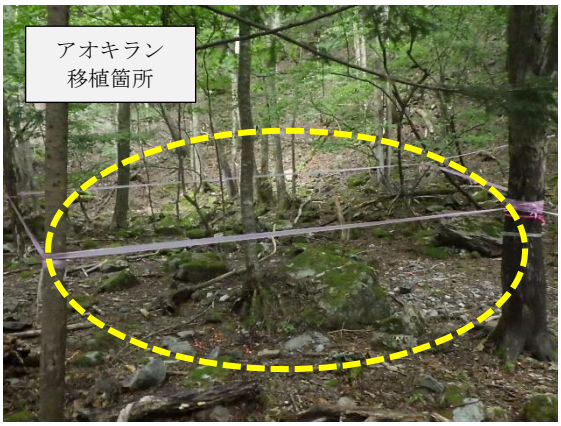
図 648(1)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年９月 12 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年９月 20 日：開花期）

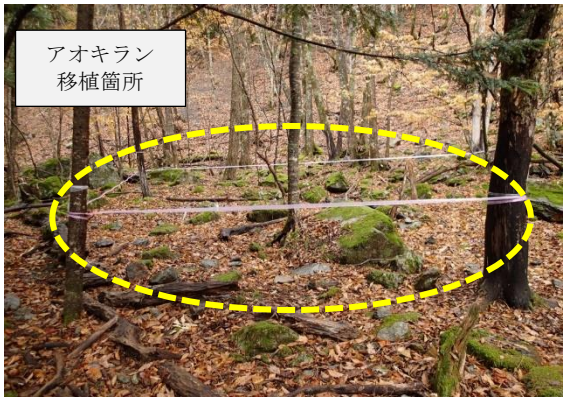




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年 11 月１日：結実期）

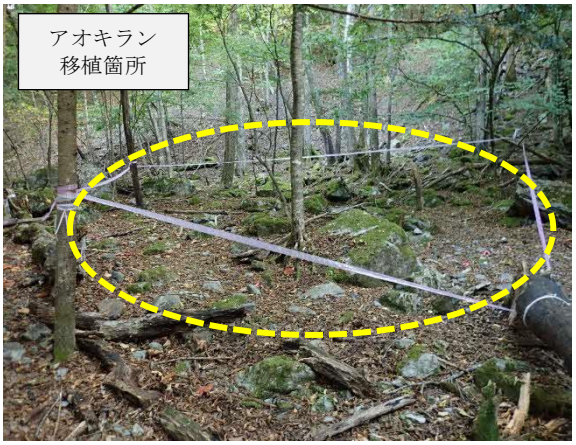
図 648(2)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

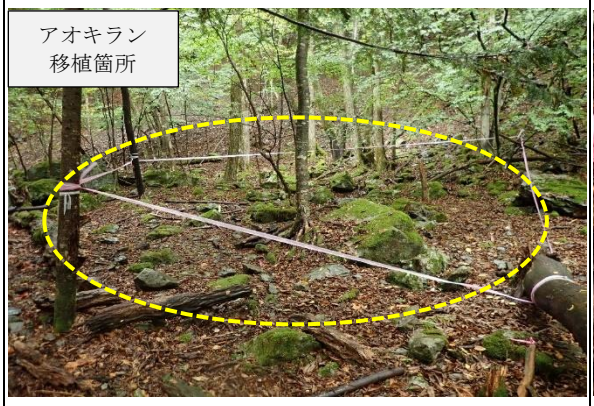
移植後の現地状況（地点①）（2019 年 11 月 23 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2020 年 10 月 16 日：結実期）

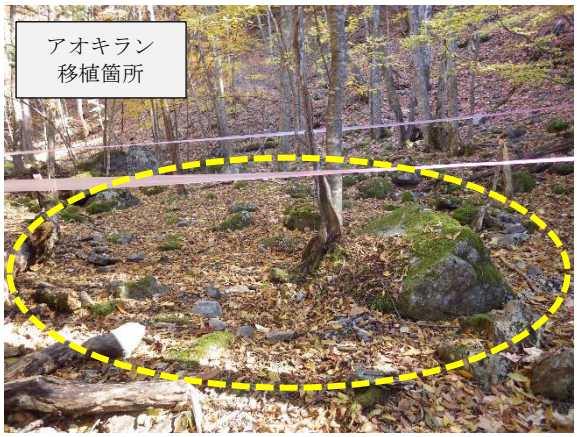




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2021 年 10 月 13 日：結実期）

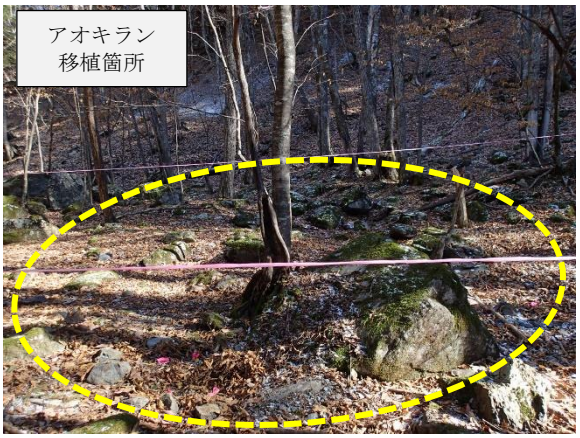
図 648(3)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2017 年 11 月９日：移植後１ヶ月以内）

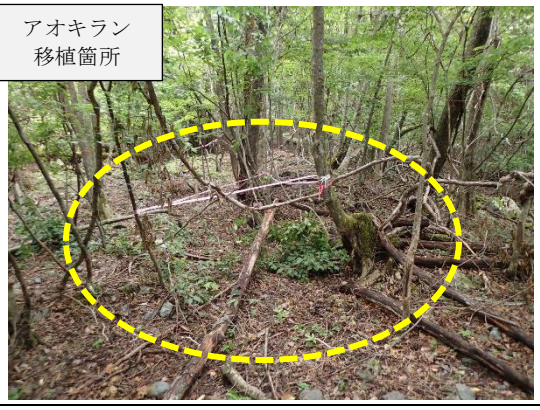




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2017 年 11 月 21 日：移植後１ヶ月以内）

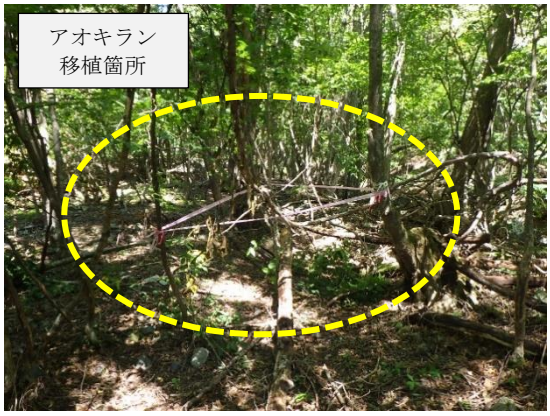
図 648(4)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年９月 12 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年９月 19 日：開花期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年 11 月１日：結実期）

図 648(5)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

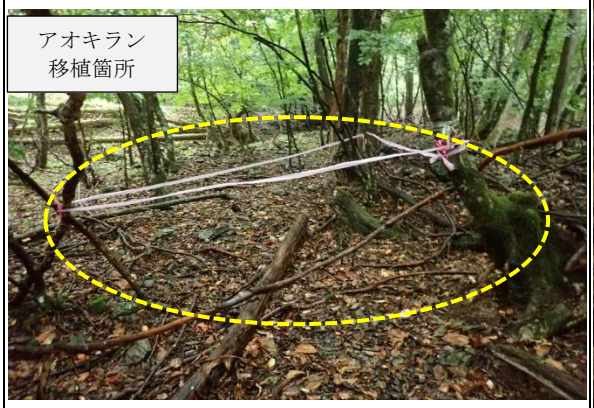
移植後の現地状況（地点②）（2019 年 11 月 23 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2020 年 10 月 15 日：結実期）





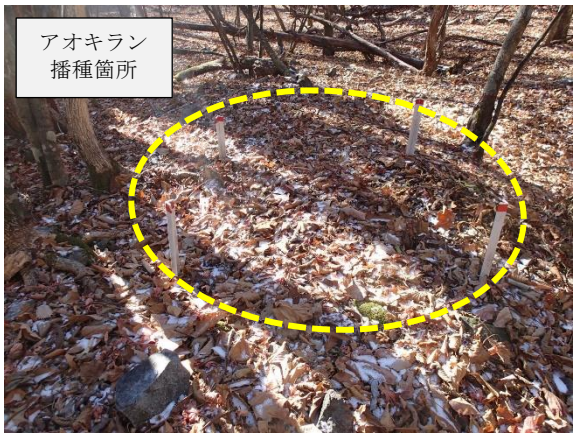
全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2021 年 10 月 13 日：結実期）

図 648(6)　生育状況調査結果（アオキラン）



播種後の現地状況（地点①）
（2017 年 11 月９日：播種後１ヶ月以内）



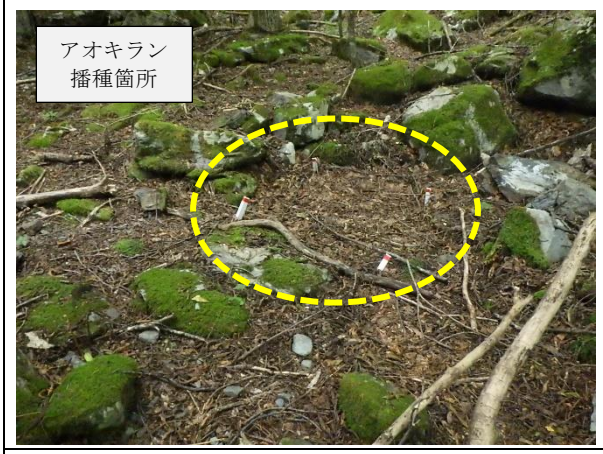
播種後の現地状況（地点①）
（2017 年 11 月 21 日：播種後１ヶ月以内）

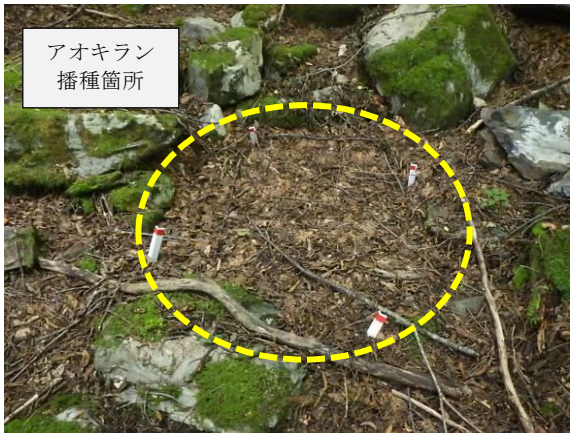




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2018 年９月 12 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2018 年９月 20 日：開花期）

図 648(7)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2018 年 11 月 1 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2019 年 11 月 23 日：結実期）

図 648(8)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2020 年 10 月 16 日：結実期）

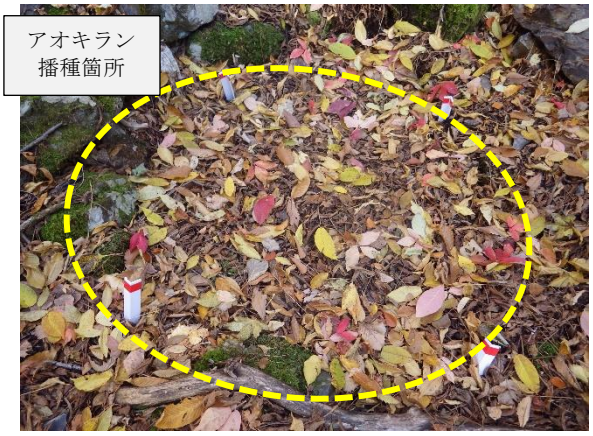




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2021 年 10 月 13 日：結実期）

図 648(9)　生育状況調査結果（アオキラン）



播種後の現地状況（地点②）
（2017 年 11 月９日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況（地点②）
（2017 年 11 月 21 日：播種後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真
播種後の現地状況（地点②）（2018 年９月 12 日：発芽期）





全景写真　　近景写真
播種後の現地状況（地点②）（2018 年９月 19 日：開花期）

図 648(10)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2018 年 11 月 1 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2019 年 11 月 23 日：結実期）

図 648(11)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2020 年 10 月 16 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2021 年 10 月 13 日：結実期）

図 648(12)　生育状況調査結果（アオキラン）

（2018 年移植個体、播種箇所）

地点①に 22 個体、地点②に 21 個体、地点③に 29 個体、地点④に 17 個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

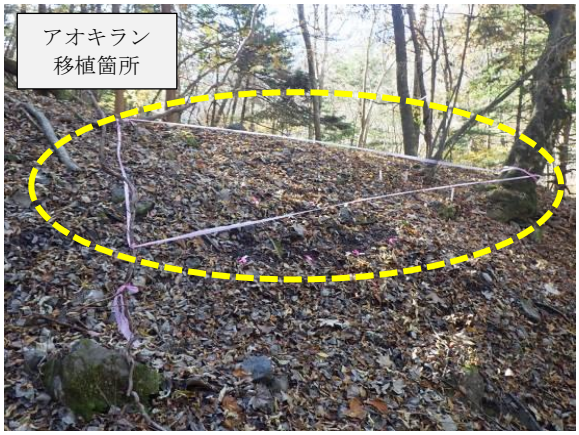
移植・播種後１ヶ月以内の確認（2018 年 11 月 13 日、2018 年 11 月 14 日、2018 年 11 月 27 日、2018 年 11 月 28 日）では、地点①、地点②、地点③、地点④において、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化は特に見られませんでした。

移植・播種後１年目の発芽期の確認（2019 年９月４日）では、地点①、地点②、地点④において、個体の生育は確認されませんでした。地点③において、４個体の生育が確認され、そのうち２個体の開花が確認されました。開花期の確認（2019 年９月 26 日）では、地点①、地点②、地点④において、個体の生育は確認されませんでした。地点③において、４個体の結実が確認されました。結実期の確認（2019 年 11 月 22 日、2019 年 11 月 23 日、2019 年 11 月 24 日）では、地点①、地点②、地点④において、個体の生育は確認されませんでした。地点③において、２個体の結実が確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後２年目の結実期の確認（2020 年 10 月 15 日、2020 年 10 月 16 日）では、地点①、地点②、地点③、地点④において、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後３年目の結実期の確認（2021 年 10 月 13 日、2021 年 10 月 15 日）では、地点①、地点②、地点③、地点④において、個体の生育は確認されませんでした。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

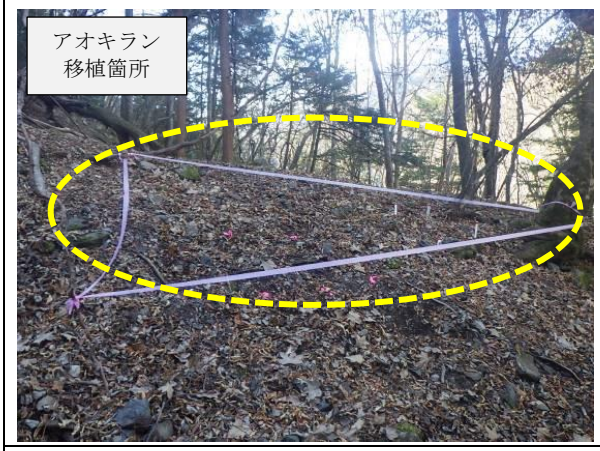
移植・播種後３年間の調査において、移植・播種後２年目以降の調査では、個体の生育は確認されませんでした。2017 年移植個体、播種箇所と同様に、専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年 11 月 14 日：移植後 1 ヶ月以内）

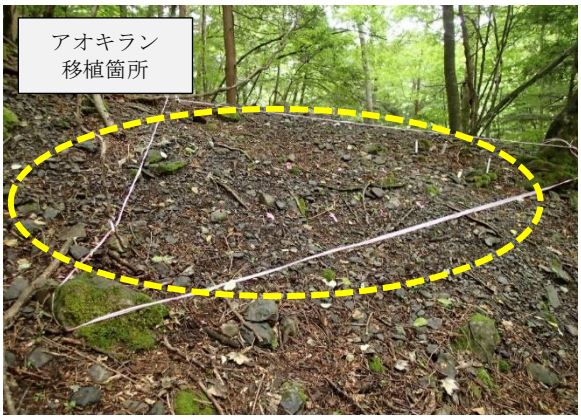




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年 11 月 28 日：移植後 1 ヶ月以内）

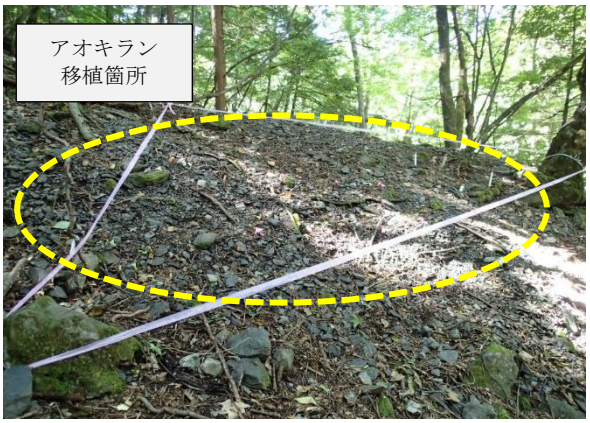
図 648(13)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2019 年９月５日：発芽期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2019 年９月 26 日：開花期）

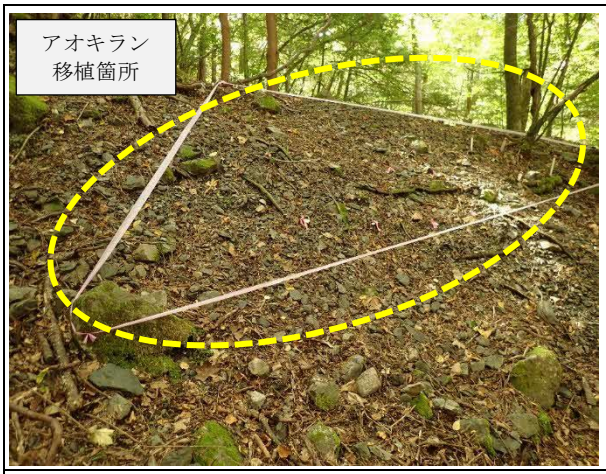




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2019 年 11 月 24 日：結実期）

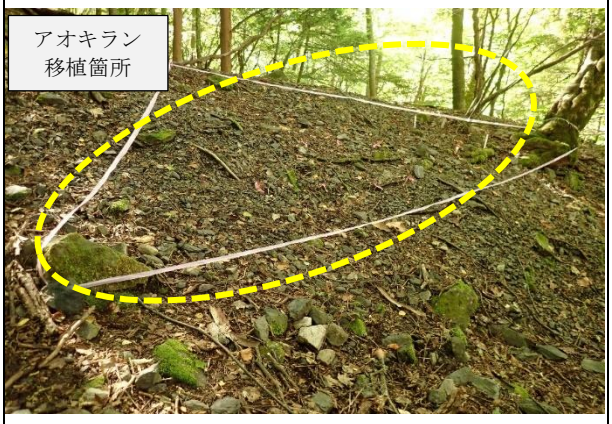
図 648(14)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2020 年 10 月 16 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2021 年 10 月 15 日：結実期）

図 648(15)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年 11 月 14 日：移植後 1 ヶ月以内）

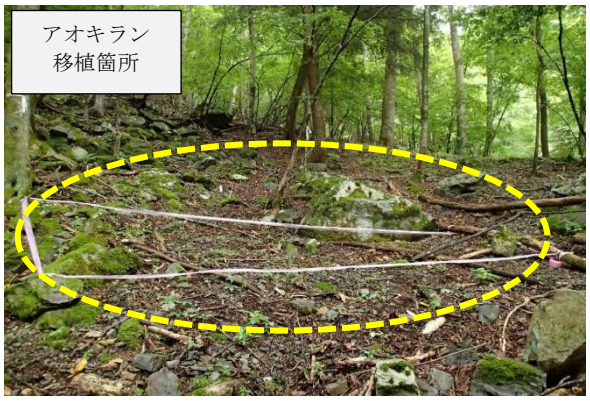




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年 11 月 28 日：移植後 1 ヶ月以内）

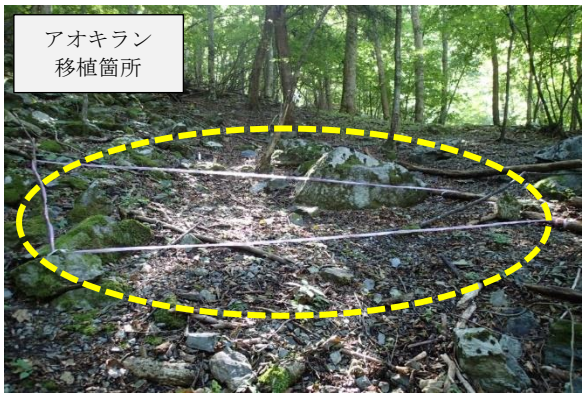
図 648(16)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

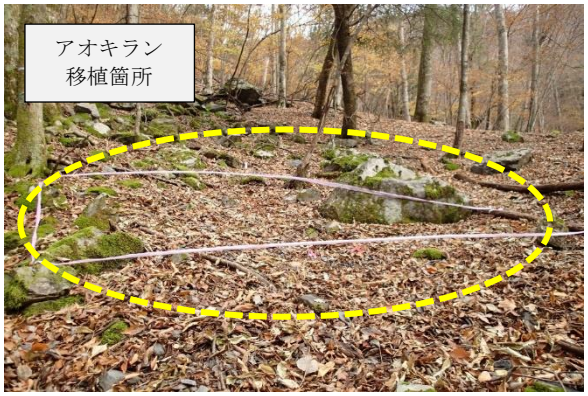
移植後の現地状況（地点②）（2019 年９月５日：発芽期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2019 年９月 26 日：開花期）

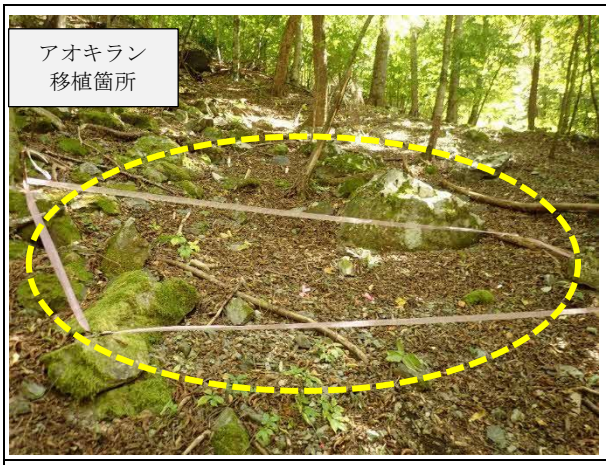




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2019 年 11 月 23 日：結実期）

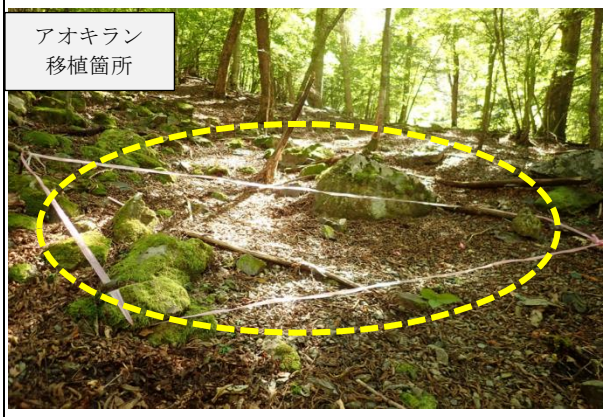
図 648(17)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2020 年 10 月 16 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2021 年 10 月 15 日：結実期）

図 648(18)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点③）（2018 年 11 月 13 日：移植後 1 ヶ月以内）



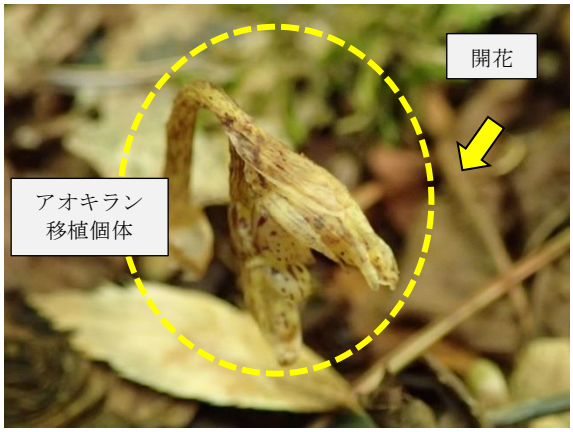


全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点③）（2018 年 11 月 27 日：移植後 1 ヶ月以内）

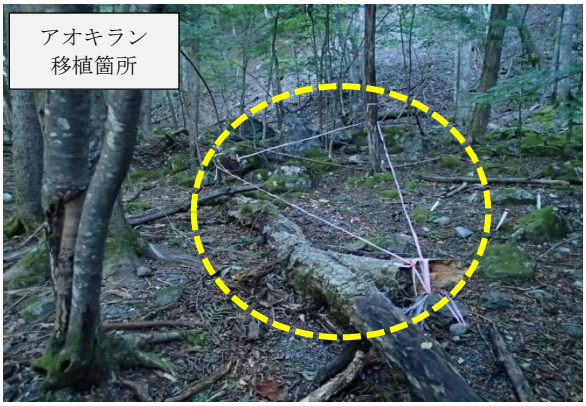
図 648(19)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点③）（2019 年９月４日：発芽期）

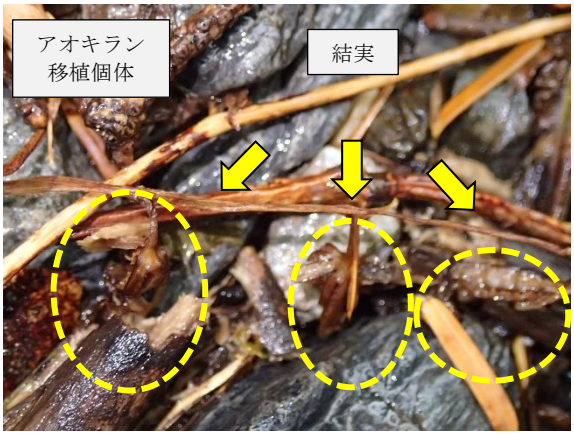




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点③）（2019 年９月 26 日：開花期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点③）（2019 年 11 月 22 日：結実期）

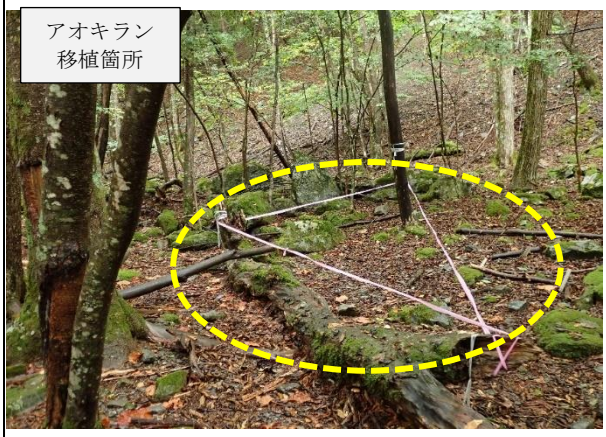
図 648(20)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点③）（2020 年 10 月 16 日：結実期）

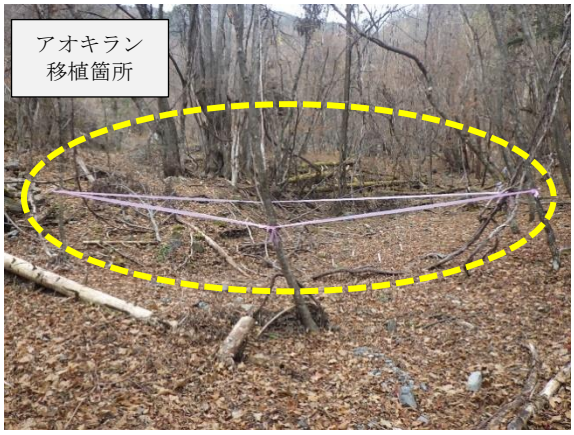




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点③）（2021 年 10 月 13 日：結実期）

図 648(21)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点④）（2018 年 11 月 13 日：移植後 1 ヶ月以内）

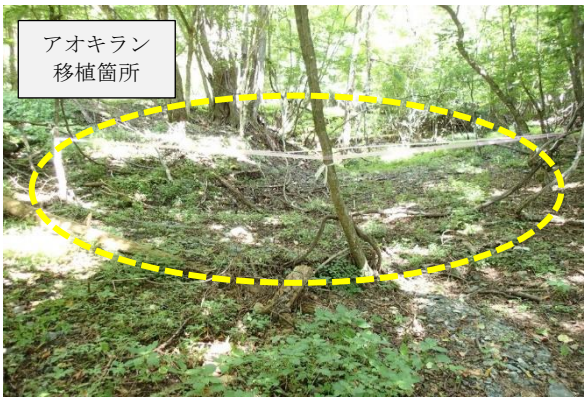




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点④）（2018 年 11 月 27 日：移植後 1 ヶ月以内）

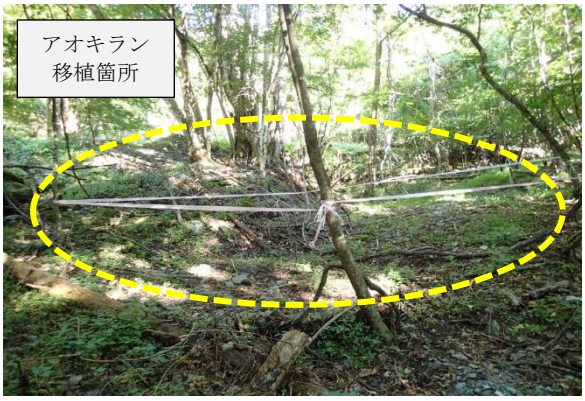
図 648(22)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

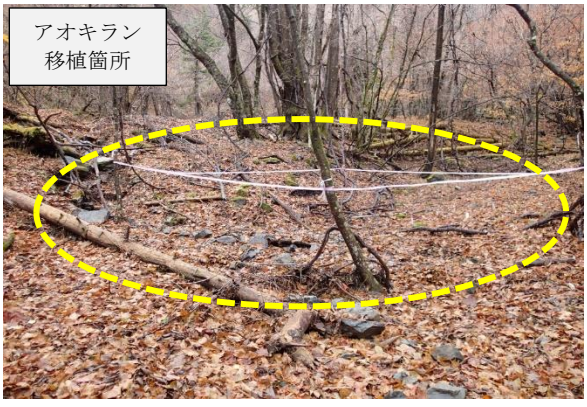
移植後の現地状況（地点④）（2019 年９月４日：発芽期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点④）（2019 年９月 26 日：開花期）

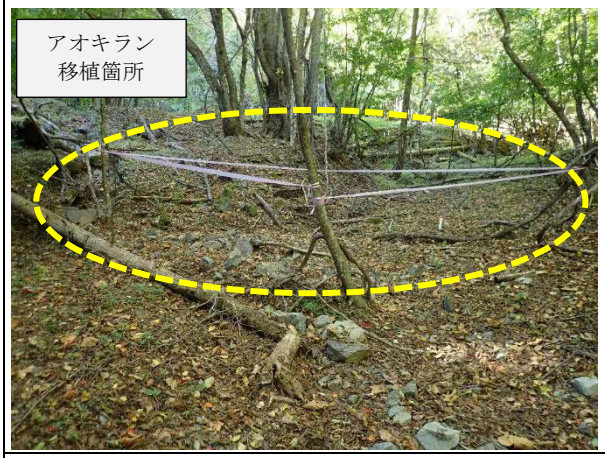




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点④）（2019 年 11 月 23 日：結実期）

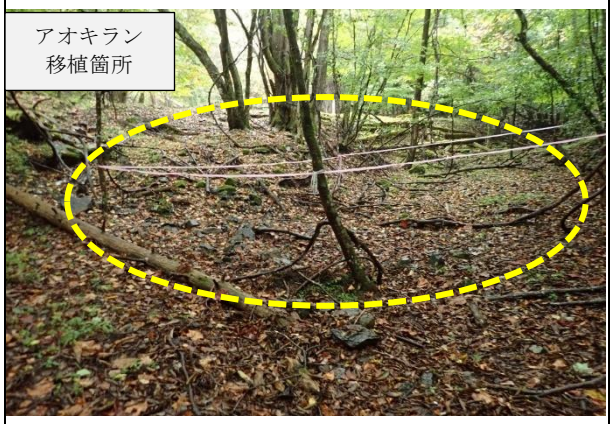
図 648(23)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点④）（2020 年 10 月 15 日：結実期）





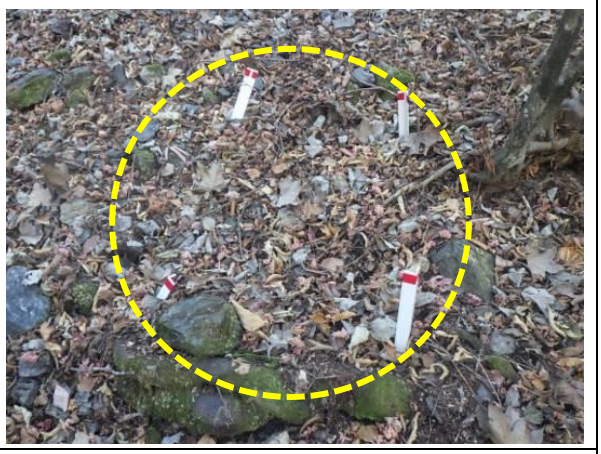
全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点④）（2021 年 10 月 13 日：結実期）

図 648(24)　生育状況調査結果（アオキラン）

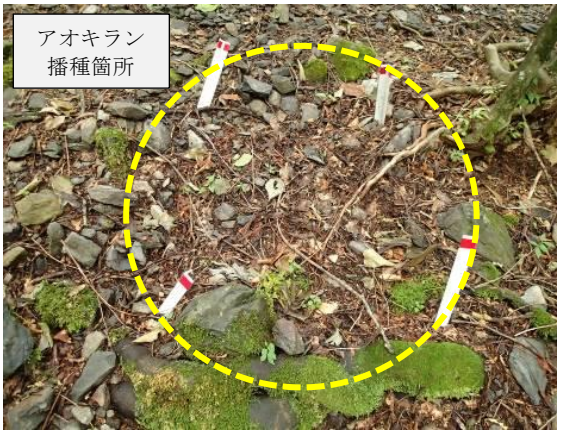


播種後の現地状況（地点①）
（2018 年 11 月 14 日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況（地点①）
（2018 年 11 月 28 日：播種後１ヶ月以内）

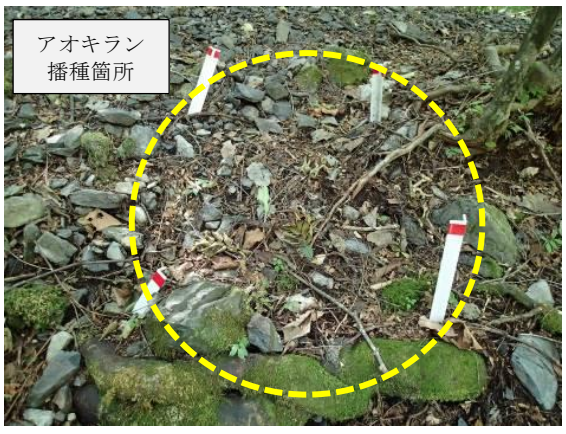




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）　（2019 年９月５日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）　（2019 年９月 26 日：開花期）

図 648(25)　生育状況調査結果（アオキラン）

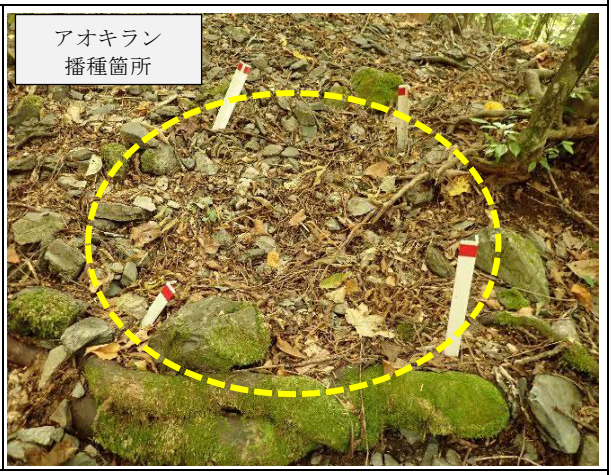




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2019 年 9 月 26 日：開花期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2020 年 10 月 16 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2021 年 10 月 15 日：結実期）

図 648(26)　生育状況調査結果（アオキラン）



播種後の現地状況（地点②）
（2018 年 11 月 14 日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況（地点②）
（2018 年 11 月 28 日：播種後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）　（2019 年９月５日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）　（2019 年９月 26 日：開花期）

図 648(27)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2019 年 11 月 23 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2020 年 10 月 16 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2021 年 10 月 15 日：結実期）

図 648(28)　生育状況調査結果（アオキラン）



播種後の現地状況（地点③）
（2018 年 11 月 13 日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況（地点③）
（2018 年 11 月 27 日：播種後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点③）　（2019 年９月４日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点③）　（2019 年９月 26 日：開花期）

図 648(29)　生育状況調査結果（アオキラン）





全景写真　　近景写真

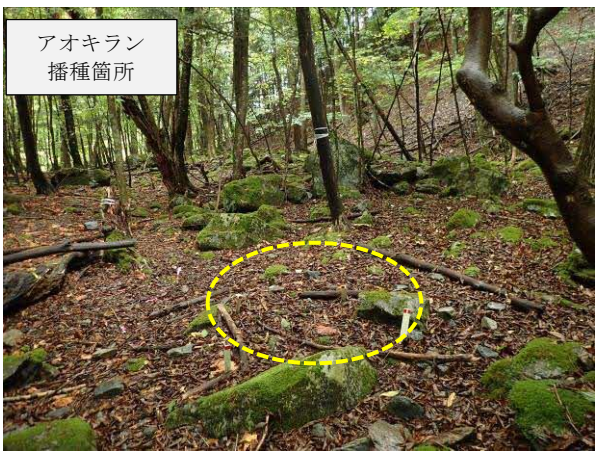
播種後の現地状況（地点③）（2019 年 11 月 22 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点③）（2020 年 10 月 16 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点③）（2021 年 10 月 13 日：結実期）

図 648(30)　生育状況調査結果（アオキラン）



播種後の現地状況（地点④）
（2018 年 11 月 13 日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況（地点④）
（2018 年 11 月 27 日：播種後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点④）　（2019 年９月４日：発芽期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点④）　（2019 年９月 26 日：開花期）

図 648(31)　生育状況調査結果（アオキラン）

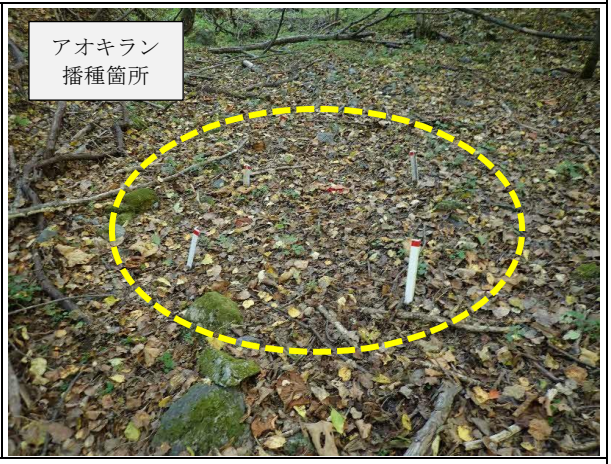




全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点④）（2019 年 11 月 23 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点④）（2020 年 10 月 15 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点④）（2021 年 10 月 13 日：結実期）

図 648(32)　生育状況調査結果（アオキラン）

1.4.20　クロクモキリソウ

クロクモキリソウの生育状況調査の結果を図 649 に示します。

（2018 年移植個体、播種箇所）

地点①に 89 個体、地点②に 24 個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

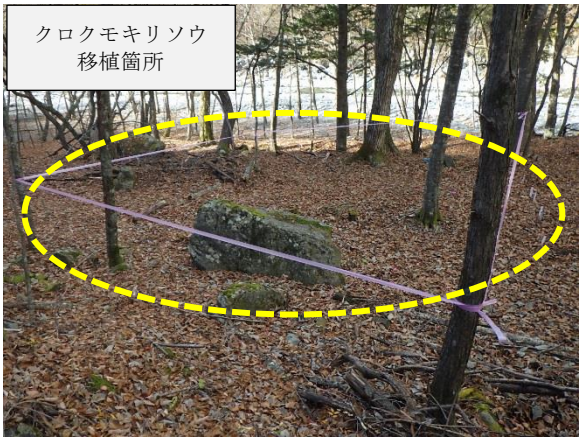
移植・播種後１ヶ月以内の確認（2018 年 11 月 13 日、2018 年 11 月 14 日、2018 年 11 月 27 日、11 月 28 日）においては、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化は特に見られませんでした。

移植・播種後１年目の発芽期の確認（2019 年５月９日、2019 年５月 10 日）では、地点①において、13 個体の発芽が確認されました。地点②において、17 個体の発芽が確認されました。開花期の確認（2019 年７月 17 日、2019 年７月 19 日）では、地点①において、39 個体の生育が確認され、そのうち２個体の開花が確認されました。地点②において、24 個体の生育が確認され、そのうち７個体の開花が確認されました。結実期の確認（2019 年 11 月 22 日、2019 年 11 月 23 日）では、地点①において、25 個体の生育が確認されました。地点②において、13 個体の生育が確認され、そのうち１個体の結実が確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後２年目の結実期の確認（2020 年 10 月 15 日、2020 年 10 月 16 日）では、地点①において、33 個体の生育が確認され、そのうち１個体の結実が確認されました。地点②において、17 個体の生育が確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後３年目の結実期の確認（2021 年 10 月 13 日、2021 年 10 月 15 日）では、地点①において、24 個体の生育が確認されました。地点②において、13 個体の生育が確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

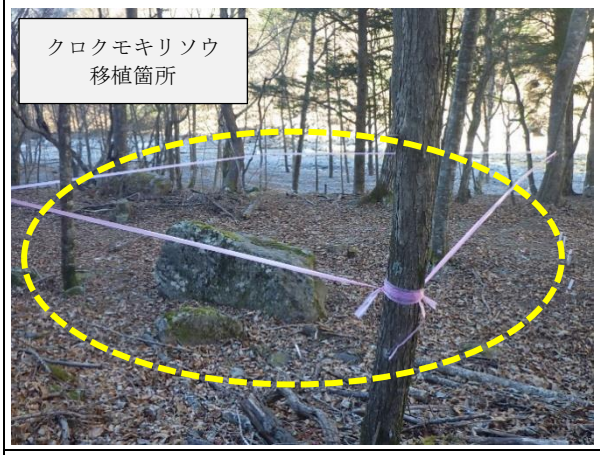
移植・播種後３年間の調査において、個体の生育が確認できたことから、専門家への確認、報告を踏まえて、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年 11 月 14 日：移植後 1 ヶ月以内）

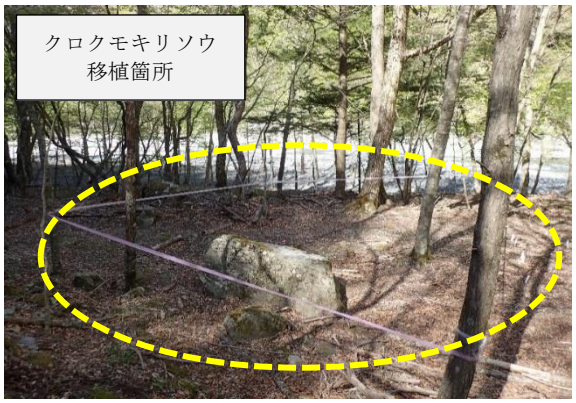




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年 11 月 28 日：移植後 1 ヶ月以内）

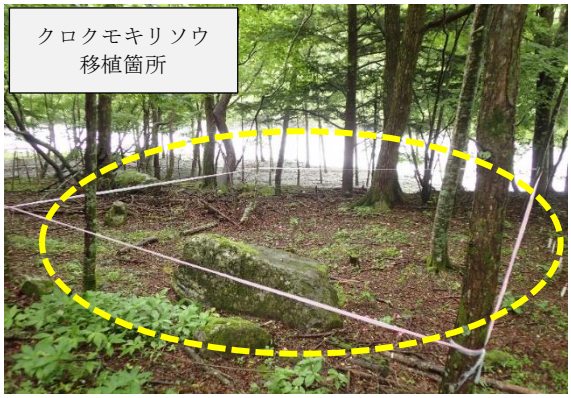
図 649(1)　生育状況調査結果（クロクモキリソウ）





全景写真　　近景写真

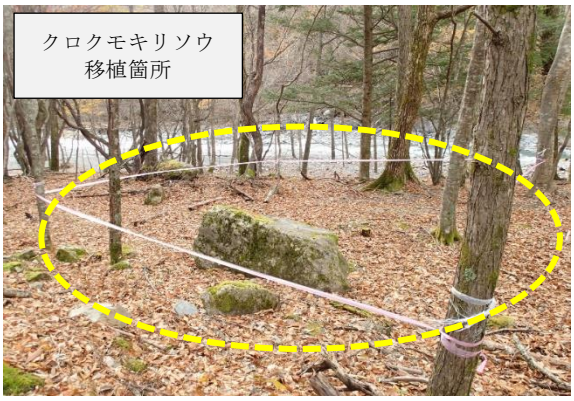
移植後の現地状況（地点①）（2019 年 5 月 10 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2019 年 7 月 19 日：開花期）

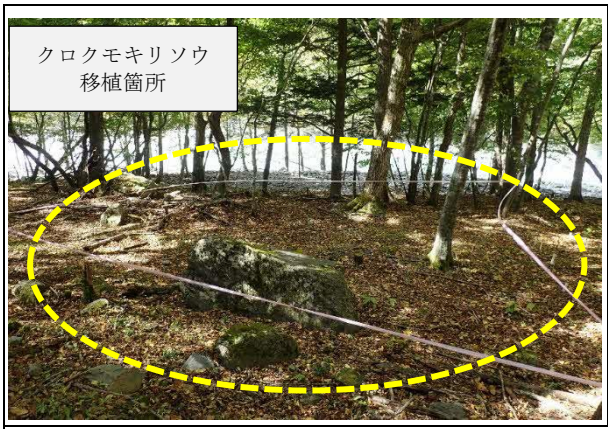


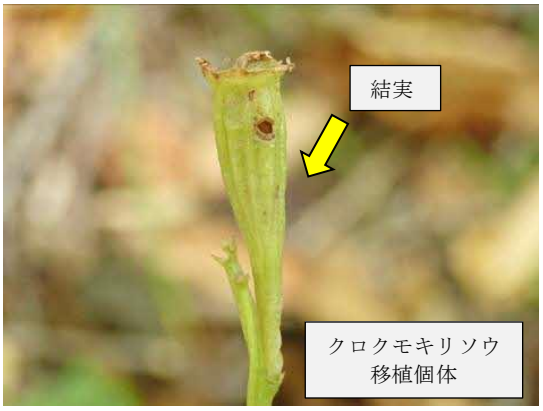


全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2019 年 11 月 23 日：結実期）

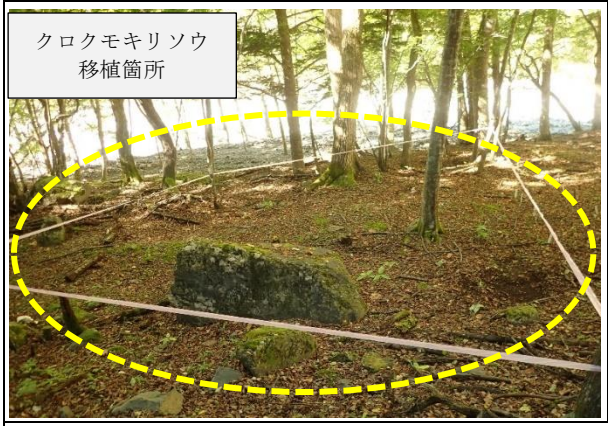
図 649(2)　生育状況調査結果（クロクモキリソウ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2020 年 10 月 16 日：結実期）

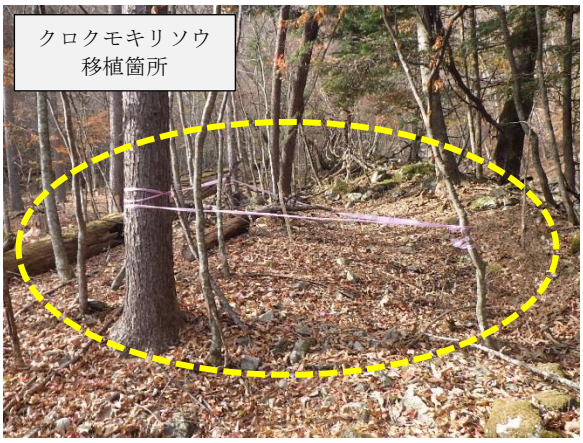




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2021 年 10 月 15 日：結実期）

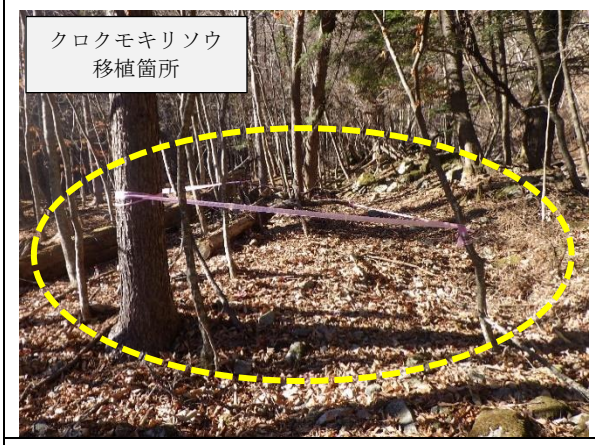
図 649(3)　生育状況調査結果（クロクモキリソウ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年 11 月 13 日：移植後 1 ヶ月以内）

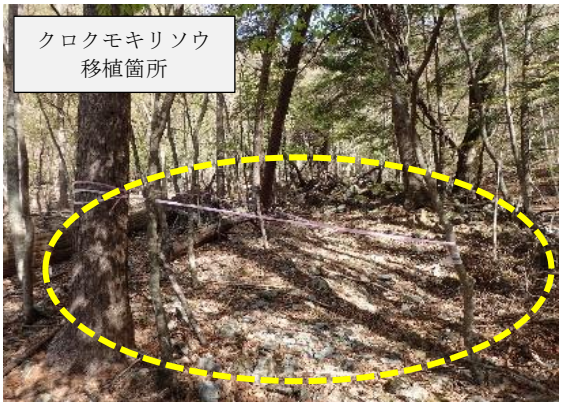




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年 11 月 27 日：移植後 1 ヶ月以内）

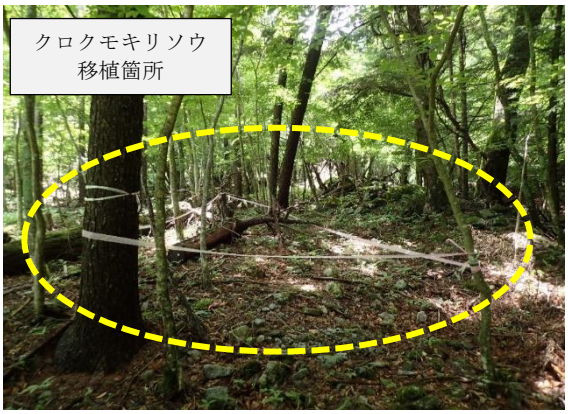
図 649(4)　生育状況調査結果（クロクモキリソウ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2019 年５月９日：発芽期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2019 年７月 17 日：開花期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2019 年 11 月 22 日：結実期）

図 649(5)　生育状況調査結果（クロクモキリソウ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2020 年 10 月 15 日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2021 年 10 月 13 日：結実期）

図 649(6)　生育状況調査結果（クロクモキリソウ）



播種後の現地状況（地点①）
（2018 年 11 月 14 日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況（地点①）
（2018 年 11 月 28 日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況（地点①）
（2019 年５月 10 日：発芽期）



播種後の現地状況（地点①）
（2019 年７月 19 日：開花期）



播種後の現地状況（地点①）
（2019 年 11 月 23 日：結実期）

図 649(7)　生育状況調査結果（クロクモキリソウ）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2020 年 10 月 16 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点①）（2021 年 10 月 15 日：結実期）

図 649(8)　生育状況調査結果（クロクモキリソウ）



播種後の現地状況（地点②）
（2018 年 11 月 13 日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況（地点②）
（2018 年 11 月 27 日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況（地点②）
（2019 年５月９日：発芽期）



播種後の現地状況（地点②）
（2019 年７月 17 日：開花期）



播種後の現地状況（地点②）
（2019 年 11 月 22 日：結実期）

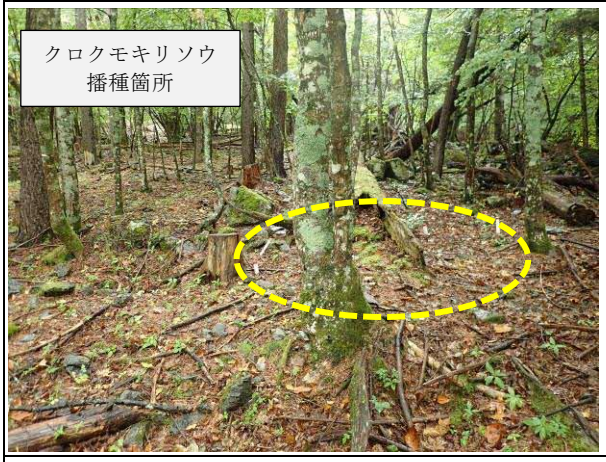
図 649(9)　生育状況調査結果（クロクモキリソウ）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2020 年 10 月 15 日：結実期）





全景写真　　近景写真

播種後の現地状況（地点②）（2021 年 10 月 13 日：結実期）

図 649(10)　生育状況調査結果（クロクモキリソウ）

（2025 年移植個体、播種箇所）

地点①に６個体、地点②には 17 個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2025 年 12 月９日、12 月 18 日）では、地点①、地点②において、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化や移植個体の変化は特に見られませんでした。

今後の調査においても、生育状況を確認する予定です。

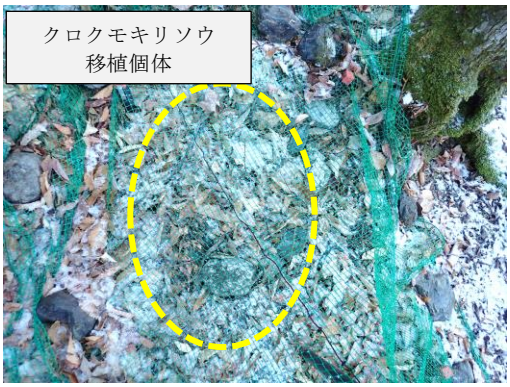




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2025 年 12 月９日：移植後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2025 年 12 月 18 日：移植後１ヶ月以内）





播種後の現地状況（地点①）
（2025 年 12 月９日：播種後１ヶ月以内）

播種後の現地状況（地点①）
（2025 年 12 月 18 日：播種後１ヶ月以内）

図 649(11)　生育状況調査結果（クロクモキリソウ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2025 年 12 月９日：移植後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2025 年 12 月 18 日：移植後１ヶ月以内）

図 649(12)　生育状況調査結果（クロクモキリソウ）

1.4.21　ホザキイチヨウラン

ホザキイチヨウランの生育状況調査の結果を図 650 に示します。

（2017 年移植個体、播種箇所）

地点①に４個体、地点②に３個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

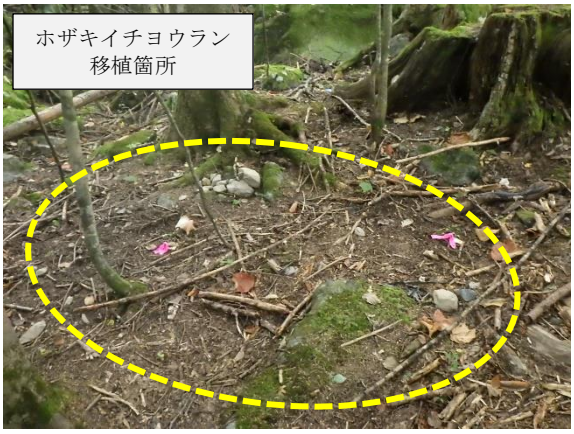
移植・播種後１ヶ月以内の確認（2017 年 10 月 11 日、2017 年 10 月 12 日、2017 年 10 月 27 日、2017 年 10 月 28 日）では、地点①、地点②において、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化は特に見られませんでした。

移植・播種後１年目の発芽期の確認（2018 年５月 22 日）では、地点①において、４個体、地点②において、３個体の発芽が確認されました。開花期の確認（2018 年７月 17 日、18 日）では、地点①において、４個体の生育が確認され、そのうち２個体の開花が確認されました。地点②において、３個体の生育が確認され、そのうち２個体の開花が確認されました。結実期の確認（2018 年９月 19 日）では、地点①において、４個体の生育が確認されました。地点②において、３個体の生育が確認され、そのうち１個体の結実が確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後２年目の結実期の確認（2019 年９月４日）では、地点①において、６個体の生育が確認されました。地点②において、２個体の生育が確認され、そのうち１個体の結実が確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

移植・播種後３年目の結実期の確認（2020 年９月 11 日）では、地点①において、１個体の生育が確認されました。地点②において、２個体の生育が確認され、そのうち１個体の結実が確認されました。播種箇所においては、個体の生育は確認されませんでした。

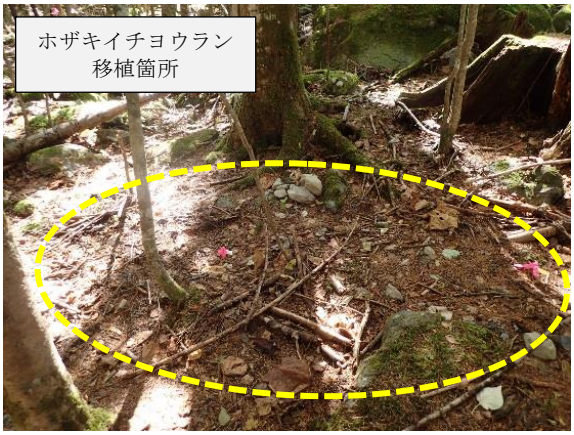
移植・播種後３年間の調査において、個体の生育が確認できたことから、専門家への報告、確認のうえ、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2017 年 10 月 12 日：移植後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2017 年 10 月 27 日：移植後 1 ヶ月以内）

図 650(1)　生育状況調査結果（ホザキイチヨウラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年５月 22 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年７月 18 日：開花期）

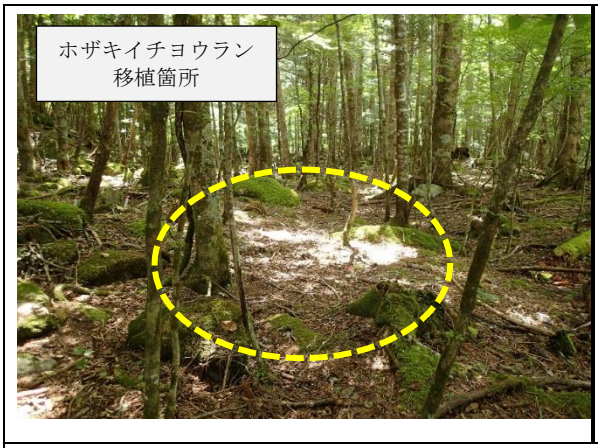




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2018 年９月 19 日：結実期）

図 650(2)　生育状況調査結果（ホザキイチヨウラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2019 年９月４日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2020 年９月 11 日：結実期）

図 650(3)　生育状況調査結果（ホザキイチヨウラン）

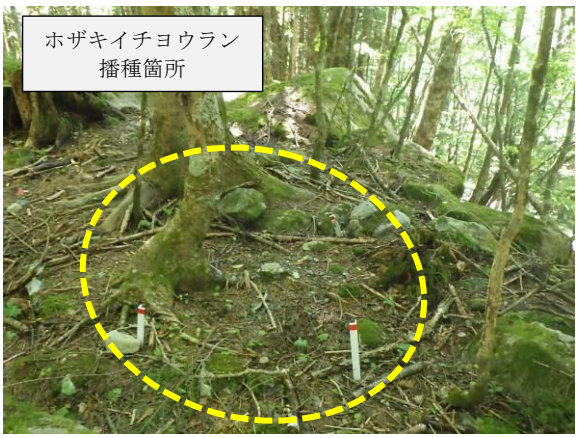
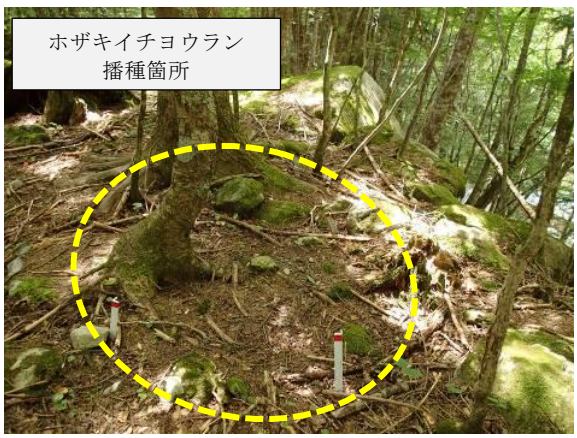
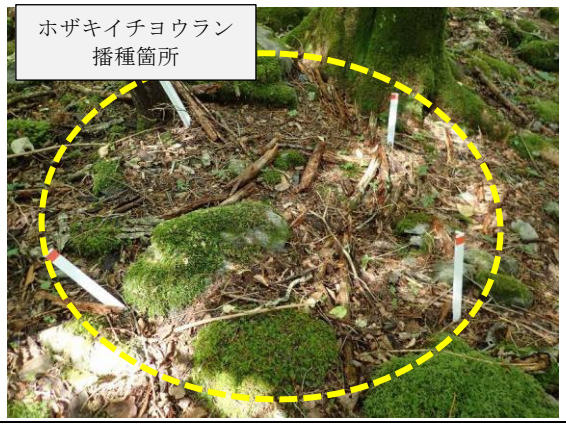
<table>
<tr><td> 
</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>播種後の現地状況（地点①）
（2017 年 10 月 12 日：播種後１ヶ月以内）</td><td>播種後の現地状況（地点①）
（2017 年 10 月 27 日：播種後１ヶ月以内）</td></tr>
<tr><td> 
</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>播種後の現地状況（地点①）
（2018 年５月 22 日：発芽期）</td><td>播種後の現地状況（地点①）
（2018 年７月 18 日：開花期）</td></tr>
<tr><td> 
</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>播種後の現地状況（地点①）
（2018 年９月 19 日：結実期）</td><td>播種後の現地状況（地点①）
（2019 年９月４日：結実期）</td></tr>
</table>

図 650(4)　生育状況調査結果（ホザキイチヨウラン）



播種後の現地状況（地点①）
（2020 年９月 11 日：結実期）

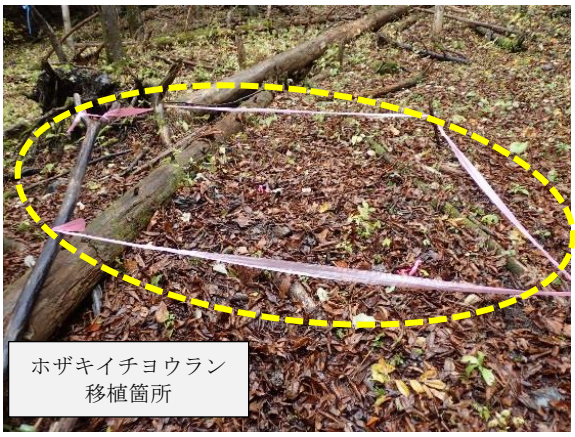
図 650(5)　生育状況調査結果（ホザキイチヨウラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2017 年 10 月 11 日：移植後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2017 年 10 月 28 日：移植後 1 ヶ月以内）

図 650(6)　生育状況調査結果（ホザキイチヨウラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年５月 22 日：発芽期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年７月 17 日：開花期）



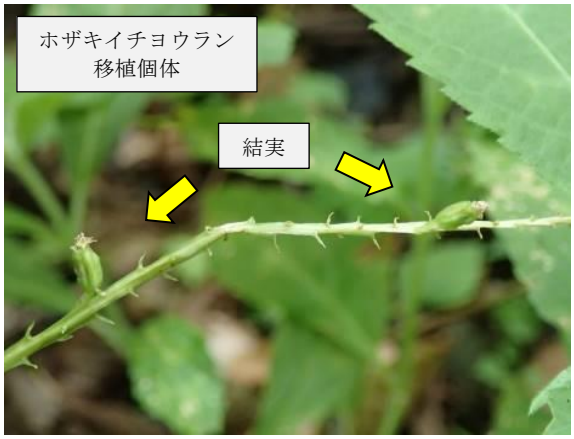


全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2018 年９月 19 日：結実期）

図 650(7)　生育状況調査結果（ホザキイチヨウラン）

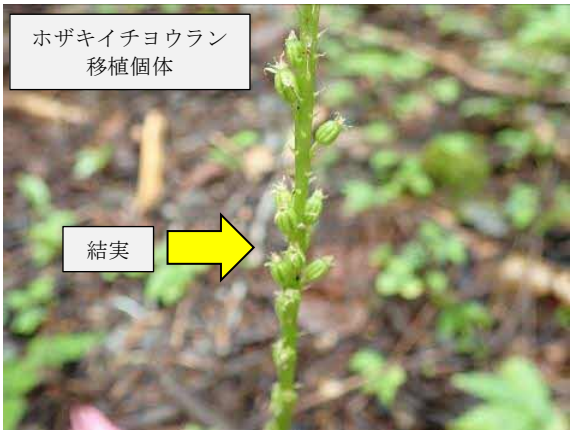




全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2019 年９月４日：結実期）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2020 年９月 11 日：結実期）

図 650(8)　生育状況調査結果（ホザキイチヨウラン）

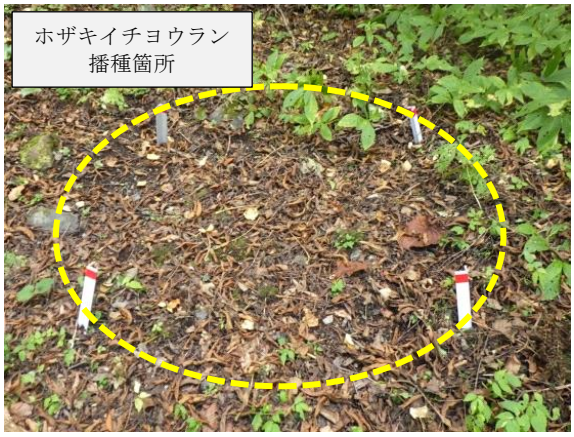
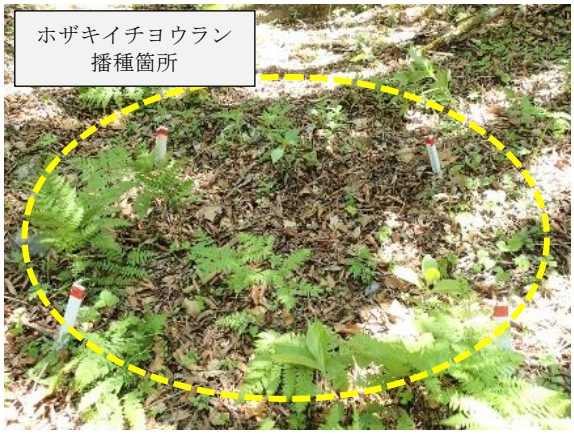
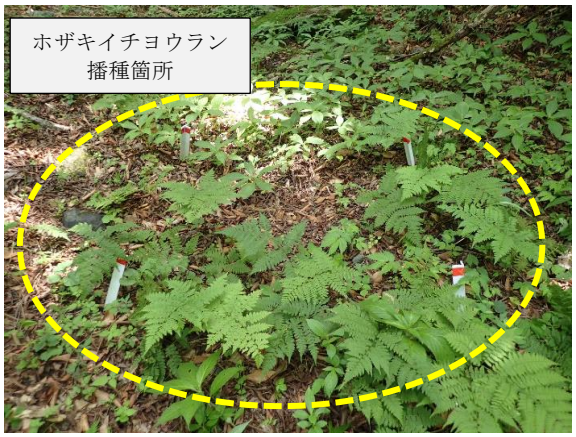
<table>
<tr><td> 
</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>播種後の現地状況（地点②）
（2017 年 10 月 11 日：播種後 1 ヶ月以内）</td><td>播種後の現地状況（地点②）
（2017 年 10 月 28 日：播種後 1 ヶ月以内）</td></tr>
<tr><td> 
</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>播種後の現地状況（地点②）
（2018 年 5 月 22 日：発芽期）</td><td>播種後の現地状況（地点②）
（2018 年 7 月 17 日：開花期）</td></tr>
<tr><td> 
</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>播種後の現地状況（地点②）
（2018 年 9 月 19 日：結実期）</td><td>播種後の現地状況（地点②）
（2019 年 9 月 4 日：結実期）</td></tr>
</table>

図 650(9)　生育状況調査結果（ホザキイチヨウラン）



播種後の現地状況（地点②）

（2020 年９月 11 日：結実期）

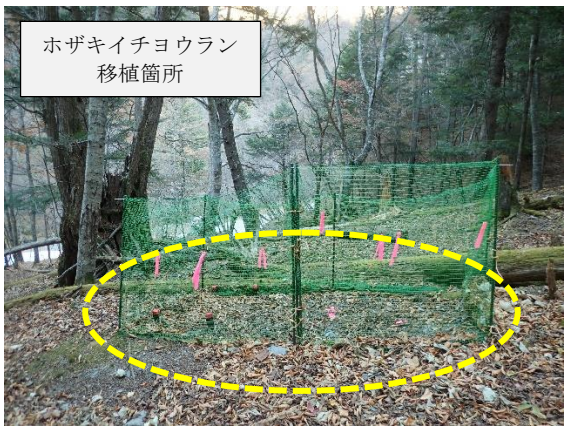
図 650(10)　生育状況調査結果（ホザキイチヨウラン）

（2025 年移植個体、播種箇所）

地点①に４個体、地点②に１個体、移植を実施しました。また、播種も実施しました。

移植・播種後１ヶ月以内の確認（2025 年 11 月 21 日、2025 年 11 月 27 日、2025 年 12 月９日、2025 年 12 月 18 日）では、地点①、地点②において、表土の流出やシカ等による掘り返しもなく、移植・播種箇所の環境変化は特に見られませんでした。

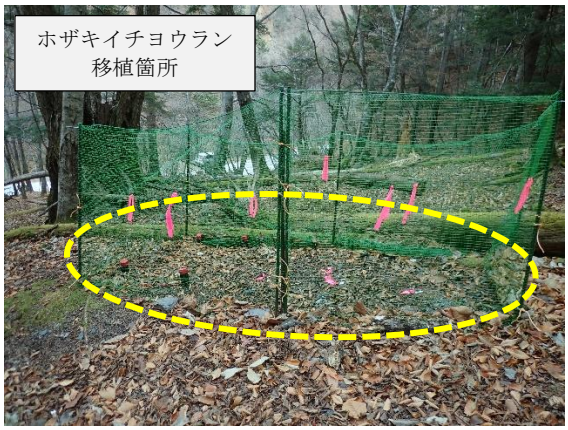
今後の調査においても、生育状況を確認する予定です。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2025 年 11 月 21 日：移植後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点①）（2025 年 11 月 27 日：移植後 1 ヶ月以内）

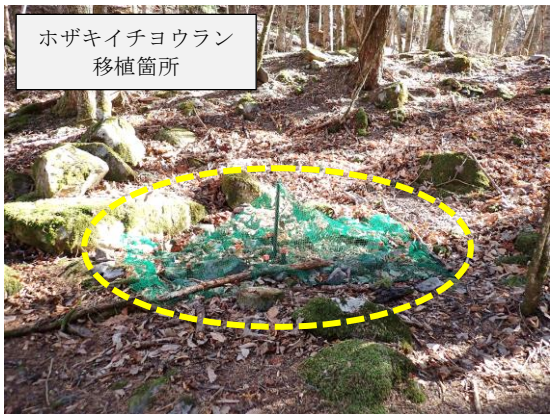


播種後の現地状況（地点①）
（2025 年 11 月 21 日：播種後 1 ヶ月以内）



播種後の現地状況（地点①）
（2025 年 11 月 27 日：播種後 1 ヶ月以内）

図 650(11)　生育状況調査結果（ホザキイチヨウラン）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2025 年 12 月９日：移植後１ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（地点②）（2025 年 12 月 18 日：移植後１ヶ月以内）



播種後の現地状況（地点②）
（2025 年 12 月９日：播種後１ヶ月以内）



播種後の現地状況（地点②）
（2025 年 12 月 18 日：播種後１ヶ月以内）

図 650(12)　生育状況調査結果（ホザキイチヨウラン）

1.4.22　カサゴケモドキ

カサゴケモドキの生育状況調査の結果を図 651 に示します。

（2017 年移植個体）

１個体、移植を実施しました。

移植後１ヶ月以内の確認（2017 年 11 月 21 日、2017 年 11 月 30 日）においては、風雨やシカ等による攪乱もなく、移植箇所の環境変化は特に見られませんでした。また、移植個体の変化も特に見られませんでした。

移植後１年目の確認（2018 年８月 28 日）では、生育を確認し、枯れや岩からの脱落は見られませんでした。

移植後２年目の確認（2019 年８月５日）では、生育を確認し、枯れや岩からの脱落は見られませんでした。

移植後３年目の確認（2020 年８月 25 日）では、生育を確認し、枯れや岩からの脱落は見られませんでした。

移植後３年間の調査において、個体の生育が確認できたことから、専門家への報告、確認のうえ、調査は終了しました。





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2017 年 11 月 21 日：移植後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2017 年 11 月 30 日：移植後 1 ヶ月以内）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2018 年 8 月 28 日）

図 651(1)　生育状況調査結果（カサゴケモドキ）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2019 年８月５日）





全景写真　　近景写真

移植後の現地状況（2020 年８月 25 日）

図 651(2)　生育状況調査結果（カサゴケモドキ）

2. 工事施工ヤード、発生土置き場候補地における希少野生生物調査の結果

2.1. 調査方法、調査実施日

調査対象毎の調査方法及び調査実施日を表 776に示します。

表 776　調査方法

調査対象	調査方法	調査実施日
植物	・任意確認 調査範囲内を任意に踏査する。	2025 年５月 19 日～21 日、５月 27 日、５月 28 日、７月 12 日～16 日、８月 31 日、９月１日～４日、９月 28 日、９月 29 日
菌類	・任意確認 調査範囲内を任意に踏査する。	2025 年７月 12 日～14 日、８月 31 日、９月１日～４日、９月 28 日～29 日

2.2. 確認した静岡県レッドデータブック掲載種及び個体数、確認位置

希少野生生物調査により確認した静岡県レッドデータブック掲載種及び個体数を表 777～表 778、確認位置を図 652～図 659に示します。

表 777(1) 確認した静岡県レッドデータブック掲載種（植物）

（令和７年４月 28 日付 環自第 15 号－５ 静岡県レッドデータブック掲載種確認一覧表より）

分類群	科名	種名	カテゴリー	特徴・生育環境
希少種保護のため非公開				

表 777(2)　確認した静岡県レッドデータブック掲載種（菌類）

（令和７年４月 28 日付 環自第 15 号－５ 静岡県レッドデータブック掲載種確認一覧表より）

分類群	科名	種名	カテゴリー	特徴・生育環境
希少種保護のため非公開				

表 778　確認した静岡県レッドデータブック掲載種の個体数（植物・菌類）

和名	西俣 ヤード	千石A ヤード	千石B ヤード	ツバクロ 発生土置き場	イタドリ 発生土置き場	藤島 発生土置き場	合計
希少種保護のため非公開							

希少種保護のため非公開

図 652　確認位置図（[redacted]）

希少種保護のため非公開

図 653　確認位置図（[redacted]）

希少種保護のため非公開

図 654　確認位置図（[redacted]）

希少種保護のため非公開

図 655　確認位置図（[redacted]）

希少種保護のため非公開

図 656　確認位置図（[redacted]）

希少種保護のため非公開

図 657　確認位置図（[redacted]）

希少種保護のため非公開

図 658　確認位置図（[redacted]）

希少種保護のため非公開

図 659　確認位置図（[redacted]）

2.3. 確認された植物の保全対策の検討結果

確認された植物の保全対策の検討結果を表 779 に示します。

表 779(1) 保全対策の検討結果

確認種（ＲＤＢカテゴリー）	保全対策 実施の有無	保全対策検討結果
希少種保護のため非公開		

表 779 (2)　保全対策の検討結果

確認種（ＲＤＢカテゴリー）	保全対策実施の有無	保全対策検討結果
希少種保護のため非公開		

既往の知見等に基づく植物における移植・播種候補地の条件を表 780 に示します。

表 780　移植・播種候補地の条件

種名	移植・播種候補地の条件				
	生育場所	植生	日照条件	土性	土湿
希少種保護のため非公開					

表 780 をふまえた植物の具体的な保全対策を表 781 に示します。なお、保全対策の実施に当たっては、事前に各種の専門家への確認を行うこととしました。

表 781(1)　具体的な保全対策（植物）

確認種 （ＲＤＢカテゴリー）	生育地	移植・播種の方法	移植・播種 時期※
希少種保護のため非公開			

表 781 (2)　具体的な保全対策（植物）

確認種 （ＲＤＢカテゴリー）	生育地	移植の方法	移植・播種 時期※
希少種保護のため非公開			

表 781 (3)　具体的な保全対策（植物）

確認種 （ＲＤＢカテゴリー）	生育地	移植・播種の方法	移植・播種 時期※
希少種保護のため非公開			

表 781（4） 具体的な保全対策（植物）

確認種 （ＲＤＢカテゴリー）	生育地	移植・播種の方法	移植・播種 時期※
希少種保護のため非公開			

確認種毎の生育地の写真を表 782～表 799 に示します。

表 782 [redacted]の生育状況

生育地：希少種保護のため非公開	
希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開

表 783 [redacted]の生育状況

生育地：希少種保護のため非公開	
希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開

表 784 [redacted]の生育状況

生育地：希少種保護のため非公開	生育地：希少種保護のため非公開
希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開

表 785 [redacted]の生育状況

生育地：希少種保護のため非公開	生育地：希少種保護のため非公開
希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開

表 786 [redacted]の生育状況

生育地：希少種保護のため非公開	
希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開

表 787 [redacted]の生育状況

生育地：希少種保護のため非公開	
希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開

表 788 [redacted]の生育状況

生育地：希少種保護のため非公開	
希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開

表 789 [redacted]の生育状況

生育地：希少種保護のため非公開	
希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開

表 790 [redacted]の生育状況

生育地：希少種保護のため非公開	生育地：希少種保護のため非公開
希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開

表 791 [redacted]の生育状況

生育地：希少種保護のため非公開	
希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開

表 792 [redacted]の生育状況

生育地：希少種保護のため非公開
希少種保護のため非公開

表 793 [redacted]の生育状況

生育地：希少種保護のため非公開
希少種保護のため非公開

表 794 [redacted]の生育状況

生育地：希少種保護のため非公開	生育地：希少種保護のため非公開
希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開

表 795 [redacted]の生育状況

生育地：希少種保護のため非公開	生育地：希少種保護のため非公開
希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開

表 796 [redacted]の生育状況

生育地：希少種保護のため非公開	
希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開

表 797 [redacted]の生育状況

生育地：希少種保護のため非公開
希少種保護のため非公開

表 798 [redacted]の生育状況

生育地：希少種保護のため非公開	生育地：希少種保護のため非公開
希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開

表 799 [redacted]の生育状況

生育地：希少種保護のため非公開	
希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開

なお、保全対策の実施にあたっては、事前に個体の再確認及び移植・播種候補地に関する調査を実施し、専門家へ保全対策の確認を行った後に、静岡県に報告・承諾を得るものとします。再確認された個体は基本的に全て移植・播種を実施しますが、移植・播種先の調査の結果、移植・播種先が限られる場合は、移植・播種先の環境容量を考慮したうえで、個体数が非常に多い種については、移植・播種の実施数を検討するものとします。

菌類の具体的な保全対策を表 800 に示します。

表 800　具体的な保全対策（菌類）

確認種 （ＲＤＢカテゴリー）	生育地	移植の方法	移植の 実施時期※
希少種保護のため非公開			

生育地の写真を表 801 に示します。

表 801　[redacted]の生育状況

生育地：希少種保護のため非公開	
希少種保護のため非公開	希少種保護のため非公開

3. 沢の植物調査

【事後調査及びモニタリング計画通し番号 183～187、190～192】

これまでにトンネル掘削工事により影響が生じる可能性があると想定した沢等において、植物の生育状況等を把握するための調査を実施してきました。

具体的には、環境影響評価の一環として、トンネル上部やトンネル周辺の沢等を網羅的に現地踏査したうえで、全体 33 の沢で可能な限り遡上し、作業の安全性等を考慮した上で調査範囲を設定し、動物（哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類、昆虫類、魚類、底生動物）と植物の生息・生育状況を確認するための調査（以下、「動植物全般調査」という。）を実施しました。

その後、静岡県環境保全連絡会議生物多様性専門部会からのご意見を踏まえ、静岡県から新たに上流域へのアクセスルートの情報提供があり、より上流域での調査を実施できる可能性のある沢を対象に、11の沢における上流域調査を2025年秋季に実施しました。

これまで実施した捕獲等調査の結果のうち、当該沢で確認された種の中から、重要種の確定と指標種の選定を行いました。重要種を3.1に、指標種を3.2に、これまで実施した沢の水生生物等の捕獲等調査の結果の詳細については、3.3に、それぞれ示します。

3.1. 重要種の確定

重要種は、当該種が確認された時点における、環境省第 5 次レッドリスト（令和 7 年、環境省）、環境省第 4 次レッドリスト（令和 2 年、環境省）、静岡県版植物レッドリスト 2020（令和 2 年、静岡県）、南アルプス国立公園指定植物リスト（令和 7 年、環境省）、国立、国定公園特別地域内指定植物図鑑－関東・中部(山岳)編－（昭和 57 年、環境庁）、文化財保護法（昭和 25 年、法律第 214 号）、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年、法律第 75 号）、静岡県希少野生動植物保護条例（平成 23 年、静岡県条例第 37 号））等に該当する種とし、トンネル掘削に伴う沢の流量減少による影響が懸念されていることから、沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無を整理します。

調査結果から重要種を抽出して確定させ、沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無を整理しました。重要種について、沢ごとに表 803～表 835 に示します。

表 802　沢の上流域調査の実施箇所

No	沢名称	上流域調査の実施有無	備考
沢01	内無沢	－	事前踏査の結果、移動時間が長く、天候急変等のリスクに対する安全の確保が難しいため、上流域調査は実施しないこととした
沢02	魚無沢	－	事前踏査の結果、移動時間が長く、天候急変等のリスクに対する安全の確保が難しいため、上流域調査は実施しないこととした
沢03	瀬戸沢	－	事前踏査の結果、移動時間が長く、天候急変等のリスクに対する安全の確保が難しいため、上流域調査は実施しないこととした
沢04	上岳沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢05	西小石沢	○	
沢06	柾小屋沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢07	蛇抜沢	○	
沢08	柳沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢09	悪沢	○	
沢10	大崩	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢11	徳右衛門沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢12	曲輪沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢13	ジャガ沢	○	
沢14	流沢	○	
沢15	二軒小屋南西の沢	－	事前踏査の結果、踏査時に、調査候補地において沢への落石が発生し、調査地点における安全の確保が難しいため、上流域調査は実施しないこととした
沢16	上スリバチ沢	○	
沢17	スリバチ沢	○	
沢18	車屋沢	○	
沢19	燕沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢20	大尻沢北の沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢21	大尻沢	○	
沢22	蛇沢南東の沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢23	破風石沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢24	下木賊沢北の沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢25	下木賊沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢26	虎杖沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢27	上千枚沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢28	下千枚沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢29	蛇沢	○	
沢30	蛇沢南の沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢31	奥西河内川	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢32	赤石沢	－	現時点において、既存の調査地点より更に上流へ安全にアプローチ可能なルートに関する情報が無いため、上流域調査は実施していない
沢33	北俣・中俣合流部付近（三伏沢）	○	

■：上流域モデル[2]による解析の結果、流量減少が予測される沢

表 803　重要種一覧（沢 01 内無沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 804　重要種一覧（沢 02 魚無沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 805　重要種一覧（沢 03 瀬戸沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 806　重要種一覧（沢 04 上岳沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 807　重要種一覧（沢 05 西小石沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 808　重要種一覧（沢 06 柾小屋沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 809　重要種一覧（沢 07 蛇抜沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 810　重要種一覧（沢 08 柳沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 811　重要種一覧（沢 09 悪沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 812　重要種一覧（沢 10 大崩）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 813　重要種一覧（沢 11 徳右衛門沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 814　重要種一覧（沢 12 曲輪沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 815　重要種一覧（沢 13 ジャガ沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 816　重要種一覧（沢 14 流沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 817　重要種一覧（沢 15 二軒小屋南西の沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 818　重要種一覧（沢 16 上スリバチ沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 819　重要種一覧（沢 17 スリバチ沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 820　重要種一覧（沢 18 車屋沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 821　重要種一覧（沢 19 燕沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 822　重要種一覧（沢 20 大尻沢北の沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 823　重要種一覧（沢 21 大尻沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 824　重要種一覧（沢 22 蛇沢南東の沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 825　重要種一覧（沢 23 破風石沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 826　重要種一覧（沢 24 下木賊沢北の沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 827　重要種一覧（沢 25 下木賊沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 828　重要種一覧（沢 26 虎杖沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 829　重要種一覧（沢 27 上千枚沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 830　重要種一覧（沢 28 下千枚沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 831　重要種一覧（沢 29 蛇沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 832　重要種一覧（沢 30 蛇沢南の沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 833　重要種一覧（沢 31 奥西河内川）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 834　重要種一覧（沢 32 赤石沢）

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

表 835　重要種一覧（沢 33 北俣・中俣合流部付近(（三伏沢））

分類	重要種	選定根拠	カテゴリー	沢の流量減少による影響を受ける可能性の有無
希少種保護のため非公開				

3.2. 指標種の選定

高等植物について、具体的な生育条件の解説を、専門家の助言を基に整理しました。整理した内容を踏まえ、流量変化の影響を受けやすい、沢の流量減少による影響を受ける可能性のある種を、指標種として選定しました。

高等植物の指標種について、沢ごとに表 836～表 868 に示します。

表 836　高等植物の指標種一覧（沢 01 内無沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
希少種保護のため非公開		

表 837　高等植物の指標種一覧（沢 02 魚無沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
希少種保護のため非公開		
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
アカバナ	タニタデ	温帯・暖帯（上位）林下。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
希少種保護のため非公開		

表 838　高等植物の指標種一覧（沢 03 瀬戸沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
希少種保護のため非公開		
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
アカバナ	タニタデ	温帯・暖帯（上位）林下。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
希少種保護のため非公開		
キク	サワギク	温帯・亜高山帯、湿地・川岸。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 839　高等植物の指標種一覧（沢 04 上岳沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
ヤナギ	ドロノキ（ドロヤナギ）	温帯と亜寒帯の界の渓谷。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
アブラナ	タデノウミコンロンソウ	高山帯下位から暖帯まで、冷清の川辺、湧水地・雪崩地、滝壺など。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
希少種保護のため非公開		
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 840　高等植物の指標種一覧（沢 05 西小石沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
チャセンシダ	イワトラノオ	暖帯から温帯の日かげの湿った岩上にコケと共につく。深谷や滝壺などに多い。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
ヤナギ	ドロノキ（ドロヤナギ）	温帯と亜寒帯の界の渓谷。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
オトギリソウ	サワオトギリ	山間の湿地に多い。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
アブラナ	タデノウミコンロンソウ	高山帯下位から暖帯まで、冷清の川辺、湧水地・雪崩地、滝壺など。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
希少種保護のため非公開		
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
アカバナ	タニタデ	温帯・暖帯（上位）林下。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
ウコギ	オオバチドメ	暖帯の湿った日かげの谷間、岩壁の下など。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
キク	サワギク	温帯・亜高山帯、湿地・川岸。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 841　高等植物の指標種一覧（沢 06 柾小屋沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
希少種保護のため非公開		
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 842　高等植物の指標種一覧（沢 07 蛇抜沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
ヤナギ	アカメヤナギ	暖帯低地の川岸・湖畔。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
オトギリソウ	サワオトギリ	山間の湿地に多い。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
アブラナ	タデノウミコンロンソウ	高山帯下位から暖帯まで、冷清の川辺、湧水地・雪崩地、滝壺など。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
アカバナ	タニタデ	温帯・暖帯（上位）林下。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
キク	サワギク	温帯・亜高山帯、湿地・川岸。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
イネ	ミヤマドジョウツナギ	亜高山帯上部、高山帯下位、谷筋、雪渓あとなどの湿地。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 843　高等植物の指標種一覧（沢 08 柳沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
アブラナ	タデノウミコンロンソウ	高山帯下位から暖帯まで、冷清の川辺、湧水地・雪崩地、滝壺など。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
希少種保護のため非公開		
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 844　高等植物の指標種一覧（沢 09 悪沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
ヤナギ	ドロノキ（ドロヤナギ）	温帯と亜寒帯の界の渓谷。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
オトギリソウ	サワオトギリ	山間の湿地に多い。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
希少種保護のため非公開		
アブラナ	タデノウミコンロンソウ	高山帯下位から暖帯まで、冷清の川辺、湧水地・雪崩地、滝壺など。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
希少種保護のため非公開		
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
希少種保護のため非公開		
シュロソウ	コバイケイソウ	高山帯の下位の高茎草原（御花畑）、多少湿り気のあるところ。分布南限。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 845　高等植物の指標種一覧（沢 10 大崩）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
なし		

表 846　高等植物の指標種一覧（沢 11 徳右衛門沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
希少種保護のため非公開		
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 847　高等植物の指標種一覧（沢 12 曲輪沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
ヤナギ	ドロノキ（ドロヤナギ）	温帯と亜寒帯の界の渓谷。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
希少種保護のため非公開		
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 848　高等植物の指標種一覧（沢 13 ジャガ沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
希少種保護のため非公開		
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 849　高等植物の指標種一覧（沢 14 流沢）

指標種（植物）		具体的な生息場要求の解説
科名	種名	
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷すじ、しめった所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
アカバナ	タニタデ	温帯・暖帯（上位）林下。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 850　高等植物の指標種一覧（沢 15 二軒小屋南西の沢）

指標種（植物）		具体的な生息場要求の解説
科名	種名	
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷すじ、しめった所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
アカバナ	タニタデ	温帯・暖帯（上位）林下。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 851　高等植物の指標種一覧（沢 16 上スリバチ沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
希少種保護のため非公開		
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
アカバナ	タニタデ	温帯・暖帯（上位）林下。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
モクセイ	シオジ	温帯のやや湿り気のある肥えた土質を好み、谷筋に生じる。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 852　高等植物の指標種一覧（沢 17 スリバチ沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
アブラナ	タデノウミコンロンソウ	高山帯下位から暖帯まで、冷清の川辺、湧水地・雪崩地、滝壺など。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
希少種保護のため非公開		
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
アカバナ	タニタデ	温帯・暖帯（上位）林下。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
モクセイ	シオジ	温帯のやや湿り気のある肥えた土質を好み、谷筋に生じる。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
キク	サワギク	温帯・亜高山帯、湿地・川岸。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 853　高等植物の指標種一覧（沢 18 車屋沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
希少種保護のため非公開		
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
希少種保護のため非公開		
キク	サワギク	温帯・亜高山帯、湿地・川岸。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 854　高等植物の指標種一覧（沢 19 燕沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
希少種保護のため非公開		

表 855　高等植物の指標種一覧（沢 20 大尻沢北の沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
希少種保護のため非公開		

表 856　高等植物の指標種一覧（沢 21 大尻沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
アブラナ	タデノウミコンロンソウ	高山帯下位から暖帯まで、冷清の川辺、湧水地・雪崩地、滝壺など。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
希少種保護のため非公開		
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
モクセイ	シオジ	温帯のやや湿り気のある肥えた土質を好み、谷筋に生じる。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
キク	サワギク	温帯・亜高山帯、湿地・川岸。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 857　高等植物の指標種一覧（沢 22 蛇沢南東の沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
なし		

表 858　高等植物の指標種一覧（沢 23 破風石沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
オトギリソウ	サワオトギリ	山間の湿地に多い。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
アカバナ	タニタデ	温帯・暖帯（上位）林下。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 859　高等植物の指標種一覧（沢 24 下木賊沢北の沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
希少種保護のため非公開		
オトギリソウ	サワオトギリ	山間の湿地に多い。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
アブラナ	タデノウミコンロンソウ	高山帯下位から暖帯まで、冷清の川辺、湧水地・雪崩地、滝壺など。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
アカバナ	タニタデ	温帯・暖帯（上位）林下。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 860　高等植物の指標種一覧（沢 25 下木賊沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
アブラナ	タデノウミコンロンソウ	高山帯下位から暖帯まで、冷清の川辺、湧水地・雪崩地、滝壺など。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
希少種保護のため非公開		
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
キク	サワギク	温帯・亜高山帯、湿地・川岸。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 861　高等植物の指標種一覧（沢 26 虎杖沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
希少種保護のため非公開		
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
アカバナ	タニタデ	温帯・暖帯（上位）林下。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
モクセイ	シオジ	温帯のやや湿り気のある肥えた土質を好み、谷筋に生じる。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
キク	サワギク	温帯・亜高山帯、湿地・川岸。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 862　高等植物の指標種一覧（沢 27 上千枚沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
ヤナギ	ドロノキ（ドロヤナギ）	温帯と亜寒帯の界の渓谷。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 863　高等植物の指標種一覧（沢 28 下千枚沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
アカバナ	タニタデ	温帯・暖帯（上位）林下。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
モクセイ	シオジ	温帯のやや湿り気のある肥えた土質を好み、谷筋に生じる。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 864　高等植物の指標種一覧（沢 29 蛇沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
[redacted]		
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
アカバナ	タニタデ	温帯・暖帯（上位）林下。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
キク	サワギク	温帯・亜高山帯、湿地・川岸。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 865　高等植物の指標種一覧（沢 30 蛇沢南の沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
アカバナ	タニタデ	温帯・暖帯（上位）林下。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
モクセイ	シオジ	温帯のやや湿り気のある肥えた土質を好み、谷筋に生じる。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 866　高等植物の指標種一覧（沢 31 奥西河内川）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
ヤナギ	ドロノキ（ドロヤナギ）	温帯と亜寒帯の界の渓谷。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
[redacted]		希少種保護のため非公開
アカバナ	タニタデ	温帯・暖帯（上位）林下。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
モクセイ	シオジ	温帯のやや湿り気のある肥えた土質を好み、谷筋に生じる。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）

表 867　高等植物の指標種一覧（沢 32 赤石沢）

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
[redacted]		希少種保護のため非公開
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
アカバナ	タニタデ	温帯・暖帯（上位）林下。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
[redacted]		希少種保護のため非公開

表 868　高等植物の指標種一覧（沢 33 北俣・中俣合流部付近（三伏沢））

指標種（植物）		具体的な生育条件の解説
科名	種名	
希少種保護のため非公開		
アブラナ	タデノウミコンロンソウ	高山帯下位から暖帯まで、冷清の川辺、湧水地・雪崩地、滝壺など。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
希少種保護のため非公開		
ツリフネソウ	キツリフネ	亜高山帯から暖帯上位、谷筋、湿った所。 （静岡県植物誌（杉本順一著）より抜粋、加筆）
希少種保護のため非公開		

3.3. これまでの沢の水生生物等の捕獲等調査の結果

これまで実施した沢の水生生物等の捕獲等調査の詳細について、以下に示します。

3.3.1. 高等植物の任意確認結果

・2014～2025 年度の捕獲等調査で現地において確認された種の一覧を表 869～表 884 に示します。

表 869　高等植物のこれまで任意確認等の調査による確認種一覧（流量減少が予測される沢 1/8）

科名	種名	学名	省RL第4次	省RL第5次	県RL	国立公園指定植物S57	国立公園指定植物2025	指標種	07 蛇抜沢			蛇抜沢までの移動中	09 悪沢			悪沢までの移動中	13 ジャガ沢			14 流沢			15 二軒小屋南西の沢	16 上スリバチ沢			17 スリバチ沢			29 蛇沢		
									これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7夏/移動中	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7夏/移動中	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流
イワヒバ	イワヒバ	*Selaginella tamariscina*							●				●																		
トクサ	スギナ	*Equisetum arvense*							●	●			●	●	●		●	●	●					●					●		
ハナヤスリ	フユノハナワラビ	*Botrychium ternatum*									●				●		●														
ゼンマイ	ゼンマイ	*Osmunda japonica*																							●		●				
コケシノブ	ヒメコケシノブ	*Mecodium coreanum*							●				●														●				
コケシノブ	ホソバコケシノブ	*Mecodium polyanthos*																						●							
コバノイシカグマ	イヌシダ	*Dennstaedtia hirsuta*																										●			
コバノイシカグマ	オウレンシダ	*Dennstaedtia wilfordii*							●				●					●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
コバノイシカグマ	ワラビ	*Pteridium aquilinum* var. *latiusculum*																									●				
ミズワラビ	クジャクシダ	*Adiantum pedatum*											●	●					●								●		●		●
ミズワラビ	イワガネゼンマイ	*Coniogramme intermedia*																						●			●				
ミズワラビ	イワガネソウ	*Coniogramme japonica*																						●							
シシガシラ	オサシダ	*Struthiopteris amabilis*							●				●					●													
シシガシラ	シシガシラ	*Struthiopteris niponica*							●				●											●				●			
オシダ	ホソバナライシダ	*Arachniodes borealis*															●										●				
希少種保護のため非公開																															
オシダ	シノブカグマ	*Arachniodes mutica*							●				●						●					●			●				
オシダ	シラネワラビ	*Dryopteris austriaca*									●				●			●	●										●		
オシダ	オシダ	*Dryopteris crassirhizoma*							●				●	●			●	●	●	●		●			●		●		●	●		●
オシダ	クマワラビ	*Dryopteris lacera*											●																		
オシダ	ミヤマベニシダ	*Dryopteris monticola*									●																				
希少種保護のため非公開																															
オシダ	ミヤマクマワラビ	*Dryopteris polylepis*									●													●	●		●	●			●	
オシダ	ホソイノデ	*Polystichum braunii*													●		●														
オシダ	ツルデンダ	*Polystichum craspedosorum*								●			●						●				●							●	
オシダ	ツヤナシイノデ	*Polystichum ovato-paleaceum*																									●			●	
オシダ	イワシロイノデ	*Polystichum ovato-paleaceum* var. *coraiense*							●													●					●				
オシダ	ジュウモンジシダ	*Polystichum tripteron*							●				●																		
ヒメシダ	ミヤマワラビ	*Phegopteris connectilis*							●	●	●		●	●	●			●	●		●	●		●			●		●		●
ヒメシダ	ハリガネワラビ	*Thelypteris japonica*																									●				
ヒメシダ	ミドリヒメワラビ	*Thelypteris viridifrons*																									●				
メシダ	イヌワラビ	*Athyrium niponicum*																									●			●	
メシダ	ヤマイヌワラビ	*Athyrium vidalii*													●										●	●	●			●	●
メシダ	ミヤマメシダ	*Athyrium melanolepis*													●																
メシダ	ヘビノネゴザ	*Athyrium yokoscense*							●	●	●		●	●	●		●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●		●	●
メシダ	イッポンワラビ	*Cornopteris crenulato-serrulata*							●						●												●		●		
メシダ	ホソバシケシダ	*Deparia conilii*																			●	●		●	●	●					
メシダ	シケシダ	*Deparia japonica*									●				●																
メシダ	オオメシダ	*Deparia pterorachis*									●				●																
メシダ	ハクモウイノデ	*Deparia pycnosora*																				●			●	●				●	●
メシダ	ミヤマシケシダ	*Deparia pycnosora* var. *mucilagina*									●								●									●			
メシダ	ミヤマシダ	*Diplazium sibiricum* var. *glabrum*													●			●						●							●
メシダ	キヨタキシダ	*Diplazium squamigerum*							●				●	●					●								●				
希少種保護のため非公開																															
メシダ	イヌガンソク	*Matteuccia orientalis*																									●			●	
メシダ	クサソテツ	*Matteuccia struthiopteris*																									●				
メシダ	フクロシダ	*Woodsia manchuriensis*								●			●	●	●		●	●	●	●				●	●	●	●		●	●	●
メシダ	イワデンダ	*Woodsia polystichoides*							●	●			●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ウラボシ	ミツデウラボシ	*Crypsinus hastatus*							●				●																		
希少種保護のため非公開																															
ウラボシ	ヒメノキシノブ	*Lepisorus onoei*											●																		
ウラボシ	ノキシノブ	*Lepisorus thunbergianus*																						●						●	
ウラボシ	ナガオノキシノブ	*Lepisorus thunbergianus* var. *angustus*											●	●				●			●					●	●	●	●		●	
マツ	モミ	*Abies firma*																					●	●							
マツ	ウラジロモミ	*Abies homolepis*													●				●				●	●	●	●	●	●			●	●
マツ	シラビソ	*Abies veitchii*									●										●										
マツ	カラマツ	*Larix kaempferi*							●	●	●		●		●		●	●	●		●			●			●	●	●		
マツ	トウヒ	*Picea jezoensis* var. *hondoensis*											●	●																	
マツ	ハリモミ	*Picea polita*											●		●							●		●	●						●
マツ	アカマツ	*Pinus densiflora*																												●	
マツ	チョウセンゴヨウ	*Pinus koraiensis*																●						●							●
マツ	ヒメコマツ	*Pinus parviflora*							●				●						●					●			●				
マツ	ゴヨウマツ	*Pinus parviflora var.parviflora*																													●
マツ	キタゴヨウ	*Pinus parviflola* var. *pentaphylla*															●														
マツ	マツ属	*Pinus* sp.							●																						
マツ	コメツガ	*Tsuga diversifolia*									●				●		●											●			●
マツ	ツガ	*Tsuga sieboldii*							●	●			●		●		●		●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●

表 870　高等植物のこれまで任意確認等の調査による確認種一覧（流量減少が予測される沢 2/8）

科名	種名	学名	省RL第4次	省RL第5次	県RL	国立公園指定植物S57	国立公園指定植物2025	指標種	07 蛇抜沢				蛇抜沢までの移動中	09 悪沢			悪沢までの移動中	13 ジャガ沢			14 流沢			15 二軒小屋南西の沢	16 上スリバチ沢			17 スリバチ沢			29 蛇沢		
									これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7夏/移動中		これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7夏/移動中	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流
イチイ	カヤ	*Torreya nucifera*																															
クルミ	サワグルミ	*Pterocarya rhoifolia*							●					●	●			●	●	●	●		●	●	●	●	●			●	●	●	●
トウダイグサ科	シラキ	*Neoshirakia japonica*																														●	
ヤナギ	ドロノキ（ドロヤナギ）	*Populus maximowiczii*						●						●																			
ヤナギ	バッコヤナギ	*Salix caprea*							●	●	●			●				●				●		●						●	●	●	●
ヤナギ	アカメヤナギ	*Salix rupifraga*						●		●																							
希少種保護のため非公開																																	
ヤナギ	ミヤマヤナギ	*Salix reinii*							●	●				●																			
ヤナギ	オノエヤナギ	*Salix udensis*							●	●	●			●	●	●		●	●	●		●		●	●				●	●	●		
ヤナギ	オオバヤナギ	*Toisusu urbaniana*							●	●				●	●																		
カバノキ	ミヤマハンノキ	*Alnus alnobetula ssp.maximowiczii*							●	●	●			●	●	●				●										●			
カバノキ	ヤシャブシ	*Alnus firma*																●				●									●		
カバノキ	ミヤマヤシャブシ	*Alnus firma* var. *hirtella*							●	●									●	●		●				●						●	
カバノキ	ケヤマハンノキ	*Alnus hirsuta*							●					●				●	●		●	●	●	●	●				●	●	●		●	●
カバノキ	タニガワハンノキ	*Alnus hirsuta* var. *microphylla*												●	●					●	●												●
カバノキ	ヤマハンノキ	*Alnus hirsuta* var. *sibirica*																●								●	●				●		
カバノキ	ヤハズハンノキ	*Alnus matsumurae*							●	●	●			●		●		●		●										●			
カバノキ	ヒメヤシャブシ	*Alnus pendula*							●					●															●				
カバノキ	ネコシデ	*Betula corylifolia*									●					●																	
カバノキ	ダケカンバ	*Betula ermanii*							●	●	●			●		●																	
カバノキ	ミズメ	*Betula grossa*							●	●				●	●			●	●			●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●
カバノキ	ウダイカンバ	*Betula maximowicziana*							●					●	●	●		●		●		●	●		●		●		●	●			●
カバノキ	シラカンバ	*Betula platyphylla* var. *japonica*																●															
カバノキ	オノオレカンバ	*Betula schmidtii*							●	●				●						●				●									
カバノキ	サワシバ	*Carpinus cordata*							●	●				●				●	●		●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	
カバノキ	クマシデ	*Carpinus japonica*												●	●			●			●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	
カバノキ	アカシデ	*Carpinus laxiflora*																			●	●			●		●		●		●		
カバノキ	イヌシデ	*Carpinus tschonoskii*												●																	●		
カバノキ	ツノハシバミ	*Corylus sieboldiana*							●					●											●				●				●
ブナ	ブナ	*Fagus crenata*																							●	●	●	●					
ブナ	イヌブナ	*Fagus japonica*																							●	●	●		●	●			
ブナ	ミズナラ	*Quercus mongolica* ssp. *crispula*							●	●				●	●			●	●	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●	●	●
ニレ	オヒョウ	*Ulmus laciniata*												●	●						●	●						●			●		
ニレ	ケヤキ	*Zelkova serrata*																						●							●	●	
イラクサ	クサコアカソ	*Boehmeria gracilis*							●	●				●	●	●			●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
イラクサ	コアカソ	*Boehmeria spicata*																●			●			●									
イラクサ	ウワバミソウ	*Elatostema umbellatum* var. *majus*													●			●	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●			
イラクサ	ムカゴイラクサ	*Laportea bulbifera*												●							●		●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
イラクサ	ミヤマイラクサ	*Laportea macrostachya*																											●				
イラクサ	カテンソウ	*Nanocnide japonica*										●																					
イラクサ	ミズ	*Pilea hamaoi*										●										●	●		●			●	●	●		●	●
イラクサ	ヤマミズ	*Pilea japonica*																											●	●			
イラクサ	アオミズ	*Pilea pumila*							●	●		●							●			●						●	●				
イラクサ	コバノイラクサ	*Urtica laetevirens*							●	●				●								●	●	●				●	●	●			
イラクサ	イラクサ	*Urtica thunbergiana*							●						●													●	●				
希少種保護のため非公開																																	
タデ	クリンユキフデ	*Bistorta suffulta*														●						●											
希少種保護のため非公開																																	
タデ	ミヤマタニソバ	*Persicaria debilis*												●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
タデ	ナガボハナタデ	*Persicaria yokusaiana* f. *laxiflora* Hiyama																									●						
タデ	ハナタデ	*Persicaria posumbu* var. *laxiflora*																						●	●				●				
タデ	イタドリ	*Fallopia japonica var.japonica*							●	●	●			●	●	●		●	●	●	●			●	●			●				●	
タデ	タニソバ	*Persicaria nepalensis*							●		●					●				●		●	●		●				●	●			●
ナデシコ	ナンバンハコベ	*Cucubalus baccifer* var. *japonicus*							●															●				●					
ナデシコ	ミミナグサ	*Cerastium fontanum* ssp. *vulgare* var. *angustifolium*																					●										
希少種保護のため非公開																																	
ナデシコ	ワチガイソウ	*Pseudostellaria heterantha*							●																								
ナデシコ	ツメクサ	*Sagina japonica*																					●							●			
ナデシコ	サワハコベ	*Stellaria diversiflora*																		●					●								
ナデシコ	オオヤマハコベ	*Stellaria monosperma* var. *japonica*																										●		●			
ナデシコ	ミヤマハコベ	*Stellaria sessiliflora*																			●	●	●	●	●		●	●	●	●	●		●
ヒユ	ヒカゲイノコズチ	*Achyranthes bidentata* var. *japonica*																							●								
マツブサ	マツブサ	*Schisandra repanda*																										●					
クスノキ	ダンコウバイ	*Lindera obtusiloba*																			●	●		●							●	●	
クスノキ	クロモジ	*Lindera umbellata*																			●				●						●		
フサザクラ	フサザクラ	*Euptelea polyandra*							●					●										●	●	●	●	●	●	●	●	●	
カツラ	カツラ	*Cercidiphyllum japonicum*							●	●				●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	●	●	●
カツラ	ヒロハカツラ	*Cercidiphyllum magnificum*									●			●	●	●				●													

表 871　高等植物のこれまで任意確認等の調査による確認種一覧（流量減少が予測される沢 3/8）

科名	種名	学名	省RL第4次	省RL第5次	県RL	国立公園指定植物S57	国立公園指定植物2025	指標種	07 蛇抜沢				蛇抜沢までの移動中	09 悪沢			悪沢までの移動中	13 ジャガ沢			14 流沢			15 二軒小屋南西の沢	16 上スリバチ沢			17 スリバチ沢			29 蛇沢		
									これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7夏/移動中		これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7夏/移動中	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流
キンポウゲ	サンヨウブシ	*Aconitum sanyoense*																							●	●	●	●	●				
希少種保護のため非公開																																	
キンポウゲ	トリカブト属	*Aconitum* sp.							●					●														●					
キンポウゲ	ルイヨウショウマ	*Actaea asiatica*																							●			●					
キンポウゲ	ヤマオダマキ	*Aquilegia buergeriana*																				●										●	
キンポウゲ	オオバショウマ	*Cimicifuga acerina*																							●	●		●				●	
キンポウゲ	サラシナショウマ	*Cimicifuga simplex*							●					●												●		●					
キンポウゲ	イヌショウマ	*Cimicifuga japonica*																							●								
希少種保護のため非公開																																	
キンポウゲ	ボタンヅル	*Clematis apiifolia*																										●					
キンポウゲ	クサボタン	*Clematis stans*							●	●				●	●									●				●					
キンポウゲ	カラマツソウ	*Thalictrum aquilegiifolium var. intermedium*														●																	
希少種保護のため非公開																																	
メギ	ルイヨウボタン	*Caulophyllum robustum*																							●			●					
アケビ	ミツバアケビ	*Akebia trifoliata*																													●		
ウマノスズクサ	フタバアオイ	*Asarum caulescens*																			●				●	●		●					
マタタビ	サルナシ	*Actinidia arguta*							●	●				●				●	●	●	●	●	●	●	●	●		●			●	●	●
マタタビ	ミヤママタタビ	*Actinidia kolomikta*							●	●				●	●	●		●		●	●							●	●	●		●	
マタタビ	マタタビ	*Actinidia polygama*													●																		
ツバキ	ナツツバキ	*Stewartia pseudo-camellia*																											●	●	●		
オトギリソウ	オトギリソウ	*Hypericum erectum*							●												●												
希少種保護のため非公開																																	
オトギリソウ	サワオトギリ	*Hypericum pseudopetiolatum*						●			●					●																	
アブラナ	ハクサンハタザオ	*Arabidopsis halleri ssp.gemmifera var.senanensis*																															●
希少種保護のため非公開																																	
アブラナ	タデノウミコンロンソウ	*Cardamine appendiculata*						●	●	●	●			●	●	●												●			●		
アブラナ	タネツケバナ	*Cardamine flexuosa*																													●		
アブラナ	ジャニンジン	*Cardamine impatiens*							●																			●					
アブラナ	コンロンソウ	*Cardamine leucantha*									●																						
希少種保護のため非公開																																	
マンサク	マンサク	*Hamamelis japonica*																			●	●						●	●		●		
マンサク	オオバマンサク	*Hamamelis japonica* var. *megalophylla*																							●			●					
ベンケイソウ	ミツバベンケイソウ	*Hylotelephium verticillatum*														●																	
ベンケイソウ	キリンソウ	*Sedum aizoon* var. *floribundum*							●	●	●			●	●					●				●								●	
希少種保護のため非公開																																	
ベンケイソウ	ヒメレンゲ	*Sedum subtile*																													●		
ユキノシタ	チダケサシ	*Astilbe microphylla*									●																						
希少種保護のため非公開																																	
ユキノシタ	アカショウマ	*Astilbe thunbergii*							●					●		●				●	●	●		●	●	●	●	●				●	●
ユキノシタ	トリアシショウマ	*Astilbe thunbergii* var. *congesta*							●	●				●										●				●	●	●	●		
ユキノシタ	ツルアジサイ	*Calyptranthe petiolaris*																								●	●						
ユキノシタ	イワネコノメソウ	*Chrysosplenium echinus*																						●							●		
ユキノシタ	ツルネコノメソウ	*Chrysosplenium flagelliferum*							●		●			●		●				●	●		●			●	●	●				●	●
ユキノシタ	ニッコウネコノメソウ	*Chrysosplenium macrostemon* var. *shiobarense*							●																			●					
ユキノシタ	ギンバイソウ	*Deinanthe bifida*																							●			●					
ユキノシタ	ウツギ	*Deutzia crenata*								●				●							●			●		●		●	●		●	●	●
ユキノシタ	ヒメウツギ	*Deutzia gracilis*							●					●					●	●		●		●	●	●		●			●		
ユキノシタ	マルバウツギ	*Deutzia scabra*							●					●														●					
ユキノシタ	コアジサイ	*Hydrangea hirta*							●					●	●				●	●	●				●		●	●	●	●	●	●	●
ユキノシタ	タマアジサイ	*Hydrangea involucrata*																							●		●	●			●	●	
ユキノシタ	ヤマアジサイ	*Hydrangea macrophylla* var. *acuminata*												●	●				●		●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●
ユキノシタ	ノリウツギ	*Hydrangea paniculata*							●	●				●	●				●	●	●	●		●	●			●			●		
ユキノシタ	ゴトウヅル	*Hydrangea petiolaris*																							●			●					
ユキノシタ	ガクウツギ	*Hydrangea scandens*												●														●					
希少種保護のため非公開																																	
ユキノシタ	バイカウツギ	*Philadelphus satsumi*							●	●				●	●				●	●	●	●		●	●		●	●	●		●	●	●
希少種保護のため非公開																																	
ユキノシタ	コマガタケスグリ	*Ribes japonicum*							●					●	●	●												●					●
ユキノシタ	ザリコミ	*Ribes maximowiczianum*							●	●				●	●										●	●		●			●	●	
ユキノシタ	スグリ	*Ribes sinanense*																							●			●					
ユキノシタ	ヤグルマソウ	*Rodgersia podophylla*							●	●	●			●	●	●			●					●	●		●	●	●	●		●	
希少種保護のため非公開																																	

表 872　高等植物のこれまで任意確認等の調査による確認種一覧（流量減少が予測される沢 4/8）

科名	種名	学名	省RL第4次	省RL第5次	県RL	国立公園指定植物S57	国立公園指定植物2025	指標種	07 蛇抜沢			蛇抜沢までの移動中	09 悪沢			悪沢までの移動中	13 ジャガ沢			14 流沢			15 二軒小屋南西の沢	16 上スリバチ沢			17 スリバチ沢			29 蛇沢		
									これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7夏/移動中	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7夏/移動中	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流
希少種保護のため非公開																															
ユキノシタ	ユキノシタ属	*Saxifraga* sp.											●																		
ユキノシタ	イワガラミ	*Schizophragma hydrangeoides*							●				●							●	●	●		●	●	●	●	●		●		
ユキノシタ	ズダヤクシュ	*Tiarella polyphylla*													●																
バラ	アズキナシ	*Aria alnifolia*							●								●			●	●			●	●	●	●			●	●	●
バラ	ヤマブキショウマ	*Aruncus dioicus* var. *tenuifolius*							●	●			●	●			●	●	●		●						●				●	●
バラ	タカネザクラ	*Cerasus nipponica var.nipponica*													●																
バラ	オオヤマザクラ	*Cerasus sargentii var.sargentii*																				●									●
バラ	オニシモツケ	*Filipendula camtschatica*													●																
希少種保護のため非公開 希少種保護のため非公開																															
バラ	ダイコンソウ	*Geum japonicum*							●														●	●	●						
バラ	オオウラジロノキ	*Malus tschonoskii*											●																		
バラ	オヘビイチゴ	*Potentilla anemonifolia*													●																
バラ	カマツカ	*Pourthiaea villosa* var. *laevis*																						●						●		
バラ	チョウジザクラ	*Prunus apetala*																			●			●								
バラ	ウワミズザクラ	*Prunus grayana*																			●	●		●			●	●	●			
バラ	マメザクラ	*Prunus incisa*																									●					
バラ	ミヤマザクラ	*Prunus maximowiczii*											●							●												
希少種保護のため非公開																															
バラ	エゾヤマザクラ	*Prunus sargentii*							●																					●		
バラ	アズマイバラ	*Rosa luciae*															●						●								
バラ	クマイチゴ	*Rubus crataegifolius*							●	●	●		●	●	●		●	●	●	●		●	●	●			●	●	●			●
バラ	エゾキイチゴ	*Rubus idaeus*									●		●	●	●																	●
バラ	ミヤマウラジロイチゴ	*Rubus idaeus subsp. nipponicus*											●											●								
バラ	バライチゴ	*Rubus illecebrosus*							●														●				●				●	
バラ	クロイチゴ	*Rubus mesogaeus*											●	●					●		●				●		●				●	
バラ	ミヤマニガイチゴ	*Rubus microphyllus* var. *subcrataegifolius*							●						●				●													
希少種保護のため非公開																															
バラ	モミジイチゴ	*Rubus palmatus* var. *coptophyllus*							●				●				●						●	●	●			●				
バラ	ナワシロイチゴ	*Rubus parvifolius*																												●		
バラ	エビガライチゴ	*Rubus phoenicolasius*											●	●						●			●	●			●					
バラ	シナノキイチゴ	*Rubus yabei* f. *marmoratus*							●																		●					
バラ	キイチゴ属	*Rubus* sp.											●																			
バラ	ナナカマド	*Sorbus commixta*							●	●			●	●	●		●												●			
バラ	サビバナナカマド	*Sorbus commixta* var. *rufo-ferruginea*							●																							
バラ	ウラジロノキ	*Sorbus japonica*							●				●						●	●												
希少種保護のため非公開																															
バラ	アイヅシモツケ	*Spiraea ussuriensis*							●	●			●	●			●															
バラ	コゴメウツギ	*Stephanandra incisa*							●								●	●												●	●	
マメ	ヌスビトハギ	*Desmodium podocarpium* ssp. *oxyphyllum*																												●		
マメ	キハギ	*Lespedeza buergeri*																												●	●	
マメ	イヌエンジュ	*Maackia amurensis* var. *buergeri*																												●		
カタバミ	コミヤマカタバミ	*Oxalis acetosella*							●		●		●	●	●		●	●														
カタバミ	ミヤマカタバミ	*Oxalis griffithii*								●																						
ウルシ	ツタウルシ	*Rhus ambigua*							●				●	●			●	●	●	●	●		●									
ムクロジ	アサノハカエデ	*Acer argutum*											●				●	●		●		●			●							
ムクロジ	ホソエカエデ	*Acer capillipes*															●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	●		●
ムクロジ	チドリノキ	*Acer carpinifolium*							●				●									●	●	●	●	●	●	●				
ムクロジ	ウリカエデ	*Acer crataegifolium*																												●	●	
ムクロジ	ヒトツバカエデ	*Acer distylum*																									●					
ムクロジ	カラコギカエデ	*Acer ginnala* var. *aidzuense*																											●			
ムクロジ	ハウチワカエデ	*Acer japonicum*							●	●			●	●	●		●	●	●	●	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●
ムクロジ	コミネカエデ	*Acer micranthum*							●				●	●	●			●	●		●				●		●	●		●	●	
ムクロジ	イタヤカエデ	*Acer mono*							●																		●					
ムクロジ	ウラゲエンコウカエデ	*Acer mono* f. *connivens*																		●	●				●			●			●	
ムクロジ	エンコウカエデ	*Acer mono* f. *marmoratum*							●								●		●				●							●		
ムクロジ	オニイタヤ	*Acer mono* var. *ambiguum*															●				●	●			●	●	●	●			●	
ムクロジ	イトマキイタヤ	*Acer mono* var. *trichobasis*							●	●			●	●	●				●					●			●	●	●	●		
ムクロジ	メグスリノキ	*Acer nikoense*																					●	●	●		●	●				
ムクロジ	テツカエデ	*Acer nipponicum*																						●			●	●				
ムクロジ	コウシンテツカエデ	*Acer nipponicum* subsp. *orientale* var. *koshinense*																				●			●	●						
ムクロジ	イロハモミジ	*Acer palmatum*											●							●	●	●		●	●							
ムクロジ	オオモミジ	*Acer palmatum* var. *amoenum*																				●		●	●		●	●	●	●	●	●
ムクロジ	フカギレオオモミジ	*Acer palmatum* var. *amoenum* f. *palmatipartitum*																		●												
ムクロジ	ヤマモミジ	*Acer palmatum var. matumurae*																											●			
ムクロジ	ウリハダカエデ	*Acer rufinerve*							●								●			●	●			●	●		●	●	●	●		
ムクロジ	オオイタヤメイゲツ	*Acer shirasawanum*							●	●			●							●		●					●	●				

表 873　高等植物のこれまで任意確認等の調査による確認種一覧（流量減少が予測される沢 5/8）

科名	種名	学名	省RL第4次	省RL第5次	県RL	国立公園指定植物S57	国立公園指定植物2025	指標種	07 蛇抜沢				09 悪沢				13 ジャガ沢			14 流沢			15 二軒小屋南西の沢	16 上スリバチ沢			17 スリバチ沢			29 蛇沢		
									これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7夏/移動中	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7夏/移動中	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流
ムクロジ	イタヤメイゲツ（コハウチワカエデ）	*Acer sieboldianum*											●					●	●					●			●			●		
ムクロジ	ヒナウチワカエデ	*Acer tenuifolium*							●				●											●			●		●			
ムクロジ	ミネカエデ	*Acer tschonoskii*									●		●		●		●												●		
ムクロジ	オガラバナ	*Acer ukurunduense*							●				●		●				●								●				
ツリフネソウ	キツリフネ	*Impatiens noli-tangere*						●	●	●	●		●	●	●		●			●	●		●			●	●	●	●		●	●
ニシキギ	ツルウメモドキ	*Celastrus orbiculatus*							●				●				●	●					●	●		●	●	●	●	●		
ニシキギ	オニツルウメモドキ	*Celastrus orbiculatus* var. *papillosus*							●	●										●	●			●		●				●		●
ニシキギ	ツルマサキ	*Euonymus fortunei* var. *radicans*																						●	●		●					
ニシキギ	サワダツ	*Euonymus melananthus*											●	●				●						●							●	
ニシキギ	ツリバナ	*Euonymus oxyphyllus*															●															
ニシキギ	カントウマユミ	*Euonymus sieboldianus* var. *sanguineus*							●	●									●								●					
クロウメモドキ	クマヤナギ	*Berchemia racemosa*							●				●												●							
クロウメモドキ	クロカンバ	*Rhamnus costata*																●						●	●		●					
ブドウ	ノブドウ	*Ampelopsis glandulosa* var. *heterophylla*							●																							
ブドウ	ヤマブドウ	*Vitis coignetiae*							●				●	●			●	●	●		●	●	●	●			●	●	●			●
シナノキ	シナノキ	*Tilia japonica*							●				●	●	●				●		●			●	●		●	●		●	●	●
希少種保護のため非公開																																
スミレ	エイザンスミレ	*Viola eizanensis*											●											●	●	●	●	●				
スミレ	タチツボスミレ	*Viola grypoceras*							●	●			●				●	●	●	●	●	●	●							●	●	●
アカバナ	ミヤマタニタデ	*Circaea alpina*							●		●		●	●	●		●	●			●			●			●		●			●
アカバナ	ウシタキソウ	*Circaea cordata*																						●			●					
アカバナ	タニタデ	*Circaea erubescens*						●	●	●											●		●	●	●	●		●	●		●	●
アカバナ	ミズタマソウ	*Circaea mollis*																									●					
アカバナ	ケゴンアカバナ	*Epilobium amurense*							●	●	●				●					●	●		●				●		●		●	●
アカバナ	イワアカバナ	*Epilobium cephalostigma*							●	●	●		●	●							●	●	●	●	●			●		●	●	●
希少種保護のため非公開																																
ミズキ	ヤマボウシ	*Benthamidia japonica*																					●									
ミズキ	ミズキ	*Cornus controversa*											●											●	●	●						
ミズキ	ハナイカダ	*Helwingia japonica*							●				●											●			●					
ウコギ	コシアブラ	*Acanthopanax sciadophylloides*											●						●					●				●		●		
ウコギ	ウド	*Aralia cordata*							●	●			●	●					●	●	●		●	●			●				●	
ウコギ	タラノキ	*Aralia elata*							●	●			●					●	●	●				●			●		●			
ウコギ	ハリギリ	*Kalopanax pictus*											●					●		●	●		●	●		●	●	●	●	●		
ウコギ	ハリブキ	*Oplopanax japonicus*																						●								
ウコギ	トチバニンジン	*Panax japonicus*											●											●	●		●	●				
セリ	アマニュウ	*Angelica edulis*																●														●
セリ	ハナビゼリ	*Angelica inaequalis*																				●		●	●							
セリ	シラネセンキュウ	*Angelica polymorpha*							●	●	●		●	●	●			●		●	●		●	●	●		●		●		●	●
セリ	ホタルサイコ	*Bupleurum longiradiatum var.breviradiatum*													●																	
セリ	セリ	*Oenanthe javanica ssp.javanica*									●				●																	
セリ	ミツバ	*Cryptotaenia japonica*																									●					
セリ	ヤブニンジン	*Osmorhiza aristata*							●																							
セリ	ミヤマヤブニンジン	*Osmorhiza aristata var.montana*													●																	
セリ	イワセントウソウ	*Pternopetalum tanakae*							●						●															●		●
セリ	ウマノミツバ	*Sanicula chinensis*																									●					
セリ	カノツメソウ	*Spuriopimpinella calycina*							●																							
セリ	ヤブジラミ	*Torilis japonica*							●								●	●					●									
希少種保護のため非公開																																
リョウブ	リョウブ	*Clethra barbinervis*							●	●			●	●			●	●	●		●			●	●	●	●	●	●	●	●	●
希少種保護のため非公開																																
イチヤクソウ	イチヤクソウ	*Pyrola japonica*																						●			●			●		
イチヤクソウ	イチヤクソウ属	*Pyrola* sp.																						●								
希少種保護のため非公開																																
ツツジ	コアブラツツジ	*Enkianthus nudipes*																						●								
ツツジ	ネジキ	*Lyonia ovalifolia* var. *elliptica*																												●		
希少種保護のため非公開																																
ツツジ	コヨウラクツツジ	*Menziesia pentandra*							●		●		●	●	●																	
ツツジ	ギンリョウソウモドキ	*Monotropa uniflora*																							●							
希少種保護のため非公開																																

表 874　高等植物のこれまで任意確認等の調査による確認種一覧（流量減少が予測される沢 6/8）

科名	種名	学名	省RL第4次	省RL第5次	県RL	国立公園指定植物S57	国立公園指定植物2025	指標種	07 蛇抜沢				蛇抜沢までの移動中	09 悪沢			悪沢までの移動中	13 ジャガ沢			14 流沢			15 二軒小屋南西の沢	16 上スリバチ沢			17 スリバチ沢			29 蛇沢		
									これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7夏/移動中		これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7夏/移動中	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流
希少種保護のため非公開																																
ツツジ	ヤマツツジ	*Rhododendron obtusum* var. *kaempferi*																●			●			●	●			●			●		●
希少種保護のため非公開																																
ツツジ	ホツツジ	*Tripetaleia paniculata*							●	●				●	●					●													
サクラソウ	コナスビ	*Lysimachia japonica f. subsessilis*								●																						
希少種保護のため非公開																																
エゴノキ	ハクウンボク	*Styrax obassia*																												●		
モクセイ	アラゲアオダモ	*Fraxinus lanuginosa*							●					●	●			●			●			●	●					●		
モクセイ	ケアオダモ	*Fraxinus lanuginosa* f. *lanuginosa*																				●									●	
モクセイ	アオダモ	*Fraxinus lanuginosa* f. *serrata*												●				●			●							●			●		
モクセイ	マルバアオダモ	*Fraxinus sieboldiana*							●	●				●													●			●		
モクセイ	シオジ	*Fraxinus spaethiana*						●																	●			●					
モクセイ	ミヤマイボタ	*Ligustrum tschonoskii*							●	●	●			●	●	●		●			●				●	●		●	●				
リンドウ	フデリンドウ	*Gentiana zollingeri*																								●							
ガガイモ	イケマ	*Cynanchum caudatum*												●	●	●		●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
アカネ	クルマムグラ	*Galium japonicum*							●		●				●	●			●	●								●			●		
アカネ	オオバノヨツバムグラ	*Galium kamtschaticum* var. *acutifolium*									●			●		●													●				
アカネ	キヌタソウ	*Galium kinuta*							●	●	●			●				●	●			●							●		●	●
アカネ	ミヤマムグラ	*Galium paradoxum*																														●
アカネ	オオバノヤエムグラ	*Galium pseudo-asprellum*																				●	●								●	●
アカネ	ヨツバムグラ	*Galium trachyspermum* var. *trachysperum*																												●		
アカネ	オククルマムグラ	*Galium trifloriforme*							●		●					●												●	●				
ムラサキ	オニルリソウ	*Cynoglossum asperrimum*																							●	●		●					
クマツヅラ	ムラサキシキブ	*Callicarpa japonica*							●																					●	●		
シソ	カワミドリ	*Agastache rugosa*							●																								
シソ	ジャコウソウ	*Chelonopsis moschata*									●																	●					
シソ	イヌトウバナ	*Clinopodium micranthum*							●	●	●					●		●			●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●
シソ	ヤマトウバナ	*Clinopodium multicaule*													●																		
シソ	ナギナタコウジュ	*Elsholtzia ciliata*							●															●	●								
シソ	テンニンソウ	*Leucosceptrum japonicum*							●					●	●			●	●	●	●			●	●	●	●	●		●	●	●	●
シソ	セキヤノアキチョウジ	*Rabdosia effusa*																													●	●
シソ	イヌヤマハッカ	*Rabdosia umbrosa*													●																	
シソ	コウシンヤマハッカ	*Isodon umbrosus* var. *latifolius*							●	●	●			●		●		●	●	●	●	●			●		●	●	●		●	●
シソ	ミソガワソウ	*Nepeta subsessilis*									●																●					
ナス	ヤマホロシ	*Solanum japonense*																			●	●	●	●	●			●		●	●	●
ナス	マルバノホロシ	*Solanum maximowiczii*																										●					
フジウツギ	フジウツギ	*Buddleja japonica*																				●						●					
フジウツギ	ヒナノウスツボ	*Scrophularia duplicatoserrata*																					●										
希少種保護のため非公開 希少種保護のため非公開 希少種保護のため非公開																																
ハマウツボ	シオガマギク	*Pedicularis resupinata* ssp. *oppositifolia* var. *oppositifolia*														●																	
ハエドクソウ	ハエドクソウ	*Phryma leptostachya* ssp. *asiatica*							●					●					●						●			●					
ハエドクソウ	ナガバハエドクソウ	*Phryma leptostachya* var. *oblongifolia*																		●													●
オオバコ	オオバコ	*Plantago asiatica*							●	●						●	●				●				●								
スイカズラ	ツクバネウツギ	*Abelia spathulata*							●					●						●											●		
希少種保護のため非公開																																
スイカズラ	ヤマウグイスカグラ	*Lonicera gracilipes*																													●	
スイカズラ	ニワトコ	*Sambucus racemosa* ssp. *sieboldiana* var. *sieboldiana*							●					●	●	●							●	●	●			●	●				
スイカズラ	オオカメノキ	*Viburnum furcatum*							●					●				●		●	●			●	●			●	●	●			
スイカズラ	オトコヨウゾメ	*Viburnum phlebotrichum*																							●								
スイカズラ	ヤブデマリ	*Viburnum plicatum* var. *tomentosum*																											●				
スイカズラ	ミヤマガマズミ	*Viburnum wrightii*																												●			
スイカズラ	オオミヤマガマズミ	*Viburnum wrightii* var. *stipellatum*																				●		●	●		●			●			●
スイカズラ	ニシキウツギ	*Weigela decora*							●	●				●				●			●			●	●			●			●	●	
スイカズラ	ヤブウツギ	*Weigela floribunda*							●					●					●	●					●			●					
クサスギカズラ	オオバギボウシ	*Hosta sieboldiana*																															●
クサスギカズラ	ヒメマイヅルソウ	*Maianthemum bifolium*																								●							
希少種保護のため非公開																																
オミナエシ	オトコエシ	*Patrinia villosa*																											●				
キキョウ	ソバナ	*Adenophora remotiflora*													●	●			●	●		●			●					●		●	●
キキョウ	ツリガネニンジン	*Adenophora triphylla* var. *japonica*														●																	
希少種保護のため非公開 希少種保護のため非公開																																
キク	ノブキ	*Adenocaulon himalaicum*														●					●				●								
キク	オクモミジハグマ	*Ainsliaea acerifolia* var. *subapoda*																							●	●		●					
キク	ヤマハハコ	*Anaphalis margaritacea*							●	●	●			●	●	●				●				●								●	

表 875　高等植物のこれまで任意確認等の調査による確認種一覧（流量減少が予測される沢 7/8）

科名	種名	学名	省RL第4次	省RL第5次	県RL	国立公園指定植物S57	国立公園指定植物2025	指標種	07 蛇抜沢			蛇抜沢までの移動中	09 悪沢			悪沢までの移動中	13 ジャガ沢			14 流沢			15 二軒小屋南西の沢	16 上スリバチ沢			17 スリバチ沢			29 蛇沢		
									これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7夏/移動中	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7夏/移動中	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流
キク	ヤハズハハコ	*Anaphalis sinica*									●																				
キク	オトコヨモギ	*Artemisia japonica*							●																	●					
キク	イヌヨモギ	*Artemisia keiskeana*							●	●								●	●	●	●	●	●	●						●	
キク	オオヨモギ	*Artemisia montana*							●		●		●		●						●					●					
キク	ヨモギ	*Artemisia princeps*							●	●	●		●	●	●		●	●	●		●		●			●	●	●	●	●	●
希少種保護のため非公開																															
キク	シロヨメナ	*Aster ageratoides* ssp. *leiophyllus*											●				●	●	●	●	●	●		●	●	●			●	●	●
キク	ノコンギク	*Aster ageratoides* ssp. *ovatus*							●	●	●			●				●	●				●							●	
キク	ゴマナ	*Aster glehnii* var. *hondoensis*													●																
希少種保護のため非公開																															
キク	シオン属	*Aster* sp.							●				●																		
希少種保護のため非公開																															
キク	ウスゲタマブキ	*Cacalia farfaraefolia*															●			●	●		●	●	●	●	●				●	
キク	オオカニコウモリ	*Cacalia nikomontana*											●																		
希少種保護のため非公開																															
キク	ヤマタイミンガサ	*Cacalia yatabei*																						●							●	
キク	ミヤマヤブタバコ	*Carpesium triste*																	●			●		●	●						●	●
キク	ホウキアザミ	*Cirsium gratiosum var.gratiosum*									●								●													
キク	フジアザミ	*Cirsium purpuratum*							●	●	●		●	●	●				●					●	●	●		●			●	
キク	アザミ属	*Cirsium* sp.																						●								
キク	リュウノウギク	*Dendranthema japonicum*							●				●																			
キク	ダンドボロギク	*Erechtites hieracifolia*																	●													
キク	ヒヨドリバナ	*Eupatorium chinense* var. *oppositifolium*								●														●						●		
キク	ヨツバヒヨドリ	*Eupatorium chinense* ssp. *sachalinense*							●		●		●	●	●		●	●	●				●				●		●	●		
キク	サワヒヨドリ	*Eupatorium lindleyanum*																									●					
キク	オオヒヨドリバナ	*Eupatorium makinoi* var.*oppositifolium*																				●									●	●
キク	イワニガナ	*Ixeris stolonifera*							●	●	●		●	●									●									●
キク	ミヤマイワニガナ	*Ixeris stolonifera* f. *capillaris*							●																							
キク	ヨメナ	*Kalimeris yomena*								●																						
キク	ヤマニガナ	*Lactuca raddeana* var. *elata*																						●								
キク	ミヤマアキノノゲシ	*Lactuca triangulata*																						●			●					
希少種保護のため非公開																															
キク	サワギク	*Nemosenecio nikoensis*						●			●																	●			●
キク	コウモリソウ	*Parasenecio maximowiczianus*							●		●		●	●	●			●	●	●	●						●	●				●
キク	ナガバノコウヤボウキ	*Pertya glabrescens*																	●	●	●									●		
キク	コウヤボウキ	*Pertya scandens*																														●
キク	フキ	*Petasites japonicus*							●						●		●		●		●		●	●	●		●	●	●			●
希少種保護のため非公開																															
キク	コウゾリナ	*Picris hieracioides* var. *glabrescens*							●								●	●					●	●			●				●	
キク	フクオウソウ	*Prenanthes acerifolia*							●															●	●	●	●	●				
キク	ハンゴンソウ	*Senecio cannabifolius*									●		●		●																	
キク	キオン	*Senecio nemorensis*							●		●		●		●		●		●				●									
キク	アキノキリンソウ	*Solidago virgaurea* var. *asiatica*							●		●		●	●	●		●	●	●		●											
希少種保護のため非公開																															
キク	ヒメジョオン	*Stenactis annuus*																					●									
キク	ヤマボクチ	*Synurus palmatopinnatifidus* var. *indivisus*															●															
キク	オヤマボクチ	*Synurus pungens*																	●												●	●
キク	セイヨウタンポポ	*Taraxacum officinale*							●																							
キク	ヤクシソウ	*Youngia denticulata*												●							●		●	●	●		●			●		●
ユリ	チゴユリ	*Disporum smilacinum*																									●					
ユリ	トウギボウシ	*Hosta seiboldiana*																					●									
ユリ	ウバユリ	*Lilium cordatum*																									●					
ユリ	マイヅルソウ	*Maianthemum dilatatum*							●						●									●			●	●		●		
ユリ	ヤマトユキザサ	*Maianthemum viridiflorum*									●																					
ユリ	ツクバネソウ	*Paris tetraphylla*							●				●														●			●		
希少種保護のため非公開																															
ユリ	ナルコユリ	*Polygonatum falcatum*																	●													
希少種保護のため非公開																															
イグサ	クサイ	*Juncus tenuis*													●																	
イネ	ヌカボ	*Agrostis clavata* ssp. *matsumurae*							●																							
希少種保護のため非公開																															
イネ	タカネコウボウ	*Anthoxanthum japonicum*							●		●				●																	

表 876　高等植物のこれまで任意確認等の調査による確認種一覧（流量減少が予測される沢 8/8）

科名	種名	学名	省RL第4次	省RL第5次	県RL	国立公園指定植物S57	国立公園指定植物2025	指標種	07 蛇抜沢			蛇抜沢までの移動中	09 悪沢			悪沢までの移動中	13 ジャガ沢			14 流沢			15 二軒小屋南西の沢	16 上スリバチ沢			17 スリバチ沢			29 蛇沢		
									これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7夏/移動中	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7夏/移動中	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	R7秋/下流	R7秋/上流
イネ	コメススキ	*Avenella flexuosa*									●																				
イネ	ヤマカモジグサ	*Brachypodium sylvaticum*							●	●					●				●												
イネ	ホガエリガヤ	*Brylkinia caudata*													●																
イネ	ヒメノガリヤス	*Calamagrostis hakonensis*							●	●	●		●	●	●		●		●	●	●		●	●	●	●				●	●	●
イネ	イワノガリヤス	*Calamagrostis purpurea ssp. langsdorfii*							●		●																				
イネ	タカネノガリヤス	*Calamagrostis sachalinensis*							●																						
イネ	フサガヤ	*Cinna latifolia*									●				●																
イネ	ウシノケグサ	*Festuca ovina*									●																				
イネ	ウシノケグサ属	*Festuca* sp.							●																						
希少種保護のため非公開																															
イネ	イブキヌカボ	*Milium effusum*													●																
イネ	ウラハグサ	*Hakonechloa macra*											●	●				●													
イネ	ミチシバ	*Merica onoei*							●										●		●		●								●
イネ	カリヤスモドキ	*Miscanthus oligostachyus*							●																						
イネ	ススキ	*Miscanthus sinensis*								●													●								
イネ	ミヤマネズミガヤ	*Muhlenbergia curviaristata* var. *nipponica*							●	●								●												●	
イネ	タチネズミガヤ	*Muhlenbergia hakonensis*												●																	
希少種保護のため非公開																															
イネ	スズタケ	*Sasamorpha borealis*																						●							
希少種保護のため非公開																															
サトイモ	マムシグサ属の一種	*Arisaema* sp.																●							●						
希少種保護のため非公開																															
シュロソウ	シュロソウ属	*Veratrum* sp.													●																
希少種保護のため非公開																															
カヤツリグサ	コハリスゲ	*Carex hakonensis*									●				●			●													
カヤツリグサ	テキリスゲ	*Carex kiotensis*									●																				
カヤツリグサ	コカンスゲ	*Carex reinii*																												●	
カヤツリグサ	アブラシバ	*Carex satsumensis*																●	●												
希少種保護のため非公開																															
			10種	9種	16種	71種	76種	14種	199種	96種	97種	2種	190種	96種	124種	1種	86種	89種	97種	79種	86種	64種	99種	164種	91種	66種	192種	82種	97種	106種	97種	87種

表 877　高等植物のこれまで任意確認等の調査による確認種一覧（流量減少が予測されない沢 1/8）

科名	種名	学名	省RL 第4次	省RL 第5次	県RL	国立公園指定植物 S57	国立公園指定植物 2025	指標種	01 内無沢	02 魚無沢	03 瀬戸沢	04 上岳沢	05 西小石沢		西小石沢下の動物	06 延小屋沢	08 柳沢	10 大崩	11 徳右衛門沢	12 曲輪沢	18 車壁沢			19 燕沢	20 大尻沢北の沢	21 大尻沢			22 蛇沢南東の沢	23 破風石沢	24 下木賊沢北の沢	25 下木賊沢	26 虎杖沢	27 上千枚沢	28 下千枚沢	30 蛇沢南の沢	31 奥西河内川	32 赤石沢	33 北俣・中俣合流部付近（三伏沢）		
									これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7秋/移動中	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流
ヒカゲノカズラ	エゾヒカゲノカズラ	*Lycopodium clavatum* L. var. *asiaticum* Ching																																						●
希少種保護のため非公開																																								
ヒカゲノカズラ	トウゲシバ	*Lycopodium serratum*																													●										
イワヒバ	イワヒバ	*Selaginella tamariscina*											●																												
トクサ	スギナ	*Equisetum arvense*								●							●				●		●			●				●	●					●			●	
希少種保護のため非公開																																								
ハナヤスリ	フユノハナワラビ	*Botrychium ternatum*											●																							●	●	●			
コケシノブ	ホソバコケシノブ	*Mecodium polyanthos*																								●														
コケシノブ	コケシノブ	*Mecodium wrightii*																														●								
コバノイシカグマ	イヌシダ	*Dennstaedtia hirsuta*																												●										
コバノイシカグマ	オウレンシダ	*Dennstaedtia wilfordii*																	●				●	●					●	●	●	●	●			●	●			
ミズワラビ	クジャクシダ	*Adiantum pedatum*																											●	●	●	●								
ミズワラビ	イワガネゼンマイ	*Coniogramme intermedia*																												●										
希少種保護のため非公開																																								
ミズワラビ	カラクサシダ	*Pleurosoriopsis makinoi*																						●	●	●	●					●	●				●				
希少種保護のため非公開																																								
チャセンシダ	イワトラノオ	*Asplenium tenuicaule*						●						●																											
シシガシラ	ミヤマシシガシラ	*Struthiopteris castanea*											●																												
シシガシラ	シシガシラ	*Struthiopteris niponica*																						●					●	●											
オシダ	ホソバナライシダ	*Arachniodes borealis*											●						●											●		●	●								
希少種保護のため非公開																																								
オシダ	シノブカグマ	*Arachniodes mutica*																							●	●					●										
オシダ	シラネワラビ	*Dryopteris austriaca*												●																										●	●
オシダ	オシダ	*Dryopteris crassirhizoma*							●		●	●	●						●				●			●	●		●	●	●	●			●	●			●	
オシダ	ミヤマベニシダ	*Dryopteris monticola*																																					●	
オシダ	ミヤマクマワラビ	*Dryopteris polylepis*									●		●	●							●		●	●	●	●	●		●	●	●	●				●	●			
オシダ	ミヤマイタチシダ	*Dryopteris sabaei*							●		●		●																								●			
オシダ	ホソイノデ	*Polystichum braunii*							●	●	●	●																												
オシダ	ツルデンダ	*Polystichum craspedosorum*										●																												
希少種保護のため非公開																																								
オシダ	ツヤナシイノデ	*Polystichum ovato-paleaceum*												●																		●								
オシダ	ジュウモンジシダ	*Polystichum tripteron*																													●									
ヒメシダ	ミヤマワラビ	*Phegopteris connectilis*							●	●	●	●	●	●	●		●		●		●	●	●	●		●	●				●	●						●	●
ヒメシダ	ミゾシダ	*Thelypteris pozoi* ssp. *mollissima*												●																										
メシダ	カラクサイヌワラビ	*Athyrium clivicola*																														●								
メシダ	イヌワラビ	*Athyrium niponicum*												●																							●			
メシダ	ヤマイヌワラビ	*Athyrium vidalii*							●			●	●						●	●			●	●					●								●	●	●		
メシダ	ミヤマメシダ	*Athyrium melanolepis*											●																											
メシダ	タカネサトメシダ	*Athyrium pinetorum*																																					●	
メシダ	ミヤマヘビノネゴザ	*Athyrium rupestre*								●																														●
メシダ	ヘビノネゴザ	*Athyrium yokoscense*							●	●		●	●	●			●	●		●	●	●			●			●	●		●	●				●		●	●	
メシダ	イッポンワラビ	*Cornopteris crenulato-serrulata*																														●								
希少種保護のため非公開																																								
メシダ	ホソバシケシダ	*Deparia conilii*												●															●	●	●		●			●				
メシダ	シケシダ	*Deparia japonica*																					●								●									
メシダ	ハクモウイノデ	*Deparia pycnosora*																												●	●	●					●			
メシダ	ミヤマシケシダ	*Deparia pycnosora* var. *mucilagina*							●				●																			●						●	●	
メシダ	ミヤマシダ	*Diplazium sibiricum* var. *glabrum*													●																	●					●			
メシダ	キヨタキシダ	*Diplazium squamigerum*																														●								
希少種保護のため非公開																																								
メシダ	イヌガンソク	*Matteuccia orientalis*																		●																	●	●			
メシダ	クサソテツ	*Matteuccia struthiopteris*																													●									
希少種保護のため非公開																																								
メシダ	フクロシダ	*Woodsia manchuriensis*									●					●				●	●	●	●						●	●	●	●					●	●	●	
メシダ	イワデンダ	*Woodsia polystichoides*								●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ウラボシ	ミツデウラボシ	*Crypsinus hastatus*							●																															
希少種保護のため非公開																																								
ウラボシ	ノキシノブ	*Lepisorus thunbergianus*									●		●												●		●					●	●			●	●			
ウラボシ	ナガオノキシノブ	*Lepisorus thunbergianus* var. *angustus*																														●							●	
ウラボシ	ミヤマノキシノブ	*Lepisorus ussuriensis* var. *distans*												●															●	●							●			
マツ	モミ	*Abies firma*															●							●	●				●	●	●		●	●			●	●		
マツ	ウラジロモミ	*Abies homolepis*							●			●	●				●	●					●	●		●	●	●			●		●	●			●	●	●	
マツ	オオシラビソ	*Abies mariesii* Mast.																																						●
マツ	シラビソ	*Abies veitchii*								●	●		●								●																			●
マツ	カラマツ	*Larix kaempferi*							●	●	●	●	●				●	●		●	●		●	●	●	●			●	●			●			●		●	●	●
マツ	トウヒ	*Picea jezoensis* var. *hondoensis*							●	●	●		●																											
マツ	ハリモミ	*Picea polita*																	●					●													●			
マツ	アカマツ	*Pinus densiflora*																															●							
マツ	チョウセンゴヨウ	*Pinus koraiensis*																								●														
マツ	ヒメコマツ	*Pinus parviflora*																							●												●	●		●	
マツ	コメツガ	*Tsuga diversifolia*							●	●	●		●														●		●	●		●	●				●	●		●	
マツ	ツガ	*Tsuga sieboldii*												●	●		●	●	●		●	●		●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●			
スギ	スギ	*Cryptomeria japonica*																											●	●										
ヒノキ	ヒノキ	*Chamaecyparis obtusa*																											●	●	●									
イチイ	カヤ	*Torreya nucifera*																																		●	●			
クルミ	オニグルミ	*Juglans ailanthifolia*																													●						●			
クルミ	サワグルミ	*Pterocarya rhoifolia*																	●		●	●	●	●		●	●	●			●					●	●	●		
ヤナギ	ドロノキ（ドロヤナギ）	*Populus maximowiczii*						●				●	●							●													●					●			
ヤナギ	トカチヤナギ	*Salix cardiophylla*												●																										
ヤナギ	バッコヤナギ	*Salix caprea*							●			●					●	●	●	●	●	●			●				●		●	●	●	●	●	●	●	●		
ヤナギ	シバヤナギ	*Salix japonica*																				●																		
ヤナギ	オノエヤナギ	*Salix udensis*							●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●		●	●		●			●		●	●			●	●	●	●		
ヤナギ	シライヤナギ	*Salix shirai*											●				●			●																		●		
ヤナギ	オオバヤナギ	*Toisusu urbaniana*								●	●		●				●			●		●	●			●				●			●						●	

表 878　高等植物のこれまで任意確認等の調査による確認種一覧（流量減少が予測されない沢 2/8）

科名	種名	学名	省RL 第4次	省RL 第5次	県RL	国立公園指定植物 S57	国立公園指定植物 2025	指標種	01 内無沢	02 魚無沢	03 瀬戸沢	04 上岳沢	05 西小石沢			西小石沢までの移動中	06 延小屋沢	08 柳沢	10 大崩	11 徳右衛門沢	12 曲輪沢	18 車屋沢			19 燕沢	20 大尻沢北の沢	21 大尻沢			22 蛇沢南東の沢	23 破風石沢	24 下木賊沢北の沢	25 下木賊沢	26 虎杖沢	27 上千枚沢	28 下千枚沢	30 蛇沢南の沢	31 奥西河内川	32 赤石沢	33 北俣・中俣合流部付近（三伏沢）		
									これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7秋/移動中	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流
カバノキ	ミヤマハンノキ	*Alnus alnobetula ssp.maximowiczii*							●				●	●	●		●	●		●																	●		●		
カバノキ	ヤシャブシ	*Alnus firma*																					●		●		●						●	●	●	●		●	●			
カバノキ	ミヤマヤシャブシ	*Alnus firma* var. *hirtella*																●	●			●																●				
カバノキ	ケヤマハンノキ	*Alnus hirsuta*																		●				●			●				●		●	●	●	●		●	●			
カバノキ	タニガワハンノキ	*Alnus hirsuta* var. *microphylla*																				●																	●			
カバノキ	ヤマハンノキ	*Alnus hirsuta* var. *sibirica*										●					●	●		●	●	●			●					●	●	●	●	●	●	●		●	●			
カバノキ	ヤハズハンノキ	*Alnus matsumurae*							●	●	●	●	●	●	●		●	●		●	●																		●	●		
カバノキ	ヒメヤシャブシ	*Alnus pendula*																			●																	●	●			
カバノキ	ネコシデ	*Betula corylifolia*								●	●		●	●																												
カバノキ	ダケカンバ	*Betula ermanii*							●	●	●	●	●	●	●		●		●																				●	●	●	
カバノキ	ミズメ	*Betula grossa*							●					●				●	●	●	●							●		●	●		●			●	●	●			
カバノキ	ウダイカンバ	*Betula maximowicziana*								●	●	●	●					●	●	●	●	●				●	●	●	●	●							●	●	●			
カバノキ	シラカンバ	*Betula platyphylla* var. *japonica*							●			●	●				●	●			●					●													●			
カバノキ	オノオレカンバ	*Betula schmidtii*															●		●				●			●			●										●			
カバノキ	サワシバ	*Carpinus cordata*																●	●			●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	●			
カバノキ	クマシデ	*Carpinus japonica*																●	●		●	●			●		●	●	●	●		●	●	●	●			●	●			
カバノキ	アカシデ	*Carpinus laxiflora*																							●	●				●					●	●		●	●			
カバノキ	イヌシデ	*Carpinus tschonoskii*																									●	●	●	●					●	●		●	●			
カバノキ	ツノハシバミ	*Corylus sieboldiana*																		●		●	●			●	●				●							●	●			
カバノキ	アサダ	*Ostrya japonica*															●			●		●			●					●	●	●	●				●		●		
ブナ	クリ	*Castanea crenata*																												●	●	●	●				●	●			
ブナ	ブナ	*Fagus crenata*															●	●			●				●	●	●			●	●	●	●				●	●			
ブナ	イヌブナ	*Fagus japonica*																								●	●						●					●			
ブナ	ミズナラ	*Quercus mongolica* ssp. *crispula*															●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
ブナ	コナラ	*Quercus serrata*																																				●			
ニレ	ハルニレ	*Ulmus davidiana var.japonica*																									●														
ニレ	オヒョウ	*Ulmus laciniata*																								●	●								●	●					
ニレ	ケヤキ	*Zelkova serrata*																		●					●					●	●	●		●	●	●	●	●	●		
クワ	ヤマグワ	*Morus australis*																																					●			
イラクサ	クサコアカソ	*Boehmeria gracilis*																●	●			●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		
イラクサ	コアカソ	*Boehmeria spicata*																●			●									●		●			●	●					
イラクサ	アカソ	*Boehmeria sylvestris*																																				●			
イラクサ	ウワバミソウ	*Elatostema umbellatum* var. *majus*																								●	●			●		●		●		●	●	●			
イラクサ	ムカゴイラクサ	*Laportea bulbifera*																●		●	●				●			●	●	●	●	●			●	●	●				
イラクサ	ミズ	*Pilea hamaoi*															●	●		●					●					●	●	●	●					●			
イラクサ	ヤマミズ	*Pilea japonica*																														●				●					
イラクサ	アオミズ	*Pilea pumila*																				●			●		●	●		●		●	●				●	●			
イラクサ	コバノイラクサ	*Urtica laetevirens*										●	●					●							●	●				●			●	●					●			
イラクサ	イラクサ	*Urtica thunbergiana*																●			●																		●			
ヤドリギ	ホザキヤドリギ	*Hyphear tanakae*																							●																
ヤドリギ	ヤドリギ	*Viscum album ssp. coloratum*																																				●			
希少種保護のため非公開																																									
タデ	ミズヒキ	*Antenoron filiforme*																												●	●		●	●		●	●				
希少種保護のため非公開																																									
タデ	クリンユキフデ	*Bistorta suffulta*															●	●														●					●				
タデ	ミヤマタニソバ	*Persicaria debilis*																●							●							●				●					
タデ	イヌタデ	*Persicaria longiseta*																				●			●		●					●									
タデ	ナガボハナタデ	*Persicaria yokusaiana* f. *laxiflora* Hiyama																												●	●	●						●			
タデ	ハナタデ	*Persicaria posumbu* var. *laxiflora*																				●			●							●	●	●				●	●			
タデ	イタドリ	*Fallopia japonica var.japonica*							●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●			●		●					●	●	●				●	●	●	●	
タデ	オオイタドリ	*Fallopia sachalinensis*												●	●																											
タデ	タニソバ	*Persicaria nepalensis*									●														●										●	●			●			
希少種保護のため非公開																																									
ナデシコ	ツメクサ	*Sagina japonica*																									●															
ナデシコ	サワハコベ	*Stellaria diversiflora*																							●					●				●			●				
希少種保護のため非公開																																									
ナデシコ	ミヤマハコベ	*Stellaria sessiliflora*																●							●		●					●				●	●	●	●			
希少種保護のため非公開																																									
モクレン	ホオノキ	*Magnolia hypoleuca*																																				●			
モクレン	コブシ	*Magnolia praecocissima*																														●									
マツブサ	マツブサ	*Schisandra repanda*																				●								●			●				●	●			
クスノキ	ダンコウバイ	*Lindera obtusiloba*																							●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
クスノキ	クロモジ	*Lindera umbellata*																				●					●			●	●		●	●	●	●	●	●	●			
ヤマグルマ	ヤマグルマ	*Trochodendron aralioides*																																					●			
フサザクラ	フサザクラ	*Euptelea polyandra*																				●	●	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
カツラ	カツラ	*Cercidiphyllum japonicum*							●	●	●	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
カツラ	ヒロハカツラ	*Cercidiphyllum magnificum*												●	●																											
キンポウゲ	サンヨウブシ	*Aconitum sanyoense*																																●								
希少種保護のため非公開																																									
キンポウゲ	トリカブト属	*Aconitum* sp.											●					●									●															
キンポウゲ	ルイヨウショウマ	*Actaea asiatica*											●	●																				●					●			
キンポウゲ	ヤマオダマキ	*Aquilegia buergeriana*																														●									
希少種保護のため非公開																																									
キンポウゲ	オオバショウマ	*Cimicifuga acerina*																														●									
キンポウゲ	サラシナショウマ	*Cimicifuga simplex*									●		●	●	●																											
キンポウゲ	イヌショウマ	*Cimicifuga japonica*																														●									
希少種保護のため非公開																																									
キンポウゲ	ボタンヅル	*Clematis apiifolia*																						●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
キンポウゲ	コボタンヅル	*Clematis apiifolia var. biternata*																						●										●	●				●			
キンポウゲ	ハンショウヅル	*Clematis japonica*																											●			●									
キンポウゲ	クサボタン	*Clematis stans*											●				●	●		●	●	●													●		●		●			
希少種保護のため非公開																																									
キンポウゲ	カラマツソウ	*Thalictrum aquilegiifolium var. intermedium*																																							●
希少種保護のため非公開																																									

表 879　高等植物のこれまで任意確認等の調査による確認種一覧（流量減少が予測されない沢 3/8）

科名	種名	学名	省RL 第4次	省RL 第5次	県RL	国立公園指定植物 S57	国立公園指定植物 2025	指標種	01 内無沢	02 魚無沢	03 瀬戸沢	04 上岳沢	05 西小石沢		06 延小屋沢	08 柳沢	10 大崩	11 徳右衛門沢	12 曲輪沢	18 車壁沢			19 燕沢	20 大尻沢北の沢	21 大尻沢		22 蛇沢南東の沢	23 破風石沢	24 下木賊沢北の沢	25 下木賊沢	26 虎杖沢	27 上千枚沢	28 下千枚沢	30 蛇沢南の沢	31 奥西河内川	32 赤石沢	33 北俣・中俣合流部付近（三伏沢）		
									これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流
希少種保護のため非公開																																						
メギ	ルイヨウボタン	*Caulophyllum robustum*																					●		●														
メギ	イカリソウ	*Epimedium grandiflorum* var. *thunbergianum*																																	●				
アケビ	ミツバアケビ	*Akebia trifoliata*																													●	●	●	●	●				
センリョウ	ヒトリシズカ	*Chloranthus japonicus*																										●				●							
センリョウ	フタリシズカ	*Chloranthus serratus*											●															●	●	●	●			●	●	●			
ウマノスズクサ	フタバアオイ	*Asarum caulescens*																							●														
希少種保護のため非公開																																						
ボタン	ボタン属	*Paeonia sp.*																											●										
マタタビ	サルナシ	*Actinidia arguta*											●	●			●	●	●	●	●	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●				
マタタビ	ミヤママタタビ	*Actinidia kolomikta*							●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●		●				●			●	●	●	●			●	●		●		
マタタビ	マタタビ	*Actinidia polygama*																						●											●	●				
オトギリソウ	オトギリソウ	*Hypericum erectum*							●				●						●	●									●								●		
希少種保護のため非公開																																						
オトギリソウ	サワオトギリ	*Hypericum pseudopetiolatum*						●						●														●	●									
オトギリソウ	オトギリソウ属	*Hypericum* sp.														●		●																					
ケシ	タケニグサ	*Macleaya cordata*																																	●				
希少種保護のため非公開																																						
アブラナ	タデノウミコンロンソウ	*Cardamine appendiculata*						●				●	●				●								●				●	●							●	●
アブラナ	コンロンソウ	*Cardamine leucantha*									●			●																								
アブラナ	マルバコンロンソウ	*Cardamine tanakae*									●		●																									
希少種保護のため非公開																																						
マンサク	マンサク	*Hamamelis japonica*																		●					●									●	●				
マンサク	オオバマンサク	*Hamamelis japonica* var. *megalophylla*																●	●					●	●				●						●				
ベンケイソウ	ミツバベンケイソウ	*Hylotelephium verticillatum*								●													●															
ベンケイソウ	キリンソウ	*Sedum aizoon* var. *floribundum*														●	●		●		●		●									●						
希少種保護のため非公開																																						
ベンケイソウ	ヒメレンゲ	*Sedum subtile*													●															●								
ユキノシタ	チダケサシ	*Astilbe microphylla*													●																							
ユキノシタ	アカショウマ	*Astilbe thunbergii*												●	●		●	●		●	●	●	●	●	●					●		●			●				
ユキノシタ	トリアシショウマ	*Astilbe thunbergii* var. *congesta*								●	●	●	●	●	●		●	●									●	●	●	●		●	●	●	●	●			
ユキノシタ	チダケサシ属	*Astilbe sp.*																												●								
ユキノシタ	ツルアジサイ	*Calyptranthe petiolaris*												●											●													
ユキノシタ	クサアジサイ	*Cardiandra alternifolia*																																	●				
ユキノシタ	ツルネコノメソウ	*Chrysosplenium flagelliferum*							●															●	●					●									
ユキノシタ	ネコノメソウ属	*Chrysosplenium sp.*																												●								
ユキノシタ	ギンバイソウ	*Deinanthe bifida*																							●			●										
ユキノシタ	ウツギ	*Deutzia crenata*														●	●	●		●	●	●							●	●	●	●	●	●	●			
ユキノシタ	ヒメウツギ	*Deutzia gracilis*										●				●							●		●					●	●	●		●	●	●			
ユキノシタ	マルバウツギ	*Deutzia scabra*																																	●				
ユキノシタ	コアジサイ	*Hydrangea hirta*														●		●		●	●	●		●	●	●			●						●	●			
ユキノシタ	タマアジサイ	*Hydrangea involucrata*																			●	●			●				●	●					●	●			
ユキノシタ	ヤマアジサイ	*Hydrangea macrophylla* var. *acuminata*												●		●	●			●	●	●	●						●	●					●	●			
ユキノシタ	ノリウツギ	*Hydrangea paniculata*											●	●		●	●	●	●	●	●				●										●	●	●		
ユキノシタ	ゴトウヅル	*Hydrangea petiolaris*							●			●						●							●					●						●	●			
ユキノシタ	ガクウツギ	*Hydrangea scandens*												●																									
ユキノシタ	バイカウツギ	*Philadelphus satsumi*											●			●	●		●	●	●	●	●	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●		
希少種保護のため非公開																																						
ユキノシタ	コマガタケスグリ	*Ribes japonicum*																																				●
ユキノシタ	ザリコミ	*Ribes maximowiczianum*							●			●	●			●			●		●		●		●							●			●	●	●		
希少種保護のため非公開																																						
ユキノシタ	ヤグルマソウ	*Rodgersia podophylla*								●	●		●	●	●			●	●	●	●			●	●	●			●	●	●			●	●		●		
希少種保護のため非公開																																						
ユキノシタ	イワガラミ	*Schizophragma hydrangeoides*												●				●					●		●			●	●	●	●	●		●	●	●			
ユキノシタ	ズダヤクシュ	*Tiarella polyphylla*									●		●		●																								●
バラ	キンミズヒキ	*Agrimonia japonica*											●																									
バラ	アズキナシ	*Aria alnifolia*										●		●						●			●	●	●				●		●	●	●	●	●	●			
バラ	ヤマブキショウマ	*Aruncus dioicus* var. *tenuifolius*									●				●				●	●	●	●	●		●					●							●	●	●
バラ	タカネザクラ	*Cerasus nipponica* var.*nipponica*												●																								●
希少種保護のため非公開																																						
バラ	ダイコンソウ	*Geum japonicum*									●		●									●			●			●	●			●						
バラ	ヤマブキ	*Kerria japonica*																											●	●					●				
バラ	オオウラジロノキ	*Malus tschonoskii*																													●				●				
バラ	ミツモトソウ	*Potentilla cryptotaeniae* var. *insularis*																											●										
希少種保護のため非公開																																						
バラ	カマツカ	*Pourthiaea villosa* var. *laevis*																											●										
バラ	チョウジザクラ	*Prunus apetala*							●			●	●					●										●							●		●		
バラ	ウワミズザクラ	*Prunus grayana*																		●		●			●			●	●		●	●		●	●			
バラ	マメザクラ	*Prunus incisa*																	●				●									●							
希少種保護のため非公開																																						
バラ	エゾヤマザクラ	*Prunus sargentii*																														●			●				
バラ	カスミザクラ	*Prunus verecunda*																●						●								●				●			
バラ	ヤマナシ	*Pyrus pyrifolia*																																	●				
バラ	ヤブヘビイチゴ	*Potentilla indica*																	●																				
バラ	ツルキンバイ	*Potentilla yokusaiana*								●	●		●																										
バラ	アズマイバラ	*Rosa luciae*																		●			●									●	●		●	●			
希少種保護のため非公開																																						

表 880　高等植物のこれまで任意確認等の調査による確認種一覧（流量減少が予測されない沢 4/8）

科名	種名	学名	省RL 第4次	省RL 第5次	県RL	国立公園指定植物 S57	国立公園指定植物 2025	指標種	01 内無沢	02 魚無沢	03 瀬戸沢	04 上岳沢	05 西小石沢		西小石沢下の移動中	06 延小屋沢	08 柳沢	10 大崩	11 徳右衛門沢	12 曲輪沢	18 車屋沢			19 燕沢	20 大尻沢北の沢	21 大尻沢		22 蛇沢南東の沢	23 破風石沢	24 下木賊沢北の沢	25 下木賊沢	26 虎杖沢	27 上千枚沢	28 下千枚沢	30 蛇沢南の沢	31 奥西河内川	32 赤石沢	33 北俣・中俣合流部付近（三伏沢）		
									これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7秋/移動中	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流
バラ	ノイバラ	*Rosa multiflora*																																					
バラ	クマイチゴ	*Rubus crataegifolius*							●	●	●	●	●				●	●			●					●		●		●	●	●		●		●	●	●	
バラ	エゾキイチゴ	*Rubus idaeus*													●																								
バラ	ミヤマウラジロイチゴ	*Rubus idaeus subsp. nipponicus*																						●		●										●			
バラ	バライチゴ	*Rubus illecebrosus*																			●			●		●			●	●	●	●	●	●	●	●			
バラ	クロイチゴ	*Rubus mesogaeus*																												●	●					●	●		
バラ	ニガイチゴ	*Rubus microphyllus*																																		●			
バラ	ミヤマニガイチゴ	*Rubus microphyllus* var. *subcrataegifolius*																											●										
希少種保護のため非公開																																							
バラ	モミジイチゴ	*Rubus palmatus* var. *coptophyllus*														●														●		●				●	●		
希少種保護のため非公開																																							
バラ	エビガライチゴ	*Rubus phoenicolasius*																		●								●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
バラ	ヒメゴヨウイチゴ	*Rubus pseudojaponicus Koidz.*																																					●
バラ	シナノキイチゴ	*Rubus yabei* f. *marmoratus*								●	●																											●	
バラ	キイチゴ属	*Rubus* sp.							●			●				●			●																		●			
バラ	ナナカマド	*Sorbus commixta*							●	●	●	●	●			●		●		●																	●	●	●
バラ	ウラジロノキ	*Sorbus japonica*							●			●	●			●																			●	●		●		
バラ	ウラジロナナカマド	*Sorbus matsumurana (Makino) Koehne*																																					●
バラ	シモツケ	*Spiraea japonica*											●																									●		
希少種保護のため非公開																																							
バラ	アイヅシモツケ	*Spiraea ussuriensis*								●	●		●			●																					●	●		
バラ	コゴメウツギ	*Stephanandra incisa*																										●			●		●		●	●			
マメ	ヌスビトハギ	*Desmodium podocarpium* ssp. *oxyphyllum*																											●	●					●	●			
マメ	ヤブハギ	*Desmodium podocarpium* ssp. *oxyphyllum* var. *mandshuricum*																																	●				
マメ	キハギ	*Lespedeza buergeri*																															●		●	●			
希少種保護のため非公開																																							
マメ	イヌエンジュ	*Maackia amurensis* var. *buergeri*																			●			●	●				●	●			●						
マメ	シロツメクサ	*Trifolium repens*																																		●			
カタバミ	コミヤマカタバミ	*Oxalis acetosella*							●	●	●	●	●	●	●				●																		●		●
カタバミ	カタバミ	*Oxalis corniculata*																												●									
カタバミ	ミヤマカタバミ	*Oxalis griffithii*								●	●		●																										
フウロソウ	ゲンノショウコ	*Geranium thunbergii*																			●			●						●	●								
希少種保護のため非公開																																							
ミカン	キハダ	*Phellodendron amurense*																														●							
ミカン	サンショウ	*Zanthoxylum piperitum*																											●	●	●	●		●		●			
ウルシ	ツタウルシ	*Rhus ambigua*											●						●		●				●	●	●			●		●							
ウルシ	ヌルデ	*Rhus javanica* var. *roxburgii*																																		●			
ウルシ	ヤマウルシ	*Rhus trichocarpa*																											●								●		
ムクロジ	アサノハカエデ	*Acer argutum*																								●	●												
ムクロジ	ホソエカエデ	*Acer capillipes*																			●	●	●			●					●	●	●		●	●			
ムクロジ	チドリノキ	*Acer carpinifolium*																							●	●		●	●	●	●			●	●	●			
ムクロジ	ミツデカエデ	*Acer cissifolium*																			●						●					●		●		●			
ムクロジ	ウリカエデ	*Acer crataegifolium*																																		●			
ムクロジ	カジカエデ	*Acer diabolicum*														●																●							
ムクロジ	ヒトツバカエデ	*Acer distylum*																							●	●											●		
ムクロジ	ハウチワカエデ	*Acer japonicum*								●	●		●	●		●	●	●	●	●	●					●	●	●		●	●	●		●		●	●	●	
ムクロジ	コミネカエデ	*Acer micranthum*													●	●												●			●					●	●	●	
ムクロジ	イタヤカエデ	*Acer mono*																			●							●											
ムクロジ	ウラゲエンコウカエデ	*Acer mono* f. *connivens*																													●	●				●			
ムクロジ	エンコウカエデ	*Acer mono* f. *marmoratum*																		●				●		●	●	●				●	●						
ムクロジ	オニイタヤ	*Acer mono* var. *ambiguum*											●			●			●	●							●		●		●	●		●	●	●	●		
ムクロジ	アカイタヤ	*Acer mono* var. *mayrii*																										●											
ムクロジ	イトマキイタヤ	*Acer mono* var. *trichobasis*												●		●	●								●						●			●	●	●			
ムクロジ	メグスリノキ	*Acer nikoense*																		●	●					●		●	●	●	●	●		●	●	●			
ムクロジ	テツカエデ	*Acer nipponicum*																							●	●													
ムクロジ	イロハモミジ	*Acer palmatum*																							●	●		●	●		●	●			●				
ムクロジ	オオモミジ	*Acer palmatum* var. *amoenum*															●							●			●		●	●	●	●	●	●		●	●		
ムクロジ	フカギレオオモミジ	*Acer palmatum* var. *amoenum* f. *palmatipartitum*																																	●	●			
ムクロジ	ウリハダカエデ	*Acer rufinerve*																				●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●			●	●		
ムクロジ	オオイタヤメイゲツ	*Acer shirasawanum*																			●								●										
ムクロジ	イタヤメイゲツ（コハウチワカエデ）	*Acer sieboldianum*														●	●										●	●	●	●	●	●		●	●	●			
ムクロジ	ヒナウチワカエデ	*Acer tenuifolium*										●	●			●							●					●			●	●	●		●		●	●	
ムクロジ	ミネカエデ	*Acer tschonoskii*							●	●	●		●	●	●				●	●																			
ムクロジ	オガラバナ	*Acer ukurunduense*							●		●	●	●	●	●				●																		●	●	●
アワブキ	アワブキ	*Meliosma myriantha*																									●		●						●	●			
ツリフネソウ	キツリフネ	*Impatiens noli-tangere*							●		●	●	●	●		●	●		●	●						●				●	●	●			●		●	●
モチノキ	アオハダ	*Ilex macropoda*																							●	●													
モチノキ	ツルツゲ	*Ilex rugosa*											●																										
ニシキギ	ツルウメモドキ	*Celastrus orbiculatus*														●			●	●																			
ニシキギ	オニツルウメモドキ	*Celastrus orbiculatus* var. *papillosus*														●		●				●	●	●	●	●		●				●		●	●		●		
ニシキギ	ニシキギ	*Euonymus alatus*																																●					
ニシキギ	ツルマサキ	*Euonymus fortunei* var. *radicans*																					●			●			●	●	●	●	●		●	●	●		
ニシキギ	ヒロハツリバナ	*Euonymus macropterus*								●	●																												
ニシキギ	サワダツ	*Euonymus melananthus*																						●		●			●										
ニシキギ	ツリバナ	*Euonymus oxyphyllus*										●	●																			●			●				
ニシキギ	マユミ	*Euonymus sieboldianus*																										●											
ニシキギ	カントウマユミ	*Euonymus sieboldianus* var. *sanguineus*							●							●				●											●				●	●			
希少種保護のため非公開																																							
ミツバウツギ	ミツバウツギ	*Staphylea bumalda*																														●							
クロウメモドキ	ミヤマクマヤナギ	*Berchemia pauciflora*														●																							
クロウメモドキ	クロカンバ	*Rhamnus costata*																						●	●	●					●			●					
クロウメモドキ	クロウメモドキ	*Rhamnus japonica* var. *decipiens*																																●					

表 881　高等植物のこれまで任意確認等の調査による確認種一覧（流量減少が予測されない沢 5/8）

科名	種名	学名	省RL 第4次	省RL 第5次	県RL	国立公園指定植物 S57	国立公園指定植物 2025	指標種	01 内無沢	02 魚無沢	03 瀬戸沢	04 上岳沢	05 西小石沢			06 経小屋沢	08 柳沢	10 大崩	11 徳右衛門沢	12 曲輪沢	18 車壁沢			19 燕沢	20 大尻沢北の沢	21 大尻沢			22 蛇沢南東の沢	23 破風石沢	24 下木賊沢北の沢	25 下木賊沢	26 虎杖沢	27 上千枚沢	28 下千枚沢	30 蛇沢南の沢	31 奥西河内川	32 赤石沢	33 北俣・中俣合流部付近（三伏沢）		
									これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7秋/移動中	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流
ブドウ	ツタ	*Parthenocissus tricuspidata*																																						
ブドウ	ヤマブドウ	*Vitis coignetiae*																	●	●	●	●	●			●	●	●	●				●								
シナノキ	シナノキ	*Tilia japonica*									●		●			●			●		●	●		●	●	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●			
希少種保護のため非公開																																								
スミレ	エイザンスミレ	*Viola eizanensis*																														●			●	●				
スミレ	タチツボスミレ	*Viola grypoceras*											●			●	●	●	●										●			●	●		●					
スミレ	アカフタチツボスミレ	*Viola grypoceras f. variegata*																																	●					
スミレ	ツボスミレ	*Viola verecunda*											●																											
スミレ	スミレ属	*Viola sp.*														●																								
キブシ	キブシ	*Stachyurus praecox*																																	●		●	●		
アカバナ	ミヤマタニタデ	*Circaea alpina*										●			●	●				●						●			●	●	●	●	●							●
アカバナ	ウシタキソウ	*Circaea cordata*																			●															●				
アカバナ	タニタデ	*Circaea erubescens*						●		●	●		●																	●		●			●	●	●	●		
アカバナ	ケゴンアカバナ	*Epilobium amurense*								●			●	●		●	●	●			●										●	●								●
アカバナ	イワアカバナ	*Epilobium cephalostigma*							●		●	●	●	●		●	●		●	●		●	●	●		●					●	●	●	●	●			●	●	
希少種保護のため非公開																																								
ウリノキ	ウリノキ	*Alangium platanifolium* var. *trilobum*																										●	●	●		●								
希少種保護のため非公開																																								
ミズキ	ミズキ	*Cornus controversa*																						●	●	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●			
ミズキ	クマノミズキ	*Cornus macrophylla*																								●														
ミズキ	ハナイカダ	*Helwingia japonica*																							●	●							●							
ウコギ	コシアブラ	*Acanthopanax sciadophylloides*														●									●	●											●			
ウコギ	ウド	*Aralia cordata*														●	●			●	●		●			●											●	●	●	
ウコギ	タラノキ	*Aralia elata*									●		●			●		●			●			●		●							●				●	●		
ウコギ	オオバチドメ	*Hydrocotyle javanica*						●							●																									
ウコギ	ハリギリ	*Kalopanax pictus*																●			●	●		●	●	●			●	●		●	●			●	●			
ウコギ	ハリブキ	*Oplopanax japonicus*								●			●													●					●		●				●			●
ウコギ	トチバニンジン	*Panax japonicus*																								●					●		●				●			
セリ	アマニュウ	*Angelica edulis*											●							●	●																	●		
セリ	ミヤマトウキ	*Angelica acutiloba* ssp. *iwatensis*								●	●		●																											
セリ	ハナビゼリ	*Angelica inaequalis*																		●						●					●									
セリ	シラネセンキュウ	*Angelica polymorpha*							●	●	●	●	●			●	●		●	●	●	●	●	●		●			●	●	●							●		
希少種保護のため非公開																																								
セリ	セリ	*Oenanthe javanica ssp.javanica*												●	●																									
セリ	セントウソウ	*Chamaele decumbens*											●				●																							
セリ	ミツバ	*Cryptotaenia japonica*																													●				●					
セリ	ヤブニンジン	*Osmorhiza aristata*												●	●																		●							
希少種保護のため非公開																																								
セリ	イワセントウソウ	*Pternopetalum tanakae*								●	●		●												●	●									●					●
セリ	ウマノミツバ	*Sanicula chinensis*																					●								●				●					
セリ	ヤブジラミ	*Torilis japonica*																																●	●					
希少種保護のため非公開																																								
リョウブ	リョウブ	*Clethra barbinervis*														●		●	●	●	●	●			●	●				●	●	●	●		●	●	●	●		
希少種保護のため非公開																																								
イチヤクソウ	アキノギンリョウソウ	*Monotropa uniflola*																							●													●		
希少種保護のため非公開																																								
イチヤクソウ	イチヤクソウ	*Pyrola japonica*																						●	●	●							●				●			
希少種保護のため非公開																																								
ツツジ	アブラツツジ	*Enkianthus subsessilis*									●		●																											
ツツジ	ハナヒリノキ	*Eubotryoides grayana (Maxim.) H.Hara var. grayana*																																						●
ツツジ	ネジキ	*Lyonia ovalifolia* var. *elliptica*																								●									●	●				
希少種保護のため非公開																																								
ツツジ	コヨウラクツツジ	*Menziesia pentandra*																																						●
ツツジ	アセビ	*Pieris japonica*																						●	●	●	●													
希少種保護のため非公開																																								
ツツジ	ヤマツツジ	*Rhododendron obtusum* var. *kaempferi*								●							●				●																			
希少種保護のため非公開																																								
ツツジ	ホツツジ	*Tripetaleia paniculata*									●																													
ツツジ	コウスノキ	*Vaccinium hirtum Thunb. var. hirtum*																																						●
ツツジ	ウスノキ	*Vaccinium hirtum Thunb. var. pubescens (Koidz.) T.Yamaz.*									●																													●
ツツジ	スノキ	*Vaccinium smallii var. versicolor*																																					●	
サクラソウ	ナガエコナスビ	*Lysimachia japonica*																																●						
サクラソウ	コナスビ	*Lysimachia japonica f. subsessilis*																					●						●	●				●				●		
希少種保護のため非公開																																								
エゴノキ	ハクウンボク	*Styrax obassia*																						●				●	●		●	●			●					
モクセイ	ミヤマアオダモ	*Fraxinus apertisqamifera*												●																●		●								
モクセイ	アラゲアオダモ	*Fraxinus lanuginosa*														●	●							●	●	●						●			●	●				
モクセイ	ケアオダモ	*Fraxinus lanuginosa* f. *lanuginosa*																				●	●				●													
モクセイ	アオダモ	*Fraxinus lanuginosa* f. *serrata*															●	●	●	●	●								●	●		●	●		●	●				
モクセイ	ヤマトアオダモ	*Fraxinus longicuspis*											●	●																								●		
モクセイ	マルバアオダモ	*Fraxinus sieboldiana*																									●											●		
モクセイ	シオジ	*Fraxinus spaethiana*						●																		●							●		●	●				
モクセイ	ミヤマイボタ	*Ligustrum tschonoskii*														●	●									●			●	●	●	●		●	●	●	●			
希少種保護のため非公開																																								
リンドウ	フデリンドウ	*Gentiana zollingeri*																								●	●	●		●										
希少種保護のため非公開																																								

表 882　高等植物のこれまで任意確認等の調査による確認種一覧（流量減少が予測されない沢 6/8）

科名	種名	学名	省RL 第4次	省RL 第5次	県RL	国立公園 指定植物 S57	国立公園 指定植物 2025	指標 種	01 内無沢	02 魚無沢	03 瀬戸沢	04 上岳沢	05 西小石沢		西小石沢までの移動中	06 延小屋沢	08 柳沢	10 大崩	11 徳右衛門沢	12 曲輪沢	18 車壁沢			19 燕沢	20 大尻沢北の沢	21 大尻沢			22 蛇沢南東の沢	23 破風石沢	24 下木賊沢北の沢	25 下木賊沢	26 虎杖沢	27 上千枚沢	28 下千枚沢	30 蛇沢南の沢	31 奥西河内川	32 赤石沢	33 北俣・中俣合流部付近（三伏沢）		
									これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7秋/移動中	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで		これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流
キョウチクトウ	テイカカズラ	*Trachelospermum asiaticum* f. *intermedium*																										●		●					●						
希少種保護のため非公開																																								
ガガイモ	イケマ	*Cynanchum caudatum*										●								●	●	●	●	●			●		●	●	●	●		●	●	●	●	●			
アカネ	クルマバソウ	*Asperula odorata*											●																									●			
アカネ	クルマムグラ	*Galium japonicum*									●						●																	●			●			
アカネ	エゾノヨツバムグラ	*Galium kamtschaticum*								●	●																													●
アカネ	オオバノヨツバムグラ	*Galium kamtschaticum* var. *acutifolium*												●			●																							
アカネ	キクムグラ	*Galium kikumugura*												●																										
アカネ	キヌタソウ	*Galium kinuta*								●	●	●	●	●			●	●	●	●		●				●											●	●		
アカネ	ミヤマムグラ	*Galium paradoxum*							●													●				●	●	●				●								
アカネ	オオバノヤエムグラ	*Galium pseudo-asprellum*																														●			●					
アカネ	ヤエムグラ	*Galium spurium* var. *echinospermon*																																●						
アカネ	オククルマムグラ	*Galium trifloriforme*												●																	●	●	●							
アカネ	ヤイトバナ	*Paederia scandens*																																	●					
ムラサキ	オニルリソウ	*Cynoglossum asperrimum*																	●					●																
ムラサキ	オオルリソウ	*Cynoglossum zeylanicum* var. *villosulum*																																					●	
ムラサキ	ヤマルリソウ	*Omphalodes japonica*																													●									
クマツヅラ	ムラサキシキブ	*Callicarpa japonica*												●										●				●	●	●	●	●			●	●	●			
クマツヅラ	ヤブムラサキ	*Callicarpa mollis*																																		●				
シソ	クルマバナ	*Clinopodium chinense* var. *parviflorum*																																●						
シソ	ジャコウソウ	*Chelonopsis moschata*												●	●																									
シソ	イヌトウバナ	*Clinopodium micranthum*											●	●			●	●		●	●											●	●		●	●	●		●	
シソ	ミヤマトウバナ	*Clinopodium sachalinense*																						●				●		●	●	●							
シソ	ナギナタコウジュ	*Elsholtzia ciliata*															●	●			●									●			●	●						
シソ	テンニンソウ	*Leucosceptrum japonicum*															●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
シソ	セキヤノアキチョウジ	*Rabdosia effusa*																										●								●	●			
シソ	コウシンヤマハッカ	*Isodon umbrosus* var. *latifolius*							●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●					●		●										●	●	
シソ	イヌコウジュ	*Mosla scabra*																								●														
ナス	ヤマホロシ	*Solanum japonense*																			●			●	●			●				●	●		●			●		
フジウツギ	フサフジウツギ	*Buddleja davidii*																																●						
フジウツギ	フジウツギ	*Buddleja japonica*																			●			●	●									●				●		
希少種保護のため非公開																																								
キリ	キリ	*Paulownia tomentosa*																						●																
ハエドクソウ	ハエドクソウ	*Phryma leptostachya* ssp. *asiatica*																			●			●					●			●		●		●				
オオバコ	オオバコ	*Plantago asiatica*											●							●	●			●					●	●				●		●	●			
スイカズラ	ツクバネウツギ	*Abelia spathulata*							●	●	●	●	●							●										●	●									
希少種保護のため非公開																																								
スイカズラ	ヤマウグイスカグラ	*Lonicera gracilipes*																						●																
スイカズラ	ニワトコ	*Sambucus racemosa* ssp. *sieboldiana* var. *sieboldiana*							●	●	●	●	●				●									●						●				●	●	●		
スイカズラ	ガマズミ	*Viburnum dilatatum*																																			●	●		
スイカズラ	コバノガマズミ	*Viburnum erosum* var. *punctatum*																																●			●	●		
スイカズラ	オオカメノキ	*Viburnum furcatum*							●	●	●		●	●				●	●	●	●						●										●	●	●	
スイカズラ	オトコヨウゾメ	*Viburnum phlebotrichum*																																			●			
スイカズラ	ヤブデマリ	*Viburnum plicatum* var. *tomentosum*																										●											
スイカズラ	ミヤマガマズミ	*Viburnum wrightii*																		●						●										●			
スイカズラ	オオミヤマガマズミ	*Viburnum wrightii* var. *stipellatum*																																●	●		●			
スイカズラ	ニシキウツギ	*Weigela decora*							●			●	●				●	●	●	●	●	●	●			●					●	●		●		●	●	●		
スイカズラ	ヤブウツギ	*Weigela floribunda*																			●			●																
スイカズラ科	タニウツギ	*Weigela hortensis*												●																										
希少種保護のため非公開																																								
オミナエシ	オトコエシ	*Patrinia villosa*																													●									
キキョウ	ソバナ	*Adenophora remotiflora*									●		●				●	●				●																●		
希少種保護のため非公開																																								
キキョウ	ホタルブクロ	*Campanula punctata* var. *punctata*																								●														
希少種保護のため非公開																																								
キク	ノブキ	*Adenocaulon himalaicum*											●																											
キク	オクモミジハグマ	*Ainsliaea acerifolia* var. *subapoda*											●								●				●	●												●		
キク	カワラヨモギ	*Artemisia capillaris*																								●														
キク	ヤマハハコ	*Anaphalis margaritacea*							●	●	●	●	●	●		●	●	●			●			●					●			●				●		●	●	●
キク	ヤハズハハコ	*Anaphalis sinica*												●			●	●																						
希少種保護のため非公開																																								
キク	オトコヨモギ	*Artemisia japonica*																																		●				
キク	イヌヨモギ	*Artemisia keiskeana*														●	●	●						●											●		●			
キク	オオヨモギ	*Artemisia montana*							●	●	●	●	●	●		●	●		●		●													●			●		
キク	ヨモギ	*Artemisia princeps*							●			●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●			●				●	●			●	●	●	●	●	●	
キク	シロヨメナ	*Aster ageratoides* ssp. *leiophyllus*									●		●	●		●	●		●	●				●		●			●					●			●		
キク	ノコンギク	*Aster ageratoides* ssp. *ovatus*							●	●	●		●			●	●	●	●	●	●			●				●	●				●	●			●	●	
キク	ゴマナ	*Aster glehnii* var. *hondoensis*							●				●																											
希少種保護のため非公開																																								
キク	ウスゲタマブキ	*Cacalia farfaraefolia*															●											●												
キク	ヨブスマソウ	*Cacalia hastata* var. *orientalis*																										●												
希少種保護のため非公開																																								
キク	ヤマタイミンガサ	*Cacalia yatabei*								●		●	●				●	●														●						●		
キク	ヒメガンクビソウ	*Carpesium rosulatum*																																	●						
キク	ミヤマヤブタバコ	*Carpesium triste*							●	●	●			●								●								●	●									
キク	ホソエノアザミ	*Cirsium effusum*								●	●		●																											
キク	ホウキアザミ	*Cirsium gratiosum* var. *gratiosum*													●																								●	
キク	フジアザミ	*Cirsium purpuratum*								●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●								●					●	●	●	●
希少種保護のため非公開																																								
キク	アザミ属	*Cirsium* sp.							●			●	●				●	●																				●		
キク	リュウノウギク	*Dendranthema japonicum*															●		●		●		●	●	●								●	●					●	
キク	ダンドボロギク	*Erechtites hieracifolia*																						●																
キク	ハルジオン	*Erigeron philadelphicus*																																				●			
キク	ヒヨドリバナ	*Eupatorium chinense* var. *oppositifolium*															●																					●			

表 883　高等植物のこれまで任意確認等の調査による確認種一覧（流量減少が予測されない沢 7/8）

科名	種名	学名	省RL 第4次	省RL 第5次	県RL	国立公園指定植物 S57	国立公園指定植物 2025	指標種	01 内無沢	02 魚無沢	03 瀬戸沢	04 上岳沢	05 西小石沢			西小石沢までの動物中	06 延小屋沢	08 柳沢	10 大崩	11 徳右衛門沢	12 曲輪沢	18 車壁沢			19 燕沢	20 大尻沢北の沢	21 大尻沢			22 蛇沢南東の沢	23 破風石沢	24 下木賊沢北の沢	25 下木賊沢	26 虎狄沢	27 上千枚沢	28 下千枚沢	30 蛇沢南の沢	31 奥西河内川	32 赤石沢	33 北俣・中俣合流部付近（三伏沢）		
									これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7秋/移動中	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流
キク	ヨツバヒヨドリ	*Eupatorium chinense* ssp. *sachalinense*							●			●	●					●			●	●	●											●	●			●	●			
キク	サワヒヨドリ	*Eupatorium lindleyanum*								●	●		●																			●									
キク	ブタナ	*Hypochaeris radicata*																						●			●														
キク	イワニガナ	*Ixeris stolonifera*								●					●		●	●						●																	
キク	ミヤマイワニガナ	*Ixeris stolonifera* f. *capillaris*																																							●
キク	ヨメナ	*Kalimeris yomena*																														●									
キク	ヤマニガナ	*Lactuca raddeana* var. *elata*																																●							
希少種保護のため非公開																																								
キク	サワギク	*Nemosenecio nikoensis*						●			●		●											●			●						●	●							
キク	コウモリソウ	*Parasenecio maximowiczianus*							●			●	●					●		●	●		●															●			
キク	ナガバノコウヤボウキ	*Pertya glabrescens*																							●										●		●	●			
キク	コウヤボウキ	*Pertya scandens*																																			●				
キク	フキ	*Petasites japonicus*									●		●					●				●	●	●	●						●	●			●		●	●	●	●	
希少種保護のため非公開																																								
キク	コウゾリナ	*Picris hieracioides* var. *glabrescens*							●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●			●								●		●	●		●	●	●		
キク	フクオウソウ	*Prenanthes acerifolia*												●																							●	●			
キク	ハンゴンソウ	*Senecio cannabifolius*											●																										●		
希少種保護のため非公開																																								
キク	キオン	*Senecio nemorensis*								●	●	●	●		●		●			●																			●	●	
キク	アキノキリンソウ	*Solidago virgaurea* var. *asiatica*								●	●	●	●	●	●		●	●	●																			●	●	●	
希少種保護のため非公開																																								
キク	ヒメジョオン	*Stenactis annuus*																			●						●					●			●						
キク	ノゲシ	*Sonchus oleraceus*																																				●			
キク	ヤブレガサ	*Syneilesis palmata*																		●																●	●			
キク	オヤマボクチ	*Synurus pungens*									●		●	●			●	●			●		●														●	●	●		
希少種保護のため非公開																																								
キク	セイヨウタンポポ	*Taraxacum officinale*																									●														
キク	ヤクシソウ	*Youngia denticulata*																			●	●			●					●		●	●		●	●	●	●	●		
キク	オニタビラコ	*Youngia japonica*																																	●						
希少種保護のため非公開																																								
ユリ	チゴユリ	*Disporum smilacinum*																							●							●						●			
ユリ	トウギボウシ	*Hosta seiboldiana*																																		●					
ユリ	コバギボウシ	*Hosta sieboldii* f. *lancifolia*																																		●					
希少種保護のため非公開																																								
ユリ	マイヅルソウ	*Maianthemum dilatatum*								●	●		●		●										●	●						●						●			●
ユリ	ツクバネソウ	*Paris tetraphylla*																								●	●				●				●			●	●		
希少種保護のため非公開																																								
ユリ	ナルコユリ	*Polygonatum falcatum*																			●																				
希少種保護のため非公開																																								
ユリ	シオデ	*Smilax riparia* var. *ussuriensis*																																				●			
ユリ	ヤマカシュウ	*Smilax sieboldii*																				●		●								●		●	●			●			
ユリ	タケシマラン	*Streptopus streptopoides* var. *japonicus*									●		●													●															●
ユリ	ヒメタケシマラン	*Streptopus streptopoides* (Ledeb.) Frye et Rigg subsp. *streptopoides*																																							●
ユリ	ホトトギス	*Tricyrtis hirta*																																●	●			●			
希少種保護のため非公開																																								
ユリ	ホトトギス属	*Tricyrtis* sp.												●																											
希少種保護のため非公開																																								
ユリ	エンレイソウ属	*Trillium* sp.																																●							
希少種保護のため非公開																																								
ヤマノイモ	ウチワドコロ	*Dioscorea nipponica*																																				●			
イネ	エゾカモジグサ	*Agropyron yezoense*								●																															
イネ	ヤマヌカボ	*Agrostis clavata*										●					●				●																				
イネ	ヌカボ	*Agrostis clavata* ssp. *matsumurae*									●																														
希少種保護のため非公開																																								
イネ	タカネコウボウ	*Anthoxanthum japonicum*							●	●								●		●																			●	●	
イネ	ヤマカモジグサ	*Brachypodium sylvaticum*											●				●	●	●	●			●				●												●		
イネ	ヒメノガリヤス	*Calamagrostis hakonensis*							●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●								●		●			●	●	●	
イネ	イワノガリヤス	*Calamagrostis purpurea* ssp. *langsdorfii*															●										●														
イネ	タカネノガリヤス	*Calamagrostis sachalinensis*																																							●
イネ	タツノヒゲ	*Diarrhena japonica*															●																								
イネ	アキメヒシバ	*Digitaria violascens*																																				●			
希少種保護のため非公開																																								
イネ	ウラハグサ	*Hakonechloa macra*																																				●	●		
イネ	ミチシバ	*Merica onoei*															●	●																							
イネ	アシボソ	*Microstegium vimineum* var. *polystachyum*																														●									
イネ	カリヤスモドキ	*Miscanthus oligostachyus*																					●																	
イネ	ススキ	*Miscanthus sinensis*															●	●			●	●			●						●				●	●		●	●	●	
イネ	ミヤマネズミガヤ	*Muhlenbergia ourviaristata* var. *nipponica*									●	●	●																										●		
イネ	タチネズミガヤ	*Muhlenbergia hakonensis*																		●																					
イネ	ネズミガヤ	*Muhlenbergia japonica*																●															●								
イネ	スズメノカタビラ	*Poa annua*																														●									
希少種保護のため非公開																																								
サトイモ	マムシグサ	*Arisaema serratum*											●							●	●																	●			
サトイモ	テンナンショウ属	*Arisaema* sp.																																	●						

表 884　高等植物のこれまで任意確認等の調査による確認種一覧（流量減少が予測されない沢 8/8）

科名	種名	学名	省RL 第4次	省RL 第5次	県RL	国立公園指定植物 S57	国立公園指定植物 2025	指標種	01 内無沢	02 魚無沢	03 瀬戸沢	04 上岳沢	05 西小石沢		西小石沢までの移動中	06 延小屋沢	08 柳沢	10 大崩	11 徳右衛門沢	12 曲輪沢	18 車壁沢			19 燕沢	20 大尻北の沢	21 大尻沢			22 蛇沢南東の沢	23 破風石沢	24 下木城沢北の沢	25 下木賊沢	26 虎杖沢	27 上千枚沢	28 下千枚沢	30 蛇沢南の沢	31 奥西河内川	32 赤石沢	33 北俣・中俣合流部付近（三伏沢）		
									これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	R7秋/移動中	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	これまで	R7秋/下流	R7夏秋/上流
希少種保護のため非公開																																								
シュロソウ	バイケイソウ	*Veratrum oxysepalum Turcz.　var. oxysepalum*																																						●
カヤツリグサ	エナシヒゴクサ	*Carex aphanolepis*																																		●				
希少種保護のため非公開																																								
カヤツリグサ	コハリスゲ	*Carex hakonensis*																																						●
カヤツリグサ	テキリスゲ	*Carex kiotensis*																			●																			
カヤツリグサ	ヒゴクサ	*Carex japonica*																																	●					
カヤツリグサ	ミヤマカンスゲ	*Carex multifolia*																																			●			
カヤツリグサ	コカンスゲ	*Carex reinii*																																		●				
カヤツリグサ	ミヤマアオスゲ	*Carex sachalinensis F.Schmidt　var. longiuscula Ohwi*																																						●
カヤツリグサ	スゲ属	*Carex sp.*																																●						
希少種保護のため非公開																																								
ラン	クモキリソウ属	*Liparis sp.*																													●										
希少種保護のため非公開																																								
ラン	ジンバイソウ	*Platanthera florentii*																																●						
			20種	19種	26種	95種	105種	22種	59種	92種	108種	62種	144種	74種	44種	9種	111種	102種	51種	79種	93種	99種	59種	84種	95種	61種	83種	91種	30種	72種	118種	144種	121種	149種	100種	91種	92種	178種	200種	82種	76種	73種

4. 河川本流の植物調査

【事後調査及びモニタリング計画通し番号 182、189】

4.1. 調査期間

調査期間を表 885 に示します。

表 885　植物（植物相）の調査期間（任意確認）

地点番号	調査地点	調査実施日		
		春季	夏季	秋季
河 02	西俣 （放流箇所下流）	2024 年４月 28 日 2025 年４月 30 日	2024 年７月 15 日 2025 年８月６日 2025 年８月７日	2024 年 10 月３日 2025 年９月 18 日
河 08-2	千石 （放流箇所下流）	2024 年５月 18 日 2025 年５月 14 日	2024 年７月 13 日 2025 年７月 23 日 2025 年８月 24 日	2024 年９月 12 日 2025 年９月 17 日、 2025 年 10 月２日
河 10-3	椹島 （放流箇所下流②）	2024 年５月 17 日 2025 年５月 13 日	2024 年７月 15 日 2025 年８月４日	2024 年９月 13 日 2025 年９月 30 日

4.2. 調査結果（2024 年度）

重要種の確認種一覧を表 886、表 887 に、重要種以外の確認種一覧を表 888～表 893 に示します。なお、指標種のモニタリングは、調査で確認された種の指標性を踏まえて実施します。

表 886　植物相（任意確認）の確認種一覧（重要種）（2024 年度）

分類	科名	種名	学名	河 02 西俣(放流箇所下流)		
				春季	夏季	秋季
希少種保護のため非公開						

表 887　植物相（任意確認）の確認種一覧（重要種）（2024 年度）

分類	科名	種名	学名	調査地域					
				河 08-2 千石（放流箇所下流）			河 10-3 椹島（放流箇所下流②）		
				春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
希少種保護のため非公開									

表 888　植物相（任意確認）の確認種一覧（重要種以外）(2024 年度)

分類	科名	種名	学名	調査地域								
				河 02 西俣(放流箇所下流)			河 08-2　千石(放流箇所下流)			河 10-3　椹島(放流箇所下流②)		
				春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
シダ植物	イワヒバ	カタヒバ	*Selaginella involvens*									●
		イワヒバ	*Selaginella tamariscina*							●		
	トクサ	スギナ	*Equisetum arvense*	●	●	●		●		●	●	●
	コケシノブ	ヒメコケシノブ	*Mecodium coreanum*		●							
	コバノイシカグマ	オオレンシダ(オウレンシダ)	*Dennstaedtia wilfordii*							●		●
	シシガシラ	オサシダ	*Struthiopteris amabilis*	●						●		
	オシダ	ホソバナライシダ	*Arachniodes borealis*							●	●	
		ミヤマベニシダ	*Dryopteris monticola*			●						
		ミヤマクマワラビ	*Dryopteris polylepis*					●	●	●	●	●
		イワイタチシダ	*Dryopteris varia* var. *saxifraga*									●
		ツルデンダ	*Polystichum craspedosorum*					●	●			●
	ヒメシダ	ミヤマワラビ	*Phegopteris connectilis*	●	●	●		●				
		ハシゴシダ	*Thelypteris glanduligera*					●				
	メシダ	ヘビノネゴザ	*Athyrium yokoscense*	●	●	●						
		ハクモウイノデ	*Deparia pycnosora*					●				●
		フクロシダ	*Woodsia manchuriensis*	●	●	●			●	●		●
		イワデンダ	*Woodsia polystichoides*	●	●	●		●	●	●	●	●
	ウラボシ	ノキシノブ	*Lepisorus thunbergianus*							●		
		ナガオノキシノブ	*Lepisorus thunbergianus* var. *angustus*	●		●		●	●			
裸子植物	マツ	モミ	*Abies firma*							●		
		ウラジロモミ	*Abies homolepis*	●	●						●	
		カラマツ	*Larix kaempferi*	●	●	●		●				
		チョウセンゴヨウ	*Pinus koraiensis*		●							
		マツ属 sp.	*Pinus* sp.	●		●						
		コメツガ	*Tsuga diversifolia*							●	●	
		ツガ	*Tsuga sieboldii*	●	●	●		●			●	●
離弁花類	クルミ	サワグルミ	*Pterocarya rhoifolia*						●	●	●	●
	ヤナギ	ドロヤナギ(ドロノキ)	*Populus maximowiczii*					●	●			
		バッコヤナギ	*Salix bakko*		●	●	●	●	●	●	●	●
		オノエヤナギ	*Salix sachalinensis*		●	●	●	●	●	●	●	●
		オオバヤナギ	*Toisusu urbaniana*			●	●	●	●	●		●
	カバノキ	ミヤマヤシャブシ	*Alnus firma* var. *hirtella*			●	●		●	●	●	●
		ケヤマハンノキ	*Alnus hirsuta*				●	●	●		●	●
		ヤマハンノキ	*Alnus hirsuta* var. *sibirica*							●		
		ヤハズハンノキ	*Alnus matsumurae*			●						
		ミヤマハンノキ	*Alnus maximowiczii*		●					●		●
		ヒメヤシャブシ	*Alnus pendula*		●					●		

・分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査　植物目録 1987」（昭和 62 年、環境庁）に準拠した。

表 889　植物相（任意確認）の確認種一覧（重要種以外）(2024 年度)

分類	科名	種名	学名	調査地域								
				河 02 西俣(放流箇所下流)			河 08-2　千石(放流箇所下流)			河 10-3　椹島(放流箇所下流②)		
				春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
離弁花類	カバノキ	ダケカンバ	*Betula ermanii*		●	●						
		ミズメ	*Betula grossa*		●			●	●	●		●
		ウダイカンバ	*Betula maximowicziana*							●		
		オノオレカンバ	*Betula schmidtii*			●		●	●			
		サワシバ	*Carpinus cordata*					●		●	●	
		クマシデ	*Carpinus japonica*					●	●		●	
		アカシデ	*Carpinus laxiflora*							●		
		イヌシデ	*Carpinus tschonoskii*				●			●	●	●
		アサダ	*Ostrya japonica*							●	●	●
	ブナ	ブナ	*Fagus crenata*							●		
		イヌブナ	*Fagus japonica*									●
		ミズナラ	*Quercus mongolica* ssp. *crispula*		●	●		●	●	●	●	
	ニレ	ケヤキ	*Zelkova serrata*							●	●	●
	イラクサ	クサコアカソ	*Boehmeria gracilis*		●	●		●	●	●	●	●
		ウワバミソウ	*Elatostema umbellatum* var. *majus*							●	●	●
		イラクサ	*Urtica thunbergiana*						●			
	タデ	ミヤマタニソバ	*Persicaria debilis*		●			●	●			
		タニソバ	*Persicaria nepalensis*		●	●			●			
		ハナタデ	*Persicaria posumbu* var. *laxiflora*			●			●			●
		イタドリ	*Reynoutria japonica*	●	●	●		●	●	●	●	
	クスノキ	ダンコウバイ	*Lindera obtusiloba*							●	●	●
	フサザクラ	フサザクラ	*Euptelea polyandra*				●	●	●	●	●	●
	カツラ	カツラ	*Cercidiphyllum japonicum*	●			●	●	●	●	●	●
	キンポウゲ	ボタンヅル	*Clematis apiifolia*						●	●	●	
		コボタンヅル	*Clematis apiifolia* var. *biternata*							●		
		クサボタン	*Clematis stans*		●			●	●		●	
		センニンソウ属 sp.	*Clematis* sp.	●								
	センリョウ	フタリシズカ	*Chloranthus serratus*							●	●	●
	マタタビ	サルナシ	*Actinidia arguta*		●	●	●	●	●	●	●	
		ミヤママタタビ	*Actinidia kolomikta*			●						
		マタタビ	*Actinidia polygama*		●							●
	オトギリソウ	オトギリソウ	*Hypericum erectum*								●	
	ケシ	タケニグサ	*Macleaya cordata*							●		
	アブラナ	タデノウミコンロンソウ(ヒロハコンロンソウ)	*Cardamine appendiculata*			●						
	ベンケイソウ	キリンソウ	*Sedum aizoon* var. *floribundum*		●				●			
		ヒメレンゲ	*Sedum subtile*							●		

・分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査　植物目録 1987」（昭和 62 年、環境庁）に準拠した。

表 890　植物相（任意確認）の確認種一覧（重要種以外）(2024 年度)

分類	科名	種名	学名	調査地域								
				河 02 西俣(放流箇所下流)			河 08-2　千石(放流箇所下流)			河 10-3　椹島(放流箇所下流②)		
				春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
離弁花類	ユキノシタ	アカショウマ	*Astilbe thunbergii*	●								
		トリアシショウマ	*Astilbe thunbergii* var. *congesta*				●					
		ネコノメソウ属 sp.	*Chrysosplenium* sp.	●								
		ウツギ	*Deutzia crenata*			●	●	●	●	●	●	●
		ヒメウツギ	*Deutzia gracilis*		●	●	●			●	●	
		マルバウツギ	*Deutzia scabra*									
		コアジサイ	*Hydrangea hirta*		●	●						●
		タマアジサイ	*Hydrangea involucrata*					●	●		●	
		ヤマアジサイ	*Hydrangea macrophylla* var. *acuminata*					●	●	●	●	●
		ノリウツギ	*Hydrangea paniculata*		●	●		●	●			
		ゴトウヅル	*Hydrangea petiolaris*					●				
		バイカウツギ	*Philadelphus satsumi*		●	●	●	●				
		コマガタケスグリ	*Ribes japonicum*	●	●							
		ザリコミ	*Ribes maximowiczianum*					●				
		ヤグルマソウ	*Rodgersia podophylla*	●	●	●		●	●	●	●	●
		ユキノシタ属 sp.	*Saxifraga* sp.		●		●					
		イワガラミ	*Schizophragma hydrangeoides*							●	●	●
	バラ	ヤマブキショウマ	*Aruncus dioicus* var. *tenuifolius*					●	●			
		ダイコンソウ	*Geum japonicum*		●							
		ヤマブキ	*Kerria japonica*							●		
		オオウラジロノキ	*Malus tschonoskii*						●			
		ウワミズザクラ	*Prunus grayana*						●	●	●	
		ミヤマザクラ	*Prunus maximowiczii*			●		●		●		
		アズマイバラ	*Rosa luciae*						●			
		クマイチゴ	*Rubus crataegifolius*		●	●				●	●	●
		バライチゴ	*Rubus illecebrosus*						●	●	●	●
		クロイチゴ	*Rubus mesogaeus*									●
		ミヤマニガイチゴ	*Rubus microphyllus* var. *subcrataegifolius*		●	●						●
		モミジイチゴ	*Rubus palmatus* var. *coptophyllus*								●	
		エビガライチゴ	*Rubus phoenicolasius*		●	●						
		ミヤマウラジロイチゴ	*Rubus yabei*		●							
		ナナカマド	*Sorbus commixta*		●	●						
		ウラジロノキ	*Sorbus japonica*							●		
	マメ	イヌエンジュ	*Maackia amurensis* var. *buergeri*						●		●	
	フウロソウ	ゲンノショウコ	*Geranium thunbergii*							●	●	●
	ウルシ	ツタウルシ	*Rhus ambigua*		●							

・分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査　植物目録 1987」（昭和 62 年、環境庁）に準拠した。

表 891　植物相（任意確認）の確認種一覧（重要種以外）(2024 年度)

分類	科名	種名	学名	調査地域								
				河 02 西俣(放流箇所下流)			河 08-2　千石(放流箇所下流)			河 10-3　椹島(放流箇所下流②)		
				春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
離弁花類	カエデ	ホソエカエデ	*Acer capillipes*					●	●	●	●	●
		チドリノキ	*Acer carpinifolium*				●			●		●
		ハウチワカエデ	*Acer japonicum*		●	●				●		●
		コミネカエデ	*Acer micranthum*		●						●	
		エンコウカエデ	*Acer mono* f. *marmoratum*							●		●
		オニイタヤ	*Acer mono* var. *ambiguum*							●	●	
		イトマキイタヤ	*Acer mono* var. *trichobasis*		●	●						
		オオモミジ	*Acer palmatum* var. *amoenum*							●	●	
		ウリハダカエデ	*Acer rufinerve*					●		●		
	ツリフネソウ	キツリフネ	*Impatiens noli-tangere*		●	●		●	●			
	ニシキギ	ツルウメモドキ	*Celastrus orbiculatus*					●	●			●
		オニツルウメモドキ	*Celastrus orbiculatus* var. *papillosus*								●	
		ツルマサキ	*Euonymus fortunei* var. *radicans*							●	●	●
		サワダツ	*Euonymus melananthus*					●	●			●
		カントウマユミ	*Euonymus sieboldianus* var. *sanguineus*							●		●
	クロウメモドキ	ミヤマクマヤナギ	*Berchemia pauciflora*							●		
	ブドウ	ヤマブドウ	*Vitis coignetiae*		●	●		●	●	●	●	●
	シナノキ	シナノキ	*Tilia japonica*			●		●	●	●		
	スミレ	エイザンスミレ	*Viola eizanensis*						●	●	●	
		タチツボスミレ	*Viola grypoceras*	●						●		
	アカバナ	ミヤマタニタデ	*Circaea alpina*		●							
		タニタデ	*Circaea erubescens*						●		●	●
		ケゴンアカバナ	*Epilobium amurense*		●			●				●
		イワアカバナ	*Epilobium cephalostigma*		●	●			●			
	ミズキ	ミズキ	*Cornus controversa*							●	●	
	ウコギ	コシアブラ	*Acanthopanax sciadophylloides*							●		
		ウド	*Aralia cordata*		●	●						
		タラノキ	*Aralia elata*	●	●	●						
		ハリギリ	*Kalopanax pictus*							●	●	
	セリ	シラネセンキュウ	*Angelica polymorpha*						●			
		ミツバ	*Cryptotaenia japonica*								●	
		ヤブジラミ	*Torilis japonica*		●							
合弁花類	リョウブ	リョウブ	*Clethra barbinervis*	●	●	●		●	●	●	●	
	ツツジ	ベニドウダン	*Enkianthus cernus* f. *nipponicus*		●							
		ネジキ	*Lyonia ovalifolia* var. *elliptica*					●	●	●	●	
		ホツツジ	*Tripetaleia paniculata*		●							
	サクラソウ	コナスビ	*Lysimachia japonica* f. *subsessilis*							●		
	エゴノキ	ハクウンボク	*Styrax obassia*							●		

・分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査　植物目録 1987」（昭和 62 年、環境庁）に準拠した。

表 892　植物相（任意確認）の確認種一覧（重要種以外）(2024 年度)

分類	科名	種名	学名	調査地域								
				河 02 西俣(放流箇所下流)			河 08-2 千石(放流箇所下流)			河 10-3 椹島(放流箇所下流②)		
				春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
合弁花類	モクセイ	アラゲアオダモ	*Fraxinus lanuginosa*			●		●	●	●		
		アオダモ	*Fraxinus lanuginosa* f. *serrata*							●		●
		ミヤマイボタ	*Ligustrum tschonoskii*		●							
	ガガイモ	イケマ	*Cynanchum caudatum*					●	●	●	●	
	アカネ	キヌタソウ	*Galium kinuta*	●	●	●		●	●		●	●
	クマツヅラ	ムラサキシキブ	*Callicarpa japonica*									●
	シソ	ジャコウソウ	*Chelonopsis moschata*						●			
		ナギナタコウジュ	*Elsholtzia ciliata*			●			●			
		カキドオシ	*Glechoma hederacea* var. *grandis*									●
		テンニンソウ	*Leucosceptrum japonicum*		●	●		●	●	●	●	
		コウシンヤマハッカ	*Rabdosia umbrosa* var. *latifolia*			●						
	ナス	ヤマホロシ	*Solanum japonense*					●	●		●	
	フジウツギ	フジウツギ	*Buddleja japonica*									●
	ハエドクソウ	ハエドクソウ	*Phryma leptostachya* ssp. *asiatica*						●			
	オオバコ	オオバコ	*Plantago asiatica*	●	●	●	●	●	●			
	スイカズラ	ニワトコ	*Sambucus racemosa* ssp. *sieboldiana*	●								
		オオカメノキ	*Viburnum furcatum*	●	●	●						
		オオミヤマガマズミ	*Viburnum wrightii* var. *stipellatum*		●	●		●	●			
	キク	ヤマハハコ	*Anaphalis margaritacea*		●	●		●				●
		イヌヨモギ	*Artemisia keiskeana*		●	●		●	●			
		ヨモギ	*Artemisia princeps*	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		シロヨメナ	*Aster ageratoides* ssp. *leiophyllus*			●			●			●
		ノコンギク	*Aster ageratoides* ssp. *ovatus*			●			●			
		ウスゲタマブキ	*Cacalia farfaraefolia*					●				
		ミヤマヤブタバコ	*Carpesium triste*									●
		フジアザミ	*Cirsium purpuratum*	●	●	●			●	●		●
		リュウノウギク	*Dendranthema japonicum*			●						
		ヨツバヒヨドリ	*Eupatorium chinense* ssp. *sachalinense*		●	●		●	●			
		イワニガナ	*Ixeris stolonifera*		●			●				
		ミヤマアキノノゲシ	*Lactuca triangulata*			●						
		ナガバノコウヤボウキ	*Pertya glabrescens*									●
		フキ	*Petasites japonicus*	●	●	●	●	●	●	●		●
		コウゾリナ	*Picris hieracioides* var. *glabrescens*		●			●	●			
		フクオウソウ	*Prenanthes acerifolia*					●				
		キオン	*Senecio nemorensis*					●	●			
		アキノキリンソウ	*Solidago virgaurea* var. *asiatica*			●						
		ヒメジョオン	*Stenactis annuus*			●		●				
		ヤブレガサ	*Syneilesis palmata*							●	●	
		オヤマボクチ	*Synurus pungens*						●			
		ヤクシソウ	*Youngia denticulata*		●	●		●	●		●	

・分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査　植物目録 1987」（昭和 62 年、環境庁）に準拠した。

表 893　植物相（任意確認）の確認種一覧（重要種以外）(2024 年度)

分類	科名	種名	学名	調査地域								
				河 02 西俣(放流箇所下流)			河 08-2　千石(放流箇所下流)			河 10-3　椹島(放流箇所下流②)		
				春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
合弁花類	ユリ	ツクバネソウ	*Paris tetraphylla*	●								
		タケシマラン	*Streptopus streptopoides* var. *japonicus*	●	●							
		ホトトギス	*Tricyrtis hirta*									●
	イグサ	クサイ	*Juncus tenuis*		●	●						
	イネ	ヌカボ	*Agrostis clavata* ssp. *matsumurae*					●				
		ヌカボ属 sp.	*Agrostis* sp.		●							
		ヒメノガリヤス	*Calamagrostis hakonensis*						●			●
		イワノガリヤス	*Calamagrostis langsdorffii*			●						
		トボシガラ	*Festuca parvigluma*								●	
		ウシノケグサ属 sp.	*Festuca* sp.					●				
		ウラハグサ	*Hakonechloa macra*								●	●
		アシボソ	*Microstegium vimineum* var. *polystachyum*									●
		カリヤスモドキ	*Miscanthus oligostachyus*			●						
		ススキ	*Miscanthus sinensis*			●					●	
		ケチヂミザサ	*Oplismenus undulatifolius*								●	
		コチヂミザサ	*Oplismenus undulatifolius* var. *japonicus*									●
		エノコログサ	*Setaria viridis*						●		●	●
	サトイモ	マムシグサ	*Arisaema serratum*							●	●	
	カヤツリグサ	スゲ属 sp.	*Carex* sp.	●								
	ラン	クモキリソウ	*Liparis kumokiri*								●	
		クモキリソウ属 sp.	*Liparis* sp.						●			

・分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査　植物目録 1987」（昭和 62 年、環境庁）に準拠した。

4.3. 調査結果（2025 年度）

重要種の確認種一覧を表 894 に、重要種以外の確認種一覧を表 895～表 902 に示します。なお、指標種のモニタリングは、調査で確認された種の指標性を踏まえて実施します。

表 894　植物相（任意確認）の確認種一覧（重要種）（2025 年度）

分類	科名	種名	学名	調査地域								
				河 02 西俣(放流箇所下流)			河 08-2 千石(放流箇所下流)			河 10-3 椹島(放流箇所下流②)		
				春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
希少種保護のため非公開												

表 895　植物相（任意確認）の確認種一覧（重要種以外）(2025 年度)

分類	科名	種名	学名	調査地域								
				河 02 西俣(放流箇所下流)			河 08-2 千石(放流箇所下流)			河 10-3 椹島(放流箇所下流②)		
				春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
シダ植物	トクサ	スギナ	*Equisetum arvense*	●	●	●	●		●	●	●	●
	コバノイシカグマ	イヌシダ	*Dennstaedtia hirsuta*								●	●
		オオレンシダ	*Dennstaedtia wilfordii*						●		●	●
	シシガシラ	オサシダ	*Struthiopteris amabilis*							●		
	オシダ	ミヤマクマワラビ	*Dryopteris polylepis*				●	●	●			
		ツルデンダ	*Polystichum craspedosorum*				●	●	●	●		●
	ヒメシダ	ミヤマワラビ	*Phegopteris connectilis*			●						
	メシダ	ヘビノネゴザ	*Athyrium yokoscense*						●			
		ハクモウイノデ	*Deparia pycnosora* var. *albosquamata*									●
		フクロシダ	*Woodsia manchuriensis*	●	●	●			●	●	●	●
		イワデンダ	*Woodsia polystichoides*	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ウラボシ	ノキシノブ	*Lepisorus thunbergianus*					●	●		●	
		ナガオノキシノブ	*Lepisorus thunbergianus* var. *angustus*	●			●	●	●			
裸子植物	マツ	モミ	*Abies firma*							●	●	
		ウラジロモミ	*Abies homolepis*		●		●	●		●		
		カラマツ	*Larix kaempferi*	●		●	●	●	●			
		アカマツ	*Pinus densiflora*					●				
		チョウセンゴヨウ	*Pinus koraiensis*		●						●	
		ヒメコマツ	*Pinus parviflora*			●						
		コメツガ	*Tsuga diversifolia*	●		●				●		
		ツガ	*Tsuga sieboldii*		●			●	●	●	●	●
離弁花類	クルミ	サワグルミ	*Pterocarya rhoifolia*				●	●	●			●
	ヤナギ	ドロヤナギ	*Populus maximowiczii*	●					●			●
		バッコヤナギ	*Salix bakko*		●		●	●		●	●	●
		アカメヤナギ	*Salix chaenomeloides*									
		ミヤマヤナギ	*Salix reinii*									
		オノエヤナギ	*Salix sachalinensis*		●	●	●	●	●	●	●	●
		オオバヤナギ	*Toisusu urbaniana*	●		●		●			●	●
	カバノキ	ヤシャブシ	*Alnus firma*					●	●			●
		ミヤマヤシャブシ	*Alnus firma* var. *hirtella*			●		●	●	●	●	

・分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査　植物目録 1987」（昭和 62 年、環境庁）に準拠した。

表 896　植物相（任意確認）の確認種一覧（重要種以外）(2025 年度)

分類	科名	種名	学名	調査地域								
				河 02 西俣(放流箇所下流)			河 08-2 千石(放流箇所下流)			河 10-3 椹島(放流箇所下流②)		
				春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
離弁花類	カバノキ	ケヤマハンノキ	*Alnus hirsuta*				●	●	●	●	●	●
		ミヤマハンノキ	*Alnus maximowiczii*						●			
		ヒメヤシャブシ	*Alnus pendula*		●						●	
		オオバヤシャブシ	*Alnus sieboldiana*									
		ダケカンバ	*Betula ermanii*	●	●	●						
		ミズメ	*Betula grossa*						●	●		
		オノオレカンバ	*Betula schmidtii*			●						
		サワシバ	*Carpinus cordata*				●		●	●	●	●
		クマシデ	*Carpinus japonica*				●	●	●			
		イヌシデ	*Carpinus tschonoskii*							●	●	●
		ツノハシバミ	*Corylus sieboldiana*		●							
		アサダ	*Ostrya japonica*							●	●	
	ブナ	ブナ	*Fagus crenata*									●
		イヌブナ	*Fagus japonica*							●		
		ミズナラ	*Quercus mongolica* ssp. *crispula*		●	●	●	●	●	●	●	●
	ニレ	ケヤキ	*Zelkova serrata*							●	●	●
	クワ	ヤマグワ	*Morus australis*									●
	イラクサ	クサコアカソ	*Boehmeria gracilis*		●	●	●	●	●	●	●	●
		ウワバミソウ	*Elatostema umbellatum* var. *majus*				●	●			●	
		ミズ	*Pilea hamaoi*					●	●			
		アオミズ	*Pilea pumila*						●			
		コバノイラクサ	*Urtica laetevirens*	●					●			
		イラクサ	*Urtica thunbergiana*					●	●			
	タデ	ミズヒキ	*Antenoron filiforme*						●			
		ミヤマタニソバ	*Persicaria debilis*		●				●			
		タニソバ	*Persicaria nepalensis*		●	●			●			
		ハナタデ	*Persicaria posumbu* var. *laxiflora*		●	●			●		●	●
		イタドリ	*Reynoutria japonica*	●	●	●	●		●	●	●	●
	アカザ	シロザ	*Chenopodium album*							●	●	●
	クスノキ	ダンコウバイ	*Lindera obtusiloba*					●	●	●	●	●

・分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査　植物目録 1987」（昭和 62 年、環境庁）に準拠した。

表 897　植物相（任意確認）の確認種一覧（重要種以外）(2025 年度)

分類	科名	種名	学名	調査地域								
				河 02 西俣(放流箇所下流)			河 08-2 千石(放流箇所下流)			河 10-3 椹島(放流箇所下流②)		
				春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
離弁花類	ヤマグルマ	ヤマグルマ	*Trochodendron aralioides*								●	●
	フサザクラ	フサザクラ	*Euptelea polyandra*				●	●	●	●	●	●
	カツラ	カツラ	*Cercidiphyllum japonicum*		●	●	●	●	●	●	●	●
	キンポウゲ	サラシナショウマ	*Cimicifuga simplex*					●				
		ボタンヅル	*Clematis apiifolia*					●	●	●	●	
		コボタンヅル	*Clematis apiifolia* var. *biternata*						●			
		クサボタン	*Clematis stans*		●	●		●	●			●
	アケビ	ミツバアケビ	*Akebia trifoliata*							●		
	センリョウ	フタリシズカ	*Chloranthus serratus*				●			●	●	
	マタタビ	サルナシ	*Actinidia arguta*		●	●	●	●	●		●	
		ミヤママタタビ	*Actinidia kolomikta*		●							
		マタタビ	*Actinidia polygama*			●				●		
	ツバキ	ナツツバキ	*Stewartia pseudo-camellia*									
	オトギリソウ	オトギリソウ	*Hypericum erectum*		●					●	●	
	ケシ	タケニグサ	*Macleaya cordata*								●	
		タデノウミコンロンソウ	*Cardamine appendiculata*	●								
		ジャニンジン	*Cardamine impatiens*								●	
		オオバタネツケバナ	*Cardamine scutata*				●		●			
	マンサク	マンサク	*Hamamelis japonica*							●	●	
	ベンケイソウ	キリンソウ	*Sedum aizoon* var. *floribundum*		●	●						
	ユキノシタ	アカショウマ	*Astilbe thunbergii*		●						●	
		トリアシショウマ	*Astilbe thunbergii* var. *congesta*						●			●
		ツルネコノメソウ	*Chrysosplenium flagelliferum*	●								
		ウツギ	*Deutzia crenata*		●		●	●	●	●	●	●
		ヒメウツギ	*Deutzia gracilis*		●	●			●			
		コアジサイ	*Hydrangea hirta*		●					●	●	●
		タマアジサイ	*Hydrangea involucrata*					●	●		●	●

・分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査　植物目録 1987」（昭和 62 年、環境庁）に準拠した。

表 898　植物相（任意確認）の確認種一覧（重要種以外）（2025 年度）

分類	科名	種名	学名	調査地域								
				河 02 西俣(放流箇所下流)			河 08-2 千石(放流箇所下流)			河 10-3 椹島(放流箇所下流②)		
				春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
離弁花類	ユキノシタ	ヤマアジサイ	*Hydrangea macrophylla* var. *acuminata*		●		●	●		●	●	●
		ノリウツギ	*Hydrangea paniculata*		●	●	●		●			
		ゴトウヅル	*Hydrangea petiolaris*				●	●		●		
		バイカウツギ	*Philadelphus satsumi*		●	●			●			
		コマガタケスグリ	*Ribes japonicum*	●		●						
		ザリコミ	*Ribes maximowiczianum*		●							
		スグリ	*Ribes sinanense*	●								
		ヤグルマソウ	*Rodgersia podophylla*		●		●	●	●	●	●	●
		イワガラミ	*Schizophragma hydrangeoides*				●	●	●	●	●	●
	バラ	ヤマブキショウマ	*Aruncus dioicus* var. *tenuifolius*			●	●	●				
		ウワミズザクラ	*Prunus grayana*				●		●	●		●
		ミヤマザクラ	*Prunus maximowiczii*			●				●		
		エゾヤマザクラ	*Prunus sargentii*	●								
		クマイチゴ	*Rubus crataegifolius*	●	●	●			●	●	●	
		エゾイチゴ	*Rubus idaeus* var. *aculeatissimus* f. *concolor*									
		バライチゴ	*Rubus illecebrosus*						●	●	●	●
		クロイチゴ	*Rubus mesogaeus*			●						
		ミヤマニガイチゴ	*Rubus microphyllus* var. *subcrataegifolius*			●					●	●
		モミジイチゴ	*Rubus palmatus* var. *coptophyllus*						●			
		エビガライチゴ	*Rubus phoenicolasius*	●	●	●				●		
		ミヤマウラジロイチゴ	*Rubus yabei*		●							
		アズキナシ	*Sorbus alnifolia*						●			
		ヤハズソウ	*Kummerowia striata*									●
		イヌエンジュ	*Maackia amurensis* var. *buergeri*						●		●	●
	カタバミ	カタバミ	*Oxalis corniculata*					●	●			
	フウロソウ	ゲンノショウコ	*Geranium thunbergii*							●	●	
	ウルシ	ツタウルシ	*Rhus ambigua*						●			
	カエデ	ホソエカエデ	*Acer capillipes*				●	●	●	●	●	●
		チドリノキ	*Acer carpinifolium*								●	
		ハウチワカエデ	*Acer japonicum*		●	●	●	●	●		●	

・分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査　植物目録 1987」（昭和 62 年、環境庁）に準拠した。

表 899　植物相（任意確認）の確認種一覧（重要種以外）（2025 年度）

分類	科名	種名	学名	調査地域								
				河 02 西俣(放流箇所下流)			河 08-2 千石(放流箇所下流)			河 10-3 椹島(放流箇所下流②)		
				春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
離弁花類		コミネカエデ	*Acer micranthum*		●	●						
		ウラゲエンコウカエデ	*Acer mono* f. *connivens*						●	●		
		エンコウカエデ	*Acer mono* f. *marmoratum*							●	●	●
		オニイタヤ	*Acer mono* var. *ambiguum*						●		●	●
		イトマキイタヤ	*Acer mono* var. *trichobasis*		●	●						
		メグスリノキ	*Acer nikoense*				●		●			
		イロハモミジ	*Acer palmatum*						●			
		オオモミジ	*Acer palmatum* var. *amoenum*				●	●	●	●	●	
		ウリハダカエデ	*Acer rufinerve*				●	●	●			
		イタヤメイゲツ	*Acer sieboldianum*					●	●			
	ツリフネソウ	キツリフネ	*Impatiens noli-tangere*		●	●		●	●			
	ニシキギ	ツルウメモドキ	*Celastrus orbiculatus*				●					
		コマユミ	*Euonymus alatus* f. *ciliato-dentatus*								●	
		ツルマサキ	*Euonymus fortunei* var. *radicans*							●	●	●
		サワダツ	*Euonymus melananthus*				●					
		カントウマユミ	*Euonymus sieboldianus* var. *sanguineus*						●	●		
	ブドウ	ノブドウ	*Ampelopsis glandulosa* var. *heterophylla*					●				
		ヤマブドウ	*Vitis coignetiae*		●	●	●	●	●	●	●	
	シナノキ	シナノキ	*Tilia japonica*		●	●						
	スミレ	エイザンスミレ	*Viola eizanensis*						●	●		
		タチツボスミレ	*Viola grypoceras*				●		●			
		アカフタチツボスミレ	*Viola grypoceras* f. *variegata*	●								
	アカバナ	タニタデ	*Circaea erubescens*						●	●	●	
		ケゴンアカバナ	*Epilobium amurense*					●	●		●	●
		イワアカバナ	*Epilobium cephalostigma*			●						
	ウコギ	ウド	*Aralia cordata*		●	●		●	●			
		タラノキ	*Aralia elata*	●	●	●			●			
		ハリギリ	*Kalopanax pictus*		●				●			
		トチバニンジン	*Panax japonicus*				●					
	セリ	シラネセンキュウ	*Angelica polymorpha*		●	●	●		●		●	
		ヤブジラミ	*Torilis japonica*		●							
		オヤブジラミ	*Torilis scabra*			●						

・分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査　植物目録 1987」（昭和 62 年、環境庁）に準拠した。

表 900　植物相（任意確認）の確認種一覧（重要種以外）（2025 年度）

分類	科名	種名	学名	調査地域								
				河 02 西俣(放流箇所下流)			河 08-2 千石(放流箇所下流)			河 10-3 椹島(放流箇所下流②)		
				春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
合弁花類	リョウブ	リョウブ	*Clethra barbinervis*	●	●	●		●	●		●	●
	ツツジ	ネジキ	*Lyonia ovalifolia* var. *elliptica*					●				
		サツキ	*Rhododendron indicum*							●	●	●
		ホツツジ	*Tripetaleia paniculata*		●							
	サクラソウ	コナスビ	*Lysimachia japonica* f. *subsessilis*							●	●	
	エゴノキ	ハクウンボク	*Styrax obassia*									●
	モクセイ	アラゲアオダモ	*Fraxinus lanuginosa*					●	●			
		アオダモ	*Fraxinus lanuginosa* f. *serrata*				●	●		●		●
		マルバアオダモ	*Fraxinus sieboldiana*		●				●		●	
		ミヤマイボタ	*Ligustrum tschonoskii*						●			
	ガガイモ	イケマ	*Cynanchum caudatum*					●	●		●	
	アカネ	キヌタソウ	*Galium kinuta*		●	●		●	●	●		●
		オオバノヤエムグラ	*Galium pseudo-asprellum*								●	
	ムラサキ	オオルリソウ	*Cynoglossum zeylanicum* var. *villosulum*								●	
	クマツヅラ	ムラサキシキブ	*Callicarpa japonica*								●	
		クサギ	*Clerodendrum trichotomum*									●
	シソ	イヌトウバナ	*Clinopodium micranthum*						●		●	●
		ナギナタコウジュ	*Elsholtzia ciliata*			●			●			●
		カキドオシ	*Glechoma hederacea* var. *grandis*							●	●	●
		テンニンソウ	*Leucosceptrum japonicum*		●	●	●	●	●	●	●	●
		セキヤノアキチョウジ	*Rabdosia effusa*								●	
		ヤマハッカ	*Rabdosia inflexa*									●
		イヌヤマハッカ	*Rabdosia umbrosa*			●						
		コウシンヤマハッカ	*Rabdosia umbrosa* var. *latifolia*			●			●			
	フジウツギ	フジウツギ	*Buddleja japonica*								●	
	オオバコ	オオバコ	*Plantago asiatica*		●	●	●	●	●	●	●	
		エゾオオバコ	*Plantago camtschatica*	●								
		ガマズミ	*Viburnum dilatatum*		●							
		オオカメノキ	*Viburnum furcatum*		●	●						
		ヤブデマリ	*Viburnum plicatum* var. *tomentosum*						●			
		オオミヤマガマズミ	*Viburnum wrightii* var. *stipellatum*	●	●	●	●	●				
		ニシキウツギ	*Weigela decora*		●	●						

・分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査　植物目録 1987」（昭和 62 年、環境庁）に準拠した。

表 901　植物相（任意確認）の確認種一覧（重要種以外）(2025 年度)

分類	科名	種名	学名	調査地域								
				河 02 西俣(放流箇所下流)			河 08-2 千石(放流箇所下流)			河 10-3 椹島(放流箇所下流②)		
				春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
	オミナエシ	オトコエシ	*Patrinia villosa*								●	
	キク	ヤマハハコ	*Anaphalis margaritacea*	●	●	●		●				
		イヌヨモギ	*Artemisia keiskeana*		●	●			●			
		ヨモギ	*Artemisia princeps*		●	●	●	●	●	●	●	●
		シロヨメナ	*Aster ageratoides* ssp. *leiophyllus*						●		●	●
		ノコンギク	*Aster ageratoides* ssp. *ovatus*		●	●			●			●
		アメリカセンダングサ	*Bidens frondosa*									●
		ウスゲタマブキ	*Cacalia farfaraefolia*		●							
		コウモリソウ	*Cacalia maximowitziana*					●	●			
		アズマヤマアザミ	*Cirsium microspicatum*			●						
		トネアザミ	*Cirsium nipponicum* var. *incomptum*									
		フジアザミ	*Cirsium purpuratum*	●	●	●		●	●		●	●
		リュウノウギク	*Dendranthema japonicum*		●				●			●
		ヨツバヒヨドリ	*Eupatorium chinense* ssp. *sachalinense*		●	●			●			
		ニガナ	*Ixeris dentata*			●						
		イワニガナ	*Ixeris stolonifera*	●	●							
		ヨメナ	*Kalimeris yomena*						●			
		ミヤマアキノノゲシ	*Lactuca triangulata*		●							
		コウヤボウキ	*Pertya scandens*								●	
		フキ	*Petasites japonicus*	●	●	●	●	●	●	●	●	
		コウゾリナ	*Picris hieracioides* var. *glabrescens*		●			●				
		フクオウソウ	*Prenanthes acerifolia*							●	●	
		キオン	*Senecio nemorensis*		●			●				
		サワギク	*Senecio nikoensis*						●			
		メナモミ	*Siegesbeckia orientalis* ssp. *pubescens*									●
		ヒメジョオン	*Stenactis annuus*		●	●		●				
		ヤブレガサ	*Syneilesis palmata*								●	
		オヤマボクチ	*Synurus pungens*		●				●			
		ヤクシソウ	*Youngia denticulata*		●	●		●	●		●	●

・分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査　植物目録 1987」（昭和 62 年、環境庁）に準拠した。

表 902　植物相（任意確認）の確認種一覧（重要種以外）（2025 年度）

分類	科名	種名	学名	調査地域								
				河 02 西俣(放流箇所下流)			河 08-2 千石(放流箇所下流)			河 10-3 椹島(放流箇所下流②)		
				春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
単子葉類	ユリ	コバギボウシ	*Hosta sieboldii* f. *lancifolia*						●			
		マイヅルソウ	*Maianthemum dilatatum*				●	●				
	イグサ	クサイ	*Juncus tenuis*		●	●			●			
	イネ	ヌカボ	*Agrostis clavata* ssp. *matsumurae*					●				
		ヤマカモジグサ	*Brachypodium sylvaticum*								●	●
		ヒメノガリヤス	*Calamagrostis hakonensis*		●	●		●	●		●	●
		コメヒシバ	*Digitaria radicosa*			●						
		アキメヒシバ	*Digitaria violascens*			●						
		ウラハグサ	*Hakonechloa macra*					●			●	●
		ススキ	*Miscanthus sinensis*			●			●			
		タチネズミガヤ	*Muhlenbergia hakonensis*			●						
		ケチヂミザサ	*Oplismenus undulatifolius*								●	
		コチヂミザサ	*Oplismenus undulatifolius* var. *japonicus*									●
		スズメノカタビラ	*Poa annua*				●	●	●			
		エノコログサ	*Setaria viridis*			●		●	●		●	●
	サトイモ	マムシグサ	*Arisaema serratum*					●		●		
	カヤツリグサ	エナシヒゴクサ	*Carex aphanolepis*								●	
	ラン	ネジバナ	*Spiranthes sinensis* var. *amoena*		●							

・分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査　植物目録 1987」（昭和 62 年、環境庁）に準拠した。

5. 高標高部における植物調査

【事後調査及びモニタリング計画通し番号 188】

5.1. 調査方法

調査地点に設置したコドラート 16 地点（１地点あたり２m×２m）で確認された高等植物を記録しました。

5.2. 調査結果（2024 年度）

調査結果を表 903 に示します。

表 903　植物確認種一覧（2024 年度）

分類	科名	種名	学名	高標高01丸山				高標高02悪沢岳				高標高03中岳避難小屋付近				高標高04西カール			
				コドラート1	コドラート2	コドラート3	コドラート4	コドラート1	コドラート2	コドラート3	コドラート4	コドラート1	コドラート2	コドラート3	コドラート4	コドラート1	コドラート2	コドラート3	コドラート4
希少種保護のため非公開																			
合弁花類	ツツジ	ツガザクラ属の一種	*Phyllodoce* sp.									●	●			●		●	
希少種保護のため非公開																			
合弁花類	ツツジ	クロウスゴ	*Vaccinium ovalifolium* var. *ovalifolium*				●												
希少種保護のため非公開																			
合弁花類	ゴマノハグサ	シオガマギク属の一種	*Pedicnlaris* sp.							●									
希少種保護のため非公開																			
合弁花類	キク	ニガナ属の一種	*Ixeris* sp.					●	●	●									
希少種保護のため非公開																			
合弁花類	キク	トウヒレン属の一種	*Saussurea* sp.						●	●						●	●		
希少種保護のため非公開																			
単子葉植物	イネ	コメススキ	*Deschampsia flexuosa*	●	●							●	●			●	●		
		タカネウシノケグサ	*Festuca ovina* var. *tateyamensis*		●			●	●	●									
希少種保護のため非公開																			
単子葉植物	カヤツリグサ	スゲ属の一種	*Carex* sp.					●	●							●	●		
希少種保護のため非公開																			

・分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査　植物目録 1987」（昭和 62 年、環境庁）に準拠しました。

5.3. 調査結果（2025 年度）

調査結果を表 904 に示します。

表 904　高等植物確認種一覧（2025 年度）

分類	科名	種名	学名	高標高01丸山				高標高02悪沢岳				高標高03中岳避難小屋付近				高標高04西カール			
				コドラート1	コドラート2	コドラート3	コドラート4	コドラート1	コドラート2	コドラート3	コドラート4	コドラート1	コドラート2	コドラート3	コドラート4	コドラート1	コドラート2	コドラート3	コドラート4
希少種保護のため非公開																			
合弁花類	ツツジ	ツガザクラ属の一種	*Phyllodoce* sp.									●	●			●		●	
希少種保護のため非公開																			
合弁花類	ツツジ	クロウスゴ	*Vaccinium ovalifolium* var. *ovalifolium*				●												
希少種保護のため非公開																			
合弁花類	ゴマノハグサ	シオガマギク属の一種	*Pedicnlaris* sp.							●									
希少種保護のため非公開																			
合弁花類	キク	ニガナ属の一種	*Ixeris* sp.					●	●	●									
希少種保護のため非公開																			
合弁花類	キク	トウヒレン属の一種	*Saussurea* sp.							●						●			
希少種保護のため非公開																			
単子葉植物	ユリ	ユリ科の一種	Liliaceae sp.										●						
希少種保護のため非公開																			
単子葉植物	イネ	コメススキ	*Deschampsia flexuosa*	●	●							●	●			●	●		
希少種保護のため非公開																			
単子葉植物	カヤツリグサ	ヒメスゲ	*Carex oxyandra*					●	●	●									
希少種保護のため非公開																			
単子葉植物	カヤツリグサ	スゲ属の一種	*Carex* sp.													●	●		
希少種保護のため非公開																			

・分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査　植物目録 1987」（昭和 62 年、環境庁）に準拠しました。